新約聖書

新改訳　注・引照付



日本聖書刊行会
東京都新宿区信濃町6

New Japanese Bible, New Testament
Printed in Japan
© The Lockman Foundation 1965
版権所有
NJB-21

新約聖書　目次

マタイの福音書……1
マルコの福音書……59
ルカの福音書……96
ヨハネの福音書……157
使徒の働き……208
ローマ人への手紙……265
コリント人への手紙　第一……290
コリント人への手紙　第二……315
ガラテヤ人への手紙……332
エペソ人への手紙……341
ピリピ人への手紙……350
コロサイ人への手紙……357
テサロニケ人への手紙　第一……363
テサロニケ人への手紙　第二……369
テモテへの手紙　第一……372
テモテへの手紙　第二……379
テトスへの手紙……384
ピレモンへの手紙……387
ヘブル人への手紙……389
ヤコブの手紙……408
ペテロの手紙　第一……415
ペテロの手紙　第二……422
ヨハネの手紙　第一……426
ヨハネの手紙　第二……433
ヨハネの手紙　第三……434
ユダの手紙……435
ヨハネの黙示……437

マタイの福音書

1

1 [1]アブラハムの子孫、[2]ダビデの子孫、
イエス・キリストの系図。
2 アブラハムにイサクが生まれ、イサクにヤコブが
生まれ、ヤコブにユダとその兄弟たちが生まれ、
3 [1]ユダに、タマルによってパレスとザラが生まれ、パ
レスにエスロンが生まれ、エスロンにアラムが生まれ、
4 アラムにアミナダブが生まれ、アミナダブにナアソ
ンが生まれ、ナアソンにサルモンが生まれ、
5 サルモンに、ラハブによってボアズが生まれ、ボア
ズに、ルツによってオベデが生まれ、オベデにエッサ
イが生まれ、
6 エッサイにダビデ王が生まれた。
[1]ダビデに、ウリヤの妻によってソロモンが生まれ、
7 [1]ソロモンにレハベアムが生まれ、レハベアムにアビ
ヤが生まれ、アビヤに*アサが生まれ、
8 アサにヨサパテが生まれ、ヨサパテにヨラムが生ま
れ、ヨラムにウジヤが生まれ、
9 ウジヤにヨタムが生まれ、ヨタムにアハズが生まれ、
アハズにヒゼキヤが生まれ、
10 ヒゼキヤにマナセが生まれ、マナセに*アモンが生ま
れ、アモンにヨシヤが生まれ、
11 ヨシヤに、[1]バビロン移住のころエコニヤと*その兄弟
たちが生まれた。
12 [1]バビロン移住の後、エコニヤにサラテルが生まれ、
サラテルにゾロバベルが生まれ、
13 ゾロバベルにアビウデが生まれ、アビウデにエリヤ
キムが生まれ、エリヤキムにアゾルが生まれ、
14 アゾルにサドクが生まれ、サドクにアキムが生まれ、
アキムにエリウデが生まれ、
15 エリウデにエレアザルが生まれ、エレアザルにマタ
ンが生まれ、マタンにヤコブが生まれ、
16 ヤコブにマリヤの夫ヨセフが生まれた。[1]*キリストと
呼ばれるイエスはこのマリヤからお生まれになった。
17 それで、アブラハムからダビデまでの代が全部で
十四代、ダビデから[1]バビロン移住までが十四代、バビ
ロン移住からキリストまでが十四代になる。
18 [1]イエス・キリストの誕生は次のようであった。そ
の母マリヤはヨセフの妻と決まっていたが、ふたりが
まだいっしょにならないうちに、[2]聖霊によって身重に
なったことがわかった。
19 夫のヨセフは正しい人であって、彼女をさらし者に
はしたくなかったので、内密に去らせようと決めた。
20 彼がこのことを思い巡らしていたとき、主の使いが
夢に現われて言った。「ダビデの子ヨセフ。恐れない
であなたの妻マリヤを迎えなさい。その胎に宿って
いるものは聖霊によるのです。
21 マリヤは男の子を産みます。[1]その名をイエスとつけ
なさい。[2]この方こそ、ご自分の民をその罪から救って

1 ①創三・六、ガラ三・一六
マタ一・一六、ルカ三・三一㊁
②Ⅱサム七・一二、詩八九・三、
四、一三二・一一、イザ九・六、七、一一・一、
ルカ一・三二、六九、ヨハ七・四二
使一三・二三、ロマ一・三、黙二二・
一六、㊞マタ九・二七
3 ①マタ一・二六、㊞ルツ四・一八
三、Ⅰ歴二・四一㊁
6 ①Ⅱサム一二・七、一三㊁
7 ①マタ一・一〇、三、Ⅰ歴三・一〇
一七
*ギリシヤ語は「アサフ」
「アサ」はヘブル語
10 *ギリシヤ語は「アモス」
「アモン」はヘブル語
11 ①Ⅱ列二四・一四、エレ二七・
二三、マタ一・一七
*あるいは「エホヤキン」
12 ①Ⅱ列二四・一四、エレ二七・
二三、マタ一・一七
16 ①マタ一・一七、二三、㊞ルカ三・
二、ヨハ四二・二五
*すなわち「メシヤ」
17 ①Ⅱ列二四・一四、エレ二七・
二三、マタ一・一二、一三
18 ①ルカ一・二七、㊞マタ二・一四
②ルカ一・二五
19 *あるいは「離縁しよう」
21 ①ルカ一・三一、三三、②ルカ
二・二一、使一三・二三、ヨハ一・二九

くださる方です。」
22 このすべての出来事は、主が預言者を通して言われた事が成就するためであった。
23 「見よ、処女がみごもっている。そして男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」（訳すと、神は私たちとともにおられる、という意味である。）
24 ヨセフは眠りからさめ、主の使いに命じられたとおりにして、その妻を迎え入れ、
25 そして、子どもが生まれるまで彼女を知ることがなく、その子どもの名をイエスとつけた。

2

1 イエスが、ヘロデ王の時代に、ユダヤのベツレヘムでお生まれになったとき、見よ、東方の博士たちがエルサレムにやって来て、こう言った。
2 「ユダヤ人の王としてお生まれになった方はどこにおいでになりますか。私たちは、東のほうでその方の星を見たので、拝みにまいりました。」
3 それを聞いて、ヘロデ王は恐れ惑った。エルサレム中の人も王と同様であった。
4 そこで、王は、民の祭司長たち、学者たちをみな集めて、キリストはどこで生まれるのかと問いただした。
5 彼らは王に言った。「ユダヤのベツレヘムです。預言者によってこう書かれているからです。
6 『ユダの地、ベツレヘム。
あなたはユダを治める者たちの中で、
決して一番小さくはない。
わたしの民イスラエルを治める支配者が、
あなたから出るのだから。』」
7 そこで、ヘロデはひそかに博士たちを呼んで、彼らから星の出現の時間を突き止めた。
8 そして、こう言って彼らをベツレヘムに送った。「行って幼子のことを詳しく調べ、わかったら知らせてもらいたい。私も行って拝むから。」
9 彼らは王の言ったことを聞いて出かけた。すると、見よ、東方で見た星が彼らを先導し、ついに幼子のおられる所まで進んで行き、その上にとどまった。
10 その星を見て、彼らはこの上もなく喜んだ。
11 そしてその家にはいって、母マリヤとともにおられる幼子を見、ひれ伏して拝んだ。そして、宝の箱をあけて、黄金、乳香、没薬を贈り物としてささげた。
12 それから、夢でヘロデのところへ戻るなという戒めを受けたので、別の道から自分の国へ帰って行った。
13 彼らが帰って行ったとき、見よ、主の使いが夢でヨセフに現われて言った。「立って、幼子とその母を連れ、エジプトへ逃げなさい。そして、私が知らせるまで、そこにいなさい。ヘロデがこの幼子を捜し出して殺そうとしています。」
14 そこで、ヨセフは立って、夜のうちに幼子とその母を連れてエジプトに立ちのき、
15 ヘロデが死ぬまでそこにいた。これは、主が預言者を通して、「わたしはエジプトから、わたしの子を呼び出した。」と言われた事が成就するためであった。

---

1 ①ルカ一・五、②ルカ二・四-七
＊ギリシャ語「マゴス」
2 ①エレ三一・五、三三・九、ゼカ九・九、マタ二七・二一、ルカ一九・三八、ヨハ一二・一五、黙三・二一
4 ＊すなわち「メシヤ」
5 ①ヨハ七・四二
6 ①ミカ五・一、②関ヨハ三・一六
7 ＊直訳「出現する星の時間」
11 ①マタ一・一八、関マタ二・四六
12 ①マタ二・一三、ヘブ二・七
関使一〇・三、ヘブ八・五、ルカ二・二六、即マタ二・一九
13 ①マタ二・九、即マタ二・一三
15 ①ホセ一一・一、②出四・二二、三三
23 ①イザ七・一四
25 ①マタ一・二

16その後、ヘロデは、博士たちにだまされたことがわかると、非常におこって、人をやって、ベツレヘムとその近辺の二歳以下の男の子をひとり残らず殺させた。その年令は博士たちから突き止めておいた時間から割り出したのである。
17そのとき、預言者エレミヤを通して言われた事が成就した。
18「[1]ラマで声がする。
泣き、そして嘆き叫ぶ声。
ラケルがその子らのために泣いている。
ラケルは慰められることを拒んだ。
子らがもういないからだ。」
19ヘロデが死ぬと、見よ、[1]主の使いが、夢でエジプトにいるヨセフに現われて、言った。
20「立って、幼子とその母を連れて、イスラエルの地に行きなさい。幼子のいのちをつけねらっていた人たちは死にました。」
21そこで、彼は立って、幼子とその母を連れて、イスラエルの地にはいった。
22しかし、アケラオが父ヘロデに代わってユダヤを治めていると聞いたので、そこに行ってとどまることを恐れた。そして、[1]夢で戒めを受けたので、ガリラヤ地方に立ちのいた。
23そして、ナザレという町に行って住んだ。これは預言者たちを通して「[2]この方はナザレ人と呼ばれる。」と言われた事が成就するためであった。

3

1[1]そのころ、バプテスマのヨハネが*現われ、[2]ユダヤの荒野で教えを宣べて、言った。
2「[1]悔い改めなさい。[2]天の御国が近づいたから。」
3この人は預言者イザヤによって、
「[1]荒野で叫ぶ者の声がする。
『[2]主の道を用意し、
主の通られる道をまっすぐにせよ。』」
と言われたその人である。
4このヨハネは、らくだの毛の着物を着、腰には皮の帯を締め、その[2]食べ物はいなごと野蜜であった。
5さて、エルサレム、ユダヤ全土、ヨルダン川沿いの全地域の人々がヨハネのところへ出て行き、
6自分の罪を告白して、ヨルダン川で彼からバプテスマを受けた。
7しかし、パリサイ人やサドカイ人が大ぜいバプテスマを受けに来るのを見たとき、ヨハネは彼らに言った。
「[3]まむしのすえたち。だれが必ず来る御怒りをのがれるように教えたのか。
8それなら、悔い改めにふさわしい実を結びなさい。
9『われわれの先祖はアブラハムだ。』と心の中で言うような考えではいけません。あなたがたに言っておくが、神は、この石ころからでも、アブラハムの子孫を起こすことがおできになるのです。
10斧もすでに木の根元に置かれています。だから、良い実を結ばない木は、みな切り倒されて、火に投げ込

1 ①マタ二・一二、マコ一・二八、ルカ二・一七、旧ヨハ一・六八、一九・一六
* あるいは「到着し」
② 1 土・六、旧ヨシ二・六
** 別訳「先駆者として宣言して」
2 ①マタ四・一七、②マタ四・一七、マコ一・一五、ルカ一〇・九以下、一二・三、三・三、マタ三・三
3 ①イザ四〇・三、②旧ヨハ一・三
4 ①Ⅱ列一・八、旧ゼカ一三・四、②レビ一一・二二
5 ①ルカ三・三
7 ①旧マタ三・三、一六・一以下、②旧マタ三・三、一六・一以下、使四・一四、一七、三・六以下、③マタ二三・三三、三・三、④1テサ一・一〇
8 ①使二六・二〇
9 ①ヨハ八・三九、旧ヨハ八・三三
10 ①マタ七・一九
18 ①エレ三一・一五
19 ①マタ二・一三、旧マタ二・一三、三
22 ①マタ二・二二
23 ①ルカ二・二六、②囲イザ一一・一、③囲マコ一・二四

まれます。
11 私は、あなたがたが悔い改めるために、水のバプテスマを授けていますが、私のあとから来られる方は、私よりもさらに力のある方です。私はその方のはきものを脱がせてあげる値うちもありません。その方は、あなたがたに聖霊と火とのバプテスマをお授けになります。
12 手に箕を持っておられ、ご自分の脱穀場をすみずみまできよめられます。麦を倉に納め、殻を消えない火で焼き尽くされます。」
13 さて、イエスは、ヨハネからバプテスマを受けるために、ガリラヤからヨルダンにお着きになり、ヨハネのところに来られた。
14 しかし、ヨハネはイエスにそうさせまいとして、言った。「私こそ、あなたからバプテスマを受けるはずですのに、あなたが、私のところにおいでになるのですか。」
15 ところが、イエスは答えて言われた。「今はそうさせてもらいたい。このようにして、すべての正しいことを実行するのは、わたしたちにふさわしいのです。」そこで、ヨハネは承知した。
16 こうして、イエスはバプテスマを受けて、すぐに水から上がられた。すると、天が開け、神の御霊が鳩のように下って、自分の上に来られるのをご覧になった。
17 また、天からこう告げる声が聞こえた。「これは、わたしの愛する子、わたしはこれを喜ぶ。」

4

1 さて、イエスは、悪魔の試みを受けるため、御霊に導かれて荒野に上って行かれた。
2 そして、四十日四十夜断食したあとで、空腹を覚えられた。
3 すると、試みる者が近づいて来て言った。「あなたが神の子なら、この石がパンになるように、命じなさい。」
4 イエスは答えて言われた。「『人はパンだけで生きるのでなく、神の口から出る一つ一つのことばによる。』と書いてある。」
5 すると、悪魔はイエスを聖なる都に連れて行き、神殿の頂に立たせて、
6 言った。「あなたが神の子なら、下に身を投げてみなさい。『神は御使いたちに命じて、その手にあなたをささえさせ、あなたの足が石に打ち当たることのないようにされる。』と書いてありますから。」
7 イエスは言われた。「『あなたの神である主を試みてはならない。』とも書いてある。」
8 今度は悪魔は、イエスを非常に高い山に連れて行き、この世のすべての国々とその栄華を見せて、
9 言った。「もしひれ伏して私を拝むなら、これを全部あなたに差し上げましょう。」
10 イエスは言われた。「引き下がれ、サタン。『あなたの神である主を拝み、主にだけ仕えよ。』と書いてある。」
11 すると悪魔はイエスを離れて行き、見よ、御使いたちが来て仕えた。

---

11 ①囲ヨハ一・二六
＊あるいは「の中で」
「をもって」「によって」
②ヨハ一・三三　囲イザ三一・二四
②マコ一・三三、③マコ九・四三、四五
12 ①ルカ二・七、囲イザ三一・二四
②マタ一四・三、③マコ九・四三、四五
13 ①マタ二・一七、マコ一・九、一一
ルカ三・二一、三、囲ヨハ一・三一
二四、②マタ三・三
16 ①ヨハ一・三三
17 ①マタ三・一六、一七、囲マコ一・一一、ルカ九・三五、イザ四二・一
1 ①マタ四・一、マコ一・一二、一三、ルカ四・一、三
2 ①囲出三四・二八、Ⅰ列一九・八
3 ①Ⅰテサ三・五
4 ①申八・三
5 ①マタ二七・五三、ネヘ一一・一八
囲ダニ九・二四
6 ①詩九一・一一、一二
＊あるいは「誘惑してはいけない」
7 ①申六・一六
10 ①申六・一三
11 ①マタ二六・五三、ルカ三・二二

ちが近づいて来て仕えた。
12 ヨハネが捕えられたと聞いてイエスは、ガリラヤ
へ立ちのかれた。
13 そしてナザレを去って、カペナウムに来て住まわれた。ゼブルンとナフタリとの境にある、湖のほとりの町である。
14 これは、預言者イザヤを通して言われた事が、成就するためであった。すなわち、
15 「ゼブルンの地とナフタリの地、湖に向かう道、
ヨルダンの向こう岸、異邦人のガリラヤ。
16 暗やみの中にすわっていた民は偉大な光を見、
死の地と死の陰にすわっていた人々に、
光が上った。」
17 この時から、イエスは宣教を開始して、言われた。「悔い改めなさい。天の御国が近づいたから。」
18 イエスがガリラヤ湖のほとりを歩いておられたとき、ふたりの兄弟、ペテロと呼ばれるシモンとその兄弟アンデレをご覧になった。彼らは湖で網を打っていた。漁師だったからである。
19 イエスは彼らに言われた。「わたしについて来なさい。あなたがたを、人間をとる漁師にしてあげよう。」
20 彼らはすぐに網を捨てて従った。
21 そこからなお行かれると、イエスは、別のふたりの兄弟、ゼベダイの子ヤコブとその兄弟ヨハネが、父ゼベダイといっしょに舟の中で網を繕っているのをご覧になり、ふたりをお呼びになった。
22 彼らはすぐに舟も父も残してイエスに従った。
23 イエスはガリラヤ全土を巡って、会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、民の中のあらゆる種類の病気、あらゆる種類のわずらいを直された。
24 イエスのうわさはシリヤ全体に広まった。それで、人々は、さまざまの病気と痛みに苦しむ病人、悪霊につかれた人、てんかん持ち、中風の者などをみな、みもとに連れて来た。イエスは彼らをお直しになった。
25 こうしてガリラヤ、デカポリス、エルサレム、ユダヤおよびヨルダンの向こう岸から大ぜいの群衆がイエスにつき従った。

5

1 この群衆を見て、イエスは山に登り、おすわりになると、弟子たちがみもとに来た。
2 そこで、イエスは口を開き、彼らに教えて、言われた。
3 「心の貧しい者は幸いです。天の御国はその人のものだからです。
4 悲しむ者は幸いです。その人は慰められるからです。
5 柔和な者は幸いです。その人は地を相続するからです。
6 義に飢え渇いている者は幸いです。その人は満ち足りるからです。
7 あわれみ深い者は幸いです。その人はあわれみを受けるからです。

---

1 ①マタ五章、旧ルカ六・二〇-
呪、②マコ三・一三、ルカ六・一二
ヨハ六・三、一五、旧ルカ六・一七
2 ①使八・三二、一三・一五、
旧マタ二・一三
3 ①マタ五・一二、旧ルカ六・
二〇-二三、②マタ五・一〇、一九・一四、
三・二九、三〇、マコ一〇・一四、ルカ六・二〇、
4 ①イザ六一・二、旧ヨハ六・三
黙七・一七
5 ①詩三七・一一
＊あるいは「へりくだった者」
6 ①イザ五五・一、二、旧ヨハ四・一四、六・四八、七・三七以下
7 ①マタ六・一四、一五、一八・二一、
マコ一一・二六、ヨハ一三・三四、旧ルカ六・三六、
マタ一八・三三、旧ルカ五・二〇、ヨハ一・一四、
8 ①マタ一〇・二八、旧マタ五・二〇
②マタ九・二七、ルカ一八・三八、旧マコ一〇・四七、
マタ二〇・三〇、ヨハ九・二八、三四、旧マコ一〇・一、
③マタ九・三五、マコ一・一四、
旧マタ二四・一四、ルカ四・一四三、
八・一、二六、使一〇・三六、三七
＊あるいは「良い知らせ」
④マタ八・二九、三一、一四・三三、
三一・一四、ルカ四・四一、マコ一・二四、
旧マタ三・一四、ルカ四・四一、使一〇・三六
9 ①マタ一八・三五、ガラ六・一、二、
旧マコ七・六、②マタ八・一六、
六・三三、九・二二、二三、二五、三三、
マコ一・三五、五・三五、六・八、ルカ
八・三六、ヨハ一〇・二一、③マタ
一七・二五
＊別訳「気遣い」
④マタ八・六、九、マコ一・三五、
四五、六、ルカ五・一六、
25 ①マコ三・二一、②マタ
四・一二、③マコ三・七、八、ルカ
六・一七

17 ①マコ一・一四、②旧マタ三・二
18 ①マタ四・八-二二、マコ一・一六-
二〇、旧ルカ五・一-一一、ヨハ一・
四二、②マタ一六・一七、マコ
七・三一、旧ルカ五・一-一一、ヨハ一・
四二、四三
21 ①マタ一〇・二、旧マタ一〇・四
23 ①マコ一・三九、ルカ四・三五、四四
②マタ九・三五、一三・五四、マコ一・二一
四四、三五、六・二、三、一〇、ヨハ
六・三五、三六、旧マコ一〇・一
③マタ九・三五、マコ一・一四、
旧マタ二四・一四、ルカ四・四三、
八・一、二六、使一〇・三六、三七
＊あるいは「良い知らせ」
④マタ八・二九、三一、一四・三三、
三一・一四、ルカ四・四一、マコ一・二四、
旧マタ三・一四、ルカ四・四一、使一〇・三六
24 ①ルカ二・三、使一三・一、八・一八、
三・一二、一三、ガラ一・二二、
旧マコ七・三六、②マタ八・一六、
六・三三、九・二二、二三、三五、
マコ一・三五、五・三五、六・八、ルカ
八・三六、ヨハ一〇・二一、③マタ
一七・二五
＊別訳「気遣い」
④マタ八・六、九、マコ一・三五、
四五、六、ルカ五・一六、
25 ①マコ三・二一、②マタ
四・一二、③マコ三・七、八、ルカ
六・一七

8 心のきよい者は幸いです。その人は神を見るからです。
9 平和をつくる者は幸いです。その人は神の子どもと呼ばれるからです。
10 義のために迫害されている者は幸いです。天の御国はその人のものだからです。
11 わたしのために、ののしられたり、迫害されたり、また、ありもしないことで悪口雑言を言われたりするとき、あなたがたは幸いです。
12 喜びなさい。喜びおどりなさい。天においてあなたがたの報いは大きいのだから。あなたがたより前に来た預言者たちも、そのように迫害されました。
13 あなたがたは、地の塩です。もし塩が塩けをなくしたら、何によって塩けをつけるのでしょう。もう何の役にも立たず、外に捨てられて、人々に踏みつけられるだけです。
14 あなたがたは、世界の光です。山の上にある町は隠れる事ができません。
15 また、あかりをつけて、それを枡の下に置く者はありません。燭台の上に置きます。そうすれば、*家にいる人々全部を照らします。
16 このように、あなたがたの光を人々の前で輝かせ、人々があなたがたの良い行ないを見て、天におられるあなたがたの父をあがめるようにしなさい。
17 わたしが来たのは律法や預言者を廃棄するためだと思ってはなりません。廃棄するためにではなく、成就するために来たのです。
18 まことに、あなたがたに告げます。天地が滅びうせない限り、律法の中の一点一画でも決してすたれることはありません。全部が成就されます。
19 だから、戒めのうち最も小さいものの一つでも、これを破ったり、また破るように人に教えたりする者は、天の御国で、最も小さい者と呼ばれます。しかし、それを守り、また守るように教える者は、天の御国で、偉大な者と呼ばれます。
20 まことに、あなたがたに告げます。もしあなたがたの義が、律法学者やパリサイ人の義にまさるものでないなら、あなたがたは決して天の御国に、はいれません。
21 昔の人々に、『人を殺してはならない。人を殺す者はさばきを受けなければならない。』と言われたのを、あなたがたは聞いています。
22 しかし、わたしはあなたがたに言います。兄弟に向かって*腹を立てる者は、だれでもさばきを受けなければなりません。兄弟に向かって『*能なし。』と言うような者は、最高議会に引き渡されます。また、『ばか者。』と言うような者は燃えるゲヘナに投げ込まれます。
23 だから、祭壇の上に供え物をささげようとしているとき、もし兄弟に恨まれていることをそこで思い出したなら、
24 供え物はそこに、祭壇の前に置いたままにして、出て行って、まずあなたの兄弟と仲直りをしなさい。そ

8 ①詩二四・三、四、②ヘブ一二・一四
9 ①ロマ八・一四、既マタ五・四五、ルカ六・三五
10 ①Ⅰペテ三・一四、②マタ五・一一、一九・一四、二三・三四、ルカ六・二二、三三、マコ一〇・一四
11 ①Ⅰペテ四・一四
12 ①Ⅱ歴三六・一六、マタ三・七、使七・五二、Ⅰテサ二・一五、ヤコ五・一〇、既ヘブ一一・三二以下
13 ①マコ九・五〇、ルカ一四・三四、三五
14 ①既ヨハ八・一二
15 ①マコ四・二一、ルカ八・一六、一一・三三
＊別訳「家にあるすべてのもの」
16 ①既Ⅰペテ二・一二、②個マタ九・八
18 ①ルカ一六・一七、既マタ二四・三五
21 ①出二〇・一三、申五・一七
22 ①既申一六・一八、Ⅱ歴一九・五、六、②既申一六・一八、Ⅱ歴一九・五、六、③既マタ五・二二、三、四、三
＊異本に「理由なくして」の句を挿入するものがある
＊＊原語「ラカ」(アラム語)
①マタ一〇・一六、一九、マコ三・九、一四、一五、一六、ルカ三・六、ヨハ一一・四七、使四・一五、二一、六・三、一〇・三、一一、一二・一七、③マタ五・二九、三〇、一八・八、九、三四、三五、既以下マコ九・四三以下、ルカ一三・二八、ヤコ三・六

れから、来て、その供え物をささげなさい。
25 あなたを告訴する者とは、あなたが彼といっしょに途中にある間に早く仲良くなりなさい。そうでないと、告訴する者は、あなたを裁判官に引き渡し、裁判官は下役に引き渡して、あなたはついに牢に入れられることになります。
26 まことに、あなたに告げます。あなたは最後の一コドラントを支払うまでは、そこから出ては来られません。
27 『姦淫してはならない。』と言われたのを、あなたがたは聞いています。
28 しかし、わたしはあなたがたに言います。だれでも情欲をいだいて女を見る者は、すでに心の中で姦淫を犯したのです。
29 もし、右の目が、あなたをつまずかせるなら、えぐり出して、捨ててしまいなさい。からだの一部を失っても、からだ全体がゲヘナに投げ込まれるよりは、よいからです。
30 もし、右の手があなたをつまずかせるなら、切って、捨ててしまいなさい。からだの一部を失っても、からだ全体がゲヘナに落ちるよりは、よいからです。
31 また『だれでも、妻を離別する者は、妻に離婚状を与えよ。』と言われています。
32 しかし、わたしはあなたがたに言います。だれであっても、不貞以外の理由で妻を離別する者は、妻に姦淫を犯させるのです。また、だれでも、離別された女と結婚すれば、姦淫を犯すのです。
33 さらにまた、昔の人々に、『偽りの誓いを立ててはならない。あなたの誓ったことを主に果たせ。』と言われていたのを、あなたがたは聞いています。
34 しかし、わたしはあなたがたに言います。決して誓ってはいけません。すなわち、天をさして誓ってはいけません。そこは神の御座だからです。
35 地をさして誓ってもいけません。そこは神の足台だからです。エルサレムをさして誓ってもいけません。そこは偉大な王の都だからです。
36 あなたの頭をさして誓ってもいけません。あなたは、一本の髪の毛すら、白くも黒くもできないからです。
37 だから、あなたがたは、『はい。』は『はい。』、『いいえ。』は『いいえ。』とだけ言いなさい。それ以上のことは悪いことです。
38 『目には目で、歯には歯で。』と言われたのを、あなたがたは聞いています。
39 しかし、わたしはあなたがたに言います。悪い者に手向かってはいけません。あなたの右の頬を打つような者には、左の頬も向けなさい。
40 あなたを告訴して下着を取ろうとする者には、上着もやりなさい。
41 あなたに一ミリオン行けと強いるような者とは、いっしょに二ミリオン行きなさい。
42 求める者には与え、借りようとする者は断わらない

25 ①ルカ十二・英
26 *一コドラント(二レプタ)は一デナリの六四分の一
27 ①出二〇・一四、申五・一八 ②関マタ五・二一、三三、三八、四三
29 ①マタ一八・八、マコ九・四三、四七 ②関マタ一七・三 *あるいは「罪を犯させる」 ③関マタ五・三
30 ①マタ一八・八、マコ九・四三 ②関マタ五・三
31 ①申二四・一、三 *直訳「追い出す」
32 ①マタ一九・九、マコ一〇・一一、一二、ルカ一六・一八、関Ⅰコリ七・一〇、一一
33 ①レビ一九・一二、民三〇・三、申二三・二一 *別訳「誓いを破って」 ②関マタ五・二一、三三、三五、四三、二六以下
34 ①ヤコ五・一二、②マタ二三・二二
35 ①イザ六六・一 ②詩四八・三
37 *別訳「『はい。』あるいは、『いいえ。』とだけ言いなさい」 ①マタ六・一三、関マタ一二・一九、三八、ヨハ七・一二、Ⅱテサ三・三、Ⅰヨハ二・一三、一四、三・一二、五・一八、一九 **あるいは「悪い者から出るのです」
38 ①出二一・二四、レビ二四・二〇、申一九・二一、②マタ五・三九、三九、四二
39 ①マタ五・英九四、ルカ六・二九、三〇、関Ⅰコリ六・七
41 *一ミリオンは約一五〇〇メートル
42 ①ルカ六・三四、三五

ようにしなさい。
43 ①『自分の隣人を愛し、自分の敵を憎め。』と言われたのを、あなたがたは聞いています。
44 しかし、わたしはあなたがたに言います。①自分の敵を愛し、迫害する者のために祈りなさい。
45 それでこそ、天におられるあなたがたの父の子どもになれるのです。*天の父は、悪い人にも良い人にも太陽を上らせ、正しい人にも正しくない人にも雨を降らせてくださるからです。
46 ①自分を愛してくれる者を愛したからといって、何の報いが受けられるでしょう。取税人でも、同じことをしているではありませんか。
47 また、自分の兄弟にだけあいさつしたからといって、どれだけまさったことをしたのでしょう。異邦人でも同じことをするではありませんか。
48 だから、あなたがたは、天の父が完全なように、完全でありなさい。

6

1 ①人に見せるために人前で善行をしないように気をつけなさい。そうでないと、天におられるあなたがたの父から、報いが受けられません。
2 だから、*施しをするときには、①人にほめられたくて会堂や通りで施しをする偽善者たちのように、自分の前でラッパを吹いてはいけません。②まことに、あなたがたに告げます。彼らはすでに自分の報いを受け取っているのです。
3 あなたは、施しをするとき、右の手のしていることを左の手に知られないようにしなさい。
4 あなたの施しが隠れているためです。そうすれば、①隠れた所で見ておられるあなたの父が、あなたに報いてくださいます。
5 また、祈るときには、偽善者たちのようであってはいけません。彼らは、①人に見られたくて*会堂や②通りの四つ角に立って祈るのが好きだからです。③まことに、あなたがたに告げます。彼らはすでに自分の報いを受け取っているのです。
6 あなたは、①祈るときには自分の奥まった部屋にはいりなさい。そして、戸をしめて、隠れた所におられるあなたの父に祈りなさい。そうすれば、②隠れた所で見ておられるあなたの父が、あなたに報いてくださいます。
7 また、祈るとき、異邦人のように同じことばを、ただくり返してはいけません。①彼らはことば数が多ければ聞かれると思っているのです。
8 だから、彼らのまねをしてはいけません。①あなたがたの父なる神は、あなたがたがお願いする先に、あなたがたに必要なものを知っておられるからです。
9 だから、こう祈りなさい。
『天にいます私たちの父よ。
御名があがめられますように。
10 ①御国が来ますように。
みこころが天で行なわれるように地でも行なわれ

43 ①レビ一九・一八、②マタ五・二一、二七、三三、六八
44 ①ルカ六・二七、二八、旧ルカ二三・三四、使七・六〇
45 ①参マタ五・九 *直訳「彼」
46 ①ルカ六・三二
48 ①旧レビ一九・二
1 ①マタ六・二、五、三三・五
2 *あるいは「慈善の行為」 ①マタ六・五、一六、二三・五 ②マタ六・五、一六、旧ルカ六・二四
4 ①マタ六・六、一八
5 ①マタ六・二、一六 *直訳「明らかになるために」 ②マコ一一・二五、ルカ六・一二、一三、③マタ六・二、一六、旧ルカ六・二四
6 ①旧イザ二六・二〇、②マタ六・四、六
7 ①旧Ⅰ列一八・二六、二七
8 ①旧マタ六・三二
9 ①マタ六・九―一三、ルカ一一・二―四
10 ①旧マタ三・二

ますように。
11 私たちの[*]日ごとの糧[1]をきょうもお与えください。
12 私たちの負いめをお赦しください。
私たちも、私たちに負いめのある人たちを赦しました。
13 私たちを試みに会わせないで、悪[11米]からお救いください。』〔国と力と栄えは、とこしえにあなたのものだからです。アーメン。〕
14[1] もし人の罪を赦すなら、あなたがたの天の父もあなたがたを赦してくださいます。
15 しかし、人を赦さないなら、あなたがたの父もあなたがたの罪をお赦しになりません。
16[1] 断食するときには、偽善者たちのようにやつれた顔つきをしてはいけません。彼らは、断食していることが人に見えるようにと、その顔をやつすのです。まことに、あなたがたに告げます。彼らはすでに自分の報いを受け取っているのです。
17 しかし、あなたが断食するときには、自分の頭に油を塗り、顔を洗いなさい。
18 それは、断食していることが、人には見られないで、隠れた所におられるあなたの父に見られるためです。そうすれば、[11]隠れた所で見ておられるあなたの父が報いてくださいます。
19 自分の宝を地上にたくわえるのはやめなさい。そこでは虫とさびで、きず物になり、また盗人が穴をあけて盗みます。
20[1] 自分の宝は、天にたくわえなさい。そこでは、虫もさびもつかず、盗人が穴をあけて盗むこともありません。
21[1] あなたの宝のあるところに、あなたの心もあるからです。
22[1] からだのあかりは目です。それで、もしあなたの目が[*]健全なら、あなたの全身が明るいが、
23[1] もし、目が悪ければ、あなたの全身が暗いでしょう。それなら、もしあなたのうちの光が暗ければ、その暗さはどんなでしょう。
24[1] だれも、ふたりの主人に仕えることはできません。一方を憎んで他方を愛したり、一方を重んじて他方を軽んじたりするからです。あなたがたは、神にも仕え、また富にも仕えるということはできません。
25[1] だから、わたしはあなたがたに言います。自分のいのちのことで、何を食べようか、何を飲もうかと心配したり、また、からだのことで、何を着ようかと心配[2米]したりしてはいけません。いのちは食べ物よりたいせつなもの、からだは着物よりたいせつなものではありませんか。
26[1] 空の鳥を見なさい。種蒔きもせず、刈り入れもせず、倉に納めることもしません。けれども、あなたがたの天の父がこれを養っていてくださるのです。あなたがたは、鳥よりも、もっとすぐれたものではありませんか。
27 あなたがたのうちだれが、[1]心配したからといって、

11 ①箴三・八
* 別訳「あすのための糧」あるいは「必要な糧」
12 * あるいは「罪」
13 ①マタ五・三七
* あるいは「悪い者」
** 最古の写本ではこの句は欠けている
14 ①マタ六・一四、一五、マコ一一・二五、二六、Ⅱ歴マタ六・二三
15 ①Ⅱ歴マタ六・三
② マタ六・二
16 ①Ⅱ歴マタ六・四
18 ①マタ六・四、六
20 ①マタ九・二一、ルカ一二・三三
Ⅱ テモ六・一九
21 ①ルカ一二・三四
22 ①マタ六・二三、ルカ一一・三四、三五
* あるいは「明らか」「澄んでいる」
23 ①Ⅱ歴マタ二〇・二
24 ①ルカ一六・一三、②ルカ一六・九、一三
* アラム語「マモン」
25 ①マタ六・二五、ルカ一二・二二、三三、②マタ六・七、六二〇、三四、ルカ一二・二二、Ⅱ歴ルカ一〇・四一、ピリ四・六、Ⅰペテ五・七
* あるいは「心配することはやめなさい」
26 ①マタ一〇・二九以下
* 直訳「天」
27 ①マタ六・二五

自分のいのち[2]*を少しでも延ばすことができますか。
28 なぜ着物のことで心配するのですか。[11]野のゆりがどうして育つのか、よくわきまえなさい。働きもせず、紡ぎもしません。
29 しかし、わたしはあなたがたに言います。栄華[11]を窮めたソロモンでさえ、このような花の一つほどにも着飾ってはいませんでした。
30 きょうあっても、あすは炉に投げ込まれる野の草さえ、神はこれほどに装ってくださるのだから、ましてあなたがたに、よくしてくださらないわけがありましょうか。[11]信仰の薄い人たち。
31 そういうわけだから、何を食べるか、何を飲むか、何を着るか、などと言って心配するのはやめなさい。
32 こういうものはみな、異邦人が切に求めているものなのです。しかし、あなたがたの天の父は、それがみなあなたがたに必要であることを知っておられます。
33 だから、神の国とその義とをまず第一[11]に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。
34 だから、あすのための心配は無用です。あすのことはあすが心配します。労苦はその日その日に、十分あります。

7

1 [11]さばいてはいけません。さばかれないためです。
2 あなたがたがさばくとおりに、あなたがたもさばかれ、あなたがたが量るとおりに、あなたがたも量られるからです。
3 また、なぜあなたは、兄弟の目の中のちりに目をつけるが、自分の目の中の梁には気がつかないのですか。
4 兄弟に向かって、『あなたの目のちりを取らせてください。』などとどうして言うのですか。見なさい、自分の目には梁があるではありませんか。
5 偽善者たち。まず自分の目から梁を取りのけなさい。そうすれば、はっきり見えて、兄弟の目からも、ちりを取り除くことができます。
6 聖なるものを犬に与えてはいけません。また豚の前に、真珠を投げてはなりません。それを足で踏みにじり、向き直ってあなたがたを引き裂くでしょうから。
7 [11]求めなさい。そうすれば与えられます。捜しなさい。そうすれば見つかります。[**]たたきなさい。そうすれば開かれます。
8 だれであれ、求める者は受け、捜す者は見つけ出し、たたく者には開かれます。
9 あなたがたも、自分の子がパンを下さいと言うときに、だれが石を与えるでしょう。
10 また、子が魚を下さいと言うのに、だれが蛇を与えるでしょう。
11 してみると、あなたがたは、悪い者ではあっても、自分の子どもには良い物を与えることを知っているのです。とすれば、なおのこと、天におられるあなたがたの父が、どうして、求める者たちに良いものを下さらないことがありましょう。

---

27 ②既詩元・五
* 別訳「身長」
** 直訳「一ペーキュス」—四五センチ
28 ①マタ六・二五・三一・三二㊟ ルカ一二・二二、三、既ルカ一二・二四、ピリ四・六、Ⅰペテ五・七
29 ①Ⅰ列一〇・四㊟七
30 ①マタ八・二六、㊟四・三一・六・八
31 ①マタ六・二五・三一・三二㊟ ルカ一二・二二、三、既ルカ一二・二四、ピリ四・六、Ⅰペテ五・七
32 ①既マタ六・八
33 * あるいは「神の」
** あるいは「求め続けなさい」
①既マタ六・二六、マコ一〇・三九、三、ルカ六・二九、三、Ⅰテモ四・八
*** あるいは「備えられます」
34 ①マタ六・二五、三四、三八㊟ ルカ一二・二二、三、既ルカ一二・二四、ピリ四・六、Ⅰペテ五・七
1 ①マタ七・二、ルカ六・三七、既一二・二
2 ①マコ四・二四、ルカ六・三八
* 直訳「あなたがたが量る量りによって」
7 ①マタ七・七―一一、ルカ一一・九―一三、②マタ六・六、三・三ヨハ一四・一三、一五・七、一六・二三、三四、ヤコ一・五、六、Ⅰヨハ三・二二、既マコ一一・二四
* あるいは「求め続けなさい」
** あるいは「捜し続けなさい」
*** あるいは「たたき続けなさい」

12 それで、[1]何事でも、自分にしてもらいたいことは、ほかの人にもそのようにしなさい。[2]これが律法であり預言者です。

13 [1]狭い門からはいりなさい。滅びに至る門は大きく、その道は広いからです。そして、そこからはいって行く者が多いのです。

14 いのちに至る門は小さく、その道は狭く、それを見いだす者はまれです。

15 [1]にせ預言者たちに気をつけなさい。彼らは羊のなりをしてやって来るが、うちは[2]貪欲な狼です。

16 あなたがたは、実によって彼らを見分けることができます。ぶどうは、いばらからは取れないし、いちじくは、あざみから取れるわけがないでしょう。

17 同様に、良い木はみな良い実を結ぶが、悪い木は悪い実を結びます。

18 良い木が悪い実をならせることはできないし、また、悪い木が良い実をならせることもできません。

19 [1]良い実を結ばない木は、みな切り倒されて、火に投げ込まれます。

20 こういうわけで、あなたがたは、実によって彼らを見分けることができるのです。

21 わたしに向かって、『主よ、主よ。』と言う者がみな天の御国にはいるのではなく、天におられるわたしの父のみこころを行なう者がはいるのです。

22 [1][2]その日には、大ぜいの者がわたしに言うでしょう。『主よ、主よ。私はあなたの名によって預言をし、あなたの名によって悪霊を追い出し、あなたの名によって*奇蹟をたくさん行なったではありませんか。』

23 しかし、その時、わたしは彼らにこう宣告します。『わたしはあなたがたを全然知らない。[1]不法をなす者ども。わたしから離れて行け。』

24 [1]だから、わたしのこれらのことばを聞いてそれを行なう者はみな、岩の上に自分の家を建てた賢い人に比べることができます。

25 雨が降って洪水が押し寄せ、風が吹いてその家に打ちつけたが、それでも倒れませんでした。岩の上に建てられていたからです。

26 また、わたしのこれらのことばを聞いてそれを行なわない者はみな、砂の上に自分の家を建てた愚かな人に比べることができます。

27 雨が降って洪水が押し寄せ、風が吹いてその家に打ちつけると、倒れてしまいました。しかもそれはひどい倒れ方でした。」

28 [1]イエスがこれらのことばを語り終えられると、[2]群衆はその教えに驚いた。

29 というのは、イエスが、律法学者たちのようにではなく、権威ある者のように教えられたからである。

8

1 イエスが山から降りて来られると、多くの群衆がイエスに従った。

2 [1]すると、ひとりのらい病人がみもとに来て、ひれ伏して言った。「主よ。お心一つで、私をきよめることがおできになります。」

12 ①ルカ六・三一
＊あるいは「あなたがたもそのようにしなさい」
②マタ三・九、同ガラ五・一四、ロマ一三・八以下
13 ①ルカ一三・二四
15 ①マタ二四・一一、二四、マコ一三・二二、ルカ六・二六、使一三・六、Ⅱペテ二・一、Ⅰヨハ四・一
黙二〇・一〇、②エゼ二二・二七、使二〇・二九
16 ①マタセ・一九、三・一〇、七・一七、一二・三三、ルカ六・四四、同ヤコ三・一二
19 ①マタ三・一〇、同ルカ三・七
20 ①マタセ・一六、三・一〇、ルカ六・四四、同ヤコ三・一二
22 ①同マタ二五・一二、ルカ一三・二五以下、②マタ一〇・一五
＊あるいは「力あるわざ」
23 ①マタ二五・四一、ルカ一三・二七
同詩六・八
24 ①マタセ・二四一七、ルカ六・四七一四九、同ヤコ一・二二
28 ①マタ二・一、三・五、九・一、二六・一、②マタ二・一三、八・二八、ルカ四・三三、同ヨハ七・四六
2 ①マタ八・四、マコ一・四四、ルカ五・一四、②マタ九・一八、二五・二六、二八・二九、三・一〇、使一〇・二五、同ヨハ九・三八
＊あるいは「拝んで」

3 イエスは手を伸ばして、彼にさわり、「わたしの心だ。きよくなれ。」と言われた。すると、すぐに彼のらい病はきよめられた。
4 イエスは彼に言われた。「気をつけて、だれにも話さないようにしなさい。ただ、人々へのあかしのために、行って、自分を祭司に見せなさい。そして、モーセの命じた供え物をささげなさい。」
5 イエスがカペナウムにはいられると、ひとりの百人隊長がみもとに来て、懇願して、
6 言った。「主よ。私のしもべ*が中風やみで、家に寝ていて、ひどく苦しんでおります。」
7 イエスは彼に言われた。「行って、直してあげよう。」
8 しかし、百人隊長は答えて言った。「主よ。あなたに私の屋根の下まで来ていただく資格は、私にはありません。ただ、おことばをいただかせてください。そうすれば、私のしもべ**は直りますから。
9 と申しますのは、私も権威の下にある者ですが、私自身の下にも兵士たちがいまして、そのひとりに『行け。』と言えば行きますし、別の者に『来い。』と言えば来ます。また、しもべに『これをせよ。』と言えば、そのとおりにいたします。」
10 イエスは、これを聞いて驚かれ、ついて来た人たちにこう言われた。「まことに、あなたがたに告げます。*わたしはイスラエルのうちのだれにも、このような信仰を見たことがありません。
11 あなたがたに言いますが、たくさんの人が東からも西からも来て、天の御国で、アブラハム、イサク、ヤコブといっしょに食卓に着きます。
12 しかし、御国の子らは外の暗やみに放り出され、そこで泣いて歯ぎしりするのです。」
13 それから、イエスは百人隊長に言われた。「さあ行きなさい。あなたの信じたとおりになるように。」すると、ちょうどその時、そのしもべはいやされた。
14 それから、イエスは、ペテロの家に来られて、ペテロのしゅうとめが熱病で床に着いているのをご覧になった。
15 イエスが手にさわられると、熱がひき、彼女は起きてイエスをもてなした。
16 夕方になると、人々は悪霊につかれた者を大ぜい、みもとに連れて来た。そこで、イエスはみことばをもって霊どもを追い出し、また病気の人々をみな直しになった。
17 これは、預言者イザヤを通して言われた事が成就するためであった。「彼が私たちのわずらいを身に引き受け、私たちの病を背負った。」
18 さて、イエスは群衆が自分の回りにいるのをご覧になると、向こう岸に行くための用意をお命じになった。
19 そこに、ひとりの律法学者が来てこう言った。「先生。私はあなたのおいでになる所なら、どこにでもついてまいります。」
20 すると、イエスは彼に言われた。「狐には穴があり、

4 ①マタ九・三〇、二・一六、七・九
マコ一・四四、三・二五、四三、七・三六、八・二六、九・九、ルカ四・四一、八・五六、九・二一、②マコ一・四四、ルカ五・一四、七・一四、③レビ一三・四九、一四・二以下
5 ①マタ八・五一三、ルカ七・一〇
6 * 直訳「子(若者)」
①㊟マタ四・二四
8 * 直訳「一言だけおっしゃってください」
** 直訳「子(若者)」
10 * 異本「イスラエルのうちにさえ、このような……」
11 ①ルカ一三・二九、明イザ四九・一二、五九・一九、マラ一・一一
* あるいは「食事をします」
12 ①㊟マタ一三・五〇、②マタ二二・一三、二五・三〇、③マタ二四・五一、ルカ一三・二八
13 ①マタ八・六、㊟マタ九・二二
* 直訳「子(若者)」
14 ①マタ八・一四―一六、マコ一・二九―三四、ルカ四・三八―四一
15 * あるいは「イエスに仕えた」
16 ①㊟マタ四・二四、八・三二
②㊟マタ八・三
17 ①イザ五三・四
* あるいは「取り去った」
18 ①マコ四・三五、ルカ八・二二
* 「用意を」は補足
19 ①マタ八・一九―二二、ルカ九・五七―六二

空の鳥には巣があるが、人の子には枕する所もありません。」

21 また、別のひとりの弟子がイエスにこう言った。「主よ。まず行って、私の父を葬ることを許してください。」

22 ところが、イエスは彼に言われた。「わたしについて来なさい。死人たちに彼らの中の死人たちを葬らせなさい。」

23 イエスが舟にお乗りになると、弟子たちも従った。

24 すると、見よ、湖に大暴風が起こって、舟は大波をかぶった。ところが、イエスは眠っておられた。

25 弟子たちはイエスのみもとに来て、イエスを起こして言った。「主よ。助けてください。私たちはおぼれそうです。」

26 イエスは言われた。「なぜこわがるのか、信仰の薄い者たちだ。」それから、起き上がって、風と湖をしかりつけられると、大なぎになった。

27 人々は驚いてこう言った。「風や湖までが言うことをきくとは、いったいこの方はどういう方なのだろう。」

28 それから、向こう岸のガダラ人の地にお着きになると、悪霊につかれた人がふたり墓から出て来て、イエスに出会った。彼らはひどく狂暴で、だれもその道を通れないほどであった。

29 すると、見よ、彼らはわめいて言った。「神の子よ。いったい私たちに何をしようというのです。まだその時ではないのに、もう私たちを苦しめに来られたのですか。」

30 ところで、そこからずっと離れた所に、たくさんの豚の群れが飼ってあった。

31 それで、悪霊どもはイエスに願ってこう言った。「もし私たちを追い出そうとされるのでしたら、どうか豚の群れの中にやってください。」

32 イエスは彼らに「行け。」と言われた。すると、彼らは出て行って豚にはいった。すると、見よ、その群れ全体がどっとがけから湖へ駆け降りて行って、水におぼれて死んだ。

33 飼っていた者たちは逃げ出して町に行き、悪霊につかれた人たちのことなどを残らず知らせた。

34 すると、見よ、町中の者がイエスに会いに出て来た。そして、イエスに会うと、どうかこの地方を立ち去ってくださいと願った。

9

1 イエスは舟に乗って湖を渡り、自分の町に帰られた。

2 すると、人々が中風の人を床に寝かせたままで、みもとに運んで来た。イエスは彼らの信仰を見て、中風の人に、「子よ。しっかりしなさい。あなたの罪は赦された。」と言われた。

3 すると、律法学者たちは、心の中で、「この人は神をけがしている。」と言った。

4 イエスは彼らの心の思いを知って言われた。「なぜ、心の中で悪いことを考えているのか。

5 『あなたの罪は赦された。』と言うのと、『起きて歩

---

20 * 直訳「ねぐら」
① 非常に多くの個所に出てくる。たとえば、マタ九・六、一三・八、二三・四、二四・一七、二六・二、三七、二八・一九、二六・二八、使二・三七、ルカ二・八、八・八、二・三六、ヨハ二・五、一二・三、一三・二四、六・三七、二・三四、使七・五六、Ⅱペテ二・三

22 ① マタ九・九、マコ二・一四
ルカ五・二七、ヨハ一・四三、二一・一九

23 ① マタ八・三三、一七、マコ四・三六、ルカ八・三一、三五

24 * 直訳「震動」

26 ① マタ六・三〇、一四・三一、一六・八
28 ① マタ八・二八、四、マコ五・一、一七
ルカ八・二六、三七、② 関マタ四・二四

29 ① 士一一・一二、Ⅱサム一六・一〇、一九・二二、Ⅰ列一七・一八、Ⅱ列三・一三、Ⅱ歴三五・二一、マコ一・二四、五・七、ルカ四・三四、八・二八、ヨハ二・四

33 ① 関マタ四・二四

1 ① マタ四・一三
2 ① マタ九・二、八、マコ二・三
ルカ五・一八、二〇、② 関マタ四・二四、九・六、③ マタ九・三、一四、一七
マコ六・五、関マコ一〇・四九
ヨハ八・三、使三・一一
④ マコ二・五、九、ルカ五・二〇、三、七・四八
* 直訳「赦されている」

4 ① マタ三・七、ルカ六・八、九・四七

5 ① マコ二・五、九、ルカ五・二〇、三、七・四八
* 直訳「赦されている」

け。』と言うのと、どちらがやさしいか。
6 人の子が地上で罪を赦す権威を持っていることを、
あなたがたに知らせるために。」こう言って、それから
中風の人に、「起きなさい。寝床をたたんで、家に帰り
なさい。」と言われた。
7 すると、彼は起きて家に帰った。
8 群衆はそれを見て恐ろしくなり、こんな権威を人に
お与えになった神をあがめた。
9 イエスは、そこを去って道を通りながら、収税所
にすわっているマタイという人をご覧になって、「わ
たしについて来なさい。」と言われた。すると彼は立ち
上がって、イエスに従った。
10 イエスが家で食事の席に着いておられるとき、見
よ、取税人や罪人が大ぜい来て、イエスやその弟子た
ちといっしょに食卓に着いていた。
11 すると、これを見たパリサイ人たちが、イエスの弟
子たちに言った。「なぜ、あなたがたの先生は、取税人
や罪人といっしょに食事をするのですか。」
12 イエスはこれを聞いて言われた。「医者を必要とす
るのは丈夫な者ではなく、病人です。
13 『わたしはあわれみは好むが、犠牲は好まない。』と
はどういう意味か、行って学んで来なさい。わたしは
正しい人を招くためではなく、罪人を招くためにきた
のです。」
14 するとまた、ヨハネの弟子たちが、イエスのところ
に来てこう言った。「私たちとパリサイ人は断食す
るのに、なぜ、あなたの弟子たちは断食しないのです
か。」
15 イエスは彼らに言われた。「*花婿のつき添い人たち
は、花婿がいっしょにいる間は、どうして悲しんだり
できましょう。しかし、花婿が取り去られる時が来ま
す。そのときには断食します。
16 だれも、真新しい布切れで古い着物の継ぎをするよ
うなことはしません。そんな継ぎ切れは着物を引き破
って、破れがもっとひどくなるからです。
17 また、人は新しいぶどう酒を古い皮袋に入れるよう
なことはしません。そんなことをすれば、皮袋は裂け
て、ぶどう酒が流れ出てしまい、皮袋もだめになって
しまいます。新しいぶどう酒を新しい皮袋に入れれ
ば、両方とも保ちます。」
18 イエスがこれらのことを話しておられると、見よ、
ひとりの*会堂管理者が来て、ひれ伏して言った。「私の
娘がいま死にました。でも、おいでくださって、娘の
上に御手を置いてやってください。そうすれば娘は生
き返ります。」
19 イエスが立って彼について行かれると、弟子たちも
ついて行った。
20 すると、見よ。十二年の間長血をわずらっている女
が、イエスのうしろに来て、その着物のふさにさわっ
た。
21 「お着物にさわることでもできれば、きっと直る。」
と心のうちで考えていたからである。

6 ①脚マタ八・三。②脚マタ四・二四・九・二
8 ①マタ五・一六・二五・三一、マコ二・一二、ルカ二・二〇、五・二五、七・一六、一七、二三、一七・一五、使四・二一、一六、ヨハ五・八、使四・二一、一六、二二、二三、Ⅱコリ九・一三、ガラ一・二四
9 ①マタ九・九―一七、マコ二・一四―三、ルカ五・二七―三二 ②マタ一〇・三、マコ三・一八、ルカ六・一五、使一・一三、既マコ三・一四、③脚マタ八・二二
11 ①マタ一一・一九、マコ二・一六、ルカ五・三〇、一五・二
12 ①マコ二・一七、ルカ五・三一
13 ①ホセ六・六 *あるいは「わたしは犠牲よりもあわれみを好む」 ②マタ三・七、③マコ二・一七、ルカ五・三二、既Ⅰテモ一・一五
14 ①ルカ一八・一二
15 *直訳「婚礼の式場の子たち」
16 *直訳「上に置かれるもの」 **直訳「欠けを満たすもの」
18 ①マタ九・二六―三一、マコ五・三七―四三、ルカ八・四九―五六 *直訳「管理者」 ②脚マタ八・二 **あるいは「拝んで」
20 ①民一五・三八、申二二・一二 マタ一四・三六、二三・五
21 ①脚マタ一四・三六、マコ三・一〇、ルカ六・一九 *直訳「救われる」

22 イエスは、振り向いて彼女を見て言われた。「娘よ。
[1][2] しっかりしなさい。あなたの信仰があなたを直したのです。」すると、女はその時から全く直った。
23 イエスはその管理者の家に来られて、笛吹く者たちや騒いでいる群衆を見て、
24 言われた。「あちらに行きなさい。[1]*その子は死んだのではない。眠っているのです。」すると、彼らはイエスをあざ笑った。
25 イエスは群衆を外に出してから、うちにおはいりになり、少女の手を取られた。すると少女は起き上がった。
[1]
26 このうわさはその地方全体に広まった。
27 イエスがそこを出て、道を通って行かれると、ふたりの盲人が大声で、「ダビデの子よ。私たちをあわれんでください。」と叫びながらついて来た。
28 家にはいられると、その盲人たちはみもとにやって来た。「わたしにそんなことができると信じるのか。」と言われると、彼らは「そうです。主よ。」と言った。
29 そこで、イエスは彼らの目にさわって、「[1]あなたがたの信仰のとおりになれ。」と言われた。
30 すると、彼らの目があいた。[1]イエスは彼らをきびしく戒めて、「決してだれにも知られないように気をつけなさい。」と言われた。
31 ところが、彼らは出て行って、イエスのことをその地方全体に言いふらした。
32 この人たちが出て行くと、見よ、[1]悪霊につかれたおしが、みもとに連れて来られた。
[2]
33 悪霊が追い出されると、そのおしはものを言った。群衆は驚いて、「こんなことは、イスラエルでいまだかつて見たことがない。」と言った。
34 しかし、パリサイ人たちは、「彼は[1]悪霊どものかしらを使って、悪霊どもを追い出しているのだ。」と言った。
35 それから、イエスは、すべての町や村を巡って、[1]会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、あらゆる種類の病気、あらゆる種類のわずらいを直された。
36 また、群衆を見て、[1]深い同情を寄せられた。[2]羊飼いのない羊のように弱り果てて倒れている彼らをかわいそうに思われた。
37 そのとき、弟子たちに言われた。「[1]収穫は多いが、働き手が少ない。
38 だから、収穫の主に、収穫のために働き手を送ってくださるように祈りなさい。」

10

1 イエスは十二弟子を呼び寄せて、汚れた霊どもを制する権威をお授けになった。霊どもを追い出し、[2]あらゆる病苦、病弱を直すためであった。
2 さて、十二使徒の名は次のとおりである。[2]まず、ペテロと呼ばれるシモンとその兄弟アンデレ、ゼベダイの子ヤコブとその兄弟ヨハネ、
3 [1]ピリポと[*]バルトロマイ、トマスと取税人マタイ、アルパヨの子ヤコブと[4]ダダイ、
4 熱心党員シモンとイエスを裏切ったイスカリオテ・

---

1 ①マコ三・二〇、六・七
②既マタ九・三五
2 ①既マタ八・三四、ルカ九・一
②既マコ一・二一、三・一
③マコ三・六、使一・一三
④マタ四・二一、六、使一・一三
⑤マタ四・一八
3 ①既ヨハ一・四四以下
*すなわち「タルマイの子」
②ヨハ一四・二二、使一・一三
③マタ九・九、④マコ三・一八
⑤マコ三・一八、既ルカ六・一六
4 ①ルカ三・一九、ヨハ六・七一、一三・二六、既マタ二六・二四

22 ①既マタ九・二、②マコ五・二四、一〇・五二、ルカ七・五〇、八・四八、一七・一九、一八・四二、既マタ九・二九、一五・二八
*直訳「救った」
23 ①既Ⅱ歴三五・二五、エレ九・一七、一八・六、エゼ二四・一七、既使二〇・一〇
24 ①ヨハ一一・一三、既使二〇・一〇
*直訳「少女」
26 ①マタ九・三一、四四、マコ一・二八、四五、ルカ四・一四、五・一五、七・一七
27 ①マタ二〇・三〇、三一、三二、二一・九、三等
29 ①既マタ九・二九、八・一三
30 ①既マタ八・四、四四、一二・一六、一七・九、マコ一・二八、四五、ルカ四・一四、五・一五、七・一七
32 ①既マタ四・二四、②既マタ八・一六、一二・二二
33 ①マコ三・二二
34 ①マタ一二・二四、マコ三・二二、ルカ一一・一五、既ヨハ七・二〇、八・四八、一〇・二一
35 ①既マタ四・二三、②既マタ四・一七、九・三五、マコ一・三九
36 ①既マタ九・三六、マコ六・三四、民二七・一七、エゼ三四・五、ゼカ一〇・二
*あるいは「苦しめられて」
37 ①ルカ一〇・二

ユダである。
5 イエスは、この十二人を遣わし、そのとき彼らにこう命じられた。「異邦人の道に行ってはいけません。サマリヤ人の町にはいってはいけません。
6 イスラエルの家の滅びた羊のところに行きなさい。
7 行って、『天の御国が近づいた。』と宣べ伝えなさい。
8 病人を直し、死人を生き返らせ、らい病人をきよめ、悪霊を追い出しなさい。あなたがたは、ただで受けたのだから、ただで与えなさい。
9 胴巻に金貨や銀貨や銅貨を入れてはいけません。
10 旅行用の袋も、二枚目の下着も、くつも、杖も持たずに行きなさい。働く者が食べ物を与えられるのは当然だからです。
11 どんな町や村にはいっても、そこでだれが適当な人かを調べて、そこを立ち去るまで、その人のところにとどまりなさい。
12 その家にはいるときには、平安を祈るあいさつをしなさい。
13 その家がそれにふさわしい家なら、その平安はきっとその家に来るし、もし、ふさわしい家でないなら、その平安はあなたがたのところに返って来ます。
14 もしだれも、あなたがたを受け入れず、あなたがたのことばに耳を傾けないなら、その家またはその町を出て行くときに、あなたがたの足のちりを払い落としなさい。
15 まことに、あなたがたに告げます。さばきの日には、ソドムとゴモラの地でも、その町よりはまだ罰が軽いのです。
16 いいですか。わたしが、あなたがたを遣わすのは、狼の中に羊を送り出すようなものです。ですから、蛇のようにさとく、鳩のようにすなおでありなさい。
17 人々には用心しなさい。彼らはあなたがたを議会に引き渡し、会堂でむち打ちますから。
18 また、あなたがたは、わたしのゆえに、長官たちや王たちの前に連れて行かれます。それは、彼らと異邦人たちにあかしをするためです。
19 人々があなたがたを引き渡したとき、どのように話そうか、何を話そうかと心配するには及びません。話すべきことは、そのとき示されるからです。
20 というのは、話すのはあなたがたではなく、あなたがたのうちにあって話されるあなたがたの父の御霊だからです。
21 兄弟は兄弟を死に渡し、父は子を死に渡し、子どもたちは両親に立ち逆らって、彼らを死なせます。
22 また、わたしの名のために、あなたがたはすべての人々に憎まれます。しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われます。
23 彼らがこの町であなたがたを迫害するなら、次の町にのがれなさい。というわけは、確かなことをあなたがたに告げるのですが、人の子が来るときまでに、あなたがたは決してイスラエルの町々を巡り尽くせないからです。

5 ①マコ六・七、ルカ九・二 ②Ⅱ列一七・二四以下、ルカ九・五二、一〇・三三、一七・一六、ヨハ四・九、三九、四〇、八・四八、使八・二五
6 ①マタ一五・二四
7 ①マタ三・二
* あるいは「宣言しなさい」
9 ①マタ一〇・九―一五、マコ六・八―一一、ルカ九・三―五、一〇・四―一二
10 ①Ⅰコリ九・一四、Ⅰテモ五・一八
11 ①Ⅰサム二五・六、詩一三・七・八
12 ①Ⅰサム二五・六、詩一三三・七・八
14 ①使一三・五一
15 ①マタ一一・二三、一二・三六、使一七・六、Ⅱペテ二・一〇、三・七 Ⅰヨハ四・一七、ユダ六、旧マタ一〇・一五、Ⅰテサ五・四、ヘブ一〇・三〇、二・二、Ⅱペテ二・四、Ⅱペテ二・六、ユダ七、③マタ一一・二三、二四
* 直訳「耐えやすい」
16 ①ルカ一〇・三、②創三・一 ③旧ホセ七・一一
17 ①参マタ五・二二
* あるいは「法廷」ギリシヤ語「サンヘドリン」
②マタ二三・三四、マコ一三・九
旧ルカ二一・一二
18 * 別訳「ユダヤ人にも異邦人にも」
19 ①マタ一〇・一九―二二、マコ一三・一一、ルカ一二・一一―一二
②旧マタ六・二五
20 ①ルカ一二・一二、旧使四・八、一三・九、Ⅱコリ一三・三
21 ①マタ一〇・三五、三六 ②ミカ七・六
22 ①マタ二四・九、旧ヨハ一五・一八以下、②マタ二四・一三
23 ①マタ二三・三四
* 直訳「ほかの」
②参マタ一六・二七・二八

24 1)*弟子はその師にまさらず、しもべはその主人にまさりません。
25 弟子がその師のようになれたら十分だし、しもべがその主人のようになれたら十分です。1)彼らは家長を*2)ベルゼブルと呼ぶぐらいですから、ましてその家族の者のことは、何と呼ぶでしょう。
26 だから、彼らを恐れてはいけません。2)おおわれているもので、現わされないものはなく、隠されているものも、知られずに済むものはありません。
27 1)わたしが暗やみであなたがたに話すことを明るみで言いなさい。また、あなたが耳もとで聞くことを屋上で言い広めなさい。
28 からだを殺しても、たましいを殺せない人たちなどを恐れてはなりません。1)そんなものより、たましいもからだも、ともにゲヘナで滅ぼすことのできる方を恐れなさい。
29 1)二羽の雀は一*アサリオンで売っているでしょう。しかし、そんな雀の一羽でも、あなたがたの父のお許しなしには地に落ちることはありません。
30 1)また、あなたがたの頭の毛さえも、みな数えられています。
31 だから恐れることはありません。1)あなたがたは、たくさんの雀よりもすぐれた者です。
32 ですから、わたしを人の前で認める者はみな、1)わたしも、天におられるわたしの父の前でその人を認めます。
33 1)しかし、人の前でわたしを知らないと言うような者なら、わたしも天におられるわたしの父の前で、そんな者は知らないと言います。
34 1)わたしが来たのは地に平和を*もたらすためだと思ってはなりません。わたしは、平和をもたらすために来たのではなく、剣をもたらすために来たのです。
35 1)なぜなら、わたしは人をその父に、娘をその母に、嫁をそのしゅうとめに逆らわせるために来たからです。
36 1)さらに、家族の者がその人の敵となります。
37 1)わたしよりも父や母を愛する者は、わたしにふさわしい者ではありません。また、わたしよりも息子や娘を愛する者は、わたしにふさわしい者ではありません。
38 1)十字架を負ってわたしについて来ない者は、わたしにふさわしい者ではありません。
39 1)自分のいのちを*自分のものとした者はそれを失い、わたしのために自分のいのちを失った者は、それを自分のものとします。
40 1)あなたがたを受け入れる者は、わたしを受け入れるのです。また、わたしを受け入れる者は、わたしを遣わした方を受け入れるのです。
41 預言者を預言者だというので受け入れる者は、預言者の受ける報いを受けます。また、義人を義人だということで受け入れる者は、義人の受ける報いを受けます。
42 1)わたしの弟子だというので、この*小さい者たちのひとりに、冷たい水一杯でも飲ませる者はだれでも、まことに、あなたがたに告げます。その人は決して報いからもれることはありません。

24 ①ルカ六40、ヨハ一三・一六、一五・二〇
＊あるいは「生徒」
25 ①出マタ一・二五、②Ⅱ列一・二、マタ一二・二七、マコ三・二二、ルカ一一・一五、一八・一九
＊あるいは「ベエゼブル」「ベルゼブブ」
26 ①マタ一〇・二六、ルカ一二・二、②マコ四・二二、ルカ八・一七、一二・二
27 ①ルカ一二・三、②出マタ一〇・二七
28 ①ヘブ一三・六、②マタ五・二二
29 ①出ルカ一二・六
＊＊直訳「父と無関係には」
＊最少単位の銅貨
30 ①ルカ二一・一八、出Ⅰサム一四・四五、Ⅱサム一四・一一、Ⅰ列一・五二、使二七・三四
31 ①出マタ一二・一二
32 ①黙三・五、出ルカ一二・八
33 ①Ⅱテモ二・一二、出マコ八・三八、ルカ九・二六
34 ①マタ一〇・三四、ルカ一二・五一
＊直訳「投ずる」
35 ①マタ一〇・二一、ミカ七・六
36 ①マタ一〇・二一、ミカ七・六
37 ①ルカ一四・二六
38 ①ルカ一四・二七、マコ八・三四
ルカ九・二三、一四・二七
39 ①マタ一六・二五、マコ八・三五、ルカ九・二四、一七・三三、ヨハ一二・二五
＊直訳「見いだします」
40 ①ルカ一〇・一六、出マタ一〇・四〇、ガラ四・一四
②マコ九・三七、ルカ九・四八、出ヨハ一三・二〇
42 ①マコ九・四一、出マタ三五・四〇
＊あるいは「へりくだった人たち」

とりに、水一杯でも飲ませるなら、まことに、あなたがたに告げます。その人は決して報いに漏れることはありません。」

11 1 [1]イエスはこのように十二弟子に注*意を与え、それを終えられると、[2]彼らの町々で教えたり*宣べ伝えたりするため、そこを立ち去られた。

2 さて、[1]獄中でキリストのみわざについて聞いたヨハネは、その弟子たちに託して、3 イエスにこう言い送った。「おいでになるはずの方は、あなたですか。それとも、私たちは別の方を待つべきでしょうか。」

4 イエスは答えて、彼らに言われた。「あなたがたは行って、自分たちの聞いたり見たりしていることをヨハネに報告しなさい。

5 [1]盲人が見、足なえが歩き、らい病人がきよめられ、つんぼの人が聞こえ、死人が生き返り、貧しい者には福音が宣べ伝えられているのです。

6 だれでも、わたしにつまずかない者は幸いです。」

7 この人たちが行ってしまうと、イエスは、ヨハネについて群衆に話しだされた。「あなたがたは、何を見に[1]荒野に出て行ったのですか。風に揺れる葦ですか。

8 でなかったら、何を見に行ったのですか。柔らかい着物を着た人ですか。柔らかい着物を着た人なら王の*宮殿にいます。

9 でなかったら、なぜ行ったのですか。[1]預言者を見るためですか。そのとおり。だが、わたしが言いましょう。預言者よりもすぐれた者をです。

10 この人こそ、

『[1]見よ、わたしは使いをあなたの前に遣わし、
あなたの道を、あなたの前に備えさせよう。』

と書かれているその人です。

11 まことに、あなたがたに告げます。女から生まれた者の中で、バプテスマのヨハネよりすぐれた人は出ませんでした。しかも、天の御国の一番小さい者でも、彼より偉大です。

12 バプテスマのヨハネの日以来今日まで、天の御国は激しく攻められています。そして、激しく攻める者たちがそれを奪い取っています。

13 ヨハネに至るまで、すべての預言者たちと律法とが預言をしたのです。

14 あなたがたが進んで受け入れるなら、実はこの人こそ、[1]きたるべきエリヤなのです。

15 [1]耳のある者は聞きなさい。

16 この時代は何にたとえたらよいでしょう。市場にすわっている子どもたちのようです。彼らは、ほかの子どもたちに呼びかけて、

17 こう言うのです。

『笛を吹いてやっても、君たちは踊らなかった。
弔いの歌を歌ってやっても、*悲しまなかった。』

18 ヨハネが来て、[1]食べも飲みもしないと、人々は『あれは悪霊につかれているのだ。』と言い、

1 ①⑬マタセ・六
* あるいは「命令し」
②⑭マタ九・三五
** あるいは「宣言したり」
2 ①マタ一一・二、ルカセ・一八、三五、②マタ四・二三、マコ六・七
⑭ルカ九・七以下
3 ①ヨハ六・一四、二七、七、ヘブ一〇・三七、⑭マタ一一・一〇、詩一八・二六
5 ①⑭イザ三五・五、六、六一
* あるいは「良い知らせ」
6 ①マタ一三・二一、三五、一四・二七、三一、マコ六・三、ヨハ六・六一、一六・一、⑭マタ五・三九
* あるいは「腹を立てない」
7 ①マタ三・一
8 * 直訳「家」
9 ①マタ一四・五、二一・二六、ルカ一・七六、二〇・六
10 ①マコ一・二、マラ三・一
12 ①ルカ一六・一六
13 ①ルカ一六・一六
14 ①マラ四・五、マタ一七・一〇、一三
マコ九・一一、一三、ルカ一・一七
ヨハ一・二一
15 ①マタ一三・九、四三、マコ四・九、二三
ルカ八・八、一四・三五、黙二・七、三
⑭黙二・七、一一、一七、二九、三、一三
17 * 直訳「胸を打たなかった」
18 ①マタ三・四、②ルカ一・一五
③ヨハセ・二〇、八・四八、四九、五二、一〇・二〇、⑭マタ九・三四

19 人の子が来て食べたり飲んだりしていると、『あれ
見よ。食いしんぼうの大酒飲み、取税人や罪人の仲間
だ。』と言います。でも、知恵の正しいことは、その行
ないが証明します。」

20 それから、イエスは、数々の力あるわざの行なわ
れた町々が悔い改めなかったので、責め始められた。
21 「ああコラジン。ああベツサイダ。おまえたちのう
ちで行なわれた力あるわざが、もしもツロとシドンで
行なわれたのだったら、彼らはとうの昔に荒布をまと
い、灰をかぶって悔い改めていたことだろう。
22 しかし、そのツロとシドンのほうが、おまえたちに
言うが、さばきの日には、まだおまえたちよりは罰が
軽いのだ。
23 カペナウム。どうしておまえが天に上げられるこ
とがありえよう。ハデスに落とされるのだ。おまえの中
でなされた力あるわざが、もしもソドムでなされたの
だったら、ソドムはきょうまで残っていたことだろ
う。
24 しかし、そのソドムの地のほうが、おまえたちに言
うが、さばきの日には、まだおまえよりは罰が軽いの
だ。」

25 そのとき、イエスはこう言われた。「天地の主で
あられる父よ。あなたをほめたたえます。これらのこ
とを、賢い者や知恵のある者には隠して、幼子たちに
現わしてくださいました。
26 そうです、父よ。これがみこころにかなったことで
した。
27 すべてのものが、わたしの父から、わたしに渡され
ています。それで、父のほかには、子を知る者がなく、
子と、子が父を知らせようと心に定めた人のほかは、
だれも父を知る者がありません。
28 すべて、*疲れた人、重荷を負っている人は、わたし
のところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませて
あげます。
29 わたしは心優しく、へりくだっているから、あなた
がたもわたしのくびきを負って、わたしから学びなさ
い。そうすればたましいに安らぎが来ます。
30 わたしのくびきは*負いやすく、わたしの荷は軽いか
らです。」

12

1 そのころ、イエスは、安息日に麦
畑を通られた。弟子たちはひもじく
なったので、穂を摘んで食べ始めた。
2 すると、パリサイ人たちがそれを見つけて、イエス
に言った。「ご覧なさい。あなたの弟子たちが、安息日
にしてはならないことをしています。」
3 しかし、イエスは言われた。「ダビデとその連れの者
たちが、ひもじかったときに、ダビデが何をしたか、
読まなかったのですか。
4 神の家にはいって、祭司のほかは自分も供の者たち
も食べてはならない供えのパンを食べました。
5 また、安息日に宮にいる祭司たちは安息日の神聖を
冒しても罪にならないということを、律法で読んだこ

19 ①旧マタ九・一二、ルカ一五・二
20 *あるいは「奇蹟」
21 ①マタ一一・二三、ルカ一〇・一二―一五、②マコ六・五、八・二三、ルカ一〇・一三、ヨハ一二・三七―四一、③マタ一一・二三、一五・二一、マコ三・八、七・二四、三一、ルカ六・一七、使二・一〇、旧ルカ四・二六、使二・三一、④黙示一・一三
22 ①マタ一〇・一五、②マタ一〇・一二―一五
23 ①マタ四・一三、②マタ八・一八、ルカ一〇・一五、一六・二三、使二・三一、黙示一・八、六・八、一〇・一三、一四、③旧イザ一四・一三―一五、エゼ二六・一三―二一、二八・二―一〇、④マタ一〇・一五、②マタ一〇・一五―一三
25 ①マタ一一・二五―二七、ルカ一〇・二一、二二、②ルカ三・一四―二三、三五、ヨハ一二・四九―五〇、③旧Ⅰコリ一・二六以下
26 ①ルカ三・二三―二四、ヨハ一二・四九―五〇
27 ①マタ六・八、ヨハ三・三五、一三・三―七・二
*あるいは「完全に知る」
②旧ヨハ一〇・一五、一七・二五
28 ①旧ヨハ七・三七、エレ三一・二五
*あるいは「疲れ果てた人」
29 ①エペ四・二、旧ヨハ一三・一五、Ⅰペテ三・二
Ⅰヨハ二・六、②エレ六・一六
30 *あるいは「ここちよく」
①マタ三・一一、八、マコ一・三七、ルカ六・一五、②申三二・三五
2 ①旧マタ一二・一〇、ルカ一三・一四、一四・三、ヨハ五・一〇、七・二三、九・一六
4 ①Ⅰサム二一・六
5 *あるいは「を破っても」

とはないのですか。
6 あなたがたに言いますが、ここに宮より大きな者がいるのです。
7 1)『わたしはあわれみは好むが、犠牲は好まない。』ということがどういう意味かを知っていたら、あなたがたは、罪のない者たちを罪に定めはしなかったでしょう。
8 1)人の子は安息日の主です。」
9 1)イエスはそこを去って、会堂にはいられた。
10 そこに片手のなえた人がいた。そこで、彼らはイエスに質問して、1)「安息日にいやすことは正しいことでしょうか。」と言った。これはイエスを訴えるためであった。
11 イエスは彼らに言われた。「あなたがたのうち、だれかが一匹の羊を持っていて、もしその羊が安息日に穴に落ちたら、それを引き上げてやらないでしょうか。
12 1)人間は羊より、はるかに値うちのあるものでしょう。それなら、安息日に良いことをすることは、正しいのです。」
13 それから、イエスはその人に、「手を伸ばしなさい。」と言われた。彼が手を伸ばすと、手は直って、もう一方の手と同じようになった。*
14 パリサイ人は出て行って、どのようにしてイエスを滅ぼそうかと相談した。
15 イエスはそれを知って、そこを立ち去られた。すると多くの人がついて来たので、彼らをみないやし、
16 1)そして、ご自分のことを人々に知らせないようにと、彼らを戒められた。
17 これは、預言者イザヤを通して言われた事が成就するためであった。
18 1)「これぞ、わたしの選んだわたしのしもべ、
2)わたしの心の喜ぶわたしの愛する者。
3)わたしは彼の上にわたしの霊を置き、
1)**彼は異邦人にさばきを宣べる。
19 1)争うこともなく、叫ぶこともせず、
大路でその声を聞く者もない。
20 1)彼はいたんだ葦を折ることもなく、
くすぶる燈心を消すこともない、
*正義を勝利に導くまでは。
21 1)異邦人は彼の名に望みをかける。」
22 1)そのとき、2)悪霊につかれた、目も見えず、口もきけない人が連れて来られた。イエスが彼をいやされたので、そのおしはものを言い、目も見えるようになった。
23 群衆はみな驚いて言った。「この人は、ダビデの子なのだろうか。」
24 これを聞いたパリサイ人は言った。1)「この人は、ただ悪霊どものかしらベルゼブルの力で、悪霊どもを追い出しているだけだ。」
25 1)2)イエスは彼らの思いを知ってこう言われた。「どんな国でも、内輪もめして争えば荒れすたれ、どんな町でも家でも、内輪もめして争えば立ち行きません。
26 もし、サタンがサタンを追い出していて仲間割れし

6 ①旧マタ二・四一、四二
7 ①ホセ六・六
8 ①圏マタ八・二〇、三・三、四〇
9 ①マタ三・九一四、マコ三・一六
ルカ六・六一一
10 ①旧マタ三・二、ルカ三・一四、一四・三、ヨハ五・一〇、七・二三、九・一六
12 ①旧マタ一〇・三一
13 * 直訳「健康になった」
14 ①マタ二六・四、マコ一四・一
ルカ三・二、旧ヨハ七・三〇、四四、八・二六、一〇・三一、三九、一一・五三
15 ①圏マタ四・二三
16 ①圏マタ八・四
18 ①イザ四二・一
* 直訳「子」
②マタ三・一七、一七・五、③ルカ四・八、ヨハ三・三五
** あるいは「諸国民」
*** あるいは「正義」
19 ①イザ四二・二
20 ①イザ四二・三
* あるいは「さばき」
21 ①イザ四二・四、ロマ一五・一二
* あるいは「諸国民」
22 ①マタ三・二三、ルカ一一・一四、旧マタ九・三三、三四
②圏マタ四・二四
23 ①圏マタ九・二七
24 ①圏マタ九・三四
* あるいは「ベエゼブル」「ベルゼブブ」
25 ①マタ三・二七、九・四、マコ三・二七、ルカ一一・一七、一八
②圏マタ九・四
* 直訳「すべての国」
26 ①圏マタ四・一〇

たのだったら、どうしてその国は立ち行くでしょう。
27 また、もしわたしがベルゼブルによって悪霊どもを
追い出しているのなら、あなたがたの子らはだれによ
って追い出すのですか。だから、あなたがたの子らが、
あなたがたをさばく人となるのです。
28 しかし、わたしが神の御霊によって悪霊どもを追い
出しているのなら、もう神の国はあなたがたのところ
に来ているのです。
29 強い人の家にはいって家財を奪い取ろうとするな
ら、まずその人を縛ってしまわないで、どうしてその
ようなことができましょうか。そのようにして初めて、
その家を略奪することもできるのです。
30 わたしの味方でない者はわたしに逆らう者であり、
わたしとともに集めない者は散らす者です。
31 だから、わたしはあなたがたに言います。人はどん
な罪も冒瀆も赦してもらえます。しかし、聖霊に逆
らう冒瀆は赦されません。
32 また、人の子に逆らうことばを口にする者でも、赦
されます。しかし、聖霊に逆らうことを言う者は、だ
れであっても、この世であろうと未来の世であろうと、
赦されません。
33 木が良ければ、その実も良いとし、木が悪ければそ
の実も悪いとしなさい。木のよしあしはその実によっ
て知られるからです。
34 まむしのすえたち。おまえたち悪い者に、どうして
良いことが言えましょう。心に満ちていることを口が
話すのです。
35 良い人は、良い倉から良い物を取り出し、悪い人は、
悪い倉から悪い物を取り出すものです。
36 わたしはあなたがたに、こう言いましょう。人はそ
の口にするあらゆるむだなことばについて、さばきの
日には言い開きをしなければなりません。
37 あなたが正しいとされるのは、あなたのことばによ
るのであり、罪に定められるのも、あなたのことばに
よるのです。」
38 そのとき、律法学者、パリサイ人たちのうちのある
者がイエスに答えて言った。「先生。私たちは、あな
たからしるしを見せていただきたいのです。」
39 しかし、イエスは答えて言われた。「悪い、姦淫の時
代はしるしを求めています。だが預言者ヨナのしるし
のほかには、しるしは与えられません。
40 ヨナは三日三晩大魚の腹の中にいましたが、同様に、
人の子も三日三晩、地の中にいるからです。
41 ニネベの人々が、今の時代の人々とともにさばきの
座に立って、この人々を罪に定めます。なぜなら、ニ
ネベの人々はヨナの説教で悔い改めたからです。しか
し、見なさい。ここにヨナよりもまさった者がいるの
です。
42 南の女王が、さばきのときに、今の時代の人々とと
もにさばきの座に立って、この人々を罪に定めます。
なぜなら、彼女はソロモンの知恵を聞くために地の果
てから来たからです。しかし、見なさい。ここにソロ

27 ①㊀マタ九・三四、②㊁使一九・一三
＊ あるいは「仲間」
30 ①ルカ一一・二三、㊁マコ九・四〇
ルカ八・四
31 ①マタ一二・三二、㊁マコ三・二九、ルカ一二・一〇
32 ①マコ三・二九、ルカ一二・八、一〇、三四、三五、エペ一・二一
Ⅰテモ六・一七、Ⅱテモ四・一〇
テト三・二、ヘブ六・五
㊀マタ一二・三二、三五
33 ①㊀マタセ・一六
34 ①マタ三・七、三三
②マタ二三・三四、三五、㊁ルカ六・四五、マタ五・八、エペ四・二九
ヤコ三・二、三、Ⅰサム二四・一三
36＊ あるいは「無益な」
①㊀マタ一二・三六
38 ①マタ一六・一、マコ八・一一、一二
ルカ一一・一六、ヨハ二・一八、六・三〇
㊁Ⅰコリ一・二二
＊ あるいは「証拠としての奇蹟」
39 ①マタ一二・九九、四一、ルカ一一・二九、三二、㊁マタ一六・四
40 ①ヨナ一・一七、②㊀マタ八・三〇
③マタ一六・二一
41 ①ヨナ一・二、②ヨナ三・五
③マタ三・二、六、三
42 ①Ⅰ列一〇・一、Ⅱ歴九・一

モンよりもまさった者がいるのです。
43 汚れた霊が人から出て行って、水のない地をさまよいながら休み場を捜しますが、見つかりません。
44 そこで、『出て来た自分の家に帰ろう。』と言って、帰って見ると、家はあいていて、掃除してきちんとかたづいていました。
45 そこで、出かけて行って、自分よりも悪いほかの霊を七つ連れて来て、みなはいり込んでそこに住みつくのです。そうなると、その人の後の状態は、初めよりもさらに悪くなります。邪悪なこの時代もまた、そういうことになるのです。」
46 イエスがまだ群衆に話しておられるときに、イエスの母と兄弟たちが、イエスに何か話そうとして、外に立っていた。
47 すると、だれかが言った。「ご覧なさい。あなたのおかあさんと兄弟たちが、あなたに話そうとして外に立っています。」
48 しかし、イエスはそう言っている人に答えて言われた。「わたしの母とはだれですか。また、わたしの兄弟たちとはだれですか。」
49 それから、イエスは手を弟子たちのほうに差し伸べて言われた。「見なさい。わたしの母、わたしの兄弟たちです。
50 天におられるわたしの父のみこころを行なう者はだれでも、わたしの兄弟、姉妹、また母なのです。」

13

1 その日、イエスは家を出て、湖のほとりにすわっておられた。
2 すると、大ぜいの群衆がみもとに集まったので、イエスは舟に移って腰をおろされた。それで群衆はみな浜に立っていた。
3 イエスは多くのことを、彼らにたとえで話して聞かされた。
「種を蒔く人が種蒔きに出かけた。
4 蒔いているとき、道ばたに落ちた種があった。すると鳥が来て食べてしまった。
5 また、別の種が土の薄い岩地に落ちた。土が深くなかったので、すぐに芽を出した。
6 しかし、日が上ると、焼けて、根がないために枯れてしまった。
7 また、別の種はいばらの中に落ちたが、いばらが伸びて、ふさいでしまった。
8 別の種は良い地に落ちて、あるものは百倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍の実を結んだ。
9 耳のある者は聞きなさい。」
10 すると、弟子たちが近寄って来て、イエスに言った。「なぜ、彼らにたとえでお話しになったのですか。」
11 イエスは答えて言われた。「あなたがたには、天の御国の奥義を知ることが許されているが、彼らには許されていません。
12 というのは、持っている者はさらに与えられて豊かになり、持たない者は持っているものまでも取り上げ

---

1 ①マタ二・一五、マコ四・一二、ルカ八・一〇、②マタ一三・三五、九・六、既マコ三・二〇
2 ①既ルカ五・三
3 ①既マタ一三・一〇以下、マコ四・二以下等
7 * 直訳「上に」
8 ①マタ一三・三、創二六・一二
9 ①⑬マタ一一・一五
11 ①マタ九・二、一三・一一、既ヨハ八・四三、Ⅰコリ二・一〇、コロ一・二六、Ⅰヨハ三・一〇、二・七
12 ①マタ二五・二九、マコ四・二五、ルカ八・一八、一九・二六
42 ②マタ三・六、既Ⅱ
43 ①マタ一三・四三、既ルカ二一・二四上、二六
45 ①Ⅱペテ二・二〇
46 ①マタ一二・四六上、マコ三・三一上、ルカ八・一九上、②マタ一二・一六・二一以下、一三・五五、ルカ二・四三、三三、四八、五一、ヨハ二・一、五、三、一九・二五、マコ六・三、ヨハ二・一二、七・三、五、一〇、使一・一四、Ⅰコリ九・五、既ガラ一・一九

られてしまうからです。
13 わたしが彼らにたとえで話すのは、[1]彼らは見てはいるが見ず、聞いてはいるが聞かず、また、悟ることもしないからです。
14 こうしてイザヤの告げた預言が彼らの上に実現したのです。
『[1]あなたがたは確かに聞きはするが、決して悟らない。
確かに見てはいるが、決してわからない。
15 [1]この民の心は鈍くなり、
その耳は遠く、
目はつぶっているからである。
それは、彼らがその目で見、その耳で聞き、
その心で悟って立ち返り、
わたしにいやされることのないためである。』
16 [1]しかし、あなたがたの目は見ているから幸いです。また、あなたがたの耳は聞いているから幸いです。
17 まことに、あなたがたに告げます。[1]多くの預言者や義人たちが、あなたがたの見ているものを見たいと、切に願ったのに見られず、あなたがたの聞いていることを聞きたいと、切に願ったのに聞けなかったのです。
18 [1]ですから、種蒔きのたとえを聞きなさい。
19 [1]御国のことばを聞いても悟らないと、[2]悪い者が来て、その人の心に蒔かれたものを奪って行きます。道ばたに蒔かれるとは、このような人のことです。
20 また岩地に蒔かれるとは、みことばを聞くと、すぐに喜んで受け入れる人のことです。
21 しかし、自分のうちに根がないため、しばらくの間そうするだけで、みことばのために困難や迫害が起こると、すぐにつまずいてしまいます。
22 また、いばらの中に蒔かれるとは、みことばを聞くが、[1]*この世の心づかいと富の惑わしとがみことばをふさぐため、実を結ばない人のことです。
23 ところが、良い地に蒔かれるとは、みことばを聞いてそれを悟る人のことで、その人はほんとうに実を結び、あるものは百倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍の実を結びます。」
24 イエスは、また別のたとえを彼らに示して言われた。
「[1]天の御国は、こういう人にたとえることができます。[2]ある人が自分の畑に良い種を蒔いた。
25 ところが、人々の眠っている間に、彼の敵が来て麦の中に毒麦を蒔いて行った。
26 *麦が芽ばえ、やがて実ったとき、毒麦も現われた。
27 それで、その家の主人のしもべたちが来て言った。『ご主人。畑には良い麦を蒔かれたのではありませんか。どうして毒麦が出たのでしょう。』
28 主人は言った。『敵のやったことです。』すると、しもべたちは言った。『では、私たちが行ってそれを抜き集めましょうか。』
29 だが、主人は言った。『いやいや。毒麦を抜き集めるうちに、麦もいっしょに抜き取るかもしれない。

13 ①エレ五・二一、エゼ一二・二
14 ①イザ六・九、マコ四・一二、ルカ八・一〇、ヨハ一二・四〇、使二八・二六・二七、ロマ一一・八、二コリ三・一四
15 ①イザ六・一〇
16 ①マタ一三・一七、ルカ一〇・二三・二四
17 ①*旧ヨハ八・五六、ヘブ一一・一三 Ⅰペテ一・一〇・一二
18 ①マタ一三・三、マコ四・一三・一四、ルカ八・一一
19 ①*旧マタ四・二三、②*旧マタ五・三
20 ①*旧マタ一三・五、②*旧マタ一三・二〇、ルカ八・一三
21 ①*旧マタ一一・六
22 ①マコ四・一九、ロマ一二・二 Ⅰコリ一・二〇、三・一八、Ⅱコリ四・四、ガラ一・四 エペ二・二、*旧マタ一三・二二、三元 *あるいは「時代」 ②*旧マタ六・二四、Ⅰテモ六・九、一〇、一七
23 ①マタ一三・八
24 ①マタ一三・三一、*旧マコ四・一、二六・三二、二・三一、三二、三五、一、マコ四・②*旧マコ四・二六・二元
26 *直訳「草」
27 *直訳「どこから」

30だから、収穫まで、両方とも育つままにしておきなさい。収穫の時期になったら、私は刈る人たちに、まず、毒麦を集め、焼くために束にしなさい。麦のほうは、集めて私の倉に納めなさい、と言いましょう。』」

31イエスは、また別のたとえを彼らに示して言われた。「天の御国[1]は、からし種[2]のようなものです。それを取って、畑に蒔くと、32どんな種よりも小さいのですが、生長すると、どの野菜よりも大きくなり、空の鳥が来て、その枝に巣を作るほどの木になります。」

33イエスは、また別のたとえを話された。「天の御国[1]は、パン種のようなものです。女が、パン種を取って、三サトン[2]*の粉の中に入れると、全体がふくらんで来ます。」

34イエスは、これらのことをみな、たとえで群衆に話され、たとえを使わずには何もお話しにならなかった。

35それは、預言者を通して言われた事が成就するためであった。

「わたしはたとえ話をもって口を開き、
世の初めから隠されていることどもを物語ろう。」[1]

36それから、イエスは群衆と別れて家にはいられた。すると、弟子たちがみもとに来て、「畑の麦のたとえを説明してください。」と言った。[2]

37イエスは答えてこう言われた。「良い種を蒔く者は人の子です。[1]

38畑はこの世界のことで、良い種とは御国[1]の子どもたち、毒麦とは悪い者の子どもたちのことです。[2]

39毒麦を蒔いた敵は悪魔であり、刈り取りとはこの世の終わりのことです。そして、刈り手とは御使いたちのことです。

40ですから、毒麦が集められて火で焼かれるように、この世[1]の終わりにもそのようになります。

41人の子は[2]その御使いたち[3]を遣わします。彼らは、つまずきを与える者や不法を行なう者たちをみな、御国[1]から取り集めて、

42火の燃える炉に投げ込みます。[2]彼らはそこで泣いて歯ぎしりするのです。

43そのとき、正しい者たち[1]は、天の父の御国で太陽のように輝きます。[2]耳のある者は聞きなさい。

44天の御国[1]は、畑に隠された宝のようなものです。人はその宝を見つけると、それを隠しておいて、大喜びで帰り、持ち物を全部売り払ってその畑を買います。[2]

45また、天の御国[1]は、良い真珠を捜している商人のようなものです。

46すばらしい値うちの真珠を一つ見つけた者は、行って持ち物を全部売り払ってそれを買ってしまいます。

47また、天の御国[1]は、海におろしてあらゆる種類の魚を集める地引き網のようなものです。

48網がいっぱいになると岸に引き上げ、すわり込んで、良いものは器に入れ、悪いものは捨てるのです。

---

30 ④マタ三・三
31 ①マタ一三・三一、マコ四・三一、ルカ一三・一九 ②マタ一七・二〇、ルカ一七・六
32 ①詩一〇四・一二、エゼ一七・二三、三一・六、ダニ四・一二
33 ①マタ一三・三一、ルカ一三・二一 ②創一八・六 *一サトンは一三リットル
34 ①マコ四・二四、ヨハ一〇・六、一六・二五
35 ①詩七八・二
36 ①マタ一三・一、②ヨハ六・五二
37 ①ダニ七・一三
38 ①ヨハ八・三、②ヨハ八・四四 ③ダニ八・一〇
39 ①マタ一三・四〇、四九、五〇、二四・三、二八・三、ヨエ三・一三、黙一四・一五、一九・一七 *あるいは「終仕上げ」
40 ①マタ一三・四九、二四・三、二八・三 Ⅰコリ一〇・一一、ヘブ九・二六
41 ①ダニ七・一〇、②ダニ七・一三、③ゼハ一・一 *あるいは「障害となるもの」
42 ①マタ一三・五〇、②ダニ三・六、③ダニ三・二一、④マタ二二・一三
43 ①ダニ一二・三、②ダニ一二・一、マタ一三・九
44 ①マタ一三・四五、②マタ一三・四六
45 ①マタ一三・四七
47 ①マタ一三・四八

49 この世の終わりにもそのようになります。御使いたちが来て、正しい者の中から悪い者をえり分け、
50 火の燃える炉に投げ込みます。彼らはそこで泣いて歯ぎしりするのです。
51 あなたがたは、これらのことがみなわかりましたか。」彼らは「はい。」とイエスに言った。
52 そこで、イエスは言われた。「だから、天の御国の弟子となった学者はみな、自分の倉から新しい物でも古い物でも取り出す一家の主人のようなものです。」
53 これらのたとえを話し終えると、イエスはそこを去られた。
54 それから、ご自分の郷里に行って、会堂で人々を教え始められた。すると、彼らは驚いて言った。「この人は、こんな知恵と不思議な力をどこで得たのでしょう。
55 この人は大工の息子ではありませんか。彼の母親はマリヤで、彼の兄弟は、ヤコブ、ヨセフ、シメオン、ユダではありませんか。
56 妹たちもみな私たちといっしょにいるではありませんか。とすると、いったいこの人は、これらのものをどこから得たのでしょう。」
57 こうして、彼らはイエスにつまずいた。しかし、イエスは彼らに言われた。「預言者が尊敬されないのは、自分の郷里、家族の間だけです。」
58 そして、イエスは、彼らの不信仰のゆえに、そこでは多くの奇蹟をなさらなかった。

14

1 そのころ、国主ヘロデは、イエスのうわさを聞いて、
2 侍従たちに言った。「あれはバプテスマのヨハネだ。ヨハネが死人の中からよみがえったのだ。だから、あんな力が彼のうちに働いているのだ。」
3 実は、このヘロデは、自分の兄弟ピリポの妻ヘロデヤのことで、ヨハネを捕えて縛り、牢に入れたのであった。
4 それは、ヨハネが彼に、「あなたが彼女をめとるのは不法です。」と言い張ったからである。
5 ヘロデはヨハネを殺したかったが、群衆を恐れた。というのは、彼らはヨハネを預言者と認めていたからである。
6 たまたまヘロデの誕生祝いがあって、ヘロデヤの娘がみなの前で踊りを踊ってヘロデを喜ばせた。
7 それで、彼は、その娘に、願う物は何でも必ず上げると、誓って堅い約束をした。
8 ところが、娘は母親にそそのかされて、こう言った。「今ここに、バプテスマのヨハネの首を盆に載せて私に下さい。」
9 王は心を痛めたが、自分の誓いもあり、また列席の人々の手前もあって、与えるように命令した。
10 彼は人をやって、牢の中でヨハネの首をはねさせた。
11 そして、その首は盆に載せて運ばれ、少女に与えられたので、少女はそれを母親のところに持って行った。
12 それから、ヨハネの弟子たちがやって来て、死体を

---

49 ①マタ二三・三五、四四
50 ①マタ二・一三、②創マタ八・三
53 ①創マタ七・二八
54 ①マタ三・五節、六、マコ六・一六、②創マタ九・三五
* あるいは「教えておられた」
55 ①創マタ七・二八
** あるいは「奇蹟」
56 ①創マタ一三・五六
57 ①創マタ一二・六、②マコ六・四
58 * あるいは「力あるわざ」

1 ①マタ四・一二、マコ六・一四一六、マタ四・一二、ルカ九・七一九、②創マタ四・一二、マコ六・一四一六、マタ四・一二、ルカ三・一九、八・三、三・三、七、八・二、三・三、使一三・二五、一二・一
2 ①マタ六・一四、マコ六・一四
3 ①創マタ四・一二、マコ六・一四一六、マタ四・一二、ルカ三・一九、八・三、三・三、三・三、七、八・二、三・三、使一三・二五、一二・一
4 ①レビ二〇・二一、②創マタ一四・九
5 ①創マタ二一・二六、マコ六・一七、一九、三、ルカ二〇・六、*直訳「中で」
6 ①マタ一四・三、マコ六・一七、一九、三、ルカ二〇・六、*直訳「中で」
②創マタ四・一二、マコ六・一四一六、マタ四・一二、ルカ九・七一九、マコ六・一四、ルカ三・一九、八・三、三・三、七、八・二、三・三、使一三・二五、一二・一

引き取って葬った。そして、イエスのところに行って報告した。

13 イエスはこのことを聞かれると、舟でそこを去り、自分だけで寂しい所に行かれた。すると、群衆がそれと聞いて、町々から、歩いてイエスのあとを追った。

14 イエスは舟から上がられると、多くの群衆を見られ、彼らを深くあわれんで、彼らの病気を直された。

15 夕方になったので、弟子たちはイエスのところに来て言った。「ここは寂しい所ですし、時刻ももう回っています。ですから群衆を解散させてください。そして村に行ってめいめいで食物を買うようにさせてください。」

16 しかし、イエスは言われた。「彼らが出かけて行く必要はありません。あなたがたで、あの人たちに何か食べる物を上げなさい。」

17 しかし、弟子たちはイエスに言った。「ここには、パンが五つと魚が二匹よりほかありません。」

18 すると、イエスは言われた。「それを、ここに持って来なさい。」

19 そしてイエスは、群衆に命じて草の上にすわらせ、五つのパンと二匹の魚を取り、天を見上げて、それらを祝福し、パンを裂いてそれを弟子たちに与えられたので、弟子たちは群衆に配った。

20 人々はみな、食べて満腹した。そして、パン切れの余りを拾うと、十二のかごにいっぱいあった。

21 食べた者は、女と子どもを除いて、男五千人ほどであった。

22 それからすぐ、イエスは弟子たちを強いて舟に乗り込ませて、自分より先に向こう岸へ行かせ、その間に群衆を帰してしまわれた。

23 群衆を帰したあとで、祈るために、ひとりで山に登られた。夕方になったが、まだそこに、ひとりでおられた。

24 しかし、舟は、陸からもう何キロメートルも離れていたが、風が向かい風なので、波に悩まされていた。

25 すると、夜中の三時ごろ、イエスは湖の上を歩いて、彼らのところに行かれた。

26 弟子たちは、イエスが湖の上を歩いておられるのを見て、「あれは幽霊だ。」と言って、おびえてしまい、恐ろしさのあまり、叫び声を上げた。

27 しかし、イエスはすぐに彼らに話しかけ、「しっかりしなさい。わたしだ。恐れることはない。」と言われた。

28 すると、ペテロが答えて言った。「主よ。もし、あなたでしたら、私に、水の上を歩いてここまで来い、とお命じになってください。」

29 イエスは「来なさい。」と言われた。そこで、ペテロは舟から出て、水の上を歩いてイエスのほうに行った。

30 ところが、風を見て、こわくなり、沈みかけたので叫び出し、「主よ。助けてください。」と言った。

31 そこで、イエスはすぐに手を伸ばして、彼をつかんで言われた。「信仰の薄い人だな。なぜ疑うのか。」

---

13 ①マタ一四・一三一三、マコ六・三二―三四、ルカ九・一〇―一七、ヨハ六・一―一三、囮マタ一五・三二―三九

14 ①参マタ九・三六、②参マタ四・二三

17 ①マタ一六・九

19 ①Ⅰサム二一・三、マタ二六・二六、マコ一四・二二、ルカ二二・一九、Ⅰコリ一一・二四

20 ①マタ一六・九、マコ六・四三、八・一九、ルカ九・一七、ヨハ六・一三
*あるいは「大型のかご」

22 ①マタ一四・二二―三三、マコ六・四五―五二、ヨハ六・一六―二一

23 ①マコ六・四六、ルカ六・一二、九、囮ヨハ六・一五

24 *原語「多くのスタディオン」―スタディオンは一八五メートル

25 ①囮マコ一三・三五、参マタ一四・二五
*直訳「夜の第四更」すなわち「午前三―六時」

26 ①囮ルカ二四・三七
*あるいは「取り乱し」

27 ①マタ九・二
*あるいは「安心しなさい」
②ヨハ六・二〇、参マタ一七・七、二六・一〇、マコ六・五〇、ルカ二一・三三、黙一・一七、囮マタ一四・三〇、ルカ一二・三二、二一・九

28 *直訳「あなたのところまで」

31 ①マタ六・三〇、八・二六、一六・八

32 そして、ふたりが舟に乗り移ると、風がやんだ。
33 そこで、舟の中にいた者たちは、イエスを拝んで、
「確かにあなたは神の子です。」と言った。
34 彼らは湖を渡ってゲネサレの地に着いた。
35 すると、その地の人々は、イエスと気がついて、付近の地域にくまなく知らせ、病人という病人をみな、みもとに連れて来た。
36 そして、せめて彼らに、着物のふさにでもさわらせてやってくださいと、イエスにお願いした。そして、さわった人々はみな、いやされた。

15 1 そのころ、パリサイ人や律法学者たちが、エルサレムからイエスのところに来て、言った。
2 「あなたの弟子たちは、なぜ昔の先祖たちの言い伝えを犯すのですか。パンを食べるときに手を洗っていないではありませんか。」
3 そこで、イエスは彼らに答えて言われた。「なぜ、あなたがたも、自分たちの言い伝えのために神の戒めを犯すのですか。
4 神は『あなたの父と母を敬え。』また『父や母をのしる者は、死刑に処せられる。』と言われたのです。
5 それなのに、あなたがたは、『だれでも、父や母に向かって、私からあなたのために差し上げられる物は、供え物になりましたと言う者は、
6 その物をもって父や母を尊んではならない。』と言っています。こうしてあなたがたは、自分たちの言い伝えのために、神のことばを無にしてしまいました。
7 偽善者たち。イザヤはあなたがたについて預言しているが、まさにそのとおりです。
8 『この民は、口先ではわたしを敬うが、
その心は、わたしから遠く離れている。
9 彼らが、わたしを拝んでも、むだなことである。
人間の教えを、教えとして教えるだけだから。』」
10 イエスは群衆を呼び寄せて言われた。「聞いて悟りなさい。
11 口にはいる物は人を汚しません。しかし、口から出るもの、これが人を汚します。」
12 そのとき、弟子たちが、近寄って来て、イエスに言った。「パリサイ人が、みことばを聞いて、腹を立てたのをご存じですか。」
13 しかし、イエスは答えて言われた。「わたしの天の父がお植えにならなかった木は、みな根こそぎにされます。
14 彼らのことは放っておきなさい。彼らは盲人を手引きする盲人です。もし、盲人が盲人を手引きするなら、ふたりとも穴に落ち込むのです。」
15 そこで、ペテロは、イエスに答えて言った。「私たちに、そのたとえを説明してください。」
16 イエスは言われた。「あなたがたも、まだわからないのですか。
17 口にはいる物はみな、腹にはいり、かわやに捨てられることを知らないのですか。

33 ①直訳マタ四・二
34 ①マタ一四・三五、マコ六・五三-五六、既ヨ六・二四-二五 ②マコ六・五三、ルカ五・一
35* あるいは「知って」
36 ①マタ九・二〇、②既マタ九・二一、マコ三・一〇、六・五六、八・二三、ルカ六・一九
1 ①マタ一五・一-二〇、マコ七・一-二三、②マコ三・二二、七・一、既ヨハ八・一九、使二三・七
2 ①既ルカ二・二六
4 ①出二〇・一二、申二七・一六 ②出二一・一七、レビ二〇・九
6* 「その物をもって」は補足。あるいは「それを扶養のために用いて」を補う
** 異本「母」を欠く
*** 異本「律法」
8 ①イザ二九・一三
9 ①イザ二九・一三、②コロ二・二二
11 ①既使一〇・一四、一五、マタ一五・二、Ⅰテモ四・三
12* あるいは「つまずいた」
13 ①既イザ六〇・二一、六二・三、ヨハ一五・二、Ⅰコリ三・九
14 ①マタ二三・一六、二四、*異本「盲人を」を欠く ②ルカ六・三九
15 ①既マタ一三・三六

18 しかし、口から出るものは、心から出て来ます。それは人を汚します。
19 悪い考え、殺人、姦淫、不品行、盗み、偽証、ののしりは心から出て来るからです。
20 これらは、人を汚すものです。しかし、洗わない手で食べることは人を汚しません。」
21 それから、イエスはそこを去って、ツロとシドンの地方に立ちのかれた。
22 すると、その地方のカナン人の女が出て来て、叫び声をあげて言った。「主よ。ダビデの子よ。私をあわれんでください。娘が、ひどく悪霊に取りつかれているのです。」
23 しかし、イエスは彼女に一言もお答えにならなかった。そこで、弟子たちはみもとに来て、「あの女を帰してやってください。叫びながらあとについて来るのです。」と言ってイエスに願った。
24 しかし、イエスは答えて、「わたしは、イスラエルの家の滅びた羊以外のところには遣わされていません。」と言われた。
25 しかし、その女は来て、イエスの前にひれ伏して、「主よ。私をお助けください。」と言った。
26 すると、イエスは答えて、「子どもたちのパンを取り上げて、小犬に投げてやるのはよくないことです。」と言われた。
27 しかし、女は言った。「主よ。そのとおりです。ただ、小犬でも主人の食卓から落ちるパンくずはいただきます。」
28 そのとき、イエスは彼女に答えて言われた。「ああ、あなたの信仰はりっぱです。その願いどおりになるように。」すると、彼女の娘はその時から直った。
29 それから、イエスはそこを去って、ガリラヤ湖の岸を行き、山に登って、そこにすわっておられた。
30 すると、大ぜいの人の群れが、足なえ、不具者、盲人、おしの人、そのほかたくさんの人をみもとに連れて来た。そして、彼らをイエスの足もとに置いたので、イエスは彼らをおいやしになった。
31 それで、群衆は、おしがものを言い、不具者が直り、足なえが歩き、盲人が見えるようになったのを見て、驚いた。そして、彼らはイスラエルの神をあがめた。
32 イエスは弟子たちを呼び寄せて言われた。「かわいそうに、この群衆はもう三日間もわたしといっしょにいて、食べる物を持っていないのです。彼らを空腹のままで帰らせたくありません。途中で動けなくなるといけないから。」
33 そこで弟子たちは言った。「このへんぴな所で、こんなに大ぜいの人に、十分食べさせるほどたくさんのパンが、どこから手にはいるでしょう。」
34 すると、イエスは彼らに言われた。「どれぐらいパンがありますか。」彼らは言った。「七つです。それに、小さい魚が少しあります。」
35 すると、イエスは群衆に、地面にすわるように命じられた。

---

18 ①マコ七・二〇、旧マタ三・三四
19 ①旧ガラ五・一九以下
21 ①マタ一四・一三、マコ七・二四―三〇、②新マ一・二
22 ①新マタ九・二七 ②旧マタ四・二四
24 ①マタ一〇・六
25 *あるいは「を拝み」 ①新マタ八・二
28 *直訳「女よ」 ①旧マタ九・二
29 ①マタ一五・二九、旧マコ七・三一―三七、②新マタ四・一八
30 ①新マタ四・二三
31 ①新マタ九・八
32 ①マタ一五・三二―三九、マコ八・一―一〇、旧マタ一四・一三―二一 ②新マタ九・三六

36それから、七つのパンと魚とを取り、感謝をささげてからそれを裂き、弟子たちに与えられた。そして、弟子たちは群衆に配った。
37人々はみな、食べて満腹した。そして、パン切れの余りを拾うと、七つのかごにいっぱいあった。
38食べた者は、女と子どもを除いて、男四千人であった。
39それから、イエスは群衆を解散させて舟に乗り、マガダン地方に行かれた。

16 1パリサイ人やサドカイ人たちがみそばに寄って来て、イエスをためそうとして、天からのしるしを見せてくださいと頼んだ。
*2しかし、イエスは彼らに答えて言われた。「あなたがたは、夕方には、『夕焼けだから晴れる。』と言うし、
3朝には、『朝焼けでどんよりしているから、きょうは荒れ模様だ。』と言う。そんなによく、空模様の見分け方を知っていながら、なぜ時のしるしを見分けることができないのですか。
4悪い、姦淫の時代はしるしを求めています。しかし、ヨナのしるしのほかには、しるしは与えられません。」そう言って、イエスは彼らを残して去って行かれた。
5弟子たちは向こう岸に行ったが、パンを持って来るのを忘れた。
6イエスは彼らに言われた。「パリサイ人やサドカイ人たちのパン種には注意して気をつけなさい。」
7すると、彼らは、「これは私たちがパンを持って来なかったからだ。」と言って、議論を始めた。
8イエスはそれに気づいて言われた。「あなたがた、信仰の薄い人たち。パンがないからだなどと、なぜ論じ合っているのですか。
9まだわからないのですか、覚えていないのですか。五つのパンを五千人に分けてあげて、なお幾かご拾いましたか。
10また、七つのパンを四千人に分けてあげて、なお幾かご拾いましたか。
11わたしの言ったのは、パンのことなどではないことが、どうしてあなたがたには、わからないのですか。ただ、パリサイ人やサドカイ人たちのパン種に気をつけることです。」
12彼らはようやく、イエスが気をつけよと言われたのは、パン種のことではなくて、パリサイ人やサドカイ人たちの教えのことであることを悟った。
13さて、ピリポ・カイザリヤの地方に行かれたとき、イエスは弟子たちに尋ねて言われた。「人々は人の子をだれだと言っていますか。」
14彼らは言った。「バプテスマのヨハネだと言う人もあり、エリヤだと言う人もあります。またほかの人たちはエレミヤだとか、また預言者のひとりだとも言っています。」
15イエスは彼らに言われた。「あなたがたは、わたしをだれだと言いますか。」

---

36 ①㊢マタ14:19
37 ①マタ15:10、マコ8:8、㊢使9:22
39 ①㊢マコ8:10、②㊢マコ8:10
1 ①マタ16:1-3、マコ8:11-12、②マタ16:6、12、㊢マタ16:11、③㊢マタ16:6
2* 最も古い写本は二、三節を欠いている
①㊢ルカ12:54
4 ①マタ12:39
*あるいは「証拠としての奇蹟」
6 ①マタ16:1、11、㊢マタ16:11、②マタ16:11、マコ8:15、ルカ12:1
8 ①マタ16:5、㊢マタ14:17
9 ①マタ14:17-21、②㊢マタ14:20
10 ①マタ14:20-21、②㊢マタ15:37
11 ①マタ16:1、3、㊢マタ12:38、②マタ16:6、マコ8:15、ルカ12:1
12 ①マタ16:1、6、㊢マタ16:6
13 ①マタ16:1-4、マコ8:11-12、ルカ11:29、②マコ8:27、㊢マタ8:20、③㊢マタ8:20、16:6
14 ①㊢マタ14:2、②マコ6:15、ルカ9:8、㊢マタ14:2

16 シモン・ペテロが答えて言った。「あなたは、生ける
神の御子キリストです。」
17 するとイエスは、彼に答えて言われた。「*バルヨナ・
シモン。あなたは幸いです。このことをあなたに明ら
かに示したのは人間ではなく、天にいますわたしの父
です。
18 ではわたしもあなたに言います。あなたはペテロ*
です。わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てます。
ハデスの門もそれには打ち勝てません。
19 わたしは、あなたに天の御国のかぎを上げます。何
でもあなたが地上でつなぐなら、それは天においても
つながれており、あなたが地上で解くなら、それは天
においても解かれています。」
20 そのとき、イエスは、ご自分がキリストであること
をだれにも言ってはならない、と弟子たちを戒められ
た。
21 その時から、イエス・キリストは、ご自分がエル
サレムに行って、長老、祭司長、律法学者たちから多
くの苦しみを受け、殺され、そして三日目によみがえら
なければならないことを弟子たちに示し始められた。
22 するとペテロは、イエスを引き寄せて、いさめ始め
た。「主よ。*神の御恵みがありますように。そんなこと
が、あなたに起こるはずはありません。」
23 しかし、イエスは振り向いて、ペテロに言われた。
「下がれ。サタン。あなたはわたしの邪魔をするもの
だ。あなたは神のことを思わないで、人のことを思っ
ている。」
24 それから、イエスは弟子たちに言われた。「だれでも
わたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、自分
の十字架を負い、そしてわたしについて来なさい。
25 いのちを救おうと思う者はそれを失い、わたしのた
めにいのちを失う者は、それを見いだすのです。
26 人は、たとい全世界を手に入れても、まことのいの
ちを損じたら、何の得がありましょう。そのいのちを
買い戻すのには、人はいったい何を差し出せばよいで
しょう。
27 人の子は父の栄光を帯びて、御使いたちとともに、
やがて来ようとしているのです。その時には、おのお
のその行ないに応じて報いをします。
28 まことに、あなたがたに告げます。ここに立ってい
る人々の中には、人の子が御国とともに来るのを見る
までは、決して死を味わわない人々がいます。」

17

1 それから六日たって、イエスは、
ペテロとヤコブとその兄弟ヨハネだ
けを連れて、高い山に導いて行かれた。
2 そして彼らの目の前で、御姿が変わり、御顔は太陽
のように輝き、御衣は光のように白くなった。
3 しかも、モーセとエリヤが現われてイエスと話し合
っているではないか。
4 すると、ペテロが口出ししてイエスに言った。「先
生。私たちがここにいることは、すばらしいことです。
もし、およろしければ、私が、ここに三つの幕屋を造

16 ①詩2[2]・二、マタ二六・六三、使四・二六、ロマ九・二六、Ⅱコリ三・一六、Ⅰテサ一・九、ヘブ三・一、三八・一二、一〇・二三、黙七・一四、②詩一六[10]・二、ヨハ二・七七、[旧]マタ一六
17 *あるいは「ヨナの子シモン」 ①ヨハ一・四二、二一・一五―一七 ②詩1コリ二・一〇、ガラ一・一六、エペ六・一二、ヘブ二・一四 **直訳「肉と血」
18 ①詩マタ一六[18] *ギリシヤ語「ペトロス」―石 ②詩マタ一・三五
19 ①詩イザ三二・三、黙三・八、三七 ②マタ一八・一八、[旧]ヨハ二〇・二三
20 ①マコ八・三〇、ルカ九・二一 [旧]マタ八・四、[旧]②マタ一六・二〇 ヨハ二・七、[旧]マタ一六
21 ①マタ一六・二一―二六、マコ八・三一―三七 ②マタ一六・二七―二八、マコ八・三八―九・一、ルカ九・二六―二七 *マコ九・二―一三 [旧]マタ二七・四〇、ヨハ二・一九
22 *あるいは「とんでもないことです」 **直訳「ある」
23 ①詩マタ四・一〇
24 ①詩マタ一〇・三九
25 ①詩マタ一〇・三九
27 ①詩マタ一六・二〇、②マタ一〇・三二―三三、一六・二七、マコ八・三八―九・一、ルカ一二・九、使一・一一、Ⅰコリ一五・二三、Ⅰテサ一・一〇、四・一六、Ⅱテサ一・七―一〇、ユダ一四―一五、黙一・七、Ⅱペテ二・九、三・四、Ⅰヨハ二・二八、[旧]ヨハ二一・二二 ②詩詩二・一二、箴二四・一二

ります。あなたのために一つ、モーセのために一つ、エリヤのために一つ。」

5 彼がまだ話している間に、見よ、光り輝く雲がその人々を包み、そして、雲の中から、「これは、わたしの愛する子、わたしはこれを喜ぶ。彼の言うことを聞きなさい。」という声がした。

6 弟子たちは、この声を聞くと、ひれ伏して非常にこわがった。

7 すると、イエスが来られて、彼らに手を触れ、「起きなさい。こわがることはない。」と言われた。

8 それで、彼らが目を上げて見ると、だれもいなくて、ただイエスおひとりだけであった。

9 彼らが山を降りるとき、イエスは彼らに、「人の子が死人の中からよみがえるときまでは、いま見た幻をだれにも話してはならない。」と命じられた。

10 そこで、弟子たちは、イエスに尋ねて言った。「すると、律法学者たちが、まずエリヤが来るはずだと言っているのは、どうしてでしょうか。」

11 イエスは答えて言われた。「エリヤが来て、すべてのことを立て直すのです。

12 しかし、わたしは言います。エリヤはもうすでに来たのです。ところが彼らはエリヤを認めようとせず、彼に対して好き勝手なことをしたのです。人の子もまた、彼らから同じように苦しめられようとしています。」

13 そのとき、弟子たちは、イエスがバプテスマのヨハネのことを言われたのだと気づいた。

14 彼らが群衆のところに来たとき、ひとりの人がイエスのそば近くに来て、御前にひざまずいて言った。

15 「主よ。私の息子をあわれんでください。てんかんで、たいへん苦しんでおります。何度も何度も火の中に落ちたり、水の中に落ちたりいたします。

16 そこで、その子をお弟子たちのところに連れて来たのですが、直すことができませんでした。」

17 イエスは答えて言われた。「ああ、不信仰な、曲がった今の世だ。いつまであなたがたといっしょにいなければならないのでしょう。いつまであなたがたにがまんしていなければならないのでしょう。その子をわたしのところに連れて来なさい。」

18 そして、イエスがその子をおしかりになると、悪霊は彼から出て行き、その子はその時から直った。

19 そのとき、弟子たちはそっとイエスのもとに来て、言った。「なぜ、私たちには悪霊を追い出せなかったのですか。」

20 イエスは言われた。「あなたがたの信仰が薄いからです。まことに、あなたがたに告げます。もし、からし種ほどの信仰があったら、この山に、『ここからあそこに移れ。』と言えば移るのです。どんなことでも、あなたがたにできないことはありません。

21 〔ただし、この種のものは、祈りと断食によらなければ出て行きません。〕」

22 彼らがガリラヤに集まっていたとき、イエスは彼らに言われた。「人の子は、いまに人々の手に渡され

---

1) 彼らが 1 ②彼ら
2) 人の子 2 ②人の子
3) 死人の中から 3 ②死人の中から
4) いま見た幻を 4 ②見た幻を
1) エリヤが来る 10 ②エリヤが来る
1) 彼らが 14 ②彼ら
2) 人の子 15 ②人の子
1) 悪霊 18 ②悪霊
1) 祈りと断食によらなければ出て行きません 21 ②祈りと断食によらなければ出て行きません
2) 人の子 22 ②人の子

---

5 ①Ⅱペテ一・一七、一八 ②㊐マタ三・一七
7 ①㊐マタ一四・二七 ②㊐マタ二八・一〇
9 ①マタ七・九・一三、マコ九・九・一三、②マタ七・一三 ㊐マタ八・二〇、③㊐マタ八・二〇、㊐マタ一六・二〇
10 ①㊐マタ一一・一四、マコ九・一一、マタ七・一四・一八 ルカ九・七・㊐四三
14 ①マタ七・一四・一六、マコ九・一四・一六、マタ七・一四・一八 ルカ九・七・㊐四三
15 * あるいは「先生」
① マタ四・二四
** 直訳「月に打たれた」
20 ①マタ二一・二一、マコ一一・二三、ルカ七・六 ②マタ一七・一九、ルカ一七・六 ③マタ七・九、㊐Ⅰコリ一三・二 ④㊐マコ九・二九、ヨハ一五・五
21 * 古い写本の多くは、この節を欠く
① ㊐マコ九・二九
22 ①マタ一七・二二、マコ九・三一、ルカ九・四四
27 ③ロマ一六・二四、Ⅱコリ一三・一三、エペ六・八、コロ三・二五 黙二・三、三・三、二二・一二 ㊐Ⅰコリ三・一三
28 ①㊐マタ八・二〇、②マタ一〇・三、㊐マタ一二・三六、ルカ二・七、使一・一一、Ⅰコリ三・一三、Ⅰテサ一・一〇、四・一六、Ⅱテサ一・七、一〇、二・八、ヤコ五・七、八、Ⅱペテ一・一六、三・四、三、Ⅰヨハ二・二八、黙一・七 ㊐ヨハ二一・二二、三・三
1 ①マタ七・一八、マコ九・二九、ルカ六・二六、七、②マタ二六・二七、㊐マコ五・二六、㊐マコ一三・二、②㊐使三・二、㊐マコ九・三八、ルカ九・三三
4 ①㊐使三・二、②㊐マコ九・三八、ルカ九・三三
5 ①Ⅱペテ一・一七、一八 ②㊐マタ三・一七
7 ①㊐マタ一四・二七 ②㊐マタ二八・一〇
9 ①マタ七・九・一三、マコ九・九・一三、②マタ七・一三 ㊐マタ八・二〇、③㊐マタ八・二〇、㊐マタ一六・二〇
10 ①㊐マタ一一・一四、㊐マタ一六・一四 ②㊐マタ一七・一二、㊐マタ一六・二〇
12 ①マタ七・九、一三、㊐マタ八・二〇
14 ①マタ七・一四・一六、マコ九・一四・一六、マタ七・一四・一八 ルカ九・七・㊐四三
15 * あるいは「先生」
① マタ四・二四
** 直訳「月に打たれた」
20 ①マタ一一・二一、マコ一一・二三、ルカ七・六 ②マタ一七・一九、ルカ一七・六 ③マタ七・九、㊐Ⅰコリ一三・二 ④㊐マコ九・二九、ヨハ一五・五
21 * 古い写本の多くは、この節を欠く
① ㊐マコ九・二九
22 ①マタ一七・二二、マコ九・三一、ルカ九・四四
27 ③ロマ一六・二四、Ⅱコリ一三・一三、エペ六・八、コロ三・二五 黙二・三、三・三、二二・一二 ㊐Ⅰコリ三・一三
28 ①㊐マタ八・二〇、②マタ一〇・三、㊐マタ一二・三六、ルカ二・七、使一・一一、Ⅰコリ一五・三、Ⅰテサ一・一〇、四・一六、Ⅱテサ一・七、一〇、二・八、ヤコ五・七、八、Ⅱペテ一・一六、三・四、三、Ⅰヨハ二・二八、黙一・七 ㊐ヨハ二一・二二、三・三
1 ①マタ七・一八、マコ九・二九、ルカ六・二六、七、②マタ二六・二七、㊐マコ五・二六、㊐マコ一三・二、②㊐使三・二、㊐マコ九・三八、ルカ九・三三
4 ①㊐使三・二、②㊐マコ九・三八、ルカ九・三三

ます。
23 そして彼らに殺されるが、三日目によみがえります。」すると、彼らは非常に悲しんだ。
24 また、彼らがカペナウムに来たとき、[1]宮の納入金を集める人たちが、ペテロのところに来て言った。「あなたがたの先生は、宮の*納入金を納めないのですか。」
25 彼は「納めます。」と言って、家にはいると、先にイエスのほうからこう言い出された。「シモン。どう思いますか。世の王たちはだれから税や貢を取り立てますか。自分の子どもたちからですか、それともほかの人たちからですか。」
26 ペテロが「ほかの人たちからです。」と言うと、イエスは言われた。「では、子どもたちにはその義務がないのです。
27 しかし、彼らにつまずきを与えないために、湖に行って釣りをして、最初に釣れた魚を取りなさい。その口をあけるとスタテル一枚が見つかるから、それを取って、わたしとあなたとの分として納めなさい。」

18

1 そのとき、弟子たちがイエスのところに来て言った。「それでは、天の御国では、だれが一番偉いのでしょうか。」
2 そこで、イエスは小さい子どもを呼び寄せ、彼らの真中に立たせて、
3 言われた。「まことに、あなたがたに告げます。あなたがたも悔い改めて子どもたちのようにならない限り、決して天の御国には、はいれません。
4 だから、この子どものように、自分を低くする者が、天の御国で一番偉い人です。
5 また、だれでも、このような子どものひとりを、わたしの名のゆえに受け入れる者は、わたしを受け入れるのです。
6 しかし、わたしを信じるこの小さい者たちのひとりにでもつまずきを与えるような者は、*大きい石臼を首にかけられて、湖の深みでおぼれ死んだほうがましです。
7 つまずきを与えるこの世は忌まわしいものです。つまずきが起こることは避けられないが、つまずきをもたらす者は忌まわしいものです。
8 もし、あなたの手か足の一つがあなたをつまずかせるなら、それを切って捨てなさい。片手片足でいのちにはいるほうが、両手両足そろっていて永遠の火に投げ入れられるよりは、あなたにとってよいことです。
9 また、もし、あなたの一方の目が、あなたをつまずかせるなら、それをえぐり出して捨てなさい。片目でいのちにはいるほうが、両目そろっていてゲヘナに投げ入れられるよりは、あなたにとってよいことです。
10 あなたがたは、この小さい者たちを、ひとりでも見下げたりしないように気をつけなさい。まことに、あなたがたに告げます。彼らの天の御使いたちは、天におられるわたしの父の御顔をいつも見ているからです。
11 *〔人の子は、滅んでいる者を救うために来たのです。〕

---

23 ①参マタ一六・二一、マタ一七・九
24 ①出三〇・一三-一六 *直訳「二ドラクマ」 デナリ
25 ①ロマ一三・七、②参マタ三・一七、一九
27 ①マタ五・二九、三〇、一八・八、九 マコ九・四三、四五、四七、ルカ一七・二、ヨハ六・六、Ⅰコリ八・一三 *あるいは「シケル」 四ドラクマ 参マタ一七・二四注
1 ①マタ一八・一、五、マコ九・三四、ルカ九・四六、四八
3 *直訳「向きを変えて」 ①マタ一六・二四、マコ一〇・一五、ルカ一八・一七、脱Ⅰコリ一四・二〇、Ⅰペテ二・二
6 ①マコ九・四二、ルカ一七・二 脱Ⅰコリ八・一三、②参マタ一七・七 *直訳「ろばがひく石臼」
7 ①ルカ一七・一、Ⅰコリ一一・一九、Ⅰテモ四・一
8 ①マコ九・四三、マコ九・四五 脱マタ一七・一七、②参マタ一七・七
9 ①マタ五・二九、マコ九・四七 脱マタ一七・七、②参マタ一七・七、③マタ五・二二
10 ①脱使三・二五、ルカ一・一九
11 *古い写本の多くはこの節を欠く ①参ルカ九・一〇

12 あなたがたはどう思いますか。もし、だれかが百匹
の羊を持っていて、そのうちの一匹が迷い出たとした
ら、その人は九十九匹を山に残して、迷った一匹を捜
しに出かけないでしょうか。
13 そして、もし、いたとなれば、まことに、あなたが
たに告げます。その人は迷わなかった九十九匹の羊以
上にこの一匹を喜ぶのです。
14 このように、この小さい者たちのひとりが滅びるこ
とは、天にいますあなたがたの父のみこころではあり
ません。
15 また、もし、あなたの兄弟が罪を犯したなら、行
って、ふたりだけのところで責めなさい。もし聞き入
れたら、あなたは兄弟を得たのです。
16 もし聞き入れないなら、ほかにひとりかふたりをい
っしょに連れて行きなさい。ふたりか三人の証人の口
によって、すべての事実が確認されるためです。
17 それでもなお、言うことを聞き入れようとしないな
ら、教会に告げなさい。教会の言うことさえも聞こう
としないなら、彼を異邦人か取税人のように扱いなさ
い。
18 まことに、あなたがたに告げます。何でもあなたが
たが地上でつなぐなら、それは天においてもつながれ
ており、あなたがたが地上で解くなら、それは天にお
いても解かれているのです。
19 まことに、あなたがたにもう一度、告げます。もし、
あなたがたのうちふたりが、どんな事でも、地上で心
を一つにして祈るなら、天におられるわたしの父は、
それをかなえてくださいます。
20 ふたりでも三人でも、わたしの名において集まる所
には、わたしもその中にいるからです。」
21 そのとき、ペテロがみもとに来て言った。「主よ。
兄弟が私に対して罪を犯したばあい、何度まで赦すべ
きでしょうか。七度までですか。」
22 イエスは言われた。「七度まで、などとはわたしは言
いません。七度を七十倍するまでと言います。
23 このことから、天の御国は、地上の王にたとえるこ
とができます。
王はそのしもべたちと清算をしたいと思った。
24 清算が始まると、まず一万タラントの借りのあるし
もべが、王のところに連れて来られた。
25 しかし、彼は返済することができなかったので、そ
の主人は彼に、自分も妻子も持ち物全部も売って返
済するように命じた。
26 それで、このしもべは、主人の前にひれ伏して、『ど
うかご猶予ください。そうすれば全部お払いいたし
ます。』と言った。
27 しもべの主人は、かわいそうに思って、彼を赦し、
借金を免除してやった。
28 ところが、そのしもべは、出て行くと、同じしもべ
仲間で、彼から百デナリの借りのある者に出会った。
彼はその人をつかまえ、首を絞めて、『借金を返せ。』
と言った。

12 ①マタ六・二一四、既ルカ一五・四七
14 * 直訳「父の御前に」
15 ①ルカ一七・三、既ガラ六・一 Ⅱテサ三・一五、ヤコ五・一九 レビ一九・一七 * 「あなたに対して」を挿入する異本も多い ** 直訳「あなたと彼だけの間で」
16 ①申一九・一五、ヨハ八・一七 Ⅱコリ一三・一、Ⅰテモ五・一九 ヘブ一〇・二八 * 直訳「ことば」
17 ①既Ⅰコリ六・一以下 ②既Ⅱテサ三・六、一四、一五
18 ①マタ一六・一九、ヨハ二〇・二三 * あるいは「禁じる」 ** あるいは「赦す」
19 ①圏マタ七・七
21 ①既マタ六・一二 ②ルカ一七・四
22 ①既創四・二四
23 ①圏マタ一三・二四、②マタ二五・一九
24 * 一タラントは六〇〇〇デナリに相当する。圏マタ一八・二六注
25 ①ルカ七・四二、②既出二一・三 レビ二五・二九、Ⅱ列四・一、ネヘ五・五
26 ①圏マタ八・二
28 * 一デナリは当時の一日分の労賃に相当する

29 彼の仲間は、ひれ伏して、『もう少し待ってくれ。そうしたら返すから。』と言って頼んだ。
30 しかし彼は承知せず、連れて行って、借金を返すまで牢に投げ入れた。
31 彼の仲間たちは事の成り行きを見て、非常に悲しみ、行って、その一部始終を主人に話した。
32 そこで、主人は彼を呼びつけて言った。『悪いやつだ。おまえがあんなに頼んだからこそ借金全部を赦してやったのだ。
33 私がおまえをあわれんでやったように、おまえも仲間をあわれんでやるべきではないか。』
34 こうして、主人は怒って、借金を全部返すまで、彼を獄吏に引き渡した。
35 あなたがたもそれぞれ、心から兄弟を赦さないなら、天のわたしの父も、あなたがたに、このようになさるのです。」

19

1 イエスはこの話を終えると、ガリラヤを去って、ヨルダンの向こうにあるユダヤ地方に行かれた。
2 すると、大ぜいの群衆がついて来たので、そこで彼らをおいやしになった。
3 パリサイ人たちがみもとにやって来て、イエスを試みて、こう言った。「何か理由があれば、妻を離別することは律法にかなっているでしょうか。」
4 イエスは答えて言われた。「創造者は、初めから人を男と女に造って、
5 『それゆえ、人はその父と母を離れて、その妻と結ばれ、ふたりの者が一心同体になるのだ。』と言われたのです。それを、あなたがたは読んだことがないのですか。
6 それで、もはやふたりではなく、ひとりなのです。こういうわけで、人は、神が結び合わせたものを引き離してはなりません。」
7 彼らはイエスに言った。「では、モーセはなぜ、離婚状を渡して妻を離別せよ、と命じたのですか。」
8 イエスは彼らに言われた。「モーセは、あなたがたの心がかたくなので、その妻を離別することをあなたがたに許したのです。しかし、初めからそうだったのではありません。
9 まことに、あなたがたに告げます。だれでも、不貞のためでなくて、その妻を離別し、別の女を妻にする者は姦淫を犯すのです。」
10 弟子たちはイエスに言った。「もし妻に対する夫の立場がそんなものなら、結婚しないほうがましです。」
11 しかし、イエスは言われた。「そのことばは、だれでも受け入れることができるわけではありません。ただ、それが許されている者だけができるのです。
12 というのは、母の胎内から、そのように生まれついた独身者がいます。また、人から独身者にさせられた者もいます。また、天の御国のために、自分から独身者になった者もいるからです。それができる者はそれを受け入れなさい。」

---

35 ①創マタ六・一四
1 ①創マタ七・二八、②マタ一九・一、マコ一〇・一
2 ①創マタ四・二三
3 ①比マタ五・三一
4 ①創一・二七、五・二
5 ①エペ五・三一、創二・二四、②Ⅰコリ六・一六
7 ①申二四・一
9 ①創マタ五・三二
*「彼女に姦淫をさせる」とする異本もある
**「そして離縁された女を妻とする者は姦淫を犯すのです」を挿入する異本もある
11 ①出Ⅰコリセ・七以下、一七、②創マタ一九・一一

13 そのとき、イエスに手を置いて祈っていただくために、子どもたちが連れて来られた。ところが、弟子たちは彼らをしかった。
14 しかし、イエスは言われた。「子どもたちを許してやりなさい。邪魔をしないでわたしのところに来させなさい。天の御国はこのような者たちの国なのです。」
15 そして、手を彼らの上に置いてから、そこを去って行かれた。
16 すると、ひとりの人がイエスのもとに来て言った。「先生。永遠のいのちを得るためには、どんな良いことをしたらよいのでしょうか。」
17 イエスは彼に言われた。「なぜ、良いことについて、わたしに尋ねるのですか。良い方は、ひとりだけです。もし、いのちにはいりたいと思うなら、戒めを守りなさい。」
18 彼は「どの戒めですか。」と言った。そこで、イエスは言われた。「殺してはならない。姦淫してはならない。盗んではならない。偽証をしてはならない。
19 父と母を敬え。あなたの隣人を自分と同じように愛せよ。」
20 この青年はイエスに言った。「そのようなことはみな、守っております。何がまだ欠けているのでしょうか。」
21 イエスは、彼に言われた。「もし、あなたが完全になりたいなら、帰って、あなたの持ち物を売り払って貧しい人たちに与えなさい。そうすれば、あなたは天に宝を積むことになります。そのうえで、わたしについて来なさい。」
22 ところが、青年はこのことばを聞くと、悲しんで去って行った。この人は多くの財産を持っていたからである。
23 それから、イエスは弟子たちに言われた。「まことに、あなたがたに告げます。金持ちが天の御国にはいるのはむずかしいことです。
24 まことに、あなたがたにもう一度、告げます。金持ちが神の国にはいるよりは、らくだが針の穴を通るほうがもっとやさしい。」
25 弟子たちは、これを聞くと、たいへん驚いて言った。「それでは、だれが救われることができるのでしょう。」
26 イエスは彼らをじっと見て言われた。「それは人にはできないことです。しかし、神にはどんなことでもできます。」
27 そのとき、ペテロはイエスに答えて言った。「ご覧ください。私たちは、何もかも捨てて、あなたに従ってまいりました。私たちは何がいただけるでしょうか。」
28 そこで、イエスは彼らに言われた。「まことに、あなたがたに告げます。世が改まって人の子がその栄光の座に着く時、わたしに従って来たあなたがたも十二の座に着いて、イスラエルの十二の部族をさばくのです。
29 また、わたしの名のために、家、兄弟、姉妹、父、母、子、あるいは畑を捨てた者はすべて、その幾倍もを受け、また永遠のいのちを受け継ぎます。

13 ①マタ七・一三一、マコ一〇・一三一六、ルカ八・一七一七
14 ①マタ八・一四、マコ一〇・一五、ルカ八・一七、旧Ⅰコリ一四・二〇、Ⅰペテ二・二、②旧マタ五・三
16 ①マタ九・一六一九、マコ一〇・一七一三〇、ルカ八・一八一三〇、旧ルカ一〇・二五一六、②旧マタ五・四八
17 ①レビ一九・三七、ネヘ九・二九、エゼ二〇・二一
18 ①出二〇・一三一六、申五・一七一二〇
19 ①出二〇・一二、申五・一六、②レビ一九・一八
21 ①ルカ一二・三三、旧ルカ一六・九、使二・四五、四・三四、三五、②マタ六・二〇
23 ①旧マタ一三・二二、マコ一〇・二三、二四、ルカ一八・二四
24 ①マコ一〇・二五、ルカ一八・二五
26 ①創一八・一四、ヨブ四二・二、エレ三二・一七、ゼカ八・六、マコ一〇・二七、ルカ一八・二七、旧ルカ一・三七
28 ①マタ二五・三一、②ルカ二二・三〇、旧黙示二・二六、三・四、二一・二六、二二・四
29 ①マコ一〇・二九、三〇、ルカ一八・二九、三〇、旧マタ六・三三
*「妻」を挿入する本も多い
**「百倍も」とある異本も多い

30 ただ、先の者があとになり、あとの者が先になることが多いのです。

20

1 天の御国は、自分のぶどう園で働く労務者を雇いに朝早く出かけた主人のようなものです。
2 彼は、労務者たちと一日一デナリの約束ができると、彼らをぶどう園にやった。
3 それから、九時ごろに出かけてみると、別の人たちが市場に立っており、何もしないでいた。
4 そこで、彼はその人たちに言った。『あなたがたも、ぶどう園に行きなさい。相当のものを上げるから。』
5 それからまた、十二時ごろと三時ごろに出かけて行って、同じようにした。
6 また、五時ごろ出かけてみると、別の人たちが立っていたので、彼らに言った。『なぜ、一日中仕事もしないでここにいるのですか。』
7 彼らは言った。『だれも雇ってくれないからです。』彼は言った。『あなたがたも、ぶどう園に行きなさい。』
8 こうして、夕方になったので、ぶどう園の主人は、監督に言った。『労務者たちを呼んで、最後に来た者たちから順に、最初に来た者たちにまで、賃金を払ってやりなさい。』
9 そこで、五時ごろに雇われた者たちが来て、それぞれ一デナリずつもらった。
10 最初の者たちがもらいに来て、もっと多くもらえるだろうと思ったが、彼らもやはりひとり一デナリずつであった。
11 そこで、彼らはそれを受け取ると、主人に文句をつけて、
12 言った。『この最後の連中は一時間しか働かなかったのに、あなたは私たちと同じにしました。私たちは一日中、労苦と焼けるような暑さを辛抱したのです。』
13 しかし、彼はそのひとりに答えて言った。『私はあなたに何も不当なことはしていない。あなたは私と一デナリの約束をしたではありませんか。
14 自分の分を取って帰りなさい。ただ私としては、この最後の人にも、あなたと同じだけ上げたいのです。
15 自分のものを自分の思うようにしてはいけないという法がありますか。それとも、私が気前がいいので、あなたの目にはねたましく思われるのですか。』
16 このように、あとの者が先になり、先の者があとになるものです。」
17 さて、イエスは、エルサレムに上ろうとしておられたが、十二弟子だけを呼んで、道々彼らに話された。
18 「さあ、これから、わたしたちはエルサレムに向かって行きます。人の子は、祭司長、律法学者たちに引き渡されるのです。彼らは人の子を死刑に定めます。
19 そして、あざけり、むち打ち、十字架につけるため、異邦人に引き渡します。しかし、人の子は三日目によ

1 ①圏マタ二〇・二四、②マタ二一・六、三*
* あるいは「地主」
3 * 原語「第三時」
5 * 原語「第六時ごろと第九時ごろ」
6 * 原語「第十一時」
8 ①レビ一九・一三、②旧ルカ・三
12 ①旧ヨナ四・八、ルカ三・五五
ヤコ・二
15 * 直訳「良い」
①圏マタ六・二三、旧申一五・九
** 直訳「悪く」
16 ①圏マタ一九・三〇
17 ①マタ二〇・一七―一九、マコ一〇・三二―三四、ルカ八・三一―三三
18 ①圏マタ一六・二一
19 ①マタ一七・二二、旧使二・二三、一三・二七・二八、②圏マタ一六・二一

みがえります。」
20 そのとき、ゼベダイの子たちの母が、子どもたちといっしょにイエスのもとに来て、ひれ伏して、お願いがありますと言った。
21 イエスが彼女に、「どんな願いですか。」と言われると、彼女は言った。「私のこのふたりの息子が、あなたの御国で、ひとりはあなたの右に、ひとりは左にすわれるようにおことばを下さい。」
22 けれども、イエスは答えて言われた。「あなたがたは自分が何を求めているのか、わかっていないのです。わたしが飲もうとしている杯を飲むことができますか。」彼らは「できます。」と言った。
23 イエスは言われた。「あなたがたはわたしの杯を飲みはします。しかし、わたしの右と左にすわることは、このわたしの許すことではなく、わたしの父によってそれに備えられた人々があるのです。」
24 このことを聞いたほかの十人は、このふたりの兄弟のことで腹を立てた。
25 そこで、イエスは彼らを呼び寄せて、言われた。「あなたがたも知っているとおり、異邦人の支配者たちは彼らを支配し、偉い人たちは彼らの上に権力をふるいます。
26 あなたがたの間では、そうではありません。あなたがたの間で偉くなりたいと思う者は、みなに仕える者になりなさい。
27 あなたがたの間で人の先に立ちたいと思う者は、あなたがたのしもべになりなさい。
28 人の子が来たのが、仕えられるためではなく、かえって仕えるためであり、また、多くの人のための、贖いの代価とし、自分のいのちを与えるためであるのと同じです。」
29 彼らがエリコを出て行くと、大ぜいの群衆がイエスについて行った。
30 すると、道ばたにすわっていたふたりの盲人が、イエスが通られると聞いて、叫んで言った。「主よ。私たちをあわれんでください。ダビデの子よ。」
31 そこで、群衆は彼らを黙らせようとして、たしなめたが、彼らはますます、「主よ。私たちをあわれんでください。ダビデの子よ。」と叫び立てた。
32 すると、イエスは立ち止まって、彼らを呼んで言われた。「わたしに何をしてほしいのか。」
33 彼らはイエスに言った。「主よ。この目をあけていただきたいのです。」
34 イエスはかわいそうに思って、彼らの目にさわられた。すると、すぐさま彼らは見えるようになり、イエスについて行った。

21

1 それから、彼らはエルサレムに近づき、オリーブ山のふもとのベテパゲまで来た。そのとき、イエスは、弟子をふたり使いに出して、
2 言われた。「向こうの村へ行きなさい。そうするとすぐに、ろばがつながれていて、いっしょにろばの子

---

20 ①マタ三・二①一六、マコ一〇・三五一四五、②マタ四・二一①二、③聞マタ八・二
21 ①聞マタ一九・二八
22 ①マタ二〇・二五、四三、ルカ三・四三、ヨハ八・二一、聞イザ五一・一七、三三、エレ四九・一二
23 ①聞使三・一二、黙二・九、②聞マタ二〇・二一、③マタ二〇・二三
＊直訳「人々に」。
25 ①マタ二〇・二五一六、聞ルカ三・二五一七
26 ①マタ二〇・二一、マコ九・三五、一〇・四三
28 ①聞マタ八・二〇、②聞マタ二六・二八、ヨハ一三・一三以下、Ⅱコリ八・九、ピリ二・七、Ⅰテモ二・六、テト二・一四、ヘブ九・二六、黙一・五
29 ①マタ二〇・二九一四、マコ一〇・四六一五二、ルカ一八・三五一四三、聞マタ九・二七一三
30 ①マタ二〇・三一、②聞マタ九・二七
31 ①聞マタ九・二七、マコ一〇・四八、ルカ九・三九、②マタ二〇・三一、三三、マコ一〇・四七、四八、ルカ九・三七、三八、聞ルカ九・三九、三一、ヨハ八・一、聞ルカ九・三九、三一、三七、使一・三

がいるのに気がつくでしょう。それをほどいて、わたしのところに連れて来なさい。
3 もしだれかが何か言ったら、『主がお入用なのです。』と言いなさい。そうすれば、すぐに渡してくれます。」
4 これは、預言者を通して言われた事が成就するために起こったのである。
5 「シオンの娘に伝えなさい。
『見よ。あなたの王が、
あなたのところにお見えになる。
柔和で、ろばの背に乗って、
それも、荷物を運ぶろばの子に乗って。』」
6 そこで、弟子たちは行って、イエスが命じられたとおりにした。
7 そして、ろばと、ろばの子とを連れて来て、自分たちの上着をその上に掛けた。イエスはそれに乗られた。
8 すると、群衆のうち大ぜいの者が、自分たちの上着を道に敷き、また、ほかの人々は、木の枝を切って来て、道に敷いた。
9 そして、群衆は、イエスの前を行く者も、あとに従う者も、こう言って叫んでいた。
「ダビデの子にホサナ。
祝福あれ。主の御名によって来られる方に。
ホサナ。いと高き所に。」
10 こうして、イエスがエルサレムにはいられると、都中がこぞって騒ぎ立ち、「この方は、どういう方なのか。」と言った。
11 群衆は、「この方は、ガリラヤのナザレの、預言者イエスだ。」と言った。
12 それから、イエスは宮にはいって、宮の中で売り買いする者たちをみな追い出し、両替人の台や、鳩を売る者たちの腰掛けを倒された。
13 そして彼らに言われた。「『わたしの家は祈りの家と呼ばれる。』と書いてある。それなのに、あなたがたはそれを強盗の巣にしている。」
14 また、宮の中で、盲人や足なえがみもとに来たので、イエスは彼らをいやされた。
15 ところが、祭司長、律法学者たちは、イエスのなさった驚くべきいろいろのことを見、また宮の中で子どもたちが「ダビデの子にホサナ。」と言って叫んでいるのを見て腹を立てた。
16 そしてイエスに言った。「あなたは、子どもたちが何と言っているか、お聞きですか。」イエスは言われた。「聞いています。『あなたは幼子と乳飲み子たちの口に賛美を用意された。』とあるのを、あなたがたは読まなかったのですか。」
17 イエスは彼らをあとに残し、都を出てベタニヤに行き、そこに泊まられた。
18 翌朝、イエスは都に帰る途中、空腹を覚えられた。
19 道ばたにいちじくの木が見えたので、近づいて行かれたが、葉のほかは何もないのに気づかれた。それで、イエスはその木に「おまえの実は、もういつまでも、ならないように。」と言われた。すると、たちまち

3 * 直訳「派遣して」
4 ①マタ二・四-九、ヨハ一二・一四
5 ①イザ六二・一一、ゼカ九・九
8 ①出二三・一、列ヘ・一三
9 ①㊎マタ二三・九、②出詩一一八・二六・一一四、③出ル二・一四
11 ①マタ二一・三、②ヨハ一・二一、三一・四〇、七・四〇、使三・二二、七・三七、出マタ二一・二六、マコ六・一五、ルカ七・一六、二四・一九、ヨハ四・一九、六・一七
12 ①マタ二一・二一六、マコ一一・一五-一八、ルカ一九・四五-四六、マタ二一・一二、一三、ヨハ二・一四-一六、②出出三〇・一三、③レビ一二・一四、五・七、一三・八
13 ①イザ五六・七、エレ七・一一 * 直訳「ほら穴」
14 ①㊎マタ四・二三
15 ①㊎マタ九・二七
16 ①詩八・二
17 ①マタ二六・六、マコ一四・三、三一四-三、ルカ二四・五〇、二四・五三、ヨハ一二・一、二六、二一・一
18 ①マタ二一・二-三、マコ一一・一三-一四、二〇-二四

いちじくの木は枯れた。
20 弟子たちは、これを見て、驚いて言った。「どうして、こうすぐにいちじくの木が枯れたのでしょうか。」
21 イエスは答えて言われた。「まことに、あなたがたに告げます。もし、あなたがたが、信仰を持ち、疑うことがなければ、いちじくの木になされたようなことができるだけでなく、たとい、この山に向かって、『動いて、海にはいれ。』と言っても、そのとおりになります。
22 あなたがたが信じて祈り求めるものなら、何でも与えられます。」
23 それから、イエスが宮にはいって、教えておられると、祭司長、民の長老たちが、みもとに来て言った。「何の権威によって、これらのことをしておられるのですか。だれが、あなたにその権威を授けたのですか。」
24 イエスは答えて、こう言われた。「わたしも一言あなたがたに尋ねましょう。もし、あなたがたが答えるなら、わたしも何の権威によって、これらのことをしているかを話しましょう。
25 ヨハネのバプテスマは、どこから来たものですか。天からですか。それとも人からですか。」すると、彼らはこう言いながら、互いに論じ合った。「もし、天から、と言えば、それならなぜ、彼を信じなかったか、と言うだろう。
26 しかし、もし、人から、と言えば、群衆がこわい。彼らはみな、ヨハネを預言者と認めているのだから。」
27 そこで、彼らはイエスに答えて、「わかりません。」と言った。イエスもまた彼らにこう言われた。「わたしも、何の権威によってこれらのことをするのか、あなたがたに話すまい。
28 ところで、あなたがたは、どう思いますか。ある人にふたりの息子がいた。その人は兄のところに来て、『*きょう、ぶどう園に行って働いてくれ。』と言った。
29 兄は答えて『行きます。*おとうさん。』と言ったが、行かなかった。
30 それから、弟のところに来て、同じように言った。ところが、弟は答えて『行きたくありません。』と言ったが、あとから悪かったと思って出かけて行った。
31 ふたりのうちどちらが、父の願ったとおりにしたのでしょう。」彼らは言った。「あとの者です。」イエスは彼らに言われた。「まことに、あなたがたに告げます。取税人や遊女たちのほうが、あなたがたより先に神の国にはいっているのです。
32 というのは、あなたがたは、ヨハネが義の道を持って来たのに、彼を信じなかった。しかし、取税人や遊女たちは彼を信じたからです。しかもあなたがたは、それを見ながら、あとになって悔いることもせず、彼を信じなかったのです。
33 もう一つのたとえを聞きなさい。ひとりの、家の主人がいた。彼はぶどう園を造って、垣を巡らし、その中に酒ぶねを掘り、やぐらを建て、それを農夫たちに貸して、旅に出かけた。

21 ①マタ七・二三、マコ一一・二三、ルカ一七・六、ヤコ一・六
22 ①脚マタ七・七
23 ①マタ二一・二三上、七、マコ一一・二七・二三、ルカ二〇・八
26 ①脚マタ一四・五、脚マコ六・二〇
28 *原文に「子よ」という呼びかけ語がある
①マタ二一・三、三一
29 *直訳「主よ」
31 ①ルカ七・二九、三〇
32 ①ルカ三・一三
33 ①マタ二一・三三四六、マコ一二・一二、ルカ二〇・九一九
②マタ二一・三三、二〇・一
③詩八〇・八、イザ五・一以下
④イザ五・一
*あるいは「小作人」(三四、三五、三八、四〇節も同様)
⑤マタ二五・一四

34 さて、*収穫の時が近づいたので、主人は自分の分を
受け取ろうとして、農夫たちのところへしもべたち
を遣わした。
35 すると、農夫たちは、そのしもべたちをつかまえて、
ひとりは袋だたきにし、もうひとりは殺し、もうひ
とりは石で打った。
36 そこでもう一度、前よりももっと多くの別のしもべ
たちを遣わしたが、やはり同じような扱いをした。
37 しかし、そのあと、その主人は、『私の息子なら、敬
ってくれるだろう。』と言って、息子を遣わした。
38 すると、農夫たちは、その子を見て、こう話し合っ
た。『あれはあと取りだ。さあ、あれを殺して、あれの
ものになるはずの財産を手に入れようではないか。』
39 そして、彼をつかまえて、ぶどう園の外に追い出し
て殺してしまった。
40 このばあい、ぶどう園の主人が帰って来たら、その
農夫たちをどうするでしょう。」
41 彼らはイエスに言った。「その悪党どもを情け容赦
なく殺して、そのぶどう園を、季節にはきちんと収穫
を納める別の農夫たちに貸すに違いありません。」
42 イエスは彼らに言われた。「あなたがたは、次の聖書
のことばを読んだことがないのですか。
『家を建てる者たちの見捨てた石。
それが礎の石になった。
これは主のなさったことだ。
私たちの目には、
不思議なことである。』
43 だから、わたしはあなたがたに言います。神の国は
あなたがたから取り去られ、神の国の実を結ぶ国民に
与えられます。
44 また、この石の上に落ちる者は、粉々に砕かれ、こ
の石が人の上に落ちれば、その人を粉みじんに飛ばし
てしまいます。」
45 祭司長たちとパリサイ人たちは、イエスのこれらの
たとえを聞いたとき、自分たちをさして話しておられ
ることに気づいた。
46 それでイエスを捕えようとしたが、群衆を恐れた。
群衆はイエスを預言者と認めていたからである。

22

1 イエスはもう一度たとえをもって
彼らに話された。
2 「天の御国は、王子のために結婚の披露宴を設けた
王にたとえることができます。
3 王は、招待しておいたお客を呼びに、しもべたちを
遣わしたが、彼らは来たがらなかった。
4 それで、もう一度、次のように言いつけて、別のし
もべたちを遣わした。『お客に招いておいた人たち
にこう言いなさい。「さあ、食事の用意ができまし
た。雄牛も太った家畜もほふって、何もかも整いま
した。どうぞ宴会にお出かけください。」』
5 ところが、彼らは気にもかけず、ある者は畑に、別
の者は商売に出て行き、
6 そのほかの者たちは、王のしもべたちをつかまえて

34 *直訳「結実」
①マタ三・三
36 ①マタ三・四
41 ①詩一一八・二二、使四・一一、使一三・四六、一八・六、二八・二六
42 ①詩一一八・二三、使四・一一、Ⅰペテ二・七、詩ロマ九・三三
46 ①マタ二一・二六、②マタ二一・一一
1 ①使一・三
2 ①マタ二二・二、四、詩ルカ一四・一六、二四、詩マタ二二・四
3 ①マタ二二・四
4 ①マタ二二・二六
5 *あるいは「野」

恥をかかせ、そして殺してしまった。
7 王は怒って、兵隊を出して、その人殺しどもを滅ぼし、彼らの町を焼き払った。
8 そのとき、王はしもべたちに言った。『宴会の用意はできているが、招待しておいた人たちは、それにふさわしくなかった。
9 だから、[1]大通りに行って、出会った者をみな宴会に招きなさい。』
10 それで、しもべたちは、通りに出て行って、良い人でも悪い人でも出会った者をみな集めたので、宴会場は[*]客でいっぱいになった。
11 ところで、王が客を見ようとしてはいって来ると、そこに婚礼の礼服を着ていない者がひとりいた。
12 そこで、王は言った。『[**]あなたは、どうして礼服を着ないで、ここにはいって来たのですか。』しかし、彼は黙っていた。
13 そこで、王はしもべたちに、『あれの手足を縛って、外の暗やみに放り出せ。そこで泣いて歯ぎしりするのだ。』と言った。
14 [1]招待される者は多いが、[1]選ばれる者は少ないのです。」

15 そのころ、パリサイ人たちは出て来て、どのようにイエスをことばのわなにかけようかと相談した。
16 彼らはその弟子たちを、[1]ヘロデ党の者たちといっしょにイエスのもとにやって、こう言わせた。「先生。私たちは、あなたが真実な方で、真理に基づいて神の道を教え、[*]だれをもはばからない方だと存じています。あなたは、人の顔色を見ないからです。
17 それで、どう思われるのか言ってください。[1]税金をカイザルに納めることは、[*]律法にかなっていることでしょうか。かなっていないことでしょうか。」
18 イエスは彼らの悪意を知って言われた。「偽善者たち。なぜ、わたしをためすのか。
19 [1]納め金にするお金をわたしに見せなさい。」そこで彼らは、[*]デナリを一枚イエスのもとに持って来た。
20 そこで彼らに言われた。「これは、だれの肖像ですか。だれの銘ですか。」
21 彼らは、「カイザルのです。」と言った。そこで、イエスは言われた。「[1]それなら、カイザルのものはカイザルに返しなさい。そして神のものは神に返しなさい。」
22 彼らは、これを聞いて驚嘆し、イエスを残して立ち去った。

23 [1]その日、復活はないと言っている[2]サドカイ人たちが、[3]イエスのところに来て、質問して、
24 言った。「先生。モーセは『[1]もし、ある人が子のないままで死んだなら、その弟は兄の妻をめとって、兄のための子をもうけねばならない。』と言いました。
25 ところで、私たちの間に七人兄弟がありました。長男は結婚しましたが、死んで、子がなかったので、その妻を弟に残しました。
26 次男も三男も、七人とも同じようになりました。
27 そして、最後に、その女も死にました。

9 ①エゼ三二・三一、オバ一四
10 * 直訳「食卓に着いた人々」
11 ①民Ⅱ列一〇・三
12 * 原文に「友よ」という呼びかけ語がある
** 直訳「持たないで」
13 ①箘マタ八・一二
14 ①黙七・一四、民Ⅱペテ二・一〇
マタ二四・三一
15 ①マタ二二・一五、マコ一二・一三、ルカ二〇・二〇・二六
16 ①マコ一二・一三、民Ⅱマコ八・一五
* すなわち「人に取り入ろうとしない」
17 ①マタ七・二八、②ルカ二〇・二一
* あるいは「よろしいのでしょうか。よろしくないのでしょうか」
19 ①箘マタ一七・二五
* あるいは「一デナリ貨」
21 ①マコ一二・一七、ルカ二〇・二五
民ロマ一三・七
22 ①マコ一二・一二
23 ①マタ二二・二三、マコ一二・一八、ルカ二〇・二七民
②使二三・八、③箘マタ二二・七
24 ①申二五・五

28 すると復活の際には、その女は七人のうちだれの妻なのでしょうか。彼らはみな、その女を妻にしたのです。」

29 しかし、イエスは彼らに答えて言われた。「そんな思い違いをしているのは、[1]聖書も神の力も知らないからです。

30 復活の時には、[1]人はめとることも、とつぐこともなく、天の*御使いたちのようです。

31 それに、死人の復活については、神があなたがたに語られた事を、あなたがたは読んだことがないのですか。

32 『[1]わたしは、アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神である。』とあります。神は死んだ者の神ではありません。生きている者の神です。」

33 群衆はこれを聞いて、[1]イエスの教えに驚いた。

34 しかし、パリサイ人たちは、イエスがサドカイ人[2]たちを黙らせたと聞いて、いっしょに集まった。

35 そして、彼らのうちのひとりの律法[1]の専門家が、イエスをためそうとして、尋ねた。

36 「先生。律法の中で、たいせつな戒めはどれですか。」

37 そこで、イエスは彼に言われた。『[1]心を尽くし、思いを尽くし、知力を尽くして、あなたの神である主を愛せよ。』

38 これがたいせつな第一の戒めです。

39 [1]『あなたの隣人を自分と同じように愛せよ。』という第二の戒めも、それと同じようにたいせつです。

40 [1]律法全体と預言者とが、この二つの戒めにかかっているのです。」

41 [1]パリサイ人たちが集まっているときに、イエスは彼らに尋ねて言われた。

42 「あなたがたは、キリストについて、どう思いますか。彼はだれの子ですか。」彼らはイエスに言った。「ダビデの子です。」

43 イエスは彼らに言われた。「それでは、どうしてダビデは、[1]御霊によって、彼を主と呼び、

44 [1]『主は私の主に言われた。
「わたしがあなたの敵を
あなたの足の下に従わせるまでは、
わたしの右の座に着いていなさい。」』

45 ダビデがキリストを主と呼んでいるのなら、どうして彼はダビデの子なのでしょう。」

46 [1]それで、だれもイエスに一言も答えることができなかった。また、その日以来、もはやだれも、イエスにあえて質問をする者はなかった。

23

1 [1]そのとき、イエスは群衆と弟子たちに話をして、

2 こう言われた。「[1]律法学者、パリサイ人たちは、モーセの座を占めています。

3 ですから、彼らがあなたがたに言うことはみな、行ない、守りなさい。けれども、彼らの行ないをまねてはいけません。彼らは言うことは言うが、実行しない

29 ①即ヨハ二〇・九
30 ①即マタ二四・三六、ルカ二〇・三四
*異本に「神の」が挿入されているものもある
32 ①出三・六
33 ①即マタ七・二八
34 ①マタ三・三三四〇、マコ一二・二八一三、即ルカ一〇・二五一三七
②即マタ三・七
35 ①ルカ七・三〇、一〇・二五、一一・四五、四六、五二、一四・三、テト一・一三
37 ①申六・五
39 ①マタ一九・一九、即ガラ五・一四、レビ一九・一八
40 ①即マタ七・一二
41 ①マタ二二・四六、マコ一二・三五一三七、ルカ二〇・四一一四四
42 ①即マタ九・二七
43 ①即ペテ一・二〇、二一、即Ⅱサム二三・二
44 ①詩一一〇・一、使二・三四、三五、ヘブ一・一三、即Ⅰコリ一五・二五
ヘブ一〇・一三、即マタ二二・四四
マコ一二・三六
46 ①マコ一二・三四、ルカ二〇・四〇
1 ①マタ三・一七、マコ一二・三七、ルカ二〇・四五、四六
2 ①即エズ七・六、三五、ネヘ八・四
申三三・三、四

からです。
4 また、彼らは重い荷をくくって、人の肩に載せ、自分はそれに指一本さわろうとはしません。
5 彼らのしていることはみな、人に見せるためです。経札の幅を広くしたり、衣のふさを長くしたりするのもそうです。
6 また、宴会の上座や会堂の上席が大好きで、
7 広場であいさつされたり、人から先生と呼ばれたりすることが好きです。
8 しかし、あなたがたは先生と呼ばれてはいけません。あなたがたの教師はただひとりしかなく、あなたがたはみな兄弟だからです。
9 あなたがたは地上のだれかを、われらの父と呼んではいけません。あなたがたの父はただひとり、すなわち天にいます父だけだからです。
10 また、師と呼ばれてはいけません。あなたがたの師はただひとり、キリストだからです。
11 あなたがたのうちの一番偉大な者は、あなたがたに仕える人でなければなりません。
12 だれでも、自分を高くする者は低くされ、自分を低くする者は高くされます。
13 しかし、わざわいが来ますぞ。偽善の律法学者、パリサイ人たち。あなたがたは、人々から天の御国をさえぎっているのです。自分もはいらず、はいろうとしている人々をもはいらせないのです。
14 〔わざわいが来ますぞ。偽善の律法学者、パリサイ人たち。あなたがたは、やもめたちの家を食いつぶしていながら、見えのために長い祈りをするからです。ですから、あなたがたは、人一倍ひどい罰を受けます。〕
15 わざわいが来ますぞ。偽善の律法学者、パリサイ人たち。改宗者をひとりつくるのに、海と陸とを飛び回り、改宗者ができると、その人を自分より倍も悪いゲヘナの子にするからです。
16 わざわいが来ますぞ。目の見えぬ手引きども。あなたがたはこう言う。『だれでも、神殿をさして誓ったのなら、何でもない。しかし、神殿の黄金をさして誓ったら、その誓いを果たさなければならない。』
17 愚かで、目の見えぬ人たち。黄金と、黄金を神聖なものにする神殿と、どちらがたいせつなのか。
18 また、こう言う。『だれでも、祭壇をさして誓ったのなら、何でもない。しかし、祭壇の上の供え物をさして誓ったら、その誓いを果たさなければならない。』
19 目の見えぬ人たち。供え物と、その供え物を神聖なものにする祭壇と、どちらがたいせつなのか。
20 ですから、祭壇をさして誓う者は、祭壇をも、その上のすべての物をもさして誓っているのです。
21 また、神殿をさして誓う者は、神殿をも、その中に住まわれる方をもさして誓っているのです。
22 天をさして誓う者は、神の御座とそこに座しておられる方をさして誓うのです。
23 わざわいが来ますぞ。偽善の律法学者、パリサイ人たち。あなたがたは、はっか、いのんど、クミンな

4 ①ルカ一一・四六、田使一五・一〇
5 ①マタ六・一、五、一六、②出二八・九
＊すなわち「聖句をしるした小箱のようなもので、祈りのときに身につけた」
6 ①ルカ二〇・四六、田ルカ一一・四三、②マタ九・一八
7 ①マタ二三・八、一六、二四、マコ九・三五、一二・三八、ルカ一一・四三、二〇・四六、ヨハ一・三八、四九、三・二六、四・三一、田マコ一〇・三五、ヨハ一二・一三
＊原語「ラビ」
8 ①ヤコ三・一、②マタ二三・七、一〇、二六・二五、マコ九・五、一一・三五、一四・四五、ヨハ一・三八、四九、三・二六、四・三一、六・二五、田マコ一〇・三五、ヨハ二〇・一六
9 ①マタ六・九、ゼ一・一
10 ＊あるいは「指導者」
11 ①マタ二三・二六
12 ①ルカ一四・一一、一八・一四
13 ①マタ二三・一三、一五、二三、二五、②ルカ一一・五二
＊直訳「人々の前で」
14 ＊異本に、この節を欠くものもある
①マコ一二・四〇、ルカ二〇・四七
15 ①使二・一一、六・五、一三・四三
②マタ二三・三
16 ①マタ二三・一六、一八、二四
②田マタ五・三三
＊あるいは「聖所」
17 ①田出三・二九
＊あるいは「聖所」
19 ①田出三・二九
＊あるいは「聖所」
21 ①Ⅰ列八・一三、詩二六・八、一三二・一四
22 ①マタ五・三四
23 ①マタ二三・二三、ルカ一一・四二

どの十分の一を納めているが、律法の中ではるかに重要なもの、すなわち正義もあわれみも誠実もおろそかにしているのです。これこそしなければならないことです。ただし、他のほうもおろそかにしてはいけません。

24 目の見えぬ手引きども。あなたがたは、ぶよは、こして除くが、らくだはのみこんでいます。

25 わざわいが来ますぞ。偽善の律法学者、パリサイ人たち。あなたがたは、杯や皿の外側はきよめるが、その中は強奪と放縦でいっぱいです。

26 目の見えぬパリサイ人たち。まず、杯の内側をきよめなさい。そうすれば、外側もきよくなります。

27 わざわいが来ますぞ。偽善の律法学者、パリサイ人たち。あなたがたは白く塗った墓のようなものです。墓はその外側は美しく見えても、内側は、死人の骨や、あらゆる汚れたものがいっぱいなように、

28 あなたがたも、外側は正しそうに見えても、内側は偽善と不法でいっぱいです。

29 わざわいが来ますぞ。偽善の律法学者、パリサイ人たち。あなたがたは預言者の墓を建て、義人の記念碑を飾って、

30 『私たちが、先祖の時代に生きていたら、預言者たちの血を流すような仲間にはならなかっただろう。』と言います。

31 こうして、預言者を殺した者たちの子孫だと、自分で証言しています。

32 あなたがたも先祖の罪の目盛りの不足分を満たしなさい。

33 おまえたち蛇ども、まむしのすえども。おまえたちは、ゲヘナの刑罰をどうしてのがれることができよう。

34 だから、わたしが預言者、知者、律法学者たちを遣わすと、おまえたちはそのうちのある者を殺し、十字架につけ、またある者を会堂でむち打ち、町から町へと迫害して行くのです。

35 それは、義人アベルの血からこのかた、神殿と祭壇との間で殺されたバラキヤの子ザカリヤの血に至るまで、地上で流されるすべての正しい血の報復があなたがたの上に来るためです。

36 まことに、あなたがたに告げます。これらの報いはみな、この時代の上に来ます。

37 ああ、エルサレム、エルサレム。預言者たちを殺し、自分に遣わされた人たちを石で打つ者。わたしは、めんどりがひなを翼の下に集めるように、あなたの子らを幾たび集めようとしたことか。それなのに、あなたがたはそれを好まなかった。

38 見なさい。あなたがたの家は荒れ果てたままに残される。

39 あなたがたに告げます。『祝福あれ。主の御名によって来られる方に。』とあなたがたが言うときまで、あなたがたは今後決してわたしを見ることはありません。」

24

1 イエスが宮を出て行かれるとき、弟子たちが近寄って来て、イエスに

24 ①マタ三・一六
25 ①ルカ一一・三九、四四 ㊐マコ七・四
26 ①ルカ一一・三九、四四 ㊐マコ七・四
27 ①ルカ一一・四四、㊐使三・三
29 ①ルカ一一・四七、四八
31 ①使七・五二、マタ三・三節、三七 *直訳「子たち」
33 ①㊐マタ三・七、②㊐マタ五・三
34 ①マタ三・三節一六、㊐ルカ一一・四九一五一、②Ⅱ歴三六・一五、一六 ③㊐マタ一〇・一七、④マタ一〇・二三
35 ①創四・八以下、ヘブ一一・四 ②Ⅱ歴四・二一 *あるいは「聖所」 ③㊐ゼカ一・一
36 ①㊐マタ一〇・二三、二四・三四
37 ①マタ三・七節一六、ルカ一三・三四、三五、②㊐マタ五・三五 ③㊐ルツ二・一二
38 ①㊐Ⅰ列九・七、八、エレ二二・五 *異本「荒れ果てたまま」を欠くものもある
39 ①詩一一八・二六、マタ二一・九

1 ①マタ二四章、マコ一三章、ルカ二一・五一六、②㊐マタ二三・三九

宮の建物をさし示した。
2そこで、イエスは彼らに答えて言われた。「このすべての物に目をみはっているのでしょう。まことに、あなたがたに告げます。ここでは、石がくずされずに、積まれたまま残ることは決してありません。」
3イエスがオリーブ山ですわっておられると、弟子たちが、ひそかにみもとに来て言った。「お話しください。いつ、そのようなことが起こるのでしょう。あなたの来られる時や世の終わりには、どんな前兆があるのでしょう。」
4そこで、イエスは彼らに答えて言われた。「人に惑わされないように気をつけなさい。
5わたしの名を名のる者が大ぜい現われ、『私こそキリストだ。』と言って、多くの人を惑わすでしょう。
6また、戦争のことや、戦争のうわさを聞くでしょうが、気をつけて、あわてないようにしなさい。これらは必ず起こることです。しかし、終わりが来たのではありません。
7民族は民族に、国は国に敵対して立ち上がり、方々にききんと地震が起こります。
8しかし、そのようなことはみな、産みの苦しみの初めなのです。
9そのとき、人々は、あなたがたを苦しいめに会わせ、殺します。また、わたしの名のために、あなたがたはすべての国の人々に憎まれます。
10また、そのときは、人々が大ぜいつまずき、互いに裏切り、憎み合います。
11また、にせ預言者が多く起こって、多くの人々を惑わします。
12不法がはびこるので、多くの人たちの愛は冷たくなります。
13しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われます。
14この御国の福音は全世界に宣べ伝えられて、すべての国民にあかしされ、それから、終わりの日が来ます。
15それゆえ、預言者ダニエルによって語られたあの『荒らす憎むべき者』が、聖なる所に立つのを見たならば、(読者はよく読み取るように。)
16そのときは、ユダヤにいる人々は山へ逃げなさい。
17屋上にいる者は家の中の物を持ち出そうと下に降りてはいけません。
18畑にいる者は着物を取りに戻ってはいけません。
19だが、その日、悲惨なのは身重の女と乳飲み子を持つ女です。
20ただ、あなたがたの逃げるのが、冬や安息日にならぬよう祈りなさい。
21そのときには、世の初めから、今に至るまで、いまだかつてなかったような、またこれからもないような、ひどい苦難があるからです。
22もし、その日数が少なくされなかったら、*ひとりとして救われる者はないでしょう。しかし、選ばれた者のために、その日数は少なくされます。
23そのとき、『そら、キリストがここにいる。』とか、

2 ①ルカ19・44
3 ①マタ21・1、②マタ13・39、マタ28・20、ヘブ9・26、Ⅰヨハ2・18
4 ①エレ29・8
5 ①マタ11・18、Ⅰヨハ2・18、使5・36、Ⅰヨハ4・3
7 ①Ⅱ歴15・6、イザ19・2、②使11・28
9 ①マタ10・17、ヨハ15・21、②マタ10・22、Ⅱヨハ1・7
10 ①マタ11・6
11 ①マタ24・24、マタ7・15
13 ①マタ10・22
14 ①Ⅱマタ4・23、②ルカ2・1、使1・8、ロマ10・18、コロ1・6、Ⅰテサ1・8、黙14・6、*直訳「人の住む地」
15 ①ダニ9・27、11・31、12・11、②使6・13、Ⅱヨハ1・9、ルカ21・20、Ⅱマコ13・14、Ⅱ黙示2・4、③マコ13・14
17 ①マタ10・27、ルカ5・19、Ⅱサム11・2
19 ①ルカ23・29
21 ①ダニ12・1、ヨエ2・2、マタ3・7
22 *直訳「あらゆる肉は救われない」、①マタ13・24、Ⅱマタ13・20、Ⅱ、Ⅲルカ21・7
23 ①ルカ17・23、21

『そこにいる。』とか言う者があっても、信じてはいけません。
24 にせキリスト、にせ預言者たちが現われて、できれば選民をも惑わそうとして、大きなしるしや不思議なことをして見せます。
25 さあ、わたしは、あなたがたに前もって話しました。
26 だから、たとい、『そら、荒野にいらっしゃる。』と言っても、飛び出して行ってはいけません。『そら、へやにいらっしゃる。』と聞いても、信じてはいけません。
27 人の子の来るのは、いなずまが東から出て、西にひらめくように、ちょうどそのように来るのです。
28 死体のある所には、はげたかが集まります。
29 だが、これらの日の苦難に続いてすぐに、太陽は暗くなり、月は光を放たず、星は天から落ち、天の万象は揺り動かされます。
30 そのとき、人の子のしるしが天に現われます。すると、地上のあらゆる種族は、悲しみながら、人の子が大能と輝かしい栄光を帯びて天の雲に乗って来るのを見るのです。
31 人の子は大きなラッパの響きとともに、御使いたちを遣わします。すると御使いたちは、天の果てから果てまで、四方からその選びの民を集めます。
32 いちじくの木から、たとえを学びなさい。枝が柔らかになって、葉が出て来ると、夏の近いことがわかります。
33 そのように、これらのことのすべてを見たら、あなたがたは、*人の子が戸口まで近づいていると知りなさい。
34 まことに、あなたがたに告げます。これらのことが全部起こってしまうまでは、この時代は過ぎ去りません。
35 この天地は滅び去ります。しかし、わたしのことばは決して滅びることがありません。
36 ただし、その日、その時がいつであるかは、だれも知りません。天の御使いたちも子も知りません。ただ父だけが知っておられます。
37 人の子が来るのは、ちょうど、ノアの日のようだからです。
38 洪水前の日々は、ノアが箱舟にはいるその日まで、人々は、飲んだり、食べたり、めとったり、とついだりしていました。
39 そして、洪水が来てすべての物をさらってしまうまで、彼らはわからなかったのです。人の子が来るのも、そのとおりです。
40 そのとき、畑にふたりいると、ひとりは取られ、ひとりは残されます。
41 ふたりの女が臼をひいていると、ひとりは取られ、ひとりは残されます。
42 だから、目をさましていなさい。あなたがたは、自分の主がいつ来られるか、知らないからです。
43 しかし、このことは知っておきなさい。家の主人は、どろぼうが夜の何時に来ると知っていたら、目を見張

---

24 ①マタ二四・二一、⑧マタ七・二五 ②マタ二四・三、田マタ三・一四のギリシヤ語、⑧ヨハ一四・六、七、③⑧ヨハ一四・六
田Ⅱテサニ・九
*あるいは「証拠としての奇蹟」
27 ①ルカ一七・二三、二四 ②マタ八・三 ③マタ二四・六、七、二六
28 ①ルカ一七・三七、田ヨブ三九・三〇
29 ①マタ二四・二一 ②イザ一三・一〇、二四・二三、エゼ三二・七、ヨエ二・二、三、二三、二四、使二・二〇
田アモ八・九、エゼ三二・七、ゼパ一・一五
黙六・一二、八・一、三、黙六・一三
田イザ一三・一〇
30 ①マタ二四・三、田ダニ七・一三
⑧マタ一六・二七
31 ①イザ二七・一三、Ⅰコリ一五・五二、Ⅰテサ四・一六、田出一九・一六
ゼカ九・一四、黙六・一二・一五
⑧ヘブ一二・一九、②マタ一三・四一
③申四・三二、④ダニ七・一四、⑤⑧マタ二四・三一、黙七・一、⑧マタ二四・三一
33 *あるいは「そのこと」
①ヤコ五・九、黙三・二〇
34 ①マタ一六・二八、田マタ一〇・二三、二四
*別訳「民族」
35 ①マコ一三・三一、ルカ二一・三三
田①マタ二四・三五、②ルカ二一・三三
36 ①マコ一三・三二、田使一・七
37 ①マタ二四・三、三九、⑧マタ一一・一九、ルカ一七・二六、二七
田創七・七、ルカ一七・二六、二七
38 ①創七・七、②ルカ一七・二七
39 *直訳「知らなかった」
①マタ二四・三、三七、⑧マタ一六・二七
40 ①ルカ一七・三五、②田申二四・六
41 ①ルカ一七・三五、②田申二四・六
出二・六、イザ二七・一二
42 ①⑧マタ二四・四四、二五・一三
②マタ二四・四二、⑧マタ二四・四四、二五・一三、ルカ一二・三九、田ルカ一二・三九
43 ①マタ二四・四四、二五・一三、ルカ一二・三九、田ルカ一二・三九、マタ二四・四二、ルカ一二・三九、マタ二四・四二、マコ六・四八、田マコ一三・三五

っていたでしょうし、また、おめおめと自分の家に押し入られはしなかったでしょう。
44 だから、あなたがたも用心していなさい。なぜなら、人の子は、思いがけない時に来るのですから。
45 主人から、その家のしもべたちを任されて、食事時には彼らに食事をきちんと与えるような忠実な思慮深いしもべとは、いったいだれでしょうか。
46 主人が帰って来たときに、そのようにしているのを見られるしもべは幸いです。
47 まことに、あなたがたに告げます。その主人は彼に自分の全財産を任せるようになります。
48 ところが、それが悪いしもべで、『主人はまだまだ帰るまい。』と心の中で思い、
49 その仲間を打ちたたき、酒飲みたちと飲んだり食べたりし始めていると、
50 そのしもべの主人は、思いがけない日の思わぬ時間に帰って来ます。
51 そして、彼をきびしく罰して、その報いを偽善者たちと同じにするに違いありません。しもべはそこで泣いて歯ぎしりするのです。

25

1 そこで、天の御国は、たとえて言えば、それぞれがともしびを持って、花婿を出迎える十人の娘のようです。
2 そのうち五人は愚かで、五人は賢かった。
3 愚かな娘たちは、ともしびは持っていたが、油を用意しておかなかった。
4 賢い娘たちは、自分のともしびといっしょに、入れ物に油を入れて持っていた。
5 花婿が来るのが遅れたので、みな、うとうとして眠り始めた。
6 ところが、夜中になって、『そら、花婿だ。迎えに出よ。』と叫ぶ声がした。
7 娘たちは、みな起きて、自分のともしびを整えた。
8 ところが愚かな娘たちは、賢い娘たちに言った。『油を少し私たちに分けてください。私たちのともしびは消えそうです。』
9 しかし、賢い娘たちは答えて言った。『いいえ、あなたがたに分けてあげるにはとうてい足りません。それよりも店に行って、自分のをお買いなさい。』
10 そこで、買いに行くと、その間に花婿が来た。用意のできていた娘たちは、彼といっしょに婚礼の祝宴に行き、戸がしめられた。
11 そのあとで、ほかの娘たちも来て、『ご主人さま、ご主人さま。あけてください。』と言った。
12 しかし、彼は答えて、『確かなところ、私はあなたがたを知りません。』と言った。
13 だから、目をさましていなさい。あなたがたは、その日、その時を知らないからです。
14 天の御国は、しもべたちを呼んで、自分の財産を預け、旅に出て行く人のようです。
15 彼は、おのおのその能力に応じて、ひとりには五タラント、ひとりには二タラント、もうひとりには一

---

44 ①マタ二四・四二、二五・一〇、一三
45 ①マタ二四・四五―五一、ルカ一二・四二、②マタ二四・七
47 ①マタ二五・二一、二三
48 *直訳「時間がかかる」
51 ①箇マタ八・一二
1 ①箇マタ二四・四、②箇ヨハ八・三、使二〇・一八、黙四四・五、八・一〇のギリシヤ語
2 ①マタセ・二四、二五・二以下
箇マタ一〇・一六
4 ①マタセ・二四、二五・二以下
箇マタ一〇・一六
9 ①マタセ・二四、二五・二以下
箇マタ一〇・一六
10 ①脱マタ二四・四二以下
②脱ルカ一二・三六、③ルカ一三・二五、脱マタセ・三以下
11 ①ルカ一三・二五、脱マタセ・二以下
13 ①脱マタ二四・四二以下
14 ①マタ二四・四一参、脱ルカ一九・一二―二七、②マタ二一・三三
15 ①マタ一八・二四、脱ルカ一九・一三
*一タラントは六〇〇〇デナリ

タラントを渡し、それから旅に出かけた。
16 五タラント預かった者は、すぐに行って、それで商
売をして、さらに五タラントもうけた。
17 同様に、二タラント預かった者も、さらに二タラ
ントもうけた。
18 ところが、一タラント預かった者は、出て行くと、
地を掘って、その主人の金を隠した。
19 さて、よほどたってから、しもべたちの主人が帰っ
て来て、彼らと清算をした。
20 すると、五タラント預かった者が来て、もう五タラ
ント差し出して言った。『ご主人さま。私に五タラン
ト預けてくださいましたが、ご覧ください。私はさ
らに五タラントもうけました。』
21 その主人は彼に言った。『よくやった。良い忠実なし
もべだ。あなたは、わずかな物に忠実だったから、
私はあなたにたくさんの物を任せよう。主人の喜び
をともに喜んでくれ。』
22 二タラントの者も来て言った。『ご主人さま。私は二
タラント預かりましたが、ご覧ください。さらに二
タラントもうけました。』
23 その主人は彼に言った。『よくやった。良い忠実なし
もべだ。あなたは、わずかな物に忠実だったから、
私はあなたにたくさんの物を任せよう。主人の喜び
をともに喜んでくれ。』
24 ところが、一タラント預かっていた者も来て、言っ
た。『ご主人さま。あなたは、蒔かない所から刈り
取り、散らさない所から集めるひどい方だとわかっ
ていました。
25 私はこわくなり、出て行って、あなたの一タラント
を地の中に隠しておきました。さあどうぞ、これが
あなたの物です。』
26 ところが、主人は彼に答えて言った。『悪いなまけ者
のしもべだ。私が蒔かない所から刈り取り、散らさ
ない所から集めることを知っていたというのか。
27 だったら、おまえはその私の金を、銀行に預けてお
くべきだった。そうすれば私は帰って来たときに、
利息がついて返してもらえたのだ。
28 だから、そのタラントを彼から取り上げて、それを
十タラント持っている者にやりなさい。
29 だれでも持っている者は、与えられて豊かになり、
持たない者は、持っているものまでも取り上げられ
るのです。
30 役に立たぬしもべは、外の暗やみに追い出しなさい。
そこで泣いて歯ぎしりするのです。』
31 人の子が、その栄光を帯びて、すべての御使いた
ちを伴って来るとき、人の子はその栄光の位に着きま
す。
32 そして、すべての国々の民が、その御前に集められ
ます。彼は、羊飼いが羊と山羊とを分けるように、彼
らをより分け、
33 羊を自分の右に、山羊を左に置きます。
34 そうして、王は、その右にいる者たちに言います。

15 ②マタ二二・三五
16 ①マタ八・二四、民ルカ九・二三
19 ①マタ八・三三
20 ①マタ八・二四、民ルカ九・二三
21 ①マタ二五・二三、㊐マタ二四・四五、四七
22 ①マタ八・二四、民ルカ九・二三
23 ①マタ二五・二一、㊐マタ二四・四五、四七
24 ①マタ八・二四、民ルカ九・二三
29 ①㊐マタ二三・三
30 ①㊐マタ八・一二
31 ①㊐マタ一六・二七、二八、②マタ一九・二八
32 ①民エゼ三四・一七、二〇
33 ①民Ⅰ列二二・一九、詩四五・九 ②民伝一〇・三

『さあ、わたしの父に祝福された人たち。世の初めから、あなたがたのために備えられた御国を継ぎなさい。
35 あなたがたは、わたしが空腹であったとき、わたしに食べる物を与え、わたしが渇いていたとき、わたしに飲ませ、わたしが旅人であったとき、わたしに宿を貸し、
36 わたしが裸のとき、わたしに着る物を与え、わたしが病気をしたとき、わたしを見舞い、わたしが牢にいたとき、わたしをたずねてくれたからです。』
37 すると、その正しい人たちは、答えて言います。『主よ。いつ、私たちは、あなたが空腹なのを見て、食べる物を差し上げ、渇いておられるのを見て、飲ませてあげましたか。
38 いつ、あなたが旅をしておられるときに、泊まらせてあげ、裸なのを見て、着る物を差し上げましたか。
39 また、いつ、私たちは、あなたのご病気やあなたが牢におられるのを見て、おたずねしましたか。』
40 すると、王は彼らに答えて言います。『まことに、あなたがたに告げます。あなたがたが、これらのわたしの兄弟たち、しかも最も小さい者たちのひとりにしたのは、わたしにしたのです。』
41 それから、王はまた、その左にいる者たちに言います。『のろわれた者ども。わたしから離れて、悪魔とその使いたちのために用意された永遠の火にはいれ。
42 おまえたちは、わたしが空腹であったとき、食べる物をくれず、渇いていたときにも飲ませず、
43 わたしが旅人であったときにも泊まらせず、裸であったときにも着る物をくれず、病気のときや牢にいたときにもたずねてくれなかった。』
44 そのとき、彼らも答えて言います。『主よ。いつ、私たちは、あなたが空腹であり、渇き、旅をし、裸であり、病気をし、牢におられるのを見て、お世話をしなかったのでしょうか。』
45 すると、王は彼らに答えて言います。『まことに、おまえたちに告げます。おまえたちが、この最も小さい者たちのひとりにしなかったのは、わたしにしなかったのです。』
46 こうして、この人たちは永遠の刑罰にはいり、正しい人たちは永遠のいのちにはいるのです。』

26

1 イエスは、これらの話をすべて終えると、弟子たちに言われた。
2 「あなたがたの知っているとおり、二日たつと過越の祭りになります。人の子は十字架につけられるために引き渡されます。」
3 そのころ、祭司長、民の長老たちは、カヤパという大祭司の家の庭に集まり、
4 イエスをだまして捕え、殺そうと相談した。
5 しかし、彼らは、「祭りの間はいけない。民衆の騒ぎが起こるといけないから。」と話していた。
6 さて、イエスがベタニヤで、らい病人シモンの家におられると、
7 ひとりの女がたいへん高価な香油のはいった石膏の

---

34 ①ルカ一二・三。ヘブ四・一三、九・六
黙三・八、七・一四、ヨハ一七・二四
エペ一・四、Ⅰペテ一・二〇
㊞マタ三・一五、②ルカ一三・三一
Ⅰコリ六・九、一五・五〇、ガラ五・二一
ヤコ三・五、㊞マタ五・三、九・一三
35 ①イザ五八・七、エゼ一八・七
ヤコ一・二七、六・二、②ヨブ三一・三二
ヘブ一三・二
36 ①イザ五八・七、エゼ一八・七、一六
ヤコ一・二七、六・二、②ヤコ一・二七
③Ⅱテモ一・一六、一七
40 ①マタ二五・四五、ルカ九・五八
黙一七・一四、二〇・一二、②㊞マタ
二〇・三一、ヘブ六・一〇、箴一九・一七
41 ①マタ七・二三、②黙三・九
㊞マタ四・一〇、③マコ一・二四
ルカ八・二八、ユダ六
46 ①㊞ダニ一二・二、ヨハ五・二九
使二四・一五、②マタ九・二九
ヨハ三・一六、二六、三五、三六、六・
三七、四〇、四七、四八、五・二四、六・
三三、四〇、四七、四八、五一、五八、
六・三五、ガラ六・八、Ⅰヨハ五・一
二等

1 ①㊞マタ七・二八
2 ①マタ二六・二、マコ一四・一、二
ルカ二二・一、②ヨハ一三・一、
三・一、③㊞マタ一〇・四
3 ①ヨハ一一・四七、②マタ二六・五
ルカ二二・二、ヨハ一一・四八、五三、
三・四四、二八、使四・六
＊祭司長と同じ原語
③マタ二六・六、マコ一四・三、
西・六、二・一六、ルカ一一・三、
三・五、ヨハ八・二〇、㊞マタ
七・七
4 ①㊞マタ二六・一四
5 ①マタ七・二四
6 ①マタ二六・六、マコ一四・三、
西・六、二・一六、ルカ七・三七、
三・五、ヨハ一二・三、ルカ七・
三七、②㊞マタ二六・七

つぼを持ってみもとに来て、食卓に着いておられたイエスの頭に香油を注いだ。
8 弟子たちはこれを見て、憤慨して言った。「何のために、こんなむだなことをするのか。
9 この香油なら、高く売れて、貧乏な人たちに施しができたのに。」
10 するとイエスはこれを知って、彼らに言われた。「なぜ、この女を困らせるのです。わたしに対してりっぱなことをしてくれたのです。
11 貧しい人たちは、いつもあなたがたといっしょにいます。しかし、わたしは、いつもあなたがたといっしょにいるわけではありません。
12 この女が、この香油をわたしのからだに注いだのは、わたしの埋葬の用意をしてくれたのです。
13 まことに、あなたがたに告げます。世界中のどこででも、この福音が宣べ伝えられる所なら、この人のした事も語られて、この人の記念となるでしょう。」
14 そのとき、十二弟子のひとりで、イスカリオテ・ユダという者が、祭司長たちのところへ行って、
15 こう言った。「彼をあなたがたに売るとしたら、いったいいくらくれますか。」すると、彼らは銀貨三十枚を彼に支払った。
16 そのときから、彼はイエスを引き渡す機会をねらっていた。
17 さて、種なしパンの祝いの第一日に、弟子たちがイエスのところに来て言った。「過越の食事をなさるのに、私たちはどこで用意をしましょうか。」
18 イエスは言われた。「都にはいって、これこれの人のところに行って、『先生が「わたしの時が近づいた。わたしの弟子たちといっしょに、あなたのところで過越を守ろう。」と言っておられる。』と言いなさい。」
19 そこで、弟子たちはイエスに言いつけられたとおりにして、過越の食事の用意をした。
20 さて、夕方になって、イエスは十二弟子といっしょに食卓に着かれた。
21 みなが食事をしているとき、イエスは言われた。「まことに、あなたがたに告げます。あなたがたのうちひとりが、わたしを裏切ります。」
22 すると、弟子たちは非常に悲しんで、「主よ。まさか私のことではないでしょう。」とかわるがわるイエスに言った。
23 イエスは答えて言われた。「わたしといっしょに鉢に手を浸した者が、わたしを裏切るのです。
24 確かに、人の子は、自分について書いてあるとおりに、去って行きます。しかし、人の子を裏切るような人間はのろわれます。そういう人は生まれなかったほうがよかったのです。」
25 すると、イエスを裏切ろうとしていたユダが答えて言った。「先生。まさか私のことではないでしょう。」イエスは彼に、「いや、そうだ。」と言われた。
26 また、彼らが食事をしているとき、イエスはパンを取り、祝福して後、これを裂き、弟子たちに与えて

---

11 ①マコ14:7、ヨハ12:8
12 ①マタ9:21、②ヨハ19:40
13 ①マコ14:9
14 ①マタ26:14-16、マコ14:10、ルカ22:3-6
15 ①マタ27:3、9、出21:32、ゼカ11:12、*あるいは「売り渡したいのだが」
17 ①マタ26:17-19、マコ14:12-16、ルカ22:7-13、**すなわち「シケル銀貨」
18 ①マコ14:13、ルカ22:10、②既ヨハ7:6、8
20 ①マタ26:20-25、マコ14:17-21、ヨハ13:21-30
21 ①ルカ22:21-23、ヨハ13:21-30
22 *あるいは「ひとりひとり」
23 ①ヨハ13:26、既ヨハ13:18
24 ①マタ26:31、詩41:9、マコ14:27、ルカ22:22、既ヨハ13:18、使1:16、②既マタ18:7、使1:25、Ⅰコリ5:5、Ⅰペテ2:10、ユダ4、③マコ14:21、既マタ18:7、ルカ17:1、22:22
25 ①既マタ26:21、既マコ14:18、②既マタ26:49、既マコ14:45、*原語「ラビ」、③マタ26:64、既マコ14:62、ルカ22:70
26 ①マタ26:26-29、マコ14:22-25、ルカ22:19、20、Ⅰコリ11:23-25、既Ⅰコリ10:16、②既マタ14:19、既マコ6:41

言われた。「取って食べなさい。これはわたしのからだです。」
27 また杯を取り、感謝をささげて後、こう言って彼らにお与えになった。「みな、この杯から飲みなさい。
28 [1]これは、わたしの契約の血です。罪を赦すために[2]多くの人のために流されるものです。
29 ただ、言っておきます。わたしの父の御国で、あなたがたと新しく飲むその日までは、わたしはもはや、ぶどうの実で造った物を飲むことはありません。」
30 [1]そして、賛美の歌を歌ってから、みな[2]オリーブ山へ出かけて行った。
31 そのとき、イエスは弟子たちに言われた。「あなたがたはみな、今夜、わたしのゆえに[1]つまずきます。『わたしが羊飼いを打つ。すると、羊の群れは[3]散り散りになる。』と書いてあるからです。
32 しかしわたしは、よみがえってから、[1]あなたがたより先に、ガリラヤへ行きます。」
33 すると、ペテロがイエスに答えて言った。「たとい全部の者があなたのゆえにつまずいても、私は決してつまずきません。」
34 イエスは彼に言われた。「[1]まことに、あなたに告げます。[2]今夜、鶏が鳴く前に、あなたは三度、わたしを知らないと言います。」
35 ペテロは言った。「[1]たとい、ごいっしょに死ななければならないとしても、私は、あなたを知らないなどとは決して申しません。」弟子たちはみなそう言った。
36 [1]それからイエスは弟子たちといっしょに[2]ゲツセマネという所に来て、彼らに言われた。「わたしがあそこに行って祈っている間、ここにすわっていなさい。」
37 それから、[1]ペテロとゼベダイの子ふたりとをいっしょに連れて行かれたが、イエスは深く恐れもだえ始められた。
38 そのとき、イエスは彼らに言われた。「[1]わたしは悲しみのあまり死ぬほどです。ここを離れないで、わたしといっしょに[2]目をさましていなさい。」
39 それから、イエスは少し進んで行って、ひれ伏して祈って言われた。「わが父よ。できますならば、[1]この杯をわたしから過ぎ去らせてください。しかし、[2]わたしの願うようにではなく、あなたのみこころのようになさってください。」
40 それから、イエスは弟子たちのところに戻って来て、彼らの眠っているのを見つけ、ペテロに言われた。「あなたがたは、そんなに、一時間でも、わたしといっしょに[1]目をさましていることができなかったのか。
41 誘惑に陥らないように、[1]目をさまして、祈っていなさい。[2]心は燃えていても、肉体は弱いのです。」
42 イエスは二度目に離れて行き、祈って言われた。「わが父よ。[1]どうしても飲まずには済まされぬ杯でしたら、[2]どうぞみこころのとおりをなさってください。」
43 イエスが戻って来て、ご覧になると、彼らはまたも眠っていた。目をあけていることができなかったのである。

28 ①四 ヘブル 二9、②聖マタ 三11、六
30 ①マタ 六5、二四29、マコ 一四26、ルカ 二二39、二四53、②聖マタ 二一1
31 ①聖マタ 二六、②ゼカ 三13、③四 ヨハ 六45、三
32 ①マタ 六7、七10、一六、マコ 一六7
34 ①ヨハ 一三38、マタ 二六75、②四 マコ 一四30、三〇
35 ①ヨハ 一三37
36 ①マタ 二六36-46、マコ 一四32-42、ルカ 二二40-46、②マコ 一四33、四 ルカ 二二39、ヨハ 一八1
37 ①マタ 一七1、マコ 五37、四 マタ 四21
38 ①ヨハ 一二27、②マタ 二六38、四 マコ 一四34
39 ①聖マタ 二六39、②マタ 二六42、マコ 一四36、ルカ 二二42、ヨハ 六38、一八11
40 ①マタ 二六43
41 ①マタ 二六38、②マコ 一四38
42 ①聖マタ 二六39、②マタ 二六26、マコ 一四36、ルカ 二二42、ヨハ 六38、一八11

44 イエスは、またも彼らを置いて行かれ、もう一度同じことをくり返して三度目の祈りをされた。
45 それから、イエスは弟子たちのところに来て言われた。「*まだ眠って休んでいるのですか。見なさい。時が来ました。人の子は罪人たちの手に渡されるのです。
46 立ちなさい。さあ、行くのです。見なさい。わたしを裏切る者が近づきました。」
47 イエスがまだ話しておられるうちに、見よ、十二弟子のひとりであるユダがやって来た。剣や棒を手にした大ぜいの群衆もいっしょであった。群衆はみな、祭司長、民の長老たちから差し向けられたものであった。
48 イエスを裏切る者は、彼らと合図を決めて、「私が口づけをするのが、その人だ。その人をつかまえるのだ。」と言っておいた。
49 それで、彼はすぐにイエスに近づき、「先生。お元気で。」と言って、口づけした。
50 イエスは彼に、「友よ。何のために来たのですか。」と言われた。そのとき、群衆が来て、イエスに手をかけて捕えた。
51 すると、イエスといっしょにいた者のひとりが、手を伸ばして剣を抜き、大祭司のしもべに撃ってかかり、その耳を切り落とした。
52 そのとき、イエスは彼に言われた。「剣をもとに納めなさい。剣を取る者はみな剣で滅びます。
53 それとも、わたしが父にお願いして、十二軍団より*も多くの御使いを、今わたしの配下に置いていただくことができないとでも思うのですか。
54 だが、そのようなことをすれば、こうならなければならないと書いてある聖書が、どうして実現されましょう。」
55 そのとき、イエスは群衆に言われた。「まるで強盗にでも向かうように、剣や棒を持ってわたしをつかまえに来たのですか。わたしは毎日、宮ですわって教えていたのに、あなたがたは、わたしを捕えなかったのです。
56 しかし、すべてこうなったのは、預言者たちの書が実現するためです。」そのとき、弟子たちはみな、イエスを見捨てて、逃げてしまった。
57 イエスをつかまえた人たちは、イエスを大祭司カヤパのところへ連れて行った。そこには、律法学者、長老たちが集まっていた。
58 しかし、ペテロも遠くからイエスのあとをつけながら、大祭司の中庭まではいって行き、成り行きを見ようと役人たちといっしょにすわった。
59 さて、祭司長たちと全議会は、イエスを死刑にするために、イエスを訴える偽証を求めていた。
60 偽証者がたくさん出て来たが、証拠はつかめなかった。しかし、最後にふたりの者が進み出て、
61 言った。「この人は、『わたしは神の*神殿をこわして、それを三日のうちに建て直せる。』と言いました。」
62 そこで、大祭司は立ち上がってイエスに言った。「何も答えないのですか。この人たちが、あなたに不利な

45 * 別訳「では、ぐっすり眠って休んでいなさい」
① マコ一四・四一、ヨハ一三・一、一二・二七
47 ① マタ二六・四七-五六、マコ一四・四三-五〇、ルカ二二・四七-五三、ヨハ一八・三-一二、②聞マタ二六・一四
49 ①聞マタ二三・七、二六・二五
51 ①聞ヨハ一八・一〇、マコ一四・四七、ルカ二二・四九、②ルカ二二・五一、③聞ヨハ一八・一〇、マコ一四・四七、ルカ二二・五〇
52 ①聞創九・六、黙一三・一〇
53 ①聞マコ一四・一四、ルカ八・三〇
* 原語「レギオン」一レギオンは六〇〇〇人編成
②聞マタ一四・一一
54 ①聞マタ二六・二四
55 ①聞マコ一二・一五、一四・四九、ルカ一九・四七、二一・三七、二二・五三、ヨハ七・一四、一八・二〇、二八・二〇
56 ①聞マタ二六・二四
57 ①マタ二六・五七-六八、マコ一四・五三-六五、ヨハ一八・一三、一四、②聞マタ二六・三
58 ①聞ヨハ一八・一五、②聞マタ二六・三、③マタ二六・六九、ヨハ七・三二、四八・六他、一九・六
使徒一・三、一六
* あるいは「下役ども」
59 ①聞マタ五・二二
* あるいは「サンヘドリン」
60 ①申一九・一五
61 ①マタ二七・四〇、マコ一四・五八、一五・二九、ヨハ二・一九、使六・一四
* あるいは「聖所」
62 ① あるいは「後に」

証言をしていますが、これはどうなのですか。」
63 しかし、[1]イエスは黙っておられた。それで、[2]大祭司はイエスに言った。「私は、[3]生ける神によって、あなたに命じます。[4]あなたは神の子キリストなのか、どうか。その答えを言いなさい。」
64 イエスは彼に言われた。「[1]あなたの言うとおりです。なお、あなたがたに言っておきますが、今からのち、[2]人の子が、力ある方の右の座に着き、[3]天の雲に乗って来るのを、あなたがたは見ることになります。」
65 すると、大祭司は、自分の衣を[1]*引き裂いて言った。「神への冒瀆だ。これでもまだ、証人が必要でしょうか。あなたがたは、今、神をけがすことばを聞いたのです。
66 どう考えますか。」彼らは答えて、「[1]彼は死刑に当たる。」と言った。
67 [1]そうして、彼らはイエスの顔につばきをかけ、こぶしでなぐりつけ、また、他の者たちは、イエスを[2]*平手で打って、
68 こう言った。「[1]当ててみろ。*キリスト。あなたを打ったのはだれか。」
69 [1]ペテロが外の中庭にすわっていると、[2]女中のひとりが来て言った。「あなたも、ガリラヤ人イエスといっしょにいましたね。」
70 しかし、ペテロはみなの前でそれを打ち消して、「何を言っているのか、私にはわからない。」と言った。
71 そして、ペテロが入口まで出て行くと、ほかの女中が、彼を見て、そこにいる人々に言った。「この人はナザレ人イエスといっしょでした。」
72 それで、ペテロは、またもそれを打ち消し、誓って、「そんな人は知らない。」と言った。
73 しばらくすると、そのあたりに立っている人々がペテロに近寄って来て、「確かに、あなたもあの仲間だ。[1]ことばのなまりではっきりわかる。」と言った。
74 すると彼は、「そんな人は知らない。」と言って、のろいをかけて誓い始めた。するとすぐに、鶏が鳴いた。
75 そこでペテロは、[1]「鶏が鳴く前に三度、あなたは、わたしを知らないと言います。」とイエスの言われたあのことばを思い出した。そうして、彼は出て行って、激しく泣いた。

27

1 [1]さて、夜が明けると、祭司長、民の長老たち全員は、イエスを死刑にするために協議した。
2 それから、イエスを縛って連れ出し、[1]総督ピラトに引き渡した。
3 そのとき、イエスを売ったユダは、[1]イエスが罪に定められたのを知って後悔し、[2]*銀三十枚を、祭司長、長老たちに返して、
4 「私は罪を犯した。罪のない人の血を売ったりして。」と言った。しかし、彼らは、「私たちの知ったことか。[1]自分で始末することだ。」と言った。
5 それで、彼は銀貨を神殿に投げ込んで立ち去った。

---

63 ①マタ二七・二、一四、ヨハ一九・九　②マタ二六・六二、囲ルカ三・六七、③囲マタ一六・一六　④レビ五・一、⑤囲マタ四・三
64 ①囲マタ二六・二五、②詩一一〇・一　③ダニ七・一三、囲マタ一六・二七、二六
65 ①マコ一四・六三、民一四・六　＊あるいは「着物」
66 ①レビ一四・一六、ヨハ一九・七
67 ①マタ二六・六七、六八、囲ルカ三・六五、六六、②マタ五・三九、ヨハ一八・二三　＊あるいは「棒で打って」
68 ①マコ一四・六五、ルカ二二・六四　＊すなわち「メシヤ」
69 ①マタ二六・六九、七二、六六・七一、ルカ二二・五七、マコ一四・六八、ヨハ一八・二六・二七　②囲マタ二六・七一
73 ①マコ一四・七〇、ルカ二二・五九、囲ヨハ一八・二六
75 ①マタ二六・三四、囲ヨハ一三・三八
1 ①マコ一五・一、ルカ二三・六六、ヨハ一八・二八
2 ①ルカ二二・二、二三・二五　使二・二三、四・二七、Ⅰテモ六・一三　②囲マタ二〇・一九
3 ①囲マタ二六・一四、②マタ二六・一五　＊すなわち「シケル銀貨」
4 ①マタ二七・二四
5 ①ルカ一・九、二一他　囲マタ二六・六六注

そして、外に出て行って、首をつった。
6 祭司長たちは銀貨を取って、「これを神殿の金庫に
入れるのはよくない。血の代価だから。」と言った。
7 彼らは相談して、その金で陶器師の畑を買い、旅人
たちの墓地にした。
8 それで、その畑は、今でも血の畑と呼ばれている。
9 そのとき、預言者エレミヤを通して言われた事が成
就した。「彼らは銀貨三十枚を取った。イスラエルの
人々に値積もりされた人の値段である。
10 彼らは、主が私にお命じになったように、その金を
払って、陶器師の畑を買った。」
11 さて、イエスは総督の前に立たれた。すると、総
督はイエスに「あなたは、ユダヤ人の王ですか。」と尋
ねた。イエスは彼に「そのとおりです。」と言われた。
12 しかし、祭司長、長老たちから訴えがなされたとき
は、何もお答えにならなかった。
13 そのとき、ピラトはイエスに言った。「あんなにいろ
いろとあなたに不利な証言をしているのに、聞こえな
いのですか。」
14 それでも、イエスは、どんな訴えに対しても一言も
お答えにならなかった。それには総督も非常に驚い
た。
15 ところで総督は、その祭りには、群衆のために、い
つも望みの囚人をひとりだけ赦免してやっていた。
16 そのころ、バラバという名の知れた囚人が捕えられ
ていた。
17 それで、彼らが集まったとき、ピラトが言った。「あ
なたがたは、だれを釈放してほしいのか。バラバか、
それともキリストと呼ばれているイエスか。」
18 ピラトは、彼らがねたみからイエスを引き渡したこ
とに気づいていたのである。
19 また、ピラトが裁判の席に着いていたとき、彼の妻
が彼のもとに人をやって言わせた。「あの正しい人に
はかかわり合わないでください。ゆうべ、私は夢で、
あの人のことで苦しいめに会いましたから。」
20 しかし、祭司長、長老たちは、バラバのほうを願う
よう、そして、イエスを死刑にするよう、群衆を説き
つけた。
21 しかし、総督は彼らに答えて言った。「あなたがた
は、ふたりのうちどちらを釈放してほしいのか。」彼ら
は言った。「バラバだ。」
22 ピラトは彼らに言った。「では、キリストと言われて
いるイエスを私はどのようにしようか。」彼らはいっ
せいに言った。「十字架につけろ。」
23 だが、ピラトは言った。「あの人がどんな悪い事をし
たというのか。」しかし、彼らはますます激しく「十字
架につけろ。」と叫び続けた。
24 そこでピラトは、自分では手の下しようがなく、か
えって暴動になりそうなのを見て、群衆の目の前で
水を取り寄せ、手を洗って、言った。「この人の血に
ついて、私には責任がない。自分たちで始末するがよ
い。」

1) 外に出て行って 2) 一言も 3) 異本「そのとおりです。」 4) 異本「この義人の血」

5 ②既使・一八
8 ①既使・一九
9 ①ゼカ一一・一三、既エレ
一八・二、一九・一、三・六、九
＊異本「私は」
10 ＊異本「私は」
11 ①マタ二七・二、一四、マコ一五・
二、エル二三・三、ヨハ一八・
三七、一九、②既マタ二七・二
③既マタ二六・三五
12 ①マタ二六・六五、ヨハ一九・九
13 ①既マタ二七・一二、マコ一五・五
ヨハ一九・九、既ルカ二三・九
14 ①既マタ二七・一二、マコ一五・五
ヨハ一九・九、既ルカ二三・九
15 ①マタ二七・一五、マコ一五・
六、ルカ二三・一七、一五
既ヨハ一八・三九、一九・一六
16 ①既マタ一・一六、一七・三
17 ①既マタ一・一六、一七・三
18 ①既ヨハ一九・一一、使三・一三、一八・
一三、一九、一七、二五・六、一〇、一七
②マタ二七・二四
＊直訳「きよう」
③既マタ一・二〇、二・一三、一九、
三、創四・六、三一・一、民三三・六
ヨブ三三・二五
19 ①ヨハ一八・三八、使二三・二、一八・
一九、一七、二五・六、一〇、一七
②マタ二七・二四
＊直訳「きよう」
③既マタ一・二〇、二・一三、一九、
三、創四・六、三一・一、民三三・六
ヨブ三三・二五
20 ①使三・一四
22 ①既マタ一・一六
24 ①既マタ二六・五、
③マタ二七・二九
＊異本「この義人の血」
④マタ二七・四

25 すると、民衆はみな答えて言った。「[1]その人の血は、
私たちや子どもたちの上にかかってもいい。」
26 そこで、ピラトは彼らのためにバラバを釈放し、イ
エスをむち打ってから、十字架につけるために引き渡
した。
27 それから、総督の兵士たちは、イエスを[2]官邸の中
に連れて行って、イエスの回りに全部隊を集めた。
28 そして、イエスの着物を脱がせて、[1]緋色の上着を着
せた。
29 それから、いばらで冠を編み、頭にかぶらせ、右手
に葦を持たせた。そして、彼らはイエスの前にひざま
ずいて、からかって言った。「ユダヤ人の王さま。ばん
ざい。」
30 また彼らはイエスにつばきをかけ、葦を取り上げて
イエスの頭をたたいた。
31 こんなふうに、イエスをからかったあげく、その着
物を脱がせて、もとの着物を着せ、十字架につけるた
めに連れ出した。
32 そして、彼らが出て行くと、シモンというクレネ
人を見つけたので、彼らは、この人にイエスの十字架
を、むりやりに背負わせた。
33 ゴルゴタという所(「どくろ」と言われている場所)
に来てから、
34 彼らはイエスに、苦みを混ぜたぶどう酒を飲ませよ
うとした。イエスはそれをなめただけで、飲もうとは
されなかった。
35 こうして、イエスを十字架につけてから、彼らはく
じを引いて、イエスの着物を分け、
36 そこにすわって、イエスの見張りをした。
37 また、イエスの頭の上には、「これはユダヤ人の王イ
エスである。」と書いた罪状書きを掲げた。
38 そのとき、イエスといっしょに、ふたりの強盗が、
ひとりは右に、ひとりは左に、十字架につけられた。
39 道を行く人々は、頭を振りながらイエスをののしっ
て、
40 言った。「神殿を打ちこわして三日で建てる人よ。
もし、神の子なら、自分を救ってみろ。十字架から降
りて来い。」
41 同じように、祭司長たちも律法学者、長老たちとい
っしょになって、イエスをあざけって言った。
42 「彼は他人を救ったが、自分は救えない。イスラエ
ルの王さまなら、たった今、十字架から降りてもらお
うか。そうしたら、われわれは信じるから。
43 彼は神により頼んでいる。もし神のお気に入りな
ら、いま救っていただくがいい。『わたしは神の子だ。』
と言っているのだから。」
44 イエスといっしょに十字架につけられた強盗ども
も、同じようにイエスをののしった。
45 さて、十二時から、全地が暗くなって、三時まで
続いた。
46 三時ごろ、イエスは大声で、「エリ、エリ、レマ、サ
バクタニ。」と叫ばれた。これは、「わが神、わが神。

25 ①即ヨシ二・二九、使五・二八
26 ①マコ一五・一、ヨハ一九・一
27 ①即ルカ二三・二五
28 ①マタ二七・二、マコ一五・一七、ヨハ一九・二、②ヨハ一八・三、一八・九、即マタ二六・五
③衛使二・一
* あるいは「大隊」
29 ①マコ一五・一七、ヨハ一九・三
①マコ一五・一七、ヨハ一九・三
* あるいは「葦の棒」
30 ①マタ二六・六七、マコ一四・六五、マコ一五・一九
31 ①マコ一五・二〇
32 ①マタ二七・三、マコ一五・二一
ルカ二三・二六、即ヨハ一九・一七
33 ①マタ二七・三三、マコ一五・二二
34 ①マタ二七・三四、マコ一五・二三
ヨハ一九・二九、②ヨハ一九・二九、即マコ一五・二三
35 ①詩三二・八
36 ①マタ二七・三八
37 ①即マコ一五・二六、ルカ二三・三八
ヨハ一九・一九
39 ①マコ一五・二九、ヨブ一六・四
詩三二・七、一〇九・二五、哀二・一五
40 ①マタ二六・六一、二七・四〇、②マタ二七・四二
42 ①マコ一五・三一、ルカ二三・三五
* あるいは「自分は救えないのか」
②ヨハ一・四九、三・三、即マタ二七・四二、ルカ二三・三七
43 ①詩二二・九
44 ①即ルカ二三・三九、四三
45 ①マタ二七・四五下、マコ一五・三三、ルカ二三・四四、四九
* 直訳「第六時」
** 直訳「第九時」
46 ①詩二二・一

どうしてわたしをお見捨てになったのですか。」という意味である。
47 すると、それを聞いて、そこに立っていた人々のうち、ある人たちは、「この人はエリヤを呼んでいる。」と言った。
48 また、彼らのひとりがすぐ走って行って、海綿を取り、それに酸いぶどう酒を含ませて、葦の棒につけ、イエスに飲ませようとした。
49 ほかの者たちは、「私たちはエリヤが助けに来るかどうか見ることとしよう。」と言った。
50 そのとき、イエスはもう一度大声で叫んで、息を引き取られた。
51 すると、見よ。神殿の幕が上から下まで真二つに裂けた。そして、地が揺れ動き、岩が裂けた。
52 また、墓が開いて、眠っていた多くの聖徒たちのからだが生き返った。
53 そして、イエスの復活の後に墓から出て来て、聖都にはいって多くの人に現われた。
54 百人隊長および彼といっしょにイエスの見張りをしていた人々は、地震やいろいろの出来事を見て、非常な恐れを感じ、「この方はまことに神の子であった。」と言った。
55 そこには、遠くからながめている女たちがたくさんいた。イエスに仕えてガリラヤからついて来た女たちであった。
56 その中に、マグダラのマリヤ、ヤコブとヨセフとの母マリヤ、ゼベダイの子らの母がいた。
57 夕方になって、アリマタヤの金持でヨセフという人が来た。彼もイエスの弟子になっていた。
58 この人はピラトのところに行って、イエスのからだの下げ渡しを願った。そこで、ピラトは、渡すように命じた。
59 ヨセフはそれを取り降ろして、きれいな亜麻布に包み、
60 岩を掘って造った自分の新しい墓に納めた。墓の入口には大きな石をころがしかけて帰った。
61 そこにはマグダラのマリヤとほかのマリヤとが墓のほうを向いてすわっていた。
62 さて、次の日、すなわち備えの日の翌日、祭司長、パリサイ人たちはピラトのところに集まって、
63 こう言った。「閣下。あの、人をだます男がまだ生きていたとき、『自分は三日の後によみがえる。』と言っていたのを思い出しました。
64 ですから、三日目まで墓の番をするように命じてください。そうでないと、弟子たちが来て、彼を盗み出して、『死人の中からよみがえった。』と民衆に言うかもしれません。そうなると、この惑わしのほうが、前のばあいより、もっとひどいことになります。」
65 ピラトは「番兵を出してやるから、行ってできるだけの番をさせるがよい。」と彼らに言った。
66 そこで、彼らは行って、石に封印をし、番兵が墓の番をした。

48 ①マコ一五・三六、ルカ二三・三六 田ヨハ一九・二九
49 *直訳「見させてください」 **ここに「ほかの者が槍を取って、イエスのわき腹を突き刺した。すると、水と血が出て来た」を挿入している異本もある。田ヨハ一九・三四
50 ①マコ一五・三七、ルカ二三・四六 田ヨハ一九・三〇
51 ①マタ二七・五一、マコ一五・三八、田ルカ二三・四五 ②マコ一五・三八、ルカ二三・四五 田出二六・三三以下、ヘブ九・三 ③マタ二七・五四
52 ①新使七・六〇 ②①新マタ四・五 ③①新マタ四・五、ルカ二三・四七 ②マタ二七・五二 ③マタ二七・五二 ④新マタ四・三、田マタ二七・四四
53 ①マコ一六・五、ルカ二三・四七 ②①新マタ四・五 ③マタ二七・五二 田出二六・三三以下、ヘブ九・三
54 ①新マタ四・五 ②マタ二七・五六、ルカ二三・四七 ③マタ二七・五四
55 ①マコ一五・四〇、田ルカ二三・四九、ヨハ一九・二五、②ルカ八・二三 田マコ一五・四一
56 ①マタ二六・一、マコ一五・四七、ルカ八・二、ヨハ一九・二五、三・一八、②マタ二三・三四
57 ①マタ二七・五七、マコ一五・四二、ルカ二三・五六 ヨハ一九・三八、四二
60 ①マコ一六・四、マタ二七・六六、六〇
61 ①マタ二七・五六、六〇 ②マコ一五・四七、ルカ二三・五五 ヨハ一九・四〇、二〇・一
63 ①新マタ六・二一 *直訳「民の前で盗む」
65 ①マタ二七・六六、六〇 ②ダニ六・一七
66 ①マコ一六・四、マタ二七・六〇、六二、②ダニ六・一七、③マタ二七・六六、六〇

28

1 さて、安息日が終わって、週の初めの日の明け方、マグダラのマリヤと、ほかのマリヤが墓を見に来た。
2 すると、大きな地震が起こった。それは、主の使いが天から降りて来て、石をわきへころがして、その上にすわったからである。
3 その顔は、いなずまのように輝き、その衣は雪のように白かった。
4 番兵たちは、御使いを見て恐ろしさのあまり震え上がり、死人のようになった。
5 すると、御使いは女たちに言った。「恐れてはいけません。あなたがたが十字架につけられたイエスを捜しているのを、私は知っています。
6 ここにはおられません。前から言っておられたように、よみがえられたからです。来て、納めてあった場所を見てごらんなさい。
7 ですから急いで行って、お弟子たちにこのことを知らせなさい。イエスが死人の中からよみがえられたこと、そして、あなたがたより先にガリラヤに行かれ、あなたがたは、そこで、お会いできるということです。では、これだけはお伝えしました。」
8 そこで、彼女たちは、恐ろしくはあったが大喜びで、急いで墓を離れ、弟子たちに知らせに走って行った。
9 すると、イエスが彼女たちに出会って、「おはよう。」と言われた。彼女たちは近寄って御足を抱いてイエスを拝んだ。
10 すると、イエスは言われた。「恐れてはいけません。行って、わたしの兄弟たちに、ガリラヤに行くように言いなさい。そこでわたしに会えるのです。」
11 女たちが行き着かないうちに、もう、数人の番兵が都に来て、起こった事を全部、祭司長たちに報告した。
12 そこで、祭司たちは民の長老たちとともに集まって協議し、兵士たちに多額の金を与えて、
13 こう言った。「『夜、私たちが眠っている間に、弟子たちがやって来て、イエスを盗んで行った。』と言うのだ。
14 もし、このことが総督の耳にはいっても、私たちがうまく説得して、あなたがたには心配をかけないようにするから。」
15 そこで、彼らは金をもらって、指図されたとおりにした。それで、この話が広くユダヤ人の間に広まって今日に及んでいる。
16 しかし、十一人の弟子たちは、ガリラヤに行って、イエスの指示された山に登った。
17 そして、イエスにお会いしたとき、彼らは礼拝した。しかし、ある者は疑った。
18 イエスは近づいて来て、彼らにこう言われた。「わたしには天においても、地においても、いっさいの権威が与えられています。
19 それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。そして、父、子、聖霊の御名によ

1 ①マタ二六・二八、マコ一六・二八、ルカ二四・一〇、同ヨハ二〇・一八　②㊟マタ二七・六六、二
2 ①同ルカ二四・四、ヨハ二〇・一二　②マコ一六・四、マタ二七・六六、二八・二
3 ①同ダニ七・九、一〇・六、マコ九・三、ヨハ二〇・一二、使一・一〇
4 ①マタ二八・一〇、一四・七七　＊あるいは「恐れることをやめなさい」
5 ①マタ二七・六三、同マタ二四・一六・二
6 ①マタ二七・六三、同マタ二四・一六・二
7 ①マタ二六・三二、二八・一〇、一六
10 ①マタ二六・三二、一四・七七　②ヨハ二〇・一七、同ロマ八・二九、ヘブ二・一一、一三、一七、③マタ二八・三、二六・七、一六
11 ①マタ二七・六五、六六
14 ①マタ二七・二一
15 ①マタ九・三一、マコ一・四五　②㊟マタ二七・八
16 ①マタ二六・三二、二八・七、一〇
17 ①マコ一六・一二
18 ①マタ二六・二四、同ダニ七・一三、一四、ロマ一四・九、エペ一・二〇、三、ピリ二・九、一〇、コロ二・一〇　Ⅰペテ三・二二、㊟マタ二二・一〇
19 ①マコ一六・一五、一六　②ルカ二四・四七、同マタ二八・三三、③マタ二三・八、同使一四・二

ってバプテスマを授け、[19]
20 また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らを教えなさい。見よ。わたしは、世の終わりまで、[20]いつも、あなたがたとともにいます。」[21]

19 ④旧使二・三八、八・一六、ロマ六・三、Ⅰコリ一・一三、一五以下、ガラ三・二七
20 ①旧マタ一三・一九、②マタ一八・二〇、使八・一〇

マルコの福音書

1

1 神の子イエス・キリストの福音のはじめ。

2 預言者イザヤの書にこう書いてある。
「見よ。わたしは使いをあなたの前に遣わし、
あなたの道を整えさせよう。
3 荒野で叫ぶ者の声がする。
『主の道を用意し、
主の通られる道をまっすぐにせよ。』」

4 そのとおりに、バプテスマのヨハネが荒野に現われて、罪が赦されるための悔い改めのバプテスマを説いた。
5 そこでユダヤ全国の人々とエルサレムの全住民が彼のところへ行き、自分の罪を告白して、ヨルダン川で彼からバプテスマを受けていた。
6 ヨハネは、らくだの毛で織った物を着て、腰に皮の帯を締め、いなごと野蜜を食べていた。
7 彼は宣べ伝えて言った。「私よりもさらに力のある方が、あとからおいでになります。私には、かがんでその方のくつのひもを解く値うちもありません。
8 私はあなたがたに水でバプテスマを授けましたが、その方は、あなたがたに聖霊のバプテスマをお授けになります。」

9 そのころ、イエスはガリラヤのナザレから来られ、ヨルダン川で、ヨハネからバプテスマをお受けになった。
10 そして、水の中から上がられると、すぐそのとき、天が裂けて御霊が鳩のように自分の上に下られるのを、ご覧になった。
11 そして天から声がした。「あなたは、わたしの愛する子、わたしはあなたを喜ぶ。」
12 そしてすぐ、御霊はイエスを荒野に追いやられた。
13 イエスは四十日間荒野にいて、サタンの誘惑を受けられた。野の獣とともにおられたが、御使いたちがイエスに仕えていた。
14 ヨハネが捕えられて後、イエスはガリラヤに行き、神の福音を宣べて言われた。
15「時が満ち、神の国は近くなった。悔い改めて福音を信じなさい。」
16 ガリラヤ湖のほとりを通られると、シモンとシモンの兄弟アンデレが湖で網を打っているのをご覧になった。彼らは漁師であった。
17 イエスは彼らに言われた。「わたしについて来なさい。人間をとる漁師にしてあげよう。」
18 すると、すぐに、彼らは網を捨て置いて従った。
19 また少し行かれると、ゼベダイの子ヤコブとその兄弟ヨハネをご覧になった。彼らも舟の中で網を繕っていた。
20 すぐに、イエスがお呼びになった。すると彼らは父

1 ①㊐マタ四・三 *異本「神の子」を欠く
2 ①マコ一・二八、マタ三・一二 ルカ三・一六 ②マラ三・一 マタ一一・一〇、ルカセ・二七
3 ①イザ四〇・三、マタ三・三 ルカ三・四、ヨハ一・三三
4 ①ルカ一・七七、②使二・三八 *あるいは「宣言した」
7 *あるいは「宣言して」
8 *直訳「水をもって」あるいは「水の中で」 **直訳「聖霊によって」
9 ①マコ一・九―一一、マタ三・一三―一七 ルカ三・二一、三、②出マタ三・三三 ルカ三・五一
11 ①ルカ三・二二、㊐マタ三・一七
12 ①マコ一・二二、三、マタ四・一―一一 ルカ四・一―一三
13 ①㊐マタ四・一〇
14 ①マタ四・一二 *直訳「引き渡された」 ②㊐マタ四・三三
15 ①ガラ四・四、エペ一・一〇 Ⅰテモ二・六、テト一・三 ②出使三〇・二一
16 ①マコ一・一六―二〇、マタ四・一八―二二、出ルカ五・一―一一、ヨハ一・四一―四二

ゼベダイを雇い人たちといっしょに舟に残して、*イエスについて行った。

21 それから、一行はカペナウムにはいった。そしてすぐに、イエスは安息日に会堂にはいって教えられた。
22 人々は、その教えに驚いた。それはイエスが、律法学者たちのようにではなく、権威ある者のように教えられたからである。
23 すると、すぐにまた、その会堂に汚れた霊につかれた人がいて、大声でわめいて言った。
24 「ナザレの人イエス。いったい私たちに何をしようというのです。あなたは私たちを滅ぼしに来たのでしょう。私はあなたがどなたか知っています。神の聖者です。」
25 イエスは彼をしかって、「黙れ。この人から出て行け。」と言われた。
26 すると、その汚れた霊はその人をひきつけさせ、大声をあげて、その人から出て行った。
27 人々はみな驚いて、互いに論し合って言った。「これはどうだ。権威のある、新しい教えではないか。汚れた霊をさえ戒められる。すると従うのだ。」
28 こうして、イエスの評判は、すぐに、ガリラヤ全地の至る所に広まった。
29 *イエスは会堂を出るとすぐに、ヤコブとヨハネを連れて、シモンとアンデレの家にはいられた。
30 ところが、シモンのしゅうとめが熱病で床に着いていたので、人々はさっそく彼女のことをイエスに知らせた。
31 イエスは、彼女に近寄り、その手を取って起こされた。すると熱がひき、彼女は彼らをもてなした。*
32 夕方になった。日が沈むと、人々は病人や悪霊につかれた者をみな、イエスのもとに連れて来た。
33 こうして町中の者が戸口に集まって来た。
34 イエスは、さまざまの病気にかかっている多くの人をお直しになり、また多くの悪霊を追い出された。そして悪霊どもが*ものを言うのを、お許しにならなかった。彼らがイエスをよく知っていたからである。
35 さて、イエスは、朝早くまだ暗いうちに起きて、寂しい所へ出て行き、そこで祈っておられた。
36 シモンとその仲間は、イエスを追って来て、
37 彼を見つけ、「みんながあなたを捜しております。」と言った。
38 イエスは彼らに言われた。「さあ、近くの別の村里へ行こう。そこにも福音を知らせよう。わたしは、そのために出て来たのだから。」
39 こうしてイエスは、ガリラヤ全地にわたり、その会堂に行って、福音を告げ知らせ、悪霊を追い出された。
40 さて、ひとりのらい病人が、イエスのみもとにお願いに来て、ひざまずいて言った。「お心一つで、私はきよくしていただけます。」
41 イエスは深くあわれみ、手を伸ばして、彼にさわって言われた。「わたしの心だ。きよくなれ。」
42 すると、すぐに、そのらい病が消えて、その人はきよくなった。

20 *直訳「イエスのあとから出て行った」
21 ①マコ一二六、ルカ四三一、二七、②㊨マタ四一三、マコ一二七、一〇一
22 ①㊨マタ七二八
24 ①ルカ四三四、㊨ヨハ六二九
②マコ一二四、一三四、一六七、ルカ四三四、一二六、㊧マタ二一二三、使一三五、③ヨハ六六九、㊧ルカ一三五、使三二
27 ①マコ一二四、一三二、㊧マコ一三二、一六五、マタ八二四、一三五、ルカ四三六、一三五
*異本「一行は」
②マコ一二一三三
29 ①マコ一六三一、マタ八二四、一三五、ルカ四三六、一三五
*異本「一行は」
②マコ一二一三三
31 *あるいは「に仕えた」
32 ①マコ一二三四、マタ八二六、一七、ルカ四三四〇、四一
②㊧マタ八二六、ルカ四三四〇
③㊨マタ四二四
33 ①マコ一二一
34 ①マタ八二三、一二四
*異本「イエスがキリストであることを知っていた」
35 ①マコ一三五、ルカ四三五、三一
36 ①マコ一二五、㊧マコ一三三、三一
40 ①マコ一四〇一四四、マタ八二一四
ルカ五一二一四、②マコ一四一七㊧マタ八二、ルカ五一三

よくなった。
43そこでイエスは、彼をきびしく戒めて、すぐに彼を
立ち去らせた。
44そのとき彼にこう言われた。「気をつけて、だれにも
何も言わないようにしなさい。ただ行って、自分を祭
司に見せなさい。そして、*人々へのあかしのために、
モーセが命じた物をもって、あなたのきよめの供え物
をしなさい。」
45ところが、彼は出て行って、この出来事をふれ回
り、言い広め始めた。そのためイエスは表立って町の
中にはいることができず、町はずれの寂しい所におら
れた。しかし、人々は、あらゆる所からイエスのもと
にやって来た。

2

1数日たって、イエスがカペナウム
にまた来られると、家におられるこ
とが知れ渡った。
2それで多くの人が集まったため、戸口のところまで
すきまもないほどになった。この人たちに、イエスは
みことばを話しておられた。
3そのとき、ひとりの中風の人が四人の人にかつがれ
て、みもとに連れて来られた。
4群衆のためにイエスに近づくことができなかったので、その人々はイエスのおられるあたりの屋根をはがし、穴をあけて、中風の人を寝かせたままその床をつり降ろした。
5イエスは彼らの信仰を見て、中風の人に、「子よ。あ
なたの罪は赦されました。」と言われた。
6ところが、その場に律法学者が数人すわっていて、
心の中で理屈を言った。
7「この人は、なぜ、あんなことを言うのか。神をけがしているのだ。神おひとりのほか、だれが罪を赦すことができよう。」
8彼らが心の中でこのように理屈を言っているのを、イエスはすぐにご自分の霊で見抜いて、こう言われた。「なぜ、あなたがたは心の中でそんな理屈を言っているのか。
9中風の人に、『あなたの罪は赦された。』と言うのと、『起きて、寝床をたたんで歩け。』と言うのと、どちらがやさしいか。
10人の子が地上で罪を赦す権威を持っていることを、あなたがたに知らせるために。」こう言ってから、中風の人に、
11「あなたに言う。起きなさい。寝床をたたんで、家に帰りなさい。」と言われた。
12すると彼は起き上がり、すぐに床を取り上げて、みなの見ている前を出て行った。それでみなの者がすっかり驚いて、「こういうことは、かつて見たことがない。」と言って神をあがめた。
13イエスはまた湖のほとりに出て行かれた。すると群衆がみな、みもとにやって来たので、彼らに教えられた。
14イエスは、道を通りながら、アルパヨの子レビが収

---

44 ①参マタ八・四、②比マタ八・四
*直訳「彼らへの」
45 ①ルカ五・一五、参マタ八・一五 ②比マコ一・三三、三四・七、ルカ五・一七、ヨハ六・二
2 ①マコ一・二三、参マコ一・四五
3 ①マコ二・一一、三、マタ九・二、ルカ五・一八、二六、②参マタ四・二四
4 ①比ルカ五・一九
5 ①参マタ九・二
7 ①参イザ四三・二五
12 ①マタ九・三三、②参マタ九・八
13 ①参マコ一・四五
14 ①マコ二・一四一七、マタ九・九一三、ルカ五・二七一三、②比マタ九・九

税所にすわっているのをご覧になって、「わたしについて来なさい。」と言われた。すると彼は立ち上がって従った。

15それから、イエスは、彼の家で食卓に着かれた。取税人や罪人たちも大ぜい、イエスや弟子たちといっしょに食卓に着いていた。こういう人たちが大ぜいいて、イエスに従っていたのである。

16[1]パリサイ派の律法学者たちは、イエスが罪人や取税人たちといっしょに食事をしておられるのを見て、イエスの弟子たちにこう言った。「[2]なぜ、あの人は取税人や罪人たちといっしょに食事をするのですか。」

17イエスはこれを聞いて、彼らにこう言われた。「医者を必要とするのは丈夫な者ではなく、病人です。わたしは正しい人を招くためではなく、罪人を招くために来たのです。」

18ヨハネの弟子たちとパリサイ人たちは断食をしていた。そして、イエスのもとに来て言った。「ヨハネの弟子たちやパリサイ人の弟子たちは断食するのに、あなたの弟子たちはなぜ断食しないのですか。」

19イエスは彼らに言われた。「花婿が自分たちといっしょにいる間、*花婿の友だちが断食できるでしょうか。できないのです。

20しかし、花婿が彼らから取り去られる時が来ます。その日には断食します。

21だれも、真新しい布切れで古い着物の継ぎをするようなことはしません。そんなことをすれば、新しい*継ぎ切れは古い着物を引き裂き、破れはもっとひどくなります。

22また、だれも新しいぶどう酒を古い皮袋に入れるようなことはしません。そんなことをすれば、ぶどう酒は皮袋を張り裂き、ぶどう酒も皮袋もだめになってしまいます。新しいぶどう酒は新しい皮袋に入れるのです。」

23[1]ある安息日のこと、イエスは麦畑の中を通って行かれた。すると、弟子たちが道々穂を摘み始めた。

24[1]すると、パリサイ人たちがイエスに言った。「ご覧なさい。なぜ彼らは、安息日なのに、してはならないことをするのですか。」

25イエスは彼らに言われた。「ダビデとその連れの者たちが、食物がなくてひもじかったとき、ダビデが何をしたか、読まなかったのですか。

26アビヤタルが大祭司のころ、ダビデは神の家にはいって、祭司以外の者が食べてはならない供えのパンを、自分も食べ、またともにいた者たちにも与えたではありませんか。」

27また言われた。「安息日は[1]人間のために設けられたのです。[2]人間が安息日のために造られたのではありません。

28人の子は安息日にも主です。」

3

1[1]イエスはまた会堂にはいられた。[2]そこに片手のなえた人がいた。

2[1]彼らは、イエスが安息日にその人を直すかどうか、

14 ③参マタ八・三
16 ①使三・六、脱ルカ五・三〇 ②参マタ九・一一
17 ①マタ九・一二、一三、ルカ五・三一、三二
18 ①マコ二・一八―二二、マタ九・一四―一七、ルカ五・三三―三九
19* 直訳「婚礼の式場の子たち」
20 ①ルカ一七・二二、マタ九・一五
21* 直訳「補う物」
23 ①マコ二・二三―二六、マタ一二・一―八、ルカ六・一―五、②申二三・二五
24 ①参マタ一二・二
26 ①Ⅰ歴二四・六、脱Ⅰサム二一・一―またⅡサム八・一七
27 ①出二三・一二、申五・一四 ②コロ二・一六
1 ①マコ三・一―六、マタ一二・九―一四、ルカ六・六―一一、②マコ一・二一―二八頁
2 ①ルカ六・七、一四・三、一三・一〇

じっと見ていた。[2]イエスを訴えるためであった。
3 イエスは手のなえたその人に、「立って、真中に出なさい。」と言われた。
4 それから彼らに、「安息日にしてよいのは、善を行なうことなのか、それとも悪を行なうことなのか。いのちを救うことなのか、それとも殺すことなのか。」と言われた。彼らは黙っていた。
5 イエスは怒って[1]彼らを見回し、その心のかたくなのを嘆きながら、その人に、「手を伸ばしなさい。」と言われた。彼は手を伸ばした。するとその手が元どおりになった。
6 そこでパリサイ人たちは出て行って、すぐに[1]ヘロデ党の者たちといっしょになって、イエスをどうして葬り去ろうかと相談を始めた。
7 それから、イエスは弟子たちとともに湖のほうに退かれた。すると、ガリラヤから出て来た大ぜいの人[2]がついて行った。また、ユダヤから、
8 エルサレムから、[1]イドマヤから、ヨルダンの川向こうや[2]ツロ、シドンあたりから、大ぜいの人々が、イエスの行なっておられることを聞いて、みもとにやって来た。
9 イエスは、大ぜいの人なので、押し寄せて来ないよう、ご自分のために小舟を用意しておくように弟子たちに言いつけられた。
10 それは、[1]多くの人をいやされたので、病気に悩む人[2]たちがみな、[3]イエスにさわろうとして、みもとに押しかけて来たからである。
11 また、汚れた霊どもが、イエスを見ると、みもとにひれ伏し、「あなたこそ神の子です。」と叫ぶのであった。[1]
12 イエスは、ご自身のことを知らせないようにと、きびしく彼らを戒められた。
13 さて、イエスは山に登り、[2]ご自身のお望みになる者たちを呼び寄せられたので、彼らはみもとに来た。
14 そこでイエスは十二弟子[*]を任命された。[**]それは、彼らを身近に置き、また彼らを遣わして福音を宣べさせ、
15 悪霊を追い出す権威を持たせるためであった。
16 [1]こうして、イエスは十二弟子[*]を任命された。そして、シモンにはペテロという名をつけ、
17 ゼベダイの子ヤコブとヤコブの兄弟ヨハネ、このふたりにはボアネルゲ、すなわち、雷の子という名をつけられた。
18 次に、アンデレ、ピリポ、バルトロマイ、マタイ、トマス、アルパヨの子ヤコブ、タダイ、熱心党員シモン、
19 イスカリオテ・ユダ。このユダが、イエスを裏切ったのである。
20 [1]イエスが家に戻られると、また大ぜいの人が集まって来たので、みなは食事する暇もなかった。
21 [1]イエスの身内の者たちが聞いて、イエスを連れ戻しに出て来た。「[2]気が狂ったのだ。」と言う人たちがいたからである。

2 ②マタ三・一〇、ルカ六・七 旧ルカ一一・二四
5 ①ルカ六・一〇
6 ①新マタ三・六、マコ三・六
7 ①マコ三・七―一二、マタ四・二五、ルカ六・一七―一九、②マタ四・二五、ルカ六・一七
8 ①旧ヨシ一五・一―三、エゼ三五・一五、②新マコ三・八、一〇、新マタ四・二五、新ルカ六・一七、③新マコ六・三三、マタ一四・三五
10 ①新マタ四・二三、②マコ五・二九、一〇、ルカ七・二一、③新マコ六・五六、八・二二、マタ一四・三五
11 ①新マタ四・三
12 ①新マタ八・四
13 ①ルカ六・一三、旧ホセ一・一 ②マタ一〇・一、マコ六・七 ルカ九・一六
14 * 直訳「十二人」 ** 異本「任命して使徒と名づけられた」
16 ①マコ三・一六―一九、マタ一〇・二―四 ルカ六・一四―一六、使一・一三 新マタ一〇・二―四の名のリスト * 直訳「十二人」
20 ①旧マコ三・一―七、一二、九・三六 ②マコ三・七、旧マコ一・四五 ③マコ六・三一
21 ①旧マコ三・三一、三二、②旧ヨハ一〇・二〇、使六・一三

22 また、[1]エルサレムから下って来た律法学者たちも、「彼は、ベルゼブルに取りつかれている。」と言い、「悪霊どものかしらによって、悪霊どもを追い出しているのだ。」とも言った。
23 そこでイエスは彼らをそばに呼んで、[2]たとえによって話された。「サタンがどうしてサタンを追い出せましょう。
24 もし国が内部で分裂したら、その国は立ち行きません。
25 また、家が内輪もめをしたら、家は立ち行きません。
26 サタンも、もし内輪の争いが起こって分裂していれば、立ち行くことができないで滅びます。
27 確かに、強い人の家に押し入って家財を略奪するには、まずその強い人を縛り上げなければなりません。そのあとでその家を略奪できるのです。
28 まことに、あなたがたに告げます。人はその犯すどんな罪も赦していただけます。また、神をけがすことを言っても、それはみな赦していただけます。
29 しかし、聖霊をけがす者はだれでも、永遠に赦されず、とこしえの罪に定められます。」
30 *このように言われたのは、彼らが、「イエスは、汚れた霊につかれている。」と言っていたからである。
31 さて、イエスの母と兄弟たちが来て、外に立っていて、人をやり、イエスを呼ばせた。
32 大ぜいの人がイエスを囲んですわっていたが、「ご覧なさい。あなたのおかあさんと兄弟たちが、外であなたをたずねています。」と言った。
33 すると、イエスは彼らに答えて言われた。「わたしの母とはだれのことですか。また、兄弟たちとはだれのことですか。」
34 そして、自分の回りにすわっている人たちを見回して言われた。「ご覧なさい。わたしの母、わたしの兄弟たちです。
35 神のみこころを行なう人はだれでも、わたしの兄弟、姉妹、また母なのです。」

4

1 [1]イエスはまた湖の[2]ほとりで教え始められた。おびただしい数の群衆がみもとに集まった。それでイエスは湖の上の舟に乗り、そこに腰をおろされ、群衆はみな岸べの陸地にいた。
2 イエスはたとえによって[1]多くのことを教えられた。その教えの中でこう言われた。
3 「よく聞きなさい。種を蒔く人が種蒔きに出かけた。
4 蒔いているとき、種が道ばたに落ちた。すると、鳥が来て食べてしまった。
5 また、別の種が岩地に落ちた。土が深くなかったので、すぐに芽を出した。
6 しかし日が上ると、焼けて、根がないために枯れてしまった。
7 また、別の種がいばらの中に落ちた。ところが、いばらが伸びて、それをふさいでしまったので、実を結ばなかった。

22 ①参マタ三・一 ②参マタ一〇・二五、[旧]マタ一二・二四、③参マタ九・三四
23 ①マコ三・二三―二七、マタ一二・二五―二九、ルカ一一・一七―二二 ②マコ四・二、[旧]マタ一三・三以下、マコ四・二以下等 ③参マタ四・一〇
26 ①参マタ四・一〇
27 ①[旧]イザ四九・二四、二五
28 ①マコ三・二八―三〇、[旧]マタ一二・三一、ルカ一二・一〇 *直訳「人の子たち」
30 *「このように言われたのは」は補足
31 ①マコ三・三一―三五、マタ一二・四六―五〇、ルカ八・一九―二一
32 *後代の写本に「と姉妹」を加えるものもある
1 ①マコ四・一―二〇、マタ一三・一―二三、ルカ八・四―一五、②マコ三・七、一二・七
2 ①マコ一二・三八、[旧]マタ一三・三以下、マコ四・二以下等

8 また、別の種が良い地に落ちた。すると芽ばえ、育って、実を結び、三十倍、六十倍、百倍になった。」
9 そしてイエスは言われた。「[1]聞く耳のある者は聞きなさい。」
10 さて、イエスだけになったとき、*いつもつき従っている人たちが、十二弟子とともに、これらのたとえのことを尋ねた。
11 そこで、イエスは言われた。「あなたがたには、神の国の奥義が知らされているが、[1]ほかの人たちには、すべてがたとえで言われるのです。
12 それは、『彼らは確かに見るには見るがわからず、聞くには聞くが悟らず、悔い改めて赦されることのないため。』[1][2]です。」
13 そして彼らにこう言われた。「このたとえがわからないのですか。そんなことで、いったいどうしてたとえの理解ができましょう。
14 種蒔く人は、みことばを蒔くのです。
15 みことばが道ばたに蒔かれるとは、こういう人たちのことです——みことばを聞くと、すぐサタンが来て、彼らに蒔かれたみことばを持ち去ってしまうのです。
16 同じように、岩地に蒔かれるとは、こういう人たちのことです——みことばを聞くと、すぐに喜んで受けるが、
17 根を張らないで、ただしばらく続くだけです。それで、みことばのために困難や迫害が起こると、すぐにつまずいてしまいます。
18 もう一つの、いばらの中に種を蒔かれるとは、こういう人たちのことです——みことばを聞いてはいるが、
19 世の心づかいや、富の惑わし、その他いろいろな欲望がはいり込んで、みことばをふさぐので、実を結びません。
20 良い地に蒔かれるとは、みことばを聞いて受け入れ、三十倍、六十倍、百倍の実を結ぶ人たちです。」
21 また言われた。「[1]あかりを持って来るのは、枡の下や寝台の下に置くためでしょうか。燭台の上に置くためではありませんか。
22 [1]隠れているのは、必ず現われるためであり、おおい隠されているのは、明らかにされるためです。
23 [1]聞く耳のある者は聞きなさい。」
24 また彼らに言われた。「[1]聞いていることによく注意しなさい。あなたがたは、人に量ってあげるその量りで、自分にも量り与えられ、さらにその上に増し加えられます。
25 持っている人は、さらに与えられ、持たない人は、持っているものまでも取り上げられてしまいます。」
26 [1]また言われた。「神の国は、人が地に種を蒔くようなもので、
27 夜は寝て、朝は起き、そうこうしているうちに、種は芽を出して育ちます。どのようにしてか、人は知りません。
28 地は人手によらず実をならせるもので、初めに苗、

9 ①聖マタ一一・一五、マコ四・三
10 * 直訳「回りにいる人たち」
11 ① Ⅰコリ一四・二二、コロ四・五、Ⅰテサ四・一二、聖Ⅰテモ三・七 ② マコ三・三一、四・一一
12 ① イザ六・九、聖マタ一三・一四、一五
13 ④ マコ四・一三、マタ一三・一八—二三、ルカ八・一一—一五
15 ① 聖マタ四・一〇
19 ① 聖マタ一三・二二 * あるいは「時代」
21 ① マタ五・一五、ルカ八・一六、一一・三三
22 ④ マタ一〇・二六、ルカ八・一七、一二・二
23 ① マコ四・九、聖マタ一一・一五
24 ④ マタ七・二、ルカ六・三八
25 ① 聖マタ一三・一二
26 ① マコ四・二六—二九、旧マタ一三・二四—二三

次に穂、次に穂の中に実がはいります。
29 実が熟すると、人はすぐにかまを入れます。収穫の時が来たからです。」
30 また言われた。「神の国は、*どのようなものと言えばよいでしょう。何にたとえたらよいでしょう。
31 それはからし種のようなものです。地に蒔かれるときには、地に蒔かれる種の中で、一番小さいのですが、
32 それが蒔かれると、生長してどんな野菜よりも大きくなり、大きな枝を張り、その陰に空の鳥が巣を作れるほどになります。」
33 イエスは、このように多くのたとえで、彼らの聞く力に応じて、みことばを話された。
34 たとえによらないで話されることはなかった。ただ、ご自分の弟子たちにだけは、すべてのことを解き明かされた。
35 さて、その日のこと、夕方になって、イエスは弟子たちに、「さあ、向こう岸へ渡ろう。」と言われた。
36 そこで弟子たちは、群衆をあとに残し、舟に乗っておられるままで、イエスをお連れした。他の舟もイエスについて行った。
37 すると、激しい突風が起こり、舟は波をかぶって、水でいっぱいになった。
38 ところがイエスだけは、とものほうで、枕をして眠っておられた。弟子たちはイエスを起こして言った。「先生。私たちがおぼれて死にそうでも、何とも思われないのですか。」
39 イエスは起き上がって、風をしかりつけ、湖に「黙れ、静まれ。」と言われた。すると風はやみ、大なぎになった。
40 イエスは彼らに言われた。「どうしてそんなにこわがるのです。信仰がないのは、どうしたことです。」
41 彼らは大きな恐怖に包まれて、互いに言った。「風や湖までが言うことをきくとは、いったいこの方はどういう方なのだろう。」

5

1 こうして彼らは湖の向こう岸、ゲラサ人の地に着いた。
2 イエスが舟から上がられると、すぐに、汚れた霊につかれた人が墓場から出て来て、イエスを迎えた。
3 この人は墓場に住みついており、もはやだれも、鎖をもってしても、彼をつないでおくことができなかった。
4 彼はたびたび足かせや鎖でつながれたが、鎖を引きちぎり、足かせも砕いてしまったからで、だれにも彼を押えるだけの力がなかったのである。
5 それで彼は、夜昼となく、墓場や山で叫び続け、石で自分のからだを傷つけていた。
6 彼はイエスを遠くから見つけ、駆け寄って来てイエスを拝し、
7 大声で叫んで言った。「いと高き神の子、イエスさま。いったい私に何をしようというのですか。神の御名によってお願いします。どうか私を苦しめないでく

29* 直訳「送ります」

30 ①マコ四・三一三二、マタ一三・三一三二、ルカ一三・一八一九 ②㊟マタ一三・三一 * 直訳「どのように比べたらよいでしょう」

34 ①マタ一三・三四、田ヨハ一〇・六、一六・二五

35 ①マコ四・三五―四一、マタ八・二三―二七、ルカ八・二二―二五

36* あるいは「去らせ」 ①マコ四・一―二、三―一、田マコ三・九

1 ①マコ三・一―七、マタ八・二八―一

2 ①マコ三・一、三五、五・二、田マコ三・九、②マコ一・二三

7 ①㊟マタ八・二九、②ルカ八・二八 使一六・一七、ヘブ七・一 ③㊟マタ四・三

ださい。」
8それは、イエスが、「汚れた霊よ。この人から出て行け。」と言われたからである。
9それで、「おまえの名は何か。」とお尋ねになると、「私の名は[1]レギオンです。私たちは大ぜいですから。」と言った。
10そして、自分たちをこの地方から追い出さないでくださいと懇願した。
11ところで、そこの山腹に、豚の大群が飼ってあった。
12彼らはイエスに願って言った。「私たちを豚の中に送って、彼らに乗り移らせてください。」
13イエスがそれを許されたので、汚れた霊どもは出て行って、豚に乗り移った。すると、二千匹ほどの豚の群れが、険しいがけを駆け降り、湖へなだれ落ちて、湖におぼれてしまった。
14豚を飼っていた者たちは逃げ出して、町や村々でこの事を告げ知らせた。人々は何事が起こったのかと見にやって来た。
15そして、イエスのところに来て、[1]悪霊につかれていた人、すなわち[2]レギオンを宿していた人が、[3]着物を着て、[4]正気に返ってすわっているのを見て、恐ろしくなった。
16見ていた人たちが、[1]悪霊につかれていた人に起こったことや、豚のことを、つぶさに彼らに話して聞かせた。
17すると、彼らはイエスに、この地方から離れてくださるよう願った。
18[1]それでイエスが舟に乗ろうとされると、[2]悪霊につかれていた人が、お*供をしたいとイエスに願った。
19しかし、お許しにならないで、彼にこう言われた。「あなたの家、あなたの家族のところに帰り、主があなたに、どんなに大きなことをしてくださったか、どんなにあわれんでくださったかを、知らせなさい。」
20そこで、彼は立ち去り、イエスが自分にどんなに大きなことをしてくださったかを、[1]デカポリスの地方で言い広め始めた。人々はみな驚いた。
21[1]イエスが舟でまた向こう岸へ渡られると、大ぜいの人の群れがみもとに集まった。[3]イエスは岸べにとどまっておられた。
22[1]すると、[2]会堂管理者のひとりでヤイロという者が来て、イエスを見て、その足もとにひれ伏し、
23いっしょうけんめい願ってこう言った。「私の小さい娘が死にかけています。どうか、おいでくださって、娘の上に[1]御手を置いてやってください。娘が直って、助かるようにしてください。」
24そこで、イエスは彼といっしょに出かけられたが、多くの群衆がイエスについて来て、イエスに押し迫った。
25ところで、十二年の間長血をわずらっている女がいた。
26この女は多くの医者からひどいめに会わされて、自分の持ち物をみな使い果たしてしまったが、何のかい

9 ①マコ三・一一、ルカ八・三〇 旧マタ二六・五三
15 ①マコ三・一六、八、国マタ四・二四 ②国マコ三・九、③旧ルカ八・二七 ④ルカ八・三五
16 ①マコ三・一六、国マタ四・二四
18 ①マコ三・一六―一九、ルカ八・三六、三七、②マコ三・一六、八、国マタ四・二四 *直訳「いっしょにいたい」
20 ①マコ七・三一、マタ四・二五
21 ①マタ九・一、ルカ八・四〇 ②旧マコ四・三六、③旧マコ四・一 *直訳「おられた」
22 ①マコ三・一三―一九、マタ九・一八―二六、ルカ八・四一―五六、②マコ三・一六、三六、ルカ八・四九、一二・一四、使一三・一五、一八・八、一七、旧マタ九・一八
23 ①マコ六・五、七・三二、八・二三、一六・一八、ルカ四・四〇、一三・一三、使九・一七、二八・八、旧使六・六 *直訳「救われて、生きるように」

もなく、かえって悪くなる一方であった。
27彼女は、イエスのことを耳にして、群衆の中に紛れ込み、うしろから、イエスの着物に手でさわった。
28「お着物にさわることでもできれば、きっと直る。」
*と考えていたからである。
29すると、すぐに、血の源がかれて、[1]ひどい痛みが直ったことを、からだに感じた。
30イエスも、すぐに、自分のうちから力が外に出て行ったことに気づいて、群衆の中を振り向いて、「だれがわたしの着物にさわったのですか。」と言われた。
31そこで弟子たちはイエスに言った。「群衆があなたに押し迫っているのをご覧になっていて、それでも『だれがわたしにさわったのか。』とおっしゃるのですか。」
32イエスは、それをした人を知ろうとして、見回しておられた。
33女は恐れおののき、自分の身に起こった事を知り、イエスの前に出てひれ伏し、イエスに真実を余すところなく打ち明けた。
34そこで、イエスは彼女にこう言われた。「娘よ。あなたの信仰があなたを直したのです。安心して帰りなさい。[3]病気にかからず、すこやかでいなさい。」
35イエスが、まだ話しておられるときに、[1]会堂管理者の家から人がやって来て言った。「あなたのお嬢さんはなくなりました。なぜ、このうえ先生を煩わすことがありましょう。」
36イエスは、その話のことばをそばで聞いて、[1]会堂管理者に言われた。「[2]恐れないで、ただ信じていなさい。」
37そして、ペテロとヤコブとヤコブの兄弟ヨハネのほかは、だれも自分といっしょに行くのをお許しにならなかった。
38彼らはその会堂管理者の家に着いた。イエスは、人人が、取り乱し、大声で泣いたり、わめいたりしているのをご覧になり、
39中にはいって、彼らにこう言われた。「なぜ取り乱して、泣くのですか。子どもは死んだのではない。眠っているのです。」
40人々はイエスをあざ笑った。しかし、イエスはみんなを外に出し、ただその子どもの父と母、それにご自分の供の者たちだけを伴って、子どものいる所へはいって行かれた。
41そして、その子どもの手を取って、「タリタ、クミ。」と言われた。(訳して言えば、「少女よ。あなたに言う。起きなさい。」という意味である。)
42すると、少女はすぐさま起き上がり、歩き始めた。十二歳にもなっていたからである。彼らはたちまち非常な驚きに包まれた。
43[1]イエスは、このことをだれにも知らせないようにと、きびしくお命じになり、さらに、少女に食事をさせるように言われた。

6

1[1]イエスはそこを去って、郷里に行かれた。弟子たちもついて行った。[2]

*あるいは「上着」
**直訳「救われる」
***直訳「言っていた」

1 ①マコ六・一六、マタ一四・一〜二、ルカ九・七〜九
2 ①マコ六・一〜六、マタ一三・五四〜五八
②ルカ四・一六〜三〇、ヨハ六・四二
3 ①マコ一・四四、ヨハ九・四〇
4 ①マコ六・一八、マタ一四・三
5 ①マコ六・二二
6 ①マタ一一・二〜六、ヨハ一〇・三七
7 ①マコ三・一二
8 ①マコ三・一三
9 ①マコ三・一四、②ルカ六・一三
*あるいは「信じ続けなさい」
10 ①マコ三・一六
11 ①マコ三・一七
12 ①マコ三・一八
13 ①マコ三・一九
14 ①マコ三・二〇
15 ①マコ三・二一
16 ①マコ三・二二
17 ①マコ三・二三
18 ①マコ三・二四
19 ①マコ三・二五
20 ①マコ三・二六
21 ①マコ三・二七
22 ①マコ三・二八
23 ①マコ三・二九
24 ①マコ三・三〇
25 ①マコ三・三一
26 ①マコ三・三二
27 ①マコ三・三三
28 ①マコ三・三四
29 ①マコ三・三五
30 ①マコ四・一
31 ①マコ四・二
32 ①マコ四・三
33 ①マコ四・四
34 ①マコ四・五
35 ①マコ四・六
36 ①マコ四・七
37 ①マコ四・八
38 ①マコ四・九
39 ①マコ四・一〇
40 ①マコ四・一一
41 ①マコ四・一二
42 ①マコ四・一三
43 ①マコ四・一四
1 ①マコ六・一、マタ一三・五四、②ルカ四・一六、三一

2 安息日になったとき、会堂で教え始められた。それを聞いた多くの人々は驚いて言った。「この人は、こういうことをどこから得たのでしょう。この人に与えられた知恵や、この人の手で行なわれるこのような力あるわざは、いったい何でしょう。
3 この人は大工ではありませんか。マリヤの子で、ヤコブ、ヨセ、ユダ、シモンの兄弟ではありませんか。その妹たちも、私たちとここに住んでいるではありませんか。」こうして彼らはイエスにつまずいた。
4 イエスは彼らに言われた。「預言者が尊敬されないのは、自分の郷里、親族、家族の間だけです。」
5 それで、そこでは何一つ力あるわざを行なうことができず、少数の病人に手を置いていやされただけであった。
6 イエスは彼らの不信仰に驚かれた。
それからイエスは、近くの村々を教えて回られた。
7 また、十二弟子を呼び、ふたりずつ遣わし始め、彼らに汚れた霊を追い出す権威をお与えになった。
8 また、彼らにこう命じられた。「旅のためには、杖一本のほかは、何も持って行ってはいけません。パンも、袋も、胴巻きに金も持って行ってはいけません。
9 くつは、はきなさい。しかし二枚の下着を着てはいけません。」
10 また、彼らに言われた。「どこででも一軒の家にはいったら、そこの土地から出て行くまでは、その家にとどまっていなさい。
11 もし、あなたがたを受け入れない場所、また、あなたがたに聞こうとしない人々なら、そこから出て行くときに、そこの人々に対する証言として、足の裏のちりを払い落としなさい。」
12 こうして十二人が出て行き、悔い改めを説き広め、
13 悪霊を多く追い出し、大ぜいの病人に油を塗っていやした。
14 イエスの名が知れ渡ったので、ヘロデ王の耳にもはいった。人々は、「バプテスマのヨハネが死人の中からよみがえったのだ。だから、あんな力が、彼のうちに働いているのだ。」と言っていた。
15 別の人々は、「彼はエリヤだ。」と言い、さらに別の人々は、「昔の預言者の中のひとりのような預言者だ。」と言っていた。
16 しかし、ヘロデはうわさを聞いて、「私が首をはねたあのヨハネが生き返ったのだ。」と言っていた。
17 実は、このヘロデが、自分の兄弟ピリポの妻ヘロデヤのことで、人をやってヨハネを捕え、牢につないだのであった。
18 これは、ヨハネがヘロデに、「あなたが兄弟の妻を自分のものとしていることは不法です。」と言い張ったからである。
19 ところが、ヘロデヤはヨハネを恨み、彼を殺したいと思いながら、果たせないでいた。
20 それはヘロデが、ヨハネを正しい聖なる人と知って、彼を恐れ、保護を加えていたからである。また、ヘロ

2 ①㊐マタ一三・五、㊊マコ一〇・一 ②㊐マタ七・二八 *あるいは「奇蹟」
3 ①㊊マタ一三・五五、②㊐マタ一三・五六、③マタ一三・五六 ④㊐マタ一二・四六
4 ①㊐マタ一三・五七、②㊐マコ六・四
5 *あるいは「奇蹟」 ①㊐マコ一三・三
6 ①マタ九・三五、ルカ一三・三一 ㊊マコ一・三九、一〇・一
7 ①マコ六・七・一二、マタ一〇・一、九・一四・一一、ルカ九・一、三五、㊊ルカ一〇・一、一七、②マコ三・一三、マタ一〇・一、五、ルカ九・一、三五 ③ルカ一〇・一
8 ①マタ一〇・一〇
11 ①マタ一〇・一四
12 ①㊊マタ一一・一、ルカ九・六 *直訳「悔い改めるべきことを」
13 ①ヤコ五・一四
14 ①マコ六・一四―二九、マタ一四・一―一二、マコ六・一四―一六、ルカ九・七―九、②㊐マタ一四・一
15 ①㊐マタ一六・一四、㊊マコ八・二八、②㊐マタ二一・一一
17 ①㊐マタ一四・三
18 ①㊐マタ一四・四
19 ①㊐マタ一四・五
20 ①㊊マタ二一・二六

デはヨハネの教えを聞くとき、非常に当惑しながらも、喜んで耳を傾けていた。

21 ところが、良い機会が訪れた。ヘロデがその誕生日に、重臣や、千人隊長や、[1]ガリラヤのおもだった人などを招いて、祝宴を設けたとき、

22 [1]ヘロデヤの娘がはいって来て、踊りを踊ったので、ヘロデも列席の人々も喜んだ。そこで王は、この少女に、「何でもほしい物を言いなさい。与えよう。」と言った。

23 また、「おまえの望む物なら、私の国の半分でも、与えよう。」と言って、誓った。

24 そこで少女は出て行って、「何を願いましょうか。」とその母親に言った。すると母親は、「バプテスマのヨハネの首。」と言った。

25 そこで少女はすぐに、大急ぎで王の前に行き、こう言って頼んだ。「今すぐに、バプテスマのヨハネの首を盆に載せていただきとうございます。」

26 王は非常に心を痛めたが、自分の誓いもあり、列席の人々の手前もあって、少女の願いを退けることを好まなかった。

27 そこで王は、すぐに護衛兵をやって、ヨハネの首を持って来るように命令した。護衛兵は行って、牢の中でヨハネの首をはね、

28 その首を盆に載せて持って来て、少女に渡した。少女は、それを母親に渡した。

29 ヨハネの弟子たちは、このことを聞いたので、やって来て、遺体を引き取り、墓に納めたのであった。

30 [1]さて、[2]使徒たちは、イエスのもとに集まって来て、自分たちのしたこと、教えたことを残らずイエスに報告した。

31 そこでイエスは彼らに、「さあ、あなたがただけで、寂しい所へ行って、しばらく休みなさい。」と言われた。人々の出入りが多くて、[1]ゆっくり食事する時間さえなかったからである。

32 [1]そこで彼らは、[2]舟に乗って、自分たちだけで寂しい所へ行った。

33 ところが、多くの人々が、彼らの出て行くのを見、それと気づいて、方々の町々からそこへ徒歩で駆けつけ、彼らよりも先に着いてしまった。

34 イエスは、舟から上がられると、[1]多くの群衆をご覧になった。そして彼らが羊飼いのいない羊のようであるのを深くあわれみ、いろいろと教え始められた。

35 そのうち、もう時刻もおそくなったので、弟子たちはイエスのところに来て言った。「ここはへんぴな所で、もう時刻もおそくなりました。

36 みんなを解散させてください。そして、近くの部落や村に行って何か食べる物をめいめいで買うようにさせてください。」

37 すると、彼らに答えて言われた。「あなたがたで、あの人たちに何か食べる物を上げなさい。」そこで弟子たちは言った。[1]「私たちが出かけて行って、二百デナリ[2]ものパンを買ってあの人たちに食べさせるように、と

---

21 ①ルカ三・一 ②既エス・三・二八

22 ①脚マタ一四・三

23 ①エス五・三、ベ・二

30 ①ルカ九・一〇、②マタ一〇・二（既マコ三・一四のギリシヤ語）ルカ六・一三、九・一〇、一七・五、三・一四・二四・一〇、使一・二、三六等

31 ①マコ三・二〇

32 ①マコ六・三一既、マタ一四・一三、ルカ九・一〇、一七、ヨハ六・一、三、既マコ六・三一九 ②マコ六・五一、既マコ四・三六

34 ①脚マタ九・三六

37 ①ヨハ六・七 ②マタ一八・二六 ルカ一・五三

いうことでしょうか。」
38 するとイエスは彼らに言われた。「パンはどれぐらいありますか。行って見て来なさい。」彼らは確かめて言った。「五つです。それと魚が二匹です。」
39 イエスは、みなを、それぞれ組みにして青草の上にすわらせるよう、弟子たちにお命じになった。
40 そこで人々は、百人、五十人と固まって席に着いた。
41 するとイエスは、五つのパンと二匹の魚を取り、天を見上げて祝福を求め、パンを裂き、人々に配るように弟子たちに与えられた。また、二匹の魚もみなに分けられた。
42 人々はみな、食べて満腹した。
43 そして、パン切れを十二のかごにいっぱい拾い集め、魚の残りも拾い集めた。
44 パンを食べたのは、男が五千人であった。
45 それからすぐに、イエスは弟子たちを強いて舟に乗り込ませ、先に向こう岸のベツサイダに行かせ、ご自分は、その間に群衆を解散させておられた。
46 それから、群衆に別れ、祈るために、そこを去って山のほうに向かわれた。
47 夕方になったころ、舟は湖の真中に出ており、イエスだけが陸地におられた。
48 イエスは、弟子たちが、向かい風のために漕ぎあぐねているのをご覧になり、夜中の三時ごろ、湖の上を歩いて、彼らに近づいて行かれたが、そのままそばを通り過ぎようとのおつもりであった。
49 しかし、弟子たちは、イエスが湖の上を歩いておられるのを見て、幽霊だと思い、叫び声をあげた。
50 というのは、みなイエスを見ておびえてしまったからである。しかし、イエスはすぐに彼らに話しかけ、「しっかりしなさい。わたしだ。恐れることはない。」と言われた。
51 そして舟に乗り込まれると、風がやんだ。彼らの心中の驚きは非常なものであった。
52 というのは、彼らはまだパンのことから悟るところがなく、その心は堅く閉じていたからである。
53 彼らは湖を渡って、ゲネサレの地に着き、舟をつないだ。
54 そして、彼らが舟から上がると、人々はすぐにイエスだと気がついて、
55 そのあたりをくまなく走り回り、イエスがおられると聞いた場所へ、病人を床に載せて運んで来た。
56 イエスがはいって行かれると、村でも町でも部落でも、人々は病人たちを広場に寝かせ、そして、せめて、イエスの着物の端にでもさわらせてくださるようにと願った。そして、さわった人々はみな、いやされた。

7

1 さて、パリサイ人たちと幾人かの律法学者がエルサレムから来ていて、イエスの回りに集まった。
2 イエスの弟子のうちに、汚れた手で、すなわち洗わない手でパンを食べている者があるのを見て、

41 ①図マタ14・19
43 ①図マタ14・20
* すなわち「大型のかご」
44 ①図マタ14・21
45 ①マコ6・45-52上、マタ14・22-33、ヨハ6・16-21 ②図マコ6・53、③図マタ14・34、四マコ6・53
46 ①使六・六、二、Ⅱコリ二・一三 ②図マタ14・23
48 ①四マコ二・20下、マタ14・22 ②図マタ14・25
* 直訳「夜の第四更」すなわち「午前三―六時」
50 * あるいは「取り乱して」 ①図マタ六・二、②図マタ14・26
51 ①図マコ六・三
52 ①マコ八・七以下、②四ロマ二・七
* あるいは「彼らの思いが鈍くなっていた」
53 ①マコ六・五五、マタ14・34、三四、四ヨハ六・二四、二五
56 ①図マタ九・二〇、②図マコ三・一〇
1 ①マコ七・一三、マタ一五・一一、二〇、②図マタ一五・一
2 ①マコ七・五、使一〇・一四、二八、ロマ14・14、ヘブ一〇・二九、黙二・二七、四マタ一五・二、ルカ二一・三六

3 ——パリサイ人をはじめユダヤ人はみな、昔の人たちの言い伝えを堅く守って、手をよく洗わないでは食事をせず、
4 また、市場から帰ったときには、からだをきよめてからでないと食事をしない。まだこのほかにも、杯、水差し、銅器を洗うことなど、堅く守るように伝えられた、しきたりがたくさんある。——
5 パリサイ人と律法学者たちは、イエスに尋ねた。「なぜ、あなたの弟子たちは、昔の人たちの言い伝えに従って歩まないで、汚れた手でパンを食べるのですか。」
6 イエスは彼らに言われた。「イザヤはあなたがた偽善者について預言をして、こう書いているが、まさにそのとおりです。

『この民は、口先ではわたしを敬うが、
その心は、わたしから遠く離れている。
7 彼らが、わたしを拝んでも、むだなことである。
人間の教えを、教えとして教えるだけだから。』

8 あなたがたは、神の戒めを捨てて、人間の言い伝えを堅く守っている。」
9 また言われた。「あなたがたは、自分たちの言い伝えを守るために、よくも神の戒めをないがしろにしたものです。
10 モーセは、『あなたの父と母を敬え。』また『父や母をののしる者は、死刑に処せられる。』と言っています。
11 それなのに、あなたがたは、もし人が父や母に向かって、私からあなたのために上げられる物は、コルバン(すなわち、ささげ物)になりました、と言えば、
12 その人には、父や母のために、もはや何もさせないようにしています。
13 こうしてあなたがたは、自分たちが受け継いだ言い伝えによって、神のことばを空文にしています。そして、これと同じようなことを、たくさんしているのです。」
14 イエスは再び群衆を呼び寄せて言われた。「みな、わたしの言うことを聞いて、悟るようになりなさい。
15 外側から人にはいって、人を汚すことのできる物は何もありません。人から出て来るものが、人を汚すものなのです。」*
17 イエスが群衆を離れて、家にはいられると、弟子たちは、このたとえについて尋ねた。
18 イエスは言われた。「あなたがたまで、そんなにわからないのですか。外側から人にはいって来る物は人を汚すことができない、ということがわからないのですか。
19 そのような物は、人の心には、はいらないで、腹にはいり、そして、かわやに出されてしまうのです。」イエスは、このように、すべての食物をきよいとされた。
20 また言われた。「人から出るもの、これが、人を汚すのです。
21 内側から、すなわち、人の心から出て来るものは、悪い考え、不品行、盗み、殺人、

3 ①マコ七・五、八、九、一三、㊐ガラ一・一四
4 ①㊐マタ二三・二五
5 ①マコ七・三、八、九、一三、㊐ガラ一・一四、②マコ七・二
6 ①イザ二九・一三
7 ①イザ二九・一三
8 ①マコ七・三、八、九、一三、㊐ガラ一・一四
9 ①マコ七・三、八、一三、㊐ガラ一・一四
10 ①出二〇・一二、申五・一六、②出二一・一七、レビ二〇・九
11 ①レビ一・二等のヘブル語マタ一五・五
13 ①マコ七・三、八、九、㊐ガラ一・一四
15* 後代の写本に一六節として、「聞く耳のある者は聞きなさい」を加える
17 ①マコ七・六、㊐マコ二・一、三、②㊐マタ一五・一五
19 ①㊐ロマ一四・一、コロ二・一六、②㊐ルカ一・四、使二〇・二六、二一・九
20 ①マタ一五・一八、マコ七・三

22 姦淫、食欲、よこしま、欺き、好色、ねたみ、そしり、高ぶり、愚かさであり、
23 これらの悪はみな、内側から出て、人を汚すのです。」
24 イエスは、そこを出てツロ[2]の地方へ行かれた。家にはいられたとき、だれにも知られたくないと思われたが、隠れていることはできなかった。
25 汚れた霊につかれた小さい娘のいる女が、イエスのことを聞きつけてすぐにやって来て、その足もとにひれ伏した。
26 この女はギリシヤ人で、スロ・フェニキヤの生まれであった。そして、自分の娘から悪霊を追い出してくださるようにイエスに願い続けた。
27 するとイエスは言われた。「まず子どもたちに満腹させなければなりません。子どもたちのパンを取り上げて、小犬に投げてやるのはよくないことです。」
28 しかし、女は答えて言った。「主よ。そのとおりです。でも、食卓の下の小犬でも、子どもたちのパンくずをいただきます。」
29 そこでイエスは言われた。「そうまで言うのですか。それなら家にお帰りなさい。悪霊はあなたの娘から出て行きました。」
30 女が家に帰ってみると、その子は床の上に伏せっており、悪霊はもう出ていた。
31 それから、イエスはツロの地方を去り、シドンを通って、もう一度、デカポリス地方のあたりのガリラヤ湖に来られた。
32 人々は、耳が聞こえず、口のきけない人を連れて来て、彼の上に手を置いてくださるように願った。
33 そこで、イエスは、その人だけを群衆の中から連れ出し、その両耳に指を差し入れ、それからつばきをして、その人の舌にさわられた。
34 そして、天を見上げ、深く嘆息して、その人に「エパタ」すなわち、「開け。」と言われた。
35 すると彼の耳が開き、舌のもつれもすぐに解け、はっきりと話せるようになった。
36 イエスは、このことをだれにも言ってはならない、と命じられたが、彼らは口止めされればされるほど、かえって言いふらした。
37 人々は非常に驚いて言った。「この方のなさったことは、みなすばらしい。つんぼを聞こえるようにし、おしを話せるようにしてくださった。」

8

1 そのころ、また大ぜいの人の群れが集まっていたが、食べる物がなかったので、イエスは弟子たちを呼んで言われた。
2 「かわいそうに、この群衆はもう三日間もわたしといっしょにいて、食べる物を持っていないのです。
3 空腹のまま家に帰らせたら、途中で動けなくなるでしょう。それに遠くから来ている人もいます。」
4 弟子たちは答えた。「こんなへんぴな所で、どこからパンを手に入れて、この人たちに十分食べさせることができましょう。」
5 すると、イエスは尋ねられた。「パンはどれぐらいあ

22 ①旧マタ六・二、三・一五
* 直訳「悪い目」
** あるいは「誇り」
24 ①マコセ・二四・三、マタ・五・二一六、②図マタ・一五・二二
マコセ・三一
* ごく初期の写本に「とシドン」を加える
31 ①マコセ・三一・三五、マタ・五・二九・三一、②図マタ・一五・二二、③マコ・五・二〇、④図マタ・四・一八
32 ①図マコ・五・三三
33 ①マコ・八・二三
34 ①マコ・八・二三
36 ①図マタ・八・四、②マコ・一・四五
2 ①図マタ・九・三六、旧マコ・六・三四
1 ①マコ・一・九旧マコ・六・三四一四四、マタ・五・三一三五

りますか。」弟子たちは、「七つです。」と答えた。
6 すると、イエスは群衆に、地面に*すわるようにおっしゃった。それから、七つのパンを取り、感謝をささげてからそれを裂き、人々に配るように弟子たちに与えられたので、弟子たちは群衆に配った。
7 また、魚が少しばかりあったので、[1]そのために感謝をささげてから、これも配るように言われた。
8 人々は食べて満腹した。そして余りのパン切れを七つのかごに拾い集めた。
9 人々はおよそ四千人であった。それからイエスは、彼らを解散させられた。
10 そしてすぐに弟子たちとともに舟に乗り、[1]ダルマヌタ地方へ行かれた。
11 [1]パリサイ人たちがやって来て、イエスに議論をしかけ、天からのしるしを*求めた。イエスをためそうとしたのである。
12 イエスは、心の中で深く嘆息して、こう言われた。「なぜ、今の時代はしるしを求めるのか。まことに、あなたがたに告げます。今の時代には、しるしは絶対に与えられません。」
13 イエスは彼らを離れて、また舟に乗って向こう岸へ行かれた。
14 弟子たちは、パンを持って来るのを忘れ、舟の中には、パンがただ一つしかなかった。
15 そのとき、イエスは彼らに命じて言われた。「[1]パリサイ人のパン種とヘロデのパン種とに十分気をつけなさい。」
16 そこで弟子たちは、パンを持っていないということで、互いに議論し始めた。
17 それに気づいてイエスは言われた。「なぜ、パンがないといって議論しているのですか。[1]まだわからないのですか、悟らないのですか。心が*堅く閉じているのですか。
18 [1]目がありながら見えないのですか。耳がありながら聞こえないのですか。あなたがたは、覚えていないのですか。
19 わたしが五千人に[1]五つのパンを裂いて上げたとき、パン切れを拾い集めて、幾つのかごがいっぱいになりましたか。」彼らは答えた。「十二です。」
20 「四千人に七つのパンを裂いて上げたときは、パン切れを拾い集めて幾つのかごがいっぱいになりましたか。」彼らは答えた。「七つです。」
21 イエスは言われた。「[1]まだ悟らないのですか。」
22 彼らはベツサイダに着いた。すると人々が、盲人を連れて来て、さわってやってくださるようにイエスに願った。
23 イエスは盲人の手を取って村の外に連れて行かれた。そしてその両眼につばきをつけ、両手を彼に当ててやって、「何か見えるか。」と聞かれた。
24 すると彼は、*見えるようになって、「人が見えます。木のようですが、歩いているのが見えます。」と言った。
25 それから、イエスはもう一度彼の両眼に両手を当て

6* 直訳「からだを横にする」
** 直訳「の前に置いた」
7 ①聖マタ一四・一九
10 ①比マタ一五・三九
11 ①マコ八・一二、マタ一六・一、一二、②聖マタ一六・一
* あるいは「証拠としての奇蹟」
12 ④マコ七・三四
15 ①マタ一六・六、ルカ一二・一、②聖マタ一四・一、比マタ三・七
17 ①比マコ六・五二
* あるいは「鈍くなって」
18 ①エゼ一二・二
19 ①マコ六・四一四四、②聖マタ一四・二〇
20 ①マコ八・六、九、②マコ八・八
21 ①比マコ六・五二
22 ①聖マタ一二・二二、比マコ八・二五、②聖マコ一・四一
23 ①マコ七・三三、②聖マコ五・三三
24* あるいは「見上げて」

られた。そして、彼が見つめていると、すっかり直り、すべてのものがはっきり見えるようになった。
26そこでイエスは、彼を家に帰し、「村にはいって行かないように。」と言われた。
27それから、イエスは弟子たちとピリポ・カイザリヤの村々へ出かけられた。その途中、イエスは弟子たちに尋ねて言われた。「人々はわたしをだれだと言っていますか。」
28彼らは答えて言った。「バプテスマのヨハネだと言っています。エリヤだと言う人も、また預言者のひとりだと言う人もいます。」
29するとイエスは、彼らに尋ねられた。「では、あなたがたは、わたしをだれだと言いますか。」ペテロが答えてイエスに言った。「あなたは、*キリストです。」
30するとイエスは、自分のことをだれにも言わないようにと、彼らを戒められた。
31それから、人の子は必ず多くの苦しみを受け、長老、祭司長、律法学者たちに捨てられ、殺され、三日の後によみがえらなければならないと、弟子たちに教え始められた。
32しかも、はっきりとこの事がらを話された。するとペテロは、イエスをわきにお連れして、いさめ始めた。
33しかし、イエスは振り向いて、弟子たちを見ながら、ペテロをしかって言われた。「下がれ。サタン。あなたは神のことを思わないで、人のことを思っている。」
34それから、イエスは群衆を弟子たちといっしょに呼び寄せて、彼らに言われた。「だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負い、そしてわたしについて来なさい。
35いのちを救おうと思う者はそれを失い、わたしと福音とのためにいのちを失う者はそれを救うのです。
36人は、たとい全世界を得ても、いのちを損じたら、何の得がありましょう。
37自分のいのちを買い戻すために、人はいったい何を差し出すことができるでしょう。
38このような姦淫と罪の時代にあって、わたしとわたしのことばを恥じるような者なら、人の子も、父の栄光を帯びて聖なる御使いたちとともに来るときには、そのような人のことを恥じます。」

9

1イエスは彼らに言われた。「まことに、あなたがたに告げます。ここに立っている人々の中には、神の国が力をもって到来しているのを見るまでは、決して死を味わわない者がいます。」
2それから六日たって、イエスは、ペテロとヤコブとヨハネだけを連れて、高い山に導いて行かれた。そして彼らの目の前で御姿が変わった。
3その御衣は、非常に白く光り、*世のさらし屋では、とてもできないほどの白さであった。
4また、エリヤが、モーセとともに現われ、彼らはイエスと語り合っていた。

26①田マタ八・四、②マコ八・三
27①マコ八・二七元、マタ一六・一六、ルカ九・八二
②マタ一六・一三
28①圏マタ一六・一四
29*すなわち「メシヤ」
30①マタ一六・二〇、ルカ九・二一
田マタ八・四
31①マコ八・三一―九・一、マタ一六・二一―二六、ルカ九・二二―二七
②圏マタ一六・二一
32①圏ヨハ六・六二、田ヨハ一〇・三四、一二・一四、一六・三元のギリシヤ語
33①圏マタ四・一〇
34①圏マタ一〇・三八
35①圏マタ一〇・三九
38①ルカ九・二六、田マタ一〇・三三、ヘブ二・一六、②圏マタ八・一〇
③圏マタ一六・二七、田マコ一三・二六、ルカ九・二七
1①圏マタ一六・二八、田マコ一三・二六、ルカ九・二七
2①マコ九・二八、マタ一七・一、ルカ九・二八―三六、②圏マコ五・三七
3①圏マタ一六・二九
*直訳「地上の」

5 すると、ペテロが口出ししてイエスに言った。「先生。私たちがここにいることは、すばらしいことです。私たちが、幕屋を三つ造ります。あなたのために一つ、モーセのために一つ、エリヤのために一つ。」
6 実のところ、ペテロは言うべきことがわからなかったのである。彼らは恐怖に打たれたのであった。
7 そのとき雲がわき起こってその人々をおおい、雲の中から、「これは、わたしの愛する子である。彼の言うことを聞きなさい。」という声がした。
8 彼らが急いであたりを見回すと、自分たちといっしょにいるのはイエスだけで、そこにはもはやだれも見えなかった。
9 さて、山を降りながら、イエスは彼らに、人の子が死人の中からよみがえるときまでは、いま見たことをだれにも話してはならない、と特に命じられた。
10 そこで彼らは、そのおことばを心に堅く留め、死人の中からよみがえるとは言われたことはどういう意味かを論じ合った。
11 彼らはイエスに尋ねて言った。「律法学者たちは、まずエリヤが来るはずだと言っていますが、それはなぜでしょうか。」
12 イエスは言われた。「エリヤがまず来て、すべてのことを立て直します。では、人の子について、多くの苦しみを受け、さげすまれると書いてあるのは、どうしてなのですか。
13 しかし、あなたがたに告げます。エリヤはもう来たのです。そして人々は、彼について書いてあるとおりに、好き勝手なことを彼にしたのです。」
14 さて、彼らが、弟子たちのところに帰って来て、見ると、その回りに大ぜいの人の群れがおり、また、律法学者たちが弟子たちと論じ合っていた。
15 そしてすぐ、群衆はみな、イエスを見ると驚き、走り寄って来て、あいさつをした。
16 イエスは彼らに、「あなたがたは弟子たちと何を議論しているのですか。」と聞かれた。
17 すると群衆のひとりが、イエスに答えて言った。「先生。おしの霊につかれた私の息子を、先生のところに連れてまいりました。
18 その霊が息子に取りつきますと、所かまわず彼を押し倒します。そして彼はあわを吹き、歯ぎしりして、からだをこわばらせてしまいます。それでお弟子たちに、霊を追い出してくださるようにお願いしたのですが、お弟子たちにはできませんでした。」
19 イエスは答えて言われた。「ああ、不信仰な世だ。いつまであなたがたといっしょにいなければならないのでしょう。いつまであなたがたにがまんしていなければならないのでしょう。その子をわたしのところに連れて来なさい。」
20 そこで、人々はイエスのところにその子を連れて来た。その子がイエスを見ると、霊はすぐに彼をひきつけさせたので、彼は地面に倒れ、あわを吹きながら、ころげ回った。

5 ①㊐マタ三・七 *原語「ラビ」
②別訳「ちょうどよく私たちがここにいます」
②㊐マタ一七・四、ルカ九・三三
7 ①マコ一・一一、㊐マタ三・一七
②Ⅱペテ一・一七、一八
9 ①マコ九・一三、マタ一七・九一三 *直訳「のほかは」
②マコ五・四三、七・三六、八・二六、㊐マタ八・四
11 ①㊐マタ一一・一四
12 ①マコ九・三一、②㊐マタ一六・二一㊐マタ一七・二二
14 ①マコ九・一四―一六、マタ一七・一四―一六、ルカ九・三七―四二
15 ①㊐マコ一四・三三、一六・五、六
18 * あるいは「引き裂きます」
** あるいは「委縮させてしまいます」
20 * あるいは「霊が」

21 イエスはその子の父親に尋ねられた。「この子がこんなになってから、どのくらいになりますか。」父親は言った。「幼い時からです。
22 この霊は、彼を滅ぼそうとして、何度も火の中や水の中に投げ込みました。ただ、もし、おできになるものなら、私たちをあわれんで、お助けください。」
23 するとイエスは言われた。「できるものなら、と言うのか。信じる者には、どんなことでもできるのです。」
24 するとすぐに、その子の父は叫んで言った。「信じます。不信仰な私をお助けください。」
25 イエスは、群衆が駆けつけるのをご覧になると、汚れた霊をしかって言われた。「おしとつんぼの霊。わたしが、おまえに命じる。この子から出て行きなさい。二度と、はいってはいけない。」
26 するとその霊は、叫び声をあげ、その子を激しくひきつけさせて、出て行った。するとその子が死人のようになったので、多くの人々は、「この子は死んでしまった。」と言った。
27 しかし、イエスは、彼の手を取って起こされた。するとその子は立ち上がった。
28 イエスが家にはいられると、弟子たちがそっとイエスに尋ねた。「どうしてでしょう。私たちには追い出せなかったのですが。」
29 すると、イエスは言われた。「この種のものは、*祈りによらなければ、何によっても追い出せるものではありません。」

30 さて、一行はそこを去って、ガリラヤを通って行った。イエスは、人に知られたくないと思われた。
31 それは、イエスは弟子たちを教えて、「人の子は人々の手に引き渡され、彼らはこれを殺す。しかし、殺されて、三日の後に、人の子はよみがえる。」と話しておられたからである。
32 しかし、弟子たちは、このみことばが理解できなかった。また、イエスに尋ねるのを恐れていた。
33 カペナウムに着いた。イエスは、家にはいった後、弟子たちに質問された。「道で何を論じ合っていたのですか。」
34 彼らは黙っていた。道々、だれが一番偉いかと論じ合っていたからである。
35 イエスはおすわりになり、十二弟子を呼んで、言われた。「だれでも人の先に立ちたいと思うなら、みなのしんがりとなり、みなに仕える者となりなさい。」
36 それから、イエスは、ひとりの子どもを連れて来て、彼らの真中に立たせ、腕に抱き寄せて、彼らに言われた。
37 「だれでも、このような幼子たちのひとりを、わたしの名のゆえに受け入れるならば、わたしを受け入れるのです。また、だれでも、わたしを受け入れるならば、わたしを受け入れるのではなく、わたしを遣わされた方を受け入れるのです。」
38 ヨハネがイエスに言った。「先生。先生の名を唱えて悪霊を追い出している者を見ましたが、私たちの仲

23 ①旧マタ一七・二〇、ヨハ一一・四〇
25 ①マコ九・二五
*あるいは「群がり寄って来る」
28 ①マコ七・一七、旧マコ三・一
29 *異本に「と断食」を加えるものもある
30 ①マコ八・三一、マタ一七・二二、三二、ルカ九・四四、四五
31 ①マコ九・二八、三二、国マタ一六・二一
32 ①旧ルカ二・五〇、九・四五、一八・三四
ヨハ一二・一六
33 ①マコ九・三三―三七、マタ(一八・一―五)、ルカ九・四六―四八
②旧マコ三・二〇
34 ①ルカ二二・二四、旧マコ九・三三
35 ①国マタ二〇・二六、二七
36 ①国マタ一〇・四〇
37 ①国マタ一〇・四〇
38 ①マコ九・二六―四〇、ルカ九・四九、五〇

間ではないので、やめさせました。」*

39 しかし、イエスは言われた。「やめさせることはありません。わたしの名を唱えて、力あるわざを行ないながら、すぐあとで、わたしを悪く言える者はないのです。
40 わたしたちに反対しない者は、わたしたちの味方です。
41 あなたがたがキリストの弟子だからというので、あなたがたに水一杯でも飲ませてくれる人は、決して報いを失うことはありません。これは確かなことです。
42 また、わたしを信じるこの小さい者たちのひとりにでもつまずきを与えるような者は、むしろ大きい石臼を首にゆわえつけられて、海に投げ込まれたほうがましです。
43 もし、あなたの手があなたのつまずきとなるなら、それを切り捨てなさい。不具の身でいのちにはいるほうが、両手そろっていてゲヘナの消えぬ火の中に落ち込むよりは、あなたにとってよいことです。*
45 もし、あなたの足があなたのつまずきとなるなら、それを切り捨てなさい。片足でいのちにはいるほうが、両足そろっていてゲヘナに投げ入れられるよりは、あなたにとってよいことです。*
47 もし、あなたの目があなたのつまずきを引き起こすのなら、それをえぐり出しなさい。片目で神の国にはいるほうが、両目そろっていてゲヘナに投げ入れられるよりは、あなたにとってよいことです。
48 そこでは、*彼らを食ううじは、尽きることがなく、火は消えることがありません。
49 すべては、火によって、塩をつけられるのです。
50 塩は、ききめのあるものです。しかし、もし塩に塩けがなくなったら、何によって塩けを取り戻せましょう。あなたがたは、自分自身のうちに塩けを保ちなさい。そして、互いに和合して暮らしなさい。」

10

1 イエスは、そこを立って、ユダヤ地方とヨルダンの向こうに行かれた。すると、群衆がまたもみもとに集まって来たので、またいつものように彼らを教えられた。
2 すると、パリサイ人たちがみもとにやって来て、夫が妻を離別することは許されるかどうかと質問した。イエスをためそうとしたのである。
3 イエスは答えて言われた。「モーセはあなたがたに何と命じていますか。」
4 彼らは言った。「モーセは、離婚状を書いて妻を離別することを許しました。」
5 イエスは言われた。「モーセは、あなたがたの心がかたくなので、この命令をあなたがたに書いたのです。
6 しかし、創造の初めから、神は、人を男と女に造られたのです。
7 それゆえ、人はその父と母を離れて、*
8 ふたりの者が一心同体になるのです。それで、もはやふたりではなく、ひとりなのです。
9 こういうわけで、人は、神が結び合わせたものを引き離してはなりません。」

---

38 ②民民二・三千六
* ごく初期の写本に「私たちの仲間になろうとしなかったからです」を加える
39 * あるいは「奇蹟」
40 ①③㊱マタ一二・三〇
41 ①マタ一〇・四二
* 直訳「キリストのものであるという名目で」
42 ①マタ一八・六、ルカ一七・二
* 直訳「ろばがひく石臼」
43 ①マタ五・二九、一八・八、㊱マタ一七・二七、②㊱マタ五・三
③マタ一八・二、㊱マタ五・四二
* 四八節と同じことばを加える異本がある
45 ①㊱マタ五・三
* 四八節と同じことばを加える異本がある
47 ①マタ五・二九、一八・九、㊱マタ一七・二七、②㊱マタ五・三
48 ①イザ六六・二四
* 直訳「彼らのうじ」
②マタ五・二二、㊱マタ五・四一
50 ①マタ五・一三、ルカ一四・三四、三五
* 直訳「それに味をつけるのですか」
②コロ四・六、③㊱マコ九・五〇
ロマ一二・一六、Ⅱコリ一三・一一
Ⅰテサ五・一三
1 ①マコ一〇・一一一二、マタ一九・一九、②マコ一二・一二一三、一四、一六、一七、一九、二〇、二一、二二、二三、㊱マタ四・二三、一六・二五
4 ①申二四・一、三
5 ①㊱マタ一九・八
6 ①マコ一三・一九、Ⅱペテ三・四
②創一・二七、五・二
7 ①創二・二四、三
* 異本「妻に結びついて」を加える
8 ①創二・二四

10 家に戻った弟子たちが、この問題についてイエスに尋ねた。
11 そこで、イエスは彼らに言われた。[11]「だれでも、妻を離別して別の女を妻にするなら、前の妻に対して姦淫を犯すのです。
12 [11]妻も、夫を離別して別の男にとつぐなら、姦淫を犯しているのです。」
13 [11]さて、イエスにさわっていただこうとして、人々が子どもたちを、みもとに連れて来た。ところが、弟子たちは彼らをしかった。
14 イエスはそれをご覧になり、憤って、彼らに言われた。「子どもたちを、わたしのところに来させなさい。止めてはいけません。[11]神の国は、このような者たちのものです。
15 まことに、あなたがたに告げます。[11]子どものように神の国を受け入れる者でなければ、決してそこに、はいることはできません。」
16 [11]そしてイエスは子どもたちを抱き、彼らの上に手を置いて祝福された。
17 [11]イエスが道に出て行かれると、ひとりの人が走り寄って、[21]御前にひざまずいて、尋ねた。「尋い先生。[31]永遠のいのちを自分のものとして受けるためには、私は何をしたらよいでしょうか。」
18 イエスは彼に言われた。「なぜ、わたしを『尋い』と言うのですか。尋い方は、神おひとりのほかには、だれもありません。
19 戒めはあなたもよく知っているはずです。『[11]殺してはならない。姦淫してはならない。盗んではならない。偽証を立ててはならない。欺き取ってはならない。父と母を敬え。』」
20 すると、その人はイエスに言った。「先生。私はそのようなことをみな、小さい時から守っております。」
21 イエスは彼を見つめ、その人をいつくしんで言われた。「あなたには、欠けたことが一つあります。帰って、あなたの持ち物をみな売り払い、貧しい人たちに与えなさい。そうすれば、[11]あなたは天に宝を積むことになります。そのうえで、わたしについて来なさい。」
22 すると彼は、このことばに顔を曇らせ、悲しみながら立ち去った。なぜなら、この人は多くの財産を持っていたからである。
23 イエスは、見回して、弟子たちに言われた。「[11]裕福な者が神の国にはいることは、何とむずかしいことでしょう。」
24 弟子たちは、[11]イエスのことばに驚いた。しかし、イエスは重ねて、彼らに答えて言われた。「子たちよ。*神の国にはいることは、何とむずかしいことでしょう。
25 [11]金持ちが神の国にはいるよりは、らくだが針の穴を通るほうがもっとやさしい。」
26 弟子たちは、ますます驚いて互いに言った。「それでは、だれが救われることができるのだろうか。」
27 イエスは、彼らをじっと見て言われた。「それは人にはできないことですが、神は、そうではありません。

11 ①図マタ五・三二
12 ①比Ⅰコリセ・二・一三
13 ①マコ一〇・一三―一六、マタ一九・一三―一五、ルカ一八・一五―一七
14 ①図マタ五・三
15 ①マタ一八・三―五、一九・一四、ルカ一八・一七、比Ⅰコリ一四・二〇、Ⅰペテ二・二
16 ①マコ九・三六
17 ①マコ一〇・一七―三一、マタ一九・一六―三〇、ルカ一八・一八―三〇 ②図マコ一・四〇、③ルカ一〇・二五、一八・一八、旧使一〇・三五、Ⅰペテ一・一八、Ⅰヨハ二・二五、図マタ一九・一六
19 ①出二〇・一二―一六、申五・一六―二〇
20 ①比マタ一九・二〇
21 ①マタ六・二〇
23 ①図マタ一九・二三
24 ①比マコ一・二七 *異本「富にたよる者が」を加える
25 ①マタ一九・二四
27 ①図マタ一九・二六

どんなことでも、神にはできるのです。」
28 ペテロがイエスにこう言い始めた。「ご覧ください。私たちは、何もかも捨てて、あなたに従ってまいりました。」
29 イエスは言われた。「まことに、あなたがたに告げます。わたしのために、また福音のために、家、兄弟、姉妹、母、父、子、畑を捨てた者で、
30 その百倍を受けない者はありません。今のこの時代には、家、兄弟、姉妹、母、子、畑を迫害の中で受け、後の世では永遠のいのちを受けます。
31 しかし、先の者があとになり、あとの者が先になることが多いのです。」
32 さて、一行は、エルサレムに上る途中にあった。イエスは先頭に立って歩いて行かれた。弟子たちは驚き、また、あとについて行く者たちは恐れを覚えた。すると、イエスは再び十二弟子をそばに呼んで、ご自分に起ころうとしていることを、話し始められた。
33 「さあ、これから、わたしたちはエルサレムに向かって行きます。人の子は、祭司長、律法学者たちに引き渡されるのです。彼らは、人の子を死刑に定め、そして、異邦人に引き渡します。
34 すると彼らはあざけり、つばきをかけ、むち打ち、ついに殺します。しかし、人の子は三日の後に、よみがえります。」
35 さて、ゼベダイのふたりの子、ヤコブとヨハネが、イエスのところに来て言った。「先生。私たちの頼み事をかなえていただきたいと思います。」
36 イエスは彼らに言われた。「何をしてほしいのですか。」
37 彼らは言った。「あなたの栄光の座で、ひとりを先生の右に、ひとりを左にすわらせてください。」
38 しかし、イエスは彼らに言われた。「あなたがたは自分が何を求めているのか、わかっていないのです。あなたがたは、わたしの飲もうとする杯を飲み、わたしの受けようとするバプテスマを受けることができますか。」
39 彼らは「できます。」と言った。イエスは言われた。「なるほどあなたがたは、わたしの飲む杯を飲み、わたしの受けるべきバプテスマを受けはします。
40 しかし、わたしの右と左にすわることは、わたしが許すことではありません。それに備えられた人々があるのです。」
41 十人の者がこのことを聞くと、ヤコブとヨハネのことで腹を立てた。
42 そこで、イエスは彼らを呼び寄せて、言われた。「あなたがたも知っているとおり、異邦人の支配者と認められた者たちは彼らを支配し、また、偉い人たちは彼らの上に権力をふるいます。
43 しかし、あなたがたの間では、そうでありません。あなたがたの間で偉くなりたいと思う者は、みなに仕える者になりなさい。
44 あなたがたの間で人の先に立ちたいと思う者は、み

---

28 ①旧マタ四・二〇-二三
29 ①マタ一九・二九、ルカ一八・二九、三〇、旧マタ六・三三
30 ①圏マタ一九・三〇
31 ①圏マタ一九・三〇
32 ①マコ一〇・三二-三四、マタ二〇・一七-一九、ルカ一八・三一-三三 ②圏マコ一・二七
33 ①マコ八・三一、九・三一
34 ①マタ二六・六七、二七・二九、マコ一四・六五、旧マタ二六・二一、マコ九・三一
35 ①マコ一〇・三五-四五、マタ二〇・二〇-二八
37 ①旧マタ一九・二八
38 ①圏マタ二〇・二二、②ルカ一二・五〇
39 ①旧使二・二、黙一・九
40 ①旧マタ二〇・二三 *直訳「人々に」。
42 ①マコ一〇・四二-四五、旧ルカ二二・二五-二七
43 ①圏マタ二〇・二六、旧マコ九・三五

なのしもべになりなさい。
45 人の子が来たのも、仕えられるためではなく、かえって仕えるためであり、また、多くの人のための、贖いの代価として、自分のいのちを与えるためなのです。」
46 彼らはエリコに来た。イエスが、弟子たちや多くの群衆といっしょにエリコを出られると、テマイの子のバルテマイという盲人のこじきが、道ばたにすわっていた。
47 ところが、ナザレのイエスだと聞くと、「ダビデの子のイエスさま。私をあわれんでください。」と叫び始めた。
48 そこで、彼を黙らせようと、大ぜいでたしなめたが、彼はますます、「ダビデの子よ。私をあわれんでください。」と叫び立てた。
49 すると、イエスは立ち止まって、「あの人を呼んで来なさい。」と言われた。そこで、彼らはその盲人を呼び、「心配しないでよい。さあ、立ちなさい。あなたをお呼びになっている。」と言った。
50 すると、盲人は上着を脱ぎ捨て、すぐ立ち上がって、イエスのところに来た。
51 そこでイエスは、さらにこう言われた。「わたしに何をしてほしいのか。」すると、盲人は言った。「先生。目が見えるようになることです。」
52 するとイエスは、彼に言われた。「さあ、行きなさい。あなたの信仰があなたを救ったのです。」すると、すぐさま彼は見えるようになり、イエスの行かれる所について行った。

11

1 さて、彼らがエルサレムの近くに来て、オリーブ山のふもとのベテパゲとベタニヤに近づいたとき、イエスはふたりの弟子を使いに出して、
2 言われた。「向こうの村へ行きなさい。村にはいるとすぐ、まだだれも乗ったことのない、ろばの子が、つないであるのに気がつくでしょう。それをほどいて、引いて来なさい。
3 もし、『なぜそんなことをするのか。』と言う人があったら、『主がお入用なのです。すぐに、またここに送り返されます。』と言いなさい。」
4 そこで、出かけて見ると、表通りにある家の戸口に、ろばの子が一匹つないであったので、それをほどいた。
5 すると、そこに立っていた何人かが言った。「ろばの子をほどいたりして、どうするのですか。」
6 弟子たちが、イエスの言われたとおりを話すと、彼らは許してくれた。
7 そこで、ろばの子をイエスのところへ引いて行って、自分たちの上着をその上に掛けた。イエスはそれに乗られた。
8 すると、多くの人が、自分たちの上着を道に敷き、またほかの人々は、木の葉を枝ごと野原から切って来て、道に敷いた。
9 そして、前を行く者も、あとに従う者も、叫んでいた。

45 ①㊇マタ二〇・六
46 ①マコ一〇・㊾六・㊿三、マタ二〇・二九―三四、ルカ一八・三五―四三 ②㊈ルカ八・三五、九・一
47 ①㊇マコ一・二四、②㊇マタ九・二七
48 ①㊇マタ九・二七
49 ①㊇マタ九・二
51 ①ヨハ二〇・一六、㊈マタ三・七 *原語「ラボニ」直訳「私の先生」
52 ①㊇マタ九・二二
1 ①マコ二・一―一〇、マタ二一・一―九、ルカ一九・二九―三八、②㊇マタ二一・一、③マタ二一・七
7 ①マコ一二・七―一〇、ヨハ一二・一四―一五

「ホサナ。
祝福あれ。主の御名によって来られる方に。
10 祝福あれ。いま来た、われらの父ダビデの国に。
ホサナ。いと高き所に。」
11 こうして、イエスはエルサレムに着き、宮にはいられた。そして、すべてを見て回った後、時間ももうおそかったので、十二弟子といっしょにベタニヤに出て行かれた。
12 翌日、彼らがベタニヤを出たとき、イエスは空腹を覚えられた。
13 葉の茂ったいちじくの木が遠くに見えたので、それに何かありはしないかと見に行かれたが、そこに来ると、葉のほかは何もないのに気づかれた。いちじくのなる季節ではなかったからである。
14 イエスは、その木に向かって言われた。「今後、いつまでも、だれもおまえの実を食べることのないように。」弟子たちはこれを聞いていた。
15 それから、彼らはエルサレムに着いた。イエスは宮にはいり、宮の中で売り買いしている人々を追い出し始め、両替人の台や、鳩を売る者たちの腰掛けを倒し、
16 また宮を通り抜けて器具を運ぶことをだれにもお許しにならなかった。
17 そして、彼らに教えて言われた。「『わたしの家は、すべての民の祈りの家と呼ばれる。』と書いてあるではありませんか。それなのに、あなたがたはそれを強盗の巣にしたのです。」
18 祭司長、律法学者たちは聞いて、どのようにしてイエスを殺そうかと相談した。イエスを恐れたからであった。なぜなら、群衆がみなイエスの教えに驚嘆していたからである。
19 夕方になると、イエスとその弟子たちは、いつも都から外に出た。
20 朝早く、通りがかりに見ると、いちじくの木が根まで枯れていた。
21 ペテロは思い出して、イエスに言った。「先生。ご覧なさい。あなたののろわれたいちじくの木が枯れました。」
22 イエスは答えて言われた。「神を信じなさい。
23 まことに、あなたがたに告げます。だれでも、この山に向かって、『動いて、海にはいれ。』と言って、心の中で疑わず、ただ、自分の言ったとおりになると信じるなら、そのとおりになります。
24 だからあなたがたに言うのです。祈って求めるものは何でも、すでに受けたと信じなさい。そうすれば、そのとおりになります。
25 また立って祈っているとき、だれかに対して恨み事があったら、赦してやりなさい。そうすれば、天におられるあなたがたの父も、あなたがたの罪を赦してくださいます。」*
27 彼らはまたエルサレムに来た。イエスが宮の中を歩いておられると、祭司長、律法学者、長老たちが、イエスのところにやって来た。

9 ①詩マタ二・九、詩一八・三五
10 ①詩マタ二・九
11 ①マタ二・一一 ②マタ二一・一七
12 ①マコ一一・一二―一四(二〇―二四)、マタ二一・一八―一九
15 ①マコ一一・一五―一八、マタ二一・一二―一六、ルカ一九・四五―四七、ヨハ二・一三―一六
17 ①イザ五六・七、②エレ七・一一 *直訳「ほら穴」
18 ①詩マコ一二・一二、マタ二二・四六、ルカ二〇・一九、ヨハ七・一一 ②詩マタ七・二八
19 ①ルカ二一・三七、詩マタ二一・一七、マコ一二・一二
20 ①マコ一一・二〇―二四(詩マコ一一・二三―四)、マタ二一・一九―二二
21 ①詩マタ二六・七
22 ①マタ一七・二〇―二一、二三
24 ①詩マタ七・七―八
25 ①詩マタ六・一四―一五 ②マタ六・一四―一五 *異本一一・二六節として、「しかし、もし赦してやらないなら、あなたがたの天の父も、あなたがたの罪を赦してくださいません」を加える 詩マタ六・一五
27 ①マコ一二・一三―一七、マタ二二・一五―二二、ルカ二〇・一―八

28 そして、イエスに言った。「何の権威によって、これらのことをしておられるのですか。だれが、あなたにこれらのことをする権威を授けたのですか。」
29 そこでイエスは彼らに言われた。「一言尋ねますから、それに答えなさい。そうすれば、わたしも、何の権威によってこれらのことをしているかを、話しましょう。
30 ヨハネのバプテスマは、天から来たのですか、人から出たのですか。答えなさい。」
31 すると、彼らは、こう言いながら、互いに論じ合った。「もし、天から、と言えば、それならなぜ、彼を信じなかったかと言うだろう。
32 だからといって、*人から、と言ってよいだろうか。」——彼らは群衆を恐れていたのである。というのは、人々がみな、ヨハネは確かに預言者だと思っていたからである。
33 そこで彼らは、イエスに答えて、「わかりません。」と言った。そこでイエスは彼らに、「わたしも、何の権威によってこれらのことをするのか、あなたがたに話すまい。」と言われた。

12

1 それからイエスは、たとえを用いて彼らに話し始められた。
「ある人がぶどう園を造って、垣を巡らし、酒ぶねを掘り、やぐらを建て、それを農夫たちに貸して、旅に出かけた。
2 季節になると、ぶどう園の収穫の分けまえを受け取りに、しもべを農夫たちのところへ遣わした。
3 ところが、彼らは、そのしもべをつかまえて袋だたきにし、何も持たせないで送り帰した。
4 そこで、もう一度別のしもべを遣わしたが、彼らは、頭をなぐり、はずかしめた。
5 また別のしもべを遣わしたところが、彼らは、これも殺してしまった。続いて、多くのしもべをやったけれども、彼らは袋だたきにしたり、殺したりした。
6 その人には、なおもうひとりの者がいた。それは愛する息子であった。彼は、『私の息子なら、敬ってくれるだろう。』と言って、最後にその息子を遣わした。
7 すると、その農夫たちはこう話し合った。『あれはあと取りだ。さあ、あれを殺そうではないか。そうすれば、財産はこちらのものだ。』
8 そして、彼をつかまえて殺してしまい、ぶどう園の外に投げ捨てた。
9 ところで、ぶどう園の主人は、どうするでしょう。彼は戻って来て、農夫どもを打ち滅ぼし、ぶどう園をほかの人たちに与えてしまいます。
10 あなたがたは、次の聖書のことばを読んだことがないのですか。
『家を建てる者たちの見捨てた石、
それが礎の石になった。
11 これは主のなさったことだ。
私たちの目には、

1 ①脚マコ三・二三㎜・二以下 ②マコ二・一二、マタ二一・四二㎜、ルカ二〇・一七㎜ ③イザ五・二 *あるいは「小作人」(二、七、九節も同様)
9 * 直訳「来て」
10 ①詩一一八・二二
11 ①詩一一八・二二
32 * あるいは「もし『人から』と言えば」

不思議なことである。』」
12 彼らは、このたとえ話が、自分たちをさして語られたことに気づいたので、イエスを捕えようとしたが、やはり群衆を恐れた。それで、イエスを残して、立ち去った。
13 さて、彼らは、イエスに何か言わせて、わなに陥れようとして、パリサイ人とヘロデ党の者数人をイエスのところへ送った。
14 彼らはイエスのところに来て、言った。「先生。私たちは、あなたが真実な方で、*だれをもはばからない方だと存じています。あなたは人の顔色を見ず、真理に基づいて神の道を教えておられるからです。ところで、カイザルに税金を納めることは律法にかなっていることでしょうか、かなっていないことでしょうか。納めるべきでしょうか、納めるべきでないのでしょうか。」
15 イエスは彼らの擬装を見抜いて言われた。「なぜ、わたしをためすのか。*デナリ銀貨を持って来て見せなさい。」
16 彼らは持って来た。そこでイエスは彼らに言われた。「これはだれの肖像ですか。だれの銘ですか。」彼らは、「カイザルのです。」と言った。
17 するとイエスは言われた。「カイザルのものはカイザルに返しなさい。そして神のものは神に返しなさい。」彼らはイエスに驚嘆した。
18 また、復活はないと主張していたサドカイ人たちが、イエスのところに来て、質問した。
19 「先生。モーセは私たちのためにこう書いています。『もし、兄が死んで妻をあとに残し、しかも子がないばあいには、その弟はその女を妻にして、兄のための子をもうけなければならない。』
20 さて、七人の兄弟がいました。長男が妻をめとりましたが、子を残さないで死にました。
21 そこで次男がその女を妻にしたところ、やはり子を残さずに死にました。三男も同様でした。
22 こうして、七人とも子を残しませんでした。最後に、女も死にました。
23 復活の際、*彼らがよみがえるとき、その女はだれの妻なのでしょうか。七人ともその女を妻にしたのですが。」
24 イエスは彼らに言われた。「そんな思い違いをしているのは、聖書も神の力も知らないからではありませんか。
25 人が死人の中からよみがえるときには、めとることも、とつぐこともなく、天の御使いたちのようです。
26 それに、死人がよみがえることについては、モーセの書にある柴の個所で、神がモーセにどう語られたか、あなたがたは読んだことがないのですか。『わたしは、アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神である。』とあります。
27 神は死んだ者の神ではありません。生きている者の神です。あなたがたはたいへんな思い違いをしています。

12 ①聖マコ一二・六、②マタ三・三
13 ①マコ三・一ヲ一七、マタ二二・一五上三、ルカ二〇・二〇一六
②ルカ二一・一五、③聖マタ二二・一六
14 *すなわち「人に取り入ろうとしない」
**あるいは「人頭税」
***あるいは「よろしいのでしょうか、よろしくないのでしょうか」
15 *一デナリは当時の一日分の労賃に相当する
17 ①聖マタ二二・二一
18 ①マコ一二・六上七、マタ二二・二三上三、ルカ二〇・二七一六
19 ①申二五・五
23 *ごく初期の写本に「彼らがよみがえるとき」を欠くものも多い
26 ①ルカ二〇・三七、出三・六
②出三・六
27 ①マタ二二・三二、ルカ二〇・三八

す。」
28 [1]律法学者がひとり来て、その議論を聞いていたが、[2]イエスがみごとに答えられたのを知って、イエスに尋ねた。「すべての命令の中で、どれが*一番たいせつですか。」
29 イエスは答えられた。「一番たいせつなのはこれです。『[1]イスラエルよ。聞け。われらの神である主は、唯一の[1]主である。
30 [1]心を尽くし、思いを尽くし、知性を尽くし、力を尽くして、あなたの神である主を愛せよ。』
31 次にはこれです。『[1]あなたの隣人を自分と同じように愛せよ。』この二つより大事な命令は、ほかにありません。」
32 そこで、この律法学者は、イエスに言った。「先生。そのとおりです。『主は唯一であって、そのほかに、主はない。』と言われたのは、まさにそのとおりです。
33 また『心を尽くし、知恵を尽くし、力を尽くして主を愛し、また隣人を自分と同じように愛する。』ことは、どんな全焼の供え物や犠牲よりも、ずっとすぐれています。」
34 イエスは、彼が賢い返事をしたのを見て、言われた。「あなたは神の国から遠くない。」それから後は、だれもイエスにあえて尋ねる者がなかった。
35 イエスが宮で教えておられたとき、こう言われた。「律法学者たちは、どうして*キリストをダビデの子と言うのですか。
36 ダビデ自身、聖霊によって、こう言っています。
『[1]主は私の主に言われた。
「わたしがあなたの敵を
あなたの足の下に従わせるまでは、
わたしの右の座に着いていなさい。」』
37 ダビデ自身がキリストを主と呼んでいるのに、どういうわけでキリストがダビデの子なのでしょう。」[1]大ぜいの群衆は、イエスの言われることを喜んで聞いていた。
38 [1]イエスはその教えの中でこう言われた。「律法学者たちには気をつけなさい。彼らは、長い衣をまとって歩き回ったり、[2]広場であいさつされたりすることが大好きで、
39 また会堂の上席や、宴会の上座が大好きです。
40 また、やもめの家を食いつぶし、見えを飾るために長い祈りをします。こういう人たちは人一倍きびしい罰を受けるのです。」
41 [1]それから、イエスは献金箱[2]に向かってすわり、人人が[3]献金箱へ*金を投げ入れる様子を見ておられた。多くの金持ちが大金を投げ入れていた。
42 そこへひとりの貧しいやもめが来て、*レプタ銅貨を二つ投げ入れた。それは一コ**ドラントに当たる。
43 すると、イエスは弟子たちを呼び寄せて、こう言われた。「まことに、あなたがたに告げます。この貧しいやもめは、献金箱に投げ入れていたどの人よりもたくさん投げ入れました。

---

28 ①マコ三・六-二四、マタ三・一四-一四、田ルカ二〇・二七、三・二六、四二、②ルカ二〇・二六
田マタ三・一四
* あるいは「第一ですか」
29 ①申六・四
30 ①申六・五
31 ①レビ一九・一八
32 ①申四・三五
33 ①申六・五、②Ⅰサム一五・二二
ホセ六・六、ミカ六・八、マタ九・一三、一二・七
34 ①箇マタ三・一四六
35 ①マコ一二・三五-三七、マタ二二・四一-四五、ルカ二〇・四一-四四
②箇マタ二六・三五、田マコ一四・一
* すなわち「メシヤ」
③マタ九・二七
36 ①詩一一〇・一
37 ①田ヨハ一二・九
38 ①マコ一二・三八-四〇、マタ二三・一七、ルカ二〇・四六-四七
②ルカ一一・四三、箇マタ二三・六
40 ①ルカ二〇・四七
41 ①マコ一二・四一-四四、ルカ二一・一-四、②ヨハ八・二〇、③田Ⅱ列一二・九
* 直訳「銅貨」
42 * 一レプタは一デナリの一二八分の一に相当する最小単位の銅貨
** 一コドラントは一デナリの六四分の一

44 みなは、あり余る中から投げ入れたのに、この女は、乏しい中から、あるだけを全部、生活費の全部を投げ入れたからです。」

13 1 イエスが、宮から出て行かれるとき、弟子のひとりがイエスに言った。「先生。これはまあ、何とみごとな石でしょう。何とすばらしい建物でしょう。」

2 すると、イエスは彼に言われた。「この大きな建物を見ているのですか。石がくずされずに、積まれたまま残ることは決してありません。」

3 イエスがオリーブ山で宮に向かってすわっておられると、ペテロ、ヤコブ、ヨハネ、アンデレが、ひそかにイエスに質問した。

4 「お話しください。いつ、そういうことが起こるのでしょう。また、それがみな実現するようなときには、どんな前兆があるのでしょう。」

5 そこで、イエスは彼らに話し始められた。「人に惑わされないように気をつけなさい。

6 わたしの名を名のる者が大ぜい現われ、『私こそそれだ。』と言って、多くの人を惑わすでしょう。

7 また、戦争のことや戦争のうわさを聞いても、あわてはいけません。それは必ず起こることです。しかし、終わりが来たのではありません。

8 民族は民族に、国は国に敵対して立ち上がり、方々に地震があり、ききんも起こるはずだからです。これらのことは、産みの苦しみの初めです。

9 だが、あなたがたは、気をつけていなさい。人々は、あなたがたを議会に引き渡し、また、あなたがたは会堂でむち打たれ、また、わたしのゆえに、長官や王たちの前に立たされます。それは彼らに対してあかしをするためです。

10 こうして、福音がまずあらゆる民族に宣べ伝えられなければなりません。

11 彼らに捕えられ、引き渡されたとき、何と言おうかなどと案じるには及びません。ただ、そのとき自分に示されることを、話しなさい。話すのはあなたがたではなく、聖霊です。

12 また兄弟は兄弟を死に渡し、父は子を死に渡し、子は両親に逆らって立ち、彼らを死に至らせます。

13 また、わたしの名のために、あなたがたはみなの者に憎まれます。しかし、最後まで耐え忍ぶ人は救われます。

14 『荒らす憎むべきもの』が、自分の立ってはならない所に立っているのを見たならば（読者はよく読み取るように。）ユダヤにいる人々は山へ逃げなさい。

15 屋上にいる者は降りてはいけません。家から何かを取り出そうとして中にはいってはいけません。

16 畑にいる者は着物を取りに戻ってはいけません。

17 だが、その日、悲惨なのは身重の女と乳飲み子を持つ女です。

18 ただ、このことが冬に起こらないように祈りなさい。

19 その日は、神が天地を創造された初めから、今に至

44 ①ルカ二一・一-四、三・二、三・二-四
1 ①マコ一三・一-三七、マタ二四章、ルカ二一・五-三六
2 ①ルカ一九・四四
3 ①創ヨハ二・一、②出マタ一七・一
4 * あるいは「証拠としての奇蹟」
6 ①創ヨハ八・二四
9 ①マタ一〇・一七
* ギリシヤ語「サンヘドリン」
②創マタ一〇・一七
10 ①出マタ二四・一四
11 ①マコ一三・二-三、マタ一〇・一九上三、ルカ二一・二-一七
* あるいは「引いて行かれ」
13 ①創ヨハ一五・二一
14 ①マタ二四・一五
19 ①マコ一〇・六

るまで、いまだかつてなかったような、またこれからもないような苦難の日だからです。
20そして、もし主がその日数を少なくしてくださらないなら、ひとりとして救われる者はないのです。しかし、主は、ご自分で選んだ選びの民のために、その日数を少なくしてくださったのです。
21そのとき、あなたがたに、『そら、*キリストがここにいる。』とか、『ほら、あそこにいる。』とか言う者があっても、信じてはいけません。
22にせキリスト、にせ預言者たちが現われて、できれば選民を惑わそうとして、しるしや不思議なことをして見せます。
23だから、気をつけていなさい。わたしは、何もかも前もって話しました。
24だが、その日には、その苦難に続いて、太陽は暗くなり、月は光を放たず、
25星は天から落ち、天の万象は揺り動かされます。
26そのとき、人々は、人の子が偉大な力と栄光を帯びて雲に乗って来るのを見るのです。
27そのとき、人の子は、御使いたちを送り、地の果てから天の果てまで、四方からその選びの民を集めます。
28いちじくの木から、たとえを学びなさい。枝が柔らかになって、葉が出て来ると、夏の近いことがわかります。
29そのように、これらのことが起こるのを見たら、*人の子が戸口まで近づいていると知りなさい。
30まことに、あなたがたに告げます。これらのことが全部起こってしまうまでは、この*時代は過ぎ去りません。
31この天地は滅びます。しかし、わたしのことばは決して滅びることがありません。
32ただし、その日、その時がいつであるかは、だれも知りません。天の御使いたちも子も知りません。ただ父だけが知っておられます。
33気をつけなさい。目をさまし、注意していなさい。*その定めの時がいつだか、あなたがたは知らないからです。
34それはちょうど、旅に立つ人が、出がけに、しもべたちにはそれぞれ仕事を割り当てて責任を持たせ、門番には目をさましているように言いつけるようなものです。
35だから、目をさましていなさい。家の主人がいつ帰って来るか、夕方か、夜中か、鶏の鳴くころか、明け方か、わからないからです。
36主人が不意に帰って来たとき眠っているのを見られないようにしなさい。
37わたしがあなたがたに話していることは、すべての人に言っているのです。目をさましていなさい。」

14

1さて、過越の祭りと種なしパンの祝いが二日後に迫っていたので、祭司長、律法学者たちは、どうしたらイエスをだまして捕え、殺すことができるだろうか、とけんめいであっ

21* すなわち「メシヤ」
22 ①㊐マタ七・一五、②マタ二四・二四
㊐ヨハ四・四八
* あるいは「証拠としての奇蹟」
24 ①イザ一三・一〇
25 ①イザ三四・四
26 ①ダニ七・一三、②㊐マタ二六・二四、マコ八・三八
27 ①ゼカ二・六、②申三〇・四
29* あるいは「そのこと」
30* 別訳「民族」
32 ①マタ二四・三六、㊐使一・七
33 ①エペ六・一八、コロ四・二
* 異本に「祈っていなさい」を加えるものがある
34* 直訳「権限を与え」
35 ①マコ一三・一七、㊐マタ二四・四二、②㊐マコ一三・三五、③マコ六・四八、㊐マタ二四・三五
36 ①㊐ロマ八・一五
37 ①マコ一三・三三、㊐マタ二四・四二
1 ①マコ一四・一二、マタ二六・二、ルカ二二・一、②ヨハ一一・五五、一三・一、㊐マコ一四・一
③㊐マタ二六・二

た。
2 彼らは、「祭りの間はいけない。民衆の騒ぎが起こるといけないから。」と話していた。
3 イエスがベタニヤで、らい病人シモンの家におられたとき、食卓に着いておられると、ひとりの女が、純粋で、非常に高価なナルド油のはいった石膏のつぼを持って来て、そのつぼを割り、イエスの頭に注いだ。
4 すると、何人かの者が憤慨して互いに言った。「何のために、香油をこんなにむだにしたのか。
5 この香油なら、三百デナリ以上に売れて、貧乏な人たちに施しができたのに。」そうして、その女をきびしく責めた。
6 すると、イエスは言われた。「そのままにしておきなさい。なぜこの人を困らせるのですか。わたしのために、りっぱなことをしてくれたのです。
7 貧しい人たちは、いつもあなたがたといっしょにいます。それで、あなたがたがしたいときは、いつでも彼らに良いことをしてやれます。しかし、わたしは、いつもあなたがたといっしょにいるわけではありません。
8 この女は、自分にできることをしたのです。埋葬の用意にと、わたしのからだに、前もって油を塗ってくれたのです。
9 まことに、あなたがたに告げます。世界中のどこでも、福音が宣べ伝えられる所なら、この人のした事も語られて、この人の記念となるでしょう。」
10 ところで、イスカリオテ・ユダは、十二弟子のひとりであるが、イエスを売ろうとして祭司長たちのところへ出向いて行った。
11 彼らはこれを聞いて喜んで、金をやろうと約束した。そこでユダは、どうしたら、うまいぐあいにイエスを引き渡せるかと、ねらっていた。
12 種なしパンの祝いの第一日、すなわち、過越の小羊をほふる日に、弟子たちはイエスに言った。「過越の食事をなさるのに、私たちは、どこへ行って用意をしましょうか。」
13 そこで、イエスは、弟子のうちふたりを送って、こう言われた。「都にはいりなさい。そうすれば、水がめを運んでいる男に会うから、その人について行きなさい。
14 そして、その人がはいって行く家の主人に、『弟子たちといっしょに過越の食事をする、わたしの客間はどこか、と先生が言っておられる。』と言いなさい。
15 するとその主人が自分で、席が整って用意のできた二階の広間を見せてくれます。そこでわたしたちのために用意をしなさい。」
16 弟子たちが出かけて行って、都にはいると、まさしくイエスの言われたとおりであった。それで、彼らはそこで過越の食事の用意をした。
17 夕方になって、イエスは十二弟子といっしょにそこに来られた。
18 そして、みなが席に着いて、食事をしているとき、

3 ①マコ14:3-9、マタ26:6-13、ルカ7:36-50、ヨハ12:1-8 ②ヨハ11:2、マタ26:7 ③旧マタ26:6-7、ヨハ12:3
7 ①マタ26:11、ヨハ12:8
8 ①創ヨハ19:40
9 ①マタ26:13
10 ①マコ14:10-11、マタ26:14-16、ルカ22:3-6、②ヨハ6:71
*あるいは「引き渡そう」
12 ①マコ14:12-16、マタ26:17-19、ルカ22:7-13 ②マタ26:17、③ルカ22:7 Ⅰコリ5:7、申16:5、旧マコ14:12
*あるいは「犠牲としてささげる」
14 ①ルカ22:11、旧ルカ2:7のギリシヤ語
17 ①マコ14:17-21、マタ26:20-25、ルカ22:14-23、ヨハ13:21下
旧ヨハ13:21以下

イエスは言われた。「まことに、あなたがたに告げます。あなたがたのうちのひとりで、わたしといっしょに食事をしている者が、わたしを裏切ります。」*
19 弟子たちは悲しくなって、「まさか私ではないでしょう。」とかわるがわるイエスに言いだした。
20 イエスは言われた。「この十二人の中のひとりで、わたしといっしょに、同じ鉢にパンを浸している者です。
21 確かに、人の子は、自分について書いてあるとおりに、去って行きます。しかし、人の子を裏切るような人間はのろわれます。そういう人は生まれなかったほうがよかったのです。」

22 1)それから、みなが食事をしているとき、イエスはパンを取り、祝福して後、これを裂き、彼らに与えて言われた。「取りなさい。これはわたしのからだです。」
23 また、杯を取り、感謝をささげて後、彼らに与えられた。彼らはみなその杯から飲んだ。
24 イエスは彼らに言われた。「これはわたしの契約の血です。多くの人のために流されるものです。
25 まことに、あなたがたに告げます。神の国で新しく飲むその日までは、わたしはもはや、ぶどうの実で造った物を飲むことはありません。」
26 1)そして、賛美の歌を歌ってから、みなで2)オリーブ山へ出かけて行った。
27 1)イエスは、弟子たちに言われた。「あなたがたはみな、つまずきます。2)『わたしが羊飼いを打つ。すると、羊は散り散りになる。』と書いてありますから。
28 しかしわたしは、よみがえってから、あなたがたより先に、ガリラヤへ行きます。」
29 すると、ペテロがイエスに言った。「たとい全部の者がつまずいても、私はつまずきません。」
30 イエスは彼に言われた。「まことに、あなたに告げます。あなたは、1)きょう、今夜、2)鶏が二度鳴く前に、わたしを知らないと三度言います。」
31 ペテロは力を込めて言い張った。「たとい、ごいっしょに死ななければならないとしても、私は、あなたを知らないなどとは決して申しません。」みなの者もそう言った。

32 1)ゲツセマネという所に来て、イエスは弟子たちに言われた。「わたしが祈る間、ここにすわっていなさい。」
33 そして、ペテロ、ヤコブ、ヨハネをいっしょに連れて行かれた。イエスは深く恐れもだえ始められた。
34 そして彼らに言われた。「わたしは悲しみのあまり死ぬほどです。ここを離れないで、目をさましていなさい。」
35 それから、イエスは少し進んで行って、地面にひれ伏し、もしできることなら、この時が自分から過ぎ去るようにと祈り、
36 またこう言われた。「1)アバ、父よ。あなたにおできにならないことはありません。どうぞ、この杯をわたしから取りのけてください。2)しかし、わたしの願うことではなく、あなたのみこころのままを、なさってくだ

18 * あるいは「引き渡します」
22 ①マコ一四・三一参、マタ二六・二六・二九、ルカ二二・一九・二〇、Ⅰコリ一一・二三参、出マコ二四・八、②創マタ一四・一九
26 ①マタ二六・三〇、②創マタ二一・一
27 ①マコ一四・三〇・三三、マタ二六・三一・三五、②ゼカ一三・七
30 ①出マタ二六・三四、②マコ一四・六八・七二、ヨハ一三・三八
32 ①マコ一四・三三・四一、マタ二六・三七・四六、ルカ二二・四〇・四五
33 ①創マコ九・二、一〇・三七
34 ①マタ二六・三八、ヨハ一二・二七 * 別訳「わたしの心は」
35 ①マコ一四・四一、創マタ二六・四五
36 ①ロマ八・一五、ガラ四・六 ②創マタ二六・三九

さい。」
37それから、イエスは戻って来て、彼らの眠っているのを見つけ、ペテロに言われた。「シモン。眠っているのか。一時間でも目をさましていることができなかったのか。
38誘惑に陥らないように、目をさまして、祈り続けなさい。心は燃えていても、肉体は弱いのです。」
39イエスは再び離れて行き、前と同じことばで祈られた。
40そして、また戻って来て、ご覧になると、彼らは眠っていた。ひどく眠けがさしていたのである。彼らは、イエスにどう言ってよいか、わからなかった。
41イエスは三度目に来て、彼らに言われた。「*まだ眠って休んでいるのですか。もう十分です。時が来ました。見なさい。人の子は罪人たちの手に渡されます。
42立ちなさい。さあ、行くのです。見なさい。わたしを裏切る者が近づきました。」
43そしてすぐ、イエスがまだ話しておられるうちに、十二弟子のひとりのユダが現われた。剣や棒を手にした群衆もいっしょであった。群衆はみな、祭司長、律法学者、長老たちから差し向けられたものであった。
44イエスを裏切る者は、彼らと前もって次のような合図を決めておいた。「私が口づけをするのが、その人だ。その人をつかまえて、しっかりと引いて行くのだ。」
45それで、彼はやって来るとすぐに、イエスに近寄って、「先生。」と言って、口づけした。
46すると人々は、イエスに手をかけて捕えた。
47そのとき、イエスのそばに立っていたひとりが、剣を抜いて大祭司のしもべに撃ちかかり、その耳を切り落とした。
48イエスは彼らに向かって言われた。「まるで強盗にでも向かうように、剣や棒を持ってわたしを捕えに来たのですか。
49わたしは毎日、宮であなたがたといっしょにいて、教えていたのに、あなたがたは、わたしを捕えなかったのです。しかし、*こうなったのは聖書のことばが実現するためです。」
50すると、みながイエスを見捨てて、逃げてしまった。
51ある青年が、素はだに亜麻布を一枚まとったままで、イエスについて行ったところ、人々は彼を捕えようとした。
52すると、彼は亜麻布を脱ぎ捨てて、はだかで逃げた。
53彼らがイエスを大祭司のところに連れて行くと、祭司長、長老、律法学者たちがみな、集まって来た。
54ペテロは、遠くからイエスのあとをつけながら、大祭司の庭の中まではいって行った。そして、役人たちといっしょにすわって、火にあたっていた。
55さて、祭司長たちと全議会は、イエスを死刑にするために、イエスを訴える証拠をつかもうと努めたが、何も見つからなかった。
56イエスに対する偽証をした者は多かったが、一致しなかったのである。

38 ①マタ二六・四一
41 *別訳「では、ぐっすり眠って休みなさい」
①マコ一四・三九
43 ①マコ一四・四四-四五、マタ二六・四七-五六、ルカ二二・四七-五三、ヨハ一八・三-一二
45 ①㊟マタ二三・七
*原語「ラビ」
49 ①マコ一二・三五
*あるいは、おそらく「聖書のことばを実現させなさい」
53 ①マコ一四・五五、マタ二六・五七-六八、ヨハ一八・一三-一四
54 ①㊟マタ二六・三
*あるいは「下役」
②マコ一四・六七、ヨハ一八・一八
**直訳「光」
55 ①㊟マタ二六・三
*ギリシャ語「サンヘドリン」

57 すると、数人が立ち上がって、イエスに対する偽証をして、次のように言った。
58 「私たちは、この人が『[1]わたしは手で造られたこの神殿をこわして、三日のうちに、手で造られない別の神殿を造ってみせる。』と言うのを聞きました。」
59 しかし、この点でも証言は一致しなかった。
60 そこで大祭司が立ち上がり、真中に進み出てイエスに尋ねて言った。「何も答えないのですか。この人たちが、あなたに不利な証言をしていますが、これはどうなのですか。」[1]
61 しかし、イエスは黙ったままで、何もお答えにならなかった。大祭司は、さらにイエスに尋ねて言った。「あなたは、ほむべき方の子、*キリストですか。」
62 そこでイエスは言われた。「わたしは、それです。人の子が、力ある方の右の座に着き、[2]天の雲に乗って来るのを、あなたがたは見るはずです。」
63 すると、大祭司は、[1]自分の衣を引き裂いて言った。「これでもまだ、証人が必要でしょうか。
64 あなたがたは、神をけがすこのことばを聞いたのです。どう考えますか。」すると、彼らは全員で、イエスには死刑に当たる罪があると決めた。
65 そうして、ある人々は、イエスにつばきをかけ、[2]御顔をおおい、こぶしでなぐりつけ、「[3]言い当ててみろ。」などと言ったりし始めた。また、役人たちは、イエスを受け取って、*平手で打った。
66 [1]ペテロが下の庭にいると、大祭司の女中のひとりが来て、
67 ペテロが火にあたっているのを見かけ、[1]彼をじっと見つめて、言った。「あなたも、あのナザレ人、[2]あのイエスといっしょにいましたね。」
68 しかし、ペテロはそれを打ち消して、「何を言っているのか、わからない。見当もつかない。」と言って、[1]出口のほうへと出て行った。*
69 すると女中は、ペテロを見て、そばに立っていた人たちに、「この人はあの仲間です。」と言いだした。
70 しかし、ペテロは再び打ち消した。しばらくすると、そばに立っていたその人たちが、またペテロに言った。「確かに、あなたはあの仲間だ。[2]ガリラヤ人なのだから。」
71 しかし、彼はのろいをかけて誓い始め、「私は、あなたがたの話しているその人を知りません。」と言った。
72 するとすぐに、鶏が、二度目に鳴いた。そこでペテロは、「鶏が二度鳴く前に、あなたは、わたしを知らないと三度言います。」という主のおことばを思い出した。*それに思い当たったとき、彼は泣き出した。

15

1 [1]夜が明けるとすぐに、祭司長たちをはじめ、長老、律法学者たちと、[2]*全議会とは協議をこらしたすえ、イエスを縛って連れ出し、ピラトに引き渡した。
2 [1]ピラトはイエスに尋ねた。「あなたは、ユダヤ人の王ですか。」イエスは答えて言われた。「そのとおりです。

---

58 ①マコ一四・二九、㊟マタ二六・六一　*あるいは「聖所」
61 ①マコ一四・六三、マタ二六・六二以下、ルカ二三・六七以下　②㊟マタ一六・二三　*すなわち「メシヤ」
62 ①詩一一〇・一、マコ一二・三六　②ダニ七・一三
63 ①マタ二六・六五、使一四・一四、民一四・六　*あるいは「下着」
65 ①㊟マコ一〇・三四、マタ二六・六七　②エス七・六、ルカ二二・六四　③マタ二六・六八　*あるいは「イエスに平手打ちを食わした」　**あるいは「棒で打った」
66 ①マコ一四・六六以下、マタ二六・六九以下、ルカ二二・五六以下、ヨハ一八・一六以下　②マコ一四・六九
67 ①マコ一四・六六、②㊟マコ一・二四
68 ①マコ一四・六九　*あるいは「前庭」　**異本に「すると、鶏が鳴いた」を加えるものもある
70 ①マコ一四・六六、②マタ二六・七三
72 ①マコ一四・三〇、六八　*異本「そして、ペテロは泣き出した」
1 ①㊟マコ七・一、②㊟マタ二七・二　*ギリシヤ語「サンヘドリン」
2 ①マコ一二・一五、マタ二七・一一、一四、ルカ二三・三、ヨハ一八・二九以下

す。」
3そこで、祭司長たちはイエスをきびしく訴えた。*
4ピラトはもう一度イエスに尋ねて言った。「何も答えないのですか。見なさい。彼らはあんなにまであなたを訴えているのです。」
5それでも、イエスは何もお答えにならなかった。それには[1]ピラトも驚いた。
6ところでピラトは、その祭りには、人々の願う囚人をひとりだけ赦免するのを例としていた。
7たまたま、バラバという者がいて、暴動のとき人殺しをした暴徒たちといっしょに牢にはいっていた。
8それで、群衆は進んで行って、いつものようにしてもらうことを、ピラトに要求し始めた。
9そこでピラトは、彼らに答えて、「このユダヤ人の王を釈放してくれというのか。」と言った。
10ピラトは、祭司長たちが、ねたみからイエスを引き渡したことに、気づいていたからである。
11しかし、祭司長たちは群衆を扇動して、[1]むしろバラバを釈放してもらいたいと言わせた。
12そこで、ピラトはもう一度答えて、「ではいったい、あなたがたがユダヤ人の王と呼んでいるあの人を、私にどうせよというのか。」と言った。
13すると彼らはまたも「十字架につけろ。」と叫んだ。
14だが、ピラトは彼らに、「あの人がどんな悪い事をしたというのか。」と言った。しかし、彼らはますます激しく「十字架につけろ。」と叫んだ。
15それで、ピラトは群衆のきげんをとろうと思い、バラバを釈放した。そして、イエスをむち打って後、十字架につけるようにと引き渡した。
16[1]兵士たちはイエスを、[2]邸宅、すなわち総督官邸の中に連れて行き、全部隊[3]*を呼び集めた。
17そしてイエスに紫の衣を着せ、いばらの冠を編んでかぶらせ、
18それから、「ユダヤ人の王さま。ばんざい。」と叫んであいさつをし始めた。
19また、葦の棒でイエスの頭をたたいたり、つばきをかけたり、ひざまずいて拝んだりしていた。
20彼らはイエスを嘲弄したあげく、その紫の衣を脱がせて、もとの着物をイエスに着せた。それから、イエスを十字架につけるために連れ出した。
21[1]そこへ、アレキサンデルとルポスとの父で、シモンというクレネ人が、いなかから出て来て通りかかったので、彼らはイエスの十字架を、むりやりに彼に背負わせた。
22[1]そして、彼らはイエスを[2]ゴルゴタの場所(訳すと、「どくろ」の場所)へ連れて行った。
23そして彼らは、没薬を混ぜたぶどう酒をイエスに与えようとしたが、イエスはお飲みにならなかった。
24それから、彼らは、イエスを十字架につけた。そして、だれが何を取るかをくじ引きで決めたうえで、イエスの着物を分けた。
25彼らがイエスを十字架につけたのは、[1]午前九時であ

3 * あるいは「多くのことで」
5 ①脚マタ二七・三
6 ①マコ一五・六―一五、マタ二七・一五―二六、ルカ二三・一八―二五、ヨハ一八・三九―一九・一六
11 ①使三・一四
15 ①脚マタ二七・二六
16 ①マコ一五・一六―二〇、マタ二七・二七―三一、②脚マタ二七・二七 脚マタ二六・五五、③脚使一〇・一 * あるいは「大隊」
21 ①マコ一五・二一、マタ二七・三二 ルカ二三・二六
22 ①マコ一五・二三―三二、マタ二七・三三―四四、ルカ二三・三三―四三、ヨハ一九・一七―二四、②ヨハ一九・一七 脚ルカ二三・三三
23 ①脚マタ二七・三四
24 ①詩二二・一八、脚ヨハ一九・二四
25 ①脚ヨハ一九・一四、マコ一五・三三 * 直訳「第三時」

った。
26 イエスの罪状書きには、「[1]ユダヤ人の王。」と書いてあった。
27 また彼らは、イエスとともにふたりの強盗を、ひとりは右に、ひとりは左に、十字架につけた。*
29 道を行く人々は、[1]頭を振りながらイエスをののしって言った。「[2]おお、神殿を打ちこわして三日で建てる人よ。
30 十字架から降りて来て、自分を救ってみろ。」
31 また、祭司長たちも同じように、律法学者たちといっしょになって、イエスをあざけって言った。「[1]他人は救ったが、*自分は救えない。
32 キリスト、イスラエルの王さま。たった今、[1]十字架から降りてもらおうか。われわれは、それを見たら信じるから。」また、イエスといっしょに十字架につけられた者たちもイエスをののしった。
33 さて、*十二時になったとき、全地が暗くなって、[2]*午後三時まで続いた。
34 そして、三時に、イエスは大声で、「[2]エロイ、エロイ、ラマ、サバクタニ。」と叫ばれた。それは訳すと「わが神、わが神。どうしてわたしをお見捨てになったのですか。」という意味である。
35 そばに立っていた幾人かが、これを聞いて、「そら、エリヤを呼んでいる。」と言った。
36 すると、ひとりが走って行って、海綿に酸いぶどう酒を含ませ、それを葦の棒につけて、イエスに飲ませようとしながら言った。「エリヤがやって来て、彼を降ろすかどうか、私たちは見ることにしよう。」
37 それから、イエスは大声をあげて息を引き取られた。
38 [1]神殿の幕が上から下まで真二つに裂けた。
39 イエスの正面に立っていた百人隊長は、イエスがこのように息を引き取られたのを見て、「この方はまことに神の子であった。」と言った。
40 また、遠くのほうから見ていた女たちもいた。その中にマグダラのマリヤと、[2]小ヤコブとヨセの母マリヤと、[3]またサロメもいた。
41 イエスがガリラヤにおられたとき、いつもつき従って仕えていた女たちである。このほかにも、イエスといっしょにエルサレムに上って来た女たちがたくさんいた。
42 すっかり夕方になった。その日は備えの日、すなわち安息日の前日であったので、
43 アリマタヤのヨセフは、思い切ってピラトのところに行き、イエスのからだの下げ渡しを願った。ヨセフは有力な議員であり、みずからも神の国を待ち望んでいた人であった。
44 ピラトは、イエスがもう死んだのかと驚いて、百人隊長を呼び出し、イエスがすでに死んでしまったかどうかを問いただした。
45 そして、百人隊長からそうと確かめてから、イエスのからだをヨセフに与えた。

---

26 ①圏マタ二七・三七
27 *異本一二八節として「こうして『この人は罪人とともに数えられた』とある聖書が実現したのである」を加えるものもある
29 ①詩二二・七、マタ二七・三九
②マコ一四・五八
31 ①マタ二七・四二、ルカ二三・三五
*あるいは「自分は救えないのか」
32 ①圏マタ二七・四二、訳マコ一五・二六、②マコ一五・二七、訳マタ二七・四四、ルカ二三・三九、四三
33 ①マコ一五・三四、マタ二七・四五、ルカ二三・四四、四五
*直訳「第六時」
②マタ二七・四五、四六、ルカ二三・四四
34 ①マタ二七・四五、四六、ルカ二三・四四、訳マコ一五・三六、②訳詩二二・一、マタ二七・四六
*直訳「第九時」
35 直訳「…見ることを許せ」
36 ①マタ二七・四八、ルカ二三・四六
37 ①圏マタ二七・五〇、ルカ二三・四六
38 ①圏マタ二七・五一、ルカ二三・四五
39 ①マタ二七・五四、ルカ二三・四七
マコ一五・四五
*あるいは「イエスと向かい合って」
40 ①マコ一五・四〇、四一、マタ二七・五五、訳ルカ二三・四九、ヨハ一九・二五、②訳ルカ九・一
③マコ一六・一
41 ①圏マタ二七・五五、六六
42 ①マコ一五・四二、マタ二七・五七、ルカ二三・五四、ヨハ一九・三一、四二、②圏マタ二七・六二
43 ①訳ヨハ一九・三八、②訳ルカ二三・五一、使一三・五〇、一七・一二、訳マタ二七・五七、③ルカ二三・二一、二三・五一、訳マタ二七・五七、ヨハ一九・三八
45 ①マコ一五・三九

46そこで、ヨセフは亜麻布を買い、イエスを取り降ろしてその亜麻布に包み、岩を掘って造った墓に納めた。墓の入口には石をころがしかけておいた。
47[1]マグダラのマリヤとヨセの母マリヤとは、イエスの納められる所をよく見ていた。

16 1さて、安息日が終わったので、マグダラのマリヤとヤコブの母マリヤとサロメとは、イエスに油を塗りに行こうと思い、[2]香料を買った。
2そして、週の初めの日の早朝、日が上ったとき、墓に着いた。
3彼女たちは、「墓の入口からあの石をころがしてくれる人が、だれかいるでしょうか。」とみなで話し合っていた。
4ところが、目を上げて見ると、あれほど大きな石だったのに、その石がすでにころがしてあった。
5それで、墓の中にはいったところ、真白な長い衣をまとった青年が右側にすわっているのが見えた。彼女たちは驚いた。
6青年は言った。「驚いてはいけません。あなたがたは、十字架につけられたナザレ人イエスを捜しているのでしょう。あの方はよみがえられました。ここにはおられません。ご覧なさい。ここがあの方の納められた所です。
7ですから行って、お弟子たちとペテロに、『イエスは、あなたがたより先にガリラヤへ行かれます。前に言われたとおり、そこでお会いできます。』とそう言いなさい。」
8女たちは、墓を出て、そこから逃げ去った。すっかり震え上がって、気も転倒していたからである。そしてだれにも何も言わなかった。恐ろしかったからである。*

9〔さて、週の初めの日の朝早くによみがえったイエスは、まずマグダラのマリヤにご自分を現わされた。イエスは、以前に、この女から七つの悪霊を追い出されたのであった。
10マリヤはイエスといっしょにいた人たちが嘆き悲しんで泣いているところに行き、そのことを知らせた。
11ところが、彼らは、イエスが生きておられ、お姿をよく見た、と聞いても、それを信じようとはしなかった。
12その後、彼らのうちのふたりがいなかのほうへ歩いていたおりに、イエスは別の姿でご自分を現わされた。
13そこでこのふたりも、残りの人たちのところへ行ってこれを知らせたが、彼らはふたりの話も信じなかった。
14しかしそれから後になって、イエスは、その十一人が食卓に着いているところに現われて、彼らの不信仰とかたくなな心をお責めになった。それは、彼らがよみがえられたイエスを見た人たちの言うところを信じなかったからである。

47①マコ一五・四〇、一六・一、㊥マタ二七・五六

1①マコ一六・一、八、マタ二八・一、八、ルカ二四・一〇、㊥ヨハ二〇・一、八 ②マコ一五・四七、③ルカ二三・五六、ヨハ一九・三九、四〇 ③①マコ一六・三、四、一五・四六、㊥マタ二七・六〇

5①㊥ヨハ二〇・一二、一三 ②㊥マコ九・二五

6①㊥マコ九・二四、②㊥マコ一四・二八、③マタ二六・三二、マコ一四・二八

7①㊥マタ二六・三二、マコ一四・二八

8*この章の終わりにある別の追加文参照

9*異本 九―二〇節を欠くものがある ①ヨハ二〇・一四、㊥マタ二七・五六

10①ヨハ二〇・一八

11①マコ一六・三、一四、ルカ二四・二一、㊥ルカ二四・四一、ヨハ二〇・二五、マタ二八・一七

12①ルカ二四・一三―三五、②マコ一六・一四、ヨハ二一・一、二四

13①マコ一六・一二、一四、ルカ二四・一二㊥ルカ二四・四一、ヨハ二〇・二五、マタ二八・一七

14①㊥ルカ二四・三六、ヨハ二〇・一九、二六、Ⅰコリ一五・五、②マコ一六・一二、一四、③マコ一六・一二、ルカ二四・二一㊥ルカ二四・四一、ヨハ二〇・二五、マタ二八・一七

15 それから、イエスは彼らにこう言われた。「[1]全世界に
出て行き、すべての造られた者に、福音を宣べ伝えな
さい。
16 [1]信じてバプテスマを受ける者は、救われます。しか
し、信じない者は罪に定められます。
17 信じる人々には次のようなしるしが伴います。*
わち、[1]わたしの名によって悪霊を追い出し、[2]新しいこ
とばを語り、
18 [1]蛇をもつかみ、たとい毒を飲んでも決して害を受け
ず、また、[2]病人に手を置けば病人はいやされます。」
19 主イエスは、彼らにこう話されて後、[2]天に上げら
れて神の右の座に着かれた。
20 そこで、彼らは出て行って、至る所で福音を宣べ伝
えた。主は彼らとともに働き、みことばに伴うしるし*
をもって、みことばを確かなものとされた。」**

別の追加文*

〔さて、女たちは、命じられたすべてのことを、ペテ
ロとその仲間の人々にさっそく知らせた。その後、イ
エスご自身、彼らによって、きよく、朽ちることのな
い、永遠の救いのおとずれを、東の果てから、西の果
てまで送り届けられた。〕

15 ①マタ二八・一九。
16 ①ヨハ三・一六、一五、[旧]使一六・三一
17 * あるいは「証拠としての奇蹟」
①[旧]マコ九・三八、ルカ一〇・一七
使五・一六、一八・一九、二二
②[旧]使二・四、一〇・四六、一九・六
Ⅰコリ一二・一〇、二八、三〇、一四・一、二六等
18 ①[旧]ルカ一〇・一九、使二八・三五
②[新]マコ五・二三
19 ①[旧]使一・二、②[旧]ルカ九・五一、二四・五一、マコ一六・一九、ヨハ六・六二、二〇・一七
使一・二、Ⅰテモ三・一六、③詩一一〇・一、ルカ二二・六九、使七・五五、エペ一・二〇、ロマ八・三四、コロ三・一、ヘブ一・三、八・一、一〇・一二、一三、一〇・一二、Ⅰペテ三・二二
20 * あるいは「証拠としての奇蹟」
** 異本「アーメン」を加える
別の追加文
* この追加文を八節のあとに置いている少数の異本や古代訳がある

ルカの福音書

1

1 2 私たちの間ですでに[1]確信されている出来事については、[2]初めからの[3]目撃者で、[4]みことばに仕える者となった人々が、私たちに伝えたそのとおりを、多くの人が記事にまとめて書き上げようと、すでに試みておりますので、3 私も、すべてのことを初めから綿密に調べておりますから、あなたのために、[1]順序を立てて書いて差し上げるのがよいと思います。[2]尊敬するテオピロ殿。4 それによって、すでに教えを受けられた事がらが正確な事実であることを、よくわかっていただきたいと存じます。

5 [1]ユダヤの王ヘロデの時に、[2]アビヤの組の者でザカリヤという祭司がいた。彼の妻はアロンの子孫で、名をエリサベツといった。6 ふたりとも、[1]神の御前に正しく、主のすべての戒めと定めを*落度なく踏み行なっていた。7 エリサベツは産まず女だったので、彼らには子がなく、ふたりともう年をとっていた。8 さて、ザカリヤは、自分の組が当番で、[1]神の御前に祭司の務めをしていたが、9 祭司職の習慣によって、くじを引いたところ、[1]主の神殿にはいって香をたくことになった。10 彼が香をたく間、大ぜいの民はみな、外で[1]祈っていた。11 ところが、[1]主の使いが彼に現われて、香壇の右に立った。12 これを見たザカリヤは不安を覚え、恐怖に襲われたが、13 御使いは彼に言った。「[1]こわがることはない。ザカリヤ。あなたの願いが聞かれたのです。あなたの妻エリサベツは男の子を産みます。名を[2]ヨハネとつけなさい。14 その子はあなたにとって喜びとなり楽しみとなり、多くの人もその誕生を喜びます。15 彼は主の御前にすぐれた者となるからです。彼は、[1]ぶどう酒も強い酒も飲まず、まだ母の胎内にあるときから聖霊に満たされ、16 そしてイスラエルの多くの子らを、彼らの神である主に立ち返らせます。17 彼こそ、[1]エリヤの霊と力で[2]主の前ぶれをし、父たちの心を子どもたちに向けさせ、逆らう者を義人の心に立ち戻らせ、こうして、整えられた民を主のために用意するのです。」18 そこで、ザカリヤは御使いに言った。「私は何によってそれを知ることができましょうか。私ももう年寄りですし、妻も年をとっております。」19 御使いは答えて言った。「私は[1]神の御前に立つガブリエルです。あなたに話をし、この喜びのおとずれを

---

1 2 ①聖ロマ一四・三五、コロ四・一三 Ⅰテサ一・五、ヘブ六・一 *別訳「すでに成就された出来事」
② ヨハ一五・二七、使徒一・二一、三
③ Ⅱペテ一・一六、Ⅰヨハ一・一
④ マコ四・一四、一六・二〇、使八・四、一四・三五、一六・六、一七・二、⑤使二六・一六、Ⅰコリ四・一、使徒ヘブ二・三

3 ①使二・四、②使徒三・二六、二四・三五、③使二・一

4 ①聖使八・三五、ロマ一・八、Ⅰコリ一四・二六、ガラ六・六

5 ①マタ二・一、②Ⅰ歴二四・一〇

6 ①創七・一、使徒二・三五、八・二一 *あるいは「非難されるところなく」
② ピリ二・一五・二六、Ⅰテサ三・一三

8 ①Ⅰ歴二三・二六、Ⅱ歴八・一四、二・三

9 ①出三〇・七、八

10 ①出レビ一六・一七

11 ①ルカ一・六、聖使一・九

13 ①ルカ一・三〇、出マタ一四・二七 ②ルカ一・六〇、六三

15 ①民六・三、士一三・四、マタ一一・八、ルカ七・三三

17 ①聖マタ一一・一四、②ルカ一・一六、③マラ四・六

19 ①聖マタ一八・一〇、②ルカ一・二六、ダニ八・一六、二

伝えるように遣わされているのです。
20 ですから、見なさい。これらのことが起こる日までは、あなたは、おしになって、ものが言えなくなります。私のことばを信じなかったからです。私のことばは、その時が来れば実現します。」
21 人々はザカリヤを待っていたが、神殿であまり暇取るので不思議に思った。
22 やがて彼は出て来たが、人々に話をすることができなかった。それで、彼は神殿で幻を見たのだとわかった。ザカリヤは、彼らに合図を続けるだけで、おしのままであった。
23 やがて、務めの期間が終わったので、彼は自分の家に帰った。
24 その後、妻エリサベツはみごもり、五か月の間引きこもって、こう言った。
25 「主は、人中で私の恥を取り除こうと心にかけられ、今、私をこのようにしてくださいました。」
26 ところで、その六か月目に、御使いガブリエルが、神から遣わされてガリラヤのナザレという町のひとりの処女のところに来た。
27 この処女は、ダビデの家系のヨセフという人のいいなずけで、名をマリヤといった。
28 御使いは、はいって来ると、マリヤに言った。「おめでとう、恵まれた方。主があなたとともにおられます。」
29 しかし、マリヤはこのことばに、ひどくとまどって、これはいったい何のあいさつかと考え込んだ。
30 すると御使いが言った。「こわがることはない。マリヤ。あなたは神から恵みを受けたのです。
31 ご覧なさい。あなたはみごもって、男の子を産みます。名をイエスとつけなさい。
32 その子はすぐれた者となり、いと高き方の子と呼ばれます。また、神である主は彼にその父ダビデの王位をお与えになります。
33 彼はとこしえにヤコブの家を治め、その国は終わることがありません。」
34 そこで、マリヤは御使いに言った。「どうしてそのようなことになりえましょう。私はまだ男の人を知りませんのに。」
35 御使いは答えて言った。「聖霊があなたの上に臨み、いと高き方の力があなたをおおいます。それゆえ、*生まれる者は、聖なる者、神の子と呼ばれます。
36 ご覧なさい。あなたの親類のエリサベツも、あの年になって男の子を宿しています。産まず女と呼ばれていた人なのに、今はもう六か月です。
37 神にとって不可能なことは一つもありません。」
38 *マリヤは言った。「ほんとうに、私は主のはしためです。どうぞ、あなたのおことばどおりになりますように。」こうして御使いは彼女から去って行った。
39 そのころ、マリヤは立って、山地にあるユダの町に急いだ。
40 そしてザカリヤの家に行って、エリサベツにあいさ

22 ①ルカ一・六三
* あるいは「身振り、手振りをする」「うなずく」
25 ①創三〇・二三、イザ四・一
26 ①㊢ルカ一・一六、②マタ二・二三
27 ①マタ一・一六、②マタ一・一八、三、ルカ二・四
28 * 異本「あなたはどの女よりも祝福された方です」を加えるものもある
29 ①㊢ルカ一・三
30 ①ルカ一・一三、㊢マタ一四・二七
31 ①マタ一・二一、二五、ルカ二・二一
32 ①ルカ一・三二、三五、六六、使七・四八、㊢マコ五・七
33 ①㊢マタ一・二一、②㊢マタ二六・二八、ダ二・四四、七・一四、二七
35 ①マタ一・一八、②㊢ルカ一・三五
* 直訳「生まれて来る聖なる者は」
③㊢マコ一・二四、④マタ一四・三三
37 ①㊢マタ一九・二六
38 * ギリシヤ語「マリアム」＝ヘブル語の「ミリアム」に当たる
39 ①ルカ一・六五、㊢ヨシ二〇・七、二一・二一

つした。
41 エリサベツがマリヤのあいさつを聞いたとき、子が
胎内でおどり、エリサベツは聖霊に満たされた。
42 そして大声をあげて言った。「あなたは 女の中の祝
福された方。あなたの胎の実も祝福されています。
43 私の主の母が私のところに来られるとは、何という
ことでしょう。
44 ほんとうに、あなたのあいさつの声が私の耳にはい
ったとき、私の胎内で子どもが喜んでおどりました。
45 主によって語られたことは必ず実現すると信じきっ
た人は、何と幸いなことでしょう。」
46 マリヤは言った。
「わがたましいは主をあがめ、
47 わが霊は、わが救い主なる神を喜びたたえます。
48 主はこの卑しいはしために
目を留めてくださったからです。
ほんとうに、これから後、どの時代の人々も、
私をしあわせ者と思うでしょう。
49 力ある方が、
私に大きなことをしてくださいました。
その御名はきよく、
50 そのあわれみは、主を恐れかしこむ者に、
代々にわたって及びます。
51 主は、御腕をもって力強いわざをなし、
心の思いの高ぶっている者を追い散らし、
52 権力ある者を王位から引き降ろされます。
53 飢えた者を良いもので満ち足らせ、
富む者を何も持たせないで追い返されました。
54 主はそのあわれみをお忘れにならないで、
そのしもべイスラエルをお助けになりました。
55 私たちの先祖たち、アブラハムとその子孫に
語られたとおりです。」
56 マリヤは三か月ほどエリサベツと暮らして、家に
帰った。
57 さて月が満ちて、エリサベツは男の子を産んだ。
58 近所の人々や親族は、主がエリサベツに大きなあわ
れみをおかけになったと聞いて、彼女とともに喜んだ。
59 さて八日目に、人々は幼子に割礼するためにやって
来て、幼子を父の名にちなんでザカリヤと名づけよう
としたが、
60 母は答えて、「いいえ、そうではなくて、ヨハネとい
う名にしなければなりません。」と言った。
61 彼らは彼女に、「あなたの親族にはそのような名の
人はひとりもいません。」と言った。
62 そして、身振りで父親に合図して、幼子に何という
名をつけるつもりかと尋ねた。
63 すると、彼は書き板を持って来させて、「彼の名はヨ
ハネ。」と書いたので、人々はみな驚いた。
64 すると、たちどころに、彼の口が開け、舌は解け、
ものが言えるようになって神をほめたたえた。
65 そして、近所の人々はみな恐れた。さらにこれらの

41 ①ルカ一・六七
43 ①旧ルカ二・二
45 ①ルカ一・四六、旧ルカ一・二〇
46 ①ルカ一・四六―五五、Ⅰサム二・一―一〇、②詩篇四四・三、三四
47 ①Ⅰテモ一・一二、テト一・三、二・一〇、三、四、ユダ二五 ②詩篇二五
48 ①ルカ一・四五
50 ①詩一〇三・一七
51 ①詩八九・一〇、一八・二五
53 ①詩一〇七・九
55 ①旧創一七・七、詩一三二・一一、ガラ三・一六
58 ①創二一・五
59 ①創一七・一二、レビ一二・三、ルカ二・二一、ピリ三・五
60 ①ルカ一・一三、六三
62 ①ルカ一・三
63 ①ルカ一・一三、六〇
64 ①ルカ一・二〇

ことの一部始終が、[1]ユダヤの山地全体にも語り伝えられて行った。
66 聞いた人々はみな、それを心にとどめて、「いったいこの子は何になるのでしょう。」と言った。[1]主の御手が彼とともにあったからである。
67 さて父ザカリヤは、[1]聖霊に満たされて、[2]預言して言った。
68 「ほめたたえよ。イスラエルの神である主を。
[1]主はその民を顧みて、[1]贖いをなし、
69 [1]救いの角を、われらのために、
[2]しもべダビデの家に立てられた。
70 古くから、[2]その聖なる預言者たちの口を通して、
71 主が話してくださったとおりに。
[1][2]この救いはわれらの敵からの、
すべてわれらを憎む者の手からの救いである。
72 主は[1]われらの父祖たちにあわれみを施し、
[2]その聖なる契約を、
73 [1]われらの父アブラハムに誓われた誓いを覚えて、
74 75 われらを敵の手から救い出し、
われらの生涯のすべての日に、
きよく、正しく、
恐れなく、主の御前に仕えることを許される。
76 幼子よ。あなたもまた、
[1]いと高き方の預言者と呼ばれよう。
[2]主の御前に先立って行き、その道を備え、
77 神の民に、[1]罪の赦しによる救いの知識を与えるためである。
78 これはわれらの神の深いあわれみによる。
そのあわれみにより、
[1]日の出がいと高き所からわれらを訪れ、
79 暗黒と死の陰にすわる者たちを照らし、
[1]われらの足を平和の道に導く。」
80 さて、幼子は成長し、その霊は強くなり、イスラエルの民の前に公に出現する日まで荒野にいた。

2

1 そのころ、[1]全世界の住民登録をせよという勅令が、[2]皇帝アウグストから出た。
2 これは、クレニオがシリヤの総督であったときの[1]最初の住民登録であった。
3 それで、人々はみな、登録のために、それぞれ自分の町に向かって行った。
4 ヨセフもガリラヤの町ナザレから、ユダヤのベツレヘムという[1]町へ上って行った。彼は、ダビデの家系であり血筋でもあったので、
5 身重になっているいいなずけの妻マリヤもいっしょに登録するためであった。
6 ところが、彼らがそこにいる間に、マリヤは月が満ちて、
7 男子の初子を産んだ。それで、布にくるんで、飼葉おけに寝かせた。宿屋には彼らのいる場所がなかったからである。

65 ①㊐ルカ一・元
66 ①使二・二
67 ①ルカ一・四一、②㊐ヨエ二・二八
68 ①ルカ一・六八、ヘブ九・三㊐ルカ一・七一、使一・六
69 ①Ⅱサム二二・三、詩一八・二、九八・一七、三二・一七、エゼ二九・二一
②㊐マタ一・一
70 ①使三・二一、②ロマ一・二
71 ①㊐ルカ一・六八、②詩一〇五・一〇
72 ①ミカ七・二〇、②詩一〇五・八、九、一〇六・四五
73 ①創二二・一六以下
76 ①㊐ルカ一・三二、②㊐マタ二一・九、③マラ三・一、④ルカ一・一七
77 ①マコ一・四、エレ三一・三四
78 ①㊐マラ四・二、エペ五・一四
Ⅱペテ一・一九
79 ①イザ九・一、㊐イザ九・二、五九・八
マタ四・一六
80 ①ルカ二・四〇
1 ①㊐マタ二四・一四、②㊐ルカ三・一、マタ二三・一七
2 ①㊐マタ四・二四
4 ①ルカ一・二七

8 さて、この土地に、羊飼いたちが、野宿で夜番を
しながら羊の群れを見守っていた。
9 すると、主の使いが彼らのところに来て、主の栄光
が回りを照らしたので、彼らはひどく恐れた。
10 御使いは彼らに言った。「恐れることはありません。
今、私はこの民全体のためのすばらしい喜びを知らせ
に来たのです。
11 きょうダビデの町で、あなたがたのために、救い主
がお生まれになりました。この方こそ主キリストです。
12 あなたがたは、布にくるまって飼葉おけに寝ておら
れるみどりごを見つけます。これが、あなたがたのた
めのしるしです。」
13 すると、たちまち、その御使いといっしょに、多く
の天の軍勢が現われて、神を賛美して言った。
14 「いと高き所に、栄光が、神にあるように。
地の上に、平和が、
御心にかなう人々にあるように。」
15 御使いたちが彼らを離れて天に帰ったとき、羊飼い
たちは互いに話し合った。「さあ、ベツレヘムに行っ
て、主が私たちに知らせてくださったこの出来事を見
て来よう。」
16 そして急いで行って、マリヤとヨセフと、飼葉おけ
に寝ておられるみどりごとを捜し当てた。
17 それを見たとき、羊飼いたちは、この幼子について
告げられたことを知らせた。
18 それを聞いた人たちはみな、羊飼いの話したことに
驚いた。
19 しかしマリヤは、これらのことをすべて心に納めて、
思いを巡らしていた。
20 羊飼いたちは、見聞きしたことが、全部御使いの話
のとおりだったので、神をあがめ、賛美しながら帰っ
て行った。
21 八日が満ちて幼子に割礼を施す日となり、幼子は
イエスという名で呼ばれることになった。胎内に宿る
前に御使いがつけた名である。
22 さて、モーセの律法による彼らのきよめの期間が
満ちたとき、両親は幼子を主にささげるために、エル
サレムへ連れて行った。
23 ――それは、主の律法に「母の胎を開く男子の初子
は、すべて、主に聖別された者、と呼ばれなければな
らない。」と書いてあるとおりであった。――
24 また、主の律法に「山ばと一つがい、または、家ば
とのひな二羽。」と定められたところに従って犠牲をさ
さげるためであった。
25 そのとき、エルサレムにシメオンという人がいた。
この人は正しい、敬虔な人で、イスラエルの慰められ
ることを待ち望んでいた。聖霊が彼の上にとどまって
おられた。
26 また、主のキリストを見るまでは、決して死なない
と、聖霊のお告げを受けていた。
27 彼が御霊に感じて宮にはいると、幼子イエスを連れ
た両親が、その子のために律法の慣習を守るために、

9 ①ルカ一・一二、㊐使五・一九
②ルカ二・一四、使一三・七
10 ①㊐マタ一四・二七
11 ①ヨハ四・四二、使五・三一、㊐マタ一・二一、②使三・一五、一〇・三六、㊐ルカ一・四三、③マタ一六・一六、*すなわち「メシヤ」油注がれた者
12 ①Ⅰサム二・三四、Ⅱ列一九・三六、三八・六、イザセ・二、一四
14 ①ルカ一九・三八、㊐マタ二一・九
②㊐ルカ三・三二、エペ一・九
ピリ二・一三
19 ①ルカ二・五一
20 ①㊐マタ九・八
21 ①㊐ルカ一・五九、②㊐ルカ一・三一
23 ①出一三・二、三
24 ①レビ一二・八、五・一一
25 ①㊐ルカ一・六、②ルカ二・二五、三・五、㊐マコ一五・四三
26 ①詩九〇・四、ヘブ一一・五
㊐ヨハ八・五一、②㊐マタ一六・二八
27 ①ルカ二・二三

はいって来た。
28 すると、シメオンは幼子を腕に抱き、神をほめたたえて言った。
29 「主よ。今こそあなたは、あなたのしもべを、
1)みことばどおり、安らかに去らせてくださいます。
30 私の目があなたの御救いを見たからです。
31 御救いはあなたが
万民の前に備えられたもので、
32 1)異邦人を照らす啓示の光、
御民イスラエルの光栄です。」
33 父と母は、幼子についていろいろ語られる事に驚いた。
34 また、シメオンは両親を祝福し、1)母マリヤに言った。「ご覧なさい。この子は、イスラエルの多くの人が倒れ、また、立ち上がるために定められ、また、反対を受けるしるしとして定められています。
35 剣があなたの心さえも刺し貫くでしょう。それは多くの人の心の思いが現われるためです。」
36 また、1)アセル族のパヌエルの娘で2)女預言者の*アンナという人がいた。この人は非常に年をとっていた。処女の時代のあと七年間、夫とともに住み、
37 その後やもめになり、八十四歳になっていた。そして宮を離れず、夜も昼も、1)断食と祈りをもって神に仕えていた。
38 ちょうどそのとき、彼もそこにいて、神に感謝をささげ、そして、1)エルサレムの贖いを待ち望んでいるすべての人々に、この幼子のことを語った。
39 さて、彼らは主の律法による定めをすべて果たしたので、ガリラヤの自分たちの町ナザレに帰った。
40 1)幼子は成長し、強くなり、知恵に満ちて行った。神の恵みがその上にあった。
41 さて、イエスの両親は、1)過越の祭りには毎年エルサレムに行った。
42 イエスが十二歳になられたときも、両親は祭りの慣習に従って都へ上り、
43 1)祭りの期間を過ごしてから、帰路についたが、少年イエスはエルサレムにとどまっておられた。両親はそれに気づかなかった。
44 イエスが一行の中にいるものと思って、一日の道のりを行った。それから、親族や知人の中を捜し回ったが、
45 見つからなかったので、イエスを捜しながら、エルサレムまで引き返した。
46 そしてようやく三日の後に、イエスが宮で教師たちの真中にすわって、話を聞いたり質問したりしておられるのを見つけた。
47 聞いていた人々はみな、イエスの知恵と答えに驚いていた。
48 両親は彼を見て驚き、母は言った。「*まあ、あなたはなぜ私たちにこんなことをしたのです。見なさい。父上も私も、心配してあなたを捜し回っていたのです。」
49 するとイエスは両親に言われた。「どうしてわたし

29 ①ルカ二・二六
30 ①イザ四九・一〇、ルカ三・六
32 ①イザ四二・六、四九・六、使一三・四七、二六・二三
33 ①創マタ二・四八
34 ①創マタ二・四八、②出マタ二・一四、Ⅰコリ一・二三、Ⅱコリ二・一六、Ⅰペテ二・八
36 ①ヨシ一九・二四、②出使二・九
*あるいは「ハンナ」
③出Ⅰテモ五・九、
**別訳「結婚してから七年……」
37 ①ルカ二・三七、出使二・三、Ⅰテモ五・五
38 ①ルカ二・二五、出ルカ一・六八
39 ①ルカ二・四、二七、出ルカ一・二六、出マタ二・二三
40 ①ルカ一・八〇、出ルカ二・五二
41 ①出三・一八、申一六・一六
43 ①出三・一五
48 ①創マタ二・四八
*原文には「子よ」の字がある
②ルカ二・三三、四八、出ルカ二・四八

をお捜しになったのですか。わたしが必ず自分の父の*家にいることを、ご存じなかったのですか。」
50 しかし両親には、イエスの話されたことばの意味がわからなかった。
51 それからイエスは、いっしょに下って行かれ、[1]ナザレに帰って、両親に仕えられた。母はこれらのことをみな、心に留めておいた。
52 イエスはますます知恵が進み、*背たけも大きくなり、[1]神と人とに愛された。

3

1 皇帝テベリオの治世の第十五年、[1]ポンテオ・ピラトがユダヤの総督、[2]ヘロデがガリラヤの国主、その兄弟ピリポがイツリヤとテラコニテ地方の国主、ルサニヤがアビレネの国主であり、
2 アンナスとカヤパが[2]大祭司であったころ、神のことばが、荒野でザカリヤの子ヨハネに[3]下った。
3 そこでヨハネは、[1]ヨルダン川のほとりのすべての地方に行って、罪が赦されるための悔い改めに基づくバプテスマを説いた。
4 そのことは預言者イザヤのことばの書に書いてあるとおりである。
「荒野で叫ぶ者の声がする。
『主の道を用意し、
主の通られる道をまっすぐにせよ。
5 すべての谷はうずめられ、
すべての山と丘とは低くされ、
曲がった所はまっすぐになり、
でこぼこ道は平らになる。
6 [1]こうして、あらゆる人が、
[2]神の救いを見るようになる。』」
7 それで、ヨハネは、彼からバプテスマを受けようとして出て来た群衆に言った。「まむしのすえたち。だれが必ず来る御怒りをのがれるように教えたのか。
8 それならそれで、悔い改めにふさわしい実を結びなさい。『われわれの先祖はアブラハムだ。』などと心の中で言い始めてはいけません。よく言っておくが、神は、こんな石ころからでも、アブラハムの子孫を起こすことがおできになるのです。
9 斧もすでに木の根元に置かれています。だから、良い実を結ばない木は、みな切り倒されて、火に投げ込まれます。」
10 群衆はヨハネに尋ねた。「それでは、私たちはどうすればよいのでしょう。」
11 彼は答えて言った。「下着を二枚持っている者は、一つも持たない者に分けなさい。食べ物を持っている者も、そうしなさい。」
12 取税人たちも、バプテスマを受けに出て来て、言った。「先生。私たちはどうすればよいのでしょう。」
13 ヨハネは彼らに言った。「決められたもの以上には、何も*取り立ててはいけません。」
14 兵士たちも、彼に尋ねて言った。「私たちはどうすればよいのでしょうか。」ヨハネは言った。「だれからも、そうしなさい。」

49* 別訳「仕事（複数）」すなわち「わたしの父の仕事に」
50 ①㊥マコ九・三
51 ①ルカ二・五、②㊥マタ三・四六
* 直訳「ことば」
③ルカ二・一九
52* あるいは「年」
①㊥ルカ二・四〇
1 ①㊥マタ二七・二、②㊥マタ一四・一
2 ①ヨハ一八・一三、二四、使四・六
②マタ二六・三、③ルカ三・一〇、マタ二・一〇、マコ一・五
3 ①マタ三・五
4 ①イザ四〇・三
5 ①イザ四〇・四
6 ①イザ四〇・五
* 直訳「肉」
②㊥ルカ三・三
8 ①ルカ五・二、三・六
13* あるいは「強請しては……」

も、力ずくで金をゆすったり、無実の者を責めたりしてはいけません。自分の給料で満足しなさい。」
15 民衆は救い主を待ち望んでおり、みな心の中で、ヨハネについて、[1]もしかするとこの方が*キリストではあるまいか、と考えていたので、**
16 [1]ヨハネはみなに答えて言った。「私は水であなたがたにバプテスマを授けています。しかし、私よりもさらに力のある方がおいでになります。私などは、その方のくつのひもを解く値うちもありません。その方は、あなたがたに聖霊と火とのバプテスマをお授けになります。
17 また手に箕を持って脱穀場をことごとくきよめ、麦を倉に納め、[2]殻を消えない火で焼き尽くされます。」
18 ヨハネは、そのほかにも多くのことを教えて、民衆に福音を知らせた。
19 さて国主ヘロデは、その兄弟の妻[2]ヘロデヤのことについて、また、自分の行なった悪事のすべてを、ヨハネに責められたので、
20 [1]ヨハネを牢に閉じ込め、すべての悪事にもう一つこの悪事を加えた。
21 さて、民衆がみなバプテスマを受けていたころ、イエスもバプテスマをお受けになり、そして祈っておられると、天が開け、
22 聖霊が、鳩のような形をして、自分の上に下られるのをご覧になった。また、天から声がした。「[1]あなたは、わたしの愛する子、わたしはこれを喜ぶ。」
23 [1]教えを始められたとき、イエスはおよそ三十歳で、人々からヨセフの子と思われていた。[2]このヨセフは、*ヘリの子、
24 順次さかのぼって、マタテの子、レビの子、メルキの子、ヤンナイの子、ヨセフの子、
25 マタテヤの子、アモスの子、ナホムの子、*エスリの子、ナンガイの子、
26 マハテの子、マタテヤの子、シメイの子、ヨセクの子、ヨダの子、
27 ヨハナンの子、レサの子、[1]ゾロバベルの子、*サラテルの子、ネリの子、
28 メルキの子、アデイの子、コサムの子、エルマダムの子、エルの子、
29 *ヨシュアの子、エリエゼルの子、ヨリムの子、マタテの子、レビの子、
30 シメオンの子、ユダの子、ヨセフの子、ヨナムの子、エリヤキムの子、
31 メレヤの子、メナの子、マタタの子、ナタンの子、ダビデの子、
32 [1]エッサイの子、オベデの子、ボアズの子、*サラの子、ナアソンの子、
33 アミナダブの子、アデミンの子、*アルニの子、エスロンの子、パレスの子、ユダの子、
34 ヤコブの子、イサクの子、[1]アブラハムの子、テラの子、ナホルの子、
35 セルグの子、*レウの子、ペレグの子、エベルの子、

15 ①ヨハ一・二六、三
* すなわち「メシヤ」
** あるいは「論じていた、討論していた」
16 ①ルカ三・一六、一七、マタ三・一一、三、マコ一・七、八
* あるいは「……によるバプテスマ」
17 ①旧イザ三〇・二四、②マコ九・四三、四八
19 ①ルカ一・一、[旧]マタ一四・一 ②[旧]マタ一四・三、マコ六・一七
20 ①ヨハ三・二四
21 ①ルカ三・二一、三、マタ三・一六、マコ一・九、②ルカ五・一六、九・一八、二八、[旧]マタ一四・二三
22 ①[旧]マタ三・一七
23 ①マタ四・一七、使一・一、②ルカ三・二三、旧マタ一・一六
* イエスの母マリヤの父。ヨセフの義父。「エリ」とも読む
25 * 「ヘスリ」ともつづる
27 ①マタ一・一二
* ギリシヤ語「サラティエール」
29 * ギリシヤ語「イエス」
32 ①ルカ三・三一、マタ一・六
* 「サルモン」とする異本もある
33 * 異本「ラム」
34 ①ルカ三・三四、一六、創二一・二六 I 歴一・二七
35 * ギリシヤ語「ラガウ」

サラの子、
36カイナンの子、アルパクサデの子、セムの子、ノアの子、ラメクの子、
37メトセラの子、エノクの子、ヤレデの子、マハラレルの子、カイナンの子、
38エノスの子、セツの子、アダムの子、このアダムは神の子である。

4

1さて、聖霊に満ちたイエスは、ヨルダンから帰られた。そして御霊に導かれて荒野におり、
2四十日間、悪魔の試みに会われた。その間何も食べず、その時が終わると、空腹を覚えられた。
3そこで、悪魔はイエスに言った。「あなたが神の子なら、この石に、パンになれと言いつけなさい。」
4イエスは答えられた。「『人はパンだけで生きるのではない。』と書いてある。」
5また、悪魔はイエスを連れて行き、またたくまに世界の国々を全部見せて、
6こう言った。「この、国々のいっさいの権力と栄光とをあなたに差し上げましょう。それは私に任されているので、私がこれと思う人に差し上げるのです。
7ですから、もしあなたが私を拝むなら、すべてをあなたのものとしましょう。」
8イエスは答えて言われた。「『あなたの神である主を拝み、主にだけ仕えなさい。』と書いてある。」
9また、悪魔はイエスをエルサレムに連れて行き、神殿の頂に立たせて、こう言った。「あなたが神の子なら、ここから飛び降りなさい。
10『神は、御使いたちに命じてあなたを守らせる。』とも、
11『あなたの足が石に打ち当たることのないように、彼らの手で、あなたをささえさせる。』とも書いてあるからです。」
12するとイエスは答えて言われた。「『あなたの神である主を試みてはならない。』と言われている。」
13誘惑の手を尽くしたあとで、悪魔はしばらくの間イエスから離れた。
14イエスは御霊の力を帯びてガリラヤに帰られた。すると、その評判が回り一帯に、くまなく広まった。
15イエスは、彼らの会堂で教え、みなの人にあがめられた。
16それから、ご自分が育ったナザレに行き、いつものとおり安息日に会堂にはいり、朗読しようとして立たれた。
17すると、預言者イザヤの書が手渡されたので、その書を開いて、こう書いてある所を見つけられた。
18「わたしの上に主の御霊がおられる。
主が、貧しい人々に福音を伝えるようにと、
わたしに油を注がれたのだから。
主はわたしを遣わされた。
捕われ人には赦免を、
盲人には目の開かれることを告げるために。

---

36 ①ルカ三・二六、六、創五・三、I歴一・四
1 ①ルカ四・一三、マタ四・一、二、マコ一・一三、②ルカ二・三、*直訳「御霊にあって」
4 ①申八・三
5 ①マタ四・八―一〇、②脚マタ三・四、*直訳「人が居住していた地の国々」
6 ①脚Iヨハ五・一九
7 *あるいは「私の前にひれ伏すなら」
8 ①申六・一三
9 ①マタ四・五―七
10 ①詩九一・一一
11 ①詩九一・三
12 ①申六・一六
14 ①マタ四・一二、②ルカ四・一四、脚マタ九・二六
15 ①脚マタ四・二三
16 ①ルカ二・三九、二、②脚マタ二・二三、脚一四・一六
17 *あるいは「巻き物」
18 ①イザ六一・一、マタ一一・五、脚マタ一一・五、ヨハ三・二四

19 しいたげられている人々を自由にし、
主の恵みの年を告げ知らせるために。」
20 イエスは書を巻き、係りの者に渡してすわられた。
会堂にいるみなの目がイエスに注がれた。
21 イエスは人々にこう言って話し始められた。「きょう、聖書のこのみことばが、あなたがたが聞いたとおり実現しました。」
22 みなイエスをほめ、その口から出て来る恵みのことばに驚いた。そしてまた、「この人は、ヨセフの子ではないか。」と彼らは言った。
23 イエスは言われた。「きっとあなたがたは、『医者よ。自分を直せ。』ということわざを引いて、カペナウムで行なわれたと聞いていることを、あなたの郷里のここでもしてくれ、と言うでしょう。」
24 また、こう言われた。「まことに、あなたがたに告げます。預言者はだれでも、自分の郷里では歓迎されません。
25 わたしが言うのは真実のことです。エリヤの時代に、三年六か月の間天が閉じて、全国に大ききんが起こったとき、イスラエルにもやもめは多くいたが、
26 エリヤはだれのところにも遣わされず、シドンのサレプタにいたやもめ女にだけ遣わされたのです。
27 また、預言者エリシャのときに、イスラエルには、らい病人がたくさんいたが、そのうちのだれもきよめられないで、シリヤ人ナアマンだけがきよめられました。」
28 これらのことを聞くと、会堂にいた人たちはみな、ひどく怒り、
29 立ち上がってイエスを町の外に追い出し、町が立っていた丘のがけのふちまで連れて行き、そこから投げ落とそうとした。
30 しかしイエスは、彼らの真中を通り抜けて、行ってしまわれた。
31 それからイエスは、ガリラヤの町カペナウムに下られた。そして、安息日ごとに、人々を教えられた。
32 人々は、その教えに驚いた。そのことばに権威があったからである。
33 また、会堂に、汚れた悪霊につかれた人がいて、大声でわめいた。
34 「ああ、ナザレ人のイエス。いったい私たちに何をしようというのです。あなたは私たちを滅ぼしに来たのでしょう。私はあなたがどなたか知っています。神の聖者です。」
35 イエスは彼をしかって、「黙れ。その人から出て行け。」と言われた。するとその悪霊は人々の真中で、その人を投げ倒して出て行ったが、その人は別に何の害も受けなかった。
36 人々はみな驚いて、互いに話し合った。「今のおことばはどうだ。権威と力とでお命じになったので、汚れた霊でも出て行ったのだ。」
37 こうしてイエスのうわさは、回りの地方の至る所に広まった。

19 ①イザ六一・二、レビ二五・一〇
20 ＊あるいは「巻き物」 ①ルカ四・一七、②図マタ二六・一三
22 ＊あるいは「証言する、確認する」 図ルカ四・一四 ①旧マタ一三・五五、マコ六・三 ヨハ六・四二
23 ①マタ四・一三、マコ一・二一以下、二・一以下、ヨハ四・四六以下 旧ルカ四・二三以下、②ルカ四・二六、二三・三五、マコ六・一
24 ①マタ一三・五七、マコ六・四 ヨハ四・四四
25 ①Ⅰ列一七・一、八・一、ヤコ五・一七
26 ①図マタ一二・二、②Ⅰ列一七・九
27 ①Ⅱ列五・一―一四
29 ①旧使七・五八、民二五・五、ヘブ一三・一二
30 ①旧ヨハ一〇・三九
31 ①ルカ四・三一―三七、マコ一・二一―六、②図マタ四・一三、旧ルカ四・三一
32 ①図マタ七・二八、②ルカ四・三六 旧ヨハ七・四六
34 ＊異本「放っておいてください」 ①図マコ一・二四、②図マタ八・二九
35 ①ルカ四・三六、四一、マタ八・三二 マコ四・三九、ルカ八・三四
36 ①図ルカ四・三二
37 ①ルカ四・一四

38 イエスは立ち上がって会堂を出て、シモンの家にはいられた。すると、シモンのしゅうとめが、ひどい熱で苦しんでいた。人々は彼女のためにイエスにお願いした。

39 イエスがその枕もとに来て、熱をしかりつけられると、熱がひき、彼女はすぐに立ち上がって彼らをもてなし始めた。

40 日が暮れると、いろいろな病気で弱っている者をかかえた人たちがみな、その病人をみもとに連れて来た。イエスは、ひとりひとりに手を置いて、いやされた。

41 また、悪霊どもも、「あなたこそ神の子です。」と大声で叫びながら、多くの人から出て行った。イエスは、悪霊どもをしかって、ものを言うのをお許しにならなかった。彼らはイエスがキリストであることを知っていたからである。

42 朝になって、イエスは寂しい所に出て行かれた。群衆は、イエスを捜し回って、みもとに来ると、イエスが自分たちから離れて行かないよう引き止めておこうとした。

43 しかしイエスは、彼らにこう言われた。「ほかの町々にも、どうしても神の国の福音を宣べ伝えなければなりません。わたしは、そのために遣わされたのですから。」

44 そしてユダヤの諸会堂で、福音を告げ知らせておられた。

5

1 群衆がイエスに押し迫るようにして神のことばを聞いたとき、イエスはゲネサレ湖の岸べに立っておられたが、

2 岸べに小舟が二そうあるのをご覧になった。漁師たちは、その舟から降りて網を洗っていた。

3 イエスは、そのうちの一つの、シモンの持ち舟に乗り、陸から少し漕ぎ出すように頼まれた。そしてイエスはすわって、舟から群衆を教えられた。

4 話が終わると、シモンに、「深みに漕ぎ出して、網をおろして魚をとりなさい。」と言われた。

5 するとシモンが答えて言った。「先生。私たちは、夜通し働きましたが、何一つとれませんでした。でもおことばどおり、網をおろしてみましょう。」

6 そして、そのとおりにすると、たくさんの魚がはいり、網は破れそうになった。

7 そこで別の舟にいた仲間の者たちに合図をして、助けに来てくれるように頼んだ。彼らがやって来て、そして魚を両方の舟いっぱいに上げたところ、二そうとも沈みそうになった。

8 これを見たシモン・ペテロは、イエスの足もとにひれ伏して、「主よ。私のような者から離れてください。私は、罪深い人間ですから。」と言った。

9 それは、大漁のため、彼もいっしょにいたみなの者も、ひどく驚いたからである。

10 シモンの仲間であったゼベダイの子ヤコブやヨハネも同じであった。イエスはシモンにこう言われた。「こ

---

38 ①ルカ4:26、35、ヨハ5:5、マタ8:14、一Sm1:9、マコ1:29、②マタ8:15

39 ①ルカ4:35、41
* あるいは「仕え始めた」

40 ①ルカ4:23、41、マタ8:16、一Sm1:9、マコ1:32-33、②ルカ13:13、③新マコ1:32-33、④新マタ8:16

41 ①新マタ8:29、②新ルカ4:34、③マコ1:24、旧マタ8:29
* すなわち「メシヤ」

42 ①ルカ4:31、43、マコ1:35-37

43 ①旧マコ1:38

44 ①新マタ4:23
* 異本「ガリラヤの諸会堂で」

1 ①ルカ5:2-11、旧マタ4:18-22、マコ1:16-20、ヨハ1:35-42、②民24:2、申32:44、ヨシ3:1、3:7

3 ①旧マタ13:2、マコ4:1

4 ①旧ヨハ21:6

5 ①ルカ5:8、9、13、17、②ヨハ6:28、29、34

8 * 直訳「ひざもと」

10 ①新マタ4:21

わがらなくてもよい。これから後、あなたは人間をとるようになるのです。」
11 彼らは、舟を陸に着けると、何もかも捨てて、イエスに従った。

12 さて、イエスがある町におられたとき、全身らい病の人がいた。イエスを見ると、ひれ伏してお願いした。「主よ。お心一つで、私はきよくしていただけます。」
13 イエスは手を伸ばして、彼にさわり、「わたしの心だ。きよくなれ。」と言われた。すると、すぐに、そのらい病が消えた。
14 イエスは、彼にこう命じられた。「だれにも話してはいけない。ただ祭司のところに行って、自分を見せなさい。そして人々へのあかしのため、モーセが命じたように、あなたのきよめの供え物をしなさい。」
15 しかし、イエスのうわさは、ますます広まり、多くの人の群れが、話を聞きに、また、病気を直してもらいに集まって来た。
16 しかし、イエスご自身は、よく荒野に退いて祈っておられた。

17 ある日のこと、イエスが教えておられると、パリサイ人と律法の教師たちも、そこにすわっていた。彼らは、ガリラヤとユダヤとのすべての村々や、エルサレムから来ていた。イエスは、主の御力をもって、病気を直しておられた。
18 するとそこに、男たちが、中風をわずらっている人を、床のままで運んで来た。そして、何とかして家の中に運び込み、イエスの前に置こうとしていた。
19 しかし、大ぜい人がいて、どうにも病人を運び込む方法が見つからないので、屋上に上って屋根の瓦をはがし、そこから彼の寝床を、ちょうど人々の真中のイエスの前に、つり降ろした。
20 彼らの信仰を見て、イエスは「*友よ。あなたの罪は赦されました。」と言われた。
21 ところが、律法学者、パリサイ人たちは、理屈を言い始めた。「神をけがすことを言うこの人は、いったい何者だ。神のほかに、だれが罪を赦すことができよう。」
22 その理屈を見抜いておられたイエスは、彼らに言われた。「なぜ、心の中でそんな理屈を言っているのか。
23 『あなたの罪は赦された。』と言うのと、『起きて歩け。』と言うのと、どちらがやさしいか。
24 人の子が地上で罪を赦す権威を持っていることを、あなたがたに悟らせるために。」と言って、中風の人に、「あなたに命じる。起きなさい。寝床をたたんで、家に帰りなさい。」と言われた。
25 すると彼は、たちどころに人々の前で立ち上がり、寝ていた床をたたんで、神をあがめながら自分の家に帰った。
26 人々はみな、ひどく驚き、神をあがめ、恐れに満たされて、「私たちは、きょう、驚くべきことを見た。」と言った。

10 ②民11テモ二・六
11 ①マタ四・二〇、三一、マコ一・一八、二、ルカ五・六、四、マタ一九・二七
12 ①ルカ五・一二―一四、マタ八・二―四、マコ一・四〇―四四
15 ①参マタ九・六
16 ①参マタ四・二三、マコ一・三五、ルカ六・一二
17 ①民マタ五・一、②民ルカ二・四六、③民マコ一・四五、④マコ五・三〇、ルカ六・一九、八・四六
18 ①ルカ五・一八―二六、マタ九・二―八、マコ二・一―一二
19 ①参マタ二四・一七、②民マコ二・四
20 *直訳「人よ」
①参マタ九・二
21 ①参ルカ三・八、②イザ四三・二五
24 ①参マタ四・二四
25 ①参マタ九・八
26 ①参マタ九・八、②ルカセ・一六、民ルカ一・六五

27 この後、イエスは出て行き、収税所にすわっているレビという取税人に目を留めて、「わたしについて来なさい。」と言われた。
28 するとレビは、何もかも捨て、立ち上がってイエスに従った。
29 そこでレビは、自分の家でイエスのために大ぶるまいをしたが、取税人たちや、ほかに大ぜいの人たちが食卓に着いていた。
30 すると、パリサイ人やその派の律法学者たちが、イエスの弟子たちに向かって、つぶやいて言った。「なぜ、あなたがたは、取税人や罪人どもといっしょに飲み食いするのですか。」
31 そこで、イエスは答えて言われた。「医者を必要とするのは丈夫な者ではなく、病人です。
32 わたしは正しい人を招くためではなく、罪人を招いて、悔い改めさせるために来たのです。」
33 彼らはイエスに言った。「ヨハネの弟子たちは、よく断食をしており、祈りもしています。また、パリサイ人の弟子たちも同じなのに、あなたの弟子たちは食べたり飲んだりしています。」
34 イエスは彼らに言われた。「花婿がいっしょにいるのに、*婚礼の客たちに断食させることが、あなたがたにできますか。
35 しかし、やがてその時が来て、花婿が取り去られる、その日には彼らは断食します。」
36 イエスはまた一つのたとえを彼らに話された。「だれも、新しい着物から布切れを引き裂いて、古い着物に継ぎをするようなことはしません。そんなことをすれば、その新しい着物を裂くことになるし、また新しいのを引き裂いた継ぎ切れも、古い物には合わないのです。
37 また、だれも新しいぶどう酒を古い皮袋に入れるようなことはしません。そんなことをすれば、新しいぶどう酒は皮袋を張り裂き、ぶどう酒は流れ出て、皮袋もだめになってしまいます。
38 新しいぶどう酒は新しい皮袋に入れなければなりません。
39 また、だれでも古いぶどう酒を飲んでから、新しい物を望みはしません。『古い物は良い。』と言うのです。」

6

1 *ある安息日に、イエスが麦畑を通っておられたとき、弟子たちは麦の穂を摘んで、手でもみ出しては食べていた。
2 すると、あるパリサイ人たちが言った。「なぜ、あなたがたは、安息日にしてはならないことをするのですか。」
3 イエスは彼らに答えて言われた。「あなたがたは、ダビデが連れの者といっしょにいて、ひもじかったときにしたことを読まなかったのですか。
4 ダビデは神の家にはいって、祭司以外の者はだれも食べてはならない供えのパンを取って、自分も食べたし、供の者にも与えたではありませんか。」

---

27 ①ルカ三・二十一九、マタ九・九―一七、マコ二・一四―二二、②参マタ九・九
28 ①参ルカ五・二
29 ①参マタ九・九、②出ルカ五・一
30 ①出マコ二・一六、使三・九
31 ①マタ九・二―一三、マコ二・一七
33 ①出マタ九・一四、マコ二・一八
34 *直訳「婚礼の式場の子ら」
35 ①出マタ九・一五、マコ二・二〇、ルカ五・三五
1 ①ルカ六・一―五、マタ一二・一―八、マコ二・二三―二八
*多くの写本は「第二・第一安息日」と読む
2 ①参マタ一二・二
3 ①Ⅰサム二一・六
4 ①参出二五・三〇、レビ二四・五―九、Ⅰ歴九・三二等

5 そして、彼らに言われた。「人の子は、安息日の主です。」
6 別の安息日に、イエスは会堂にはいって教えておられた。そこに右手のなえた人がいた。
7 そこで律法学者、パリサイ人たちは、イエスが安息日に人を直すかどうか、じっと見ていた。彼を訴える口実を見つけるためであった。
8 イエスは彼らの考えをよく知っておられた。それで、手のなえた人に、「立って、真中に出なさい。」と言われた。その人は、起き上がって、そこに立った。
9 イエスは人々に言われた。「あなたがたに聞きますが、安息日にしてよいのは、善を行なうことなのか、それとも悪を行なうことなのか。いのちを救うことなのか、それとも失うことなのか、どうですか。」
10 そして、みなの者を見回してから、その人に、「手を伸ばしなさい。」と言われた。そのとおりにすると、彼の手は元どおりになった。
11 すると彼らはすっかり分別を失ってしまって、イエスをどうしてやろうかと話し合った。
12 このころ、イエスは祈るために山に行き、神に祈りながら夜を明かされた。
13 夜明けになって、弟子たちを呼び寄せ、その中から十二人を選び、彼らに使徒という名をつけられた。
14 すなわち、ペテロという名をいただいたシモンとその兄弟アンデレ、ヤコブとヨハネ、ピリポとバルトロマイ、
15 マタイとトマス、アルパヨの子ヤコブと熱心党員と呼ばれるシモン、
16 ヤコブの子ユダとイエスを裏切ったイスカリオテ・ユダである。
17 それから、イエスは、彼らとともに山を下り、平らな所にお立ちになったが、多くの弟子たちの群れや、ユダヤ全土、エルサレム、さてはツロやシドンの海べから来た大ぜいの民衆がそこにいた。
18 イエスの教えを聞き、また病気を直していただくために来た人々である。また、悪霊に悩まされていた人たちもいやされた。
19 群衆のだれもが何とかしてイエスにさわろうとしていた。大きな力がイエスから出て、すべての人をいやしたからである。
20 イエスは目を上げて弟子たちを見つめながら、話しだされた。「貧しい者は幸いです。神の国はあなたがたのものですから。
21 いま飢えている者は幸いです。あなたがたは、やがて飽くことができますから。
いま泣いている者は幸いです。あなたがたは、いまに笑うようになりますから。
22 人の子のために、人々があなたがたを憎むとき、また、あなたがたを除名し、はずかしめ、あなたがたの名をあしざまにけなすとき、あなたがたは幸いです。
23 その日には、喜びなさい。おどり上がって喜びなさい。天ではあなたがたの報いは大きいからです。彼ら

6 ①ルカ六・六―一二、マタ一二・九―一四、マコ三・一―六、②ルカ六・一 ③聖マタ一二・三
7 ①聖マコ三・二
8 ①聖マタ九・四
10 ①マコ三・五
12 ①マタ一四・二三、ルカ九・一八 ②聖マタ五・一
13 ①ルカ六・一六―一九、マタ一〇・一―四 ②聖マコ三・一六―一九、使一・一三 ③聖マコ六・三〇
15 ①聖マタ九・九
17 ①既ルカ六・一二、②マタ四・二五 マコ三・七、八、③聖マタ一一・二一
19 ①マコ三・一〇、既マタ九・二一、一四・三六、②聖ルカ五・一七
20 ①ルカ六・二〇―二三、既マタ五・三―一二、②聖マタ五・三
22 ①既ヨハ九・二二、一六・二
23 ①マラ四・二

の先祖も、預言者たちをそのように扱ったのです。
24 しかし、富んでいるあなたがたは、哀れな者です。
慰めを、すでに受けているからです。
25 いま食べ飽きているあなたがたは、哀れな者です。
やがて、飢えるようになるからです。
いま笑っているあなたがたは、哀れな者です。やがて悲しみ泣くようになるからです。
26 みなの人にほめられるときは、あなたがたは哀れな者です。彼らの先祖は、にせ預言者たちをそのように扱ったからです。

27 しかし、いま聞いているあなたがたに、わたしはこう言います。あなたの敵を愛しなさい。あなたを憎む者に善を行ないなさい。
28 あなたをのろう者を祝福しなさい。あなたを侮辱する者のために祈りなさい。
29 あなたの片方の頬を打つ者には、ほかの頬をも向けなさい。上着を奪い取る者には、下着も拒んではいけません。
30 すべて求める者には与えなさい。奪い取る者からは取り戻してはいけません。
31 自分にしてもらいたいと望むとおり、人にもそのようにしなさい。
32 自分を愛する者を愛したからといって、あなたがたに何の良いところがあるでしょう。罪人たちでさえ、同じことをしています。
33 自分に良いことをしてくれる者に良いことをしたからといって、あなたがたに何の良いところがあるでしょう。罪人たちでさえ、同じことをしています。
34 返してもらうつもりで人に貸してやったからといって、あなたがたに何の良いところがあるでしょう。貸した分を取り返すつもりなら、罪人たちでさえ、罪人たちに貸しています。
35 ただ、自分の敵を愛しなさい。彼らによくしてやり、返してもらうことを考えずに貸しなさい。そうすれば、あなたがたの受ける報いはすばらしく、あなたがたは、いと高き方の子どもになれます。なぜなら、いと高き方は、恩知らずの悪人にも、あわれみ深いからです。
36 あなたがたの天の父があわれみ深いように、あなたがたも、あわれみ深くしなさい。
37 さばいてはいけません。そうすれば、自分もさばかれません。人を罪に定めてはいけません。そうすれば、自分も罪に定められません。赦しなさい。そうすれば、自分も赦されます。
38 与えなさい。そうすれば、自分も与えられます。人は量りをよくして、押しつけ、揺すり入れ、あふれるまでにして、ふところに入れてくれるでしょう。あなたがたは、人を量る量りで、自分も量り返してもらうからです。」

39 イエスはまた一つのたとえを話された。「いったい、盲人に盲人の手引きができるでしょうか。ふたりとも穴に落ち込まないでしょうか。
40 弟子は師以上には出られません。しかし十分訓練を

24 ①ヤコ五・一、㊟ルカ六・二五
②㊟マタ六・二
25 ①㊟マタ五・四、ルカ六・二五
26 ①㊟マタ五・四四、ルカ六・二五
27 ①マタ五・四四、ルカ六・二五
28 ①マタ五・四四、ルカ六・二八
29 ①ルカ六・二九、三〇、マタ五・三九ー四二
31 ①マタセ・一二
32 ①マタ五・四六
34 ①マタ五・四二
35 ①ルカ六・二七、②㊟ルカ一・七三
③㊟マタ五・四五
36 *「天の」は補足
37 ①ルカ六・三七ー四二、マタセ・一五
②ルカ三・六、使三・三
㊟マタ六・一四
38 ①詩九六・一三、イザ六五・六ーセ
エレ三二・一八、②マコ四・二四
39 ①マタ一五・一四
40 ①㊟マタ一〇・二四

受けた者はみな、自分の師ぐらいにはなるのです。
41 あなたは、兄弟の目にあるちりが見えながら、どうして自分の目にある梁には気がつかないのですか。
42 自分の目にある梁が見えずに、どうして兄弟に、『兄弟。あなたの目のちりを取らせてください。』と言えますか。偽善者たち。まず自分の目から梁を取りのけなさい。そうしてこそ、兄弟の目のちりがはっきり見えて、取りのけることができるのです。
43 悪い実を結ぶ良い木はないし、良い実を結ぶ悪い木もありません。
44 木はどれでも、その実によってわかるものです。いばらからいちじくは取れず、野ばらからぶどうを集めることはできません。
45 良い人は、その心の良い倉から良い物を出し、悪い人は、悪い倉から悪い物を出します。なぜなら人の口は、心に満ちているものを話すからです。
46 なぜ、わたしを『主よ、主よ。』と呼びながら、わたしの言うことを行なわないのですか。
47 わたしのもとに来て、わたしのことばを聞き、それを行なう人たちがどんな人に似ているか、あなたがたに示しましょう。
48 その人は、地面を深く掘り下げ、岩の上に土台を据えて、それから家を建てた人に似ています。洪水になり、川の水がその家に押し寄せたときも、しっかり建てられていたから、びくともしませんでした。
49 聞いても実行しない人は、土台なしで地面に家を建てた人に似ています。川の水が押し寄せると、家は一ぺんに倒れてしまい、そのこわれ方はひどいものとなりました。」

7

1 イエスは、耳を傾けている民衆にこれらのことばをみな話し終えられると、カペナウムにはいられた。
2 ところが、ある百人隊長に重んじられているひとりのしもべが、病気で死にかけていた。
3 百人隊長は、イエスのことを聞き、みもとにユダヤ人の長老たちを送って、しもべを助けに来てくださるようお願いした。
4 イエスのもとに来たその人たちは、熱心にお願いして言った。「この人は、あなたにそうしていただく資格のある人です。
5 この人は、私たちの国民を愛し、私たちのために会堂を建ててくれた人です。」
6 イエスは、彼らといっしょに行かれた。そして、百人隊長の家からあまり遠くない所に来られたとき、百人隊長は友人たちを使いに出して、イエスに伝えた。「先生。わざわざおいでくださいませんように。先生を私の屋根の下にお入れする資格は、私にはありません。
7 ですから、私のほうから伺うことさえ失礼と存じました。ただ、おことばをいただかせてください。そうすれば、私のしもべは必ずいやされます。
8 と申しますのは、私も権威の下にある者ですが、私

43 ①ルカ六・四四、マタ七・一六、一二・三三
44 ①聞マタ七・一六
45 ①マタ一二・三五、②聞マタ一二・三四
46 ①マタ七・二一、聞マラ一・六
47 ①ルカ六・四七、四九、マタ七・二四、二六
1 ①聞マタ七・二八、②ルカ七・一、マタ八・五、一三
3 ①聞マタ八・五
7 * あるいは「青年、少年」

の下にも兵士たちがいまして、そのひとりに『行け。』と言えば行きますし、別の者に『来い。』と言えば来ます。また、しもべに『これをせよ。』と言えば、そのとおりにいたします。」

9 これを聞いて、イエスは驚かれ、ついて来ていた群衆のほうに向いて言われた。「あなたがたに言いますが、[1] このようなりっぱな信仰は、イスラエルの中にも見たことがありません。」

10 使いに来た人たちが家に帰ってみると、しもべはよくなっていた。

11 それから間もなく、イエスはナインという町に行かれた。弟子たちと大ぜいの人の群れがいっしょに行った。

12 イエスが町の門に近づかれると、やもめとなった母親のひとり息子が、死んでかつぎ出されたところであった。町の人たちが大ぜいその母親につき添っていた。

13 主はその母親を見てかわいそうに思い、「泣かなくてもよい。」と言われた。

14 そして近寄って棺に手をかけられると、かついでいた人たちが立ち止まったので、「青年よ。あなたに言う、起きなさい。」と言われた。

15 すると、その死人が起き上がって、ものを言い始めたので、イエスは彼を母親に返された。

16 人々は恐れを抱き、「大預言者が私たちのうちに現われた。」とか、「神がその民を顧みてくださった。」などと言って、[3] 神をあがめた。

17 イエスについてこの話がユダヤ全土と回りの地方一帯に広まった。

18 さて、ヨハネの弟子たちは、これらのことをすべてヨハネに報告した。

19 すると、ヨハネは、弟子の中からふたりを呼び寄せて、主のもとに送り、「おいでになるはずの方は、あなたですか。それとも、私たちはほかの方を待つべきでしょうか。」と言わせた。

20 ふたりはみもとに来て言った。「バプテスマのヨハネから遣わされてまいりました。『おいでになるはずの方は、あなたですか。それとも私たちはなほかの方を待つべきでしょうか。』とヨハネが申しております。」

21 ちょうどそのころ、イエスは、多くの人々を病気と苦しみと悪霊からいやし、また多くの盲人を見えるようにされた。

22 そして、答えてこう言われた。「あなたがたは行って、自分たちの見たり聞いたりしたことをヨハネに報告しなさい。盲人が見えるようになり、足なえが歩き、らい病人がきよめられ、つんぼの人が聞こえ、死人が生き返り、貧しい者に福音が宣べ伝えられています。

23 だれでも、わたしにつまずかない者は幸いです。」

24 ヨハネの使いが帰ってから、イエスは群衆に、ヨハネについて話しだされた。「あなたがたは、何を見に荒野に出て行ったのですか。風に揺れる葦ですか。

25 でなかったら、何を見に行ったのですか。柔らかい着物を着た人ですか。きらびやかな着物を着て、ぜい

---

9 ①マタ八・一〇、旧ルカ七・五節もある
11 * 異本「翌日」とするものもある
13 ①ルカ七・九、一〇・一、一一・一、一三、一三・四、一三・一五、一七・一六、一八・六、一九・八、二三・六、二四・五節、ヨハ四・一、六・二三、二一・七
16 ①旧ルカ一・六八、②旧マタ二一・一一、旧ルカ七・一六、③旧マタ九・八
17 ①旧マタ九・二六
18 ①旧ルカ七・一八一五、マタ一一・二一節
19 ①ルカ七・一三、一〇・一、一一・一、一三、一三・四、一三・一五、一七・一六、一八・六、一九・八、二三・六、二四・五節、ヨハ四・一、六・二三、二一・七
21 ①マコ三・一〇、②旧マタ四・二三節
22 ①イザ六一・一

たくに暮らしている人たちなら宮殿にいます。
26 でなかったら、何を見に行ったのですか。預言者ですか。そのとおり。だが、わたしが言いましょう。預言者よりもすぐれた者をです。
27 その人こそ、
『[1]見よ、わたしは使いをあなたの前に遣わし、
あなたの道を、あなたの前に備えさせよう。』
と書かれているその人です。
28 あなたがたに言いますが、女から生まれた者の中で、ヨハネよりもすぐれた人は、ひとりもいません。しかし、神の国で一番小さい者でも、彼よりすぐれています。
29 *ヨハネの教えを聞いたすべての民は、[1]取税人たちさえ、ヨハネのバプテスマを受けて、神の正しいことを認めたのです。
30 これに反して、パリサイ人、律法の専門家たちは、彼からバプテスマを受けないで、神の自分たちに対するみこころを拒みました。
31 では、この時代の人々は、何にたとえたらよいでしょう。何に似ているでしょう。
32 市場にすわって、互いに呼びかけながら、こう言っている子どもたちに似ています。
『笛を吹いてやっても、君たちは踊らなかった。
弔いの歌を歌ってやっても、泣かなかった。』
33 というわけは、バプテスマのヨハネが来て、パンも食べず、ぶどう酒も飲まずにいると、『あれは悪霊につかれている。』とあなたがたは言うし、
34 人の子が来て、食べもし、飲みもすると、『あれ見よ。食いしんぼうの大酒飲み、取税人や罪人の仲間だ。』と言うのです。
35 だが、[1]知恵の正しいことは、そのすべての子どもたちが証明します。」
36 さて、あるパリサイ人が、いっしょに食事をしたい、とイエスを招いたので、そのパリサイ人の家にはいって食卓に着かれた。
37 すると、その町にひとりの*罪深い女がいて、イエスがパリサイ人の家で食卓に着いておられることを知り、香油のはいった石膏のつぼを持って来て、
38 泣きながら、イエスのうしろで御足のそばに立ち、涙で御足をぬらし始め、髪の毛でぬぐい、御足に口づけして、香油を塗った。
39 イエスを招いたパリサイ人は、これを見て、「この方がもし[1]*預言者なら、自分にさわっている女がだれで、どんな女であるか知っておられるはずだ。この女は罪深い者なのだから。」と心ひそかに思っていた。
40 するとイエスは、彼に向かって、「シモン。あなたに言いたいことがあります。」と言われた。シモンは、「先生。お話しください。」と言った。
41 「ある金貸しから、ふたりの者が金を借りていた。ひとりは五百デナリ、[1]ほかのひとりは五十デナリ借りていた。
42 彼らは返すことができなかったので、金貸しはふた

27 ①マラ三・一、マタ一一・一〇、マコ一・二
28 *別訳「劣った者」
29 *「ヨハネの教えを」は補足
①使一三・二四、②ルカ三・三、四マタ二一・三二、③ルカ七・三五
**あるいは「神を正しいとした」
30 ①⑩マタ三・三五
33 ①⑩ルカ一・三五
35 ①ルカ七・二九
37 ①ルカ七・三九、四マタ二六・六、ヨハ一二・三
*すなわち「不道徳な女」
39 ①ルカ七・二六、ヨハ四・一九
*異本「あの預言者」
41 ①マタ一八・二八
42 ①マタ一八・二五

りとも赦してやった。
では、ふたりのうちどちらがよけいに金貸しを愛するようになるでしょうか。」
43 シモンが、「よけいに赦してもらったほうだと思います。」と答えると、イエスは、「あなたの判断は当たっています。」と言われた。
44 そしてその女のほうを向いて、シモンに言われた。
「この女を見ましたか。[1]わたしがこの家にはいって来たとき、あなたは足を洗う水をくれなかったが、この女は、涙でわたしの足をぬらし、髪の毛でぬぐってくれました。
45 あなたは、[1]口づけしてくれなかったが、この女は、わたしがはいって来たときから足に口づけしてやめませんでした。
46 あなたは、[1]わたしの頭に油を塗ってくれなかったが、この女は、わたしの足に香油を塗ってくれました。
47 だから、わたしは言うのです。『この女の多くの罪は赦されています。というのは、彼女はよけい愛したからです。しかし少しししか赦されない者は、少ししか愛しません。』」
48 そして女に、「[1]あなたの罪は赦されています。」と言われた。
49 すると、いっしょに食卓にいた人たちは、*心の中でこう言い始めた。「罪を赦したりするこの人は、いったいだれだろう。」
50 しかし、イエスは女に言われた。「[1]あなたの信仰が、あなたを救ったのです。安心して行きなさい。」

8

1 その後、イエスは、神の国を説き、その福音を宣べ伝えながら、町や村を次から次に旅をしておられた。十二弟子もお供をした。
2 また、悪霊や病気を直していただいた女たち、すなわち、七つの悪霊を追い出していただいたマグダラと呼ばれるマリヤ、
3 ヘロデの執事クーザの妻ヨハンナ、スザンナ、そのほか自分の財産をもって彼らに仕えている大ぜいの女たちもいっしょであった。
4 さて、大ぜいの人の群れが集まり、また方々の町からも人々がみもとにやって来たので、イエスはたとえを用いて話された。
5 「種を蒔く人が種蒔きに出かけた。蒔いているとき、道ばたに落ちた種があった。すると、人に踏みつけられ、空の鳥がそれを食べてしまった。
6 また、別の種は岩の上に落ち、生え出たが、水分がなかったので、枯れてしまった。
7 また、別の種はいばらの真中に落ちた。ところが、いばらもいっしょに生え出て、それを押しふさいでしまった。
8 また、別の種は良い地に落ち、生え出て、百倍の実を結んだ。」
イエスは、これらのことを話しながら、「[1]聞く耳のある者は聞きなさい。」と叫ばれた。

44 ①創八・四、九・二、四三・二四、士一九・二一、Ⅰテモ五・一〇
45 Ⅱサム一五・五
46 ①詩三三・六、伝九・八、Ⅱサム三・二〇、ダ二・三五
48 ①㊢マタ九・二
49 * 別訳「彼らの間で」
50 ①㊢マタ九・二、②ルカ八・四八㊢マコ五・三四
1 ①㊢マタ四・二三
2 ①㊢マタ二七・五五、㊢ルカ二三・四九
3 ①㊢マタ二四・一、②㊢マタ二〇・八
4 ①ルカ八・四八、マタ一三・二九、マコ四・一九
8 ①㊢マタ一一・一五

9 さて、弟子たちは、このたとえがどんな意味かをイエスに尋ねた。
10 そこでイエスは言われた。「あなたがたに、神の国の奥義を知ることが許されているが、ほかの者には、たとえで話します。彼らが見ていても見えず、聞いていても悟らないためです。
11 このたとえの意味はこうです。種は神のことばです。
12 道ばたに落ちるとは、こういう人たちのことです。みことばを聞いたが、あとから悪魔が来て、彼らが信じて救われることのないように、その人たちの心から、みことばを持ち去ってしまうのです。
13 岩の上に落ちるとは、こういう人たちのことです。聞いたときには喜んでみことばを受け入れるが、根がないので、しばらくは信じていても、試練のときになると、身を引いてしまうのです。
14 いばらの中に落ちるとは、こういう人たちのことです。みことばを聞きはしたが、とかくしているうちに、この世の心づかいや、富や、快楽によってふさがれて、実が熟するまでにならないのです。
15 しかし、良い地に落ちるとは、こういう人たちのことです。正しい、良い心でみことばを聞くと、それをしっかりと守り、よく耐えて、実を結ばせるのです。
16 あかりをつけてから、それを器で隠したり、寝台の下に置いたりする者はありません。燭台の上に置きます。はいって来る人々に、その光が見えるためです。
17 隠れているもので、あらわにならぬものはなく、秘密にされているもので、知られず、また現われないものはありません。
18 だから、聞き方に注意しなさい。というのは、持っている人は、さらに与えられ、持たない人は、持っていると思っているものまでも取り上げられるからです。」
19 イエスのところに母と兄弟たちが来たが、群衆のためにそばへ近寄れなかった。
20 それでイエスに、「あなたのおかあさんと兄弟たちが、あなたに会おうとして、外に立っています。」という知らせがあった。
21 ところが、イエスは人々にこう答えられた。「わたしの母、わたしの兄弟たちとは、神のことばを聞いて行なう人たちです。」
22 そのころのある日のこと、イエスは弟子たちといっしょに舟に乗り、「さあ、湖の向こう岸へ渡ろう。」と言われた。それで弟子たちは舟を出した。
23 舟で渡っている間にイエスはぐっすり眠ってしまわれた。ところが突風が湖に吹きおろして来たので、弟子たちは水をかぶって危険になった。
24 そこで、彼らは近寄って行ってイエスを起こし、「先生、先生。私たちはおぼれて死にそうです。」と言った。イエスは、起き上がって、風と荒波とをしかりつけられた。すると風も波も治まり、なぎになった。
25 イエスは彼らに、「あなたがたの信仰はどこにあるのです。」と言われた。弟子たちは驚き恐れて互いに言

9 ①ルカ八・九―一〇、マタ一三・一〇―一三、マコ四・一〇―一二
10 ①㊢マタ一三・一一、②イザ六・九㊢マタ一三・一四
11 ①比Ⅰペテ一・二三
16 ①マタ五・一五、マコ四・二一ルカ一一・三三
17 ①ルカ一二・二、マタ一〇・二六マコ四・二二
18 ①㊢マタ一三・一二、比ルカ九・二六＊あるいは「持っているように見えるものまでも」
19 ①ルカ八・一九―二一、マタ一二・四六―五〇、マコ三・三一―三五
21 ①ルカ一一・二八
22 ①ルカ八・二三―二五、マタ八・二三―二七、マコ四・三六―四一、②ルカ八・二三、㊢ルカ五・一二
23 ①ルカ八・二三、㊢ルカ五・一二
24 ①㊢ルカ五・五、②㊢ルカ四・三九

った。「風も水も、お命じになれば従うとは、いったいこの方はどういう方なのだろう。」

26 こうして彼らは、ガリラヤの向こう側の*ゲラサ人の地方に着いた。

27 イエスが陸に上がられると、この町の者で悪霊につかれている男がイエスに出会った。彼は、長い間着物も着けず、家には住まないで、墓場に住んでいた。

28 彼はイエスを見ると、叫び声をあげ、御前にひれ伏して大声で言った。「いと高き神の子、イエスさま。いったい私に何をしようというのです。お願いです。どうか私を苦しめないでください。」

29 それは、イエスが、汚れた霊に、この人から出て行け、と命じられたからである。汚れた霊が何回となくこの人を捕えたので、彼は鎖や足かせでつながれて看視されていたが、それでもそれらを断ち切っては悪霊によって荒野に追いやられていたのである。

30 イエスが、「何という名か。」とお尋ねになると、「レギオンです。」と答えた。悪霊が大ぜい彼にはいっていたからである。

31 悪霊どもはイエスに、底知れぬ所に行け、とはお命じになりませんようにと願った。

32 ちょうど、山のそのあたりに、おびただしい豚の群れが飼ってあったので、悪霊どもは、その豚にはいることを許してくださいと願った。イエスはそれを許された。

33 悪霊どもは、その人から出て、豚にはいった。すると、豚の群れはいきなりがけを駆け下って湖にはいり、おぼれ死んだ。

34 飼っていた者たちは、この出来事を見て逃げ出し、町や村々でこの事を告げ知らせた。

35 人々が、この出来事を見に来て、イエスのそばに来たところ、イエスの足もとに、悪霊の去った男が着物を着て、正気に返って、すわっていた。人々は恐ろしくなった。

36 目撃者たちは、悪霊につかれていた人の救われた次第を、その人々に知らせた。

37 *ゲラサ地方の民衆はみな、すっかりおびえてしまい、イエスに自分たちのところから離れていただきたいと願った。そこで、イエスは舟に乗って帰られた。

38 そのとき、悪霊を追い出された人が、お供をしたいとしきりに願ったが、イエスはこう言って彼を帰された。

39 「家に帰って、神があなたにどんなに大きなことをしてくださったかを、話して聞かせなさい。」そこで彼は出て行って、イエスが自分にどんなに大きなことをしてくださったかを、町中に言い広めた。

40 さて、イエスが帰られると、群衆は喜んで迎えた。みなイエスを待ちわびていたからである。

41 するとそこに、ヤイロという人が来た。この人は会堂管理者であった。彼はイエスの足もとにひれ伏して自分の家に来ていただきたいと願った。

42 彼には十二歳ぐらいのひとり娘がいて、死にかけて

---

26 ①ルカ八・二六―三四、マタ八・二八―三四、マコ五・一―一七　*異本「ゲルゲサ人」「ガダラ人」
28 ①脚マコ五・七　②脚マタ八・二九
30 ①脚マタ二六・五三　*ローマ軍隊の一軍団、別訳「大ぜい、多数」
31 ①ロマ一〇・七、黙九・一、二、一一、一七・八、二〇・三　*直訳「彼らに」
33 ①ルカ八・三三、脚ルカ五・二
35 ①脚ルカ一〇・三九
36 ①脚マタ四・二四
37 *異本「ゲルゲサ地方」「ガダラ地方」
38 ①ルカ八・三六、マコ五・一八　*直訳「いっしょにいたい」
40 ①脚マタ九・一、マコ五・二一
41 ①ルカ八・四一―五六、マタ九・一八―二六、マコ五・二二―四三　②ルカ八・四九、脚マコ五・三五

いたのである。イエスがお出かけになると、群衆がみもとに押し迫って来た。
43 ときに、十二年の間長血をわずらった女がいた。*だれにも直してもらえなかったこの女は、
44 イエスのうしろに近寄って、イエスの着物のふさにさわった。すると、たちどころに出血が止まった。
45 イエスは、「わたしにさわったのは、だれですか。」と言われた。みな自分ではないと言ったので、ペテロは、[1]「先生。この大ぜいの人が、ひしめき合って押しているのです。」と言った。
46 しかし、イエスは、「だれかが、わたしにさわったのです。わたしから力が出て行くのを感じたのだから。」と言われた。
47 女は、隠しきれないと知って、震えながら進み出て、御前にひれ伏し、すべての民の前で、イエスにさわったわけと、たちどころにいやされた次第とを話した。
48 そこで、イエスは彼女に言われた。「娘よ。あなたの信仰があなたを直したのです。*安心して行きなさい。」
49 イエスがまだ話しておられるときに、[1]会堂管理者の家から人が来て言った。「あなたのお嬢さんはなくなりました。もう、先生を煩わすことはありません。」
50 これを聞いて、イエスは答えられた。[1]「恐れないで、ただ信じなさい。そうすれば、娘は直ります。」
51 イエスは家にはいられたが、ペテロとヨハネとヤコブ、それに子どもの父と母のほかは、だれもいっしょにはいることをお許しにならなかった。
52 人々はみな、娘のために泣き悲しんでいた。しかし、イエスは言われた。「泣かなくてもよい。死んだのではない。眠っているのです。」
53 人々は、娘が死んだことを知っていたので、イエスをあざ笑っていた。
54 しかしイエスは、娘の手を取って、叫んで言われた。「子どもよ。起きなさい。」
55 すると、娘の霊が戻って、娘はただちに起き上がった。それでイエスは、娘に食事をさせるように言いつけられた。
56 両親がひどく驚いていると、イエスは、[1]この出来事をだれにも話さないように命じられた。

9

1 イエスは、十二人を呼び集めて、彼らに、すべての悪霊を追い出し、病気を直すための、力と権威とをお授けになった。
2 それから、神の国を宣べ伝え、病気を直すために、彼らを遣わされた。
3 イエスは、こう言われた。「旅のために何も持って行かないようにしなさい。杖も、袋も、パンも、金も。また下着も、二枚は、いりません。
4 どんな家にはいっても、そこにとどまり、そこから次の旅に出かけなさい。
5 人々があなたがたを受け入れないばあいは、その町を出て行くときに、彼らに対する証言として、足のちりを払い落としなさい。」

---

43 * 異本に「医者のために自分の生活費を全部使い果たしてしまった」を加えるものもある
45 * 異本に「……および彼とともにいた者たち」を加えるものもある
46 ①㊐ルカ五・一七
48 ①㊐マタ九・二 * 直訳「救ったのです」
②ルカ七・五〇、㊐マコ五・三四
49 ①ルカ八・四一
50 ①マコ五・三六 * あるいは「救われます」
52 ①ルカ三・三七、マタ二・一七
②ヨハ一一・三
56 ①㊐マタ八・四
1 ①マタ一〇・一、マコ六・七
2 ①㊐マタ一〇・七
3 ①ルカ九・一三、㊐マコ六・八、一一、㊐ルカ一〇・四
三、三三・三五、②マタ一〇・一〇
マコ六・八、㊐ルカ三三・三五
5 ①使一三・五一、㊐ルカ一〇・一一

6 十二人は出かけて行って、村から村へと回りながら、
至る所で福音を宣べ伝え、病気を直した。
7 さて、国主ヘロデは、このすべての出来事を聞いて、ひどく当惑していた。それは、ある人々が、「ヨハネが死人の中からよみがえったのだ」と言い、
8 ほかの人々は、「エリヤが現われたのだ」と言い、さらに別の人々は、「昔の預言者のひとりがよみがえったのだ」と言っていたからである。
9 ヘロデは言った。「ヨハネなら、私が首をはねたのだ。そうしたことがうわさされているこの人は、いったいだれなのだろう。」ヘロデはイエスに会ってみようとした。
10 さて、使徒たちは帰って来て、自分たちのして来たことを報告した。それからイエスは彼らを連れてベツサイダという町へひそかに退かれた。
11 ところが、多くの群衆がこれを知って、ついて来た。それで、イエスは喜んで彼らを迎え、神の国のことを話し、また、いやしの必要な人たちをおいやしになった。
12 そのうち、日も暮れ始めたので、十二人はみもとに来て、「この群衆を解散させてください。そして回りの村や部落にやって、宿をとらせ、何か食べることができるようにさせてください。私たちは、こんな人里離れた所にいるのですから。」と言った。
13 しかしイエスは、彼らに言われた。「あなたがたで、何か食べる物を上げなさい。」彼らは言った。「私たちには五つのパンと二匹の魚のほか何もありません。私たちが出かけて行って、この民全体のために食物を買うのでしょうか。」
14 それは、男だけでおよそ五千人もいたからである。しかしイエスは、弟子たちに言われた。「人々を、五十人ぐらいずつ組にしてすわらせなさい。」
15 弟子たちは、そのようにして、全部をすわらせた。
16 するとイエスは、五つのパンと二匹の魚を取り、天を見上げて、それらを祝福して裂き、群衆に配るように弟子たちに与えられた。
17 人々はみな、食べて満腹した。そして、余ったパン切れを拾うと、十二のかごいっぱいになった。
18 さて、イエスがひとりで祈っておられたとき、弟子たちがいっしょにいた。イエスは彼らに尋ねて言われた。「群衆はわたしのことをだれだと言っていますか。」
19 彼らは、答えて言った。「バプテスマのヨハネだと言っています。ある者はエリヤだと言い、またほかの人は、昔の預言者のひとりが生き返ったのだとも言っています。」
20 イエスは、彼らに言われた。「では、あなたがたは、わたしをだれだと言いますか。」ペテロが答えて言った。「神のキリストです。」
21 するとイエスは、このことをだれにも話さないようにと、彼らを戒めて命じられた。
22 そして言われた。「人の子は、必ず多くの苦しみを受

6 ①ルカ八・一、マコ六・三
7 ①ルカ九・七-九、マタ一四・一-二、旧マコ六・一四-一六、②聖マタ一四・一、旧ルカ三・一-三、三・七、③聖マタ一六・一四
8 ①聖マタ一六・一四
9 ①ルカ三・一八
10 ①マコ六・三〇、②聖マコ六・三〇 ③ルカ九・一〇-一七、マタ一四・一三-二一、マコ六・三二-四四、ヨハ六・五-一三、④聖マタ一五・三二
14 ①マコ六・五九
17 ①聖マタ一四・二〇 *あるいは「大かご」
18 ①ルカ九・一八-二〇、マタ一六・一三-一七、マコ八・二七-二九 ②旧マタ一四・二、ルカ六・二、九・一九
20 ①旧ヨハ六・六八、六九 *すなわち、「メシヤ」
21 ①マタ一六・二〇、マコ八・三〇 旧マタ八・四
22 ①ルカ九・二二-二七、マタ一六・二一-二八、マコ八・三一-九・一 ②聖マタ一六・二一、ルカ九・四四

け、長老、祭司長、律法学者たちに捨てられ、殺され、そして三日目によみがえらねばならないのです。」

23 イエスは、みなの者に言われた。「だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、日々十字架を負い、そしてわたしについて来なさい。

24 自分のいのちを救おうと思う者はそれを失い、わたしのために自分のいのちを失う者は、それを救うのです。

25 人は、たとい全世界を手に入れても、自分自身を失い、損じたら、何の得がありましょう。

26 もしだれでも、わたしとわたしのことばとを恥と思うなら、人の子も、自分と父と聖なる御使いとの栄光を帯びて来るときには、そのような人のことを恥とします。

27 しかし、わたしは真実をあなたがたに告げます。ここに立っている人々の中には、神の国を見るまでは、決して死を味わわない者たちがいます。」

28 これらの教えがあってから八日ほどして、イエスは、ペテロとヨハネとヤコブとを連れて、祈るために、山に登られた。

29 祈っておられると、御顔の様子が変わり、御衣は白く光り輝いた。

30 しかも、ふたりの人がイエスと話し合っているではないか。それはモーセとエリヤであって、

31 栄光のうちに現われて、イエスがエルサレムで遂げようとしておられるご最期についていっしょに話していたのである。

32 ペテロと仲間たちは、眠くてたまらなかったが、はっきり目がさめると、イエスの栄光と、イエスといっしょに立っているふたりの人を見た。

33 それから、ふたりがイエスと別れようとしたとき、ペテロがイエスに言った。「先生。ここにいることは、すばらしいことです。私たちが三つの幕屋を造ります。あなたのために一つ、モーセのために一つ、エリヤのために一つ。」ペテロは何を言うべきかを知らなかったのである。

34 彼がこう言っているうちに、雲がわき起こってその人々をおおった。彼らが雲に包まれると、弟子たちは恐ろしくなった。

35 すると雲の中から、「これは、わたしの愛する子、わたしの選んだ者である。彼の言うことを聞きなさい。」と言う声がした。

36 この声がしたとき、そこに見えたのはイエスだけであった。彼らは沈黙を守り、その当時は、自分たちの見たこのことをいっさい、だれにも話さなかった。

37 次の日、一行が山から降りて来ると、大ぜいの人の群れがイエスを迎えた。

38 すると、群衆の中から、ひとりの人が叫んで言った。「先生。お願いです。息子を見てやってください。ひとり息子です。

39 ご覧ください。霊がこの子に取りつきますと、突然叫び出すのです。そしてひきつけさせてあわを吹かせ、

---

23 ①欄マタ一〇・三八
24 ①欄マタ一〇・三九
25 ①ヘブ一〇・三四
26 ①Ⅱ ルカ一二・九、マタ一〇・三三
27 ①欄マタ一六・二八
28 ①ルカ九・二八―三六、マタ一七・一―八　マコ九・二―八、②欄マタ一七・一　③ルカ三・二一、ヨ一・一―九、六　④Ⅱ マタ五・一
29 ①ルカ三・二一、ヨ一・一六、六・三、八・一八　②Ⅱ マコ九・二　*直訳「いなずまのように光り輝いた」
31 *あるいは「輝き」　①欄Ⅱ ペテ一・一五
32 マタ二六・四三、マコ一四・四〇
33 ①欄ルカ五・五、九・四九　②Ⅱ マタ一七・四、マコ九・五　*あるいは「聖なる天幕」　③Ⅱ マコ九・六
35 ①Ⅱ ペテ一・一七、八、②欄マタ三・一七、ルカ三・二二
36 ①マタ一七・九、マコ九・九、一〇
37 ①ルカ九・二八―四二、マタ一七・一―一六、マコ九・二―二七

かき裂いて、なかなか離れようとしません。
40お弟子たちに、この霊を追い出してくださるようお願いしたのですが、お弟子たちにはできませんでした。」
41イエスは答えて言われた。「ああ、不信仰な、曲がった今の世だ。いつまで、あなたがたといっしょにいて、あなたがたにがまんしていなければならないのでしょう。あなたの子をここに連れて来なさい。」
42その子が近づいて来る間にも、悪霊は彼を打ち倒して、激しくひきつけさせてしまった。それで、イエスは汚れた霊をしかって、その子をいやし、父親に渡された。
43人々はみな、神のご威光に驚嘆した。
イエスのなさったすべてのことに、人々がみな驚いていると、イエスは弟子たちにこう言われた。
44「このことばを、しっかりと耳に入れておきなさい。人の子は、いまに人々の手に渡されます。」
45しかし、弟子たちは、このみことばが理解できなかった。このみことばの意味は、わからないように、彼らから隠されていたのである。また彼らは、このみことばについてイエスに尋ねるのを恐れた。
46さて、弟子たちの間に、自分たちの中で、だれが一番偉いかという議論が持ち上がった。
47しかしイエスは、彼らの心の中の考えを知っておられて、ひとりの子どもの手を取り、自分のそばに立たせ、
48彼らに言われた。「だれでも、このような子どもを、わたしの名のゆえに受け入れる者は、わたしを受け入れる者です。また、わたしを受け入れる者は、わたしを遣わされた方を受け入れる者です。あなたがたすべての中で一番小さい者が一番偉いのです。」
49ヨハネが答えて言った。「先生。私たちは、先生の名を唱えて悪霊を追い出している者を見ましたが、やめさせました。私たちの仲間ではないので、やめさせたのです。」
50しかしイエスは、彼に言われた。「やめさせることはありません。あなたがたに反対しない者は、あなたがたの味方です。」
51さて、天に上げられる日が近づいて来たころ、イエスは、エルサレムに行こうとして御顔をまっすぐ向けられ、
52ご自分の前に使いを出された。彼らは行って、サマリヤ人の町にはいり、イエスのために準備した。
53しかし、イエスは御顔をエルサレムに向けて進んでおられたので、サマリヤ人はイエスを受け入れなかった。
54弟子のヤコブとヨハネが、これを見て言った。「主よ。私たちが天から火を呼び下して、彼らを焼き滅ぼしましょうか。」
55しかし、イエスは振り向いて、彼らを戒められた。*
56そして一行は別の村に行った。
57さて、彼らが道を進んで行くと、ある人がイエス

42 * あるいは「引き裂き」
43 ①Ⅱペテ一・一六、②ルカ九・四三直訳、マタ一七・二三、三三
44 ①ルカ九・三一
* あるいは「裏切る」
45 ①脚マカ九・三二
46 ①ルカ九・四八、マタ一八・一、マコ九・三三―三七
* 直訳「始まった」
47 ①脚マタ九・四
* 直訳「議論」
48 ①脚マタ一〇・四〇、②ルカ一〇・一六
* あるいは「最も身分の低い者」
49 ①ルカ九・五〇、マコ九・三八―四〇、②脚ルカ五・五、九・三三
50 ①脚マタ一二・三〇、旧ルカ一一・二三
51 ①脚マコ一六・一九、②旧ルカ一三・三三、一七・一一、一八・三一、一九・二八、二六
52 ①脚マタ一〇・五、旧ルカ一〇・三三、一七・一六、ヨ一八・一四
53 ①ヨ一八・一九
54 ①旧マコ三・一七
* 異本に「エリヤがしたように」を加えるものもある
55 * 異本「そして彼は言われた。『あなたがたは自分たちがどのような霊的状態にあるのかを知らないのです。人の子が来たのは、人のいのちを滅ぼすためではなくそれを救うためです。』」を加える
56 人の子が来たのは、人のいのちを滅ぼすためではなくそれを救うためです。
57 ①ルカ九・五七―六〇、マタ八・一九―二二、②ルカ九・五一

に言った。「私はあなたのおいでになる所なら、どこにでもついて行きます。」
58 すると、イエスは彼に言われた。「狐には穴があり、空の鳥には巣があるが、[1]人の子には枕する所もありません。」
59 イエスは別の人に、こう言われた。「[1]わたしについて来なさい。」しかしその人は言った。「*まず行って、私の父を葬ることを許してください。」
60 すると彼に言われた。「死人たちに彼らの中の死人の父を葬らせなさい。あなたは出て行って、[1]神の国を言い広めなさい。」
61 別の人はこう言った。「主よ。あなたに従います。[1]ただその前に、家の者にいとまごいに帰らせてください。」
62 するとイエスは彼に言われた。「[1]だれでも、手を鋤につけてから、うしろを見る者は、神の国にふさわしくありません。」

10

1 その後、主は、[1]別に七十人を定め、*ご自分が行くつもりのすべての町や村へ、[3]ふたりずつ先にお遣わしになった。
2 そして、彼らに言われた。「実りは多いが、働き手が少ない。だから、収穫の主に、収穫のために働き手を送ってくださるように祈りなさい。
3 さあ、行きなさい。いいですか。わたしがあなたがたを遣わすのは、狼の中に小羊を送り出すようなものです。
4 [1]財布も旅行袋も持たず、くつもはかずに行きなさい。だれにも、道であいさつしてはいけません。
5 どんな家にはいっても、まず、『この家に平安があるように。』と言いなさい。
6 もしそこに平安の子がいたら、あなたがたの祈った平安は、その人の上にとどまります。だが、もしいないなら、その平安はあなたがたに返って来ます。
7 その家に泊まっていて、出してくれる物を飲み食いしなさい。[1]働く者が報酬を受けるのは、当然だからです。家から家へと渡り歩いてはいけません。
8 どの町にはいっても、あなたがたを受け入れてくれたら、[1]出される物を食べなさい。
9 そして、その町の病人を直し、彼らに、『[1]神の国が、あなたがたに近づいた。』と言いなさい。
10 しかし、町にはいっても、人々があなたがたを受け入れないならば、大通りに出て、こう言いなさい。
11 『私たちは足についたこの町のちりも、あなたがたにぬぐい捨てて行きます。しかし、[2]神の国が近づいたことは承知していなさい。』
12 あなたがたに言うが、その日には、その町よりも[1]ソドムのほうがまだ罰が軽いのです。
13 [1]ああ[2]コラジン。ああ[2]ベツサイダ。おまえたちの間に起こった力あるわざが、もしもツロと[2]シドンでなされたのだったら、彼らはとうの昔に荒布をまとい、灰の中にすわって、悔い改めていただろう。
14 しかし、さばきの日には、そのツロとシドンのほうが、まだおまえたちより罰が軽いのだ。

---

58 ①聖マタ八・二〇
59 ①聖マタ八・二一
* 異本に「主よ」を加えるものもある
60 ①マタ四・二一
61 ①旧Ⅰ列九・二〇
62 ①旧ピリ三・一三
1 ①聖ルカ七・一三、②旧ルカ九・一、二、五
* 異本「七十二人」
③マコ六・七
2 ①マタ九・三七、旧ヨハ四・三五
3 ①マタ一〇・一六
4 ①ルカ一〇・四―一二、旧マタ一〇・九―一四、マコ六・八―一一、ルカ九・三、五
7 ①マタ一〇・一〇、Ⅰコリ九・一四、Ⅰテモ五・一八
8 ①旧Ⅰコリ一〇・二七
9 ①旧マタ一〇・七、ルカ一〇・一一
11 ①マタ一〇・一四、マコ六・一一、ルカ九・五、②旧マタ三・二、一〇・七、ルカ一〇・九
12 ①聖マタ一〇・一五、②マタ一〇・一五、一一・二四
13 ①ルカ一〇・一三―一五、マタ一一・二一―二三、②聖マタ一一・二一、③聖黙一八・二
14 ①聖マタ一一・二二

15 カペナウム。どうしておまえが天に上げられることがありえよう。ハデスにまで落とされるのだ。
16 あなたがたに耳を傾ける者は、わたしに耳を傾ける者であり、あなたがたを拒む者は、わたしを拒む者です。わたしを拒む者は、わたしを遣わされた方を拒む者です。」
17 さて、七十人が喜んで帰って来て、こう言った。「主よ。あなたの御名を使うと、悪霊どもでさえ、私たちに服従します。」
18 イエスは言われた。「わたしが見ていると、サタンが、いなずまのように天から落ちました。
19 確かに、わたしは、あなたがたに、蛇やさそりを踏みつけ、敵のあらゆる力に打ち勝つ権威を授けたのです。だから、あなたがたに害を加えるものは何一つありません。
20 だがしかし、悪霊どもがあなたがたに服従するからといって、喜んではなりません。ただあなたがたの名が天に書きしるされていることを喜びなさい。」
21 ちょうどこのとき、イエスは、聖霊によって喜びにあふれて言われた。「天地の主であられる父よ。あなたをほめたたえます。これらのことを、賢い者や知恵のある者には隠して、幼子たちに現わしてくださいました。そうです、父よ。これがみこころにかなったことでした。
22 すべてのものが、わたしの父から、わたしに渡されています。それで、子がだれであるかは、父のほかには知る者がありません。また父がだれであるかは、子と、子が父を知らせようと心に定めた人たちのほかは、だれも知る者がありません。」
23 それからイエスは、弟子たちのほうに向いて、ひそかに言われた。「あなたがたの見ていることを見る目は幸いです。
24 あなたがたに言いますが、多くの預言者や王たちがあなたがたの見ていることを見たいと願ったのに、見られなかったのです。また、あなたがたの聞いていることを聞きたいと願ったのに、聞けなかったのです。」
25 すると、ある律法の専門家が立ち上がり、イエスをためそうとして言った。「先生。何をしたら永遠のいのちを自分のものとして受けることができるでしょうか。」
26 イエスは言われた。「律法には、何と書いてありますか。あなたはどう読んでいますか。」
27 すると彼は答えて言った。「『心を尽くし、思いを尽くし、力を尽くし、知性を尽くして、あなたの神である主を愛せよ。』また『自分と同じように、あなたの隣人を愛せよ。』とあります。」
28 イエスは言われた。「そのとおりです。それを実行しなさい。そうすれば、いのちを得ます。」
29 しかし彼は、自分の正しさを示そうとしてイエスに言った。「では、私の隣人とは、だれのことですか。」
30 イエスは答えて言われた。
「ある人が、エルサレムからエリコへ下る道で、強

10:15 1) カペナウム　ガリラヤ湖北西岸の町。
10:16 1) 直訳「聞く」　2) 直訳「聞く」
10:17 1) 異本「七十二人」
10:18 1) 直訳「サタンが稲妻のように天から落ちるのを見ていた」
10:19 1) 蛇　悪霊の象徴。
10:22 1) 直訳「知る」
10:24 1) 直訳「聞く」
10:25 1) 直訳「試みようとして」
10:30 1) 直訳「下っていた」

15 ①旧マタ四・一三、②旧マタ一一・二三
16 ①マタ一〇・四〇、ヨハ一三・二〇 旧ガラ四・一四、②旧ヨハ一三・四八、Ⅰテサ四・八
17 ★異本「七十二人」 ①旧マコ六・七七
18 ①旧マタ四・一〇
19 ①旧マコ六・一八
20 ①出三二・三二、詩六九・二八、イザ四・三、エゼ二・六、ダニ一二・一、ピリ四・三、ヘブ一二・二三、黙三・五、二〇・一二、二一・二七
21 ①ルカ一〇・二一・三、マタ一一・二五・二七
23 ①ルカ一〇・二四、マタ一三・一六、一七
25 ①ルカ一〇・二五・二六、マタ二二・三四・三五、マコ一二・二八・三四 旧マタ二・一九、②旧マタ三・三五
27 ①申六・五、レビ一九・一八
28 ①旧マタ二九・一七、レビ一八・五
29 ①旧ルカ一〇・二五
30 ①旧ルカ一〇・三一・一九・二六

盗に襲われた。強盗どもは、その人の着物をはぎ取り、なぐりつけ、半殺しにして逃げて行った。
31 たまたま、祭司がひとり、その道を下って来たが、彼を見ると、反対側を通り過ぎて行った。
32 同じようにレビ人も、その場所に来て彼を見ると、反対側を通り過ぎて行った。
33 ところが、あるサマリヤ人が、旅の途中、そこに来合わせ、彼を見てかわいそうに思い、
34 近寄って傷にオリーブ油とぶどう酒を注いで、ほうたいをし、自分の家畜に乗せて宿屋に連れて行き、介抱してやった。
35 次の日、彼はデナリ二つを取り出し、宿屋の主人に渡して言った。『介抱してあげてください。もっと費用がかかったら、私が帰りに払います。』
36 この三人の中でだれが、強盗に襲われた者の隣人になったと思いますか。」
37 彼は言った。「その人にあわれみをかけてやった人です。」するとイエスは言われた。「あなたも行って同じようにしなさい。」
38 さて、彼らが旅を続けているうち、イエスがある村にはいられると、マルタという女が喜んで家にお迎えした。
39 彼女にマリヤという妹がいたが、主の足もとにすわって、みことばに聞き入っていた。
40 ところが、マルタは、いろいろともてなしのために気が落ち着かず、みもとに来て言った。「主よ。妹が私だけにおもてなしをさせているのを、何ともお思いにならないのでしょうか。私の手伝いをするように、妹におっしゃってください。」
41 主は答えて言われた。「マルタ、マルタ。あなたは、いろいろなことを心配して、気を使っています。
42 しかし、どうしても必要なことはわずかです。いや、一つだけです。マリヤはその良いほうを選んだのです。彼女からそれを取り上げてはいけません。」

11

1 さて、イエスはある所で祈っておられた。その祈りが終わると、弟子のひとりが、イエスに言った。「主よ。ヨハネが弟子たちに教えたように、私たちにも祈りを教えてください。」
2 そこでイエスは、彼らに言われた。「祈るときには、こう言いなさい。
『父よ。御名があがめられますように。
御国が来ますように。
3 日ごとの糧を毎日お与えください。
4 私たちの罪をお赦しください。私たちも私たちに負いめのある者をみな赦します。
私たちを試みに会わせないでください。』」
5 また、イエスはこう言われた。「あなたがたのうち、だれかに友だちがいるとして、真夜中にその人のところに行き、『君。パンを三つ貸してくれ。
6 友人が旅から私のうちへ来たのだが、出してやるものがないのだ。』と言ったとします。

33 ①囫マタ二〇・三四、ルカ・三三
38 ①ルカ一〇・四〇、四二、ヨハ一二・一、二、一四、一五以下、三〇、三六、三八・三
39 ①ルカ一〇・四二、ヨハ一二・一、三、一四、一五、三〇、三六、三八・三
②比ルカ八・三五、囫使三・三
40 ①ルカ一〇・三六、四一、ヨハ一二・一四、一五以下、三〇、三六、三八・三
41 ①ルカ一〇・三六、四〇、ヨハ一二・一四、一五以下、三〇、三六、三八・三
②囫マタ六・三三
42 ①比ヨハ六・三七、詩三七・四
＊異本「どうしても必要なものはただ一つだけです」
＊＊直訳「あるいは」
②ルカ一〇・三六、ヨハ一二・一、三、一四、一五、三〇、三六、三八・三
1 ①囫ルカ七・三
2 ①ルカ二一・二四、マタ六・九・一三
＊異本には、この個所をマタ六・九一一三に合わせるために、ルカに欠けているものをマタイから取って挿入するものもある
3 ＊あるいは「きたるべき日の食物」「必要欠くべからざる食物」
①比使一七・二
4 ①比ルカ一三・四

7 すると、彼は家の中からこう答えます。『めんどうをかけないでくれ。もう戸締まりもしてしまったし、子どもたちも私も寝ている。起きて、何かをやることはできない。』

8 あなたがたに言いますが、彼は友だちだからということで起きて何かを与えることはしないにしても、あくまで*頼み続けるなら、そのためには起き上がって、必要な物を与えるでしょう。

9 わたしは、あなたがたに言います。求めなさい。そうすれば与えられます。捜しなさい。そうすれば見つかります。たたきなさい。そうすれば開かれます。

10 だれであっても、求める者は受け、捜す者は見つけ出し、たたく者には開かれます。

11 あなたがたの中で、子どもが*魚を下さいと言うときに、魚の代わりに蛇を与えるような父親が、いったいいるでしょうか。

12 卵を下さいと言うのに、だれが、さそりを与えるでしょう。

13 してみると、あなたがたも、悪い者ではあっても、自分の子どもには良い物を与えることを知っているのです。とすれば、なおのこと、天の父が、求める人たちに、どうして聖霊を下さらないことがありましょう。」

14 イエスは悪霊、それもおしの悪霊を追い出しておられた。悪霊が出て行くと、おしがものを言い始めたので、群衆は驚いた。

15 しかし、彼らのうちには、「悪霊どものかしらベルゼブルによって、悪霊どもを追い出しているのだ。」と言う者もいた。

16 また、イエスをためそうとして、彼に天からのしるし*を求める者もいた。

17 しかし、イエスは、彼らの心を見抜いて言われた。「どんな国でも、内輪もめしたら荒れすたれ、家にしても、*内輪で争えばつぶれます。

18 サタンも、もし仲間割れしたのだったら、どうしてサタンの国が立ち行くことができましょう。それなのにあなたがたは、わたしがベルゼブルによって悪霊どもを追い出していると言います。

19 もしもわたしが、ベルゼブルによって悪霊どもを追い出しているのなら、あなたがたの仲間は、だれによって追い出すのですか。だから、あなたがたの仲間が、あなたがたをさばく人となるのです。

20 しかし、わたしが、神の指によって悪霊どもを追い出しているのなら、神の国はあなたがたに来ているのです。

21 *強い人が十分に武装して自分の家を守っているときには、その持ち物は安全です。

22 しかし、もっと強い者が襲って来て彼に打ち勝つと、彼の頼みにしていた武具を奪い、分捕り品を分けます。

23 わたしの味方でない者はわたしに逆らう者であり、わたしとともに集めない者は散らす者です。

24 汚れた霊が人から出て行って、水のない所をさまよ

8 ①田ルカ六・一〇 *あるいは「あつかましさのゆえに」
9 ①ルカ一一・九―一三、マタセ・七一
11 *異本に「パンを下さいと言うときに、石を与える父親がいるでしょうか。あるいは子どもが」を挿入するものもある
13 ①田ルカ六・七ペ、②田マタセ・一一
14 ①ルカ一一・一四―二六、マタ一二・三四、田マタ九・三二―三四
15 ①聞マタ九・三四、②聞マタ一〇・二五 *異本に一五、一八、一九節のこの語を「ベエゼブル」とするものもある
16 ①聞マタ一二・三八 *あるいは「証拠としての奇蹟」
17 ①ルカ一二・一七三、マタ一二・二五―二九、マコ三・二三―二七 *直訳「家が家の上に倒れる」
18 ①聞マタ四・一〇、②聞マタ一〇・二五
19 ①聞マタ一〇・二五
20 ①出八・一九、②聞マタ一二 *原文には「強い人」に定冠詞がある ①聞マタ一二・二八
23 ①マタ一二・三〇
24 ①ルカ一一・二四―二六、マタ一二・四三―四五 *原文には「人」に定冠詞がついている

いながら、休み場を捜します。一つも見つからないので、『出て来た自分の家に帰ろう。』と言います。
25帰って見ると、家は、掃除をしてきちんとかたづいていました。
26そこで、出かけて行って、自分よりも悪いほかの霊を七つ連れて来て、みなはいり込んでそこに住みつくのです。そうなると、その人の後の状態は、初めよりもさらに悪くなります。」
27イエスが、これらのことを話しておられると、群衆の中から、ひとりの女が声を張り上げてイエスに言った。「[1]あなたを産んだ腹、あなたが吸った乳房は幸いです。」
28しかし、イエスは言われた。「いや、幸いなのは、[1]神のことばを聞いてそれを守る人たちです。」
29さて、群衆の数がふえて来ると、イエスは話し始められた。「この時代は悪い時代です。しるしを求めているが、*ヨナのしるしのほかには、しるしは与えられません。
30というのは、ヨナがニネベの人々のために、しるしとなったように、人の子がこの時代のために、しるしとなるからです。
31南の女王が、さばきのときに、この時代の人々とともに立って、彼らを罪に定めます。なぜなら、彼女はソロモンの知恵を聞くために地の果てから来たのです。しかし、見なさい。ここにソロモンよりもまさった者がいるのです。
32ニネベの人々が、さばきのときに、この時代の人々とともに立って、この人々を罪に定めます。なぜなら、ニネベの人々はヨナの説教で悔い改めたからです。しかし、見なさい。ここにヨナよりもまさった者がいるのです。
33[1]だれも、あかりをつけてから、それを穴倉や、枡の下に置く者はいません。燭台の上に置きます。はいって来る人々に、その光が見えるためです。
34[1]からだのあかりは、あなたの目です。目が健全なら、あなたの全身も明るいが、しかし、目が悪いと、からだも暗くなります。
35だから、あなたのうちの光が、暗やみにならないように、気をつけなさい。
36もし、あなたの全身が明るくて何の暗い部分もないなら、その全身はちょうどあかりが輝いて、あなたを照らすときのように明るく輝きます。」
37イエスが話し終えられると、ひとりのパリサイ人が、食事をいっしょにしてください、とお願いした。そこでイエスは家にはいって、食卓に着かれた。
38そのパリサイ人は、イエスが*食事の前に、まずきよめの洗いをなさらないのを見て、驚いた。
39すると、主は言われた。「なるほど、あなたがたパリサイ人は、杯や大皿の外側はきよめるが、その内側は、強奪と邪悪とでいっぱいです。
40愚かな人たち。外側を造られた方は、内側も造られたのではありませんか。

27 ①出ルカ三・二九
28 ①ルカ八・二一
29 ①ルカ二・二九-三二、マタ一二・三八-四二、②ルカ一一・一六 *あるいは「証拠としての奇蹟」
33 ①ルカ八・一六、マタ五・一五、マコ四・二一
34 ①ルカ一一・三四-三六、マタ六・二二、二三
38 *あるいは「昼食」
39 ①出マタ二三・二五、マコ七・四 **ギリシヤ語「バプテスマ」
40 ①ルカ一二・二〇、Ⅰコリ一五・三六

41 とにかく、うちのものを施しに用いなさい。*そうすれば、いっさいが、あなたがたにとってきよいものとなります。

42 だが、忌まわしいものだ。パリサイ人。あなたがたは、はっか、うん香、あらゆる野菜などの十分の一を納めているが、神の正義と愛とはなおざりにしています。*これこそ、実行しなければならない事がらです。ただし他のほうも、なおざりにしてはいけません。

43 忌まわしいものだ。パリサイ人。あなたがたは、会堂の上席や、市場であいさつされることが好きです。

44 忌まわしいことだ。あなたがたは、人目につかぬ墓のようで、その上を歩く人々も気がつかない。」

45 すると、ある律法の専門家が、答えて言った。「先生。そのようなことを言われることは、私たちをも侮辱することです。」

46 しかし、イエスは言われた。「あなたがた律法の専門家たちも忌まわしいものだ。あなたがたは、人々には負いきれない荷物を負わせるが、自分は、その荷物に指一本もさわろうとはしない。

47 忌まわしいことだ。あなたがたは、預言者たちの*墓を建てている。しかし、あなたがたの先祖は預言者たちを殺したのです。

48 そのようにして、あなたがたは、自分の先祖のしたことの証人となり、それを認めています。なぜなら、あなたがたの先祖が預言者たちを殺し、あなたがたがその墓を建てているからです。

49 だから、神の知恵もこう言いました。『わたしは預言者たちや使徒たちを彼らに遣わすが、彼らは、そのうちのある者を殺し、ある者を迫害する。

50 それは、アベルの血から、祭壇と*神の家との間で殺されたザカリヤの血に至るまでの、世の初めから流されたすべての*預言者の血の責任を、この時代が問われるためである。

51 そうだ。わたしは言う。この時代はその*責任を問われる。』

52 忌まわしいものだ。律法の専門家たち。あなたがたは、知識のかぎを持ち去り、自分もはいらず、はいろうとする人々をも妨げたのです。」

53 イエスがそこを出て行かれると、律法学者、パリサイ人たちのイエスに対する激しい敵対と、いろいろのことについてのしつこい質問攻めとが始まった。

54 彼らは、イエスの口から出ることに、言いがかりをつけようと、ひそかに計った。

12

1 そうこうしている間に、おびただしい数の群衆が集まって来て、互いに足を踏み合うほどになった。イエスはまず弟子たちに対して、話しだされた。「パリサイ人のパン種に気をつけなさい。それは彼らの偽善のことです。

2 おおいかぶされているもので、現わされないものはなく、隠されているもので、知られずに済むものはありません。

3 ですから、あなたがたが暗やみで言ったことが、明

41 ①ルカ三・三、旧ルカ一六・九 *直訳「見よ」 ②旧マタ七・九、テト一・一五

42 ①マタ二三・二三、②ルカ一八・一二 *直訳「これらのこと」 **直訳「ほかのこと」

43 ①マタ二三・六、七、マコ一二・三九、ルカ二〇・四六、旧ルカ一一・四三 ②マタ二三・七

44 ①マタ二三・二七

45 ①ルカ一一・四六、四九、③マタ二三・二三

46 ①ルカ一一・四五、四九、③マタ二三・二三、②マタ二三・四 *直訳「そして」

47 ①マタ二三・二九以下 *あるいは「記念碑」

49 ①ルカ一一・四五、五一、旧マタ二三・三四、四六、②旧Ⅰコリ一・二四、三〇、コロ二・三 *あるいは「追い出す」

50 *「神の」は補足 ①③マタ二三・三四 **あるいは、預言者の血がこの時代に求められるためです」

51 *あるいは「求められる」 ①ルカ一一・四五、四九、③マタ二三・三五、②マタ二三・三二

52 ①ルカ一一・四五、四九、③マタ二三・一三、②使三・一七、旧マコ一二・一二

54 ①マコ三・二、旧マコ三・二 ②マタ二二・一五

1 ①マタ一六・六、一一以下、マコ八・一五

2 ①ルカ三・一七、マタ一〇・二六、マコ四・二二

3 ①ルカ八・一七、マタ一〇・二六

るみで開かれ、家の中でささやいたことが、[1]屋上で言い広められます。

4 そこで、わたしの友であるあなたがたに言います。からだを殺しても、あとはそれ以上何もできない人間たちを恐れてはいけません。

5 恐れなければならない方を、あなたがたに教えてあげましょう。[1][2]殺したあとで、ゲヘナに投げ込む権威を持っておられる方を恐れなさい。そうです。あなたがたに言います。この方を恐れなさい。

6 [1]五羽の雀は二アサリオン*で売っているでしょう。そんな雀の一羽でも、神の御前には忘れられてはいません。

7 それどころか、[1]あなたがたの頭の毛さえも、みな数えられています。恐れることはありません。あなたがたは、たくさんの雀よりもすぐれた者です。

8 そこで、あなたがたに言います。だれでも、わたしを人の前で認める者は、人の子もまた、その人を神の御使いたちの前で認めます。

9 しかし、わたしを人の前で知らないと言う者は、[1]神の御使いたちの前で知らないと言われます。

10 [1]たとい、人の子をそしることばを使う者があっても、赦されます。しかし、聖霊をけがす者は赦されません。

11 また、人々があなたがたを、会堂や役人や権力者などのところに連れて行ったとき、何をどう弁明しようか、何を言おうかと心配するには及びません。

12 言うべきことは、そのときに聖霊が教えてくださるからです。」

13 群衆の中のひとりが、「先生。私と遺産を分けるように私の兄弟に話してください。」と言った。

14 すると彼に言われた。[1]「いったいだれが、わたしをあなたがたの裁判官や調停者に任命したのですか。」

15 そして人々に言われた。[1]「どんな貪欲にも注意して、よく警戒しなさい。なぜなら、いくら豊かな人でも、その人のいのちは財産にあるのではないからです。」

16 それから人々にたとえを話された。

「ある金持ちの畑が豊作であった。

17 そこで彼は、心の中でこう言いながら考えた。『どうしよう。作物をたくわえておく場所がない。』

18 そして言った。『こうしよう。あの倉を取りこわして、もっと大きいのを建て、穀物や財産はみなそこにしまっておこう。

19 そして、自分のたましいにこう言おう。「たましいよ。[1]これから先何年分もいっぱい物がためられた。さあ、安心して、食べて、飲んで、楽しめ。」』

20 しかし神は彼に言われた。『[1][2]愚か者。おまえのたましいは、今夜おまえから取り去られる。そうしたら、[3]おまえが用意した物は、いったいだれのものになるのか。』

21 [1]自分のためにたくわえても、神の前に富まない者はこのとおりです。」

22 [1]それから弟子たちに言われた。「だから、わたしはあなたがたに言います。いのちのことで何を食べようか

3 * 直訳「耳の中に語った」
① マタ 10:27、㊐マタ 24:26・ヨハ 18:20
4 ① ヨハ 15:13・ヨハ 15:14
5 ① ヘブ 10:31、② ㊐マタ 5:22
6 ① 旧マタ 10:29
* 最小単位の銅貨
7 ① ㊐マタ 6:26
8 ① 旧マタ 10:32、ルカ 12:8・ロマ 10:9
9 ① 旧ルカ 9:26、㊐マタ 10:33、② 旧マタ 10:33、ルカ 12:9・ロマ 10:9
10 ① 旧マタ 12:31、32、マコ 3:29・ヘブ 6:6
11 ① 旧マタ 10:19、② ルカ 12:12、三、㊐マタ 5:25、10:19・マコ 13:11、旧ルカ 21:14
12 ① ㊐マタ 10:19、旧ルカ 21:15
13 ① 旧ミカ 7:6、ロマ 2:1、3、9:20
14 ① 旧Ⅰテモ 6:4
15 ① 旧伝 2:26
19 ① 旧伝 11:9
20 ① エレ 17:11、ルカ 12:33
② ヨブ 27:8
* 直訳「彼らがおまえのたましいをおまえから求めている」
③ 詩 39:6
21 ① 旧ルカ 12:33
22 ① ルカ 12:22-31、マタ 6:25-33

かと心配したり、からだのことで何を着ようかと心配したりするのはやめなさい。
23 いのちは食べ物よりたいせつであり、からだは着物よりたいせつだからです。
24 1)烏のことを考えてみなさい。蒔きもせず、刈り入れもせず、納屋も倉もありません。けれども、神が彼らを養っていてくださいます。あなたがたは、鳥よりも、はるかにすぐれたものです。
25 11)あなたがたのうちのだれが、心配したからといって、自分の*いのちを少しでも延ばすことができますか。
26 こんな小さなことさえできないで、なぜほかのことまで心配するのですか。
27 ゆりの花のことを考えてみなさい。どうして*育つのか。紡ぎもせず、織りもしないのです。しかし、わたしはあなたがたに言います。栄華を窮めた1)ソロモンでさえ、このような花の一つほどにも着飾ってはいませんでした。
28 しかし、きょうは野にあって、あすは炉に投げ込まれる草をさえ、神はこのように装ってくださるのです。ましてあなたがたには、どんなによくしてくださることでしょう。ああ、信仰の薄い人たち。
29 何を食べたらよいか、何を飲んだらよいか、と捜し1)求めることをやめ、気をもむことをやめなさい。
30 *これらはみな、この世の異邦人たちが切に求めているものです。しかし、あなたがたの父は、それがあなたがたにも必要であることを知っておられます。
31 何はともあれ、あなたがたは、神の国を求めなさい。そうすれば、1)これらの物は、それに加えて与えられます。
32 1)小さな群れよ。恐れることはありません。2)あなたがたの父である神は、喜んであなたがたに御国をお与えになるからです。
33 持ち物を売って、施しをしなさい。自分のために、古くならない財布を作り、2)朽ちることのない宝を天に積み上げなさい。そこには、盗人も近寄らず、しみもいためることがありません。
34 1)あなたがたの宝のあるところに、あなたがたの心もあるからです。
35 1)2)腰に帯を締め、あかりをともしていなさい。
36 主人が婚礼から帰って来て戸をたたいたら、すぐに戸をあけようと、その帰りを待ち受けている人たちのようでありなさい。
37 帰って来た主人に、1)目をさましているところを見られるしもべたちは幸いです。まことに、あなたがたに告げます。2)主人のほうが帯を締め、そのしもべたちを食卓に着かせ、そばにいて給仕をしてくれます。
38 主人が真夜中に帰っても、夜明けに帰っても、いつでもそのようであることを見られるなら、そのしもべたちは幸いです。
39 1)このことを知っておきなさい。もしも家の主人が、どろぼうの来る時間を知っていたなら、おめおめと自分の家に2)*押し入られはしなかったでしょう。

---

24 ①ヨブ三八・四一、②ルカ一二・六
25 ①旧詩三九・五
* あるいは「身長」
** 原語「ペーキュス」。長さを測る単位（前腕）の長さ
27 * 異本に「育つのか」を欠くものもある
① I 列一〇・四-七
28 ①箴マタ六・三〇
29 ①旧マタ六・三一
30 * 別訳「これらの物をすべての異邦人……」
31 ①箴マタ六・三三
32 ①旧ヨハ一三・一-七、一七・一一、②箴マタ一〇・三七、③旧エペ一・五、九
33 ①箴マタ一九・二一、ルカ一八・二二、旧ルカ一二・四一、②マタ六・二〇、旧ルカ一二・二一
34 ①マタ六・二一
35 ①ルカ一二・三五、三七、旧マタ三五・一以下、②旧エペ六・一四
36 ①箴マタ二四・四二、②旧エペ六・一四
37 ①箴マタ二四・四二、②ルカ一七・八、ヨハ一三・四
38 ①箴マタ二四・四三
* 直訳「第二の夜回り」すなわち「午後九時から夜中まで」
** 直訳「第三の夜回り」すなわち「夜中の十二時から午前三時まで」
39 ①ルカ三・九、四四、マタ二四・四三、四四、②箴マタ六・一九
* 直訳「掘り抜かれる」

40 [1]あなたがたも用心していなさい。人の子は、思いがけない時に来るのですから。」
41 そこで、ペテロが言った。「主よ。このたとえは私たちのために話してくださるのですか。[1]それともみなのためなのですか。」
42 主は言われた。「では、主人から、その家のしもべたちを任されて、食事時には彼らに食べ物を与える忠実な思慮深い管理人とは、いったいだれでしょう。
43 主人が帰って来たときに、そのようにしているのを見られるしもべは幸いです。
44 わたしは真実をあなたがたに告げます。主人は彼に自分の全財産を任せるようになります。
45 ところが、もし、そのしもべが、『*主人の帰りはまだだ。』と心の中で思い、下男や下女を打ちたたき、食べたり飲んだり、酒に酔ったりし始めると、
46 しもべの主人は、思いがけない日の思わぬ時間に帰って来ます。そして、彼をきびしく罰して、不忠実な者どもと同じめに会わせるに違いありません。
47 主人の心を知りながら、その思いどおりに用意もせず、働きもしなかったしもべは、[1]ひどくむち打たれます。
48 しかし、[1]知らずにいたために、むち打たれるようなことをしたしもべは、打たれても、少しで済みます。すべて、多く与えられた者は多く求められ、多く任された者は多く要求されます。
49 わたしが来たのは、地に火を投げ込むためです。だから、その火が燃えていたらと、どんなに願っていることでしょう。
50 しかし、わたしには受けるバプテスマがあります。それが成し遂げられるまでは、どんなに苦しむことでしょう。
51 [1]あなたがたは、地に平和を与えるためにわたしが来たと思っているのですか。そうではありません。あなたがたに言いますが、むしろ、分裂です。
52 今から、一家五人は、三人がふたりに、ふたりが三人に対抗して分かれるようになります。
53 父は息子に、息子は父に対抗し、母は娘に、娘は母に対抗し、しゅうとめは嫁に、嫁はしゅうとめに対抗して分かれるようになります。」
54 群衆にもこう言われた。「[1]あなたがたは、西に雲が起こるのを見るとすぐに、『にわか雨が来るぞ。』と言い、事実そのとおりになります。
55 また南風が吹きだすと、『暑い日になるぞ。』と言い、事実そのとおりになります。
56 偽善者たち。[1]あなたがたは地や空の現象を見分けることを知りながら、どうして今のこの時代を見分けることができないのですか。
57 また、[1]なぜ自分から進んで、何が正しいかを判断しないのですか。
58 [1]あなたを告訴する者といっしょに役人の前に行くときは、途中でも、熱心に彼と和解するよう努めなさい。そうでないと、その人はあなたを裁判官のもとにひっ

40 ①欄ルカ二・三六、マコ一三・三三
41 ①欄ルカ二・四七、四八
42 ①ルカ一二・四四、マタ二四・四五・五一、②欄ルカ七・一三、③欄マタ二四・四五、ルカ一六・一以下
43 ①ルカ一二・四四
45 * 直訳「主人の帰りは時間がかかる」
47 ①申二五・二
48 ①レビ五・一七、民一五・二九、三〇、②欄マタ一二・四八
50 ①マコ一〇・三八
51 ①ルカ一二・五一以下、マタ一〇・三四―三六
53 ①ミカ七・六、マタ一〇・二一
54 ①欄マタ一六・二、三
55 ①欄マタ一六・二、三
56 ①マタ一六・三
* 直訳「どのようにして」
57 ①欄ルカ一二・五八
58 ①ルカ一二・五六、五七、マタ五・二五、二六
* 直訳「彼から赦してもらえるように」

ぱって行きます。裁判官は執行人に引き渡し、執行人は牢に投げ込んでしまいます。
59あなたに言います。最後の一レプタを支払うまでは、そこから決して出られないのです。」

13 1ちょうどそのとき、ある人たちがやって来て、イエスに報告した。ピラトがガリラヤ人たちの血をガリラヤ人たちのささげる犠牲に混ぜたというのである。
2イエスは彼らに答えて言われた。「そのガリラヤ人たちがそのような災難を受けたから、ほかのどのガリラヤ人よりも罪深い人たちだったとでも思うのですか。
3そうではない。わたしはあなたがたに言います。あなたがたも悔い改めないなら、みな同じように滅びます。
4また、シロアムの塔が倒れ落ちて死んだあの十八人は、エルサレムに住んでいるだれよりも罪深い人たちだったとでも思うのですか。
5そうではない。わたしはあなたがたに言います。あなたがたも悔い改めないなら、みな同じように滅びます。」
6イエスはこのようなたとえを話された。
「ある人が、ぶどう園にいちじくの木を植えておいた。実を取りに来たが、何も見つからなかった。
7そこで、ぶどう園の番人に言った。『見なさい。三年もの間、やって来ては、このいちじくの実のなるのを待っているのに、なっていたためしがない。これを切り倒してしまいなさい。何のために土地をふさいでいるのですか。』
8番人は答えて言った。『ご主人。どうか、ことし一年そのままにしてやってください。木の回りを掘って、肥やしをやってみますから。
9もしそれで来年、実を結べばよし、それでもだめなら、切り倒してください。』」
10イエスは安息日に、ある会堂で教えておられた。
11すると、そこに十八年も病の霊につかれ、腰が曲がって、全然伸ばすことのできない女がいた。
12イエスは、その女を見て、呼び寄せ、「あなたの病気はいやされました。」と言って、
13手を置かれると、女はたちどころに腰が伸びて、神をあがめた。
14すると、それを見た会堂管理者は、イエスが安息日にいやされたのを憤って、群衆に言った。「働いてよい日は六日です。その間に来て直してもらうがよい。安息日には、いけないのです。」
15しかし、主は彼に答えて言われた。「偽善者たち。あなたがたは、安息日に、牛やろばを小屋からほどき、水を飲ませに連れて行くではありませんか。
16この女はアブラハムの娘なのです。それを十八年もの間サタンが縛っていたのです。安息日だからといってこの束縛を解いてやってはいけないのですか。」
17こう話されると、反対していた者たちはみな、恥じ入り、群衆はみな、イエスのなさったすべての輝かし

59 ①マコ一二・四四
* 一レプタは一デナリの一二八分の一に相当する最小単位の銅貨
1 ①聖マタ三章
* あるいは「とともに流した」
2 ①比ヨハ九・二※
4 ①イザ八・六(比)ネヘ三・一五)ヨハ七・七、二、②比マタ六・一二ルカ一一・四
* 直訳「負いめのある人たち」
6 ①マタ二一・一九
7 * 直訳「私は何も見ていない」
①マタ三・一〇、七・一九、ルカ三・九
9 * 「よし」は補足
10 ①聖マタ四・二三
11 ①ルカ一三・一六
13 ①聖マコ五・二三、②聖マタ九・一八
14 ①聖マコ三・二、②比マタ一二・一、ルカ一四・三、③出二〇・九
申三・一三
15 ①聖ルカ一二・二、②ルカ一四・五
16 ①比ルカ九・九、②聖マタ四・一、比ルカ一三・一一
17 ①ルカ八・四四

いみわざを喜んだ。

18 そこで、イエスはこう言われた。「神の国は、何に
1) 2)
似ているでしょう。何に比べたらよいでしょう。
19 それは、からし種のようなものです。それを取って
庭に蒔いたところ、生長して木になり、空の鳥が枝に
巣を作りました。」

20 またこう言われた。「神の国を何に比べましょう。
1)
21 パン種のようなものです。女がパン種を取って、三
2)
*サトンの粉に混ぜたところ、全体がふくれました。」

22 イエスは、町々村々を次々に教えながら通り、エ
1)
ルサレムへの旅を続けられた。

23 すると、「主よ。救われる者は少ないのですか。」と
1)
言う人があった。イエスは、人々に言われた。

24 「努力して狭い門からはいりなさい。なぜなら、あ
1)
なたがたに言いますが、はいろうとしても、はいれな
くなる人が多いのですから。

25 家の主人が、立ち上がって、戸をしめてしまってか
2)
らでは、外に立って、『ご主人さま。あけてください。』と
言って、戸をいくらたたいても、もう主人は、『あなた
3)
がたがどこの者か、私は知らない。』と答えるでしょう。

26 すると、あなたがたは、こう言い始めるでしょう。
1)
『私たちは、*ごいっしょに、食べたり飲んだりいたし
ましたし、私たちの大通りで教えていただきました。』

27 だが、主人はこう言うでしょう。『私はあなたがた
1)
2)
どこの者だか知りません。不正を行なう者たち。みな
出て行きなさい。』

28 神の国にアブラハムやイサクやヤコブや、すべての
預言者たちがはいっているのに、あなたがたは外に投
げ出されることになったとき、そこで泣き叫んだり、
1)
歯ぎしりしたりするのです。

29 人々は、東からも西からも、また南からも北からも
1)
来て、神の国で食卓に着きます。

30 いいですか、今しんがりの者があとで先頭になり、
1)
いま先頭の者がしんがりになるのです。」

31 ちょうどそのとき、何人かのパリサイ人が近寄っ
て来て、イエスに言った。「ここから出てほかの所へ行
1)
きなさい。ヘロデがあなたを殺そうと思っています。」

32 イエスは言われた。「行って、あの狐にこう言いなさ
い。『よく見なさい。わたしは、きょうと、あすとは、
悪霊どもを追い出し、病人を直し、三日目に全うされ
1)
ます。

33 だが、わたしは、きょうもあすも次の日も進んで行
かなければなりません。なぜなら、預言者がエルサレ
2)
ム以外の所で死ぬことはありえないからです。』

34 1)ああ、エルサレム、エルサレム。預言者たちを殺し、
自分に遣わされた人たちを石で打つ者、わたしは、め
2)
んどりがひなを翼の下にかばうように、あなたの子ら
を幾たび集めようとしたことか。それなのに、あなた
がたはそれを好まなかった。

35 見なさい。あなたがたの家は荒れ果てたままに残さ
れる。わたしはあなたがたに言います。『祝福あれ。
1)
主の御名によって来られる方に』とあなたがたの言う

18 ①ルカ三・八、九、マタ三・
三、マ四・三㊟三、ルカ三・三
②㊟マタ三・三四、ルカ三・六
20 ①㊟マタ三・三四、ルカ三・六
21 ①ルカ三・三、マタ三・
三、②㊟マタ三・三
*一サトンは一三リットル
22 ①㊟ルカ九・五一
24 ①マタ七・一三
25 ①マタ二五・一〇、②マタ二五・一一
㊟マタ七・二三、③ルカ一三・七
マタ七・二三、二五・一二
26 ①㊟ルカ一三・八
*直訳「あなたの前で」
27 ①ルカ一三・二七、②詩六・八
マタ七・二三
28 ①㊟マタ八・一二
29 ①マタ八・一一
30 ①㊟マタ一九・三〇
31 ①㊟マタ二四・一、ルカ一三・一、九・
七、三一・七
32 ①㊟ヘブ二・一〇、五・九、七・二六
33 ①㊟ヨハ一一・九、②㊟マタ
三・一一
34 ①ルカ一三・三四、三五、マタ二三・
三七㊟、㊟ルカ九・四一
②㊟マタ二三・三七
35 ①詩一一八・二六、マタ二三・九
ルカ九・五六

ときが来るまでは、あなたがたは決してわたしを見ることができません。」

14

1 ある安息日に、食事をしようとして、パリサイ派のある指導者の家にはいられたとき、みんながじっとイエスを見つめていた。
2 *そこには、イエスの真正面に、水腫をわずらっている人がいた。
3 イエスは、律法の専門家、パリサイ人たちに、「安息日に病気を直すことは正しいことですか、それともよくないことですか。」と言われた。
4 しかし、彼らは黙っていた。それで、イエスはその人を抱いて直してやり、そしてお帰しになった。
5 それから、彼らに言われた。「自分の息子や*牛が井戸に落ちたのに、安息日だからといって、すぐに引き上げてやらない者があなたがたのうちにいるでしょうか。」
6 彼らは答えることができなかった。
7 招かれた人々が上座を選んでいる様子に気づいておられたイエスは、彼らにたとえを話された。
8 「婚礼の披露宴に招かれたときには、上座にすわってはいけません。あなたより身分の高い人が、招かれているかもしれないし、
9 あなたやその人を招いた人が来て、『この人に席を譲ってください。』とあなたに言うなら、そのときあなたは恥をかいて、末席に着かなければならないでしょう。
10 招かれるようなことがあって、行ったなら、末席に着きなさい。そうしたら、あなたを招いた人が来て、『どうぞもっと上席にお進みください。』と言うでしょう。そのときは、*満座の中で面目を施すことになります。
11 なぜなら、だれでも自分を高くする者は低くされ、自分を低くする者は高くされるからです。」
12 また、イエスは、自分を招いてくれた人にも、こう話された。「昼食や夕食のふるまいをするなら、友人、兄弟、親族、近所の金持ちなどを呼んではいけません。でないと、今度は彼らがあなたを招いて、お返しすることになるからです。
13 祝宴を催すばあいには、むしろ、貧しい人、不具の人、足なえ、盲人たちを招きなさい。
14 その人たちはお返しができないので、あなたは幸いです。義人の復活のときお返しを受けるからです。」
15 イエスといっしょに食卓に着いていた客のひとりはこれを聞いて、イエスに、「神の国で食事する人は、何と幸いなことでしょう。」と言った。
16 するとイエスはこう言われた。
「ある人が盛大な宴会を催し、大ぜいの人を招いた。
17 宴会の時刻になったのでしもべをやり、招いておいた人々に、『さあ、おいでください。もうすっかり、用意ができましたから。』と言わせた。
18 ところが、みな同じように断わり始めた。最初の人はこう言った。『畑を買ったので、どうしても見に出

1 ①図マコ三・二
2 *直訳「見よ」
3 ①図マタ三・三五、②出マタ三・二一、ルカ一三・一四、③図使三・三
5 *異本に「ろば」とするものがある
6 ①図マタ三・四六、出ルカ一三・一五
7 ①図マタ三・六
8 ①出箴二五・六、七
9 *直訳「末席に着くために動き始める」
10 ①出箴二五・六、七
*直訳「席に着いている人人の中で」
11 ①ルカ一六・一五、マタ二三・一二
14 ①出ヨハ五・二九、使二四・一五
黙示二〇・五(?)
15 ①出黙一九・九
16 ①ルカ一四・一六―二四、出マタ二二・一―一四

かけなければなりません。*すみませんが、お断わりさせていただきます。』
19 もうひとりはこう言った。『五くびきの牛を買ったので、それをためしに行くところです。*すみませんが、お断わりさせていただきます。』
20 また、別の人はこう言った。『[1]結婚したので、行くことができません。』
21 しもべは帰って、このことを主人に報告した。すると、おこった主人は、そのしもべに言った。『急いで町の大通りや路地に出て行って、貧しい人や、不具の人や、盲人や、足なえをここに連れて来なさい。』
22 しもべは言った。『ご主人さま。仰せのとおりにいたしました。でも、まだ席があります。』
23 主人は言った。『街道や垣根のところに出かけて行って、この家がいっぱいになるように、無理にでも人々を連れて来なさい。
24 言っておくが、あの招待されていた人たちの中で、私の食事を味わう者は、ひとりもいないのです。』」
25 さて、大ぜいの群衆が、イエスといっしょに歩いていたが、イエスは彼らのほうに向いて言われた。
26 「『わたしのもとに来て、自分の父、母、妻、子、兄弟、姉妹、そのうえ自分のいのちまでも憎まない者は、わたしの弟子になることができません。
27 自分の十字架を負ってわたしについて来ない者は、わたしの弟子になることはできません。
28 塔を築こうとするとき、まずすわって、完成に十分な金があるかどうか、その費用を計算しない者が、あなたがたのうちにひとりでもあるでしょうか。
29 基礎を築いただけで完成できなかったら、見ていた人はみな彼をあざ笑って、
30 『この人は、建て始めはしたものの、完成できなかった。』と言うでしょう。
31 また、どんな王でも、ほかの王と戦いを交えようとするときは、二万人を引き連れて向かって来る敵を、一万人で迎え撃つことができるかどうかを、まずすわって、考えずにいられましょうか。
32 もし見込みがなければ、敵がまだ遠くに離れている間に、*使者を送って講和を求めるでしょう。
33 そういうわけで、あなたがたはだれでも、[1]自分の財産全部を捨てないでは、わたしの弟子になることはできません。
34 ですから、塩は良いものですが、[1]もしその塩が塩けをなくしたら、何によってそれに味をつけるのでしょうか。
35 土地にも肥やしにも役立たず、*外に投げ捨てられてしまいます。[1]聞く耳のある人は聞きなさい。」

15

1 さて、[1]取税人、罪人たちがみな、イエスの話を聞こうとして、みもとに近寄って来た。
2 すると、パリサイ人、律法学者たちは、つぶやいてこう言った。「この人は、罪人たちを受け入れて、[1]食事までいっしょにする。」

18* 直訳「お願いいたします」
19* 直訳「お願いいたします」
20 ①申二四・五、四Ⅰコリ七・三三
26 ①マタ一〇・三七、三八
27 ①⇒マタ一〇・三八
32* あるいは「大使」
33 ①四ピリ三・七、ヘブ一一・二六
34 ①マタ五・一三、マコ九・五〇
35* 直訳「彼らはそれを外に投げ捨ててしまいます」
①⇒マタ一一・一五
1 ①四ルカ五・三〇
2 ①⇒マタ九・一一

3 そこでイエスは、彼らにこのようなたとえを話された。
4 「あなたがたのうちに羊を百匹持っている人がいて、そのうちの一匹をなくしたら、その人は九十九匹を*野原に残して、いなくなった一匹を見つけるまで捜し歩かないでしょうか。
5 見つけたら、大喜びでその羊をかついで、
6 帰って来て、友だちや近所の人たちを呼び集め、『いなくなった羊を見つけましたから、いっしょに喜んでください。』と言うでしょう。
7 あなたがたに言いますが、それと同じように、ひとりの罪人が悔い改めるなら、悔い改める必要のない九十九人の正しい人にまさる喜びが天にあるのです。
8 また、女の人が*銀貨を十枚持っていて、もしその一枚をなくしたら、あかりをつけ、家を掃いて、見つけるまで念入りに捜さないでしょうか。
9 見つけたら、友だちや近所の女たちを呼び集めて、『なくした銀貨を見つけましたから、いっしょに喜んでください。』と言うでしょう。
10 あなたがたに言いますが、それと同じように、ひとりの罪人が悔い改めるなら、神の御使いたちに喜びがわき起こるのです。」
11 またこう話された。
「ある人に息子がふたりあった。
12 弟が父に、『おとうさん。私に財産の分け前を下さい。』と言った。それで父は、身代をふたりに分けてやった。
13 それから、幾日もたたぬうちに、弟は、何もかもまとめて遠い国に旅立った。そして、そこで放蕩して湯水のように財産を使ってしまった。
14 何もかも使い果たしたあとで、その国に大ききんが起こり、彼は食べるにも困り始めた。
15 それで、その国のある人のもとに身を寄せたところ、その人は彼を畑にやって、豚の世話をさせた。
16 彼は豚の食べるいなご豆で腹を満たしたいほどであったが、だれひとり彼に与えようとはしなかった。
17 しかし、我に返ったとき彼は、こう言った。『父のところには、パンのあり余っている雇い人が大ぜいいるではないか。それなのに、私はここで、飢え死にしそうだ。
18 立って、父のところに行って、こう言おう。「おとうさん。私は天に対して罪を犯し、またあなたの前に罪を犯しました。
19 もう私は、あなたの子と呼ばれる資格はありません。雇い人のひとりにしてください。」』
20 こうして彼は立ち上がって、自分の父のもとに行った。ところが、まだ家までは遠かったのに、父親は彼を見つけ、かわいそうに思い、走り寄って彼を抱き、**口づけした。
21 息子は言った。『おとうさん。私は天に対して罪を犯し、またあなたの前に罪を犯しました。もう私は、あなたの子と呼ばれる資格はありません。』*

4 ①ルカ一五・四-七、㊟マタ一八・一二-一四
* 直訳「荒野」
8 * ギリシヤ語「ドラクマ」
10 * 直訳「の前に」
①㊟ルカ一五・七
12 ①申二一・一七、②㊥マコ一三・四四
ルカ一五・三〇
20 ①創四五・一四、四六・二九、使二〇・三七
* 直訳「首を抱きかかえて」
** 直訳「何度も何度も口づけした」
21 * 異本に「私をあなたの雇い人のひとりのようにしてください」を加えるものがある

22 ところが父親は、しもべたちに言った。『急いで一番
良い着物を持って来て、この子に着せなさい。それ
から、手に指輪をはめさせ、足にくつをはかせなさ
い。
23 そして肥えた子牛を引いて来てほふりなさい。食べ
て祝おうではないか。
24 この息子は、死んでいたのが生き返り、いなくなっ
ていたのが見つかったのだから。』
そして彼らは祝宴を始めた。
25 ところで、兄息子は畑にいたが、帰りかけて家に近
づくと、音楽や踊りの音が聞こえて来た。それで、
26 しもべのひとりを呼んで、これはいったい何事かと
尋ねると、
27 しもべは言った。『弟さんがお帰りになったのです。
無事な姿をお迎えしたというので、おとうさんが、
肥えた子牛をほふらせなさったのです。』
28 すると、兄はおこって、家にはいろうともしなかっ
た。それで、父が出て来て、いろいろなだめてみた。
29 しかし兄は父にこう言った。『ご覧なさい。長年の
間、私はおとうさんに仕え、戒めを破ったことは一
度もありません。その私には、友だちと楽しめと言
って、子山羊一匹下さったことがありません。
30 それなのに、遊女におぼれてあなたの身代を食いつ
ぶして帰って来た子のためには、肥えた子牛をほふ
らせなさったのですか。』
31 父は彼に言った。『おまえはいつも私といっしょに
いる。私のものは、全部おまえのものだ。
32 だが弟は、死んでいたのが生き返って来たのだ。い
なくなっていたのが見つかったのだから、楽しんで
喜ぶのは当然ではないか。』

16

1 イエスは、弟子たちにも、こういう話をされた。
「ある金持ちにひとりの管理人がいた。この管理人
が主人の財産を乱費している、という訴えが出され
た。
2 主人は、彼を呼んで言った。『おまえについてこんな
ことを聞いたが、何ということをしてくれたのだ。
もう管理を任せておくことはできないから、会計の
報告を出しなさい。』
3 管理人は心の中で言った。『主人にこの管理の仕事
を取り上げられるが、さてどうしよう。土を掘るに
は力がないし、こじきをするのは恥ずかしいし。
4 ああ、わかった。こうしよう。こうしておけば、い
つ管理の仕事をやめさせられても、人がその家に私
を迎えてくれるだろう。』
5 そこで彼は、主人の債務者たちをひとりひとり呼ん
で、まず最初の者に、『私の主人に、いくら借りがあ
りますか。』と言うと、
6 その人は、『油百バテ*。』と言った。すると彼は、『さ
あ、あなたの証文だ。すぐにすわって五十と書きな
さい。』と言った。
7 それから、別の人に、『さて、あなたは、いくら借り

22 ①民ゼカ三・四、繁栄・二
②出創四一・四三
24 ①ルカ一五・三二、マタ八・二二、ルカ九・六〇、Ⅰテモ五・六、エペ二・一、五、一四、コロ三・三、四ロマ一一・一五
29* あるいは「に従わなかった」
30 ①ルカ一五・一三、民箴二九・三
32 ①囲ルカ一五・二四
1 ①ルカ一五・一三
6* バテは三七リットル

がありますか。』と言うと、『小麦百コル。*』と言った。彼は、『さあ、あなたの証文だ。八十と書きなさい。』と言った。

8 この世の子らは、自分たちの世のことについては、光の子らよりも抜けめがないものなので、主人は、不正な管理人がこうも抜けめなくやったのをほめた。

9 そこで、わたしはあなたがたに言いますが、不正の富で、自分のために友をつくりなさい。そうしておけば、富がなくなったとき、彼らはあなたがたを、永遠の住まいに迎えるのです。

10 小さい事に忠実な人は、大きい事にも忠実であり、小さい事に不忠実な人は、大きい事にも不忠実です。

11 ですから、あなたがたが不正の富に忠実でなかったら、だれがあなたがたに、まことの富を任せるでしょう。

12 また、あなたがたが他人のものに忠実でなかったら、だれがあなたがたに、あなたがたのものを持たせるでしょう。

13 しもべは、ふたりの主人に仕えることはできません。一方を憎んで他方を愛したり、または一方を重んじて他方を軽んじたりするからです。あなたがたは、神にも仕え、また富にも仕えるということはできません。」

14 さて、金の好きなパリサイ人たちが、一部始終を聞いて、イエスをあざ笑っていた。

15 イエスは彼らに言われた。「あなたがたは、人の前で自分を正しいとする者です。しかし神は、あなたがたの心をご存じです。人間の間であがめられる者は、神の前で憎まれ、きらわれます。

16 律法と預言者はヨハネまでです。それ以来、神の国の福音は宣べ伝えられ、だれもかれも、無理にでも、これにはいろうとしています。

17 しかし律法の一画が落ちるよりも、天地の滅びるほうがやさしいのです。

18 だれでも妻を離別してほかの女と結婚する者は、姦淫を犯す者であり、また、夫から離別された女と結婚する者も、姦淫を犯す者です。

19 ある金持ちがいた。いつも紫の衣や細布を着て、毎日ぜいたくに遊び暮らしていた。

20 ところが、その門前にラザロという全身おできの貧乏人が寝ていて、

21 金持ちの食卓から落ちる物で腹を満たしたいと思っていた。犬もやって来ては、彼のおできをなめていた。

22 さて、この貧乏人は死んで、御使いたちによってアブラハムのふところに連れて行かれた。金持ちも死んで葬られた。

23 その金持ちは、ハデスで苦しみながら目を上げると、アブラハムが、はるかかなたに見えた。しかも、そのふところにラザロが見えた。

24 彼は叫んで言った。『父アブラハムさま。私をあわれんでください。ラザロが指先を水に浸して私の舌を冷やすように、ラザロをよこしてください。私は

7* 一コルは三七〇リットル

8 ①㊎マタ二・三、ルカ三・二三
②ヨハ三・三六、エペ五・八、Ⅰテサ五・五

9 ①ルカ一六・一一、マタ六・二四
②㊐マタ一九・二一、ルカ一二・三三、③㊐ルカ一八・二二

10 ①マタ二五・二一、二三

11 ①ルカ一六・九

12* 異本「私たち自身のもの」

13 ①マタ六・二四、②ルカ一六・九

14 ①Ⅱテモ三・二、②ルカ二三・三五

15 ①ルカ一〇・二九、㊐ルカ一八・九、一四、②Ⅰサム一六・七、箴二一・二、ロマ八・二七、㊎使一・二四

16 ①マタ一一・一三、一二、②㊐マタ一一・一三

17 ①マタ五・一八

18 ①㊎マタ五・三二

20 ①㊐使三・二

22 ①㊐ヨハ一三・二三、一・一八

23 ①㊎マタ一一・二三

24 ①ルカ一六・二三、㊐ルカ二・八、一六・九

この炎の中で、苦しくてたまりません。』
25 アブラハムは言った。『子よ。思い出してみなさい。
[1]おまえは生きている間、良い物を受け、ラザロは生
きている間、悪い物を受けていました。しかし、今
ここで彼は慰められ、おまえは苦しみもだえている
のです。
26 そればかりでなく、私たちとおまえたちの間には、
大きな淵があります。ここからそちらへ渡ろうとし
ても、渡れないし、そこからこちらへ越えて来るこ
ともできないのです。』
27 彼は言った。『父よ。ではお願いです。ラザロを私の
父の家に送ってください。
28 私には兄弟が五人ありますが、彼らまでこんな苦し
みの場所に来ることのないように、よく言い聞かせ
てください。』
29 しかしアブラハムは言った。『彼らには、[1]モーセと預
言者があります。その言うことを聞くべきです。』
30 彼は言った。『いいえ、父アブラハム。もし、だれか
が死んだ者の中から彼らのところに行ってやった
ら、彼らは悔い改めるに違いありません。』
31 アブラハムは彼に言った。『もしモーセと預言者と
の教えに耳を傾けないのなら、たといだれかが死
人の中から生き返っても、彼らは聞き入れはしな
い。』』

17

1 イエスは弟子たちにこう言われた。「つまずきが起こるのは避けら
れない。だが、つまずきを起こさせる者は、忌まわし
いものです。
2 [1]この小さい者たちのひとりに、つまずきを与えるよ
うであったら、そんな者は石臼を首にゆわえつけられ
て、海に投げ込まれたほうがましです。
3 気をつけていなさい。もし兄弟が罪を犯したなら、
彼を戒めなさい。そして悔い改めれば、赦しなさい。
4 かりに、あなたに対して一日に[1]七度罪を犯しても、
『悔い改めます。』と言って七度あなたのところに来る
なら、赦してやりなさい。」
5 使徒たちは主に言った。「私たちの信仰を増して
ください。」
6 しかし主は言われた。「もしあなたがたに、からし種
ほどの信仰があったなら、この桑の木に、『根こそぎ海
の中に植われ。』と言えば、*言いつけどおりになるので
す。
7 ところで、あなたがたのだれかに、耕作か羊飼いを
するしもべがいるとして、そのしもべが野から帰っ
て来たとき、『さあ、さあ、ここに来て、*食事をしなさ
い。』としもべに言うでしょうか。
8 かえって、『私の食事の用意をし、帯を締めて私の
食事が済むまで給仕しなさい。あとで、自分の食事を
しなさい。』と言わないでしょうか。
9 しもべが言いつけられたことをしたからといって、
そのしもべに感謝するでしょうか。
10 あなたがたもそのとおりです。自分に言いつけられ

24 ②マタ三五・四一
25 ①旧ルカ六・二四
28 ①使二・四、八三六、一〇・四一、一八・五、一九・二一以下、二三・二、二六・三、ガラ五・三、エペ四・一七、Ⅰテサ二・一二、四・六
29 ①旧ルカ一六・一七、使二六・二二、ヨ八五、四五、四七
30 ①ルカ一六・二四、旧ルカ三六、一九・九
1 ①マタ一八・七、旧Ⅰコリ一一、一九、Ⅰテモ四・一
＊あるいは「罪の誘惑」
2 ①マタ一八・六、マコ九・四二、旧Ⅰコリ八・一三
3 ①㊟マタ一八・一五
4 ①マタ一八・二一、三
5 ①㊟マコ六・三〇、②㊟ルカ七・三三
6 ①㊟ルカ一・三、②マタ一三・二一、一七・二〇、マコ四・三一、ルカ一三・一九、③旧ルカ一九・四四
＊直訳「従ったことでしょう」
7 ＊直訳「食卓に着きなさい」
8 ①旧ルカ一三・一七

たことをみな、してしまったら、『私たちは役に立たないしもべです。なすべきことをしただけです。』と言いなさい。」

11 そのころイエスはエルサレムに上られる途中、[2]サマリヤとガリラヤの境を通られた。
12 ある村にはいると、十人のらい病人がイエスに出会った。彼らは遠く離れた所に立って、
13 声を張り上げて、「イエスさま、先生。どうぞあわれんでください。」と言った。
14 イエスはこれを見て、言われた。「行きなさい。そして自分を祭司に見せなさい。」彼らは行く途中でいやされた。
15 そのうちのひとりは、自分のいやされたことがわかると、大声で神をほめたたえながら引き返して来て、
16 イエスの足もとにひれ伏して感謝した。彼はサマリヤ人であった。
17 そこでイエスは言われた。「十人いやされたのではないか。九人はどこにいるのか。
18 神をあがめるために戻って来た者は、この外国人のほかには、だれもいないのか。」
19 それからその人に言われた。「立ち上がって、行きなさい。あなたの信仰が、あなたを直したのです。」

20 さて、神の国はいつ来るのか、とパリサイ人たちに尋ねられたとき、イエスは答えて言われた。「神の国は、人の目で認められるようにして来るものではありません。
21 『そら、ここにある。』とか、『あそこにある。』とか言えるようなものではありません。いいですか。神の国は、あなたがただの中にあるのです。」

22 イエスは弟子たちに言われた。「人の子の日を一日でも見たいと願っても、見られない時が来ます。
23 人々が『こちらだ。』とか、『あちらだ。』とか言っても行ってはなりません。あとを追いかけてはなりません。
24 いなずまが、ひらめいて、天の端から天の端へと輝くように、人の子は、人の子の日には、ちょうどそのようであるからです。
25 しかし、人の子はまず、多くの苦しみを受け、この時代に捨てられなければなりません。
26 人の子の日に起こることは、ちょうど、ノアの日に起こったことと同様です。
27 ノアが箱舟にはいるその日まで、人々は、食べたり、飲んだり、めとったり、とついだりしていたが、洪水が来て、すべての人を滅ぼしてしまいました。
28 また、ロトの時代にあったことと同様です。人々は食べたり、飲んだり、売ったり、買ったり、植えたり、建てたりしていたが、
29 ロトがソドムから出て行くと、その日に、火と硫黄が天から降って、すべての人を滅ぼしてしまいました。
30 人の子の現われる日にも、全くそのとおりです。
31 その日には、屋上にいる者は家に家財があっても、取り出しに降りてはいけません。同じように、畑にいる者も家に帰ってはいけません。

11 ①㊀ルカ九・五一、②旧ルカ・三五以下、ヨ 八・三四
12 ①レビ一三・四五、四六
13 ①㊀ルカ五・五
14 ①ルカ二・四一、㊀マタ八・四
15 ①㊀マタ九・八
16 ①㊀マタ一〇・五
18 ①㊀マタ九・八
19 ①㊀マタ九・二二、ルカ一八・四二
20 ①ルカ九・二一、使一・六
21 ①ルカ一七・二三
22 ①マタ九・一五、マコ二・二〇、ルカ五・三五
23 ①マタ二四・二三、マコ一三・二一、旧ルカ二一・八
24 ①マタ二四・二七
25 ①旧マタ一六・二一、ルカ九・二二
26 ①ルカ一七・二六、二七、マタ二四・三七・三九
28 ①創一九章
30 ①Ⅰコリ一五・七、Ⅱテサ一・七、Ⅰペテ一・七、旧コロ三・四、Ⅰヨハ二・二八、Ⅰペテ四・一三、マタ一六・二七
31 ①マタ二四・一七、一八、マコ一三・一五、一六、旧ルカ二一・二一

32 ロトの妻を思い出しなさい。
33 自分のいのちを救おうと努める者はそれを失い、それを失う者はいのちを保ちます。
34 あなたがたに言いますが、その夜、同じ寝台で男がふたり寝ていると、ひとりは取られ、他のひとりは残されます。
35 女がふたりいっしょに臼をひいていると、ひとりは取られ、他のひとりは残されます。」
37 弟子たちは答えて言った。「主よ。どこでですか。」
主は言われた。「死体のある所、そこに、はげたかも集まります。」

18

1 いつでも祈るべきであり、失望してはならないことを教えるために、イエスは彼らにたとえを話された。
2 「ある町に、神を恐れず、人を人とも思わない裁判官がいた。
3 その町に、ひとりのやもめがいたが、彼のところにやって来ては、『私の相手をさばいて、私を守ってください。』と言っていた。
4 彼は、しばらくは取り合わないでいたが、後には心ひそかに『私は神を恐れず人を人とも思わないが、
5 どうも、このやもめは、うるさくてしかたがないから、この女のために裁判をしてやることにしよう。でないと、ひっきりなしにやって来てうるさくてしかたがない。』と言った。」
6 主は言われた。「不正な裁判官の言っていることを聞きなさい。
7 まして神は、夜昼神を呼び求めている選民のためにさばきをつけないで、いつまでもそのことを放っておかれることがあるでしょうか。
8 あなたがたに言いますが、神は、すみやかに彼らのために正しいさばきをしてくださいます。しかし、人の子が来たとき、はたして地上に信仰が見られるでしょうか。」
9 自分を義人だと自任し、他の人々を見下している者たちに対しては、イエスはこのようなたとえを話された。
10 「ふたりの人が、祈るために宮に上った。ひとりはパリサイ人で、もうひとりは取税人であった。
11 パリサイ人は、立って、心の中でこんな祈りをした。『神よ。私はほかの人々のようにゆする者、不正な者、姦淫する者ではなく、ことにこの取税人のようではないことを、感謝します。
12 私は週に二度断食し、自分の受けるものはみな、その十分の一をささげております。』
13 ところが、取税人は遠く離れて立ち、目を天に向けようともせず、自分の胸をたたいて言った。『神さま。こんな罪人の私をあわれんでください。』
14 あなたがたに言うが、この人のほうが、前の人よりも、義と認められ、家に帰って行きました。なぜなら、だれでも自分を高くする者は低くされ、自分を低くする者は高くされるからです。」

---

32 ①創二九・二六
33 ①㊥マタ一〇・三九
35 ①㊥マタ二四・四一
＊異本に三六節として「ふたりの男が畑にいると、ひとりは取られ、他のひとりは残されます」を加えるものもある。㊥マタ二四・四〇
37 ①㊥マタ二四・二八
＊あるいは「わし」
1 ①旧ルカ二・一、一〇
②㊥Ⅱコリ四・一
2 ①旧ルカ一八・四、旧ルカ二〇・一三
＊ヘブ三・六
3 ＊あるいは「敬わない」
＊直訳「私の敵に対して、私を正当に扱ってください」
4 ①旧ルカ一八・二、旧ルカ二〇・三
＊ヘブ三・六
5 ①旧ルカ一一・八
＊直訳「彼女を正当に扱うことにしよう」
＊＊直訳「私の目の下を打ちたたく」
6 ①㊥ルカ七・三一
7 ①マタ二四・三一、ロマ八・三三
コロ三・一二、Ⅱテモ二・一〇
テト一・一、②㊥黙六・一〇
8 ①㊥Ⅱペテ三・九
①旧ルカ七・三六以下
＊原語では「信仰」に定冠詞がついている
9 ①旧ルカ六・二六、②旧ロマ一三・三、一〇
10 ①㊥使一・一三、Ⅱ列二〇・五、八
旧Ⅰ列二・五
11 ①マタ六・五、マコ一一・二五
旧ルカ三・四一
12 ①マタ九・一四、②ルカ一八・一二
13 ①マタ六・五、マコ一一・二五
旧ルカ三・四一、②エズ九・六
③ルカ二三・四八
14 ①ルカ一四・一一、マタ二三・一二

15 1)イエスにさわっていただこうとして、人々がその
幼子たちを、みもとに連れて来た。ところが、弟子た
ちがそれを見てしかった。
16 しかしイエスは、幼子たちを呼び寄せて、こう言わ
れた。「子どもたちをわたしのところに来させなさい。
止めてはいけません。神の国は、このような者たちの
ものです。
17 まことに、あなたがたに告げます。1)子どものように
神の国を受け入れる者でなければ、決してそこに、は
いることはできません。」
18 1)またある役人が、イエスに質問して言った。「尊い
先生。私は何をしたら、永遠のいのちを自分のものと
して受けることができるでしょうか。」
19 イエスは彼に言われた。「なぜ、わたしを『尊い』と
言うのですか。尊い方は、神おひとりのほかにはだれ
もありません。
20 戒めはあなたもよく知っているはずです。『1)姦淫し
てはならない。殺してはならない。盗んではならない。
偽証を立ててはならない。父と母を敬え。』」
21 すると彼は言った。「そのようなことはみな、小さい
時から守っております。」
22 イエスはこれを聞いて、その人に言われた。「あなた
には、まだ一つだけ欠けたものがあります。1)あなたの
持ち物を全部売り払い、貧しい人々に分けてやりなさ
い。そうすれば、あなたは天に宝を積むことになりま
す。そのうえで、わたしについて来なさい。」
23 すると彼は、これを聞いて、非常に悲しんだ。たい
へんな金持ちだったからである。
24 イエスは彼を見てこう言われた。「1)裕福な者が神の
国にはいることは、何とむずかしいことでしょう。
25 1)金持ちが神の国にはいるよりは、らくだが針の穴を
通るほうがもっとやさしい。」
26 これを聞いた人々が言った。「それでは、だれが救わ
れることができるでしょう。」
27 イエスは言われた。「1)人にはできないことが、神に
はできるのです。」
28 *すると、ペテロが言った。「ご覧ください。私たち
は1)自分の家を捨てて従ってまいりました。」
29 1)イエスは彼らに言われた。「まことに、あなたがたに
告げます。神の国のために、家、妻、兄弟、両親、子
どもを捨てた者で、だれひとりとして、
30 この世にあってその幾倍かを受けない者はなく、1)後
の世で永遠のいのちを受けない者はありません。」
31 1)さてイエスは、十二弟子をそばに呼んで、彼らに
話された。「さあ、これから、2)わたしたちはエルサレム
に向かって行きます。3)人の子について預言者たちが書
いているすべてのことが実現されるのです。
32 1)人の子は異邦人に引き渡され、そして彼らにあざけ
られ、はずかしめられ、つばきをかけられます。
33 彼らは人の子をむちで打ってから殺します。しかし、
人の子は三日目によみがえります。」
34 しかし弟子たちには、これらのことが何一つわから

15 ①ルカ六・一九[一七]、マタ一九・一三、マコ一〇・一三
16 ①マタ六・三[一八]、一八・四、マコ一〇・一六、[別]Ⅰコリ一四・二〇、Ⅰペテ二・二
17 ①マタ一八・三、マコ一〇・一五
18 ①ルカ六・二〇、マタ一九・一六、マコ一〇・一七
19 ①出二〇・二[一六]、申五・六[一〇]、[別]ルカ一〇・二五[一八]
20 ①出二〇・一二[一六]、申五・一六[一〇]
22 ①ルカ一二・三三、[別]マタ一九・二一
②マタ六・一九
24 ①マタ一九・二三、マコ一〇・二三、二四
25 ①マタ一九・二四、マコ一〇・二五
27 ①[別]マタ一九・二六
28 ①[別]ルカ五・一一
*直訳「自分たちの物」
29 ①マタ一九・二九、マコ一〇・二九、三〇、マタ六・三三
30 ①[別]マタ一二・三二
31 ①ルカ六・一三、マタ二〇・一七、一八、マコ一〇・三二、三四
②[別]ルカ九・五一、③詩三一篇
イザ五三章等
32 ①[別]マタ六・二一
*あるいは「裏切られ」
34 ①[別]マコ九・三二、ルカ九・四五

なかった。彼らには、このことばは隠されていて、話された事が理解できなかった。
35 イエスがエリコに近づかれたころ、ある盲人が、道ばたにすわり、物ごいをしていた。
36 群衆が通って行くのを耳にして、これはいったい何事ですか、と尋ねた。
37 ナザレのイエスがお通りになるのだ、と知らせると、
38 彼は大声で、「ダビデの子のイエスさま。私をあわれんでください。」と言った。
39 彼を黙らせようとして、先頭にいた人々がたしなめたが、盲人は、ますます「ダビデの子よ。私をあわれんでください。」と叫び立てた。
40 イエスは立ち止まって、彼をそばに連れて来るように言いつけられた。
41 彼が近寄って来たので、「わたしに何をしてほしいのか。」と尋ねられると、彼は、「主よ。目が見えるようになることです。」と言った。
42 イエスが彼に、「見えるようになれ。あなたの信仰があなたを直したのです。」と言われると、
43 彼はたちどころに目が見えるようになり、神をあがめながらイエスについて行った。これを見て民はみな神を賛美した。

19

1 それからイエスは、エリコにはいって、町をお通りになった。
2 ここには、ザアカイという人がいたが、彼は取税人のかしらで、金持ちであった。
3 彼は、イエスがどんな方か見ようとしたが、背が低かったので、群衆のために見ることができなかった。
4 それで、イエスを見るために、前方に走り出て、いちじく桑の木に登った。ちょうどイエスがそこを通り過ぎようとしておられたからである。
5 イエスは、ちょうどそこに来られて、上を見上げて彼に言われた。「ザアカイ。急いで降りて来なさい。きょうは、あなたの家に泊まることにしてあるから。」
6 ザアカイは、急いで降りて来て、そして大喜びでイエスを迎えた。
7 これを見て、みなは、「あの方は罪人のところに行って客となられた。」と言ってつぶやいた。
8 ところがザアカイは立って、主に言った。「主よ。ご覧ください。私の財産の半分を貧しい人たちに施します。また、だれからでも、私がだまし取った物は、四倍にして返します。」
9 イエスは、彼に言われた。「きょう、救いがこの家に来ました。この人もアブラハムの子なのですから。
10 人の子は、失われた人を捜して救うために来たのです。」
11 人々がこれらのことに耳を傾けているとき、イエスは、続けて一つのたとえを話された。それは、イエスがエルサレムに近づいておられ、そのため人々は神の国がすぐにでも現われるように思っていたからである。
12 それで、イエスはこう言われた。

35 ①ルカ六・三四四三、マタ二〇・三四↓四四、マコ一〇・四六↓五二 ②ルカ一九・三九、マコ一〇・四六
38 ①ルカ六・二六、㊀マタ九・二七
39 ①ルカ六・二六
42 ①㊀マタ九・二三
43 ①㊀マタ九・八、②ルカ一三・一七 ㊁ルカ九・四三・一九・三七
1 ①㊀ルカ六・三五
4 ①Ⅰ列一〇・二七、Ⅰ歴二七・二六 Ⅱ歴一・二五・九・二七、詩天・四五 イザ九・一〇、㊁ルカ七・二六(?)
7 * あるいは「宿を取られた」 ** 直訳「彼らの間でつぶやいた」
8 ①㊀ルカ七・二三、②㊀ルカ三・一四、③㊁出三・一、レビ六・五 民三五・七、㊀Ⅱサム二・六
9 ①㊁ルカ三・八、二・二六、ロマ四・一六、ガラ三・七
10 ①㊀マタ六・一〇注
11 ①㊀ルカ九・五一、②ルカ一七・二〇
12 ①ルカ六・二一・二七、㊁マタ二五・一四―二〇

「ある身分の高い人が、遠い国に行った。王位を受
けて帰るためであった。
13 彼は自分の十人のしもべを呼んで、十ミナ*を与え、
彼らに言った。『私が帰る*まで、これで商売しなさ
い。』
14 しかし、その国民たちは、彼を憎んでいたので、あ
とから使いをやり、『この人に、私たちの王にはなっ
てもらいたくありません。』と言った。
15 さて、彼が王位を受けて帰って来たとき、金を与え
ておいたしもべたちがどんな商売をしたかを知ろう
と思い、彼らを呼び出すように言いつけた。
16 さて、最初の者が現われて言った。『ご主人さま。あ
なたの一ミナで、十ミナをもうけました。』*
17 主人は彼に言った。『よくやった。良いしもべだ。[1]あ
なたはほんの小さな事にも忠実だったから、十の町
を支配する者になりなさい。』
18 二番目の者が来て言った。『ご主人さま。あなたの一
ミナで、五ミナをもうけました。』*
19 主人はこの者にも言った。『あなたも五つの町を治
めなさい。』
20 もうひとりが来て言った。『ご主人さま。さあ、ここ
にあなたの一ミナがございます。私はふろしきに包
んでしまっておきました。
21 あなたは計算の細かい、きびしい方ですから、恐ろ
しゅうございました。あなたはお預けにならなかっ
たものをも取り立て、お蒔きにならなかったものを
も刈り取る方ですから。』
22 主人はそのしもべに言った。『悪いしもべだ。私は*あ
なたのことばによって、あなたをさばこう。あなた
は、私が預けなかったものを取り立て、蒔かなかっ
たものを刈り取るきびしい人間だと知っていた、と
いうのか。
23 だったら、なぜ私の金を銀行に預けておかなかった
のか。そうすれば私は帰って来たときに、それを利
息といっしょに受け取れたはずだ。』
24 そして、そばに立っていた者たちに言った。『その一
ミナを彼から取り上げて、十ミナ持っている人にや
りなさい。』
25 すると彼らは、『ご主人さま。その人は十ミナも持っ
ています。』と言った。
26 彼は言った。『あなたがたに言うが、[1]だれでも持っ
ている者は、さらに与えられ、持たない者からは、持
っている物までも取り上げられるのです。
27 ただ、[1]私が王になるのを望まなかったこの敵ども
は、みなここに連れて来て、私の目の前で殺してし
まえ。』」
28 これらのことを話して後、イエスは、[1]さらに進ん
で、[2]エルサレムへと上って行かれた。
29 オリーブ*という山のふもとのベテパゲとベタニヤ[3]
に近づかれたとき、イエスはふたりの弟子を使いに出
して、
30 言われた。「向こうの村に行きなさい。そこにはいる

13* 一ミナは約百日分の労賃に相当する額
** 直訳「私が出かけている間」
16* 参ルカ九・三注
17 ①ルカ一六・一〇
18* 参ルカ九・三注
22* 直訳「あなた自身の口によって」
26 ①参マタ二三・一二、ルカ八・一八
27 ①ルカ一九・一四、②比マタ二三・七、ルカ二〇・一六
28 ①マコ一〇・三二、②参ルカ九・五一
29 ①ルカ一九・二九、マタ二一・一九、マコ一一・一、②ルカ二一・三七、使一・一二
* あるいは「オリーブの森」
** あるいは「丘」
③参マタ二一・一七

と、まだだれも乗ったことのない、ろばの子がつないであるのに気がつくでしょう。それをほどいて連れて来なさい。
31 もし、『なぜ、ほどくのか。』と尋ねる人があったら、こう言いなさい。『主がお入用なのです。』」
32 使いに出されたふたりが行って見ると、イエスが話されたとおりであった。
33 彼らがろばの子をほどいていると、その*持ち主が、「なぜ、このろばの子をほどくのか。」と彼らに言った。
34 弟子たちは、「主がお入用なのです。」と言った。
35 1)そしてふたりは、それをイエスのもとに連れて来た。そして、そのろばの子の上に自分たちの上着を敷いて、イエスをお乗せした。
36 イエスが進んで行かれると、人々は道に自分たちの上着を敷いた。
37 イエスがすでにオリーブ山のふもとに近づかれたとき、弟子たちの群れはみな、自分たちの見たすべての力あるわざのことで、喜んで大声に神を賛美し始め、
38 こう言った。
「1)祝福あれ。
主の御名によって来られる2)王に。
天には平和。
栄光は、いと高き所に。」
39 するとパリサイ人のうちのある者たちが、群衆の中から、イエスに向かって、「先生。お弟子たちをしかってください。」と言った。
40 イエスは答えて言われた。「わたしは、あなたがたに言います。もしこの人たちが黙れば、1)石が叫びます。」
41 エルサレムに近くなったころ、都を見られたイエスは、その都のために泣いて、
42 言われた。「1)おまえも、もし、この日のうちに、平和のことを知っていたのなら。しかし今は、そのことがおまえの目から隠されている。
43 やがておまえの敵が、おまえに対して2)塁を築き、回りを取り巻き、四方から攻め寄せ、
44 そしておまえとその中の子どもたちを地にたたきつけ、おまえの中で、1)一つの石もほかの石の上に積まれたままでは残されない日が、やって来る。それはおまえが、神の2)訪れの時を知らなかったからだ。」
45 1)宮にはいられたイエスは、商売人たちを追い出し始め、
46 こう言われた。「1)わたしの家は、祈りの家でなければならない。』と書いてある。それなのに、あなたがたはそれを強盗の*巣にした。」
47 イエスは毎日、1)宮で教えておられた。祭司長、律法学者、民のおもだった者たちは、2)イエスを殺そうとねらっていたが、
48 どうしてよいかわからなかった。民衆がみな、熱心に*イエスの話に耳を傾けていたからである。

20

1 1)イエスは宮で2)民衆を教え、3)福音を宣べ伝えておられたが、ある日、祭

33 * 直訳「主人たち」
35 ①ルカ九・三五、ヨハ一二・一四
37 ①脚マタ二一・一、旧ルカ一九・二九、②ルカ八・四五
38 ①詩一一八・二六、②脚マタ二一・九、旧マタ三・三、旧ルカ一三・三五、③ルカ二・一四、旧マタ二一・九
39 ①旧マタ二一・一六、一六
40 ①旧ハバ二・一一
41 ①旧ルカ一三・三四、三五
43 ①旧伝ネ・四、イザ二九・三、三七、三、エレ六・六、エゼ四・二、六、八、②ルカ二一・二〇
44 ①マタ二四・二、マコ一三・二、ルカ二一・六、②1ペテ二・一二、*「神の」は補足
45 ①ルカ一九・四五、マタ二一・一二、マコ一一・一五、旧ヨハ二・一六
46 ①イザ五六・七、エレ七・一一、マタ二一・一三、マコ一一・一七、*直訳「ほら穴」
47 ①脚マタ二六・五五、②ルカ二〇・一九
48 * 直訳「話をされている彼に」

1 ①ルカ二〇・一八、マタ二一・二三、マコ一一・二七、三三、②脚マタ二六・五五、③ルカ二一

司長、律法学者たちが、長老たちといっしょにイエス
41に立ち向かって、
2イエスに言った。「何の権威によって、これらのこと
をしておられるのですか。あなたにその権威を授けた
のはだれですか。それを言ってください。」
3そこで答えて言われた。「わたしも一言尋ねますか
ら、それに答えなさい。
4『ヨハネのバプテスマは、天から来たのですか、人
から出たのですか。』」
5すると彼らは、こう言って、互いに論じ合った。「も
し、天から、と言えば、それならなぜ、彼を信じなか
ったか、と言うだろう。
6しかし、もし、人から、と言えば、民衆がみなで私
たちを石で打ち殺すだろう。ヨハネを預言者と信じて
いるのだから。」
7そこで、「どこからか知りません。」と答えた。
8するとイエスは、「わたしも、何の権威によってこれ
らのことをするのか、あなたがたに話すまい。」と言わ
れた。
9また、イエスは、民衆にこのようなたとえを話さ
れた。
「ある人がぶどう園を造り、それを農夫たちに貸し
て、長い旅に出た。
10そして季節になったので、ぶどう園の収穫の分けま
えをもらうために、農夫たちのところへひとりのしも
べを遣わした。ところが、農夫たちは、そのしも
べを袋だたきにし、何も持たせないで送り帰した。
11そこで、別のしもべを遣わしたが、彼らは、そのし
もべも袋だたきにし、はずかしめたうえで、何も持
たせないで送り帰した。
12彼はさらに三人目のしもべをやったが、彼らは、こ
のしもべにも傷を負わせて追い出した。
13ぶどう園の主人は言った。『どうしたものか。よし、
愛する息子を送ろう。彼らも、この子はたぶん敬っ
てくれるだろう。』
14ところが、農夫たちはその息子を見て、議論しなが
ら言った。『あれはあと取りだ。あれを殺そうではな
いか。そうすれば、財産はこちらのものだ。』
15そして、彼をぶどう園の外に追い出して、殺してし
まった。
こうなると、ぶどう園の主人は、どうするでしょう。
16彼は戻って来て、この農夫どもを打ち滅ぼし、ぶど
う園をほかの人たちに与えてしまいます。」これを聞
いた民衆は、「そんなことがあってはなりません。」と
言った。
17イエスは、彼らを見つめて言われた。「では、
『家を建てる者たちの見捨てた石、
それが礎の石となった。』
と書いてあるのは、何のことでしょう。
18この石の上に落ちれば、だれでも粉々に砕け、また
この石が人の上に落ちれば、その人を粉みじんに飛び
散らしてしまうのです。」

1 ④使四・一七・三
6 ①㊥マタ二一・二六、旧ルカ七二九、
三
9 ①ルカ一三・六一九、マタ二一・
三三一四六、マコ一二・一一三
* あるいは「小作人」(九、
一〇、一四、一六節も同様)
13 ①㊥ルカ六三注
16* 直訳「来て」
①旧ルカ九二七、㊥マタ二一・
四一、マコ一二・九、②ロマ三四、
六三一六六、一三五七七、一四四、
一二一二、Ⅰコリ六一二六、ガラ
二一七三一六一四
17 ①詩一一八・二二、②旧エペ二二〇
Ⅰペテ二・六
18 ①マタ二一四四

19 律法学者、祭司長たちは、イエスが自分たちをさしてこのたとえを話されたと気づいたので、この際イエスに手をかけて捕えようとしたが、やはり民衆を恐れた。

20 さて、機会をねらっていた彼らは、義人を装った間者を送り、イエスのことばを取り上げて、総督の支配と権威にイエスを引き渡そう、と計った。

21 その間者たちは、イエスに質問して言った。「先生。私たちは、あなたがお話しになり、お教えになることは正しく、またあなたは分け隔てなどせず、真理に基づいて神の道を教えておられることを知っています。

22 ところで、私たちが、カイザルに税金を納めることは、*律法にかなっていることでしょうか。かなっていないことでしょうか。」

23 イエスはそのたくらみを見抜いて彼らに言われた。

24 「*デナリ銀貨をわたしに見せなさい。これはだれの肖像ですか。だれの銘ですか。」彼らは、「カイザルのです。」と言った。

25 すると彼らに言われた。「では、カイザルのものはカイザルに返しなさい。そして神のものは神に返しなさい。」

26 彼らは、民衆の前でイエスのことばじりをつかむことができず、お答えに驚嘆して黙ってしまった。

27 ところが、復活があることを否定するサドカイ人のある者たちが、イエスのところに来て、質問して、

28 こう言った。「先生。モーセは私たちのためにこう書いています。『もし、ある人の兄が妻をめとって死に、しかも子がなかったばあいは、その弟はその女を妻にして、兄のための子をもうけなければならない。』

29 ところで、七人の兄弟がいました。長男は妻をめとりましたが、子どもがなくて死にました。

30 次男も、

31 三男もその女をめとり、七人とも同じようにして、子どもを残さずに死にました。

32 あとで、その女も死にました。

33 すると復活の際、その女はだれの妻になるのでしょうか。七人ともその女を妻としたのですが。」

34 イエスは彼らに言われた。「この世の子らは、めとったり、とついだりするが、

35 次の世にはいるのにふさわしく、死人の中から復活するのにふさわしい、と認められる人たちは、めとることも、とつぐこともありません。

36 彼らはもう死ぬことができないからです。彼らは御使いのようであり、また、復活の子として神の子どもだからです。

37 それに、死人がよみがえることについては、モーセも柴の個所で、主を、『アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神。』と呼んで、このことを示しました。

38 神は死んだ者の神ではありません。生きている者の神です。というのは、神に対しては、みなが生きているからです。」

39 律法学者のうちのある者たちが答えて、「先生。りっ

19 ①ルカ九・四七
20 ①ルカ二〇・二一・二六、マタ二二・一五・二二、マコ一二・一三・一七 ②ルカ一一・五四、二〇・二六、③③マタ二七・二
22 ①ルカ二三・二、マタ一七・二五 *あるいは「許されている」
24 *一デナリは当時の一日分の労賃に相当する
25 ①③マタ二二・二一、マコ一二・一七
26 ①ルカ二・五四
27 ①ルカ二〇・二七―四〇、マタ二二・二三―三三、マコ一二・一八―二七
28 ①申二五・五
34 ①③マタ二二・三〇、ルカ一六・八
35 ①③マタ二二・三〇、ルカ一六・八
36 ①出ロマハ・六、一七、Ⅰヨハ三・一二
37 ④マコ一二・二六、②出三・六
38 ①マタ二二・三二、マコ一二・二七 ②出ロマ四・八

ばなお答えです。」と言った。
40 彼らはもうそれ以上何も質問する勇気がなかった。
41 すると、イエスが彼らに言われた。「どうして人々は、*キリストをダビデの子と言うのですか。
42 ダビデ自身が詩篇の中でこう言っています。
『主は私の主に言われた。
43 「わたしが、あなたの敵を
あなたの足台とする時まで、
わたしの右の座に着いていなさい。」』
44 こういうわけで、ダビデがキリストを主と呼んでいるのに、どうしてキリストがダビデの子でしょう。」
45 また、民衆がみな耳を傾けているときに、イエスは弟子たちにこう言われた。
46 「律法学者たちには気をつけなさい。彼らは、長い衣をまとって歩き回ったり、広場であいさつされたりすることが好きで、また会堂の上席や宴会の上座が好きです。
47 また、やもめの家を食いつぶし、見えを飾るために長い祈りをします。こういう人たちは人一倍きびしい罰を受けるのです。」

21

1 さてイエスが、目を上げてご覧になると、金持ちたちが献金箱に献金を投げ入れていた。
2 また、ある貧しいやもめが、そこにレプタ銅貨二つを投げ入れているのをご覧になった。
3 それでイエスは言われた。「わたしは真実をあなたがたに告げます。この貧しいやもめは、どの人よりもたくさん投げ入れました。
4 みなは、あり余る中から投げ入れたのに、この女は、乏しい中から、持っていた生活費の全部を投げ入れたからです。」
5 宮がすばらしい石や奉納物で飾ってあると話していた人々があった。するとイエスはこう言われた。
6 「あなたがたの見ているこれらの物について言えば、石がくずされずに積まれたまま残ることのない日がやって来ます。」
7 彼らは、イエスに質問して言った。「先生。それでは、これらのことは、いつ起こるのでしょう。これらのことが起こるときは、どんな*前兆があるのでしょう。」
8 イエスは言われた。「惑わされないように気をつけなさい。わたしの名を名のる者が大ぜい現われ、『私がそれだ。』とか『時は近づいた。』とか言います。そんな人々のあとについて行ってはなりません。
9 戦争や暴動のことを聞いても、こわがってはいけません。それは、初めに必ず起こることです。だが、終わりは、すぐには来ません。」
10 それから、イエスは彼らに言われた。「民族は民族に、国は国に敵対して立ち上がり、
11 大地震があり、方々に疫病やききんが起こり、恐ろしいことや天からのすさまじい*前兆が現われます。
12 しかし、これらのすべてのことの前に、人々はあなたがたを捕えて迫害し、会堂や牢に引き渡し、わたしの名のために王たちや総督たちの前に引き出します。

40 ①脚マタ三・五六、旧ルカ一四・六
41 ①ルカ二〇・四一―四四、マタ二二・四一―四六、マコ一二・三五―三七
*すなわち「メシヤ」
②脚マタ九・二七
42 ①詩一一〇・一
45 ①ルカ二〇・五六―五八、マタ二三・一―七、マコ一二・三八―四〇
46 ①ルカ一一・四三、旧ルカ一四・七
1 ①ルカ二一・一―四、マコ一二・四一―四四
2 ①マコ一二・四二
*一レプタは一デナリの一二八分の一に相当する最小単位の銅貨
4 ①脚マコ一二・四四
5 ①ルカ二一・五―六、マタ二四章、マコ一三章
6 ①脚ルカ一九・四四
*別訳「石が……石の上に」
7 *あるいは「証拠としての奇蹟」
8 ①脚ヨハ二・一八、②旧ルカ一七・二三
11 *あるいは「証拠としての奇蹟」
12 ①ルカ二一・一七、マタ一〇・一七―二三、マコ一三・一一―一三

の名のために、あなたがたを王たちや総督たちの前に
引き出すでしょう。
13 それはあなたがたのあかしをする機会となります。
14 それで、どう弁明するかは、あらかじめ考えないこ
とに、心を定めておきなさい。
15 どんな反対者も、反論もできず、反証もできないよ
うなことばと知恵を、わたしがあなたがたに与えます。
16 しかしあなたがたは、両親、兄弟、親族、友人たち
にまで裏切られます。中には殺される者もあり、
17 わたしの名のために、みなの者に憎まれます。
18 しかし、あなたがたの髪の毛一筋も失われることは
ありません。
19 あなたがたは、忍耐によって、自分のいのちを勝ち
取ることができます。
20 しかし、エルサレムが軍隊に囲まれるのを見たら、
そのときには、その滅亡が近づいたことを悟りなさい。
21 そのとき、ユダヤにいる人々は山へ逃げなさい。都
の中にいる人々は、そこから立ちのきなさい。いなか
にいる者たちは、都にはいってはいけません。
22 これは、書かれているすべてのことが成就する報復
の日だからです。
23 その日、悲惨なのは身重の女と乳飲み子を持つ女で
す。この地に大きな苦難が臨み、この民に御怒りが臨
むからです。
24 人々は、剣の刃に倒れ、捕虜となってあらゆる国に
連れて行かれ、異邦人の時の終わるまで、エルサレム
は異邦人に踏み荒らされます。
25 そして、日と月と星には、前兆が現われ、地上で
は、諸国の民が、海と波が荒れどよめくために不安に
陥って悩み、
26 人々は、その住むすべての所を襲おうとしている
ことを予想して、恐ろしさのあまり気を失います。天の
万象が揺り動かされるからです。
27 そのとき、人々は、人の子が力と輝かしい栄光を帯
びて雲に乗って来るのを見るのです。
28 これらのことが起こり始めたなら、からだをまっ
すぐにし、頭を上に上げなさい。贖いが近づいたのです。」
29 それからイエスは、人々にたとえを話された。「い
ちじくの木や、すべての木を見なさい。
30 木の芽が出ると、それを見て夏の近いことがわかり
ます。
31 そのように、これらのことが起こるのを見たら、神
の国は近いと知りなさい。
32 まことに、あなたがたに告げます。すべてのことが
起こってしまうまでは、この時代は過ぎ去りません。
33 この天地は滅びます。しかし、わたしのことばは決
して滅びることがありません。
34 あなたがたの心が、放蕩や深酒やこの世の煩いの
ために沈み込んでいるところに、その日がわなのよう
に、突然あなたがたに臨むことのないように、よく気
をつけていなさい。

13* 直訳「あなたがたにとって一つのあかしとなります」
①比ピリ1・3
14 ①ルカ1・17
15 ①比ルカ12・12 *直訳「口」
18 ①参マタ10・30、ルカ12・7
19 ①比マタ10・22、24・13、ロマ5・3-5、ヘブ10・36、ヤコ1・3、Ⅱペテ1・6
20 ①ルカ19・43
21 ①比ルカ17・31
22 ①イザ34・4、ホセ9・7、比ダニ9・24-27
23 ①比ダニ8・19、Ⅰコリ7・26
24 ①創15・13、出12・37、ヘブ11・34、②ロマ11・25、③比イザ63・18、ダニ8・13、黙11・2、④黙11・2
25* あるいは「証拠としての奇蹟」
27 ①マタ24・30、マコ13・26参マタ26・64、②ダニ7・13
28 ①比ルカ6・23
30 ①比ルカ13・28
31 ①参マタ3・2
32* あるいは「民族」
33 ①マタ5・18、ルカ16・17
34 ①比マタ24・42-44、ルカ12・40、21・35、マコ13・33、Ⅰテサ5・3以下

35 その日は、全地の表に住むすべての人に臨むからです。
36 しかし、あなたがたは、やがて起ころうとしているこれらすべてのことからのがれ、[1]人の子の前に立つことができるように、いつも油断せず[2]に祈っていなさい。」
37 さてイエスは、昼は宮で教え、夜はいつも外に出て[3]オリーブという山で過ごされた。
38 民衆はみな[1]朝早く起きて、教えを聞こうとして、宮におられるイエスのもとに集まって来た。

22

1 さて、[2]過越の祭りといわれる、種なしパンの祝いが近づいていた。
2 祭司長、律法学者たちは、[1]イエスを殺すための良い方法を捜していた。というのは、彼らは民衆を恐れていたからである。
3 さて、十二弟子のひとりで、イスカリオテと呼ばれるユダに、[2]サタンがはいった。
4 ユダは出かけて行って、祭司長たちや[1]宮の守衛長たちと、どのようにしてイエスを彼らに引き渡そうかと相談した。
5 彼らは喜んで、ユダに金をやる約束をした。
6 ユダは承知した。そして群衆のいないときにイエスを彼らに引き渡そうと機会をねらっていた。
7 さて、[2]過越の小羊のほふられる、種なしパンの日が来た。
8 イエスは、こう言って[1]ペテロとヨハネを遣わされた。「わたしたちの過越の食事ができるように、準備をしに行きなさい。」
9 彼らはイエスに言った。「どこに準備しましょうか。」
10 イエスは言われた。「町にはいると、水がめを運んでいる男に会うから、その人がはいる家にまでついて行きなさい。
11 そして、その家の主人に、『弟子たちといっしょに過越の食事をする客間はどこか、と先生があなたに言っておられる。』と言いなさい。
12 すると主人は、席が整っている二階の大広間を見せてくれます。そこで準備をしなさい。」
13 彼らが出かけて見ると、イエスの言われたとおりであった。それで、彼らは過越の食事の用意をした。
14 さて時間になって、イエスは食卓に着かれ、[2]使徒たちもイエスといっしょに席に着いた。
15 イエスは言われた。「わたしは、苦しみを受ける前に、あなたがたといっしょに、この過越の食事をすることをどんなに望んでいたことか。
16 あなたがたに言いますが、[1]過越が神の国において成就するまでは、わたしはもはや二度と過越の食事をすることはありません。」
17 [1]そしてイエスは、杯を取り、[2]感謝をささげて後、言われた。「これを取って、互いに分けて飲みなさい。
18 [1]あなたがたに言いますが、今から、神の国が来る時までは、わたしはもはや、ぶどうの実で造った物を飲むことはありません。」
19 それから、パンを取り、[1]感謝をささげてから、裂い

---

36 ①旧ルカ一・一六、黙七・九、八・三、一二・一四、②マコ一三・三三、旧ルカ三・一四
37 ①参マタ六・三四、②マコ一二・一六、③旧マタ二一・一 *あるいは「オリーブの森」
38 ①ヨハ八・二
1 ①ルカ二二・一、マタ二六・二、マコ一四・一、②ヨハ一一・五五、一二・一
2 ①参マタ二・一四
3 ①ルカ二二・三、マタ二六・一四、②参マタ一四・一〇、ヨハ一三・二、二七
4 ①ルカ二二・四、旧使一四・一、二三・二六、Ⅱ歴二一・一、ネヘ一一・一
6 *あるいは「騒ぎを起こさないで」
7 ①ルカ二二・七、マタ二六・一七、マコ一四・一二、②参マコ一四・一二
8 ①使一二・一、一四・三、二六・八・一四、旧ガラ二・九
14 ①マタ二六・二〇、マコ一四・一七、②参マコ八・三〇
16 ①旧ルカ二二・一八、三〇、一四・一五、黙一九
17 ①ルカ二二・一七、マタ二六・二九、マコ一四・二三、一五、Ⅰコリ一一・二三、二五、旧Ⅰコリ一〇・一六、②参マタ一四・一九
18 ①マタ二六・二九、マコ一四・二五
19 ①参マタ一四・一九

て、弟子たちに与えて言われた。「*これは、あなたがたのために与える、わたしのからだです。わたしを覚えてこれを行ないなさい。」
20 食事の後、杯も同じようにして言われた。「この杯は、あなたがたのために流されるわたしの血による新[2]しい契約です。
21 しかし、見なさい。わたしを裏切る者の手が、わたしとともに食卓にあります。
22 人の子は、定められたとおりに去って行きます。しかし、人の子を裏切るような人間はのろわれます。」
23 そこで弟子たちは、そんなことをしようとしている者は、いったいこの中のだれなのかと、互いに議論をし始めた。
24 また、彼らの間には、この中でだれが一番偉いだろうかという論議も起こった。
25 すると、イエスは彼らに言われた。「異邦人の王たちは人々を支配し、また人々の上に権威を持つ者は守護者と呼ばれています。
26 だが、あなたがたは、それではいけません。あなたがたの間で一番偉い人は一番年の若い者のようになりなさい。また、治める人は仕える人のようでありなさい。
27 食卓に着く人と給仕する者と、どちらが偉いでしょう。むろん、食卓に着く人でしょう。しかしわたしは、あなたがたのうちにあって給仕する者のようにしています。
28 けれども、あなたがたこそ、わたしのさまざまの試練の時にも、わたしについて来てくれた人たちです。
29 わたしの父がわたしに王権を与えてくださったように、わたしもあなたがたに王権を与えます。
30 それであなたがたは、わたしの国でわたしの食卓に着いて食事をし、王座に着いて、イスラエルの十二の部族をさばくのです。
31 シモン、シモン。見なさい。サタンが、あなたがたを麦のようにふるいにかけることを願って聞き届けられました。
32 しかし、わたしは、あなたの信仰がなくならないように、あなたのために祈りました。だからあなたは、立ち直ったら、兄弟たちを力づけてやりなさい。」
33 シモンはイエスに言った。「主よ。ごいっしょになら、牢であろうと、死であろうと、覚悟はできております。」
34 しかし、イエスは言われた。「ペテロ。あなたに言いますが、きょう鶏が鳴くまでに、あなたは三度、わたしを知らないと言います。」
35 それから、弟子たちに言われた。「わたしがあなたがたを、財布も旅行袋もくつも持たせずに旅に出したとき、何か足りない物がありましたか。」彼らは言った。「いいえ。何もありませんでした。」
36 そこで言われた。「しかし、今は、財布のある者は財布を持ち、同じく袋を持ち、剣のない者は着物を売って剣を買いなさい。

19 *異本に一九節「これは」以下と二〇節の代わりに「これはわたしのからだです」とあるものがある

20 ①マタ二六・二八、マコ一四・二四 ②Ⅰコリ一一・二五、Ⅱコリ三・六、ヘブ九・一五、八・六、旧エレ三一・三一、出二四・八、(ヘブ八・三)
21 ①ルカ二二・二一、三、マタ二六・二一、二四、マコ一四・一八、二一 旧ヨハ一三・一八、二一、三六
22 ①使二・二三、四・二八、一〇・四二、一七・三一
24 ①マコ九・三四、ルカ九・四六
25 ①ルカ二二・二七、マタ二〇・二六、マコ一〇・四三、四五
26 ①ルカ九・四八、②Ⅰペテ五・五
27 ①ルカ二二・三七、②旧マタ八・一七
28 ①ヘブ二・一八、四・一五
29 ①旧マタ五・三、Ⅱテモ二・一二
30 ①旧マタ一九・二八、Ⅱテモ二・一二 ②黙ルカ三・二〇、③黙マタ二六・二六
31 ①旧マタ四・一〇、旧ヨブ一・六、二・一、六、②アモ九・九
32 ①ヨハ一七・九、一五、②旧ヨハ二・一七、一七
33 ①ルカ二二・三三、三四、マタ二六・三五、マコ一四・二九、三一、ヨハ一三・三七、三八
35 ①旧ルカ九・三以下、一〇・四 マタ一〇・九、一〇、マコ六・八

37 あなたがたに言いますが、『彼は罪人たちの中に数えられた。』と書いてあるこのことが、わたしに必ず実現するのです。わたしにかかわることは実現します。」
38 彼らは言った。「主よ。このとおり、ここに剣が二振りあります。」イエスは彼らに、「それで十分。」と言われた。
39 それからイエスは出て、いつものようにオリーブ山に行かれ、弟子たちも従った。
40 いつもの場所に着いたとき、イエスは彼らに、「誘惑に陥らないように祈っていなさい。」と言われた。
41 そしてご自分は、弟子たちから石を投げて届くほどの所に離れて、ひざまずいて、こう祈られた。
42 「父よ。みこころならば、この杯をわたしから取りのけてください。しかし、わたしの願いではなく、みこころのとおりにしてください。」
43 *すると、御使いが天からイエスに現われて、イエスを力づけた。
44 イエスは、苦しみもだえて、いよいよ切に祈られた。汗が血のしずくのように地に落ちた。
45 イエスは祈り終わって立ち上がり、弟子たちのところに来て見ると、彼らは悲しみの果てに、眠り込んでしまっていた。
46 それで、彼らに言われた。「なぜ、眠っているのか。起きて、誘惑に陥らないように祈っていなさい。」
47 イエスがまだ話をしておられるとき、群衆がやって来た。十二弟子のひとりで、ユダという者が、先頭に立っていた。ユダはイエスに口づけしようとして、
48 みもとに近づいた。だが、イエスは彼に、「ユダ。口づけで、人の子を裏切ろうとするのか。」と言われた。
49 イエスの回りにいた者たちは、事の成り行きを見て、「主よ。剣で撃ちましょうか。」と言った。
50 そしてそのうちのある者が、大祭司のしもべに撃ってかかり、その右の耳を切り落とした。
51 するとイエスは、「*やめなさい。それまで。」と言われた。そして、耳にさわって彼を直してやられた。
52 そして押しかけて来た祭司長、宮の守衛長、長老たちに言われた。「まるで強盗にでも向かうように、剣や棒を持ってやって来たのですか。
53 あなたがたは、わたしが毎日でいっしょにいる間は、わたしに手出しもしなかった。しかし、今はあなたがたの時です。暗やみの力です。」
54 彼らはイエスを捕え、引いて行って、大祭司の家に連れて来た。ペテロは、遠く離れてついて行った。
55 彼らは中庭の真中に火をたいて、みなすわり込んだので、ペテロも中に混じって腰をおろした。
56 すると、女中が、火あかりの中にペテロのすわっているのを見つけ、まじまじと見て言った。「この人も、イエスといっしょにいました。」
57 ところが、ペテロはそれを打ち消して、「いいえ、私はあの人を知りません。」と言った。
58 しばらくして、ほかの男が彼を見て、「あなたも、彼

37 ①イザ 53・12、②既ヨハ 19・28、既ルカ 22・37
38 ①既ルカ 22・49、既ルカ
39 ①既マタ 26・30、マコ 14・26、ヨハ 18・1、②ルカ 21・37、③既マタ 21・1
40 ①ルカ 22・46、既マタ 26・41、既マコ 14・38、②ルカ 22・28、既マタ 4・10、既マコ 14・32、既ヨハ 18・1、既マタ 6・13、既ルカ 11・4
41 ①既マタ 26・39、既マコ 14・35、ルカ 17・14、②既マタ 26・67、既マコ 14・65、既ルカ 18・13
42 ①既マタ 20・22、②既マタ 26・39
43 *異本に四二、四四節を欠くものもある　①既マタ 4・11
44 ①既ヘブ 5・7
45 ①既マタ 26・43、既マコ 14・40
46 ①既ルカ 22・40
47 ①既ルカ 22・47、既マタ 26・47、既マコ 14・43、既ヨハ 18・2、3
48 ①既マタ 26・49、既マコ 14・45
49 ①既ルカ 22・38
50 ①既ルカ 22・38
51 *あるいは「少なくともわたしにこのことをさせてもらいたい。」
52 ①既ルカ 22・47、②既ルカ 22・4
53 ①既マタ 26・55、既マコ 14・49、既ルカ 19・47、既ヨハ 7・30、8・20
54 ①既マタ 26・58、既マコ 14・53、②既マタ 26・69、既マコ 14・66
55 ①既ルカ 22・54、既マタ 26・69、既マコ 14・66、既ヨハ 18・16、既マタ 26・58、既マコ 14・54、既ヨハ 18・18、②既マタ 26・58
58 ①既ヨハ 18・25（?）

らの仲間だ。」と言った。しかしペテロは、「いや、違います。」と言った。
59それから一時間ほどたつと、また別の男が、「確かにこの人も彼といっしょだった。この人もガリラヤ人だから。」と言い張った。
60しかしペテロは、「あなたの言うことは私にはわかりません。」と言った。それといっしょに、彼がまだ言い終えないうちに、鶏が鳴いた。
61主が振り向いてペテロを見つめられた。ペテロは、「きょう、鶏が鳴くまでに、あなたは、三度わたしを知らないと言う。」と言われた主のおことばを思い出した。
62彼は、外に出て、激しく泣いた。
63さて、イエスの監視人どもは、イエスをからかい、むちでたたいた。
64そして目隠しをして、「言い当ててみろ。今たたいたのはだれか。」と聞いたりした。
65また、そのほかさまざまな悪口をイエスに浴びせた。
66夜が明けると、民の長老会、それに祭司長、律法学者たちが、集まった。彼らはイエスを議会に連れ出し、
67こう言った。「あなたがキリストなら、そうだと言いなさい。」しかしイエスは言われた。「わたしが言っても、あなたがたは決して信じないでしょうし、
68わたしが尋ねても、あなたがたは決して答えないでしょう。
69しかし今から後、人の子は、神の大能の右の座に着きます。」
70彼らはみな言った。「ではあなたは神の子ですか。」すると、イエスは彼らに「あなたがたの言うとおり、わたしはそれです。」と言われた。
71すると彼らは「これでもまだ証人が必要でしょうか。私たち自身が彼の口から直接それを聞いたのだから。」と言った。

23

1そこで、彼らは全員が立ち上がり、イエスをピラトのもとに連れて行った。
2そしてイエスについて訴え始めた。彼らは言った。「この人はわが国民を惑わし、カイザルに税金を納めることを禁じ、自分は王キリストだと言っていることがわかりました。」
3するとピラトはイエスに、「あなたは、ユダヤ人の王ですか。」と尋ねた。イエスは答えて、「そのとおりです。」と言われた。
4ピラトは祭司長たちや群衆に、「この人には何の罪も見つからない。」と言った。
5しかし彼らはあくまで言い張って、「この人は、ガリラヤからここまで、ユダヤ全土で教えながら、この民を扇動しているのです。」と言った。
6それを聞いたピラトは、この人はガリラヤ人かと尋ねて、
7ヘロデの支配下にあるとわかると、イエスをヘロデ

59 ①マタ二六・三五、マコ一四・七〇
61 ①脚ルカ七・一三、②ルカ三・二四
63 ①ルカ二二・六三、脚マタ二六・六七、マコ一四・六五、ヨハ一八・二三、二二
64 ①マタ二六・六八、マコ一四・六五
65 ①マタ二七・二六のギリシヤ語
66 ①マタ二七・一、マコ一五・一　脚ヨハ一八・二八、②使三・一五のギリシヤ語、③脚マタ二七・三　＊ギリシヤ語「サンヘドリン」
67 ①ルカ二二・六七―七一、脚マタ二六・六二―六六、マコ一四・六一―六三、ヨハ一八・二二　＊すなわち「メシヤ」
69 ①マタ二六・六四、マコ一四・六二　脚マコ一六・一九、②詩一一〇・一
70 ①脚ルカ二二・三、②マタ二七・一一　ルカ二三・三、脚マタ二六・六四　1 ①マタ二七・二、マコ一五・一　ヨハ一八・二八
2 ①ルカ二三・二、マタ二七・一一　脚マコ一五・三、ヨハ一八・三三、二五、②ルカ二三・二四　③脚ルカ二〇・二二、ヨハ一八・三三以下、一九・一二、使一七・七
3 ①脚ルカ二三・七
4 ①ルカ二三・一四、二二、マタ二七・二三　マコ一五・一四、ヨハ一八・三八、一九・四、六
5 ①脚マタ四・一二
7 ①脚マタ二四・一、マコ一三・一　脚ルカ三・一、七、一三・三一

のところに送った。ヘロデもそのころエルサレムにいたからである。

8 ヘロデはイエスを見ると非常に喜んだ。ずっと前からイエスのことを聞いていたので、[1]イエスに会いたいと思っていたし、イエスの行なう何かの奇蹟を見たいと考えていたからである。

9 それで、*いろいろと質問したが、[1]イエスは彼に何もお答えにならなかった。

10 祭司長たちと律法学者たちは立って、イエスを激しく訴えていた。

11 ヘロデは、自分の兵士たちといっしょにイエスを侮辱したり嘲弄したりしたあげく、[1]はでな衣を着せて、ピラトに送り返した。

12 この日、ヘロデとピラトは仲よくなった。それまでは互いに敵対していたのである。

13 ピラトは祭司長たちと[1]指導者たちと民衆とを呼び集め、

14 こう言った。「あなたがたは、この人を、[1]民衆を惑わす者として、私のところに連れて来たけれども、私が[2]あなたがたの前で取り調べたところ、あなたがたが訴えているような罪は別に何も見つかりません。

15 ヘロデとても同じです。彼は私たちにこの人を送り返しました。見なさい。この人は、死罪に当たることは、何一つしていません。

16 だから私は、[1]懲らしめたうえで、釈放します。」*

[1]18 しかし彼らは、声をそろえて叫んだ。「この人を除け。バラバを釈放しろ。」

19 バラバとは、都に起こった暴動と人殺しのかどで、牢にはいっていた者である。

20 ピラトは、イエスを釈放しようと思って、彼らに、もう一度呼びかけた。

21 しかし、彼らは叫び続けて、「十字架だ。十字架につけろ。」と言った。

22 しかしピラトは三度目に彼らにこう言った。「あの人がどんな悪いことをしたというのか。あの人には、死に当たる罪は、何も見つかりません。だから私は、[1]懲らしめたうえで、釈放します。」

23 ところが、彼らはあくまで主張し続け、十字架につけるよう大声で要求した。そしてついにその声が勝った。

24 ピラトは、彼らの要求どおりにすることを宣告した。

25 すなわち、暴動と人殺しのかどで牢にはいっていた男を願いどおりに釈放し、イエスを彼らに引き渡して好きなようにさせた。

26 彼らは、イエスを引いて行く途中、いなかから出て来たシモンというクレネ人をつかまえ、[2]この人に十字架を負わせてイエスのうしろから運ばせた。

27 大ぜいの民衆やイエスのことを嘆き悲しむ女たちの群れが、イエスのあとについて行った。

28 しかしイエスは、女たちのほうに向いて、こう言われた。「エルサレムの娘たち。わたしのことで泣いてはいけない。むしろ自分自身と、自分の子どもたちのこ

8 ①ルカ九・九
* あるいは「証拠としての奇蹟」
9 * 直訳「多くのことばで」
①[既]マタ二七・一二、一四、マコ一五・五、ヨハ一九・九
11 ①[既]マタ二七・二八
12 ①[既]使四・二七
13 ①ルカ二三・二、ヨハ一七・二六、[既]八、三・四四、使三・一七、四・五、八・一二、二七
14 ①ルカ二三・二、②[既]ルカ二三・四
15 ①ルカ九・九
16 ①[既]マタ二七・二六、マコ一五・一五、ヨハ一九・一、使六・三七、ルカ二三・二二
* 異本 一七節「さて、ピラトは祭りのときにひとりを彼らのために釈放してやらなければならなかった」を挿入する
18 ①ルカ二三・一八、マタ二七・一五、マコ一五・六、一五、[既]ヨハ一八・四〇、一九・一六
22 ①ルカ二三・一六
26 ①ルカ二三・二六、マタ二七・三二、マコ一五・二一、[既]ヨハ一九・一七
②[既]マタ二七・三二
27 ①ルカ八・五二
* 直訳「胸をたたき」

とのために泣きなさい。
29 なぜなら人々が『不妊の女、子を産んだことのない胎、飲ませたことのない乳房は、幸いだ。』と言う日が来るのですから。
30 そのとき、人々は山に向かって、『われわれの上に倒れかかってくれ。』と言い、丘に向かって、『われわれをおおってくれ。』と言い始めます。
31 彼らが生木にこのようなことをするのなら、枯れ木には、いったい、何が起こるでしょう。」
32 ほかにもふたりの犯罪人が、イエスとともに死刑にされるために、引かれて行った。
33 「どくろ」と呼ばれている所に来ると、そこで彼らは、イエスと犯罪人とを十字架につけた。犯罪人のひとりは右に、ひとりは左に。
34 *そのとき、イエスはこう言われた。「父よ。彼らをお赦しください。彼らは、何をしているのか自分でわからないのです。」彼らは、くじを引いて、イエスの着物を分けた。
35 民衆はそばに立ってながめていた。指導者たちもあざ笑って言った。「あれは他人を救った。もし、神の*キリストで、選ばれた者なら、自分を救ってみろ。」
36 兵士たちもイエスをあざけり、そばに寄って来て、酸いぶどう酒を差し出し、
37 「ユダヤ人の王なら、自分を救え。」と言った。
38 「これはユダヤ人の王。」と書いた札もイエスの頭上に掲げてあった。
39 十字架にかけられていた犯罪人のひとりはイエスに悪口を言い、「あなたはキリストではないか。自分と私たちを救え。」と言った。
40 ところが、もうひとりのほうが答えて、彼をたしなめて言った。「おまえは神をも恐れないのか。おまえも同じ刑罰を受けているではないか。
41 われわれは、自分のしたことの報いを受けているのだからあたりまえだ。だがこの方は、悪いことは何もしなかったのだ。」
42 そして言った。「イエスさま。あなたの御国の位にお着きになるときには、私を思い出してください。」
43 イエスは、彼に言われた。「まことに、あなたに告げます。あなたはきょう、わたしとともにパラダイスにいます。」
44 そのときすでに十二時ごろになっていたが、全地が暗くなって、三時まで続いた。
45 太陽は光を失っていた。また、神殿の幕は真二つに裂けた。
46 イエスは大声で叫んで、言われた。「父よ。わが霊を御手にゆだねます。」こう言って、息を引き取られた。
47 この出来事を見た百人隊長は、神をほめたたえ、「ほんとうに、この人は正しい方であった。」と言った。
48 また、この光景を見に集まっていた群衆もみな、こういういろいろの出来事を見たので、胸をたたいて悲しみながら帰った。
49 しかし、イエスの知人たちと、ガリラヤからイエスに従って来た女たちは、遠く離れて立ち、これらのことを見ていた。

29 ①マタ二四・一九、ルカ二一・二三
30 ①ホセ一〇・八、黙六・一六
31 ①イザ五三・一六、②エゼ二〇・四七、ヨハ一五・六
32 ①マタ二七・三八、マコ一五・二七
33 ①ルカ二三・三三―三四、マタ二七・三三―四四、マコ一五・二二―三二、ヨハ一九・一七―一八
34 *異本に「そのとき、イエスはこう言われた。『父よ。……自分でわからないのですと、を欠くものがある ①聖マタ二七・三五、ルカ二三・三四 ②詩二二・八、ヨハ一九・二四
35 ①聖ルカ二三・三五 *すなわち「メシヤ」 ②聖マタ二七・四三
36 ①聖マタ二七・四八
37 ①聖マタ二七・四三
38 ①聖マタ二七・三七、マコ一五・二六、ヨハ一九・一九
39 ①ルカ二三・九―一一、聖マタ二七・四四、マコ一五・三二、②ルカ二三・三五・三七
43 ①Ⅱコリ一二・四、黙二・七
44 ①ルカ二三・四四―四九、マタ二七・四五―五六、マコ一五・三三―四一 ②聖ヨハ一九・一四 *直訳「第六時」
45 ①聖マタ二七・五一
46 ①マタ二七・五〇、マコ一五・三七 ②詩三一・五、聖マタ二七・五〇
47 ①マタ二七・五四、マコ一五・三九 ②聖マタ二七・八
48 ①ルカ八・二、聖ルカ八・二
49 ①聖マタ二七・五五、マコ一五・四一、ルカ八・二、ヨハ一九・二五

について来ていた女たちとはみな、遠く離れて立ち、これらのことを見ていた。

50 さてここに、ヨセフという、議員のひとりで、りっぱな、正しい人がいた。

51 この人は議員たちの計画や行動には同意しなかった。彼は、アリマタヤというユダヤ人の町の人で、神の国を待ち望んでいた。

52 この人が、ピラトのところに行って、イエスのからだの下げ渡しを願った。

53 それから、イエスを取り降ろして、亜麻布で包み、そして、まだだれをも葬ったことのない、岩に掘られた墓にイエスを納めた。

54 この日は準備の日で、もう安息日が始まろうとしていた。

55 ガリラヤからイエスといっしょに出て来た女たちは、ヨセフについて行って、墓と、イエスのからだの納められる様子を見届けた。

56 そして、戻って来て、香料と香油を用意した。

24 安息日には、戒めに従って、休んだが、

1 週の初めの日の明け方早く、女たちは、準備しておいた香料を持って墓に着いた。

2 見ると、石が墓からわきにころがしてあった。

3 はいって見ると、主イエスのからだはなかった。

4 そのため女たちが途方にくれていると、見よ、まばゆいばかりの衣を着たふたりの人が、女たちの近くに来た。

5 恐ろしくなって、地面に顔を伏せていると、その人たちはこう言った。「あなたがたは、なぜ生きている方を死人の中で捜すのですか。

6 *ここにはおられません。よみがえられたのです。まだガリラヤにおられたころ、お話しになったことを思い出しなさい。

7 人の子は必ず罪人らの手に引き渡され、十字架につけられ、三日目によみがえらなければならない、と言われたでしょう。」

8 女たちはイエスのみことばを思い出した。

9 そして、墓から戻って、十一弟子とそのほかの人たち全部に、一部始終を報告した。

10 この女たちは、マグダラのマリヤとヨハンナとヤコブの母マリヤとであった。彼女たちといっしょにいたほかの女たちも、このことを使徒たちに話した。

11 ところが使徒たちにはこの話はたわごとと思われたので、彼らは女たちを信用しなかった。

12 *〔しかしペテロは、立ち上がると走って墓へ行き、かがんでのぞき込んだところ、亜麻布だけがあった。それで、この出来事に驚いて家に帰った。〕

13 ちょうどこの日、ふたりの弟子が、エルサレムから*十一キロメートル余り離れたエマオという村に行く途中であった。

14 そして、ふたりでこのいっさいの出来事について話し合っていた。

---

50 ①ルカ三・五〇・一六、マタ二七・五七、ヨハ一九・三八・四二、②マコ一五・四三

51 ①マコ一五・四三、㊥ルカ二・三五

54 ①マコ一五・四二、㊥マタ二七・六二 *直訳「明けようとしていた」

55 ①㊥ルカ三・四九

56 ①㊥マコ一六・一、ルカ二四・一 ②出三〇・二三

1 ①ルカ二四・一一〇、マタ二八・一 ②㊥マコ一六・一、八、マコ一六・一、八、㊥ヨハ二〇・一、八

3 ①使一・二、㊥ルカ七・三

4 ①ヨハ二〇・一二、②ルカ二・九 使一・七

6 *異本「ここには……よみがえられたのです」を欠く ①㊥マコ一六・六、②マタ一七・二三、マコ九・三一、ルカ九・四四、ルカ二四・四四

7 ①㊥マタ一六・二一、ルカ二四・四六

8 ①ヨハ二・二二

10 ①㊥マタ二七・五六、②㊥マコ一六・一

11 *直訳「彼らの前には」 ①㊥マコ一六・一

12 *異本一二節を欠く ①ヨハ二〇・三、④、②ヨハ二〇・一〇

13 ①マコ一六・一二 *原語「六〇スタディオン」 一スタディオンは一八五メートル

15 話し合ったり、論じ合ったりしているうちに、イエスご自身が近づいて、彼らとともに道を歩いておられた。
16 しかしふたりの目はさえぎられていて、イエスだとはわからなかった。
17 イエスは彼らに言われた。「歩きながらふたりで話し合っているその話は、何のことですか。」すると、ふたりは暗い顔つきになって、立ち止まった。
18 クレオパというほうが答えて言った。「*エルサレムにいながら、近ごろそこで起こった事を、あなただけが知らなかったのですか。」
19 イエスが、「どんな事ですか。」と聞かれると、ふたりは答えた。「ナザレ人イエスのことです。この方は、神とすべての民の前で、行ないにもことばにも力のある預言者でした。
20 それなのに、私たちの祭司長や指導者たちは、この方を引き渡して、死刑に定め、十字架につけたのです。
21 しかし私たちは、この方こそイスラエルを贖ってくださるはずだ、と望みをかけていました。事実、それからばかりでなく、その事があってから三日目になりますが、
22 また仲間の女たちが私たちを驚かせました。その女たちは朝早く墓に行ってみましたが、
23 イエスのからだが見当たらないので、戻って来ました。そして御使いたちの幻を見たが、御使いたちがイエスは生きておられると告げた、と言うのです。
24 それで、仲間の何人かが墓に行ってみたのですが、はたして女たちの言ったとおりで、イエスさまは見当たらなかった、というのです。」
25 するとイエスは言われた。「ああ、愚かな人たち。預言者たちの言ったすべてを信じない、心の鈍い人たち。
26 キリストは、必ず、そのような苦しみを受けて、それから、彼の栄光にはいるはずではなかったのですか。」
27 それから、イエスは、モーセおよびすべての預言者から始めて、聖書全体の中で、ご自分について書いてある事がらを彼らに説き明かされた。
28 彼らは目的の村に近づいたが、イエスはまだ先へ行きそうなご様子であった。
29 それで、彼らが、「いっしょにお泊まりください。そろそろ夕刻になりますし、日もおおかた傾きましたから。」と言って無理に願ったので、イエスは彼らといっしょに泊まるために中にはいられた。
30 彼らとともに食卓に着かれると、イエスはパンを取って祝福し、裂いて彼らに渡された。
31 それで、彼らの目が開かれ、イエスだとわかった。するとイエスは、彼らには見えなくなった。
32 そこでふたりは話し合った。「道々お話しになっている間も、聖書を説明してくださった間も、私たちの心はうちに燃えていたではないか。」
33 すぐさまふたりは立って、エルサレムに戻ってみる

16 ①脱ヨハ二〇・一四、二一・四 脱ルカ二四・三一
18 * 別訳「あなたはエルサレムにたったひとりで滞在していたのですか」
19 ①箴マコ一四、②箴マタ二一・二
20 ①ルカ二三・三五
21 ①脱ルカ一・六八
22 ①ルカ二四・一以下
25 ①箴マタ六・二四
26 ①ルカ二四・七 脱四以下、ヘブ二・一〇、Ⅰペテ一・一一
27 ①脱創三・一五、三・一五等、民二一・九（ヨハ三・一四）、申一八・一五（ヨハ一・四五）、脱ヨハ五・四六、②脱Ⅱサム七・一二、Ⅰ七・一三、詩一三二・一一、マタ一二・四〇、四三章（マタ一三・八以下）、五章（マタ二・一七、ルカ三・三七）、ダニ七・一三（マタ二四・三〇等）、ミカ五・二（マタ二・六）ゼカ九・九（マタ二一・五）脱使二・三七
28 ①マコ六・四八
30 ①箴マタ一四・一九
31 ①脱ルカ二四・一六
32 ①ルカ二四・四五
* 直訳「開いてくださった」

と、十一使徒とその仲間が集まって、
34「ほんとうに主はよみがえって、シモンにお姿を現わされた。」と言っていた。
35彼らも、道であったいろいろなことや、パンを裂かれたときにイエスだとわかった次第を話した。
36これらのことを話している間に、イエスご自身が彼らの真中に立たれた。*
37彼らは驚き恐れて、霊を見ているのだと思った。
38すると、イエスは言われた。「なぜ取り乱しているのですか。どうして心に疑いを起こすのですか。
39わたしの手やわたしの足を見なさい。まさしくわたしです。わたしにさわって、よく見なさい。霊ならこんな肉や骨はありません。わたしは持っています。」*
41それでも、彼らは、うれしさのあまりまだ信じられず、不思議がっているので、イエスは、「ここに何か食べ物がありますか。」と言われた。
42それで、焼いた魚を一切れ差し上げると、
43イエスは、彼らの前で、それを取って召し上がった。
44さて、そこでイエスは言われた。「わたしがまだあなたがたといっしょにいたころ、あなたがたに話したことばはこうです。わたしについてモーセの律法と預言者と詩篇とに書いてあることは、必ず全部成就するということでした。」
45そこで、イエスは、聖書を悟らせるために彼らの心を開いて、
46こう言われた。「次のように書いてあります。キリストは苦しみを受け、三日目に死人の中からよみがえり、
47その名によって、罪の赦しを得させる悔い改めが、エルサレムから始まってあらゆる国の人々に宣べ伝えられる。
48あなたがたは、これらのことの証人です。
49さあ、わたしは、わたしの父の約束してくださったものをあなたがたに送ります。あなたがたは、いと高き所から力を着せられるまでは、都にとどまっていなさい。」
50それから、イエスは、彼らをベタニヤまで連れて行き、手を上げて祝福された。
51そして祝福しながら、彼らから離れて行かれた。*
52彼らは、*非常な喜びを抱いてエルサレムに帰り、
53いつも宮にいて神をほめたたえていた。

33 ①マコ六・三、②Ⅱ使一・一四
34 ①ルカ二四・六、②Ⅰコリ一五・五
35 ①マコ六・一四
36 ①*異本「そして彼らに言われた。あなたがたに平安があるように。」を加える
37 ①Ⅱマタ一四・二六、マコ六・四九
39 ①ヨハ二〇・二七、②Ⅰヨハ一・一、Ⅱヨハ一・七
*異本に四〇節「イエスはこう言われて、その手と足を彼らにお示しになった」を加えるものもある
41 ①マコ一六・一四、②ヨハ二一・五
43 ①使一〇・四一
44 ①ルカ九・二二、一八・三一、二四・二五、二七、②マコ一四・四九、③詩二二篇、使一三・三三、詩一六篇(使二・二七)、詩三二篇(マタ二七・三五、使一三・三三)、詩四一篇(ヨハ一三・一八以下)、詩四五篇(ヘブ一・八)、詩六九篇(マタ二七・三四)、詩七二・一一〇篇(マタ二二・四三)
45 ①ルカ二四・三二、Ⅱヨハ五・二〇
46 ①ルカ二四・二六、②ルカ二四・七
*すなわち、「メシヤ」
47 ①使一・二、一〇・三六、三八、二六・二〇、*異本「悔い改めと罪の赦しが……」
②マタ二八・一九
48 ①使一八・二二、二三・二一、二六・二二、二八・二三等
49 ①Ⅱヨハ一四・二六、②使一・四
50 ①マタ二一・一七、Ⅱ使一・一二
51 *異本「そして、天に上げられた」を加える
52 *異本「イエスを拝し、そして……」を加える
53 *直訳「祝福していた」

ヨハネの福音書

1

1 初めに、ことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった。
2 この方は、初めに神とともにおられた。
3 すべてのものは、この方によって造られた。造られたもので、この方によらずにできたものは一つもない。
4 この方にいのちがあった。このいのちは人の光であった。
5 光はやみの中に輝いている。やみはこれに打ち勝たなかった。
6 神から遣わされたヨハネという人が現われた。
7 この人はあかしのために来た。光についてあかしするためであり、すべての人が彼によって信じるためである。
8 彼は光ではなかった。ただ光についてあかしするために来たのである。
9 すべての人を照らすそのまことの光が世に来ようとしていた。
10 この方はもとから世におられ、世はこの方によって造られたのに、世はこの方を知らなかった。
11 この方はご自分のくにに来られたのに、ご自分の民は受け入れなかった。
12 しかし、この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった。
13 この人々は、血によってではなく、肉の欲求や人の意欲によってでもなく、ただ、神によって生まれたのである。
14 ことばは人となって、私たちの間に住まわれた。私たちはこの方の栄光を見た。父のみもとから来られたひとり子としての栄光である。この方は恵みとまことに満ちておられた。
15 ヨハネはこの方について証言し、叫んで言った。「『私のあとから来る方は、私にまさる方である。私より先におられたからである。』と私が言ったのは、この方のことです。」
16 私たちはみな、この方の満ち満ちた豊かさの中から、恵みの上にさらに恵みを受けたのである。
17 というのは、律法はモーセによって与えられ、恵みとまことはイエス・キリストによって実現したからである。
18 いまだかつて神を見た者はいない。父のふところにおられるひとり子の神が、神を説き明かされたのである。
19 ヨハネの証言は、こうである。ユダヤ人たちが祭司とレビ人をエルサレムからヨハネのもとに遣わして、「あなたはどなたですか。」と尋ねさせた。

---

1 ①創一・一、㊐ヨコ一・一七
＊「ことば」はキリストのこと。したがって「初めに」はキリストの永遠的存在を意味する
②ヨハ一・一四、黙一九・一三
3 ①ヨハ一・一〇、Ⅰコリ八・六
4 ①ヨハ一・一〇、ヘブ一・二
5 ①㊐ヨハ一・五、㊐ヨハ一七・五
6 ①ヨハ一・一〇、Ⅰコリ八・六
7 ①ヨハ一・一四、㊐ヨハ一・三、㊐ヨハ一四・六、㊐ヨハ一五・二六、㊐ヨハ一六・八、㊐ヨハ一六・一四、㊐ヨハ一六・二六、㊐ヨハ一六・三〇、㊐ヨハ一七・八、㊐ヨハ一七・二一
8 ①㊐ヨハ一・二〇、㊐ヨハ一・三、㊐使一九・四
9 ①ヨハ一・四、五
＊別訳「まことの光があった。それは世に来て、すべての人を照らすものである」
10 ①Ⅰコリ八・六、コロ一・一六、ヘブ一・二
11 ＊あるいは「ご自分のもの、所領」
12 ①㊐ヨハ一・七、三・三、Ⅰヨハ二・二、㊐Ⅰヨハ三・二、②㊐ヨハ二・二六、ガラ三・二六
13 ①ヨハ三・三、Ⅰペテ一・三
14 ①黙一九・一三、②㊐ロマ一・三、ガラ四・四、ピリ二・七、八、Ⅰテモ三・一六、＊別訳「肉」、㊐ヘブ二・一四、Ⅰヨハ一・一、二等、＊別訳「肉」、③㊐黙二一・三、④ルカ九・三二
＊別訳「……栄光で、恵みとまことに満ちていた」
⑤ヨハ一・一七、ロマ三・二六、二四
⑥ヨハ八・三二、一四・六、六・三七
15 ①ヨハ一・七、②ヨハ一・三〇、＊直訳「私の前に成った」、③ヨハ一・三〇
16 ①エペ一・三、六、三等
＊別訳「恵みに代えて恵みを……」
17 ①ヨハ七・一九、②ヨハ一・四

20 彼は告白して否まず、「私は*キリストではありません。」と言明した。
21 また、彼らは聞いた。「では、いったい何ですか。あなたはエリヤですか。」彼は言った。「そうではありません。」「あなたはあの預言者ですか。」彼は答えた。「違います。」
22 そこで、彼らは言った。「あなたはだれですか。私たちを遣わした人々に返事をしたいのですが、あなたは自分を何だと言われるのですか。」
23 彼は言った。「私は、預言者イザヤが言ったように『主の道をまっすぐにせよ。』と荒野で叫んでいる者の声です。」
24 彼らは、パリサイ人の中から遣わされたのであった。
25 彼らはまた尋ねて言った。「キリストでもなく、エリヤでもなく、またあの預言者でもないなら、なぜ、あなたはバプテスマを授けているのですか。」
26 ヨハネは答えて言った。「私は水でバプテスマを授けているが、あなたがたの中に、あなたがたの知らない方が立っておられます。
27 その方は私のあとから来られる方で、私はその方のくつのひもを解く値うちもありません。」
28 この事があったのは、ヨルダンの向こう岸のベタニヤであって、ヨハネはそこでバプテスマを授けていた。
29 その翌日、ヨハネは自分のほうにイエスが来られるのを見て言った。「見よ、世の罪を取り除く神の小羊。
30 私が『私のあとから来る人がある。その方は私にまさる方である。私より先におられたからだ。』と言ったのは、この方のことです。
31 私もこの方を*知りませんでした。しかし、この方がイスラエルに明らかにされるために、私は来て、水でバプテスマを授けているのです。」
32 またヨハネは証言して言った。「御霊が鳩のように天から下って、この方の上にとどまられるのを私は見ました。
33 私もこの方を知りませんでした。しかし、水でバプテスマを授けさせるために私を遣わされた方が、私に言われました。『聖霊がある方の上に下って、その上にとどまられるのがあなたに見えたなら、その方こそ、聖霊によってバプテスマを授ける方である。』
34 私はそれを見たのです。それで、この方が神の子であると証言しているのです。」
35 その翌日、またヨハネは、ふたりの弟子とともに立っていたが、
36 イエスが歩いて行かれるのを見て、「見よ、神の小羊。」と言った。
37 ふたりの弟子は、彼がそう言うのを聞いて、イエスについて行った。
38 イエスは振り向いて、彼らがついて来るのを見て、言われた。「あなたがたは何を求めているのですか。」

20 ①ヨハ三・二六、㊐ルカ三・一五、一六
*すなわち「メシヤ」
21 ①㊐マタ二・一四、一五、㊐申一八・一五
②申一八・一八、㊐マタ二・一
㊐マタ二・一一
23 ①㊐マタ三・三、マコ一・三、ルカ三・四、②イザ四〇・三
㊐申一八・一五、一八、ヨハ一・二一
25 ①㊐マタ三・一一、マコ一・八、ルカ三・一六、使一・五
26 ①マタ三・一一、マコ一・八、ルカ三・一六、使一・五
②マコ一・七、ルカ三・一六
㊐マタ三・一一
28 ①ヨハ三・一六、(一〇・四〇)
29 ①ヨハ一・三六、㊐マタ三・一一
②イザ五三・七、ヨハ一・三六、使八・三二、㊐Iペテ一・一九、黙五・六、八・三、三六・一
30 ①ヨハ一・一五、マタ三・一一
*直訳「私の前に成った」
②ヨハ一・一五
31 *あるいは「メシヤとしては」を補う
32 ①ヨハ一・七、②マタ三・一六
マコ一・一〇、ルカ三・二二
33 ①マタ三・一一、マコ一・八、ルカ三・一六、使一・五
34 ①ヨハ一・四九、㊐マタ一四・三三
35 ①㊐ヨハ一・一九
36 ①㊐ヨハ一・一九

彼らは言った。「ラビ（訳して言えば、先生）。今どこにお泊まりですか。」[1]

39 イエスは彼らに言われた。「来なさい。そうすればわかります。」そこで、彼らはついて行って、イエスの泊まっておられる所を知った。そして、その日彼らはイエスといっしょにいた。時は十時ごろであった。

40 ヨハネから聞いて、イエスについて行ったふたりのうちのひとりは、シモン・ペテロの兄弟アンデレであった。[1]

41 彼はまず自分の兄弟シモンを見つけて、「私たちはメシヤ（訳して言えば、キリスト）に会った。」と言った。[1]

42 彼はシモンをイエスのもとに連れて来た。イエスはシモンに目を留めて言われた。「あなたはヨハネの子シモンです。あなたをケパ（訳すとペテロ）と呼ぶことにします。」[1]

43 その翌日、イエスはガリラヤに行こうとされた。そして、ピリポを見つけて「わたしに従って来なさい。」と言われた。[1]

44 ピリポは、ベツサイダの人で、アンデレやペテロと同じ町の出身であった。

45 彼はナタナエルを見つけて言った。「私たちは、モーセが律法の中に書き、預言者たちも書いている方に会いました。ナザレの人で、ヨセフの子イエスです。」[1]

46 ナタナエルは彼に言った。「ナザレから何の良いものが出るだろう。」ピリポは言った。「来て、そして、見なさい。」

47 イエスはナタナエルが自分のほうに来るのを見て、彼について言われた。「これこそ、ほんとうのイスラエル人だ。彼のうちには偽りがない。」[1]

48 ナタナエルはイエスに言った。「どうして私をご存じなのですか。」イエスは言われた。「わたしは、ピリポがあなたを呼ぶ前に、あなたがいちじくの木の下にいるのを見たのです。」

49 ナタナエルは答えた。「先生。あなたは神の子です。あなたはイスラエルの王です。」[1]

50 イエスは答えて言われた。「あなたがいちじくの木の下にいるのを見た、とわたしが言ったので、あなたは信じるのですか。あなたは、それよりもさらに大きなことを見ることになります。」

51 そして言われた。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。天が開けて、神の御使いたちが人の子の上を上り下りするのを、あなたがたはいまに見ます。」[1]

2

1 それから三日目に、ガリラヤのカナで婚礼があって、そこにイエスの母がいた。[1]

2 イエスも、また弟子たちも、その婚礼に招かれた。

3 ぶどう酒がなくなったとき、母がイエスに向かって「ぶどう酒がありません。」と言った。

4 すると、イエスは母に言われた。「そのことで、わたしとあなたは何の関係があるのでしょう。女の方。わたしの時はまだ来ていません。」[1]

38 ①㊐マタ三・七、ヨハ一・四九
39 * 別訳「イエスのところにとどまった」 * * 直訳「第十時」この書では、共観福音書の時刻の呼称と異なる方式を用いたとみる。同じなら午後四時
40 ①ヨハ一・四四、㊐マタ四・一八・二二、マコ一・一六・二〇、ルカ五・一〇
41 ①ダニ九・二五、ヨハ四・二五 * 原意「油を注がれた者」
42 ①ヨハ二一・一五―一七、②Ⅰコリ一五・五、ガラ二・九、一四 * すなわち「岩」
43 ①ヨハ一・四三、㊐ヨハ一・六―七、㊐ヨハ一・四五、マタ四・二一、㊐ヨハ一・四四、マコ一・一九、㊐ヨハ一・四四、マタ四・二一
44 ①㊐マタ一一・二一
45 ①ヨハ一・四四、四六、二一・二、㊐ルカ二四・二七、②㊐ルカ二四・二七、③マタ二・二三、㊐ヨハ一・四五、④㊐マタ八・三
46 ①㊐ヨハ七・四一、五二
47 ①㊐ロマ九・四
49 ①㊐ヨハ一・三六、②ヨハ一・三四、③㊐マタ二・二三、マコ一五・三二、ヨハ一二・一三
51 ①エゼ一・一、マタ三・一六、ルカ三・二一、使七・五六、一〇・一一、黙二〇・一一、②創二八・一二、③ヨハ一・四四、㊐ヨハ一・四五、四九、二・一一、③㊐マタ三・四六
1 ①ヨハ一・二六、三四、②ヨハ一・二、四四、二・一、③㊐マタ三・四六
2 ①ヨハ一・四四―四六、二・一二、七・三、三・三五、四・三、八・三三以下、一六・八、二一・二〇、二四・四四、㊐ヨハ六・四〇、六一、六六、七・三五、八・二一
4 ①㊐マタ八・二九、②ヨハ二・四、③㊐ヨハ七・六、八・二〇、㊐ヨハ七・三〇、八・二〇

5 母は手伝いの人たちに言った。「あの方が言われることを、何でもしてあげてください。」

6 さて、そこには、ユダヤ人のきよめのしきたりによって、それぞれ八十リットルから百二十リットル入りの石の水がめが六つ置いてあった。

7 イエスは彼らに言われた。「水がめに水を満たしなさい。」彼らは水がめを縁までいっぱいにした。

8 イエスは彼らに言われた。「さあ、今くみなさい。そして宴会の世話役のところに持って行きなさい。」彼らは持って行った。

9 宴会の世話役はぶどう酒になったその水を味わってみた。それがどこから来たのか、知らなかったので、——しかし、水をくんだ手伝いの者たちは知っていた、——彼は、花婿を呼んで、

10 言った。「だれでも初めに良いぶどう酒を出し、人々が十分飲んだころになると、悪いのを出すものだが、あなたは良いぶどう酒をよくも今まで取っておきました。」

11 イエスはこのことを最初のしるしとしてガリラヤのカナで行ない、ご自分の栄光を現わされた。それで、弟子たちはイエスを信じた。

12 その後、イエスは母や兄弟たちや弟子たちといっしょに、カペナウムに下って行き、長い日数ではなかったが、そこに滞在された。

13 ユダヤ人の過越の祭りが近づき、イエスはエルサレムに上られた。

14 そして、宮の中に、牛や羊や鳩を売る者たちと両替人たちがすわっているのをご覧になり、

15 細なわでむちを作って、羊も牛もみな、宮から追い出し、両替人の金を散らし、その台を倒し、

16 また、鳩を売る者に言われた。「それをここから持って行け。わたしの父の家を商売の家としてはならない。」

17 弟子たちは、「あなたの家を思う熱心がわたしを食い尽くす。」と書いてあるのを思い起こした。

18 そこで、ユダヤ人たちが答えて言った。「あなたがこのようなことをするからには、どんなしるしを私たちに見せてくれるのですか。」

19 イエスは彼らに答えて言われた。「この神殿をこわしてみなさい。わたしは、三日でそれを建てよう。」

20 そこで、ユダヤ人たちは言った。「この神殿は建てるのに四十六年かかりました。あなたはそれを、三日で建てるのですか。」

21 しかし、イエスはご自分のからだの神殿のことを言われたのである。

22 それで、イエスが死人の中からよみがえられたとき、弟子たちは、イエスがこのように言われたことを思い起こして、聖書とイエスが言われたことばとを信じた。

23 イエスが、過越の祭りの祝いの間、エルサレムにおられたとき、多くの人々が、イエスの行なわれたしるしを見て、御名を信じた。

24 しかし、イエスは、ご自身を彼らにお任せにならな

---

5 ①㊥マコ二・一四※
6 ①旧マコ七・三※ ヨハ二・三※
*原語「コイ」三メトレテス」メトレテスは約四〇リットル
9 ①ヨハ四・四六
10 ①マタ二二・四※ ルカ一三・四五※ 使二・一三、Ⅰコリ一一・二一、エペ五・一八、Ⅰテサ五・七、黙一七・六
*別訳「酔ったころになると」
11 ①ヨハ二・三、三・二、四・四五、四六・二、一四、二六、三〇、七三、八・二〇、一四、二・四※、三・二六、三〇、三一
*あるいは「証拠としての奇蹟」
②ヨハ一四三、③㊥ヨハ一・一四
12 ①㊥マタ一三・五五、②㊥ヨハ七・三、③マタ四・一三
13 ①ヨハ六・四、一三、一五、旧ヨハ五・一注、申一六・一、一八、②ルカ二・四一、ヨハ三・三
14 ①ヨハ一・四九、六、㊥マタ二一・一二以下、マコ一一・一五、一七、ルカ一九・四五※、旧マラ三・一以下
15 ①㊥マタ二一・一二、②旧ルカ二・四九
16 ①㊥ヨハ二・一六、②㊥詩六九・九
17 ①㊥ヨハ二・一七、②㊥詩六九・九
18 ①㊥ヨハ二・一九、②㊥マタ二六・六一、二七・四〇、マコ一四・五八、二五・二九、旧使六・一四
19 ①マタ二六・六一、二七・四〇、マコ一四・五八、二五・二九、旧使六・一四
20 ①㊥ヨハ一・一九、②旧Ⅰコリ六・一九
21 ①旧Ⅰコリ六・一九、②旧エズ五・六六
22 ①㊥ヨハ二・一七、②ルカ二四・八、ヨハ三・一六、旧ヨハ一七・一四、二六、③旧詩一六・一〇、ヨハ一〇・九、ルカ二四・二六、使二・三三
23 ①ヨハ三・二、㊥ヨハ二・一一
25 ①ヨハ六・六四、六四、ヨハ三・一マタ九・四、旧ヨハ一・四二、四七
1 ①ヨハ一六・一九、二九
②㊥ルカ三・二、旧ヨハ七・六六

かった。なぜなら、イエスはすべての人を知っておられたからであり、
25また、イエスはご自身で、人のうちにあるものを知っておられたので、人についてだれの証言も必要とされなかったからである。

3 1さて、パリサイ人の中にニコデモという人がいた。ユダヤ人の指導者であった。
2この人が、夜、イエスのもとに来て言った。「先生。私たちは、あなたが神のもとから来られた教師であることを知っています。神がともにおられるのでなければ、あなたがなさるこのようなしるしは、だれも行なうことができません。」
3イエスは答えて言われた。「まことに、まことに、あなたに告げます。人は、新しく生まれなければ、神の国を見ることはできません。」
4ニコデモは言った。「人は、老年になっていて、どのようにして生まれることができるのですか。もう一度、母の胎にはいって生まれることができましょうか。」
5イエスは答えられた。「まことに、まことに、あなたに告げます。人は、水と御霊によって生まれなければ、神の国にはいることができません。
6肉によって生まれた者は肉です。御霊によって生まれた者は霊です。
7あなたがたは新しく生まれなければならない、とわたしが言ったことを不思議に思ってはなりません。
8風はその思いのままに吹き、あなたはその音を聞くが、それがどこから来てどこへ行くかを知らない。御霊によって生まれる者もみな、そのとおりです。」
9ニコデモは答えて言った。「どうして、そのようなことがありうるのでしょう。」
10イエスは答えて言われた。「あなたはイスラエルの教師でありながら、こういうことがわからないのですか。
11まことに、まことに、あなたに告げます。わたしたちは、知っていることを話し、見たことをあかししているのに、あなたがたは、わたしたちのあかしを受け入れません。
12あなたがたは、わたしが地上のことを話したとき、信じないくらいなら、天上のことを話したとて、どうして信じるでしょう。
13だれも天に上った者はいません。しかし天から下った者はいます。すなわち人の子です。
14モーセが荒野で蛇を上げたように、人の子もまた上げられなければなりません。
15それは、信じる者がみな、人の子にあって永遠のいのちを持つためです。」
16神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。
17神が御子を世に遣わされたのは、世をさばくためで

2 ①㊥マタ三・七、ヨハ三・二六 ②使一〇・三八、出ヨハ九・三三、一〇・六、ヨハ一〇・一二、使二・三 ③㊥ヨハ二・二四
3 ①Ⅰペテ一・三、出Ⅱコリ五・一七、＊あるいは「上から」 ②ヨハ三・五、マタ一八・三、一〇・一五、一三・一一、マコ一〇・一五、一〇・一五
5 ①エゼ三六・二五―二七、出エゼ三六・二六、テト三・五、②ヨハ三・三、マタ一八・三、一〇・一五、一三・一一、マコ九・四三―四七、一〇・一五
6 ①ヨハ一・一三、Ⅰコリ一五・五〇
7＊あるいは「上から」
8 ①出伝二・五、エゼ三七・九、詩一三五・七
10 ①ルカ二四・二五、出ルカ五・七、使二八・二四
11 ①ヨハ七・一六、一七・八、二六、三一、一四・一〇、一四、出ヨハ一・一八 ②ヨハ三・三二
13 ①箴三〇・四、出申三〇・一二、使二・三四、ロマ一〇・六、エペ四・九 ②ヨハ三・三一、六・六二、八・二三、㊥マタ八・二〇、＊異本「天にいる人の子」
14 ①民二一・九、㊥ヨハ八・二八、一二・三四 ②㊥マタ八・二〇
15 ①ヨハ三・三、ヨハ五・二四、一三、＊別訳「人の子を信じる者がみな永遠のいのちを持つためです」
＊＊キリストのみことばの引用をここまでとしないで、二一節の終わりまでとして訳すこともできる
16 ①ヨハ一・一八、ヨハ四・九、＊すなわち「独自の（比類のない）御子」 ②ロマ八・三二、Ⅰヨハ四・九 ③ロマ五・八、エペ二・四―九、Ⅱテサ二・一六、Ⅰヨハ四・一〇 ④ヨハ三・一六、㊥ヨハ三・一六、四四、二・二六、二八
17 ①ヨハ三・三四、三五、五・二六、二七、七・二九、八・四二、一〇・三六、一七・二、四、七、二五、八・二三、二六、一〇・三六、一二・四七、㊥ヨハ四・四二、出ルカ一九・一〇、ヨハ四・四二

はなく、御子によって世が救われるためである。
18 御子を信じる者はさばかれない。信じない者は神のひとり子の御名を信じなかったので、すでにさばかれている。
19 そのさばきというのは、こうである。光が世に来ているのに、人々は光よりもやみを愛した。その行ないが悪かったからである。
20 悪いことをする者は光を憎み、その行ないが明るみに出されることを恐れて、光のほうに来ない。
21 しかし、真理を行なう者は、光のほうに来る。その行ないが神にあってなされたことが明らかにされるためである。

22 その後、イエスは弟子たちと、ユダヤの地に行き、彼らとともにそこに滞在して、バプテスマを授けておられた。
23 一方ヨハネもサリムに近いアイノンでバプテスマを授けていた。そこには水が多かったからである。人々は次々にやって来て、バプテスマを受けていた。
24 ——ヨハネは、まだ投獄されていなかったからである。——

25 それで、ヨハネの弟子たちが、あるユダヤ人ときよめについて論議した。
26 彼らはヨハネのところに来て言った。「先生。見てください。ヨルダンの向こう岸であなたといっしょにいて、あなたが証言なさったあの方が、バプテスマを授けておられます。そして、みなあの方のほうへ行きます。」

27 ヨハネは答えて言った。「人は、天から与えられるのでなければ、何も受けることはできません。
28 あなたがたこそ、『私はキリストではなく、その前に遣わされた者である。』と私が言ったことの証人です。
29 花嫁を迎える者は花婿です。そこにいて、花婿のことばに耳を傾けているその友人は、花婿の声を聞いて大いに喜びます。それで、私もその喜びで満たされているのです。
30 あの方は盛んになり私は衰えなければなりません。」*
31 上から来る方は、すべてのものの上におられ、地から出る者は地に属し、地のことばを話す。天から来る方は、すべてのものの上におられる。
32 この方は見たこと、また聞いたことをあかしされるが、だれもそのあかしを受け入れない。
33 そのあかしを受け入れた者は、神は真実であるということに確認の印を押したのである。
34 神がお遣わしになった方は、神のことばを話される。神が御霊を無限に与えられるからである。
35 父は御子を愛しておられ、万物を御子の手にお渡しになった。
36 御子を信じる者は永遠のいのちを持つが、御子に聞き従わない者は、いのちを見ることがなく、神の怒りがその上にとどまる。

4

1 イエスがヨハネよりも弟子を多くつくって、バプテスマを授けていることがパリサイ人の耳にはいった。それを主が知られ

* バプテスマのヨハネの引用をここまでとしないで、三六節の終わりまでとして訳すこともできる

18 ①Ⅱ使マコ一六・一六、ヨハ五・二四 ②ヨハ一・一八、Ⅰヨハ四・九 *㊇ヨハ三・六注
19 ①Ⅱ使ヨハ三・一九㊇、②ヨハ七・七
20 ①ヨハ三・二〇・二一、Ⅱ使エペ五・一一、二・二
21 ①Ⅰヨハ一・六 ②ヨハ四・一
22 ①㊇ヨハ三・二、②ヨハ四・一
24 ①㊇マタ四・一二
25 ①㊇ヨハ二・六
26 ①ヨハ三・二、㊇マタ三・七 ②㊇ヨハ一・六、③㊇ヨハ一・七
27 ①Ⅰコリ四・七、Ⅱ使ヘブ五・四
28 ①ヨハ一・二〇・三
29 ①Ⅱ使マタ二五・一、九・一五 ②ヨハ三・一、六・二九、一七・一三 ピリ二・二、Ⅰヨハ一・四、Ⅱヨハ一二
30 ①㊇ヨハ三・二七、②㊇ヨハ一・一六
31 ①㊇ヨハ三・三一、三八・三㊇ ②Ⅱ使Ⅰヨハ四・五、③㊇ヨハ三・三八・三㊇
32 ①ヨハ三・一一
33 ①ヨハ六・二九、ロマ四・二一、三五、Ⅰコリ一・九、Ⅱコリ一・一三、エペ一・一三㊇、Ⅱテモ二・一九、黙七・一八
34 ①㊇ヨハ三・一七、②マタ三・一六、ルカ四・一八、使一・二、一〇・三八 *直訳「神は御霊を量っては与えられない」
35 ①ヨハ五・二〇、一七・二、㊇マタ一一・二七 ②Ⅱ使ヨハ三・一六、㊇ヨハ三・一六、②Ⅱ使一四・二
36 ①㊇ヨハ三・一六、㊇ヘブ三・六
1 ①ヨハ三・二二、二六、Ⅱ使Ⅰコリ一・一七、②㊇ルカ七・一三

たとき、
2 ——イエスご自身はバプテスマを授けておられたのではなく、弟子たちであったが、——
3 主はユダヤを去って、またガリラヤへ行かれた。
4 しかし、サマリヤを通って行かなければならなかった。
5 それで主は、ヤコブがその子ヨセフに与えた地所に近いスカルというサマリヤの町に来られた。
6 そこにはヤコブの井戸があった。イエスは旅の疲れで、井戸のかたわらに腰をおろしておられた。時は六時ごろであった。
7 ひとりのサマリヤの女が水をくみに来た。イエスは「わたしに水を飲ませてください。」と言われた。
8 弟子たちは食物を買いに、町へ出かけていた。
9 そこで、そのサマリヤの女は言った。「あなたはユダヤ人なのに、どうしてサマリヤの女の私に、飲み水をお求めになるのですか。」——ユダヤ人はサマリヤ人とつきあいをしなかったからである。——
10 イエスは答えて言われた。「もしあなたが神の賜物を知り、また、あなたに水を飲ませてくれと言う者がだれであるかを知っていたなら、あなたのほうでその人に求めたことでしょう。そしてその人はあなたに生ける水を与えたことでしょう。」
11 彼女は言った。「先生。あなたはくむ物を持っておいでにならず、この井戸は深いのです。その生ける水をどこから手にお入れになるのですか。
12 あなたは、私たちの先祖ヤコブよりも偉いのでしょうか。ヤコブは私たちにこの井戸を与え、彼自身も、彼の子たちも家畜も、この井戸から飲んだのです。」
13 イエスは答えて言われた。「この水を飲む者はだれでも、また渇きます。
14 しかし、わたしが与える水を飲む者はだれでも、決して渇くことがありません。わたしが与える水は、その人のうちで泉となり、永遠のいのちへの水がわき出ます。」
15 女はイエスに言った。「先生。私が渇くことがなく、もうここまでくみに来なくてもよいように、その水を私に下さい。」
16 イエスは彼女に言われた。「行って、あなたの夫をここに呼んで来なさい。」
17 女は答えて言った。「私には夫はありません。」イエスは言われた。「私には夫がないというのは、もっともです。
18 あなたには夫が五人あったが、今あなたといっしょにいるのは、あなたの夫ではないからです。あなたが言ったことはほんとうです。」
19 女は言った。「先生。あなたは預言者だと思います。
20 私たちの先祖は、この山で礼拝しましたが、あなたがたは、礼拝すべき場所はエルサレムだと言われます。」
21 イエスは彼女に言われた。「わたしの言うことを信じなさい。あなたがたが父を礼拝するのは、この山で

2 ①ヨハ三・三、六、㊥Ⅰコリ一・七、②㊥ヨハ一・二
3 ①ヨハ三・三、②ヨハ一・二、三
4 ①㊥ルカ・三
5 ①創三三・一九、ヨシ二四・三二、ヨハ四・三、②㊥ルカ九・三
6 * 直訳「第六時」㊥ヨハ一・三九注
8 ①㊥ヨハ一・三、②ヨハ四・三五、六
9 ①㊥ルカ・三、②マタ一〇・五、四・八、ヨハ八・四八、エズ四・三、八、二以下
10 ①ヨハ七・三七、六、黙三一・六、三一・七
* あるいは「わき出る水」
㊥創二六・一九
11 ①ヨハ七・三七、六、黙三一・六、三一・七
12 ①ヨハ四・六
14 ①ヨハ六・三五、七・三八
②㊥マタ五・四八、ヨハ六・三七
15 * 別訳「主よ」
①㊥ヨハ六・三四
19 * 別訳「主よ」
①㊥マタ二一・一一、㊥ルカ七・六
20 ①創三三・二〇、㊥ヨハ四・二〇
②申一二・五、ヨシ八・三三
③㊥ルカ九・五三
21 * 原文には「わたし」の前に、女の人に対する呼びかけ語「ギュナイ」がある
①マタ二・一一、Ⅰテモ二・八

もなく、エルサレムでもない、そういう時が来ます。
22 救いはユダヤ人から出るのですから、わたしたちは知って礼拝していますが、あなたがたは知らないで礼拝しています。
23 しかし、真の礼拝者たちが霊とまことによって父を礼拝する時が来ます。今がその時です。父はこのような人々を礼拝者として求めておられるからです。
24 神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって礼拝しなければなりません。」
25 女はイエスに言った。「私は、キリストと呼ばれるメシヤの来られることを知っています。その方が来られるときには、いっさいのことを私たちに知らせてくださるでしょう。」
26 イエスは言われた。「あなたと話しているこのわたしがそれです。」
27 このとき、弟子たちが帰って来て、イエスが女の人と話しておられるのを不思議に思った。しかし、だれも、「何を求めておられるのですか。」とも、「なぜ彼女と話しておられるのですか。」とも言わなかった。
28 女は、自分の水がめを置いて町へ行き、人々に言った。
29 「来て、見てください。私のしたこと全部を私に言った人がいるのです。この方がキリストなのでしょうか。」
30 そこで、彼らは町を出て、イエスのほうへやって来た。
31 そのころ、弟子たちはイエスに、「先生。召し上がってください。」とお願いした。
32 しかし、イエスは彼らに言われた。「わたしには、あなたがたの知らない食物があります。」
33 そこで、弟子たちは互いに言った。「だれか食べる物を持って来たのだろうか。」
34 イエスは彼らに言われた。「わたしを遣わした方のみこころを行ない、そのみわざを成し遂げることが、わたしの食物です。
35 あなたがたは、『刈り入れ時が来るまでに、まだ四か月ある。』と言ってはいませんか。さあ、わたしの言うことを聞きなさい。目を上げて畑を見なさい。色づいて、刈り入れるばかりになっています。
36 すでに、刈る者は報酬を受け、永遠のいのちに入れられる実を集めています。それは蒔く者と刈る者がともに喜ぶためです。
37 こういうわけで、『ひとりが種を蒔き、ほかの者が刈り取る。』ということわざは、ほんとうなのです。
38 わたしは、あなたがたに自分で労苦しなかったものを刈り取らせるために、あなたがたを遣わしました。ほかの人々が労苦して、あなたがたはその労苦の実を得ているのです。」
39 さて、その町のサマリヤ人のうち多くの者が、「あの方は、私がしたこと全部を私に言った。」と証言したその女のことばによってイエスを信じた。
40 そこで、サマリヤ人たちはイエスのところに来たと

---

21 ②ヨハ五・六、一六・一八、田ヨハ四・三五、五・一六、一六・三三
22 ①イザ二・三、ロマ三・一、二九・一四、三〇、②Ⅱ列一七・二六・四一
23 ①田ピリ三・三、②ヨハ五・二五、一六・三、田ヨハ四・二一、三五、一六・二
24 ①田ピリ三・三
25 ①田マタ一・一六、②創ヨハ一・四一
26 ①創ヨハ八・二四、田ヨハ九・三七
27 ①ヨハ四・八、②創ヨハ二・二
29 ①ヨハ四・二七、一六、②田ヨハ七・二六、二七、マタ三・三
＊すなわち「メシヤ」
31 ①創マタ三・七
33 ①創ヨハ二・二
34 ①ヨハ五・三〇、六・三八、②ヨハ三四・一七、田ヨハ九・四、三三
35 ①創ルカ一〇・二
36 ＊「すでに」を三五節の「色づいて」の前に置く読み方もある ①Ⅰコリ九・一七、一八、②ヨハ四四・一四、③ロマ一・一三
37 ①田ヨブ三一・八、ミカ六・一五
39 ①ヨハ四四・三九、②ヨハ四四・三九

き、自分たちのところに滞在してくださるように願った。そこでイエスは二日間そこに滞在された。
41 そして、さらに多くの人々が、イエスのことばによって信じた。
42 そして彼らはその女に言った。「もう私たちは、あなたが話したことによって信じているのではありません。自分で聞いて、この方がほんとうに世の救い主だと知っているのです。」
43 さて、二日の後、イエスはここを去って、ガリラヤへ行かれた。
44 イエスご自身が、「預言者は自分の故郷では尊ばれない。」と証言しておられたからである。
45 そういうわけで、イエスがガリラヤに行かれたとき、ガリラヤ人はイエスを歓迎した。彼らも祭りに行っていたので、イエスが祭りの間にエルサレムでなさったすべてのことを見ていたからである。
46 イエスは再びガリラヤのカナに行かれた。そこは、かつて水をぶどう酒にされた所である。さて、カペナウムに病気の息子がいる王室の役人がいた。
47 この人は、イエスがユダヤからガリラヤに来られたと聞いて、イエスのところへ行き、下って来て息子をいやしてくださるように願った。息子が死にかかっていたからである。
48 そこで、イエスは彼に言われた。「あなたがたは、しるしと不思議を見ないかぎり、決して信じない。」
49 その王室の役人はイエスに言った。「主よ。どうか私の子どもが死なないうちに下って来てください。」
50 イエスは彼に言われた。「帰って行きなさい。あなたの息子は直っています。」その人はイエスが言われたことばを信じて、帰途についた。
51 彼が下って行く途中、そのしもべたちが彼に出会って、彼の息子が直ったことを告げた。
52 そこで子どもがよくなった時刻を彼らに尋ねると、「きのう、*七時に熱がひきました。」と言った。
53 それで父親は、イエスが「あなたの息子は直っている。」と言われた時刻と同じであることを知った。そして彼自身と彼の家の者がみな信じた。
54 イエスはユダヤを去ってガリラヤにはいられてから、またこのことを第二のしるしとして行なわれたのである。

5

1 その後、ユダヤ人の*祭りがあって、イエスはエルサレムに上られた。
2 さて、エルサレムには、羊の門の近くに、ヘブル語で*ベテスダと呼ばれる池があって、五つの回廊がついていた。
3 その中に大ぜいの病人、盲人、足なえ、やせ衰えた者が伏せっていた。*
5 そこに、三十八年もの間、病気にかかっている人がいた。
6 イエスは彼が伏せっているのを見、それがもう長い間のことなのを知って、彼に言われた。「よくなりたいか。」

---

42 ①Ⅰヨハ四・一四、Ⅰテモ四・一〇、ルカ二・一一、使五・三一・三三
43 ①ヨハ四・四〇
44 ①㊂マタ一三・五七、②㊂マタ一三・五七
45 ①ヨハ二・二三 ②ヨハ二・九 ③ヨハ二・一三、㊂ルカ四・三二
47 ①ヨハ四・四六、四八
48 ①ダニ四・二、三、六・二七、マタ二四・二四、マコ一三・二二、使二・一九、三・一二、二四・二四、五・三六、一二・一七、一三・一三、一五・一九、ロマ一五・一九
52 ★直訳「第七時」㊂ヨハ一・三九注
53 ①使一〇・二
54 ①ヨハ四・四五、四六、②㊂ヨハ二・一一
1 ★定冠詞のある異本がある。その場合は過越祭のこと
2 ①ネヘ三・一、三二、三一 ②ヨハ五・二、一七、三〇、三二、一六黙示・二一、一六、一七、使二一・四〇 ★ベテサダ」または「ベテサイダ」と読む写本が多い
3 ★異本に三節後半、四節として、次の一部または全部を含むものがある。「彼らは水の動くのを待っていた。4 主の使いが時この池に降りて来て、水を動かすのであるが、水が動かされたあとで最初にはいった者は、どのような病気にかかっている者でもいやされたからである。」

7 病人は答えた。「主よ。私には、水がかき回されたとき、池の中に私を入れてくれる人がいません。行きかけると、もうほかの人が先に降りて行くのです。」
8 イエスは彼に言われた。「起きて、床を取り上げて歩きなさい。」
9 すると、その人はすぐに直って、床を取り上げて歩き出した。
ところが、その日は安息日であった。
10 そこでユダヤ人たちは、そのいやされた人に言った。「きょうは安息日だ。床を取り上げてはいけない。」
11 しかし、その人は彼らに答えた。「私を直してくださった方が、『床を取り上げて歩け。』と言われたのです。」
12 彼らは尋ねた。「『取り上げて歩け。』と言った人はだれだ。」
13 しかし、いやされた人は、それがだれであるか知らなかった。人が大ぜいそこにいる間に、イエスは立ち去られたからである。
14 その後、イエスは宮の中で彼を見つけて言われた。「見なさい。あなたはよくなった。もう罪を犯してはなりません。そうでないともっと悪い事があなたの身に起こるから。」
15 その人は行って、ユダヤ人たちに、自分を直してくれた方はイエスだと告げた。
16 このためユダヤ人たちは、イエスを迫害した。イエスが安息日にこのようなことをしておられたからである。
17 イエスは彼らに答えられた。「わたしの父は今に至るまで働いておられます。ですからわたしも働いているのです。」
18 このためユダヤ人たちは、ますますイエスを殺そうとするようになった。イエスが安息日を破っておられただけでなく、ご自身を神と等しくして、神を自分の父と呼んでおられたからである。
19 そこで、イエスは彼らに答えて言われた。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。子は、父がしておられることを見て行なう以外には、自分からは何事も行なうことができません。父がなさることは何でも、子も同様に行なうのです。
20 それは、父が子を愛して、ご自分のなさることをみな、子にお示しになるからです。また、これよりもさらに大きなわざを子に示されます。それは、あなたがたが驚き怪しむためです。
21 父が死人を生かし、いのちをお与えになるように、子もまた、与えたいと思う者にいのちを与えます。
22 また、父はだれをもさばかず、すべてのさばきを子にゆだねられました。
23 それは、すべての者が、父を敬うように子を敬うためです。子を敬わない者は、子を遣わした父をも敬いません。
24 まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、

7 ①ヨハ7・23注
8 ①マタ9・6、マコ2・11、ルカ5・24
9 ①ヨハ9・14
10 ①ヨハ5・16、18、9・14、16、出20・10、エレ17・21、②ネヘ13・19、エレ17・21、出ヨハ31・13、申5・14、出23・12
14 ①ヨハ8・11、出マコ2・5、②出エズ9・21
15 ①ヨハ5・16、18、出ヨハ7・1
16 ①ヨハ5・10、16、18、出ヨハ7・1
18 ①ヨハ5・16、17、出ヨハ7・1、②出ヨハ5・17、出ヨハ7・1、③ヨハ10・33、出ヨハ19・7
19 ①ヨハ5・30、8・28、出ヨハ12・49、14・10
20 ①出ヨハ3・35、②ヨハ15・15
21 ①ロマ4・17、②ヨハ11・25
22 ①ヨハ5・27、9・39、使10・42、17・31
23 ①出ルカ10・16、Ⅰヨハ2・23
24 ①出ヨハ3・18、36、5・38、Ⅰヨハ5・13、②ヨハ3・16

死からいのちに移っているのです。
25 まことに、まことに、あなたがたに告げます。死人が神の子の声を聞く時が来ます。今がその時です。そして、聞く者は生きるのです。
26 それは、父がご自分のうちにいのちを持っておられるように、子にも、自分のうちにいのちを持つようにしてくださったからです。
27 また、父はさばきを行なう権を子に与えられました。子は人の子だからです。
28 このことに驚いてはなりません。墓の中にいる者がみな、子の声を聞いて出て来る時が来ます。
29 善を行なった者は、よみがえっていのちを受け、悪を行なった者は、よみがえってさばきを受けるのです。
30 わたしは、自分からは何事も行なうことができません。ただ聞くとおりにさばくのです。そして、わたしのさばきは正しいのです。わたし自身の望むことを求めず、わたしを遣わした方のみこころを求めるからです。
31 もしわたしだけが自分のことを証言するのなら、わたしの証言は真実ではありません。
32 わたしについて証言する方がほかにあるのです。その方のわたしについて証言される証言が真実であることは、わたしが知っています。
33 あなたがたは、ヨハネのところに人をやりましたが、彼は真理について証言しました。
34 といっても、わたしは人の証言を受けるのではありません。わたしは、あなたがたが救われるために、そのことを言うのです。
35 彼は燃えて輝くともしびであり、あなたがたはしばらくの間、その光の中で楽しむことを願ったのです。
36 しかし、わたしにはヨハネの証言よりもすぐれた証言があります。父がわたしに成し遂げさせようとしてお与えになったわざ、すなわちわたしが行なっているわざそのものが、わたしについて、父がわたしを遣わしたことを証言しているのです。
37 また、わたしを遣わした父ご自身がわたしについて証言しておられます。あなたがたは、まだ一度もその御声を聞いたこともなく、御姿を見たこともありません。
38 また、そのみことばをあなたがたのうちにとどめてもいません。父が遣わした者をあなたがたが信じないからです。
39 あなたがたは、聖書の中に永遠のいのちがあると思うので、聖書を調べています。その聖書が、わたしについて証言しているのです。
40 それなのに、あなたがたは、いのちを得るためにわたしのもとに来ようとはしません。
41 わたしは人からの栄誉は受けません。
42 ただ、わたしはあなたがたを知っています。あなたがたのうちには、神の愛がありません。
43 わたしはわたしの父の名によって来ましたが、あな

24 ③Ⅰヨハ三・二四
25 ①㊀ルカ二四・二四、②㊀ヨハ五・二五、三一、㊁ヨハ六・六四・三、③㊁ヨハ六・六〇、六四・三、①㊀ヨハ一四、㊁ヨハ六・五七
26 ①㊀ヨハ一四、㊁ヨハ六・五七
27 ①ヨハ一七・二、使一〇・四二、一七・三一
*「人の子」は「人」と訳すこともできる
28 ①ヨハ一・二四、Ⅰコリ一五・三五
②㊀ヨハ四・二一
29 ①ダニ一二・二、㊁ヨハ六・三九、四〇、四四、五四
30 ①ヨハ五・一九、②ヨハ八・一六
③ヨハ四・三四、六・三八
31 ①㊁ヨハ八・一四
*「だけ」は補足
**法的に正しい有効な証拠と認めることができないことをさす
32 ①ヨハ五・三七
*㊀ヨハ五・三注
33 ①㊀ヨハ一・一七
34 ①ヨハ五・四、ヨハ一〇・三三
35 ①Ⅱサム二一・一七、Ⅱペテ一・一九、②㊁マコ一・五
36 ①㊀ヨハ四・三四、②ヨハ一〇・三五、三八、一四・一一、一五・二四、㊁ヨハ二・三、マタ一一・四
③㊀ヨハ三・一七
37 ①㊀ヨハ八・一八、㊁ヨハ一二・四九、㊁ルカ三・二二
38 ①Ⅰヨハ二・一四、②㊀ヨハ三・一七
39 ①㊁ヨハ七・三、ロマ二・一七以下
*別訳「聖書を調べなさい。というのは、あなたがたは聖書の中に……と思っているからです」
②ルカ二四・二七、使二・三七
41 ①ヨハ五・三四、㊁ヨハ七・一八

たがたはわたしを受け入れません。ほかの人がその人自身の名において来れば、あなたがたはその人を受け入れるのです。
44 互いの栄誉は受けても、唯一の神からの栄誉を求めないあなたがたは、どうして信じることができますか。
45 わたしが、父の前にあなたがたを訴えようとしていると思ってはなりません。あなたがたを訴える者は、あなたがたが望みをおいているモーセです。
46 もしあなたがたがモーセを信じているのなら、わたしを信じたはずです。モーセが書いたのはわたしのことだからです。
47 しかし、あなたがたがモーセの書を信じないのであれば、どうしてわたしのことばを信じるでしょう。」

6

1 その後、イエスはガリラヤの湖、すなわち、テベリヤの湖の向こう岸へ行かれた。
2 大ぜいの人の群れがイエスにつき従っていた。それはイエスが病人たちになさっていたしるしを見たからである。
3 イエスは山に登り、弟子たちとともにそこにすわられた。
4 さて、ユダヤ人の祭りである過越が間近になっていた。
5 イエスは目を上げて、大ぜいの人の群れがご自分のほうに来るのを見て、ピリポに言われた。「どこからパンを買って来て、この人々に食べさせようか。」
6 もっとも、イエスは、ピリポをためしてこう言われたのであった。イエスは、ご自分では、しようとしていることを知っておられたからである。
7 ピリポはイエスに答えた。「めいめいが少しずつ取るにしても、二百デナリのパンでは足りません。」
8 弟子のひとりシモン・ペテロの兄弟アンデレがイエスに言った。
9 「ここに少年が大麦のパンを五つと小さい魚を二匹持っています。しかし、こんなに大ぜいの人々では、それが何になりましょう。」
10 イエスは言われた。「人々をすわらせなさい。」その場所には草が多かった。そこで男たちはすわった。その数はおよそ五千人であった。
11 そこで、イエスはパンを取り、感謝をささげてから、すわっている人々に分けてやられた。また、小さい魚も同じようにして、彼らにほしいだけ分けられた。
12 そして、彼らが十分食べたとき、弟子たちに言われた。「余ったパン切れを、一つもむだに捨てないように集めなさい。」
13 彼らは集めてみた。すると、大麦のパン五つから出て来たパン切れを、人々が食べたうえ、なお余ったもので十二のかごがいっぱいになった。
14 人々は、イエスのなさったしるしを見て、「まことに、この方こそ、世に来られるはずの預言者だ。」と言った。
15 そこで、イエスは、人々が自分を王とするために、

---

43 ①旧マタ24・5
44 ①ヨハ5・41
* あるいは「名誉」「評判」
②ヨハ7・18、新Iテモ1・17
③ロマ2・29
45 ①旧ヨハ5・39、ロマ2・17以下
46 ①新ルカ24・27
47 ①旧ルカ16・29、31
1 ①ヨハ6・1、マタ14・13、ルカ9・10、②新マタ14・15、旧ルカ9・12、③ヨハ6・1、旧ヨハ6・3
2 ①新ヨハ2・23
* あるいは「証拠としての奇蹟」
3 ①ヨハ5・20、旧マタ5・1
4 ①新ヨハ2・13
5 ①新ヨハ1・43
6 ①旧Ⅱコリ12・9、黙2・3
7 ①新ヨハ12・5、②マコ14・5
8 ①新ヨハ12・22、②ヨハ1・40
9 ①ヨハ6・9、10、13、②ヨハ12・22
10 ①旧マタ14・19、マコ6・39
* 直訳「からだを横にした」
②旧マタ14・21
11 ①ヨハ6・23、マタ15・36
②ヨハ6・9、10、13、21・9
12 ①新ヨハ6・23
13 ①新マタ14・20
14 ①ヨハ1・21、マタ11・3、21・11
15 ①ヨハ6・3、マタ14・23、②ヨハ6・23、マコ6・46、③ヨハ6・21、18・36

むりやりに連れて行こうとしているのを知って、ただひとり、また山に退かれた。

16 夕方になって、弟子たちは湖畔に降りて行った。17 そして、舟に乗り込み、カペナウムのほうへ湖を渡っていた。すでに暗くなっていたが、イエスはまだ彼らのところに来ておられなかった。18 湖は吹きまくる強風に荒れ始めた。19 こうして、四、*五千メートルほどこぎ出したころ、彼らは、イエスが湖の上を歩いて舟に近づいて来られるのを見て、恐れた。20 しかし、イエスは彼らに言われた。「わたしだ。恐れることはない。」21 それで彼らは、イエスを喜んで舟に迎えた。舟はほどなく目的の地に着いた。

22 その翌日、湖の向こう岸にいた群衆は、そこには小舟が一隻あっただけで、ほかにはなかったこと、また、その舟にイエスは弟子たちといっしょに乗られないで、弟子たちだけが行ったということに気づいた。23 しかし、主が感謝をささげられてから、人々がパンを食べた場所の近くに、テベリヤから数隻の小舟が来た。24 群衆は、イエスがそこにおられず、弟子たちもいないことを知ると、自分たちもその小舟に乗り込んで、イエスを捜してカペナウムに来た。25 そして湖の向こう側でイエスを見つけたとき、彼らはイエスに言った。「先生。いつここにおいでになりましたか。」

26 イエスは答えて言われた。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。あなたがたがわたしを捜しているのは、しるしを見たからではなく、パンを食べて満腹したからです。27 なくなる食物のためではなく、いつまでも保ち、永遠のいのちに至る食物のために働きなさい。それこそ、人の子があなたがたに与えるものです。この人の子を父すなわち神が、認証されたからです。」28 すると彼らはイエスに言った。「私たちは、神のわざを行なうために、何をすべきでしょうか。」29 イエスは答えて言われた。「あなたがたが、神が遣わした者を信じること、それが神のわざです。」30 そこで彼らはイエスに言った。「それでは、私たちが見てあなたを信じるために、しるしとして何をしてくださいますか。どのようなことをなさいますか。31 私たちの先祖は、荒野でマナを食べました。『彼は彼らに天からパンを与えて食べさせた。』と書いてあるとおりです。」

32 イエスは彼らに言われた。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。モーセはあなたがたに天からのパンを与えたのではありません。しかし、わたしの父は、あなたがたに天からまことのパンをお与えになります。33 というのは、神のパンは、天から下って来て、世にいのちを与えるものだからです。」

---

15 * あるいは「意図している」 ③ヨハ六・三
16 ①創ヨハ二・二 ②出ヨハ一四・二四、ヨハ六・三四、五九
17 ①出マコ六・四五、ヨハ六・二四、五九
19 * 直訳「二五、三〇スタディオン」一スタディオンは一八五メートル
20 ①創マタ一四・二七 * あるいは「恐れることはやめなさい」
22 ①ヨハ六・二、 ②ヨハ六・五以下
23 ①創ルカ七・一三、 ②ヨハ六・一一 ③比ヨハ六・一
24 ①ヨハ六・一七、九六、比マタ一四・三四、マコ六・五三
25 ①創マタ三・七
26 ①ヨハ六・三四、 ②ヨハ六・二、一四
27 ①イザ五五・三、 ②ヨハ六・四〇、四七、七四、二六、四・一四、二〇、六・二七、三三、 ③創マタ八・二〇 ヨハ六・五三、 ④創ヨハ一・三三
29 ①創ヨハ二・一七、 ②比Ⅰテサ一・三、ヤコ二・二三、Ⅰヨハ三・二三、黙二・二六
30 ①比ヨハ六・二、一四、三六 ②創マタ二・二六
31 ①出二六・二、民二一・八、ヨハ六・四九、五八、 ②ネヘ九・一五、出六・四、一六、詩七八・二四、一〇五・四〇
33 ①ヨハ六・五、比ヨハ六・五一 * あるいは「かた」

34 そこで彼らはイエスに言った。「主よ。いつもそのパンを私たちにお与えください。」
35 イエスは言われた。「わたしがいのちのパンです。わたしに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者はどんなときにも、決して渇くことがありません。
36 しかし、あなたがたはわたしを見ながら信じようとしないと、わたしはあなたがたに言いました。
37 父がわたしにお与えになる者はみな、わたしのところに来ます。そしてわたしのところに来る者を、わたしは決して捨てません。
38 わたしが天から下って来たのは、自分のこころを行なうためではなく、わたしを遣わした方のみこころを行なうためです。
39 わたしを遣わした方のみこころは、わたしに与えてくださったすべての者を、わたしがひとりも失うことなく、ひとりひとりを終わりの日によみがえらせることです。
40 事実、わたしの父のみこころは、子を見て信じる者がみな永遠のいのちを持つことです。わたしはその人たちをひとりひとり終わりの日によみがえらせます。」
41 ユダヤ人たちは、イエスが「わたしは天から下って来たパンである。」と言われたので、イエスについてつぶやいた。
42 彼らは言った。「あれはヨセフの子で、われわれはその父も母も知っている、そのイエスではないか。どうしていま彼は『わたしは天から下って来た。』と言うのか。」
43 イエスは彼らに答えて言われた。「互いにつぶやくのはやめなさい。
44 わたしを遣わした父が引き寄せられないかぎり、だれもわたしのところに来ることはできません。わたしは終わりの日にその人をよみがえらせます。
45 預言者の書に、『そして、彼らはみな神によって教えられる。』と書かれていますが、父から聞いて学んだ者はみな、わたしのところに来ます。
46 だれも神を見た者はありません。ただ神から出た者、すなわち、この者だけが、父を見たのです。
47 まことに、まことに、あなたがたに告げます。信じる者は永遠のいのちを持ちます。
48 わたしはいのちのパンです。
49 あなたがたの先祖は荒野でマナを食べたが、死にました。
50 しかし、これは天から下って来たパンで、それを食べると死ぬことがないのです。
51 わたしは、天から下って来た生けるパンです。だれでもこのパンを食べるなら、永遠に生きます。またわたしが与えようとするパンは、世のいのちのための、わたしの肉です。」
52 すると、ユダヤ人たちは、「この人は、どのようにしてその肉を私たちに与えて食べさせることができるのか。」と言って互いに議論し合った。

34 ①出ヨハ四・一五
35 ①ヨハ六・四八、五一、②ヨハ四・一四
36 ①ヨハ六・六
37 ①ヨハ六・三九、一七・二、二四
38 ①創ヨハ三・一三、②創マタ二六・三九、③ヨハ六・三八、④ヨハ四・三四、五・三〇
39 ①ヨハ六・三七、一七・二、二四
②ヨハ一七・一二、一八・九、③ヨハマタ一〇・二九
40 ①ヨハ三・一四、出ヨハ四・一七、一九、②創ヨハ三・一六、③ヨハ六・三五、四〇、四七、出ヨハ二・一四
マタ一〇・三二
41 ①ヨハ六・三三、三五、②ヨハ六・三二、三八、出ヨハ六・三三
42 ①ルカ四・二二、②出ヨハ七・二七、③ヨハ六・三八、六二
44 ①エレ三一・三、ホセ二・一四
②ヨハ六・三三、六五、②ヨハ六・六五
45 ①出使七・四二、三・四〇、創ヘブ八・二、②イザ五四・一三、エレ三一・三四
③Ⅰテサ四・九、創ピリ三・一五
46 ①創ヨハ一・一八
47 *異本「わたしを信じている者」
①ヨハ六・三五、六、創ヨハ三・三六、三・一四、二・二六
48 ①ヨハ六・三三、
49 ①ヨハ六・三一、六
50 ①ヨハ六・三三、②ヨハ六・四四、五一、六五、創ヨハ三・一六、三・一四、二・二六
51 ①ヨハ六・四四、六、②ヨハ六・五五、五七、③ヨハ六・四四七、六八
④出ヨハ一・二九、三・一四、二・二六
ヘブ一〇・一二、Ⅰヨハ四・一〇
*異本「世のいのちのためにわたしが与えるわたしの肉」
52 ①創ヨハ一・九、六・四一
②出ヨハ九・一六、一〇・一九

53 イエスは彼らに言われた。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。人の子の肉を食べ、またその血を飲まなければ、あなたがたのうちに、いのちはありません。
54 わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、永遠のいのちを持っています。わたしは終わりの日にその人をよみがえらせます。
55 わたしの肉はまことの食物、わたしの血はまことの飲み物だからです。
56 わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、わたしのうちにとどまり、わたしも彼のうちにとどまります。
57 生ける父がわたしを遣わし、わたしが父によって生きているように、わたしを食べる者も、わたしによって生きるのです。
58 これは、天から下って来たパンです。あなたがたの先祖が食べて死んだようなものではありません。このパンを食べる者は永遠に生きます。」
59 これは、イエスがカペナウムで教えられたとき、会堂で話されたことである。
60 そこで、弟子たちのうちの多くの者が、これを聞いて言った。「これはひどいことばだ。そんなことをだれが聞いておられようか。」
61 しかし、イエスは、弟子たちがこうつぶやいているのを、知っておられ、彼らに言われた。「このことであなたがたはつまずくのか。
62 それでは、もし人の子がもといた所に上るのを見たら、どうなるのか。
63 いのちを与えるのは御霊です。肉は何の益ももたらしません。わたしがあなたがたに話したことばは、霊であり、またいのちです。
64 しかし、あなたがたのうちには信じない者がいます。」――イエスは初めから、信じない者がだれであるか、裏切る者がだれであるかを、知っておられたのである。――
65 そしてイエスは言われた。「それだから、わたしはあなたがたに、『父のみこころによるのでないかぎり、だれもわたしのところに来ることはできない。』と言ったのです。」
66 こういうわけで、弟子たちのうちの多くの者が離れ去って行き、もはやイエスとともに歩かなかった。
67 そこで、イエスは十二弟子に言われた。「まさか、あなたがたも離れたいと思うのではないでしょう。」
68 すると、シモン・ペテロが答えた。「主よ。私たちがだれのところに行きましょう。あなたは、永遠のいのちのことばを持っておられます。
69 私たちは、あなたが神の聖者であることを信じ、また知っています。」
70 イエスは彼らに答えられた。「わたしがあなたがた十二人を選んだのではありませんか。しかしそのうちのひとりは悪魔です。」
71 イエスはイスカリオテ・シモンの子ユダのことを言われたのであった。このユダは十二弟子のひとりであ

53 ①ヨハ六・七七、三、㊥マタ八・二〇
54 ①㊥ヨハ六・九九 Ⅰヨハ二・二四、五
56 ①ヨハ一五・四、五、Ⅰヨハ二・二四、五、四・一五、一六、旧ヨハ一七・二三
57 ①旧マタ一六・一六、ヨハ五・二六 ②㊥ヨハ一・一七、六・五七、五八
58 ①ヨハ六・四一、二七、旧ヨハ六・三三 ②ヨハ六・三一、四九、③ヨハ六・五一、五七、㊥ヨハ一・一六、二・一六 ②ヨハ六・五九
59 ①㊥ヨハ六・二四、②㊥マタ四・二三 ②ヨハ六・五九
60 ①㊥ヨハ一・六・六七、七・三 ②ヨハ六・五九
61 ①ヨハ六・六四、②㊥マタ一一・六
62 ①ヨハ六・二七、三三、㊥マタ八・二〇 ②㊥マコ一六・一九、旧ヨハ三・一三
63 ①Ⅱコリ三・六、②ヨハ六・六三
64 ①ヨハ六・六四、六五、②ヨハ六・七二、三二、㊥マタ一〇・四 *あるいは「引き渡す者」 ③㊥ヨハ一三・二五
65 ①ヨハ六・三七、四四、②旧マタ三・二、ヨハ三・二七
66 ①㊥ヨハ二・二二、七三、②ヨハ六・六〇、六四
67 ①ヨハ六・七〇、七一、二〇・二四 マタ一二・四、旧ヨハ一・二
68 ①旧マタ一六・一六、②ヨハ六・六三、旧ヨハ二・二二、六九、七八
69 ①㊥マコ一・二四
70 ①ヨハ六・七一、二〇・二四、マタ一〇・四、旧ヨハ一三・二、②ヨハ一五・一六、一六、③旧ヨハ一三・二七、七一、二
71 ①ヨハ一三・二六、旧ヨハ一三・二四、二六、②ヨハ六・七一、二〇・二四、マタ一〇・四、旧ヨハ一三・二 ③マコ一四・一〇

ったが、イエスを売ろうとしていた。

7 1その後、イエスはガリラヤを巡っておられた。それは、ユダヤ人たちがイエスを殺そうとしていたので、ユダヤを巡りたいとは思われなかったからである。2さて、仮庵の祭りというユダヤ人の祝いが近づいていた。3そこで、イエスの兄弟たちはイエスに向かって言った。「あなたの弟子たちもあなたがしているわざを見ることができるように、ここを去ってユダヤに行きなさい。4自分から公の場に出たいと思いながら、隠れた所で事を行なう者はありません。あなたがこれらの事を行なうのなら、自分を世に現わしなさい。」5兄弟たちもイエスを信じていなかったのである。6そこでイエスは彼らに言われた。「わたしの時はまだ来ていません。しかし、あなたがたの時はいつでも来ているのです。7世はあなたがたを憎むことはできません。しかしわたしを憎んでいます。わたしが、世について、その行ないが悪いことをあかしするからです。8あなたがたは祭りに上って行きなさい。わたしはこの祭りには行きません。わたしの時がまだ満ちていないからです。」9こう言って、イエスはガリラヤにとどまられた。

10しかし、兄弟たちが祭りに上ったとき、イエスご自身も、公にではなく、いわば内密に上って行かれた。11ユダヤ人たちは、祭りのとき、「あの方はどこにおられるのか。」と言って、イエスを捜していた。12そして群衆の間には、イエスについて、いろいろとひそひそ話がされていた。「良い人だ。」と言う者もあり、「違う。群衆を惑わしているのだ。」と言う者もいた。13しかし、ユダヤ人たちを恐れたため、イエスについて公然と語る者はひとりもいなかった。

14しかし、祭りもすでに中ごろになったとき、イエスは宮に上って教え始められた。15ユダヤ人たちは驚いて言った。「この人は正規に学んだことがないのに、どうして学問があるのか。」16そこでイエスは彼らに答えて言われた。「わたしの教えは、わたしのものではなく、わたしを遣わした方のものです。17だれでも神のみこころを行なおうと願うなら、その人には、この教えが神から出たものか、わたしが自分から語っているのかがわかります。18自分から語る者は、自分の栄光を求めます。しかし自分を遣わした方の栄光を求める者は真実であり、その人には不正がありません。19モーセがあなたがたに律法を与えたではありませんか。それなのに、あなたがたはだれも、律法を守っていません。あなたがたは、なぜわたしを殺そうとするのですか。」20群衆は答えた。「あなたは悪霊につかれています。だ

---

1 ①ヨハ四六・一、②ヨハ五一八、③ヨハ八三七、五九、一〇三一
2 ①レビ二三三四、ゼカ一四一六、申一六一六、②ヨハ三一二
3 ①マタ四三、ヨハ七三、②ヨハ二一二
4 ①マタ五一四、ヨハ七三、一〇、申マタ三一二、②ヨハ六二六
5 ①マタ一三五七、ヨハ七三、一〇、申マタ三一二
6 ①申マタ三六・八、ヨハ七八、三、②ヨハ二四
7 ①ヨハ一五・一六、一七、②ヨハ三七・八、一〇、②ヨハ八四六
8 異本「まだ行きません」
9 ①ヨハ七一六
10 ①マタ二三五、ヨハ七三、五、申マタ二一
11 ①ヨハ七一三、一五、一五
12 原語では複数形「幾つもの群れ」。単数形を示す異本もある ①ヨハ六一四四
13 ①ヨハ九二二、二〇・一九、ヨハ九二三、二〇・一九
14 ①ヨハ七一六、マタ二六・五五、②ヨハ一一・一七、ゼ二一三、一五
15 ①マタ一三・五四、②ヨハ七一五
16 ①ヨハ七一六
17 ①申ヨハ三一二、四四、詩三五九、一四、箴二三、ダニ三・一〇
18 ①申ヨハ五四一、八、四三、五四、三・四
19 ①ヨハ一一七、②ヨハ七一
20 ①ヨハ八四八、四九、五二、一〇・二〇 ②マタ二一・八
71 直訳「引き渡そう」
1 ①ヨハ四三六・一二、五四、②ヨハ一九、マタ二一七、ヨハ七一二、三、七、五三、五、六、申ヨハ六一四、四二、一二、五二
2 ①レビ二三四、ゼカ一四一六、申一六、一八
3 ①マタ二四六、ヨハ七五、六、八
4 ①マタ二四六、ヨハ七三、一〇、申マタ三一二、②ヨハ六二、八
5 ①マタ二四六、ヨハ七三、一〇、申マタ三一二
6 ①申マタ三六・八、ヨハ七八、三、ヨハ二四
7 ①ヨハ一五・一六、一七、②ヨハ三七・八、一〇、②ヨハ八四六
8 異本「まだ行きません」
9 ①ヨハ七一六
10 ①マタ二三五、ヨハ七三、五、申マタ二一
11 ①ヨハ七一三、一五、一五
12 原語では複数形「幾つもの群れ」。単数形を示す異本もある ①ヨハ六一四四
13 ①ヨハ九二二、二〇・一九、ヨハ九二三、二〇・一九
14 ①ヨハ七一六、マタ二六・五五、②ヨハ一一・一七、ゼ二一三、一五
15 ①マタ一三・五四、②ヨハ七一五
16 ①ヨハ七一六
17 ①申ヨハ三一二、四四、詩三五九、一四、箴二三、ダニ三・一〇
18 ①申ヨハ五四一、八、四三、五四、三・四
19 ①ヨハ一一七、②ヨハ七一
20 ①ヨハ八四八、四九、五二、一〇・二〇 ②マタ二一・八

れがあなたを殺そうとしているのですか。」
21 イエスは彼らに答えて言われた。「わたしは一つの*わざをしました。それであなたがたはみな驚いています。
22 モーセはこのためにあなたがたに割礼を与えました。――ただし、それはモーセから始まったのではなく、先祖たちからです。――それで、あなたがたは安息日にも人に割礼を施しています。
23 もし、人がモーセの律法が破られないようにと、安息日にも割礼を受けるのなら、わたしが安息日に人の全身をすこやかにしたからといって、何でわたしに腹を立てるのですか。
24 うわべによって人をさばかないで、*正しいさばきをしなさい。」
25 そこで、エルサレムのある人たちが言った。「この人は、彼らが殺そうとしている人ではないか。
26 見なさい。この人は公然と語っているのに、彼らはこの人に何も言わない。議員たちは、この人がキリストであることを、ほんとうに知ったのだろうか。
27 けれども、私たちはこの人がどこから来たのか知っている。しかし、キリストが来られるとき、それが、どこからか知っている者はだれもいないのだ。」
28 イエスは、宮で教えておられるとき、大声をあげて言われた。「あなたがたはわたしを知っており、また、わたしがどこから来たかも知っています。しかし、わたしは自分で来たのではありません。わたしを遣わした方は真実です。あなたがたは、その方を知らないのです。
29 わたしはその方を知っています。なぜなら、わたしはその方から出たのであり、その方がわたしを遣わしたからです。」
30 そこで人々はイエスを捕えようとしたが、しかし、だれもイエスに手をかけた者はなかった。イエスの時が、まだ来ていなかったからである。
31 群衆のうちの多くの者がイエスを信じて言った。「キリストが来られても、この方がしているよりも多くのしるしを行なわれるだろうか。」
32 パリサイ人は、群衆がイエスについてこのようなことをひそひそと話しているのを耳にした。それで祭司長、パリサイ人たちは、イエスを捕えようとして、役人たちを遣わした。
33 そこでイエスは言われた。「まだしばらくの間、わたしはあなたがたといっしょにいて、それから、わたしを遣わした方のもとに行きます。
34 あなたがたはわたしを捜しますが、見いだすことはありません。また、わたしがいる所に、あなたがたは来ることができません。」
35 そこで、ユダヤ人たちは互いに言った。「私たちが見いだすことがないという。それならあの人はどこへ行こうとしているのか。まさかギリシヤ人の中に離散している人々のところへ行って、ギリシヤ人を教えるつもりではあるまい。

21 ①ヨハ七・三五、二九、一六
*あるいは「行為」
22 ①レビ一二・三、②創一七・一〇以下
二一・四、使七・八
23 ①旧マタ一二・一、ヨハ五・一〇
24 ①旧レビ一九・一五、イザ一一・三
ゼカ七・九、ヨハ八・一五
*直訳「正しいさばきをさばきなさい」
26 ①旧ルカ二二・二、旧ヨハ二・一
*すなわち「メシヤ」
27 ①ヨハ六・四二、一四二、旧ヨハ九・二九
28 ①ヨハ七・一四、②ヨハ八・四二、七・四二、旧ヨハ九・二九、③ヨハ八・四二
29 ①ヨハ八・五五、七・二九、旧マタ二・一五、旧ヨハ六・四六
③旧ヨハ二・七
30 ①ヨハ七・三〇、四四、一〇・三九、旧マタ二一・四六、②ヨハ八・二〇、旧ヨハ七・六
31 ①ヨハ八・三〇、一〇・四二、一一・四五、一二・一一、四二、旧ヨハ二・二三、②ヨハ七・六六、③旧ヨハ二・二三
32 ①旧マタ二一・四六、②ヨハ七・四五、旧ヨハ一八・三、③旧ヨハ一八・三
33 ①ヨハ一三・三三、一四・一九、一六・一六、一七、②ヨハ七・三四、一〇、一七・二八、旧ヨハ一四・二、三八・一〇
34 ①ヨハ七・三六、八・二一、一三・三三
③ヨハ七・三五、②ヨハ八・二二
二一・四、ロマ一〇・六、使一四・一七、四、③ヨハ一三・三三、④ヤコ一・一、Ⅰペテ一・一、旧詩一四七・二、イザ二・二、三六、ゼパ三・一〇
35 ①ヨハ七・一、②ヨハ八・二二
③ヨハ一三・三三、使一四・一七、四、ロマ一〇・六、④ヤコ一・一、Ⅰペテ一・一、旧詩一四七・二、イザ二・二、三六、ゼパ三・一〇

36 『あなたがたはわたしを捜すが、見いだすことはない。』また『わたしのいる所にあなたがたは来ることができない。』とあの人が言ったこのことばは、どういう意味だろうか。」

37 さて、祭りの終わりの大いなる日に、イエスは立って、大声で言われた。「だれでも渇いているなら、*わたしのもとに来て飲みなさい。

38 わたしを信じる者は、聖書が言っているとおりに、その人の心の奥底から、生ける水の川が流れ出るようになる。」

39 これは、イエスを信じる者が後になって受ける御霊のことを言われたのである。イエスはまだ栄光を受けておられなかったので、御霊はまだ*注がれていなかったからである。

40 このことばを聞いて、群衆のうちのある者は、「あの方は、確かにあの預言者なのだ。」と言い、

41 またある者は、「この方は*キリストだ。」と言った。またある者は言った。「まさか、*キリストはガリラヤからは出ないだろう。

42 キリストはダビデの子孫から、またダビデがいたベツレヘムの村から出る、と聖書が言っているではないか。」

43 そこで、群衆の間にイエスのことで分裂が起こった。

44 その中にはイエスを捕えたいと思った者もいたが、イエスに手をかけた者はなかった。

45 それから役人たちは祭司長、パリサイ人たちのもとに帰って来た。彼らは役人たちに言った。「なぜあの人を連れて来なかったのか。」

46 役人たちは答えた。「あの人が話すように話した人は、いまだかつてありません。」

47 すると、パリサイ人が答えた。「おまえたちも惑わされているのか。

48 議員とかパリサイ人のうちで、だれかイエスを信じた者があったか。

49 だが、律法を知らないこの群衆は、のろわれている。」

50 彼らのうちのひとりで、イエスのもとに来たことのあるニコデモが彼らに言った。

51 「私たちの律法では、まずその人から直接聞き、その人が何をしているのか知ったうえでなければ、判決を下さないのではないか。」

52 彼らは答えて言った。「あなたもガリラヤの出身なのか。調べてみなさい。ガリラヤから預言者は起こらない。」

53 〔*そして人々はそれぞれ家に帰った。

8

1 イエスはオリーブ山に行かれた。

2 そして、朝早く、イエスはもう一度宮にはいられた。民衆はみな、みもとに寄って来た。イエスはすわって、彼らに教え始められた。

3 すると、律法学者とパリサイ人が、姦淫の場で捕えられたひとりの女を連れて来て、真中に置いてから、

4 イエスに言った。「先生。この女は姦淫の現場でつか

---

36 ①ヨハ7:34,8:21 ②ヨハ13:33
37 ①レビ23:36,民29:35 ネヘ8:6,8 ②ヨハ4:10,14,7:38,39 *すなわち「いつもわたしのもとに来て、いつも飲んでいなさい」
38 ①ヨイザ44:3,55:1,エペ5:26 他 *直訳「腹から」
39 ①ヨハ7:37,ヨハ14:23 ②ヨハ13:31,32,17:1,5,使1:8,5:31,7:55,ヨハ16:7 *直訳「まだ、なかった」異本「聖霊はまだ与えられていなかった」
40 ①参マタ21:11,ヨハ1:21
41 *すなわち「メシヤ」 ①ヨハ1:45,ヨハ1:49,7:52
42 ①マタ1:1,2:5,6,ルカ2:4,詩以下、詩89:4,ミカ5:2
43 ①ヨハ9:16,ヨハ10:19
44 ①ヨハ7:30
45 ①ヨハ7:32
46 ①ヨハ7:15,②参マタ7:28
47 ①ヨハ8:13
48 ①参ルカ23:13,ヨハ7:26 ②ヨハ3:1,12:42
50 ①ヨハ3:1,19:39
51 ①出23:1,申1:16,17:4,19:15,箴18:13,ヨハ7:51
52 ①ヨハ1:46,ヨハ7:41,52 *古い写本のほとんど全部が七:五三―八:一一を欠いている。この部分を含む異本も相互間の相違が大きい
1 ①参マタ21:1
2 ①参マタ5:1,ヨハ8:20

まえられたのです。
5 モーセは律法の中で、こういう女を石打ちにするように命じています。ところで、あなたは何と言われますか。」
6 彼らはイエスをためしてこう言ったのである。それは、イエスを告発する理由を得るためであった。しかし、イエスは身をかがめて、指で地面に書いておられた。
7 けれども、彼らが問い続けてやめなかったので、イエスは身を起こして言われた。「あなたがたのうちで罪のない者が、最初に彼女に石を投げなさい。」
8 そしてイエスは、もう一度身をかがめて、地面に書かれた。
9 彼らはそれを聞くと、年長者たちから始めて、ひとりひとり出て行き、イエスがひとり残された。女はそのままそこにいた。
10 イエスは身を起こして、その女に言われた。「婦人よ。あの人たちは今どこにいますか。あなたを罪に定める者はなかったのですか。」
11 彼女は言った。「*だれもいません。」そこで、イエスは言われた。「わたしもあなたを罪に定めない。行きなさい。今からは決して罪を犯してはなりません。」
12 イエスはまた彼らに語って言われた。「わたしは、世の光です。わたしに従う者は、決してやみの中を歩むことがなく、いのちの光を持つのです。」
13 そこでパリサイ人はイエスに言った。「あなたは自分のことを自分で証言しています。だから、あなたの証言は*真実ではありません。」
14 イエスは答えて、彼らに言われた。「もしこのわたしが自分のことを証言するなら、その証言は真実です。わたしは、わたしがどこから来たか、また、どこへ行くかを知っているからです。しかしあなたがたは、わたしがどこから来たのか、またどこへ行くのか知りません。
15 あなたがたは肉によってさばきます。わたしはだれをもさばきません。
16 しかし、もしわたしがさばくなら、そのさばきは正しいのです。なぜなら、わたしひとりではなく、わたしとわたしを遣わした方とが*さばくのだからです。
17 あなたがたの律法にも、ふたりの証言は*真実であると書かれています。
18 わたしが自分の証人であり、また、わたしを遣わした父が、わたしについてあかしされます。」
19 すると、彼らはイエスに言った。「あなたの父はどこにいるのですか。」イエスは答えられた。「あなたがたは、わたしをも、わたしの父をも知りません。もし、あなたがたがわたしを知っていたなら、わたしの父をも知っていたでしょう。」
20 イエスは宮で教えられたとき、献金箱のある所でこのことを話された。しかし、だれもイエスを捕えなかった。イエスの時がまだ来ていなかったからである。
21 イエスはまた彼らに言われた。「わたしは去って

5 ①レビ二〇・一〇、申二二・二二
6 ①マタ二二・一五、二三・三、二五
マコ八・一一、一〇・二、一五
ルカ一一・五四、二〇・二六、②*マコ一二
7 ①ヨハ八・一〇、②比マタ七・一
ロマ二・一、③比申一七・七
10 ①ヨハ八・七
11 *原文では「主よ」との呼びかけがある
①比ヨハ三・一七、②ヨハ五・一四
12 ①ヨハ一・四、比ヨハ三・一五
②比マタ五・一四
13 ①比ヨハ五・三一
*別訳「有効ではありません」
14 ①比ヨハ八・一六、黙二・五、三・一四
②ヨハ三・三、六・六、比ヨハ八・四二、③比ヨハ七・二八、九・二九
15 ①Ⅰサム二六・七、ヨハ七・二四
*すなわち「人間的判断で」
②*ヨハ三・一七
16 ①ヨハ五・三〇
*異本「父」
**「さばく」は原文にないが含意されている
17 ①申一九・一五、一七・六、②*マタ一八・一六
*別訳「有効である」
18 ①ヨハ五・三七、比Ⅰヨハ五・九
19 ①ヨハ一四・七、一六・三、比ヨハ七・二八、一四・九、一六・三
20 ①*ヨハ七・三〇、比ヨハ八・二
②マコ一二・四一、四四、ルカ二一・一
③ヨハ七・三〇

行きます。あなたがたはわたしを捜すけれども、自分の罪の中で死にます。わたしが行く所に、あなたがたは来ることができません。」

22 そこで、ユダヤ人たちは言った。「あの人は『わたしが行く所に、あなたがたは来ることができない。』と言うが、自殺するつもりなのか。」

23 それでイエスは彼らに言われた。「あなたがたは下からであり、わたしは上からです。あなたがたはこの世の者であり、わたしはこの世の者ではありません。

24 それでわたしは、あなたがたが自分の罪の中で死ぬと、あなたがたに言ったのです。もしあなたがたが、わたしのことを信じなければ、あなたがたは自分の罪の中で死ぬのです。」

25 そこで、彼らはイエスに言った。「あなたはだれですか。」イエスは言われた。「初めからわたしがあなたがたに話して来たことは何でしたか。

26 あなたがたについて言うべきこと、さばくべきことがたくさんあります。しかし、わたしを遣わした方は真実であって、わたしはその方から聞いたことをそのまま世に告げるのです。」

27 彼らは、イエスが父のことを語っておられたことを悟らなかった。

28 イエスは言われた。「あなたがたが人の子を上げてしまうと、その時、あなたがたは、わたしが何であるか、また、わたしがわたし自身からは何事もせず、ただ父がわたしに教えられたとおりに、これらのことを話していることを、知るようになります。

29 わたしを遣わした方はわたしとともにおられます。わたしをひとり残されることはありません。わたしがいつも、そのみこころにかなうことを行なうからです。」

30 イエスがこれらのことを話しておられると、多くの者がイエスを信じた。

31 そこでイエスは、その信じたユダヤ人たちに言われた。「もしあなたがたが、わたしのことばにとどまるなら、あなたがたはほんとうにわたしの弟子です。

32 そして、あなたがたは真理を知り、真理はあなたがたを自由にします。」

33 彼らはイエスに答えた。「私たちはアブラハムの子孫であって、決してだれの奴隷になったこともありません。あなたはどうして、『あなたがたは自由になる。』と言われるのですか。」

34 イエスは彼らに答えられた。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。罪を行なっている者はみな、罪の奴隷です。

35 奴隷はいつまでも家にいるのではありません。しかし、息子はいつまでもいます。

36 ですから、もし子があなたがたを自由にするなら、あなたがたはほんとうに自由なのです。

37 わたしは、あなたがたがアブラハムの子孫であることを知っています。しかしあなたがたはわたしを殺そ

---

21 ①㊇ヨハ七・三四。②ヨハ八・二一
22 ①㊇ヨハ一・九、八・二八、三五、三七
②㊇ヨハ七・三五
23 ①㊇ヨハ三・三一。②Ⅰヨハ四・五。㊂ヨハ一七・一四、一六
24 ①ヨハ八・二一。②ヨハ八・二六
マコ一三・六、ルカ二一・八（㊇マタ二四・五）、ヨハ四・二一、一九
＊直訳「わたしがある」出三・一四と関連させてキリストが主なる神であることを言われたと解する者が多い。
25 ＊別訳「いったい……話して来たとおりのものです」
26 ①ヨハ七・二八。㊇ヨハ三・三三
②㊇ヨハ三・三四、一五・二六、八・四〇
28 ①ヨハ三・一四、二・三三。②ヨハ八・二八。マコ一三・六、ルカ二一・八（㊇マタ二四・五）、ヨハ四・二一、一三・一九
＊㊇ヨハ八・二八注
③㊇ヨハ三・一九。㊇ヨハ三・二
29 ①ヨハ八・一六、一八
＊あるいは「残された」
②㊇ヨハ八・二九
30 ①㊇ヨハ八・三〇
31 ①ヨハ一五・七、Ⅱヨハ九
②㊇ヨハ二・三
32 ①㊇ヨハ一・一四、一七。②ヨハ八・三二、㊇ロマ六・一八、Ⅱコリ三・一七
ガラ五・一、三、ヤコ一・二五、Ⅰペテ二・一六
33 ①ヨハ八・三三、三五、マタ三・九
34 ①ロマ六・一六、Ⅱペテ二・一九
35 ①創二一・一〇、ガラ四・三〇
②ルカ一五・三一
36 ①ヨハ八・三二
37 ①ヨハ八・三七、マタ三・九
②ヨハ八・四〇。㊇ヨハ七・一

うとしています。わたしのことばが、あなたがたのうちにはいっていないからです。
38 わたしは父のもとで見たことを話しています。ところが、あなたがたは、あなたがたの父から示されたことを行なうのです。」
39 彼らは答えて言った。「私たちの父はアブラハムです。」イエスは彼らに言われた。「あなたがたがアブラハムの子どもなら、アブラハムのわざを行なうはずです。
40 ところが今あなたがたは、神から聞いた真理をあなたがたに話しているこのわたしを、殺そうとしています。アブラハムはそのようなことはしなかったのです。
41 あなたがたは、あなたがたの父のわざを行なっています。」彼らは言った。「私たちは不品行によって生まれた者ではありません。私たちにはひとりの父、神があります。」
42 イエスは言われた。「神がもしあなたがたの父であるなら、あなたがたはわたしを愛するはずです。なぜなら、わたしは神から出て来てここにいるからです。わたしは自分で来たのではなく、神がわたしを遣わしたのです。
43 あなたがたは、なぜわたしの話していることがわからないのでしょう。それは、あなたがたがわたしのことばに耳を傾けることができないからです。
44 あなたがたは、あなたがたの父である悪魔から出た者であって、あなたがたの父の欲望を成し遂げたいと願っているのです。悪魔は初めから人殺しであり、真理に立ってはいません。彼のうちには真理がないからです。彼が偽りを言うときは、自分にふさわしい話し方をしているのです。なぜなら彼は偽り者であり、また偽りの父であるからです。
45 しかし、このわたしは真理を話しているために、あなたがたはわたしを信じません。
46 あなたがたのうちだれか、わたしに罪があると責める者がいますか。わたしが真理を話しているなら、なぜわたしを信じないのですか。
47 神から出た者は、神のことばに聞き従います。ですから、あなたがたが聞き従わないのは、あなたがたが神から出た者でないからです。」
48 ユダヤ人たちは答えて、イエスに言った。「私たちが、あなたはサマリヤ人で、悪霊につかれていると言うのは当然ではありませんか。」
49 イエスは答えられた。「わたしは悪霊につかれてはいません。わたしは父を敬っています。しかしあなたがたは、わたしを卑しめています。
50 しかし、わたしはわたしの栄誉を求めません。それをお求めになり、さばきをなさる方がおられます。
51 まことに、まことに、あなたがたに告げます。だれでもわたしのことばを守るならば、その人は決して死を見ることがありません。」
52 ユダヤ人たちはイエスに言った。「あなたが、悪霊につかれていることが、今こそわかりました。アブラハ

---

37 * あるいは「根をおろしていない」
38 * あるいは「父の前で」
39 ①ヨハ八・三七・四四 ②ヨハ七・一九
40 ①ヨハ八・二六 ②ヨハ八・三七、㊫ヨハ七・一 ③ヨハ八・六、四四、②申三・六 イザ六三・一六、四四・八
41 ①ヨハ八・六、四四、②申三・六 六・二六、三二・六、③ヨハ七・二八、④㊫ヨハ三・七 * 直訳「彼」「そのかた」
43 ①ヨハ八・三三、三七、四一 * あるいは「わたしの話のしかた」 ②ヨハ八・四三
44 ①ヨハ八・六、四四 ②Ⅰヨハ三・八 ③ヨハ七・一七、④創三・四 ヨハ一・二五、⑤Ⅰヨハ三・八、㊫ヨハ三・七 * 別訳「人が偽りを言うときは、自分にふさわしい話し方をしているのです。なぜなら、彼の父もまたうそつきだからです」 ⑥ヨハ八・三四
45 ①㊫ヨハ八・三七
46 ①㊫ヨハ八・三七
47 ①ヨハ一・八、㊫ヨハ八・六 ②㊫マタ二〇・二九、㊫ヨハ八九、③㊫ヨハ七・二〇
48 ①㊫ヨハ一・二九、㊫ヨハ七・四四、ヨハ八・四八、㊫ヨハ七・二〇
49 ①㊫ヨハ七・二〇
50 ①ヨハ七・二八、四四、ヨハ八・五四 ②ルカ一・三六
51 ①ヨハ八・五五、ヨハ一七・六
52 ①㊫ヨハ一・二九、②㊫ヨハ七・二〇

ムは死に、預言者たちも死にました。しかし、あなたは、『だれでもわたしのことばを守るならば、その人は決して死を味わうことがない。』と言うのです。
53 あなたは、私たちの父アブラハムよりも偉大なのですか。そのアブラハムは死んだのです。預言者たちもまた死にました。あなたは、自分自身をだれだと言うのですか。」
54 イエスは答えられた。「わたしがもし自分自身に栄光を帰するなら、わたしの栄光はむなしいものです。わたしに栄光を与える方は、わたしの父です。この方のことを、あなたがたは『私たちの神である。』と言っています。
55 けれどもあなたがたはこの方を知ってはいません。しかし、わたしは知っています。もしわたしがこの方を知らないと言うなら、わたしはあなたがたと同様に偽り者となるでしょう。しかし、わたしはこの方を知っており、そのみことばを守っています。
56 あなたがたの父アブラハムは、わたしの日を見ることを思って大いに喜びました。彼はそれを見て、喜んだのです。」
57 そこで、ユダヤ人たちはイエスに向かって言った。「あなたはまだ五十歳になっていないのにアブラハムを見たのですか。」
58 イエスは彼らに言われた。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。アブラハムが生まれる前から、わたしはいるのです。」
59 すると彼らは石を取ってイエスに投げつけようとした。しかし、イエスは身を隠して、宮から出て行かれた。

9

1 またイエスは道の途中で、生まれつきの盲人を見られた。
2 弟子たちは彼についてイエスに質問して言った。「先生。彼が盲目に生まれついたのは、だれが罪を犯したからですか。この人ですか。その両親ですか。」
3 イエスは答えられた。「この人が罪を犯したのでもなく、両親でもありません。神のわざがこの人に現われるためです。
4 わたしたちは、わたしを遣わした方のわざを、昼の間に行なわなければなりません。だれも働くことのできない夜が来ます。
5 わたしが世にいる間、わたしは世の光です。」
6 イエスは、こう言ってから、地面につばきをして、そのつばきで泥を作られた。そしてその泥を盲人の目に塗って言われた。
7 「行って、シロアム（訳して言えば、遣わされた者）の池で洗いなさい。」そこで、彼は行って、洗った。すると、見えるようになって、帰って行った。
8 近所の人たちや、前に彼がこじきをしていたのを見ていた人たちが言った。「これはすわって物ごいをしていた人ではないか。」
9 ほかの人は、「これはその人だ。」と言い、またほかの人は、「そうではない。ただその人に似ているだけだ。」

---

52 ③ヨハ四・三三、五・二〇、一七・六 ㊥ヨハ八・五五、④ヨハ八・五一
53 ①㊥ヨハ四・一二
54 ①㊥ヨハ八・五〇、②㊥ヨハ七・三九
55 ①ヨハ八・九、㊥ヨハ五・二 ②㊥ヨハ七・二九、③㊥ヨハ八・四四 ④ヨハ一五・一〇、㊥ヨハ八・五五
56 ①ヨハ八・三七、三九 ＊直訳「わたしの日を見るために」 ②㊥マタ一三・一七、ヘブ一一・一三
57 ①㊥ヨハ一・一九 ＊異本「アブラハムがあなたを見たことがあるのですか」
58 ＊直訳「存在するようになる」 ①㊥ヨハ七・三九、二四・一 ＊＊㊥ヨハ八・二四注。あるいは「あった」と訳す
59 ①ヨハ一〇・三一、一一・八、㊥マタ二一・四五、②ヨハ八・二〇、五九 ＊直訳「隠されて」 ＊＊異本に「そして彼らの間を通り抜けて進み、通り過ぎて行かれた」を挿入するものもある
2 ①㊥マタ一三・七、②㊥ヨハ九・三四、ルカ一三・二、使六・四 ③出二〇・五
3 ①㊥ヨハ一一・四
4 ①ヨハ一二・九、一三・三五、㊥ヨハ七・三三、ガラ四・二〇
5 ①ヨハ一・四、八・一二、三九
6 ①マコ八・二三、ルカ一八・一三 ②ヨハ一一・三七
7 ①ヨハ九・一一、㊥ルカ一三・四 ②ヨハ一一・三七
8 ①㊥使三・二、一〇

と言った。当人は、「私がその人です。」と言った。
10そこで、彼らは言った。「それでは、あなたの目はどのようにしてあいたのですか。」
11彼は答えた。「イエスという方が、泥を作って、私の目に塗り、『シロアムの池に行って洗いなさい。』と私に言われました。それで、行って洗うと、見えるようになりました。」
12また彼らは彼に言った。「その人はどこにいるのですか。」彼は「私は知りません。」と言った。
13彼らは、前に盲目であったその人を、パリサイ人たちのところに連れて行った。
14ところで、イエスが泥を作って彼の目をあけられたのは、[11]安息日であった。
15こういうわけでもう一度、パリサイ人も彼に、[1]どのようにして見えるようになったかを尋ねた。彼は言った。「あの方が私の目に泥を塗ってくださって、私が洗いました。私はいま見えるのです。」
16すると、パリサイ人の中のある人々が、「[1]その人は神から出たのではない。安息日を守らないからだ。」と言った。しかし、ほかの者は言った。「罪人である者に、どうしてこのようなしるしを行なうことができよう。」そして、彼らの間に、[3]分裂が起こった。
17そこで彼らはもう一度、[1]盲人に言った。「あの人が目をあけてくれたことで、あの人を何だと思っているのか。」彼は言った。「あの方は預言者です。」
18しかしユダヤ人たちは、目が見えるようになったその人について、彼が盲目であったが見えるようになったということを信ぜず、ついにその両親を呼び出して、
19尋ねて言った。「この人はあなたがたの息子で、生まれつき盲目だったとあなたがたが言っている人ですか。それでは、どうしていま見えるのですか。」
20そこで両親は答えた。「私たちは、これが私たちの息子で、生まれつき盲目だったことを知っています。
21しかし、どのようにしていま見えるのかは知りません。また、だれがあれの目をあけたのか知りません。あれに聞いてください。あれはもうおとなです。自分のことは自分で話すでしょう。」
22彼の両親がこう言ったのは、[1]ユダヤ人たちを恐れたからであった。すでにユダヤ人たちは、イエスを*キリストであると告白する者があれば、その者を会堂から追放すると決めていたからである。
23そのために彼の両親は、「あれはもうおとなです。あれに聞いてください。」と言ったのである。
24そこで彼らは、盲目であった人をもう一度呼び出して言った。「神に栄光を帰しなさい。私たちはあの人が罪人であることを知っているのだ。」
25彼は答えた。「あの方が罪人かどうか、私は知りません。ただ一つのことだけ知っています。私は盲目であったのに、今は見えるということです。」
26そこで彼らは言った。「あの人はおまえに何をしたのか。どのようにしてその目をあけたのか。」

11 ①創ヨハ九・七
14 ①ヨハ五・九
15 ①ヨハ九・一〇
16 ①出マタ二・六、②創ヨハ二・一一
*あるいは「証拠としての奇蹟」
③出ヨハ六・三〇、七・四三、一〇・一九
17 ①出ヨハ九・一五、②創マタ二一・一一
18 ①創ヨハ一・一九、九・三三
22 ①出ヨハ七・一三
*すなわち「メシヤ」
②ヨハ三・一五、六・一九、出ルカ六・二二、③出ヨハ七・四五、五三
23 ①ヨハ九・二一
24 ①ヨシセ・一九、出エズ一〇・一一
黙二一・二三
*別訳「真実を言いなさい」
②ヨハ九・一六

27 彼は答えた。「もうお話ししたのですが、あなたがたは聞いてくれませんでした。なぜもう一度聞こうとするのです。あなたがたも、あの方の弟子になりたいのですか。」
28 彼らは彼をののしって言った。「おまえもあの者の弟子だ。しかし私たちはモーセの弟子だ。
29 私たちは、神がモーセにお話しになったことは知っている。しかし、あの者については、どこから来たのか知らないのだ。」
30 彼は答えて言った。「これは、驚きました。あなたがたは、あの方がどこから来られたのか、ご存じないと言う。しかし、あの方は私の目をおあけになったのです。
31 神は、罪人の言うことはお聞きになりません。しかし、だれでも神を敬い、そのみこころを行なうなら、神はその人の言うことを聞いてくださると、私たちは知っています。
32 盲目に生まれついた者の目をあけた者があるなどとは、*昔から聞いたこともありません。
33 もしあの方が神から出ておられるのでなかったら、何もできないはずです。」
34 彼らは答えて言った。「おまえは全く罪の中に生まれていながら、私たちを教えるのか。」そして、彼を外に追い出した。
35 イエスは、彼らが彼を追放したことを聞き、彼を見つけ出して言われた。「あなたは人の子を信じますか。」
36 その人は答えた。「*主よ。その方はどなたでしょうか。私がその方を信じることができますように。」
37 イエスは彼に言われた。「あなたはその方を見たのです。あなたと話しているのがそれです。」
38 彼は言った。「主よ。私は信じます。」そして彼はイエスを拝した。
39 そこで、イエスは言われた。「わたしはさばきのためにこの世に来ました。それは、目の見えない者が見えるようになり、見える者が盲目となるためです。」
40 パリサイ人の中でイエスとともにいた人々が、このことを聞いて、イエスに言った。「私たちも盲目なのですか。」
41 イエスは彼らに言われた。「もしあなたがたが盲目であったなら、あなたがたに罪はなかったでしょう。しかし、あなたがたは今、『私たちは目が見える。』と言っています。あなたがたの罪は残るのです。」

10

1 「まことに、まことに、あなたがたに告げます。羊の囲いに門からはいらないで、ほかの所を乗り越えて来る者は、盗人で強盗です。
2 しかし、門からはいる者は、その羊の牧者です。
3 門番は彼のために開き、羊はその声を聞き分けます。彼は自分の羊をその名で呼んで連れ出します。
4 彼は、自分の羊をみな引き出すと、その先頭に立って行きます。すると羊は、彼の声を知っているので、

---

27 ①ヨハ九・二四、②創ヨハ三・三五
28 ④出ヨハ三三・一一、ロマ二・一七
29 ①ヨハ八・二八
31 ①ヨブ三五・八、九、箴二・二八、詩三四・一五、六六・一八、一四五・一九、箴二八・九、イザ一・一五、ヤコ五・一六以下
32 *直訳「古い時代以来聞かれなかった」
33 ①ヨハ九・一六、出ヨハ三・二
34 ①出ヨハ九・二、②出ヨハ九・三四、五、Ⅲヨハ一〇
35 ①出ヨハ九・三五、Ⅲヨハ一〇、②創マタ四・三
36 *あるいは「先生」
①出ロマ一〇・一四
37 ①ヨハ四・二六
38 ①創マタ八・二
39 ①ヨハ五・三〇、三七、三一九、②ルカ四・一八、③マタ三・一二、一三・一四
40 ①出ロマ二・一九
41 ①出ヨハ五・三二、三四、②出箴二六・一二
1 ①ヨハ一〇・八
2 ①ヨハ一〇・一一、一二
3 ①ヨハ一〇・四、五、一六、一七
②出ヨハ一〇・九
4 ①ヨハ一〇・五、一六、二七

彼について行きます。
5しかし、ほかの人には決してついて行きません。かえって、その人から逃げ出します。その人たちの声を知らないからです。」
6イエスはこのたとえを彼らにお話しになったが、彼らは、イエスの話されたことが何のことかよくわからなかった。
7そこで、イエスはまた言われた。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしは羊の門です。
8わたしの前に来た者はみな、盗人で強盗です。羊は彼らの言うことを聞かなかったのです。
9わたしは門です。だれでも、わたしを通ってはいるなら、救われます。また安らかに出入りし、牧草を見つけます。
10盗人が来るのは、ただ盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするだけのためです。わたしが来たのは、羊がいのちを得、またそれを豊かに持つためです。
11わたしは、良い牧者です。良い牧者は羊のためにいのちを捨てます。
12牧者でなく、また、羊の所有者でない雇い人は、狼が来るのを見ると、羊を置き去りにして、逃げて行きます。それで、狼は羊を奪い、また散らすのです。
13それは、彼が雇い人であって、羊のことを心にかけていないからです。
14わたしは良い牧者です。わたしはわたしのものを知っています。また、わたしのものは、わたしを知っています。
15それは、父がわたしを知っておられ、わたしが父を知っているのと同様です。また、わたしは羊のためにわたしのいのちを捨てます。
16わたしにはまた、この囲いに属さないほかの羊があります。わたしはそれをも導かなければなりません。彼らはわたしの声に聞き従い、ひとりの牧者、一つの群れとなるのです。
17わたしが自分のいのちを再び得るために自分のいのちを捨てるからこそ、父はわたしを愛してくださいます。
18だれも、わたしからいのちを取った者はいません。わたしが自分からいのちを捨てるのです。わたしには、それを捨てる権威があり、それをもう一度得る権威があります。わたしはこの命令をわたしの父から受けたのです。」
19このみことばを聞いて、ユダヤ人たちの間にまた分裂が起こった。
20彼らのうちの多くの者が言った。「あれは悪霊につかれて気が狂っている。どうしてあなたがたは、あの人の言うことに耳を貸すのか。」
21ほかの者は言った。「これは悪霊につかれた者のことばではない。悪霊がどうして盲人の目をあけることができようか。」
22そのころ、エルサレムで、宮きよめの祭りがあった。

5 ①ヨハ一〇・四、五、一六、二七
6 ①脱ヨハ一六・二五、二九、Ⅱペテ二・三
7 ①脱ヨハ一〇・一二九
8 ①ヨハ一〇・一、脱エレ二三・一、二エゼ三四・二以下
9 ①脱ヨハ一〇・一二九
10 ①脱ヨハ五・四〇
＊あるいは「豊かになる」
11 ①ヨハ一〇・四、脱イザ四〇・一一、エゼ三四・二一、二三、Ⅰペテ五・四、黙七・一七　②ヨハ一〇・一五、一七、一八、三・一六、脱ヨハ一五・一三
12 ①ヨハ一〇・二
14 ①脱ヨハ一〇・二、②ヨハ一〇・二七
15 ①マタ一一・二七、②ヨハ一〇・二、一七、一八
16 ①脱イザ五六・八、②脱エゼ三四・二三、三七・二四、③脱ヨハ一一・五二、一二・三二、エペ二・一三、一八、Ⅰペテ二・二五
17 ①ヨハ一〇・一七、一八
18 ①脱マタ二六・五三、ヨハ二・一九、五・二六
＊異本「取るのではありません」
②ヨハ一〇・一七、一七
③脱ヨハ一四・三一、一〇・一八、ピリ二・八、ヘブ五・八
19 ①ヨハ七・四三、脱ヨハ九・一六
20 ①脱ヨハ七・二〇、②脱マコ三・二一
21 ①脱マタ四・二四、②脱ヨハ九・三、三三、出四・一一

23 時は冬であった。イエスは、宮の中で、ソロモンの
廊を歩いておられた。
24 それでユダヤ人たちは、イエスを取り囲んで言った。
「あなたは、いつまで私たちに気をもませるのですか。
もしあなたが*キリストなら、はっきりとそう言ってく
ださい。」
25 イエスは彼らに答えられた。「わたしは話しました。
しかし、あなたがたは信じないのです。わたしが父の
御名によって行なうわざが、わたしについて証言して
います。
26 しかし、あなたがたは信じません。それは、あなた
がたがわたしの羊に属していないからです。
27 わたしの羊はわたしの声を聞き分けます。またわた
しは彼らを知っています。そして彼らはわたしについ
て来ます。
28 わたしは彼らに永遠のいのちを与えます。彼らは決
して滅びることがなく、また、だれもわたしの手から
彼らを奪い去るようなことはありません。
29 わたしに彼らをお与えになった父は、すべてにまさ
って偉大です。だれもわたしの父の御手から彼らを奪
い去ることはできません。
30 わたしと父とは*一つです。」
31 ユダヤ人たちは、イエスを石打ちにしようとして、
また石を取り上げた。
32 イエスは彼らに答えられた。「わたしは、父から出た
多くの良いわざを、あなたがたに示しました。そのう
ちのどのわざのために、わたしを石打ちにしようとす
るのですか。」
33 ユダヤ人たちはイエスに答えた。「良いわざのため
にあなたを石打ちにするのではありません。冒瀆のた
めです。あなたは人間でありながら、自分を神とする
からです。」
34 イエスは彼らに答えられた。「あなたがたの律法に、
『わたしは言った、あなたがたは神である。』と書いて
はありませんか。
35 もし、神のことばを受けた人々を、神と呼んだとす
れば、聖書は廃棄されるものではないから、
36 『わたしは神の子である。』とわたしが言ったからと
いって、どうしてあなたがたは、父が聖別して世に遣
わした者について、『神を冒瀆している。』と言うので
すか。
37 もしわたしが、わたしの父のみわざを行なっていな
いのなら、わたしを信じないでいなさい。
38 しかし、もし行なっているなら、たといわたしの言
うことが信じられなくても、わざを信用しなさい。そ
れは、父がわたしにおられ、わたしが父にいることを、
あなたがたが悟り、また知るためです。」
39 そこで、彼らはまたイエスを捕えようとした。しか
し、イエスは彼らの手からのがれられた。
40 そして、イエスはまたヨルダンを渡って、ヨハネ
が初めにバプテスマを授けていた所に行かれ、そこに
滞在された。

23 ①使三・二五・三
24 ①創ヨハ一・九、一〇・三一、三三
*すなわち、「メシヤ」
②出ヨハ六・二六、ルカ三・七七
25 ①出ヨハ八・五六、六
②創ヨハ五・三六、一〇・三六
26 ①ヨハ八・四七
27 ①ヨハ一〇・六、創ヨハ一〇・四
②ヨハ一〇・一四
28 ①ヨハ一七・二、三、Ⅰヨハ二・二五、五・一二、②出ヨハ六・三七、三九
29 *異本「わたしの父がわたしにお与えになったものは、すべてにまさって大きいものです」
30 ①出ヨハ一七・二以下
*「同一の本質」をさす
31 ①創ヨハ八・五九
33 ①レビ二四・一六、②ヨハ五・一八
34 ①創ヨハ八・一七、②出ヨハ二二・二八、ヨシ二三・七、ロマ三・九、Ⅰコリ一二・三、③詩八二・六
36 ①出ヨハ一〇・三六、三七・一七、一八、②出ヨハ六・六九、エレ一・五
③創ヨハ三・一七
37 ①出ヨハ一五・二四、一〇・三五
38 ①ヨハ一〇・三七、一四・一一
②ヨハ一四・一〇、一一、一七・二一、二三
*直訳「知り、また知り続ける」
39 ①創ヨハ七・三〇、②出ヨハ八・五九、ルカ四・三〇
40 ①ヨハ一・二八

41 多くの人々がイエスのところに来た。彼らは、「ヨハネは何一つしるしを行なわなかったけれども、彼がこの方について話したことはみな真実であった。」と言った。
42 そして、その地方で多くの人々がイエスを信じた。

11

1 さて、ある人が病気にかかっていた。ラザロといって、マリヤとその姉妹マルタとの村の出で、ベタニヤの人であった。
2 このマリヤは、主に香油を塗り、髪の毛でその足をぬぐったマリヤであって、病んでいたのは彼女の兄弟であった。
3 そこで姉妹たちは、イエスのところに使いを送って、言った。「主よ。ご覧ください。あなたが愛しておられる者が病気です。」
4 イエスはこれを聞いて、言われた。「この病気は死で終わるだけのものではなく、神の栄光のためのものです。神の子がそれによって栄光を受けるためです。」
5 イエスはマルタとその姉妹とラザロとを愛しておられた。
6 そのようなわけで、イエスは、ラザロが病んでいることを聞かれたときも、そのおられた所になお二日とどまられた。
7 その後、イエスは、「もう一度ユダヤに行こう。」と弟子たちに言われた。
8 弟子たちはイエスに言った。「先生。たった今ユダヤ人たちが、あなたを石打ちにしようとしていたのに、またそこにおいでになるのですか。」
9 イエスは答えられた。「昼間は十二時間あるでしょう。だれでも、昼間歩けば、つまずくことはありません。この世の光を見ているからです。
10 しかし、夜歩けばつまずきます。光がその人のうちにないからです。」
11 イエスは、このように話され、それから、弟子たちに言われた。「わたしたちの友ラザロは眠っています。しかし、わたしは彼を眠りからさましに行くのです。」
12 そこで弟子たちはイエスに言った。「主よ。眠っているのなら、彼は助かるでしょう。」
13 しかし、イエスは、ラザロの死のことを言われたのである。だが、彼らは眠った状態のことを言われたものと思った。
14 そこで、イエスはそのとき、はっきりと彼らに言われた。「ラザロは死んだのです。
15 わたしは、あなたがたのため、すなわちあなたがたが信じるためには、わたしがその場に居合わせなかったことを喜んでいます。さあ、彼のところへ行きましょう。」
16 そこで、デドモと呼ばれるトマスが、弟子の仲間に言った。「私たちも行って、主といっしょに死のうではないか。」
17 それで、イエスがおいでになってみると、ラザロは墓の中に入れられて四日もたっていた。

41 ①㊐ヨハ二・二、②ヨハ一二・三七、三四、三四・三下三四
42 ①㊐ヨハ七・三一
1 ①ヨハ一一・一九以下、㊐ルカ一〇・三八、②㊐マタ二六・七、ヨハ一二・六
2 ①㊐ルカ七・三八、ヨハ一二・三、②ヨハ一三・一、㊐ルカ七・三八
3 ①㊐ルカ七・三八、ヨハ一二・三、三一・三三、㊐ヨハ一三・一、㊐ルカ七・三八、②㊐ヨハ一一・三、㊐ヨハ一二・三、㊐ヨハ一三・一
4 ①ヨハ二一・一四、㊐ヨハ九・三、一〇・三六
5 ①㊐ヨハ一一・一
7 ①㊐ヨハ一〇・四〇
8 ①㊐マタ二六・七、②ヨハ一〇・三一、㊐ヨハ八・五九
9 ①㊐ルカ一三・三三、ヨハ九・四、一二・三五
11 ①㊐ヨハ一一・三、②マタ二七・五二、マコ五・三九、ヨハ一一・一三、㊐使七・六〇
13 ①マタ九・二四、ルカ八・五二
＊直訳「眠りの眠り」
16 ①ヨハ二〇・二四・二一
＊「ふたご」の意
②マタ一〇・三、マコ三・一八、ルカ六・一五、ヨハ一四・五、二一・二、使一・一三
17 ①ヨハ一一・三九

18 ベタニヤはエルサレムに近く、*三千メートルほど離れた所にあった。
19 大ぜいのユダヤ人がマルタとマリヤのところに来ていた。その兄弟のことについて慰めるためであった。
20 マルタは、イエスが来られたと聞いて迎えに行った。マリヤは家ですわっていた。
21 マルタはイエスに向かって言った。「主よ。もしここにいてくださったなら、私の兄弟は死ななかったでしょうに。
22 今でも私は知っております。あなたが神にお求めになることは何でも、神はあなたにお与えになります。」
23 イエスは彼女に言われた。「あなたの兄弟はよみがえります。」
24 マルタはイエスに言った。「私は、終わりの日のよみがえりの時に、彼がよみがえることを知っております。」
25 イエスは言われた。「わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。
26 また、生きていてわたしを信じる者は、決して死ぬことがありません。このことを信じますか。」
27 彼女はイエスに言った。「はい。主よ。私は、あなたが世に来られる神の子キリストである、と信じております。」
28 こう言ってから、帰って行って、姉妹マリヤを呼び、「先生が見えています。あなたを呼んでおられます。」とそっと言った。
29 マリヤはそれを聞くと、すぐ立ち上がって、イエスのところに行った。
30 さてイエスは、まだ村にはいらないで、マルタが出迎えた場所におられた。
31 マリヤとともに家にいて、彼女を慰めていたユダヤ人たちは、マリヤが急いで立ち上がって出て行くのを見て、マリヤが墓に泣きに行くのだろうと思い、彼女について行った。
32 マリヤは、イエスのおられた所に来て、お目にかかると、その足もとにひれ伏して言った。「主よ。もしここにいてくださったなら、私の兄弟は死ななかったでしょうに。」
33 そこでイエスは、彼女が泣き、彼女といっしょに来たユダヤ人たちも泣いているのをご覧になると、霊の憤りを覚え、心の動揺を感じて、
34 言われた。「彼をどこに置きましたか。」彼らはイエスに言った。「主よ。来てご覧ください。」
35 イエスは涙を流された。
36 そこで、ユダヤ人たちは言った。「ご覧なさい。主はどんなに彼を愛しておられたことか。」
37 しかし、「盲人の目をあけたこの方が、あの人を死なせないでおくことはできなかったのか。」と言う者もいた。
38 そこでイエスは、またも心のうちに憤りを覚えながら、墓に来られた。墓はほら穴であって、石がそこ

18 ①㊥ヨハ一一・一
* 直訳「一五スタディオン」—スタディオンは一八五メートル
19 ①㊥ヨハ一・一九、一二・一 ②ヨハ一一・三一、③ヨハ一一・三一、ヨブ二・一一、旧Ⅰサム三一・一三、Ⅰ歴一〇・一二
20 ①旧ルカ一〇・三九、四二
21 ①㊥ヨハ一一・三二 ②ヨハ一一・三二
22 ①ヨハ一一・四二、四五、旧ヨハ九・三一 ②ヨハ一一・七、旧使二四・一五
24 ①ダニ一二・二、旧使二四・一五
25 ①旧ヨハ一四・五、二六、二七、四〇
26 ①㊥ヨハ六・四七、五〇、五一、八・五一
27 ①ヨハ六・一四
* 別訳「きたるべきかた」(メシヤ」の称号)
②マタ二六・六三、旧ルカ三・一五
** すなわち「メシヤ」
28 ①ヨハ一一・二八、②マタ二六・一八、マコ一四・一四、ルカ三・一一、旧ヨハ一三・一三
30 ①ヨハ一一・二〇
31 ①ヨハ一一・九、一九 ②㊥ヨハ一一・一九、三三
* 直訳「嘆く」
** 異本「と言って」
32 ①㊥ヨハ一一・二一 ②㊥ヨハ一一・二一
33 * 直訳「嘆く」
①㊥ヨハ一一・九、②ヨハ一一・二六、③旧ヨハ一三・七、一三・二一
35 ①旧ルカ一九・四一
36 ①㊥ヨハ一一・九、②旧ヨハ一一・三
37 ①ヨハ九・七
38 ①旧マタ二七・六〇、マコ一五・四六、ルカ二三・一三、ヨハ二〇・一

に立てかけてあった。
39 イエスは言われた。「その石を取りのけなさい。」死んだ人の姉妹マルタは言った。「主よ。もう臭くなっておりましょう。四日になりますから。」
40 イエスは彼女に言われた。「もしあなたが信じるなら、あなたは神の栄光を見る、とわたしは言ったではありませんか。」
41 そこで、彼らは石を取りのけた。イエスは目を上げて、言われた。「父よ。わたしの願いを聞いてくださったことを感謝いたします。
42 わたしは、あなたがいつもわたしの願いを聞いてくださることを知っておりました。しかしわたしは、回りにいる群衆のために、この人々が、あなたがわたしをお遣わしになったことを信じるようになるために、こう申したのです。」
43 そして、イエスはそう言われると、大声で叫ばれた。「ラザロよ。出て来なさい。」
44 すると、死んでいた人が、手と足を長い布で巻かれたままで出て来た。彼の顔は布切れで包まれていた。イエスは彼らに言われた。「ほどいてやって、帰らせなさい。」
45 そこで、マリヤのところに来ていて、イエスがなさったことを見た多くのユダヤ人が、イエスを信じた。
46 しかし、そのうちの幾人かは、パリサイ人たちのところへ行って、イエスのなさったことを告げた。
47 そこで、祭司長とパリサイ人たちは議会を召集して言った。「われわれは何をしているのか。あの人が多くのしるしを行なっているというのに。
48 もしあの人をこのまま放っておくなら、すべての人があの人を信じるようになる。そうなると、ローマ人がやって来て、われわれの土地も国民も奪い取ることになる。」
49 しかし、彼らのうちのひとりで、その年の大祭司であったカヤパが、彼らに言った。「あなたがたは全然何もわかっていない。
50 ひとりの人が民の代わりに死んで、国民全体が滅びないほうが、あなたがたにとって得策だということも、考えに入れていない。」
51 ところで、このことは彼が自分から言ったのではなくて、その年の大祭司であったので、イエスが国民のために死のうとしておられること、
52 また、ただ国民のためだけでなく、散らされている神の子たちを一つに集めるためにも死のうとしておられることを、預言したのである。
53 そこで彼らは、その日から、イエスを殺すための計画を立てた。
54 そのために、イエスはもはやユダヤ人たちの間を公然と歩くことをしないで、そこから荒野に近い地方に去り、エフライムという町にはいり、弟子たちとともにそこに滞在された。
55 さて、ユダヤ人の過越の祭りが間近であった。多くの人々が、身をきよめるために、過越の祭りの前にい

39 ①ヨハ二一・一七
40 ①ヨハ二一四、三以下
41 ①創マタ二七・二〇、マコ一五・四六、ルカ二四・二、ヨハ二〇・一
②ヨハ七・一、申使七・五五
③創マタ二一・三五
42 ①詩ヨハ二・三、一七・二
②創ヨハ三・七
44 ①創ヨハ二九・四四、②出ヨハ二〇・七
45 ①ヨハ二・二九、申ヨハ三・一七、六、②ヨハ二・三、③創ヨハ七・三
46 ①ヨハ二・二七、申ヨハ七・三、四五
47 ①ヨハ二・二七、申ヨハ七・三、四五、②マタ二六・三、③マタ二六・三、④創ヨハ一一
＊あるいは「証拠としての奇蹟」
48 ①申マタ二四・一五
49 ①ヨハ二・二八、八・三
②マタ二六・三
50 ①ヨハ八・一四
51 ①ヨハ二・二七、八・三
②出申六・三、民二七・二一
Ⅰサム二八・三、七、エズ二・六三
52 ①ヨハ一〇・一六
53 ①マタ二六・四
54 ①ヨハ七・一、②Ⅱ歴三・一九
55 ①マタ二六・二、マコ一四・一、ルカ二二・一、ヨハ一三・一、②創ヨハ二・一三、②民九・一〇
Ⅱ歴三〇・一七、一八、申ヨハ二八・六

なかからエルサレムに上って来た。
56彼らはイエスを捜し、宮の中に立って、互いに言った。「あなたがたはどう思いますか。あの方は祭りに来られることはないでしょうか。」
57さて、祭司長、パリサイ人たちはイエスを捕えるために、イエスがどこにいるかを知っている者は届け出なければならないという命令を出していた。

12

1イエスは過越の祭りの六日前にベタニヤに来られた。そこには、イエスが死人の中からよみがえらせたラザロがいた。
2人々はイエスのために、そこに晩餐を用意した。そしてマルタは給仕していた。ラザロは、イエスとともに食卓に着いている人々の中に混じっていた。
3マリヤは、非常に高価な、純粋なナルドの香油三百グラムを取って、イエスの足に塗り、彼女の髪の毛でイエスの足をぬぐった。家は香油のかおりでいっぱいになった。
4ところが、弟子のひとりで、イエスを裏切ろうとしているイスカリオテ・ユダが言った。
5「なぜ、この香油を三百デナリに売って、貧しい人人に施さなかったのか。」
6しかしこう言ったのは、彼が貧しい人々のことを心にかけていたからではなく、彼は盗人であって、金入れを預かっていたが、その中に収められたものを、いつも盗んでいたからである。
7イエスは言われた。「そのままにしておきなさい。マリヤはわたしの葬りの日のために、それを取っておこうとしていたのです。
8あなたがたは、貧しい人々とはいつもいっしょにいるが、わたしとはいつもいっしょにいるわけではないからです。」
9大ぜいのユダヤ人の群れが、イエスがそこにおられることを聞いて、やって来た。それはただイエスのためだけではなく、イエスによって死人の中からよみがえったラザロを見るためでもあった。
10祭司長たちはラザロも殺そうと相談した。
11それは、彼のために多くのユダヤ人が去って行き、イエスを信じるようになったからである。
12その翌日、祭りに来ていた大ぜいの人の群れは、イエスがエルサレムに来ようとしておられると聞いて、
13しゅろの木の枝を取って、出迎えのために出て行った。そして大声で叫んだ。
「ホサナ。
祝福あれ。
主の御名によって来られる方に。
イスラエルの王に。」
14イエスは、ろばの子を見つけて、それに乗られた。それは次のように書かれているとおりであった。
15「恐れるな。シオンの娘。
見よ。ろばの子に打ち乗って、
あなたの王が来られる。」
16初め、弟子たちにはこれらのことがわからなかった。

56 ①ヨハ七・二
57 ①参ヨハ一一・四七
1 ①ヨハ一二・一八、[比]マタ二六・六、一三、マコ一四・三九、ルカ七・三七、②参ヨハ一一・五五、③参ヨハ一二・一、[比]ヨハ一一・四四、四八
2 ①参ルカ一〇・三八
3 ①参ヨハ一二・一、②マコ一四・三、*直訳「一リトラ」―三二八グラム
4* あるいは「引き渡そうと」 ①[比]ヨハ六・七一
5* 約一〇か月分の生活費に相当する金額
6 ①ヨハ一三・二九、②[比]ルカ八・三
7 ①参ヨハ一九・四〇
*別訳「そうしたのです」
8 ①マタ二六・一一、マコ一四・七
9 ①[比]マコ一一・七、ヨハ一二・三
②ヨハ一一・四四、一二・一、七、八
11 ①ヨハ一二・六、[比]ヨハ一一・四五、②参ヨハ七・三一、[比]ヨハ一一・四三
12 ①ヨハ一二・一三、マタ二一・九、マコ一一・八、ルカ一九・三八、②ヨハ一二・一三
13 ①[比]詩一一八・二五、二六 ②参ヨハ一・四九
15 ①ゼカ九・九
16 ①参マコ九・三二、[比]ヨハ一二・一六

しかし、イエスが栄光を受けられてから、これらのことがイエスについて書かれたことであって、人々がそのとおりにイエスに対して行なったことを、彼らは思い出した。

17 イエスがラザロを墓から呼び出し、死人の中からよみがえらせたときにイエスといっしょにいた大ぜいの人々は、そのことのあかしをした。18 そのために群衆もイエスを出迎えた。イエスがこれらのしるしを行なわれたことを聞いたからである。19 そこで、パリサイ人たちは互いに言った。「どうしたのだ。何一つうまくいっていない。見なさい。世はあげてあの人のあとについて行ってしまった。」

20 さて、祭りのとき礼拝のために上って来た人々の中に、ギリシヤ人が幾人かいた。21 この人たちがガリラヤのベツサイダの人であるピリポのところに来て、「先生。イエスにお目にかかりたいのですが。」と言って頼んだ。22 ピリポは行ってアンデレに話し、アンデレとピリポとは行って、イエスに話した。

23 すると、イエスは彼らに答えて言われた。「人の子が栄光を受けるその時が来ました。24 まことに、まことに、あなたがたに告げます。一粒の麦がもし地に落ちて死なければ、それは一つのままです。しかし、もし死ねば、豊かな実を結びます。25 自分のいのちを愛する者はそれを失い、この世でそのいのちを憎む者はそれを保って永遠のいのちに至るのです。

26 わたしに仕えるというのなら、その人はわたしについて来なさい。わたしがいる所に、わたしに仕える者もいるべきです。もしわたしに仕えるなら、父はその人に報いてくださいます。

27 今わたしの心は騒いでいる。*何と言おうか。『父よ。この時からわたしをお救いください。』と言おうか。いや。このためにこそ、わたしはこの時に至ったのです。

28 父よ。御名の栄光を現わしてください。」そのとき、天から声が聞こえた。「わたしは栄光をすでに現わしたし、またもう一度栄光を現わそう。」

29 そばに立っていてそれを聞いた群衆は、雷が鳴ったのだと言った。ほかの人々は、「御使いがあの方に話したのだ。」と言った。

30 イエスは答えて言われた。「この声が聞こえたのは、わたしのためにではなくて、あなたがたのためにです。31 今がこの世のさばきです。今、この世を支配する者は追い出されるのです。

32 わたしが地上から上げられるなら、わたしはすべての人を自分のところに引き寄せます。」

33 イエスは自分がどのような死に方で死ぬかを示して、このことを言われたのである。

34 そこで、群衆はイエスに答えた。「私たちは、律法で、キリストはいつまでも生きておられると聞きましたが、どうしてあなたは、人の子は上げられなければならないと言われるのですか。この人の子とはだれのことですか。」

16 ②参ヨハ十六・一三
17 ①ヨハ一一・四三
18 ①比ルカ九・一〇、ヨハ三・三 ②参ヨハ三・一一
20 ①ヨハ三・一、②参ヨハ七・三五
21 ①比マタ二・一、②参ヨハ一・四四
22 ①ヨハ一・四四
23 ①参ヨハ七・三九、一三・一 ②比ヨハ一三・一、一七・一
24 ①Ⅰコリ一五・三六、比ロマ六・五、四
25 ①参マタ一〇・三九、②ルカ一四・二六
26 ①ヨハ一四・三、一二・二六 比Ⅱコリ五・八、ピリ一・二三 Ⅰテサ四・一七、②Ⅰサム二・三〇 詩九一・一五、比ルカ二・一七 参マタ二六・六、マコ一四・三四
27 ①マタ二六・三九、マコ一四・三四 *別訳「何と言ったらよいか。『父よ。この時からわたしをお救いください』と」 ②参マタ二・一三、③参ヨハ一二・三三
28 ①参マタ二・一五、②比マタ三・一七、マコ一・一一、九・七 ルカ三・二二、九・三五
29 ①使二・六
30 ①ヨハ一二・四四
31 ①ヨハ一六・一一、比ヨハ一二・九、九・三九、②ヨハ一四・三〇、一六・一一 Ⅱコリ四・四、エペ二・二 比エペ六・一二、Ⅰヨハ四・四、五・一九
32 ①ヨハ三・一四、八・二八、一二・三四 比ヨハ六・四四
33 ①比ヨハ八・三二、一八・三二 ②参ヨハ一二・一九
34 ①参ヨハ一〇・三四、②詩一一〇・四 イザ九・七、エゼ三七・二五、ダニ七・一四 *すなわち「メシヤ」 ③参マタ八・二〇、④ヨハ三・一四、八・二八、一二・三二

らない、と言われるのですか。その人の子とはだれですか。」

35 イエスは彼らに言われた。「まだ[1]しばらくの間、光はあなたがたの間にあります。やみがあなたがたを襲うことのないように、あなたがたは、光がある間に歩きなさい。やみの中を歩く者は、自分がどこに行くのかわかりません。

36 あなたがたに光がある間に、光の子どもとなるために、光を信じなさい。」

イエスは、これらのことをお話しになると、立ち去って、彼らから身を隠された。

37 イエスが彼らの目の前でこのように多くのしるし*を行なわれたのに、彼らはイエスを信じなかった。

38 それは、「主よ。だれが私たちの知らせを信じましたか。また主の御腕はだれに現わされましたか。」と言った預言者イザヤのことばが成就するためであった。

39 彼らが信じることができなかったのは、イザヤがまた次のように言ったからである。

40 「主は彼らの目を盲目にされた。また、彼らの心をかたくなにされた。それは、彼らが目で見、心で理解し、*回心し、そしてわたしが彼らをいやす、ということがないためである。」

41 イザヤがこう言ったのは、イザヤがイエスの栄光を見たからで、イエスをさして言ったのである。

42 しかし、それにもかかわらず、指導者たちの中にもイエスを信じる者がたくさんいた。ただ、パリサイ人たちをはばかって、告白はしなかった。会堂から追放*されないためであった。

43 彼らは、神からの栄誉よりも、人の栄誉を愛したからである。

44 また、イエスは大声で言われた。「わたしを信じる者は、わたしではなく、わたしを遣わした方を信じるのです。

45 また、わたしを見る者は、わたしを遣わした方を見るのです。

46 わたしは光として世に来ました。わたしを信じる者が、だれもやみの中にとどまることのないためです。

47 だれかが、わたしの言うことを聞いてそれを守らなくても、わたしはその人をさばきません。わたしは世をさばくために来たのではなく、世を救うために来たからです。

48 わたしを拒み、わたしの言うことを受け入れない者には、その人をさばくものがあります。わたしが話したことばが、終わりの日にその人をさばくのです。

49 わたしは、自分から話したのではありません。わたしを遣わした父ご自身が、わたしが何を言い、何を話すべきかをお命じになりました。

50 わたしは、父の命令が永遠のいのちであることを知っています。それゆえ、わたしが話していることは、父がわたしに言われたとおりを、そのままに話しているのです。」

---

35 ①脚ヨハ七・三三、脚ヨハ九・四
Ⅰヨハ二・一〇、②脚ヨハ二・九〜
③エペ五・八、脚ガラ六・一〇
④Ⅰヨハ一・六、二・一
36 ①脚ヨハ三・九〜、②脚ルカ一六・八、脚ヨハ八・一二、③脚ヨハ八・五九
37* あるいは「証拠としての奇蹟」
38 ①イザ五三・一、ロマ一〇・一六
40 ①イザ六・一〇、脚マタ一三・一四、一五、②脚マコ六・五二
*あるいは「向きを変え」
41 ①イザ六・以下、②脚ルカ二四・二七
42 ①脚ルカ二三・一三、②脚ヨハセ・四八、二三・二、③ヨハセ・一三
④脚ヨハ九・二二
*すなわち「除名」
43 ①ヨハ五・四四、一二四四
44 ①脚マタ一〇・四〇、ヨハ五・二四
45 ①ヨハ一四・九
46 ①ヨハ一・四、二・八、八・一二、九・五
脚ヨハ一二・三五、三六
47 ①脚ヨハ三・一七、脚ヨハ八・一五、一六
48 ①脚ルカ一〇・一六、②脚申一八・一八、二九、ヨハ五・四五以下、八・四七
③脚マタ一〇・一五
49 ①脚ヨハ三・一一、②脚ヨハ一四・三、脚ヨハ一七・八
50 ①脚ヨハ六・六八、②ヨハ八・二六

13

1さて、過越の祭りの前に、この世を去って父のみもとに行くべき自分の時が来たことを知られたので、世にいる自分のものを愛されたイエスは、その愛を残るところなく示された。

2夕食の間のことであった。悪魔はすでにシモンの子イスカリオテ・ユダの心に、イエスを売ろうとする思いを入れていたが、

3イエスは、父が万物を自分の手に渡されたことと、自分が父から来て父に行くことを知られ、

4夕食の席から立ち上がって、上着を脱ぎ、手ぬぐいを取って腰にまとわれた。

5それから、たらいに水を入れ、弟子たちの足を洗って、腰にまとっておられる手ぬぐいで、ふき始められた。

6こうして、イエスはシモン・ペテロのところに来られた。ペテロはイエスに言った。「主よ。あなたが、私の足を洗ってくださるのですか。」

7イエスは答えて言われた。「わたしがしていることは、今はあなたにはわからないが、あとでわかるようになります。」

8ペテロはイエスに言った。「決して私の足をお洗いにならないでください。」イエスは答えられた。「もしわたしが洗わなければ、あなたはわたしと何の関係もありません。」

9シモン・ペテロは言った。「主よ。私の足だけでなく、手も頭も洗ってください。」

10イエスは彼に言われた。「水浴した者は、足以外は洗う必要がありません。全身きよいのです。あなたがたはきよいのですが、みながそうではありません。」

11イエスはご自分を裏切る者を知っておられた。それで、「みながきよいのではない。」と言われたのである。

12イエスは、彼らの足を洗い終わり、上着を着けて、再び席に着いて、彼らに言われた。「わたしがあなたがたに何をしたか、わかりますか。

13あなたがたはわたしを先生とも主とも呼んでいます。*あなたがたがそう言うのはよい。わたしはそのような者だからです。

14それで、主であり師であるこのわたしが、あなたがたの足を洗ったのですから、あなたがたもまた互いに足を洗い合うべきです。

15わたしがあなたがたにしたとおりに、あなたがたもするように、わたしはあなたがたに模範を示したのです。

16まことに、まことに、あなたがたに告げます。しもべはその主人にまさらず、遣わされた者はつかわした者にまさるものではありません。

17あなたがたがこれらのことを知っているのなら、それを行なうときに、あなたがたは祝福されるのです。

18わたしは、あなたがた全部の者について言っているのではありません。わたしは、わたしが選んだ者を知っています。しかし聖書に『わたしのパンを食べている者が、わたしにかかとをあげました。』と書かれているために、

1 ①㊐ヨハ二・一、三・二以下
②ヨハ六・六、㊐ヨハ一三・三
③㊐ヨハ一三・三
＊別訳「最後まで」
2 ①㊐ヨハ六・七、一三・二七
②㊐ヨハ六・七
3 ①㊐ヨハ三・三五、②㊐ヨハ八・四二
4 ①㊐ルカ二二・三七
5 ①㊐ルカ七・四四
7 ①㊐ヨハ二・二以下
8 ①㊐申三二・三、Ⅱサム三・一
Ⅱ列三・二六
10 ①㊐ヨハ一五・三
11 ①㊐ヨハ六・六四、㊐ヨハ一三・二
12 ①ヨハ一三・四
13 ①㊐ヨハ一二・二六、②㊐ヨハ一二・三、㊐Ⅰコリ一三・三、ピリ二・一一
＊あるいは「あなたがたは正しい」
14 ①㊐ヨハ一二・三、㊐Ⅰコリ一三・三、ピリ二・一一
15 ①㊐Ⅰペテ二・二一
16 ①㊐マタ一〇・二四、②㊐Ⅱコリ八・二三、ピリ二・二五
17 ①ルカ一二・二八、ヤコ一・二五
㊐マタセ二四以下
18 ①ヨハ一三・一〇、一二、②ヨハ六・七〇、一五・一六、一九、③詩四一・九
ヨハ一三・二八、二三、二六、㊐マタ二六・二一以下、マコ一四・一八、一九
ルカ二二・二一以下

る者が、わたしに向かってかかとを上げた。』と書いてあることは成就するのです。
19 わたしは、そのことが起こる前に、今あなたがたに話しておきます。そのことが起こったときに、わたしがその人であることをあなたがたが信じるためです。
20 まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしの遣わす者を受け入れる者は、わたしを受け入れるのです。わたしを受け入れる者は、わたしを遣わした方を受け入れるのです。」

21 イエスは、これらのことを話されたとき、霊の激動を感じ、あかしして言われた。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。あなたがたのうちのひとりが、わたしを裏切ります。」
22 弟子たちは、だれのことを言われたのか、わからずに当惑して、互いに顔を見合わせていた。
23 弟子のひとりで、イエスが愛しておられた者が、イエスの右側で席に着いていた。
24 そこで、シモン・ペテロが彼に合図をして言った。「だれのことを言っておられるのか、知らせなさい。」
25 その弟子は、イエスの右側で席に着いたまま、イエスに言った。「主よ。それはだれですか。」
26 イエスは答えられた。「それはわたしがパン切れを浸して与える者です。」それからイエスは、パン切れを浸し、取って、イスカリオテ・シモンの子ユダにお与えになった。
27 彼がパン切れを受けると、そのとき、サタンが彼にはいった。そこで、イエスは彼に言われた。「あなたがしようとしていることを、今すぐしなさい。」
28 席に着いている者で、イエスが何のためにユダにそう言われたのか知っている者は、だれもなかった。
29 ユダが金入れを持っていたので、イエスが彼に、「祭りのために入用の物を買え。」と言われたのだとか、または、貧しい人々に何か施しをするように言われたのだとか思った者も中にはいた。
30 ユダは、パン切れを受けるとすぐ、外に出て行った。すでに夜であった。

31 ユダが出て行ったとき、イエスは言われた。「今こそ人の子は栄光を受けました。また、神は人の子によって栄光をお受けになりました。
32 神が、人の子によって栄光をお受けになったのであれば、神も、ご自身によって人の子に栄光をお与えになります。しかも、ただちにお与えになります。
33 子どもたちよ。わたしはいましばらくの間、あなたがたといっしょにいます。あなたがたはわたしを捜すでしょう。そして、『わたしが行く所へは、あなたがたは来ることができない。』とわたしがユダヤ人たちに言ったように、今はあなたがたにも言うのです。
34 あなたがたに新しい戒めを与えましょう。あなたがたは互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、そのように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。
35 もしあなたがたの互いの間に愛があるなら、それに

---

19 ①ヨハ一四・二九、一六・四 ②創ヨハ八・二四、一六・二四
20 ①マタ一〇・四〇、ルカ一〇・一六 旧ガラ四・一四
21 ①創ヨハ一二・二七、②ヨハ一二・六、一二・二七、旧マタ二六・二一、三、マコ一四・六以下、ルカ二二・二以下
* あるいは「引き渡す」
22 ①ヨハ一三・六、一二・二六 旧マタ二六・二以下、マコ一四・一以下、ルカ二二・二以下
23 ①ヨハ一九・二六、二〇・二、七、二一・七、二〇 * 直訳「御胸のそばで（食事のために）からだを横にしていた」
25 ①ヨハ二一・二〇
26 ①創ヨハ六・七
27 ①創マタ四・一〇、②ルカ二二・三 旧ヨハ一三・二、
29 ①ヨハ一三・六、②ヨハ一二・一 ③旧ヨハ一三・五
30 ①旧ルカ二二・五三
31 ①創マタ八・二〇、②創ヨハ七・元 * あるいは「受けます」
③ヨハ四・一三、旧ヨハ一七・四 Ⅰペテ四・一一 ** あるいは「お受けになります」
32 * この句を欠く写本がある ①旧ヨハ一三・一、②創ヨハ一三、③創ヨハ七・三九 ④ヨハ一七・一、②創ヨハ一三・三一、三二
34 ①Ⅰヨハ二・七、八、三・二三 旧ヨハ一五・一二、七 ②レビ一九・一八、Ⅰテサ四・九、Ⅰペテ一・二二、Ⅰヨハ三・一一、旧ガラ五・一四、③エペ五・二
35 ①旧Ⅰヨハ二・一〇、一一

よって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が認めるのです。」

36 シモン・ペテロがイエスに言った。「主よ。どこにおいでになるのですか。」イエスは答えられた。「[1]わたしが行く所に、[2]あなたは今はついて来ることができません。しかし後にはついて来ます。」

37 ペテロはイエスに言った。「主よ。なぜ今はあなたについて行くことができないのですか。あなたのためにはいのちも捨てます。」

38 イエスは答えられた。「わたしのためにはいのちも捨てる、と言うのですか。まことに、まことに、あなたに告げます。[1]鶏が鳴くまでに、あなたは三度わたしを知らないと言います。」

14

1 「あなたがたは心を騒がしてはなりません。*神を信じ、またわたしを信じなさい。

2 わたしの父の家には、住まいがたくさんあります。もしなかったら、あなたがたに言っておいたでしょう。あなたがたのために、[1]わたしは場所を備えに行くのです。

3 わたしが行って、あなたがたに場所を備えたら、[1]また来て、あなたがたをわたしのもとに迎えます。[2]わたしのいる所に、あなたがたをもおらせるためです。

4 *わたしの行く道はあなたがたも知っています。」

5 [1]トマスはイエスに言った。「主よ。どこへいらっしゃるのか、私たちにはわかりません。どうして、その道が私たちにわかりましょう。」

6 イエスは彼に言われた。「わたしが[1]道であり、[2]真理であり、[3]いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。

7 あなたがたは、[1]もしわたしを知っていたなら、父をも知っていたはずです。しかし、今や、あなたがたは[2]父を知っており、また、すでに父を見たのです。」

8 [1]ピリポはイエスに言った。「主よ。私たちに父を見せてください。そうすれば満足します。」

9 イエスは彼に言われた。「ピリポ。こんなに長い間あなたがたといっしょにいるのに、あなたはわたしを知らなかったのですか。[1]わたしを見た者は、父を見たのです。どうしてあなたは、『私たちに父を見せてください。』と言うのですか。

10 [1]わたしが父におり、父がわたしにおられることを、あなたは信じないのですか。[2]わたしがあなたがたに言うことばは、わたしが自分から話しているのではありません。わたしのうちにおられる父が、ご自分のわざをしておられるのです。

11 わたしが父におり、父がわたしにおられるとわたしが言うのを信じなさい。さもなければ、わざによって信じなさい。

12 まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしを信じる者は、わたしの行なうわざを行ない、またそれよりもさらに[1]大きなわざを行ないます。[2]わたしが父のもとに行くからです。

---

36 ①ヨハ三二・三三、旧ヨハ一四・二、一六、旧Ⅱペテ一・一四
37 ①ヨハ一三・三七、マタ二六・三三-三五、マコ一四・二九-三一、ルカ二二・三三、三四
38 ①ヨハ一八・二七、旧マコ一四・三〇
1 ①ヨハ一四・二七、旧ヨハ一六・三三、二四
*あるいは「あなたがたは神を信じています」
2 ①ヨハ二・一六、三六
3 ①ヨハ一四・一八、二八、②創ヨハ三・三六
4 *異本「わたしがどこへ行くかあなたがたは知っており、またその道を知っています」
5 ①創ヨハ一二・一六
6 ①旧ヨハ一〇・九、ロマ五・二、ヘブ一〇・一九、エペ二・一八、②創ヨハ一・一四、③創ヨハ一・四、一二・三五、旧Ⅰヨハ五・二〇
7 ①創ヨハ八・一九、②Ⅰヨハ二・一三、③旧ヨハ八・一九
8 ①創ヨハ一・四五
9 ①ヨハ一三・二〇、旧ヨハ一・一四コロ一・一五、ヘブ一・三
10 ①創ヨハ一〇・三八、一四・一一、二〇、②旧ヨハ一四・二四、三七、一七
11 ①創ヨハ一〇・三八、一四・一〇、二〇、②創ヨハ五・三六
12 ①ヨハ五・二〇、旧ヨハ一四・七、三八、②旧ヨハ七・三三、旧ヨハ一六・五

13 またわたしは、[1]あなたがたがわたしの名によって求めることは何でも、それをしましょう。父が子によって栄光をお受けになるためです。
14 あなたがたが、[1]わたしの名によって何かをわたしに求めるなら、わたしはそれをしましょう。
15 もしあなたがたがわたしを愛するなら、あなたがたはわたしの戒めを守るはずです。
16 わたしは父にお願いします。そうすれば、父はもう[1]ひとりの助け主をあなたがたにお与えになります。その助け主[*]がいつまでもあなたがたと、ともにおられるためにです。
17 その方は、[1]真理の御霊です。[2]世はその方を受け入れることができません。世はその方を見もせず、知りもしないからです。しかし、あなたがたはその方を知っています。その方はあなたがたとともに住み、あなたがたのうちにおられるからです。
18 わたしは、あなたがたを捨てて孤児にはしません。わたしは、あなたがたのところに戻って来るのです。
19 いましばらくで世はもうわたしを見なくなります。しかし、あなたがたはわたしを見ます。わたしが生きるので、あなたがたも生きるからです。
20 その日には、わたしが父におり、あなたがたがわたしにおり、わたしがあなたがたにおることが、あなたがたにわかります。
21 わたしの戒めを保ち、それを守る人は、わたしを愛する人です。わたしを愛する人はわたしの父に愛され、わたしもその人を愛し、わたし自身を彼に現わします。」
22 イスカリオテでないユダがイエスに言った。「主よ。あなたは、私たちにはご自分を現わそうとしながら、世には現わそうとなさらないのは、どういうわけですか。」
23 イエスは彼に答えられた。「[1]だれでもわたしを愛する人は、[2]わたしのことばを守ります。そうすれば、[3]わたしの父はその人を愛し、[4]わたしたちはその人のところに来て、その人とともに住みます。
24 わたしを愛さない人は、わたしのことばを守りません。あなたがたが聞いていることばは、わたしのものではなく、わたしを遣わした父のことばなのです。
25 このことをわたしは、あなたがたといっしょにいる間に、あなたがたに話しました。
26 しかし、[1]助け主、すなわち、[2]父がわたしの名によって遣わしになる聖霊は、[3]あなたがたにすべてのことを教え、また、[4]わたしがあなたがたに話したすべてのことを思い起こさせてくださいます。
27 わたしは、あなたがたに平安を残します。わたしは、あなたがたにわたしの平安を与えます。わたしがあなたがたに与えるのは、世が与えるのとは違います。あなたがたは心を騒がしてはなりません。恐れてはなりません。
28 『わたしは去って行き、また、[1]あなたがたのところ

---

13 ①圏マタ七・七 ②圏ヨハ一四・一三。
14 ①脱ヨハ一四・一六・一三、一四
15 ①脱ヨハ一四・二一、三一、脱ヨハ一五・一〇、Ⅰヨハ五・三、Ⅱヨハ六
16 ①ヨハ一四・二六・一五・二六・七 Ⅰヨハ二・一、脱ヨハ七・三九 ロマ八・二六 *ギリシャ語「パラクレトス」援助のために そばに呼ばれた者。とりなしてくれる人
17 ①ヨハ一四・一七・二六・一三 Ⅰヨハ四・六、二六 ②Ⅰコリ二・一四
18 ①ヨハ一四・三、六
19 ①圏ヨハ七・三三、 ②ヨハ一六・一六、三三 ③脱ヨハ八・六 ④ヨハ一四・六、Ⅱコリ五・一六
20 ①ヨハ一六・二六、 ②圏ヨハ一〇・三八、ヨハ一四・一一
21 ①ヨハ一四・一五、二三、脱ヨハ一五・一〇、Ⅰヨハ二・五、Ⅱヨハ六 ②ヨハ一六・二七、一四・二三
22 ①ルカ六・一六、使一・一三、脱マタ一〇・二、 ②脱使一〇・四〇、四一 ①Ⅰヨハ一四・二二、三、脱ヨハ一五・一〇、Ⅰヨハ二・五、Ⅱヨハ六 ②ヨハ一六・一三、Ⅰヨハ二・二七 ③脱出三一・三、六、箴八・七
23 ①ヨハ一四・一五、二一 ②圏ヨハ八・五一、Ⅰヨハ二・五 ③圏ヨハ一四・二一、 ④黙三・二〇 エペ三・一七、Ⅰヨハ二・二四、黙三・二、圏Ⅱコリ六・一六
24 ①圏ヨハ一四・二三、 ②ヨハ一四・一〇、一六
25 ①圏ヨハ一四・二六、 ②脱ヨハ一四・一七、 ③ヨハ一六・一三、ルカ二四・四九、使一・二、三、一六、一七、 ④ヨハ一四・二六、Ⅰヨハ二・二七、 ④圏ヨハ二・二七
26 ①圏ヨハ一四・一六、 ②脱ヨハ一四・一七、 ③ヨハ一六・一三、Ⅰヨハ二・二七、 ④圏ヨハ二・二七
27 ①ヨハ一六・三三、コロ三・一五 脱ピリ四・七、 圏ヨハ三・一九
28 ①ヨハ一四・一二、一八 ②ヨハ一四・一

に来る。』とわたしが言ったのを、あなたがたは聞きました。あなたがたは、もしわたしを愛しているなら、わたしが父のもとに行くことを喜ぶはずです。父はわたしよりも偉大な方だからです。

29 そして今わたしは、そのことの起こる前にあなたがたに話しました。それが起こったときに、あなたがたが信じるためです。

30 わたしは、もう、あなたがたに多くは話すまい。この世を支配する者が来るからです。彼はわたしに対して何もすることはできません。

31 しかしそのことは、わたしが父を愛しており、父の命じられたとおりに行なっていることを世が知るためです。立ちなさい。さあ、ここから行くのです。

15

1 わたしはまことのぶどうの木であり、わたしの父は農夫です。

2 わたしの枝で実を結ばないものはみな、父がそれを取り除き、実を結ぶものはみな、もっと多く実を結ぶために、刈り込みをなさいます。

3 あなたがたは、わたしがあなたがたに話したことばによって、もう刈り込みが済んだのです。

4 わたしにとどまりなさい。わたしも、あなたがたの中にとどまります。枝がぶどうの木についていなければ、枝だけでは実を結ぶことができません。同様にあなたがたも、わたしにとどまっていなければ、実を結ぶことはできません。

5 わたしはぶどうの木で、あなたがたは枝です。人がわたしにとどまり、わたしもその人の中にとどまっているなら、そういう人は多くの実を結びます。わたしを離れては、あなたがたは何もすることができないからです。

6 だれでも、もしわたしにとどまっていなければ、枝のように投げ捨てられて、枯れます。人々はそれを寄せ集めて火に投げ込むので、それは燃えてしまいます。

7 あなたがたがわたしにとどまり、わたしのことばがあなたがたにとどまるなら、何でもあなたがたのほしいものを求めなさい。そうすれば、あなたがたのためにそれがかなえられます。

8 あなたがたが多くの実を結び、わたしの弟子となることによって、わたしの父は栄光をお受けになるのです。

9 父がわたしを愛されたように、わたしもあなたがたを愛しました。わたしの愛の中にとどまりなさい。

10 もし、あなたがたがわたしの戒めを守るなら、あなたがたはわたしの愛にとどまるのです。それは、わたしがわたしの父の戒めを守って、わたしの父の愛の中にとどまっているのと同じです。

11 わたしがこれらのことをあなたがたに話したのは、わたしの喜びがあなたがたのうちにあり、あなたがたの喜びが満たされるためです。

12 わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合うこと、これがわたしの戒めです。

---

28 ②ヨハ一四・二四、③脚ヨハ一四・二、④比ヨハ一四・二六、ピリ二・六
29 ①脚ヨハ一三・一九
30 ①脚ヨハ一三・三一、②比ヘブ四・一五
31 ①比ヨハ一四・二、三一、脚②比ヨハ一三・一八・一
1 ①比イザ五・一以下、エゼ一九・二以下、詩八〇・八以下、マタ二一・三三以下、②比マタ二五・三ロマ一二・一七、Ⅰコリ三・九
2 * 直訳「きよくされます」
3 ①ヨハ一三・一〇、一七・一七
比エペ五・二六
4 ①ヨハ一五・四―七、Ⅰヨハ二・六
脚ヨハ六・五六
5 比ヨハ一五・一六
6 ①ヨハ一五・二
7 ①脚マタ七・七、ヨハ一五・一六
8 ①脚ヨハ八・三一
* 異本「そうしてわたしの弟子であることを証明することによって」
②マタ五・一六
9 ①ヨハ一七・二三、二六、脚ヨハ一五・九
10 ①比ヨハ一四・二一、②比ヨハ八・一九
11 ①ヨハ一七・一三、②ヨハ一五・一
12 ①脚ヨハ一三・三四、一五・一七

13 人がその友のためにいのちを捨てるという、これよりも大きな愛はだれも持っていません。
14 わたしがあなたがたに命じることをあなたがたが行なうなら、あなたがたはわたしの友です。
15 わたしはもはや、あなたがたをしもべとは呼びません。しもべは主人のすることを知らないからです。わたしはあなたがたを友と呼びました。なぜなら父から聞いたことをみな、あなたがたに知らせたからです。
16 あなたがたがわたしを選んだのではありません。わたしがあなたがたを選び、あなたがたを任命したのです。それは、あなたがたが行って実を結び、そのあなたがたの実が残るためであり、また、あなたがたがわたしの名によって父に求めるものは何でも、父があなたがたにお与えになるためです。
17 あなたがたが互いに愛し合うこと、これが、わたしのあなたがたに与える戒めです。
18 もし世があなたがたを憎むなら、世はあなたがたよりもわたしを先に憎んだことを知っておきなさい。
19 もしあなたがたがこの世のものであったなら、世は自分のものを愛したでしょう。しかし、あなたがたは世のものではなく、かえってわたしが世からあなたがたを選び出したのです。それで世はあなたがたを憎むのです。
20 しもべはその主人にまさるものではない、とわたしがあなたがたに言ったことばを覚えておきなさい。もし人々がわたしを迫害したなら、あなたがたをも迫害します。もし彼らがわたしのことばを守ったなら、あなたがたのことばをも守ります。
21 しかし彼らは、わたしの名のゆえに、あなたがたに対してそれらのことをみな行ないます。それは彼らがわたしを遣わした方を知らないからです。
22 もしわたしが来て彼らに話さなかったら、彼らに罪はなかったでしょう。しかし今では、その罪について弁解の余地はありません。
23 わたしを憎んでいる者は、わたしの父をも憎んでいるのです。
24 もしわたしが、ほかのだれも行なったことのないわざを、彼らの間で行なわなかったのなら、彼らには罪がなかったでしょう。しかし今、彼らはわたしをも、わたしの父をも見て、そのうえで憎んだのです。
25 これは、『彼らは理由なしにわたしを憎んだ。』と彼らの律法に書かれていることばが成就するためです。
26 わたしが父のもとから遣わす助け主、すなわち父から出る真理の御霊が来るとき、その御霊がわたしについてあかしします。
27 あなたがたもあかしするのです。初めからわたしといっしょにいたからです。

16

1 これらのことをあなたがたに話したのは、あなたがたがつまずくことのないためです。
2 人々はあなたがたを会堂から追放するでしょう。事

13 ①旧ヨハ一〇・一二、②ロマ五・七、八
14 ①マタ一二・五〇、②ルカ一二・四
15 ①旧ヨハ八・二六、一六・一三、旧ヨハ一五・一五、一七・一五、②旧ヨハ一五・一五、③参ヨハ一四・一三、一五・一五、旧ヨハ一五・七
16 ①ヨハ一五・一九、一七・一四、旧ヨハ一五・一六、②旧ヨハ一五・一六、③参ヨハ一四・一三、一五・一三
17 ①ヨハ一三・三四
18 ①ヨハ七・七、Ⅰヨハ三・一三
19 ①旧マタ一〇・二二、一四・九、②旧ヨハ一五・一六、③ヨハ一七・一四
20 ①参ヨハ一三・一六、②Ⅰコリ一四・九、Ⅱコリ一一・九、Ⅱテモ三・一二、③旧ヨハ八・三一
21 ①マタ一〇・二二、一四・九、マコ一三・一三、ルカ二一・一二、一七、旧使四・一七、五・四〇、一四、六・九、Ⅰペテ四・一四、黙二・三、②ヨハ一六・三、旧ヨハ八・九、五五、一七・三五、使三・一四、Ⅰヨハ五・一
22 ①旧ヨハ九・四一、一五・二四
＊すなわち「罪責」
24 ①旧ヨハ九・四一、一五・二四
②参ヨハ五・三六、旧ヨハ一〇・三七
＊すなわち「罪責」
25 ①詩三五・一九、六九・四、②参ヨハ一〇・三四
26 ①参ヨハ一四・一六、②参ヨハ一四・一六、③参ヨハ一四・一七
27 ①ヨハ八・三八、三・一一、Ⅰヨハ一・二、四・一四、一五、参ルカ二四・四八
＊あるいは「あかししなさい」
1 ①ヨハ一五・一六・一七、②参マタ一一・六
2 ①参ヨハ九・二二
＊あるいは「除名」

実、あなたがたを殺す者がみな、そうすることで自分は神に奉仕しているのだと思う時が来ます。
3 彼らがこういうことを行なうのは、父をもわたしをも知らないからです。
4 しかし、わたしがこれらのことをあなたがたに話したのは、その時が来れば、わたしがそれについて話したことを、あなたがたが思い出すためです。わたしが初めからこれらのことをあなたがたに話さなかったのは、わたしがあなたがたといっしょにいたからです。
5 しかし今わたしは、わたしを遣わした方のもとに行こうとしています。しかし、あなたがたのうちには、ひとりとして、どこに行くのですかと尋ねる者がありません。
6 かえって、わたしがこれらのことをあなたがたに話したために、あなたがたの心は悲しみでいっぱいになっています。
7 しかし、わたしは真実を言います。わたしが去って行くことは、あなたがたにとって益なのです。それは、もしわたしが去って行かなければ、助け主があなたがたのところに来ないからです。しかし、もし行けば、わたしは助け主をあなたがたのところに遣わします。
8 その方が来ると、罪について、義について、さばきについて、世にその誤りを認めさせます。
9 罪についてというのは、彼らがわたしを信じないからです。
10 また、義についてとは、わたしが父のもとに行き、あなたがたがもはやわたしを見なくなるからです。
11 さばきについてとは、この世を支配する者がさばかれたからです。
12 わたしには、あなたがたに話すことがまだたくさんありますが、今あなたがたはそれに耐える力がありません。
13 しかし、その方、すなわち真理の御霊が来ると、あなたがたをすべての真理に導き入れます。御霊は自分から語るのではなく、聞くままを話し、また、やがて起ころうとしていることをあなたがたに示すからです。
14 御霊はわたしの栄光を現わします。わたしのものを受けて、あなたがたに知らせるからです。
15 父が持っておられるものはみな、わたしのものです。ですからわたしは、御霊がわたしのものを受けて、あなたがたに知らせると言ったのです。
16 『しばらくするとあなたがたは、もはやわたしを見なくなります。しかし、またしばらくするとわたしを見ます。』」
17 そこで、弟子たちのうちのある者は互いに言った。「『しばらくするとあなたがたは、わたしを見なくなる。しかし、またしばらくするとわたしを見る。』また『わたしは父のもとに行くからだ。』と主が言われるのは、どういうことなのだろう。」
18 そこで、彼らは「しばらくすると、と主が言われるのは何のことだろうか。私たちには主の言われること

2 ②使六・九―一二、旧イザ六六・五　黙六・九、③創ヨハ四四・二一　旧ヨハ六・五五
3 ①ヨハ一五・二一、旧ヨハ八・一九、一五・二一、一七・三五、使三・一七、Ⅰヨハ三・一
4 ①旧ヨハ三・一九、②創ルカ一・一、二
5 ①創ヨハ七・三三、一六・一〇、一七、旧ヨハ一三・三六、一四・五
6 ①ヨハ一六・二二、旧ヨハ一四・一
7 ①創ヨハ一四・一六、②創ヨハ一四・一六
9 ①ヨハ一五・二二、一四
10 ①旧使二・一四、七・五二、一七・五二　Ⅰペテ一・八、②ヨハ一六・五
11 ①創ヨハ一二・三一
13 ①創ヨハ一四・一七、②ヨハ一四・一七、三六
14 ①創ヨハ七・三九
15 ①ヨハ一七・一〇
16 ①創ヨハ一三・三三、②ヨハ一六・一六、一四、旧ヨハ一四・一九、③ヨハ一六・二二
17 ①ヨハ一六・一六、②ヨハ一六・五

がわからない。」と言った。
19 イエスは、彼らが質問したがっていることを知って、彼らに言われた。『しばらくするとあなたがたは、わたしを見なくなる。しかし、またしばらくするとわたしを見る。』とわたしが言ったことについて、互いに論じ合っているのですか。
20 まことに、まことに、あなたがたに告げます。あなたがたは泣き、嘆き悲しむが、世は喜ぶのです。あなたがたは悲しむが、しかし、あなたがたの悲しみは喜びに変わります。
21 女が子を産むときには、その時が来たので苦しみます。しかし、子を産んでしまうと、ひとりの人が世に生まれた喜びのために、もはやその激しい苦痛を忘れてしまいます。
22 あなたがたにも、今は悲しみがあるが、わたしはもう一度あなたがたに会います。そうすれば、あなたがたの心は喜びに満たされます。そして、その喜びをあなたがたから奪い去る者はありません。
23 その日には、あなたがたはもはや、わたしに何も尋ねません。まことに、まことに、あなたがたに告げます。あなたがたが父に求めることは何でも、父は、わたしの名によってそれをあなたがたにお与えになります。
24 あなたがたは今まで、何もわたしの名によって求めたことはありません。求めなさい。そうすれば受けるのです。それはあなたがたの喜びが満ちたものとなるためです。
25 これらのことを、わたしはあなたがたにたとえで話しました。もはやたとえでは話さないで、父についてはっきりと告げる時が来ます。
26 その日には、あなたがたはわたしの名によって求めるのです。わたしはあなたがたに代わって父に願ってあげようとは言いません。
27 それはあなたがたがわたしを愛し、また、わたしを神から出て来た者と信じたので、父ご自身があなたがたを愛しておられるからです。
28 わたしは父から出て、世に来ました。もう一度、わたしは世を去って父のみもとに行きます。」
29 弟子たちは言った。「ああ、今あなたははっきりとお話しになって、何一つたとえ話はなさいません。
30 いま私たちは、あなたがいっさいのことをご存じで、だれもあなたにお尋ねする必要がないことがわかりました。これで、私たちはあなたが神から来られたことを信じます。」
31 イエスは彼らに答えられた。「あなたがたは今、信じているのですか。
32 見なさい。あなたがたが散らされて、それぞれ自分の家に帰り、わたしをひとり残す時が来ます。いや、すでに来ています。しかし、わたしはひとりではありません。父がわたしといっしょにおられるからです。
33 わたしがこれらのことをあなたがたに話したのは、あなたがたがわたしにあって平安を持つためです。

19 ①脚ヨハ六・六一、マコ八・三三
20 ①マコ一六・一〇、ルカ二三・二七
②ヨハ一六・二〇
21 ①脚イザ一三・八、二一・三、六六・七、ホセ一三・一三、ミカ四・九、Ⅰテサ五・三
22 ①ヨハ一六・六、②脚ヨハ一六・一六
23 ①ヨハ一六・二六、脚ヨハ一四・二〇
②脚ヨハ一六・二六、三〇、③ヨハ一四・六
24 ①ヨハ一四・一四、②脚ヨハ一五・七、脚ヨハ一六・一
25 ①ヨハ一六・二九、脚ヨハ一〇・六
*脚マタ一三・三四 直訳「比喩を用いて」
②脚ヨハ一六・二
26 ①ヨハ一六・二三、脚ヨハ一四・二〇
②脚ヨハ一六・九、二〇
27 ①脚ヨハ八・四二、脚ヨハ一六・三
*「父」とする写本もある
②ヨハ一六・三〇、脚ヨハ一六・二七
③ヨハ一四・二、三
28 ①脚ヨハ八・四二、脚ヨハ一六・三、②ヨハ一六・五、一〇、一七、一三・一
29 ①ヨハ一六・二五、脚ヨハ一〇・六
脚マタ一三・三四
*あるいは「比喩」
30 ①脚ヨハ八・四二、脚ヨハ一六・二七
②ヨハ一六・七、脚ヨハ一六・二
31 ①脚ヨハ一六・二七、脚ゼカ一三・七
32 ①マタ二六・三一、脚ゼカ一三・七
②脚ヨハ一六・七、③脚ヨハ八・二九、脚ヨハ一六・二、三、脚ヨハ一六・二、三、④脚ヨハ八・二九
33 ①脚ヨハ一四・七

あなたがたは、[2]世にあっては患難があります。しかし、[3]勇敢でありなさい。わたしはすでに世に勝ったのです。」

17

-イエスはこれらのことを話してから、目を天に向けて、言われた。

「父よ。時が来ました。あなたの子があなたの栄光を現わすために、[2]子の栄光を現わしてください。

2それは子が、あなたからいただいたすべての者に、永遠のいのちを与えるため、[3]あなたは、すべての人を支配する権威を子にお与えになったからです。

3その永遠のいのちとは、彼らが唯一のまことの神であるあなたと、あなたの遣わされたイエス・キリストとを知ることです。

4あなたがわたしに行なわせるためにお与えになったわざを、わたしは成し遂げて、地上であなたの栄光を現わしました。

5今は、父よ、みそばで、わたしを栄光で輝かせてください。世界が存在する前に、ごいっしょにいて持っていましたあの栄光で輝かせてください。

6わたしは、あなたが世から取り出してわたしに下さった人々に、あなたの御名を明らかにしました。彼らはあなたのものであって、あなたは彼らをわたしに下さいました。彼らはあなたのみことばを守りました。

7いま彼らは、あなたがわたしに下さったものはみな、あなたから出ていることを知っています。

8それは、あなたがわたしに下さったみことばを、わたしが彼らに与えたからです。彼らはそれを受け入れ、わたしがあなたから出て来たことを確かに知り、また、あなたがわたしを遣わされたことを信じました。

9わたしは彼らのためにお願いします。世のためにではなく、あなたがわたしに下さった者たちのためにです。なぜなら彼らはあなたのものだからです。

10わたしのものはみなあなたのもの、あなたのものはわたしのものです。そして、わたしは彼らによって栄光を受けました。

11わたしはもう世にいなくなります。彼らは世におりますが、わたしはあなたのみもとにまいります。聖なる父。あなたがわたしに下さっているあなたの御名の中に、彼らを保ってください。それはわたしたちと同様に、彼らが一つとなるためです。

12わたしは彼らといっしょにいたとき、あなたがわたしに下さっている御名の中に彼らを保ち、また守りました。彼らのうちだれも滅びた者はなく、ただ滅びの子が滅びました。それは、聖書が成就するためです。

13わたしは今もとにまいります。わたしは彼らの中でわたしの喜びが全うされるために、世にあってこれらのことを話しているのです。

14わたしは彼らにあなたのみことばを与えました。しかし、世は彼らを憎みました。わたしがこの世のものでないように、彼らもこの世のものでないからです。

15彼らをこの世から取り去ってくださるようにというのではなく、悪い者から守ってくださるようにお願い

---

1 ①㊀ヨハ一二・二三、②㊁ヨハ七・七、ヨハ一三・一、ヨハ一四・七以下、六・四以下、黙三・二、一二・一
2 ①㊀ヨハ一二・四九、六・三九、六・三七、三九、②㊀ヨハ一〇・二六、③㊀ヨハ三・三五
3 ①㊀ヨハ五・二四、②㊀ヨハ三・一七、一七・八、二、三、三、②㊁ヨハ一七・一、③㊁ヨハ一・一八、ヨハ一七・一、ヨハ一七・三
4 ①㊀ヨハ一九・三〇、②㊁ヨハ一三・三一、③㊀ヨハ一三・一、②㊁ヨハ一・一四、ヨハ一七・一、ヨハ一七・三
5 ①㊀ヨハ一七・一、②㊁ヨハ一・一、一八・二六、ピリ二・六、ヨハ一七・四
6 ①㊀ヨハ一七・六、②㊀ヨハ一七・二、③㊀ヨハ一七・九
7 ①㊀ヨハ一六・三〇、②㊀ヨハ一七・八
8 ①㊀ヨハ六・六九、②㊀ヨハ一六・二七、③㊀ヨハ一四・二四、一六・二七、一七・八、③㊁ヨハ一七・三、④㊀ヨハ八・四二、一六・二七、一七・八
9 ①㊁ルカ二二・三二、②㊁ヨハ一七・二〇、ルカ二二・三二、③ヨハ一七・二、六、六・三七、一〇・二九、④ヨハ一七・六
10 ①㊀ヨハ一六・一五
11 ①㊀ヨハ一三・一、②㊁ヨハ一三・一、③㊁ヨハ一七・一三、④㊁ピリ二・九、黙二九・一三、⑤ヨハ一七・一三、⑥ヨハ一七・一一、ガラ二・二〇
12 ①㊁ピリ二・一、黙二九・一三、ヨハ一七・六、②ヨハ一七・六、八、③㊁ヨハ一八・九、④詩四一・九
13 ①㊀ヨハ一七・一、㊁ヨハ七・三三、②㊀ヨハ一五・一一、③ヨハ一七・一三
14 ①㊀ヨハ一五・一九、②㊀ヨハ一七・六、八・三三
15 ①㊀マタ五・三七、㊁ヨハ一七・一五
＊あるいは「悪」
＊＊あるいは「……の力から」
33 ②㊀ヨハ一五・二以下、③㊁マタ九・二、④㊁ロマ八・三七、Ⅱコリ一・四、七以下、六・四以下

します。
16 わたしがこの世のものでないように、彼らもこの世のものではありません。
17 真理によって彼らを聖別してください。あなたのみことばは真理です。
18 あなたがわたしを世に遣わされたように、わたしも彼らを世に遣わしました。
19 わたしは、彼らのため、わたし自身を聖別します。彼ら自身も真理によって聖別されるためです。
20 わたしは、ただこの人々のためだけでなく、彼らのことばによってわたしを信じる人々のためにもお願いします。
21 それは、父よ、あなたがわたしにおられ、わたしがあなたにいるように、彼らがみな一つとなるためです。また、彼らもわたしたちにおるようになるためです。そのことによって、あなたがわたしを遣わされたことを、世が信じるためなのです。
22 またわたしは、あなたがわたしに下さった栄光を、彼らに与えました。それは、わたしたちが一つであるように、彼らも一つであるためです。
23 わたしは彼らにおり、あなたはわたしにおられます。それは、彼らが全うされて一つとなるためです。それは、あなたがわたしを遣わされたことと、あなたがわたしを愛されたように彼らをも愛されたことを、この世が知るためです。
24 父よ。お願いします。あなたがわたしに下さったものをわたしのいる所にわたしといっしょにおらせてください。あなたがわたしを世の始まる前から愛しておられたためにわたしに下さったわたしの栄光を、彼らが見るようになるためです。
25 正しい父よ。この世はあなたを知りません。しかし、わたしはあなたを知っています。また、この人々は、あなたがわたしを遣わされたことを知りました。
26 そして、わたしは彼らにあなたの御名を知らせました。また、これからも知らせます。それは、あなたがわたしを愛してくださったその愛が彼らの中にあり、またわたしが彼らの中にいるためです。」

18

1 イエスはこれらのことを話し終えられると、弟子たちとともに、ケデロンの川筋の向こう側に出て行かれた。そこに園があって、イエスは弟子たちといっしょに、そこにはいられた。
2 ところで、イエスを裏切ろうとしていたユダもその場所を知っていた。イエスがたびたび弟子たちとそこで会合されたからである。
3 そこで、ユダは一隊の兵士と、祭司長、パリサイ人たちから送られた役人たちを引き連れて、ともしびとたいまつと武器を持って、そこに来た。
4 イエスは自分の身に起ころうとするすべてのことを知っておられたので、出て来て、「だれを捜すのか。」と彼らに言われた。
5 彼らは、「ナザレ人イエスを。」と答えた。イエスは

---

16 ①ヨハ一七・一四
17 ①詩一九・七―九、一一九・一四〇、一四二、一六〇、箴三〇・五、②ヨハ一七・一九、詩一一九・一四〇、Ⅱコリ一・一八、③ヨハ八・三一、三二
18 ①ヨハ一七・三、②Ⅱコリ七・一四、コロ一・六、Ⅰヨハ四・一六
19 ①ヨハ一七・三、②Ⅱコリ七・一四、③ヨハ一七・一、②ヨハ一七・三
21 ①ヨハ一〇・三八、一七・二三、ヨハ一七・八、二一、二三、三一、②ヨハ一七・八
*あるいは「信じ続ける」
22 ①ヨハ一七・二四、ヨハ一・一四
23 ①ヨハ一〇・三八、一七・二一
*あるいは「一致の中に完成される」
②ヨハ一七・八、二一、二三、三一、③ヨハ一六・二七
24 ①ヨハ一七・二
*異本「あなたがわたしに下さった人々を」
②ヨハ一三・三六、③マタ一七・二、ヨハ一二・二六、④ヨハ一七・五、二四
25 ①ヨハ一七・一一、Ⅰヨハ一・九
②ヨハ一五・二一、一六・三
③ヨハ一七・八、二三、三一、二五
26 ①ヨハ一七・六、②ヨハ一五・九、Ⅱサム一三・一四、Ⅰ列二・一七、Ⅱ列三・四、六、Ⅱ歴二・一一、Ⅱ列三・四、六、三・一四
エレ三一・四四
*原語「ケイマロス」（冬になると激流になる川）
1 ①ヨハ一八・一、マタ二六・四七、マコ一四・四三、ルカ二二・四七、ヨハ一八・三、③使一・一二、②ヨハ一八・三、③使一・一二
*ローマの軍隊の一単位で通常六〇〇人

彼らに「それはわたしです。」と言われた。イエスを裏切ろうとしていたユダも彼らといっしょに立っていた。
6 イエスが彼らに、「それはわたしです。」と言われたとき、彼らはあとずさりし、そして地に倒れた。
7 そこで、イエスがもう一度、「だれを捜すのか。」と問われると、彼らは「ナザレ人イエスを。」と言った。
8 イエスは答えられた。「それはわたしだと、あなたがたに言ったでしょう。もしわたしを捜しているのなら、この人たちはこのままで去らせなさい。」
9 それは、「あなたがわたしに下さった者のうち、ただのひとりをも失いませんでした。」とイエスが言われたことばが実現するためであった。
10 シモン・ペテロは、剣を持っていたが、それを抜き、大祭司のしもべを撃ち、右の耳を切り落とした。そのしもべの名はマルコスであった。
11 そこで、イエスはペテロに言われた。「剣をさやに収めなさい。父がわたしに下さった杯を、どうして飲まずにいられよう。」
12 そこで、一隊の兵士と千人隊長、それにユダヤ人から送られた役人たちは、イエスを捕えて縛り、
13 まずアンナスのところに連れて行った。彼がその年の大祭司カヤパのしゅうとだったからである。
14 カヤパは、ひとりの人が民に代わって死ぬことが得策である、とユダヤ人に助言した人である。
15 シモン・ペテロともうひとりの弟子は、イエスについて行った。この弟子は大祭司の知り合いで、イエスといっしょに大祭司の中庭にはいった。
16 しかし、ペテロは外で門のところに立っていた。それで、大祭司の知り合いである、もうひとりの弟子が出て来て、門番の女に話して、ペテロを連れてはいった。
17 すると、門番のはしためがペテロに、「あなたはあの人の弟子ではないでしょうね。」と言った。ペテロは、「そんな者ではない。」と言った。
18 寒かったので、しもべたちや役人たちは、炭火をおこし、そこに立って暖まっていた。ペテロも彼らといっしょに、立って暖まっていた。
19 そこで、大祭司はイエスに、弟子たちのこと、また、教えのことについて尋問した。
20 イエスは彼に答えられた。「わたしは世に向かって公然と話しました。わたしはユダヤ人がみな集まって来る会堂や宮で、いつも教えたのです。隠れて話したことは何もありません。
21 なぜ、あなたはわたしに尋ねるのですか。わたしが人々に何を話したかは、わたしから聞いた人たちに尋ねなさい。彼らならわたしが話した事がらを知っています。」
22 イエスがこう言われたとき、そばに立っていた役人のひとりが、「大祭司にそのような答え方をするのか。」と言って、平手でイエスを打った。
23 イエスは彼に答えられた。「もしわたしの言ったことが悪いなら、その悪い証拠を示しなさい。しかし、

3 ③㊇ヨハ七・三二、八・三、八
④㊇マタ二六・一
4 ①㊈ヨハ六・六四、一三・一、一一
②ヨハ六・七
7 ①ヨハ八・四
9 ①ヨハ一七・一二
10 ①㊈マタ二六・五一、マコ一四・四七
11 ①㊇マタ二〇・二三
12 ①ヨハ一八・三一、㊈マタ二六・五七以下。②ヨハ一八・三
13 ①ヨハ一八・一四、㊇ルカ三・二
②㊇マタ二六・三、ヨハ一一・四九、五一
14 ①ヨハ一一・五〇
15 ①㊈マタ二六・五八、マコ一四・五四、ルカ二二・五四、②㊇マタ二六・三、ヨハ一八・一五、二六
16 ①ヨハ一八・一六、マタ二六・六九、七〇、マコ一四・六六、六八、ルカ二二・五六、七
17 ①使一二・一三、②ヨハ一八・二五
18 ①㊇ヨハ一八・三、②ヨハ一八・九
③㊈マコ一四・五四、六七
19 ①ヨハ一八・二四、㊈マタ二六・五七、六八、マコ一四・五五、ルカ二二・六六、七一
20 ①ヨハ七・二六、㊈ヨハ一八・二〇
②マタ二六・五五、③㊇マタ四・二三、㊈ヨハ六・五九
22 ①㊇ヨハ一八・三、②ヨハ一九・三
23 ①㊈マタ五・三九、使二三・二五

もし正しいなら、なぜ、わたしを打つのか。」
24 アンナスはイエスを、縛ったままで大祭司カヤパのところに送った。
25 一方、シモン・ペテロは立って、暖まっていた。すると、人々は彼に言った。「あなたはあの人の弟子ではないでしょうね。」ペテロは否定して、「そんな者ではない。」と言った。
26 大祭司のしもべのひとりで、ペテロに耳を切り落とされた人の親類に当たる者が言った。「私があの人といっしょにいるのを見なかったとでもいうのですか。」
27 それで、ペテロはもう一度否定した。するとすぐ鶏が鳴いた。
28 さて、彼らはイエスを、カヤパのところから総督官邸に連れて行った。時は明け方であった。彼らは、過越の食事が食べられなくなることのないように、汚れを受けまいとして、官邸にはいらなかった。
29 そこで、ピラトは彼らのところに出て来て言った。「あなたがたは、この人に対して何を告発するのですか。」
30 彼らはピラトに答えた。「もしこの人が悪いことをしていなかったら、私たちはこの人をあなたに引き渡しはしなかったでしょう。」
31 そこでピラトは彼らに言った。「あなたがたがこの人を引き取り、自分たちの律法に従ってさばきなさい。」ユダヤ人たちは彼に言った。「私たちには、だれを死刑にすることも許されてはいません。」
32 これは、ご自分がどのような死に方をされるのかを示して話されたイエスのことばが成就するためであった。
33 そこで、ピラトはもう一度官邸にはいって、イエスを呼んで言った。「あなたは、ユダヤ人の王ですか。」
34 イエスは答えられた。「あなたは、自分でそのことを言っているのですか。それともほかの人が、あなたにわたしのことを話したのですか。」
35 ピラトは答えた。「私はユダヤ人ではないでしょう。あなたの同国人と祭司長たちが、あなたを私に引き渡したのです。あなたは何をしたのですか。」
36 イエスは答えられた。「わたしの国はこの世のものではありません。もしこの世のものであったなら、わたしのしもべたちが、わたしをユダヤ人に渡さないように、戦ったことでしょう。しかし、事実、わたしの国はこの世のものではありません。」
37 そこでピラトはイエスに言った。「それでは、あなたは王なのですか。」イエスは答えられた。「わたしが王であることは、あなたが言うとおりです。わたしは、真理のあかしをするために生まれ、このことのために世に来たのです。真理に属する者はみな、わたしの声に聞き従います。」
38 ピラトはイエスに言った。「真理とは何ですか。」
彼はこう言ってから、またユダヤ人たちのところに出て行って、彼らに言った。「私は、あの人には罪を認

24 ①図ヨハ八・一三
25 ①ヨハ一八・二五-二七、マタ二六・七一-七五、マコ一四・六八-七二、ルカ二二・五六-六二、②ヨハ一八・一八、③ヨハ一八・一七
26 ①ヨハ一八・一〇、②図ヨハ一八・一
27 ①ヨハ一三・三八
28 ①マタ二七・二、マコ一五・一、ルカ二三・一、②図ヨハ一八・一三、③ヨハ一八・三三、一九・九、図マタ二七・二七・二七
*原語「プラエトリウム」
④図ヨハ一八・一五、使一〇・一三
29 ①ヨハ一八・二九-三八、マタ二七・一一-一四、マコ一五・一-五、ルカ二三・二-三
33 ①図ヨハ一八・三八、一九・九、②ルカ二三・三、図ヨハ一九・三
32 ①ヨハ一二・三三、図ヨハ一八・一四、一八・三六、マタ二〇・一九、二六・二、マコ一〇・三三、一四・二一、ルカ一八・三三、二四・七
36 ①図ヨハ六・一五、マタ二六・五三、ルカ一七・二一
*あるいは「この世から出たものではありません」
37 ①マタ二七・一一、マコ一五・二、ルカ二三・三、二二・七、②ヨハ一八・三七、図ヨハ一八・三三、③ヨハ八・四七、一〇・二六、一Ⅰヨハ四・六
38 ①ヨハ一九・四、図ヨハ一八・三三、②図ルカ二三・四、ヨハ一九・四

めません。
39 しかし、過越の祭りに、私があなたがたのためにひとりの者を釈放するのがならわしになっています。それで、あなたがたのために、ユダヤ人の王を釈放することにしましょうか。」
40 すると彼らはみな、また大声をあげて、「この人ではない。バラバだ。」と言った。このバラバは強盗であった。

19

1 そこで、ピラトはイエスを捕えて、むち打ちにした。
2 また、兵士たちは、いばらで冠を編んで、イエスの頭にかぶらせ、紫色の着物を着せた。
3 彼らは、イエスに近寄っては、「ユダヤ人の王さま。ばんざい。」と言い、またイエスの顔を平手で打った。
4 ピラトは、もう一度外に出て来て、彼らに言った。「よく聞きなさい。あなたがたのところにあの人を連れ出して来ます。あの人に何の罪も見られないということを、あなたがたに知らせるためです。」
5 それでイエスは、いばらの冠と紫色の着物を着けて、出て来られた。するとピラトは彼らに「さあ、この人です。」と言った。
6 祭司長たちや役人たちはイエスを見ると、激しく叫んで、「十字架につけろ。十字架につけろ。」と言った。ピラトは彼らに言った。「あなたがたがこの人を引き取り、十字架につけなさい。私はこの人には罪を認めません。」
7 ユダヤ人たちは彼に答えた。「私たちには律法があります。この人は自分を神の子としたのですから、律法によれば、死に当たります。」
8 ピラトは、このことばを聞くと、ますます恐れた。
9 そして、また官邸にはいって、イエスに言った。「あなたはどこの人ですか。」しかし、イエスは彼に何の答えもされなかった。
10 そこで、ピラトはイエスに言った。「あなたは私に話さないのですか。私にはあなたを釈放する権威があり、また十字架につける権威があることを、知らないのですか。」
11 イエスは答えられた。「もしそれが上から与えられているのでなかったら、あなたにはわたしに対して何の権威もありません。ですから、わたしをあなたに渡した者に、もっと大きい罪があるのです。」
12 こういうわけで、ピラトはイエスを釈放しようと努力した。しかし、ユダヤ人たちは激しく叫んで言った。「もしこの人を釈放するなら、あなたはカイザルの味方ではありません。自分を王だとする者はすべて、カイザルにそむくのです。」
13 そこでピラトは、これらのことばを聞いたとき、イエスを外に引き出し、敷石（ヘブル語ではガバタ）と呼ばれる場所で、裁判の席に着いた。
14 その日は過越の備え日で、時は六時ごろであった。ピラトはユダヤ人たちに言った。「さあ、あなたがたの王です。」

---

39 ①ヨハ六・一九、一・二六、マタ三・一二、三・三、マコ一・四、六・一五、ルカ三・一六、三五
40 ①使三・一四
1 ①③聞マタ二七・二六
2 ①マタ二七・二九、マコ一五・一七
3 ①マタ二七・二九、マコ一五・一八
②ヨハ六・三三
4 ①ヨハ六・六、旧ヨハ八・三五
②ヨハ六・六、一九、六、聞ルカ三・一四
5 ①聞ヨハ九・二
6 ①ヨハ八・三、聞マタ二七・二六
②ヨハ八・六、一九、一四、聞ルカ二三・一四
7 ①レビ二四・一六、マタ二六・六五
②ヨハ五・一八、一〇・三三
8 ①ヨハ六・三
*原語「プラエトリウム」
②マタ二六・三、三・一四
旧ヨハ六・三四・三七
11 ①ロマ一三・一、②ヨハ六・一四、一四・二六以下、使三・一三
12 ①ルカ二三・二、旧ヨハ六・三五以下
13 ①聞ヨハ五・二、九・七、一〇
*ユダヤのアラム語
②聞マタ二七・一九
14 ①聞マタ二七・六二、ヨハ九・二、四
*聞ヨハ一・九注
②ヨハ九・一四・二

15 彼らは激しく叫んだ。[1]除け。除け。十字架につけろ。」ピラトは彼らに言った。「あなたがたの王を私が十字架につけるのですか。」祭司長たちは答えた。「カイザルのほかには、私たちに王はありません。」
16 そこでピラトは、そのとき、[1]イエスを、十字架につけるため彼らに引き渡した。
17 彼らはイエスを受け取った。そして、イエスは[2]自分で十字架を負って、[3]「どくろの地」という場所（へブル語でゴルゴタと言われる）に出て行かれた。
18 彼らはそこでイエスを十字架につけた。イエスといっしょに、ほかのふたりの者をそれぞれ両側に、[1]イエスを真中にしてであった。
19 ピラトは罪状書きも書いて、十字架の上に掲げた。それには「[1]ユダヤ人の王ナザレ人イエス。」と書いてあった。
20 それで、大ぜいのユダヤ人がこの罪状書きを読んだ。イエスが十字架につけられた場所は都に近かったからである。またそれは[1]ヘブル語、ラテン語、ギリシヤ語で書いてあった。
21 そこで、ユダヤ人の祭司長たちがピラトに、「[1]ユダヤ人の王、と書かないで、彼はユダヤ人の王と自称した、と書いてください。」と言った。
22 ピラトは答えた。「[1]私の書いたことは私が書いたのです。」
23 さて、[1]兵士たちは、イエスを十字架につけると、イエスの着物を取り、ひとりの兵士に一つずつあたる[2]四分した。また[*]下着をも取ったが、それは上から全部一つに織った、縫目なしのものであった。
24 そこで彼らは互いに言った。「それは裂かないで、だれの物になるか、くじを引こう。」それは、「[2]彼らはわたしの着物を分け合い、わたしの下着のためにくじを引いた。」という聖書が[3]成就するためであった。
25 兵士たちはこのようなことをしたが、[1]イエスの十字架のそばには、イエスの[2]母と母の姉妹と、[3]クロパの妻のマリヤとマグダラのマリヤが立っていた。
26 イエスは、母と、そばに立っている[1]愛する弟子とを見て、母に「[2]女の方。そこに、あなたの息子がいます。」と言われた。
27 それからその弟子に「そこに、あなたの母がいます。」と言われた。その時から、この弟子は彼女を自分の家に引き取った。
28 この後、イエスは、すべてのことが完了したのを知って、[1]聖書が成就するために、「[2]わたしは渇く。」と言われた。
29 そこには酸いぶどう酒のいっぱいはいった入れ物が置いてあった。そこで彼らは、酸いぶどう酒を含んだ海綿を*ヒソプの枝につけて、それをイエスの口もとに差し出した。
30 イエスは、酸いぶどう酒を受けられると、「[1]完了した。」と言われた。そして、頭をたれて、[2]霊をお渡しになった。
31 その日は[1]備え日であったため、ユダヤ人たちは安

15 ①ルカ二三・一八
16 ①マタ二七・二六、マコ一五・一五
17 ①ヨハ一九・一七㊟、マタ二七・三三㊟、マコ一五・二二、ルカ二三・三三㊟、②㊟ルカ二四・二七㊟ 18 ①㊟ルカ二三・三三
19 ①㊟ヨハ一九・二一、②㊟マタ二七・三七、マコ一五・二六、ルカ二三・三八 20 ①㊟ヨハ一九・二〇
21 ①ヨハ一九・一九
22 ①㊟創三一・一四、エズ四四・六
23 ①マタ二七・三五、マコ一五・二四、ルカ二三・三四、②㊟使二三・一四
＊ギリシヤ語「キトン」—肌着として着たもの
24 ①マタ二七・三五、マコ一五・二四、㊟出二八・三二 ②詩二二・一八、③ヨハ一九・六、三六、三七
25 ①㊟マタ二七・五五、三六、マコ一五・四〇、四一、ルカ二三・四九 ②㊟マタ二七・五六、③ルカ二四・一〇、ヨハ一九・二五
26 ①㊟ヨハ一三・二三、②㊟ヨハ二・四
27 ①ルカ二・三六、ヨハ一・一二、一六・三三、使二一・八
28 ①ヨハ一三・一、一七㊟、②ヨハ一九・二四㊟、三六、三七、③詩六九・二一
29 ①ヨハ一九・二九、三〇、㊟マタ二七・四八、五五、マコ一五・三六、ルカ二三・三六
＊直訳「ヒソプにつけて」
30 ①㊟ヨハ一七・四、②マタ二七・五〇、マコ一五・三七、ルカ二三・四六
31 ①ヨハ一九・一四㊟

息日に(その安息日は大いなる日であったので)、死体を十字架の上に残しておかないように、すねを折ってそれを取りのける処置をピラトに願った。32それで、兵士たちが来て、イエスといっしょに十字架につけられた第一の者と、もうひとりの者とのすねを折った。33しかし、イエスのところに来ると、イエスがすでに死んでおられるのを認めたので、そのすねを折らなかった。34しかし、兵士のうちのひとりがイエスのわき腹を槍で突き刺した。すると、ただちに血と水が出て来た。35それを目撃した者があかしをしているのである。そのあかしは真実である。その人が、あなたがたにも信じさせるために、真実を話すということをよく知っているのである。36この事が起こったのは、「彼の骨は一つも砕かれない。」という聖書のことばが成就するためであった。37また聖書の別のところには、「彼らは自分たちが突き刺した方を見る。」と言われているからである。38そのあとで、イエスの弟子ではあったがユダヤ人を恐れてそのことを隠していたアリマタヤのヨセフが、イエスのからだを取りかたづけたいとピラトに願った。それで、ピラトは許可を与えた。そこで彼は来て、イエスのからだを取り降ろした。39前に、夜イエスのところに来たニコデモも、没薬とアロエを混ぜ合わせたものをおよそ三十キログラムばかり持って、やって来た。40そこで、彼らはイエスのからだを取り、ユダヤ人の埋葬の習慣に従って、それを香料といっしょに亜麻布で巻いた。41イエスが十字架につけられた場所に園があって、そこには、まだだれも葬られたことのない新しい墓があった。42その日がユダヤ人の備え日であったため、墓が近かったので、彼らはイエスをそこに納めた。

20

1さて、週の初めの日に、マグダラのマリヤは、朝早くまだ暗いうちに墓に来た。そして、墓から石が取りのけてあるのを見た。2それで、走って、シモン・ペテロと、イエスが愛された、もうひとりの弟子とのところに来て、言った。「だれかが墓から主を取って行きました。主をどこに置いたのか、私たちにはわかりません。」3そこでペテロともうひとりの弟子は外に出て来て、墓のほうへ行った。4ふたりはいっしょに走ったが、もうひとりの弟子がペテロよりも速かったので、先に墓に着いた。5そして、からだをかがめてのぞき込み、亜麻布が置いてあるのを見たが、中にはいらなかった。6シモン・ペテロも彼に続いて来て、墓にはいり、亜麻布が置いてあって、7イエスの頭に巻かれていた布切れは、亜麻布といっ

---

31 ②出三二・六、③申三・三、ヨシ八・三五、二〇・六、二七
32 ①ヨハ一九・八
34 ①詩三四・二〇、民二〇・一一、詩七八・一五、②ヨハ一九・三四
35 ①創三・一五、民二四・九、詩三四・二〇、②ヨハ一九・三四、三六
36 ①出一二・四六、民九・一二、詩三四・二〇、②ヨハ一九・三六
37 ①ゼカ一二・一〇
38 ①ヨハ一九・三八、マタ二七・五七、マコ一五・四三、ルカ二三・五〇、五一、②創ヨハ七・一三
39 ①創ヨハ三・一、②詩四五・八 *別訳「……の包みを」 ③出ヨハ三・一 **直訳「百リトラ」 一リトラは三三八グラム ④創マコ一六・一
40 ①ヨハ二〇・五、七、ルカ二四・一二 ②出ヨハ一二・四四、マタ二六・一二、マコ一四・八
41 ①ルカ二三・五三、②マタ二七・六〇
42 ①ヨハ一九・四二、②ヨハ一九・三一、四二
1 ①ヨハ二〇・一八、出マタ二八・一、ヘ、マコ一六・一八、ルカ二四・一、ヘ、②創ヨハ一九・三九、四二、③マタ二七・六〇、六六、一六・二、マコ一五・四六、一六・三、④マタ二七・六〇、六六、一六・二、マコ一五・四六、一六・三、ルカ二四・二、ヨハ二〇・一
2 ①ヨハ一三・三、②ヨハ二〇・一三
3 ①ヨハ二〇・六、一〇、出ルカ二四・一二
4 ①ヨハ二〇・二、②ヨハ二〇・八
5 ①ヨハ二〇・一一、②ヨハ一九・四〇
6 ①出ヨハ二〇・一一、②ヨハ一九・四〇
7 ①出ヨハ一一・四四、②ヨハ一九・四〇

しょにはなく、離れた所に巻かれたままになっているのを見た。
8そのとき、先に墓に着いたもうひとりの弟子もはいって来た。そして、見て、信じた。
9彼らは、イエスが死人の中からよみがえらなければならないという聖書を、まだ理解していなかったのである。
10それで、弟子たちはまた自分のところに帰って行った。

11しかし、マリヤは外で墓のところにたたずんで泣いていた。そして、泣きながら、からだをかがめて墓の中をのぞき込んだ。
12すると、ふたりの御使いが、イエスのからだが置かれていた場所に、ひとりは頭のところに、ひとりは足のところに、白い衣をまとってすわっているのが見えた。
13彼らは彼女に言った。「なぜ泣いているのですか。」彼女は言った。「だれかが私の主を取って行きました。どこに置いたのか、私にはわからないのです。」
14彼女はこう言ってから、うしろを振り向いた。すると、イエスが立っておられるのを見た。しかし、彼女にはイエスであることがわからなかった。
15イエスは彼女に言われた。「なぜ泣いているのですか。だれを捜しているのですか。」彼女は、それを園の管理人だと思って言った。「あなたが、あの方を運んだのでしたら、どこに置いたのか言ってください。そうすれば私が引き取ります。」
16イエスは彼女に言われた。「マリヤ。」彼女は振り向いて、ヘブル語で、「ラボニ（すなわち、先生）。」とイエスに言った。
17イエスは彼女に言われた。「わたしにすがりついていてはいけません。わたしはまだ父のもとに上っていないからです。わたしの兄弟たちのところに行って、彼らに『わたしは、わたしの父またあなたがたの父、わたしの神またあなたがたの神のもとに上る。』と告げなさい。」
18マグダラのマリヤは、行って、「私は主にお目にかかりました。」と言い、また、主が彼女にこれらのことを話されたと弟子たちに告げた。
19その日、すなわち週の初めの日の夕方のことであった。弟子たちがいた所では、ユダヤ人を恐れて戸がしめてあったが、イエスが来られ、彼らの中に立って言われた。「平安があなたがたにあるように。」
20こう言ってイエスは、その手とわき腹を彼らに示された。弟子たちは、主を見て喜んだ。
21イエスはもう一度、彼らに言われた。「平安があなたがたにあるように。父がわたしを遣わしたように、わたしもあなたがたを遣わします。」
22そして、こう言われると、彼らに息を吹きかけて言われた。「聖霊を受けなさい。
23あなたがたがだれかの罪を赦すなら、その人の罪は赦され、あなたがたがだれかの罪をそのまま残すなら、

8 ①ヨハ二〇・四
9 ①ルカ二四・二六以下、使二・二三 ②旧マタ二二・三二、ヨハ一二・三四
10 ①ルカ二四・一二
11 ①旧マコ一六・五、②ヨハ二〇・五
12 ①ルカ二四・四、旧マタ二八・三、マコ一六・五
13 ①ヨハ二〇・一五 *原文には「女の方よ」という呼びかけ語がある ②ヨハ二〇・二
14 ①マコ一六・九、旧マタ二八・九 ②旧ヨハ二一・四
15 ①ヨハ二〇・三 *原文には「女の方よ」という呼びかけ語がある
16 ①マコ一〇・五一、旧マタ二三・七
17 ①マタ二八・一〇、②旧ヨハ七・三三、マコ一六・六、マコ三・二六
18 ①ヨハ二〇・一、②マコ一六・一〇、旧ルカ二四・一〇、三
19 ①ヨハ七・二三、②ヨハ二〇・二一、二六、ルカ二四・三六、旧ヨハ一四・二七
20 ①ルカ二四・三九、ヨハ一九・三四 ②ヨハ一六・二〇、二二
21 ①ヨハ二〇・二六、ルカ二四・三六 旧ヨハ一四・二七、②ヨハ一七・一八
23 ①マタ一六・一九、旧マタ一八・一八 *直訳「赦されている」

それはそのまま残ります。」
24 十二弟子のひとりで、デドモと呼ばれるトマスは、イエスが来られたときに、彼らといっしょにいなかった。
25 それで、ほかの弟子たちが彼に「私たちは主を見た。」と言った。しかし、トマスは彼らに「私は、その手に釘の跡を見、私の指を釘のところに差し入れ、また私の手をそのわきに差し入れてみなければ、決して信じません。」と言った。
26 八日後に、弟子たちはまた室内におり、トマスも彼らといっしょにいた。戸が閉じられていたが、イエスが来て、彼らの中に立って「平安があなたがたにあるように。」と言われた。
27 それからトマスに言われた。「あなたの指をここにつけて、わたしの手を見なさい。手を伸ばして、わたしのわきに差し入れなさい。信じない者にならないで、信じる者になりなさい。」
28 トマスは答えてイエスに言った。「私の主。私の神。」
29 イエスは彼に言われた。「あなたはわたしを見たから信じたのですか。見ずに信じる者は幸いです。」
30 この書には書かれていないが、まだほかの多くのしるしをも、イエスは弟子たちの前で行なわれた。
31 しかし、これらのことが書かれたのは、イエスが神の子キリストであることを、あなたがたが信じるため、また、あなたがたが信じて、イエスの御名によっていのちを得るためである。

21

1 この後、イエスはテベリヤの湖畔で、もう一度ご自分を弟子たちに現わされた。その現わされた次第はこうであった。
2 シモン・ペテロ、デドモと呼ばれるトマス、ガリラヤのカナのナタナエル、ゼベダイの子たち、ほかにふたりの弟子がいっしょにいた。
3 シモン・ペテロが彼らに言った。「私は漁に行く。」彼らは言った。「私たちもいっしょに行きましょう。」彼らは出かけて、小舟に乗り込んだ。しかし、その夜は何もとれなかった。
4 夜が明けそめたとき、イエスは岸べに立たれた。けれども弟子たちには、それがイエスであることがわからなかった。
5 イエスは彼らに言われた。「子どもたちよ。食べる物がありませんね。」彼らは答えた。「はい。ありません。」
6 イエスは彼らに言われた。「舟の右側に網をおろしなさい。そうすれば、とれます。」そこで、彼らは網をおろした。すると、おびただしい魚のために、網を引き上げることができなかった。
7 そこで、イエスの愛されたあの弟子がペテロに言った。「主です。」すると、シモン・ペテロは、主であると聞いて、裸だったので、上着をまとって、湖に飛び込んだ。
8 しかし、ほかの弟子たちは、魚の満ちたその網を引いて、小舟でやって来た。陸地から遠くなく、百メートル足らずの距離だったからである。

24 ①㊐ヨハ六六、七、②㊐ヨハ二・一一
25 ①ヨハ二〇・一九、②㊐マコ一六・一二
26* あるいは「かきをかけられていた」 ①ヨハ二〇・二六、ルカ二四・三六、㊐ヨハ二四・三七
27 ①出ヨハ二〇・二五、ルカ二四・三九
29 ①Ⅰペテ一・八
30 ①ヨハ二・二三、②㊐ヨハ二・一一 * あるいは「証拠としての奇蹟」
31 ①㊐マタ一四・三三 * すなわち「メシヤ」 ②ヨハ一九・三五、③ヨハ三・一五

1 ①ヨハ六・一、②ヨハ二一・一九、二六、③ヨハ二一・一四、㊐ヨハ一三・三
2 ①㊐ヨハ一二・六、②㊐ヨハ一・四五以下、④マタ四・二一、マコ一・一九、ルカ五・一〇
3 ①出ルカ五・五
4 ①ヨハ二〇・一四、㊐ルカ二四・一六
5 ①ルカ二四・四一
6 ①出ルカ五・四以下
7 ①㊐ヨハ一三・二三、二一・二〇
8 * 直訳「二〇〇ペーキュス」 一ペーキュスは四五センチ

9 こうして彼らが陸地に上がったとき、そこに炭火とその上に載せた魚と、パンがあるのを見た。
10 イエスは彼らに言われた。「あなたがたの今とった魚を幾匹か持って来なさい。」
11 シモン・ペテロは舟に上がって、網を陸地に引き上げた。それは百五十三匹の大きな魚でいっぱいであった。それほど多かったけれども、網は破れなかった。
12 イエスは彼らに言われた。「さあ来て、朝の食事をしなさい。」弟子たちは主であることを知っていたので、だれも「あなたはどなたですか。」とあえて尋ねる者はいなかった。
13 イエスは来て、パンを取り、彼らにお与えになった。また、魚も同じようにされた。
14 イエスが、死人の中からよみがえってから、弟子たちにご自分を現わされたのは、すでにこれで三度目である。
15 彼らが食事を済ませたとき、イエスはシモン・ペテロに言われた。「*ヨハネの子シモン。あなたは、この人たち以上に、わたしを愛しますか。」ペテロはイエスに言った。「はい。主よ。私があなたを**愛することは、あなたがご存じです。」イエスは彼に言われた。「わたしの小羊を飼いなさい。」
16 イエスは再び彼に言われた。「ヨハネの子シモン。あなたはわたしを愛しますか。」ペテロはイエスに言った。「はい。主よ。私があなたを**愛することは、あなたがご存じです。」イエスは彼に言われた。「わたしの羊を牧しなさい。」
17 イエスは三度ペテロに言われた。「ヨハネの子シモン。あなたはわたしを**愛しますか。」ペテロは、イエスが三度「あなたはわたしを**愛しますか。」と言われたので、心を痛めてイエスに言った。「主よ。あなたはいっさいのことをご存じです。あなたは、私があなたを*愛することを知っておいでになります。」イエスは彼に言われた。「わたしの羊を飼いなさい。
18 まことに、まことに、あなたに告げます。あなたは若かった時には、自分で帯を締めて、自分の歩きたい所を歩きました。しかし年をとると、あなたは自分の手を伸ばし、ほかの人があなたに帯をさせて、あなたの行きたくない所に連れて行きます。」
19 これは、ペテロがどのような死に方をして、神の栄光を現わすかを示して、言われたことであった。こうお話しになってから、ペテロに言われた。「わたしに従いなさい。」
20 ペテロは振り向いて、イエスが愛された弟子があとについて来るのを見た。この弟子はあの晩餐のとき、イエスの右側にいて、「主よ。あなたを裏切る者はだれですか。」と言った者である。
21 ペテロは彼を見て、イエスに言った。「主よ。この人はどうですか。」
22 イエスはペテロに言われた。「わたしの来るまで彼が生きながらえるのを、わたしが望むとしても、それがあなたに何のかかわりがありますか。あなたは、わた

9 ①ヨハ二八・八、②ヨハ二一・一〇、一三、脚ヨハ六・九、一一
10 ①ヨハ三・一〇、一三、脚ヨハ六・九、一二
12 ①ヨハ二一・五
13 ①ヨハ二一・九、②ヨハ二一・九、一〇、脚ヨハ六・九、一一
14 ①ヨハ一〇・九、二六
15 ①ヨハ二一・二
*異本「ヨナ」
②ヨハ二一・一七、脚マタ一六・二三
マコ八・三三
**ギリシヤ語「アガパオー」
***ギリシヤ語「フイレオー」
③脚ルカ二二・三二
16 *ギリシヤ語「アガパオー」
**ギリシヤ語「フイレオー」
①マタ二二・六、使二〇・二八、Iペテ五・二、脚ヨハ二一・一七
17 *ギリシヤ語「フイレオー」
①脚ヨハ二一・一五、②ヨハ六・三、脚ヨハ二一・一六
19 ①IIペテ一・一四、②脚ヨハ二一・二一
20 ①ヨハ二一・七、②脚ヨハ二一・二五
22 ①Iコリ四・五、二一・二六、ヤコ五・七、黙二・二五、脚マタ一六・二七、二五
②脚マタ八・二二、一六・二四、ヨハ二一・一九

しに従いなさい。」
23そこで、その弟子は死なないという話が兄弟たちの
間に行き渡った。しかし、イエスはペテロに、その弟
子が死なないと言われたのでなく、「わたしの来るま
で彼が生きながらえるのをわたしが望むとしても、そ
れがあなたに何のかかわりがありますか。」と言われた
のである。

24これらのことについてあかしした者、またこれら
のことを書いた者は、その弟子である。そして、私た
ちは、彼のあかしが真実であることを、知っている。
25イエスが行なわれたことは、ほかにもたくさんあ
るが、もしそれらをいちいち書きしるすなら、世界も、
書かれた書物を入れることができまい、と私は思う。

23 ①図使二・二六、②Ⅰコリ一五・五、二・六、ヤコ五・七、黙二・二五
図マタ一六・二七、二六
24 ①図ヨハ一六・二七
25 ①ヨハ二〇・三〇

使徒の働き

1

1 テオピロよ。私は前の書で、イエスが行ない始め、教え始められたすべてのことについて書き、
2 お選びになった使徒たちに聖霊によって命じてから、天に上げられた日のことにまで及びました。
3 イエスは苦しみを受けた後、四十日の間、彼らに現われて、神の国のことを語り、数多くの確かな証拠をもって、ご自分が生きていることを使徒たちに示された。
4 彼らといっしょにいるとき、イエスは彼らにこう命じられた。「エルサレムを離れないで、わたしから聞いた父の約束を待ちなさい。
5 ヨハネは水でバプテスマを授けたが、もう間もなく、あなたがたは聖霊のバプテスマを受けるからです。」
6 そこで、彼らは、いっしょに集まったとき、イエスにこう尋ねた。「主よ。今こそ、イスラエルのために国を再興してくださるのですか。」
7 イエスは言われた。「いつとか、どんなときとかいうことは、あなたがたは知らなくてもよいのです。それは、父がご自分の権威をもってお定めになっています。
8 しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。」
9 こう言ってから、イエスは彼らが見ている間に上げられ、雲に包まれて、見えなくなられた。
10 イエスが上って行かれるとき、弟子たちは天を見つめていた。すると、見よ、白い衣を着た人がふたり、彼らのそばに立っていた。
11 そして、こう言った。「ガリラヤの人たち。なぜ天を見上げて立っているのですか。あなたがたを離れて天に上げられたこのイエスは、天に上って行かれるのをあなたがたが見たときと同じ有様で、またおいでになります。」
12 そこで、彼らはオリーブという山からエルサレムに帰った。この山はエルサレムの近くにあって、安息日の道のりほどの距離であった。
13 彼らは町にはいると、泊まっている屋上の間に上がった。この人々は、ペテロとヨハネとヤコブとアンデレ、ピリポとトマス、バルトロマイとマタイ、アルパヨの子ヤコブと熱心党員シモンとヤコブの子ユダであった。
14 この人たちは、婦人たちやイエスの母マリヤ、およびイエスの兄弟たちとともに、みな心を合わせ、祈りに専念していた。
15 そのころ、百二十名ほどの兄弟たちが集まってい

---

1 ①ルカ一・三。②ルカ三・三
2 ①使一・一〇-一一。②使一・六、旧使一〇・四一。③使一・二。マコ一六・一九、ヨハ三・三、一三、旧使一〇・四二。④使一・二、三
3 ①旧使六・三、ヨハ六・六、三一、三二。②マタ二六・一七、マコ一四・一二、ルカ二四・三五、ヨハ二〇・一九、二六、二一・一四、Ⅰコリ一五・五-七
4 *あるいは「食事をともにしている」。①ルカ二四・四九。②使一・三
5 ①使一・六、使二・三三。旧ヨハ一四・二六、二六・三六。②使二・一四。使一一・一六。旧マタ三・一一
6 ①マタ一七・一一、マコ九・三。ルカ一三・六・一二。②マタ二四・三、マコ一三・三
7 ①マタ二四・三六、マコ一三・三二。②使一・一四、②使八・一五、一七、旧マコ一三・三二、ロマ一〇・六
8 ①使二・一、②使一・一。③マタ二八・一九、マコ一六・一五、旧ルカ二四・四九、ヨハ一五・二七
9 ①使一・二。
10 ①旧ルカ二四・四、ヨハ二〇・三
11 ①使一・七、旧使一・三。②使一・九、三。③使マコ一六・九、使一・九、三
12 ①旧マタ二一・一、②ルカ二四・五二
13 ①使九・三七、三〇、旧マコ一四・一五、ルカ二一・三七、②使一・六
14 ①使二・四二、四六、マコ三・三一、ルカ八・一九、②使マタ一三・五五、マコ六・三、ヨハ二・一二、③使一・一三
15 ①ヨハ二一・二三、使一・一五、一六、二三、一五・三五、一六・一一、一三、一四、一七・一、一四、一八・一、一四、一九・一、一四、二〇・一、一四、二一・一、一四、二二・一、一四、二三・一、一四、二四・一、一四、二五・一、一四、二六・一、一四、二七・一、一四、二八・一、一四、二九・一、一四、三〇・一、一四、三一・一、一四、三二・一、一四、三三・一、一四、三四・一、一四、三五・一、一四、三六・一、一四、三七・一、一四、三八・一、一四、三九・一、一四、四〇・一、一四、四一・一、一四、四二・一、一四、四三・一、一四、四四・一、一四、四五・一、一四、四六・一、一四、四七・一、一四、四八・一、一四、四九・一、一四、五〇・一、一四、五一・一、一四、五二・一、一四、五三・一、一四、五四・一、一四、五五・一、一四、五六・一、一四、五七・一、一四、五八・一、一四、五九・一、一四、六〇・一、一四、六一・一、一四、六二・一、一四、六三・一、一四、六四・一、一四、六五・一、一四、六六・一、一四、六七・一、一四、六八・一、一四、六九・一、一四、七〇・一、一四、七一・一、一四、七二・一、一四、七三・一、一四、七四・一、一四、七五・一、一四、七六・一、一四、七七・一、一四、七八・一、一四、七九・一、一四、八〇・一、一四、八一・一、一四、八二・一、一四、八三・一、一四、八四・一、一四、八五・一、一四、八六・一、一四、八七・一、一四、八八・一、一四、八九・一、一四、九〇・一、一四、九一・一、一四、九二・一、一四、九三・一、一四、九四・一、一四、九五・一、一四、九六・一、一四、九七・一、一四、九八・一、一四、九九・一、一四、一〇〇・一、一四、一〇一・一、一四、一〇二・一、一四、一〇三・一、一四、一〇四・一、一四、一〇五・一、一四、一〇六・一、一四、一〇七・一、一四、一〇八・一、一四、一〇九・一、一四、一一〇・一、一四、一一一・一、一四、一一二・一、一四、一一三・一、一四、一一四・一、一四、一一五・一、一四、一一六・一、一四、一一七・一、一四、一一八・一、一四、一一九・一、一四、一二〇・一、一四、一二一・一、一四、一二二・一、一四、一二三・一、一四、一二四・一、一四、一二五・一、一四、一二六・一、一四、一二七・一、一四、一二八・一、一四、一二九・一、一四、一三〇・一、一四、一三一・一、一四、一三二・一、一四、一三三・一、一四、一三四・一、一四、一三五・一、一四、一三六・一、一四、一三七・一、一四、一三八・一、一四、一三九・一、一四、一四〇・一、一四、一四一・一、一四、一四二・一、一四、一四三・一、一四、一四四・一、一四、一四五・一、一四、一四六・一、一四、一四七・一、一四、一四八・一、一四、一四九・一、一四、一五〇・一、一四、一五一・一、一四、一五二・一、一四、一五三・一、一四、一五四・一、一四、一五五・一、一四、一五六・一、一四、一五七・一、一四、一五八・一、一四、一五九・一、一四、一六〇・一、一四、一六一・一、一四、一六二・一、一四、一六三・一、一四、一六四・一、一四、一六五・一、一四、一六六・一、一四、一六七・一、一四、一六八・一、一四、一六九・一、一四、一七〇・一、一四、一七一・一、一四、一七二・一、一四、一七三・一、一四、一七四・一、一四、一七五・一、一四、一七六・一、一四、一七七・一、一四、一七八・一、一四、一七九・一、一四、一八〇・一、一四、一八一・一、一四、一八二・一、一四、一八三・一、一四、一八四・一、一四、一八五・一、一四、一八六・一、一四、一八七・一、一四、一八八・一、一四、一八九・一、一四、一九〇・一、一四、一九一・一、一四、一九二・一、一四、一九三・一、一四、一九四・一、一四、一九五・一、一四、一九六・一、一四、一九七・一、一四、一九八・一、一四、一九九・一、一四、二〇〇・一、一四、二〇一・一、一四、二〇二・一、一四、二〇三・一、一四、二〇四・一、一四、二〇五・一、一四、二〇六・一、一四、二〇七・一、一四、二〇八・一、一四、二〇九・一、一四、二一〇・一、一四、二一一・一、一四、二一二・一、一四、二一三・一、一四、二一四・一、一四、二一五・一、一四、二一六・一、一四、二一七・一、一四、二一八・一、一四、二一九・一、一四、二二〇・一、一四、二二一・一、一四、二二二・一、一四、二二三・一、一四、二二四・一、一四、二二五・一、一四、二二六・一、一四、二二七・一、一四、二二八・一、一四、二二九・一、一四、二三〇・一、一四、二三一・一、一四、二三二・一、一四、二三三・一、一四、二三四・一、一四、二三五・一、一四、二三六・一、一四、二三七・一、一四、二三八・一、一四、二三九・一、一四、二四〇・一、一四、二四一・一、一四、二四二・一、一四、二四三・一、一四、二四四・一、一四、二四五・一、一四、二四六・一、一四、二四七・一、一四、二四八・一、一四、二四九・一、一四、二五〇・一、一四、二五一・一、一四、二五二・一、一四、二五三・一、一四、二五四・一、一四、二五五・一、一四、二五六・一、一四、二五七・一、一四、二五八・一、一四、二五九・一、一四、二六〇・一、一四、二六一・一、一四、二六二・一、一四、二六三・一、一四、二六四・一、一四、二六五・一、一四、二六六・一、一四、二六七・一、一四、二六八・一、一四、二六九・一、一四、二七〇・一、一四、二七一・一、一四、二七二・一、一四、二七三・一、一四、二七四・一、一四、二七五・一、一四、二七六・一、一四、二七七・一、一四、二七八・一、一四、二七九・一、一四、二八〇・一、一四、二八一・一、一四、二八二・一、一四、二八三・一、一四、二八四・一、一四、二八五・一、一四、二八六・一、一四、二八七・一、一四、二八八・一、一四、二八九・一、一四、二九〇・一、一四、二九一・一、一四、二九二・一、一四、二九三・一、一四、二九四・一、一四、二九五・一、一四、二九六・一、一四、二九七・一、一四、二九八・一、一四、二九九・一、一四、三〇〇・一、一四、三〇一・一、一四、三〇二・一、一四、三〇三・一、一四、三〇四・一、一四、三〇五・一、一四、三〇六・一、一四、三〇七・一、一四、三〇八・一、一四、三〇九・一、一四、三一〇・一、一四、三一一・一、一四、三一二・一、一四、三一三・一、一四、三一四・一、一四、三一五・一、一四、三一六・一、一四、三一七・一、一四、三一八・一、一四、三一九・一、一四、三二〇・一、一四、三二一・一、一四、三二二・一、一四、三二三・一、一四、三二四・一、一四、三二五・一、一四、三二六・一、一四、三二七・一、一四、三二八・一、一四、三二九・一、一四、三三〇・一、一四、三三一・一、一四、三三二・一、一四、三三三・一、一四、三三四・一、一四、三三五・一、一四、三三六・一、一四、三三七・一、一四、三三八・一、一四、三三九・一、一四、三四〇・一、一四、三四一・一、一四、三四二・一、一四、三四三・一、一四、三四四・一、一四、三四五・一、一四、三四六・一、一四、三四七・一、一四、三四八・一、一四、三四九・一、一四、三五〇・一、一四、三五一・一、一四、三五二・一、一四、三五三・一、一四、三五四・一、一四、三五五・一、一四、三五六・一、一四、三五七・一、一四、三五八・一、一四、三五九・一、一四、三六〇・一、一四、三六一・一、一四、三六二・一、一四、三六三・一、一四、三六四・一、一四、三六五・一、一四、三六六・一、一四、三六七・一、一四、三六八・一、一四、三六九・一、一四、三七〇・一、一四、三七一・一、一四、三七二・一、一四、三七三・一、一四、三七四・一、一四、三七五・一、一四、三七六・一、一四、三七七・一、一四、三七八・一、一四、三七九・一、一四、三八〇・一、一四、三八一・一、一四、三八二・一、一四、三八三・一、一四、三八四・一、一四、三八五・一、一四、三八六・一、一四、三八七・一、一四、三八八・一、一四、三八九・一、一四、三九〇・一、一四、三九一・一、一四、三九二・一、一四、三九三・一、一四、三九四・一、一四、三九五・一、一四、三九六・一、一四、三九七・一、一四、三九八・一、一四、三九九・一、一四、四〇〇・一、一四、四〇一・一、一四、四〇二・一、一四、四〇三・一、一四、四〇四・一、一四、四〇五・一、一四、四〇六・一、一四、四〇七・一、一四、四〇八・一、一四、四〇九・一、一四、四一〇・一、一四、四一一・一、一四、四一二・一、一四、四一三・一、一四、四一四・一、一四、四一五・一、一四、四一六・一、一四、四一七・一、一四、四一八・一、一四、四一九・一、一四、四二〇・一、一四、四二一・一、一四、四二二・一、一四、四二三・一、一四、四二四・一、一四、四二五・一、一四、四二六・一、一四、四二七・一、一四、四二八・一、一四、四二九・一、一四、四三〇・一、一四、四三一・一、一四、四三二・一、一四、四三三・一、一四、四三四・一、一四、四三五・一、一四、四三六・一、一四、四三七・一、一四、四三八・一、一四、四三九・一、一四、四四〇・一、一四、四四一・一、一四、四四二・一、一四、四四三・一、一四、四四四・一、一四、四四五・一、一四、四四六・一、一四、四四七・一、一四、四四八・一、一四、四四九・一、一四、四五〇・一、一四、四五一・一、一四、四五二・一、一四、四五三・一、一四、四五四・一、一四、四五五・一、一四、四五六・一、一四、四五七・一、一四、四五八・一、一四、四五九・一、一四、四六〇・一、一四、四六一・一、一四、四六二・一、一四、四六三・一、一四、四六四・一、一四、四六五・一、一四、四六六・一、一四、四六七・一、一四、四六八・一、一四、四六九・一、一四、四七〇・一、一四、四七一・一、一四、四七二・一、一四、四七三・一、一四、四七四・一、一四、四七五・一、一四、四七六・一、一四、四七七・一、一四、四七八・一、一四、四七九・一、一四、四八〇・一、一四、四八一・一、一四、四八二・一、一四、四八三・一、一四、四八四・一、一四、四八五・一、一四、四八六・一、一四、四八七・一、一四、四八八・一、一四、四八九・一、一四、四九〇・一、一四、四九一・一、一四、四九二・一、一四、四九三・一、一四、四九四・一、一四、四九五・一、一四、四九六・一、一四、四九七・一、一四、四九八・一、一四、四九九・一、一四、五〇〇・一、一四、五〇一・一、一四、五〇二・一、一四、五〇三・一、一四、五〇四・一、一四、五〇五・一、一四、五〇六・一、一四、五〇七・一、一四、五〇八・一、一四、五〇九・一、一四、五一〇・一、一四、五一一・一、一四、五一二・一、一四、五一三・一、一四、五一四・一、一四、五一五・一、一四、五一六・一、一四、五一七・一、一四、五一八・一、一四、五一九・一、一四、五二〇・一、一四、五二一・一、一四、五二二・一、一四、五二三・一、一四、五二四・一、一四、五二五・一、一四、五二六・一、一四、五二七・一、一四、五二八・一、一四、五二九・一、一四、五三〇・一、一四、五三一・一、一四、五三二・一、一四、五三三・一、一四、五三四・一、一四、五三五・一、一四、五三六・一、一四、五三七・一、一四、五三八・一、一四、五三九・一、一四、五四〇・一、一四、五四一・一、一四、五四二・一、一四、五四三・一、一四、五四四・一、一四、五四五・一、一四、五四六・一、一四、五四七・一、一四、五四八・一、一四、五四九・一、一四、五五〇・一、一四、五五一・一、一四、五五二・一、一四、五五三・一、一四、五五四・一、一四、五五五・一、一四、五五六・一、一四、五五七・一、一四、五五八・一、一四、五五九・一、一四、五六〇・一、一四、五六一・一、一四、五六二・一、一四、五六三・一、一四、五六四・一、一四、五六五・一、一四、五六六・一、一四、五六七・一、一四、五六八・一、一四、五六九・一、一四、五七〇・一、一四、五七一・一、一四、五七二・一、一四、五七三・一、一四、五七四・一、一四、五七五・一、一四、五七六・一、一四、五七七・一、一四、五七八・一、一四、五七九・一、一四、五八〇・一、一四、五八一・一、一四、五八二・一、一四、五八三・一、一四、五八四・一、一四、五八五・一、一四、五八六・一、一四、五八七・一、一四、五八八・一、一四、五八九・一、一四、五九〇・一、一四、五九一・一、一四、五九二・一、一四、五九三・一、一四、五九四・一、一四、五九五・一、一四、五九六・一、一四、五九七・一、一四、五九八・一、一四、五九九・一、一四、六〇〇・一、一四、六〇一・一、一四、六〇二・一、一四、六〇三・一、一四、六〇四・一、一四、六〇五・一、一四、六〇六・一、一四、六〇七・一、一四、六〇八・一、一四、六〇九・一、一四、六一〇・一、一四、六一一・一、一四、六一二・一、一四、六一三・一、一四、六一四・一、一四、六一五・一、一四、六一六・一、一四、六一七・一、一四、六一八・一、一四、六一九・一、一四、六二〇・一、一四、六二一・一、一四、六二二・一、一四、六二三・一、一四、六二四・一、一四、六二五・一、一四、六二六・一、一四、六二七・一、一四、六二八・一、一四、六二九・一、一四、六三〇・一、一四、六三一・一、一四、六三二・一、一四、六三三・一、一四、六三四・一、一四、六三五・一、一四、六三六・一、一四、六三七・一、一四、六三八・一、一四、六三九・一、一四、六四〇・一、一四、六四一・一、一四、六四二・一、一四、六四三・一、一四、六四四・一、一四、六四五・一、一四、六四六・一、一四、六四七・一、一四、六四八・一、一四、六四九・一、一四、六五〇・一、一四、六五一・一、一四、六五二・一、一四、六五三・一、一四、六五四・一、一四、六五五・一、一四、六五六・一、一四、六五七・一、一四、六五八・一、一四、六五九・一、一四、六六〇・一、一四、六六一・一、一四、六六二・一、一四、六六三・一、一四、六六四・一、一四、六六五・一、一四、六六六・一、一四、六六七・一、一四、六六八・一、一四、六六九・一、一四、六七〇・一、一四、六七一・一、一四、六七二・一、一四、六七三・一、一四、六七四・一、一四、六七五・一、一四、六七六・一、一四、六七七・一、一四、六七八・一、一四、六七九・一、一四、六八〇・一、一四、六八一・一、一四、六八二・一、一四、六八三・一、一四、六八四・一、一四、六八五・一、一四、六八六・一、一四、六八七・一、一四、六八八・一、一四、六八九・一、一四、六九〇・一、一四、六九一・一、一四、六九二・一、一四、六九三・一、一四、六九四・一、一四、六九五・一、一四、六九六・一、一四、六九七・一、一四、六九八・一、一四、六九九・一、一四、七〇〇・一、一四、七〇一・一、一四、七〇二・一、一四、七〇三・一、一四、七〇四・一、一四、七〇五・一、一四、七〇六・一、一四、七〇七・一、一四、七〇八・一、一四、七〇九・一、一四、七一〇・一、一四、七一一・一、一四、七一二・一、一四、七一三・一、一四、七一四・一、一四、七一五・一、一四、七一六・一、一四、七一七・一、一四、七一八・一、一四、七一九・一、一四、七二〇・一、一四、七二一・一、一四、七二二・一、一四、七二三・一、一四、七二四・一、一四、七二五・一、一四、七二六・一、一四、七二七・一、一四、七二八・一、一四、七二九・一、一四、七三〇・一、一四、七三一・一、一四、七三二・一、一四、七三三・一、一四、七三四・一、一四、七三五・一、一四、七三六・一、一四、七三七・一、一四、七三八・一、一四、七三九・一、一四、七四〇・一、一四、七四一・一、一四、七四二・一、一四、七四三・一、一四、七四四・一、一四、七四五・一、一四、七四六・一、一四、七四七・一、一四、七四八・一、一四、七四九・一、一四、七五〇・一、一四、七五一・一、一四、七五二・一、一四、七五三・一、一四、七五四・一、一四、七五五・一、一四、七五六・一、一四、七五七・一、一四、七五八・一、一四、七五九・一、一四、七六〇・一、一四、七六一・一、一四、七六二・一、一四、七六三・一、一四、七六四・一、一四、七六五・一、一四、七六六・一、一四、七六七・一、一四、七六八・一、一四、七六九・一、一四、七七〇・一、一四、七七一・一、一四、七七二・一、一四、七七三・一、一四、七七四・一、一四、七七五・一、一四、七七六・一、一四、七七七・一、一四、七七八・一、一四、七七九・一、一四、七八〇・一、一四、七八一・一、一四、七八二・一、一四、七八三・一、一四、七八四・一、一四、七八五・一、一四、七八六・一、一四、七八七・一、一四、七八八・一、一四、七八九・一、一四、七九〇・一、一四、七九一・一、一四、七九二・一、一四、七九三・一、一四、七九四・一、一四、七九五・一、一四、七九六・一、一四、七九七・一、一四、七九八・一、一四、七九九・一、一四、八〇〇・一、一四、八〇一・一、一四、八〇二・一、一四、八〇三・一、一四、八〇四・一、一四、八〇五・一、一四、八〇六・一、一四、八〇七・一、一四、八〇八・一、一四、八〇九・一、一四、八一〇・一、一四、八一一・一、一四、八一二・一、一四、八一三・一、一四、八一四・一、一四、八一五・一、一四、八一六・一、一四、八一七・一、一四、八一八・一、一四、八一九・一、一四、八二〇・一、一四、八二一・一、一四、八二二・一、一四、八二三・一、一四、八二四・一、一四、八二五・一、一四、八二六・一、一四、八二七・一、一四、八二八・一、一四、八二九・一、一四、八三〇・一、一四、八三一・一、一四、八三二・一、一四、八三三・一、一四、八三四・一、一四、八三五・一、一四、八三六・一、一四、八三七・一、一四、八三八・一、一四、八三九・一、一四、八四〇・一、一四、八四一・一、一四、八四二・一、一四、八四三・一、一四、八四四・一、一四、八四五・一、一四、八四六・一、一四、八四七・一、一四、八四八・一、一四、八四九・一、一四、八五〇・一、一四、八五一・一、一四、八五二・一、一四、八五三・一、一四、八五四・一、一四、八五五・一、一四、八五六・一、一四、八五七・一、一四、八五八・一、一四、八五九・一、一四、八六〇・一、一四、八六一・一、一四、八六二・一、一四、八六三・一、一四、八六四・一、一四、八六五・一、一四、八六六・一、一四、八六七・一、一四、八六八・一、一四、八六九・一、一四、八七〇・一、一四、八七一・一、一四、八七二・一、一四、八七三・一、一四、八七四・一、一四、八七五・一、一四、八七六・一、一四、八七七・一、一四、八七八・一、一四、八七九・一、一四、八八〇・一、一四、八八一・一、一四、八八二・一、一四、八八三・一、一四、八八四・一、一四、八八五・一、一四、八八六・一、一四、八八七・一、一四、八八八・一、一四、八八九・一、一四、八九〇・一、一四、八九一・一、一四、八九二・一、一四、八九三・一、一四、八九四・一、一四、八九五・一、一四、八九六・一、一四、八九七・一、一四、八九八・一、一四、八九九・一、一四、九〇〇・一、一四、九〇一・一、一四、九〇二・一、一四、九〇三・一、一四、九〇四・一、一四、九〇五・一、一四、九〇六・一、一四、九〇七・一、一四、九〇八・一、一四、九〇九・一、一四、九一〇・一、一四、九一一・一、一四、九一二・一、一四、九一三・一、一四、九一四・一、一四、九一五・一、一四、九一六・一、一四、九一七・一、一四、九一八・一、一四、九一九・一、一四、九二〇・一、一四、九二一・一、一四、九二二・一、一四、九二三・一、一四、九二四・一、一四、九二五・一、一四、九二六・一、一四、九二七・一、一四、九二八・一、一四、九二九・一、一四、九三〇・一、一四、九三一・一、一四、九三二・一、一四、九三三・一、一四、九三四・一、一四、九三五・一、一四、九三六・一、一四、九三七・一、一四、九三八・一、一四、九三九・一、一四、九四〇・一、一四、九四一・一、一四、九四二・一、一四、九四三・一、一四、九四四・一、一四、九四五・一、一四、九四六・一、一四、九四七・一、一四、九四八・一、一四、九四九・一、一四、九五〇・一、一四、九五一・一、一四、九五二・一、一四、九五三・一、一四、九五四・一、一四、九五五・一、一四、九五六・一、一四、九五七・一、一四、九五八・一、一四、九五九・一、一四、九六〇・一、一四、九六一・一、一四、九六二・一、一四、九六三・一、一四、九六四・一、一四、九六五・一、一四、九六六・一、一四、九六七・一、一四、九六八・一、一四、九六九・一、一四、九七〇・一、一四、九七一・一、一四、九七二・一、一四、九七三・一、一四、九七四・一、一四、九七五・一、一四、九七六・一、一四、九七七・一、一四、九七八・一、一四、九七九・一、一四、九八〇・一、一四、九八一・一、一四、九八二・一、一四、九八三・一、一四、九八四・一、一四、九八五・一、一四、九八六・一、一四、九八七・一、一四、九八八・一、一四、九八九・一、一四、九九〇・一、一四、九九一・一、一四、九九二・一、一四、九九三・一、一四、九九四・一、一四、九九五・一、一四、九九六・一、一四、九九七・一、一四、九九八・一、一四、九九九・一、一四、一〇〇〇・一、一四、一〇〇一・一、一四、一〇〇二・一、一四、一〇〇三・一、一四、一〇〇四・一、一四、一〇〇五・一、一四、一〇〇六・一、一四、一〇〇七・一、一四、一〇〇八・一、一四、一〇〇九・一、一四、一〇一〇・一、一四、一〇一一・一、一四、一〇一二・一、一四、一〇一三・一、一四、一〇一四・一、一四、一〇一五・一、一四、一〇一六・一、一四、一〇一七・一、一四、一〇一八・一、一四、一〇一九・一、一四、一〇二〇・一、一四、一〇二一・一、一四、一〇二二・一、一四、一〇二三・一、一四、一〇二四・一、一四、一〇二五・一、一四、一〇二六・一、一四、一〇二七・一、一四、一〇二八・一、一四、一〇二九・一、一四、一〇三〇・一、一四、一〇三一・一、一四、一〇三二・一、一四、一〇三三・一、一四、一〇三四・一、一四、一〇三五・一、一四、一〇三六・一、一四、一〇三七・一、一四、一〇三八・一、一四、一〇三九・一、一四、一〇四〇・一、一四、一〇四一・一、一四、一〇四二・一、一四、一〇四三・一、一四、一〇四四・一、一四、一〇四五・一、一四、一〇四六・一、一四、一〇四七・一、一四、一〇四八・一、一四、一〇四九・一、一四、一〇五〇・一、一四、一〇五一・一、一四、一〇五二・一、一四、一〇五三・一、一四、一〇五四・一、一四、一〇五五・一、一四、一〇五六・一、一四、一〇五七・一、一四、一〇五八・一、一四、一〇五九・一、一四、一〇六〇・一、一四、一〇六一・一、一四、一〇六二・一、一四、一〇六三・一、一四、一〇六四・一、一四、一〇六五・一、一四、一〇六六・一、一四、一〇六七・一、一四、一〇六八・一、一四、一〇六九・一、一四、一〇七〇・一、一四、一〇七一・一、一四、一〇七二・一、一四、一〇七三・一、一四、一〇七四・一、一四、一〇七五・一、一四、一〇七六・一、一四、一〇七七・一、一四、一〇七八・一、一四、一〇七九・一、一四、一〇八〇・一、一四、一〇八一・一、一四、一〇八二・一、一四、一〇八三・一、一四、一〇八四・一、一四、一〇八五・一、一四、一〇八六・一、一四、一〇八七・一、一四、一〇八八・一、一四、一〇八九・一、一四、一〇九〇・一、一四、一〇九一・一、一四、一〇九二・一、一四、一〇九三・一、一四、一〇九四・一、一四、一〇九五・一、一四、一〇九六・一、一四、一〇九七・一、一四、一〇九八・一、一四、一〇九九・一、一四、一一〇〇・一、一四、一一〇一・一、一四、一一〇二・一、一四、一一〇三・一、一四、一一〇四・一、一四、一一〇五・一、一四、一一〇六・一、一四、一一〇七・一、一四、一一〇八・一、一四、一一〇九・一、一四、一一一〇・一、一四、一一一一・一、一四、一一一二・一、一四、一一一三・一、一四、一一一四・一、一四、一一一五・一、一四、一一一六・一、一四、一一一七・一、一四、一一一八・一、一四、一一一九・一、一四、一一二〇・一、一四、一一二一・一、一四、一一二二・一、一四、一一二三・一、一四、一一二四・一、一四、一一二五・一、一四、一一二六・一、一四、一一二七・一、一四、一一二八・一、一四、一一二九・一、一四、一一三〇・一、一四、一一三一・一、一四、一一三二・一、一四、一一三三・一、一四、一一三四・一、一四、一一三五・一、一四、一一三六・一、一四、一一三七・一、一四、一一三八・一、一四、一一三九・一、一四、一一四〇・一、一四、一一四一・一、一四、一一四二・一、一四、一一四三・一、一四、一一四四・一、一四、一一四五・一、一四、一一四六・一、一四、一一四七・一、一四、一一四八・一、一四、一一四九・一、一四、一一五〇・一、一四、一一五一・一、一四、一一五二・一、一四、一一五三・一、一四、一一五四・一、一四、一一五五・一、一四、一一五六・一、一四、一一五七・一、一四、一一五八・一、一四、一一五九・一、一四、一一六〇・一、一四、一一六一・一、一四、一一六二・一、一四、一一六三・一、一四、一一六四・一、一四、一一六五・一、一四、一一六六・一、一四、一一六七・一、一四、一一六八・一、一四、一一六九・一、一四、一一七〇・一、一四、一一七一・一、一四、一一七二・一、一四、一一七三・一、一四、一一七四・一、一四、一一七五・一、一四、一一七六・一、一四、一一七七・一、一四、一一七八・一、一四、一一七九・一、一四、一一八〇・一、一四、一一八一・一、一四、一一八二・一、一四、一一八三・一、一四、一一八四・一、一四、一一八五・一、一四、一一八六・一、一四、一一八七・一、一四、一一八八・一、一四、一一八九・一、一四、一一九〇・一、一四、一一九一・一、一四、一一九二・一、一四、一一九三・一、一四、一一九四・一、一四、一一九五・一、一四、一一九六・一、一四、一一九七・一、一四、一一九八・一、一四、一一九九・一、一四、一二〇〇・一、一四、一二〇一・一、一四、一二〇二・一、一四、一二〇三・一、一四、一二〇四・一、一四、一二〇五・一、一四、一二〇六・一、一四、一二〇七・一、一四、一二〇八・一、一四、一二〇九・一、一四、一二一〇・一、一四、一二一一・一、一四、一二一二・一、一四、一二一三・一、一四、一二一四・一、一四、一二一五・一、一四、一二一六・一、一四、一二一七・一、一四、一二一八・一、一四、一二一九・一、一四、一二二〇・一、一四、一二二一・一、一四、一二二二・一、一四、一二二三・一、一四、一二二四・一、一四、一二二五・一、一四、一二二六・一、一四、一二二七・一、一四、一二二八・一、一四、一二二九・一、一四、一二三〇・一、一四、一二三一・一、一四、一二三二・一、一四、一二三三・一、一四、一二三四・一、一四、一二三五・一、一四、一二三六・一、一四、一二三七・一、一四、一二三八・一、一四、一二三九・一、一四、一二四〇・一、一四、一二四一・一、一四、一二四二・一、一四、一二四三・一、一四、一二四四・一、一四、一二四五・一、一四、一二四六・一、一四、一二四七・一、一四、一二四八・一、一四、一二四九・一、一四、一二五〇・一、一四、一二五一・一、一四、一二五二・一、一四、一二五三・一、一四、一二五四・一、一四、一二五五・一、一四、一二五六・一、一四、一二五七・一、一四、一二五八・一、一四、一二五九・一、一四、一二六〇・一、一四、一二六一・一、一四、一二六二・一、一四、一二六三・一、一四、一二六四・一、一四、一二六五・一、一四、一二六六・一、一四、一二六七・一、一四、一二六八・一、一四、一二六九・一、一四、一二七〇・一、一四、一二七一・一、一四、一二七二・一、一四、一二七三・一、一四、一二七四・一、一四、一二七五・一、一四、一二七六・一、一四、一二七七・一、一四、一二七八・一、一四、一二七九・一、一四、一二八〇・一、一四、一二八一・一、一四、一二八二・一、一四、一二八三・一、一四、一二八四・一、一四、一二八五・一、一四、一二八六・一、一四、一二八七・一、一四、一二八八・一、一四、一二八九・一、一四、一二九〇・一、一四、一二九一・一、一四、一二九二・一、一四、一二九三・一、一四、一二九四・一、一四、一二九五・一、一四、一二九六・一、一四、一二九七・一、一四、一二九八・一、一四、一二九九・一、一四、一三〇〇・一、一四、一三〇一・一、一四、一三〇二・一、一四、一三〇三・一、一四、一三〇四・一、一四、一三〇五・一、一四、一三〇六・一、一四、一三〇七・一、一四、一三〇八・一、一四、一三〇九・一、一四、一三一〇・一、一四、一三一一・一、一四、一三一二・一、一四、一三一三・一、一四、一三一四・一、一四、一三一五・一、一四、一三一六・一、一四、一三一七・一、一四、一三一八・一、一四、一三一九・一、一四、一三二〇・一、一四、一三二一・一、一四、一三二二・一、一四、一三二三・一、一四、一三二四・一、一四、一三二五・一、一四、一三二六・一、一四、一三二七・一、一四、一三二八・一、一四、一三二九・一、一四、一三三〇・一、一四、一三三一・一、一四、一三三二・一、一四、一三三三・一、一四、一三三四・一、一四、一三三五・一、一四、一三三六・一、一四、一三三七・一、一四、一三三八・一、一四、一三三九・一、一四、一三四〇・一、一四、一三四一・一、一四、一三四二・一、一四、一三四三・一、一四、一三四四・一、一四、一三四五・一、一四、一三四六・一、一四、一三四七・一、一四、一三四八・一、一四、一三四九・一、一四、一三五〇・一、一四、一三五一・一、一四、一三五二・一、一四、一三五三・一、一四、一三五四・一、一四、一三五五・一、一四、一三五六・一、一四、一三五七・一、一四、一三五八・一、一四、一三五九・一、一四、一三六〇・一、一四、一三六一・一、一四、一三六二・一、一四、一三六三・一、一四、一三六四・一、一四、一三六五・一、一四、一三六六・一、一四、一三六七・一、一四、一三六八・一、一四、一三六九・一、一四、一三七〇・一、一四、一三七一・一、一四、一三七二・一、一四、一三七三・一、一四、一三七四・一、一四、一三七五・一、一四、一三七六・一、一四、一三七七・一、一四、一三七八・一、一四、一三七九・一、一四、一三八〇・一、一四、一三八一・一、一四、一三八二・一、一四、一三八三・一、一四、一三八四・一、一四、一三八五・一、一四、一三八六・一、一四、一三八七・一、一四、一三八八・一、一四、一三八九・一、一四、一三九〇・一、一四、一三九一・一、一四、一三九二・一、一四、一三九三・一、一四、一三九四・一、一四、一三九五・一、一四、一三九六・一、一四、一三九七・一、一四、一三九八・一、一四、一三九九・一、一四、一四〇〇・一、一四、一四〇一・一、一四、一四〇二・一、一四、一四〇三・一、一四、一四〇四・一、一四、一四〇五・一、一四、一四〇六・一、一四、一四〇七・一、一四、一四〇八・一、一四、一四〇九・一、一四、一四一〇・一、一四、一四一一・一、一四、一四一二・一、一四、一四一三・一、一四、一四一四・一、一四、一四一五・一、一四、一四一六・一、一四、一四一七・一、一四、一四一八・一、一四、一四一九・一、一四、一四二〇・一、一四、一四二一・一、一四、一四二二・一、一四、一四二三・一、一四、一四二四・一、一四、一四二五・一、一四、一四二六・一、一四、一四二七・一、一四、一四二八・一、一四、一四二九・一、一四、一四三〇・一、一四、一四三一・一、一四、一四三二・一、一四、一四三三・一、一四、一四三四・一、一四、一四三五・一、一四、一四三六・一、一四、一四三七・一、一四、一四三八・一、一四、一四三九・一、一四、一四四〇・一、一四、一四四一・一、一四、一四四二・一、一四、一四四三・一、一四、一四四四・一、一四、一四四五・一、一四、一四四六・一、一四、一四四七・一、一四、一四四八・一、一四、一四四九・一、一四、一四五〇・一、一四、一四五一・一、一四、一四五二・一、一四、一四五三・一、一四、一四五四・一、一四、一四五五・一、一四、一四五六・一、一四、一四五七・一、一四、一四五八・一、一四、一四五九・一、一四、一四六〇・一、一四、一四六一・一、一四、一四六二・一、一四、一四六三・一、一四、一四六四・一、一四、一四六五・一、一四、一四六六・一、一四、一四六七・一、一四、一四六八・一、一四、一四六九・一、一四、一四七〇・一、一四、一四七一・一、一四、一四七二・一、一四、一四七三・一、一四、一四七四・一、一四、一四七五・一、一四、一四七六・一、一四、一四七七・一、一四、一四七八・一、一四、一四七九・一、一四、一四八〇・一、一四、一四八一・一、一四、一四八二・一、一四、一四八三・一、一四、一四八四・一、一四、一四八五・一、一四、一四八六・一、一四、一四八七・一、一四、一四八八・一、一四、一四八九・一、一四、一四九〇・一、一四、一四九一・一、一四、一四九二・一、一四、一四九三・一、一四、一四九四・一、一四、一四九五・一、一四、一四九六・一、一四、一四九七・一、一四、一四九八・一、一四、一四九九・一、一四、一五〇〇・一、一四、一五〇一・一、一四、一五〇二・一、一四、一五〇三・一、一四、一五〇四・一、一四、一五〇五・一、一四、一五〇六・一、一四、一五〇七・一、一四、一五〇八・一、一四、一五〇九・一、一四、一五一〇・一、一四、一五一一・一、一四、一五一二・一、一四、一五一三・一、一四、一五一四

たが、ペテロはその中に立ってこう言った。
16「兄弟たち。イエスを捕えた者どもの手引きをしたユダについて、聖霊がダビデの口を通して預言された聖書のことばは、成就しなければならなかったのです。
17ユダは私たちの仲間として数えられており、この務めを受けていました。
18（ところがこの男は、不正なことをして得た報酬で地所を手に入れたが、まっさかさまに落ち、からだは真二つに裂け、はらわたが全部飛び出してしまった。
19このことが、エルサレムの住民全部に知れて、その地所は彼らの国語でアケルダマ、すなわち『血の地所』と呼ばれるようになった。）
20実は詩篇には、こう書いてあるのです。『彼の住まいは荒れ果てよ、そこには住む者がいなくなれ。』また、『その職は、ほかの人に取らせよ。』
21ですから、主イエスが私たちといっしょに生活された間、
22すなわち、ヨハネのバプテスマから始まって、私たちを離れて天に上げられた日までの間、いつも私たちと行動をともにした者の中から、だれかひとりが、私たちとともにイエスの復活の証人とならなければなりません。」
23そこで、彼らは、バルサバと呼ばれ別名をユストというヨセフと、マッテヤとのふたりを立てた。
24そして、こう祈った。「すべての人の心を知っておられる主よ。
25この務めと使徒職の地位を継がせるために、このふたりのうちのどちらをお選びになるか、お示しください。ユダは自分のところへ行くために脱落して行きましたから。」
26そしてふたりのためにくじを引くと、くじはマッテヤに当たったので、彼は十一人の使徒たちに加えられた。

2

1五旬節の日になって、みなが一つ所に集まっていた。
2すると突然、天から、激しい風が吹いて来るような響きが起こり、彼らのいた家全体に響き渡った。
3また、炎のような分かれた舌が現われて、ひとりひとりの上にとどまった。
4すると、みなが聖霊に満たされ、御霊が話させてくださるとおりに、他国のことばで話しだした。
5さて、エルサレムには、敬虔なユダヤ人たちが、天下のあらゆる国から来て住んでいたが、
6この物音が起こると、大ぜいの人々が集まって来た。彼らは、それぞれ自分の国のことばで弟子たちが話すのを聞いて、驚きあきれてしまった。
7彼らは驚き怪しんで言った。「どうでしょう。いま話しているこの人たちは、みなガリラヤの人ではありませんか。
8それなのに、私たちめいめいの国の国語で話すのを聞くとは、いったいどうしたことでしょう。

16 ①マタ二六・四七、マコ一四・四三、ルカ二二・四七、ヨハ一八・三、②使一・一六、Ⅱヨハ一・一八、一七・二
17 ①ヨハ六・七〇、七一、②使一・二五、二〇・二四、二一・一九
18 ①マタ二六・一四、一五、②Ⅱ列九・三三、一〇
19 ①使二・一四、マタ二七・八
20 ①詩六九・二五、②詩一〇九・八
21 ①ルカ一四・三三
22 ①マコ一・一四、②黙使一・二
23 ①使一・二六
24 ①使六・六、一三・三、一四・二三、②使一五・八、ロマ八・二七、Ⅰサム二六・七、エレ一七・一〇
25 ①黙使一・一七、②Ⅱ列ロマ一・五、Ⅰコリ一二・八、＊直訳「取る」
26 ①レビ二六・八、ヨシ二一・三、Ⅰサム一四・四一、ネヘ一〇・三四、一二・一他、箴一六・三三、②黙使一・二三、③使一・一四
1 ①使三・一、Ⅰコリ一六・八、レビ二三・一五、＊直訳「が満ちて」
2 ①Ⅱ列使四・三一
3 ＊あるいは「分けられた」
4 ①使四・八、一一・一五、一三・九、三三、Ⅱ列使一・五、八・三、九・三、七・三五、八・一七、二一・二他、Ⅱ列マタ一〇・二〇、②Ⅱ列マコ一六・一七、Ⅰコリ一二・一〇、一四・二他
5 ①使六・一、ルカ二・五
6 ①使二・一
7 ①使一・一二、②黙使一・一一、Ⅱ列マタ六・七三

9 私たちは、パルテヤ人、メジヤ人、エラム人、また
メソポタミヤ、ユダヤ、カパドキヤ、ポントとアジヤ、
10 フルギヤとパンフリヤ、エジプトとクレネに近いリ
ビヤ地方などに住む者たち、また滞在中のローマ人た
ちで、
11 ユダヤ人もいれば改宗者もいる。またクレテ人とア
ラビヤ人なのに、あの人たちが、私たちのいろいろな
国ことばで神の大きなみわざを語るのを聞こうとは。」
12 人々はみな、驚き惑って、互いに「いったいこれは
どうしたことか。」と言った。
13 しかし、ほかに「彼らは甘いぶどう酒に酔っている
のだ。」と言ってあざける者たちもいた。
14 そこで、ペテロは十一人とともに立って、声を張
り上げ、人々にはっきりとこう言った。「ユダヤの人
人、ならびにエルサレムに住むすべての人々。あなた
がたに知っていただきたいことがあります。どうか、
私のことばに耳を貸してください。
15 今は朝の九時ですから、あなたがたの思っているよ
うにこの人たちは酔っているのではありません。
16 これは、預言者ヨエルによって語られた事です。
17 『神は言われる。
終わりの日に、わたしの霊をすべての人に注ぐ。
すると、あなたがたの息子や娘は預言し、
青年は幻を見、
老人は夢を見る。
18 その日、わたしのしもべにも、はしためにも、
わたしの霊を注ぐ。
すると、彼らは預言する。
19 また、わたしは、上は天に不思議なわざを示し、
下は地にしるしを示す。
それは、血と火と立ち上る煙である。
20 主の大いなる輝かしい日が来る前に、
太陽はやみとなり、月は血に変わる。
21 しかし、主の名を呼ぶ者は、みな救われる。』
22 イスラエルの人たち。このことばを聞いてください。神はナザレ人イエスによって、あなたがたの間で力あるわざと、不思議なわざと、あかしの奇蹟を行なわれました。それらのことによって、神はあなたがたに、この方のあかしをされたのです。ところがあなたがた自身がご承知のように、
23 神の定めた計画と神の予知とによって引き渡されたこの方を、あなたがたは不法な者の手によって十字架につけて殺しました。
24 しかし神は、この方を死の苦しみから解き放って、よみがえらせました。この方が死につながれていることなど、ありえないからです。
25 ダビデはこの方について、こう言っています。
『私はいつも、自分の目の前に主を見ていた。
主は、私が動かされないように、
私の右におられるからである。
26 それゆえ、私の心は楽しみ、
私の舌は大いに喜んだ。

9 ①Iペテ一・一、②Iペテ一・一 ③使六・五、一三・六、一六・六、一七・二〇他、二〇・四他、二一・八、二二・三、二六・五、ロマ一六・五、Iコリ一六・九、IIコリ一・八、IIテモ一・一五、默二・四 *すなわち、小アジヤの西海岸の州
10 ①使二・六、八・二七、②使二・二四、一三・一三、一七・五 ③創マタ二・一三、④使一七・七、二一・一一
11 ①創マタ三・五 *すなわち「ユダヤ教に回心した外国人」
12 ①使二・七
13 ①Iコリ一四・二三 *あるいは「発酵中の新しいぶどう酒」
14 ①使二・一五 *別訳「押し出されて」
15 ①創Iテサ五・七 *直訳「第三時」
17 ①ヨエ二・二八―三章
22 ①ロマ一〇・一三 ②使二・六、四・一〇 ③使二・一六、四・一〇 ④使二・一五、創ヨハ八・四、默 ⑤創ヨハ二・二三 ⑥使二・六、四・一〇 ⑦使二・二三、四・二八、創ルカ二二・二二、Iペテ一・二〇 *あるいは「律法のない者」「外国人(異教徒)」
24 ①使二・二三、ルカ二四・二〇 ②使二・二四、一三・三四、一七・三一、二〇・九、二三・一一、二六・八、二七・二四、二八・二一、Iコリ六・一四、Iテサ一・一〇、ヘブ一三・二〇、Iペテ一・二一 *直訳「陣痛」
25 ①詩一六・八―一一 ②使二・二五、ルカ二四・二〇

さらに私の肉体も望みの中に安らう。
27 あなたは私のましいをハデスに捨てて置かず、
2)あなたの聖者が朽ち果てるのを
*許しにならないからである。
28 あなたは、私にいのちの道を知らせ、
御顔を示して、私を喜びで満たしてくださる。』
29 兄弟たち。先祖ダビデについては、私はあなたがたに、確信をもって言うことができます。彼は死んで葬られ、その墓は今日まで私たちのところにあります。
30 彼は預言者でしたから、神が彼の子孫のひとりを彼の王位に着かせると誓って言われたことを知っていたのです。
31 それで後のことを予見して、キリストの復活について、『彼は ハデスに捨てて置かれず、その肉体は朽ち果てない。』と語ったのです。
32 神はこのイエスをよみがえらせました。私たちはみな、そのことの証人です。
33 ですから、神の右に上げられたイエスが、御父から約束された聖霊を受けて、今あなたがたが見聞きしているこの聖霊をお注ぎになったのです。
34 ダビデは天に上ったわけではありません。彼は自分でこう言っています。
『主は私の主に言われた。
35 わたしがあなたの敵をあなたの足台とするまでは
わたしの右の座に着いていなさい。』
36 ですから、イスラエルのすべての人々は、このことをはっきりと知らなければなりません。すなわち、神が、今や主ともキリストともされたこのイエスを、あなたがたは十字架につけたのです。」
37 人々はこれを聞いて心を刺され、ペテロとほかの使徒たちに、「兄弟たち。私たちはどうしたらよいでしょうか。」と言った。
38 そこでペテロは彼らに答えた。「悔い改めなさい。そして、それぞれ罪を赦していただくために、イエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば、賜物として聖霊を受けるでしょう。
39 なぜなら、この約束は、あなたがたと、その子どもたち、ならびにすべての遠くにいる人々、すなわち、私たちの神である主がお召しになる人々に与えられているからです。」
40 ペテロは、このほかにも多くのことばをもって、あかしをし、「この曲がった時代から*救われなさい。」と言って彼らに勧めた。
41 そこで、彼のことばを受け入れた者は、バプテスマを受けた。その日、三千人ほどが弟子に加えられた。
42 そして、彼らは使徒たちの教えを堅く守り、交わりをし、パンを裂き、祈りをしていた。
43 そして、一同の心に恐れが生じ、*使徒たちによって、多くの不思議なわざとあかしの奇蹟が行なわれた。
44 信者となった者たちはみないっしょにいて、いっさいの物を共有にしていた。
45 そして、資産や持ち物を売っては、それぞれの必要

27 ①㊐マタ二・三節、使二・三一 ②使二・三五
* 直訳「与える」
29 ①㊐使七・八節、ヘブ七・四 ②使二・三四、③Ⅰ列二・一〇 ④ルネ八・一六
30 ①ルマタ二・四節、Ⅱサム七・一二等、詩八九・三節、三二・一一
31 ①㊐マタ二・一三、使二・三七
32 ①使二・三四、三六、四・一〇等
ロマ四・二四、Ⅰコリ一五・一五、Ⅱコリ四・一四、ガラ一・一エペ二・一〇、コロ二・一二、ヘブ二・一〇
33 ①㊐使二・一、㊑マコ一六・一九
* 別訳「右手によって」
②ガラ三・一四、㊑ヨハ七・三九
③㊐使二・一四、④使二・一七、一〇・四五
㊐マタ三・一四、四五、五
34 ①詩一一〇・一、㊐マタ二二・四四、四五、ルカ二〇・四二、四三、㊐使二・三四
35 ①㊑ルカ二〇・四三、四四
37 ①㊑ルカ三・一〇、一二
38 ①使二・九等、㊑ルカ三・三、マコ一・四、②使八・一六
㊑マコ一六・一六
39 ①ロマ九・四、イザ五四・一三、五九・二一、ヨエ二・三、㊑エペ二・一三、②㊑エペ二・一七、ピリ二・一三、㊑マタ一七・一七
40 ①㊐ルカ一六・一六、②申三二・五
* 別訳「のがれなさい」
42 ①ルカ二四・三〇、使二・四六
②㊐使二・一四
Ⅰコリ一〇・一六、使二・四六
43 * 異本「エルサレムにおいて、使徒たちによって多くの不思議なわざとあかしの奇蹟が行なわれ、大いなる恐れがすべての上にあった」
44 ①㊐使四・三二、㊑使二・四五
45 ①㊑マタ六・二一、㊐使四・三四、三五

に応じて、みなに分配していた。
46 そして毎日、心を一つにして宮に集まり、*家で[2]パンを裂き、喜びと真心をもって食事をともにし、
47 神を賛美し、すべての民に好意を持たれた。主も毎日救われる人々を仲間に加えてくださった。

3 1 ペテロとヨハネは午後三時の祈りの時間に宮に上って行った。
2 すると、生まれつき足のきかない男が運ばれて来た。この男は、宮にはいる人たちから施しを求めるために、毎日「美しの門」という名の宮の門に置いてもらっていた。
3 彼は、ペテロとヨハネが宮にはいろうとするのを見て、施しを求めた。
4 ペテロは、ヨハネとともに、その男を見つめて、「私たちを見なさい。」と言った。
5 男は何かもらえると思って、ふたりに目を注いだ。
6 すると、ペテロは、「金銀は私にはない。しかし、私にあるものを上げよう。ナザレのイエス・キリストの名によって、歩きなさい。」と言って、
7 彼の右手を取って立たせた。するとたちまち、彼の足とくるぶしが強くなり、
8 おどり上がってまっすぐに立ち、歩きだした。そして歩いたり、はねたりしながら、神を賛美しつつ、ふたりといっしょに宮にはいって行った。
9 人々はみな、彼が歩きながら、神を賛美しているのを見た。
10 そして、これが、施しを求めるために宮の「美しの門」にすわっていた男だとわかると、この人の身に起こったことに驚き、あきれた。
11 この人が、ペテロとヨハネにつきまとっている間に、非常に驚いた人々がみないっせいに、ソロモンの廊という回廊にいる彼らのところに、やって来た。
12 ペテロはこれを見て、人々に向かってこう言った。
「イスラエル人たち。なぜこのことに驚いているのですか。なぜ、私たちが自分の力とか信仰深さとかによって彼を歩かせたかのように、私たちを見つめるのですか。
13 アブラハム、イサク、ヤコブの神、すなわち、私たちの先祖の神は、そのしもべイエスに栄光をお与えになりました。あなたがたは、この方を引き渡し、ピラトが釈放すると決めたのに、その面前でこの方を拒みました。
14 そのうえ、このきよい、正しい方を拒んで、人殺しの男を赦免するように要求し、
15 いのちの君を殺しました。しかし、神はこのイエスを死者の中からよみがえらせました。私たちはそのことの証人です。
16 そして、このイエスの御名が、その御名を信じる信仰のゆえに、あなたがたがいま見ており知っているこの人を強くしたのです。イエスによって与えられる信仰が、この人を皆さんの目の前で完全なからだにしたのです。

---

46 ①使2:22 *あるいは「家々で」
②ルカ24:53、使5:42
47 ①使2:43、②旧Ⅰコリ13:4 *あるいは「純真さ」
1 ①ルカ1:8、使3:1、10:3、②旧詩55:17、使10:30 *直訳「第九時」
②旧詩37:5、7、使10:35
マタ7:7-8
2 ①使14:8、②使3:10
3 ①ルカ1:8、②旧ルカ16:20
③ルカ1:8、使3:1、10、22
4 ①使4:10
5 ①使3:10、旧使3:2、3
6 ①使3:10、旧使3:2、3
7 ①使3:10
8 ①使14:10
9 ①旧使3:2、21
10 ①使3:2、旧ヨハ5:8
11 ①ルカ3:8、ヨハ10:23
*あるいは「柱廊」
12 ①マタ7:22、ヨハ3:21
ルカ24:19、使3:6、12、16、②使3:4、③使3:16、旧出3:6、15、マタ22:32、マコ12:26、ルカ20:37、④使3:13、旧出3:15、⑤使3:15、⑥旧詩118:22、使4:11
13 ①マタ27:2、②使3:15、7:52、22:14、③使3:26、④使5:30、⑤旧出3:6、15、マタ22:32、マコ12:26、ルカ20:37、⑥使3:15、⑦旧出3:15、⑧使5:31、⑨旧詩2:7、使13:33、⑩旧イザ42:1、49:3、52:13、53:11 *別訳「子」ギリシャ語「パイス」
14 ①使3:13、マタ27:16、ヨハ18:40、②使7:52、③旧マコ15:7、④使3:15、⑤旧マタ27:21、⑥旧ルカ23:18
15 ①使3:14、②使5:31、③旧ヘブ2:10、12:2
16 ①旧使3:6

17ですから、兄弟たち。私は知っています。あなたがたは、自分たちの指導者たちと同様に、無知のためにあのような行ないをしたのです。
18しかし、神は、すべての預言者たちの口を通して、キリストの受難をあらかじめ語っておられたことを、このように実現されました。
19そういうわけですから、あなたがたの罪をぬぐい去っていただくために、悔い改めて、神に立ち返りなさい。
20それは、主の御前から回復の時が来て、あなたがたのためにメシヤと定められたイエスを、主が遣わしてくださるためなのです。
21このイエスは、神が昔から、聖なる預言者たちの口を通してたびたび語られた、あの万物の改まる時まで、天にとどまっていなければなりません。
22モーセはこう言いました。『神である主は、あなたがたのために、私のようなひとりの預言者を、あなたがたの兄弟たちの中からお立てになる。この方があなたがたに語ることはみな聞きなさい。
23その預言者に聞き従わない者はだれでも、民の中から滅ぼし絶やされる。』
24また、サムエルをはじめとして、彼に続いて語ったすべての預言者たちも、今の時について宣べました。
25あなたがたは預言者たちの子孫です。また、神がアブラハムに、『あなたの子孫によって、地の諸民族はみな祝福を受ける。』と言って、あなたがたの先祖と結ばれたあの契約の子孫です。
26神は、まずそのしもべを立ててお遣わしになりました。それは、この方があなたがたを祝福して、ひとりひとりをその邪悪な生活から立ち返らせてくださるためなのです。」

4

1彼らが民に話していると、祭司たち、宮の守衛長、またサドカイ人たちがやって来たが、
2この人たちは、ペテロとヨハネが民を教え、イエスのことを例にあげて死者の復活を宣べ伝えているのに、困り果て、
3彼らに手をかけて捕えた。そして翌日まで留置することにした。すでに夕方だったからである。
4しかし、みことばを聞いた人々が大ぜい信じ、男の数が五千人ほどになった。
5翌日、民の指導者、長老、学者たちは、エルサレムに集まった。
6大祭司アンナス、カヤパ、ヨハネ、アレキサンデル、そのほか大祭司の一族もみな出席した。
7彼らは使徒たちを真中に立たせて、「あなたがたは何の権威によって、また、だれの名によってこんなことをしたのか。」と尋問しだした。
8そのとき、ペテロは聖霊に満たされて、彼らに言った。「民の指導者たち、ならびに長老の方々。
9私たちがきょう取り調べられているのが、病人に行なった良いわざについてであり、その人が何によって

17 ①㊐ルカ二三・一三、②㊎ルカ三・一四、使三・一七、三・九、㊐ヨハ一六・三、エペ四・一八
18 ①㊐使三・一八、②㊐ルカ二四・二六、㊎使七・五二、三六・三三
＊あるいは「メシヤ」―油注がれた者
19 ①㊐使三・一六、三・二〇
20 ①㊎Ⅱテサ一・七、へブ四・一以下
＊直訳「キリスト」
21 ①ルカ一・七〇、②㊎マタ一七・一一、ロマ八・二一、③使一・一一
22 ①申一八・一五、使七・三七
＊別訳「私を立てられたように、ひとりの預言者を」
23 ①申一八・一九、②使三・二三
24 ①㊐ルカ二四・二七、㊎使三・一八、三六・三三
25 ①㊎使三・二五、②創二二・一八、③㊎ロマ九・四、五
26 ①使三・二六、ロマ一・一六、三・二九、二一、㊎使一三・四六、ヨハ八・四、三
＊別訳「子」ギリシヤ語「パイス」
②㊐使三・二四
1 ①㊐ルカ二二・四、②㊐マタ二一・七、③㊐ルカ二〇・一、使四・一
2 ①㊎使二・一八、㊐使三・五
3 ①㊎使二・八
4 ①㊎使二四
5 ①㊐ルカ二三・一三、使四・八
6 ①㊐ルカ二二・一、②㊐マタ二六・三
8 ①使二・四、㊐使二・四
9 ①使三・八、②㊐ルカ二三・一三、使四・五
＊別訳「だれによって」

いやされたか、ということのためであるなら、
10 皆さんも、またイスラエルのすべての人々も、よく
知ってください。この人が直って、あなたがたの前に
立っているのは、あなたがたが十字架につけ、神が死
者の中からよみがえらせたナザレ人イエス・キリスト
の御名によるのです。
11 『あなたがた家を建てる者たちに捨てられた石が、
礎の石となった。』というのはこの方のことです。
12 この方以外には、だれによっても救いはありません。
世界中でこの御名のほかには、私たちが救われるべき
名としては、どのような名も、人間に与えられていな
いからです。」
13 彼らはペテロとヨハネとの大胆さを見、またふた
りが無学な、普通の人であるのを知って驚いたが、ふ
たりがイエスとともにいたのだ、ということがわかっ
て来た。
14 そればかりでなく、いやされた人がふたりといっし
よに立っているのを見ては、返すことばもなかった。
15 彼らはふたりに議会から退場するように命じ、そし
て互いに協議した。
16 彼らは言った。「あの人たちをどうしよう。あの人た
ちによって著しいしるしが行なわれたことは、エルサ
レムの住民全部に知れ渡っているから、われわれはそ
れを否定できない。
17 しかし、これ以上民の間に広がらないために、今後
だれにもこの名によって語ってはならないと、彼らを
きびしく戒めよう。」
18 そこで彼らを呼んで、いっさいイエスの名によって
語ったり教えたりしてはならない、と命じた。
19 ペテロとヨハネは彼らに答えて言った。「神に聞き
従うより、あなたがたに聞き従うほうが、神の前に正
しいかどうか、判断してください。
20 私たちは、自分の見たこと、また聞いたことを、話
さないわけにはいきません。」
21 そこで、彼らはふたりをさらにおどしたうえで、釈
放した。それはみなの者が、この出来事のゆえに神を
あがめていたので、人々の手前、ふたりを罰するすべ
がなかったからである。
22 この奇蹟によっていやされた男は四十歳余りであっ
た。
23 釈放されたふたりは、仲間のところへ行き、祭司
長たちや長老たちが彼らに言ったことを残らず報告し
た。
24 これを聞いた人々はみな、心を一つにして、神に向
かい、声を上げて言った。「主よ。あなたは天と地と海
とその中のすべてのものを造られた方です。
25 あなたは、聖霊によって、あなたのしもべであり私
たちの先祖であるダビデの口を通して、こう言われま
した。
『なぜ異邦人たちは騒ぎ立ち、
もろもろの民はむなしいことを計るのか。
26 地の王たちは立ち上がり、

10 ①脚使二・二四、②脚使三・六
旧使三・三
* あるいは「においてです」
11 ①詩一八・二二、脚マタ二一・四二
②マコ九・一二
12 ①旧Ⅰテモ二・五、マタ一・二一
使一〇・四三
13 ①脚ルカ二三・八、使四・一九
②脚使六・一二、③旧ヨハ七・一五
15 ①脚マタ二六・三
16 ①旧ヨハ二一・二四、②使三・一〇
17 ①旧ヨハ一二・四二
18* あるいは「のっとって」
①旧使五・二八、二九
19 ①脚使四・一二、②旧使五・二九
20 ①旧Ⅰコリ九・一六
21 ①脚マタ九・八、②使二・四六
24 ①出二〇・一一、詩一四六・六
25 ①旧使一・一六
* 「を通して」は補足
②詩二・一
** あるいは「諸国民」
26 ①詩二・二
* 別訳「来て」

指導者たちは、主とキリストに反抗して、
一つに組んだ。』
27事実、[1]ヘロデとポンテオ・ピラトは、異邦人やイスラエルの民といっしょに、あなたが油を注がれた、あなたの聖なるしもべイエスに逆らってこの都に集まり、
28あなたの御手とみこころによって、あらかじめお定めになったことを行ないました。
29主よ。*いま彼らの脅かしをご覧になり、あなたのしもべたちにみことばを大胆に語らせてください。
30御手を伸ばしていやしを行なわせ、あなたの聖なるしもべイエスの御名によって、しるしと不思議なわざを行なわせてください。」
31彼らがこう祈ると、その集まっていた場所が震い動き、一同は聖霊に満たされ、みことばを大胆に語りだした。
32信じた者の群れは、心と思いを一つにして、だれひとりその持ち物を自分のものと言わず、すべてを共有にしていた。
33使徒たちは、主イエスの*復活を非常に力強くあかしし、大きな恵みがそのすべての者の上にあった。
34彼らの中には、ひとりも乏しい者がなかった。地所や家を持っている者は、それを売り、代金を携えて来て、
35使徒たちの足もとに置き、その金は必要に従っておのおのに分け与えられたからである。
36キプロス生まれのレビ人で、使徒たちによってバルナバ（訳すと、慰めの子）と呼ばれていたヨセフも、
37畑を持っていたので、それを売り、その代金を持って来て、使徒たちの足もとに置いた。

5

1ところが、アナニヤという人は、
妻のサッピラとともにその持ち物を売り、
2妻も承知のうえで、その代金の一部を残しておき、ある部分を持って来て、使徒たちの足もとに置いた。
3そこで、ペテロがこう言った。「アナニヤ。どうしてあなたはサタンに心を奪われ、聖霊を欺いて、地所の代金の一部を自分のために残しておいたのか。
4それはもともとあなたのものであり、売ってからもあなたの*自由になったのではないか。なぜこのようなことをたくらんだのか。あなたは人を欺いたのではなく、神を欺いたのだ。」
5アナニヤはこのことばを聞くと、倒れて息が絶えた。そして、これを聞いたすべての人に、非常な恐れが生じた。
6青年たちは立って、彼を包み、運び出して葬った。
7三時間ほどたって、彼の妻はこの出来事を知らずにはいって来た。
8ペテロは彼女にこう言った。「あなたがたは地所をこの値段で売ったのですか。私に言いなさい。」彼女は「はい。その値段です。」と言った。
9そこで、ペテロは彼女に言った。「どうしてあなたがたは心を合わせて、主の御霊を試みたのですか。見な

---

27 ①参マタ四・一、②ルカ三・二、参マタ二七・二
*参使四・二七、参使四・二八
28 ①参使二・二三、②参使二・三
29 *別訳「今の事情について」
①使二・二三、脱使四・二九
②ピリ一・一四
30 ①使二・七、参使三・一三
*参使三・一三注
31 ①脱使二・一、②参使二・四
②参ヨハ一四・二六
③使四・一、脱使四・二九
④ピリ一・一四
32 *あるいは「仲間」
①使二・四四
33 *ある異本は「キリスト」を加えている
①使二・八、②脱ルカ二四・四六
34 ①脱マタ九・二、使二・四五
35 ①使四・三七、三七、②脱使六・一、二・一
36 ①脱使一二・二、三、一四・一五・一六、②使九・三六、一三・三六、一六・三九、一三・三六、三九、一六・三九、Ⅰコリ一五・八、ガラ一・一九、二・九、Ⅰコリ一五・七、②使二一・八、Ⅰコリ一六・一五、Ⅰテサ二・一九
脱使二一・四、一三
*別訳「慰めの子」
37 ①使四・三六、三七
2 *あるいは「と共謀して」
①使五・二、②使四・三七、三七
3 ①参マタ四・一〇、脱ルカ三・三
ヨハ一三・二七、②脱使五・四、九
③使五・二
4 *直訳「権威のうちにある」
①参使二・三八
5 ①使五・一〇、脱エゼ二一・二
②使五・一一、脱ヨハ八・四五
6 ①脱ヨハ八・五九
8 ①参使五・二、②使五・二
9 ①参使五・二、脱使五・一〇

さい、あなたの夫を葬った者たちが、戸口に来ていて、あなたをも運び出します。」
10 すると彼女は、たちまちペテロの足もとに倒れ、息が絶えた。はいって来た青年たちは、彼女が死んだのを見て、運び出し、夫のそばに葬った。
11 そして、教会全体と、このことを聞いたすべての人たちとに、非常な恐れが生じた。
12 また、使徒たちの手によって、多くのしるしと不思議なわざが人々の間で行なわれた。みなは一つ心になってソロモンの廊にいた。
13 ほかの人々は、ひとりもこの交わりに加わろうとしなかったが、その人々は彼らを尊敬していた。
14 それればかりか、主を信じる者は男も女もますますふえていった。
15 ついに、人々は病人を大通りへ運び出し、寝台や寝床の上に寝かせ、ペテロが通りかかるときには、せめてその影でも、だれかにかかるようにするほどになった。
16 また、エルサレムの付近の町々から、大ぜいの人が、病人や、汚れた霊に苦しめられている人などを連れて集まって来たが、その全部がいやされた。
17 そこで、大祭司とその仲間たち全部、すなわちサドカイ派の者はみな、ねたみに燃えて立ち上がり、
18 使徒たちを捕え、留置場に入れた。
19 ところが、夜、主の御使いが牢の戸を開き、彼らを連れ出し、
20 「行って宮の中に立ち、人々にこのいのちのことばを、ことごとく語りなさい。」と言った。
21 彼らはこれを聞くと、夜明けごろ宮にはいって教え始めた。一方、大祭司とその仲間たちは集まって来て、議会とイスラエル人のすべての長老を召集し、使徒たちを引き出して来させるために、人を獄舎にやった。
22 ところが役人たちが行ってみると、牢の中には彼らがいなかったので、引き返してこう報告した。
23 「獄舎は完全にしまっており、番人たちが戸口に立っていましたが、あけてみると、中にはだれもおりませんでした。」
24 宮の守衛長や祭司長たちは、このことばを聞いて、いったいこれはどうなって行くのかと、使徒たちのことで当惑した。
25 そこへ、ある人がやって来て、「大変です。あなたがたが牢に入れた人たちが、宮の中に立って、人々を教えています。」と告げた。
26 そこで、宮の守衛長は役人たちといっしょに出て行き、使徒たちを連れて来た。しかし、手荒なことはしなかった。人々に石で打ち殺されるのを恐れたからである。
27 彼らが使徒たちを連れて来て議会の中に立たせると、大祭司は使徒たちを問いただして、
28 言った。「あの名によって教えてはならないときびしく命じておいたのに、何ということだ。エルサレム中にあなたがたの教えを広めてしまい、そのうえ、あ

10 ①㊂使五・五、民エゼ二・三
11 ①使五・五・三四
12 * 直訳「を通して」 ①㊂ヨハ四・四八、②使二・二
ヨハ一〇・三
13 ①使二・四七、民使四・二一
14 ①㊂Ⅱコリ六・二五、②使二・四七、二・三四
15 ①民使二九・三
17 ①㊂マタ三・七、民使四・一
18 * 直訳「に手をかけ」 ①使四・三
19 ①マタ一・二〇、二四、三・一、二九・三六・ニ、ルカ二・二、九、使六・三六、三・七、三、民使一〇・三、七・三
20 ①民ヨハ六・六三、六六
* あるいは「語り続けなさい」
21 ①民ヨハ八・二、②民四四・六、③㊂マタ二・三、使五・二一、四二
22 ①㊂マタ二六・五六、使五・二六
24 ①㊂使四・一、五・二六
25 * 直訳「見よ」
26 ①㊂使五・二四、②㊂使五・三
③使四・二一、㊂使五・二六
27 ①㊂マタ五・二二、使五・二一、四四
28 ①使四・一八、②使二・三三、五六・二四、民使七・五三、マタ二七・二五、二七・三五

の人の血の責任をわれわれに負わせようとしているではないか。」

29 ペテロをはじめ使徒たちは答えて言った。「[1]人に従うより、神に従うべきです。

30 私たちの先祖の神は、あなたがたが十字架にかけて[2]*殺したイエスを、よみがえらせたのです。

31 そして神は、イスラエルに悔い改めと罪の赦しを与えるために、このイエスを君とし、救い主として、ご自分の右に上げられました。

32 私たちはそのことの証人です。神がご自分に従う者たちにお与えになった聖霊もそのことの証人です。」

33 彼らはこれを聞いて怒り狂い、使徒たちを殺そうと計った。

34 ところが、すべての人に尊敬されている律法学者で、ガマリエルというパリサイ人が議会の中に立ち、使徒たちをしばらく外に出させるように命じた。

35 それから、議員たちに向かってこう言った。「イスラエルの皆さん。この人々をどう扱うか、よく気をつけてください。

36 というのは、先ごろチゥダが立ち上がって、自分を何か偉い者のように言い、彼に従った男の数が四百人ほどありましたが、結局、彼*は殺され、従った者はみな散らされて、あとかたもなくなりました。

37 その後、人口調査のとき、ガリラヤ人ユダが立ち上がり、民衆をそそのかして反乱を起こしましたが、自分は滅び、従った者たちもみな散らされてしまいました。

38 そこで今、あなたがたに申したいのです。あの人たちから手を引き、放っておきなさい。もし、その計画や行動が人から出たものならば、自滅してしまうでしょう。

39 しかし、もし神から出たものならば、あなたがたには彼らを滅ぼすことはできないでしょう。もしかすれば、あなたがたは神に敵対する者になってしまいます。」彼らは彼に説得され、

40 使徒たちを呼んで、彼らをむちで打ち、イエスの名によって語ってはならないと言い渡したうえで釈放した。

41 そこで、使徒たちは、御名のためにはずかしめられるに値する者とされたことを喜びながら、議会から出て行った。

42 そして、毎日、宮や家々で教え、イエスがキリストであることを宣べ伝え続けた。

6

1 そのころ、弟子たちがふえるにつれて、ギリシャ語を使うユダヤ人たちが、ヘブル語を使うユダヤ人たちに対して苦情を申し立てた。彼らのうちのやもめたちが、毎日の配給でなおざりにされていたからである。

2 そこで、十二使徒は弟子たち全員を呼び集めてこう言った。「私たちが神のことばをあと回しにして、食卓のことに仕えるのはよくありません。

3 そこで、兄弟たち。あなたがたの中から、御霊と知

---

29 ①使5:1,29
30 ①使3:13,②使10:39,旧使二:二六、ガラ三:一三、Ⅰペテ二:二四 *直訳「木」
31 ①ルカ二四:四七、旧使三:一五 ②使3:15,③使5:31 *あるいは「乱暴を働いた」
32 *異本「彼にあって」または「彼について」を加える ①使1:8,②ヨハ一五:二六、使一三:三、ロマ八:一六、ヘブ二:四
33 ①使7:54,旧使二:三七 *直訳「(心を)のこぎりで引き切る」
34 ①ルカ二:25,ヨハ三:一、②使5:34,③使5:21,22
36 ①使5:24,旧ガラ二:六、六:三
37 ①使5:24,二:三
38 ①旧マコ二:一三
39 ①旧使二:一七、箴二:三
40 ①使5:21,マタ一〇:一七
41 ①使5:34,二:一三、②Ⅰペテ四:一四、一六、③使5:21
42 ①使2:46,②使5:21,③使八:三五、二〇:二〇、二八:三一、ガラ一:一六
1 ①使2:41,二:五、②使二:四注、③Ⅱコリ二:一三、ピリ三:五、④旧使二:五、四:一、旧エレ三:一五、⑤旧使四:三五、二:一五
2 *あるいは「の群れ」
3 ①使1:15,旧ヨハ二:一三、②旧使二:四

恵とに満ちた、評判の良い人たち七人を選びなさい。私たちはその人たちをこの仕事に当たらせることにします。

4そして、私たちは、もっぱら祈りとみことばの奉仕に励むことにします。」

5この提案は全員の承認するところとなり、彼らは、信仰と聖霊とに満ちた人ステパノ、およびピリポ、プロコロ、ニカノル、テモン、パルメナ、アンテオケの改宗者ニコラオを選び、

6この人たちを使徒たちの前に立たせた。そこで使徒たちは祈って、手を彼らの上に置いた。

7こうして神のことばは、ますます広まって行き、エルサレムで、弟子の数が非常にふえて行った。そして、多くの祭司たちが次々に信仰にはいった。

8さて、ステパノは恵みと力とに満ち、人々の間で、すばらしい不思議なわざとしるしを行なっていた。

9ところが、いわゆるリベルテンの会堂に属する人々で、クレネ人、アレキサンドリヤ人、キリキヤやアジヤから来た人々などが立ち上がって、ステパノと議論した。

10しかし、彼が知恵と御霊によって語っていたので、それに対抗することができなかった。

11そこで、彼らはある人々をそそのかし、「私たちは彼がモーセと神とをけがすことばを語るのを聞いた。」と言わせた。

12また、民衆と長老たちと律法学者たちを扇動し、彼を襲って捕え、議会にひっぱって行った。

13そして、偽りの証人たちを立てて、こう言わせた。「この人は、この聖なる所と律法とに逆らうことばを語るのをやめません。

14『あのナザレ人イエスはこの聖なる所をこわし、モーセが私たちに伝えた慣例を変えてしまう。』と彼が言うのを、私たちは聞きました。」

15議会で席に着いていた人々はみな、ステパノに目を注いだ。すると彼の顔は御使いの顔のように見えた。

7

1大祭司は「そのとおりか。」と尋ねた。

2そこでステパノは言った。「兄弟たち、父たちよ。聞いてください。私たちの父祖アブラハムが、カランに住む以前まだメソポタミヤにいたとき、栄光の神が彼に現われて、

3『あなたの土地とあなたの親族を離れ、わたしがあなたに示す地に行け。』と言われました。

4そこで、アブラハムはカルデヤ人の地を出て、カランに住みました。そして、父の死後、神は彼をそこから今あなたがたの住んでいるこの地にお移しになりましたが、

5ここでは、足の踏み場となるだけのものさえも、相続財産として彼にお与えになりませんでした。それでも、子どももなかった彼に対して、この地を彼とその子孫に財産として与えることを約束されたのです。

6また神は次のようなことを話されました。『彼の子

4 ①参使二・一四
5 * あるいは「すべての群れ」 ①使六・三、比使二・二四、②使六・八以下、二・一九、三・一〇、③使六・五以下、二・八、④参使二・一九、⑤参マタ三・一五
6 ①参使二・二四、②使二・一、Ⅰテモ四・一四、Ⅱテモ一・六、比民八・一二、三・一八、申二四・九、比使六・一四以下、九・一七、一九・六、ヘブ六・一、参ヨハ一四・六
7 ①使二・二四、二九、三・一三、②比使二四・一、ガラ一・一三、六・一〇、ユダ三・三
8 ①参ヨハ一四・一六
9 ①比使三・一〇、参マタ七・二三、②比使六・一四他、③比使二・一、三・一四、二一、二六、三・三、三四、ガラ一・一三、④比使二六・六、一〇、二一、二七、二四・六他 * すなわち「小アジヤの西海岸の州」
10 ①使四・一、ルカ三・一、②参マタ三・三
11 ①参マタ三・一
12 ①参マタ二・九、比使七・英、②参マタ二四・三、使三・一六、比使三六・八
13 ①参マタ二六・六一、比使七・英、②参マタ二四・三、比使三六・八
14 ①参マタ二六・六一、②使二・三、三・一二、二六、三・一七
15 ①参マタ五・三
1 ①使三・一、②詩二六・三、比Ⅰコリ三・六、③創二一・三、二五・七他
3 ①創三・一
4 ①創二一・三、二五・七他、②創三一・五
5 ①創三一・七、一七・八他
6 ①創一五・一三、一四

孫は外国に移り住み、四百年間、奴隷にされ、虐待される。』

7 そして、こう言われました。『彼らを奴隷にする国民は、わたしがさばく。その後、彼らはのがれ出て、この所で、わたしを礼拝する。』

8 また神は、アブラハムに割礼の契約をお与えになりました。こうして、彼にイサクが生まれました。彼は八日目にイサクに割礼を施しました。それから、イサクにヤコブが生まれ、ヤコブに十二人の族長が生まれました。

9 族長たちはヨセフをねたんで、彼をエジプトに売りとばしました。しかし、神は彼とともにおられ、

10 あらゆる患難から彼を救い出し、エジプト王パロの前で、恵みと知恵をお与えになったので、パロは彼をエジプトと王の家全体を治める大臣に任じました。

11 ところが、エジプトとカナンとの全地にききんが起こり、大きな災難が襲って来たので、私たちの先祖たちには、食物がなくなりました。

12 しかし、ヤコブはエジプトに穀物があると聞いて、初めに私たちの先祖たちを遣わしました。

13 二回目のとき、ヨセフは兄弟たちに、自分のことを打ち明け、ヨセフの家族のことがパロに明らかになりました。

14 そこで、ヨセフは人をやって、父ヤコブと七十五人の全親族を呼び寄せました。

15 ヤコブはエジプトに下り、そこで彼も私たちの先祖たちも死にました。

16 そしてシケムに運ばれ、かねてアブラハムがいくらかの金でシケムのハモルの子から買っておいた墓に葬られました。

17 神がアブラハムにお立てになった約束の時が近づくにしたがって、民はエジプト中にふえ広がり、

18 ヨセフのことを知らない別の王がエジプトの王位につくときまで続きました。

19 この王は、私たちの同胞に対して策略を巡らし、私たちの先祖を苦しめて、幼子を捨てさせ、生かしておけないようにしました。

20 このようなときに、モーセが生まれたのです。彼は神の目にかなった、かわいらしい子で、三か月の間、父の家で育てられましたが、

21 ついに捨てられたのをパロの娘が拾い上げ、自分の子として育てたのです。

22 モーセはエジプト人のあらゆる学問を教え込まれ、ことばにもわざにも力がありました。

23 四十歳になったころ、モーセはその兄弟であるイスラエル人を、顧みる心を起こしました。

24 そして、同胞のひとりが虐待されているのを見て、その人をかばい、エジプト人を打ち倒して、乱暴されているその人の仕返しをしました。

25 彼は、自分の手によって神が兄弟たちに救いを与えようとしておられることを、みなが理解してくれるものと思っていましたが、彼らは理解しませんでした。

---

7 ①出三・一二
* あるいは「に仕える」
8 ①創一七・一〇以下、②創二一・一四、③創三四・二六、④創二九・三二以下、三〇・五以下、三五・二三以下、⑤ルカ使二・三九
9 ①創三七・二八、詩一〇五・一七、②創三九・二、三、二一、三
10 ①創三九・二一、四一・四〇、詩一〇五・二一
11 ①創四一・五四、四二・五、四三・一
12 ①創四二・二
13 ①創四五・一、四
14 ①創四六・二七、②ルカ使七・一四、三節、出一・五、申一〇・二二
15 ①創四九・三三、四九・三三、出一・六
16 ①ルカ使七・一六、ヨシ二四・三二、創三三・一九、ヨシ二四・三二
* ギリシヤ語「エモル」
17 ①出一・七、八
18 ①出一・八
* 直訳「に起こるとき」
19 ①出一・一〇、一一、二二以下
20 ①出二・二
* 直訳「神に」
21 ①出二・五、六、一〇
22 ①ルカ1列四・三三、イザ一九・一二
23 ①出二・一一、三
24 * 「同胞の」は補足
25 * 別訳「解放」

26 翌日彼は、兄弟たちが争っているところに現われ、
和解させようとして、『あなたがたは、兄弟なのだ。それ
なのにどうしてお互いに傷つけ合っているのか。』と
言いました。
27 すると、隣人を傷つけていた者が、モーセを押しの
けてこう言いました。『だれがあなたを、私たちの支配
者や裁判官にしたのか。
28 きのうエジプト人を殺したように、私も殺す気か。』
29 このことばを聞いたモーセは、逃げてミデアンの地
に身を寄せ、そこで男の子ふたりをもうけました。
30 四十年たったとき、御使いが、モーセに、シナイ山
の荒野で柴の燃える炎の中に現われました。
31 その光景を見たモーセは驚いて、それをよく見よう
として近寄ったとき、主の御声が聞こえました。
32『わたしはあなたの先祖の神、アブラハム、イサク、
ヤコブの神である。』そこで、モーセは震え上がり、
見定める勇気もなくなりました。
33 すると、主は彼にこう言われたのです。『あなたの足
のくつを脱ぎなさい。あなたの立っている所は聖なる
地である。
34 わたしは、確かにエジプトにいるわたしの民の苦難
を見、そのうめき声を聞いたので、彼らを救い出すた
めに下って来た。さあ、行きなさい。わたしはあなた
をエジプトに遣わそう。』
35『だれがあなたを支配者や裁判官にしたのか。』と言
って人々が拒んだこのモーセを、神は柴の中で彼に現
われた御使いの手によって、支配者また解放者として
お遣わしになったのです。
36 この人が、彼らを導き出し、エジプトの地で、紅海
で、また四十年間荒野で、不思議なわざとしるしを行
ないました。
37 このモーセが、イスラエルの人々に、『神はあなたが
たのために、私のようなひとりの預言者を、あなたが
たの兄弟たちの中からお立てになる。』と言ったので
す。
38 また、この人が、シナイ山で彼に語った御使いや私
たちの先祖たちとともに、荒野の集会において、生け
るみことばを授かり、あなたがたに与えたのです。
39 ところが、私たちの先祖たちは彼に従うことを好ま
ず、かえって彼を退け、エジプトをなつかしく思って、
40『私たちに、先立って行く神々を作ってください。私
たちをエジプトの地から導き出したモーセは、どうな
ったのかわかりませんから。』とアロンに言いました。
41 そのころ彼らは子牛を作り、この偶像に供え物をさ
さげ、彼らの手で作った物を楽しんでいました。
42 そこで、神は彼らに背を向け、彼らが天の星に仕え
るままにされました。預言者たちの書に書いてあると
おりです。
『イスラエルの家よ。あなたがたは
荒野にいた四十年の間に、
ほふられた獣と供え物とを、
わたしにささげたことがあったか。

26 ①出二・一三、一四
27 ①出二・一四、使七・三五
28 ①出二・一四
29 ①出二・一五、三
30 ①出三・一、二
32 ①出三・六
33 ①出三・五
34 ①出三・七、②出三・一〇
35 ①創使七・二七
36 ①出三・一二、一七、民一四・三五、ヘブ八・九、②出二六・一〇、ヘブ二・八、九、③出七・三、ヨハ四・四八
37 *別訳「私を立てられたように、ひとりの預言者を」 ①申一八・一五、使三・二二
38 ①出使七・三五、②出出二九・一七、*ギリシヤ語「エクレシヤ」、③出申三一・一九、ヘブ五・一二、④ロマ三・二、ヘブ五・一二、Ⅰペテ四・一一
39 ①民一四・二、四 *直訳「心中で振り向き」
40 ①出三二・一、二三
41 ①出三二・四、六、②創黙九・二〇
42 ①ヨシ二四・二〇、イザ三〇・一〇、エレ七・一八、エゼ二〇・二九、②アモ五・二五、③創使七・四二

あなたがたは、モロクの幕屋と
*ロンパの神の星をかついでいた。
それらは、あなたがたが拝むために
作った偶像ではないか。
それゆえ、わたしは、あなたがたを
バビロンのかなたへ移す。』

私たちの先祖のためには、荒野にあかしの幕屋があ
りました。それは、見たとおりの形に造れとモーセに
言われた方の命令どおりに、造られていました。
私たちの先祖は、この幕屋を次々に受け継いで、神
が先祖たちの前から異邦人を追い払い、その領土を取
らせてくださったときには、ヨシュアとともにそれを
運び入れ、ついにダビデの時代となりました。
ダビデは神の前に恵みをいただき、ヤコブの神のた
めに御住まいを得たいと願い求めました。
けれども、神のために家を建てたのはソロモンでし
た。
しかし、いと高き方は、手で造った家にはお住みに
なりません。預言者が語っているとおりです。
『主は言われる。
天はわたしの王座、
地はわたしの足台である。
あなたがたは、どのような家を
わたしのために建てようとするのか。
わたしの休む所とは、どこか。
わたしの手が、これらのものを
みな、造ったのではないか。』

かたくなで、心と耳とに割礼を受けていない人たち。あなたがたは、先祖たちと同様に、いつも聖霊に逆らっているのです。
あなたがたの先祖が迫害しなかった預言者がだれかあったでしょうか。彼らは、正しい方が来られることを前もって宣べた人たちを殺したが、今はあなたがたが、この正しい方を裏切る者、殺す者となりました。
あなたがたは、御使いたちによって定められた律法を受けたが、それを守ったことはありません。」
人々はこれを聞いて、はらわたが煮え返る思いで、ステパノに向かって歯ぎしりした。
しかし、聖霊に満たされていたステパノは、天を見つめ、神の栄光と、神の右に立っておられるイエスとを見て、
こう言った。「見なさい。天が開けて、人の子が神の右に立っておられるのが見えます。」
人々は大声で叫びながら、耳をおおい、いっせいにステパノに殺到した。
そして彼を町の外に追い出して、石で打ち殺した。証人たちは、自分たちの着物をサウロという青年の足もとに置いた。
こうして彼らがステパノに石を投げつけていると、ステパノは主を呼んで、こう言った。「主イエスよ。私の霊をお受けください。」
そして、ひざまずいて、大声でこう叫んだ。「主よ。

43 ①アモ五・二六・二七 *異本「ロンパン」「レンパム」「ライパン」「レパン」等
44 ①出二五・九、二六・二 ①ヨシ一八・一以下、二一・二、二二・二、八、申三一・二四以下、詩一〇四・二、三
45 ①Ⅱサム七・八以下、詩一三二・一以下、*ごく初期の写本に「家」とあるものが多い。七十人訳は「神」(詩一三二・五)である
47 ①Ⅰ列六・一
48 ①創ルカ一・三
49 ①イザ六六・一、*マタ五・三四・三五
50 ①イザ六六・二
51 ①出三二・九、三三・三、レビ二六・四一、民一四・一四、イザ六三・一〇 エレ六・一〇、九・二六
52 ①Ⅱ歴二四・二〇、マタ二三・三一、三四、②使三・一四、①使三・一四、Ⅰヨハ二・一、③①使三・一四、④使五・三六
53 ①使二・三、ガラ三・一九、ヘブ二・二、*直訳「心をこのこぎりで引き切る」
54 ①使五・三三、②③マコ一六・一九
55 ①③使二・四、②③ヨハ一・五一
56 ①③ヨハ一・五一、②③マタ八・三
58 ①レビ二四・一六、①ルカ四・二九、②①使六・一三、申一三・九、一〇、一七・七、③①使六・一三、①使六・一四、④使三・一三
59 *「主を」は補足 ①①使六・一四、一三・一六、ロマ一〇・一三、一四、Ⅰコリ一・二
60 ①③ルカ二三・五一

この罪を彼らに負わせないでください。」こう言って、眠りについた。

8 1サウロは、ステパノを殺すことに賛成していた。

その日、エルサレムの教会に対する激しい迫害が起こり、使徒たち以外の者はみな、ユダヤとサマリヤの諸地方に散らされた。2敬虔な人たちはステパノを葬り、彼のために非常に悲しんだ。3サウロは教会を荒らし、家々にはいって、男も女も引きずり出し、次々に牢に入れた。

4他方、散らされた人たちは、みことばを宣べながら、巡り歩いた。5ピリポはサマリヤの町に下って行き、人々にキリストを宣べ伝えた。6群衆はピリポの話を聞き、その行なっていたしるしを見て、みなそろって、彼の語ることに耳を傾けた。7汚れた霊につかれた多くの人たちからは、その霊が大声で叫んで出て行くし、大ぜいの中風の者や足のきかない者は直ったからである。8それでその町に大きな喜びが起こった。

9ところが、この町にシモンという人がいた。彼は以前からこの町で魔術を行なって、サマリヤの人々を驚かし、自分は偉大な者だと話していた。10小さな者から大きな者に至るまで、あらゆる人々が彼に関心を抱き、「この人こそ、大能と呼ばれる、神の力だ。」と言っていた。11人々が彼に関心を抱いたのは、長い間、その魔術に驚かされていたからである。12しかし、ピリポが神の国とイエス・キリストの御名について宣べるのを信じた彼らは、男も女もバプテスマを受けた。13シモン自身も信じて、バプテスマを受け、いつもピリポについていた。そして、しるしとすばらしい奇蹟が行なわれるのを見て、驚いていた。

14さて、エルサレムにいる使徒たちは、サマリヤの人々が神のことばを受け入れたと聞いて、ペテロとヨハネを彼らのところへ遣わした。15ふたりは下って行って、人々が聖霊を受けるように祈った。16彼らは主イエスの御名によってバプテスマを受けていただけで、聖霊がまだだれにも下っておられなかったからである。17ふたりが彼らの上に手を置くと、彼らは聖霊を受けた。18使徒たちが手を置くと聖霊が与えられるのを見たシモンは、使徒たちのところに金を持って来て、19「私が手を置いた者がだれでも聖霊を受けられるように、この権威を私にも下さい。」と言った。20ペテロは彼に向かって言った。「あなたの金は、あなたとともに滅びるがよい。あなたは金で神の賜物を手に入れようと思っているからです。

60 ②マタ五・四四。 ㊀ルカ三・三四
③ダニ二・二。マタ七・三三
ヨハ二・二三。使三・一六
Ⅰコリ一・六。二・八。Ⅰテサ一・二。Ⅱペテ三・四
1 ①使七・三。三・一四。 ㊀使六・一〇
②㊂使二・三一。③使一・八。六・五。一四。 ㊀使一・三一。④使八・四。一二・一九
3 ①使九・一。三・二。三四。一六。二六・一〇。一二。Ⅰコリ一五・九。ガラ一・一三。ピリ三・六。Ⅰテモ一・一三
②㊀ヤコ二・六
4 ①㊂使八・一。②使八・二。五・三五
5 ①㊂使六・五。八・五。三他
7 ①㊀マコ一六・一七。②㊂マタ四・二四
8 ①使八・六。 ㊀ヨハ四・四〇。四二
9 ①使八・二。三・六。②㊂使五・三六
10 ①㊀使一四・一一。二六・六
11 ①㊂使八・九。三・六
12 ①使八・四。 ㊀使一・三。②㊂使二・三六
13 ①使八・六。②㊀使一九・一二
14 ①使八・一。②㊂ルカ三・一八
15 ①使三・三。 ㊀使一九・二
16 ①㊂マタ二八・一九
17 ①㊂使八・六。マコ一六・三三
②使三・四
20 ①使三・六。 ㊀マタ一〇・八
イザ五五・一。Ⅱ列五・一六。ダニ五・一七

21 あなたは、このことについては何の関係もないし、
それにあずかることもできません。あなたの心が神の
前に正しくないからです。
22 だから、この悪事を悔い改めて、主に祈りなさい。
あるいは、心に抱いた思いが赦されるかもしれません。
23 あなたはまだ苦い胆汁と不義のきずなの中にいるこ
とが、私にはよくわかっています。」
24 シモンは答えて言った。「あなたがたの言われた事
が何も私に起こらないように、私のために主に祈って
ください。」
25 このようにして、使徒たちはおごそかにあかしを
し、また主のことばを語って後、エルサレムへの帰途
につき、サマリヤ人の多くの村でも福音を宣べ伝えた。
26 ところが、主の使いがピリポに向かってこう言っ
た。「立って南へ行き、エルサレムからガザに下る道に
出なさい。」(このガザは今、荒れ果てている。)
27 そこで、彼は立って出かけた。すると、そこに、エ
チオピヤ人の女王カンダケの高官で、女王の財産全部
を管理していた宦官のエチオピヤ人がいた。彼は礼拝
のためエルサレムに上り、
28 いま帰る途中であった。彼は馬車に乗って、預言者
イザヤの書を読んでいた。
29 御霊がピリポに「近寄って、あの馬車といっしょに
行きなさい。」と言われた。
30 そこでピリポが走って行くと、預言者イザヤの書を
読んでいるのが聞こえたので、「あなたは、読んでいる
ことが、わかりますか。」と言った。
31 すると、その人は、「導く人がなければ、どうしてわ
かりましょう。」と言った。そして、馬車に乗っていっ
しょにすわるように、ピリポに頼んだ。
32 彼が読んでいた聖書の個所には、こう書いてあった。
「ほふり場に連れて行かれる羊のように、
また、黙々として
毛を刈る者の前に立つ小羊のように、
彼は口を開かなかった。
33 彼は、卑しめられ、そのさばきも取り上げられた。
彼の時代のことを、だれが話すことができようか。
彼のいのちは地上から取り去られたのである。」
34 宦官はピリポに向かって言った。「預言者はだれに
ついて、こう言っているのですか。どうか教えてくだ
さい。自分についてですか。それとも、だれかほかの
人についてですか。」
35 ピリポは口を開き、この聖句から始めて、イエスの
ことを彼に宣べ伝えた。
36 道を進んで行くうちに、水のある所に来たので、宦
官は言った。「ご覧なさい。水があります。私がバプテ
スマを受けるのに、何かさしつかえがあるでしょうか。」
38 そして馬車を止めさせ、ピリポも宦官も水の中へ降
りて行き、ピリポは宦官にバプテスマを授けた。
39 水から上がって来たとき、主の霊がピリポを連れ去
られたので、宦官はそれから後彼を見なかったが、喜

---

21 * 直訳「ことば」 別訳「教え」
① 申一三・三、Ⅱ王一七・二、Ⅱ歴一二・一五、② 詩六・三七
23 ① イザ五八・六
25 ① 創ルカ六・六、② 使一三・一二、③ Ⅱ列マタ一〇・一五、④ 使八・四
26 ① 創使五・六、Ⅱ使一・六
② 創使八・五、③ Ⅱ創一〇・九他
* 別訳「これは、荒れ果てた道である」
27 ① 詩六八・三一、イザ五六・三以下、② Ⅱ列一・四、Ⅱ歴ヨハ一三・二三
29 ① 使一〇・一九、一一・一二、一三・二、一六・六、七、Ⅱコリ二・一二、Ⅱテモ四・一七、使六・五
31 * 「馬車に」は補足
32 ① イザ五三・七
33 ① イザ五三・八、九
* 別訳「生まれ」
35 ① 創マタ二八・二〇、② ルカ二四・二七
Ⅱ使一七・二、八・六、六・三
③ 創使八・四三
36 ① 使一〇・四七
* 異本は三七節をこのあとに挿入している。「そこでピリポは言った。『もしあなたが心底から信じるならば、よいのです。』すると彼は答えて言った。『私は、イエス・キリストが神の御子であると信じます。』」
39 ① Ⅰ列六・一二、Ⅱ列二・一六
エゼ三・一二、一四、八・三、一一・一二四、三四・五、Ⅱコリ三・一七

びながら帰って行った。
40 それからピリポはアゾトに現われ、すべての町々を通って福音を宣べ伝え、カイザリヤに行った。

9

1 さてサウロは、なおも主の弟子たちに対する脅かしと殺害の意に燃えて、大祭司のところに行き、
2 ダマスコの諸会堂あての手紙を書いてくれるよう頼んだ。それは、この道の者であれば男でも女でも、見つけ次第縛り上げてエルサレムに引いて来るためであった。
3 ところが、道を進んで行って、ダマスコの近くまで来たとき、突然、天からの光が彼を巡り照らした。
4 彼は地に倒れて、「サウロ、サウロ。なぜわたしを迫害するのか。」という声を聞いた。
5 彼が、「主よ。あなたはどなたですか。」と言うと、お答えがあった。「わたしは、あなたが迫害しているイエスである。
6 立ち上がって、町にはいりなさい。そうすれば、あなたのしなければならないことが告げられるはずです。」
7 同行していた人たちは、声は聞こえても、だれも見えないので、ものも言えずに立っていた。
8 サウロは地面から立ち上がったが、目は開いていても何も見えなかった。そこで人々は彼の手を引いて、ダマスコへ連れて行った。
9 彼は三日の間、目が見えず、また飲み食いもしなかった。
10 さて、ダマスコにアナニヤという弟子がいた。主が彼に幻の中で、「アナニヤよ。」と言われたので、「主よ。ここにおります。」と答えた。
11 すると主はこう言われた。「立って、『まっすぐ』という街路に行き、サウロというタルソ人をユダの家に尋ねなさい。そこで、彼は祈っています。
12 彼は、アナニヤという者がはいって来て、自分の上に手を置くと、目が再び見えるようになるのを、幻で見たのです。」
13 しかし、アナニヤはこう答えた。「主よ。私は多くの人々から、この人がエルサレムで、あなたの聖徒たちにどんなにひどいことをしたかを聞きました。
14 彼はここでも、あなたの御名を呼ぶ者たちをみな捕縛する権限を、祭司長たちから授けられているのです。」
15 しかし、主はこう言われた。「行きなさい。あの人はわたしの名を、異邦人、王たち、イスラエルの子孫の前に運ぶ、わたしの選びの器です。
16 彼がわたしの名のために、どんなに苦しまなければならないかを、わたしは彼に示すつもりです。」
17 そこでアナニヤは出かけて行って、その家にはいり、サウロの上に手を置いてこう言った。「兄弟サウロ。あなたが来る途中でお現われになった主イエスが、私を遣わされました。あなたが再び見えるようになり、聖霊に満たされるためです。」

---

40 ①旧ヨシ一一・二三、Ⅰサム五・一 *旧約聖書では「アシドド」 ②使八・五、③使九・三〇、一一・二五、一二・一九、二三節 1 ①使八・一三、旧使三・一、六、八・一六、②旧使八・三、使九・一二 2 ①創一四・一五他、Ⅱコリ一一・三二 ②旧マタ一〇・一七 ③使二二・五、一〇、旧使四・一四、一八、旧特に使八・三、九・二、一四、一七、旧特に使八・三、九・二、一四、一七、旧特に使八・三、九・二、一四、一七

18 するとただちに、サウロの目からうろこのような物が落ちて、目が見えるようになった。彼は立ち上がって、バプテスマを受け、
19 食事をして元気づいた。
サウロは数日の間、[2]ダマスコの弟子たちとともにいた。
20 そしてただちに、[1]諸会堂で、イエスは神の子であると宣べ伝え始めた。
21 これを聞いた人々はみな、驚いてこう言った。「この人はエルサレムで、この御名を呼ぶ者たちを滅ぼした者ではありませんか。ここへやって来たのも、彼らを縛って、祭司長たちのところへ引いて行くためではないのですか。」
22 しかしサウロはますます力を増し、*イエスがキリストであることを証明して、ダマスコに住むユダヤ人たちをうろたえさせた。
23 多くの日数がたって後、[2]ユダヤ人たちはサウロを殺す相談をしたが、
24 その陰謀はサウロに知られてしまった。彼らはサウロを殺してしまおうと、昼も夜も町の門を全部見張っていた。
25 そこで、彼の弟子たちは、夜中に彼をかごに乗せ、町の城壁伝いにつり降ろした。
26 サウロはエルサレムに着いて、弟子たちの仲間にはいろうと試みたが、みなは彼を弟子だとは信じないで、恐れていた。
27 ところが、バルナバは彼を引き受けて、使徒たちのところへ連れて行き、彼がダマスコへ行く途中で主を見た様子や、主が彼に向かって語られたこと、また彼がダマスコでイエスの御名を大胆に宣べた様子などを彼らに説明した。
28 それからサウロは、エルサレムで弟子たちとともにいて自由に出はいりし、主の御名によって大胆に語った。
29 そして、ギリシヤ語を使うユダヤ人たちと語ったり、論じたりしていた。しかし、彼らはサウロを殺そうとねらっていた。
30 兄弟たちはそれと知って、彼をカイザリヤに連れて下り、タルソへ送り出した。
31 こうして教会は、ユダヤ、ガリラヤ、サマリヤの全地にわたり築き上げられて平安を保ち、主を恐れかしこみ、聖霊に励まされて前進し続けたので、*信者の数がふえて行った。
32 さて、ペテロはあらゆる所を巡回したが、ルダに住む聖徒たちのところへも下って行った。
33 彼はそこで、八年の間も床に着いているアイネヤという人に出会った。彼は中風であった。
34 ペテロは彼にこう言った。「アイネヤ。イエス・キリストがあなたをいやしてくださるのです。立ち上がりなさい。そして自分で床を整えなさい。」すると彼はただちに立ち上がった。
35 ルダとサロンに住む人々はみな、アイネヤを見て、

19 ①使二六・三。②使二一・二六、九・二六、九・二六
20 ①使二・三六、一四・一四、一七・三、一〇、一八・四、一九・八、四使一六・三、二六・一七、②使マタ四・三、使一三・三、四使一六・三
21 ①使九・一四、②使使八・三、九・一三、ガラ一・一三
22 *直訳「この方」
23 ①ガラ一・一七、一八 ②Ⅰテサ二・一六
24 ①使二〇・三、二九・三、三一、三三、三五・三
②Ⅱコリ一一・三二、三三
25 ①使マタ一五・三七
26 ①使二二・一七、二六・二〇
27 ①使使四・三六、②使九・二七、三 ③使九・二七、④使九・二七、四使四・三六
28 ①使九・二九、四使四・一三、二九
29 ①使使六・一
30 ①使使一・三〇、②使使八・四〇 ③使九・一一、④ガラ一・二一
31 ①四使九・一二、八・一、六・五
*「信者の数が」は補足
32 ①四Ⅰ歴八・三三、エズ二・三三 ネ七・三七、一二・三六、②使九・三三
35 ①Ⅰ歴八・三三、エズ二・三三 ネ七・三七、一二・三六、②Ⅰ歴五・二六、三七、六、エザ三二・九、三五・二、四〇

主に立ち返った。

36 ヨッパにタビタ（ギリシャ語に訳せば、*ドルカス）という女の弟子がいた。この女は、多くの良いわざと施しをしていた。

37 ところが、そのころ彼女は病気になって死に、人々はその遺体を洗って、屋上の間に置いた。

38 ルダはヨッパに近かったので、弟子たちは、ペテロがそこにいると聞いて、人をふたり彼のところへ送って、「すぐに来てください。」と頼んだ。

39 そこでペテロは立って、いっしょに出かけた。ペテロが到着すると、彼らは屋上の間に案内した。やもめたちはみな泣きながら、彼のそばに来て、ドルカスがいっしょにいたころ作ってくれた下着や上着の数々を見せるのであった。

40 ペテロはみなの者を外に出し、ひざまずいて祈った。そしてその遺体のほうを向いて、「タビタ。起きなさい。」と言った。すると彼女は目をあけ、ペテロを見て起き上がった。

41 そこで、ペテロは手を貸して彼女を立たせた。そして聖徒たちとやもめたちとを呼んで、生きている彼女を見せた。

42 このことがヨッパ中に知れ渡り、多くの人々が主を信じた。

43 そして、ペテロはしばらくの間、ヨッパで、皮なめしのシモンという人の家に泊まっていた。

10

1 さて、カイザリヤにコルネリオという人がいて、イタリヤ*隊という部隊の百人隊長であった。

2 彼は敬虔な人で、全家族とともに神を恐れかしこみ、ユダヤの人々に多くの施しをなし、いつも神に祈りをしていたが、

3 ある日の午後三時ごろ、幻の中で、はっきりと神の御使いを見た。御使いは彼のところに来て、「コルネリオ。」と呼んだ。

4 彼は、御使いを見つめていると、恐ろしくなって、「主よ。何でしょうか。」と答えた。すると御使いはこう言った。「あなたの祈りと施しは神の前に立ち上って、覚えられています。

5 さあ今、ヨッパに人をやって、シモンという人を招きなさい。彼の名はペテロとも呼ばれています。

6 この人は皮なめしのシモンという人の家に泊まっていますが、その家は海べにあります。」

7 御使いが彼にこう語って立ち去ると、コルネリオはそのしもべたちの中のふたりと、側近の部下の中の敬虔な兵士ひとりとを呼び寄せ、

8 全部のことを説明してから、彼らをヨッパへ遣わした。

9 その翌日、この人たちが旅を続けて、町の近くまで来たころ、ペテロは祈りをするために屋上に上った。昼の十二時ごろであった。

10 すると彼は非常に空腹を覚え、*食事をしたくなった。

---

1 ①使徒一・一三、使徒二四・七、使徒二八・一七
2 ①ヨシ七・六、Ⅱ歴二・六、エズ七・七、ヨナ一・二、使徒一〇・二、八・二、三、二・五、三
3 ①使徒九・三、使徒一二・七、二三・一一、二七・二三、②使徒二・一五
4 ①詩一四一・二、②詩六六・一九、詩一四一・二、③詩五〇・一四、二三
5 ①使徒一一・一三、②使徒一〇・六
6 ①使徒九・四三、②マタ一〇・一六、マコ一・一六、ヨハ八・三、*あるいは「大隊」
7 ①使徒一〇・三、三二、使徒一二・六、二七、②詩一〇四・五
8 ①使徒一〇・二三
9 ①使徒一〇・九、②詩五五・一七、③詩五五・一七、ダニ六・一〇
10 ①使徒九・三二
*直訳「第九時」
11 ①詩一四一・二、②詩一〇二・一九
12 ①詩一〇二・一九
13 ①詩一〇四・三五、②詩一〇五・二八、③詩一〇六・三二、ピリ四・六、ヘブ六・一〇
14 ①使徒九・三六
15 ①使徒九・三四
*あるいは「家の奴隷」
16 ①詩一〇四・三六
17 ①使徒一〇・九、②詩一〇七・一四、③詩一〇九・一、使徒一〇・一七
18 ①詩一〇四・三六、②詩一〇七・一四、③詩一〇九・一、使徒一〇・三、詩篇五・七
*直訳「第六時」
19 ①使徒一〇・三、詩篇二・七
20 ①使徒一〇・三、詩篇二四・七、使徒一〇・一九
21 ①使徒一〇・一七
22 ①使徒一〇・一七
23 ①使徒一〇・一八、②使徒一〇・二三
24 ①使徒一〇・二三、②使徒一〇・二三
25 ①使徒一〇・二五
26 ①使徒一〇・二五、②使徒一四・一五
27 ①使徒一〇・二七、②使徒一〇・二七
28 ①使徒一〇・二八、②使徒一〇・二八
29 ①使徒一〇・二九、②使徒一〇・二九
30 ①使徒一〇・三〇、②使徒一〇・三〇
31 ①使徒一〇・三一、②使徒一〇・三一
32 ①使徒一〇・三二、②使徒一〇・三二
33 ①使徒一〇・三三、②使徒一〇・三三
34 ①使徒一〇・三四、②ロマ二・一一、③申一〇・一七、Ⅱ歴一九・七、ヨブ三四・一九、ガラ二・六
35 ①使徒一〇・三五、②使徒一〇・三五、③使徒一〇・三五
36 ①ヨシ九・二四、Ⅱ歴二・六、エズ三・七、ヨナ一・二、使徒一〇・三六、八・二、三、二・五、三
*意味「かもしか」
37 ①使徒九・三七、②使徒一・二三
38 ①ヨシ九・二四、Ⅱ歴三・二六、エズ三・七、ヨナ一・二、使徒九・三六、一〇・三六、八・二三、三二・五、二三・二三、②使徒二一・二六
39 ①使徒九・三七、②使徒一・二三
40 ①使徒九・三六、②使徒一〇・三
41 ①使徒一〇・三、②使徒一〇・三
42 ①ヨシ二六・二四、Ⅱ歴三・二六、ヨナ一・二、使徒一〇・四二、②使徒一〇・四二
43 ①ヨシ九・二四、Ⅱ歴三・二六、エズ三・七、ヨナ一・二、使徒九・三六、一〇・三五、八・二三、三二・五、二・三、②使徒一〇・三五

10 *「食事を」は補足

ところが、食事の用意がされている間に、彼はうっとりと夢ごこちになった。
11 見ると、天が開けており、大きな敷布のような入れ物が、四隅をつるされて地上に降りて来た。
12 その中には、地上のあらゆる種類の四つ足の動物や、はうもの、また、空の鳥などがいた。
13 そして、彼に、「ペテロ。さあ、ほふって食べなさい。」という声が聞こえた。
14 しかしペテロは言った。「主よ。それはできません。私はまだ一度も、きよくない物や汚れた物を食べたことがありません。」
15 すると、再び声があって、彼にこう言った。「神がきよめた物を、きよくないと言ってはならない。」
16 こんなことが三回あって後、その入れ物はすぐ天に引き上げられた。
17 ペテロが、いま見た幻はいったいどういうことだろう、と思い惑っていると、ちょうどそのとき、コルネリオから遣わされた人たちが、シモンの家をたずね当てて、その門口に立っていた。
18 そして、声をかけて、ペテロと呼ばれるシモンという人がここに泊まっているだろうかと尋ねていた。
19 ペテロが幻について思い巡らしているとき、御霊が彼にこう言われた。「見なさい。三人の人があなたをたずねて来ています。
20 さあ、下に降りて行って、ためらわずに、彼らといっしょに行きなさい。彼らを遣わしたのはわたしです。」
21 そこでペテロは、その人たちのところへ降りて行って、こう言った。「あなたがたのたずねているペテロは、私です。どんなご用でおいでになったのですか。」
22 すると彼らはこう言った。「百人隊長コルネリオという正しい人で、神を恐れかしこみ、ユダヤの全国民に評判の良い人が、あなたを自分の家にお招きして、あなたからお話を聞くように、聖なる御使いによって示されました。」
23 それで、ペテロは、彼らを中に入れて泊まらせた。
明くる日、ペテロは、立って彼らといっしょに出かけた。ヨッパの兄弟たちも数人同行した。
24 その翌日、彼らはカイザリヤに着いた。コルネリオは、親族や親しい友人たちを呼び集め、彼らを待っていた。
25 ペテロが着くと、コルネリオは出迎えて、彼の足もとにひれ伏して拝んだ。
26 するとペテロは彼を起こして、「お立ちなさい。私もひとりの人間です。」と言った。
27 それから、コルネリオとことばをかわしながら家にはいり、多くの人が集まっているのを見て、
28 彼らにこう言った。「ご承知のとおり、ユダヤ人が外国人の仲間にはいったり、訪問したりするのは、律法にかなわないことです。ところが、神は私に、どんな人のことでも、きよくないとか、汚れているとか言ってはならないことを示してくださいました。
29 ですから、お迎えに来るようにとのことばを受けたとき、すぐに異議を唱えずに来ました。お尋ねしますが、どんなご用でお呼びになったのですか。」

---

11 ①使三・二、旧使二・五
12 *「動物」は補足
14 ①旧マタ八・二以下、ヨハ四・二以下。使六・三、八他。②使一〇・六、エゼ四・一四、ダニ・八、レビ二章、三・三、申一四・四
15 ①旧マコ七・一九、ロマ一四・一四、Ⅰコリ一〇・二五以下、Ⅰテモ四・四、五、テト一・一五、マタ一五・一一
17 ①直訳「見よ」
②使一〇・八
19 ①新使一〇・三、②新使八・一九
*ごく初期の写本の一つでは「ふたり」
20 *別訳「何の差別もつけずに」
①旧使一五・七九
22 ①新使一〇・二、②使二・一四
③旧マコ八・三八、ルカ九・二六
黙一四・一〇、④新マタ一・二三
23 ①新使九・三六、②新使一・一五
③使一〇・四五、一一・三
24 ①使一〇・二、新使八・四〇
25 *あるいは「尊敬してひれ伏した」
①新マタ八・二
26 ①黙一九・一〇、二二・八、九、旧使一四・一五
27 ①使一〇・二四
28 ①使一一・三、旧ヨハ一八・二八、二九
②使一〇・一四、一五、旧使一〇・二五、一五・八

29それで、お迎えを受けたとき、ためらわずに来たのです。そこで、お尋ねしますが、あなたがたは、いったいどういうわけで私をお招きになったのですか。」
30するとコルネリオがこう言った。「四日前のこの時刻に、私が家で午後三時の祈りをしていますと、どうでしょう、輝いた衣を着た人が、私の前に立って、
31こう言いました。『コルネリオ。あなたの祈りは聞き入れられ、あなたの施しは神の前に覚えられている。
32それで、ヨッパに人をやってシモンを招きなさい。彼の名はペテロとも呼ばれている。この人は海べにある、皮なめしのシモンの家に泊まっている。』
33それで、私はすぐあなたのところへ人を送ったのですが、よくおいでくださいました。いま私たちは、主があなたにお命じになったすべてのことを伺おうとして、みな神の御前に出ております。」
34そこでペテロは、口を開いてこう言った。
「これで私は、はっきりわかりました。神はかたよったことをなさらず、
35どの国の人であっても、神を恐れかしこみ、正義を行なう人なら、神に受け入れられるのです。
36神はイエス・キリストによって、平和を宣べ伝え、イスラエルの子孫にみことばをお送りになりました。このイエス・キリストはすべての人の主です。
37あなたがたは、ヨハネが宣べ伝えたバプテスマの後、ガリラヤから始まって、ユダヤ全土に起こった事がらを、よくご存じです。
38それは、ナザレのイエスのことです。神はこの方に聖霊と力を注がれました。このイエスは、神がともにおられたので、巡り歩いて良いわざをなし、また悪魔に制せられているすべての者をいやされました。
39私たちは、イエスがユダヤ人の地とエルサレムとで行なわれたすべてのことの証人です。人々はこの方を木にかけて殺しました。
40しかし、神はこのイエスを三日目によみがえらせ、現われさせてくださいました。
41しかし、それはすべての人々にではなく、神によって前もって選ばれた証人である私たちにです。私たちは、イエスが死者の中からよみがえられて後、ごいっしょに食事をしました。
42イエスは私たちに命じて、このイエスこそ生きている者と死んだ者とのさばき主として、神によって定められた方であることを人々に宣べ伝え、そのあかしをするように、言われたのです。
43イエスについては、預言者たちもみな、この方を信じる者はだれでも、その名によって罪の赦しが受けられる、とあかしをしています。」
44ペテロがなおもこれらのことばを話し続けているとき、みことばに耳を傾けていたすべての人々に、聖霊がお下りになった。
45割礼を受けている信者で、ペテロといっしょに来た人たちは、異邦人にも聖霊の賜物が注がれたので驚いた。

30 ①使一〇・九、三、三一、②使一〇・三一
＊直訳「第九時」
31 ＊直訳「見よ」
③使一〇・三一、四、使一〇・三一、六
32 ①ヨハ一・四二、四、ヨハ九・一、六、三四
33 ①創一八・二、②申一〇・一七
Ⅱ歴九・七、ロマ二・一一、ガラ二・六、エペ六・九、コロ三・二五
Ⅰペテ一・一七
34 ①使一〇・二六、②ロマ二・一一、ガラ二・六、エペ六・九、コロ三・二五
Ⅰペテ一・一七
35 ①使一〇・二六、②ロマ二・一一、ガラ二・六、エペ六・九、コロ三・二五
Ⅰペテ一・一七
＊あるいは「敬い」
36 ＊異本「神がすべての人の……イスラエルの子孫に送られたみことばについては」
①ルカ二・一四、ロマ五・一、エペ二・一七、②ロマ一〇・一二、使一〇・三六、マタ二八・一八
38 ＊別訳「すなわち、神がどのようにナザレのイエスに……を注がれたかを」
①使一〇・三、②創二四・二六
39 ①ヨハ一・三、④創二四・三三
②ルカ二四・四六、⑤使一〇・四一
40 ①使一〇・四〇
41 ①ヨハ一四・一九、二一・七
②ルカ二四・四六、使一〇・四一
③ルカ二四・三〇、四一、使一〇・四一
＊直訳「食べたり、飲んだりしました」
42 ①ヨハ一・二、②Ⅱテモ四・一
Ⅰペテ四・五、ヨハ五・二二、七
③使七・三、④ルカ二・三
④ヨハ五・二六
43 ①使一〇・六、②ルカ二四・四七
④使一〇・一二
44 ①使一〇・四四、一五・八
45 ①使一〇・二三
＊直訳「割礼の者の中の信者」
②使一〇・二六

46 彼らが異言を話し、神を賛美するのを聞いたからである。そこでペテロはこう言った。
47 「この人たちは、私たちと同じように、聖霊を受けたのですから、いったいだれが、水をさし止めて、この人たちにバプテスマを受けさせないようにすることができましょうか。」
48 そして、イエス・キリストの御名によってバプテスマを受けるように彼らに命じた。彼らは、ペテロに数日間滞在するように願った。

11

1 さて、使徒たちやユダヤにいる兄弟たちは、異邦人たちも神のみことばを受け入れた、ということを耳にした。
2 そこで、ペテロがエルサレムに上ったとき、割礼を受けた者たちは、彼を非難して、
3 「あなたは割礼のない人々のところに行って、彼らといっしょに食事をした。」と言った。
4 そこでペテロは口を開いて、事の次第を順序正しく説明して言った。
5 「私がヨッパの町で祈っていると、うっとりと夢ごこちになり、幻を見ました。四隅をつり下げられた大きな敷布のような入れ物が天から降りて来て、私のところに届いたのです。
6 その中をよく見ると、地の四つ足の獣、野獣、はうもの、空の鳥などが見えました。
7 そして、『ペテロ。さあ、ほふって食べなさい。』と言う声を聞きました。
8 しかし私は、『主よ。それはできません。私はまだ一度も、きよくない物や汚れた物を食べたことがありません。』と言いました。
9 すると、もう一度天から声がして、『神がきよめた物を、きよくないと言ってはならない。』というお答えがありました。
10 こんなことが三回あって後、全部の物がまた天へ引き上げられました。
11 すると、どうでしょう。ちょうどそのとき、カイザリヤから私のところへ遣わされた三人の人が、私たちのいた家の前に来ていました。
12 そして御霊は私に、ためらわずにその人たちといっしょに行くように、と言われました。そこで、この六人の兄弟たちも私に同行して、私たちはその人の家にはいって行きました。
13 その人が私たちに告げたところによると、彼は御使いを見ましたが、御使いは彼の家の中に立って、『ヨッパに使いをやって、ペテロと呼ばれるシモンを招きなさい。
14 その人があなたとあなたの家にいるすべての人を救うことばを話してくれます。』と言ったというのです。
15 そこで私が話し始めていると、聖霊が、あの最初のとき私たちにお下りになったと同じように、彼らの上にもお下りになったのです。
16 私はそのとき、主が、『ヨハネは水でバプテスマを授けたが、あなたがたは、聖霊によってバプテスマを授

---

46 ①使二四、一九-六、[比]マコ一六-一七 ②参使一-三
47 ①使八-三六、②使一〇-四四、四五、一二-一七、一五-八、[比]使三-二四
48 ①使二-三八、八-一六、一九-五 ②[比]Ⅰコリ一-一四-一七
1 ①参使一-一三
2 ①使一〇-四五 *参使一〇-四五注
3 ①[比]マタ九-一一、ガラ二-一三 *別訳「なぜ、あなたは……したのか」 **別訳「の家にはいって」
4 ①参ルカ一-三
5 ①使一一-五-一四、使一〇-九-一三 ②参使九-一〇
6 *「の獣」は補足
9 ①参使一〇-一五 *「言って」は補足
11 *直訳「見よ」 ①参使八-一〇
12 ①参使八-二九、②ヤコ二-六 [比]使二五-九、[比]ロマ一-三 *別訳「何の差別もつけずに」 ③参使一〇-二三
14 ①使一〇-二、一六、三一-三四、一八-八 [比]ヨハ四-三五、Ⅰコリ一-一六 ②使一〇-三三
15 ①参使一〇-四四、②使二-四
16 ①使一-五

けられる。」と言われたみことばを思い起こしました。
17 こういうわけですから、私たちが主イエス・キリストを信じたとき、神が私たちに下さったのと同じ賜物を、彼らにもお授けになったのなら、どうして私などが神のなさることを妨げることができましょう。」
18 人々はこれを聞いて沈黙し、「それでは、神は、いのちに至る悔い改めを異邦人にもお与えになったのだ。」と言って、神をほめたたえた。
19 さて、ステパノのことから起こった迫害によって散らされた人々は、フェニキヤ、キプロス、アンテオケまでも進んで行ったが、ユダヤ人以外の者にはだれにも、みことばを語らなかった。
20 ところが、その中にキプロス人とクレネ人が幾人かいて、アンテオケに来てからはギリシヤ人にも語りかけ、主イエスのことを宣べ伝えた。
21 そして、主の御手が彼らとともにあったので、大ぜいの人が信じて主に立ち返った。
22 この知らせが、エルサレムにある教会に聞こえたので、彼らはバルナバをアンテオケに派遣した。
23 彼はそこに到着したとき、神の恵みを見て喜び、みなが心を堅く保って、常に主にとどまっているようにと励ました。
24 彼はりっぱな人物で、聖霊と信仰に満ちている人であった。こうして、大ぜいの人が主に導かれた。
25 バルナバはサウロを捜しにタルソへ行き、
26 彼に会って、アンテオケに連れて来た。そして、まる一年の間、彼らは教会に集まり、大ぜいの人たちを教えた。弟子たちは、アンテオケで初めて、キリスト者と呼ばれるようになった。
27 そのころ、預言者たちがエルサレムからアンテオケに下って来た。
28 その中のひとりでアガボという人が立って、世界中に大ききんが起こると御霊によって預言したが、はたしてそれがクラウデオの治世に起こった。
29 そこで、弟子たちは、それぞれの力に応じて、ユダヤに住んでいる兄弟たちに救援の物を送ることに決めた。
30 彼らはそれを実行して、バルナバとサウロの手によって長老たちに送った。

12

1 そのころ、*ヘロデ王は、教会の中のある人々を苦しめようとして、その手を伸ばし、
2 ヨハネの兄弟ヤコブを剣で殺した。
3 それがユダヤ人の気に入ったのを見て、次にはペテロをも捕えにかかった。それは、種なしパンの祝いの時期であった。
4 ヘロデはペテロを捕えて牢に入れ、四人一組の兵士四組に引き渡して監視させた。それは、過越の祭りの後に、民の前に引き出す考えであったからである。
5 こうしてペテロは牢に閉じ込められていた。教会は彼のために、神に熱心に祈り続けていた。
6 ところでヘロデが彼を引き出そうとしていた日の前

17 ①使二・四四、四七、②使五・元
*「のなさること」は補足
18 ①Ⅱコリ七・一〇、②使マタ九・八
19 ①使八・一四、②使二・五、三・二、③使八・一、四、④使二・三〇、三三、三七、六・五、七・二、一四、一五、三三、三五、五五、七・二、三、ガラ二・一
20 ①使二・一〇、六・九、一一、使マタ三・七
*異本「ヘレニストたち」(ギリシヤ語を話す人たち)
②使使五・四二
21 ①ルカ一・六六、②使使二・四七
22 ①使使四・三六、一四・二六、二八
23 ①使二・四四、三二
24 ①使使三・四四、②使六・一四、使使二・三
25 ①使使九・二七
26 ①使六・一、二九、二六、二八、一一・元、一二・三五、一四・三、三六他、②使使六・三
28 ①使二・一〇、②使使マタ二四・一四
29 ①使使一一・二
30 ①使一四・二三、二七・二三、②使使四・三六、三七、一一・二九、一二・一二、一四・二三、一五・二、六、テト一・五、Ⅰテモ五・一七、一九、テト一・五、ヤコ五・一四、Ⅰペテ五・一、Ⅱヨハ一
Ⅲヨハ一
1 *すなわち「ヘロデ・アグリッパ一世」
2 ①マタ四・二一、使ヨマタ二〇・二三
②マコ一〇・三九
3 ①使使二四・二七、二八、②出三・二七、三・一六、使二〇・六
4 ①使ヨハ六・五、②マコ一四・一使使二・三

夜、ペテロは二本の鎖につながれてふたりの兵士の間で寝ており、戸口には番兵たちが牢を監視していた。
7 すると突然、主の御使いが現われ、光が牢を照らした。御使いはペテロのわき腹をたたいて彼を起こし、「急いで立ち上がりなさい。」と言った。すると、鎖が彼の手から落ちた。
8 そして御使いが、「帯を締めて、くつをはきなさい。」と言うので、彼はそのとおりにした。すると、「上着を着て、私について来なさい。」と言った。
9 そこで、外に出て、御使いについて行った。彼には御使いのしている事が現実の事だとはわからず、幻を見ているのだと思われた。
10 彼らが、第一、第二の衛所を通り、町に通じる鉄の門まで来ると、門がひとりでに開いた。そこで、彼らは外に出て、ある通りを進んで行くと、御使いは、たちまち彼を離れた。
11 そのとき、ペテロは我に返って言った。「今、確かにわかった。主は御使いを遣わして、ヘロデの手から、また、ユダヤ人たちが待ち構えていたすべての災いから、私を救い出してくださったのだ。」
12 こうとわかったので、ペテロは、マルコと呼ばれているヨハネの母マリヤの家へ行った。そこには大ぜいの人が集まって、祈っていた。
13 彼が入口の戸をたたくと、ロダという女中が応対に出て来た。
14 ところが、ペテロの声だとわかると、喜びのあまり門をあけもしないで、奥へ駆け込み、ペテロが門の外に立っていることをみなに知らせた。
15 彼らは、「あなたは気が狂っているのだ。」と言ったが、彼女はほんとうだと言い張った。そこで彼らは、「それは彼の御使いだ。」と言っていた。
16 しかし、ペテロはたたき続けていた。彼らが門をあけると、そこにペテロがいたので、非常に驚いた。
17 しかし彼は、手ぶりで彼らを静かにさせ、主がどのようにして牢から救い出してくださったかを、彼らに話して聞かせた。それから、「このことをヤコブと兄弟たちに知らせてください。」と言って、ほかの所へ出て行った。
18 さて、朝になると、ペテロはどうなったのかと、兵士たちの間に大騒ぎが起こった。
19 ヘロデは彼を捜したが見つけることができないので、番兵たちを取り調べ、彼らを処刑するように命じ、そして、ユダヤからカイザリヤに下って行って、そこに滞在した。
20 さて、ヘロデはツロとシドンの人々に対して強い敵意を抱いていた。そこで彼らはみなでそろって彼をたずね、王の侍従ブラストに取り入って和解を求めた。その地方は王の国から食糧を得ていたからである。
21 定められた日に、ヘロデは王服を着けて、*王座に着き、彼らに向かって演説を始めた。
22 そこで民衆は、「神の声だ。人間の声ではない。」と叫び続けた。

6 ①使三・三
7 * 直訳「見よ」
①創使二・七、②ルカ二・九、二四・四、③出使一六・一六
9 ①創使九・一〇
10 ①出使一・一九、一六・一六
11 ①出ルカ一・七一、②出ダニ三・二八、六・二三
* 「災い」は補足
12 ①使一三・五、一五・三七、一八・七、一九・二九、ヨハ一八・一、Ⅱテモ四・一一、ピレ二四、Ⅰペテ五・一三、②使一三・五
13 ①ヨハ一八・一六、一七
14 ①ルカ二四・四一
15 ①創マタ一八・一〇
17 ①使一三・一六、一九・三三、二一・四〇、②使一五・七、一三・一六、Ⅰコリ一五・七、ガラ一・一九、二・九、一二、出マコ六・三、③創使一・一三
19 ①出使一六・二七、二九・四二、②創使八・四〇
20 ①創マタ二一・一二、②出Ⅰ列王一二・二一、エズ三・七、エゼ二七・一七
21 * あるいは「さばきの座」

23 するとたちまち、主の使い[1]がヘロデを打った。ヘロデが神に栄光を帰さなかったからである。彼は虫にかまれて息が絶えた。

24 主のみことばは、ますます盛んになり、広まって行った。

25 任務を果たしたバルナバ[2]とサウロは、マルコ[3]と呼ばれるヨハネを連れて、エルサレム[1]から帰って来た。*

13

1 さて、アンテオケには、そこにある教会[2]に、バルナバ、ニゲル[3]と呼ばれるシメオン、クレネ人ルキオ、国主ヘロデ[4]の乳兄弟マナエン、サウロなどという預言者[5]や教師がいた。

2 彼らが主を礼拝し、断食をしていると、聖霊が、「バルナバとサウロをわたしのために聖別して、わたしが召した任務[1]につかせなさい。」と言われた。

3 そこで彼らは、断食と祈り[1]をして、ふたりの上に手を置いてから、送り出した。

4 ふたりは聖霊に遣わされ、セルキヤに下り、そこから船でキプロス[2]に渡った。

5 サラミスに着くと、ユダヤ人の諸会堂[1]で神のことばを宣べ始めた。彼らはヨハネ[2]を助手として連れていた。

6 島全体を巡回して、パポスまで行ったところ、[1]せ預言者で、名をバルイエスというユダヤ人の魔術師[2]に出会った。

7 この男は地方総督[1]セルギオ・パウロのもとにいた。この総督は賢明な人であって、バルナバとサウロを招いて、神のことばを聞きたいと思っていた。

8 ところが、[1]魔術師エルマ（エルマという名を訳すと魔術師）は、ふたりに反対して、[2]総督を信仰の道から遠ざけようとした。

9 しかし、サウロ、別名でパウロは、[1]聖霊に満たされ、彼をにらみつけて、

10 言った。「ああ、あらゆる偽りとよこしまに満ちた者、悪魔[1]の子、すべての正義の敵。おまえは、主のまっすぐな道を曲げることをやめないのか。

11 見よ。[1]主の御手が今、おまえの上にある。おまえは盲になって、しばらくの間、日の光を見ることができなくなる。」と言った。するとたちまち、かすみとやみが彼をおおったので、彼は手を引いてくれる人を捜し回った。

12 この出来事を見た総督は、[1]主の教えに驚嘆して信仰にはいった。

13 パウロの一行は、[1]パポスから船出して、[2]パンフリヤのペルガに渡った。ここでヨハネ[3]は一行から離れて、エルサレムに帰った。

14 しかし彼らは、ペルガから進んで[1]ピシデヤのアンテオケに行き、[2]安息日に会堂にはいって席に着いた。

15 律法と預言者の朗読があって後、[3]会堂の管理者たちが、彼らのところに人をやって[4]こう言わせた。「兄弟たち。あなたがたのうちどなたか、この人たちのために奨励のことばがあったら、どうぞお話しください。」

16 そこでパウロが立ち上がり、[1]手を振りながら言った。

---

23 ①参使次九、一二、一九、二四、一三、一七、一九、二〇
24 ①使一・一四、二・九、一〇、一一、一九、二〇、二三、二四、二五、二六、二七、二八、二九、三〇、三一、三二、三三、三四、三五、三六、三七、三八、三九、四〇、四一、四二、四三、四四、四五、四六、四七、四八、四九、五〇、五一、五二、五三、五四、五五、五六、五七、五八、五九、六〇、六一、六二、六三、六四、六五、六六、六七、六八、六九、七〇、七一、七二、七三、七四、七五、七六、七七、七八、七九、八〇、八一、八二、八三、八四、八五、八六、八七、八八、八九、九〇、九一、九二、九三、九四、九五、九六、九七、九八、九九、一〇〇、一〇一、一〇二、一〇三、一〇四、一〇五、一〇六、一〇七、一〇八、一〇九、一一〇、一一一、一一二、一一三、一一四、一一五、一一六、一一七、一一八、一一九、一二〇、一二一、一二二、一二三、一二四、一二五、一二六、一二七、一二八、一二九、一三〇、一三一、一三二、一三三、一三四、一三五、一三六、一三七、一三八、一三九、一四〇、一四一、一四二、一四三、一四四、一四五、一四六、一四七、一四八、一四九、一五〇、一五一、一五二、一五三、一五四、一五五、一五六、一五七、一五八、一五九、一六〇、一六一、一六二、一六三、一六四、一六五、一六六、一六七、一六八、一六九、一七〇、一七一、一七二、一七三、一七四、一七五、一七六、一七七、一七八、一七九、一八〇、一八一、一八二、一八三、一八四、一八五、一八六、一八七、一八八、一八九、一九〇、一九一、一九二、一九三、一九四、一九五、一九六、一九七、一九八、一九九、二〇〇、二〇一、二〇二、二〇三、二〇四、二〇五、二〇六、二〇七、二〇八、二〇九、二一〇、二一一、二一二、二一三、二一四、二一五、二一六、二一七、二一八、二一九、二二〇、二二一、二二二、二二三、二二四、二二五、二二六、二二七、二二八、二二九、二三〇、二三一、二三二、二三三、二三四、二三五、二三六、二三七、二三八、二三九、二四〇、二四一、二四二、二四三、二四四、二四五、二四六、二四七、二四八、二四九、二五〇、二五一、二五二、二五三、二五四、二五五、二五六、二五七、二五八、二五九、二六〇、二六一、二六二、二六三、二六四、二六五、二六六、二六七、二六八、二六九、二七〇、二七一、二七二、二七三、二七四、二七五、二七六、二七七、二七八、二七九、二八〇、二八一、二八二、二八三、二八四、二八五、二八六、二八七、二八八、二八九、二九〇、二九一、二九二、二九三、二九四、二九五、二九六、二九七、二九八、二九九、三〇〇、三〇一、三〇二、三〇三、三〇四、三〇五、三〇六、三〇七、三〇八、三〇九、三一〇、三一一、三一二、三一三、三一四、三一五、三一六、三一七、三一八、三一九、三二〇、三二一、三二二、三二三、三二四、三二五、三二六、三二七、三二八、三二九、三三〇、三三一、三三二、三三三、三三四、三三五、三三六、三三七、三三八、三三九、三四〇、三四一、三四二、三四三、三四四、三四五、三四六、三四七、三四八、三四九、三五〇、三五一、三五二、三五三、三五四、三五五、三五六、三五七、三五八、三五九、三六〇、三六一、三六二、三六三、三六四、三六五、三六六、三六七、三六八、三六九、三七〇、三七一、三七二、三七三、三七四、三七五、三七六、三七七、三七八、三七九、三八〇、三八一、三八二、三八三、三八四、三八五、三八六、三八七、三八八、三八九、三九〇、三九一、三九二、三九三、三九四、三九五、三九六、三九七、三九八、三九九、四〇〇、四〇一、四〇二、四〇三、四〇四、四〇五、四〇六、四〇七、四〇八、四〇九、四一〇、四一一、四一二、四一三、四一四、四一五、四一六、四一七、四一八、四一九、四二〇、四二一、四二二、四二三、四二四、四二五、四二六、四二七、四二八、四二九、四三〇、四三一、四三二、四三三、四三四、四三五、四三六、四三七、四三八、四三九、四四〇、四四一、四四二、四四三、四四四、四四五、四四六、四四七、四四八、四四九、四五〇、四五一、四五二、四五三、四五四、四五五、四五六、四五七、四五八、四五九、四六〇、四六一、四六二、四六三、四六四、四六五、四六六、四六七、四六八、四六九、四七〇、四七一、四七二、四七三、四七四、四七五、四七六、四七七、四七八、四七九、四八〇、四八一、四八二、四八三、四八四、四八五、四八六、四八七、四八八、四八九、四九〇、四九一、四九二、四九三、四九四、四九五、四九六、四九七、四九八、四九九、五〇〇、五〇一、五〇二、五〇三、五〇四、五〇五、五〇六、五〇七、五〇八、五〇九、五一〇、五一一、五一二、五一三、五一四、五一五、五一六、五一七、五一八、五一九、五二〇、五二一、五二二、五二三、五二四、五二五、五二六、五二七、五二八、五二九、五三〇、五三一、五三二、五三三、五三四、五三五、五三六、五三七、五三八、五三九、五四〇、五四一、五四二、五四三、五四四、五四五、五四六、五四七、五四八、五四九、五五〇、五五一、五五二、五五三、五五四、五五五、五五六、五五七、五五八、五五九、五六〇、五六一、五六二、五六三、五六四、五六五、五六六、五六七、五六八、五六九、五七〇、五七一、五七二、五七三、五七四、五七五、五七六、五七七、五七八、五七九、五八〇、五八一、五八二、五八三、五八四、五八五、五八六、五八七、五八八、五八九、五九〇、五九一、五九二、五九三、五九四、五九五、五九六、五九七、五九八、五九九、六〇〇、六〇一、六〇二、六〇三、六〇四、六〇五、六〇六、六〇七、六〇八、六〇九、六一〇、六一一、六一二、六一三、六一四、六一五、六一六、六一七、六一八、六一九、六二〇、六二一、六二二、六二三、六二四、六二五、六二六、六二七、六二八、六二九、六三〇、六三一、六三二、六三三、六三四、六三五、六三六、六三七、六三八、六三九、六四〇、六四一、六四二、六四三、六四四、六四五、六四六、六四七、六四八、六四九、六五〇、六五一、六五二、六五三、六五四、六五五、六五六、六五七、六五八、六五九、六六〇、六六一、六六二、六六三、六六四、六六五、六六六、六六七、六六八、六六九、六七〇、六七一、六七二、六七三、六七四、六七五、六七六、六七七、六七八、六七九、六八〇、六八一、六八二、六八三、六八四、六八五、六八六、六八七、六八八、六八九、六九〇、六九一、六九二、六九三、六九四、六九五、六九六、六九七、六九八、六九九、七〇〇、七〇一、七〇二、七〇三、七〇四、七〇五、七〇六、七〇七、七〇八、七〇九、七一〇、七一一、七一二、七一三、七一四、七一五、七一六、七一七、七一八、七一九、七二〇、七二一、七二二、七二三、七二四、七二五、七二六、七二七、七二八、七二九、七三〇、七三一、七三二、七三三、七三四、七三五、七三六、七三七、七三八、七三九、七四〇、七四一、七四二、七四三、七四四、七四五、七四六、七四七、七四八、七四九、七五〇、七五一、七五二、七五三、七五四、七五五、七五六、七五七、七五八、七五九、七六〇、七六一、七六二、七六三、七六四、七六五、七六六、七六七、七六八、七六九、七七〇、七七一、七七二、七七三、七七四、七七五、七七六、七七七、七七八、七七九、七八〇、七八一、七八二、七八三、七八四、七八五、七八六、七八七、七八八、七八九、七九〇、七九一、七九二、七九三、七九四、七九五、七九六、七九七、七九八、七九九、八〇〇、八〇一、八〇二、八〇三、八〇四、八〇五、八〇六、八〇七、八〇八、八〇九、八一〇、八一一、八一二、八一三、八一四、八一五、八一六、八一七、八一八、八一九、八二〇、八二一、八二二、八二三、八二四、八二五、八二六、八二七、八二八、八二九、八三〇、八三一、八三二、八三三、八三四、八三五、八三六、八三七、八三八、八三九、八四〇、八四一、八四二、八四三、八四四、八四五、八四六、八四七、八四八、八四九、八五〇、八五一、八五二、八五三、八五四、八五五、八五六、八五七、八五八、八五九、八六〇、八六一、八六二、八六三、八六四、八六五、八六六、八六七、八六八、八六九、八七〇、八七一、八七二、八七三、八七四、八七五、八七六、八七七、八七八、八七九、八八〇、八八一、八八二、八八三、八八四、八八五、八八六、八八七、八八八、八八九、八九〇、八九一、八九二、八九三、八九四、八九五、八九六、八九七、八九八、八九九、九〇〇、九〇一、九〇二、九〇三、九〇四、九〇五、九〇六、九〇七、九〇八、九〇九、九一〇、九一一、九一二、九一三、九一四、九一五、九一六、九一七、九一八、九一九、九二〇、九二一、九二二、九二三、九二四、九二五、九二六、九二七、九二八、九二九、九三〇、九三一、九三二、九三三、九三四、九三五、九三六、九三七、九三八、九三九、九四〇、九四一、九四二、九四三、九四四、九四五、九四六、九四七、九四八、九四九、九五〇、九五一、九五二、九五三、九五四、九五五、九五六、九五七、九五八、九五九、九六〇、九六一、九六二、九六三、九六四、九六五、九六六、九六七、九六八、九六九、九七〇、九七一、九七二、九七三、九七四、九七五、九七六、九七七、九七八、九七九、九八〇、九八一、九八二、九八三、九八四、九八五、九八六、九八七、九八八、九八九、九九〇、九九一、九九二、九九三、九九四、九九五、九九六、九九七、九九八、九九九、一〇〇〇、一〇〇一、一〇〇二、一〇〇三、一〇〇四、一〇〇五、一〇〇六、一〇〇七、一〇〇八、一〇〇九、一〇一〇、一〇一一、一〇一二、一〇一三、一〇一四、一〇一五、一〇一六、一〇一七、一〇一八、一〇一九、一〇二〇、一〇二一、一〇二二、一〇二三、一〇二四、一〇二五、一〇二六、一〇二七、一〇二八、一〇二九、一〇三〇、一〇三一、一〇三二、一〇三三、一〇三四、一〇三五、一〇三六、一〇三七、一〇三八、一〇三九、一〇四〇、一〇四一、一〇四二、一〇四三、一〇四四、一〇四五、一〇四六、一〇四七、一〇四八、一〇四九、一〇五〇、一〇五一、一〇五二、一〇五三、一〇五四、一〇五五、一〇五六、一〇五七、一〇五八、一〇五九、一〇六〇、一〇六一、一〇六二、一〇六三、一〇六四、一〇六五、一〇六六、一〇六七、一〇六八、一〇六九、一〇七〇、一〇七一、一〇七二、一〇七三、一〇七四、一〇七五、一〇七六、一〇七七、一〇七八、一〇七九、一〇八〇、一〇八一、一〇八二、一〇八三、一〇八四、一〇八五、一〇八六、一〇八七、一〇八八、一〇八九、一〇九〇、一〇九一、一〇九二、一〇九三、一〇九四、一〇九五、一〇九六、一〇九七、一〇九八、一〇九九、一一〇〇、一一〇一、一一〇二、一一〇三、一一〇四、一一〇五、一一〇六、一一〇七、一一〇八、一一〇九、一一一〇、一一一一、一一一二、一一一三、一一一四、一一一五、一一一六、一一一七、一一一八、一一一九、一一二〇、一一二一、一一二二、一一二三、一一二四、一一二五、一一二六、一一二七、一一二八、一一二九、一一三〇、一一三一、一一三二、一一三三、一一三四、一一三五、一一三六、一一三七、一一三八、一一三九、一一四〇、一一四一、一一四二、一一四三、一一四四、一一四五、一一四六、一一四七、一一四八、一一四九、一一五〇、一一五一、一一五二、一一五三、一一五四、一一五五、一一五六、一一五七、一一五八、一一五九、一一六〇、一一六一、一一六二、一一六三、一一六四、一一六五、一一六六、一一六七、一一六八、一一六九、一一七〇、一一七一、一一七二、一一七三、一一七四、一一七五、一一七六、一一七七、一一七八、一一七九、一一八〇、一一八一、一一八二、一一八三、一一八四、一一八五、一一八六、一一八七、一一八八、一一八九、一一九〇、一一九一、一一九二、一一九三、一一九四、一一九五、一一九六、一一九七、一一九八、一一九九、一二〇〇、一二〇一、一二〇二、一二〇三、一二〇四、一二〇五、一二〇六、一二〇七、一二〇八、一二〇九、一二一〇、一二一一、一二一二、一二一三、一二一四、一二一五、一二一六、一二一七、一二一八、一二一九、一二二〇、一二二一、一二二二、一二二三、一二二四、一二二五、一二二六、一二二七、一二二八、一二二九、一二三〇、一二三一、一二三二、一二三三、一二三四、一二三五、一二三六、一二三七、一二三八、一二三九、一二四〇、一二四一、一二四二、一二四三、一二四四、一二四五、一二四六、一二四七、一二四八、一二四九、一二五〇、一二五一、一二五二、一二五三、一二五四、一二五五、一二五六、一二五七、一二五八、一二五九、一二六〇、一二六一、一二六二、一二六三、一二六四、一二六五、一二六六、一二六七、一二六八、一二六九、一二七〇、一二七一、一二七二、一二七三、一二七四、一二七五、一二七六、一二七七、一二七八、一二七九、一二八〇、一二八一、一二八二、一二八三、一二八四、一二八五、一二八六、一二八七、一二八八、一二八九、一二九〇、一二九一、一二九二、一二九三、一二九四、一二九五、一二九六、一二九七、一二九八、一二九九、一三〇〇、一三〇一、一三〇二、一三〇三、一三〇四、一三〇五、一三〇六、一三〇七、一三〇八、一三〇九、一三一〇、一三一一、一三一二、一三一三、一三一四、一三一五、一三一六、一三一七、一三一八、一三一九、一三二〇、一三二一、一三二二、一三二三、一三二四、一三二五、一三二六、一三二七、一三二八、一三二九、一三三〇、一三三一、一三三二、一三三三、一三三四、一三三五、一三三六、一三三七、一三三八、一三三九、一三四〇、一三四一、一三四二、一三四三、一三四四、一三四五、一三四六、一三四七、一三四八、一三四九、一三五〇、一三五一、一三五二、一三五三、一三五四、一三五五、一三五六、一三五七、一三五八、一三五九、一三六〇、一三六一、一三六二、一三六三、一三六四、一三六五、一三六六、一三六七、一三六八、一三六九、一三七〇、一三七一、一三七二、一三七三、一三七四、一三七五、一三七六、一三七七、一三七八、一三七九、一三八〇、一三八一、一三八二、一三八三、一三八四、一三八五、一三八六、一三八七、一三八八、一三八九、一三九〇、一三九一、一三九二、一三九三、一三九四、一三九五、一三九六、一三九七、一三九八、一三九九、一四〇〇、一四〇一、一四〇二、一四〇三、一四〇四、一四〇五、一四〇六、一四〇七、一四〇八、一四〇九、一四一〇、一四一一、一四一二、一四一三、一四一四、一四一五、一四一六、一四一七、一四一八、一四一九、一四二〇、一四二一、一四二二、一四二三、一四二四、一四二五、一四二六、一四二七、一四二八、一四二九、一四三〇、一四三一、一四三二、一四三三、一四三四、一四三五、一四三六、一四三七、一四三八、一四三九、一四四〇、一四四一、一四四二、一四四三、一四四四、一四四五、一四四六、一四四七、一四四八、一四四九、一四五〇、一四五一、一四五二、一四五三、一四五四、一四五五、一四五六、一四五七、一四五八、一四五九、一四六〇、一四六一、一四六二、一四六三、一四六四、一四六五、一四六六、一四六七、一四六八、一四六九、一四七〇、一四七一、一四七二、一四七三、一四七四、一四七五、一四七六、一四七七、一四七八、一四七九、一四八〇、一四八一、一四八二、一四八三、一四八四、一四八五、一四八六、一四八七、一四八八、一四八九、一四九〇、一四九一、一四九二、一四九三、一四九四、一四九五、一四九六、一四九七、一四九八、一四九九、一五〇〇、一五〇一、一五〇二、一五〇三、一五〇四、一五〇五、一五〇六、一五〇七、一五〇八、一五〇九、一五一〇、一五一一、一五一二、一五一三、一五一四、一五一五、一五一六、一五一七、一五一八、一五一九、一五二〇、一五二一、一五二二、一五二三、一五二四、一五二五、一五二六、一五二七、一五二八、一五二九、一五三〇、一五三一、一五三二、一五三三、一五三四、一五三五、一五三六、一五三七、一五三八、一五三九、一五四〇、一五四一、一五四二、一五四三、一五四四、一五四五、一五四六、一五四七、一五四八、一五四九、一五五〇、一五五一、一五五二、一五五三、一五五四、一五五五、一五五六、一五五七、一五五八、一五五九、一五六〇、一五六一、一五六二、一五六三、一五六四、一五六五、一五六六、一五六七、一五六八、一五六九、一五七〇、一五七一、一五七二、一五七三、一五七四、一五七五、一五七六、一五七七、一五七八、一五七九、一五八〇、一五八一、一五八二、一五八三、一五八四、一五八五、一五八六、一五八七、一五八八、一五八九、一五九〇、一五九一、一五九二、一五九三、一五九四、一五九五、一五九六、一五九七、一五九八、一五九九、一六〇〇、一六〇一、一六〇二、一六〇三、一六〇四、一六〇五、一六〇六、一六〇七、一六〇八、一六〇九、一六一〇、一六一一、一六一二、一六一三、一六一四、一六一五、一六一六、一六一七、一六一八、一六一九、一六二〇、一六二一、一六二二、一六二三、一六二四、一六二五、一六二六、一六二七、一六二八、一六二九、一六三〇、一六三一、一六三二、一六三三、一六三四、一六三五、一六三六、一六三七、一六三八、一六三九、一六四〇、一六四一、一六四二、一六四三、一六四四、一六四五、一六四六、一六四七、一六四八、一六四九、一六五〇、一六五一、一六五二、一六五三、一六五四、一六五五、一六五六、一六五七、一六五八、一六五九、一六六〇、一六六一、一六六二、一六六三、一六六四、一六六五、一六六六、一六六七、一六六八、一六六九、一六七〇、一六七一、一六七二、一六七三、一六七四、一六七五、一六七六、一六七七、一六七八、一六七九、一六八〇、一六八一、一六八二、一六八三、一六八四、一六八五、一六八六、一六八七、一六八八、一六八九、一六九〇、一六九一、一六九二、一六九三、一六九四、一六九五、一六九六、一六九七、一六九八、一六九九、一七〇〇、一七〇一、一七〇二、一七〇三、一七〇四、一七〇五、一七〇六、一七〇七、一七〇八、一七〇九、一七一〇、一七一一、一七一二、一七一三、一七一四、一七一五、一七一六、一七一七、一七一八、一七一九、一七二〇、一七二一、一七二二、一七二三、一七二四、一七二五、一七二六、一七二七、一七二八、一七二九、一七三〇、一七三一、一七三二、一七三三、一七三四、一七三五、一七三六、一七三七、一七三八、一七三九、一七四〇、一七四一、一七四二、一七四三、一七四四、一七四五、一七四六、一七四七、一七四八、一七四九、一七五〇、一七五一、一七五二、一七五三、一七五四、一七五五、一七五六、一七五七、一七五八、一七五九、一七六〇、一七六一、一七六二、一七六三、一七六四、一七六五、一七六六、一七六七、一七六八、一七六九、一七七〇、一七七一、一七七二、一七七三、一七七四、一七七五、一七七六、一七七七、一七七八、一七七九、一七八〇、一七八一、一七八二、一七八三、一七八四、一七八五、一七八六、一七八七、一七八八、一七八九、一七九〇、一七九一、一七九二、一七九三、一七九四、一七九五、一七九六、一七九七、一七九八、一七九九、一八〇〇、一八〇一、一八〇二、一八〇三、一八〇四、一八〇五、一八〇六、一八〇七、一八〇八、一八〇九、一八一〇、一八一一、一八一二、一八一三、一八一四、一八一五、一八一六、一八一七、一八一八、一八一九、一八二〇、一八二一、一八二二、一八二三、一八二四、一八二五、一八二六、一八二七、一八二八、一八二九、一八三〇、一八三一、一八三二、一八三三、一八三四、一八三五、一八三六、一八三七、一八三八、一八三九、一八四〇、一八四一、一八四二、一八四三、一八四四、一八四五、一八四六、一八四七、一八四八、一八四九、一八五〇、一八五一、一八五二、一八五三、一八五四、一八五五、一八五六、一八五七、一八五八、一八五九、一八六〇、一八六一、一八六二、一八六三、一八六四、一八六五、一八六六、一八六七、一八六八、一八六九、一八七〇、一八七一、一八七二、一八七三、一八七四、一八七五、一八七六、一八七七、一八七八、一八七九、一八八〇、一八八一、一八八二、一八八三、一八八四、一八八五、一八八六、一八八七、一八八八、一八八九、一八九〇、一八九一、一八九二、一八九三、一八九四、一八九五、一八九六、一八九七、一八九八、一八九九、一九〇〇、一九〇一、一九〇二、一九〇三、一九〇四、一九〇五、一九〇六、一九〇七、一九〇八、一九〇九、一九一〇、一九一一、一九一二、一九一三、一九一四、一九一五、一九一六、一九一七、一九一八、一九一九、一九二〇、一九二一、一九二二、一九二三、一九二四、一九二五、一九二六、一九二七、一九二八、一九二九、一九三〇、一九三一、一九三二、一九三三、一九三四、一九三五、一九三六、一九三七、一九三八、一九三九、一九四〇、一九四一、一九四二、一九四三、一九四四、一九四五、一九四六、一九四七、一九四八、一九四九、一九五〇、一九五一、一九五二、一九五三、一九五四、一九五五、一九五六、一九五七、一九五八、一九五九、一九六〇、一九六一、一九六二、一九六三、一九六四、一九六五、一九六六、一九六七、一九六八、一九六九、一九七〇、一九七一、一九七二、一九七三、一九七四、一九七五、一九七六、一九七七、一九七八、一九七九、一九八〇、一九八一、一九八二、一九八三、一九八四、一九八五、一九八六、一九八七、一九八八、一九八九、一九九〇、一九九一、一九九二、一九九三、一九九四、一九九五、一九九六、一九九七、一九九八、一九九九、二〇〇〇、二〇〇一、二〇〇二、二〇〇三、二〇〇四、二〇〇五、二〇〇六、二〇〇七、二〇〇八、二〇〇九、二〇一〇、二〇一一、二〇一二、二〇一三、二〇一四、二〇一五、二〇一六、二〇一七、二〇一八、二〇一九、二〇二〇、二〇二一、二〇二二、二〇二三、二〇二四、二〇二五、二〇二六、二〇二七、二〇二八、二〇二九、二〇三〇、二〇三一、二〇三二、二〇三三、二〇三四、二〇三五、二〇三六、二〇三七、二〇三八、二〇三九、二〇四〇、二〇四一、二〇四二、二〇四三、二〇四四、二〇四五、二〇四六、二〇四七、二〇四八、二〇四九、二〇五〇、二〇五一、二〇五二、二〇五三、二〇五四、二〇五五、二〇五六、二〇五七、二〇五八、二〇五九、二〇六〇、二〇六一、二〇六二、二〇六三、二〇六四、二〇六五、二〇六六、二〇六七、二〇六八、二〇六九、二〇七〇、二〇七一、二〇七二、二〇七三、二〇七四、二〇七五、二〇七六、二〇七七、二〇七八、二〇七九、二〇八〇、二〇八一、二〇八二、二〇八三、二〇八四、二〇八五、二〇八六、二〇八七、二〇八八、二〇八九、二〇九〇、二〇九一、二〇九二、二〇九三、二〇九四、二〇九五、二〇九六、二〇九七、二〇九八、二〇九九、二一〇〇、二一〇一、二一〇二、二一〇三、二一〇四、二一〇五、二一〇六、二一〇七、二一〇八、二一〇九、二一一〇、二一一一、二一一二、二一一三、二一一四、二一一五、二一一六、二一一七、二一一八、二一一九、二一二〇、二一二一、二一二二、二一二三、二一二四、二一二五、二一二六、二一二七、二一二八、二一二九、二一三〇、二一三一、二一三二、二一三三、二一三四、二一三五、二一三六、二一三七、二一三八、二一三九、二一四〇、二一四一、二一四二、二一四三、二一四四、二一四五、二一四六、二一四七、二一四八、二一四九、二一五〇、二一五一、二一五二、二一五三、二一五四、二一五五、二一五六、二一五七、二一五八、二一五九、二一六〇、二一六一、二一六二、二一六三、二一六四、二一六五、二一六六、二一六七、二一六八、二一六九、二一七〇、二一七一、二一七二、二一七三、二一七四、二一七五、二一七六、二一七七、二一七八、二一七九、二一八〇、二一八一、二一八二、二一八三、二一八四、二一八五、二一八六、二一八七、二一八八、二一八九、二一九〇、二一九一、二一九二、二一九三、二一九四、二一九五、二一九六、二一九七、二一九八、二一九九、二二〇〇、二二〇一、二二〇二、二二〇三、二二〇四、二二〇五、二二〇六、二二〇七、二二〇八、二二〇九、二二一〇、二二一一、二二一二、二二一三、二二一四、二二一五、二二一六、二二一七、二二一八、二二一九、二二二〇、二二二一、二二二二、二二二三、二二二四、二二二五、二二二六、二二二七、二二二八、二二二九、二二三〇、二二三一、二二三二、二二三三、二二三四、二二三五、二二三六、二二三七、二二三八、二二三九、二二四〇、二二四一、二二四二、二二四三、二二四四、二二四五、二二四六、二二四七、二二四八、二二四九、二二五〇、二二五一、二二五二、二二五三、二二五四、二二五五、二二五六、二二五七、二二五八、二二五九、二二六〇、二二六一、二二六二、二二六三、二二六四、二二六五、二二六六、二二六七、二二六八、二二六九、二二七〇、二二七一、二二七二、二二七三、二二七四、二二七五、二二七六、二二七七、二二七八、二二七九、二二八〇、二二八一、二二八二、二二八三、二二八四、二二八五、二二八六、二二八七、二二八八、二二八九、二二九〇、二二九一、二二九二、二二九三、二二九四、二二九五、二二九六、二二九七、二二九八、二二九九、二三〇〇、二三〇一、二三〇二、二三〇三、二三〇四、二三〇五、二三〇六、二三〇七、二三〇八、二三〇九、二三一〇、二三一一、二三一二、二三一三、二三一四、二三一五、二三一六、二三一七、二三一八、二三一九、二三二〇、二三二一、二三二二、二三二三、二三二四、二三二五、二三二六、二三二七、二三二八、二三二九、二三三〇、二三三一、二三三二、二三三三、二三三四、二三三五、二三三六、二三三七、二三三八、二三三九、二三四〇、二三四一、二三四二、二三四三、二三四四、二三四五、二三四六、二三四七、二三四八、二三四九、二三五〇、二三五一、二三五二、二三五三、二三五四、二三五五、二三五六、二三五七、二三五八、二三五九、二三六〇、二三六一、二三六二、二三六三、二三六四、二三六五、二三六六、二三六七、二三六八、二三六九、二三七〇、二三七一、二三七二、二三七三、二三七四、二三七五、二三七六、二三七七、二三七八、二三七九、二三八〇、二三八一、二三八二、二三八三、二三八四、二三八五、二三八六、二三八七、二三八八、二三八九、二三九〇、二三九一、二三九二、二三九三、二三九四、二三九五、二三九六、二三九七、二三九八、二三九九、二四〇〇、二四〇一、二四〇二、二四〇三、二四〇四、二四〇五、二四〇六、二四〇七、二四〇八、二四〇九、二四一〇、二四一一、二四一二、二四一三、二四一四、二四一五、二四一六、二四一七、二四一八、二四一九、二四二〇、二四二一、二四二二、二四二三、二四二四、二四二五、二四二六、二四二七、二四二八、二四二九、二四三〇、二四三一、二四三二、二四三三、二四三四、二四三五、二四三六、二四三七、二四三八、二四三九、二四四〇、二四四一、二四四二、二四四三、二四四四、二四四五、二四四六、二四四七、二四四八、二四四九、二四五〇、二四五一、二四五二、二四五三、二四五四、二四五五、二四五六、二四五七、二四五八、二四五九、二四六〇、二四六一、二四六二、二四六三、二四六四、二四六五、二四六六、二四六七、二四六八、二四六九、二四七〇、二四七一、二四七二、二四七三、二四七四、二四七五、二四七六、二四七七、二四七八、二四七九、二四八〇、二四八一、二四八二、二四八三、二四八四、二四八五、二四八六、二四八七、二四八八、二四八九、二四九〇、二四九一、二四九二、二四九三、二四九四、二四九五、二四九六、二四九七、二四九八、二四九九、二五〇〇、二五〇一、二五〇二、二五〇三、二五〇四、二五〇五、二五〇六、二五〇七、二五〇八、二五〇九、二五一〇、二五一一、二五一二、二五一三、二五一四、二五一五、二五一六、二五一七、二五一八、二五一九、二五二〇、二五二一、二五二二、二五二三、二五二四、二五二五、二五二六、二五二七、二五二八、二五二九、二五三〇、二五三一、二五三二、二五三三、二五三四、二五三五、二五三六、二五三七、二五三八、二五三九、二五四〇、二五四一、二五四二、二五四三、二五四四、二五四五、二五四六、二五四七、二五四八、二五四九、二五五〇、二五五一、二五五二、二五五三、二五五四、二五五五、二五五六、二五五七、二五五八、二五五九、二五六〇、二五六一、二五六二、二五六三、二五六四、二五六五、二五六六、二五六七、二五六八、二五六九、二五七〇、二五七一、二五七二、二五七三、二五七四、二五七五、二五七六、二五七七、二五七八、二五七九、二五八〇、二五八一、二五八二、二五八三、二五八四、二五八五、二五八六、二五八七、二五八八、二五八九、二五九〇、二五九一、二五九二、二五九三、二五九四、二五九五、二五九六、二五九七、二五九八、二五九九、二六〇〇、二六〇一、二六〇二、二六〇三、二六〇四、二六〇五、二六〇六、二六〇七、二六〇八、二六〇九、二六一〇、二六一一、二六一二、二六一三、二六一四、二六一五、二六一六、二六一七、二六一八、二六一九、二六二〇、二六二一、二六二二、二六二三、二六二四、二六二五、二六二六、二六二七、二六二八、二六二九、二六三〇、二六三一、二六三二、二六三三、二六三四、二六三五、二六三六、二六三七、二六三八、二六三九、二六四〇、二六四一、二六四二、二六四三、二六四四、二六四五、二六四六、二六四七、二六四八、二六四九、二六五〇、二六五一、二六五二、二六五三、二六五四、二六五五、二六五六、二六五七、二六五八、二六五九、二六六〇、二六六一、二六六二、二六六三、二六六四、二六六五、二六六六、二六六七、二六六八、二六六九、二六七〇、二六七一、二六七二、二六七三、二六七四、二六七五、二六七六、二六七七、二六七八、二六七九、二六八〇、二六八一、二六八二、二六八三、二六八四、二六八五、二六八六、二六八七、二六八八、二六八九、二六九〇、二六九一、二六九二、二六九三、二六九四、二六九五、二六九六、二六九七、二六九八、二六九九、二七〇〇、二七〇一、二七〇二、二七〇三、二七〇四、二七〇五、二七〇六、二七〇七、二七〇八、二七〇九、二七一〇、二七一一、二七一二、二七一三、二七一四、二七一五、二七一六、二七一七、二七一八、二七一九、二七二〇、二七二一、二七二二、二七二三、二七二四、二七二五、二七二六、二七二七、二七二八、二七二九、二七三〇、二七三一、二七三二、二七三三、二七三四、二七三五、二七三六、二七三七、二七三八、二七三九、二七四〇、二七四一、二七四二、二七四三、二七四四、二七四五、二七四六、二七四七、二七四八、二七四九、二七五〇、二七五一、二七五二、二七五三、二七五四、二七五五、二七五六、二七五七、二七五八、二七五九、二七六〇、二七六一、二七六二、二七六三、二七六四、二七六五、二七六六、二七六七、二七六八、二七六九、二七七〇、二七七一、二七七二、二七七三、二七七四、二七七五、二七七六、二七七七、二七七八、二七七九、二七八〇、二七八一、二七八二、二七八三、二七八四、二七八五、二七八六、二七八七、二七八八、二七八九、二七九〇、二七九一、二七九二、二七九三、二七九四、二七九五、二七九六、二七九七、二七九八、二七九九、二八〇〇、二八〇一、二八〇二、二八〇三、二八〇四、二八〇五、二八〇六、二八〇七、二八〇八、二八〇九、二八一〇、二八一一、二八一二、二八一三、二八一四、二八一五、二八一六、二八一七、二八一八、二八一九、二八二〇、二八二一、二八二二、二八二三、二八二四、二八二五、二八二六、二八二七、二八二八、二八二九、二八三〇、二八三一、二八三二、二八三三、二八三四、二八三五、二八三六、二八三七、二八三八、二八三九、二八四〇、二八四一、二八四二、二八四三、二八四四、二八四五、二八四六、二八四七、二八四八、二八四九、二八五〇、二八五一、二八五二、二八五三、二八五四、二八五五、二八五六、二八五七、二八五八、二八五九、二八六〇、二八六一、二八六二、二八六三、二八六四、二八六五、二八六六、二八六七、二八六八、二八六九、二八七〇、二八七一、二八七二、二八七三、二八七四、二八七五、二八七六、二八七七、二八七八、二八七九、二八八〇、二八八一、二八八二、二八八三、二八八四、二八八五、二八八六、二八八七、二八八八、二八八九、二八九〇、二八九一、二八九二、二八九三、二八九四、二八九五、二八九六、二八九七、二八九八、二八九九、二九〇〇、二九〇一、二九〇二、二九〇三、二九〇四、二九〇五、二九〇六、二九〇七、二九〇八、二九〇九、二九一〇、二九一一、二九一二、二九一三、二九一四、二九一五、二九一六、二九一七、二九一八、二九一九、二九二〇、二九二一、二九二二、二九二三、二九二四、二九二五、二九二六、二九二七、二九二八、二九二九、二九三〇、二九三一、二九三二、二九三三、二九三四、二九三五、二九三六、二九三七、二九三八、二九三九、二九四〇、二九四一、二九四二、二九四三、二九四四、二九四五、二九四六、二九四七、二九四八、二九四九、二九五〇、二九五一、二九五二、二九五三、二九五四、二九五五、二九五六、二九五七、二九五八、二九五九、二九六〇、二九六一、二九六二、二九六三、二九六四、二九六五、二九六六、二九六七、二九六八、二九六九、二九七〇、二九七一、二九七二、二九七三、二九七四、二九七五、二九七六、二九七七、二九七八、二九七九、二九八〇、二九八一、二九八二、二九八三、二九八四、二九八五、二九八六、二九八七、二九八八、二九八九、二九九〇、二九九一、二九九二、二九九三、二九九四、二九九五、二九九六、二九九七、二九九八、二九九九、三〇〇〇、三〇〇一、三〇〇二、三〇〇三、三〇〇四、三〇〇五、三〇〇六、三〇〇七、三〇〇八、三〇〇九、三〇一〇、三〇一一、三〇一

「イスラエルの人たち、ならびに神を恐れかしこむ方々。よく聞いてください。
17この民イスラエルの神は私たちの先祖たちを選び、民がエジプトの地に滞在していた間にこれを強大にし、御腕を高く上げて、彼らをその地から導き出してくださいました。
18そして約四十年間、荒野で彼らを養われました。
19それからカナンの地で、七つの民を滅ぼし、その地を相続財産として分配されました。これが、約四百五十年間のことです。
20その後、預言者サムエルの時代までは、さばき人たちをお遣わしになりました。
21それから彼らが王をほしがったので、神はベニヤミン族の人、キスの子サウロを四十年間お与えになりました。
22それから、彼を退けて、ダビデを立てて王とされましたが、このダビデについてあかしして、こう言われました。『わたしはエッサイの子ダビデを見いだした。彼はわたしの心にかなった者で、わたしのこころを余すところなく実行する。』
23神は、このダビデの子孫から、約束に従って、イスラエルに救い主イエスをお送りになりました。
24この方がおいでになる前に、ヨハネがイスラエルのすべての民に、前もって悔い改めのバプテスマを宣べ伝えていました。
25ヨハネは、その一生を終えようとするころ、こう言いました。『あなたがたは、私をだれと思うのですか。私はその方ではありません。ご覧なさい。その方は私のあとからおいでになります。私は、その方のくつのひもを解く値うちもありません。』
26兄弟の方々、アブラハムの子孫の方々、ならびに皆さんの中で神を恐れかしこむ方々。この救いのことばは、私たちに送られているのです。
27エルサレムに住む人々とその指導者たちは、このイエスを認めず、また安息日ごとに読まれる預言者のことばを理解せず、イエスを罪に定めて、その預言を成就させてしまいました。
28そして、死罪に当たる何の理由も見いだせなかったのに、イエスを殺すことをピラトに強要したのです。
29こうして、イエスについて書いてあることを全部成し終えて後、イエスを十字架から取り降ろして墓の中に納めました。
30しかし、神はこの方を死者の中からよみがえらせたのです。
31イエスは、ご自分といっしょにガリラヤからエルサレムに上った人たちに、幾日もお現われになりました。きょう、その人たちがこの民に対してイエスの証人となっています。
32私たちは、神が先祖たちに対してなされた約束について、あなたがたに良い知らせをしているのです。
33神は、イエスをよみがえらせ、それによって、私たち子孫にその約束を果たされました。詩篇の第二篇

---

17 ①申七・六、出六・七、三・一四、六、使七・七以下
18 ①参使七・三六
*別訳「彼らを耐え忍ばれました」。異本「養父のように、彼らを養われました」
19 ①申七・一、②参使七・四五
③ヨシ一九・五一、詩六・五
④比士二・六、Ⅰ列六・一
20 ①使二四・②士二・一六
21 ①Ⅰサム八・五、②Ⅰサム一〇・一九・二一
22 ①Ⅰサム一三・一四、詩八九・二〇、②Ⅰサム一三・一四、詩八九・二〇、③比使一三・二二
23 ①参マタ・一、②比使一三・三三、③参ルカ二・一一、ヨハ四・四二
24 ①マコ一・四、比使一三・二四
25 ①使一三・二四、②ヨハ一・二〇、比マタ三・一一、マコ一・七、ルカ三・一六
*別訳「私はあなたがたが考えているような人ではありません」
26 ①使六・二、比使五・三〇、四・一二、二八・六
27 ①参ルカ二三・一三、②使一三・一五
③参ルカ二四・二七、④参使三・一七
28 ①参使三・一四
29 ①比使六・三
*「アエスを」は補足
②参使五・三〇、**直訳「木」
③比ルカ二三・五三
30 ①使三・一五、二四・三七、参使三・二四
31 ①参使一・二、②参ルカ二四・四八
32 ①参使六・六、ロマ一・二、三、九・五、比使一三・三二、②参使三・二六、四二・一二・一三
33 ①使一三・二四、二四・三七、参使三・二四
*権威ある写本に「私たちの子孫」と読むものがある

に、『あなたは、わたしの子。きょう、わたしがあなたを生んだ。』と書いてあるとおりです。

34 神がイエスを死者の中からよみがえらせて、もはや朽ちることのない方とされたことについては、『わたしはダビデに約束した聖なる確かな祝福を、あなたがたに与える。』というように言われていました。

35 ですから、ほかの所でこう言っておられます。『あなたは、あなたの聖者を朽ち果てるままにはしておかれない。』

36 ダビデは、その生きていた時代において神のみこころに仕えて後、死んで先祖の仲間に加えられ、ついに朽ち果てました。

37 しかし、神がよみがえらせた方は、朽ちることがありませんでした。

38 ですから、兄弟たち。あなたがたに罪の赦しが宣べられているのはこの方によるということを、よく知っておいてください。

39 モーセの律法によっては解放されることのできなかったすべての点について、信じる者はみな、この方によって、解放されるのです。

40 ですから、預言者に言われているような事が、あなたがたの上に起こらないように気をつけなさい。

41 『見よ。あざける者たち。驚け。そして滅びよ。
わたしはおまえたちの時代に一つのことをする。
それは、おまえたちに、どんなに説明しても、
とうてい信じられないほどのことである。』」

42 ふたりが会堂を出るとき、人々は、次の安息日にも同じことについて話してくれるように頼んだ。

43 会堂の集会が終わってからも、多くのユダヤ人と神を敬う改宗者たちが、パウロとバルナバについて来たので、ふたりは彼らと話し合って、いつまでも神の恵みにとどまっているように勧めた。

44 次の安息日には、ほとんど町中の人が、神のことばを聞きに集まって来た。

45 しかし、この群衆を見たユダヤ人たちは、ねたみに燃え、パウロの話に反対して、口ぎたなくののしった。

46 そこでパウロとバルナバは、はっきりとこう宣言した。「神のことばは、まずあなたがたに語られなければならなかったのです。しかし、あなたがたはそれを拒んで、自分自身を永遠のいのちにふさわしくない者と決めたのです。見なさい。私たちは、これからは異邦人のほうへ向かいます。

47 なぜなら、主は私たちに、こう命じておられるからです。

『わたしはあなたを立てて、異邦人の光とした。
あなたが地の果てまでも救いをもたらすためである。』」

48 異邦人たちは、それを聞いて喜び、主のみことばを賛美した。そして、永遠のいのちに定められていた人たちは、みな、信仰にはいった。

49 こうして、主のみことばは、この地方全体に広まっ

33 ②詩二・七
34 ①使一三・三、三七、聖使二・三四 ②イザ五五・三
35 ①詩一六・一〇、使二・二七 *あるいは「敬虔な者」
36 ①使一・二六 *別訳「神のみこころによって、その時代に仕え」 ②使一三・三、三〇・三六、③聖使八・一、Ⅰ列二・一〇
37 ①使一三・三、三四、聖使二・三四
38 ①ルカ二四・四七、使一〇・四三 *直訳「義と認められる」
39 ①ロマ三・二六、二〇・四、聖使一〇・四三
40 ①ヨハ六・四五、使一三・四一、ルカ二四・四四 *直訳「預言者たち」
41 ①ハバ一・五
42 ①聖使一三・四四 *直訳「ことば」
43 ①使一三・四二、一七・四、使一八・四、二六、②聖マタ二三・三四、③聖使一一・二三
44 ①聖使一三・四四 *異本「主」
45 ①使一三・五〇、一八・六、聖Ⅰテサ二・一六
46 ①聖使一三・六、使一八・六、一三、②使一八・三・二六・三、六、使一九・九、三五
47 ①イザ四九・六、②聖ルカ二・三二
48 ①使一三・二、*異本「神」 ②ロマ八・二九以下、エペ一・四、五・二
49 ①使一三・三

た。
50ところが、[1]ユダヤ人たちは、[2]神を敬う貴婦人たちや
町の有力者たちを扇動して、パウロとバルナバを迫害
させ、ふたりをその地方から追い出した。
51ふたりは、彼らに対して足のちりを払い落として、
[2]イコニオムへ行った。
52弟子たちは喜びと聖霊に満たされていた。

14 [1]イコニオムでも、ふたりは[*]連れ立
ってユダヤ人の会堂にはいり、話を
すると、[3]ユダヤ人も[4]ギリシヤ人も大ぜいの人々が信仰
にはいった。
2しかし、[1]信じようとしないユダヤ人たちは、異邦人
たちをそそのかして、[2]兄弟たちに対し悪意を抱かせ
た。
3それでも、ふたりは長らく滞在し、主によって[1]大胆
に語った。主は、彼らの手にしるしと不思議なわざを
行なわせ、御恵みのことばの証明をされた。
4ところが、町の人々は二派に分かれ、ある者はユダ
ヤ人の側につき、ある者は使徒たちの側についた。
5異邦人とユダヤ人が彼らの指導者たちといっしょに
なって、使徒たちをはずかしめて、[1]石打ちにしようと
企てたとき、
6ふたりはそれを知って、[1]ルカオニヤの町である[2]ル
ステラとデルベ、[3]およびその付近の地方に難を避け、
7そこで福音の宣教を続けた。
8ルステラでのことであるが、[1]ある足のきかない人
がすわっていた。彼は生まれながらの足なえで、歩い
たことがなかった。
9この人がパウロの話すことに耳を傾けていた。パウ
ロは彼に目を留め、いやされる信仰があるのを見て、
10大声で、「自分の足で、まっすぐに立ちなさい。」と
言った。すると彼は[1]飛び上がって、歩き出した。
11パウロのしたことを見た群衆は、声を張り上げ、[1]ル
カオニヤ語で、「[2]神々が人間の姿をとって、私たちの
ところにお下りになったのだ。」と言った。
12そして、バルナバをゼウスと呼び、パウロがおもに
話す人であったので、パウロをヘルメスと呼んだ。
13すると、町の門の前にあるゼウス神殿の祭司は、雄
牛数頭と花飾りを門の前に携えて来て、群衆といっし
よに、いけにえをささげようとした。
14これを聞いた使徒たち、バルナバとパウロは、衣を
裂いて、群衆の中に駆け込み、叫びながら、
15言った。「皆さん。どうしてこんなことをするので
すか。私たちも皆さんと同じ人間です。そして、あな
たがたがこのようなむなしいことを捨てて、[3]天と地と
海とその中にあるすべてのものをお造りになった生け
る神に立ち返るように、福音を宣べ伝えている者たち
です。
16過ぎ去った時代には、神はあらゆる国の人々がそれ
ぞれ自分の道を歩むことを許しておられました。
17とはいえ、ご自身のことをあかししないでおられた
のではありません。すなわち、恵みをもって、[2]天から

50 ①使13:50, 14:2, 5, 19 ②使13:43, 50, 16:14, 17:4, 12, 17, ヨ12:42, ①テサ1:9, ②使13:50, 17:4, 12, 17:34, *あるいは「礼拝する」 ③使マコ15:43, *直訳「境界」 あるいは「地域」
51 ①マタ10:14, 使13:51, 18:6 ②使16:2
52 ①使13:1, Ⅱテモ1:5, ②使13:9, 52, *あるいは「同じように」 ③使ヨ14:26, 使13:9, ④使13:52
1 ①使ヨ3:1, ②使13:50, ヘブ11:31, ③使ヨ8:30, ④使13:43, 50, 17:4, 12, 使18:4
2 ①使13:50, ②使14:5, 19, 使17:5, 13, 18:6, 使13:50
3 ①使13:51, 18:6, ②使13:46, 18:6
4 ①使13:2, 14, ②使13:43, 50, 17:4, 12, 使13:50
5 ①使14:19, ②使13:50, 51, 14:2, 19, 使13:50
6 ①使13:51, 14:2, ②使13:14, 51, 16:1, 2, Ⅱテモ3:11, ③使13:50, 51, 14:2, 20, 使13:50
7 ①使13:51, 14:2, 10, 使13:50
8 ①使3:2
9 ①使3:4, 14:10 ②使14:20, *あるいは「救われる」 ②使マタ9:22
10 ①使3:8
11 ①使3:8, ②使使16:10, 17:6, 使13:50
13 ①ゲン12:6, 35:4
14 ①使14:4, ②民14:30, マタ5:22, マコ11:23
15 ①ヤコ5:17, 使使16:10, 17:6, ②申32:1, Ⅰサム12:21, エレ8:19, *すなわち、詩96:5, 使17:29, *偶像崇拝」 ③出20:11, 詩96:5, 黙14:7, 使使16:10, 17:6
16 ①詩81:13, 147:20, 詩125:3
17 ①使使14:15, 17:30, ②使使14:15, 17:30, ロマ1:20, 2:5, ③使使14:15, 17:30, ④申11:14, ヨブ5:10, 詩65:10, 147:8, エゼ34:26, ヨエ2:23

雨を降らせ、実りの季節を与え、食物と喜びとで、あなたがたの心を満たしてくださったのです。」
18 こう言って、ようやくのことで、群衆が彼らにいけにえをささげるのをやめさせた。

19 ところが、アンテオケとイコニオムからユダヤ人たちが来て、群衆を抱き込み、パウロを石打ちにし、死んだものと思って、町の外に引きずり出した。
20 しかし、弟子たちがパウロを取り囲んでいると、彼は立ち上がって町にはいって行った。その翌日、彼はバルナバとともにデルベに向かった。
21 彼らはその町で福音を宣べ、多くの人を弟子としてから、ルステラとイコニオムとアンテオケとに引き返して、
22 弟子たちの心を強め、この信仰にしっかりとどまるように勧め、「私たちが神の国にはいるには、多くの苦しみを経なければならない。」と言った。
23 また、彼らのために教会ごとに長老たちを選び、断食をして祈って後、彼らをその信じていた主にゆだねた。
24 ふたりはピシデヤを通ってパンフリヤに着き、
25 ペルガでみことばを語ってから、アタリヤに下り、
26 そこから船でアンテオケに帰った。そこは、彼らがいま成し遂げた働きのために、以前神の恵みにゆだねられて送り出された所であった。
27 そこに着くと、教会の人々を集め、神が彼らとともにいて行なわれたすべてのことと、異邦人に信仰の門を開いてくださったこととを報告した。
28 そして、彼らはかなり長い期間を弟子たちとともに過ごした。

15

1 さて、ある人々がユダヤから下って来て、兄弟たちに、「モーセの慣習に従って割礼を受けなければ、あなたがたは救われない。」と教えていた。
2 そしてパウロやバルナバと彼らとの間に激しい対立と論争が生じたので、パウロとバルナバと、その仲間のうちの幾人かが、この問題について使徒たちや長老たちと話し合うために、エルサレムに上ることになった。
3 彼らは教会の人々に見送られ、フェニキヤとサマリヤを通る道々で、異邦人の改宗のことを詳しく話したので、すべての兄弟たちに大きな喜びをもたらした。
4 エルサレムに着くと、彼らは教会と使徒たちと長老たちに迎えられ、神が彼らとともにいて行なわれたことを、みなに報告した。
5 しかし、パリサイ派の者で信者になった人々が立ち上がり、「異邦人にも割礼を受けさせ、また、モーセの律法を守ることを命じるべきである。」と言った。
6 そこで使徒たちと長老たちは、この問題を検討するために集まった。
7 激しい論争があって後、ペテロが立ち上がって言った。「兄弟たち。ご存じのとおり、神は初めのころ、あなたがたの間で事をお決めになり、異邦人が私の口

19 ①参使二・一四、二四、ロマ一六・七、Ⅱコリ一一・二五、Ⅰテサ二・一四、②参使一三・五、一四・一、三、参使一三・五、一四・一、三、Ⅱコリ一一・二五、Ⅰテモ三・一一
20 ①参使一二・一七、一五・三、六 ②参使一四・六
21 ①参使一三・七、 ②参使二三・一一
22 ①参使一二・二六、一五・六 ②参使一・七、③ヨハ一六・三三、Ⅰテサ三・三、Ⅱテモ三・一二、Ⅰペテ二・二一、黙二・九
23 ①参使一・二三、②テト一・五、Ⅱコリ八・一九、 ③使一三・三、Ⅱテモ一・三、④使二〇・三二
24 ①使一三・一四、 ②参使一三・一三
25 ①参使一三・一三、 ②使一六・五
26 ①参使一三・一三、 ②使一三・三
27 ①Ⅰコリ一六・九、Ⅱコリ二・一二、コロ四・三、黙三・八、 ②使一五・四
28 ①使一三・二四、 ②参使一・一五、一七・一、三、三一、 ③参使六・一四、 ④使一五・五、ガラ二・一二、Ⅰコリ七・六、ガラ二・一二、一四
2 ①使一五・七、 ②Ⅱペガラ二・三 ③使一五・四、六、三三、六・四 参使一二・三
3 ①使一五・三、六、二二、ロマ一五・二四、Ⅰコリ一六・六、一一、Ⅱコリ一・一六、テト三・一三、Ⅲヨハ六 ②参使一二・一九 ③使一五・七、一二
4 ①使一五・一二、一四、二七 ②参使一四・二七、一五・三
5 ①参マタ二三・二、使一五・五 ②使一五・一、二四、二六・五、二三 ③ガラ二・三、四、Ⅱコリ七・一八、ガラ二・一二、一四
7 ①使一五・二、 ②使一〇・二〇、三 *別訳「の中で私をお選びになり」

から福音のことばを聞いて信じるようにされたのです。

8 そして、人の心の中を知っておられる神は、私たちに与えられたと同じように異邦人にも聖霊を与えて、彼らのためにあかしをし、

9 私たちと彼らとに何の差別もつけず、彼らの心を信仰によってきよめてくださったのです。

10 それなのに、なぜ、今あなたがたは、私たちの先祖も私たちも負いきれなかったくびきを、あの弟子たちの首に掛けて、神を試みようとするのです。

11 私たちが主イエスの恵みによって救われたことを私たちは信じますが、あの人たちもそうなのです。」

12 すると、全会衆は沈黙してしまった。そして、バルナバとパウロが、彼らを通して神が異邦人の間で行なわれたしるしと不思議なわざについて話すのに、耳を傾けた。

13 ふたりが話し終えると、ヤコブがこう言った。「兄弟たち。私の言うことを聞いてください。

14 神が初めに、どのように異邦人を顧みて、その中から御名をもって呼ばれる民をお召しになったかは、シメオンが説明したとおりです。

15 預言者たちのことばもこれと一致しており、それにはこう書いてあります。

16 『この後、わたしは帰って来て、
倒れたダビデの幕屋を建て直す。
すなわち、廃墟と化した幕屋を建て直し、

17 それを元どおりにする。
それは、残った人々、すなわち、
わたしの名で呼ばれる異邦人がみな、
主を求めるようになるためである。

18 大昔からこれらのことを知らせておられる主が、
こう言われる。』

19 そこで、私の判断では、神に立ち返る異邦人を悩ませてはいけません。

20 ただ、偶像に供えて汚れた物と不品行と絞め殺した物と血とを避けるように書き送るべきだと思います。

21 昔から、町ごとにモーセの律法を宣べる者がいて、それが安息日ごとに諸会堂で読まれているからです。」

22 そこで使徒たちと長老たち、また、全教会もともに、彼らの中から人を選んで、パウロやバルナバといっしょにアンテオケへ送ることを決議した。選ばれたのは兄弟たちの中の指導者たちで、バルサバと呼ばれるユダおよびシラスであった。

23 彼らはこの人たちに託して、こう書き送った。「使徒および長老たちは、アンテオケ、シリヤ、キリキヤにいる異邦人の兄弟たちに、あいさつをいたします。

24 私たちの中のある者たちが、私たちからは何も指示を受けていないのに、いろいろなことを言ってあなたがたを動揺させ、あなたがたの心を乱したことを聞きましたので、

25 そこで、私たちは人々を選び、私たちの愛するバル

---

7 ③使三・二四
8 ①使一・二四、②使一〇・四七
9 ①使一〇・六、三四、一一・一二
10 ①詩マタ三・四、ガラ五・一 ②使五・九
11 ①ロマ三・二六、使一〇・四三 Ⅱコリ一三・一三、エペ二・五、八
12 ①参ヨハ四・四八、②使一四・三、一五・三、四
13 ①参使一三・一七
14 ①使一五・七
15 ①使一三・四〇
16 ①アモ九・一一、②使エレ三・五
＊あるいは「天幕」
17 ①アモ九・一二、②申六・一〇、七十人訳）イザ六三・一九、エレ一四・九、ダニ九・一九他
18 ①アモ九・一二、②イザ四五・二一
＊あるいは「知られていたこれらのことをなさる主」
19 ①使一五・二六・三一・三五
20 ①使一五・二九、既ダニ一・八 Ⅰコリ八・一、一〇・七、八、一四―一六 黙二・一四、二〇、②創九・四、レビ三・一七、七・二六、一七・一〇、一二、一四、一八・一六、申一二・一六、一五・二三、Ⅰサム一四・三三
21 ①使一三・一五、Ⅱコリ三・一四、一五 ②参使一三・一〇
22 ①参使一五・二、③参使一五・一、④使一五・一七、三三、既ロマ九・二五、二六、一七・一四、一八・一六、既Ⅱコリ一・一九 Ⅱテサ一・一 Ⅰペテ五・一二
23 ①ガラ一・二、②参使六・九 ③使三・二六、ヤコ一・一 既Ⅱヨハ一〇・一二
24 ①使一五・一、②ガラ一・七、五・一〇

ナバおよびパウロといっしょに、あなたがたのところへ送ることに衆議一決しました。
26このバルナバとパウロは、私たちの主イエス・キリストの御名のために、いのちを投げ出した人たちです。
27こういうわけで、私たちはユダとシラスを送りました。彼らは口頭で同じ趣旨のことを伝えるはずです。
28聖霊と私たちは、次のぜひ必要な事のほかは、あなたがたにその上、どんな重荷も負わせないことを決めました。
29すなわち、偶像に供えた物と、血と、絞め殺した物と、不品行とを避けることです。これらのことを注意深く避けていれば、それで結構です。以上。」
30さて、一行は送り出されて、アンテオケに下り、教会の人々を集めて、手紙を手渡した。
31それを読んだ人々は、その励ましによって喜んだ。
32ユダもシラスも預言者であったので、多くのことばをもって兄弟たちを励まし、また力づけた。
33彼らは、しばらく滞在して後、兄弟たちの平安のあいさつに送られて、彼らを送り出した人々のところへ帰って行った。*
35パウロとバルナバはアンテオケにとどまって、ほかの多くの人々とともに、主のみことばを教え、宣べ伝えた。
36幾日かたって後、パウロはバルナバにこう言った。「先に主のことばを伝えたすべての町々の兄弟たちのところに、またたずねて行って、どうしているか見てこようではありませんか。」
37ところが、バルナバは、マルコとも呼ばれるヨハネもいっしょに連れて行くつもりであった。
38しかしパウロは、パンフリヤで一行から離れてしまい、仕事のために同行しなかったような者はいっしょに連れて行かないほうがよいと考えた。
39そして激しい反目となり、その結果、互いに別行動をとることになって、バルナバはマルコを連れて、船でキプロスに渡って行った。
40パウロはシラスを選び、兄弟たちから主の恵みにゆだねられて出発した。
41そして、シリヤおよびキリキヤを通り、諸教会を力づけた。

16

1それからパウロはデルベに、次いでルステラに行った。そこにテモテという弟子がいた。信者であるユダヤ婦人の子で、ギリシヤ人を父としていたが、
2ルステラとイコニオムとの兄弟たちの間で評判の良い人であった。
3パウロは、このテモテを連れて行きたかったので、その地方にいるユダヤ人の手前、彼に割礼を受けさせた。彼の父がギリシヤ人であることを、みなが知っていたからである。
4さて、彼らは町々を巡回して、エルサレムの使徒たちと長老たちが決めた規定を守らせようと、人々にそれを伝えた。

25①使1:6-六
26①使9:29-三以下、13:50-九
27①使15:32、13:3、②参使15:3-三
28①使15:8、19:21、使16:9-三、②使1:8-二、③使1:24-三
29①使15:20
30①使15:22-三
32①使15:27-三、②参使15:27-三、③参使15:27-三、④参使15:27-三
33①マコ6:29-三四、使1:6-三六、Ⅰコリ16:11-二、田ペブ1:25-三、②使1:6-三
*異本 三四節として「しかし、シラスはそこにとどまることに決めた」
35①使13:1-三六、②参使15:22-三、③参使8:4-四
36①参使15:36-三、②使13:4-三、15:41-二、18:23-三四、③使15:32-三
37①参使12:25-三
38①参コロ4:10-四、参使12:25-三七、②参使13:5-三六、③使1:8-二、②使13:13-三六
39①参マタ4:21-四、田使1:13-三
40①参使15:22-三、②使14:26-三
41①参マタ4:21-四、田使1:13-三、②参使15:4-六、②使16:1-四、15:23-三、ロマ16:1-二、Ⅰコリ16:19-七、ピリ1:1-二、Ⅰテサ1:1-二、Ⅱテサ1:1-二、Ⅰテモ1:2-六、Ⅱテモ1:2-三、③Ⅱテモ1:5-三
1①参使16:41-六、②使14:6-四、15:41-二、Ⅰコリ4:17-七、16:10-二、Ⅱコリ1:19-七、ピリ1:1-二、Ⅰテサ1:1-二、コロ1:1-二、Ⅰテサ1:1-二、Ⅱテサ1:1-二、Ⅰテモ1:2-六、Ⅱテモ1:2-三、③Ⅱテモ1:5-三
2①参使16:1-四、②参使16:1-五
3①田ガラ2:3
4①参使15:23-三、②参使16:1-三
③使15:2-六、元

5 こうして諸教会は、その信仰を強められ、日ごとに人数を増して行った。

6 それから彼らは、アジヤでみことばを語ることを聖霊によって禁じられたので、フルギヤ・ガラテヤの地方を通った。

7 こうしてムシヤに面した所に来たとき、ビテニヤのほうに行こうとしたが、イエスの御霊がそれをお許しにならなかった。

8 それでムシヤを通って、トロアスに下った。

9 ある夜、パウロは幻を見た。ひとりのマケドニヤ人が彼の前に立って、「マケドニヤに渡って来て、私たちを助けてください。」と懇願するのであった。

10 パウロがこの幻を見たとき、私たちはただちにマケドニヤへ出かけることにした。神が私たちを招いて、彼らに福音を宣べさせるのだ、と確信したからである。

11 そこで、私たちはトロアスから船に乗り、サモトラケに直航して、翌日ネアポリスに着いた。

12 それからピリピに行ったが、ここはマケドニヤのこの地方第一の町で、植民都市であった。私たちはこの町に幾日か滞在した。

13 安息日に、私たちは町の門を出て、祈り場があると思われた川岸に行き、そこに腰をおろして、集まった女たちに話した。

14 テアテラ市の紫布の商人で、神を敬う、ルデヤという女が聞いていたが、主は彼女の心を開いて、パウロの語る事に心を留めるようにされた。

15 そして、彼女も、またその家族もバプテスマを受けたとき、彼女は、「私を主に忠実な者とお思いでしたら、どうか、私の家に来てお泊まりください。」と言って頼み、強いてそうさせた。

16 私たちが祈り場に行く途中、占いの霊につかれた若い女奴隷に出会った。この女は占いをして、主人たちに多くの利益を得させている者であった。

17 彼女はパウロと私たちのあとについて来て、「この人たちは、いと高き神のしもべたちで、救いの道をあなたがたに宣べ伝えている人たちです。」と叫び続けた。

18 幾日もこんなことをするので、困り果てたパウロは、振り返ってその霊に、「イエス・キリストの御名によって命じる。この女から出て行け。」と言った。すると即座に、霊は出て行った。

19 彼女の主人たちは、もうける望みがなくなったのを見て、パウロとシラスを捕え、役人たちに訴えるため広場へ引き立てて行った。

20 そして、ふたりを長官たちの前に引き出してこう言った。「この者たちはユダヤ人でありまして、私たちの町をかき乱し、

21 ローマ人である私たちが、採用も実行もしてはならない風習を宣伝しております。」

22 群衆もふたりに反対して立ったので、長官たちは、ふたりの着物をはいでむちで打つように命じ、

23 何度もむちで打たせてから、ふたりを牢に入れて、

5 ①使九・三一、②使二・四七
6 ①使二・九 *すなわち「小アジヤの西海岸の州」 ②使二・一〇、六・三 **別訳「フルギヤとガラテヤ地方」
7 ①使六・三、Ⅰコリ一六・一、ガラ一・二一、Ⅱテモ四・一〇、Ⅰペテ一・一 ②Ⅰペテ一・一 ③ルカ二四・四九、ロマ八・九、ガラ四・六、ピリ一・一九、Ⅰペテ一・一二、既使六・七九
8 ①使一六・一一
9 ①使九・一〇、②使一六・一〇、一二、一八・一九、二一・三、二三・一一、二七・二四、二八・一、③使一六・一一
10 ①使九・一〇、②使一六・一〇、一七、一八・一、二〇・一、二六・七、一六・一九、一六・一、③使一六・一一
11 *異本「それゆえ」 ①使一六・八、二〇・六、Ⅱコリ二・一二、Ⅱテモ四・一二、②使二〇・一
12 ①使二〇・六、ピリ一・一、Ⅰテサ二・二、二・二、三・一、一八・一九・一、二〇・一、二八・一、②使一六・一二、ロマ一六・二三、Ⅰコリ一・一四、③既使六・一二
13 ①使一六・一三、②黙二・一四、六・二、③既使六・一一
14 ①黙一・一二、二・一、六・二、②既使一六・一四、③使二・三三、既ルカ二四・四五
15 ①使一六・一四 *あるいは「を信じる者」 ②使一六・一三、②既レビ一九・三二、一九・三二、申一六・一二、Ⅰサム二・三七、Ⅱ列二・六、Ⅰ歴一〇・一二、イザ八・一九
16 ①使一六・一八、②既マコ一六・一七
17 ①既マコ五・七
18 ①既マコ一六・一七、既使一九・一三、二六 *あるいは「去った」 ②使一三・一一、既使一三・一二、一九・一五、③既使一七・六、七、二三・二九
19 ①使一六・一六、既使一九・一三、二六・一四、②使一六・二一、③既エス三・八
20 ①使一六・二一、②既エス三・八
22 ①Ⅱコリ一一・二五、既Ⅰテサ二・二

[1]看守には厳重に番をするように命じた。
24この命令を受けた看守は、ふたりを奥の牢に入れ、
足に足かせを掛けた。
25真夜中ごろ、パウロとシラスが神に祈りつつ賛美の
歌を歌っていると、ほかの囚人たちも聞き入っていた。
26ところが突然、[1]大地震が起こって、獄舎の土台が揺
れ動き、たちまちとびらが全部あいて、みなの鎖が解
[2]けてしまった。
27目をさました看守は、見ると、牢のとびらがあいて
いるので、囚人たちが逃げてしまったものと思い、剣
を抜いて自殺しようとした。
28そこでパウロは大声で、「自害してはいけない。私た
ちはみなここにいる。」と叫んだ。
29看守はあかりを取り、駆け込んで来て、[1]パウロとシ
ラスとの前に震えながらひれ伏した。
30そして、ふたりを外に連れ出して「[1]先生がた。救わ
れるためには、何をしなければなりませんか。」と言っ
た。
31ふたりは、「[1]主イエスを信じなさい。そうすれば、あ
なたもあなたの[2]家族も救われます。」と言った。
32そして、彼とその家の者全部に主のことばを語った。
33看守は、その夜、[1]時を移さず、ふたりを引き取り、
その打ち傷を洗った。そして、そのあとですぐ、彼と
その家の者全部がバプテスマを受けた。
34それから、ふたりをその家に案内して、食事のもて
なしをし、[1]全家族そろって神を信じたことを心から喜
んだ。
35夜が明けると、長官たちは警吏たちを送って、「あ
の人たちを釈放せよ。」と言わせた。
36そこで[1]看守は、この命令をパウロに伝えて、「長官た
ちが、あなたがたを釈放するようにと、使いをよこし
ました。どうぞ、ここを出て、[2]ご無事に行ってくださ
い。」と言った。
37ところが、パウロは、警吏たちにこう言った。「彼ら
は、[1]ローマ人である私たちを、取り調べもせずに公衆
の前でむち打ち、牢に入れてしまいました。それなの
に今になって、ひそかに私たちを送り出そうとするの
ですか。とんでもない。彼ら自身で出向いて来て、私
たちを連れ出すべきです。」
38警吏たちは、このことばを長官たちに報告した。す
ると長官たちは、ふたりがローマ人であると聞いて[1]恐
れ、
39自分で出向いて来て、わびを言い、ふたりを外に出
して、町から立ち去ってくれるように頼んだ。
40牢を出たふたりは、[1]ルデヤの家に行った。そして兄
弟たちに会い、彼らを励ましてから出て行った。

17

1彼らはアムピポリスとアポロニヤ
を通って、[1]テサロニケへ行った。そ
こには、ユダヤ人の会堂があった。
2パウロはいつもしているように、会堂にはいって行
って、三つの[2]安息日にわたり、[3]聖書に基づいて彼らと

23 ①使六・二七、二六
24 ①ヨブ三三・二七、三三・二一、エレ三二・二、三三・二、六
25 ①参使六・一九、②参エペ五・一九
26 ①[1]使四・三一、②参使二・一〇 ③[1]使二・七
27 ①使六・二三、二六、②[1]使二・二九
29 ①参使六・一九
30 ①[1]使二・三七、三・一〇
31 ①[1]ロマ一〇・九、②[1]使二・一四、一六・一五
32 *異本「神」
33 ①使六・三五
34 ①参使二・一四、一六・三五
*別訳「神を信じたことを、全家族とともに心から喜んだ」
36 ①使六・三七、②参使一五・三三
37 ①使三・五上、九
38 ①使三・三九
39 ①[1]ロマ八・三四
40 ①使六・一四、②使六・三 参使一・二五
1 ①使一七・一、三三・三、ピリ四・一六、Ⅱテモ四・一〇、[1]使三・四 Ⅰテサ一・一、Ⅱテサ一・一
2 ①参使九・二〇、一七・二、一七 ②参使三・一四、③参使八・三五

論じた。
3そして、キリストは苦しみを受け、死者の中からよみがえらなければならないことを説明し、また論証して、「私があなたがたに伝えているこのイエスこそ、キリストなのです。」と言った。
4彼らのうちの幾人かはよくわかって、パウロとシラスに従った。またほかに、神を敬うギリシヤ人が大ぜいおり、貴婦人たちも少なくなかった。
5ところが、ねたみにかられたユダヤ人は、町のならず者をかり集め、暴動を起こして町を騒がせ、またヤソンの家を襲い、ふたりを人々の前に引き出そうとして捜した。
6しかし、見つからないので、ヤソンと兄弟たちの幾人かを、町の役人たちのところへひっぱって行き、大声でこう言った。「世界中を騒がせて来た者たちが、ここにもはいり込んでいます。
7それをヤソンが家に迎え入れたのです。彼らはみな、イエスという別の王がいると言って、カイザルの詔勅にそむく行ないをしているのです。」
8こうして、それを聞いた群衆と町の役人たちとを不安に陥れた。
9彼らは、ヤソンとそのほかの者たちから*保証金を取ったうえで釈放した。
10兄弟たちは、すぐさま、夜のうちにパウロとシラスをベレヤへ送り出した。ふたりはそこに着くと、ユダヤ人の会堂にはいって行った。
11ここのユダヤ人は、テサロニケにいる者たちよりも良い人たちで、非常に熱心にみことばを聞き、はたしてそのとおりかどうかと毎日聖書を調べた。
12そのため、彼らのうちの多くの者が信仰にはいった。その中には、ギリシヤの貴婦人や男子も少なくなかった。
13ところが、テサロニケのユダヤ人たちは、パウロがベレヤでも神のことばを伝えていることを知り、ここにもやって来て、群衆を扇動して騒ぎを起こした。
14そこで兄弟たちは、ただちにパウロを送り出して海べまで行かせたが、シラスとテモテはベレヤに踏みとどまった。
15パウロを案内した人たちは、彼をアテネまで連れて行った。そしてシラスとテモテに一刻も早く来るように、という命令を受けて、帰って行った。
16さて、アテネでふたりを待っていたパウロは、町が偶像でいっぱいなのを見て、心に憤りを感じた。
17そこでパウロは、会堂ではユダヤ人や神を敬う人たちと論じ、広場では毎日そこに居合わせた人たちと論じた。
18エピクロス派とストア派の哲学者たちも幾人かいて、パウロと論じ合っていたが、その中のある者たちは、「この*おしゃべりは、何を言うつもりなのか。」と言い、ほかの者たちは、「彼は外国の神々を伝えているらしい。」と言った。パウロがイエスと復活とを宣べ伝えたからである。

3 ①参使二・六、②ヨハ二〇・九
4 ①参使二・三、八、六・二六
5 ①使一三・四五、②使一七・一〇、一三・四四、参使一三・一七、一八・一二、一五
6 ①使一七・九、参使一三・四三
7 ①ルカ二〇・二六、ヤコ二・二五
②参ルカ二三・二
9 ①参使一七・五
＊あるいは「約束」、「保証」
10 ①使一七・六、一四、参使一・五
②参使一七・四四、③使一七・一二、一四、④参使一七・一二
11 ①参使一七・一
12 ①参使二・四七、②参マコ一五・四三
③使一三・五〇
13 ①参使一七・一、②使一七・一〇、一四
14 ①使一七・四、一〇、参使一・一五
②使一七・四、一〇、参使一五・三三
③使一六・一
15 ①比使一五・三五、②使一七・二、三、一八・一、Ⅰテサ三・一
16 ①使一七・一六、二一、一八・一
Ⅰテサ三・一
17 ①参使九・二九、比使一七・二
18 ①参使九・二九、比使一七・二
Ⅰテサ三・一
②参使二・四、比使一七・一〇
比使Ⅰコリ一四・一〇、一二
＊別訳「さえずる者」
＊＊ギリシヤ語「ダイモン」
②参使四・二、一七・三、三

19そこで彼らは、パウロを*[1]アレオパゴスに連れて行ってこう言った。「あなたの語っているその新しい[3]教えがどんなものであるか、知らせていただけませんか。20私たちにとっては珍しいことを聞かせてくださるので、それがいったいどんなものか、私たちは知りたいのです。」

21アテネ人も、そこに住む外国人もみな、何か耳新しいことを話したり、聞いたりすることだけで、日を過ごしていた。

22そこでパウロは、アレオパゴスの真中に立って言った。「アテネの人たち。あらゆる点から見て、私はあなたがたを宗教心にあつい方々だと見ております。23私が道を通りながら、あなたがたの拝むものをよく見ているうちに、『知られない神に。』と刻まれた祭壇があるのを見つけました。そこで、あなたがたが知らずに拝んでいるものを、教えましょう。

24この世界とその中にあるすべてのものをお造りになった神は、天地の主ですから、手でこしらえた宮などにはお住みになりません。

25また、何かに不自由なことでもあるかのように、人の手によって仕えられる必要はありません。神は、すべての人に、いのちと息と万物とをお与えになった方だからです。

26*[1]神は、ひとりの人からすべての国の人々を造り出して、地の全面に住まわせ、それぞれに決められた時代と、その住まいの境界とをお定めになりました。

27これは、神を求めさせるためであって、もし探り求めることでもあるなら、神を見いだすこともあるのです。確かに、神は、私たちひとりひとりから遠く離れてはおられません。

28私たちは、神の中に生き、動き、また存在しているのです。あなたがたのある詩人たちも、『私たちもまたその子孫である。』と言ったとおりです。

29そのように私たちは神の子孫ですから、神を、人間の技術や工夫で造った金や銀や石などの像と同じものと考えてはいけません。

30神は、そのような無知の時代を見過ごしておられましたが、今は、どこででもすべての人に悔い改めを命じておられます。

31なぜなら、神は、お立てになったひとりの人により義をもってこの世界をさばくため、日を決めておられるからです。そして、その方を死者の中からよみがえらせることによって、このことの確証をすべての人にお与えになったのです。」

32死者の復活のことを聞くと、ある者たちはあざ笑い、ほかの者たちは、「このことについては、またいつか聞くことにしよう。」と言った。

33こうして、パウロは彼らの中から出て行った。

34しかし、彼につき従って信仰にはいった人たちもいた。それは、アレオパゴスの裁判官デオヌシオ、ダマリスという女、その他の人々であった。

19 ①使一七三一節 *あるいは「アレオパゴスの議会」 ②出使三一九、③出マコ一二七
21 ④出使三一〇
22 ①⑬使一七一二節、②出使三一九
23 ①⑬Ⅱテサ二一四、②出ヨハ四一三
24 ①イザ四二五、⑬使一四一三五 ②マタ一一二五、出申一〇一四 詩一二五一六、③使七一四八
25 ①詩五〇一二、出ヨブ三一三 ②申三二八、ヨブ三一三
26 ①マラ二一〇 *後期のある写本「一つの血」 ②申三二八、ヨブ三一三
27 ①申四一七、エレ二三一三、一二節 出使一四一一七
28 ①ヨブ三一一〇、ダニ五一三三
29 ①イザ四〇一八以下、出ロマ一一三
30 ①出使一七一三、②出使一四一一六 ロマ三一五、③ルカ二四一四七 使三六一三、テト一一三
31 ①出ルカ二一三三、②⑬マタ二四一、使一七一六、③ヨハ五一三一三七 使一〇一四二、出詩九一八、九六一三、九八一、④⑬マタ一〇一五、⑤⑬使一二一三
32 ①使一七一八
34 ①出使一七一八、三三

18

1 その後、パウロはアテネを去って、[1]
2 コリントへ行った。
ここで、[1] アクラというポント生まれのユダヤ人およびその妻プリスキラに出会った。[2] クラウデオ帝が、すべてのユダヤ人をローマから退去させるように命令したため、近ごろイタリヤから来ていたのである。パウロはふたりのところに行き、
3 自分も同業者であったので、その家に住んでいっしょに仕事をした。彼らの職業は天幕作りであった。[1]
4 パウロは安息日ごとに会堂で論じ、[2] ユダヤ人とギリシヤ人を説服させようとした。[3]
5 そして、シラスとテモテがマケドニヤから下って来ると、[1] パウロはみことばを教えることに専念し、イエスがキリストであることを、ユダヤ人たちにはっきりと宣言した。[2]
6 しかし、彼らが反抗して暴言を吐いたので、パウロは着物を振り払って、[1] 「あなたがたの血は、あなたがたの頭上にふりかかれ。私には責任がない。今から私は異邦人のほうに行く。」と言った。[2]
7 そして、そこを去って、[1] 神を敬うテオ・ユストという人の家に行った。その家は会堂の隣であった。
8 会堂管理者クリスポは、一家をあげて主を信じた。[1] また、多くのコリント人も聞いて信じ、バプテスマを受けた。[2]
9 ある夜、主は幻によってパウロに、「恐れないで、語り続けなさい。黙ってはいけない。
10 わたしがあなたとともにいるのだ。だれもあなたを襲って、危害を加える者はない。この町には、わたしの民がたくさんいるから。」と言われた。
11 そこでパウロは、一年半ここに腰を据えて、彼らの間で神のことばを教え続けた。[1]
12 ところが、ガリオがアカヤの地方総督であったとき、[1] ユダヤ人たちはこぞってパウロに反抗し、彼を法廷に引いて行って、[2]
13 「この人は、[1] 律法にそむいて神を拝むことを、人々に説き勧めています。」と訴えた。
14 パウロが口を開こうとすると、ガリオはユダヤ人に向かってこう言った。「ユダヤ人の諸君。不正事件や悪質な犯罪のことであれば、私は当然、あなたがたの訴えを取り上げもしようが、[1]
15 あなたがたの、ことばや名称や律法に関する問題であるなら、自分たちで始末をつけるのがよかろう。私はそのようなことの裁判官にはなりたくない。」[1]
16 こうして、彼らを法廷から追い出した。
17 そこで、みなの者は、[1] 会堂管理者ソステネを捕え、法廷の前で打ちたたいた。ガリオは、そのようなことは少しも気にしなかった。
18 パウロは、なお長らく滞在してから、[1] 兄弟たちに別れを告げて、[2] シリヤへ向けて出帆した。[3] プリスキラとアクラも同行した。パウロは一つの誓願を立てていたので、[4] ケンクレヤで髪をそった。[5]
19 彼らがエペソに着くと、[1] パウロはふたりをそこに残

1 ①使徒一七・一五、②使一九・二
Ⅰコリ一・一、Ⅱコリ一・一、Ⅱテモ四・二〇、既使一八・Ⅱコリ六・一
2 ①使一八・二六、ロマ一六・三、Ⅰコリ一六・一九、Ⅱテモ四・一九、②使一八・二、④使一七・六、一九、二〇・三四
3 ①使二〇・三四、Ⅰコリ四・一二、Ⅰテサ二・九、Ⅱテサ三・八、既Ⅰコリ九・一四、Ⅱコリ一一・七、Ⅰテサ四・一一
4 ①参使二・一四、②参使九・二〇、一八・九、一〇、③使一四・一、④使一七・一七、⑤使二〇・三、参ルカ一六・一六
5 ①使一七・一四、使一八・五
6 ①既ネヘ五・一八、Ⅰ列二一・二三、②Ⅱサム一・一六、Ⅰ列二一・二三、エゼ三・一八、二〇、マタ一〇・一四、既使一三・五一、参③使一三・五
7 ①使一八・一四、既使一三・四五、＊異本「テトス」「テオ・ユスト」を欠く写本もある
8 ①参マコ五・三五、②Ⅱコリ一二・一、③参使一八・一四、④参使一八・一
9 ①参使九・一〇
10 ①参使一七・二、一八・六、一〇、ロマ五・一、Ⅱコリ一二・九、一三・一二、一四、Ⅰテサ二・一八、②参使一三・七、③参マタ二七・九
11 ①参使一八・六、②Ⅰコリ一二・一(?)
12 ①使一八・七、一二、二一、ロマ一五・二、Ⅰコリ一六・一九、Ⅱテサ一・七、八、②参使一三・七、③参マタ二七・九、一四、参④参マタ二七・九
13 ①使一八・五、既ヨハ一九・七
14 ①参マタ五・二一
15 ①使二三・二九、二五・一九
16 ①参マタ二七・九
17 ①参使一八・八、②Ⅰコリ一・一(?)、③参マタ二七・九
18 ①参使一三・五一、二一・二六、②参マコ一六・四四、③参マタ四・一一、④使一八・四、⑤ロマ一六・一、⑥民六・二、一八、使二一・二四
19 ①参使一八・二

し、自分だけ会堂にはいって、ユダヤ人たちと論じた。
20 人々は、もっと長くとどまるように頼んだが、彼は
聞き入れないで、
21 「神のみこころなら、またあなたがたのところに帰
って来ます。」と言って別れを告げ、エペソから船出し
た。
22 それからカイザリヤに上陸してエルサレムに上
り、教会にあいさつしてからアンテオケに下って行っ
た。
23 そこにしばらくいてから、彼はまた出発し、ガラテ
ヤの地方およびフルギヤを次々に巡って、すべての弟
子たちを力づけた。
24 さて、アレキサンドリヤの生まれで、*雄弁なアポ
ロというユダヤ人がエペソに来た。彼は聖書に通じて
いた。
25 この人は、主の道の教えを受け、霊に燃えて、イエ
スのことを正確に語り、また教えていたが、ただヨハ
ネのバプテスマしか知らなかった。
26 彼は会堂で大胆に話し始めた。それを聞いていたプ
リスキラとアクラは、彼を招き入れて、神の道をもっ
と正確に彼に説明した。
27 そして、アポロがアカヤへ渡りたいと思っていたの
で、兄弟たちは彼を励まし、そこの弟子たちに、彼を
歓迎してくれるようにと手紙を書いた。彼はそこに着
くと、*すでに恵みによって信者になっていた人たちを
大いに助けた。
28 彼は聖書によって、イエスがキリストであることを
証明して、力強く、公然とユダヤ人たちを論破したか
らである。

19

1 アポロがコリントにいた間に、パウロは奥地を通ってエペソに来た。
そして幾人かの弟子に出会って、
2 「信じたとき、聖霊を受けましたか。」と尋ねると、
彼らは、「いいえ、聖霊の与えられることは、聞きも
しませんでした。」と答えた。
3 「では、どんなバプテスマを受けたのですか。」と言
うと、「ヨハネのバプテスマです。」と答えた。
4 そこで、パウロは、「ヨハネは、自分のあとに来られ
るイエスを信じるように人々に告げて、悔い改めのバ
プテスマを授けたのです。」と言った。
5 これを聞いたその人々は、主イエスの御名によって
バプテスマを受けた。
6 パウロが彼らの上に手を置いたとき、聖霊が彼らに
臨まれ、彼らは異言を語ったり、預言をしたりした。
7 その人々は、みな十二人ほどであった。
8 それから、パウロは会堂にはいって、三か月の間
大胆に語り、神の国について論じて、彼らを説得しよ
うと努めた。
9 しかし、ある者たちが心をかたくなにして聞き入れ
ず、会衆の前で、この道をののしったので、パウロは
彼らから身を引き、弟子たちをも退かせて、毎日ツラ
ノの講堂で論じた。

21 ①Ⅰコリ16:5 ②Ⅱコリ1:16, ヘブ13:23 ③使15:3, ヤコ4:15, Ⅰペテ3:17
22 ①Ⅰコリ16:19, ピレモ1, ②使15:4
23 ①使16:6 ②使18:23
24 ①使6:9 *別訳「学識のある」
25 ①使18:26, Ⅰコリ1:12, 3:5, 4:6, 16:12, テト3:13 ②使18:5, 28 ③使18:26
26 ①使18:2, 18 ②使18:25 ③使18:11
27 ①使18:2, 18 ②使18:25 ③使18:11 *別訳「すでに信者になっていた人たちを、恵みによって大いに助けた」
28 ①使9:22, ②使18:5
1 ①使18:23, ②使18:11 ③使18:24, ④使18:21
2 ①使8:15, ②ヨハ7:39 *別訳「聖霊のあることを聞いたことさえありません」
3 ①使2:38, 使19:5 ②ヨハ1:25, 3:22
4 ①使13:24, ②ヨハ1:7, 15, 27, 30
5 ①使8:16, 使10:48 ②使2:38, 8:16, 特に8:12, ③使8:12, 使16:15, ④使16:33
6 ①使8:17, ②使2:4, 10:46, ③使2:17, 使11:27, 使21:9
8 ①使9:20, ②使1:3, 使19:10 *異本「神の事がらについて」
9 ①使19:23, ②使9:2, ③使19:23, 使22:4

10 これが二年の間続いたので、アジヤに住む者はみな、
ユダヤ人もギリシヤ人も主のことばを聞いた。
11 神はパウロの手によって驚くべき奇蹟を行なわれ
た。
12 パウロの身に着けている手ぬぐいや前掛けをはずし
て病人に当てると、その病気は去り、悪霊は出て行っ
た。
13 ところが、諸国を巡回しているユダヤ人の魔よけ祈
禱師の中のある者たちも、ためしに、悪霊につかれて
いる者に向かって主イエスの御名をとなえ、「パウロ
の宣べ伝えているイエスによって、おまえたちに命じ
る。」と言ってみた。
14 そういうことをしたのは、ユダヤの祭司長スケワと
いう人の七人の息子たちであった。
15 すると悪霊が答えて、「自分はイエスを知っている
し、パウロもよく知っている。けれどおまえたちは何
者だ。」と言った。
16 そして悪霊につかれている人は、彼らに飛びかかり、
ふたりの者を押えつけて、みなを打ち負かしたので、
彼らは裸にされ、傷を負ってその家を逃げ出した。
17 このことがエペソに住むユダヤ人とギリシヤ人の全
部に知れ渡ったので、みな恐れを感じて、主イエスの
御名をあがめるようになった。
18 そして、信仰にはいった人たちの中から多くの者が
やって来て、自分たちのしていることをさらけ出して
告白した。
19 また魔術を行なっていた多くの者が、その書物をか
かえて来て、みなの前で焼き捨てた。その値段を合計
してみると、銀貨五万枚になった。
20 こうして、主のことばは驚くほど広まり、ますます
力強くなって行った。
21 これらのことが一段落すると、パウロは御霊の示
しにより、マケドニヤとアカヤを通ったあとでエルサ
レムに行くことにした。そして、「私はそこに行って
から、ローマも見なければならない。」と言った。
22 そこで、自分に仕えている者の中からテモテとエラ
ストのふたりをマケドニヤに送り出したが、パウロ自
身は、なおしばらくアジヤにとどまっていた。
23 そのころ、この道のことから、ただならぬ騒動が
持ち上がった。
24 それというのは、デメテリオという銀細工人がいて、
銀でアルテミス神殿の模型を作り、職人たちにかなり
の収入を得させていたが、
25 彼が、その職人たちや、同業の者たちをも集めて、
こう言ったからである。「皆さん。ご承知のように、私
たちが繁盛しているのは、この仕事のおかげです。
26 ところが、皆さんが見てもいるし聞いてもいるよう
に、あのパウロが、手で作った物など神ではないと
言って、エペソばかりか、ほとんどアジヤ全体にわた
って、大ぜいの人々を説き伏せ、迷わせているので
す。
27 これでは、私たちのこの仕事も信用を失う危険があ

10 ①前使二九、二〇三、②前使二六、二九、三三、三五、三七、③前使三二、二八、二〇
11 ①前使八、三
12 ①前使五、三六、②前マコ六、一七
13 ①前マタ三、二七、ルカ二、二九
17 ①前使一、二九
19 ①前ルカ五、八 *たぶん五万ドラクマ
20 ①前使一九、一〇 *別訳「主の力により、ことばはますます広がり、力強くなって行った」 ②使六、七、三、三四
21 *別訳「彼の霊」 ①ロマ一五、二六、Ⅰテサ一、七、八 ②前使一六、九、一三、二五、③前使一六、二、③Ⅰコリ一六、五、前使一六、二、④前使一六、三、三一、前使一九、一、⑤ロマ一五、二四、前使二三、一一 ⑥ロマ一五、二四、二八、前使二三、二一 ⑦ロマ一五、二四、Ⅱコリ一、一六 ⑧ロマ一五、二四、Ⅱテモ四、二一、⑨前使一九、二一、二二、二五、⑩前使一九、二一
22 ①使一九、二二、前使一三、一三、一四 ②ロマ一六、二三(一)、③Ⅱコリ八、一九、②前使一六、一
23 ①前使一九、九
24 *「の模型」は補足 ①前使一六、一九、二〇
26 ①使一七、二六、Ⅰコリ八、一〇、一九、前申四、一九、詩一三五、四、イザ四四、一〇―二〇、エレ一〇、三以下、黙五、一四、②前使一九、一〇 ③前使一九、一〇

るばかりか、大女神アルテミスの神殿も顧みられなくなり、[1]全アジヤ、全世界の拝むこの大女神のご威光も地に落ちてしまいそうです。」

28 そう聞いて、彼らは大いに怒り、「偉大なのはエペソ人のアルテミスだ。」と叫び始めた。

29 そして、町中が大騒ぎになり、人々はパウロの同行者である[2]マケドニヤ人ガイオとアリスタルコを捕え、一団となって劇場へなだれ込んだ。

30 パウロは、その集団の中にはいって行こうとしたが、弟子たちがそうさせなかった。

31 アジヤ州の高官で、パウロの友人である人たちも、彼に使いを送って、劇場にはいらないように頼んだ。

32 ところで、集会は混乱状態に陥り、大多数の者は、なぜ集まったのかさえ知らなかったので、ある者はこのことを叫び、ほかの者は別のことを叫んでいた。

33 ユダヤ人たちがアレキサンデルという者を前に押し出したので、群衆の中のある人たちが彼を促すと、彼は手を振って、会衆に弁明しようとした。

34 しかし、彼がユダヤ人だとわかると、みなの者がいっせいに声をあげ、「偉大なのはエペソ人のアルテミスだ。」と二時間ばかりも叫び続けた。

35 町の書記役は、群衆を押し静めてこう言った。「エペソの皆さん。エペソの町が、大女神アルテミスと天から下ったそのご神体との守護者であることを知らない者が、いったいいるでしょうか。

36 これは否定できない事実ですから、皆さんは静かにして、軽はずみなことをしないようにしなければいけません。

37 皆さんがここに引き連れて来たこの人たちは、宮を汚した者でもなく、私たちの女神をそしった者でもないのです。

38 それで、もしデメテリオとその仲間の職人たちが、だれかに文句があるのなら、裁判の日があるし、[1]地方総督たちもいることですから、互いに訴え出たらよいのです。

39 もしあなたがたに、これ以上何か要求することがあるなら、正式の議会で決めてもらわなければいけません。

40 きょうの事件については、正当な理由がないのですから、騒擾罪に問われる恐れがあります。その点に関しては、私たちはこの騒動の弁護はできません。」

41 こう言って、その集まりを解散させた。

20

1 騒ぎが治まると、パウロは弟子たちを呼び集めて励まし、別れを告げて、[2]マケドニヤへ向かって出発した。

2 そして、その地方を通り、多くの勧めをして兄弟たちを励ましてから、ギリシヤに来た。

3 パウロはここで三か月を過ごしたが、そこからシリヤに向けて船出しようというときに、彼に対するユダヤ人の陰謀があったため、彼はマケドニヤを経て帰ることにした。

4 プロの子であるベレヤ人ソパテロ、テサロニケ人ア

27 ①参使二九・一〇、②参マタ二四・一四
28 ①参使一九・一九
29 ①使一九・二九、四使一三・五、三・二四 Ⅱコリ八・一九、②参使一六・九、一九・三、③使二〇・四のデルベ人ガイオでない。④使二〇・四、二七・二 コロ四・一〇、ピレ二四
30 ①参使一九・九
31 * あるいは「はいって行くような危険を冒さないように」
32 * ギリシヤ語「エクレシヤ」 ①使二・二四
33 * 別訳「ある人たちは彼を(その原因と)考えた」 ①参使二・一七
35 ①参使一六・一九 * 直訳「ゼウスから」
37 ①ロマ二・三
38 ①参使二五・七
39 * ギリシヤ語「エクレシヤ」
41 * ギリシヤ語「エクレシヤ」 1 ①参使二一・六、②参使一六・九、二三・二六、③参使一九・二三
2 * 直訳「彼ら」
3 ①参マタ二四・一二、②参使二〇・三四、三〇・六、③参使一六・九、二三・一一
4 ①使一七・一〇、②別使一七・一 ③参使一六・一九

リスタルコとセクンド、デルベ人ガイオ、テモテ、アジヤ人テキコとトロピモは、パウロに同行していたが、
5 彼らは先発して、トロアスで私たちを待っていた。
6 種なしパンの祝いが過ぎてから、私たちはピリピから船出し、五日かかってトロアスで彼らと落ち合い、そこに七日間滞在した。
7 週の初めの日に、私たちはパンを裂くために集まった。そのときパウロは、翌日出発することにしていたので、人々と語り合い、夜中まで語り続けた。
8 私たちが集まっていた屋上の間には、ともしびがたくさんともしてあった。
9 ユテコというひとりの青年が窓のところに腰を掛けていたが、ひどく眠けがさし、パウロの話が長く続くので、とうとう眠り込んでしまって、三階から下に落ちた。抱き起こしてみると、もう死んでいた。
10 パウロは降りて来て、彼の上に身をかがめ、彼を抱きかかえて、「心配することはない。まだいのちがあります。」と言った。
11 そして、また上がって行き、パンを裂いて食べてから、明け方まで長く話し合って、それから出発した。
12 人々は生き返った青年を家に連れて行き、ひとかたならず慰められた。
13 さて、私たちは先に船に乗り込んで、アソスに向けて出帆した。そしてアソスでパウロを船に乗せることにしていた。パウロが、自分は陸路をとるつもりで、そう決めておいたからである。
14 こうして、パウロはアソスで私たちと落ち合い、私たちは彼を船に乗せてミテレネに着いた。
15 そこから出帆して、翌日キオスの沖に達し、次の日サモスに立ち寄り、*その翌日ミレトに着いた。
16 それはパウロが、アジヤで時間を取られないようにと、エペソには寄港しないで行くことに決めていたからである。彼は、できれば五旬節の日にはエルサレムに着いていたい、と旅路を急いでいたのである。
17 パウロは、ミレトからエペソに使いを送って、教会の長老たちを呼んだ。
18 彼らが集まって来たとき、パウロはこう言った。
「皆さんは、私がアジヤに足を踏み入れた最初の日から、私がいつもどんなふうにあなたがたと過ごして来たか、よくご存じです。
19 私は謙遜の限りを尽くし、涙をもって、またユダヤ人の陰謀によりわが身にふりかかる数々の試練の中で、主に仕えました。
20 益になることは、少しもためらわず、あなたがたに知らせました。人々の前でも、家々でも、あなたがたを教え、
21 ユダヤ人にもギリシヤ人にも、神に対する悔い改めと、私たちの主イエスに対する信仰とをはっきりと主張したのです。
22 いま私は、*心を縛られて、エルサレムに上る途中です。そこで私にどんなことが起こるのかわかりません。

---

15 *異本「トロギュリヤに泊まり、その後」を挿入する。
16 ①使二〇・六、二一・四、一八
②使二〇・三、③使二一・四
④使二〇・三一、③使二一・四
17 ①使二〇・六、一七、②使二一・三
18 ①使二〇・六、一八、一九、②使二〇・三一、一四、一六
19 ①使二〇・三
20 ①使二〇・二六、二七
21 ①使二〇・二六、二七、二一、二六・二三、②使二四・二六、二八、エペ一・一五、コロ二・五、ピレ五
③使二六・二六
22 *別訳「聖霊に縛られて」
①使二〇・二六、二七、②使二一・一三
23 ①使二〇・二三、②使二一・四、一一
24 ①使一三・五一、二〇・二四、②使二一・一九、ロマ一五・一九、Ⅱテモ四・五、③使一・八、一七、二五、二六・二四、ロマ一五・一六、Ⅱテモ四・七
25 ①使二〇・二二、Ⅱテモ四・六、②使二〇・三八
26 ①使一八・六、②使五・二八、一八・一五、③使一八・一二
27 ①使二〇・二〇、②使二〇・三七、③使二〇・二一
28 ①使二〇・二九、②Ⅰペテ五・二、③使二〇・一
29 ①使二〇・三〇、②Ⅱペテ二・一、ユダ四
30 ①使二〇・二九、②Ⅰテモ一・二〇、Ⅱテモ一・一五、二・一七、四・一四
31 ①使一九・八、一〇、②使二〇・三、③Ⅰコリ四・一四、コロ一・二八、Ⅰテサ二・一一、五・一二、一四
32 ①使一四・二三、②Ⅰペテ一・四、③使一三・四八、ロマ一五・一六、Ⅰコリ一・二、六・一一、Ⅱコリ一三・一三、エペ一・一八、二・二〇、コロ三・二四、Ⅰテサ二・一二、Ⅱテサ二・一四、ヘブ九・一五、一〇・三六、一一・一三、一六、一二・二二、二八、Ⅰペテ一・四、黙二一・一二、一四
33 ①Ⅰサム一二・三、Ⅱコリ一二・一四、②使二〇・三四、Ⅰテサ二・九、Ⅱテサ三・八
34 ①使一八・三、②使二〇・三四、③Ⅰコリ四・一二、④使二八・八
35 ①使二〇・二八、②使二〇・三二、③使二〇・三二、④マタ五・三、⑤ルカ六・二〇、⑥使二六・一八、⑦Ⅰペテ一・四、⑧使二〇・三二
36 ①使七・六〇、②ルカ二二・四一、使九・四〇、二一・五
37 ①使二〇・一、②ルカ一五・二〇
38 ①使二〇・二五、②使二一・三、一二、一三、一五、一七、一八、二一・一九、二五・一、三、一〇、一一、二一、二五、二六・三二、二八・一四、三一

4 ④使一四・六、⑤使一九・二九のマケドニヤ人ガイオでない
⑥使二六・一、⑦④使二六・六、三〇・二六、⑧エペ六・二一、コロ四・七、Ⅱテモ四・一二、テト三・一二
⑨使二一・二九、Ⅱテモ四・二〇
5 ①④使二六・八、②使二〇・五一五
⑤使二六・一〇
6 ①④使二一・三、②使二〇・五一五
⑤使二六・一〇、③使二六・一二
⑥使二六・一八
7 ①ヨリ二・一、民数二・一〇
②使二〇・五一六、⑤使二六・一〇
③④使二一・四、二〇・一一
8 ①④使二一・三、②④マタ三・一
9 *あるいは「窓台に」
10 ①民一・列一七・二一、Ⅱ列四・二四
②民マタ九・三二四、マコ五・二五
11 ①④使二一・四一、二〇・七
12 ①使二一・四一、二〇・七
13 ①使二〇・五一六、④使二六・一〇
*あるいは「歩いて行く」

23 ただわかっているのは、聖霊がどの町でも私にはっきりとあかしされて、なわめと苦しみが私を待っていると言われることです。
24 けれども、私が自分の走るべき行程を走り尽くし、主イエスから受けた、神の恵みの福音をあかしする任務を果たし終えることができるなら、私のいのちは少しも惜しいとは思いません。
25 皆さん。御国を宣べ伝えてあなたがたの中を巡回した私の顔を、あなたがたはもう二度と見ることがないことを、いま私は知っています。
26 ですから、私はきょうここで、あなたがたに宣言します。私は、すべての人たちが受けるさばきについて責任がありません。
27 私は、神のご計画の全体を、余すところなくあなたがたに知らせておいたからです。
28 あなたがたは自分自身と群れの全体とに気を配りなさい。聖霊は、神がご自身の血をもって買い取られた神の教会を牧させるために、あなたがたを群れの監督にお立てになったのです。
29 私が出発したあと、狂暴な狼があなたがたの中にはいり込んで来て、群れを荒らし回ることを、私は知っています。
30 あなたがた自身の中からも、いろいろな曲がったことを語って、弟子たちを自分のほうに引き込もうとする者たちが起こるでしょう。
31 ですから、目をさましていなさい。私が三年の間、夜も昼も、涙とともにあなたがたひとりひとりを訓戒し続けて来たことを、思い出してください。
32 いま私は、あなたがたを神とその恵みのみことばとにゆだねます。みことばは、あなたがたを育成し、すべての聖別された人々の中にあって御国を継がせることができるのです。
33 私は、人の金銀や衣服をむさぼったことはありません。
34 あなたがた自身が知っているとおり、この両手は、私の必要のためにも、私とともにいる人たちのためにも、働いて来ました。
35 このように労苦して弱い者を助けなければならないこと、また、主イエスご自身が、『受けるよりも与えるほうが幸いである。』と言われたみことばを思い出すべきことを、私は、万事につけ、あなたがたに示して来たのです。」
36 こう言い終わって、パウロはひざまずき、みなの者とともに祈った。
37 みなは声をあげて泣き、パウロの首を抱いて幾度も口づけし、
38 彼が、「もう二度と私の顔を見ることがないでしょう。」と言ったことばによって、特に心を痛めた。それから、彼らはパウロを船まで見送った。

21 1 私たちは彼らと別れて出帆し、コスに直航し、翌日ロドスに着き、そこからパタラに渡った。

---

23 ①㊐使八・二九、②使二六・五
㊐ルカ一六・八、㊑使一三・二、㊒三
24 ①使二〇・二四、②㊐使二〇・三、③使八・三、㊐ルカ一六・八、㊑使一三・二、④㊑使一・七、⑤使二〇・三
25 *直訳「さあご覧なさい」(呼びかけのことば) ①使六・三、㊑マタ四・三
26 *直訳「の血について」 ①使六・六
27 ①使二〇・二六、②使一三・三
28 ①使一三・二九、ルカ一三・三、Ⅰペテ五・二、㊑ヨハ二一・二十一七
*異本「主」 ②エペ一・七、一四、テト二・一四、Ⅰペテ一・一九、二・九、黙五・九、㊐マタ八・八、ロマ八・一六、㊑Ⅰコリ一〇・三三
29 ①エゼ三三・七、マタ七・一五、②使一三・一八、ルカ一三・三三、Ⅰペテ五・二、㊑ヨハ二一・二十一七
30 ①㊐使二〇・一六
31 ①㊑使一八・一〇、二六・一七、②使一三・一九
32 *最も古い写本の一つ「主」 ①使二〇・二四、㊑使二〇・二四、②使二〇・二四、③㊑使二〇・二、④使二〇・二四、エペ一・一四、三・二、二〇・三二、ヘブル一・二、Ⅰペテ一・四
33 ①㊑Ⅰコリ九・一四、一六、Ⅱコリ一・一二、一三・一四、一六、Ⅰテサ二・五、六
34 ①㊐使二八・三、②使一六・三
35 ①㊐使二〇・二四、二八・三五、㊐ルカ六・三八、㊑ルカ六・三一
36 ①使九・四〇、二一・五、㊐ルカ二二・四一
37 ①㊐ルカ一五・二〇
38 ①使二〇・二五、②㊐使一五・三
1 ①使二一・一八、㊐使一六・一〇
②使一六・一二

2 そこにはフェニキヤ行きの船があったので、それに
乗って出帆した。
3 やがてキプロスが見えて来たが、それを左にして、
シリヤに向かって航海を続け、ツロに上陸した。ここ
で船荷を降ろすことになっていたからである。
4 私たちは弟子たちを見つけ出して、そこに七日間滞
在した。彼らは、御霊に示されて、エルサレムに上ら
ぬようにと、しきりにパウロに忠告した。
5 しかし、*滞在の日数が尽きると、私たちはそこを出
て、旅を続けることにした。彼らはみな、妻や子ども
もいっしょに、町はずれまで私たちを送って来た。そ
して、ともに海岸にひざまずいて祈ってから、私たち
は互いに別れを告げた。
6 それから私たちは船に乗り込み、彼らは家へ帰って
行った。
7 私たちはツロからの航海を終えて、トレマイに着
いた。そこの兄弟たちにあいさつをして、彼らのとこ
ろに一日滞在した。
8 翌日そこを立って、カイザリヤに着き、あの七人の
ひとりである伝道者ピリポの家にはいって、そこに滞
在した。
9 この人には、預言する四人の未婚の娘がいた。
10 幾日かそこに滞在していると、アガボという預言者
がユダヤから下って来た。
11 彼は私たちのところに来て、パウロの帯を取り、自
分の両手と両足を縛って、『この帯の持ち主は、エル
サレムでユダヤ人に、こんなふうに縛られ、異邦人の
手に渡される。』と聖霊がお告げになっています。」と言
った。
12 私たちはこれを聞いて、土地の人たちといっしょに
なって、パウロに、エルサレムには上らないよう頼ん
だ。
13 するとパウロは、「あなたがたは、泣いたり、私の心
をくじいたりして、いったい何をしているのですか。
私は、主イエスの御名のためなら、エルサレムで縛ら
れることばかりでなく、死ぬことさえも覚悟していま
す。」と答えた。
14 彼が聞き入れようとしないので、私たちは、「主のみ
こころのままに。」と言って、黙ってしまった。
15 こうして数日たつと、私たちは旅仕度をして、エ
ルサレムに上った。
16 カイザリヤの弟子たちも幾人か私たちと同行して、
古くからの弟子であるキプロス人マナソンのところに
案内してくれた。私たちはそこに泊まることになって
いたのである。
17 エルサレムに着くと、兄弟たちは喜んで私たちを
迎えてくれた。
18 次の日、パウロは私たちを連れて、ヤコブを訪問し
た。そこには長老たちがみな集まっていた。
19 彼らにあいさつしてから、パウロは彼の奉仕を通し
て神が異邦人の間でなさったことを、一つ一つ話しだ
した。

2 ①使徒二・九、民使二・三五
3 ①使徒四・三六、二一・六、②使マタ四・二四、③使三・一五、二一・七、④使二一・三
4 ①使二一・六、使二一・三六 ②使三・二一、三・一
5 *「滞在の」は補足 ①使徒二五・三、②使九・四〇、三〇・三六、使ルカ三・四一
6 ①使ヨハ八・七
7 ①使二五・一三、二一・三、②使使一・一五、二一・七
8 ①使使八・四〇、二一・六、②エペ四・一一、Ⅱテモ四・五、③使使六・五
9 ①比使二一・一、ルカ二・三六 Ⅰコリ一二・五
10 ①使二一・六
11 ①比Ⅰ列三・一一、イザ三〇・二 エレ三二・一一、六、二二、ヨハ八章他、②使使九・一六、比使三一・三三、③比マタ二〇・一九 ④使使六・六
12 ①使二一・一五
13 ①使使五・四一、六・一、②使二一・三
14 ①比ルカ二三・四二
15 ①使二一・三
16 ①使使六・四〇、②使二一・四
③使二五・注、④使使四・三六、二一・五
17 ①使使一二・五、二一・七
18 ①使使二一・七、②使使一二・一〇
19 ①比使二一・七、②使使一二・一七

20 彼らはそれを聞いて神をほめたたえ、パウロにこう言った。「兄弟よ。ご承知のように、ユダヤ人の中で信仰にはいっている者は幾万となくありますが、みな律法に熱心な人たちです。
21 ところで、彼らが聞かされていることは、あなたは異邦人の中にいるすべてのユダヤ人に、子どもに割礼を施すな、慣習に従って歩むな、と言って、モーセにそむくように教えているということなのです。
22 それで、どうしましょうか。あなたが来たことは、必ず彼らの耳にはいるでしょう。
23 ですから、私たちの言うとおりにしてください。私たちの中に誓願を立てている者が四人います。
24 この人たちを連れて、あなたも彼らといっしょに身をきよめ、彼らが頭をそる費用を出してやりなさい。そうすれば、あなたについて聞かされていることは根も葉もないことで、あなたも律法を守って正しく歩んでいることが、みなにわかるでしょう。
25 異邦人に関しては、偶像の神に供えた肉と、血と、絞め殺した物と、不品行とを避けるべきであると決定しましたので、私たちはすでに手紙を書きました。」
26 そこでパウロはその人たちを引き連れ、翌日、ともに身をきよめて宮にはいり、きよめの期間が終わってひとりひとりのために供え物をささげる日時を告げた。
27 ところが、その七日がほとんど終わろうとしていたころ、アジヤから来たユダヤ人たちは、パウロが宮にいるのを見ると、全群衆をあおりたて、彼に手をかけて、
28 こう叫んだ。「イスラエルの人々。手を貸してください。この男は、この民と、律法と、この場所に逆らうことを、至る所ですべての人に教えている者です。そのうえ、ギリシヤ人を宮の中に連れ込んで、この神聖な場所をけがしています。」
29 彼らは前にエペソ人トロピモが町でパウロといっしょにいるのを見かけたので、パウロが彼を宮に連れ込んだのだと思ったのである。
30 そこで町中が大騒ぎになり、人々は殺到してパウロを捕え、宮の外へ引きずり出した。そして、ただちに宮の門が閉じられた。
31 彼らがパウロを殺そうとしていたとき、エルサレム中が混乱状態に陥っているという報告が、ローマ軍の千人隊長に届いた。
32 彼はただちに、兵士たちと百人隊長たちとを率いて、彼らのところに駆けつけた。人々は千人隊長と兵士たちを見て、パウロを打つのをやめた。
33 千人隊長は近づいてパウロを捕え、二つの鎖につなぐように命じたうえ、パウロが何者なのか、何をしたのか、と尋ねた。
34 しかし、群衆がめいめい勝手なことを叫び続けたので、その騒がしさのために確かなことがわからなかった。そこで千人隊長は、パウロを兵営に連れて行くよ

---

20 ①㊀マタ九・八
＊直訳「ご覧なさい」
②使二五・二三、ロマ一〇・二、ガラ一・一四
21 ①旧使二六・二以下、Ⅰコリセ・八、一六、②㊀使六・一四
③使二一・二六
23 ①㊀使一八・一八
24 ①使二一・二六、二四、旧ヨハ二・五、②㊀使一八・一八
25 ＊直訳「物」
①使一五・二九、二一・二五
26 ＊別訳「翌日、その人たちを引き連れ、ともに身をきよめて」
①使二一・二四、一八、旧ヨハ二・五、②民六・二、使二一・二六
27 ①旧民六・九、二一・二、②㊀使二六・一八、③使二四・一八、旧使三・一九
28 ①旧使六・一三、②使二四・六㊀マタ二四・一五、使六・一三、一四
29 ①旧使二一・二九、②㊀使二〇・四
30 ①使二六・二一、旧Ⅱ列二一・五
使二六・二九
31 ①㊀使二一・一
＊「ローマ」は補足
＊＊あるいは「大隊」
32 ①使二三・二七
33 ①使二六、②使二〇・二三、旧使二一・二、二三・二五、二六・二八
Ⅱテモ一・一六、二・九、㊀エペ六・二〇
34 ①使二六・二三
＊直訳「ある者はこのことを叫び、ほかの者はほかのことを叫び続けたので」
②使二一・三四、二三・一〇、一六、二三

うに命令した。
35 パウロが階段にさしかかったときには、群衆の暴行
を避けるために、兵士たちが彼をかつぎ上げなければ
ならなかった。
36 大ぜいの群衆が、「彼を除け。」と叫びながら、ついて
来たからである。
37 兵営の中に連れ込まれようとしたとき、パウロが
千人隊長に、「一言お話ししてもよいでしょうか。」と
尋ねると、千人隊長は、「あなたはギリシヤ語を知って
いるのか。
38 するとあなたは、以前暴動を起こして、四千人の刺
客を荒野に引き連れて逃げた、あのエジプト人ではな
いのか。」と言った。
39 パウロは答えた。「私はキリキヤのタルソ出身のユ
ダヤ人で、れっきとした町の市民です。お願いです。
この人々に話をさせてください。」
40 千人隊長がそれを許したので、パウロは階段の上に
立ち、民衆に向かって手を振った。そして、すっかり
静かになったとき、彼はヘブル語で次のように話した。

22

1 「兄弟たち、父たちよ。いま私が
皆さんにしようとする弁明を聞いて
ください。」
2 パウロがヘブル語で語りかけるのを聞いて、人々
はますます静粛になった。そこでパウロは話し続けた。
3 「私はキリキヤのタルソで生まれたユダヤ人です
が、この町で育てられ、ガマリエルのもとで私たちの
先祖の律法について厳格な教育を受け、今日の皆さん
と同じように、神に対して熱心な者でした。
4 私はこの道を迫害し、男も女も縛って牢に投じ、死
にまでも至らせたのです。
5 このことは、大祭司も、長老たちの全議会も証言し
てくれます。この人たちから、私は兄弟たちへあてた
手紙までも受け取り、ダマスコへ向かって出発しまし
た。そこにいる者たちを縛り上げ、エルサレムに連れ
て来て処罰するためでした。
6 ところが、旅を続けて、真昼ごろダマスコに近づい
たとき、突然、天からまばゆい光が私の回りを照らし
たのです。
7 私は地に倒れ、『サウロ、サウロ。なぜわたしを迫害
するのか。』という声を聞きました。
8 そこで私が答えて、『主よ。あなたはどなたですか。』
と言うと、その方は、『わたしは、あなたが迫害してい
るナザレのイエスだ。』と言われました。
9 私といっしょにいた者たちは、その光は見たのです
が、私に語っている方の声は聞き分けられませんでし
た。
10 私が、『主よ。私はどうしたらよいのでしょうか。』
と尋ねると、主は私に、『起きて、ダマスコに行きなさ
い。あなたがするように決められていることはみな、
そこで告げられる。』と言われました。
11 ところが、その光の輝きのために、私の目は何も見
えなかったので、いっしょにいた者たちに手を引かれ

---

1 ①使七二
2 ①使二二・四〇
3 ①使三・一節、旧使九・一三、二六・九・一八、②使六・九、③使九・二一、④使二二・三、⑤使五・三四
* あるいは「律法」の厳格なしかたに従って
4 ①使九・二、②使八・三、三・一六・三〇
5 ①使九・一、②ルカ二二・六六、Ⅰテモ一・一三、旧使五・二一、③使二二・五、三・一、六・一七、二二・二、ロマ九・三、④使九・二、⑤使九・二
6 ①使三・六・二二、九・三、八・三、二六・一八
8 ①使二六・九
9 ①旧使二六・一三、②旧使九・七
10 ①旧使二六・一六
11 ①使九・八

35 ①使二一・四〇
36 ①使三・三、旧ルカ三・一八ヨハ一九・一五
37 ①使二一・三四、二二・三、一〇、一六、三
38 ①旧マタ二四・二六、②旧使五・三六
39 ①使六・九、②使三・三、使九・二
40 ①使二一・三六、②使二二・一七
③使三・二六・一四、旧使一・一九
使ヨハ八・二二
1 ①使七・二
2 ①使二一・四〇
3 ①使三・一節、旧使九・一三、二六・九・一八、②使六・九、③使九・二一、④使二一・三六、⑤使五・三四
4 ①旧使九・二、②使八・三、三・一六・三〇
5 ①使九・一、②ルカ三・六六、Ⅰテモ一・一四、旧使五・二一、③使二一・五、三・一、六・一七、二二・二、ロマ九・三、④使九・二、⑤使九・二
6 ①使三・六・二二、九・三、八・三、二六・一八
8 ①使二六・九
9 ①旧使二六・一三、②旧使九・七
10 ①旧使二六・一六
11 ①使九・八

てダマスコにはいりました。
12 すると、律法を重んじる敬虔な人で、そこに住むユダヤ人全体の間で評判の良いアナニヤという人が、
13 私のところに来て、そばに立ち、『兄弟サウロ。見えるようになりなさい。』と言いました。すると、そのとき、私はその人が見えるようになりました。
14 彼はこう言いました。『私たちの先祖の神は、あなたにみこころを知らせ、義なる方を見させ、その方の口から御声を聞かせようとお定めになったのです。
15 あなたはその方のために、すべての人に対して、あなたの見たこと、聞いたことの証人とされるのですから。
16 さあ、なぜためらっているのですか。立ちなさい。その御名を呼んでバプテスマを受け、自分の罪を洗い流しなさい。』
17 こうして私がエルサレムに帰り、宮で祈っていますと、夢ごこちになり、
18 主を見たのです。主は言われました。『急いで、早くエルサレムを離れなさい。人々がわたしについてのあなたのあかしを受け入れないからです。』
19 そこで私は答えました。『主よ。私がどの会堂でも、あなたの信者を牢に入れたり、むち打ったりしていたことを、彼らはよく知っています。
20 また、あなたの証人ステパノの血が流されたとき、私もその場にいて、それに賛成し、彼を殺した者たちの着物の番をしていたのです。』
21 すると、主は私に、『行きなさい。わたしはあなたを遠く、異邦人に遣わす。』と言われました。」
22 人々は、彼の話をここまで聞いていたが、このとき声を張り上げて、「こんな男は、地上から除いてしまえ。生かしておくべきではない。」と言った。
23 そして、人々がわめき立て、着物を放り投げ、ちりを空中にまき散らすので、
24 千人隊長はパウロを兵営の中に引き入れるように命じ、人々がなぜこのようにパウロに向かって叫ぶのかを知ろうとして、彼をむち打って取り調べるようにと言った。
25 彼らがむちを当てるためにパウロを*縛ったとき、パウロはそばに立っている百人隊長に言った。「ローマ市民である者を、裁判にもかけずに、むち打ってよいのですか。」
26 これを聞いた百人隊長は、千人隊長のところに行って報告し、「どうなさいますか。あの人はローマ人です。」と言った。
27 千人隊長はパウロのところに来て、「あなたはローマ市民なのか、私に言ってくれ。」と言った。パウロは「そうです。」と言った。
28 すると、千人隊長は、「私はたくさんの金を出して、この市民権を買ったのだ。」と言った。そこでパウロは、「私は生まれながらの市民です。」と言った。
29 このため、パウロを取り調べようとしていた者たちは、すぐにパウロから身を引いた。また千人隊長も、

12 ①ⅡⅡ使六・三、一〇・三、②使九・一〇
13 ①使九・一七、②使九・一八
14 ①⅀使三・二三、②⅀使七・五二、③使九・一七・一八、Ⅰコリ九・一、一五・八、④使九・二六・一八
15 ①使三・一四、②使三・一一、二六・一六
16 ①使九・一八、②⅀使七・五九、③Ⅰコリ六・一一、ヘブ一〇・二二、⅀使三・六、ⅡⅡエペ五・二六
17 ①使九・二六、二八・三、②使一〇・一〇
18 ①ⅡⅡ使九・二九
19 ①⅀使八・三、三・四、②使六・一、⅀マタ一〇・一七
20 ①使七・五八、五九、八・一、二六・一〇
21 ①ⅡⅡ使九・一五
22 ①⅀使三・二六、ⅡⅡテサ二・一六、②使三五・二四
23 ①ⅡⅡ使七・五八、②Ⅱサム一六・一三
24 ①⅀使三・二四、②使三・二九
25 *別訳「皮ひもで縛ったとき」
①使二六・二九
29 ①使三・二四

パウロがローマ市民だとわかると、彼を鎖につないでいたので、恐れた。
30 その翌日、千人隊長は、パウロがなぜユダヤ人に告訴されたのかを確かめたいと思って、パウロの鎖を解いてやり、祭司長たちと全議会の召集を命じ、パウロを連れて行って、彼らの前に立たせた。

23 1 パウロは議会を見つめて、こう言った。「兄弟たちよ。私は今日まで、全くきよい良心をもって、神の前に生活して来ました。」
2 すると大祭司アナニヤは、パウロのそばに立っている者たちに、彼の口を打てと命じた。
3 そのとき、パウロはアナニヤに向かってこう言った。「ああ、白く塗った壁。神があなたを打たれる。あなたは、律法に従って私をさばく座に着きながら、律法にそむいて、私を打てと命じるのですか。」
4 するとそばに立っている者たちが、「あなたは神の大祭司をののしるのか。」と言ったので、
5 パウロが言った。「兄弟たち。私は彼が大祭司だとは知らなかった。確かに、『あなたの民の指導者を悪く言ってはいけない。』と書いてあります。」
6 しかし、パウロは、彼らの一部がサドカイ人で、一部がパリサイ人であるのを見て取って、議会の中でこう叫んだ。「兄弟たち。私はパリサイ人であり、パリサイ人の子です。私は死者の復活という望みのことで、さばきを受けているのです。」
7 彼がこう言うと、パリサイ人とサドカイ人との間に意見の衝突が起こり、議会は二つに割れた。
8 サドカイ人は、復活はなく、御使いも霊もないと言い、パリサイ人は、どちらもあると言っていたからである。
9 騒ぎがいよいよ大きくなり、パリサイ派のある律法学者たちが立ち上がって激しく論じて、「私たちは、この人に何の悪い点も見いだせない。もしかしたら、霊か御使いかが、彼に語りかけたのかもしれない。」と言った。
10 論争がますます激しくなったので、千人隊長は、パウロが彼らに引き裂かれてしまうのではないかと心配し、兵隊に、下に降りて行って、パウロを彼らの中から力ずくで引き出し、兵営に連れて来るように命じた。
11 その夜、主がパウロのそばに立って、「勇気を出しなさい。あなたは、エルサレムでわたしのことをあかししたように、ローマでもあかしをしなければならない。」と言われた。
12 夜が明けると、ユダヤ人たちは徒党を組み、パウロを殺してしまうまでは飲み食いしないと誓い合った。
13 この陰謀に加わった者は、四十人以上であった。
14 彼らは、祭司長たち、長老たちのところに行って、こう言った。「私たちは、パウロを殺すまでは何も食べない、と堅く誓い合いました。

29 ②使三・二四、五
＊直訳「縛っていたので」
③使六・六
30 ①使三・六、②比使三・三
③創マタ五・三
1 ①使三・一、②三・六、二五、二〇、二六
②創使三・五、③使二四・一六
Ⅱコリ一・二、Ⅱテモ一・三
2 ①使二四・一、②比ヨハ八・三
3 ①マタ二三・二七、②レビ一九・二五
申三二・二、比ヨハ七・五一
5 ①出三・六
6 ①マタ二三、創マタ二七
②使三・二、六、二〇、二六
③創使三・五、④使六・五
ピリ三・五、⑤使二四・二一、二六
8 ①マタ二二・三、創マタ二二・七
9 ①マコ二・六、ルカ五・二〇
②比使三・二九、③比使三・六
以下、ヨハ二・二九
10 ①創使二・二四、三・六、三三
11 ①比使二八・九、②創マタ九・二
12 ①使三・二〇、比使九・三三
Ⅰテサ二・一八
＊あるいは「陰謀を巡らし」
②使三・一四、二三
14 ①使三・二二

15そこで、今あなたがたは議会と組んで、パウロのことをもっと詳しく調べるふりをして、彼をあなたがたのところに連れて来るように千人隊長に願い出てください。私たちのほうでは、彼がそこに近づく前に殺す手はずにしています。」

16ところが、パウロの姉妹の子が、この待ち伏せのことを耳にし、兵営にはいってパウロにそれを知らせた。

17そこでパウロは百人隊長のひとりを呼んで、「この青年を千人隊長のところに連れて行ってください。お伝えすることがありますから。」と言った。

18百人隊長は、彼を連れて千人隊長のもとに行き、「囚人のパウロが私を呼んで、この青年があなたにお話しすることがあるので、あなたのところに連れて行くようにと頼みました。」と言った。

19千人隊長は彼の手を取り、だれもいない所に連れて行って、「私に伝えたいことというのは何か。」と尋ねた。

20すると彼はこう言った。「ユダヤ人たちは、パウロについてもっと詳しく調べようとしているかに見せかけて、あす、議会にパウロを連れて来てくださるように、あなたにお願いすることを申し合わせました。

21どうか、彼らの願いを聞き入れないでください。四十人以上の者が、パウロを殺すまでは飲み食いしない、と誓い合って、彼を待ち伏せしているのです。今、彼らは手はずを整えて、あなたの承諾を待っています。」

22そこで千人隊長は、「このことを私に知らせたことは、だれにも漏らすな。」と命じて、その青年を帰らせた。

23そしてふたりの百人隊長を呼び、「今夜九時、カイザリヤに向けて出発できるように、歩兵二百人、騎兵七十人、槍兵二百人を整えよ。」と言いつけた。

24また、パウロを乗せて無事に総督ペリクスのもとに送り届けるように、馬の用意もさせた。

25そして、次のような文面の手紙を書いた。

26「クラウデオ・ルシヤ、つつしんで総督ペリクス閣下にごあいさつ申し上げます。

27この者が、ユダヤ人に捕えられ、まさに殺されようとしていたとき、彼がローマ市民であることを知りましたので、私は兵隊を率いて行って、彼を助け出しました。

28それから、どんな理由で彼が訴えられたかを知ろうと思い、彼をユダヤ人の議会に出頭させました。

29その結果、彼が訴えられているのは、ユダヤ人の律法に関する問題のためで、死刑や投獄に当たる罪はないことがわかりました。

30しかし、この者に対する陰謀があるという情報を得ましたので、私はただちに彼を閣下のもとにお送りし、訴える者たちには、閣下の前で彼のことを訴えるようにと言い渡しておきました。*」

31そこで兵士たちは、命じられたとおりにパウロを引き取り、夜中にアンテパトリスまで連れて行き、

32翌日、騎兵たちにパウロの護送を任せて、兵営に帰

15①使三・30、三・1、ペ二・10、六
16①使二三・16、二四・1、ヨ三
＊直訳「やって来て、兵営にはいり」
18①使二四・1、②使三・10、三・1、ペ二・16、六
20①使二・四四、二五、②使三・10、三・1、ペ二・16、六
21①使二三・二一、②ルカ二・五五
23＊直訳「第三時」
①使六・15、二三・三三
＊＊あるいは「投石兵」
＊＊＊別訳「……また馬も用意し、それにパウロを乗せて、無事に総督ペリクスのもとに送り届けよ』と言いつけた」
24①使二三・二六、二四・一、一三、一〇、二七・一四
26①使二四・三、二六・二五、既ルカ一・三、②使一・二六、二三
27①使二一・三三、②既使三・二七・二六
28①使二三・三〇、②既使三・一
③既使三・一〇
29①使二六・二五、既使二五・一九
＊直訳「なわめ」
②使二五・二六、二八・二九
既使三・九
30①使二三・二四、既使・一四
②使二三・二〇、二一、③使三三・三五
既使二四・一九、二五・一六
＊異本「ご健勝で（あいさつのことば）」を加える
32①使二三・三、②既使三・一〇

った。
33 騎兵たちは、[1]カイザリヤに着き、[2]総督に手紙を手渡して、パウロを引き合わせた。
34 総督は手紙を読んでから、パウロに、どの州の者かと尋ね、キリキヤの出であることを知って、
35「あなたを訴える者が来てから、よく聞くことにしよう。」と言った。そして、ヘロデの官邸に彼を守っておくように命じた。

24

1 [1]五日の後、大祭司アナニヤは、[2]数人の長老およびテルトロという弁護士といっしょに下って来て、[*]パウロを総督に訴えた。
2 パウロが呼び出されると、テルトロが訴えを始めてこう言った。
「ベリクス閣下。閣下のおかげで、私たちはすばらしい平和を与えられ、また、閣下のご配慮で、この国の改革が進行しておりますが、
3 その事実をあらゆる面において、また至る所で認めて、私たちは心から感謝しております。
4 さて、あまりご迷惑をおかけしないように、ごく手短に申し上げますから、ご寛容をもってお聞きくださるようお願いいたします。
5 この男は、まるでペストのような存在で、世界中のユダヤ人の間に騒ぎを起こしている者であり、ナザレ人という[1]一派の首領でございます。
6 この男は宮さえもけがそうとしましたので、私たちは彼を捕えました。[*]
8 閣下ご自身で、これらすべてのことについて彼をお調べくださいますなら、私たちが彼を訴えております事がらを、おわかりになっていただけるはずです。」
9 [1]ユダヤ人たちも、この訴えに同調し、全くそのとおりだと言った。
10 そのとき、[1]総督がパウロに、話すようにと合図したので、パウロはこう答えた。
「閣下が多年に渡り、この民の裁判をつかさどる方であることを存じておりますので、私は喜んで弁明いたします。
11 お調べになればわかることですが、私が礼拝のためにエルサレムに上って来てから、まだ[1]十二日しかたっておりません。
12 そして、[1]宮でも会堂でも、また市内でも、私がだれかと論争したり、[*]群衆を騒がせたりするのを見た者はありません。
13 いま私を訴えていることについて、彼らは証拠をあげることができないはずです。
14 しかし、私は、[3]彼らが異端と呼んでいるこの道に従って、私たちの先祖の神に仕えていることを、閣下の前で承認いたします。私は、律法にかなうことと、預言者たちが書いていることとを[4]全部信じています。
15 また、義人も悪人も必ず復活するという、[1]この人たち自身も抱いている望みを、神にあって抱いております。
16 そのために、私は[1]いつも、神の前にも人の前にも責

9 ①国1テサ二・一六
10 ①国使三・二四
11 ①国使二・一八、二七、三四・二
12 ①使三・八 *あるいは「群衆を集めたり」
13 ①使三・七
14 ①国使三・五、二四、②使三四・三、三、国使九・二、③国使二・三、④国使三・八、二六・四以下、三、三・二六・三
15 ①既ダ一二・二、ヨ一五・二六、二七、二・二四、国使三・六
16 ①国使三・一
33 ①国使八・四〇、三・二、②使二三・二四、二六、二四、二七、国使二四・九
34 ①使三・二、二四、二七、二五・一、②使二・一四、国使二四・二二
35 ①使二三・三五、既使二四・二六、二五・一、②既使二四・七
1 ①国使二四・一、②使二三・二 *直訳「演説家」 **あるいは「パウロを訴える証拠を総督に示した」
2 ①使二三・二六、二五・二
3 ①国使二五・一四
4 ①使二三・二六、二五・二
5 ①国使二五・五、二四・一四
6 ①使二三・二六 *後期の異本に、このあと、「そして私たちが自分たちの律法で彼をさばこうとしたところ、7 千人隊長ルシヤがやって来て、むりやりに彼を私たちの手から奪い、8 彼を訴える者は、あなたの前に来るようにと命じました」という挿入がある

められることのない良心を保つように、と最善を尽くしています。

17さて私は、同胞に対して施しをし、また供え物をささげるために、幾年ぶりかで帰って来ました。

18その供え物のことで私はきよめを受けて宮の中にいたのを彼らに見られたのですが、別に群衆もおらず、騒ぎもありませんでした。ただアジヤから来た幾人かのユダヤ人がおりました。

19もし彼らに、私について何か非難したいことがあるなら、自分で閣下の前に来て訴えるべきです。

20でなければ、今ここにいる人々に、議会の前に立っていたときの私にどんな不正を見つけたかを言わせてください。

21彼らの中に立っていたとき、私はただ一言、『死者の復活のことで、私はきょう、あなたがたの前でさばかれているのです。』と叫んだにすぎません。」

22しかしペリクスは、この道について相当詳しい知識を持っていたので、「千人隊長ルシヤが下って来るとき、あなたがたの事件を解決することにしよう。」と言って、裁判を延期した。

23そして百人隊長に、パウロを監禁するように命じたが、ある程度の自由を与え、友人たちが世話をすることを許した。

24数日後、ペリクスはユダヤ人である妻ドルシラを連れて来て、パウロを呼び出し、キリスト・イエスを信じる信仰について話を聞いた。

25しかし、パウロが正義と節制とやがて来る審判とを論じたので、ペリクスは恐れを感じ、「今は帰ってよい。おりを見て、また呼び出そう。」と言った。

26それとともに、彼はパウロから金をもらいたい下心があったので、幾度もパウロを呼び出して話し合った。

27二年たって後、ポルキオ・フェストがペリクスの後任になったが、ペリクスはユダヤ人に恩を売ろうとして、パウロを牢につないだままにしておいた。

25

1フェストは、州総督として着任すると、三日後にカイザリヤからエルサレムに上った。

2すると、祭司長たちとユダヤ人のおもだった者たちが、パウロのことを訴え出て、

3パウロを取り調べる件について自分たちに好意を持ってくれるように頼み、パウロをエルサレムに呼び寄せていただきたいと彼に懇願した。彼らはパウロを途中で殺害するために待ち伏せをさせていた。

4ところが、フェストは、パウロはカイザリヤに拘置されているし、自分はまもなく出発の予定であると答え、

5「だから、その男に何か不都合なことがあるなら、あなたがたのうちの有力な人たちが、私といっしょに下って行って、彼を告訴しなさい。」と言った。

6フェストは、彼らのところに八日あるいは十日ばかり滞在しただけで、カイザリヤへ下って行き、翌日、裁判の席に着いて、パウロの出廷を命じた。

16*「最善を」は補足。別訳「努めています」

17①使徒二四、②ロマ一五25-27、二六、Ⅰコリ一六1-4、Ⅱコリ八-九、二二、使徒二一-二七、一〇、ガラ二10

18①使徒二一27、②使徒二四1、③使徒二一26

19①使徒二三30

20①ヨハ一八22、三

21①使徒二四1、二五

22①使徒二四1、二四

23①使徒二七3、②使徒二六1、③使徒二七1-三

24①使徒二三24

25①テト一3、②ガラ五3、Ⅱペテ二19、ユダ16、テト一八、③使徒二四25

26①使徒二四1、七

27①使徒二一33、二四、九、二五他、二六1、二四、二七、三一、②使徒二四、九、使徒二三35、③使徒二三35、二四

1①使徒二五3、②使徒八40、二五、二四、六、二三

2①使徒二四1、二五、二五

3①使徒二五

4①使徒八40、二五、二六、三、②使徒二四、三、③使徒二六

6①使徒八40、二五、二四、三、②使徒二四、七、使徒二五、一〇、七

7 パウロが出て来ると、エルサレムから下って来たユダヤ人たちは、彼を取り囲んで立ち、多くの重い罪状を申し立てたが、それを証拠立てることはできなかった。

8 しかしパウロは弁明して、「私は、ユダヤ人の律法に対しても、宮に対しても、またカイザルに対しても、何の罪も犯してはおりません。」と言った。

9 ところが、ユダヤ人の歓心を買おうとしたフェストは、パウロに向かって、「あなたはエルサレムに上り、この事件について、私の前で裁判を受けることを願うか。」と尋ねた。

10 すると、パウロはこう言った。「私はカイザルの法廷に立っているのですから、ここで裁判を受けるのが当然です。あなたもよくご存じのとおり、私はユダヤ人にどんな悪いこともしませんでした。

11 もし私が悪いことをして、死罪に当たることをしたのでしたら、私は死をのがれようとはしません。しかし、この人たちが私を訴えていることに一つも根拠がないとすれば、だれも私を彼らに引き渡すことはできません。私はカイザルに上訴します。」

12 そのとき、フェストは陪席の者たちと協議したうえで、こう答えた。「あなたはカイザルに上訴したのだから、カイザルのもとへ行きなさい。」

13 数日たってから、アグリッパ王とベルニケが、フェストに敬意を表するためにカイザリヤに来た。

14 ふたりがそこに長く滞在していたので、フェストはパウロの一件を王に持ち出してこう言った。「ペリクスが囚人として残して行ったひとりの男がおります。

15 私がエルサレムに行ったとき、祭司たちとユダヤ人の長老たちとが、その男のことを私に訴え出て、罪に定めるように要求しました。

16 そのとき私は、「被告が、彼を訴えた者の面前で訴えに対して弁明する機会を与えられないで、そのまま引き渡されるということはローマの慣例ではない。」と答えておきました。

17 そういうわけで、訴える者たちがここに集まったとき、私は時を移さず、その翌日、裁判の席に着いて、その男を出廷させました。

18 訴えた者たちは立ち上がりましたが、私が予期していたような犯罪についての訴えは何一つ申し立てませんでした。

19 ただ、彼と言い争っている点は、彼ら自身の宗教に関することであり、また、死んでしまったイエスという者のことで、そのイエスが生きているとパウロは主張しているのでした。

20 このような問題をどう取り調べたらよいか、私には見当がつかないので、彼に『エルサレムに上り、そこで、この事件について裁判を受けたいのか。』と尋ねたところが、

21 パウロは、皇帝の判決を受けるまで保護してほしいと願い出たので、彼をカイザルのもとに送る時まで守っておくように、命じておきました。」

---

7 ①民使二四・五、六、②使二四・一三
8 ①使二四・一三、二六・一七、民使六・一三
9 ①使二四・二七、民使三・三、②使二三・二〇
10 ①創マタ二七・二六、使二五・一〇、一七
11 ①使二五・二、二五、二六、三、二六・二九
13 ①創使八四〇、二五・一、四、六
14 ①創使二五・二七
15 ①使二四・一、二五・二
16 ①創使三二・三〇、②創使二四・四五
17 ①創マタ二七・一九、使二五・六、一〇
19 ①民使六・一四、三二・二九 ②民使一七・三三
20 ①使二五・九
21 ①創使二五・二一、二三

22 すると、アグリッパがフェストに、「私も、その男の話を聞きたいものです。」と言ったので、フェストは、「では、明日お聞きください。」と言った。

23 こういうわけで、翌日、アグリッパとベルニケは、大いに威儀を整えて到着し、千人隊長たちや市の首脳者たちにつき添われて講堂にはいった。そのとき、フェストの命令によってパウロが連れて来られた。

24 そこで、フェストはこう言った。「アグリッパ王、ならびに、ここに同席の方々。ご覧ください。ユダヤ人がこぞって、一刻も生かしてはおけないと呼ばわり、エルサレムでも、ここでも、私に訴えて来たのは、この人のことです。

25 私としては、彼は死に当たることは何一つしていないと思います。しかし、彼自身が皇帝に上訴しましたので、彼をそちらに送ることに決めました。

26 ところが、彼について、わが君に書き送るべき確かな事がらが一つもないのです。それで皆さんの前に、わけてもアグリッパ王よ、あなたの前に、彼を連れてまいりました。取り調べをしてみたら、何か書き送るべきことが得られましょう。

27 囚人を送るのに、その訴えの個条を示さないのは、理に合わないと思うのです。」

26

1 すると、アグリッパがパウロに、「あなたは、自分の言い分を申し述べてよろしい。」と言った。そこでパウロは、手を差し伸べて弁明し始めた。

2 「アグリッパ王。私がユダヤ人に訴えられているすべてのことについて、きょう、あなたの前で弁明できることを、幸いに存じます。

3 特に、あなたがユダヤ人の慣習や問題に精通しておられるからです。どうか、私の申し上げることを、忍耐をもってお聞きくださるよう、お願いいたします。

4 では申し述べますが、私が最初から私の国民の中で、またエルサレムにおいて過ごした若い時からの生活ぶりは、すべてのユダヤ人の知っているところです。

5 彼らは以前から私を知っていますので、証言するつもりならできることですが、私は、私たちの宗教の最も厳格な派に従って、パリサイ人として生活してまいりました。

6 そして今、神が私たちの先祖に約束されたものを待ち望んでいることで、私は裁判を受けているのです。

7 私たちの十二部族は、夜も昼も熱心に神に仕えながら、その約束のものを得たいと望んでおります。王よ。私は、この希望のためにユダヤ人から訴えられているのです。

8 神が死者をよみがえらせるということを、あなたがたは、なぜ信じがたいこととされるのでしょうか。

9 *以前は、私自身も、ナザレ人イエスの名に強硬に敵対すべきだと考えていました。

10 そして、それをエルサレムで実行しました。祭司長たちから権限を授けられた私は、多くの聖徒たちを牢に入れ、彼らが殺されるときには、それに賛成の票を

22 ①既使九・五
23 ①使二五・二三、三六・三〇
24 ①既使三五・七、②使三五・三
25 ①参使三五、②参使三五・二、三
1 ①既使九・五
3 ①既使六・一四、三五・二六、七
*別訳 三節冒頭の「特に」を、「問題に」のあとに置き、「特に精通しておられるからです」とする
4 ④ガラ一・一三、一四、ピリ三・五
5 ①参使二三・三、②参使二五・五、③使三・六
6 ①参使二三・三、②使六・一三、既使二四・一五
7 ①既ヤコ一・一、②使六・一三、既使二四・一五、③使六・一
8 ①既使三・六
9 *「以前は」は補足
①既ヨハ一五・二一、②Ⅰテモ一・一三、ヨハ一六・二
10 ①参使六・一三、九・一三、②既使九・一、一二、③使二二・一〇

投じました。
11 また、すべての会堂で、しばしば彼らを罰しては、強いて御名をけがすことばを言わせようとし、彼らに対する激しい怒りに燃えて、ついには国外の町々にまで彼らを追跡して行きました。
12 このようにして、私は祭司長たちから権限と委任を受けて、ダマスコへ出かけて行きますと、
13 その途中、正午ごろ、王よ、私は天からの光を見ました。それは太陽よりも明るく輝いて、私と同行者たちとの回りを照らしたのです。
14 私たちはみな地に倒れましたが、そのとき声があって、ヘブル語で私にこう言うのが聞こえました。『サウロ、サウロ。なぜわたしを迫害するのか。とげのついた棒をけるのは、あなたにとって痛いことだ。』
15 私が『主よ。あなたはどなたですか。』と言いますと、主がこう言われました。『わたしは、あなたが迫害しているイエスである。
16 起き上がって、自分の足で立ちなさい。わたしがあなたに現われたのは、あなたが見たこと、また、これから後わたしがあなたに現われて示そうとすることについて、あなたを奉仕者、また証人に任命するためである。
17 わたしは、この民と異邦人との中からあなたを救い出し、彼らのところに遣わす。
18 それは彼らの目を開いて、暗やみから光に、サタンの支配から神に立ち返らせ、わたしを信じる信仰によって、彼らに罪の赦しを得させ、聖別された人々の中にあって神の国を受け継がせるためである。』
19 こういうわけで、アグリッパ王よ、私は、この天からの啓示にそむかず、
20 ダマスコにいる人々をはじめエルサレムにいる人々に、またユダヤの全地方に、さらに異邦人にまで、悔い改めて神に立ち返り、悔い改めにふさわしい行ないをするようにと宣べ伝えて来たのです。
21 そのために、ユダヤ人たちは私を宮の中で捕え、殺そうとしたのです。
22 こうして、私はこの日に至るまで神の助けを受け、堅く立って、小さい者にも大きい者にもあかしをしているのです。そして、預言者たちやモーセが、後に起こるはずだと語ったこと以外は何も話しませんでした。
23 すなわち、キリストは苦しみを受けること、また、死者の中からの復活によって、この民と異邦人とに最初に光を宣べ伝える、ということです。」
24 パウロがこのように弁明していると、フェストが大声で、「気が狂っているぞ。パウロ。博学があなたの気を狂わせている。」と言った。
25 するとパウロは次のように言った。「フェスト閣下。気は狂っておりません。私は、まじめな真理のことばを話しています。
26 王はこれらのことをよく知っておられるので、王に対して私は率直に申し上げているのです。これらのこ

11 ①使三・六、⑧マタ一〇・一七 ②使六・一、③使三・五 *すなわち、「パレスチナの外の町々」
12 ①使六・一二・八、九・一四、三・六・一二
13 *直訳「太陽の輝きよりも明るく」 ①使九・七、②⑧使二・四〇 ③使三・一五
14 ①⑧使二・四〇 ②エゼ二・一 ダニ一〇・一 *異本「私を」を挿入 ③ルカ一・二、③⑧使三・一五 ④⑧使三・一四
15 ①エゼ二・一、ダニ一〇・一
16 ①エゼ二・一、ダニ一〇・一 *異本「私を」を挿入 ②ルカ一・二、③⑧使三・一五 ④⑧使三・一四
17 ①Ⅰ歴二八・五、⑧使九・一五
18 ①イザ三五・五、四二・七、一六 エペ五・八、コロ一・一三、Ⅰペテ二・九、②ヨハ八・一二、エペ五・八、コロ一・一三、Ⅰテサ五・五、Ⅰペテ二・九、③⑧マタ四・一〇 ④⑧使二・三八、⑤ルカ二四・四七 ⑥⑧使三・一九、⑥⑧使二〇・三二
19 ①⑧使二・一四、⑧マタ一〇・一七
20 ①使九・二以下、②使九・二六、二八、三〇、③⑧使二・四六、九・二六、④使三・一九、⑤マタ三・八 ルカ三・八
21 ①使二一・三〇、②使二・三 ③⑧使二・四
22 ①⑧ルカ一八・二六、②⑧使二・一四、三・二四、一八
23 ①⑧マタ五・二四、使三・一八 *別訳「死人の中から最初によみがえって、この民と異邦人とに光を宣べ伝える、ということです」 ②Ⅰコリ一五・二〇、コロ一・一八、黙一・五、③⑧ルカ二・三二 ⑧Ⅱコリ四・四
24 ①ヨハ一〇・二〇、⑧Ⅱテモ四・一五
25 ①使二六・二五、二八・三
26 ①⑧使二六・三

とは片隅で起こった出来事ではありませんから、そのうちの一つでも王の目に留まらなかったものはないと信じます。
27アグリッパ王。あなたは預言者を信じておられますか。もちろん信じておられると思います。」
28するとアグリッパはパウロに、「あなたは、*わずかなことばで、私をキリスト者にしようとしている。」と言った。
29パウロはこう答えた。「*ことばが少なかろうと、多かろうと、私が神に願うことは、あなたばかりでなく、きょう私の話を聞いている人がみな、この鎖は別として、私のようになってくださることです。」
30ここで王と総督とベルニケ、および同席の人々が立ち上がった。
31彼らは退場してから、互いに話し合って言った。「あの人は、死や投獄に相当することは何もしていない。」
32またアグリッパはフェストに、「この人は、もしカイザルに上訴しなかったら、釈放されたであろうに。」と言った。

27

1さて、私たちが船でイタリヤへ行くことが決まったとき、パウロと、ほかの数人の囚人は、ユリアスという親衛隊の百人隊長に引き渡された。
2私たちは、アジヤの沿岸の各地に寄港して行くアドラミテオの船に乗り込んで出帆した。テサロニケのマケドニヤ人アリスタルコも同行した。
3翌日、シドンに入港した。ユリアスはパウロを親切に取り扱い、友人たちのところへ行って、もてなしを受けることを許した。
4そこから出帆したが、向かい風なので、キプロスの島陰を航行した。
5そしてキリキヤとパンフリヤの*沖を航行して、ルキヤのミラに入港した。
6そこに、イタリヤへ行くアレキサンドリヤの船があったので、百人隊長は私たちをそれに乗り込ませた。
7幾日かの間、船の進みはおそく、ようやくのことでクニドの沖に着いたが、風のためにそれ以上進むことができず、サルモネ沖のクレテの島陰を航行し、
8その岸に沿って進みながら、ようやく、良い港と呼ばれる所に着いた。その近くにラサヤの町があった。
9かなりの日数が経過しており、*断食の季節もすでに過ぎていたため、もう航海は危険であったので、パウロは人々に注意して、
10「皆さん。この航海では、きっと、積荷や船体だけではなく、私たちの生命にも、危害と大きな損失が及ぶと、私は考えます。」と言った。
11しかし百人隊長は、パウロのことばよりも、航海士や*船長のほうを信用した。
12また、この港が冬を過ごすのに適していなかったので、大多数の者の意見は、ここを出帆して、できれば何とかして、南西と北西とに面しているクレテの港ピニクスまで行って、そこで冬を過ごしたいということ

---

3 ①参マタ二・二、②使七・四二、③使七・四四
4 ①使二七・七、②参使四・三六
5 ①参使六・九、②参使三・三
*あるいは「沿岸」
6 ①参使二六・二七・七、②使六・二
7 ①使七・四、②使二七・二、三・二、テト・三
8 ①使二七・二
9 ①レビ二六・二九・三二・三七・二九
民二九・七
*すなわち「十月の、贖いの日」
10 ①使二七・二一
11 ①黙六・一七
*あるいは「船主」
12 ①使二七・二、三、テト・三
*直訳「なわめ」
28 *別訳「短い時間で」
①参使二・六
29 *別訳「時間が短くあろうと長くあろうと」
①参使二・三三
30 ①使三・三
31 ①参使三・六
*直訳「なわめ」
32 ①参使三・二、②使六・八
1 ①使二七・二六、二六章
参使六・二〇、②使三・二、三章
③参使二六・二七・六、④参使二〇・二
2 ①参使二・六、②参使二七・一
③参使二六・九、④参使二九・六
3 ①参マタ二・二、②使二七・一
4 ①使二七・七、②参使四・三
5 ①参使六・九、②参使三・三
*あるいは「沿岸」
6 ①参使二六・二七・七、②使六・二
7 ①使二七・四、②使二七・二、三・二、テト・三
8 ①使二七・二
9 ①レビ二六・二九・三二・三七・二九
民二九・七
*すなわち「十月の、贖いの日」
10 ①使二七・二一
11 ①黙六・一七
*あるいは「船主」
12 ①使二七・二、三、テト・三
*直訳「なわめ」
28 *別訳「短い時間で」
①参使二・六
29 *別訳「時間が短くあろうと長くあろうと」
①参使二・三三
30 ①使三・三
31 ①参使三・六

になった。
13 おりから、穏やかな南風が吹いて来ると、人々はこの時とばかり錨を上げて、クレテの海岸に沿って航行した。
14 ところが、まもなくユーラクロンという暴風が陸から吹きおろして来て、
15 船はそれに巻き込まれ、風に逆らって進むことができないので、しかたなく吹き流されるままにした。
16 しかしクラウダという小さな島の陰にはいったので、ようやくのことで小舟を処置することができた。
17 小舟を船に引き上げ、備え綱で船体を巻いた。また、スルテスの浅瀬に乗り上げるのを恐れて、船具をはずして流れるに任せた。
18 私たちは暴風に激しく翻弄されていたので、翌日、人々は積荷を捨て始め、
19 三日目には、自分の手で船具までも投げ捨てた。
20 太陽も星も見えない日が幾日も続き、激しい暴風が吹きまくるので、私たちが助かる最後の望みも今や絶たれようとしていた。
21 だれも長いこと食事をとらなかったが、そのときパウロが彼らの中に立って、こう言った。「皆さん。あなたがたは私の忠告を聞き入れて、クレテを出帆しなかったら、こんな危害や損失をこうむらなくて済んだのです。
22 しかし、今、お勧めします。元気を出しなさい。あなたがたのうち、いのちを失う者はひとりもありません。失われるのは船だけです。
23 昨夜、私の主で、私の仕えている神の御使いが、私の前に立って、
24 こう言いました。『恐れてはいけません。パウロ。あなたは必ずカイザルの前に立ちます。そして、神はあなたと同船している人々をみな、あなたにお与えになったのです。』
25 ですから、皆さん。元気を出しなさい。すべて私に告げられたとおりになると、私は神によって信じています。
26 私たちは必ず、どこかの島に打ち上げられます。」
27 十四日目の夜になって、私たちがアドリヤ海を漂っていると、真夜中ごろ、水夫たちは、どこかの陸地に近づいたように感じた。
28 水の深さを測ってみると、四十メートルほどであることがわかった。少し進んでまた測ると、三十メートルほどであった。
29 どこかで暗礁に乗り上げはしないかと心配して、とも から四つの錨を投げおろし、夜の明けるのを待った。
30 ところが、水夫たちは船から逃げ出そうとして、へさきから錨を降ろすように見せかけて、小舟を海に降ろしていたので、
31 パウロは百人隊長や兵士たちに、「あの人たちが船にとどまっていなければ、あなたがたも助かりません。」と言った。
32 そこで兵士たちは、小舟の綱を断ち切って、そのま

13 * 直訳「目的が達せられると思って」
①使七・三、三二、テト一・一、Ⅱテモ四・一〇
②使七・二、テト一・三
14 ①Ⅱテモ四・一四
* すなわち「北東風」
16 * 異本「カウダ」
17 ①使七・二六、二九
18 ①Ⅱテモ四・二六、ヨナ一・五
20 * 直訳「すべての望み」
21 ①使七・一〇、②黙使二・七
22 ①使七・二五、二六
23 ①ロマ一・九、②Ⅱテモ四・一九
③Ⅱテモ三・一一、八・九、Ⅱテモ四・一七
24 ①Ⅱテモ四・一一、②使七・一四
Ⅱテモ三・二、四
25 ①使七・三、二六
26 ①使六・一、②使七・一七
27 * 別訳「陸地が近づいて来たように」
28 * 直訳「二〇オルグイア」
一オルグイアは一・八五メートル
** 直訳「一五オルグイア」
29 ①使七・一七、二六
30 ①使七・二六

ま流れ去るのに任せた。
33 ついに夜の明けかけたころ、パウロは、一同に食事をとることを勧めて、こう言った。「あなたがたは待ちに待って、きょうまで何も食べずに過ごして、十四日になります。
34 ですから、私はあなたがたに、食事をとることを勧めます。これであなたがたは助かることになるのです。あなたがたの頭から髪一筋も失われることはありません。」
35 こう言って、彼はパンを取り、一同の前で神に感謝をささげてから、それを裂いて食べ始めた。
36 そこで一同も元気づけられ、みなが食事をとった。
37 船にいた私たちは全部で二百七十六人であった。
38 十分食べてから、彼らは麦を海に投げ捨てて、船を軽くした。
39 夜が明けると、*どこの陸地かわからないが、砂浜のある入江が目に留まったので、できれば、そこに船を乗り入れようということになった。
40 錨を切って海に捨て、同時にかじ綱を解き、風に前の帆を上げて、砂浜に向かって進んで行った。
41 ところが、潮流の流れ合う浅瀬に乗り上げて、船を座礁させてしまった。へさきはめり込んで動かなくなり、ともは激しい波に打たれて破れ始めた。
42 兵士たちは、囚人たちがだれも泳いで逃げないように、殺してしまおうと相談した。
43 しかし百人隊長は、パウロをあくまでも助けようと思って、その計画を押え、泳げる者がまず海に飛び込んで陸に上がるように、
44 それから残りの者は、板切れや、その他の、船にある物につかまって行くように命じた。こうして、彼らはみな、無事に陸に上がった。

28

1 こうして救われてから、私たちは、
ここがマルタと呼ばれる島であることを知った。
2 島の人々は私たちに非常に親切にしてくれた。おりから雨が降りだして寒かったので、彼らは火をたいて私たちみなをもてなしてくれた。
3 パウロがひとかかえの柴をたばねて火にくべると、熱気のために、一匹のまむしがはい出して来て、彼の手に取りついた。
4 島の人々は、この生き物がパウロの手から下がっているのを見て、「この人はきっと人殺しだ。海からはのがれたが、正義の女神はこの人を生かしてはおかないのだ。」と互いに話し合った。
5 しかし、パウロは、その生き物を火の中に振り落として、何の害も受けなかった。
6 島の人々は、彼が今にも、はれ上がって来るか、または、倒れて急死するだろうと待っていた。しかし、いくら待っても、彼に少しも変わった様子が見えないので、彼らは考えを変えて、「この人は神さまだ。」と言いだした。
7 さて、その場所の近くに、島の首長でポプリオと

---

34 ①㊥マタ一〇・三〇
35 ①㊥マタ一四・一九
*異本「私たちにも分け与えて」を挿入
36 ①使七・三一、三五
37 ①㊥使二・四一
38 ①㊥使二七・八、ヨナ一・五
39 *あるいは「まだ陸地はよくきりしなかったが」
①㊥使二六・一
**異本「安全に乗り入れよう」
40 ①使七・二六
41 *直訳「二つの海」
**直訳「所」
42 ①㊥使二・一九
43 ①㊥使七・三五
44 ①㊥使七・三、三一
1 ①㊥使七・一、㊥使二六・一〇
②使七・二六
*別訳「メリタ」、ある異本は「メリテネ」と読む
③㊥使七・二九
2 ①㊥ロマ一・一四、Ⅰコリ一四・一一
コロ三・一一、使二八・二
*ギリシヤ語「バルバロス」
②㊥ロマ一四・一
3 ①㊥使二六・二
②㊥使二八・三注
③㊥ルカ三・二四
4 ①㊥使二六・二
*㊥使二八・三注
②㊥ルカ三・二四
5 ①マコ一六・一八
6 ①㊥使一四・一一

いう人の領地があった。彼はそこに私たちを招待して、三日間手厚くもてなしてくれた。
8 たまたまポプリオの父が、熱病と下痢とで床に着いていた。そこでパウロは、その人のもとに行き、祈ってから、彼の上に手を置いて直してやった。
9 このことがあってから、島のほかの病人たちも来て、直してもらった。
10 それで彼らは、私たちを非常に尊敬し、私たちが出帆するときには、私たちに必要な品々を用意してくれた。
11 三か月後に、私たちは、この島で冬を過ごしていた、船首にデオスクロイの飾りのある、*アレキサンドリヤの船で出帆した。
12 シラクサに寄港して、三日間とどまり、
13 そこから回って、レギオンに着いた。一日たつと、南風が吹き始めたので、二日目にはポテオリに入港した。
14 ここで、私たちは兄弟たちに会い、勧められるままに彼らのところに七日間滞在した。こうして、私たちはローマに到着した。
15 私たちのことを聞いた兄弟たちは、ローマから*アピオ・ポロと*トレス・タベルネまで出迎えに来てくれた。パウロは彼らに会って、神に感謝し、勇気づけられた。
16 私たちがローマにはいると、パウロは番兵付きで自分だけの家に住むことが許された。
17 三日の後、パウロはユダヤ人のおもだった人たちを呼び集め、彼らが集まったときに、こう言った。「兄弟たち。私は、私の国民に対しても、先祖の慣習に対しても、何一つそむくことはしていないのに、エルサレムで囚人としてローマ人の手に渡されました。
18 ローマ人は私を取り調べましたが、私を死刑にする理由が何もなかったので、私を釈放しようと思ったのです。
19 ところが、ユダヤ人たちが反対したため、私はやむなくカイザルに上訴しました。それは、私の同胞を訴えようとしたのではありません。
20 このようなわけで、私は、あなたがたに会ってお話ししようと思い、お招きしました。私はイスラエルの望みのためにこの鎖につながれているのです。」
21 すると、彼らはこう言った。「私たちは、あなたのことについて、ユダヤから何の知らせも受けておりません。また、当地に来た兄弟たちの中で、あなたについて悪いことを告げたり、話したりした者はおりません。
22 私たちは、あなたが考えておられることを、直接あなたから聞くのがよいと思っています。この宗派については、至る所で非難があることを私たちは知っているからです。」
23 そこで、彼らは日を定めて、さらに大ぜいでパウロの宿にやって来た。彼は朝から晩まで語り続けた。神の国のことをあかしし、また、モーセの律法と預言者たちの書によって、イエスのことについて彼らを説得しようとした。

8 ①使四・四四、ヤコ五・一五、二五 ②参マコ三・三
11 * 直訳「ゼウスのふた子」 ①使二八・一一
13 * 異本「錨を上げて」 ①参使二・一五
14 ①参使二・一五
15 ①参使二・一五 * アピア街道上の、ローマより約六九キロ離れた宿場 ** アピア街道上の、ローマより約五三キロメートル離れた宿場
16 * 異本「パウロ……」の前に「百人隊長は囚人たちを守備隊長に引き渡したが」を挿入 ①使二四・二三
17 ①使二三・一六、二五・二 ②参使二三・一六、③参使六・一四 ④参使二六・八
18 ①参使二三・二六、②使二六・三一
19 ①参使二五・二一
20 ①使二六・六、七、②参使二八・二〇
21 ①参使二三・三五
22 ①使二四・一四、②ロマ一・一三、一四・一四、一六
23 ①ピレ三、②参ルカ二六・二六 ③参使二・二三、二八、④参使六・二五

24 [1]ある人々は彼の語る事を信じたが、ある人々は信じようとしなかった。
25 こうして、彼らは、お互いの意見が一致せずに帰りかけたので、パウロは一言、次のように言った。「聖霊が預言者イザヤを通してあなたがたの先祖に語られたことは、まさにそのとおりでした。
26 『[1]この民のところに行って、告げよ。
[2]あなたがたは確かに聞きはするが、決して悟らない。
確かに見てはいるが、決してわからない。
[1]この民の心は鈍くなり、
その耳は遠く、
その目はつぶっているからである。
それは、彼らがその目で見、
その耳で聞き、
その心で悟って、*立ち返り、
わたしにいやされることのないためである。』
28 ですから、承知しておいてください。神のこの救いは、[2]異邦人に送られました。彼らは、耳を傾けるでしょう。」*
30 こうしてパウロは満二年の間、[*]自費で借りた家に住み、たずねて来る人たちをみな迎えて、
31 [1]大胆に、少しも妨げられることなく、神の国を宣べ伝え、主イエス・キリストのことを教えた。

24 ①参使二・一四
26 ①イザ六・九、②使二八・二六、二七
参マタ一三・一四、一五
27 ①イザ六・一〇
* 別訳「悔い改めて」
28 ①参使一三・四六、詩六七・三、ルカ二・三〇、②参使一三・四六、一八・六、一五
* ある写本には二九節として、次の挿入がある。「彼がこれらのことを話し終えると、ユダヤ人たちは互いに激しく論じ合いながら、帰って行った」
30 * 別訳「自費で生活し」
31 ①Ⅱテモ一・九、②脚マタ一四・三一、使二三・二六、二三

ローマ人への手紙

1

1 神[1]の福音のために選び分けられ、使徒[2]として召されたキリスト・イエスのしもべパウロ、
2 ――この福音は、神がその預言者[1]たちを通して、聖書[2]において前から約束されたもので、
3 御子に関することです。御子は、肉[1]によればダビデの子孫として生まれ、
4 *きよい御霊によれば、死者の中からの復活により、*大能によって公に神の御子として示された方、私たちの主イエス・キリストです。
5 このキリストによって、私たちは恵みと使徒の務めを受けました。それは、御名のためにあらゆる国の人々の中に信仰の従順をもたらすためなのです。
6 あなたがたも、それらの人々の中にあって、イエス・キリストによって召された人々です。――このパウロから、
7 ローマにいるすべての、神に愛されている人々、召された聖徒たちへ。
私たちの父なる神と主イエス・キリストから恵みと平安があなたがたの上にありますように。
8 まず第一に、あなたがたすべてのために、私はイエス・キリストによって私の神に感謝します。それは、あなたがたの信仰が全世界に言い伝えられているからです。
9 私が御子の福音を宣べ伝えつつ霊をもって仕えている神があかしてくださることですが、私はあなたがたのことを思わぬ時はなく、
10 いつも祈りのたびごとに、神のみこころによって、何とかして、今度はついに道が開かれて、あなたがたのところに行けるようにと願っています。
11 私があなたがたに会いたいと切に望むのは、御霊の賜物をいくらかでもあなたがたに分けて、あなたがたを強くしたいからです。
12 というよりも、あなたがたの間にいて、あなたがたと私との互いの信仰によって、ともに励ましを受けたいのです。
13 兄弟たち。ぜひ知っておいていただきたい。私はあなたがたの中でも、ほかの国の人々の中で得たと同じように、いくらかの実を得ようと思って、何度もあなたがたのところに行こうとしたのですが、今なお妨げられているのです。
14 私は、ギリシヤ人にも未開人にも、知識のある人にも知識のない人にも、返さなければならない負債を負っています。
15 ですから、私としては、ローマにいるあなたがたにも、ぜひ福音を伝えたいのです。
16 私は福音を恥とは思いません。福音は、ユダヤ人をはじめギリシヤ人にも、信じるすべての人にとって、

---

1 ①マコ一・一四、ロマ一五・一六等 ②Ⅱコリ一・二、③使九・一五 ①Ⅱコリ一・二、ガラ一・一六、③Ⅰコリ一五・八、Ⅰコリ九・一等
2 ①ルカ一・七、ロマ三・二一、六・一四、②テト一・三
3 ①ロマ四・一、九・三、Ⅰコリ一〇・六、Ⅰヨハ一・一四、ロマ九・五 ②参マタ一・一
4 *別訳「きよい霊」 *別訳「大能の働きにおいて……」あるいは「大能の御子として公に示された」 ①参マタ四・三 ②参使一・二六、①ガラ一・一六 ③ロマ六・四
5 ①参使一・二六、①ガラ一・一六 ②参使六・七 ①Ⅰコリ一二・三 ②Ⅰコリ一二・三 ③Ⅰコリ一二・三
6 ①Ⅰヨハ二・一、黙一七・一四 ②参使六・七
7 ①Ⅰテサ一・一四、ロマ三六以下 ②Ⅰコリ一・二、Ⅱコリ一・一四、ロマ六・六以下 参使九・二、③Ⅰコリ一・二
8 ①Ⅱコリ一・三、ガラ一・三等 ①Ⅰコリ一四、エペ一・一六、ピリ一・三、Ⅰテサ一・三、Ⅱテモ一・五、ピレ四 ②ロマ一六・一九、Ⅰテモ一・一四、ガラ二・五、Ⅰヨハ二・一、Ⅱヨハ一、三
9 ①使二四・一四、Ⅱテモ一・三 ②ロマ九・一、Ⅱコリ一・二三・一、三等、③エペ一・一六、ピリ一・三四、Ⅰテサ一・二、三、Ⅱテモ一・三
10 ①ロマ一五・三二、使八・二一 ②ロマ一五・三二、使九・二一
11 ①ロマ一・一二、使九・二一
12 ①ロマセ・一、Ⅰコリ一・一〇、一四・二〇、二五、ガラ二・一四、参使一六・二、②ロマ一二・六、Ⅰコリ一・二、Ⅱコリ一・二、③ヨハ四・三六
13 ①ロマ一五・二二、参使一六・六 ②ロマ一・一三、使一九・二一、Ⅰコリ一六・九、Ⅱコリ二・一二、③ヨハ四・三六
14 ①参使二八・二、②Ⅰコリ九・六
15 ①Ⅱロマ一・一六、②ロマ一五・二〇
16 ①Ⅱコリ四・三、参ロマ一・一六、②参使一三・三、ロマ二・九、③参ヨハ四・二二

救いを得させる神の力です。
17なぜなら、福音のうちには神の義が啓示されていて、その義は、信仰に始まり信仰に進ませるからです。[2]*[3]*「義人は信仰によって生きる。」と書いてあるとおりです。

18というのは、不義をもって真理をはばんでいる人[1]人のあらゆる不敬虔と不正に対して、神の怒りが天から啓示されているからです。
19なぜなら、神について知りうることは、彼らに明らかであるからです。それは神が明らかにされたのです。
20神の、目に見えない本性、すなわち神の永遠の力と神性は、世界の創造された時からこのかた、被造物によって知られ、はっきりと認められるのであって、彼らに弁解の余地はないのです。
21というのは、彼らは、神を知っていながら、その神を神としてあがめず、感謝もせず、かえってその思いはむなしくなり、その無知な心は暗くなったからです。
22彼らは、自分では知者であると言いながら、愚かな者となり、
23不滅の神の御栄えを、滅ぶべき人間や、鳥、獣、はうものに似た形に変えてしまいました。
24それゆえ、神は、彼らをその心の欲望のままに汚れに引き渡され、そのために彼らは、互いにそのからだをはずかしめるようになりました。
25それは、彼らが神の真理を偽りに変え、造り主の代わりに造られた物を拝み、これに仕えたからです。造り主こそ、とこしえにほめたたえられる方です。アーメン。
26こういうわけで、神は彼らを恥ずべき情欲に引き渡されました。すなわち、女は自然の用を不自然なものに変え、
27同じように、男も、女の自然な用を捨てて男どうしで情欲に燃え、男が男と恥ずべきことを行なうようになり、こうしてその誤りに対する当然の報いを自分の身に受けているのです。
28また、彼らが神を知ろうとしたがらないので、神は彼らを良くない思いに引き渡され、そのため彼らは、してはならないことをするようになりました。
29彼らは、あらゆる不義と悪とむさぼりと悪意とに満ちた者、ねたみと殺意と争いと欺きと悪だくみとでいっぱいになった者、陰口を言う者、
30そしる者、神を憎む者、人を人と思わぬ者、高ぶる者、大言壮語する者、悪事をたくらむ者、親に逆らう者、
31わきまえのない者、約束を破る者、情け知らずの者、慈愛のない者です。
32彼らは、そのようなことを行なえば、死罪に当たるという神の定めを知っていながら、それを行なっているだけでなく、それを行なう者に心から同意しているのです。

2

1ですから、すべて他人をさばく人よ。あなたに弁解の余地はありませ

---

16 ④Ⅰコリ一・六、二四
17 ①ロマ三・二、ピリ三・九
欄ロマ九・三〇
＊別訳「その義はただ信仰による」
②ハバ二・四、ガラ三・二、ヘブ一〇・三八
＊＊別訳「信仰による義人は生きる」
18 ①Ⅱテサ一・六、七のギリシャ語、②エペ五・六、コロ三・六
欄ロマ一・二九
19 ①使一四・一七、一七・二四以下
20 ①欄マコ一二・六、②詩九・二、ヨブ二・七・九、エレ五・二一、三
21 ＊あるいは「栄光を帰せず」
①Ⅱ列一七・一五、エレ二・五
欄エペ四・一七、一八
22 ①欄エレ一〇・一四、Ⅰコリ一・二〇
23 ①詩一〇六・二〇、エレ二・一一、使一七・二九
24 ①ロマ一・二六、二八、②欄エペ四・一九、②欄エペ二・三
25 ①イザ四四・二〇、エレ一〇・一四、三・二八、一六・二〇、②ロマ九・五、Ⅱコリ一一・三一
26 ①Ⅰテサ四・五、②欄ロマ一・二四
27 ①レビ二〇・一三、一八・二二
欄Ⅰコリ六・九
28 ①欄ロマ一・二四
29 ①欄Ⅱコリ一二・二〇
30 ①詩五〇・二〇
＊別訳「神に憎まれる者」
②Ⅱテモ三・二
31 ①Ⅱテモ三・二
32 ①ロマ六・二一、②ルカ二一・四八
使六・一三・一四
1 ①ロマ二・三、九、二一、二二、②ロマ一・二〇

ん。あなたは、[3]他人をさばくことによって、自分自身を罪に定めています。さばくあなたが、それと同じことを行なっているからです。
2 私たちは、そのようなことを行なっている人々に下る神のさばきが正しいことを知っています。
3 そのようなことをしている人々をさばきながら、自分で同じことをしている人よ。あなたは、自分は神のさばきを免れるのだとでも思っているのですか。
4 それとも、[1]神の慈愛があなたを悔い改めに導くことも知らないで、その豊かな[2]慈愛と忍耐と寛容とを軽んじているのですか。
5 ところが、あなたは、かたくなさと悔い改めのない心のゆえに、御怒りの日、すなわち、神の正しいさばきの現われる日の御怒りを自分のために積み上げているのです。
6 [1]神は、ひとりひとりに、その人の行ないに従って報いをお与えになります。
7 [1]忍耐をもって善を行ない、[2]栄光と誉れと[3]不滅のものとを求める者には、永遠のいのちを与え、
8 [1]党派心を持ち、真理に従わないで不義に従う者には、[1]怒りと憤りを下されるのです。
9 患難と苦悩とは、[2]ユダヤ人をはじめギリシャ人にも、悪を行なうすべての者の上に下り、
10 栄光と誉れと平和は、[2]ユダヤ人をはじめギリシャ人にも、善を行なうすべての者の上にあります。
11 [1]神にはえこひいきなどはないからです。
12 [1]律法なしに罪を犯した者はすべて、律法なしに滅び、律法の下にあって罪を犯した者はすべて、律法によってさばかれます。
13 それは、律法を聞く者が神の前に正しいのではなく、律法を行なう者が正しいと認められるからです。
14 ――律法を持たない異邦人が、[1]生まれつきのままで律法の命じる行ないをするばあいは、律法を持たなくても、自分自身が自分に対する律法なのです。
15 彼らはこのようにして、[1]律法の命じる行ないが彼らの心に書かれていることを示しています。彼らの良心もいっしょになってあかしし、また、彼らの思いは互いに責め合ったり、また、弁明し合ったりしています。――
16 私の福音によれば、[2]神のさばきは、神がキリスト・イエスによって人々の隠れたことをさばかれる日に、行なわれるのです。
17 もし、あなたが自分をユダヤ人ととなえ、[1]律法を持つことに安んじ、神を誇り、
18 みこころを知り、[1]なすべきことが何であるかを律法に教えられてわきまえ、
19 20 また、知識と真理の具体的な形として律法を持っているため、盲人の案内人、やみの中にいる者の光、愚かな者の*導き手、幼子の教師だと自任しているのなら、
21 どうして、人を教えながら、自分自身を教えないのですか。盗むなと説きながら、自分は盗むのですか。
22 姦淫するなと言いながら、自分は姦淫するのですか。

1 ③[1]サム二・三七、マタ七・一、ロマ二・三
3 ①ロマ二・一六、二・五、[1]ヨハ二・一
4 ①[1]ペテ三・九、②ロマ九・二三、[1]コリ六・二等、③ロマ一・二三、④ロマ三・二五、⑤ロマ九・二二、Ⅰテモ一・一六、[1]ペテ三・一五、[1]ヨハ三・六
5 *別訳「に比例して」
6 ①[1]詩六二・一三、ヨブ三四・一一、Ⅱテサ一・六、②[1]申三二・三五、ロマ一四・一九、ヘブ一〇・三〇、[1]ペテ一・一七、③Ⅰコリ三・一四、一三・三、五、ガラ六・八、エペ六・八、Ⅱテモ四・一四、④箴マタ一六・二七
7 ①[1]詩六二・一三、箴マタ一六・二七、②ルカ八・一五、ヘブ一〇・三六、[1]ペテ一・七、③Ⅰコリ一五・四二、五三、五四、エペ六・二四、Ⅱテモ一・一〇
8 ①ピリ一・一七、[1]Ⅱコリ一二・二〇、ガラ五・二〇、ピリ二・三、ヤコ三・一四、一六、②[1]Ⅱテサ二・一二
9 ①ロマ八・三五、②Ⅰペテ四・一七、[1]使一七・六、ロマ二・九、ヘブ一一・七、Ⅰペテ一・七、②[1]ロマ一一・九
10 ①ロマ一一・七、ヘブ一一・七、Ⅰペテ一・七、②[1]ロマ九・九
11 ①箴使一〇・三四
12 ①Ⅰコリ九・二一、使二・三
13 ①ヤコ一・二二、二五、[1]ロマ二・一三、ヨハ一三・一七
14 ①[1]ロマ二・一四、ロマ二・九
15 ①[1]ロマ二・一四、一七
16 ①使一〇・四二、一七・三一、ロマ二・一六、②ロマ一六・二五、[1]Ⅰコリ一五・一、ガラ一・一二、Ⅰテモ一・一一
17 ①ロマ二・二三、九・四、[1]ミカ三・二、ヨハ五・四五
18 *別訳「何が重要であるかを律法に教えられて、それを判別し」
19 20 ①[1]Ⅱテモ一・一三、ロマ二・二一、ピリ一・一〇
*別訳「教導者」
21 ①[1]ロマ二・二二以下

偶像を忌みきらいながら、自分は神殿の物をかすめるのですか。
23 律法を誇りとしているあなたが、どうして律法に違反して、神を侮るのですか。
24 これは、「神の名は、あなたがたのゆえに、異邦人の中でけがされている。」と書いてあるとおりです。
25 もし律法を守るなら、割礼には価値があります。しかし、もしあなたが律法にそむいているなら、あなたの割礼は、無割礼になったのです。
26 もし割礼を受けていない人が律法の規定を守るなら、割礼を受けていなくても、割礼を受けている者とみなされないでしょうか。
27 また、からだに割礼を受けていないで律法を守る者が、律法の文字と割礼がありながら律法にそむいているあなたを、さばくことにならないでしょうか。
28 外見上のユダヤ人がユダヤ人なのではなく、外見上のからだの割礼が割礼なのではありません。
29 かえって人目に隠れたユダヤ人がユダヤ人であり、文字ではなく、御霊による、心の割礼こそ割礼です。その誉れは、人からではなく、神から来るものです。

3 1 では、ユダヤ人のすぐれたところは、いったい何ですか。割礼にどんな益があるのですか。
2 それは、あらゆる点から見て、大いにあります。第一に、彼らは神のいろいろなおことばをゆだねられています。
3 では、いったいどうなのですか。彼らのうちに不真実な者があったら、その不真実によって、神の真実が無に帰することになるでしょうか。絶対にそんなことはありません。
4 たとい、すべての人を偽り者としても、神は真実な方であるとすべきです。それは、

「あなたが、そのみことばによって正しいとされ、さばかれるときには勝利を得られるため。」

と書いてあるとおりです。
5 しかし、もし私たちの不義が神の義を明らかにするとしたら、どうなるでしょうか。人間的な言い方をしますが、怒りを下す神は不正なのでしょうか。
6 絶対にそんなことはありません。もしそうだとしたら、神はいったいどのように世をさばかれるのでしょう。
7 でも、私の偽りによって、神の真理がますます明らかにされて神の栄光となるのであれば、なぜ私がなお罪人としてさばかれるのでしょうか。
8 「善を現わすために、悪をしようではないか。」と言ってはいけないのでしょうか。——私たちはこの点でそしられるのです。ある人たちは、それが私たちのことばだと言っていますが、——もちろんこのように論じる者どもは当然罪に定められるのです。
9 では、どうなのでしょう。私たちは他の者にまさっているのでしょうか。決してそうではありません。私たちは前に、ユダヤ人もギリシヤ人も、すべての人

---

3 ①ロマ一〇・一六、ヘブ一一・二
＊別訳「不信仰」
②創ル二三・一六、ロマ三・六、三
4 ①詩一一六・一一
②詩五一・四
5 ①ロマ六・一九（Ⅱコリ七・四、七・一四）、ガラ二・一八注
＊あるいは「推断する」
②ロマ七・七、三・一九、一四・三
③ロマ六・一九、Ⅰコリ一〇・八、創ガラ二・一五
6 ①創ル一八・二五、ロマ三・四、三、②創ロマ三・六
7 ①創ロマ三・四、②詩五一・四、ロマ九・一九
8 ①詩ロマ六・一
②詩ロマ三・八
＊「劣っている」とも訳せる
9 ①詩ロマ三・九、③ロマ一・一八―三・二〇、④詩ロマ三・九―三、二・三、ガラ三・二二
10 ①詩一四・一―三、五三・一―三
11 ①詩一四・二、五三・二
12 ①詩一四・三、五三・三
13 ①詩五・九、一四〇・三
②詩一〇・七
14 ①詩一〇・七
15 ①イザ五九・七、箴一・一六
16 ①イザ五九・七、八
17 ①詩三四・一四、②イザ五九・八
18 ①詩三六・一
19 ①ロマ三・四、②ロマ三・一九
20 ①ロマ三・二八、ガラ二・一六
②詩一四三・二
21 ①ロマ一・一七、②ロマ三・五、二一、ヘブ一一・一三
22 ①使二・三七
23 ①ロマ二・七、九―一四、詩ミカ三・二、ヨハ五・四四
24 ①イザ五二・五、②エゼ三六・二三
以下、Ⅱペテ二・二
25 ①詩ロマ二・二四、二五
②エレ四・四、二五・二六
26 ①Ⅰコリ七・一九、②エペ二・一一
詩ロマ二・二五、③創ロマ八・四
27 ①エペ二・一一、詩ロマ二・二三
＊「律法の」は補足
②マタ一二・四一
28 ①ロマ四・六、ヨハ八・三九
詩ガラ二・一五、ロマ二・一七
29 ①ピリ三・三、コロ二・一一
②ロマ七・六、Ⅱコリ三・六
③Ⅰコリ四・五、Ⅱコリ一〇・一八
詩ヨハ五・四四、二・三四
2 ①申四・八、詩一四七・一九、ロマ九・四、②創使七・三八

が罪の下にあると責めたのです。
10 それは、次のように書いてあるとおりです。
「義人はいない。ひとりもいない。
11 悟りのある人はいない。神を求める人はいない。
12 すべての人が迷い出て、
みな、ともに無益な者となった。
善を行なう人はいない。ひとりもいない。」
13 「彼らののどは、開いた墓であり、
彼らはその舌で欺く。」
「彼らのくちびるの下には、まむしの毒があり、」
14 「彼らの口は、のろいと苦さで満ちている。」
15 「彼らの足は血を流すのに速く、
16 彼らの道には破壊と悲惨がある。
17 また、彼らは平和の道を知らない。」
18 「彼らの目の前には、神に対する恐れがない。」
19 さて、私たちは、律法の言うことはみな、律法の下にある人々に対して言われていることを知っています。それは、すべての口がふさがれて、全世界が神のさばきに服するためです。
20 なぜなら、律法を行なうことによっては、だれひとり神の前に義と認められないからです。律法によっては、かえって罪の意識が生じるのです。
21 しかし、今は、律法とは別に、しかも律法と預言者によってあかしされて、神の義が示されました。
22 すなわち、イエス・キリストを信じる信仰による神の義であって、それはすべての信じる人に与えられ、
何の差別もありません。
23 すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができず、
24 ただ、神の恵みにより、キリスト・イエスによる贖いのゆえに、価なしに義と認められるのです。
25 神は、キリスト・イエスを、その血による、また信仰による、なだめの供え物として、公にお示しになりました。それは、ご自身の義を現わすためです。というのは、今までに犯されて来た罪を神の忍耐をもって見のがして来られたからです。
26 それは、今の時にご自身の義を現わすためであり、こうして神ご自身が義であり、また、イエスを信じる者を義とお認めになるためなのです。
27 それでは、私たちの誇りはどこにあるのでしょうか。それはすでに取り除かれました。どういう原理によってでしょうか。行ないの原理によってでしょうか。そうではなく、信仰の原理によってです。
28 人が義と認められるのは、律法の行ないによるのではなく、信仰によるというのが、私たちの考えです。
29 それとも、神はユダヤ人だけの神でしょうか。異邦人にとっても神ではないのでしょうか。確かに神は、異邦人にとっても、神です。
30 もし神が唯一の神ならばです。神は、割礼のある者を信仰によって義と認めてくださるとともに、割礼のない者をも、信仰によって義と認めてくださるのです。
31 それでは、私たちは信仰によって律法を無効にす

1) 詩14:1-3, 53:1-3, 伝7:20
2) 詩140:3
3) イザ59:7, 8
4) 詩5:9
5) *神からの栄誉を受けることができず
1) 詩98:2, 3, 伝7:20, ②詩130:3, 4
2) あがない
1) 贖い
2) ①使13:39, ガラ2:16, 詩143:2, ②ロマ6:7, 詩51:4, 使10:43
1) 贖い
2) ①使17:30, ガラ2:16, 3:10, ②ロマ4:5, ③ロマ10:4, ④ロマ4:1, 2, 5:1, 9:30, ⑤ロマ10:3, コロ2:12
3) 忍耐
4) 見のがして
1) 誇り
2) ①ロマ4:2, 4, ②ロマ4:5, ③ロマ3:20, 28, ④使15:10, ⑤ロマ10:4, ガラ2:16, コロ2:12
1) 律法
2) 神
1) 割礼
2) 割礼
1) 律法
2) 信仰
3) 神の義
4) 信じる人に与えられ
5) 何の差別もありません

23 ①ロマ2:7
*別訳「神の栄光に達しない」
24 ①ロマ4:4以下, 11:6, エペ2:8, ②エペ1:7, コロ1:14
ヘブ9:12, 15, 10:19, 1ペテ1:18
25 ①1ヨハ2:2, 4:10
②ヨハ2:23, 4:10
*あるいは「なだめる物」
③ロマ3:24, ④使13:39, 1ヨハ4:10
27 ①ロマ2:17, 23, 1ペテ1:18, 1コリ1:29以下, ②ロマ4:2
28 ①ロマ3:20, 27, ②使15:9, エペ2:8, 1ペテ1:22, ③ヤコ2:26
*直訳「なぜなら」
29 ①ロマ9:24, 10:12, 32
ガラ2:16, 1ペテ1:17, ②ロマ3:30
30 ①ロマ10:12, ②ロマ4:9, 11, 3:26, ガラ3:8, ③ロマ3:22

ることになるのでしょうか。絶対にそんなことはありません。かえって、律法を確立することになるのです。

4 1 それでは、肉による*私たちの先祖アブラハムのばあいは、どうでしょうか。

2 もしアブラハムが行ないによって義と認められたのなら、彼は誇ることができます。しかし、神の御前では、そうではありません。

3 聖書は何と言っていますか。「それでアブラハムは神を信じた。それが彼の義とみなされた。」とあります。

4 働く者のばあいに、その報酬は恵みでなくて、当然支払うべきものとみなされます。

5 何の働きもない者が、不敬虔な者を義と認めてくださる方を信じるなら、その信仰が義とみなされるのです。

6 ダビデもまた、行ないとは別の道で神によって義と認められる人の幸いを、こう言っています。

7 「不法を赦され、罪をおおわれた人たちは、
幸いである。
8 主が罪を認めない人は幸いである。」

9 それでは、この幸いは、割礼のある者にだけ与えられるのでしょうか。それとも、割礼のない者にも与えられるのでしょうか。私たちは、「アブラハムには、その信仰が義とみなされた。」と言っていますが、

10 どのようにして、その信仰が義とみなされたのでしょうか。*割礼を受けてからでしょうか。*割礼を受けていないときにでしょうか。割礼を受けてからではなく、割礼を受けていないときにです。

11 彼は、割礼を受けていないとき信仰によって義と認められたことの証印として、割礼というしるしを受けたのです。それは、彼が、割礼を受けないままで信じて義と認められるすべての人の父となり、

12 また割礼のある者の父となるためです。すなわち、割礼を受けているだけではなく、私たちの父アブラハムが無割礼のときに持った信仰の足跡に従って歩む者の父となるためです。

13 というのは、世界の相続人となるという約束が、アブラハムに、あるいはまた、その子孫に与えられたのは、律法によってではなく、信仰の義によったからです。

14 もし律法による者が相続人であるとするなら、信仰はむなしくなり、約束は無効になってしまいます。

15 律法は怒りを招くものであり、律法のないところには違反もありません。

16 そのようなわけで、世界の相続人となることは、信仰によるのです。それは、恵みによるためであり、こうして約束がすべての子孫に、すなわち、律法を持っている人々にだけでなく、アブラハムの信仰にならう人々にも保証されるためなのです。「わたしは、あなたをあらゆる国の人々の父とした。」と書いてあるとおりに、アブラハムは私たちすべての者の父なのです。

17 このことは、彼が信じた神、すなわち死者を生かし、無いものを有るもののようにお呼びになる方の御前

31 ①㊐ルカ二四・二六、ロマ三・四
②㊐ロマ四・二八四、マタ二六・七七

1 ①㊐ロマ一・三
*別訳「私たちの先祖アブラハムの肉によるばあい」
2 ①㊐Ⅰコリ一・三一
3 ①創一五・六、ロマ四・九、三
ガラ三・六、ヤコ二・二三
4 ①ロマ一一・六
5 ①ロマ三・二、㊐ヨハ六・二九
7 ①詩三二・一、二
8 ①Ⅱコリ五・一九
9 ①ロマ三・二、②㊐ロマ四・三
③創一五・六
10 *直訳「割礼において」
**直訳「無割礼において」
11 ①㊐ヨハ三・三、②創一七・一〇、
二、③㊐ロマ三・二四・一六
④ロマ四・一六、㊐ルカ一九・九
13 ①創一七・四九、三・一七、一八
②㊐ロマ九・八、ガラ三・一六
14 ①ガラ三・一八
15 ①ロマ七・七、二〇上三六等
②㊐ロマ三・二〇
16 *別訳「からです」
①㊐ロマ三・二四、②㊐ロマ四・
一六、一八、三五・八、③創一七・五
④ロマ四・一一、㊐ルカ一九・九
17 ①ヨハ五・二一、②Ⅰコリ一・二八
③㊐イザ四八・一三、五一・二

で、そうなのです。
18 彼は望みえないときに望みを抱いて信じました。それは、「あなたの子孫はこのようになる。」と言われていたとおりに、彼があらゆる国の人々の父となるためでした。
19 アブラハムは、およそ百歳になって、自分のからだが死んだも同然であることと、サラの胎の死んでいることとを認めても、その信仰は弱りませんでした。
20 彼は、不信仰によって神の約束を疑うようなことをせず、反対に、信仰がますます強くなって、神に栄光を帰し、
21 神には約束されたことを成就する力があることを堅く信じました。
22 だからこそ、それが彼の義とみなされたのです。
23 しかし、「彼の義とみなされた。」と書いてあるのは、ただ彼のためだけでなく、
24 また私たちのためです。すなわち、私たちの主イエスを死者の中からよみがえらせた方を信じる私たちも、その信仰を義とみなされるのです。
25 主イエスは、私たちの罪のために死に渡され、私たちが義と認められるために、よみがえられたからです。

5

1 ですから、信仰によって義と認められた私たちは、私たちの主イエス・キリストによって、神との平和を持っています。
2 またキリストによって、いま私たちの立っているこの恵みに信仰によって導き入れられた私たちは、神の栄光を望んで大いに喜んでいます。
3 そればかりではなく、患難さえも喜んでいます。それは、患難が忍耐を生み出し、
4 忍耐が練られた品性を生み出し、練られた品性が希望を生み出すと知っているからです。
5 この希望は失望に終わることがありません。なぜなら、私たちに与えられた聖霊によって、神の愛が私たちの心に注がれているからです。
6 私たちがまだ弱かったとき、キリストは定められた時に、不敬虔な者のために死んでくださいました。
7 正しい人のためにでも死ぬ人はほとんどありません。情け深い人のためには、進んで死ぬ人があるいはいるでしょう。
8 しかし私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を明らかにしておられます。
9 ですから、今すでにキリストの血によって義と認められた私たちが、彼によって神の怒りから救われるのは、なおさらのことです。
10 もし敵であった私たちが、御子の死によって神と和解させられたのなら、和解させられた私たちが、彼のいのちによって救いにあずかるのは、なおさらのことです。
11 そればかりでなく、私たちのために今や和解を成り立たせてくださった私たちの主イエス・キリストによって、私たちは神を大いに喜んでいるのです。

---

18 ①創15:5。 ②ロマ4:18
19 ①創17:17。 ②ヘブ11:12
③創25:6
20 ①創45:8。 ②ロマ4:3
21 ①創18:18。 ②ロマ4:20
22 ①ロマ4:3
23 ①ロマ15:4。
24 ①使3:15。 ②ロマ10:9
25 ①ロマ4:25。 ②ロマ6:4。
Ⅰペテ1:21
1 ①ロマ3:26。 ②ロマ5:10。
*異本「持っていよう(堅く保とう)ではないか」
2 ①Ⅰコリ15:1。 ②ロマ5:11。
*別訳「喜ぼうではないか」
3 ①ロマ8:35。 ②ロマ5:4
4 ①ロマ15:4。 ②ロマ5:3
5 ①詩22:5。 ②ロマ9:23。
エペ3:17。 ③ロマ8:35。
④ロマ5:3。 ⑤ロマ8:23。
⑥ロマ8:15。 ⑦ガラ4:6
6 ①ロマ4:25。 ②ロマ5:8。
③ロマ5:10。 ④ガラ4:4。
⑤ロマ5:8。 ⑥ロマ4:5。
⑦ガラ2:21
8 ①ロマ4:25。 ②ロマ3:24。
③ガラ2:20。 ④ロマ8:32。
⑤ロマ5:10。 ⑥ロマ8:3。
⑦ガラ3:13。 ⑧ロマ8:3。
⑨ロマ5:5。 ⑩ロマ8:32。
⑪ロマ8:3。 ⑫ガラ4:5
9 ①ロマ3:25。 ②Ⅰテサ1:10。
③ロマ5:8
10 ①ロマ5:8。 ②ロマ8:29。
Ⅱコロ1:22。 Ⅱコリ5:18。
③ロマ11:15。 ④ロマ8:2。
⑤ヘブ7:25
11 ①ロマ5:3。 ②ロマ15:7。
Ⅱコロ1:22。 ②ロマ5:10。
Ⅱコリ5:18。 ③ロマ3:26。
④ロマ5:2

19 ①創15:4。 ②ロマ9:9。
③創18:11。
20 ①使7:51。 ②ヘブ3:12。
③創17:17。 ④ヘブ11:11。
21 ①創17:19。 ②ロマ4:20。
22 ①ロマ4:3。
23 ①ロマ15:4。
24 ①使3:15。 ②ロマ10:9。
25 ①ロマ4:25。 ②Ⅰコリ15:3。
1 ①ロマ3:26。 ②ロマ5:2。
*異本「持っていよう(堅く保とう)ではないか」
2 ①Ⅰコリ15:1。 ②エペ2:18。
3 ①ロマ8:35。 ②ヤコ1:2。
*別訳「喜ぼうではないか」
4 ①ルカ2:25。 ②ピリ2:17。
5 ①詩22:5。 ②ロマ9:23。
③エペ3:17。 ④ロマ8:35。
⑤ロマ8:23。 ⑥ロマ8:15。
⑦ガラ4:6
6 ①ロマ4:25。 ②ガラ2:20。
③ロマ5:8。 ④ロマ8:32。
⑤ガラ3:13。 ⑥ロマ8:3。
⑦ガラ4:4。 ⑧ガラ4:5
8 ①ロマ5:10。 ②ロマ3:24。
③ガラ2:20。 ④ロマ8:32。
⑤ロマ8:3。 ⑥ガラ3:13。
⑦ロマ8:3。 ⑧ガラ4:4。
⑨ロマ5:5。 ⑩ロマ8:23。
⑪ロマ8:15。 ⑫ガラ4:6
9 ①ロマ5:8。 ②Ⅰテサ1:10。
③ロマ5:9
10 ①ロマ5:8。 ②ロマ8:29。
③ロマ11:15。 ④ロマ8:2。
⑤ヘブ7:25
11 ①ロマ5:3。 ②ロマ15:7。
③ロマ3:26。 ④ロマ5:2

12 そういうわけで、ちょうどひとりの人によって罪
が世界にはいり、罪によって死がはいり、こうして死
が全人類に広がったのと同様に、――それというのも
全人類が罪を犯したからです。
13 というのは、*律法が与えられるまでの時期にも罪は
世にあったからです。しかし罪は、何かの律法がなけ
れば、認められないものです。
14 ところが死は、アダムからモーセまでの間も、アダ
ムの違反と同じようには罪を犯さなかった人々をさえ
支配しました。アダムは来たるべき方のひな型です。
15 ただし、恵みには違反のばあいとは違う点があります。
もしひとりの違反によって多くの人が死んだとすれ
ば、それにもまして、神の恵みとひとりの人イエス・
キリストによる賜物とは、多くの人々に満ちあふれる
のです。
16 また、賜物には、罪を犯したひとりによるばあいと
違った点があります。さばきのばあいは、一つの違反
のために罪に定められたのですが、恵みのばあいは、
多くの違反が義と認められるからです。
17 もしひとりの人の違反により、ひとりによって死が
支配するようになったとすれば、なおさらのこと、恵
みと義の賜物とを豊かに受けている人々は、ひとりの
人イエス・キリストにより、いのちにあって支配する
のです。
18 こういうわけで、ちょうど一つの違反によってすべ
ての人が罪に定められたのと同様に、一つの義の行為
によってすべての人が義と認められて、いのちを与え
られるのです。
19 すなわち、ちょうどひとりの人の不従順によって多
くの人が罪人とされたのと同様に、ひとりの従順によ
って多くの人が義人とされるのです。
20 律法がはいって来たのは、違反が増し加わるためで
す。しかし、罪の増し加わるところには、恵みも満ち
あふれました。
21 それは、罪が死によって支配したように、恵みが、
私たちの主イエス・キリストにより、義の賜物によっ
て支配し、永遠のいのちを得させるためなのです。

6

1 それでは、どういうことになりま
すか。恵みが増し加わるために、私
たちは罪の中にとどまるべきでしょうか。
2 絶対にそんなことはありません。罪に対して死んだ
私たちが、どうして、なおもその中に生きていられる
でしょう。
3 それとも、あなたがたは知らないのですか。キリス
ト・イエスにつくバプテスマを受けた私たちはみな、
その死にあずかるバプテスマを受けたのではありませ
んか。
4 私たちは、キリストの死にあずかるバプテスマによ
って、キリストとともに葬られたのです。それは、キ
リストが御父の栄光によって死者の中からよみがえら
れたように、私たちも、いのちにあって新しい歩みを
するためです。

12 ①創二・一七、三六、三九、Ⅰコリ一五・二二、ロマ五・一四、一六、一七
② ロマ六・三、Ⅰコリ一五・三六、ヤコ二・二六、③ロマ五・一四、二一、Ⅰコリ一五・二三
13 *「モーセ律法」
①脚ロマ四・一五
14 ①ホセ六・七、②Ⅰコリ一五・四五
*別訳「予表」
15 ①ロマ五・一八、②ロマ五・六、脚ロマ五・八、③使一五・一一
16 ①Ⅰコリ一一三
17 ①創二・一七、三六、三九、Ⅰコリ一五・二一、ロマ五・一二、一六、一七
② Ⅱコリ三・三、ロマ五・一五
18 ①ロマ五・一二、一六、②ロマ三・二六、③ロマ四・二五
19 ①ロマ五・一六、脚ロマ五・一八
② ロマ六・一二、一三
③脚ピリ二・八
20 ①ガラ三・一九、脚ロマ三・二〇、七・七、八、②脚ロマ六・一
Ⅰテモ一・一四
21 ①脚ロマ五・二一四、②脚ヨハ一・一七、脚ロマ六・二三
1 ①脚ロマ五・二、②脚ロマ六・二五
脚ロマ六・八
2 ①脚ルカ二・二六、ロマ六・二五
② ロマ六・二、七四、六、ガラ二・一九、コロ三・三、二五
3 ①使二・三八、一六、五六、ガラ三・二七、②脚マタ二八・一九
4 ①コロ二・一二、②脚ヨハ一一・四五、Ⅱコリ一三・四、③脚使二・二四、ロマ六・六、④脚ロマ七・六
Ⅱコリ五・一七、ガラ六・一五
エペ四・二三四、コロ三・一〇

5 もし私たちが、*キリストにつぎ合わされて、キリストの死と同じようになっているのなら、必ずキリストの復活とも同じようになるからです。
6 私たちの古い人がキリストとともに十字架につけられたのは、罪のからだが滅びて、私たちがもはやこれからは罪の奴隷でなくなるためであることを、私たちは知っています。
7 死んでしまった者は、罪から*解放されているのです。
8 もし私たちがキリストとともに死んだのであれば、キリストとともに生きることにもなる、と信じます。
9 キリストは死者の中からよみがえって、もはや死ぬことはなく、死はもはやキリストを支配しないことを、私たちは知っています。
10 なぜなら、キリストが死なれたのは、ただ一度罪に対して死なれたのであり、キリストが生きておられるのは、神に対して生きておられるのだからです。
11 このように、あなたがたも、自分は罪に対しては死んだ者であり、神に対してはキリスト・イエスにあって生きた者だと、思いなさい。
12 ですから、あなたがたの死ぬべきからだを罪の支配にゆだねて、その情欲に従ってはいけません。
13 また、あなたがたの手足を不義の器として罪にささげてはいけません。むしろ、死者の中から生かされた者として、あなたがた自身とその手足を義の器として神にささげなさい。
14 というのは、罪はあなたがたを支配することがないからです。なぜなら、あなたがたは律法の下にはなく、恵みの下にあるからです。
15 それではどうなのでしょう。私たちは、律法の下にではなく、恵みの下にあるのだから罪を犯そう、ということになるのでしょうか。絶対にそんなことはありません。
16 あなたがたはこのことを知らないのですか。あなたがたが自分の身をささげて奴隷として服従すれば、その服従する相手の奴隷であって、あるいは罪の奴隷となって死に至り、あるいは従順の奴隷となって義に至るのです。
17 神に感謝すべきことには、あなたがたは、もとは罪の奴隷でしたが、伝えられた教えの規準に心から服従し、
18 罪から解放されて、義の奴隷となったのです。
19 あなたがたにある肉の弱さのために、私は人間的な言い方をしています。あなたがたは、以前は自分の手足を汚れと不法の奴隷としてささげて、不法に進みましたが、今は、その手足を義の奴隷としてささげて、聖潔に進みなさい。
20 罪の奴隷であった時は、あなたがたは義については、自由にふるまっていました。
21 その当時、今ではあなたがたが恥じているそのようなものから、何か良い実を得たでしょうか。それらのものの行き着く所は死です。
22 しかし今は、罪から解放されて神の奴隷となり、聖

5 ①Ⅱコリ四・一〇、ピリ三・一〇、二、コロ二・一二、*別訳「キリストの死のさまにつぎ合わされるなら」　**あるいは「につぎ合わされるからです」
6 ①エペ四・二二、コロ三・九　②ガラ二・二〇、六・一四　③ロマ七・二四　*別訳「無力となり」
7 ①ロマ六・一　*別訳「放免されて」
8 ①Ⅱテモ二・一一、ロマ四・二四、Ⅱコリ四・一四
9 ①黙一・一八　②ロマ六・四
11 ①ロマ六・二、七、四、六、ガラ二・一九、コロ三・三、Ⅰペテ二・二四
12 ①ロマ六・一四
13 ①ロマ七・五、ロコロ三・五　②ロマ六・一六、一九、②ロマ一二・一、Ⅱコリ五・一四、一五、Ⅰペテ二・二四
14 ①ロマ六・二、一五、②ロマ六・一四、ガラ四・二一、ロマ五・一八、④ロマ五・二一、六・二
15 ①ロマ六・一、②ロルカ一二・一六
16 ①ロマ二・一三、Ⅰコリ三・一六、六・一五、一六、一九、二三・二四、②ヨハ八・三四、ロⅡペテ二・一九、③ロマ六・二一、三
17 ①ロマ一・八、ロⅡコリ二・一四、②ロⅡテモ一・一三
18 ①ロマ六・二、ヨハ八・三二
19 ①ロマ三・五、②ロマ六・一三
20 ①ロマ六・一六、マタ六・二四
21 ①ロマ七・五、ロエレ二・二三、エゼ二〇・四三、②ロマ六・一六、一三、八、一三、ロガラ六・八
22 ①ロマ六・一八、ヨハ八・三二、ロマ六・六、②Ⅰペテ二・一六、Ⅰコリ七・二三

潔に至る実を得たのです。その行き着く所は永遠のいのちです。
23 罪から来る報酬は死です。しかし、神の下さる賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。

7

1 それとも、兄弟たち。あなたがたは、律法が人に対して権限を持つのは、その人の生きている期間だけだ、ということを知らないのですか。――私は律法を知っている人々に言っているのです。――
2 夫のある女は、夫が生きている間は、律法によって夫に結ばれています。しかし、夫が死ねば、夫に関する律法から解放されます。
3 ですから、夫が生きている間に他の男に行けば、姦淫の女と呼ばれるのですが、夫が死ねば、律法から解放されており、たとい他の男に行っても、姦淫の女ではありません。
4 私の兄弟たちよ。それと同じように、あなたがたも、キリストのからだによって、律法に対しては死んでいるのです。それは、あなたがたが他の人、すなわち死者の中からよみがえった方と結ばれて、神のために実を結ぶようになるためです。
5 私たちが肉にあったときは、律法によって引き起こされる罪深い欲が私たちのからだの中に働いていて、死のために実を結びました。
6 しかし、今は、私たちは自分を捕えていた律法に対して死んだので、それから解放され、その結果、古い文字にはよらず、新しい御霊によって仕えているのです。
7 それでは、どういうことになりますか。律法は罪なのでしょうか。絶対にそんなことはありません。ただ、律法によらないでは、私は罪を知ることがなかったでしょう。律法が、「むさぼってはならない。」と言わなかったら、私はむさぼりを知らなかったでしょう。
8 しかし、罪はこの戒めによって機会を捕え、私のうちにあらゆるむさぼりを引き起こしました。律法がなければ、罪は死んだものです。
9 私はかつて律法なしに生きていましたが、戒めが来たときに、罪が生き、私は死にました。
10 それで私には、いのちに導くはずのこの戒めが、かえって死に導くものであることが、わかりました。
11 それは、戒めによって機会を捕えた罪が私を欺き、戒めによって私を殺したからです。
12 ですから、律法は聖なるものであり、戒めも聖であり、正しく、また良いものなのです。
13 では、この良いものが、私に死をもたらしたのでしょうか。絶対にそんなことはありません。それはむしろ、罪なのです。罪は、この良いもので私に死をもたらすことによって、罪として明らかにされ、戒めによって、極度に罪深いものとなりました。
14 私たちは、律法が霊的なものであることを知っています。しかし、私は罪ある人間であり、売られて罪の

---

22 ③比ローマ四、④参Ⅰペテ一・九
23 ①ローマ六・二一・三六・六、参ガラ二・八、比ローマ五・二、参ローマ六・二三・八・三九
①参ローマ一・一三
2 ①Ⅰコリ七・三九
4 ①比コロ二・一三、②参ガラ二・一九、五・六、比ローマ八・二
③ローマ六・六、参ローマ六・二
5 ①ローマ八・八、比Ⅱコリ一〇・三、②ローマ七・五、③ローマ六・二一、二三、*直訳「肢体」
6 ①ローマ二・二、②ローマ七・二
③参ローマ四・四、④参ローマ三・元
*別訳「霊」
7 ①参ローマ三・五、②参ルカ一八・二〇、③参ローマ三・二〇、四・一五、七・八、一一、申五・二一
*あるいは「悪い欲望を持ってはいけない」
**あるいは「悪い欲望」
8 ①ローマ七・二、②参ローマ三・一〇
*あるいは「悪い欲望」
③Ⅰコリ一五・五六
10 ①レビ一八・五、ローマ一〇・五
ガラ三・一二、比ルカ一〇・二八
11 ①ローマ七・八、②参ローマ三・一〇
③比創三・一三
12 ①ローマ七・一六、Ⅰテモ一・八
13 ①参ルカ一〇・一六
14 ①Ⅰコリ三・一、②比Ⅰ列二一・二五、Ⅱ列一七・七、比ローマ六・六、ガラ四・三、③参ローマ七・九

下にある者です。
15私には、自分のしていることがわかりません。[1]私は[2]自分がしたいと思うことをしているのではなく、自分が憎むことを行なっているからです。
16もし自分のしたくないことをしているとすれば、[1]律法は良いものであることを認めているわけです。
17ですから、それを行なっているのは、もはや私ではなく、私のうちに住みついている罪なのです。
18私は、私のうち、すなわち、私の肉のうちに善が住んでいないのを知っています。私には善をしたいという願いがいつもあるのに、それを実行することがないからです。
19私は、[1]自分でしたいと思う善を行なわないで、かえって、したくない悪を行なっています。
20もし私が自分でしたくないことをしているのであれば、それを行なっているのは、[1]もはや私ではなくて、私のうちに住む罪です。
21そういうわけで、私は、善をしたいと願っているのですが、その私に悪が宿っているという[1]原理を見いだすのです。
22すなわち、私は、[1]内なる人としては、神の律法を喜んでいるのに、
23私のからだの中には異なった律法があって、それが私の心の律法に対して戦いをいどみ、私を、からだの[3]中にある罪の律法のとりこにしているのを見いだすのです。
24私は、ほんとうにみじめな人間です。だれがこの死[1]の、からだから、私を救い出してくれるのでしょうか。
25私たちの主イエス・キリストのゆえに、ただ神に感謝します。ですから、この私は、心では神の律法に仕え、肉では罪の律法に仕えているのです。

8

1こういうわけで、今は、キリスト・イエスにある者が、罪に定められることは決してありません。
2なぜなら、キリスト・イエスにある、いのちの御霊の原理が、罪と死の原理から、あなたを解放したからです。
3肉によって無力になったため、律法にはできなくなっていることを、神はしてくださいました。神はご自分の御子を、罪のために、罪深い肉と同じような形でお遣わしになり、肉において罪を処罰されたのです。
4それは、肉に従って歩まず、御霊に従って歩む私たちの中に、律法の要求が全うされるためなのです。
5肉に従う者は肉的なことをもっぱら考えますが、御霊に従う者は御霊に属することをひたすら考えます。
6肉の思いは死であり、御霊による思いは、いのちと平安です。
7というのは、肉の思いは神に対して反抗するものだからです。それは神の律法に服従しません。いや、服従できないのです。
8肉にある者は神を喜ばせることができません。
9けれども、もし神の御霊があなたがたのうちに住ん

15 ①旧ヨハ一三六、一四、②ガラ五一七、ロマ七一九
16 ①ロマ七一二、Ⅰテモ一八
17 ①ロマ七一三、Ⅰヨハ三六、ヨハ三一六
18 ①旧ロマ七二五、ヨハ三一六
19 ①旧ロマ七一五
20 ①ロマ七一七
21 ①旧ロマ七二三、二五、八二
22 ①旧Ⅱコリ四一六、エペ三一六
旧＊別訳「に関しては」
23 ＊直訳「肢体」①旧ガラ五一七、ヤコ四一、Ⅰペテ二一一、ロマ六一九
②旧ロマ七二五、③旧ロマセ二三五、八二
24 ＊別訳「死の、このからだ」①ロマ八一一、②旧ロマ六六
25 ①Ⅰコリ一三12
②旧ロマセ二一、三一、八二
1 ①旧ガラ五一七、ロマ八一、一〇、②ロマ八二一、三五、ロマ一六三、③ロマ八一四、旧ロマ五一六
2 ①ロマ八一二、三五、一六
＊別訳「あって」
②旧Ⅰコリ一五45
＊異本「私」
③ロマ六一八、旧ロマ八一三、四、旧ヨハ八三五、ヨハ一四一七
3 ①ヘブセ一八、ロマセ二八、一九
②ヘブ二〇、以下、旧使三二六
③旧ピリ二一七、ヘブ二一四、一七、四一五
4 ①ガラ五一六、三五、②ルカ一一六
旧ロマ二一六
5 ①ガラ五一九、二一、②ガラ五一三、二六
6 ①ガラ六一八、②旧ロマ六一二、八一三
7 ①ヤコ四一四
8 ①旧ロマセ五
9 ①旧ロマセ五
ロマ八一二、Ⅰコリ三一六、六一九等、旧ヨハ一四一三

でおられるなら、あなたがたは肉[2]の中にではなく、御霊の中にいるのです。キリストの御霊[3]を持たない人は、キリストのものではありません。
10 もしキリストがあなたがたのうちにおられるなら、からだは罪のゆえに死んでいても、霊が、義のゆえに生きています。
11 もしイエスを死者の中からよみがえらせた方[1]の御霊が、あなたがたのうちに住んでおられるなら、キリスト・イエスを死者の中からよみがえらせた方は、[2]あなたがたのうちに住んでおられる御霊[3]によって、あなたがたの死ぬべきからだをも生かしてくださるのです。
12 ですから、兄弟たち。私たちは、肉に従って歩む責任を、肉に対して負ってはいません。
13 もし肉に従って生きるなら、あなたがたは死ぬのです。しかし、もし御霊によって、からだの行ないを殺すなら、あなたがたは生きるのです。
14 神[1]の御霊に導かれる人は、だれでも神の子どもです。
15 あなたがたは、人を再び恐怖に陥れるような、奴隷の霊を受けたのではなく、子としてくださる御霊を受けたのです。私たちは御霊によって、「アバ、父。」と呼びます。
16 私たちが神の子どもであることは、御霊ご自身が、私たちの霊とともに、あかししてくださいます。
17 もし子どもであるなら、相続人でもあります。私たちがキリストと、栄光をともに受けるために苦難をともにしているなら、私たちは神の相続人であり、キリストとの共同相続人であります。
18 今の時のいろいろの苦しみは、将来私たちに啓示されようとしている栄光に比べれば、取るに足りないものと私は考えます。
19 被造物も、切実な思いで神の子どもたちの現われを待ち望んでいるのです。
20 それは、被造物が虚無に服したのが自分の意志ではなく、服従させた方によるのであって、望みがあるからです。
21 被造物自体も、滅びの束縛から解放され、神の子どもたちの栄光の自由の中に入れられます。
22 私たちは、被造物全体が今に至るまで、ともにうめきともに産みの苦しみをしていることを知っています。
23 そればかりでなく、御霊の初穂をいただいている私たち自身も、心の中でうめきながら、子にしていただくこと、すなわち、私たちのからだの贖われることを待ち望んでいます。
24 私たちは、この望みによって救われているのです。目に見える望みは、望みではありません。だれでも目で見ていることを、どうしてさらに望むでしょう。
25 もしまだ見ていないものを望んでいるのなら、私たちは、忍耐をもって熱心に待ちます。
26 御霊も同じようにして、弱い私たちを助けてくださいます。私たちは、どのように祈ったらよいかわからないのですが、御霊ご自身が、言いようもない深いうめ

---

9 ②豚 ロマ七・五、③豚 ヨハ一四・一七、ガラ四・六等
10 ①ガラ二・二〇、既 エペ三・一七 コロ一・二七、ヨハ一七・二三
11 ①豚 使二四・二四、ロマ六・四 一コリ六・一四、二コリ四・一四、③ヨハ七・三九、*異本「のゆえに」
13 ①豚 ロマ六・六、②コロ三・五
14 ①ガラ四・六、②ホセ一・一〇 ロマ八・一四、ガラ五・一八
15 ①Ⅱテモ一・七、既 ヘブ二・一五 ②ガラ四・五、六、ロマ八・三三 ③マコ一四・三六、ガラ四・六
16 ①ホセ一・一〇 ロマ八・一六 マタ五・九、②既 使二・三三、Ⅱコリ六・一六等
17 ①ガラ三・二九、四・七、エペ三・六 テト三・七、既 使二〇・三二、ヘブ一・一四、黙二一・七、②Ⅱコリ一・五、七、ピリ三・一〇等、既 コロ一・二四
18 ①Ⅱコリ四・一七、既 Ⅰペテ四・一三、②コロ三・四、テト二・一三等
19 ①豚 ピリ一・二〇、②ホセ一・一〇 ロマ八・二一、マタ一九・二八 ヨハ一・三、Ⅱコリ六・一六等
③Ⅰコリ一・七、コロ三・四等
20 ①創三・一七、六、②既 詩三九・五、六、伝一・二、③創三・一七、五・二九
21 ①既 使二・二、Ⅱペテ二・一九等 *「入れられるからです」
22 ①エレ一二・四、二
23 ①豚 ロマ五・五、②豚Ⅱコリ一・二二、既 ロマ八・一六、③Ⅱコリ五・二、四、④豚 ロマ八・二四、既 ロマ八・二五、ガラ五・五
24 ①既 ロマ八・二四、Ⅰテサ五・八 テト三・七、②豚Ⅱコリ五・七 既 ロマ四・一八、六、ヘブ一一・一 *異本「だれが目で見ていることを望むでしょう」
25 ①既 Ⅰテサ一・三
26 ①既 マタ三・一三、Ⅱコリ一二・八 ②既 ヨハ一四・一六、エペ六・一八等

きによって、私たちのためにとりなしてくださいます。
27 人間の心を探り窮める方は、御霊の思いが何かをよく知っておられます。なぜなら、御霊は、神のみこころに従って、聖徒のためにとりなしをしてくださるからです。
28 神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています。
29 なぜなら、神は、あらかじめ知っておられる人々を、御子の姿に似た者にあらかじめ定められたからです。それは、御子が多くの兄弟たちの中で長子となられるためです。
30 神はあらかじめ定めた人々をさらに召し、召した人々をさらに義と認め、義と認めた人々にはさらに栄光をお与えになりました。
31 では、これらのことからどう言えるでしょう。神が私たちの味方であるなら、だれが私たちに敵対できるでしょう。
32 私たちすべてのために、ご自分の御子をさえ惜しまずに死に渡された方が、どうして、御子といっしょにすべてのものを、私たちに恵んでくださらないことがありましょう。
33 神に選ばれた人々を訴えるのはだれですか。神が義と認めてくださるのです。
34 罪に定めようとするのはだれですか。死んでくださった方、いや、よみがえられた方であるキリスト・イエスが、神の右の座に着き、私たちのためにとりなしていてくださるのです。
35 私たちをキリストの愛から引き離すのはだれですか。患難ですか、苦しみですか、迫害ですか、飢えですか、裸ですか、危険ですか、剣ですか。
36 「あなたのために、私たちは一日中、
死に定められている。
私たちは、ほふられる羊とみなされた。」
と書いてあるとおりです。
37 しかし、私たちは、私たちを愛してくださった方によって、これらすべてのことの中にあっても、圧倒的な勝利者となるのです。
38 私はこう確信しています。死も、いのちも、御使いも、権威ある者も、今あるものも、後に来るものも、力ある者も、
39 高さも、深さも、そのほかのどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から、私たちを引き離すことはできません。

9

1 私はキリストにあって真実を言い、偽りを言いません。次のことは、私の良心も、聖霊によってあかししています。
2 私には大きな悲しみがあり、私の心には絶えず痛みがあります。
3 もしできることなら、私の同胞、肉による同国人のために、この私がキリストから引き離されて、のろわれた者となることさえ願いたいのです。

---

27 ①詩一三九・二、ルカ一六・一五
28 ①ロマ八・三九、Ⅰペテ一・二
29 ①ロマ一・二、Ⅰペテ一・二、ロマ八・二九
30 ①ロマ八・三〇
31 ①詩一一八・六、ヘブ一三・六
32 ①ヨハ三・一六、ロマ五・八
33 ①イザ五〇・八、九
34 ①ロマ八・二六、ヘブ七・二五
35 ①ロマ八・三五以下、Ⅱコリ四・八、九、一一・二三、一二・一〇
36 ①詩四四・二二、Ⅰコリ一五・三一、Ⅱコリ四・一一、六・九、一一・二三、ロマ八・三六
37 ①ガラ二・二〇、エペ五・二、黙一・五、②Ⅰコリ一五・五七
38 ①Ⅰコリ三・二二、②ロマ八・三八、エペ一・二一、Ⅰペテ三・二二、③Ⅰコリ三・二二
39 ①Ⅱコリ一二・一〇、②ロマ八・一、③ロマ五・八、Ⅰテモ一・一四、ガラ一・三
3 ①出三二・三二、②ロマ一〇・一、エペ二・五、ロマ一一・一、Ⅰコリ一二・三、ガラ一・八、九

35 ①旧ロマ八・三五以下・
*異本「神の」
②ロマ八・九、Ⅱコリ四・八、一一・二三、一二・一〇
③Ⅰコリ四・一一、Ⅱコリ一一・六・一三
29 ①ロマ一・二、Ⅰペテ一・二、一五
②Ⅰコリ一五・四九、ピリ三・二一等
③Ⅰコリ一・七、エペ一・五、一一
④コロ一・一八、〈ヘブ一・六
30 ①旧ロマ八・三〇、②ロマ八・二八、九・二四、Ⅰコリ一・九等、③ロマ一二・二九、③Ⅰコリ一・二七等
④ヨハ一七・二四、Ⅰコリ二・七等
31 ①旧ロマ八・三一、②詩一一八・六、旧マタ一・二三
32 ①ヨハ三・一六、ロマ五・八
②ロマ八・三二、ロマ五・八
③ロマ八・三一、②イザ五〇・八、九
33 ①旧ルカ一八・七、②旧ロマ五・一
34 ①旧ロマ八・二、②旧ロマ五・六、七
③異本「死人の中よりよみがえられた方」
④ロマ八・二六、⑤ヘブ七・二五
ロマ八・三七、旧ヘブ九・二四
Ⅰヨハ二・一
35 *異本「すべてのことが働いて益となることを」
②ロマ一・二、Ⅰペテ一・二、一五
②Ⅰコリ一五・四九、ピリ三・二一等
③Ⅰコリ一・七、エペ一・五、一一
④コロ一・一八、〈ヘブ一・六
36 ①旧ロマ八・三六、②ロマ八・二八、九・二四、Ⅰコリ一・七等
④ヨハ一七・二四、Ⅰコリ二・七等
⑤Ⅰコリ一・七、エペ一・五、一一
⑥詩二・一二、③詩四四・二二、ロマ八・三一
37 ①ガラ二・二〇、エペ五・二、黙一・五、②Ⅰコリ一五・五七
38 ①Ⅰコリ三・二二、②Ⅰペテ三・二二、エペ一・二一、③Ⅰコリ三・二二
39 ①Ⅱコリ一二・一〇、②ロマ八・一、③ロマ五・八、Ⅰテモ一・一四、旧ロマ一・一、ガラ一・三
3 ①旧出三二・三二、②旧ロマ一〇・一、エペ二・五、旧ロマ一一・一、Ⅰコリ一二・三、ガラ一・八、九

4 彼らはイスラエル人[1]です。子とされることも、栄光[2]も、契約[3]も、律法[4]を与えられることも、礼拝[5]も、約束[6]も彼らのものです。
5 先祖たち[7]も彼らのものです。またキリストも、人としては彼らから出られたのです。*このキリスト[8]は万物の上にあり、とこしえにほめたたえられる神[9]です。アーメン。
6 しかし、神[1]のみことばが無効になったわけではありません。なぜなら、イスラエル[2]から出る者がみな、イスラエルなのではなく、
7 アブラハム[1]から出たからといって、すべてが子どもなのではなく、「イサク[2]からあなたの子孫と呼ばれる者が起こる。」のだからです。
8 すなわち、肉の子どもがそのまま神[1]の子どもではなく、約束の子どもが子孫とみなされるのです。
9 約束のみことばはこうです。「私は来年[1]の今ごろ来ます。そして、サラは男の子を産みます。」
10 このことだけでなく、私たちの先祖イサク[1]ひとりによってみごもったリベカ[2]のこともあります。
11 その子どもたちは、まだ生まれてもおらず、善も悪も行なわないうちに、神の選びの計画の確かさが、行ないにはよらず、召してくださる方によるようにと、
12 「兄は弟に仕える。」と彼女に告げられたのです。
13 「わたしはヤコブを愛し、エサウを憎んだ。」と書いてあるとおりです。
14 それでは、どういうことになりますか。神に不正[1]があるのですか。絶対にそんなことはありません。
15 神はモーセに、「わたしは自分のあわれむ者をあわれみ、自分のいつくしむ者をいつくしむ。」と言われました。
16 したがって、事は人間の願いや努力[1]によるのではなく、あわれんでくださる神[2]によるのです。
17 聖書はパロに、「わたしがあなたを立てたのは、あなたにおいてわたしの力を示し、わたしの名を全世界に告げ知らせるためである。」と言っています。
18 こういうわけで、神は、人をみこころのままにあわれみ、またみこころのままにかたくなにされるのです。
19 すると、あなたはこう言うでしょう。「それになぜ、神は人を責められるのですか。だれが神のご計画に逆らうことができましょう。」
20 しかし、人よ。神に言い逆らうあなたは、いったい何ですか。形造られた者が形造った者に対して、「あなたはなぜ、私をこのようなものにしたのですか。」と言えるでしょうか。
21 陶器を作る者は、同じ土のかたまりから、尊いことに用いる器でも、また、つまらないことに用いる器でも作る権利を持っていないのでしょうか。
22 ですが、もし神が、怒りを示してご自分の力を知らせようと望んでおられるのに、その滅ぼされるべき怒りの器を、豊かな寛容をもって忍耐してくださったとしたら、どうでしょうか。
23 それも、神が栄光のためにあらかじめ用意しておら

---

4 ①民ロマ九・六, ②出四・二三, ③出二四・三, 民一四・三, エゼ二・三, 民ヘブ九・六, ④創一七・一〇, 申二九・一四, ⑤ヨハ一六・二, ⑥ヘブ九・一五, 詩一〇五・八, 民申七・八, 二四・一三, ⑦創使二・三九, 二・三八, エペ二・一三
5 ①ロマ一一・二六, 創使二・三四, ②マタ一・一六, ロマ一・三, *別訳「万物の上にある神はとこしえにほめたたえるべきかたです」, ③コロ二・九, ④創ロマ一・三, 五, ⑤ヨハ一・一, 民コロ二・九, 六, ⑥民民三・九, ②ロマ一一・二六, 二九, ガラ一・六, 民ヨハ一・四七
6 ①ガラ三・九, 民ヨハ八・三三, 三九, ②創二一・一二, ヘブ二・一六, ③創ロマ九・六, ②ロマ九・三, 六, ガラ三・九, 四・二六
7 ①創ロマ四・一三, 民ヨハ八・三三, 三九, ②創二一・一二, ヘブ二・一六, ③創ロマ九・六, ②ロマ九・三, 六, ガラ三・九, 四・二六
8 ①創二一・一二, ②ロマ九・三, 六, ガラ三・九, 四・二六
9 ①創八・二〇
10 ①創ロマ五・三, ②創二五・二
11 ①創ロマ八・六, 民ロマ九・一一
12 ①創二五・二三
13 ①マラ一・二, 三
14 ①創ロマ三・五, 民ロマ三・二, ②Ⅱ歴二九・七, ③創ルカ二三・六
15 ①出三三・一九, ②エペ二・八
16 ①創ガラ二・六, ②出三三・一九
17 ①出九・一六
18 ①出四・二一, 七・三, 一〇・二〇, 一四・四, 一七, 申二・三〇, 三一・二, 一〇・一四, 一五, 一六, 四・二〇, 民ヨハ二・四〇, ロマ二・七, 三一
19 ①ロマ二・一八, 民Ⅰコリ二・三一, ヤコ一・一六, ②民ロマ三・七, ダニ二・三七, ヨブ九・一二
20 ①創ロマ一・一, ②ヨブ三三・一三, ③イザ六・一六, 四五・九, 六四・八, エレ一八・六, 民Ⅱテモ二・二〇, ロマ九・三, 三三
22 ①創ロマ二・四, ②創ロマ三・四

れたあわれみの器に対して、その豊かな栄光を知らせてくださるためになのです。
24 神は、このあわれみの器として、私たちを、[1]ユダヤ人の中からだけでなく、異邦人の中からも召してくださったのです。
25 それは、ホセアの書でも言っておられるとおりです。
「[1]わたしは、わが民でない者をわが民と呼び、
愛さなかった者を愛する者と呼ぶ。
26 [1]『あなたがたは、わたしの民ではない。』と、
わたしが言ったその場所で、彼らは、
[2]生ける神の子どもと呼ばれる。」
27 また、イスラエルについては、イザヤがこう叫んでいます。
「[1]たといイスラエルの子どもたちの数は、
[2]海べの砂のようであっても、
救われるのは、[3]残された者である。
28 主は、みことばを完全に、しかも敏速に、
地上に成し遂げられる。」
29 また、イザヤがこう預言したとおりです。
「[1]もし万軍の主が、私たちに
[2]子孫を残されなかったら、
[3]私たちはソドムのようになり、
ゴモラと同じものとされたであろう。」
30 では、どういうことになりますか。義を追い求めなかった異邦人は義を得ました。すなわち、[2]信仰による義です。
31 しかし、イスラエルは、義の律法を追い求めながら、その律法に到達しませんでした。
32 なぜでしょうか。信仰によって追い求めることをしないで、行ないによるかのように追い求めたからです。彼らは、[1]つまずきの石につまずいたのです。
33 それは、こう書かれているとおりです。
「[1]見よ。わたしは、
シオンに、つまずきの石、妨げの岩を置く。
[2]彼に信頼する者は、
[3]失望させられることがない。」

10

1 兄弟たち。私が心の望みとし、また彼らのために神に願い求めているのは、彼らの救われることです。
2 私は、[1]彼らが神に対して熱心であることをあかしします。しかし、その熱心は知識に基づくものではありません。
3 というのは、彼らは神の義を知らず、[2]自分自身の義を立てようとして、神の義に従わなかったからです。
4 キリストが[*]律法を終わらせられたので、[1]信じる人はみな義と認められるのです。
5 モーセは、[1]律法による義を行なう人は、その義によって生きる、と書いています。
6 しかし、信仰による義はこう言います。「心の中で、だれが天に上るだろうか、と言ってはいけない。」それはキリストを引き降ろすことです。
7 また、「だれが地の奥底に下るだろうか、と言っては

23 ②使九二四、③箴ロマ二四
24 ①箴ロマ三二九、②箴ロマ八二九
25 ①ホセ一二三、旧Ⅰペテ二一〇
26 ①ホセ一二〇、②箴マタ六二六
27 ①イザ一〇二二、②創三二七
ホセ一二〇、③ロマ九二五
29 ①イザ一九、②ヤコ五四
③申二九三二、イザ三一九
エレ四九二六、五〇四〇、アモ四二
30 ①箴ロマ九二四、②ロマ一〇六
ガラ二二六、三二四、ピリ三九
ヘブ一一七、旧ロマ一二七、三
31 ①イザ五一一、ロマ一〇二三、
二一七、旧ロマ九二〇、一〇二〇
②旧ガラ五四
32 ①イザ八一四、Ⅰペテ二六、八
33 ①イザ二八一六、②ロマ一〇一一
③旧ロマ五五
2 ①箴使二一三
3 ①箴ロマ一一七、②イザ五五一
ロマ一〇一三、二一七、旧ロマ九
三二、一〇二
4 * 別訳「律法の目標であり」
①箴ロマ三一三
5 ①レビ一八五、ネヘ九二九
エゼ二〇一一、二二、箴ロマ七
一〇
6 ①箴ロマ九二〇
②申三〇一三
7 ①箴ルカ八三一

いけない。」それはキリストを死者の中から引き上げることです。

8 では、どう言っていますか。「[1]みことばはあなたの近くにある。あなたの口にあり、あなたの心にある。」これは私たちの宣べ伝えている信仰のことばのことです。

[1]* 9 なぜなら、もしあなたの口で[2]イエスを主と告白し、あなたの心で[3]神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。

10 人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。

11 聖書はこう言っています。「[1]彼に信頼する者は、失望させられることがない。」

12 ユダヤ人とギリシヤ人との区別はありません。同じ[1]主が、[2]すべての人の主であり、主を呼び求めるすべての人に対して恵み深くあられるからです。

13 [1]「主の御名を呼び求める者は、だれでも救われる。」のです。

14 しかし、信じたことのない方を、どうして呼び求めることができるでしょう。[1]聞いたことのない方を、どうして信じることができるでしょう。[2]宣べ伝える人がなくて、どうして聞くことができるでしょう。

15 遣わされなくては、どうして宣べ伝えることができるでしょう。次のように書かれているとおりです。「[1]良いことの知らせを伝える[2]人々の足は、なんとりっぱでしょう。」

16 しかし、[1]すべての人が福音に従ったのではありません。[2]「主よ。だれが私たちの知らせを信じましたか。」とイザヤは言っています。

17 そのように、[1]信仰は聞くことから始まり、聞くことは、キリスト[2]*についてのみことばによるのです。

18 でも、こう尋ねましょう。「はたして彼らは聞こえなかったのでしょうか。」むろん、そうではありません。

「[1]その声は全地に響き渡り、
そのことばは地の果てまで届いた。」

19 でも、私はこう言いましょう。「はたしてイスラエルは知らなかったのでしょうか。」まず、モーセがこう言っています。

「[1]わたしは、民でない者のことで、
あなたがたのねたみを起こさせ、
[2]無知な国民のことで、あなたがたを怒らせる。」

20 またイザヤは大胆にこう言っています。

「わたしは、わたしを求めない者に見いだされ、
わたしをたずねない者に自分を現わした。」

21 またイスラエルについては、こう言っています。

「[1]不従順で反抗する民に対して、
わたしは一日中、手を差し伸べた。」

11

1 すると、[1]神はご自分の民を退けてしまわれたのですか。[2]絶対にそんなことはありません。[3]この私もイスラエル人で、アブラハムの子孫に属し、ベニヤミン族の出身です。

---

7 ②ヘブ三・三
8 ①申三〇・一四
9 ①脚マタ一〇・三二、ルカ一二・八、脚ロマ一四・九、Ⅰコリ一二・三、ピリ二・一一
* 別訳「すなわち」
②ロマ四・二四、脚使一六・三一
③脚使二・二四
11 ①イザ二八・一六、ロマ九・三三
12 ①脚ロマ三・二九、脚ロマ三・三〇
②脚ロマ三・九、③脚使一〇・三六
13 ①ヨエ二・三二、使二・二一、脚使七・五九
14 ①脚エペ二・一七、四・二一、②脚使八・三一、テト一・三
15 ①イザ五二・七、②脚ロマ一〇・一五、一五・二〇
16 ①脚ロマ三・三、②イザ五三・一
ヨハ一二・三八
17 ①脚ガラ三・二、五、②コロ三・一六
* 別訳「キリストの」
18 ①詩一九四、コロ一・六、三
Ⅰテサ一・八、脚ロマ一〇
* 別訳「人の住む果て」
19 ①申三二・二一、②ロマ一〇・一、一九
20 ①イザ六五・一
21 ①イザ六五・二
1 ①脚Ⅰサム一二・二二、エレ三一・三七、三三・二四―二六、②脚ルカ二〇・一六、③Ⅱコリ一一・二二、ピリ三・五

2 神は、[1]あらかじめ知っておられたご自分の民を退けてしまわれたのではありません。それともあなたがたは、聖書がエリヤに関する個所で言っていることを、知らないのですか。彼はイスラエルを神に訴えてこう言いました。
3 「主よ。彼らはあなたの預言者たちを殺し、あなたの祭壇をこわし、私だけが残されました。彼らはいま私のいのちを取ろうとしています。」
4 ところが彼に対して何とお答えになりましたか。「[1]バアルにひざをかがめていない男子七千人が、わたしのために残してある。」
5 それと同じように、今も、恵みの選びによって[1]残された者がいます。
6 [1]もし恵みによるのであれば、もはや行ないによるのではありません。もしそうでなかったら、恵みが恵みでなくなります。
7 では、どうなるのでしょう。[1]イスラエルは追い求めていたものを獲得できませんでした。選ばれた者は獲得しましたが、他の者は、[2]かたくなにされたのです。
8 こう書かれているとおりです。
「神は、彼らに鈍い心と
見えない目と聞こえない耳を与えられた。
今日に至るまで。」
9 ダビデもこう言います。
「彼らの食卓は、彼らにとって
わなとなり、網となり、
つまずきとなり、報いとなれ。
10 その目はくらんで見えなくなり、
その背はいつまでもかがんでおれ。」
11 [1]では、尋ねましょう。彼らがつまずいたのは倒れるためなのでしょうか。[2]絶対にそんなことはありません。かえって、彼らの違反によって、[3]救いが異邦人に[4]及んだのです。それは、イスラエルにねたみを起こさせるためです。
12 もし彼らの違反が世界の富となり、彼らの失敗が異邦人の富となるのなら、[1]*彼らの完成は、それ以上の、どんなにかすばらしいものを、もたらすことでしょう。
13 そこで、異邦人の方々に言いますが、[1]私は異邦人の使徒ですから、自分の務めを重んじています。
14 そして、それによって何とか[1]私の同国人にねたみを引き起こさせて、その中の幾人でも救おうと願っているのです。
15 もし彼らの捨てられることが[1]世界の和解であるとしたら、彼らの受け入れられることは、[2]死者の中から生き返ることでなくて何でしょう。
16 [1]初物がきよければ、粉の全部がきよいのです。根がきよければ、枝もきよいのです。
17 もしも、[1]枝の中のあるものが折られて、[2]野生種のオリーブであるあなたがその枝に混じってつがれ、そしてオリーブの根の豊かな養分をともに受けているのだとしたら、
18 あなたはその枝に対して誇ってはいけません。誇っ

2 ①㊢ロマ八・二九、②詩九四・一四、㊢ロマ六・一六
3 ①Ⅰ列九・一〇 *ギリシヤ語「プシュケー」
4 ①Ⅰ列九・一八
5 ①ロマ九・二七、旧Ⅱ列一九・四
6 ①㊢ロマ四・四
7 ①㊢ロマ九・三一、②マコ六・五二、Ⅱコリ三・一四、ロマ一一・三二、㊢ロマ九・一八
8 ①イザ二九・一〇、申二九・四、旧マタ一三・一四
9 ①詩六九・二三
11 ①ロマ一一・一、②㊢ルカ二〇・一六、③㊢使六・六、④ロマ一一・一四
12 ①㊢ロマ一一・三五 *あるいは「成就」
13 ①㊢使九・一五
14 ①㊢ロマ九・三、旧創九・一四、Ⅱサム九・一三、二三、②ロマ一一・一、③Ⅰコリセ・一六、九・二三、Ⅰテモ一・一六、三・四、Ⅱテモ一・九、テト三・五、旧Ⅰコリ一・二一
15 ①旧ロマ五・一一、②旧ルカ一四・一四、一五
16 ①民一五・一八以下、ネヘ一〇・三七、エゼ四四・三〇
17 ①㊢エレ一一・一六、旧ヨハ一五・二、②旧エペ二・一一以下

たとしても、あなたが[1]根をささえているのではなく、根があなたをささえているのです。
19 枝が折られたのは、私がつぎ合わされるためだ、と[1]あなたは言うでしょう。
20 そのとおりです。彼らは不信仰によって折られ、あなたは信仰によって立っています。高ぶらないで、かえって[1]恐れなさい。
21 もし神が台木の枝を惜しまなかったとすれば、あなたをも惜しまれないでしょう。
22 見てごらんなさい。神のいつくしみときびしさを。倒れた者の上にあるのは、きびしさです。あなたの上にあるのは、[1]神のいつくしみです。[2]ただし、あなたがそのいつくしみの中にとどまっていればであって、そうでなければ、あなたも[3]切り落とされるのです。
23 彼らであっても、もし[1]不信仰を続けなければ、つぎ合わされるのです。神は、彼らを再びつぎ合わすことができるのです。
24 もしあなたが、野生種であるオリーブの木から切り取られ、もとの性質に反して、栽培されたオリーブの木につがれたのであれば、これらの栽培種のものは、もっとたやすく自分の台木につがれるはずです。
25 [1]兄弟たち。私はあなたがたに、ぜひこの奥義を知っていていただきたい。それは、あなたがたが[2]自分で自分を賢いと思うことがないようにするためです。その奥義とは、イスラエル人の一部が[3]かたくなになったのは異邦人の[4]完成のなる時までであり、
26 こうして、イスラエルはみな救われる、ということです。こう書かれているとおりです。

「[1]救う者がシオンから出て、
ヤコブから不敬虔を取り払う。」

27 これこそ、彼らに与えたわたしの契約である。
それは、[1]わたしが彼らの罪を取り除く時である。」
28 彼らは、福音によれば、あなたがたのゆえに、[1]神に敵対している者ですが、選びによれば、先祖たちのゆえに、愛されている者なのです。
29 神の賜物と召命とは変わることがありません。
30 ちょうどあなたがたが、かつては神に不従順であったが、今は、彼らの不従順のゆえに、あわれみを受けているのと同様に、
31 彼らも、今は不従順になっていますが、それは、あなたがたの受けたあわれみによって、今や、彼ら自身もあわれみを受けるためなのです。
32 [1]なぜなら、神は、すべての人をあわれもうとして、すべての人を不従順のうちに閉じ込められたからです。

33 ああ、神の[1]知恵と知識との富は、何と底知れず深いことでしょう。そのさばきは、何と知り尽くしがたく、[3]その道は、何と測り知りがたいことでしょう。
34 [1]なぜなら、だれが主のみこころを知ったのですか。また、だれが主のご計画にあずかったのですか。
35 [1]また、だれが、まず主に与えて報いを受けるのですか。

19 ①脚ロマ九・二九
20 ①Ⅱコリ一・二四、脚Ⅰコリ一〇・一二、ロマ五・二、②脚ロマ一二・一六、Ⅰテモ六・一七、Ⅰペテ一・一七
22 ①脚ロマ一二・四、②Ⅰコリ一五・二、ヘブ三・六、一四、③脚ヨハ一五・二
23 ①脚Ⅱコリ三・一六
25 ①脚ロマ一・一三、②ロマ一六・一六、Ⅰコリ三・一八、一〇、エペ三・三、五、脚マタ三・一七、③ロマ一一・一六、④ロマ一一・七、⑤脚ロマ一一・一三、ルカ二一・二四、脚ヨハ一〇・一六
26 ①イザ五九・二〇、二一
27 ①イザ二七・九、脚ヘブ八・一〇、一二
28 ①ロマ五・一〇、②ロマ九・五、脚申七・六、一〇、一三
29 ①Ⅰコリ一・二六、エペ一・一八、脚一四、ピリ三・一四、Ⅱテサ一・一一、ヘブ三・一、Ⅱペテ一・一〇、脚ロマ八・二八、②脚ヘブ七・二一
32 ①ガラ三・二二、三、脚ロマ三・九、一一
33 ①コロ二・三、エペ三・一〇
*別訳「富と、知恵と、知識とは」
②エペ三・八、脚ロマ三・四
③脚ヨブ五・九、一一、七・五、八
34 ①イザ四〇・一三、一四、Ⅰコリ二・一六
35 ①脚ヨブ三五・七、四一・一一

36 というのは、すべてのことが、神から発し、神によって成り、神に至るからです。どうか、この神に、栄光がとこしえにありますように。アーメン。

12

1 そういうわけですから、兄弟たち。私は、神のあわれみのゆえに、あなたがたにお願いします。あなたがたのからだを、神に受け入れられる、きよい、生きた供え物として、ささげなさい。それこそ、あなたがたの霊的な礼拝です。

2 この世と調子を合わせてはいけません。むしろ、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に受け入れられ、完全であるのかをわきまえ知るために、心の一新によって自分を変えなさい。

3 私は、自分に与えられた恵みによって、あなたがたひとりひとりに言います。だれでも、思うべき限度を越えて思い上がってはいけません。むしろ、神がおのおのに分け与えてくださった信仰の量りに応じて、慎み深い考え方をしなさい。

4 一つのからだには多くの器官があって、すべての器官が同じ働きはしないのと同じように、

5 大ぜいいる私たちも、キリストにあって一つのからだであり、ひとりひとり互いに器官なのです。

6 私たちは、与えられた恵みに従って、異なった賜物を持っているので、もしそれが預言であれば、その信仰に応じて預言しなさい。

7 奉仕であれば奉仕し、教える人であれば教えなさい。

8 勧めをする人であれば勧め、分け与える人は惜しまずに分け与え、指導する人は熱心に指導し、慈善を行なう人は喜んでそれをしなさい。

9 愛には偽りがあってはなりません。悪を憎み、善に親しみなさい。

10 兄弟愛をもって心から互いに愛し合い、尊敬をもって互いに人を自分よりまさっていると思いなさい。

11 勤勉で怠らず、霊に燃え、主に仕えなさい。

12 望みを抱いて喜び、患難に耐え、絶えず祈りに励みなさい。

13 聖徒の入用に協力し、旅人をもてなしなさい。

14 *あなたがたを迫害する者を祝福しなさい。祝福すべきであって、のろってはいけません。

15 喜ぶ者といっしょに喜び、泣く者といっしょに泣きなさい。

16 互いに一つ心になり、高ぶった思いを持たず、かえって身分の低い者に順応しなさい。自分こそ知者だなどと思ってはいけません。

17 だれに対してでも、悪に悪を報いることをせず、すべての人が良いと思うことを図りなさい。

18 あなたがたは、自分に関する限り、すべての人と平和を保ちなさい。

19 愛する人たち。自分で復讐してはいけません。神の怒りに任せなさい。それは、こう書いてあるからです。「復讐はわたしのすることである。わたしが報いをす

---

36 ①ローマ八・二二、コロ一・一六、ヘブ二・一〇、②ロマ一一・三六、エペ三・二一、ピリ四・二〇等
1 ①Ⅰコリ一・一〇、Ⅱコリ一〇・一、②ロマ六・一三、一六、③Ⅰペテ二・五、④テト三・五
2 ①ロマ一二・一、ガラ一・四、②ロマ七・六、Ⅰテサ一・九、③エペ五・一〇、一七、④テト三・五
3 ①ロマ一五・一八、Ⅰコリ一二・一〇等、②ロマ一二・一〇、一三・一六、③ロマ七・七、Ⅱコリ一〇・一七、④エペ四・七
4 ①Ⅰコリ一二・一二、エペ四・四、一六
5 ①Ⅰコリ一〇・一七、②ロマ一二・四、一五
6 ①ロマ一二・六、Ⅰペテ四・一〇、一一、②ロマ一二・三、③使一三・一五
7 ①ロマ一二・八、②Ⅰコリ一二・二八、③使一三・一
8 ①ロマ一六・一、二、三、一五、②Ⅱコリ八・二九、一二・一三、③Ⅰテモ五・一七、ロマ一二・八、Ⅰコリ一六・一五、④ロマ一二・一三、Ⅱコリ九・七
9 ①Ⅱコリ六・六、ロマ一二・九、②Ⅰヨハ三・一八、Ⅱペテ一・七、③ロマ一二・一〇、④ピリ二・三
10 ①Ⅰテサ四・九、ヘブ一三・一、Ⅱペテ一・七、②ピリ二・三
11 ①使一八・二五、②使二〇・一九
12 ①ロマ一二・一二、②ヘブ一〇・三四、③使一・一四
13 ①ロマ一二・一三、Ⅰコリ一六・一、②ロマ一五・二五、Ⅰテモ三・二
14 ①マタ五・四四、ルカ六・二八等
*異本「あなたがたを」を欠く
15 ①ヨブ三〇・二五、ヘブ一三・三
16 ①ロマ一二・三、Ⅱコリ一三・一一、ピリ二・二、②ロマ一二・一六、③ロマ一二・二五、箴三・七
17 ①箴二〇・二二、二四・二九、ロマ一二・二八、②Ⅱコリ八・二一、③ロマ一二・九
18 ①ロマ一二・一〇、②ロマ一四・一九
19 ①箴二〇・二二、二四・二九、②申三二・三五、ヘブ一〇・三〇、ロマ詩篇一・一

る、と主は言われる。」
20 もしあなたの敵が飢えたなら、彼に食べさせなさい。
渇いたなら、飲ませなさい。そうすることによって、
あなたは彼の頭に燃える炭火を積むことになるのです。
21 悪に負けてはいけません。かえって、善をもって悪に打ち勝ちなさい。

13

1 人はみな、上に立つ権威に従うべきです。神によらない権威はなく、存在している権威はすべて、神によって立てられたものです。
2 したがって、権威に逆らっている人は、神の定めにそむいているのです。そむいた人は自分の身にさばきを招きます。
3 支配者を恐ろしいと思うのは、良い行ないをするときではなく、悪を行なうときです。権威を恐れたくないと思うなら、善を行ないなさい。そうすれば、支配者からほめられます。
4 それは、彼があなたに益を与えるための、神のしもべだからです。しかし、もしあなたが悪を行なうなら、恐れなければなりません。彼は無意味に剣を帯びてはいないからです。彼は神のしもべであって、悪を行なう人には怒りをもって報います。
5 ですから、ただ怒りが恐ろしいからだけでなく、良心のためにも、従うべきです。
6 同じ理由で、あなたがたは、みつぎを納めるのです。彼らは、いつもその務めに励んでいる神のしもべなのです。
7 あなたがたは、だれにでも義務を果たしなさい。みつぎを納めなければならない人にはみつぎを納め、税を納めなければならない人には税を納め、恐れなければならない人を恐れ、敬わなければならない人を敬いなさい。
8 だれに対しても、何の借りもあってはいけません。ただし、互いに愛し合うことについては別です。他の人を愛する者は、律法を完全に守っているのです。
9 「姦淫するな、殺すな、盗むな、むさぼるな。」という戒め、またほかにどんな戒めがあっても、それらは、「自分を愛すると同じように、あなたの隣人を愛せよ。」ということばの中に要約されているからです。
10 愛は隣人に対して害を与えません。それゆえ、愛は律法を全うします。
11 あなたがたは、今がどのような時か知っているのですから、このように行ないなさい。あなたがたが眠りからさめるべき時刻がもう来ています。というのは、私たちが信じたころよりも、今は救いが私たちにもっと近づいているからです。
12 夜はふけて、昼が近づきました。ですから、私たちは、やみのわざを打ち捨てて、光の武具を着けようではありませんか。
13 遊興、酩酊、淫乱、好色、争い、ねたみの生活ではなく、昼間らしい、正しい生き方をしようではありま

---

20 ①箴二五・二二、二三、民マタ五・四四 ルカ六・二七、②民Ⅱ列六・二三
1 ①創使二四・一、②テト三・一
Ⅰペテ二・一三、一四、③ヨハ一八・二、民ダニ二・二一、四・一七
3 ①Ⅰペテ二・一四
4 ①Ⅰテサ四・六
5 ①創Ⅰペテ二・一九、民Ⅰペテ三・一三
7 ①創マタ二二・二一、②ルカ二〇・二二、三、③創マタ一七・二五
8 ①マタ二二・三九、四〇、ガラ五・一四 ロマ一三・一〇、民マタ七・一二
9 ①出二〇・三以下、申五・一七以下 ②レビ一九・一八、マタ二二・三九
10 ①マタ二二・三九、四〇、ガラ五・一四 ロマ一三・八、民マタ七・一二
11 ①Ⅰコリ一六・一四、エペ五・一四 Ⅰテサ五・六、民マコ一三・三七 ②Ⅰコリセ二六、三〇・一一 Ⅰペテ四・七等
＊別訳「私たちの救いがもっと近づいているからです」
12 ①創Ⅰコリセ二六以下、一〇・一一 ヤコ五・八、Ⅰペテ四・七等 ②創ヘブ一〇・二五、Ⅰヨハ二・一八 民黙一・三、三・一〇、③エペ五・二、④Ⅱコリ六・七、一〇・四 エペ六・一一、一三、創Ⅰテサ五・八
13 ①ルカ二一・三四、ガラ五・二一 エペ五・一八、Ⅰペテ四・三 ②Ⅰテサ五・一二

せんか。
14 主イエス・キリストを着なさい。肉の欲のために心を用いてはいけません。

14

1 あなたがたは信仰の弱い人を受け入れなさい。その意見をさばいてはいけません。
2 何でも食べてよいと信じている人もいますが、弱い人は野菜よりほかには食べません。
3 食べる人は食べない人を侮ってはいけないし、食べない人も食べる人をさばいてはいけません。神がその人を受け入れてくださったからです。
4 あなたはいったいだれなので、他人のしもべをさばくのですか。しもべが立つのも倒れるのも、その主人の心次第です。このしもべは立つのです。なぜなら、主には、彼を立たせることができるからです。
5 ある日を、他の日に比べて、大事だと考える人もいますが、どの日も同じだと考える人もいます。それぞれ自分の心の中で確信を持ちなさい。
6 日を守る人は、主のために守っています。食べる人は、主のために食べています。なぜなら、神に感謝しているからです。食べない人も、主のために食べないのであって、神に感謝しているのです。
7 私たちの中でだれひとりとして、自分のために生きている者はなく、また自分のために死ぬ者もありません。
8 もし生きるなら、主のために生き、もし死ぬなら、主のために死ぬのです。ですから、生きるにしても、死ぬにしても、私たちは主のものです。
9 キリストは、死んだ人にとっても、生きている人にとっても、その主となるために、死んで、また生きられたのです。
10 それなのに、なぜ、あなたは自分の兄弟をさばくのですか。また、自分の兄弟を侮るのですか。私たちはみな、神のさばきの座に立つようになるのです。
11 次のように書かれているからです。
「主は言われる。わたしは生きている。
すべてのひざは、わたしの前にひざまずき、
すべての舌は、神をほめたたえる。」
12 こういうわけですから、私たちは、おのおの自分のことを神の御前に申し開きすることになります。
13 ですから、私たちは、もはや互いにさばき合うことのないようにしましょう。いや、それ以上に、兄弟にとって妨げになるもの、つまずきになるものを置かないように決心しなさい。
14 主イエスにあって、私が知り、また確信していることは、それ自体で汚れているものは何一つないということです。ただ、これは汚れていると認める人にとっては、それは汚れたものなのです。
15 もし、食べ物のことで、あなたの兄弟が心を痛めているのなら、あなたはもはや愛によって行動しているのではありません。キリストが代わりに死んでくださったほどの人を、あなたの食べ物のことで、滅ぼさな

14 ①ガラ三・二七、脱ヨブ二五・四
エペ四・二四、コロ三・一〇、三
2 ①脱ガラ五・二六、Ⅰペテ二・二
1 ①ロマ一四・三、ロマ一五・一、Ⅰコリ八・九以下、九・二、②ロマ一四・三、一五・七、脱使六・一、ロマ一二・一五
2 ①脱ロマ一四・四、②ロマ一四・一、一五・一、Ⅰコリ八・九以下、九・二
3 ①ロマ一四・一〇、脱ルカ六・九
②脱コロ二・一六、ロマ一四・一〇、三
③ロマ一四・一、三、七、脱使六・三
ロマ一二・一五
4 ①ヤコ四・一二、脱ロマ九・二〇
5 ①ガラ四・一〇、②ロマ一四・二
脱ルカ一・一、脱ロマ一四・三
6 ①Ⅰコリ一〇・三〇、Ⅰテモ四・三、四、脱マタ一四・一九
7 ①Ⅱコリ五・一五、ガラ二・二〇
ピリ一・二〇、二一、脱ロマ八・三六
8 ①脱ピリ一・二〇、Ⅰテサ五・一〇
黙一四・一三、ルカ二・二六
9 ①ピリ二・一一、脱マタ二六・六四
脱ヨハ一三・一三、Ⅰテサ五・一〇
②黙一・一八、二・八
10 ①ロマ一四・三、脱ルカ六・九
②脱ロマ三・六、脱Ⅱコリ五・一〇
11 ①イザ四五・二三、②ピリ二・一〇、二
＊別訳「告白する」
12 ①マタ一二・三六、Ⅰペテ四・五
脱マタ一六・二七
13 ①脱ロマ一四・三、マタ七・一
②脱Ⅰコリ八・一三
14 ①ロマ一四・二〇、脱使一〇・一五
②Ⅰコリ八・七
15 ①エペ五・二、②Ⅰコリ八・一一
脱ロマ一四・二〇

いでください。
16 ですから、あなたがたが良いとしている事がらによって、そしられないようにしなさい。
17 なぜなら、神の国は飲み食いのことではなく、義と平和と聖霊による喜びだからです。
18 このようにキリストに仕える人は、神に喜ばれ、また人々にも認められるのです。
19 そういうわけですから、私たちは、平和に役立つことと、お互いの霊的成長に役立つこととを追い求めましょう。
20 食べ物のことで神のみわざを破壊してはいけません。すべての物はきよいのです。しかし、それを食べて人につまずきを与えるような人のばあいは、悪いのです。
21 肉を食べず、ぶどう酒を飲まず、そのほか兄弟のつまずきになることをしないのは良いことなのです。
22 あなたの持っている信仰は、神の御前でそれを自分の信仰として保ちなさい。自分が、良いと認めていることによって、さばかれない人は幸福です。
23 しかし、疑いを感じる人が食べるなら、罪に定められます。なぜなら、それが信仰から出ていないからです。信仰から出ていないことは、みな罪です。

15

1 私たち力のある者は、力のない人たちの弱さをになうべきです。自分を喜ばせるべきではありません。
2 私たちはひとりひとり、隣人を喜ばせ、その徳を高め、その人の益となるようにすべきです。
3 キリストでさえ、ご自身を喜ばせることはなさらなかったのです。むしろ、「あなたをそしる人々のそしりは、わたしの上にふりかかった。」と書いてあるとおりです。
4 昔書かれたものは、すべて私たちを教えるために書かれたのです。それは、聖書の与える忍耐と励ましによって、希望を持たせるためなのです。
5 どうか、忍耐と励ましの神が、あなたがたを、キリスト・イエスにふさわしく、互いに同じ思いを持つようにしてくださいますように。
6 それは、あなたがたが、心を一つにし、声を合わせて、私たちの主イエス・キリストの父なる神をほめたたえるためです。
7 こういうわけですから、キリストが神の栄光のために、私たちを受け入れてくださったように、あなたがたも互いに受け入れなさい。
8 私は言います。キリストは、神の真理を現わすために、割礼のある者のしもべとなられました。それは先祖たちに与えられた約束を保証するためであり、
9 また異邦人も、あわれみのゆえに、神をあがめるようになるためです。こう書かれているとおりです。

「それゆえ、私は異邦人の中で、
あなたをほめたたえ、
あなたの御名をほめ歌おう。」

10 また、こうも言われています。

---

16 ①Ⅰコリ一〇・三。テト三・五
17 ①Ⅰコリ一五・八、②ピリ二・三
18 ①ロマ一五・八、②Ⅱコリ六・二、ピリ二・八、Ⅰペテ二・二
19 ①詩二二・二四、Ⅰコリセ・五、③ロマ三・二六、②ロマ一五・二、Ⅰコリ一〇・三二、二四、三六、エペ二四・三元
*異本「求めます」
20 ①③使一〇・一五、②ロマ一四・二、③使一〇・一五、③Ⅰコリ六・九、三
*あるいは「自分自身つまずくような人」
21 ①Ⅰコリ八・一三
22 ①ヨハ三・二
23 ①ロマ一五・三五
1 ①③ロマ一四・一、ガラ六・二、Ⅰテサ五・一四
2 ①Ⅰコリ一〇・三三、ピⅠコリ九・三三、一〇・二四、Ⅱコリ三・九
②ロマ一四・一九、Ⅰコリ一〇・三三、一三・五、二四、Ⅱコリ一三・九、エペ四・二九
3 ①Ⅱコリ八・九、②詩六九・九
4 ①ロマ一五・四、Ⅱテモ三・一六
5 ①ピⅡコリ一三、②ロマ一二・一六
6 ①黙一・六
7 *異本「あなたがた」
8 ①ロマ一五・一、③ロマ一五・八、②ピⅡコリ一・二〇
9 ①ピロマ三・二九、一二・一三
②ロマ九・六、③詩一八・四九
Ⅱサム二二・五〇
*別訳「告白し」

「異邦人よ。主の民とともに喜べ。」

11 さらにまた、

「すべての異邦人よ。主をほめよ。
もろもろの国民よ。主をたたえよ。」

12 さらにまた、イザヤがこう言っています。

「エッサイの根が起こる。
異邦人を治めるために立ち上がる方である。
異邦人はこの方に望みをかける。」

13 どうか、望みの神が、あなたがたを信仰によるすべての喜びと平和をもって満たし、聖霊の力によって望みにあふれさせてくださいますように。

14 私の兄弟たちよ。あなたがた自身が善意にあふれ、すべての知恵に満たされ、また互いに訓戒し合うことができることを、この私は確信しています。

15 ただ私が所々、かなり大胆に書いたのは、あなたがたにもう一度思い起こしてもらうためでした。

16 それも私が、異邦人のためにキリスト・イエスの仕え人となるために、神から恵みをいただいているからです。私は神の福音をもって、祭司の務めを果たしています。それは異邦人を、聖霊によってきよめられた、神に受け入れられる供え物とするためです。

17 それで、神に仕えることに関して、私はキリスト・イエスにあって誇りを持っているのです。

18 私は、キリストが異邦人を従順にならせるため、この私を用いて成し遂げてくださったこと以外に、何かを話そうなどとはしません。キリストは、ことばと行ないにより、

19 また、しるしと不思議をなす力により、さらにまた、御霊の力によって、それを成し遂げてくださいました。その結果、私はエルサレムから始めて、ずっと回ってイルリコに至るまで、キリストの福音をくまなく伝えました。

20 このように、私は、他人の土台の上に建てないように、キリストの御名がまだ語られていない所に福音を宣べ伝えることを切に求めたのです。

21 それは、こう書いてあるとおりです。

「彼のことを伝えられなかった人々が
見るようになり、
聞いたことのなかった人々が
悟るようになる。」

22 そういうわけで、私は、あなたがたのところに行くのを幾度も妨げられましたが、

23 今は、もうこの地方には私の働くべき所がなくなりましたし、また、イスパニヤに行くあいは、あなたがたのところに立ち寄ることを多年希望していましたので、

24 ——というのは、途中あなたがたに会い、まず、しばらくの間あなたがたとともにいて心を満たされてから、あなたがたに送られ、そこへ行きたいと望んでいるからです。——

25 ですが、今は、聖徒たちに奉仕するためにエルサレムへ行こうとしています。

---

10 ①申三二・四三
11 ①詩一七・一
12 ①イザ一一・一〇、②出典ロマ一五・三一・六、③マタ一二・二一
13 ①出ロマ一四・一七、②ロマ五・二、Ⅰコリ二・四、Ⅰテサ一・五
14 ①Ⅰペテ四・九、Ⅱテサ一・二、②Ⅰコリ一・五、二・三、出Ⅰコリ八・一、七、一〇、一三
15 ①出ロマ一二・三、出使一五・二五
16 ①出ロマ一一・三、出使一五・二五
*異本「神によって」
②出ロマ一三・一六、③ロマ一五・一六、二一、出ロマ一・一、④エペ三・二、ピリ二・一七、出ロマ一二・一
17 ①ヘブ二・一七、二・一、②ピリ三・三
18 ①出使一五・一二・一九、ロマ一五、Ⅱコリ三・五
*別訳「ささらなかったことは何をも話そうなどとはしません」
19 ①出ヨハ四・四八
*別訳「しるしと奇蹟」
②ロマ一五・三、Ⅰコリ二・四、Ⅰテサ一・五、③使三・一七・二一、④出使三・一、二
20 ①Ⅱコリ一〇・一五、一六、出Ⅰコリ三・一〇、②ロマ一・一五、一〇・一六、出ロマ一五・二〇
21 ①イザ五二・一五
22 ①ロマ一・一三、出Ⅰテサ二・一八
23 ①ロマ一五・二〇、②出使九・三、ロマ一・一〇、一一、出ロマ一五・二四、三二
24 ①出ロマ一・一二、②出使一五・三
25 ①出使一九・二一、②出使二四・一七

26それは、[1]マケドニヤとアカヤでは、喜んでエルサレ[2]ムの聖徒たちの中の貧しい人たちのために醵金することにしたからです。
27彼らは確かに喜んでそれをしたのですが、同時にまた、その人々に対してはその義務があるのです。[1]異邦人は霊的なことでは、その人々からもらいものをしたのですから、物質的な物をもって彼らに奉仕すべきです。
28それで、私はこのことを済ませ、*彼らにこの実を確[1]かに渡してから、あなたがたのところを通ってイスパ[2]ニヤに行くことにします。
29あなたがたのところに行くときは、キリストの満ちあふれる祝福をもって行くことと信じています。
30兄弟たち。私たちの主イエス・キリストによって、また、[1]御霊の愛によって切にお願いします。私のために、私とともに力を尽くして神に祈ってください。
31わたし[2]私がユダヤにいる不信仰な人々から救い出され、またエルサレムに対する私の奉仕が聖徒たちに受け入れられるものとなりますように。
32その結果として、[1]神のみこころにより、喜びをもってあなたがたのところへ行き、あなたがたの中で、ともにいこいを得ることができますように。
33どうか、平和の神が、あなたがたすべてとともにいてくださいますように。アーメン。

16 [1]ケンクレヤにある教会の執事で、私たちの姉妹であるフィベを、あなたがたに推薦します。
2どうぞ、[1]聖徒にふさわしいしかたで、主にあってこの人を歓迎し、あなたがたの助けを必要とすることは、どんなことでも助けてあげてください。この人は、多くの人を助け、また私自身をも助けてくれた人です。
3[1]キリスト・イエスにあって私の同労者であるプリスカとアクラによろしく伝えてください。
4この人たちは、自分のいのちの危険を冒して私のいのちを守ってくれたのです。この人たちには、私だけでなく、異邦人のすべての教会も感謝しています。
5またその家の教会によろしく伝えてください。私の愛するエパネトによろしく。この人はアジヤでキリストを信じた最初の人です。
6あなたがたのために非常に労苦したマリヤによろしく。
7私の同国人で私と*いっしょに投獄されたことのある、アンドロニコとユニアスにもよろしく。この人々は使徒たちの間によく知られている人々で、また私より先にキリストにある者となったのです。
8主にあって私の愛するアムプリアトによろしく。
9キリストにあって私たちの同労者であるウルバノと、私の愛するスタキスとによろしく。
10キリストにあって練達したアペレによろしく。アリストブロの家の人たちによろしく。
11私の同国人ヘロデオンによろしく。ナルキソの家の主にある人たちによろしく。

---

26 ①Ⅰコリ一六・一、Ⅱコリ一・一六、ロマ一五・二六、ヘブ一三・一六 ②使一九・二一、ロマ一五・二五、Ⅰテサ一・七、八、四・一〇
27 ①Ⅰコリ九・一一 ②使二八・二、Ⅰテモ一・三、使一八・四、一九・二二
28 *直訳「彼らのために、この実に確認の印を押してから」 ①Ⅱコリ一一・九、ロマ一五・二四、ピリ四・一七、Ⅱテサ三・八 ②使一九・二一、ロマ一・一〇、一三
29 ①使一六・二六、一八・三、ロマ一五・二九、Ⅱコリ一〇・一四、Ⅰテサ二・八
30 ①Ⅱコリ六・六、ガラ五・二二、コロ一・八 ②使二〇・一二、Ⅱコリ一・一一
31 ①Ⅱコリ一・一〇、Ⅱテサ三・二、Ⅱテモ四・一七、②ロマ一五・三一、三二、Ⅱコリ八・四、九・二
32 ①使一八・二一、ロマ一・一〇、一三、②使一八・三
33 ①ロマ一六・二〇、Ⅱコリ一三・一一、ピリ四・九、Ⅰテサ五・二三、ヘブ一三・二〇、Ⅱテサ三・一六
1 ①使一六・一六 *別訳「女執事」「しもべ」 ②Ⅱコリ三・一
2 ①使二九・二三、Ⅱ使九・二五 ②ピリ二・二九
3 ①Ⅱコリ一・一九、二三、ガラ二・一、ロマ一六・七、九、一〇、Ⅱロマ一六・一以下、②使ロマ一八・二以下、使一八・二、六、一八、二六、コロ四・一〇、ピレ二三、②使一八・二、六、一八、二六
5 ①Ⅰコリ一六・一九、コロ四・一五、ピレ二、②使一八・二、六、一八、二六
*すなわち、小アジヤの西海岸の洲
7 ①ロマ一六・二一、Ⅱロマ九・三、②コロ四・一〇、ピレ二三
*別訳「ユニア」(女性)
8 ①Ⅱコリ五・一七、一八、ガラ六・一五、Ⅱロマ六・一一、一三、一九、一三
9 ①Ⅱコリ五・一七、一八、ガラ一・三、ロマ一六・三、七、一〇
10 ①Ⅱコリ五・七、一二、ガラ一・三、ロマ一六・三、七、Ⅱロマ一六・一以下
11 ①ロマ一六・七、一二、Ⅱロマ九・三

12 主にあって労している、ツルパナとツルポサによろしく。主にあって非常に労苦した愛するペルシスによろしく。
13 主にあって選ばれた人ルポスによろしく。また彼と私との母によろしく。
14 アスンクリト、フレゴン、ヘルメス、パトロバ、ヘルマスおよびその人たちといっしょにいる兄弟たちによろしく。
15 フィロロゴとユリヤ、ネレオとその姉妹、オルンパおよびその人たちといっしょにいるすべての聖徒たちによろしく。
16 あなたがたはきよい口づけをもって互いのあいさつをかわしなさい。キリストの教会はみな、あなたがたによろしくと言っています。
17 兄弟たち。私はあなたがたに願います。あなたがたの学んだ教えにそむいて、分裂とつまずきを引き起こす人たちを警戒してください。彼らから遠ざかりなさい。
18 そういう人たちは、私たちの主キリストに仕えないで、自分の欲に仕えているのです。彼らは、なめらかなことば、へつらいのことばをもって純朴な人たちの心をだましているのです。
19 あなたがたの従順はすべての人に知られているので、私はあなたがたのことを喜んでいます。しかし、私は、あなたがたが善にはさとく、悪にはうとくあってほしい、と望んでいます。
20 平和の神は、すみやかに、あなたがたの足でサタンを踏み砕いてくださいます。
どうか、私たちの主イエスの恵みが、あなたがたとともにありますように。
21 私の同労者テモテが、あなたがたによろしくと言っています。また私の同国人ルキオとヤソンとソシパテロがよろしくと言っています。
22 この手紙を筆記した私、テルテオも、主にあってあなたがたにごあいさつ申し上げます。
23 私と全教会との家主であるガイオも、あなたがたによろしくと言っています。市の収入役であるエラストと兄弟クワルトもよろしくと言っています。*
25 26 私の福音とイエス・キリストの宣教によって、すなわち、世々にわたって長い間隠されていたが、今や現わされて、永遠の神の命令に従い、預言者たちの書によって、信仰の従順に導くためにあらゆる国の人に知らされた奥義の啓示によって、あなたがたを堅く立たせることができる方、
27 知恵に富む唯一の神に、イエス・キリストによって、御栄えがとこしえまでありますように。アーメン。

19 ①箴ロマ二・八
20 *別訳「足の下で」
②箴ロマ四・二〇、③Ⅰコリ一六・二三、Ⅱコリ一三・一三、ガラ六・一八、ピリ四・二三、Ⅰテサ五・二八、Ⅱテサ三・六、黙三・二
21 ①箴使六・一、②ロマ一六・七、二ヒロマ九・三、③使一三・一(?)、④使一七・五(?)、⑤使二〇・四(?)
22 ①ピリ一六・二二、ガラ六・一八、②Ⅰコリ一六・二一、Ⅱテサ三・一七
23 ①Ⅰコリ一・一四、ヒ使二〇・四(?)、②箴使一九・二九
*異本「二四節として「私たちの主イエス・キリストの恵みがあなたがたすべてとともにありますように。アーメン」を挿入するものがある
25 26 ①箴ロマ一六・二五、②ヒⅡテモ一・九、テト一・二、③箴ロマ一六・二五、④箴ロマ一・五、⑤Ⅰコリ二・七、四・一、エペ一・九、三・三、九、六・一九、コロ一・二六、二・二、四・三、ヒⅠテモ三・一六、箴ロマ二・二五、ヒマタ二三・二六、⑥ヒエペ三・五、ユダ二四
27 ①箴ロマ一二・二六

13 ①マコ一五・二一(?)
15 ①箴ロマ一六・一五、ヒロマ一六・一四
16 ①Ⅰコリ一六・二〇、Ⅱコリ一三・一二、Ⅰテサ五・二六
17 ①ヒⅠテモ一・三、六・三、②ガラ一・八、九、Ⅱテサ三・六、一四、テト三・一〇、Ⅱヨハ一〇、ヒマタ七・一五
18 ①ヒロマ一四・一八、②ピリ三・一九
*直訳「腹」
③ヒコロ二・四、Ⅱペテ二・三
19 ①ロマ一・八、②Ⅰコリ一四・二〇、箴マタ一〇・一六、ヒエレ四・三

コリント人への手紙　第一

1

1 神のみこころによってキリスト・
イエスの使徒として召されたパウロ
と、兄弟ソステネから、
2 コリントにある神の教会へ。すなわち、私たちの主
イエス・キリストの御名を、至る所で呼び求めている
すべての人々とともに、聖徒として召され、キリスト・
イエスにあってきよめられた方々へ。主は私たちの主
であるとともに、そのすべての人々の主です。
3 私たちの父なる神と主イエス・キリストから、恵み
と平安があなたがたの上にありますように。
4 私は、キリスト・イエスによってあなたがたに与
えられた神の恵みのゆえに、あなたがたのことをいつ
も神に感謝しています。
5 というのは、あなたがたは、ことばといい、知識と
いい、すべてにおいて、キリストにあって豊かな者と
されたからです。
6 それは、キリストについてのあかしが、あなたがた
の中で確かになったからで、
7 その結果、あなたがたはどんな賜物にも欠けるとこ
ろがなく、また、熱心に私たちの主イエス・キリスト
の現われを待っています。
8 主も、あなたがたを、私たちの主イエス・キリスト
の日に責められるところのない者として、最後まで堅
く保ってくださいます。
9 神は真実であり、その方のお召しによって、あなた
がたは神の御子、私たちの主イエス・キリストとの交
わりに入れられました。
10 さて、兄弟たち。私は、私たちの主イエス・キリ
ストの御名によって、あなたがたにお願いします。どう
か、みなが一致して、仲間割れすることなく、同じ
心、同じ判断を完全に保ってください。
11 実はあなたがたのことをクロエの家の者から知らさ
れました。兄弟たち。あなたがたの間には争いがある
そうで、
12 あなたがたはめいめいに、「私はパウロにつく。」「私
はアポロに。」「私はケパに。」「私はキリストにつく。」
と言っているということです。
13 *キリストが分割されたのですか。あなたがたのため
に十字架につけられたのはパウロでしょうか。あなた
がたがバプテスマを受けたのはパウロの名によるので
しょうか。
14 私は、クリスポとガイオのほか、あなたがたのだれ
にもバプテスマを授けたことがないことを感謝してい
ます。
15 それは、あなたがたが私の名によってバプテスマを
受けたと言われないようにするためでした。
16 私はステパナの家族にもバプテスマを授けました
が、そのほかはだれにも授けた覚えはありません。

1 ①ロマ一・五、三、Ⅱコリ一・一
エペ一・一、コロ一・一、Ⅰテモ
一・一、既ロマ一・一、Ⅱコリ
一・一、③既使
二・五、②既ロマ一・一、③既使
一・一、④使八・七(一)
2 ①既使八・一、②既Ⅰコリ一〇・
三二、③既使七・五九、④既ロマ
一・七、八・六
3 ①既ロマ一・七
4 ①既ロマ一・八
5 ①Ⅱコリ八・七、②既Ⅱコリ八・一
6 ①Ⅰテモ二・六、黙一・五
7 ①ロマ八・一九、ピリ三・二〇
既ルカ七・三〇、Ⅱペテ三・一二
8 ①Ⅰコリ一・二、Ⅱコリ一・一四
ピリ一・六、一〇、二・一六、Ⅰテサ五・
二、Ⅱテサ二・二、既ルカ一七・一四
既ルカ一七・七、②ピリ一・六
コロ二・七、Ⅰテサ三・一三、五・二三
既ロマ八・一九
9 ①申七・九、イザ四九・七、Ⅰコリ
一・二、Ⅱコリ一・一八、既Ⅰテサ五・二四、Ⅱテサ二・一四、
②既ロマ八・三〇、③Ⅱヨハ一・三
10 ①既ロマ一・一三、②既ロマ一二・二
③Ⅰコリ一・一〇、④既ロマ一二・
一六、既ピリ一・二七
11 ①ロマ一六・二一、②既Ⅰコリ
一・一一、③既使八・二四、Ⅰコリ
一二・三、④既使八・二四、Ⅰコリ
一三・三、九、五・一五
12 ①Ⅰコリ一・一四、既マタ三・八一
13 * 別訳「キリストが分割さ
れています」
①既マタ二八・一九、使二・三八
14 ①使八・一六、②既ロマ一六・二三
* 異本「神に感謝して」
16 ①Ⅰコリ一六・一五(一七)
17 ①既ヨハ四・二、使一〇・四八
②Ⅰコリ一・一四、既Ⅱコリ一〇・一〇、一二・一三
18 ①Ⅱコリ二・一五、一四・三、Ⅱテサ
二・一〇、既使二・四七、②Ⅰコリ
一・二三、二・一四、既Ⅰコリ
四・一〇、③Ⅰコリ一・二四、ロマ
一・一六
19 ①イザ二九・一四

17 キリストが私をお遣わしになったのは、バプテスマを授けさせるためではなく、福音を宣べ伝えさせるためです。それも、キリストの十字架がむなしくならないために、ことばの知恵によってはならないのです。
18 十字架のことばは、滅びに至る人々には愚かであっても、救いを受ける私たちには、神の力です。
19 それは、こう書いてあるからです。
「わたしは知恵ある者の知恵を滅ぼし、
賢い者の賢さをむなしくする。」
20 知者はどこにいるのですか。学者はどこにいるのですか。この世の議論家はどこにいるのですか。神は、この世の知恵を愚かなものにされたではありませんか。
21 事実、この世が自分の知恵によって神を知ることがないのは、神の知恵によるのです。それゆえ、神はみこころによって、宣教のことばの愚かさを通して、信じる者を救おうと定められたのです。
22 ユダヤ人はしるしを要求し、ギリシヤ人は知恵を追い求めます。
23 しかし、私たちは十字架につけられたキリストを宣べ伝えるのです。ユダヤ人にとってはつまずき、異邦人にとっては愚かでしょうが、
24 しかし、ユダヤ人であってもギリシヤ人であっても、召された者にとっては、キリストは神の力、神の知恵なのです。
25 なぜなら、神の愚かさは人よりも賢く、神の弱さは人よりも強いからです。
26 兄弟たち、あなたがたの召しのことを考えてごらんなさい。この世の知者は多くはなく、権力者も多くはなく、身分の高い者も多くはありません。
27 しかし神は、知恵ある者をはずかしめるために、この世の愚かな者を選び、強い者をはずかしめるために、この世の弱い者を選ばれたのです。
28 また、この世の取るに足りない者や見下されている者を、神は選ばれました。すなわち、有るものをない者のようにするため、無に等しいものを選ばれたのです。
29 これは、神の御前でだれをも誇らせないためです。
30 しかしあなたがたは、*神によってキリスト・イエスのうちにあるのです。キリストは、私たちにとって、神の知恵となり、また、義ときよめと、贖いとになられました。
31 まさしく、「誇る者は主にあって誇れ。」と書かれているとおりになるためです。

2

1 さて兄弟たち。私があなたがたのところへ行ったとき、私は、すぐれたことば、すぐれた知恵を用いて、神のあかしを宣べ伝えることはしませんでした。
2 なぜなら私は、あなたがたの間で、イエス・キリスト、すなわち十字架につけられた方のほかは、何も知らないことに決心したからです。
3 あなたがたといっしょにいたときの私は、弱く、恐

20 ①旧ヨブ五・一二、イザ四四・二五、②旧マタ一一・二五、Ⅰコリ一・二〇、③Ⅰコリ三・一八
21 ①Ⅰコリ一・二一、②旧ヨハ一七・三、ヤコ一・五、他、④ロマ一・二〇以下
22 ①Ⅰコリ一・二二、②旧ヨハ六・三〇、ヤコ一・五、他、③ガラ一・一二、ルカ二三・八、④Ⅰコリ一・二三、旧Ⅰコリ一・二三、⑤Ⅰテモ一・六、Ⅱテモ一・八、Ⅱテモ四・三、ヘブ七・二五
23 ①旧マタ一三・五七、ヤコ二・一、②旧ルカ二四・二五、ガラ三・一、③旧Ⅰコリ一・一八、Ⅰペテ二・八、④旧Ⅰコリ一・二三、五・一一
24 ①旧マタ一六・一六、②Ⅰコリ一・一八、ロマ一・一六、③旧ルカ二一・一五、Ⅰコリ一・一八、二・一四
25 ①Ⅰコリ一・一八、二・一四、旧Ⅰコリ一四・二一、②旧Ⅱコリ一三・四
26 ①旧ロマ一二・六、②Ⅰコリ一八・一三、旧マタ二一・五
27 ①ヤコ二・五、②旧Ⅰコリ一・二〇
28 ①旧Ⅰコリ一・二八、②Ⅰコリ一六・一五、ヘブ二・一四、③ロマ一二・七
29 ①エペ二・九
30 *別訳「キリスト・イエスによって、神の(子)です」 ①Ⅰコリ四・一五、旧ロマ八・一、②Ⅰコリ一・二四、③Ⅱコリ五・二一、ピリ三・九、旧エレ二三・六、三三・一六、④旧Ⅰコリ一・二、六・一一、Ⅰテサ五・二三、⑤エペ一・七、コロ一・一四、旧ロマ三・二四
31 ①エレ九・二三、Ⅱコリ一〇・一七
1 ①Ⅰコリ二・一、旧Ⅰコリ一二・一、②旧Ⅰコリ一七・一、*異本「奥義」
2 ①ガラ六・一四、旧Ⅰコリ一・二三
3 ①旧使六・一、二四、②Ⅰコリ四・一〇、一二・二、③イザ三五・三、エペ六・一九、旧Ⅱコリセ・一六

れおののいていました。
4そして、私のことばと私の宣教とは、[1]説得力のある
知恵のことばによって行なわれたものではなく、[2]御霊
と御力の現われでした。
5それは、あなたがたの持つ信仰が、人間の知恵にさ
さえられず、[1]神の力にささえられるためでした。
6しかし私たちは、[1]成人の間で、知恵を語ります。
この知恵は、[2]この世の知恵でもなく、この世の過ぎ去
って行く支配者たちの知恵でもありません。
7私たちの語るのは、隠された奥義としての神の知恵
であって、それは、神が、私たちの栄光のために、[2]世
界の始まる前から、あらかじめ定められたものです。
8この知恵を、[1]この世の支配者たちは、だれひとり
として悟りませんでした。もし悟っていたら、[3]栄光の主
を十字架につけはしなかったでしょう。
9まさしく、聖書に書いてあるとおりです。
「[1]目が見たことのないもの、
耳が聞いたことのないもの、
そして、人の心に思い浮かんだことのないもの。
神を愛する者のために、
神の備えてくださったものは、みなそうである。」
10神はこれを、[1]御霊によって私たちに[2]啓示されたので
す。御霊はすべてのことを探り、[3]神の深みにまで及ば
れるからです。
11いったい、人の心のことは、その人のうちにある[1]霊
のほかに、だれが知っているでしょう。同じように、
神のみこころのことは、神の御霊のほかにはだれも知
りません。
12ところで、私たちは、[1]この世の霊を受けたのではな
く、[2]神の御霊を受けました。それは、恵みによって神
から私たちに賜わったものを、私たちが知るためで
す。
13この賜物について話すには、[1]人の知恵に教えられた
ことばを用いず、御霊に教えられたことばを用いま
す。御霊のことは御霊をもって解くのです。
14[1]生まれながらの人間は、[2]神の御霊に属することを受
け入れません。それらは彼には[3]愚かなことだからです。
また、それを悟ることができません。なぜなら、御霊
のことは御霊によってわきまえるものだからです。
15[1]御霊を受けている人は、すべてのことをわきまえま
すが、自分はだれによってもわきまえられません。
16[1]いったい、「だれが主のみこころを知り、主を導くこ
とができたか。」ところが、私たちには、キリストの心
があるのです。

3

1さて、兄弟たちよ。私は、あなた
がたに向かって、[1]御霊に属する人に
対するようには話すことができないで、肉に属する人、
キリストにある[2]幼子に対するように話しました。
2私はあなたがたには乳を与えて、[1]堅い食物を与えま
せんでした。あなたがたには、まだ無理だったからで
す。実は、今でもまだ無理なのです。
3あなたがたは、まだ肉に属しているからです。あな

4 ①I コリ二・一, 三, ②I コリ一・一七, ②創ロマ三五・九, 同I コリ四・三
5 ①II コリ四・七, 六・七, 同II コリ三・五
6 ①エペ四・一三, ピリ三・一五, ヘブ五・一四, 六・一, ②I コリ一・二〇, 創マタ三・三, ③I コリ一・六
7 ①I コリ二・一, 創ロマ一二・三, 六・三, 六, ②同ヘブ一・二, 一一・三, ③創ロマ八・二九, 三〇
8 ①I コリ一・二〇, 創マタ三・三, 三, ②I コリ二・六, 創I コリ一・二六, ③同使七・二, ヤコ二・一
9 ①イザ六四・四, 六五・一七
10 ①創ヨハ一四・二六, ②マタ一一・二五, 一三・一一, 一六・一七, ガラ一・一二, エペ三・三, 五, ③同ロマ一一・三三以下
11 ①箴二〇・二七
12 ①創I コリ一・二七, ②同ロマ八・一五
13 ①創I コリ一・一七, 二・一, 四
14 ①同I コリ二五・四四, 四六, ヤコ三・一五, 二四, ②ヨハ一四・一七, ③創I コリ一・一八
15 ①I コリ二・一, 一四・一七, ガラ六・一
16 ①イザ四〇・一三, 創ロマ一一・三四, ②同ヨハ一六・一三
1 ①I コリ二・一五, 一四・一七, ガラ六・一, ②ロマセ・一四, 同I コリ三・一四, ③ヘブ五・一四, 同I コリ一・六, エペ四・一四
2 ①ヘブ五・一二, 一三, 同I ペテ二・二, ②ヨハ一六・一三

たがたの間にねたみや争いがあることからすれば、あなたがたは肉に属しているのではありませんか。そして、ただの人のように歩んでいるのではありませんか。
4 ある人が、「私はパウロにつく。」と言えば、別の人は、「私はアポロに。」と言う。そういうことでは、あなたがたは、ただの人たちではありませんか。
5 アポロとは何でしょう。パウロとは何でしょう。あなたがたが信仰にはいるために用いられたしもべであって、主がおのおのに授けられたとおりのことをしたのです。
6 私が植えて、アポロが水を注ぎました。しかし、成長させたのは神です。
7 それで、たいせつなのは、植える者でも水を注ぐ者でもありません。成長させてくださる神なのです。
8 植える者と水を注ぐ者は、一つですが、それぞれ自分自身の働きに従って自分自身の報酬を受けるのです。
9 私たちは神の協力者であり、あなたがたは神の畑、神の建物です。
10 与えられた神の恵みによって、私は賢い建築家のように、土台を据えました。そして、ほかの人がその上に家を建てています。しかし、どのように建てるかについてはそれぞれが注意しなければなりません。
11 というのは、だれも、すでに据えられている土台のほかに、ほかの物を据えることはできないからです。その土台とはイエス・キリストです。
12 もし、だれかがこの土台の上に、金、銀、宝石、木、草、わらなどで建てるなら、
13 各人の働きは明瞭になります。その日がそれを明らかにするのです。というのは、その日は火とともに現われ、この火がその力で各人の働きの真価をためすからです。
14 もしだれかの建てた建物が残れば、その人は報いを受けます。
15 もしだれかの建てた建物が焼ければ、その人は損害を受けますが、自分自身は、火の中をくぐるようにして助かります。
16 あなたがたは神殿であり、神の御霊があなたがたに宿っておられることを知らないのですか。
17 もし、だれかが神殿をこわすなら、神がその人を滅ぼされます。神殿は聖なるものだからです。あなたがたがその神殿です。
18 だれも自分を欺いてはいけません。もしあなたがたの中で、自分は今の世の知者だと思う者がいたら、知者になるためには愚かになりなさい。
19 なぜなら、この世の知恵は、神の御前では愚かだからです。こう書いてあります。「神は、知者どもを彼らの悪賢さの中で捕える。」
20 また、次のようにも書いてあります。「主は、知者の論議を無益だと知っておられる。」
21 ですから、だれも人間を誇ってはいけません。すべては、あなたがたのものです。

3 ①ロマ一三・一三、旧Ⅰコリ一・一〇、二一・二六、②旧Ⅰコリ三・四
4 ①Ⅰコリ一・一二、②旧Ⅰコリ三・三
5 ①Ⅱコリ六・四、エペ三・七、コロ一・二五、旧ロマ一五・一六、Ⅱコリ三・六、一一・八、Ⅰテモ一・一二、②ロマ一三・九、旧Ⅰコリ三・一〇
6 ①使八・四―一二・八、Ⅰコリ四・一五、九・一二、Ⅱコリ一〇・一〇、一三、②使八・七、旧Ⅰコリ一・一三、③旧Ⅰコリ一五・一〇
8 ①Ⅰコリ四・四、五、九・一七、旧ガラ六・四、＊あるいは「賃金」
9 ①マコ六・三、Ⅱコリ六・一、②旧イザ六一・一、マタ一六・一三、③エペ二・二〇、コロ二・七、Ⅰペテ二・五、旧Ⅰコリ三・一六、Ⅱコリ六・一六
10 ①旧ロマ一二・三、Ⅰコリ一五・一〇、②旧ロマ一五・二〇、旧Ⅰコリ三・二、一二、三、③旧Ⅰテサ二・一一
11 ①旧イザ二八・一六、Ⅰペテ二・四、以下、エペ二・二〇
13 ①Ⅰコリ四・五、②Ⅱテサ一・七―一〇、Ⅱテモ一・一二、一八、四・八、旧Ⅰコリ一・八、マタ一〇・三五
14 ①Ⅰコリ三・八、四・五、九・一七、旧ガラ六・四
15 ①旧ヨブ二・一〇、詩六六・一〇、一二、ユダ三
16 ①Ⅰコリ六・一九、Ⅱコリ六・一六、エペ二・二一、三、旧ロマ八・九、②旧ロマ八・九
18 ①旧イザ五・二一、②旧Ⅰコリ一・二〇、③Ⅰコリ八・二、ガラ六・三、旧Ⅰコリ一・二〇、②ヨブ五・一三
19 ①旧詩九四・一一
21 ①旧Ⅰコリ四・六、②ロマ八・三二

22 パウロであれ、アポロであれ、また世界であれ、死であれ、いのちであれ、また現在のものであれ、未来のものであれ、すべてあなたがたのものです。
23 そして、あなたがたはキリストのものであり、キリストは神のものです。

4 1 こういうわけで、私たちを、キリストのしもべ、また神の奥義の管理者だと考えなさい。
2 このばあい、管理者には、忠実であることが要求されます。
3 しかし、私にとっては、あなたがたによる判定、あるいは、およそ人間による*判決を受けることは、非常に小さなことです。事実、私は自分で自分をさばくことさえしません。
4 私にはやましいことは少しもありませんが、だからといって、それで無罪とされるのではありません。私をさばく方は主です。
5 ですから、あなたがたは、主が来られるまでは、何についても、先走ったさばきをしてはいけません。主は、やみの中に隠れた事も明るみに出し、心の中のはかりごとも明らかにされます。そのとき、神から各人に対する称賛が届くのです。
6 さて、兄弟たち。以上、私は、私自身とアポロに当てはめて、あなたがたのために言って来ました。それは、あなたがたが私たちの例によって、「書かれていることを越えない。」ことを学ぶため、そして、一方にくみし、他方に反対して高慢にならないためです。
7 いったいだれが、あなたをすぐれた者と認めるのですか。あなたには、人からもらったものでないものが何かあるのですか。もし人からもらったのなら、なぜ、もらっていないかのように誇るのですか。
8 あなたがたは、もう満ち足りています。もう豊かになっています。私たち抜きで、王さまになっています。いっそのこと、あなたがたがほんとうに王さまになっていたらよかったのです。そうすれば、私たちも、あなたがたといっしょに王になれたでしょうに。
9 私は、こう思います。神は私たち使徒を、死罪に決まった者のように、行列のしんがりとして引き出されました。こうして私たちは、御使いにも人々にも、この世の見せ物になったのです。
10 私たちはキリストのために愚かな者ですが、あなたがたはキリストにあって賢い者です。私たちは弱いが、あなたがたは強いのです。あなたがたは栄誉を持っているが、私たちは卑しめられています。
11 今に至るまで、私たちは飢え、渇き、着る物もなく、虐待され、落ち着く先もありません。
12 また、私たちは苦労して自分の手で働いています。はずかしめられるときにも祝福し、迫害されるときにも耐え忍び、
13 のののしられるときには、*慰めのことばをかけます。今でも、私たちはこの世のちり、あらゆるもののかす

1) 22 ①Ⅰコリ一・二、Ⅰ使コリ一・一
2) 22 ①ロマ八・三八
1) 23 ①Ⅰコリ三・二三、Ⅱコリ一〇・七、ガラ三・二九、二・二六
1) 1 ①Ⅰコリ二・一、②Ⅰ使コリ二・三、三・六
2) 1 ①ルカ一・二、②Ⅰ使ロマ一・一、三・六、三・三、③Ⅰコリ九・一七、テト一・七、Ⅰペテ四・一〇
3) * 直訳「人の日による」
1) 4 ①Ⅱコリ一・一二、Ⅰ使三・一
2) 4 詩一四三・二、ロマ三・二〇
1) 5 ①Ⅰ使ロマ二・一六、Ⅰ使ヨハ二・三、②マタ七・一、ロマ二・一
3) 5 ①Ⅰコリ三・一三、④Ⅱコリ一〇・一八、Ⅰ使ロマ二・二九
1) 6 ①Ⅰ使Ⅰコリ一・一九、三・一三、二九、三、②Ⅰ使Ⅰコリ一・三一、四・六
3) 6 ①Ⅰコリ四・一八、Ⅰコリ八・一、一三、他
7) ヨハ三・二七、ロマ三・二七、Ⅰペテ四・一〇
8) ①Ⅰ使黙示一・六、一八
9) ①Ⅰコリ一五・三一、Ⅱコリ一一・二三、一七
10) ①Ⅰ使Ⅰコリ一・一八、Ⅰ使使七・一八、二六、二四、②Ⅱコリ一一・二九、Ⅰ使Ⅰコリ一・九、二三、三・一八、③Ⅱコリ三・九、Ⅰ使Ⅰコリ三・三二、三七
11) ①Ⅰ使ロマ八・三五、Ⅱコリ一一・二七
12) ①Ⅰ使使六・三、②Ⅰペテ三・九、③Ⅰ使ヨハ一八・三〇、ロマ八・三五
13) * あるいは「優しく答えます」
13) ①哀三・四五

です。
14 私がこう書くのは、あなたがたをはずかしめるためではなく、愛する私の子どもとして、さとすためです。
15 たといあなたがたに、キリストにある養育係が一万人あろうとも、父は多くあるはずがありません。この私が福音によって、キリスト・イエスにあって、あなたがたを生んだのです。
16 ですから、私はあなたがたに勧めます。どうか、私にならう者となってください。
17 そのために、私はあなたがたのところへテモテを送りました。テモテは主にあって私の愛する、忠実な子です。彼は、私が至る所のすべての教会で教えているとおりに、キリスト・イエスにある私の生き方を、あなたがたに思い起こさせてくれるでしょう。
18 私があなたがたのところへ行くことはあるまいと、思い上がっている人たちがいます。
19 しかし、主のみこころであれば、すぐにもあなたがたのところへ行きます。そして、思い上がっている人たちの、ことばではなく、力を見せてもらいましょう。
20 神の国はことばにはなく、力にあるのです。
21 あなたがたはどちらを望むのですか。私はあなたがたのところへむちを持って行きましょうか。それとも、愛と優しい心で行きましょうか。

5

1 あなたがたの間に不品行があるということが言われています。しかもそれは、異邦人の中にもないほどの不品行で、父の妻を妻にしている者がいるとのことです。
2 それなのに、あなたがたは誇り高ぶっています。*** そればかりか、そのような行ないをしている者をあなたがたの中から取り除こうとして悲しむことともなかったのです。
3 私のほうでは、からだはそこにいなくても心はそこにおり、現にそこにいるのと同じように、そのような行ないをした者を主イエスの御名によってすでにさばきました。
4 あなたがたが集まったときに、私も、霊においてともにおり、私たちの主イエスの権能をもって、
5 このような者をサタンに引き渡したのです。それは彼の肉が滅ぼされるためですが、それによって彼の霊が主の日に救われるためです。
6 あなたがたの高慢は、よくないことです。あなたがたは、ほんのわずかのパン種が、粉のかたまり全体をふくらませることを知らないのですか。
7 新しい粉のかたまりのままでいるために、古いパン種を取り除きなさい。あなたがたはパン種のないものだからです。私たちの過越の小羊キリストが、すでにほふられたからです。
8 ですから、私たちは、古いパン種を用いたり、悪意と不正のパン種を用いたりしないで、パン種のはいらない、純粋で真実なパンで、祭りをしようではありませんか。

---

1 ①ガラ二・六、二ペテ三・一五　②Ⅱコリ七・一二、Ⅰテサ四・六　③Ⅰコリ三・一四、Ⅱヨハ八　④Ⅰヨハ二・一
2 ①Ⅰコリ四・六、一八、一九、Ⅱコリ一二・二〇、ヤコ四・一六　②Ⅰコリ一五・三四　③Ⅰコリ七・三一、Ⅱコリ一二・二一　④Ⅰコリ一三・六、Ⅱコリ一三・五、ガラ六・一三、Ⅰヨハ一・八、黙三・一七
3 ①Ⅰコリ一一・一八、Ⅱテサ二・一七　②Ⅰコリ一六・一〇、Ⅱコリ一〇・一、一一、一三・二、一〇、Ⅰペテ五・一二　③Ⅰコリ一四・二五　④Ⅰコリ七・一二、Ⅱコリ一一・三
4 ①Ⅰコリ一・二、一〇、Ⅱテサ三・六、一二、Ⅰテモ六・三、Ⅱテモ四・一　②Ⅰコリ一六・一八、Ⅱコリ二・一三、七・一五、Ⅰテサ五・一二、Ⅰテモ五・一七　③Ⅰコリ一・二、Ⅱテサ一・八、Ⅱテモ一・一八、四・一四　④Ⅰコリ一・二、Ⅱテサ一・一二、Ⅱテモ二・一九、ヤコ二・七、Ⅰペテ四・一四
5 ①Ⅰコリ一一・三二、Ⅰテモ一・二〇　②Ⅰコリ七・五、一六、一九、Ⅰペテ三・一
6 ①ヤコ四・一六、Ⅰヨハ二・一六　②ガラ五・九、Ⅰコリ五・六、マタ一三・三三、ルカ一三・二一
7 ①出一二・一五、一九、一三・六、Ⅰペテ一・一九　②Ⅰコリ一〇・四、ヨハ一・二九、黙五・六、一二、一三
8 ①出一二・一四、一七、申一六・三

---

9 ①Ⅰコリ五・一一、Ⅱテサ三・六、一四、Ⅰテモ六・五、Ⅱヨハ一〇　②Ⅰコリ一六・八、使一八・二一、二〇・一六
10 ①Ⅰコリ一〇・二七、Ⅱコリ一・一二、ヘブ一三・四　②Ⅰコリ一〇・二七、Ⅱコリ一・一二、ヘブ一三・四　③Ⅰコリ一〇・二七、Ⅱコリ一・一二、ヘブ一三・四
11 ①Ⅰコリ五・九、一〇、一一、Ⅱテサ三・六、一四、Ⅰテモ六・五、Ⅱヨハ一〇　②Ⅰコリ五・一一、Ⅱテサ三・六、一四、Ⅰテモ六・五、Ⅱヨハ一〇　③Ⅰコリ五・一一、Ⅱテサ三・六、一四、Ⅰテモ六・五、Ⅱヨハ一〇
12 ①Ⅰコリ五・一三、申一七・七、一九・一九、二一・二一、二四・七　②Ⅰコリ五・一三、申一七・七、一九・一九、二一・二一、二四・七　③Ⅰコリ五・一三、申一七・七、一九・一九、二一・二一、二四・七
13 ①Ⅰコリ五・一三、申一七・七、一九・一九、二一・二一、二四・七　②Ⅰコリ五・一三、申一七・七、一九・一九、二一・二一、二四・七　③Ⅰコリ五・一三、申一七・七、一九・一九、二一・二一、二四・七

---

14 ①Ⅰコリ六・五、一五・三四　②Ⅱコリ七・二、Ⅰテサ二・一一、Ⅱコリ三・一四、Ⅱヨハ一・一、Ⅲヨハ四
15 ①ガラ三・二四、二六、四・一九、二一、Ⅱコリ一一・四、②Ⅰコリ九・二、一四、一八、二三、一五・一　③Ⅰコリ一・二三、④ピレ一〇、Ⅱガラ四・一九、Ⅰコリ三・八、民二一・三
16 ①Ⅰコリ二一・六、Ⅱテサ三・七、Ⅱテモ三・九、Ⅱペテ一・七
17 ①Ⅰコリ一六・一、②Ⅰコリ一六・一〇、③Ⅰテモ一・三、一八、Ⅱテモ一・三、Ⅱコリ七・一四、④Ⅰコリ七・一七、Ⅱコリ一一・二三、Ⅱコリ一二・一二、Ⅱテサ三・七、Ⅱテモ二・一〇
18 ①Ⅰコリ一四・三、②Ⅰコリ一四・五
19 ①Ⅰコリ六・二、一〇、②Ⅰコリ一一・二四、一六、一八、Ⅱコリ一六・八、Ⅱコリ一・一二、一六、使二九・二、三・二、③Ⅰコリ一四・六
20 ①Ⅰコリ一二・三、②Ⅰコリ一二・三、一〇、③Ⅰコリ一四・六
21 ①Ⅱコリ一二・二一、一三・二、一〇、②Ⅰレビ一八・八、申三三・三、一七・一〇
1 ①Ⅰコリ一四・六

---

2 *別訳「……いるのですか」　**別訳「むしろ悲しんで……除こうとするはずではありませんか」　②Ⅱコリ五・二、一〇、Ⅱテサ二・一七
3 ①コロ二・五、Ⅱテサ二・一七　②Ⅱテサ二・六　*別訳「主イエスの御名によって」を四節冒頭に置く
4 ①Ⅱヨハ一〇　②Ⅱコリ一三・一〇、Ⅰテモ一・二〇
5 ①Ⅰコリ一一・三二、Ⅰテモ一・二〇　②Ⅱテサ二・八、Ⅰテモ一・二〇、箴言二・一四　③Ⅰコリ一八　*異本「イエス」を挿入
6 ①ヤコ四・一六、Ⅱコリ一一・一二　②ガラ五・九、Ⅰコリ五・六、マタ一三・三三、ホセ七・四、③Ⅰコリ一六・一八
7 ①Ⅰコリ一〇・一二、Ⅰペテ一・一九　②Ⅰコリ一〇・四、ヨハ一・二九、黙五・六、一二、一三
8 ①出一二・一五、一九、一三・六、Ⅰペテ一・一九　②Ⅰコリ一〇・四、ヨハ一・二九、黙五・六、一二、一三

9 私は前にあなたがたに送った手紙で、[1]不品行な者
たちと交際しないようにと書きました。
10 それは、世の中の不品行な者、貪欲な者、略奪する
者、[1]偶像を礼拝する者と全然交際しないようにという
意味ではありません。もしそうだとしたら、この世界
から出て行かなければならないでしょう。
11 *私が書いたことのほんとうの意味は、もし、[1]兄弟と
呼ばれる者で、しかも不品行な者、貪欲な者、[2]偶像を
礼拝する者、人をそしる者、酒に酔う者、略奪する者
がいたなら、そのような者とはつきあってはいけな
い、いっしょに食事をしてもいけない、ということで
す。
12 [1]外部の人たちをさばくことは、私のすべきことでし
ようか。[2]あなたがたがさばくべき者は、内部の人たち
ではありませんか。
13 外部の人たちは、神がおさばきになります。[1]その悪
い人をあなたがたの中から除きなさい。

6

1 あなたがたの中には、仲間の者と
争いを起こしたとき、それを聖徒た
ちに訴えないで、あえて、正しくない人たちに訴え出
るような人がいるのでしょうか。
2 あなたがたは、[1]聖徒が世界をさばくようになること
を[2]知らないのですか。世界があなたがたによってさば
かれるはずなのに、あなたがたは、ごく小さな事件さ
えもさばく力がないのですか。
3 私たちは御使いをもさばくべき者だ、ということを、
[1]知らないのですか。それならこの世のことは、言うま
でもないではありませんか。
4 それなのに、この世のことで争いが起こると、教会
のうちでは無視される人たちを裁判官に選ぶのです
か。[1]
5 私はあなたがたをはずかしめるためにこう言ってい
るのです。いったい、あなたがたの中には、[1]兄弟の間
の争いを仲裁することのできるような賢い者が、ひと
りもいないのですか。
6 それで、兄弟は兄弟を告訴し、しかもそれを[1]不信者
の前でするのですか。
7 そもそも、互いに訴え合うことが、すでにあなたが
たの敗北です。[1]なぜ、むしろ不正をも甘んじて受けな
いのですか。なぜ、むしろだまされていないのですか。
8 ところが、それどころか、あなたがたは、不正を行
なう、だまし取る、しかもそのようなことを兄弟に対
してしているのです。
9 あなたがたは、正しくない者は神の国を相続できな
いことを、[2]知らないのですか。[3]だまされてはいけませ
ん。[4]不品行な者、偶像を礼拝する者、姦淫をする者、
男娼となる者、男色をする者、
10 貪欲な者、酒に酔う者、そしる者、略奪する者はみ
な、[1]神の国を相続することができません。
11 あなたがたの中のある人たちは以前はそのような者
でした。しかし、主イエス・キリストの御名と私たち
の神の御霊によって、[2]あなたがたは洗われ、[3]きよい者

9 ①[1]Ⅱコリ六・一四、エペ五・一一
10 ①[1]Ⅰコリ一〇・七
11 * 別訳「しかし、私はいま書きます。兄弟と呼ばれる者で……、いっしょに食事をしてもいけないのです」
①Ⅱテサ三・六、[1]Ⅱ使二・三五
②Ⅰコリ一〇・七、一四、三〇・三一
12 ①[1]箴マコ四・一一、②[1]Ⅰコリ五・一二、一三
13 ①[1]Ⅰコリ五・二、申一三・五、一七・七、一二・一、二一・九、他
1 ①[1]箴マタ一八・一七
2 ①[1]箴マタ一九・二八、[1]ダニ七・二二、三・二七、②[1]Ⅰコリ一・二〇
③[1]箴ロマ八・二六
3 ①[1]箴ロマ八・二六
4 ①[1]Ⅰコリ一六・二四、[1]Ⅱコリ一一・二三、[2]箴使二・二五
[1]Ⅰコリ六・二、使八・三
6 ①Ⅱコリ六・一四、一五、Ⅰテモ五・八
7 ①[1]箴マタ五・三九、四〇
8 ①Ⅰテサ四・六
9 ①Ⅰコリ一六・九、ガラ五・二一、エペ五・五、[1]使三・三
②[1]箴ロマ一・二四、③Ⅰコリ一六・一三、ガラ六・七、ヤコ一・一六
[1]ルカ二・八、Ⅰヨハ三・七
④ロマ一三・一三、Ⅰコリ五・一一、ガラ五・一九―二一、エペ五・五、Ⅰテモ一・一〇、黙二一・八、二二・一五
10 ①Ⅰコリ一六・九、ガラ五・二一、エペ五・五、[1]使三・三
11 ①Ⅰコリ一二・一三、エペ二・一一、コロ三・一二、テト三・七
②[1]箴使三・一六、[1]Ⅰペ一・一八
③Ⅰコリ一・二、三〇

とされ、義と認められたのです。
12 すべてのことが私には許されたことです。しかし、すべてが益になるわけではありません。私にはすべてのことが許されています。しかし、私はどんなことにも支配されはしません。
13 食物は腹のためにあり、腹は食物のためにあります。ところが神は、そのどちらをも滅ぼされます。からだは不品行のためにあるのではなく、主のためであり、主はからだのためです。
14 神は主をよみがえらせましたが、その御力によって私たちをもよみがえらせてくださいます。
15 あなたがたのからだはキリストのからだの一部であることを、知らないのですか。キリストのからだを取って遊女のからだとするのですか。そんなことは絶対に許されません。
16 遊女と交われば、一つからだになることを知らないのですか。「ふたりの者は一心同体となる。」と言われているからです。
17 しかし、主と交われば、一つ霊となるのです。
18 不品行を避けなさい。人が犯す罪はすべて、からだの外のものです。しかし、不品行を行なう者は、自分のからだに対して罪を犯すのです。
19 あなたがたのからだは、あなたがたのうちに住まれる、神から受けた聖霊の宮であり、あなたがたは、もはや自分自身のものではないことを、知らないのですか。
20 あなたがたは、代価を払って買い取られたのです。ですから自分のからだをもって、神の栄光を現わしなさい。

7

1 さて、あなたがたの手紙に書いてあったことについてですが、男が女に触れないのは良いことです。
2 しかし、不品行を避けるため、男はそれぞれ自分の妻を持ち、女もそれぞれ自分の夫を持ちなさい。
3 夫は自分の妻に対して義務を果たし、同様に妻も自分の夫に対して義務を果たしなさい。
4 妻は自分のからだに関する権利を持ってはおらず、それは夫のものです。同様に夫も自分のからだについての権利を持ってはおらず、それは妻のものです。
5 互いの権利を奪い取ってはいけません。ただし、祈りに専心するために、合意の上でしばらく離れていて、また再びいっしょになるというのならかまいません。あなたがたが自制力を欠くとき、サタンの誘惑にかからないためです。
6 以上、私の言うところは、容認であって、命令ではありません。
7 私の願うところは、すべての人が私のようであることです。しかし、ひとりひとり神から与えられたそれぞれの賜物を持っているので、人それぞれに行き方があります。
8 次に、結婚していない男とやもめの女に言いますが、私のようにしていられるなら、それがよいのです。
9 しかし、もし自制することができなければ、結婚しなさい。

---

1 ①Iコリ七・八、三六
3 *あるいは「その当然受けるべきものを与え」
5 ①旧出一九・一五、Iサム二一・五 ②参マタ四・一〇
6 ①Iコリ八・八
7 *異本「それは、私の願うところが……であることだからです」 ①Iコリ七・八、旧Iコリ九・五
8 ①Iコリ三・四、一二、参ロマ三・六、旧マタ九・一、三 ②Iコリ七・一、三六
9 ①旧Iテモ五・一四

11 ④ロマ六・三四
12 ①Iコリ一〇・三三
13 ①旧マタ五・一七、②旧コロ二・三、③Iコリ六・一三、一九、④旧ガラ五・一四、エペ五・三三
14 ①参使二・二四、②Iコリ一五・三三
15 ①Iコリ六・一五、旧ロマ一二・五、Iコリ三・一七、エペ五・三〇、②参Iコリ六・一六、③参ルカ二〇・三六
16 ①参Iコリ六・一六、②創二・二四、マタ九・五、マコ一〇・八、エペ五・三一
17 ①ヨハ七・二三、ロマ八・九、一三、ガラ二・一〇、旧Iコリ六・一五
18 ①Iコリ三・一七、エペ五・三、コロ三・五、ヘブ一三・四
19 ①参Iコリ六・九、②参Iコリ三・一六、③参Iコリ六・一三、使二〇・二八
20 ①Iコリ七・二三、IIペテ二・一八、一九、IIペテ二・一、黙五・九、②参ロマ三・二、旧ピリ一・二〇

なさい。情の燃えるよりは、結婚するほうがよいからです。

10 次に、すでに結婚した人々に命じます。命じるのは、私ではなく主です。妻は夫と別れてはいけません。

11 ——もし別れたのだったら、結婚せずにいるか、それとも夫と和解するか、どちらかにしなさい。——また夫は妻を離別してはいけません。

12 次に、そのほかの人々に言いますが、これを言うのは主ではなく、私です。信者の男子に信者でない妻があり、その妻がいっしょにいることを承知しているばあいは、離婚してはいけません。

13 また、信者でない夫を持つ女は、夫がいっしょにいることを承知しているばあいは、離婚してはいけません。

14 なぜなら、信者でない夫は妻によってきよめられており、また、信者でない妻も信者の夫によってきよめられているからです。そうでなかったら、あなたがたの子どもは汚れているわけです。ところが、現にきよいのです。

15 しかし、もし信者でないほうの者が離れて行くのであれば、離れて行かせなさい。そのようなばあいには、信者である夫あるいは妻は、縛られることはありません。神は、平和を得させようとしてあなたがたを召されたのです。

16 なぜなら、妻よ。あなたが夫を救えるかどうかが、どうしてわかりますか。また、夫よ。あなたが妻を救えるかどうかが、どうしてわかりますか。

17 ただ、おのおのが、主からいただいた分に応じ、また神がおのおのをお召しになったときのままの状態で歩むべきです。私は、すべての教会で、このように指導しています。

18 召されたとき割礼を受けていたのなら、その跡をなくしてはいけません。また、召されたとき割礼を受けていなかったのなら、割礼を受けてはいけません。

19 割礼は取るに足らぬこと、無割礼も取るに足らぬことです。重要なのは神の命令を守ることです。

20 おのおの自分が召されたときの状態にとどまっていなさい。

21 奴隷の状態で召されたのなら、それを気にしてはいけません。しかし、もし自由の身になれるなら、むしろ自由になりなさい。

22 奴隷も、主にあって召された者は、主に属する自由人であり、同じように、自由人も、召された者はキリストに属する奴隷だからです。

23 あなたがたは、代価をもって買われたのです。人間の奴隷となってはいけません。

24 兄弟たち。おのおの召されたときのままの状態で、神の御前にいなさい。

25 処女のことについて、私は主の命令を受けてはいませんが、主のあわれみによって信頼できる者として、意見を述べます。

26 現在の危急のときには、男はそのままの状態にとど

---

9 *「情の」は補足

10 ①参 I コリ七・六、同マタ五・三二、一九・三九、マコ一〇・一二、ルカ一六・一八

11 ①参 I コリ七・六、同 II コリ一二・一七

12 ①参 I コリ七・六、同ロマ一六・五、I テサ一・一、同 II テサ一・三、I テモ一・二、同ピレ一六

13 ①参ヨハ三・三六、同ピレ一六

14 ①エズ九・二、マラ二・一五

15 ①同ロマ一四・一九
* 異本「私たち」

16 ①I ペテ三・一、参ロマ一一・一四

17 ①参ロマ一二・三、②I コリ一四・三三、II コリ八・一八、一二・一六、同 I コリ一二・一六、ガラ一・一三、I テサ二・一四、II テサ一・四
③参 I コリ一四・一七

18 ①参使一五・一以下

19 ①ガラ五・六、六・一五、コロ三・一一、同ロマ二・二五、ガラ三・二六
②ロマ三・二九

20 ①I コリ七・二四

22 ①参ヨハ八・三六、同ピレ一六
②エペ六・六、コロ三・二四
I ペテ二・一六

23 ①参 I コリ六・二〇

24 ①I コリ七・二〇

25 ①参 I コリ七・六、②II コリ八・一、I テモ一・一二、一六

26 ①同ルカ二一・二三、②II テサ二・二

まるのがよいと思います。
27 あなたが妻に結ばれているなら、解かれたいと考えてはいけません。妻に結ばれていないのなら、妻を得たいと思ってはいけません。
28 しかし、たといあなたが結婚したからといって、罪を犯すのではありません。たとい処女が結婚したからといって、罪を犯すのではありません。ただ、それらの人々は、その身に苦難を招くでしょう。私はあなたがたを、そのようなめに会わせたくないのです。
29 兄弟たちよ。私は次のことを言いたいのです。時は縮まっています。今からは、妻のある者は妻のない者のようにしていなさい。
30 泣く者は泣かない者のように、喜ぶ者は喜ばない者のように、買う者は所有しない者のようにしていなさい。
31 世の富を用いる者は用いすぎないようにしなさい。この世の姿は過ぎ去るからです。
32 あなたがたが思い煩わないことを私は望んでいます。独身の男は、どうしたら主に喜ばれるかと、主のことに心を配ります。
33 しかし、結婚した男は、どうしたら妻に喜ばれるかと世のことに心を配り、
34 心が分かれるのです。独身の女や処女は、身もたましいもきよくなるため、主のことに心を配りますが、結婚した女は、どうしたら夫に喜ばれるかと、世のことに心を配ります。
35 ですが、私がこう言っているのは、あなたがた自身の益のためであって、あなたがたを束縛しようとしているのではありません。むしろあなたがたが秩序ある生活を送って、ひたすら主に奉仕できるためなのです。
36 もし、処女である自分の娘の婚期も過ぎようとしていて、そのままでは、娘に対しての扱い方が正しくないと思い、またやむをえないことがあるならば、その人は、その心のままにしなさい。罪を犯すわけではありません。彼らに結婚させなさい。
37 しかし、もし心のうちに堅く決意しており、ほかに強いられる事情もなく、また自分の思うとおりに行なうことのできる人が、処女である自分の娘をそのままにしておくのなら、そのことはりっぱです。
38 ですから、処女である自分の娘を結婚させる人は良いことをしているのであり、また結婚させない人は、もっと良いことをしているのです。
39 妻は夫が生きている間は夫に縛られています。しかし、もし夫が死んだなら、自分の願う人と結婚する自由があります。ただ主にあってのみ、そうなのです。
40 私の意見では、もしそのままにしていられたら、そのほうがもっと幸いです。私も、神の御霊をいただいていると思います。

8

1 次に、偶像にささげた肉についてですが、私たちはみな知識を持っているということなら、わかっています。しかし、知識は人を高ぶらせ、愛は人の徳を建てます。

29 ①新ロマ三・二、三、Ⅰコリ七・三一
31 ①Ⅰコリ九・一八、②新Ⅰコリ七・三六、Ⅰヨハ二・一七
32 ①比Ⅰテモ五・五
34＊ 異本「(三三節の終わり)配ります。34 妻と処女との間にも違いがあります。結婚してない者は……主のことに心を配りますが……」
39 ①ロマ七・二、②比Ⅱコリ六・一四
40 ①新Ⅰコリ七・八、比Ⅰコリ七・五五
1 ①Ⅰコリ八・四、七、一〇、比使一五・二〇、②比Ⅰコリ八・七、一〇、一〇・一五、ロマ一四・一四、③Ⅰコリ一三・六、④新ロマ一四・一九

2 1)人がもし、何かを知っていると思ったら、その人はまだ知らなければならないほどのことも知ってはいないのです。
3 しかし、人が神を愛するなら、その人は神に知られているのです。
4 そういうわけで、1)偶像にささげた肉を食べることについてですが、私たちは、世の2)偶像の神は実際にはないものであること、また、3)唯一の神以外には神は存在しないことを知っています。
5 なるほど、多くの神や、多くの主があるので、1)神々と呼ばれるものならば、天にも地にもありますが、
6 私たちには、1)父なる2)唯一の神がおられるだけで、すべてのものはこの神から出ており、私たちもこの神のために存在しているのです。また、4)唯一の主なるイエス・キリストがおられるだけで、5)すべてのものはこの主によって存在し、私たちもこの主によって存在するのです。
7 しかし、すべての人にこの1)知識があるのではありません。2)ある人たちは、今まで偶像になじんで来たため偶像にささげた肉として食べ、それで彼らのそのように弱い良心が汚れるのです。
8 しかし、私たちを神に近づけるのは1)食物ではありません。食べなくても損にはならないし、食べても益にはなりません。
9 ただ、あなたがたのこの権利が、1)弱い人たちのつまずきとならないように、2)気をつけなさい。
10 1)知識のあるあなたがたが偶像の宮で食事をしているのを、だれかが見たら、それによって力を得て、その人の良心は弱いのに、偶像の神にささげた肉を食べるようなことにならないでしょうか。
11 その弱い人は、あなたの1)知識によって、滅びることになるのです。キリストはその兄弟のためにも死んでくださったのです。
12 1)あなたがたはこのように兄弟たちに対して罪を犯し、彼らの弱い良心を踏みにじるとき、2)キリストに対して罪を犯しているのです。
13 1)ですから、もし食物が私の兄弟をつまずかせるなら、私は今後いっさい肉を食べません。それは、私の兄弟につまずきを与えないためです。

9

1 私には自由がないでしょうか。私は1)使徒ではないのでしょうか。私は2)イエスを見たのではないでしょうか。あなたがたは、主にあって私の働きの実ではありませんか。
2 たとい私がほかの人々に対しては使徒でなくても、少なくともあなたがたに対しては使徒です。あなたがたは、主にあって、私が使徒であることの1)証印です。
3 私をさばく人たちに対して、私は次のように弁明します。
4 1)いったい私たちには飲み食いする権利がないのでしょうか。
5 私たちには、ほかの使徒、主の兄弟たち、ケパなどと違って、信者である妻を連れて歩く権利がないので

2 ①図Ⅰコリ二・六、②旧Ⅰコリ三・八、Ⅰテモ六・四
3 ①ガラ四・九、旧ロマ八・三元、二・二、詩一・六、エレ一・五、アモ三・二
4 ①Ⅰコリ八・七、10、旧使二六・三、②旧Ⅰコリ一〇・六、図使一七・二九、ガラ四・八、③Ⅰコリ八・六、申四・三五、三九、六・四
5 ①Ⅱテサ二・四、②マラ二・一〇、エペ四・六、③Ⅰコリ八・四、申四・三五、三九、六・四、③図ロマ一・二六、④Ⅰコリ一二、エペ四・五、旧ヨハ三・三、Ⅰテモ二・五、⑤ヨハ一・一、コロ一・一六
7 ①Ⅰコリ八・四以下、②ロマ一四・一四、二三
8 ①ロマ一四・一七
9 ①Ⅰコリ八・一〇、一二、図ロマ一四・二、②ロマ一四・一三、二一、Ⅰコリ一〇・三二、ガラ五・一三
10 ①Ⅰコリ八・四以下、②Ⅰコリ八・一〇、七、旧使二五・三
11 ①Ⅰコリ八・四以下、②ロマ一四・一五、三
12 ①旧マタ一八・六、ロマ一四・一三、②旧マタ二五・四五
13 ①ロマ一四・二一、旧Ⅰコリ一〇・三、Ⅱコリ六・三、一一・二九
1 ①Ⅰコリ九・一九、旧Ⅰコリ一〇・二九、②使一四・四、Ⅱコリ三・一三、Ⅰテサ二・六、Ⅰテモ一・一七、Ⅱテモ一・一、図ロマ一・一、③使九・二七、一八・九、一三・一八、三・二、図Ⅰコリ一五・八、④図Ⅰコリ九・六、五・一五
2 ①旧使一・二六、②図ヨハ一三・三五、Ⅱコリ三・二、三
4 ①Ⅰコリ九・一四、旧Ⅰテサ二・六、Ⅱテサ三・八、九
5 ①旧Ⅰコリセ・七、八、②図マタ八・一四、図ヨハ一・四二

しょうか。
6それともまた、私とバルナバだけには、生活のための働きをやめる権利がないのでしょうか。
7いったい自分の費用で兵士になる者がいるでしょうか。自分でぶどう園を造りながら、その実を食べない者がいるでしょうか。羊の群れを飼いながら、その乳を飲まない者がいるでしょうか。
8私がこんなことを言うのは、人間の考えによって言っているのでしょうか。律法も同じことを言っているではありませんか。
9モーセの律法には、「穀物をこなしている牛に、くつこを掛けてはいけない。」と書いてあります。いったい神は、牛のことを気にかけておられるのでしょうか。
10それとも、もっぱら私たちのために、こう言っておられるのでしょうか。むろん、私たちのためにこう書いてあるのです。なぜなら、耕す者が望みを持って耕し、脱穀する者が分配を受ける望みを持って仕事をするのは当然だからです。
11もし私たちが、あなたがたに御霊のものを蒔いたのであれば、あなたがたから物質的なものを刈り取ることは行き過ぎでしょうか。
12もし、ほかの人々が、あなたがたに対する権利にあずかっているのなら、私たちはなおさらその権利を用いてよいはずではありませんか。それなのに、私たちはこの権利を用いませんでした。かえって、すべてのことについて耐え忍んでいます。それは、キリストの福音に少しの妨げも与えまいとしてなのです。
13あなたがたは、宮に奉仕している者が宮の物を食べ、祭壇に仕える者が祭壇の物にあずかることを知らないのですか。
14同じように、主も、福音を宣べ伝える者が、福音の働きから生活のささえを得るように定めておられます。
15しかし、私はこれらの権利を一つも用いませんでした。また、私は自分がそうされたくてこのように書いているのでもありません。私は自分の誇りをだれかに奪われるよりは、死んだほうがましだからです。
16というのは、私が福音を宣べ伝えても、それは私の誇りにはなりません。そのことは、私がどうしても、しなければならないことだからです。もし福音を宣べ伝えなかったら、私はわざわいに会います。
17もし私がこれを自発的にしているのなら、報いがありましょう。しかし、強いられたにしても、私には務めがゆだねられているのです。
18では、私にどんな報いがあるのでしょう。それは、福音を宣べ伝えるときに報酬を求めないで与え、福音の働きによって持つ自分の権利を十分に用いないことなのです。
19私はだれに対しても自由ですが、より多くの人を獲得するために、すべての人の奴隷となりました。
20ユダヤ人にはユダヤ人のようになりました。それはユダヤ人を獲得するためです。律法の下にある人々には、私自身は律法の下にはいませんが、律法の下にはいませんが、律法の下にあ

6 ①使徒四・三六
7 ①Ⅱコリ一〇・四、Ⅰテモ一・一八、Ⅱテモ一・三、四、②Ⅰコリ三・六、八、申二〇・六、箴三一・一八
8 ①ロマ三・五
9 ①申二五・四、Ⅰテモ五・一八
10 ①ロマ四・二四、箴二二・一〇
11 ①Ⅱテモ二・六
12 ①Ⅰコリ九・一五、Ⅱコリ一一・九、Ⅱテモ一・八
13 ①レビ六・一六、二六、七・六、三一、以下民五・九、一〇、一八・八、二一、三、申一八・一、②Ⅱコリ一一・八
14 ①マタ一〇・一〇、ルカ一〇・七
15 ①Ⅰテモ五・一八、②Ⅰコリ四・一四、九・一二、一五、一八、二三、Ⅱコリ一一・一〇
16 ①ロマ一・一四、Ⅱテモ一・八
17 ①Ⅰコリ九・一六、ヨハ四・三四、②Ⅰコリ四・一
18 ①Ⅰコリ九・一二、②Ⅱコリ一一・七、一二
19 ①Ⅰコリ七・二二、②Ⅱコリ一一・七、一二、三、Ⅱテモ二・三、③Ⅰコリ一・二六、ピリ一・一、コロ一・二五
20 ①Ⅰコリ九・七、ヨハ四・三四、②Ⅰコリ三・六、②Ⅱコリ一一・七、三、Ⅱテモ二・三、③Ⅰコリ七・三、Ⅱテモ二・三、④Ⅰコリ九・二、③Ⅱコリ一一・二五
19 ①Ⅰコリ九・一、②マタ二〇・二五、Ⅰペテ二・一、③Ⅱコリ四・五、Ⅱガラ二・一、②ガラ二・一九
20 ①使徒一六・三、二一・二六、②ロマ二・一四、③ガラ二・一六

*直訳「むなしくされるよりは」

る者のようになりました。それは律法の下にある人々を獲得するためです。
21 1)律法を持たない人々に対しては、――私は神の律法の外にある者ではなく、キリストの律法を守る者ですが、――2)律法を持たない者のようになりました。それは律法を持たない人々を獲得するためです。
22 1)弱い人々には、弱い者になりました。弱い人々を獲得するためです。2)すべての人に、すべてのものとなりました。それは、何とかして、3)幾人かでも救うためです。
23 私はすべてのことを、福音のためにしています。それは、私も福音の恵みをともに受ける者となるためなのです。
24 競技場で走る人たちは、みな走っても、1)賞を受けるのはただひとりだ、ということを知っているでしょう。ですから、2)あなたがたも、賞を受けられるように走りなさい。
25 1)また闘技をする者は、あらゆることについて自制します。彼らは朽ちる冠を受けるためにそうするのですが、私たちは朽ちない冠を受けるためにそうするのです。
26 ですから、私は1)決勝点がどこかわからないような走り方はしていません。2)空を打つような拳闘もしてはいません。
27 私は自分のからだを打ちたたいて従わせます。それは、私がほかの人に宣べ伝えておきながら、自分自身が失格者になるようなことのないためです。

10

1 そこで、兄弟たち。1)私はあなたがたにぜひ次のことを知ってもらいたいのです。私たちの先祖はみな、2)雲の下におり、みな3)海を通って行きました。
2 そしてみな、*雲と海とで、1)モーセにつくバプテスマを受け、
3 みな同じ霊の食べ物を食べ、
4 みな同じ御霊の飲み物を飲みました。というのは、彼らについて来た御霊の岩から飲んだからです。その岩とはキリストです。
5 にもかかわらず、彼らの大部分は神のみこころにかなわず、1)荒野で滅ぼされました。
6 これらのことが起こったのは、私たちへの戒めのためです。それは、2)彼らがむさぼったように私たちが悪をむさぼることのないためです。
7 あなたがたは、彼らの中のある人たちのように、偶像崇拝者となってはいけません。聖書には、「民が、すわっては飲み食いし、立っては踊った。」と書いてあります。
8 また、彼らのある人たちが姦淫をしたように私たちが姦淫をすることはないようにしましょう。彼らは姦淫のゆえに一日に二万三千人死にました。
9 さらに、彼らの中のある人たちが主を試みたように私たちが主を試みることはないようにしましょう。彼らは蛇に滅ぼされました。

21 ①ロマ二・一二、四、②比ガラ六・二、Ⅰコリ七・三、③比ガラ二・三、三・二
22 ①Ⅱコリ一二・一六、参ロマ一四・一、一五・一、②Ⅰコリ一〇・三三、③参ロマ一一・一四
24 ①ピリ三・一四、コロ二・一八、②Ⅰコリ九・二四、③ヘブ一二・一、比Ⅱテモ四・七、参ガラ二・二
25 ①Ⅰテモ六・一二、Ⅱテモ二・五、四・七、比エペ六・一二、②Ⅱテモ四・八、ヤコ一・一二、Ⅰペテ五・四、黙二・一〇、三・一一
26 ①ヘブ一二・一、比Ⅱテモ四・七、参ガラ二・二、②比Ⅰコリ一四・九
27 ①比ロマ八・一三

1 ①参ロマ一・一三、②出一三・二一、詩一〇五・三九、③出一四・二二、九
2 *あるいは「雲の中、海の中で」 ①比ロマ六・三、ガラ三・二七
Ⅰコリ一・一三
3 ①出一六・四、申八・三、ネヘ九・一五、二〇、詩七八・二四、二五
4 ①出一七・六、民二〇・一一、詩七八・一五
5 ①民一四・二九以下、三二、二六五
ヘブ三・一七、ユダ五
6 ①Ⅰコリ一〇・一一、②民一一・四、一三、詩一〇六・一四
7 ①出三二・四、比Ⅰコリ一〇・一四、二一、②出三二・六、③出三二・一九
8 ①民二五・一以下、②比民二五・九
9 ①民二一・六、七

10 また、彼らの中のある人たちがつぶやいたようにつぶやいてはいけません。彼らは滅ぼす者に滅ぼされました。
11 これらのことが彼らに起こったのは、戒めのためであり、それが書かれたのは、世の終わりに臨んでいる私たちへの教訓とするためです。
12 ですから、立っていると思う者は、倒れないように気をつけなさい。
13 あなたがたの会った試練はみな人の知らないようなものではありません。神は真実な方ですから、あなたがたを耐えることのできないような試練に会わせるようなことはなさいません。むしろ、耐えることのできるように、試練とともに、脱出の道も備えてくださいます。
14 ですから、私の愛する者たちよ。偶像礼拝を避けなさい。
15 私は賢い人たちに話すように話します。ですから私の言うことを判断してください。
16 私たちが祝福する祝福の杯は、キリストの血にあずかることではありませんか。私たちの裂くパンは、キリストのからだにあずかることではありませんか。
17 パンは一つですから、私たちは、多数であっても、一つのからだです。それは、みなの者がともに一つのパンを食べるからです。
18 肉によるイスラエルのことを考えてみなさい。供え物を食べる者は、祭壇にあずかるではありませんか。
19 私は何を言おうとしているのでしょう。偶像の神にささげた肉に、何か意味があるとか、偶像の神に真実な意味があるとか、言おうとしているのでしょうか。
20 いや、彼らのささげる物は、神にではなくて悪霊にささげられている、と言っているのです。私は、あなたがたに悪霊と交わる者になってもらいたくありません。
21 あなたがたが主の杯を飲んだうえ、さらに悪霊の杯を飲むことは、できないことです。主の食卓にあずかったうえ、さらに悪霊の食卓にあずかることはできないことです。
22 それとも、私たちは主のねたみを引き起こそうとするのですか。まさか、私たちが主よりも強いことはないでしょう。
23 すべてのことは、してもよいのです。しかし、すべてのことが有益とはかぎりません。すべてのことは、してもよいのです。しかし、すべてのことが徳を高めるとはかぎりません。
24 だれでも、自分の利益を求めないで、他人の利益を心がけなさい。
25 市場に売っている肉は、良心の問題として調べ上げることはしないで、どれでも食べなさい。
26 地とそれに満ちているものは、主のものだからです。
27 もし、あなたがたが信仰のない者に招待されて、行きたいと思うときは、良心の問題として調べ上げることはしないで、自分の前に置かれる物はどれでも食べ

10 ①民六・四一、一七・五、一〇、②出三二・三、IIサム二四・六、I歴二一・二六、ヘブ一一・二八、③民一六・四九
11 ①I コリ一〇・六、②参ロマ一三・一三、③参ロマ一三・一二
＊直訳「私たちの教訓のためです。この私たちに世の終わりが来ています」
12 ①参ロマ一一・二〇、IIペテ三・一七
13 ①参I コリ一九、②IIペテ二・九
14 ①参ヘブ六・九、②I コリ一〇・七、IIコリ六・一六、一ヨハ五・二一
16 ①マタ二六・二六、I コリ一一・二五、②マタ二六・二九、参使二・四二
17 ①ロマ一二・五、I コリ一二・一三、エペ四・四、六、コロ三・一五
18 ①参ロマ一・三、②レビ七・六、一四、申一八・一、八
19 ①参I コリ八・四
20 ①申三二・一七、詩一〇六・三七、黙九・二〇、IIガラ四・八
21 ①IIコリ六・一六、②IIイザ六五・一一
22 ①申三二・二一、②伝六・一〇、イザ四五・九
23 ①I コリ六・一二、②参ロマ一四・九
24 ①I コリ一〇・三三、一五・五、IIコリ一二・一四、参ロマ一五・二
25 ①IIテモ二・二六、I コリ八・七
＊直訳「良心のゆえのせんさくをしないで」
26 ①詩一二四・一、IIテモ四・四
27 ①IIコリ五・一〇、②IIルカ一八
＊参I コリ一〇・二五注

なさい。
28 しかし、もしだれかが、「これは偶像にささげた肉です。」とあなたがたに言うなら、そう知らせた人のために、また良心のために、食べてはいけません。
29 私が良心と言うのは、あなたの良心ではなく、ほかの人の良心です。私の自由が、他の人の良心によってさばかれるわけがあるでしょうか。
30 もし、私が神に感謝をささげて食べるなら、私が感謝する物のために、そしられるわけがあるでしょうか。
31 こういうわけで、あなたがたは、食べるにも、飲むにも、何をするにも、ただ神の栄光を現わすためにしなさい。
32 ユダヤ人にも、ギリシヤ人にも、神の教会にも、つまずきを与えないようにしなさい。
33 私も、人々が救われるために、自分の利益を求めず、多くの人の利益を求め、どんなことでも、みなの人を喜ばせているのですから。

11

1 私がキリストを見ならっているように、あなたがたも私を見ならってください。
2 さて、あなたがたは、何かにつけて私を覚え、また、私があなたがたに伝えたものを、伝えられたとおりに堅く守っているので、私はあなたがたをほめたいと思います。
3 しかし、あなたがたに次のことを知っていただきたいのです。すべての男のかしらはキリストであり、女のかしらは男であり、キリストのかしらは神です。
4 男が、祈りや預言をするとき、頭にかぶり物を着けていたら、自分の頭をはずかしめることになります。
5 しかし、女が、祈りや預言をするとき、頭にかぶり物を着けていなかったら、自分の頭をはずかしめることになります。それは髪をそっているのと全く同じことだからです。
6 女がかぶり物を着けないのなら、髪も切ってしまいなさい。髪を切り、頭をそることが女として恥ずかしいことなら、かぶり物を着けなさい。
7 男はかぶり物を着けるべきではありません。男は神の似姿であり、神の栄光の現われだからです。女は男の栄光の現われです。
8 なぜなら、男は女をもとにして造られたのではなくて、女が男をもとにして造られたのであり、
9 また、男は女のために造られたのではなく、女が男のために造られたのだからです。
10 ですから、女は頭に権威のしるしをかぶるべきです。それも御使いたちのためにです。
11 とはいえ、主にあっては、女は男を離れてあるものではなく、男も女を離れてあるものではありません。
12 女が男をもとにして造られたように、同様に、男も女によって生まれるのだからです。しかし、すべては神から発しています。
13 あなたがたは自分自身で判断しなさい。女が頭に何もかぶらないで神に祈るのは、ふさわしいことでしょ

---

28 ①既 I コリ八・七、一〇・二五
29 ①新 I コリ九・一九、既 ロマ一四・一六
30 ①新 ロマ一四・六、②既 I コリ九・一
31 ①コロ三・一七、 I ペテ四・一一
32 ①新使二〇・二八注、 I コリ一〇・三二・三三、 II コリ一・一、ガラ一・一三、 I テモ一・一三、一五、既 I コリ七・一七、ピリ三・六、②新 I コリ八・三、既使二四・一六
33 ①ロマ一二・一既、既 II コリ一三・一五、ピリ二・四、既 II コリ一三・一四、新 I コリ一〇・三三、②新 I コリ九・二〇、既 I コリ一〇
1 ①新 I コリ四・一六
2 ①ロマ六・一七、一八、 I テサ四・一、②ロマ一六・二五、 II テサ二・一五、③既 I コリ一一・一七、二三
3 ①エペ一・二二、四・一五、五・二三、コロ一・一八、二・一九、②エペ五・二三、既創三・一六、③新 I コリ三・一三
4 ①新使二・一、 I テサ五・一〇
5 ①新ルカ二・三六、使二一・九、既 I コリ一四・三四、②既申二二・一二
7 ①マコ一三・九、創一・二六、五・一、九・六
8 ①創二・二一、二二、 I テモ二・一三
* 直訳「男は女からのものではなく、女が男からのものだからです」
9 ①創二・一八
12 ①ロマ五・一八、②新ロマ一一・三六
13 ①既ルカ三・五七

うか。
14 自然自体が、あなたがたにこう教えていないでしょうか。男が長い髪をしていたら、それは男として恥ずかしいことであり、
15 女が長い髪をしていたら、それは女の光栄であるということです。なぜなら、髪はかぶり物として女に与えられているからです。
16 たとい、このことに異議を唱えたがる人がいても、[1] 私たちにはそのような習慣はないし、[2] 神の諸教会にもありません。
17 ところで、聞いていただくことがあります。[1] 私はあなたがたをほめません。あなたがたの集まりが益にならないで、かえって害になっているからです。
18 まず第一に、あなたがたが教会の集まりをするとき、[1] あなたがたの間には分裂があると聞いています。ある程度は、それを信じます。
19 というのは、[1] あなたがたの中でほんとうの信者が明らかにされるためには、[2] 分派が起こるのもやむをえないからです。
20 しかし、そういうわけで、あなたがたはいっしょに集まっても、それは主の晩餐を食べるためではありません。
21 食事のとき、めいめい我先にと自分の食事を済ませるので、空腹な者もおれば、[1] 酔っている者もいるというしまつです。
22 飲食のためなら、自分の家があるでしょう。それとも、あなたがたは、[1] 神の教会を軽んじ、[2] 貧しい人たちをはずかしめたいのですか。私はあなたがたに何と言ったらよいでしょう。[3] ほめるべきでしょうか。このことに関しては、ほめるわけにはいきません。
23 [1][2] 私は主から受けたことを、あなたがたに伝えたのです。すなわち、主イエスは、渡される夜、パンを取り、
24 感謝をささげて後、それを裂き、こう言われました。「これはあなたがたのための、*わたしのからだです。わたしを覚えるために、このようにしなさい。」
25 夕食の後、杯をも同じようにして言われました。「この杯は、わたしの血による[2]新しい契約です。これを飲むたびに、わたしを覚えるためにこのようにしなさい。」
26 ですから、あなたがたは、このパンを食べ、この杯を飲むたびに、[1]主が来られるまで、主の死を告げ知らせるのです。
27 したがって、もし、ふさわしくないままでパンを食べ、主の杯を飲む者があれば、主のからだと血に対して[1]罪を犯すことになります。
28 ですから、ひとりひとりが[1]自分を吟味して、そのうえでパンを食べ、杯を飲みなさい。
29 みからだをわきまえないで、飲み食いするならば、その飲み食いが自分をさばくことになります。
30 そのために、あなたがたの中に、弱い者や病人が多くなり、[1]死んだ者が大ぜいいます。
31 しかし、もし私たちが自分をさばくなら、さばかれることはありません。

16 ①[1]I コリ九・二三、ペ四・五 ②[2]I コリ七・一七
17 ①[1]I コリ一・二、三
18 ①[1]I コリ一・一〇、[1]I コリ三・三 *あるいは「分派争い」ギリシヤ語「スキスマ」
19 ①[1]I ヨハ三・一六、[1]申三三・三 *直訳「試験済みのもの」 ②[2]I マタ六・七、ルカ七・一 I テモ四・一、II ペテ二・一
21 ①[1]I ユダ三
22 ①[1]I コリ一〇・三二、②[2]I ヤコ三・六、③[3]I コリ一一・二二、一七
23 ①[1]I コリ一一・三二、マタ二六・二六、マコ一四・二二、ルカ二二・一九、[1]I コリ一〇・一六 ②[2]I コリ一一・二五、[1]ガラ一・一二
24 *異本「に裂かれたわたしのからだ」
25 ①[1]I コリ一〇・一六、②II コリ三・六、[1]ルカ二二・二〇
26 ①[1]I コリ四・五、[1]ヨハ一二・三
27 ①[1]ヘブ一〇・二九
28 ①[1]II コリ一三・五、ガラ六・四 [1]I マタ二六・二三
30 ①[1]I 使七・六〇

32 しかし、私たちがさばかれるのは、主によって[1]懲らしめられるのであって、それは、私たちが、この世とともに罪に定められることのないためです。
33 ですから、兄弟たち。食事に集まるときは、互いに待ち合わせなさい。
34 空腹な人は家で食べなさい。それは、あなたがたが集まることによって、さばきを受けることにならないためです。その他のことについては、私が行ったときに決めましょう。

12

1 さて、兄弟たち。[1]御霊の賜物について[2]知っていていただきたいのです。
2 ご承知のように、あなたがたが異教であったときには、どう導かれたとしても、引かれて行った所は、[3]ものを言わない偶像の所でした。
3 ですから、私は、あなたがたに次のことを教えておきます。[1]神の御霊によって語る者はだれも、「イエスはのろわれよ。」と言わず、また、[2]聖霊によるのでなければ、だれも、「イエスは主です。」と言うことはできません。
4 さて、[1]御霊の賜物にはいろいろの種類がありますが、御霊は同じ御霊です。
5 奉仕にはいろいろの種類がありますが、主は同じ主です。
6 働きにはいろいろの種類がありますが、[1]神はすべての人の中ですべての働きをなさる同じ神です。
7 しかし、みなの益となるために、おのおのに御霊の現われが与えられているのです。
8 ある人には御霊によって[1]知恵のことばが与えられ、ほかの人には同じ御霊にかなう[2]知識のことばが与えられ、
9 またある人には同じ御霊による[1]信仰が与えられ、ある人には同一の御霊によって、[2]いやしの賜物が与えられ、
10 ある人には[1]奇蹟を行なう力、ある人には預言、ある人には霊を見分ける力、ある人には異言、ある人には異言を解き明かす力が与えられています。
11 しかし、同一の御霊がこれらすべてのことをなさるのであって、みこころのままに、おのおのにそれぞれの賜物を分け与えてくださるのです。
12 ですから、ちょうど、からだが一つでも、それに多くの部分があり、からだの部分はたとい多くあっても、その全部が一つのからだであるように、キリストもそれと同様です。
13 なぜなら、私たちはみな、[1]ユダヤ人もギリシヤ人も、奴隷も自由人も、一つのからだとなるように、[2]一つの御霊によってバプテスマを受け、そしてすべての者が[3]一つの御霊を飲む者とされたからです。
14 確かに、からだはただ一つの器官ではなく、多くの器官から成っています。
15 たとい、足が、「私は手ではないから、からだに属さない。」と言ったところで、そんなことでからだに属

32 ①Ⅱサム七・一四、詩八九・三二、ヘブ一二・一〇、黙三・一九
②参Ⅰコリ一・一〇
34 ①Ⅰコリ一一・二、②Ⅰコリ一二・二三、③参Ⅰコリ一六・一九
3 ①Ⅰコリ一二・一、②Ⅰコリ一四・一七
参Ⅰコリ一四・一七
1 ①Ⅰコリ一四・一、Ⅰヨハ四・一
②参ロマ一・三
2 ①エペ二・一一、Ⅰペテ四・三、参Ⅰコリ六・一一
②Ⅰペテ一・一八、③ハバ二・二、Ⅰペテ一・九、詩一〇五・五、イザ四六・七、エレ一〇・五
3 ①Ⅰヨハ四・二、三、Ⅰヨマタ三・*三、黙二・他、②参ロマ九・三*ギリシヤ語「アナテマ」
③参ハ二・三、ロマ一〇・九
4 ①参ロマ一二・六、Ⅰペテ四・一〇、一一、エペ四・四以下、一二、ヘブ二・四
6 ①Ⅰコリ一二・六、エペ一・一一、四・六
7 ①エペ四・一二、Ⅰコリ一四・一二、二六、四・六
8 ①Ⅰコリ一二・六、Ⅱコリ一・一二
②Ⅰコリ一二・八、Ⅱコリ一一・六、一二、Ⅱコリ一二・一二、四・六、六、七、一二・六
9 ①Ⅰコリ一三・二、Ⅱコリ四・一三、②Ⅰコリ一二・六、三
10 ①Ⅰコリ一三・六、ガラ三・五
②Ⅰコリ一二・四、一三・八
③Ⅰコリ一四・二六、Ⅰヨハ四・一
④Ⅰコリ一二・三、一四・六
11 ①Ⅰコリ一二・四
12 ①ロマ一二・四、参Ⅰコリ一〇・一七
②Ⅰコリ一二・七
13 ①ガラ三・六、コロ三・一一
②Ⅰペテ一・二、ロマ三・三
③Ⅰペテ一・二、③Ⅰヨハ五・六、ヨハ七・三九
14 ①Ⅰコリ一二・一五

さなくなるわけではありません。
16 たとい、耳が、「私は目ではないから、からだに属さない。」と言ったところで、そんなことでからだに属さなくなるわけではありません。
17 もし、からだ全体が目であったら、どこで聞くのでしょう。もし、からだ全体が聞くところであったら、どこでかぐのでしょう。
18 しかしこのとおり、[1]神はみこころに従って、からだの中にそれぞれの器官を備えてくださったのです。
19 もし、全部がただ一つの器官であったら、からだはいったいどこにあるのでしょう。
20 しかしこういうわけで、[1]器官は多くありますが、からだは一つなのです。
21 そこで、目が手に向かって、「私はあなたを必要としない。」と言うことはできないし、頭が足に向かって、「私はあなたを必要としない。」と言うこともできません。
22 それどころか、からだの中で比較的に弱いと見られる器官が、かえってなくてはならないものなのです。
23 また、私たちは、からだの中で比較的に尊くないとみなす器官を、*ことさらに尊びます。こうして、私たちの見ばえのしない器官は、ことさらに良いかっこうになりますが、
24 かっこうの良い器官にはその必要がありません。しかし神は、劣ったところをことさらに尊んで、からだをこのように調和させてくださったのです。
25 それは、からだの中に分裂がなく、*各部分が互いにいたわり合うためです。
26 もし一つの部分が苦しめば、すべての部分がともに苦しみ、もし一つの部分が尊ばれれば、すべての部分がともに喜ぶのです。
27 あなたがたは[1]キリストのからだであって、[2]ひとりひとりは各器官なのです。
28 そして、神は[1]教会の中で人々を次のように[2]任命されました。すなわち、第一に使徒、次に[3]預言者、次に[4]教師、それから[6]奇蹟を行なう者、[7]それからいやしの賜物を持つ者、助ける者、[8]治める者、異言を語る者などです。
29 みなが使徒でしょうか。みなが預言者でしょうか。みなが教師でしょうか。みなが奇蹟を行なう者でしょうか。
30 みながいやしの賜物を持っているでしょうか。みなが異言を語るでしょうか。みなが解き明かしをするでしょうか。
31 あなたがたは、よりすぐれた賜物を熱心に求めなさい。

また私は、さらにまさる道を示してあげましょう。

13

1 たとい、私が人の異言や、御使いの異言で話しても、愛がないなら、やかましいどらや、うるさいシンバルと同じです。
2 また、たとい私が預言の賜物を持っており、またあらゆる奥義とあらゆる知識とに通じ、また、山を動か

---

18 ①参I コリ三・二一、旧ロマ三・六、②I コリ二・六
20 ①I コリ三・四、参I コリ三・三
23 * 別訳「いっそうの尊敬をもっておおいます」
25 * ギリシヤ語「スキスマ」
27 ①I コリ三・三、旧I コリ一二・一、エペ一・二三、四・一二、コロ一・一八、二四、二・九、②エペ五・二三 参ロマ三・五
28 ①参I コリ一〇・三二、②参I コリ三・一〇、③エペ四・一一、④エペ二・二〇、三・五、参使三・一、⑤参使三・一、⑥I コリ一二・二九、⑦I コリ一二・九、三〇、⑧旧ロマ一二・八
30 ①参I コリ一二・一〇
31 ①I コリ一四・一、五
1 ①参I コリ一三・一、②旧II コリ三・四、黙四・二、③旧詩一三〇・五（七十人訳）
2 ①参使三・一、I コリ一二・四、三・八、四・一、五、旧マタ七・二二 * 「賜物」は補足 ②I コリ一四・二、三、五 ③参ロマ一五・一四、④マタ一七・二〇、二一・二一

すほどの完全な信仰を持っていても、愛がないなら、何の値うちもありません。
3 また、たとい私が持っている物の全部を貧しい人たちに分け与え、また私のからだを焼かれるために渡しても、愛がなければ、何の役にも立ちません。
4 愛は寛容であり、愛は親切です。また人をねたみません。愛は自慢せず、高慢になりません。
5 礼儀に反することをせず、自分の利益を求めず、怒らず、人のした悪を思わず、
6 不正を喜ばずに真理を喜びます。
7 すべてをがまんし、すべてを信じ、すべてを期待し、すべてを耐え忍びます。
8 愛は決して絶えることがありません。預言の賜物ならばすたれます。異言ならばやみます。知識ならばすたれます。
9 というのは、私たちの知っているところは一部分であり、預言することも一部分だからです。
10 完全なものが現われたら、不完全なものはすたれます。
11 私が子どもであったときには、子どもとして話し、子どもとして考え、子どもとして論じましたが、おとなになったときには、子どものことをやめました。
12 今、私たちは鏡にぼんやり映るものを見ていますが、その時には顔と顔とを合わせて見ることになります。今、私は一部分しか知りませんが、その時には、私が完全に知られているのと同じように、私も完全に知ることになります。
13 こういうわけで、いつまでも残るものは信仰と希望と愛です。その中で一番すぐれているのは愛です。

14

1 愛を追い求めなさい。また、御霊の賜物、特に預言することを熱心に求めなさい。
2 異言を話す者は、人に話すのではなく、神に話すのです。というのは、だれも聞いていないのに、自分の霊で奥義を話すからです。
3 ところが預言する者は、徳を高め、勧めをなし、慰めを与えるために、人に向かって話します。
4 異言を話す者は自分の徳を高めますが、預言する者は教会の徳を高めます。
5 私はあなたがたがみな異言を話すことを望んでいますが、それよりも、あなたがたが預言することを望みます。もし異言を話す者がその解き明かしをして教会の徳を高めるのでないなら、異言を語る者よりも、預言する者のほうがまさっています。
6 ですから、兄弟たち。私があなたがたのところへ行って異言を話すとしても、黙示や知識や預言や教えなどによって話さないなら、あなたがたに何の益となるでしょう。
7 笛や琴などいのちのない楽器でも、はっきりした音を出さなければ、何を吹いているのか、何をひいているのか、どうしてわかりましょう。
8 また、ラッパがもし、はっきりしない音を出したら、

---

2 ⑤ I コリ 二・九
3 * 「貧しい人たち」は補足
① 旧マタ 六・二、② ダ 三・六
* * 異本「誇るために」
4 ① 箴 一〇・一二、一七・九、 I テサ 五・一四、 I ペテ 四・八、 ② 旧使 七・九、 ③ I コリ 四・五
5 ① 参 I コリ 一〇・二四、 旧ピリ 二・三、 ② II コリ 五・一五
6 ① 旧 II テサ 二・二
② 旧 II ヨハ 四、 III ヨハ 三、四
7 ① I コリ 九・二
* 「賜物」は補足
8 ① 参 I コリ 二・三
② 参 I コリ 一三・一
9 ① I コリ 二・二、 参 I コリ 八・一
12 ① 旧 II コリ 五・七、 ピリ 三・三
ヤコ 一・二三、 ② 創 三一・四九、 民 三・八、 I ヨハ 三・二、 ③ 参 I コリ 八・三
13 ① 旧ガラ 五・六
1 ① I コリ 一六・一四、 ② I コリ 一三・一
* 「賜物」は補足
③ 参 I コリ 一二・三一、一四・一九
④ 参 I コリ 一三・一、一四・一九
2 ① I コリ 一三・一、二、八、一三、一三・一、一四・六以下、一六・二七、 旧マコ 六・七
* 「自分の」は補足
② I コリ 一三・一
3 ① I コリ 一四・五、一三・一七、一六
参ロマ 一四・一九、 ② 使 一五・三六
4 ① 参 I コリ 一四・二、 ② I コリ 一四・五、一三・七、一六、 ③ 参 I コリ 一三・一
5 ① 参 I コリ 一四・一、 ② 民 一一・二九
6 ① 参 I コリ 一四・六、 エペ 一・一七
② 参 I コリ 一三・一
③ 参 I コリ 一三・二、 ④ I コリ 一四・六、 旧使 一二・二
ロマ 六・一七
8 ① 旧民 一〇・九、 エレ 四・一九
エゼ 三三・七、 ヨエ 二・一

だれが戦闘の準備をするでしょう。
9それと同じように、あなたがたも、舌で明瞭なことばを語るのでなければ、言っている事をどうして知ってもらえるでしょう。それは空気に向かって話しているのです。
10世界にはおそらく非常に多くの種類のことばがあるでしょうが、意味のないことばなど一つもありません。
11それで、もし私がそのことばの意味を知らないなら、私はそれを話す人にとって異国人であり、それを話す人も私にとって異国人です。
12あなたがたのばあいも同様です。あなたがたは御霊の賜物を熱心に求めているのですから、教会の徳を高めるために、それが豊かに与えられるよう、熱心に求めなさい。
13こういうわけですから、異言を語る者は、それを解き明かすことができるように祈りなさい。
14もし私が異言で祈るなら、私の霊は祈るが、私の知性は実を結ばないのです。
15ではどうすればよいのでしょう。私は霊において祈り、また知性においても祈りましょう。霊において賛美し、また知性においても賛美しましょう。
16そうでないと、あなたが霊において祝福しても、異言を知らない人々の座席に着いている人は、あなたの言っていることがわからないのですから、あなたの感謝について、どうしてアーメンと言えるでしょう。
17あなたの感謝は結構ですが、他の人の徳を高めることはできません。
18私は、あなたがたのだれよりも多くの異言を話すことを神に感謝していますが、
19教会では、異言で一万語話すよりは、ほかの人を教えるために、私の知性を用いて五つのことばを話したいのです。
20兄弟たち。物の考え方において子どもであってはなりません。悪事においては幼子でありなさい。しかし考え方においてはおとなになりなさい。
21律法にこう書いてあります。「わたしは、異なった舌により、異国の人のくちびるによってこの民に語るが、彼らはなおわたしの言うことを聞き入れない。」と主は言われる。
22それで、異言は信者のためのしるしではなく、不信者のためのしるしです。けれども、預言は不信者でなく、信者のためのしるしです。
23ですから、もし教会全体が一か所に集まって、みなが異言を話すとしたら、初心の者とか信者でない者とかがはいって来たとき、彼らは、あなたがたを気違いだと言わないでしょうか。
24しかし、もしみなが預言をするなら、信者でない者や初心の者がはいって来たとき、その人はみなの者によって罪を示されます。みなにさばかれ、
25心の秘密があらわにされます。そうして、神が確かにあなたがたの中におられると言って、ひれ伏して神を拝むでしょう。

9 ①⑩I コリ九・二六
11 ①⑩使六・二
12 *「賜物」は補足 ①I コリ一四・一七、二六 ⑩ロマ一四・一九
15 ①I コリ一四・二六、⑩使二・三三 ②⑩エペ五・一九、コロ三・一六
16 *別訳「霊の賜物を持っていない人」または「一般人の席に着いている人」 ①マタ一五・三六、②⑩申二七・一五、I 歴一六・三六（詩一〇六・四八）、ネヘ八・六、エレ二八・六、詩四一・一三
17 ①I コリ一四・四、三三 ⑩ロマ一四・一九
20 ①⑩ロマ一六・一九、②エペ四・一四 ⑩ヘブ五・一三、③⑩詩一三一・二 ロマ一六・一九、I ペテ二・二 ⑩マタ一八・三
21 ①⑩ヨハ一〇・三四、⑩I コリ一四・二一、②イザ二八・一一、一二
22 ①I コリ一四・一
23 ①⑩使二・一三
24 ①I コリ一四・一、②ヨハ一六・八 *あるいは「良心を責められます」
25 ①⑩ヨハ四・一九、②イザ四五・一四 ゼカ八・二三、⑩ダ二・四七、使一四・一三、③ルカ七・一六

26 1)兄弟たち。では、どうすればよいのでしょう。あなたがたが集まるときには、それぞれの人が賛美したり、3)教えたり、5)黙示を話したり、6)異言を話したり、7)解き明かしたりします。8)そのすべてのことを、徳を高めるためにしなさい。
27 1)もし異言を話すのならば、ふたりか、多くても三人で順番に話すべきで、ひとりは解き明かしをしなさい。
28 もし解き明かす者がだれもいなければ、教会では黙っていなさい。*自分だけで、神に向かって話しなさい。
29 1)預言する者も、ふたりか三人が話し、ほかの者はそれを吟味しなさい。
30 もしも座席に着いている別の人に黙示が与えられたら、先の人は黙りなさい。
31 あなたがたは、みながかわるがわる預言できるのであって、すべての人が学ぶことができ、すべての人が勧めを受けることができるのです。
32 預言者たちの霊は預言者たちに服従するものなのです。
33 それは、神が混乱の神ではなく、*平和の神だからです。2)聖徒たちのすべての教会で行なわれているように、
34 女は教会で黙っていなさい。彼らは語ることを許されていません。2)律法も言うように、3)女は服従しなさい。
35 もし何かを学びたければ、家で自分の夫に尋ねなさい。教会で語ることは、女にとってはふさわしくないことです。
36 神のことばは、あなたがたのところから出たのでしょうか。あるいはまた、あなたがたにだけ伝わったのでしょうか。
37 1)自分を預言者、あるいは、2)御霊の人と思う者は、私があなたがたに書くことが主の命令であることを3)認めなさい。
38 *もしそれを認めないなら、その人は認められません。
39 それゆえ、私の兄弟たち。1)預言することを2)熱心に求めなさい。異言を話すことも禁じてはいけません。
40 1)ただ、すべてのことを適切に、秩序をもって行ないなさい。

15

1 兄弟たち。私は今、あなたがたに1)福音を知らせましょう。これは、私2)があなたがたに宣べ伝えたもので、あなたがたが受け入れ、また、それによって3)立っている福音です。
2 また、もしあなたがたがよく考えもしないで信じたのでないなら、私の宣べ伝えたこの福音のことばをしっかりと保っていれば、この福音によって救われるのです。
3 私があなたがたに最もたいせつなこととして伝えたのは、私も受けたことであって、次のことです。キリストは、2)聖書の示すとおりに、私たちの罪のために死なれたこと、
4 また、葬られたこと、また、1)聖書に従って三日目によみがえられたこと、
5 また、ケパに現われ、それから十二弟子に現われた

26 ①参ロマ一二、②参Ⅰコリ一四一、③Ⅰコリ二八一〇、④エペ五一九、⑤参Ⅰコリ一四六、六、参Ⅰコリ一四二六、⑦Ⅰコリ一四二、⑧参ロマ一四一九、27 ①参Ⅰコリ一四二、②Ⅰコリ一四二七、八、参Ⅰコリ一四二六以下、参Ⅰコリ一三一〇、28 *直訳「自分と神とに語りなさい」、29 ①参Ⅰコリ一四三一、七、参Ⅰコリ一三二、②Ⅰコリ一三一〇、33 ①参Ⅰコリ一四四〇、*別訳「聖徒たちのすべての教会におけるように、平和の神だからです」、②参使ニ四、三、③Ⅰコリ一四三三、34 ①Ⅰコリ一四二七、三三、②Ⅰコリ一四三四、三、③Ⅰテモ二一二、35 *直訳「恥ずべき」、37 ①Ⅱコリ一〇七、②参Ⅰコリ一四三七、③Ⅰコリ一〇一五、38 *異本「無知な者があれば無知のままにしておきなさい」、39 ①Ⅰコリ一四一、③参Ⅰコリ一三二、40 ①Ⅰコリ一四二六、Ⅰテモ一四、Ⅱテモ四二、1 ①参Ⅰコリ一五一、②ガラ一二一、Ⅰテモ一四、ロマ一二一、③ロマ五二、Ⅱコリ一二一〇、2 ①参ガラ三二四、②参ロマ一一三、Ⅰコリ一二一、③マタ六一三、ルカ八一二、Ⅱテモ一二、使六三、一三、一七、二六、ガラ一二四、④ヨハ一五六、Ⅰペテ一二五、3 ①詩六八以下、使二三一、ヨハ一三三、②参マタ一六二一、5 ①Ⅰコリ一二一、②ルカ二四、二四、③参マコ一六一四

ことです。
6その後、キリストは五百人以上の兄弟たちに同時に現われました。その中の大多数の者は今なお生き残っていますが、すでに眠った者もいくらかいます。
7その後、キリストはヤコブに現われ、それから使徒たち全部に現われました。
8そして、最後に、月足らずで生まれた者と同様な私にも、現われてくださいました。
9私は使徒の中では最も小さい者であって、使徒と呼ばれる価値のない者です。なぜなら、私は神の教会を迫害したからです。
10ところが、神の恵みによって、私は今の私になりました。そして、私に対するこの神の恵みは、むだにはならず、私はほかのすべての使徒たちよりも多く働きました。しかし、それは私ではなく、私にある神の恵みです。
11そういうわけですから、私にせよ、ほかの人たちにせよ、私たちはこのように宣べ伝えているのであり、あなたがたはこのように信じたのです。
12ところで、キリストは死者の中から復活された、と宣べ伝えられているのなら、どうして、あなたがたの中に、*死者の復活はない、と言っている人がいるのですか。
13もし、死者の復活がないのなら、キリストも復活されなかったでしょう。
14そして、キリストが復活されなかったのなら、私たちの宣教は実質のないものになり、あなたがたの信仰も実質のないものになるのです。
15それどころか、私たちは神について偽証をした者ということになります。なぜなら、もしもかりに、死者の復活はないとしたら、神はキリストをよみがえらせなかったはずですが、私たちは神がキリストをよみがえらせた、と言って神に逆らう証言をしたからです。
16もし、死者がよみがえらないのなら、キリストもよみがえらなかったでしょう。
17そして、もしキリストがよみがえらなかったのなら、あなたがたの信仰はむなしく、あなたがたは今もなお、自分の罪の中にいるのです。
18そうだったら、キリストにあって眠った者たちは、滅んでしまったのです。
19もし、私たちがこの世にあってキリストに単なる希望を置いているだけなら、私たちは、すべての人の中で一番哀れな者です。
20しかし、今やキリストは、眠った者の初穂として死者の中からよみがえられました。
21というのは、死がひとりの人を通して来たように、死者の復活もひとりの人を通して来たからです。
22すなわち、アダムにあってすべての人が死んでいるように、キリストによってすべての人が生かされるからです。
23しかし、おのおのにその順番があります。まず初穂であるキリスト、次にキリストの再臨のときキリスト

6 ①使徒七・四、Ⅰコリ一五・六、ニ
7 ①使徒一二・一七、②ルカ二四・三四、三五、七、使一・三、四
8 ①Ⅰコリ九・一、Ⅱコ四・六、三一・二、三六・二一・二八
9 ①エペ三・八、Ⅰテモ一・一五、②使徒八・三
10 ①ロマ一五・一五、②Ⅱコリ一一・三一、コロ一・二九、Ⅰテモ四・一〇、③Ⅰコリ一五・六、Ⅱコリ三・五、ピリ二・一三
11 ①Ⅰコリ一五・一一
12 ①Ⅰコリ一五・一三、Ⅱテモ二・一八
*複数「死んだ人々」
13 ①Ⅰテサ四・一四
14 ①Ⅰテサ四・一四
15 ①使徒二・二四
*別訳「について」
16 ①ロマ四・二五
17 ①ロマ四・二五
18 ①Ⅰテサ四・一六、黙一四・一三
19 ①Ⅰコリ一五・一九
20 ①Ⅰテサ四・一六、黙一四・一三、②Ⅰコリ一五・六、③Ⅰコリ一五・二三、使徒二・二四、黙・五
21 ①ロマ五・一二
22 ①ロマ五・一四―一八
23 ①Ⅰコリ一五・二三、使徒六・三、黙一・五、②Ⅰテサ二・一九、③Ⅰコリ一五・五二、六、Ⅰテサ四・一六

に属している者です。
24 それから終わりが来ます。そのとき、キリストはあらゆる支配と、あらゆる権威、権力を滅ぼし、国を父なる神にお渡しになります。
25 キリストの支配は、すべての敵をその足の下に置くまで、と定められているからです。
26 最後の敵である死も滅ぼされます。
27 「彼は万物をその足の下に従わせた。」からです。ところで、万物が従わせられた、と言うとき、万物を従わせたその方がそれに含められていないことは明らかです。
28 しかし、万物が御子に従うとき、御子自身も、ご自分に万物を従わせた方に従われます。これは、神が、すべてにおいてすべてとなられるためです。
29 もしこうでなかったら、死者のゆえにバプテスマを受ける人たちは、何のためにそうするのですか。もし、死者は決してよみがえらないのなら、なぜその人たちは、死者のゆえにバプテスマを受けるのですか。
30 また、なぜ私たちもいつも危険にさらされているのでしょうか。
31 兄弟たち。私にとって、毎日が死の連続です。これは、私たちの主キリスト・イエスにあってあなたがたを誇る私の誇りにかけて、誓って言えることです。
32 もし、私が人間的な動機から、エペソで獣と戦ったのなら、何の益があるでしょう。もし、死者の復活がないのなら、「あすは死ぬのだ。さあ、飲み食いしようではないか。」ということになるのです。
33 思い違いをしてはいけません。友だちが悪ければ、良い習慣がそこなわれます。
34 目をさまして、正しい生活を送り、罪をやめなさい。神についての正しい知識を持っていない人たちがいます。私はあなたがたをはずかしめるために、こう言っているのです。
35 ところが、ある人はこう言うでしょう。「死者は、どのようにしてよみがえるのか。どのようなからだで来るのか。」
36 愚かな人だ。あなたの蒔く物は、死ななければ、生かされません。
37 あなたが蒔く物は、後にできるからだではなく、麦やそのほかの穀物の種粒です。
38 しかし神は、みこころに従って、それにからだを与え、おのおのの種にそれぞれのからだをお与えになります。
39 すべての肉が同じではなく、人間の肉もあり、獣の肉もあり、鳥の肉もあり、魚の肉もあります。
40 また、天上のからだもあり、地上のからだもあります。しかし、天上のからだの栄光と地上のからだの栄光とは異なっており、
41 太陽の栄光もあり、月の栄光もあり、星の栄光もあります。個々の星によって栄光が違います。
42 死者の復活もこれと同じです。朽ちるもので蒔かれ、朽ちないものによみがえらされ、

24 ①ロマ八・三八、②既ダニ二・四四、七・二四-二七、IIペテ二・二、③エペ六・一二
25 ①詩二・一、既マタ二二・四四
26 ①IIテモ一・一〇、既黙二〇・一四、二一・四
27 ①詩八・六、②エペ一・二二、ヘブ二・八、参マタ二一・二七、二六・六四
28 ①ピリ三・二一、②Iコリ一五・二八、既Iコリ三・二三
30 ①IIコリ一一・二六
31 ①参ロマ八・三六
32 ①Iコリ一六・八、九、参使一八・一九、②参IIコリ一・八(一〇)③イザ二二・一三、既イザ五六・一二、ルカ一二・一九
33 ①参Iコリ一五・三三
34 ①ロマ一三・一二、②既マタ二二・二九、使一六・八、③参Iコリ六・五
35 ①既ロマ九・一九、②既エゼ三七・三
36 ①参ルカ一一・四〇、②ヨハ一二・二四
38 ①創一・一一
42 ①ダニ一二・三、既マタ一三・四三、②Iコリ一五・五〇、ロマ八・二一、ガラ六・八、③参ロマ一・七

43 卑しいもので蒔かれ、栄光あるものによみがえらされ、弱いもので蒔かれ、強いものによみがえらされ、44 血肉のからだで蒔かれ、御霊に属するからだによみがえらされるのです。血肉のからだがあるのですから、御霊のからだもあるのです。45 聖書に「最初の人アダムは生きた者となった。」と書いてありますが、最後のアダムは、生かす御霊となりました。46 最初にあったのは血肉のものであり、御霊のものではありません。御霊のものはあとに来るのです。47 第一の人は地から出て、土で造られた者ですが、第二の人は天から出た者です。48 土で造られた者はみな、この土で造られた者に似ており、天からの者はみな、この天から出た者に似ているのです。49 私たちは土で造られた者のかたちを持っていたように、天上のかたちをも持つのです。

50 兄弟たちよ。私はこのことを言っておきます。血肉のからだは神の国を相続できません。朽ちるものは、朽ちないものを相続できません。51 聞きなさい。私はあなたがたに奥義を告げましょう。私たちはみなが眠ってしまうのではなく、みな変えられるのです。52 終わりのラッパとともに、たちまち、一瞬のうちにです。ラッパが鳴ると、死者は朽ちないものによみがえり、私たちは変えられるのです。53 朽ちるものは、必ず朽ちないものを着なければならず、死ぬものは、必ず不死を着なければならないからです。54 しかし、朽ちるものが朽ちないものを着、死ぬものが不死を着るとき、「死は勝利にのまれた。」としるされている、みことばが実現します。55 「死よ。おまえの勝利はどこにあるのか。死よ。おまえのとげはどこにあるのか。」56 死のとげは罪であり、罪の力は律法です。57 しかし、神に感謝すべきです。神は、私たちの主イエス・キリストによって、私たちに勝利を与えてくださいました。58 ですから、私の愛する兄弟たちよ。堅く立って、動かされることなく、いつも主のわざに励みなさい。あなたがたは自分たちの労苦が、主にあってむだでないことを知っているのですから。

16

1 さて、聖徒たちのための献金については、ガラテヤの諸教会に命じたように、あなたがたにもこう命じます。2 私がそちらに行ってから献金を集めるようなことがないように、あなたがたはおのおの、いつも週の初めの日に、収入に応じて、手もとにそれをたくわえておきなさい。3 私がそちらに行ったとき、あなたがたの承認を得た人々に手紙を持たせて派遣し、あなたがたの献金をエルサレムに届けさせましょう。

---

43 ①ピリ三・二、既コロ三・四
44 ①既Ⅰコリ二・一四
＊ 別訳「生まれながらのからだ」
②既Ⅰコリ一五・五
＊＊ 別訳「霊のからだ」
45 ①創二・七、②ロマ五・一四
③ヨハ五・二六、Ⅰテモ二・六、ロマハ・二
＊ 「来るのです」は補足
46 ①ヨハ三・三、②創二・七、三・二九
47 ①ヨハ三・三一、②創二・七
48 ①ピリ三・二〇、二一
49 ①創五・三、②既ロマハ・二九
＊ 異本「私たちも天上のかたちを帯びましょう」
50 ①既マタ六・一七、既Ⅰヨハ三・二、六
＊ 直訳「血と肉」
②既Ⅰコリ六・九、③既ロマ二・七
51 ＊ 直訳「見よ」
①既Ⅰコリ三・三、②既Ⅱコリ五・四
52 ①既マタ二四・三一、②既ヨハ五・六、③Ⅰテサ四・一六、一七
53 ①既ロマ二・七、②Ⅱコリ五・四
54 ①イザ二五・八
55 ①ホセ一三・一四
56 ①既ロマ五・二、②既ロマ三・二〇、二一、七・七、八
57 ①既Ⅱコリ二・一四、ロマセ・二五
②既ロマハ・三七、ヘブ二・一四、二五
Ⅰヨハ五・四、黙三・一四
58 ①既Ⅱペテ三・一四、②Ⅰコリ一五・一〇

1 ①既使八・三、②既使二四・一七
③既使六・五、④既Ⅰコリ四・一七
2 ①Ⅱコリ九・四、五、②既使二〇・七
3 ①既Ⅱコリ八・一八、一九、Ⅱコリ三・一

4 しかし、もし私も行くほうがよければ、彼らは、私
といっしょに行くことになるでしょう。
5 私は、マケドニヤを通って後、あなたがたのところ
へ行きます。マケドニヤを通るつもりでいますから。
6 そして、たぶんあなたがたのところに滞在するでし
ょう。冬を越すことになるかもしれません。それは、
どこに行くとしても、あなたがたに送っていただこう
と思うからです。
7 私は、いま旅の途中に、あなたがたの顔を見たいと
思っているのではありません。主がお許しになるなら、
あなたがたのところにしばらく滞在したいと願ってい
ます。
8 しかし、五旬節までは エペソに滞在するつもりで
す。
9 というのは、*働きのための広い門が私のために開か
れており、反対者も大ぜいいるからです。
10 テモテがそちらへ行ったら、あなたがたのところ
で心配なく過ごせるよう心を配ってください。彼も、
私と同じように、主のみわざに励んでいるからです。
11 だれも彼を軽んじてはいけません。彼を平安のうち
に送り出して、私のところに来させてください。私は、
彼が兄弟たちとともに来るのを待ち望んでいます。
12 兄弟アポロのことですが、兄弟たちといっしょにあ
なたがたのところへ行くように、私は強く彼に勧めま
した。しかし、彼は今、そちらへ行こうとは全然思っ
ていません。しかし、機会があれば行くでしょう。
13 目を覚ましていなさい。堅く信仰に立ちなさい。
男らしく、強くありなさい。
14 いっさいのことを愛をもって行ないなさい。
15 兄弟たちよ。あなたがたに勧めます。ご承知のよ
うに、ステパナの家族は、アカヤの初穂であって、聖
徒たちのために熱心に奉仕してくれました。
16 あなたがたは、このような人たちに、また、ともに
働き、労しているすべての人たちに服従しなさい。
17 ステパナとポルトナトとアカイコが*来たので、私は
喜んでいます。なぜなら、彼らは、あなたがたの足り
ない分を補ってくれたからです。
18 彼らは、私の心をも、あなたがたの心をも安心させて
くれました。このような人々の労をねぎらいなさい。
19 アジヤの諸教会がよろしくと言っています。アク
ラとプリスカ、また彼らの家の教会が主にあって心か
ら、あなたがたによろしくと言っています。
20 すべての兄弟たちが、あなたがたによろしくと言っ
ています。きよい口づけをもって、互いにあいさつを
かわしなさい。
21 パウロが、自分の手であいさつを書きます。
22 主を愛さない者はだれでも、のろわれよ。主よ、来
てください。
23 主イエスの恵みが、あなたがたとともにありますよ
うに。
24 私の愛は、キリスト・イエスにあって、あなたがた
すべての者とともにあります。*アーメン。

5 ①㊟ロマ一五・二四、②ガラ二・一
6 ①Ⅰコリ一六・三、②使一九・二一、㊟使二七・三
7 ①Ⅱコリ一・一五、一六
8 ①㊟使二〇・一六、②㊟使二〇・一六
9 *直訳「広い門と働き」 ①㊟使一四・二七、②使一九・九
10 ①㊟使一六・一〇、Ⅱコリ一四・一七、②Ⅰコリ一六・一〇
11 ①㊟使一五・三三、②㊟使一五・三三、㊟Ⅰテモ四・一二、㊟テト二・一五、③Ⅰコリ一六・六
12 ①㊟使一八・二四(Ⅰコリ一・一二、三・五、六)
13 ①マタ二四・四二、②ガラ六・一
ピリ一・二七、Ⅰテサ三・八、Ⅱテサ二・一五、㊟Ⅰコリ一六・一、③Ⅰサム四・九、Ⅱサム一〇・一二、イザ四六・八、④詩三一・二四、エペ六・一〇、㊟エペ六・一〇、コロ一・一一
14 ①㊟Ⅰコリ一四・一
15 ①Ⅰコリ一・一六、②㊟使一八・二、③ロマ一六・五、④㊟Ⅰコリ一六・一、ロマ一六・五
16 ①㊟Ⅰテサ五・一二、〈ヘブ一三・七〉
17 ①㊟Ⅱコリ七・六、七 *別訳「いてくれるのを」 ②ピリ二・三〇、㊟Ⅱコリ一一・九 *別訳「あなたがたの欠けたものを補って」
18 ①Ⅱコリ七・一三、ピレ七、二〇、②ピリ二・二九、Ⅰテサ五・一三
19 ①㊟使一六・六、②㊟使一八・二
20 ①㊟ロマ一六・一六
21 ①コロ四・一八、Ⅱテサ三・一七、ピレ一九、ガラ六・一一
22 ①㊟ロマ九・三 *ギリシヤ語「アナテマ」 ②㊟黙二二・二〇、ピリ四・五 *ギリシヤ語「マラナ・タ」
23 ①㊟ロマ一六・二〇
24 *異本「アーメン」を欠く

コリント人への手紙 第二

1

1 神のみこころによるキリスト・イエスの使徒パウロ、および兄弟テモテから、コリントにある神の教会、ならびにアカヤ全土にいるすべての聖徒たちへ。

2 私たちの父なる神と主イエス・キリストから、恵みと平安があなたがたの上にありますように。

3 私たちの主イエス・キリストの父なる神、慈愛の父、すべての慰めの神がほめたたえられますように。

4 神は、どのような苦しみのときにも、私たちを慰めてくださいます。こうして、私たちも、自分自身が神から受ける慰めによって、どのような苦しみの中にいる人をも慰めることができるのです。

5 それは、私たちにキリストの苦難があふれているように、慰めもまたキリストによってあふれているからです。

6 もし私たちが苦しみに会うなら、それはあなたがたの慰めと救いのためです。もし私たちが慰めを受けるなら、それもあなたがたの慰めのためで、その慰めは、私たちが受けている苦難と同じ苦難に耐え抜く力をあなたがたに与えるのです。

7 私たちがあなたがたについて抱いている望みは、動くことがありません。なぜなら、あなたがたが私たちと苦しみをともにしているように、慰めをもともにしていることを、私たちは知っているからです。

8 兄弟たちよ。私たちがアジヤで会った苦しみについて、ぜひ知っておいてください。私たちは、非常に激しい、耐えられないほどの圧迫を受け、ついにいのちさえも危くなり、

9 ほんとうに、自分の心の中で死を覚悟しました。これは、もはや自分自身を頼まず、死者をよみがえらせてくださる神により頼む者となるためでした。

10 ところが神は、これほどの大きな死の危険から、私たちを救い出してくださいました。また将来も救い出してくださいます。なおも救い出してくださるという望みを、私たちはこの神に置いているのです。

11 あなたがたも祈りによって、私たちを助けて協力してくださるでしょう。それは、多くの人々の祈りにより私たちに与えられた恵みについて、多くの人々が感謝をささげるようになるためです。

12 私たちがこの世の中で、特にあなたがたに対して、きよさと神から来る誠実さとをもって、人間的な知恵によらず、神の恵みによって行動していることは、私たちの良心のあかしするところであって、これこそ私たちの誇りです。

13 私たちは、あなたがたへの手紙で、あなたがたが読んで理解できること以外は何も書いていません。そして私は、あなたがたが十分に理解してくれることを望みます。

---

1 ①使Ⅰコリ一・一、②使ガラ一・二六、③エペ一・一、コロ一・一
2 ①使ロマ一・七
3 ①ロマ一五・六、②エペ一・三、Ⅰペテ一・三
4 ①Ⅱコリ七・六、七、一三、Ⅰペテ二・二、六、三
5 ①Ⅱコリ四・一〇、ピリ三・一〇、コロ一・二四
6 ①Ⅱテモ二・一〇、Ⅱコリ四・一二、一三、一五、エペ三・一三
7 ①使ロマ八・一七
8 ①使使二六・六、②使九・二三、Ⅰコリ一五・三二、③使ロマ一・一三
9 ①使ロマ一五・二一
10 ①使ロマ一五・三一
* あるいは「私たちは、この神が、これからも私たちを救い出してくださることを望んでいます」
②Ⅰテモ四・一〇
11 ①Ⅱコリ一五・三一、ピリ一・一九
* 「の祈り」は補足
12 ①使Ⅱコリ二・一七、②使Ⅰコリ一・一七、Ⅱコリ一・一二
* 直訳「肉の(知恵)」
③使使三・一、Ⅱペテ三・一六
13 ①使Ⅰコリ一・八
* 直訳「最後まで」

14 あなたがたは、ある程度は、私たちを理解しているのですから、私たちの主イエスの日には、あなたがたが私たちの誇りであるように、私たちもあなたがたの誇りであるということを、さらに十分に理解してくださるよう望むのです。

15 この確信をもって、私は次のような計画を立てました。まず初めにあなたがたのところへ行くことによって、あなたがたが恵みを二度受けられるようにしようとしたのです。

16 すなわち、あなたがたのところを通ってマケドニヤに行き、そしてマケドニヤから再びあなたがたのところに帰り、あなたがたに送られてユダヤに行きたいと思ったのです。

17 そういうわけですから、この計画を立てた私が、どうして軽率でありえたでしょう。それとも、私の計画は人間的な計画であって、私にとっては、「しかり、しかり。」は同時に、「否、否。」なのでしょうか。

18 しかし、神の真実にかけて言いますが、あなたがたに対する私たちのことばは、「しかり。」と言って、同時に「否。」と言うようなものではありません。

19 私たち、すなわち、私とシルワノとテモテとが、あなたがたに宣べ伝えた神の子キリスト・イエスは、「しかり。」と同時に「否。」であるような方ではありません。この方には「しかり。」だけがあるのです。

20 神の約束はことごとく、この方において「しかり。」となりました。それで私たちは、この方によって「アーメン。」と言い、神に栄光を帰するのです。

21 私たちをあなたがたといっしょにキリストのうちに堅く保ち、私たちに油を注がれた方は神です。

22 神はまた、確認の印を私たちに押し、保証として、御霊を私たちの心に与えてくださいました。

23 私はこのいのちにかけ、神を証人にお呼びして言います。私がまだコリントへ行かないでいるのは、あなたがたに対する思いやりのためです。

24 私たちは、あなたがたの信仰を支配しようとする者ではなく、あなたがたの喜びのために働く協力者です。あなたがたは、信仰に堅く立っているからです。

2

1 そこで私は、あなたがたを悲しませることになるような訪問は二度とくり返すまいと決心したのです。

2 もし私があなたがたを悲しませているのなら、私が悲しませているその人以外に、だれが私を喜ばせてくれるでしょうか。

3 あのような手紙を書いたのは、私が行くときには、私に喜びを与えてくれるはずの人たちから悲しみを与えられたくないからでした。それは、私の喜びがあなたがたすべての喜びであることを、あなたがたについて確信しているからです。

4 私は大きな苦しみと心の嘆きから、涙ながらに、あなたがたに手紙を書きました。それは、あなたがたを悲しませるためではなく、私があなたがたに対して抱いている、あふれるばかりの愛を知っていただきたい

---

14 ①参 I コリ 1:8 ②ロマ 1:9, II コリ 1:12, 2:6
15 ①比 I コリ 16:5, II コリ 1:16, 2:1 *異本「喜び」
16 *直訳「そして」 ①比使 16:9, I コリ 16:5-7 ②参ロマ 15:24, 32 ③参使 16:3, 比 I コリ 16:6, II コリ 1:11, ④参使 19:21
17 ①比 II コリ 1:23, 比 II コリ 1:1
18 ①参 I コリ 1:9, ②比 II コリ 1:17
19 ①I テサ 1:1, II テサ 1:1, I ペテ 5:12, 比使 15:32, ②参 II コリ 1:1, ③マタ 26:69, 26:73, 並他, 参マタ 10:32 ④比ヘブ 13:8
20 ①ロマ 15:8, ②比ヘブ 13:15, ③参 I コリ 1:20, 比黙 3:14
21 ①I コリ 1:8, ②比 I ヨハ 2:20, 27
22 ①参ヨハ 3:33, ②II コリ 5:5, エペ 1:14, 比ロマ 4:11 *あるいは「手付け金」
23 ①参ロマ 1:9, 比ガラ 1:20 ②II コリ 1:1, ③参 I コリ 10:1, 比 II コリ 1:23
24 ①I ペテ 5:3, 比 II コリ 10:4, 15, 二, ②ロマ 11:20 比 I コリ 16:1
1 ①比 I コリ 16:5, II コリ 12:21, II コリ 13:2
2 ①比 II コリ 7:8
3 ①II コリ 7:8, 12:21, 13 *「手紙を」は補足 ②比 I コリ 13:2, ③ガラ 5:10, II テサ 3:14
4 ①II コリ 2:9, 7:8, 12, 13

からでした。
5 もしある人が悲しみのもとになったとすれば、その人は、私を悲しませたというよりも、ある程度――というのは言い過ぎにならないためですが、――あなたがた全部を悲しませたのです。
6 その人にとっては、すでに多数の人から受けたあの処罰で十分ですから、
7 あなたがたは、むしろ、その人を赦し、慰めてあげなさい。そうしないと、その人はあまりにも深い悲しみに押しつぶされてしまうかもしれません。
8 そこで私は、その人に対する愛を確認することを、あなたがたに勧めます。
9 私が手紙を書いたのは、あなたがたがすべてのことにおいて従順であるかどうかをためすためであったのです。
10 もしあなたがたが人を赦すなら、私もその人を赦します。私が何かを赦したのなら、私の赦したことは、あなたがたのために、キリストの御前で赦したのです。
11 これは、私たちがサタンに欺かれないためです。私たちはサタンの策略を知らないわけではありません。
12 私が、キリストの福音のためにトロアスに行ったとき、主は私のために門を開いてくださいましたが、
13 兄弟テトスに会えなかったので、心に安らぎがなく、そこの人々に別れを告げてマケドニヤへ向かいました。
14 しかし、神に感謝します。神はいつでも、私たちを導いてキリストによる勝利の行列に加え、至る所で私たちを通して、キリストを知る知識のかおりを放ってくださいます。
15 私たちは、救われる人々の中でも、滅びる人々の中でも、神の前にかぐわしいキリストのかおりなのです。
16 ある人たちにとっては、死から出て死に至らせるかおりであり、ある人たちにとっては、いのちから出ていのちに至らせるかおりです。このような務めにふさわしい者は、いったいだれでしょう。
17 私たちは、多くの人のように、神のことばに混ぜ物をして売るようなことはせず、真心から、また神によって、神の御前でキリストにあって語るのです。

3

1 私たちはまたもや自分を推薦しようとしているのでしょうか。それとも、ある人々のように、あなたがたにあてた推薦状とか、あなたがたの推薦状とかが、私たちに必要なのでしょうか。
2 私たちの推薦状はあなたがたです。それは私たちの心にしるされていて、すべての人に知られ、また読まれているのです。
3 あなたがたが私たちの奉仕によるキリストの手紙であり、墨によってではなく、生ける神の御霊によって書かれ、石の板にではなく、人の心の板に書かれたものであることが明らかだからです。
4 私たちはキリストによって、神の前でこういう確信を持っています。

5 ①脚 I コリ五・二、三(?) *直訳「煩わしくないように」
6 ①脚 I コリ二四、五、脚 II コリ七・二
7 ①ガラ一・一、脚エペ四・三 ②脚 II コリ三・七、八 ③ピリ二・三
9 ①脚 II コリ二・六、七 ②脚 II コリセ・二、三、一〇、一六 ③脚 I コリ四・六 ④脚 II コリ四・六 ⑤脚マタ一二・一〇、②脚ルカ三・三、II コリ四・四、I ペテ五・八 ⑥脚 II コリ四・四、六、八、一三、一六、一八、二〇、等、②脚使二四・三三、三四、③脚使二・三七、④脚ロマ一五・一六 ⑤脚ロマ一・一六、I コリ一・一八、二・一三、八・六、脚ロマ一・一六、②脚ロマ三・二〇のギリシヤ語、③脚 I コリ一三・八、④エペ二・三、ピリ四・六、脚雅一・三、エゼ三四
10 ①脚 I コリ一五・四、II コリ四・六 ②脚マタ一二・一〇、②脚ルカ三・三、II コリ四・四、I ペテ五・八 ③脚 II コリ四・六、八、一三、一六、一八、二〇、二一、四、等、②脚使二四・三三、三四、③脚使二・三七、④脚ロマ一五・一六
11 ①脚マタ一二、I コリ一五・五、②脚ロマ一二・一、③脚マコ六・四、④脚ロマ一五・一六
12 ①脚 II コリセ・六、一四、八・八、一二、一八、ガラ二・二等
13 ①脚 II コリセ・六、三等 ②脚マコ六・四、③脚ロマ一五・一六
14 ①脚ロマ六・一七、I コリ一五・五、脚 II コリ八・六、九、一六、脚ロマ一六、②脚ロマ三・二〇のギリシヤ語、③脚 I コリ一三・八、④エペ二・三、ピリ四・六、脚雅一・三、エゼ三四
15 ①脚 I コリ一・六、②エペ五・三、ピリ四・六、脚雅一・三、エゼ三四
16 ①脚ルカ二・三四、ヨハ九・三九、I ペテ二・七、八、②脚 II コリ三・五、六
17 ①脚 II コリ四・二、脚ガラ一・六、九 *あるいは「神のことば」を腐敗させる（ようなことはせず）」 ②脚 II コリ二・一七、I コリ五・六、脚 II テサ二・四、I ペテ四・二 ③脚 II コリ一三・一、八・三・一一、二、脚使八・一七、ロマ一六・一 ④脚 II コリ八・二 ⑤脚 II コリ三・六、八、③脚 II コリ三・七、出三四・二八、三二・六、三三・六、④エレ三一・三三、脚 II コリ三・二九 *直訳「肉の心」 ⑥箴三・三、七・三、エレ一七・一

5 何事かを自分のしたことと考える資格が私たち自身にあるというのではありません。私たちの資格は神からのものです。
6 神は私たちに、新しい契約に仕える者となる資格を下さいました。[3]文字に仕える者ではなく、御霊に仕える者です。文字は殺し、[4]御霊は生かすからです。
7 もし石に刻まれた文字による、[3]死の務めにも栄光があって、モーセの顔の、やがて消え去る栄光のゆえにさえ、イスラエルの人々がモーセの顔を見つめることができなかったほどだとすれば、
8 まして、御霊の務めには、どれほどの栄光があることでしょう。
9 [1]罪に定める務めに栄光があるのなら、[2]義とする務めには、なおさら、栄光があふれるのです。
10 そして、かつて栄光を受けたものは、このばあい、さらにすぐれた栄光のゆえに、栄光のないものになっているからです。
11 もし消え去るべきものにも栄光があったのなら、永続するものには、なおさら栄光があるはずです。
12 [1]このような望みを持っているので、私たちはきわめて大胆に語ります。
13 そして、モーセが、消えうせるものの[1]最後をイスラエルの人々に見せないように、顔におおいを掛けたようなことはしません。
14 しかし、イスラエルの人々の思いは[1]鈍くなったのです。というのは、今日に至るまで、[2]古い契約が朗読されるときに、同じおおいが掛けられたまま*で、取りのけられてはいません。なぜなら、それはキリストによって取り除かれるものだからです。
15 かえって、今日まで、モーセの書が朗読されるときはいつでも、彼らの心にはおおいが掛かっているのです。
16 しかし、人が[1]主に向くなら、そのおおいは取り除かれるのです。
17 主は御霊です。そして、[1]主の御霊のあるところには[2]自由があります。
18 私たちはみな、顔のおおいを取りのけられて、[1]*鏡のように[2]主の栄光を反映させながら、栄光から栄光へと、主と同じ姿に変えられて行きます。これはまさに、[3]御霊なる主の働きによるのです。

4

1 こういうわけで、私たちは、あわれみを受けてこの務めに[1]任じられているのですから、[2]勇気を失うことなく、
2 恥ずべき隠された事を捨て、悪巧みに歩まず、神のことばを曲げず、真理を明らかにし、神の御前で自分自身をすべての人の良心に推薦しています。
3 それでもなお私たちの福音におおいが掛かっているとしたら、それは、滅びる人々のばあいに、おおいが掛かっているのです。
4 そのばあい、[1]この[2]世の神が不信者の思いをくらませて、[3]神のかたちであるキリストの栄光にかかわる福音の光を輝かせないようにしているのです。

5 ①脚Ⅰコリ一五・一〇
6 ①脚ルカ二二・二〇、②脚Ⅰコリ一一・二五、③脚ロマ二・二九、④ヨハ六・六三、ロマセ・六
7 ①Ⅱコリ三・九、ロマセ・五、六、ガラ三・一〇、二三、②Ⅱコリ三・一一、出三四・二九―三五、③Ⅱコリ三・一三、出三四・二九―三五、④Ⅱコリ三・一四、出三四・二九―三五、ヘブ一〇・一、二、③脚申二七・二六
8 ①Ⅱコリ三・九、②Ⅱコリセ・四
9 ①脚Ⅱコリ三・七、脚申二七・二六
10 ①Ⅱコリセ・四、②Ⅱコリセ・四
11 ①脚ロマ二・七、脚使四・三三、二九
12 ①Ⅱコリセ・四、②Ⅱコリセ・四
13 ①脚Ⅱコリ三・七
14 ①脚ロマ二・七、脚Ⅱコリ四・三、②脚Ⅱコリ三・六、③脚使三・二五
*別訳「(掛けられて)います。それがキリストにあって取り除かれることが、まだ啓示されていなかったからです」
16 ①出三四・三四、ロマ二・二五
17 ①ガラ四・六、脚イザ六一・一、②ヨハ八・三二、ガラ五・一、一三
18 ①Ⅰコリ一三・一二
*あるいは「主の栄光を鏡に映すように見ながら」
②Ⅱコリ四・六、脚ヨハ一七・二二、四、ロマ八・二九
③Ⅱコリ三・七
4 ①脚Ⅱコリ一一・一四、②ヨハ一二・三一、③脚Ⅱコリ四・四、④コロ一・一三、脚ピリ二・六、ヘブ一・三、ヨハ一・八
⑤Ⅱコリ三・一六、⑥Ⅱコリ四・六

5 私たちは自分自身を宣べ伝えるのではなく、主なるキリスト・イエスを宣べ伝えます。私たち自身は、イエスのために、あなたがたに仕えるしもべなのです。
6 「光が、やみの中から輝き出よ。」と言われた神は、私たちの心を照らし、キリストの御顔にある神の栄光を知る知識を輝かせてくださったのです。
7 私たちは、この宝を、土の器の中に入れているのです。それは、この測り知れない力が神のものであって、私たちから出たものでないことが明らかにされるためです。
8 私たちは、四方八方から苦しめられますが、窮することはありません。途方にくれていますが、行きづまることはありません。
9 迫害されていますが、見捨てられることはありません。倒されますが、滅びません。
10 いつでもイエスの死をこの身に帯びていますが、それは、イエスのいのちが私たちの身において明らかに示されるためです。
11 私たち生きている者は、イエスのために絶えず死に渡されていますが、それは、イエスのいのちが私たちの死ぬべき肉体において明らかに示されるためなのです。
12 こうして、死は私たちのうちに働き、いのちはあなたがたのうちに働くのです。
13 「私は信じた。それゆえに語った。」と書いてあるとおり、それと同じ信仰の霊を持っている私たちも、信じているゆえに語るのです。
14 それは、主イエスをよみがえらせた方が、私たちをもイエスとともによみがえらせ、あなたがたといっしょに御前に立たせてくださることを知っているからです。
15 すべてのことはあなたがたのためであり、それは、恵みがますます多くの人々に及んで感謝が満ちあふれ、神の栄光が現われるようになるためです。
16 ですから、私たちは勇気を失いません。たとい私たちの外なる人は衰えても、内なる人は日々新たにされています。
17 今の時の軽い患難は、私たちのうちに働いて、測り知れない、重い永遠の栄光をもたらすからです。
18 私たちは、見えるものにではなく、見えないものにこそ目を留めます。見えるものは一時的であり、見えないものはいつまでも続くからです。

5

1 私たちの住まいである地上の幕屋がこわれても、神の下さる建物があることを、私たちは知っています。それは、人の手によらない、天にある永遠の家です。
2 私たちはこの幕屋にあってうめき、この天から与えられる住まいを着たいと望んでいます。
3 それを着たなら、私たちは裸の状態になることはないからです。
4 確かにこの幕屋の中にいる間は、私たちは重荷を負って、うめいています。それは、この幕屋を脱ぎたい

---

5 ①Ⅰテサ二・六、七 *あるいは「によると」
6 ①創一・三、②Ⅱコリ四・四、Ⅱペテ一・九、③Ⅱコリ四・四、使六六・一八、Ⅱコリ五・一、Ⅱテモ一・一〇、ヨハ一・四、五、八・一二、ヨハ一二・四六、ヨハ一二・三五、③Ⅰコリ一・五、Ⅱ士七・二
8 ①Ⅱコリ七・五、Ⅱコリ一・八、②Ⅱコリ六・三、③ガラ四・一三
9 ①詩三四・一九、ロマ八・三五、三七、②ヘブ一三・六、Ⅱ詩一一八・一三、③Ⅱ詩一〇七・二四、箴二四・一六
10 ①詩ロマ六・八、三六、Ⅱガラ六・一七、②詩ロマ六・八
13 ①詩一一六・一〇、②詩ロマ一〇・一〇、Ⅰコリ一三・九
14 ①詩使二・二四、②Ⅰテサ四・一四、③エペ五・二七、コロ一・二二、Ⅱコリ一一・二、Ⅱルカ二〇・三六
15 ①詩Ⅱコリ一・六、Ⅱロマ八・三六、②Ⅱコリ一・二、Ⅱコリ九・一二 *直訳「多くの人によって増し加わり」
16 ①詩Ⅱコリ四・一、②詩ロマ七・二三、③Ⅱコロ三・一〇、イザ四四・六、三
17 ①Ⅱロマ八・一八
18 ①Ⅱコリ四・七、Ⅱロマ八・二四
1 *直訳「地上の幕屋の家」 ①Ⅰコリ一五・四七、Ⅱコリ四・七、ヨブ四・一九、②Ⅱペテ一・一三、一四、③詩マ一四・一五、使七・四八、ヘブ九・二、二四
2 ①ロマ八・二三、Ⅱコリ五・四 ②Ⅱコリ一五・五三、Ⅱコリ五・四
4 ①詩Ⅱコリ五・二

と思うからでなく、かえって天からの住まいを着たいからです。そのことによって、死ぬべきものがいのちにのまれてしまうためにです。
5 私たちをこのことにかなう者としてくださった方は神です。神は、その保証として御霊を下さいました。
6 そういうわけで、私たちはいつも心強いのです。ただし、私たちが肉体にいる間は、主から離れているということも知っています。
7 確かに、私たちは見るところによってではなく、信仰によって歩んでいます。
8 私たちはいつも心強いのです。そして、むしろ肉体を離れて、主のみもとにいるほうがよいと思っています。
9 そういうわけで、肉体の中にあろうと、肉体を離れていようと、私たちの念願とするところは、主に喜ばれることです。
10 なぜなら、私たちはみな、キリストのさばきの座に現われて、善であれ悪であれ、各自その肉体にあってした行為に応じて報いを受けることになるからです。
11 こういうわけで、私たちは、主を恐れることを知っているので、人々を説得しようとするのです。私たちのことは、神の御前に明らかです。しかし、あなたがたの良心にも明らかになることが、私の望みです。
12 私たちはまたも自分自身をあなたがたに推薦しようとするのではありません。ただ、私たちのことを誇る機会をあなたがたに与えて、心においてではなく、うわべのことで誇る人たちに答えることができるようにさせたいのです。
13 もし私たちが気が狂っているとすれば、それはただ神のためであり、もし正気であるとすれば、それはただあなたがたのためです。
14 というのは、キリストの愛が私たちを取り囲んでいるからです。私たちはこう考えました。ひとりの人がすべての人のために死んだ以上、すべての人が死んだのです。
15 また、キリストがすべての人のために死なれたのは、生きている人々が、もはや自分のためにではなく、自分のために死んでよみがえった方のために生きるためなのです。
16 ですから、私たちは今後、人間的な標準で人を知ろうとはしません。かつては人間的な標準でキリストを知っていたとしても、今はもうそのような知り方はしません。
17 だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、すべてが新しくなりました。
18 これらのことはすべて、神から出ているのです。神は、キリストによって、私たちをご自分と和解させ、また和解の務めを私たちに与えてくださいました。
19 すなわち、神は、キリストにあって、この世をご自分と和解させ、違反行為の責めを人々に負わせないで、和解のことばを私たちにゆだねられたのです。

---

4 ②脚 I コリ一五・五三、五四
③ I コリ一五・四九
5 ① II コリ一・二二、脚ロマ八・二三
* あるいは「手付け金」
6 ①脚ヘブ一一・一、一三
7 ①参 II コリ四・一八、 I コリ一三・一二
8 ①脚ヨハ一三・二六、ピリ一・二三
②脚ピリ一・二三
9 ①ロマ一四・一八、コロ一・一〇
10 ①参マタ二五・一四、脚使一〇・四二、ロマ一・六、一四・一〇、一二、エペ六・八
* 直訳「肉体による事がら（複数）」
11 ①ヘブ一〇・二二、一二・二九、ユダ三、② II コリ四・二
12 ①脚 II コリ三・一、②脚 II コリ一・一四、ピリ一・二六
13 ① II コリ一二・一、六以下、一二・一、直訳「狂って」いた
14 ①脚使二八・三九、②ロマ五・一五、六・六、七、ガラ二・二〇、コロ三・三
15 ①参ロマ一四・七九
16 ① II コリ一二・八、ピリ三・四
参ヨハ八・一五
* 直訳「肉によって」
17 ①参ロマ六・七
* あるいは「そこには新しい創造があります」
②参ガラ六・一五、ヨハ三・三
③脚イザ四三・一八、一九、六五・一七、エペ四・二四、黙二一・五
18 ①参 I コリ一二・一三、②コロ一・二〇、参ロマ五・一〇
③脚 I コリ三・五
19 ①脚コロ二・九、②ロマ四・八
脚 I コリ三・五

20 こういうわけで、私たちはキリストの使節[1]なのです。ちょうど神[2]が私たちを通して懇願しておられるようです。私たちは、キリストに代わって、あなたがたに願います。神の和解を受け入れなさい。[3]
21 神は、罪[1]を知らない方を、私たちの代わりに罪[2]とされました。それは、私たちが、この方にあって、神の義[3]となるためです。

6

1 私たち[1]は神[2]とともに働く者として、あなたがたに懇願[2]します。[3]神の恵みをむだに受けないようにしてください。
2 神は言われます。
「わたし[1]は、恵みの時にあなたに答え、
救いの日にあなたを助けた。」
確かに、今は恵みの時、今は救いの日です。
3 私たちは、この務めがそしられないために、どんなことにも人につまずきを与えないようにと、
4 あらゆることにおいて、自分を神のしもべ[1]として推[2]薦しているのです。すなわち非常な忍耐[3]と、悩みと、苦しみと、嘆きの中で、
5 また、むち打[1]たれるときにも、入獄[1]にも、暴動[2]にも、労役にも、徹夜にも、断食[3]にも、
6 また、純潔と知識と、忍耐[1]と親切[2]と、聖霊[3]と偽りのない愛と、
7 真理[1]のことばと神の力[2]により、また、左右の手に持っている義[3]の武器により、
8 また、ほめられたり、そしられたり、悪評[1]を受けたり、好評を博したりすることによって、自分を神のしもべ[1]として推薦しているのです。私たちは人をだます者のように見えても、真実であり、
9 人に知られないようでも、よく知られ、死にそうでも、見よ、生きており、*罰せられているようであっても、殺されず、
10 悲しんでいるようでも、いつも喜んでおり、貧しいようでも、多くの人を富ませ、何も持たないようでも、すべてのものを持っています。
11 コリントの人たち。私たちはあなたがたに包み隠すことなく話しました。私たちの心は広く開かれています。
12 あなたがたは、私たちの中で制約を受けているのではなく、自分の心で自分を窮屈にしているのです。
13 私は自分の子どもに対するように言います。それに報いて、あなたがたのほうでも心を広くしてください。
14 不信者と、つり合わぬくびきをいっしょにつけてはいけません。正義と不法とに、どんなつながりがあるでしょう。光と暗やみとに、どんな交わりがあるでしょう。
15 キリストとベリアルとに、何の調和があるでしょう。信者と不信者とに、何のかかわりがあるでしょう。
16 神の宮と偶像とに、何の一致があるでしょう。私たちは生ける神の宮なのです。神はこう言われました。
「わたし[1]は彼らの間に住み、また歩む。
わたしは彼らの神となり、

---

1 ①エペ六・二〇、②Ⅱコリ六・一、③コロ一・二五
2 ①ヘブ四・一四、七・二六、Ⅰペテ三・一八等、②ロマ八・三四、ガラ二・一七、③ロマ一〇・三、三
3 ①Ⅰコリ一五・九、②Ⅱコリ五・一八、③Ⅱコリ一二・三
1 ①Ⅰコリ三・九、②Ⅱコリ五・二〇、③Ⅱコリ一二・三
2 ①イザ四九・八
3 ①Ⅰコリ八・九、一三・九・三
4 ①Ⅰコリ三・五、Ⅱコリ二・二四、三・六、②Ⅱコリ七・四、③ロマ一三・五
5 ①使一六・三三、②Ⅱコリ一一・二三、③Ⅰテサ二・七、④ロマ一六・九
6 ①Ⅱコリ二・六、②Ⅱコリ一・三、三・六、③Ⅰテサ一・五、④Ⅱコリ三・一八
7 ①Ⅱコリ一〇・四、②Ⅱコリ一〇・五
8 ①Ⅰコリ四・一〇、②Ⅰコリ四・一三、③Ⅱコリ一一・六、④Ⅱコリ一一・等
9 ①ロマ六・五、②Ⅱコリ一・*あるいは、「懲戒されている」
10 ①Ⅱコリ七・四、Ⅰテサ一・六等、②Ⅱコリ六・九、③使三・六、④ロマ八・三二、Ⅰコリ三・二一
11 ①エペ六・二、②Ⅱコリ七・二、③Ⅱコリ七・三、イザ六三・五
12 ①Ⅱコリ七・二
13 ①Ⅱコリ六・一三、②Ⅱガラ四・一二
14 ①Ⅱコリ六・六、②申三二・一〇、③エペ五・七、一一
15 *直訳、信者はどんな部分を不信者とともに所有するのでしょう。①Ⅰコリ一〇・二一、②使二・一四
16 ①Ⅱコリ一〇・二一、②ヨハ一四・二三、③Ⅰコリ三・一六、④レビ二六・一二、出二九・四五、エレ三二・三八、⑤出三三・六、⑥出三二・一
17 ①エペ五・三一、②出二九・四五、③コロ二・一四
18 ①Ⅱコリ六・一、②Ⅱコリ一一・二、③ホセ一・一〇
19 ①ヘブ四・一五、七・二六、Ⅰペテ二・二二等、②ロマ八・三二、ガラ二・二〇、③ロマ一〇・三、三
20 ①エペ六・二〇、Ⅱコリ五・二〇、②Ⅱコリ六・一、③コロ一・二五
21 ①ヘブ四・一五、七・二六、Ⅰペテ二・二二等、②ロマ八・三二、ガラ二・二〇、③ロマ一〇・三、三
1 ①Ⅰコリ三・九、②Ⅱコリ五・二〇、③Ⅱコリ一二・三
2 ①イザ四九・八
3 ①Ⅰコリ八・九、一三・九・三
4 ①Ⅰコリ三・五、Ⅱコリ二・二四、三・六、②Ⅱコリ七・四、③ロマ一三・五
5 ①使一六・三三、②Ⅱコリ一一・二三、③Ⅰテサ二・七、④ロマ一六・九
6 ①Ⅱコリ二・六、②Ⅱコリ一・三、三・六、③Ⅰテサ一・五、④Ⅱコリ三・一八
7 ①Ⅱコリ一〇・四、②Ⅱコリ一〇・五
8 ①Ⅰコリ四・一〇、②Ⅰコリ四・一三、③Ⅱコリ一一・六、④Ⅱコリ一一・等
9 ①ロマ六・五、②Ⅱコリ一・*あるいは、「懲戒されている」
10 ①Ⅱコリ七・四、Ⅰテサ一・六等、②Ⅱコリ六・九、③使三・六、④ロマ八・三二、Ⅰコリ三・二一
11 ①エペ六・二、②Ⅱコリ七・二、③Ⅱコリ七・三、イザ六三・五
12 ①Ⅱコリ七・二
13 ①Ⅱコリ六・一三、②Ⅱガラ四・一二
14 ①Ⅱコリ六・六、②申三二・一〇、③エペ五・七、一一
15 *直訳、信者はどんな部分を不信者とともに所有するのでしょう。①Ⅰコリ一〇・二一、②使二・一四
16 ①Ⅱコリ一〇・二一、②ヨハ一四・二三、③Ⅰコリ三・一六、④レビ二六・一二、出二九・四五、エレ三二・三八、⑤出三三・六、⑥出三二・一

彼らはわたしの民となる。
[16]それゆえ、彼らの中から出て行き、
彼らと分離せよ、と主は言われる。
汚れたものに触れないようにせよ。
[17]そうすれば、わたしはあなたがたを受け入れ、
[18]わたしはあなたがたの父となり、
あなたがたはわたしの息子、娘となる、
と全能の主が言われる。」

7 1愛する者たち。私たちはこのような約束を与えられているのですから、いっさいの霊肉の汚れから自分をきよめ、神を恐れかしこんできよきを全うしようではありませんか。
2私たちに対して心を開いてください。私たちは、だれにも不正をしたことがなく、だれをもそこなったことがなく、だれからも利をむさぼったことがありません。
3責めるためにこう言うのではありません。前にも言ったように、あなたがたは、私たちとともに死に、ともに生きるために、私たちの心のうちにあるのです。
4私のあなたがたに対する信頼は大きいのであって、私はあなたがたを大いに誇りとしています。私は慰めに満たされ、どんな苦しみの中にあっても喜びに満ちあふれています。
5マケドニヤに着いたとき、私たちの身には少しの安らぎもなく、さまざまの苦しみに会って、外には戦い、うちには恐れがありました。
6しかし、*気落ちした者を慰めてくださる神は、テトスが来たことによって、私たちを慰めてくださいました。
7ただテトスが来たことばかりでなく、彼があなたがたから受けた慰めによっても、私たちは慰められたのです。あなたがたが私を慕っていること、嘆き悲しんでいること、また私に対して熱意を持っていてくれることを知らされて、私はますます喜びにあふれました。
8あの手紙によってあなたがたを悲しませたけれども、私はそれを悔いていません。あの手紙がしばらくの間であったにしろあなたがたを悲しませたのを見て、悔いたけれども、
9今は喜んでいます。あなたがたが悲しんだからではなく、あなたがたが悲しんで悔い改めたからです。あなたがたは*神のみこころに添って悲しんだので、私たちのために何の害も受けなかったのです。
10*神のみこころに添った悲しみは、*悔いのない、救いに至る悔い改めを生じさせますが、世の悲しみは死をもたらします。
11ご覧なさい。*神のみこころに添ったその悲しみが、あなたがたのうちに、どれほどの熱心を起こさせたことでしょう。また、弁明、憤り、恐れ、慕う心、熱意を起こさせ、処罰を断行させたことでしょう。あの問題について、あなたがたは、自分たちがすべての点で潔白であることを証明したのです。
12ですから、私はあなたがたに手紙を書きましたが、

17①イザ三五・二、②黙二六
18①ホセ一・一〇、イザ四三・六
②参ロマ八・一四
1①参ヘブ九・六、②ピリII一・二六、二八
2①ピリII二・三、三・三、三・一五
3①ピリII二・一二、②ピリ一・七
4①ピリII三・一二、②IIコリ七・一四、八・二四、九・三、ピリII一・二六
③IIテサ一・四、ピリ一・二六
③IIコリ一・四、④参IIコリ六・一〇
5①IIコリ二・一三、参ロマ一五・二六
②参IIコリ四・八、③申三二・三五
6*あるいは「へりくだった者」
①IIコリ七・一三、②IIコリ一三・四、③参IIコリ二・一三
・ピリII二・一三、一四
8①ピリII二・二
9*直訳「神によって」
10*直訳「神によった」
**あるいは「悔い改めに導いて、後悔のいらない救いを得させますが」
①ピリII一・二八
11*直訳「神による悲しみ」
①IIコリ七・七、②IIコリ二・六
③ピリII三・五
12①参IIコリ七・八、一三、九

それは悪を行なった人のためでもなく、その被害者のためでもなくて、私たちに対するあなたがたの熱心が、神の御前に明らかにされるためであったのです。
13 こういうわけですから、私たちは慰めを受けました。
この慰めの上にテトスの喜びが加わって、私たちはなおいっそう喜びました。テトスの心が、あなたがたすべてによって安らぎを与えられたからです。
14 私はテトスに、あなたがたのことを少しばかり誇りましたが、そのことで恥をかかずに済みました。というのは、私たちがあなたがたに語ったことがすべて真実であったように、テトスに対して誇ったことも真実となったからです。
15 彼は、あなたがたがみなよく言うことを聞き、恐れおののいて、自分を迎えてくれたことを思い出して、あなたがたへの愛情をますます深めています。
16 私は、あなたがたに全幅の信頼を寄せることができるのを喜んでいます。

8 1 さて、兄弟たち。私たちは、マケドニヤの諸教会に与えられた神の恵みを、あなたがたに知らせようと思います。
2 苦しみゆえの激しい試練の中にあっても、彼らの満ちあふれる喜びは、その極度の貧しさにもかかわらず、あふれ出て、その惜しみなく施す富となったのです。
3 私はあかしします。彼らは自ら進んで、力に応じ、いや力以上にささげ、
4 聖徒たちをささえる交わりの恵みにあずかりたいと、熱心に私たちに願ったのです。
5 そして、私たちの期待以上に、神のみこころに従って、まず自分自身を主にささげ、また、私たちにもゆだねてくれました。
6 それで私たちは、テトスがすでにこの恵みのわざをあなたがたの間で始めていたのですから、それを完了させるよう彼に勧めたのです。
7 あなたがたは、すべてのことに、すなわち、信仰にも、ことばにも、知識にも、あらゆる熱心にも、*私たちから出てあなたがたの間にある愛にも富んでいるように、この恵みのわざにも富むようになってください。
8 こうは言っても、私は命令するのではありません。ただ、他の人々の熱心さをもって、あなたがたの愛の真実を確かめたいのです。
9 あなたがたは、私たちの主イエス・キリストの恵みを知っています。すなわち、主は富んでおられたのに、あなたがたのために貧しくなられました。それは、あなたがたが、キリストの貧しさによって富む者となるためです。
10 この献金のことについて、私の意見を述べましょう。それはあなたがたの益になることだからです。あなたがたは、このことを昨年から、他に先んじて行なっただけでなく、このことを他に先んじて願った人たちです。
11 ですから、今、それをし遂げなさい。喜んでしようと思ったのですから、持っている物で、それをし遂げ

---

12 ②II コリ五・一、二
13 ①II コリセ・六、②㊇II コリ二・三、旧II コリセ・六、二四
③I コリ一六・八、
14 ①II コリセ・四、八、二三、旧II コリ二・八、II テサ二・四
ピリ二・二六、②㊇II コリ二・三、旧II コリセ・六、二
15 ①㊇II コリ二・九、②㊇ピリ二・二、旧I コリ二・一
*直訳「恐れとおののきをもって」
16 ①㊇II コリ二・一三
1 ①㊇使二・六九、②㊇II コリ八・一
2 ①㊇ロマ二・一四
3 ①II コリ八・一七、I コリ一六・二
4 ①II コリ八・六、二〇、九・一、三、
*直訳「に仕える」
②㊇ロマ一五・二六、使二四・一七
5 ①㊇I コリ一・二、②II コリ八・一
6 ①II コリ八・六、三、㊇II コリ二・三、七、③II コリ八・一〇
④㊇II コリ八・七、三・八
7 ①旧I コリ一六、三八、ロマ一五・二四
*直訳「あなたがたの中にある私たちからの愛」、異本「私たちに対するあなたがたの愛」
②II コリ九・八
8 ①I コリセ・六
9 ①II コリ三・一三、②ピリ二・六、七、㊇マタ八・二〇
旧I コリ六・一〇
10 ①I コリセ・二五、②II コリ九・二、旧I コリ六・二一
11 ①II コリ八・一、二九、九・二

ることができるはずです。
12もし熱意があるならば、持たない物によってではなく、持っている程度に応じて、それは受納されるのです。
13私はこのことによって、他の人々には楽をさせ、あなたがたには苦労をさせようとしているのではなく、平等を図っているのです。
14今あなたがたの余裕が彼らの欠乏を補うなら、彼らの余裕もまた、あなたがたの欠乏を補うことになるのです。こうして、平等になるのです。
15「多く集めた者も余るところがなく、少し集めた者も足りないところがなかった。」と書いてあるとおりです。
16私があなたがたのことを思うのと同じ熱心を、テトスの心にも与えてくださった神に感謝します。
17彼は私の勧めを受け入れ、非常な熱意をもって、自分から進んであなたがたのところに行こうとしています。
18また私たちは、テトスといっしょに、ひとりの兄弟を送ります。この人は、福音の働きによって、すべての教会で称賛されていますが、
19それればかりでなく、彼は、この恵みのわざに携わっている私たちに同伴するよう諸教会の任命を受けたのです。私たちがこの働きをしているのは、主ご自身の栄光のため、また、私たちの誠意を示すためにほかなりません。
20私たちは、この献金の取り扱いについて、だれからも非難されることがないように心がけています。
21それは、主の御前ばかりでなく、人の前でも公明正大なことを示そうと考えているからです。
22また、彼らといっしょに、もうひとりの兄弟を送ります。私たちはこの兄弟が多くのことについて熱心であることを、しばしば認めることができました。彼は今、あなたがたに深い信頼を寄せ、ますます熱心になっています。
23テトスについて言えば、彼は私の仲間で、あなたがたの間での私の同労者です。兄弟たちについて言えば、彼らは諸教会の使者、キリストの栄光です。
24ですから、あなたがたの愛と、私たちがあなたがたを誇りとしている証拠とを、諸教会の前で、彼らに示してほしいのです。

9

1聖徒たちのためのこの奉仕については、いまさら、あなたがたに書き送る必要はないでしょう。
2私はあなたがたの熱意を知り、それについて、あなたがたのことをマケドニヤの人々に誇って、アカヤでは昨年から準備が進められていると言ったのです。こうして、あなたがたの熱心は、多くの人を奮起させました。
3私が兄弟たちを送ることにしたのは、このばあい、私たちがあなたがたについて誇ったことがむだにならず、私が言っていたとおりに準備していてもらうため

12①既マコ三・四四、ルカ二・三、IIコリ九・七
14①既IIコリ九・三、使四・三四
15①出一六・一八
16①黙二・一九、②IIコリ八・六、三、既IIコリ二・一四
17①IIコリ八・六、三・一六
18①IIコリ三・一八、既Iコリ一六・三、②既IIコリ三・三、③既Iコリセ・一七、一七
19①既ロマ一六、②IIコリ八・四、六、③既Iコリ一六・三、四、使二四・三、④IIコリ八・一八、二九・二
21①既ロマ一四・一八、②ロマ一二・一七
23①既IIコリ八・六、*直訳「にとっては」、②ピレセ、③IIコリ八・二三、④ピリ二・二五、既ヨハ一三・二〇、*直訳「使徒」、⑤既Iコリ一二・七
24①既IIコリセ・一四
1①既IIコリ八・一四、②既Iテサ一四・九
2①既ロマ一五・二六、②既IIコリセ・一四、③既使一八・三、④IIコリ八・一〇
3①既IIコリセ・一四、②Iコリ一六・二

です。
4そうでないと、もしマケドニヤの人が私といっしょに行って、準備ができていないのを見たら、あなたがたはもちろんですが、私たちも、このことを確信していただけに、恥をかくことになるでしょう。
5そこで私は、兄弟たちに勧めて、先にそちらに行かせ、前に約束したあなたがたの贈り物を前もって用意していただくことが必要だと思いました。どうか、この献金を、惜しみながらするのではなく、好意に満ちた贈り物として用意しておいてください。
6私はこう考えます。少しだけ蒔く者は、少しだけ刈り取り、豊かに蒔く者は、豊かに刈り取ります。
7ひとりひとり、いやいやながらでなく、強いられてでもなく、心で決めたとおりにしなさい。神は喜んで与える人を愛してくださいます。
8神は、あなたがたを、常にすべてのことに満ち足りて、すべての良いわざにあふれる者とするために、あらゆる恵みをあふれるばかり与えることのできる方です。
9「この人は散らして、貧しい人々に与えた。
その義は永遠にとどまる。」
と書いてあるとおりです。
10蒔く人に種と食べるパンを備えてくださる方は、あなたがたにも蒔く種を備え、それをふやし、あなたがたの義の実を増し加えてくださいます。
11あなたがたは、あらゆる点で豊かになって、惜しみなく与えるようになり、それが私たちを通して、神への感謝を生み出すのです。
12なぜなら、この奉仕のわざは、聖徒たちの必要を十分に満たすばかりでなく、神への多くの感謝を通して、満ちあふれるようになるからです。
13このわざを証拠として、彼らは、あなたがたがキリストの福音の告白に対して従順であり、彼らに、またすべての人々に惜しみなく与えていることを知って、神をあがめることでしょう。
14また彼らは、あなたがたのために祈るとき、あなたがたに与えられた絶大な神の恵みのゆえに、あなたがたを慕うようになるのです。
15ことばに表わせないほどの賜物のゆえに、神に感謝します。

10

1さて、私パウロは、キリストの柔和と寛容をもって、あなたがたにお勧めします。私は、あなたがたの間にいて、面と向かっているときはおとなしく、離れているあなたがたに対しては強気な者です。
2しかし、私は、あなたがたのところに行くときには、私たちを肉に従って歩んでいるかのように考える人々に対して勇敢にふるまおうと思っているその確信によって、強気にふるまうことがなくて済むように願っています。
3私たちは肉にあって歩んではいても、肉に従って戦ってはいません。

4①㊐ロマ五・二六
5①Ⅱコリ九・三、②創三一・二七・一三他、㊐Ⅱコリ八・六
＊直訳「祝福」
③㊐Ⅱコリ三・一七、六
＊＊直訳「貪欲のようにでなく」
6①㊐箴二二・二四、三五・二九、ガラ六・七、九
＊直訳「祝福をもって」
7①申一五・一〇、Ⅰ歴二九・一七
ロマ三・六、㊐Ⅱコリ八・一二
②箴三八（七十人訳）、出三五・二、㊐Ⅱコリ八・三
8①㊐エペ三・二〇
9①詩一一二・九
10①イザ五五・一〇、②㊐ホセ一〇・一二
11①Ⅰコリ一・五、②㊐Ⅱコリ一・一二
12①㊐Ⅱコリ八・一四、②㊐Ⅱコリ九・一二
13①㊐Ⅱコリ八・四、㊐ロマ一五・三一
②㊐Ⅱコリ九・一三
③Ⅰテモ四・一三、一六、ヘブ三・一、一〇・三五
＊あるいは「わかち合っていることを知って」
④㊐マタ九・八
15①ロマ一五・二六、②㊐Ⅱコリ八・一
1①ガラ五・二、エペ三・一、㊐Ⅱコロ一・二三、②マタ一一・二九、㊐Ⅰコリ一四・二〇、ピリ二・五、③㊐ロマ一二・一、④㊐Ⅱコリ一〇・一、㊐Ⅰコリ二・三
＊直訳「謙遜であるが」
2①㊐Ⅱコリ一三・一〇、㊐Ⅰコリ四・二一、②㊐Ⅱコリ一・一七、ロマ八・四、③㊐Ⅰコリ四・一八、一九
3①㊐Ⅱコリ一・一七、ロマ八・四

4 私たちの戦いの武器は、肉の物ではなく、神の御前で、要塞をも破るほどに力のあるものです。
5 私たちは、さまざまの思弁と、神の知識に逆らって立つあらゆる高ぶりを打ち砕き、すべてのはかりごとをとりこにしてキリストに服従させ、
6 また、あなたがたの従順が完全になるとき、あらゆる不従順を罰する用意ができているのです。
7 あなたがたは、うわべのことだけを見ています。もし自分はキリストに属する者だと確信している人がいるなら、その人は、自分がキリストに属しているように、私たちもまたキリストに属しているということを、もう一度、自分でよく考えなさい。
8 あなたがたを倒すためにではなく、立てるために主が私たちに授けられた権威については、たとい私が多少誇りすぎることがあっても、恥とはならないでしょう。
9 私は手紙であなたがたをおどしているかのように見られたくありません。
10 彼らは言います。「パウロの手紙は重みがあって力強いが、実際に会ったあいの彼は弱々しく、その話しぶりは、なっていない。」
11 そういう人はよく承知しておきなさい。離れているときに書く手紙のことばがそうなら、いっしょにいるときの行動もそのとおりです。
12 私たちは、自己推薦をしているような人たちの中のだれかと自分を同列に置いたり、比較したりしようなどとは思いません。しかし、彼らが自分たちの間で自分を量ったり、比較したりしているのは、知恵のないことなのです。
13 私たちは、限度を越えて誇りはしません。私たちがあなたがたのところまで行くのも、神が私たちに量って割り当ててくださった限度内で行くのです。
14 私たちは、あなたがたのところまでは行かないのに無理に手を伸ばしているのではありません。事実、私たちは、キリストの福音を携えてあなたがたのところにまで行ったのです。
15 私たちは、自分の限度を越えてほかの人の働きを誇ることはしません。ただ、あなたがたの信仰が成長し、あなたがたによって、私たちの領域内で私たちの働きが広げられることを望んでいます。
16 それは、私たちがあなたがたの向こうの地域にまで福音を宣べ伝えるためであって、決して他の人の領域でなされた働きを誇るためではないのです。
17 誇る者は、主にあって誇りなさい。
18 自分で自分を推薦する人でなく、主に推薦される人こそ、受け入れられる人です。

11

1 私の少しばかりの愚かさをこらえていただきたいと思います。いや、
あなたがたはこらえているのです。
2 というのも、私は神の熱心をもって、熱心にあなたがたのことを思っているからです。私はあなたがたを、清純な処女として、ひとりの人の花嫁に定め、キリス

4 ①参Ⅱコリ六・七、Ⅰテモ一・一八、②Ⅱ使七・三注、③エレ一・一〇、Ⅱコリ一〇・八、一三・一〇
5 ①Ⅱコリ一一・一二、②参Ⅱコリ三・九
6 ①参Ⅱコリ一三・九　*別訳「あなたがたの前にあなたがたは、うわべのことばかり見ていないのですか。」
7 *直訳「あなたがたの顔の前にあること」　①Ⅰコリ一・一二、Ⅱコリ一〇・七、③Ⅱコリ一一・一三、Ⅱコリ一二・一一、ガラ一・一二、Ⅱコリ一〇・一、②Ⅱコリ一一・五
8 ①Ⅱコリ一三・一〇、②Ⅱコリ七・一四　*あるいは「大いに誇ったとしても」
10 *直訳「そのからだでいるのは弱々しく」　①Ⅰコリ二・三、Ⅱコリ一〇・一、ガラ四・一三、一四、②Ⅱコリ一一・六、Ⅱコリ一二・六
12 ①Ⅱコリ一〇・一二、一八
13 ①Ⅱコリ一〇・一五、②参ロマ一二・三、Ⅱコリ一〇・一五、一六
14 ①参Ⅱコリ一一・三、②参Ⅰコリ一二・六
15 ①Ⅱコリ一〇・一三、②参ロマ一五・二〇、③Ⅱテサ一・三　*別訳「重んじられるようになること」
16 ①使一六・二一、②Ⅱコリ一二・七　*直訳「準備された」
17 ①エレ九・二四、参Ⅰコリ一・三一、Ⅱコリ一〇・一三、②Ⅱコリ一二・一一、一二、一八、Ⅱコリ一三・三、Ⅱコリ一二・一八　*別訳「私を忍んでください」
18 ①Ⅱコリ一〇・一二、②参ロマ一二・三、②Ⅱコリ一二・一八、Ⅱコリ一二・一八　*別訳「私を忍んでください」
2 ①ホセ二・二、三、エペ五・二六、二七

トにささげることにしたからです。
3 しかし、蛇が悪巧みによってエバを欺いたように、万一にもあなたがたの思いが汚されて、キリストに対する真実と貞潔を失うことがあってはと、私は心配しています。
4 というわけは、ある人が来て、私たちの宣べ伝えなかった別のイエスを宣べ伝えたり、あるいはあなたがたが、前に受けたことのない異なった霊を受けたり、受け入れたことのない異なった福音を受けたりするときも、あなたがたはみごとにこらえているからです。
5 私は自分をあの大使徒たちに少しでも劣っているとは思いません。
6 たとい、話は巧みでないにしても、知識についてはそうではありません。私たちは、すべての点で、いろいろなばあいに、そのことをあなたがたに示して来ました。
7 それとも、あなたがたを高めるために、自分を低くして報酬を受けずに神の福音をあなたがたに宣べ伝えたことが、私の罪だったのでしょうか。
8 私は他の諸教会から奪い取って、あなたがたに仕えるための給料を得たのです。
9 あなたがたのところにいて困窮していたときも、私はだれにも負担をかけませんでした。マケドニヤから来た兄弟たちが、私の欠乏を十分に補ってくれたのです。私は、万事につけあなたがたの重荷にならないようにしましたし、今後もそうするつもりです。
10 私にあるキリストの真実にかけて言います。アカヤ地方で私のこの誇りが封じられることは決してありません。
11 なぜでしょう。私があなたがたを愛していないからでしょうか。神はご存じです。
12 しかし、私は、今していることを今後も、し続けるつもりです。それは、私たちと同じように誇るところがあるとみなされる機会をねらっている者たちから、その機会を断ち切ってしまうためです。
13 こういう者たちは、にせ使徒であり、人を欺く働き人であって、キリストの使徒に変装しているのです。
14 しかし、驚くには及びません。サタンさえ光の御使いに変装するのです。
15 ですから、サタンの手下どもが義のしもべに変装したとしても、格別なことはありません。彼らの最後はそのしわざにふさわしいものとなります。
16 くり返して言いますが、だれも、私を愚かと思ってはなりません。しかし、もしそう思うなら、私を愚か者扱いにしなさい。私も少し誇ってみせます。
17 これから話すことは、主によって話すのではなく、愚か者としてする思い切った自慢話です。
18 多くの人が肉によって誇っているので、私も誇ることにします。
19 あなたがたは賢いのに、よくも喜んで愚か者たちをこらえています。
20 事実、あなたがたは、だれかに奴隷にされても、食い尽くされても、だまされても、いばられても、顔を

2 ②脱II コリ一二四
3 ①創三・四、三、Iテモ二・一四、黙二・九、一四、ヨ 八八節、Iテサ三・五
4 ①脱I コリ一二、一、②脱ロマ八・一四、③ガラ・六、④脱マコ七・九、⑤脱II コリ一一・一、ガラ二・六
5 ①脱I コリ一二・一七、②脱I コリ一二・八、脱エペ三・四、③II コリ一一・二、②脱I コリ九・一八、使一六・三、脱II コリ一二・一三
6 ①脱I コリ一二・一、②脱I コリ一二・八、脱エペ三・四、③II コリ一一・二、②脱I コリ九・一八、使一六・三、脱II コリ一二・一三
7 ①II コリ一一・七、②脱I コリ九・一八、使一六・三、脱II コリ一一・一三
8 ①ピリ四・一五、一八、脱I コリ四・一四、一五、六
9 ①II コリ一一・一二、一四、一八
10 ①脱ロマ九・一、脱ロマ一・九、②脱使六・一二、③I コリ九・一五
11 ①II コリ一二・一五、②II コリ一二・一、脱II コリ一三・三、ロマ一・九、II コリ一一・七
12 ①脱I コリ九・一二
13 ①黙二・九、ガラ二・四、使一五・一、ピリ一・一五、テト一・一〇、一一、IIペテ二・一
14 ①脱マタ四・一〇、脱エペ六・一二、②コロ一・一三
15 ①脱ロマ六・一六、八
16 ①脱II コリ一一・一
17 ①脱I コリ七・一二、一五
18 ①脱II コリ一一・一六、②脱ピリ三・四
19 ①I コリ四・一〇
20 ①ガラ二・四、脱II コリ一一・二〇、ガラ四・三、五、六、②マコ一二・四、③脱ルカ五・五、II コリ一二・一、④脱II コリ一〇・一五、⑤脱I コリ四・一二

たたかれても、こらえているではありませんか。
21 言うのも恥ずかしいことですが、言わなければなりません。私たちは弱かったのです。しかし、人があえて誇ろうとすることなら、——私は愚かになって言いますが、——私もあえて誇りましょう。
22 彼らはヘブル人ですか。私もそうです。彼らはイスラエル人ですか。私もそうです。彼らはアブラハムの子孫ですか。私もそうです。
23 彼らはキリストのしもべですか。私は狂気したように言いますが、私は彼ら以上にそうなのです。私の労苦は彼らよりも多く、牢に入れられたことも多く、また、むち打たれたことは数えきれず、死に直面したこともしばしばでした。
24 ユダヤ人から三十九のむちを受けたことが五度、
25 むちで打たれたことが三度、石で打たれたことが一度、難船したことが三度あり、一昼夜、海上を漂ったこともあります。
26 幾度も旅をし、川の難、盗賊の難、同国民から受ける難、異邦人から受ける難、都市の難、荒野の難、海上の難、にせ兄弟の難に会い、
27 労し苦しみ、たびたび眠られぬ夜を過ごし、飢え渇き、しばしば食べ物もなく、寒さに凍え、裸でいたこともありました。
28 このような外から来ることのほかに、日々私に押しかかる諸教会への心づかいがあります。
29 だれかが弱くて、私が弱くない、ということがあるでしょうか。だれかがつまずいていて、私の心が激しく痛まないでおられましょうか。
30 もしどうしても誇る必要があるなら、私は自分の弱さを誇ります。
31 主イエス・キリストの父なる神、永遠にほめたたえられる方は、私が偽りを言っていないのをご存じです。
32 ダマスコではアレタ王の代官が、私を捕えようとしてダマスコの町を監視しました。
33 そのとき私は、城壁の窓からかごでつり降ろされ、彼の手をのがれました。

12

1 無益なことですが、誇るのもやむをえないことです。私は主の幻と啓示のことを話しましょう。
2 私はキリストにあるひとりの人を知っています。この人は十四年前に——肉体のままであったか、私は知りません。肉体を離れてであったか、それも知りません。神はご存じです。——第三の天にまで引き上げられました。
3 私はこの人が、——それが肉体のままであったか、肉体を離れてであったかは知りません。神はご存じです。——
4 パラダイスに引き上げられて、人間には語ることを許されていない、口に出すことのできないことばを聞いたことを知っています。
5 このような人について私は誇るのです。しかし、私

21 ①比 II コリ六・八、 ②II コリ一〇・一〇、 ③比 II コリ一〇・二
22 ①参使六・一、 ②ピリ三・五 ③ロマ九・四、 ④ガラ一・一六 ⑤ロマ一一・一
23 ①II コリ三・六、参 I コリ三・五 ②参 I コリ一五・一〇 ③II コリ六・五、 ④使一六・三三 II コリ六・五、 ⑤参ロマ八・三六
24 ①申二五・三 *直訳「四十に一つ足りない」
25 ①使一六・三、 ②使一四・一九
26 ①比使九・二三、二四、参一四・五、一四・六、一五、一七、二四、二五、等、 ②比使一三・五、一四、一五、一六、一九、以下、一七・一四、一五、 ③使二・三三 ④ガラ二・一四
27 ①I テサ三・六、 II テサ三・八 ②I コリ四・一一、ピリ四・一二 ③II コリ六・五、 ④I コリ四・一一 いろいろのこと
28 *別訳「言及されなかった」
29 ①参 I コリ七・一七 ②I コリ九・二二、比 I コリ八・九、一三
30 ①参 I コリ三・三
31 ①参ロマ一・二五、 ②参 II コリ一一・一一
32 ①使九・二三、 ②使九・二四
33 ①比使九・二五
1 ①II コリ一二・一、比 II コリ一二・六、八、 ②II コリ一二・六 ガラ一・一二、一六、エペ三・三 比 I コリ一四・六 ②参 II コリ一二・七、 ②参ロマ六・七、 ②参 II コリ一二・一、 ③比申二四・一六他 詩一〇四・四、エペ四・一〇、一四他
2 ①参 II コリ一二・四、 ②II コリ一二・一、 ③比申二四・一六他 詩一〇四・四、エペ四・一〇、一四他
3 ①参 II コリ一二・一
4 ①参ルカ二三・四三、 ②II コリ一二・一、 I テサ四・一七、黙三・五、比使六・五元 エゼ八・三
5 ①参 II コリ一二・一

自身については、自分の弱さ以外には誇りません。
6 たとい私が誇りたいと思ったとしても、愚か者にはなりません。真実のことを話すのだからです。しかし、誇ることは控えましょう。私について見ること、私から聞くこと以上に、人が私を過大に評価するといけないからです。
7 また、その啓示があまりにもすばらしいからです。そのために私は、高ぶることのないようにと、肉体に一つのとげを与えられました。それは私が高ぶることのないように、私を打つための、サタンの使いです。
8 このことについては、これを私から去らせてくださるようにと、三度も主に願いました。
9 しかし、主は、「わたしの恵みは、あなたに十分である。というのは、わたしの力は、弱さのうちに完全に現われるからである。」と言われたのです。ですから、私は、キリストの力が私をおおうために、むしろ大いに喜んで私の弱さを誇りましょう。
10 ですから、私は、キリストのために、弱さ、*侮辱、苦痛、迫害、困難に甘んじています。なぜなら、私が弱いときにこそ、私は強いからです。
11 私は愚か者になりました。あなたがたが無理に私をそうしたのです。私は当然あなたがたの推薦を受けてよかったはずです。たとい私は取るに足りない者であっても、私はあの大使徒たちにどのような点でも劣るところはありませんでした。
12 使徒としてのしるしは、忍耐を尽くしてあなたがたの間でなされた、あの奇蹟と不思議と力あるわざです。
13 あなたがたが他の諸教会より劣っている点は何でしょうか。それは、私のほうであなたがたには負担をかけなかったことだけです。この不正については、どうか、赦してください。
14 今、私はあなたがたのところに行こうとして、三度目の用意ができています。しかし、あなたがたに負担はかけません。私が求めているのは、あなたがたの持ち物ではなく、あなたがた自身だからです。子は親のためにたくわえる必要はなく、親が子のためにたくわえるべきです。
15 ですから、私はあなたがたのたましいのためには、大いに喜んで財を費やし、また私自身をさえ使い尽くしましょう。私があなたがたを愛すれば愛するほど、私はいよいよ愛されなくなるのでしょうか。
16 あなたがたに重荷は負わせなかったにしても、私は、悪賢くて、あなたがたからだまし取ったのだと言われます。
17 あなたがたのところに遣わした人たちのうちのだれによって、私があなたがたを欺くようなことがあったでしょうか。
18 私はテトスにそちらに行くように勧め、また、あの兄弟を同行させました。テトスはあなたがたを欺くようなことをしたでしょうか。私たちは同じ心で、同じ歩調で歩いたのではありませんか。

5 ②参Iコリ二・三、IIコリ三・九、一〇
6 ①IIコリ一一・六、一七、IIコリ三・一、参IIコリ五・一二
②IIコリ七・一四
7 ①参IIコリ一二・一、②民二三・一〇、エゼ二八・一四、ホセ一三・六
③出ヨブ二・六、Iコリ五・五
参マタ四・一〇
8 ①ピリ四・一三、IIコリ一二・五
9 ①ピリ四・一三、IIコリ一二・五
エペ三・一六、②参Iコリ二・三
IIコリ三・五
10 ①IIコリ一二・一〇
*あるいは「虐待」
②IIテサ一・四
③IIテモ三・一二、④ロマ五・三
IIコロ一・二四、⑤IIコリ一二・四
11 IIコリ一二・六、七、一一
参IIコリ五・一二、②Iコリ三・七
IIコリ三・一、二、五
③IIコリ一二・一三、IIコリ一二・一三
12 ①参Iコリ九・一、IIコロ一・一、一八、特にヨ一八・四、八
13 ①参Iコリ九・二、三、八、IIコリ一二・一三、②参IIコリ一二・七
14 ①IIコリ三・一、IIコリ一二・一四、二一、②参Iコリ九・三、一二、③参Iコリ一〇・三三
③参Iコリ一〇・三三
④Iコリ一〇・六、⑤Iコリ一〇・一一、一四、一五、ガラ四・二九、⑥箴二九・一一、IIエズ三四・一〇
15 ①IIコリ一・六、ロマ九・三
ピリ三・一七、コロ一・二四
Iテサ二・八、IIテモ三・一〇
②IIコリ一二・一四、二一
16 ①IIコリ一二・一三
17 ①IIコリ九・五
18 ①参IIコリ二・一三、②参IIコリ八・六、③IIコリ一二・一八
④IIコリ一二・一八
*別訳「同じ御霊によって」
⑤参ロマ四・一二

19 あなたがたは、前から、私たちがあなたがたに対して自己弁護をしているのだと思っていたことでしょう。しかし、私たちは神の御前で、キリストにあって語っているのです。愛する人たち。すべては、あなたがたを築き上げるためなのです。
20 私の恐れていることがあります。私が行ってみると、あなたがたは私の期待しているような者でなく、私もあなたがたの期待しているような者でないことになるのではないでしょうか。また、争い、ねたみ、憤り、党派心、そしり、陰口、高ぶり、騒動があるのではないでしょうか。
21 私がもう一度行くとき、またも私の神が、あなたがたの面前で、私をはずかしめることはないでしょうか。そして私は、前から罪を犯していて、その行なった汚れと不品行と好色を悔い改めない多くの人たちのために、嘆くようなことにはならないでしょうか。

13

1 私があなたがたのところへ行くのは、これで三度目です。すべての事実は、ふたりか三人の証人の口によって確認されるのです。
2 私は二度目の滞在のときに前もって言っておいたのですが、こうして離れている今も、前から罪を犯している人たちとほかのすべての人たちに、あらかじめ言っておきます。今度そちらに行ったときには、容赦はしません。
3 こう言うのは、あなたがたはキリストが私によって語っておられるという証拠を求めているからです。キリストはあなたがたに対して弱くはなく、あなたがたの間にあって強い方です。
4 確かに、弱さのゆえに十字架につけられましたが、神の力のゆえに生きておられます。私たちもキリストにあって弱い者ですが、あなたがたに対する神の力のゆえに、キリストとともに生きているのです。
5 あなたがたは、信仰に立っているかどうか、自分自身をためし、また吟味しなさい。それとも、あなたがたのうちにはイエス・キリストがおられることを、自分で認めないのですか。——あなたがたがそれに不適格であれば別です。——
6 しかし、私たちは不適格でないことを、あなたがたが悟るように私は望んでいます。
7 私たちは、あなたがたがどんな悪をも行なわないように神に祈っています。それによって、私たち自身の適格であることが明らかになるというのではなく、たとい私たちは不適格のように見えても、あなたがたに正しい行ないをしてもらいたいためです。
8 私たちは、真理に逆らっては何をすることもできず、真理のためなら、何でもできるのです。
9 私たちは、自分は弱くてもあなたがたが強ければ、喜ぶのです。私たちはあなたがたが完全な者になることを祈っています。
10 そういうわけで、離れていてこれらのことを書いているのは、私が行ったとき、主が私に授けてくださっ

19 * あるいは「思っていたのですか」
① II コリ三・七、③ II ロマ九・一 ② 圏ヘブ六・九、③ II コリ一〇・六、圏ロマ一四・一九、旧I テサ五・一一
20 ① II コリ一二・一四、旧I コリ四・二一、② 旧I コリ一二・二三・三 ③ ガラ五・一三、④ 圏ロマ三・八 I コリ二・六、⑤ ロマ一・二九 旧ヤコ四・二、I ペテ五・一 ⑥ ロマ一・二九、⑦ 旧I コリ四・六、二・五、三、⑧ 旧I コリ一四・三三
21 ① II コリ三・一、② ガラ二・一九 旧I コリ六・九、一五、圏コ一・三五 1 ① II コリ一三・一四、② 申九・二五 圏マタ六・六
* 直訳「ことば」
2 ① II コリ一三・一、② II コリ三・一、旧I コリ四・二一
3 ① II コリ一三・一、旧II コリ四・二一
4 ① 旧ピリ二・七、八、I ペテ三・一八、② ロマ一四・四、五 * 異本「(キリスト)とともに弱い者ですが」
③ 圏I コリ一三・一、II コリ三・九
5 ① 旧ヨハ六・六、② 圏I コリ一二・六、③ 旧I コリ九・一
7 * 直訳「ようであっても」
9 ① II コリ一三・四、旧II コリ一三・一〇 * 直訳「あなたがたの完成のために」
10 ① 旧I コリ一・一〇、II コリ一三・一、エペ四・一二、旧I テサ三・一〇

た権威を用いて、きびしい処置をとることのないようにするためです。この権威が与えられたのは築き上げるためであって、倒すためではないのです。

11 終わりに、兄弟たち。*喜びなさい。完全な者になりなさい。慰めを受けなさい。一つ心になりなさい。平和を保ちなさい。そうすれば、愛と平和の神はあなたがたとともにいてくださいます。

12 きよい口づけをもって、互いにあいさつをかわしなさい。すべての聖徒たちが、あなたがたによろしくと言っています。

13 主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、あなたがたすべてとともにありますように。

10 ①II コリ一三・八、旧I コリ五・四 ②テト一・一三、③旧II コリ三・三
11 ①I テサ五・一三、II テサ三・一他 *別訳「さようなら」 ②旧I コリ一・一〇、II コリ三・九、エペ四・三、旧I テサ三・一〇 **あるいは「生活を正しなさい」 ③新ロマ一二・一六、④新マコ九・五〇、⑤新ロマ一五・三三 旧エペ六・二三
12 ①新ロマ一六・一六、②ピリ四・二一 13 ①新ロマ一六・二〇、旧II コリ八・九、②ロマ一五・五、旧ユダ三 ③ピリ二・一

ガラテヤ人への手紙

1

1 使徒となったパウロ――私が使徒となったのは、人間から出たことでなく、また人間の手を通したことでもなく、イエス・キリストと、キリストを死者の中からよみがえらせた父なる神によったのです。――
2 および私とともにいるすべての兄弟たちから、ガラテヤの諸教会へ。
3 どうか、私たちの父なる神と主イエス・キリストから、恵みと平安があなたがたの上にありますように。
4 キリストは、今の悪の世界から私たちを救い出そうとして、私たちの罪のためにご自身をお捨てになりました。私たちの神であり父である方のみこころによったのです。
5 どうか、この神に栄光がとこしえにありますように。アーメン。
6 私は、キリストの恵みをもってあなたがたを召してくださったその方を、あなたがたがそんなにも急に見捨てて、ほかの福音に移って行くのに驚いています。
7 ほかの福音といっても、もう一つ別に福音があるのではありません。あなたがたをかき乱す者たちがいて、キリストの福音を変えてしまおうとしているだけです。
8 しかし、私たちであろうと、天の御使いであろうと、もし私たちが宣べ伝えた福音に反することをあなたがたに宣べ伝えるなら、その者はのろわれるべきです。
9 私たちが前に言ったように、今もう一度私は言います。もしだれかが、あなたがたの受けた福音に反することを、あなたがたに宣べ伝えているなら、その者はのろわれるべきです。
10 いま私は人に取り入ろうとしているのでしょうか。いや。神に、でしょう。あるいはまた、人の歓心を買おうと努めているのでしょうか。もし私がいまなお人の歓心を買おうとするようなら、私はキリストのしもべとは言えません。
11 兄弟たちよ。私はあなたがたに知らせましょう。私が宣べ伝えた福音は、人間によるものではありません。
12 私はそれを人間からは受けなかったし、また教えられもしませんでした。ただイエス・キリストの啓示によって受けたのです。
13 以前ユダヤ教徒であったころの私の行動は、あなたがたがすでに聞いているところです。私は激しく神の教会を迫害し、これを滅ぼそうとしました。
14 また私は、自分と同族で同年輩の多くの者たちに比べ、はるかにユダヤ教に進んでおり、先祖からの伝承に人一倍熱心でした。
15 けれども、生まれたときから私を選び分け、恵みを

1 ①比Ⅱコリ一・一、②ガラ一・二、三、③使三・一四、④使九・一五、ガラ一・一六、一七、④参使二・一四
2 ①ピリ四・二一、②Ⅰコリ一六・一、参使二六・六
3 ①参ロマ一・七 *異本「父なる神と私たちの主イエス・キリスト」 ②参マタ三・三、ロマ一・二、Ⅱコリ一四・一四、②参マタ二〇・二八、ロマ四・二五、Ⅰコリ一五・三、比ガラ一・四、③ピリ四・二〇、Ⅰテサ一・九、二・一三
*別訳「神であり私たちの父である」
4 ①参ロマ一二・六
5 ①比ロマ一一・三六
6 ①ガラ五・八、一三、参ロマ八・二八、②比使六・六、八・二四、参ガラ五・一三、③Ⅱコリ一一・四、比Ⅰテモ一・一三、ガラ一・七、一二、二・七、七
7 ①参使二五・一四、ガラ五・一〇
8 ①比Ⅱコリ一一・四、②参ロマ九・三 *ギリシヤ語「アナテマ」
9 ①比使六・三、②比ロマ一六・一七、③参ロマ九・三 *ギリシヤ語「アナテマ」
10 ①参Ⅰテサ二・四、比Ⅰコリ一〇・三三、②ロマ一・一、ピリ一・一
11 ①Ⅰコリ一五・一、比ロマ一・一六 ②Ⅰコリ九・八、比Ⅰコリ三・四
12 ①参ガラ一・一、Ⅰコリ一一・三 ②参ガラ一・一六、Ⅰコリ一五・一〇 比Ⅱコリ三・一、ガラ二・二
13 ①使六・一四、②参Ⅰコリ一〇・三、③参使八・三、④参使九・二
14 ①比使三・三、②マタ一五・二 マコ七・三、比コロ二・八、エレ九・一四
15 ①参使九・一五、ロマ一・一、イザ四九・一、六、エレ一・五

もって召してくださった方が、
16 異邦人の間に御子を宣べ伝えさせるために、御子を
私のうちに啓示することをよしとされたとき、私はす
ぐに、人には相談せず、
17 先輩の使徒たちに会うためにエルサレムにも上ら
ず、アラビヤに出て行き、またダマスコに戻りまし
た。
18 それから三年後に、私はケパをたずねてエルサレ
ムに上り、彼のもとに十五日間滞在しました。
19 しかし、主の兄弟ヤコブは別として、ほかの使徒に
はだれにも会いませんでした。
20 私があなたがたに書いていることには、神の御前で
申しますが、偽りはありません。
21 それから、私はシリヤおよびキリキヤの地方に行き
ました。
22 しかし、キリストにあるユダヤの諸教会には顔を知
られていませんでした。
23 ただ、「以前私たちを迫害した者が、そのとき滅
ぼそうとした信仰を今は宣べ伝えている。」と聞いてい
ただけはいたので、
24 彼らは私のことで神をあがめていました。

2

1 それから十四年たって、私は、バ
ルナバといっしょに、テトスも連れ
て、再びエルサレムに上りました。
2 それは啓示によって上ったのです。そして、異邦人
の間で私の宣べている福音を、人々の前に示し、おも
だった人たちには個人的にそうしました。それは、私
が力を尽くしていま走っていること、またすでに走っ
たことが、むだにならないためでした。
3 しかし、私といっしょにいたテトスでさえ、ギリシ
ヤ人であったのに、割礼を強いられませんでした。
4 実は、忍び込んだにせ兄弟たちがいたので、強いら
れる恐れがあったのです。彼らは私たちを奴隷に引き
落とそうとして、キリスト・イエスにあって私たちの
持つ自由をうかがうために忍び込んでいたのです。
5 私たちは彼らに一時も譲歩しませんでした。それは
福音の真理があなたがたの間で常に保たれるためで
す。
6 そして、おもだった者と見られていた人たちからは、
――彼らがどれほどの人たちであるにしても、私には
問題ではありません。神は人を分け隔てなさいませ
ん。――そのおもだった人たちは、私に対して、何も
つけ加えることをしませんでした。
7 それどころか、ペテロが割礼を受けた者への福音を
ゆだねられているように、私が割礼を受けない者への
福音をゆだねられていることを理解してくれました。
8 ペテロにみわざをなして、割礼を受けた者への使徒
となさった方が、私にもみわざをなして、異邦人への
使徒としてくださったのです。
9 そして、私に与えられたこの恵みを認め、柱として
重んじられているヤコブとケパとヨハネが、私とバル
ナバに、交わりのしるしとして右手を差し伸べました。

---

15 ②新ガラ一・九、新使九・二五
16 ①ガラ二・九、新使九・二五
新使九・二五
②使九・二九、③新マタ六・七
＊直訳「血肉」
17 ①使九・二九、②新使二・一
18 ①使九・二七、②新使二・一、ガラ一・一八、二・九、③新使九・二六、二七
19 ①新マタ一三・五五、使一二・一七
②新マタ一三・五五、ヨハ一・一九、二・一二
20 ①比ロマ九・一、Ⅱコリ一一・三一、一二・一一
21 ①比使九・三〇(?)、②使一五・三三、四一、③新使九・九
22 ①新ロマ一六・七、②Ⅰテサ二・一四、比Ⅰコリ一六・七
23 ①新使九・二一、②新使六・七
ガラ六・一〇
24 ①新マタ九・八
1 ①新使九・六六、ガラ二・一三
②新Ⅱコリ一二・一、ガラ二・一三
③新比使二六・二
2 ①比使二六・二、新ガラ二・一三
②比ガラ二・六、③ガラ二・七、ピリ二・一六、比ロマ九・二六、Ⅰコリ九・二四以下、一〇・一二、一一・一、Ⅱテモ四・七
3 ①新Ⅱコリ二・一三、ガラ二・一
②比使一六・三、Ⅰコリ九・二
比Ⅱペテ一・一、ユダ四
4 ①比使一六・三、Ⅰコリ九・二
②新ガラ二・七、使一五・一四
比Ⅱコリ一一・二六
③新Ⅱコリ一一・二六、比ロマ八・三五
④ガラ二・一四、比ヤコ二・五、比ガラ一・六
5 ①ガラ二・四、比ガラ六・一二
Ⅱコリ一一・二一、②新使一六・三
6 ①比ガラ二・九、ガラ一・一
②ガラ二・六、新使九・五
③Ⅰテサ二・四、Ⅰテモ二・一一
比Ⅰコリ一・七
7 ①比ガラ二・九、一二、ガラ一・一六、②ガラ二・六、新使九・五
8 ①新使一〇・三五
9 ①新ロマ一二・三、②黙三・二
③Ⅰテモ二・五、④ガラ二・六
二、④新使一五・七、Ⅱコリ一二・六、一三・一、⑤比ガラ二・七、一二、一四、一八
⑥比ガラ二・七、一二、一四、一八
⑦比ロ五・八、⑧新使四・三六
ガラ一・一三、⑦比Ⅱ列一〇・一五
エズ二・一九

それは、私たちが異邦人のところへ行き、彼らが割礼を受けた人々のところへ行くためです。10ただ私たちが貧しい人たちをいつも顧みるようにとのことでしたが、そのことなら私も大いに努めて来たところです。

11ところが、ケパ[1]がアンテオケ[2]に来たとき、彼に非難すべきことがあったので、私は面と向かって抗議しました。12なぜなら、彼は、ある人々がヤコブ[1]のところから来る前は異邦人[2]といっしょに食事をしていたのに、その人々が来ると、[3]割礼派[3]の人々を恐れて、だんだんと異邦人から身を引き、離れて行ったからです。13そして、ほかのユダヤ人たちも、彼といっしょに本心を偽った行動をとり、バルナバ[1]までもその偽りの行動に引き込まれてしまいました。

14しかし、彼らが福音の真理について[2]まっすぐに歩んでいないのを見て、[3]私はみなの面前でケパにこう言いました。「あなたは、自分がユダヤ人でありながらユダヤ人のようには生活せず、[4]異邦人のように生活していたのに、どうして異邦人に対して、ユダヤ人の生活を強いるのですか。

15私たちは、生まれながらのユダヤ人であって、[1]異邦人のような罪人[2]ではありません。16しかし、人は律法の行ないによっては義と認められず、ただキリスト・イエスを信じる信仰によって義と認められる、ということを知ったからこそ、私たちもキリスト・イエスを信じたのです。これは、律法の行ないによってではなく、キリストを信じる信仰によって義と認められるためです。なぜなら、[1]律法の行ないによって義と認められる者は、ひとりもいないからです。

17しかし、もし私たちが、キリストにあって義と認められようとすることによって、[1]罪人となってしまうのなら、キリストは罪の助成者なのでしょうか。そんなことは絶対にありえないことです。18けれども、もし私が前に打ちこわしたものをもう一度建てるなら、私は自分自身を違反者にしてしまうのです。

19しかし私は、神に生きるために、律法によって律法に死にました。20私はキリストとともに十字架につけられました。もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。いま私が、この世に生きているのは、私を愛し私のためにご自身をお捨てになった神の御子を信じる信仰によっているのです。21私は神の恵みを無にはしません。もし義が律法によって得られるとしたら、それこそキリストの死は無意味です。」

3

1ああ愚かなガラテヤ人。[1]十字架につけられたイエス・キリストが、あなたがたの目の前に、あんなにはっきり示されたのに、だれがあなたがたを迷わせたのですか。

9 ⑧ガラ一・一六
10 ①参使一四・一七
11 ①比ガラ二・七、九、一四、ガラ一・一六、②参使二一・九、比使一五・一
12 ①参使一〇・一七、ガラ二・九 ②参使一一・二、③比使一一・二 *あるいは「割礼者の中の回心した人たち」
13 ①参使四・三六、ガラ二・一、九
14 ①ガラ二・五、コロ一・五 比ガラ一・六 *別訳「向かって」 ②参ヘブ三・三、③比ガラ二・七、九、一一、ガラ一・六 ④ガラ二・三、比使一〇・六
15 ①ピリ三・四、五、②Ⅰサム一五・一八、ルカ一八・七、Ⅰコリ六・一
16 ①ガラ二・一、参使一三・三九 ②参ロマ三・二〇 比詩一四三・二
17 ①比ガラ二・一七、②ガラ三・二 参ルカ一三・一六
18 *直訳「として明らかにする」
19 ①参ロマ七・五 比ロマ三・五
20 ①参ロマ六・六、比ガラ五・二四、六・一四、②参ロマ八・一〇 ③参ロマ八・一〇、④比ガラ一・四、⑤参ロマ六・三
21 ①ガラ三・二
1 ①比ガラ一・一、②比Ⅰコリ一・三、ガラ五・二

2 ただこれだけをあなたがたから聞いておきたい。あなたがたが御霊を受けたのは、律法を行なったからですか。それとも信仰をもって聞いたからですか。
3 あなたがたはどこまで道理がわからないのですか。御霊で始まったあなたがたが、いま肉によって完成されるというのですか。
4 あなたがたがあれほどのことを経験したのは、むだだったのでしょうか。万が一にもそんなことはないでしょうが。
5 とすれば、あなたがたに御霊を与え、あなたがたの間で奇蹟を行なわれた方は、あなたがたが律法を行なったから、そうなさったのですか。それともあなたがたが信仰をもって聞いたからですか。
6 アブラハムは神を信じ、それが彼の義とみなされました。それと同じことです。
7 ですから、信仰による人々こそアブラハムの子孫だと知りなさい。
8 聖書は、神が異邦人をその信仰によって義と認めてくださることを、前から知っていたので、アブラハムに対し、「あなたによってすべての国民が祝福される。」と前もって福音を告げたのです。
9 そういうわけで、信仰による人々が、信仰の人アブラハムとともに、祝福を受けるのです。
10 というのは、律法の行ないによる人々はすべて、のろいのもとにあるからです。こう書いてあります。「律法の書に書いてある、すべてのことを堅く守って実行しなければ、だれでもみな、のろわれる。」
11 ところが、律法によって神の前に義と認められる者が、だれもいないということは明らかです。「義人は信仰によって生きる。」のだからです。
12 しかし律法は、「信仰による。」のではありません。「律法を行なう者はこの律法によって生きる。」のです。
13 キリストは、私たちのためにのろわれたものとなって、私たちを律法ののろいから贖い出してくださいました。なぜなら、「木にかけられる者はすべてのろわれたものである。」と書いてあるからです。
14 このことは、アブラハムへの祝福が、キリスト・イエスによって異邦人に及ぶためであり、その結果、私たちが信仰によって約束の御霊を受けるためなのです。
15 兄弟たち。人間のばあいにたとえてみましょう。人間の契約でも、いったん結ばれたら、だれもそれを無効にしたり、それにつけ加えたりはしません。
16 ところで、約束は、アブラハムとそのひとりの子孫に告げられました。神は「子孫たちに」と言って、多数をさすことはせず、ひとりをさして、「あなたの子孫に」と言っておられます。その方はキリストです。
17 私の言おうとすることはこうです。先に神によって結ばれた契約は、その後四百三十年たってできた律法によって取り消されたり、その約束が無効とされたりすることがないということです。

2 ①出ロマ二〇・七
* 直訳「信仰について」
4 * 別訳「あれほど苦しみを受けたことが無意味なことだったのでしょうか」
①出Ⅰコリ一五・二
5 ①創ピリ一・一九、出Ⅱコリ九・一〇、②出Ⅰコリ三・一〇
③出ロマ一〇・一七
* 直訳「信仰について」
6 ①創ロマ四・三、②創一五・六
7 ①ガラ三・九、②創ルカ一九・九
出ガラ三・二九
8 ①創二二・一八
9 ①ガラ三・七
10 ①申二七・二六
11 ①ガラ三・二六、②ハバ二・四
ロマ一・一七、ヘブ一〇・三八
* 別訳「信仰による義人は生きる」
12 * 別訳「信仰に基づいているのではありません」
①レビ一八・五、ロマ一〇・五
13 ①ガラ四・五、②申二一・二三
③創使一〇
* 別訳「十字架」
14 ①ロマ四・九、一六、出ガラ三・二六
②創使二・三三、出エペ一・一三
③ガラ三・二
15 ①創ガラ一・八、ロマ一・一三
使一・一五、②創ロマ三・五
③出ヘブ九・一六
* 別訳「遺言」
16 ①出ルカ一・五五、ロマ四・一三、一六、九四、②創一三・一五、③創一七・八、出使七・五
17 ①出二・四〇、出創一五・一三、一四
使七・六

18 なぜなら、相続がもし律法によるのなら、もはや約束によるのではないからです。ところが、神は約束を通してアブラハムに相続の恵みを下さったのです。

19 では、律法とは何でしょうか。それは約束をお受けになった、この子孫が来られるときまで、違反を示すためにつけ加えられたもので、御使いたちを通して仲介者の手で定められたのです。

20 仲介者は一方だけに属するものではありません。しかし約束を賜わる神は一方的です。

21 とすると、律法は神の約束に反するのでしょうか。絶対にそんなことはありません。もしも、与えられた律法がいのちを与えることのできるものであったなら、義は確かに律法によるものだったでしょう。

22 しかし聖書は、逆に、すべての人を罪の中に閉じ込めました。それは約束が、イエス・キリストに対する信仰によって、信じる人々に与えられるためです。

23 信仰が現われる以前には、私たちは律法の監督の下に置かれ、閉じ込められていましたが、それは、やがて示される信仰が得られるためでした。

24 こうして、律法は私たちをキリストへ導くための私たちの養育係となりました。私たちが信仰によって義と認められるためなのです。

25 しかし、信仰が現われた以上、私たちはもはや養育係の下にはいません。

26 あなたがたはみな、キリスト・イエスに対する信仰によって、神の子どもです。

27 バプテスマを受けてキリストにつく者とされたあなたがたはみな、キリストをその身に着たのです。

28 ユダヤ人もギリシヤ人もなく、奴隷も自由人もなく、男子も女子もありません。なぜなら、あなたがたはみな、キリスト・イエスにあって、一つだからです。

29 もしあなたがたがキリストのものであれば、それによってアブラハムの子孫であり、約束による相続人なのです。

4

1 ところが、相続人というものは、全財産の持ち主なのに、子どものうちは、奴隷と少しも違わず、

2 父の定めた日までは、後見人や管理者の下にあります。

3 私たちもそれと同じで、まだ小さかった時には、この世の幼稚な教えの下に奴隷となっていました。

4 しかし定めの時が来たので、神はご自分の御子を遣わし、この方を、女から生まれた者、また律法の下にある者となさいました。

5 これは律法の下にある者を贖い出すためで、その結果、私たちが子としての身分を受けるようになるためです。

6 そして、あなたがたは子であるゆえに、神は「アバ、父。」と呼ぶ、御子の御霊を、私たちの心に遣わしてくださいました。

7 ですから、あなたがたはもはや奴隷ではなく、子です。子ならば、神による相続人です。

---

18 ①ロマ四・一四、②脱ヘブ六・一三、19 ①参ロマ五・二〇、②ガラ三・一六、申五・五、使七・五三、④出二〇・一九、20 ①脱Ⅰテモ二・五、ヘブ八・六、九・一五、一二・二四、*直訳「神は唯一者です」、21 ①参ルカ二〇・一六、ガラ二・一七、②参ガラ二・二一、22 ①参ロマ一一・三二、23 ①参ロマ一一・三二、24 ①Ⅰコリ四・一五、②ガラ三・二六、25 ①Ⅰコリ四・一五、②参ガラ三・二五、26 ①ガラ三・二六、四・四、五・六、二四、参ロマ八・一七、エペ一・一二、コロ一・四、ピリ二・一五、Ⅰテモ一・一二、Ⅱテモ一・一、テト三・四他、②ガラ四・五、参ロマ八・一四

27 ①参マタ二八・一九、ロマ六・三、脱Ⅰコリ一〇・二、②参ロマ一三・一四、28 ①参Ⅰコリ一二・一三、コロ三・一一、脱ロマ一三・一、②参ガラ三・二六、③脱ヨハ一七・二一、エペ二・一五、29 ①脱Ⅰコリ一二・一三、②ガラ三・一六、ロマ八・八、1 *直訳「主」、1 ①コロ二・八、三、ヘブ五・一二、ガラ四・九、*別訳「原理」、②ガラ四・八、九、脱ガラ四・二四、三一・二四、4 ①参マコ一・一五、②ヨハ一・一四、ロマ一三、脱ロマ八・三、ピリ二・七、③脱ルカ二・二一、三七、5 ①ガラ三・二六、参ロマ八・一四、6 ①ロマ五・五、八・九、一五、脱Ⅱコリ三・一七、使二六・七、②マコ一四・三六、ロマ八・一五、7 ①参ロマ八・一七

8 しかし、神を知らなかった当時、あなたがたは本
来は神でない神々の奴隷でした。
9 ところが、今では神を知っているのに、いや、むし
ろ神に知られているのに、どうしてあの無力、無価値
の幼稚な教えに逆戻りして、再び新たにその奴隷にな
ろうとするのですか。
10 あなたがたは、各種の日と月と季節と年とを守っ
ています。
11 あなたがたのために私の労したことは、むだだっ
たのではないか、と私はあなたがたのことを案じてい
ます。
12 お願いです。兄弟たち。私のようになってくださ
い。私もあなたがたのようになったのですから。あな
たがたは私に何一つ悪いことをしていません。
13 ご承知のとおり、私が最初あなたがたに福音を伝え
たのは、私の肉体が弱かったためでした。
14 そして私の肉体には、あなたがたにとって試練とな
るものがあったのに、あなたがたは軽蔑したり、きら
ったりしないで、かえって神の御使いのように、また
キリスト・イエスご自身であるかのように、私を迎え
てくれました。
15 それなのに、あなたがたのあの喜びは、今どこにあ
るのですか。私はあなたがたのためにあかししますが、
あなたがたは、もしできれば自分の目をえぐり出して
私に与えたいとさえ思ったではありませんか。
16 それでは、私は、あなたがたに真理を語ったために、
あなたがたの敵になったのでしょうか。
17 あなたがたに対するあの人々の熱心は正しいもので
はありません。彼らはあなたがたを自分たちに熱心に
ならせようとして、あなたがたを福音の恵みから締め
出そうとしているのです。
18 良いことで熱心に慕われるのは、いつであっても良
いものです。それは私があなたがたといっしょにいる
ときだけではありません。
19 私の子どもたちよ。あなたがたのうちにキリストが
形造られるまで、私は再びあなたがたのために産みの
苦しみをしています。
20 それで、今あなたがたといっしょにいることができ
たら、そしてこんな語調でなく話せたらと思います。
あなたがたのことをどうしたらよいかと困っているの
です。
21 律法の下にいたいと思う人たちは、私に答えてく
ださい。あなたがたは律法の言うことを聞かないので
すか。
22 そこには、アブラハムにふたりの子があって、ひと
りは女奴隷から、ひとりは自由の女から生まれた、と
書かれています。
23 女奴隷の子は肉によって生まれ、自由の女の子は約
束によって生まれたのです。
24 このことには比喩があります。この女たちは二つの
契約です。一つはシナイ山から出ており、奴隷となる
子を産みます。その女はハガルです。

8 ①Ⅰコリ一二、Ⅰテサ四・五
Ⅱテサ一・八、[比]エペ二・三
②Ⅱ歴三三・九、イザ三七・一九
エレ二・一一、Ⅰコリ八・四、五
[比]Ⅰコリ一〇・二〇、③[参]ガラ四・三
9 ①[参]Ⅰコリ八・三、②コロ二・二〇、③[参]ガラ四・三
*別訳「霊力」または「原理」
10 ①[参]ロマ一四・五、コロ二・一六
12 ①[参]ガラ六・一八、②[比]Ⅱコリ六・一二、一三
13 *別訳「以前」
14 ①[比]マタ一〇・四〇、Ⅰテサ二・一三
②[参]ガラ三・二六
16 *別訳「あなたがたを真理に従って扱ったために」
①アモ五・一〇
18 ①[比]ガラ四・二三、一八
19 ①Ⅰヨハ二・一、②エペ四・一三
③[比]Ⅰコリ四・一五
20 ①Ⅱコリ一三・八
21 ①[比]ルカ一六・一九
23 ①ガラ四・二六、[参]ロマ九・七
②ガラ四・二六、創一七・一六以下
六・二〇以下、三・一、ヘブ一一・一一
24 ①[比]Ⅰコリ一〇・一一、②申三三・二、③[参]ガラ四・二五

25 このハガルは、アラビヤにあるシナイ山のことで、
今のエルサレムに当たります。なぜなら、彼女はその
子どもたちとともに奴隷だからです。
26 しかし、[1]上にあるエルサレムは自由であり、私たち
の母です。
27 すなわち、こう書いてあります。
[1]「喜べ。子を産まない不妊の女よ。
声をあげて呼ばわれ。
産みの苦しみを知らない女よ。
夫に捨てられた女の産む子どもは、
夫のある女の産む子どもよりも多い。」
28 兄弟たちよ。あなたがたはイサクのように[2]約束の子
どもです。
29 しかし、かつて肉によって生まれた者が、御霊によ
って生まれた者を迫害したように、今もそのとおりで
す。
30 しかし、聖書は何と言っていますか。「奴隷の女と
その子どもを追い出せ。奴隷の女の子どもは決して自
由の女の子どもとともに相続人になってはならない。」
31 こういうわけで、兄弟たちよ。私たちは奴隷の女の
子どもではなく、*自由の女の子どもです。

5 1 キリストは、自由を得させるために、私たちを解放してくださいました。ですから、あなたがたは、しっかり立って、また奴隷のくびきを負わせられないようにしなさい。
2 よく聞いてください。このパウロがあなたがたに言います。もし、あなたがたが割礼を受けるなら、キリストは、あなたがたにとって、何の益もないのです。
3 割礼を受けるすべての人に、私は再びあかしします。その人は律法の全体を行なう義務があります。
4 律法によって義と認められようとしているあなたがたは、キリストから離れ、恵みから落ちてしまったのです。
5 私たちは、信仰により、御霊によって、義をいただく望みを熱心に抱いているのです。
6 キリスト・イエスにあっては、割礼を受ける受けないは大事なことではなく、愛によって働く信仰だけが大事なのです。
7 あなたがたはよく走っていたのに、だれがあなたがたを妨げて、真理に従わなくさせたのですか。
8 そのような勧めは、あなたがたを召してくださった方から出たものではありません。
9 わずかのパン種が、こねた粉の全体を発酵させるのです。
10 私は主にあって、あなたがたが少しも違った考えを持っていないと確信しています。しかし、あなたがたをかき乱す者は、だれであろうと、さばきを受けるのです。
11 兄弟たち。もし私が今でも割礼を宣べ伝えているなら、どうして今なお迫害を受けることがありましょう。それなら、十字架のつまずきは取り除かれているはずです。

---

1 ①ガラ二・四、五・二三、ヨハ八・三三、三六、既ロマ八・二九、Ⅱコリ三・一七、②参Ⅰコリ六・二、③使二五・一〇、既ガラ二・四、六・一二
2 ①参Ⅱコリ一・二〇、②参使一三・三二、ガラ三・一五、六・一六
3 ①参使一五・一、ガラ五・二、六・一二、②既ルカ六・二六、③ロマ二・二五
4 ①参Ⅱペテ二・一七、ヘブ二・一五
5 ①参ロマ八・二三、Ⅰコリ一・七
6 ①参ガラ二・二六、②参Ⅰコリ七・一八、ガラ六・一五、③既コロ一・四、六、Ⅰテサ一・三、ヤコ二・八、二〇、二三
7 ①参ガラ二・二
8 ①参ロマ八・六、ガラ一・六
9 ①参Ⅰコリ五・六
10 ①既ピリ三・一五、ガラ五・七、②参Ⅱコリ二・三、③参ガラ一・七、既ガラ五・二三
11 ①既ガラ四・二九、六・一二、②Ⅰコリ一・二三、ロマ九・三三

26 ①ヘブ一二・二二、黙二一・二、一〇
27 ①イザ五四・一
28 ①参ガラ四・二六、②ガラ三・二九
ロマ九・七以下
29 ①ガラ四・二三、②創二一・九、③既ガラ五・一一
30 ①創二一・一〇、一二、②既ヨハ八・三五
31 * 異本は五章一節の前半を四章三一節に続けて、「しかし、キリストは、自由の女の自由をもって私たちを自由にしてくださいました」としている

12 あなたがたをかき乱す者どもは、いっそのこと不具
になってしまうほうがよいのです。
13 兄弟たち。あなたがたは、自由を与えられるため
に召されたのです。ただ、その自由を肉の働く機会と
しないで、愛をもって互いに仕えなさい。
14 律法の全体は、「あなたの隣人を自分のように愛せ
よ。」という一語をもって全うされるのです。
15 もし互いにかみ合ったり、食い合ったりしているな
ら、お互いの間で滅ぼされてしまいます。気をつけな
さい。

16 私は言います。御霊によって歩みなさい。そうす
れば、決して肉の欲望を満足させるようなことはあり
ません。
17 なぜなら、肉の願うことは御霊に逆らい、御霊は肉
に逆らうからです。この二つは互いに対立していて、
そのためあなたがたは、自分のしたいと思うことをす
ることができないのです。
18 しかし、御霊によって導かれるなら、あなたがたは
律法の下にはいません。
19 肉の行ないは明白であって、次のようなものです。
不品行、汚れ、好色、
20 偶像礼拝、魔術、敵意、争い、そねみ、憤り、党派
心、分裂、分派、
21 ねたみ、酩酊、遊興、そういった類のものです。前
にもあらかじめ言ったように、私は今もあなたがたに
あらかじめ言っておきます。こんなことをしている者
たちが神の国を相続することはありません。
22 しかし、御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、
善意、誠実、
23 柔和、自制です。このようなものを禁ずる律法はあ
りません。
24 キリスト・イエスにつく者は、自分の肉を、さまざ
まの情欲や欲望とともに、十字架につけてしまったの
です。
25 もし私たちが御霊によって生きるのなら、御霊に
導かれて、進もうではありませんか。
26 互いにいどみ合ったり、そねみ合ったりして、虚栄
に走ることのないようにしましょう。

6

1 兄弟たちよ。もしだれかがあやまちに陥ったなら、御霊の人であるあ
なたがたは、柔和な心でその人を正してあげなさい。ま
た、自分自身も誘惑に陥らないように気をつけなさい。
2 互いの重荷を負い合い、そのようにしてキリストの
律法を全うしなさい。
3 だれでも、りっぱでもない自分を何かりっぱでもあ
るかのように思うなら、自分を欺いているのです。
4 おのおの自分の行ないをよく調べてみなさい。そう
すれば、誇れると思ったことも、ただ自分だけの誇り
で、ほかの人に対して誇れることではないでしょう。
5 人にはおのおの、負うべき自分自身の重荷があるの
です。
6 みことばを教えられる人は、教える人とすべての

12 ①ガラ五・一二、既ガラ一・七
②申三三・二、既ガラ一・四
＊あるいは「切り取って」
13 ①創ガラ五・一、②創Ⅰコリ八・九、Ⅰペテ二・一六
③創Ⅰコリ九・九、エペ五・二一
14 ①マタ七・一二、ロマ一三・八―一〇、既ガラ五・三
②レビ一九・一八、既マタ二二・三九
15 ①既ピリ二・三、ガラ五・二〇
②エペ四・三一、既ロマ一二・一七、既ヤコ三・一四
16 ①既ロマ八・四、ガラ五・二五、②エペ二・三、既ロマ一三・一四
17 ①既ロマ七・一五、二三以下
②ロマ八・一三、②ロマ八・一四
既ロマ七・四、Ⅰテモ一・九、一〇
18 ①ロマ八・一四、②ロマ八・一四
既ロマ七・四、Ⅰテモ一・九、一〇
19 ①既Ⅰコリ六・九、一〇、Ⅱコリ一二・二一
20 ①既ロマ一・二八、②Ⅱコリ一三・一〇
既ロマ一三・八、ヤコ三・一四以下
④既Ⅰコリ一・一九
＊あるいは「異端」
21 ①ロマ一三・一三、②既Ⅰコリ六・九、
22 ①既マタ七・一六以下、ロマ六・二一、エペ五・六、②Ⅰコリ一三・四、既ロマ五・五
23 ①既使一三・三九、②既ガラ二・六、二一、③既ロマ六・六
24 ①既ガラ二・二〇、②既ガラ五・一六、二四、③既ロマ六・六
既ガラ二・二〇、六・一四
25 ①既ガラ五・一六
26 ①既ピリ二・三
1 ①既ガラ六・一、②既Ⅰコリ二・一五、③Ⅰコリ四・二一
既Ⅱコリ一三・七、Ⅱテサ三・一五
2 ①ロマ一五・一、②既Ⅰコリ九・二一
既ヨハ一三・一五、Ⅰペテ二・二一
3 ①既Ⅰコリ一三・二、Ⅱコリ一二・一一、既使五・三六
4 ①既Ⅰコリ一一・二八、②既ピリ一・二六
5 ①既箴二四・一二、ロマ一四・一二
6 ①Ⅰコリ九・一四
②既Ⅱテモ四・二

良いものを分け合いなさい。
7 思い違いをしてはいけません。神は侮られるような方ではありません。人は種を蒔けば、その刈り取りもすることになります。
8 自分の肉のために蒔く者は、肉から滅びを刈り取り、御霊のために蒔く者は、御霊から永遠のいのちを刈り取るのです。
9 善を行なうのに飽いてはいけません。失望せずにいれば、時期が来て、刈り取ることになります。
10 ですから、私たちは、機会のあるたびに、すべての人に対して、特に信仰の家族の人たちに善を行ないましょう。
11 ご覧のとおり、私は今こんなに大きな字で、自分のこの手であなたがたに書いています。
12 あなたがたに割礼を強制する人たちは、肉において外見を良くしたい人たちです。彼らはただ、キリストの十字架のために迫害を受けたくないだけなのです。
13 なぜなら、割礼を受けた人たちは、自分自身が律法を守っていません。それなのに彼らがあなたがたに割礼を受けさせようとするのは、あなたがたの肉を誇りたいためなのです。
14 しかし私には、私たちの主イエス・キリストの十字架以外に誇りとするものが決してあってはなりません。この十字架によって、世界は私に対して十字架につけられ、私も世界に対して十字架につけられたのです。
15 割礼を受けているか受けていないかは、大事なことではありません。大事なのは新しい創造です。
16 どうか、この基準に従って進む人々、すなわち神のイスラエルの上に、平安とあわれみがありますように。
17 これからは、だれも私を煩わさないようにしてください。私は、この身に、イエスの焼き印を帯びているのですから。
18 どうか、私たちの主イエス・キリストの恵みが、兄弟たちよ、あなたがたの霊とともにありますように。アーメン。

7 ①脚注 I コリ六・九、②脚注ヨブ三一・九、③脚注 II コリ九・六
8 ①ヨブ四四・八、ホセ八・七、脚注ロマ六・二、②脚注 I コリ一五・四三
9 ①脚注ヤコ三・八、脚注 I コリ一五・五八、②ヘブ一二・三、三
10 ①脚注ヨハ一三・三五
11 ①脚注 I コリ一六・二、②脚注マタ三・七、八、③脚注ガラ六・一
12 ①脚注使六・七、②脚注マタ三・七、③脚注ガラ五・一一
13 ①ロマ二・二六、②脚注ピリ三・三
14 ①I コリ一・三一、②ガラ二・一七、三・三、ルカ一・六、③脚注ガラ二・二〇、脚注コロ二・二〇
15 ①脚注ヨハ一三・三五、②脚注 II コリ五・一七、脚注エペ二・一〇、一五、四・二四
16 ①脚注ロマ九・六、脚注ガラ三・七、九、ピリ三・三
17 ①脚注イザ四四・五注、エゼ六・四
18 ①脚注ロマ一六・二〇、一二・三、四・二六、二〇、②ガラ二・一五、四・二六、二、③脚注ロマ一・一、三、使一・一六、③脚注 II テモ四・二二

* 異本「受けてしまった」
* あるいは「間に」
* 別訳「被造物」
* あるいは「イエス・キリストによって」

エペソ人への手紙

1

1 神[1]のみこころによるキリスト・イエス[2]の使徒[3]パウロから、キリスト・イエスにある忠実な[4]エペソ[5]の聖徒[6]たちへ。

2 私たちの父なる神と主イエス・キリストから、恵みと平安があなたがたの上にありますように。

3 私たちの主[1]イエス・キリストの父なる神がほめたたえられますように。神はキリストにおいて、天[2]にあるすべての霊的祝福をもって私たちを祝福してくださいました。

4 すなわち、神は私たちを世界[1]の基の置かれる前からキリスト[2]のうちに選び、御前[3]できよく、傷のない者にしようとされました。

5 神は、ただみこころのままに、私たちをイエス・キリスト[3]*によって[4]ご自分の子にしようと、愛をもってあらかじめ定めておられたのです。

6 それは、神がその愛する方によって私たちに与えてくださった恵み[2]の栄光が、ほめたたえられるためです。

7 私たちは、御子[1]のうちにあって、御子の血による贖い[3]、すなわち罪の赦し[4]を受けているのです。これは神の豊かな恵み[5]によることです。

8 神はこの恵みを私たちの上にあふれさせ、*あらゆる知恵と思慮深さをもって、

9 みこころの奥義[1]を私たちに知らせてくださいました。それは、神が御子においてあらかじめ立てになったご計画[2]によることであって、

10 時[1]がついに満ちて、この時のためのみこころが実行に移され、天[2]にあるものも地にあるものも、いっさいのものが、キリストにあって一つに集められることなのです。このキリストにあって、

11 私たち[1]は彼にあって御国[2]を受け継ぐ者ともなったのです。私たちは、みこころによりご計画[3]のままをみな実現される方の目的に従って、このようにあらかじめ定められていたのです。

12 それは、前からキリスト[1]に望みを置いていた私たちが、神の栄光をほめたたえる者となるためです。

13 またあなたがたも、キリストにあって、真理[1]のことば、すなわちあなたがたの救いの福音を聞き、*またそれを信じたことによって、約束[2]の聖霊をもって証印[3]を押されました。

14 聖霊[1]は私たち[2]が御国[3]を受け継ぐことの保証であられます。これは神の民[4]の贖い[5]のためであり、神の栄光がほめたたえられるためです。

15 こういうわけで、私は主イエス[1]に対するあなたがたの信仰と、すべての聖徒[2]に対する*愛とを聞いて、

16 あなたがたのために絶えず感謝をささげ、あなたがたのことを覚えて祈っています。

17 どうか、私たちの主イエス・キリストの神、すなわち栄光の父、知恵と啓示の御霊を、あなたがたに与えて、神を深く知るようにしてくださいますように。

---

1 ①I コリ一・一、②エペ一・一、六・七、一二、一三、二〇、二二、三・一、コロ一・一、四・一、ガラ一・一、二六、三・二六、一、ロマ一・一、②II コリ一・一、③II コリ一・一、④コロ一・二、⑤使六・一、九、*異本「エペソの」を欠く、⑥使九・一三、ピリ一・一、コロ一・二

2 ①ロマ一・七

3 ①II コリ一・一、②エペ一・一、二〇、二一・二六、三・一〇、六・二〇、ピリ二・二〇、③II テサ二・一、二、旧エペ一・一〇、③テト一・一、④ルカ二一・二二、I コリ一・二一、ガラ一・一六、ピリ一・一二、コロ一・一、②ロマ八・一四以下、ガラ四・六、二六、三一、*別訳 四節の「御前で」の下に「愛をもって」をつける、④エペ一・一二、ロマ八・二〇、⑤使二〇・二八

4 ①マタ一・一七、②エペ一・二〇、二二、三・一〇、六・一二、ピリ二・一〇、③II テサ二・一、二、旧エペ一・一〇、③テト一・一、④ルカ二一・二二、I コリ一・二一、ガラ一・一六、ピリ一・一二、コロ一・一、②ロマ八・一四以下、ガラ四・六、二六、三一、*別訳 四節の「御前で」の下に「愛をもって」をつける、④エペ一・一二、ロマ八・二〇、⑤使二〇・二八

5 ①ルカ二一・二二、I コリ一・二一、ガラ一・一六、ピリ一・一二、コロ一・一、②ロマ八・一四以下、ガラ四・六、二六、三一、*別訳 四節の「御前で」の下に「愛をもって」をつける、④エペ一・一二、ロマ八・二〇、⑤使二〇・二八

6 ①マタ一・一七、②エペ一・二〇、二二、三・一〇、六・一二、ピリ二・一〇、③II テサ二・一、二、旧エペ一・一〇、③テト一・一、④ルカ二一・二二、I コリ一・二一、ガラ一・一六、ピリ一・一二、コロ一・一、②ロマ八・一四以下、ガラ四・六、二六、三一、*別訳 四節の「御前で」の下に「愛をもって」をつける、④エペ一・一二、ロマ八・二〇、⑤使二〇・二八

7 ①ロマ一・七、②使一三・三八、④エペ一・七、二〇、二二、三・一〇、六・一二、ピリ二・一〇、③II コリ一・一、二、三、ロマ三・二四、④使一・一八、二・三七、三・一九、五・三一、八・二二、一〇・四三、⑤ロマ一四・一七、一五・一七、八・一八、コロ一・一四、⑥使一〇・四三、⑦ヘブ九・一五、⑧ロマ三・二五、*別訳「あらゆる知恵と思慮深さをもって」を前の句の「神は」に続ける

8 ①ロマ一・二五、一六・二七、エペ一・三、九、②ロマ八・一五、③ルカ二一・二二、I コリ一・二一、ガラ一・一六、ピリ一・一二、コロ一・一九、②ロマ一・二五、一六・二七、エペ一・三、九、③エペ一・一四、ヘブ九・一五、④エペ一・一九、*別訳「信じ御子にあって」

9 ①ロマ一二・二、一六・二五、エペ三・三、②エペ一・一、ロマ八・二九、③ルカ二一・二二、I コリ一・二一、ガラ一・一六、ピリ一・一二、コロ一・一九、②ロマ一・二五、一六・二七、エペ一・三、九、③エペ一・一四、ヘブ九・一五、④エペ一・一九、*別訳「信じ御子にあって」

10 ①エペ一・一〇、二二、ヘブ一・二、申四・三五、六・四、テト一・三、②ロマ一・二五、一六・二七、エペ一・三、九、③エペ一・一四、ヘブ九・一五、④エペ一・一九、*別訳「信じ御子にあって」

11 ①エペ一・一四、テト一・二、申四・三五、六・四、②ロマ八・一七、ガラ三・二九、四・七、ヘブ九・一五、④エペ一・一九、*別訳「信じ御子にあって」

12 ①エペ一・六、一四、使二・三六、⑥エペ三・一、*別訳「信じ御子にあって」

13 ①コロ一・五、使二・三六、⑥エペ一・一三、②使一四・三、③エペ一・一三、④エペ一・一九、⑤使二・三三、⑥エペ一・一三、⑦II コリ一・二二、エペ一・一四、⑧エペ一・一四、*別訳「信じ御子にあって」

14 ①II コリ一・二二、エペ一・一四、②使二〇・三二、③エペ一・一八、④エペ一・七、⑤使二〇・二八、⑥エペ一・一四、ピレ五、ロマ一・八、②コロ一・一四、*異本「愛」を欠く

15 ①エペ一・一五、②エペ一・一八、*異本「愛」を欠く

16 ①ヨハ三・三、七、ロマ一五・六

17 ①ヨハ一四・七、一七、ロマ一五・六

ち栄光の父が、神を知るための知恵と啓示の御霊を、あなたがたに与えてくださいますように。
18 また、あなたがたの心の目がはっきり見えるようになって、神の召しによって与えられる望みがどのようなものか、聖徒の受け継ぐものがどのように栄光に富んだものか、
19 また、神の全能の力の働きによって私たち信じる者に働く神のすぐれた力がどのように偉大なものであるかを、あなたがたが知ることができますように。
20 神は、その全能の力をキリストのうちに働かせて、キリストを死者の中からよみがえらせ、天上においてご自分の右の座に着かせて、
21 すべての支配、権威、権力、主権の上に、また、今の世ばかりでなく、次に来る世においてもとなえられる、すべての名の上に高く置かれました。
22 また、神は、いっさいのものをキリストの足の下に従わせ、いっさいのものの上に立つかしらであるキリストを、教会にお与えになりました。
23 教会はキリストのからだであり、いっさいのものをいっさいのものによって満たす方の満ちておられるところです。

2

1 あなたがたは自分の罪過と罪との中に死んでいた者であって、
2 そのころは、それらの罪の中にあってこの世の流れに従い、空中の権威を持つ支配者として今も不従順の子らの中に働いている霊に従って、歩んでいました。
3 私たちもみな、かつては不従順の子らの中にあって、自分の肉の欲の中に生き、肉と心の望むままを行ない、ほかの人たちと同じように、生まれながら御怒りを受けるべき子らでした。
4 しかし、あわれみ豊かな神は、私たちを愛してくださったその大きな愛のゆえに、
5 罪過の中に死んでいたこの私たちをキリストとともに生かし、——あなたがたが救われたのは、ただ恵みによるのです。——
6 キリスト・イエスにおいて、ともによみがえらせ、ともに天の所にすわらせてくださいました。
7 それは、あとに来る世々において、このすぐれて豊かな御恵みを、イエス・キリストにおいて私たちに賜わる慈愛によって明らかにお示しになるためでした。
8 あなたがたは、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは、自分自身から出たことではなく、神からの賜物です。
9 行ないによるのではありません。だれも誇ることのないためです。
10 私たちは神の作品であって、良い行ないをするためにキリスト・イエスにあって造られたのです。神は、私たちが良い行ないに歩むように、その良い行ないをもあらかじめ備えてくださったのです。
11 ですから、思い出してください。あなたがたは、以前は肉において異邦人でした。すなわち、肉において人の手による、いわゆる割礼を持つ人々からは、無

1 ①エペ二・一、五 *異本「キリストにあって」
2 ①エペ二・八、使一五・一一 ②ロマ三・二四、二八、ガラ二・一六
3 ①エペ二・一、五、使一三・一一 ②ロマ三・九、エペ二・三 ③ヨハ三・六
4 ①エペ二・七 ②ヨハ三・一六
5 ①エペ二・一 *異本「キリストにあって」
6 ①エペ二・六、使一五・一一 ②ロマ六・四、五、コロ二・一二、三・一 ③エペ二・三
7 ①ロマ二・四、エペ一・七 ②テト三・四
8 ①エペ二・五、使一五・一一 ②Ⅰペテ一・五、③ヨハ一・一二、ヘブ六・四
9 ①Ⅱテモ一・九、テト三・五 ロマ三・二八、②Ⅰコリ一・二九
10 ①テト三・八、Ⅱテサ二・一七 ②エペ一・一二、三・一〇 ③エペ二・一〇 ④エペ二・一五、エペ四・二四
11 ①Ⅰコリ一二・二、エペ二・八 ②使一五・二一 ③ロマ二・二八、二九
12 ①エペ二・一九、ロマ九・四 ②ロマ九・四、エペ三・六 ③ロマ九・四、エペ二・一九
13 ①ロマ三・二四、エペ二・七 ②Ⅰペテ一・一八、一九 ③ロマ三・二五、ヘブ九・一四、一二・二四、Ⅰペテ一・二
14 ①ロマ五・一、コロ一・二〇 ②エペ二・一四、一五 ③ロマ九・三三、エペ五・二
15 ①ロマ七・六、Ⅱコリ五・一七、ガラ六・一五 ②エペ四・二四 ③ロマ五・一〇、コロ一・二一
16 ①ロマ五・一〇、エペ二・一六 ②ロマ五・一、エペ二・一四、一七 ③ロマ五・一〇、エペ二・一六
17 ①使七・二、Ⅰコリ二・八 ②コロ一・九、④Ⅰコリ四・六、ヘブ六・四 ④コロ一・二三、使九・三一、⑤エペ一・二、⑥エペ一・七
18 ①使六・六、Ⅱコリ四・六、ヘブ六・四 ②ロマ二・四、⑤エペ四・四 ⑥エペ一・七
19 ①エペ一・一九、ロマ六・四、⑤ピリ三・二一、②エペ六・一〇
20 ①使二・二四、②エペ一・三、③マコ一六・一九
21 ①コロ一・一六、エペ一・二〇、ロマ八・三八、マタ二八・一八、②エペ二・六、マタ二二・四四、黙二一・二、ヨハ一七・二、③ヒリ二・九、ヘブ一・四、黙二一・二、ヨハ一七・二（詩八・六）
22 ①Ⅰコリ一五・二七（詩八・六） ②エペ四・一五、三五、コロ一・一八、二四 ③エペ一・二二、Ⅰコリ一二・三 ④コロ一・一八、二三 ⑤コロ二・一〇
23 ①コロ一・一八、エペ一・二二、Ⅰコリ一二・六、一五、Ⅱコリ一二・七、②エペ四・一〇、③コロ二・一〇 ④ヨハ一・一六、エペ三・一九
1 ①エペ二・五、コロ二・一三、ルカ一五・二四、三二
2 ①エペ二・二、三五・八、コロ三・七、Ⅰコリ六・九一一 ②エペ二・一 Ⅰペテ四・三、ヨハ三・三一
3 ①エペ二・五、②ガラ五・一六 ③ロマ三・二〇、Ⅰテサ四・三、五、④ロマ二・一四、ガラ二・一五 ⑤創六・五、八・二一、ヨブ一四・四 Ⅱペテ二・一四
4 ①エペ二・七、②ヨハ三・一六
5 ①エペ二・一 *異本「キリストにあって」
6 ①エペ二・六、使一五・一一 ②コロ二・一二、三・一 ③エペ二・三 ④エペ二・五 ⑤エペ一・三
7 ①ロマ二・四、エペ一・七 ②テト三・四
8 ①エペ二・五、使一三・一一 ②Ⅰペテ一・五、③ヨハ一・一七、ヘブ六・四
9 ①Ⅱテモ一・九、テト三・五 ロマ三・二八、②Ⅰコリ一・二九
10 ①テト三・八、Ⅱテサ二・一七 ②エペ一・一二、三・一〇 ③エペ二・一〇 ④エペ二・一五、エペ四・二四
11 ①Ⅰコリ一二・二、エペ二・八 ②使一五・二一 ③ロマ二・二八、二九
12 ①エペ二・一九、ロマ九・四 ②ロマ九・四、エペ三・六 ③ロマ九・四、エペ二・一九
13 ①ロマ三・二四、エペ二・七 ②Ⅰペテ一・一八、一九 ③ロマ三・二五、ヘブ九・一四、一二・二四、Ⅰペテ一・二
14 ①ロマ五・一、コロ一・二〇 ②エペ二・一四、一五 ③ロマ九・三三、エペ五・二
15 ①ロマ七・六、Ⅱコリ五・一七、ガラ六・一五 ②エペ四・二四 ③ロマ五・一〇、コロ一・二一
16 ①ロマ五・一〇、エペ二・一六 ②ロマ五・一、エペ二・一四、一七 ③ロマ五・一〇、エペ二・一六

割礼の人々と呼ばれる者であって、
12 そのころのあなたがたは、キリストから離れ、イスラエルの国から除外され、約束の契約については他国人であり、この世にあって望みもなく、神もない人たちでした。
13 しかし、以前は遠く離れていたあなたがたも、今ではキリスト・イエスの中にあることにより、キリストの血によって近い者とされたのです。
14 キリストこそ私たちの平和であり、二つのものを一つにし、隔ての壁を打ちこわし、
15 ご自分の肉において、敵意を廃棄された方です。敵意とは、さまざまの規定から成り立っている戒めの律法なのです。このことは、二つのものをご自身において新しいひとりの人に造り上げて、平和を実現するためであり、
16 また、両者を一つのからだとして、十字架によって神と和解させるためなのです。敵意は十字架によって葬り去られました。
17 それからキリストは来られて、遠くにいたあなたがたに平和を宣べ、近くにいた人たちにも平和を宣べられました。
18 私たちは、このキリストによって、両者ともに一つの御霊において、父のみもとに近づくことができるのです。
19 こういうわけで、あなたがたは、もはや他国人でも寄留者でもなく、今は聖徒たちと同じ国民であり、神の家族なのです。
20 あなたがたは使徒と預言者という土台の上に建てられており、キリスト・イエスご自身がその礎石です。
21 この方にあって、組み合わされた建物の全体が成長し、主にある聖なる宮となるのであり、
22 このキリストにあって、あなたがたもともに建てられ、御霊によって神の御住まいとなるのです。

3

1 こういうわけで、あなたがた異邦人のためにキリスト・イエスの囚人となった私パウロが言います。
2 あなたがたのためにと私がいただいた、神の恵みによる私の務めについて、あなたがたはすでに聞いたことでしょう。
3 先に簡単に書いたとおり、この奥義は、啓示によって私に知らされたのです。
4 それを読めば、私がキリストの奥義をどう理解しているかがよくわかるはずです。
5 この奥義は、今は、御霊によって、キリストの聖なる使徒たちと預言者たちに啓示されていますが、前の時代には、今と同じようには人々に知らされていませんでした。
6 その奥義とは、福音により、キリスト・イエスにあって、異邦人もまた同じの相続者となり、ともに一つのからだに連なり、ともに約束にあずかる者となるということです。
7 私は、神の力の働きにより、自分に与えられた神の

12 ①コロ一・二一、即ロマ五・一〇 ②ガラ二・一七、ヘブ八・八 ③Iテサ四・一三、④ガラ四・八 ⑤即エペ二・一二、②エペ二・一七 ⑥使二・三九、イザ五七・一九、③エペ二・一七、④コロ一・二一 ⑦ロマ三・二五
13 ①即エペ二・一三、②エペ二・一七 ③Iペテ一・一九、Iヨハ一・七、黙五・九、④Iコリ六・二〇、⑤ガラ二・一六
14 ①エペ二・一六、②Iコリ三・一五 イザ九・六、②Iコリ三・一三 ガラ三・二八、コロ三・一一
15 ①エペ二・一六、コロ二・一三 *別訳「敵意」を一四節に入れて「隔ての壁、すなわち敵意を打ちこわし、ご自分の肉において……律法を廃棄されました」とする ②コロ二・一四、三 ③ガラ三・二八 ④即エペ二・一〇 ⑤即エペ二・一四
16 ①エペ四・四、Iコリ一〇・一七 ②コロ一・二〇、三、Ⅱコリ五・一八 ③エペ二・一五 *別訳「こ」自身にあって」
17 ①イザ五七・一九、ロマ一〇・一四 ②使一〇・三六、エペ二・一四 ③使一〇・四二、エペ二・一四 ④即エペ二・一三 ⑤即エペ二・一七
18 ①エペ四・四、Iコリ一二・一三 ②コロ一・二二、③エペ二・一三 ④即ヨハ一四・六、⑤即ヘブ一〇・一九、二〇
19 ①即エペ二・一二、⑥即ピリ三・三、③ガラ二・一〇
20 ①Iコリ三・一六、エペ二・二〇 ②マタ一六・一八、黙二一・一四 ③Iコリ一二・二八、エペ四・一一 ④Iコリ一二・一〇、⑤ルカ二一・一七（終一六・二三）、Iペテ二・六、イザ二八・一六
21 ①Iコリ三・一六、一七、Ⅱコリ六・一六 ②Iコリ三・一六、Ⅱコリ六・一六、Ⅱテモ二・一九
22 ①Iコリ三・九、一六、Ⅱコリ六・一六 ②エペ二・一八、③ガラ四・六、④使二・三三、ヘブ一〇・一九、二〇、⑤即エペ二・一四

1 ①エペ三・八、Ⅱコリ一二・七、Ⅱテモ一・一一 2 ①コロ一・二五、即エペ三・七、②エペ三・二、九、一〇、Iコリ九・一七、テト一・三、③エペ三・二、九、一〇、④使二六・一六、ガラ一・一二、一五、⑤即エペ三・二、三、九、一〇、⑥即ヘブ二・四 3 ①エペ三・八、Ⅱコリ一二・七、Ⅱテモ一・一一 4 ①エペ三・八、Ⅱコリ一二・七、Ⅱテモ一・一一 5 ①エペ三・八、Ⅱコリ一二・七、Ⅱテモ一・一一 6 ①エペ三・八、Ⅱコリ一二・七、Ⅱテモ一・一一 7 ①エペ三・八、Ⅱコリ一二・七、Ⅱテモ一・一一

恵みの賜物によって、この福音に仕える者とされました。
8 すべての聖徒たちのうちで一番小さな私に、この恵みが与えられたのは、私がキリストの測りがたい富を異邦人に宣べ伝え、
9 また、万物を創造された神の中に世々隠されていた奥義を実行に移す務めが何であるかを明らかにするためにほかなりません。
10 これは、今、天にある支配と権威とに対して、教会を通して、神の豊かな知恵が示されるためであって、
11 私たちの主キリスト・イエスにおいて実現された神の永遠のご計画に沿ったことです。
12 私たちはこのキリストにあり、キリストを信じる信仰によって大胆に確信をもって神に近づくことができるのです。
13 ですから、私があなたがたのために受けている苦難のゆえに落胆することのないようお願いします。私の受けている苦しみは、そのまま、あなたがたの光栄なのです。
14 こういうわけで、私はひざをかがめて、
15 天上と地上で家族と呼ばれるすべてのものの名の元である父の前に祈ります。
16 どうか父が、その栄光の豊かさに従い、御霊により、力をもって、あなたがたの内なる人を強くしてくださいますように。
17 こうしてキリストが、あなたがたの信仰によって、あなたがたの心のうちに住んでいてくださいますように。また、愛に根ざし、愛に基礎を置いているあなたがたが、
18 すべての聖徒とともに、その広さ、長さ、高さ、深さがどれほどであるかを理解する力を持つようになり、
19 人知をはるかに越えたキリストの愛を知ることができますように。こうして、神ご自身の満ち満ちたさまにまで、あなたがたが満たされますように。
20 どうか、私たちのうちに働く力によって、私たちの願うところ、思うところのすべてを越えて豊かに施すことのできる方に、
21 教会により、またキリスト・イエスにより、栄光が、世々にわたって、とこしえまでありますように。アーメン。

4

1 さて、主の囚人である私はあなたがたに勧めます。召されたあなたがたは、その召しにふさわしく歩みなさい。
2 謙遜と柔和の限りを尽くし、寛容を示し、愛をもって互いに忍び合い、
3 平和のきずなで結ばれて御霊の一致を熱心に保ちなさい。
4 からだは一つ、御霊は一つです。あなたがたが召されたとき、召しのもたらした望みが一つであったのと同じです。
5 主は一つ、信仰は一つ、バプテスマは一つです。

7 ①イコリ三・五
8 ①Iコリ一五・九、エペ三・二、一テモ一・一五、ロマ一二・三、使二〇・二四
9 ①黙二一・二、②コロ一・二六、③参エペ三・三
10 ①エペ一・二一、②エペ一・二六・三、コロ二・一〇、一五、③一ペテ一・一二、④ロマ一二・三、Iコリ三・七
11 ①ガラ三・二四、エペ三・一
12 ①ヘブ四・一六、参エペ二・一八、②Iヨハ二・二八、三・二一、他、③Ⅱコリ三・四、④参エペ二・一六
13 ①比エペ三・一、②参Ⅱコリ四・一
14 ①比ピリ二・一〇
15 ①参エペ三・八、一八、②参ロマ七・三、③ピリ四・三、コロ一・一二
16 ①Iヨハ四・三、ロマ八・九、一〇、Ⅱコリ三・三、比エペ三・一六、②コロ二・七、比Iコリ三・六、③参コロ二・三
17 ①参エペ二・一五、②比ヨブ二・八・九
18 ①比ピリ四・七、②比ロマ八・三九、③比エペ二・三、④コロ二・一〇
19 ①比ロマ六・二三、②参エペ三・七、③比Ⅱコリ九・八
20 ①参ロマ一一・三六
21 ①参エペ三・一、②参ロマ一三・一、③参ロマ八・三九、④参ロマ一二・二、⑤コロ一・一〇、Iテサ二・一二、比エペ二・一〇、⑥参エペ二・一五
2 ①コロ三・一二、②参エペ二・一五
3 ①比コロ三・一四、比Iコリ一三・四以下、②エペ二・一六
5 ①参Iコリ八・六

4 ①Ⅱコリ一二・六、②参エペ三・一
5 ①Iコリ三・六、エペ二・一〇
6 ①ガラ三・二四、②ガラ二・一九
7 ①コロ一・二三、二五、②比エペ三・七、③エペ三・二、ロマ一二・三、参使二・二四

6 すべてのものの上にあり、すべてのものを貫き、すべてのもののうちにおられる、すべてのものの父なる神は一つです。

7 しかし、私たちはひとりひとり、キリストの賜物の量りに従って恵みを与えられました。

8 そこで、こう言われています。

「高い所に上られたとき、
彼は多くの捕虜を引き連れ、
人々に賜物を分け与えられた。」

9 ――この「上られた。」ということばは、彼がまず地の低い所に下られた、ということでなくて何でしょう。

10 この下られた方自身が、すべてのものを満たすために、もろもろの天よりも高く上られた方なのです。――

11 こうして、キリストご自身が、ある人を使徒、ある人を預言者、ある人を伝道者、ある人を牧師また教師として、お立てになったのです。

12 それは、聖徒たちを整えて奉仕の働きをさせ、キリストのからだを建て上げるためであり、

13 ついに、私たちがみな、信仰の一致と神の御子に関する知識の一致とに達し、完全におとなになって、キリストの満ち満ちた身たけにまで達するためです。

14 それは、私たちがもはや、子どもではなくて、人の悪巧みや、人を欺く悪賢い策略により、教えの風に吹き回されたり、波にもてあそばれたりすることがなく、

15 むしろ、愛をもって真理を語り、あらゆる点において成長し、かしらなるキリストに達することができるためなのです。

16 キリストによって、からだ全体は、一つ一つの部分がその力量にふさわしく働く力により、また、備えられたあらゆる結び目によって、しっかりと組み合わされ、結び合わされ、成長して、愛のうちに建てられるのです。

17 そこで私は、主にあって言明し、おごそかに勧めます。もはや、異邦人がむなしい心で歩んでいるように歩んではなりません。

18 彼らは、その知性において暗くなり、彼らのうちにある無知と、かたくなな心とのゆえに、神のいのちから遠く離れています。

19 道徳的に無感覚となった彼らは、好色に身をゆだねて、あらゆる不潔な行ないをむさぼるようになっています。

20 しかし、あなたがたはキリストのことを、このようには学びませんでした。

21 ただし、ほんとうにあなたがたがキリストに聞き、キリストにあって教えられているのならばです。まさしく真理はイエスにあるのですから。

22 その教えとは、あなたがたの以前の生活について言うならば、人を欺く情欲によって滅びて行く古い人を脱ぎ捨てるべきこと、

23 またあなたがたが心の霊において新しくされ、

24 真理に基づく義と聖をもって神にかたどり造り出さ

6 ①創ヨベ一・二六、出コロ一・二六
7 ①出Ⅰコリ一二・七、一一
8 ①詩六八・一八、②士五・一二
出コロ二・一五
9 ①出ヨハ三・一三
*異本「まず」を欠く
②イザ四四・二三、出詩九五・四、
10 ①創エペ一・二三、②ヘブ四・一四、七・二六、九・一四、出エペ一・二〇、二三
11 ①エペ四・八、②創Ⅰコリ一二・二八、使二一・一、③創使二一・八
12 ①ローマ一二・七、②エペ一・二三
Ⅰコリ一二・七
13 ①エペ四・三、②エペ一・一七
創ピリ三・一〇、ヨハ六・六九、③ヘブ五・一四、Ⅰコリ一四・二〇、コロ一・二八
④ヨハ一・一六、ガラ四・九、エペ一・三
14 ①Ⅰコリ一四・二〇、②Ⅰコリ三・一、六、Ⅱコリ一一・三、③エペ六・一一、④創ヤコ一・六、ユダ三
15 ①エペ一・九、②エペ二・二一
③エペ一・一三
16 ①Ⅰコロ一・九、ローマ一二・五、Ⅰコリ一二・一七、②エペ二・五
17 ①Ⅰコロ二・四、②ルカ一八・六
③出エペ二・一二、Ⅰペテ二・六
18 ①ローマ一二・二、②使二六・一八、ペテ二・九、七、Ⅰペテ一・一四、ペテ二・一四、使二六・一七
Ⅰコリ二・八、③マコ三・五、ローマ二・七、二五、Ⅱコリ三・一四、④エペ四・一八
19 ①Ⅰテモ四・二、②ローマ一・二四
コロ三・五、Ⅱペテ二・七
20 ①マタ二一・二九
21 ①ローマ一〇・一四、エペ一・一三、一七
コロ一・五、②コロ二・七
22 ①創Ⅱコリ一三・五、ヘブ三・一三
②ローマ六・六、③エペ四・二二、二三、Ⅰペテ二・一
23 ①ローマ一二・二
24 ①エペ二・一〇

れた、新しい人を身に着るべきことでした。

25 ですから、あなたがたは偽りを捨て、おのおの隣人に対して真実を語りなさい。私たちはからだの一部分として互いにそれぞれのものだからです。

26 怒っても、罪を犯してはなりません。日が暮れるまで憤ったままでいてはいけません。

27 悪魔に機会を与えないようにしなさい。

28 盗みをしている者は、もう盗んではいけません。かえって、困っている人に施しをするため、自分の手をもって正しい仕事をし、ほねおって働きなさい。

29 悪いことばを、いっさい口から出してはいけません。ただ、必要なとき、人の徳を養うのに役立つことばを話し、聞く人に恵みを与えなさい。

30 神の聖霊を悲しませてはいけません。あなたがたは、贖いの日のために、聖霊によって証印を押されているのです。

31 無慈悲、憤り、怒り、叫び、そしりなどを、いっさいの悪意とともに、みな捨て去りなさい。

32 お互いに親切にし、心の優しい人となり、神がキリストにおいてあなたがたを赦してくださったように、互いに赦し合いなさい。

5

1 ですから、愛されている子どもらしく、神にならう者となりなさい。

2 また、愛のうちに歩みなさい。キリストもあなたがたを愛して、私たちのために、ご自身を神へのささげ物、また供え物とし、香ばしいかおりをおささげになりました。

3 あなたがたの間では、聖徒にふさわしく、不品行も、どんな汚れも、またむさぼりも、口にすることさえいけません。

4 また、みだらなことや、愚かな話や、下品な冗談を避けなさい。そのようなことは良くないことです。むしろ、感謝しなさい。

5 あなたがたがよく見て知っているとおり、不品行な者や、汚れた者や、むさぼる者――これが偶像礼拝者です。――こういう人はだれも、キリストと神との御国を相続することができません。

6 むなしいことばに、だまされてはいけません。こういう行ないのゆえに、神の怒りは不従順な子らに下るのです。

7 ですから、彼らの仲間になってはいけません。

8 あなたがたは、以前は暗やみでしたが、今は、主にあって、光となりました。光の子どもらしく歩みなさい。

9 ――光の結ぶ実は、あらゆる善意と正義と真実なのです。――

10 そのためには、主に喜ばれることが何であるかを見分けなさい。

11 実を結ばない暗やみのわざに仲間入りしないで、むしろ、それを明るみに出しなさい。

12 なぜなら、彼らがひそかに行なっていることは、口にするのも恥ずかしいことだからです。

13 けれども、明るみに引き出されるものは、みな、光

---

24 ②コロ三・一〇、ロマ六・四、七・六 Ⅱコリ五・一七、③ロマ一三・一四
25 ①㊀エペ四・三、②ゼカ八・一六 コロ三・九、エペ四・一五、③ロマ一二・五
26 ①詩四・四、②申二四・一五
27 ①ヤコ四・七、㊀マコ一・一九
28 ①ルカ一九・二一、Ⅰテサ四・一二 Ⅱテサ三・八、一二、Ⅰテモ五・一三、㊀ガラ六・一〇
29 ①エペ五・四、コロ三・八 ㊁マタ一二・三四、②ロマ一四・一九 コロ四・六、伝一〇・一二
30 ①イザ六三・一〇、Ⅰテサ五・一九 ②エペ一・一三、ヨハ三・三三
31 ①エペ六・九、ロマ一二・一九 ②Ⅰペテ二・一、③エペ四・三一
32 ①コロ三・一三、Ⅰコリ一〇・三二 Ⅰペテ三・八、②マタ六・一四、一五 Ⅱコリ二・一〇 *異本「私たち」
1 ①エペ五・二一、ルカ六・三六 マタ五・四八
2 ①㊁ロマ一四・一五、㊀コロ三・一四 ②ヨハ三・三四、ロマ八・三七 *異本「私たち」 ③エペ五・二五、ガラ二・二〇、ロマ一四・一五、ヨハ六・五一、④ヘブ七・二七、㊀ヘブ九・一四、一〇・一〇、⑤Ⅱコリ二・一四、出二九・八、二五
3 ①コロ三・五 ②エペ四・二六、コロ三・八、㊁マタ五・二二、②ロマ一・六、③エペ五・三、四、②ロマ一・六
5 ①Ⅰコリ六・九、一〇、コロ三・五
6 ①コロ二・八、②ロマ一・六 コロ三・六、③エペ二・二
7 ①エペ三・六
8 ①エペ二・二、②使六・一八 コロ一・一三、③ルカ一六・八 ヨハ一二・三六、㊀ロマ一三・一二
9 ①ガラ五・二二、②ロマ一五・一四
10 ①㊀ロマ一二・一
11 ①使六・一八、②ロマ一三・一二、③Ⅰコリ五・九
12 ①ロマ一六・一九、②Ⅰコリ一四・三五
13 ①ヨハ三・二〇、二一 Ⅱコリ六・一四、④Ⅰテモ五・二〇

によって明らかにされます。
14 明らかにされたものはみな、光だからです。それで、
こう言われています。
「眠っている[1]人よ。目をさませ。
死者の中から起き上がれ。
そうすれば、キリストが、あなたを照らされる。」
15 そういうわけですから、賢くない人のようにではなく、賢い人のように歩んでいるかどうか、よくよく注意し、
16 機会を十分に生かして用いなさい。悪い時代だからです。
17 ですから、愚かにならないで、主のみこころは何であるかを、よく悟りなさい。
18 また、酒に酔ってはいけません。そこには放蕩があるからです。むしろ、御霊に満たされなさい。
19 詩と賛美と霊の歌とをもって、互いに語り、主に向かって、心から歌い、また賛美しなさい。
20 いつでも、すべてのことについて、私たちの主イエス・キリストの名によって父なる神に感謝しなさい。
21 キリストを恐れ尊んで、互いに従いなさい。
22 妻たちよ。あなたがたは、主に従うように、自分の夫に従いなさい。
23 なぜなら、キリストは教会のかしらであって、ご自身がそのからだの救い主であられるように、夫は妻のかしらであるからです。
24 教会がキリストに従うように、妻も、すべてのことにおいて、夫に従うべきです。
25 夫たちよ。キリストが教会を愛し、教会のためにご自身をささげられたように、あなたがたも、自分の妻を愛しなさい。
26 キリストがそうされたのは、みことばにより、水の洗いをもって、教会をきよめて聖なるものとするためであり、
27 ご自身で、しみや、しわや、そのようなものの何一つない、きよく傷のないものとなった栄光の教会を、ご自分の前に立たせるためです。
28 そのように、夫も自分の妻を自分のからだのように愛さなければなりません。自分の妻を愛する者は自分を愛しているのです。
29 だれも自分の身を憎んだ者はいません。かえって、これを養い育てます。それはキリストが教会をそうされたのと同じです。
30 私たちはキリストのからだの部分だからです。
31 「それゆえ、人はその父と母を離れ、妻と結ばれ、ふたりは一心同体となる。」
32 この奥義は偉大です。私は、キリストと教会とをさして言っているのです。
33 それはそうとして、あなたがたも、おのおの自分の妻を自分と同様に愛しなさい。妻もまた自分の夫を敬いなさい。

6

1 子どもたちよ。主にあって両親に従いなさい。これは正しいことだか

---

14 ①イザ二六・九、五二・七、五三・一、六一・一、②ロマ一三・一一、③エペ二・一、④ルカ一・九、七九
16 ①コロ四・五、②エペ五・一六
17 ①ロマ一二・二、コロ一・九
18 ①テサ五・一七
19 ①詩一〇四・三四、②使一六・二五
20 ①Ⅰコリ一四・一六、②使二八・三五
21 ①Ⅱコリ五・一四、②ガラ五・一三
22 ①エペ五・二一、ピリ二・三
23 ①Ⅰコリ一一・三、②Ⅰコリ六・一五
25 ①エペ五・二、五、②ガラ二・二〇
26 ①ヘブ一〇・一〇、一四、二九、②テト三・五
27 ①エペ五・二五、二六、②黙一九・七、②黙一四・四、②黙一九・七、②黙Ⅰコリ六・一一
28 ①エペ五・二八、三三、②Ⅰペテ三・七
29 ①Ⅱコリ一一・二九、②Ⅰテサ二・七
30 ①黙一四・四、②Ⅰコリ六・一五、②黙一九・七
31 ①創二・二四、マタ一九・五、マコ一〇・七、八
33 ①エペ五・二八、②Ⅰペテ三・七
1 ①コロ三・二〇、②Ⅰペテ二・一三

らです。
2 「あなたの父と母を敬え。」これは第一の戒めであり、約束を伴ったものです。すなわち、
3 「そうしたら、あなたはしあわせになり、地上で長生きする。」という約束です。
4 父たちよ。あなたがたも、子どもをおこらせてはいけません。かえって、主の教育と訓戒によって育てなさい。
5 奴隷たちよ。あなたがたは、キリストに従うように、恐れおののいて真心から地上の主人に従いなさい。
6 人のごきげんとりのような、うわべだけの仕え方でなく、キリストのしもべとして、心から神のみこころを行ない、
7 人にではなく、主に仕えるように、善意をもって仕えなさい。
8 良いことを行なえば、奴隷であっても自由人であっても、それぞれその報いを主から受けることをあなたがたは知っています。
9 主人たちよ。あなたがたも、奴隷に対して同じようにふるまいなさい。おどすことはやめなさい。あなたがたは、彼らとあなたがたとの主が天におられ、主は人を差別されることがないことを知っているのですから。
10 終わりに言います。主にあって、その大能の力によって強められなさい。
11 悪魔の策略に対して立ち向かうことができるために、神のすべての武具を身に着けなさい。
12 私たちの格闘は血肉に対するものではなく、主権、力、この暗やみの世界の支配者たち、また、天にいるもろもろの悪霊に対するものです。
13 ですから、邪悪な日に際して対抗できるように、また、いっさいを成し遂げて、堅く立つことができるように、神のすべての武具をとりなさい。
14 では、しっかりと立ちなさい。腰には真理の帯を締め、胸には正義の胸当てを着け、
15 足には平和の福音の備えをはきなさい。
16 これらすべてのものの上に、信仰の大盾を取りなさい。それによって、悪い者が放つ火矢を、みな消すことができます。
17 救いのかぶとをかぶり、また御霊の与える剣である、神のことばを受け取りなさい。
18 すべての祈りと願いを用いて、どんなときにも御霊によって祈りなさい。そのためには絶えず目をさましていて、すべての聖徒のために忍耐の限りを尽くし、また祈りなさい。
19 また、私が口を開くとき、語るべきことばが与えられ、福音の奥義を大胆に知らせることができるように私のためにも祈ってください。
20 私は鎖につながれて、福音のために大使の役を果たしています。鎖につながれていても、語るべきことを大胆に語れるように、祈ってください。

2 ①出二〇・一二、申五・一六
3 ①出二〇・一二、申五・一六
4 ①コロ三・二一、②旧創一八・一九、申六・七、一一・一九、詩七八・五、箴三・一一、Ⅱテモ三・一五
5 ①コロ三・二二、旧Ⅰテモ六・一、②エペ六・三、③Ⅰコリ七・二二 *直訳「肉による」
6 ①旧ガラ一・一〇、②コロ三・二二
7 ①コロ三・二三
8 ①Ⅰコリ三・一三、旧コロ三・一一、②旧マタ六・一七、旧コロ三・二四、③旧コロ三・二四
9 ①旧レビ二五・四三、②旧ヨブ三一・一三以下、ヨハ一三・一三、③旧使一〇・三四、コロ三・二五
10 ①エペ一・一九、②旧Ⅰコリ一六・一三、旧Ⅱテモ二・一
11 ①エペ四・一四、②エペ六・一三
12 ①旧Ⅰコリ九・二五、②旧マタ一六・二六、③Ⅰコリ二・一四、④旧使二六・一八、コロ一・一三、⑤旧ヨハ一三・一〇、⑥旧エペ一・一三、⑦旧エペ二・一〇
13 ①旧エペ六・一六、②旧ヤコ四・七
14 ①イザ一一・五、旧ルカ一二・三五、②イザ五九・一七、旧Ⅰテサ五・八、③旧エペ六・一四、旧Ⅰテサ五・八、ロマ一三・一二、④旧Ⅰテサ五・六、⑤旧マタ五・八、ヘブ一二・一四
15 ①旧イザ五二・七、ロマ一〇・一五、②旧エペ二・一七、③詩七二・三、旧詩三二〇・四
16 ①イザ五九・一七、②ヘブ六・一八
17 ①旧イザ五九・一七、②エペ五・二六、③旧エペ五・二六、④ホセ六・五、⑤ヘブ六・五、旧エペ五・二六、⑥ピリ四・六、②ルカ一八・一、Ⅰテサ五・一七、③旧コロ四・二、Ⅰテサ五・一七、④マコ一三・三三、⑤旧使一・一四のギリシャ語、⑥旧Ⅰテモ二・一
19 ①旧Ⅱコリ六・一一、②エペ三・三、③旧Ⅱコリ三・一二、④コロ四・三、Ⅰテサ二・二
20 ①旧使二八・二〇、エペ三・一、②旧コロ四・三、エペ六・一九、ピリ一・七、③旧Ⅱコリ五・二〇、旧コロ四・四、④旧Ⅱコリ三・一二

21 [1] あなたがたにも私の様子や、私が何をしているかなどを知っていただくために、[2]主にあって愛する兄弟であり、忠実な奉仕者である[3]テキコが、一部始終を知らせるでしょう。
22 [1] テキコをあなたがたのもとに遣わしたのは、ほかでもなく、あなたがたが私たちの様子を知り、また彼によって心に[2]励ましを受けるためです。
23 どうか、父なる神と主イエス・キリストから、[1]平安と[2]信仰に伴う愛とが兄弟たちの上にありますように。
24 私たちの主イエス・キリストを朽ちぬ愛をもって愛するすべての人の上に、恵みがありますように。

21 ①エペ六・二二、コロ四・七-九 ②コロ四・七、③使二〇・四
22 ①コロ四・八、②コロ二・二、四・八
23 ①ガラ六・一六、旧Ⅱテサ三・一六 Ⅰペテ五・一四、新ロマ一五・三三 ②旧ガラ五・六、旧Ⅰテサ五・八

ピリピ人への手紙

1

1 キリスト・イエスのしもべである
パウロとテモテから、ピリピにいる
キリスト・イエスにあるすべての聖徒たち、また監督
と執事たちへ。
2 どうか、私たちの父なる神と主イエス・キリストから、恵みと平安があなたがたの上にありますように。
3 私は、あなたがたのことを思うごとに私の神に感謝し、
4 あなたがたすべてのために祈るごとに、いつも喜びをもって祈り、
5 あなたがたが、最初の日から今日まで、福音を広めることにあずかって来たことを感謝しています。
6 あなたがたのうちに良い働きを始められた方は、キリスト・イエスの日が来るまでにそれを完成させてくださることを私は堅く信じているのです。
7 私があなたがたすべてについてこのように考えるのは正しいのです。あなたがたはみな、私が投獄されているときも、福音を弁明し立証しているときも、私とともに恵みにあずかった人々であり、私は、そのようなあなたがたを、心に覚えているからです。
8 私が、キリスト・イエスの愛の心をもって、どんなにあなたがたすべてを慕っているか、そのあかしをしてくださるのは神です。
9 私は祈っています。あなたがたの愛が真の知識とあらゆる識別力によって、いよいよ豊かになり、
10 あなたがたが、真にすぐれたものを見分けることができるようになりますように。またあなたがたが、キリストの日には純真で非難されるところがなく、
11 キリスト・イエスによって与えられる義の実に満たされている者となり、神の御栄えと誉れが現わされますように。
12 さて、兄弟たち。私の身に起こったことが、かえって福音を前進させることになったのを知ってもらいたいと思います。
13 私がキリストのゆえに投獄されている、ということは、親衛隊の全員と、そのほかのすべての人にも明らかになり、
14 また兄弟たちの大多数は、私が投獄されたことにより、主にあって確信を与えられ、恐れることなく、ますます大胆に神のことばを語るようになりました。
15 人々の中にはねたみや争いをもってキリストを宣べ伝える者もいますが、善意をもってする者もいます。
16 一方の人たちは愛をもってキリストを伝え、私が福音を弁証するために立てられていることを認めていますが、
17 他の人たちは純真な動機からではなく、党派心をもって、キリストを宣べ伝えており、投獄されている私をさらに苦しめるつもりなのです。

---

1 ①ピリ一・八、二・五、三・八、三、Ⅰテサ二・七、二、ガラ一・二
②ロマ一・一、ガラ一・一
③Ⅱコリ一・一、コロ一・一
ピレ一、Ⅰテサ一・一
④使六・一
⑤使六・三、⑥Ⅱコリ一・一
⑦使九・三
⑧使二・六、Ⅰテモ一・一二
テト一・七、⑨Ⅰテモ三・八以下
2 ①㊢ロマ一・七
3 ①ロマ一・八
5 ①ピリ二・三、四、使二六・二〇、㉒、②ピリ一・七、三、二六、七・三
*別訳「福音にあずかって」
③使二四・二五
6 ①Ⅰコリ一・八、ピリ一・一〇、二・一六
7 ①㊢Ⅱペテ一・一三、②ピリ一・三、四、七、使二三・三、エペ六・二一、③㊢ピリ一・五、④Ⅱコリ七・三
8 ①㊢ピリ一・一、②ロマ一・九
9 ①Ⅰテサ三・一二、②コロ一・九
10 *別訳「異なっているものを区別する」
①ロマ二・一八、②Ⅰコリ一・八
ピリ一・六、一〇
**直訳「のために」
11 ①ヤコ三・一八
12 ①ルカ二一・一三、②㊢ピリ一・五
13 ①ピリ一・七、Ⅱテモ二・九
②使二八・二〇
*別訳「総督官邸」
14 ①ピリ一・七、Ⅱテモ二・九
②ピリ一・二〇、Ⅱコリ三・一二、七・四、使四・三一
15 ①Ⅱコリ一一・一三
16 *異本「一六節と一七節を入れ替えたものがある」
①Ⅰコリ九・一七、②ピリ一・五、七、三・三、三・三、四・三、五
17 ①ロマ三・八、㊢ピリ二・三
②ピリ一・七、Ⅱテモ二・九

18 すると、どういうことになりますか。つまり、見せかけであろうとも、真実であろうとも、あらゆるしかたで、キリストが宣べ伝えられているのであって、このことを私は喜んでいます。そうです、今からも喜ぶことでしょう。

19 というわけは、あなたがたの祈りとイエス・キリストの御霊の助けによって、このことが私の救いとなることを私は知っているからです。

20 それは、私がどういうばあいにも恥じることなく、いつものように今も大胆に語って、生きるにしても、死ぬにしても、私の身によって、キリストのすばらしさが現わされることを求める私の切なる願いと望みにかなっているのです。

21 私にとっては、生きることはキリスト、死ぬことも また益です。

22 しかし、もしこの肉体のいのちが続くとしたら、私の働きが豊かな実を結ぶことになるので、どちらを選んだらよいのか、私にはわかりません。

23 私は、その二つのものの間に板ばさみとなっています。私の願いは、世を去ってキリストとともにいることです。実はそのほうが、はるかにまさっています。

24 しかし、この肉体にとどまることが、あなたがたのためには、もっと必要です。

25 私はこのことを確信していますから、あなたがたの信仰の進歩と喜びとのために、私が生きながらえて、あなたがたすべてといっしょにいるようになることを知っています。

26 そうなれば、私はもう一度あなたがたのところに行けるので、私のことに関するあなたがたの誇りは、イエス・キリストにあって増し加わるでしょう。

27 ただ、キリストの福音にふさわしく生活しなさい。そうすれば、私が行ってあなたがたに会うにしても、また離れているにしても、私はあなたがたについて、こう聞くことができるでしょう。あなたがたは霊を一つにしてしっかりと立ち、心を一つにして福音の信仰のために、ともに奮闘しており、

28 また、どんなことがあっても、反対者たちに驚かされることはないと。それは、彼らにとっては滅びのしるしであり、あなたがたにとっては救いのしるしです。これは神から出たことです。

29 あなたがたは、キリストのために、キリストを信じる信仰だけでなく、キリストのための苦しみをも賜わったのです。

30 あなたがたは、私について先に見たこと、また、私についていま聞いているのと同じ戦いを経験しているのです。

2

1 こういうわけですから、もしキリストにあって励ましがあり、愛の慰めがあり、御霊の交わりがあり、愛情とあわれみがあるなら、

2 私の喜びが満たされるように、あなたがたは一致を保ち、同じ愛の心を持ち、心を合わせ、志を一つにし

19 ①Ⅱコリ一・二、②使二六・七
20 ①ロマ五・五、Ⅰペテ四・一六 *あるいは「恥を受けることなく」
②Ⅱコリ三・一二、七、四・一、Ⅱ使四・二九、ピリ一・二四、③参ロマ一四・八、④Ⅰコリ六・一三、⑤ロマ八・一九
21 ①ガラ二・二〇
22 *別訳「もし肉体において生きることが私にとって実り多い働きとなるとしたら、私はどちらを選んだらよいのか」
①参ロマ一・一三
23 ①Ⅱコリ五・八、Ⅱテモ四・六
②参ヨハ一二・二六
25 ①参ピリ二・二四
26 ①参Ⅱコリ五・一三、Ⅱ使Ⅱコリセ四、ピリ二・一六
27 ①参ピリ一・五、②Ⅰペテ四・一 *別訳「御国の民の生活をしてください」
③Ⅰ使四・二三、④ピリ四・一、Ⅰコリ一六・一三、⑤ユダ三
28 ①Ⅱテサ一・五
29 ①Ⅰ使マタ五・一二、②参使一四・三
30 ①使六・二九四四、ピリ一・一三
②Ⅰテサ二・二、〈プロ〉三・三、コロ二・二六、二・一、Ⅰテモ六・一二、Ⅱテモ四・七、参ヘブ三・一のギリシヤ語
1 ①Ⅱコリ一三・一三、②参コロ三・三
2 ①参ヨハ一三・三五、②参ロマ一二・一六、ピリ四・二

てください。
3 何事でも自己中心や虚栄からすることなく、へりくだって、互いに人を自分よりもすぐれた者と思いなさい。
4 自分のことだけではなく、他の人のことも顧みなさい。
5 あなたがたの間では、そのような心構えでいなさい。それはキリスト・イエスのうちにも見られるものです。
6 キリストは、神の御姿であられる方なのに、神のあり方を捨てることができないとは考えないで、
7 ご自分を無にして、仕える者の姿をとり、人間と同じようになられたのです。
8 キリストは人間と同じようなかたちになり、自分を卑しくし、死にまで従い、実に十字架の死にまでも従われたのです。
9 それゆえ、神は、キリストを高く上げて、すべての名にまさる名をお与えになりました。
10 それは、イエスの御名によって、天にあるもの、地にあるもの、地の下にあるもののすべてが、ひざをかがめ、
11 すべての口が、「イエス・キリストは主である。」と告白して、父なる神がほめたたえられるためです。
12 そういうわけですから、愛する人たち、いつも従順であったように、私がいるときだけでなく、私のいない今はなおさら、恐れおののいて自分の救いを達成してください。
13 神はみこころのままに、あなたがたのうちに働いて志を立てさせ、わざを行なわせてくださるからです。
14 すべてのことを、つぶやかず、疑わずに行ないなさい。
15 それは、あなたがたが、非難されるところのない純真な者となり、また、曲がった邪悪な世代の中にあって傷のない神の子どもとなり、
16 いのちのことばをしっかり握って、彼らの間で世の光として輝くためです。そうすれば、私は、自分の努力したことがむだではなく、苦労したこともむだでなかったことを、キリストの日に誇ることができます。
17 たとい私が、あなたがたの信仰の供え物と礼拝ともに、注ぎの供え物となっても、私は喜びます。あなたがたすべてとともに喜びます。
18 あなたがたも同じように喜んでください。私といっしょに喜んでください。
19 しかし、私もあなたがたのことを知って励ましを受けたいので、早くテモテをあなたがたのところに送りたいと、主にあって望んでいます。
20 テモテのように私と同じ心になって、真実にあなたがたのことを心配している者は、ほかにだれもいないからです。
21 だれもみな自分自身のことを求めるだけで、キリスト・イエスのことを求めてはいません。

3 ①旧ピリ一・七、ロマ一二・八 *あるいは「党派心」 ②ガラ五・二六、③箴一六・一八 旧エペ五・二
4 ①旧ロマ一二・一、二 ②箴ピリ一・一
5 ①箴マタ二・九、旧ロマ一五・五 ②箴ピリ一・一
6 ①ヨ一・一、②旧Ⅱコリ四・四 ③旧ヨ一ハ五・一八、一〇・三三、一四・六
7 ①Ⅱコリ八・九 *すなわち、「特権を主張されずに」 ②箴マタ二〇・二八、③箴ヨハ一・一四、ロマ八・三、ガラ四・四 ヘブ二・一七
8 ①Ⅱコリ八・九、②ヘブ二・一三 ③ヘブ五・八、旧マタ二六・三九 ヨハ一〇・一八、ロマ五・一九
9 ①箴ヘブ一・九、②箴マタ二八・一八、使二・三三、ヘブ二・九
10 ①箴エペ一・二〇、②ロマ一四・一一 旧ヨハ一・三、ロマ一〇・九、一四・九
11 ①箴ヨハ一・三、ロマ一〇・九、一四・九
12 ①旧ピリ一・五、六、四・一五 ②箴Ⅱコリセ・五、③ヘブ五・九
13 ①Ⅰコリ一二・六、一五・一〇、旧ロマ一二・三、ヘブ一三・二一、②箴エペ一・五
14 ①旧Ⅰコリ一〇・一〇、Ⅰペテ四・九
15 ①ルカ一・六、ピリ二・六 旧ヨハ一・四、③マタ五・四五 エペ五・一
16 ①創一・二六、②旧マタ二四・一四 ③箴ガラ二・二、④ガラ四・一一 Ⅰテサ三・六、旧イザ四九・四 ⑤箴ピリ一・六
17 ①Ⅱテモ四・六、旧Ⅱコリ三・一五、②ロマ一二・一、旧民二六・七 *別訳「灌祭」
18 ①箴ピリ一・一、②ピリ二・三
19 ①箴Ⅰコリ一六・一〇、Ⅱテモ四・一一
20 ①旧Ⅰコリ一六・一〇、Ⅱテモ四・一一
21 ①旧Ⅰコリ一〇・二四、一三・五 ピリ二・四

22 しかし、テモテのりっぱな働きぶりは、あなたがたの知っているところです。子が父に仕えるようにして、彼は私といっしょに福音に奉仕して来ました。
23 ですから、私のことがどうなるかがわかりしだい、彼を遣わしたいと望んでいます。
24 しかし私自身も近いうちに行けることと、主にあって確信しています。
25 しかし、私の兄弟、同労者、戦友、またあなたがたの使者として私の窮乏のときに仕えてくれた人エパフロデトは、あなたがたのところに送らねばならないと思っています。
26 彼は、あなたがたすべてを慕い求めており、また、自分の病気のことがあなたがたに伝わったことを気にしているからです。
27 ほんとうに、彼は死ぬほどの病気にかかりましたが、神は彼をあわれんでくださいました。彼ばかりでなく私をもあわれんで、私にとって悲しみに悲しみが重なることのないようにしてくださいました。
28 そこで、私は大急ぎで彼を送ります。あなたがたが彼に再び会って喜び、私も心配が少なくなるためです。
29 ですから、喜びにあふれて、主にあって、彼を迎えてください。また、彼のような人々には尊敬を払いなさい。
30 なぜなら、彼は、キリストの仕事のために、いのちの危険を冒して死ぬばかりになったからです。彼は私に対して、あなたがたが私に仕えることのできなかった分を果たそうとしたのです。

3

1 最後に、私の兄弟たち。主にあって喜びなさい。前と同じことを書きますが、これは、私には煩わしいことではなく、あなたがたの安全のためにもなることです。
2 どうか犬に気をつけてください。悪い働き人に気をつけてください。肉体だけの割礼の者に気をつけてください。
3 神の御霊によって礼拝をし、キリスト・イエスを誇り、人間的なものを頼みにしない私たちのほうこそ、割礼の者なのです。
4 ただし、私は、人間的なものにおいても頼むところがあります。もし、ほかの人が人間的なものに頼むところがあると思うなら、私は、それ以上です。
5 私は八日目の割礼を受け、イスラエル民族に属し、ベニヤミンの分かれの者です。ヘブル人で、律法についてはパリサイ人、
6 その熱心は教会を迫害したほどで、律法による義についてならば非難されるところのない者です。
7 しかし、私にとって得であったこのようなものをみな、私はキリストのゆえに、損と思うようになりました。
8 それどころか、私の主であるキリスト・イエスを知っていることのすばらしさのゆえに、いっさいのことを損と思っています。私はキリストのためにすべての

---

1 ①ピリ四・四、同ピリ二・八 *別訳「ごきげんよう」
2 ①詩三二・六、三六、黙三・一五 同ガラ五・六、②Ⅱコリ一一・一三
3 ①同ガラ六・一五、②ピリ二・三 同ピリ一・一、同ロマ二・二九 ③ロマ二・二七、同ガラ六・一四 *直訳「肉を」 ④同ロマ二・二九、六・六、同ガラ六・一五
4 ①同Ⅱコリ一一・八、一二・一六
5 ①同ルカ二・二六、②Ⅱコリ一二・二三、同ロマ一一・一 ③ロマ一一・一、④同使三・三、三・六、二六
6 ①同使六・三、②ピリ三・五 ③ピリ三・一五
7 ①同ルカ一四・三三
8 ①ピリ三・三、同ピリ一・一 同ロマ八・三九、②ヨハ一七・三 Ⅱペテ一・三 同ピリ三・一〇、エレ九・二三、二四
22 *直訳「適格性」 ①同Ⅰコリ四・一七 ②同Ⅰコリ一六・一〇、Ⅱテモ三・一〇、一一
23 ①ピリ二・一九
24 ①同ピリ一・二五
25 ①ロマ一六・三、ピリ四・三 ピレ一、二四他、②ピレ二 ③Ⅱコリ八・二三、同ヨハ一三・一六 *直訳「使徒」ギリシャ語「アポストロス」 ④同ピリ四・一八、⑤ピリ四・一八
26 *異本「あなたがたすべてを見ることを願い求めており」
29 ①ロマ一六・二、②Ⅰコリ一六・八
30 ①同使二三・一四、②同Ⅰコリ一六・一、七、同ピリ四・一〇

ものを捨てて、それらをちりあくたと思っています。それは、私には、キリストを得、また、
9 キリストの中にある者と認められ、律法による自分の義ではなくて、キリストを信じる信仰による義、すなわち、信仰に基づいて、神から与えられる義を持つことができる、という望みがあるからです。
10 私は、キリストとその復活の力を知り、またキリストの苦しみにあずかることも知って、キリストの死と同じ状態になり、
11 どうにかして、死者の中からの復活に達したいのです。
12 私は、すでに得たのでもなく、すでに完全なものとされているのでもありません。ただ捕えようとして、追求しているのです。そして、それを得るようにとキリスト・イエスが私を捕えてくださったのです。
13 兄弟たちよ。私は、自分はすでに捕えたなどと考えてはいません。ただ、この一事に励んでいます。すなわち、うしろのものを忘れ、ひたむきに前のものに向かって進み、
14 キリスト・イエスにおいて上に召してくださる神の栄冠を得るために、目標を目ざして一心に走っているのです。
15 ですから、成人である者はみな、このような考え方をしましょう。もし、あなたがたがどこかでこれと違った考え方をしているなら、神はそのこともあなたがたに明らかにしてくださいます。
16 それはそれとして、私たちはすでに達しているところを基準として、進むべきです。
17 兄弟たち。私を見ならう者になってください。また、あなたがたと同じように私たちを手本として歩んでいる人たちに、目を留めてください。
18 というのは、私はしばしばあなたがたに言って来たし、今も涙をもって言うのですが、多くの人々がキリストの十字架の敵として歩んでいるからです。
19 彼らの最後は滅びです。彼らの神は彼らの欲望であり、彼らの栄光は彼ら自身の恥なのです。彼らの思いは地上のことだけです。
20 けれども、私たちの国籍は天にあります。そこから主イエス・キリストが救い主としておいでになるのを、私たちは待ち望んでいます。
21 キリストは、万物をご自身に従わせることのできる御力によって、私たちの卑しいからだを、ご自身の栄光のからだと同じ姿に変えてくださるのです。

4

1 そういうわけですから、私の愛し慕う兄弟たち、私の喜び、冠よ。どうか、このように主にあってしっかりと立ってください。私の愛する人たち。
2 ユウオデヤに勧め、スントケに勧めます。あなたがたは、主にあって一致してください。
3 ほんとうに、真の協力者よ。あなたにも頼みます。彼女たちを助けてやってください。この人たちは、いのちの書に名のしるされているクレメンスや、そのほ

9 ①ロマ5:5、旧ピリ3:6 ②旧ロマ4:13、旧Iコリ1:31
10 ①旧ロマ6:5、②Iペテ4:13 旧Uテサ1:8、IIペテ1:4 旧ピリ3:8、エレ9:23、24 ③旧ロマ8:17、④旧ロマ6:5、ガラ2:20
11 ①旧Iコリ15:13、黙3:5、6、旧使2:24
12 ①旧Iコリ4:11、2:2 ②Iコリ13:12、Iテモ6:13、2:1 ③Iテモ6:12、13 *別訳「なぜなら……捕えてくださったからです」 ④使2:24、5:31、ピリ3:8、旧ロマ8:29
13 ①旧ルカ9:62
14 ①旧ピリ3:8、②旧ロマ8:1、Iテモ1:16、旧ロマ8:30、Uテモ1:9 ③Iコリ9:24、旧ヘブ6:18 ④旧マタ5:12
15 ①旧Iコリ2:6、旧マタ5:48 ②旧ガラ5:10、③エペ1:17、Iテサ4:6、旧ヨハ6:45
16 ①ガラ2:2
17 ①旧Iコリ4:16、旧ピリ4:9 ②Iペテ5:3
18 ①旧使3:13、②旧Uコリ11:3、③旧ガラ2:20
19 ①ロマ16:18、旧テト1:12 *直訳「腹」 ②旧ロマ8:13、ユダ3 ③旧ロマ6:21、旧コロ3:5 ④エペ5:5、旧ピリ3:19 コロ3:5、ヘブ12:16 ⑤旧Iコリ1:7
20 ①エペ2:6、旧ピリ3:19 ②旧Iコリ1:7
21 ①Iコリ15:43、②旧エペ1:19、③旧Iコリ15:49、旧Uコリ4:4 ④ロマ8:21、コロ3:4 ⑤Iコリ15:50、旧Iコリ15:53 ⑥ピリ3:19、②旧Iコリ15:43、ピリ3:19
1 ①ピリ4:8、②旧Iコリ16:13、ピリ1:27
2 ①旧ピリ4:3
3 *別訳「スズゴス（人名）」 ①旧ルカ10:20

かの私の同労者たちとともに、福音を広めることで私に協力して戦ったのです。
4 いつも主にあって喜びなさい。もう一度言います。喜びなさい。
5 あなたがたの寛容な心を、すべての人に知らせなさい。主は近いのです。
6 何も思い煩わないで、あらゆるばあいに、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。
7 そうすれば、人のすべての考えにまさる神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます。
8 最後に、兄弟たち。すべての真実なこと、すべての誉れあること、すべての正しいこと、すべてのきよいこと、すべての愛すべきこと、すべての*評判の良いこと、そのほか徳と言われること、称賛に値することがあるならば、そのようなことに心を留めなさい。
9 あなたがたが私から学び、受け、聞き、また見たことを実行しなさい。そうすれば、平和の神があなたがたとともにいてくださいます。
10 私のことを心配してくれるあなたがたの心が、今ついによみがえって来たことを、私は主にあって非常に喜んでいます。あなたがたは心にかけてはいたのですが、機会がなかったのです。
11 乏しいからこう言うのではありません。私は、どんな境遇にあっても満ち足りることを学びました。
12 私は、貧しさの中にいる道も知っており、豊かさの中にいる道も知っています。また、飽くことにも飢えることにも、富むことにも乏しいことにも、あらゆる境遇に対処する秘訣を心得ています。
13 私は、私を強くしてくださる方によって、どんなことでもできるのです。
14 それにしても、あなたがたは、よく私と困難を分け合ってくれました。
15 ピリピの人たち。あなたがたも知っているとおり、私が福音を宣べ伝え始めたころ、マケドニヤを離れて行ったときには、私の働きのために、物をやり取りしてくれた教会は、あなたがたのほかには一つもありませんでした。
16 テサロニケにいたときでさえ、あなたがたは一度ならず二度までも物を送って、私の乏しさを補ってくれました。
17 私は贈り物を求めているのではありません。私のほしいのは、あなたがたの収支を償わせて余りある*霊的祝福なのです。
18 私は、すべての物を受けて、満ちあふれています。エパフロデトからあなたがたの贈り物を受けたので、満ち足りています。それは香ばしいかおりであって、神が喜んで受けてくださる供え物です。
19 また、私の神は、キリスト・イエスにあるご自身の栄光の富をもって、あなたがたの必要をすべて満たしてくださいます。

3 ②囚ピリ二・二五
4 ①旧ピリ二・一
5 ①旧Ⅰコリ六・三注、ヘブ一〇・三七、ヤコ五・八、九
6 ①囚マタ六・二五、②エペ六・一八、旧Ⅰテモ二・一、二注
7 ①旧ピリ三・一九、②イザ二六・三、ピリ四・九、箴ヨハ一四・二七、コロ三・一五、③旧Ⅱコリ一〇・五、④箴ピリ二・一四・一九、二
8 ①旧ロマ一四・一六、Ⅰペテ二・一二、*あるいは「良いと言われるもの」、②箴ピリ三・一七、③箴ロマ一二・三
9 ①箴ピリ三・一七、②箴ロマ一五・三三
10 ①旧Ⅱコリ二・九、ピリ三・一四
11 ①Ⅰテモ六・六、八、旧Ⅱコリ九・八、ヘブ一三・五
12 ①箴Ⅰコリ四・一二、②Ⅱコリ一一・九
13 ①旧Ⅱコリ三・九、エペ三・一六、コロ一・一一
14 ①旧ヘブ一〇・三三、黙一・九
15 ①旧ピリ一・五、②箴ロマ一五・二六、③Ⅱコリ一一・九、④箴使一七・一、旧Ⅰテサ二・九
16 ①箴使一七・一、旧Ⅰコリ九・一二、*直訳「果実」
17 ①旧Ⅱコリ九・五、Ⅰコリ九・一
18 ①ピリ二・二五、②箴Ⅱコリ二・一四、エペ五・二
19 ①旧Ⅱコリ九・八、②箴ロマ一二・一四

20 どうか、[1]私たちの父なる神に[2]御栄えがとこしえにありますように。アーメン。

21 キリスト・イエスにある聖徒のひとりひとりに、よろしく伝えてください。[1]私といっしょにいる兄弟たちが、あなたがたによろしくと言っています。

22 [1]聖徒たち[2]全員が、そして特に、カイザルの家に属する人々が、よろしくと言っています。

23 どうか、[1]主イエス・キリストの恵みが、[2]あなたがたの霊とともにありますように。

20 ①脚ガラ一・四、②脚ロマ一一・三六
21 ①ガラ一・二
22 ①脚使九・三一、②Ⅱコリ一三・一三
23 ①脚ロマ一六・二〇、②脚Ⅱテモ四・二二

コロサイ人への手紙

1

1 神のみこころによる、キリスト・
イエスの使徒パウロ、および兄弟テ
モテから、
2 コロサイにいる聖徒たちで、キリストにある忠実な
兄弟たちへ。どうか、私たちの父なる神から、恵みと
平安があなたがたの上にありますように。
3 私たちは、いつもあなたがたのために祈り、私た
ちの主イエス・キリストの父なる神に感謝していま
す。
4 それは、キリスト・イエスに対するあなたがたの信
仰と、すべての聖徒に対してあなたがたが抱いている
愛のことを聞いたからです。
5 それらは、あなたがたのために天にたくわえられて
ある望みに基づくものです。あなたがたは、すでにこ
の望みのことを、福音の真理のことばの中で聞きまし
た。
6 この福音は、あなたがたが神の恵みを聞き、それを
ほんとうに理解したとき以来、あなたがたの間でも見
られるとおりの勢いをもって、世界中で、実を結び広
がり続けています。福音はそのようにしてあなたがた
に届いたのです。
7 これはあなたがたが私たちと同じしもべである愛す
るエパフラスから学んだとおりのものです。彼は私た
ちに代わって仕えている忠実な、キリストの仕え人で
あって、
8 私たちに、御霊によるあなたがたの愛を知らせてく
れました。
9 こういうわけで、私たちはそのことを聞いた日から、
絶えずあなたがたのために祈り求めています。どう
か、あなたがたがあらゆる霊的な知恵と理解力によ
って、神のみこころに関する真の知識に満たされます
ように。
10 また、主にかなった歩みをして、あらゆる点で主に
喜ばれ、あらゆる善行のうちに実を結び、神を知る知
識を増し加えられますように。
11 また、神の栄光ある権能に従い、あらゆる力をもっ
て強くされて、忍耐と寛容を尽くし、
12 また、光の中にある、聖徒の相続分にあずかる資格
を私たちに与えてくださった父なる神に、喜びをもっ
て感謝をささげることができますように。
13 神は、私たちを暗やみの圧制から救い出して、愛す
る御子のご支配の中に移してくださいました。
14 この御子のうちにあって、私たちは、贖い、すなわ
ち罪の赦しを得ています。
15 御子は、見えない神のかたちであり、造られたすべ
てのものより先に生まれた方です。
16 なぜなら、万物は御子にあって造られたからです。
天にあるもの、地にあるもの、見えるもの、また見え

---

1 ①Ⅰコリ一・一、②Ⅱコリ一・一、③ピリ一・一、④Ⅱコリ一・一、Ⅰテサ二・一、ピレ一、ヘブ一三・二三
2 ①使九・三、エペ一・二、ピリ一・一、②ロマ一・七、コロ四・一六
3 ①ロマ一五・六、Ⅱコリ一一・三
4 ①エペ一・一五、②エペ六・一八
5 ①Ⅰペテ一・四、⑧Ⅱテモ四・八、②コロ一・二三、ロマ五・二、Ⅰテサ五・八、テト二・一三、使二三・六、③エペ一・一三、コロ一・六、三六、④ガラ五・五、⑤Ⅰペテ一・四、⑥Ⅱテモ四・八
6 *別訳「この福音は、あなたがたに届いているものです。福音は世界中で実を結び成長しているように、あなたがたの間でも……あなたがたが……とき以来そうなのです」、①⑧エペ六・二一、コロ一・五、②ロマ一〇・一六、Ⅰテモ三・一六、コロ一・二三、③ロマ一・一三、④⑧コロ七・七、②コロ四・一三、ピレ三、*異本「あなたがた」
7 ①⑧コロ四・七、②コロ四・一三
8 ①ロマ五・三〇
9 ①コロ一四、②エペ一・一六、③エペ一・七、④エペ三・七、⑧コロ三・九、⑤ヨハ一五・一五、エペ五・一〇、②Ⅱコリ五・九、*あるいは「によって成長しますように」
10 ①エペ四・一、⑧コロ三・九、②Ⅱコリ五・九、エペ五・一〇、②ロマ一・三、*あるいは「によって成長しますように」
11 ①エペ三・一六、Ⅰコリ一六・一三、②使六・三、⑧エペ六・一〇、③⑧エペ四・二、*別訳「喜びをもって」を一一節の「忍耐……」の前に挿入する
13 ①使六・一六、エペ六・一二、②マタ三・二、エペ一・六、ロマ五・一〇、③Ⅰテモ一・一四、ヘブ二・一四、④Ⅱコリ四・四、⑤ヨハ一・五、②Ⅱコリ四・四、③コロ一・七、一六、ロマ八・一九
14 ①エペ一・七、②エペ一・七、⑧エペ一・一四
15 ①Ⅰテモ一・一七、ヘブ二・一四、②Ⅱコリ四・四、③コロ一・七、一六、ロマ八・一九
16 ①⑧エペ一・一〇

ないもの、[2]王座も主権も支配も権威も、すべて御子によって造られたのです。万物は御子によって造られ、御子のために造られたのです。
17 御子は、[1]万物よりも先に存在し、万物は御子にあって成り立っています。
18 また、御子はそのからだである教会のかしらです。御子は初めであり、[4]死者の中から最初に生まれた方です。こうして、ご自身がすべてのことにおいて、第一のものとなられたのです。
19 なぜなら、[1]神はみこころによって、[2]満ち満ちた神の本質を御子のうちに宿らせ、
20 その十字架の血によって平和をつくり、御子によって万物を、ご自分と和解させてくださったからです。地にあるものも天にあるものも、ただ御子によって和解させてくださったのです。
21 あなたがたも、かつては神を離れ、心において敵となって、悪い行ないの中にあったのですが、
22 今は神は、御子のからだにおいて、しかもその死によって、あなたがたをご自分と和解させてくださいました。このようにしてあなたがたを、きよく、傷なく、非難されるところのない者として御前に立たせてくださるためです。
23 ただし、あなたがたは、しっかりとした土台の上に堅く立って、すでに聞いた福音の望みからはずれることなく、信仰に踏みとどまらなければなりません。この福音は、[3]天の下のすべての造られたものに宣べ伝えられているのであって、[4]*このパウロはそれに仕える者となったのです。
24 ですから、私は、[1]あなたがたのために受ける苦しみを喜びとしています。そして、キリストのからだのために、*私の身をもって、[3]キリストの苦しみの欠けたところを満たしているのです。キリストのからだとは、[2]教会のことです。
25 私は、あなたがたのために神からゆだねられた務めに従って、[2]教会に仕える者となりました。神のことばを余すところなく伝えるためです。
26 これは、多くの世代にわたって隠されていて、いま神の聖徒たちに現わされた[1]奥義なのです。
27 神は聖徒たちに、この奥義が異邦人の間にあってどのように栄光に富んだものであるかを、知らせたいと思われたのです。この奥義とは、あなたがたの中におられるキリスト、栄光の望みのことです。
28 私たちは、このキリストを宣べ伝え、[1]知恵を尽くして、あらゆる人を戒め、あらゆる人を教えています。それは、すべての人を、キリストにある成人として立たせるためです。
29 このために、私もまた、[1]自分のうちに力強く働くキリストの力によって、[2]労苦しながら奮闘しています。

2

1 あなたがたとラオデキヤの人たちと、そのほか直接私の顔を見たことのない人たちのためにも、私がどんなに苦闘しているか、知ってほしいと思います。

---

16 ②エペ二・二節、三、コロ二・一五 ③ヨハ一・一六、ロマ一・一六
17 ①ヨハ一・一八、ヘブ一・三 ②コロ一・一四、二・一九 ③エペ二・一三、③黙示一・一四 ④使二六・二三
18 ①エペ一・二三、二・一六 ②ヨハ一・一六 ③使二六・二三 ④コロ一・一五、ヘブ一・六 *「和解」以下は補足
19 ①エペ一・一四、③コロ一・一九 ②ロマ八・三、ヘブ一・三 ③コロ一・一九 ④コロ一・二〇、ヘブ二・一四
20 ①エペ二・一六、コロ一・二二 ②ロマ五・一、エペ二・一四、③ヘブ九・一二、一四
21 ①ロマ八・七、エペ二・一二 ②エペ二・一、六、③コロ一・六、④エペ二・一二、コロ二・一三
22 ①ロマ七・四、②Ⅱコリ五・一八 ③エペ二・一六、③コロ一・二二 ④エペ五・二七、コロ一・二八
23 ①エペ三・一七、コロ二・七 ②エペ三・一七、③コロ一・六 ④マコ一・一五、使二・五 ⑤コロ一・二三、Ⅰコリ一五・一 *直訳「私、パウロ」
24 ①ピリ二・一七、コロ一・七 Ⅱコリ一・五、三・一、六、②Ⅱテモ一・八、二・一〇 *別訳「代表して満たしています」「満たすために私の分を果たしています」
25 ①エペ三・二、②コロ一・二三 ③エペ三・四、ロマ一六・二五、コロ二・二、四 ④エペ一・六、二・七、三・二、七、コロ一・二五 ⑤Ⅰコリ一六・一、Ⅱコリ八・四、九・一、Ⅰテモ二・七
26 ①エペ三・三、九、コロ一・二六、二七、四・三 ②エペ一・六、二・七、三・二、五、九、コロ一・二六 ③ロマ一六・二五、エペ三・五 ④コロ一・二三、Ⅰコリ二・七、Ⅰペテ一・一〇、一二
27 ①エペ一・一八、二・一二、コロ一・二七 ②ロマ八・一〇、④Ⅰテモ一・一
28 ①Ⅰコリ二・六、Ⅱコロ一・三 ②使二〇・二一、コロ一・六 *別訳「あって完全な者」 ③エペ四・一三、Ⅱコロ一・三 ④ロマ一六・二五、Ⅱコロ一・三
29 ①ロエペ一・一九、Ⅱコロ一・三 *あるいは「働き」 ②ロエペ一・一九、③コロ一・二、Ⅱコロ一・三
1 ①コロ一・二、一六、一七、黙示一・二 ②コロ四・一三、Ⅱコロ一・一五

2 それは、この人たちが心に励ましを受け、愛によって結び合わされ、理解をもって豊かな全き確信に達し、神の奥義であるキリストを真に知るようになるためです。
3 このキリストのうちに、知恵と知識との宝がすべて隠されているのです。
4 私がこう言うのは、だれもまことしやかな議論によって、あなたがたをあやまちに導くことのないためです。
5 私は、肉体においては離れていても、霊においてはあなたがたといっしょにいて、あなたがたの秩序とキリストに対する堅い信仰とを見て喜んでいます。
6 あなたがたは、このように主キリスト・イエスを受け入れたのですから、彼にあって歩みなさい。
7 キリストの中に根ざし、また建てられ、また、教えられたとおり信仰を堅くし、あふれるばかり感謝しなさい。
8 あのむなしい、だましごとの哲学によってだれのとりこにもならぬよう、注意しなさい。そのようなものは、人の言い伝えによるものであり、この世に属する幼稚な教えによるものであって、キリストに基づくものではありません。
9 キリストのうちにこそ、神の満ち満ちたご性質が形をとって宿っています。
10 そしてあなたがたは、キリストにあって、満ち満ちているのです。キリストはすべての支配と権威のかしらです。
11 キリストにあって、あなたがたは人の手によらない割礼を受けました。肉のからだを脱ぎ捨て、キリストの割礼を受けたのです。
12 あなたがたは、バプテスマによってキリストとともに葬られ、また、キリストを死者の中からよみがえらせた神の力を信じる信仰によって、キリストとともによみがえらされたのです。
13 あなたがたは罪によって、また肉の割礼がなくて死んだ者であったのに、神は、そのようなあなたがたを、キリストとともに生かしてくださいました。それは、私たちのすべての罪を赦し、
14 いろいろな定めのために私たちに不利な、いや、私たちを責め立てている債務証書を無効にされたからです。神はこの証書を取りのけ、十字架に釘づけにされました。
15 神は、*キリストにおいて、すべての支配と権威の武装を解除してさらしものとし、彼らを捕虜として凱旋の行列に加えられました。
16 こういうわけですから、食べ物と飲み物について、あるいは、祭りや新月や安息日のことについて、だれにもあなたがたを批評させてはなりません。
17 これらは、次に来るものの影であって、本体はキリストにあるのです。
18 あなたがたは、ことさらに自己卑下をしようとしたり、御使い礼拝をしようとする者に、*ほうびをだまし

2 ①㊀エペ六・三、ロ四・八
　㊁Ⅰコリ四・二、㊂コロ二・一九
　㊂エペ一・八、二・三、㊃㊂コロ一・二六、㊄㊂マタ三・二
3 ①㊀Ⅰイザ一一・二、ロマ一一・三三
　②㊀エペ一・七、㊁ロマ一六・二六
　㊂㊀Ⅰコリ一五・二、㊁Ⅰコリ一四・四、㊂㊀Ⅰペテ五・九
4 ①㊀ガラ二・四、㊁㊂コロ一・一〇
　②㊀エペ二・七、㊁エペ二・一〇
　㊂Ⅰコリ一五・九、㊃エペ二・二
　㊄異本「信仰において」または「キリストにおいて」
8 ①㊀コロ二・三、Ⅰテモ六・二〇
　エペ五・六、㊁Ⅰコリ八・九、一〇・三、㊂コロ二・一〇、ガラ四・三
　*別訳「霊力」
9 ①㊀コロ一・九、Ⅱコリ五・九、一二・一、㊁エペ一・二三、㊂コロ二・九
10 ①㊀エペ一・二一、㊁コロ二・一〇
11 ①㊀ロマ二・二九、㊁エペ二・一一
　②㊁ロマ六・六、㊂㊀コロ二・一三
　㊃ロマ六・四、㊄コロ三・五
13 ①㊀エペ二・一、㊁コロ二・一三
14 ①㊀エペ二・一五、㊁コロ二・二
　②㊁Ⅰペテ二・二四
15 *別訳「十字架」
　①㊀コロ二・一〇、㊁㊂エペ一・二一
　㊃㊁イザ五三・一二、マタ二・六、
16 ①マコ二・九、ロマ一四・一七、ヘブ九・一〇、㊁レビ二三・一、ロマ一四・五
　㊂Ⅰ歴二三・三一、Ⅱ歴三一・三、ネヘ八・一四、㊃㊂他、㊄マコ二・一六、㊅㊂ガラ四・一〇、一一
17 ①ヘブ八・五、一〇・一
18 ①㊀㊂Ⅰコリ七・二四、ピリ三・二四
　㊁コロ二・三
　*別訳「ほうびについて……あなたがたに対する不利な批評をさせては」

取られてはなりません。彼らは幻を見たことに安住して、肉の思いによっていたずらに誇り、19かしらに堅く結びつくことをしません。このかしらがもとになり、からだ全体は、関節と筋によって養われ、結び合わされて、神によって成長させられるのです。

20もしあなたがたが、キリストとともに死んで、この世の幼稚な教えから離れたのなら、どうして、まだこの世の生き方をしているかのように、21「ずがるな。味わうな。さわるな。」というような定めに縛られるのですか。

22そのようなものはすべて、用いれば滅びるものについてであって、人間の戒めと教えによるものです。23そのようなものは、人間の好き勝手な礼拝とか、謙遜とか、または、肉体の苦行などのゆえに賢いもののように見えますが、肉のほしいままな欲望に対しては、何のききめもないのです。

3

1こういうわけで、もしあなたがたが、キリストとともによみがえらされたのなら、上にあるものを求めなさい。そこにはキリストが、神の右に座を占めておられます。2あなたがたは、地上のものを思わず、天にあるものを思いなさい。3あなたがたはすでに死んでおり、あなたがたのいのちは、キリストとともに、神のうちに隠されてあるからです。

4私たちのいのちであるキリストが現われると、そのときあなたがたも、キリストとともに、栄光のうちに現われます。5ですから、地上のからだの諸部分、すなわち、不品行、汚れ、情欲、悪い欲、そしてむさぼりを殺してしまいなさい。このむさぼりが、そのまま偶像礼拝なのです。6このようなことのために、神の怒りが下るのです。7あなたがたも、以前、そのようなものの中に生きていたときは、そのような歩み方をしていました。8しかし今は、あなたがたも、すべてこれらのこと、すなわち、怒り、憤り、悪意、そしり、あなたがたの口から出る恥ずべきことばを、捨ててしまいなさい。9互いに偽りを言ってはいけません。あなたがたは、古い自分をその行ないといっしょに脱ぎ捨てて、10新しい人を着たのです。新しい人は、造り主のかたちに似せられてますます新しくされ、真の知識に至るのです。11そこには、ギリシヤ人とユダヤ人、割礼の有無、未開人、スクテヤ人、奴隷と自由人というような区別はありません。キリストがすべてであり、すべてのうちにおられるのです。

12それゆえ、神に選ばれた者、きよい、愛されている者として、あなたがたは深い同情心、慈愛、謙遜、柔和、寛容を身に着けなさい。13互いに忍び合い、だれかがほかの人に不満を抱くこ

4 ①㊇ガラ二・二〇、旧ヨハ一・三㊁ *異本「あなたがたの」 ②㊇Ⅰコリ一・七、Ⅰペテ一・三㊁旧ピリ三・二一
5 ①ロマ六・一三、②旧コロ三・一 ③マコ七・二一、二三、ガラ五・一九、Ⅰコリ六・九、一〇、一八、Ⅱコリ一二・二一、エペ五・三、五
6 ①㊇ロマ一・一八、エペ五・六 *異本「不従順の子らの上に」を加える
7 ①㊇エペ二・二
8 ①旧エペ四・二二、②㊇エペ四・二五 ③㊇エペ四・三一
9 ①㊇エペ四・二五、②㊇エペ四・三一 ③旧エペ二・一〇、④ロマ一二・二
10 ①㊇Ⅰコリ一五・四九、エペ四・二四
11 ①㊇Ⅰコリ七・一九、ガラ五・六 ②㊇使二・六、一一、一五、一七、一八、二二、二六、二七、二八、二九、三一、三二、三三、三四、三五、三六、三七、三八、三九、四〇、四一、四二、四三、四四、四五、四六、四七、四八、四九、五〇、五一、五二、五三、五四、五五、五六、五七、五八、五九、六〇、六一、六二、六三、六四、六五、六六、六七、六八、六九、七〇、七一、七二、七三、七四、七五、七六、七七、七八、七九、八〇、八一、八二、八三、八四、八五、八六、八七、八八、八九、九〇、九一、九二、九三、九四、九五、九六、九七、九八、九九、一〇〇、一〇一、一〇二、一〇三、一〇四、一〇五、一〇六、一〇七、一〇八、一〇九、一一〇、一一一、一一二、一一三、一一四、一一五、一一六、一一七、一一八、一一九、一二〇、一二一、一二二、一二三、一二四、一二五、一二六、一二七、一二八、一二九、一三〇、一三一、一三二、一三三、一三四、一三五、一三六、一三七、一三八、一三九、一四〇、一四一、一四二、一四三、一四四、一四五、一四六、一四七、一四八、一四九、一五〇、一五一、一五二、一五三、一五四、一五五、一五六、一五七、一五八、一五九、一六〇、一六一、一六二、一六三、一六四、一六五、一六六、一六七、一六八、一六九、一七〇、一七一、一七二、一七三、一七四、一七五、一七六、一七七、一七八、一七九、一八〇、一八一、一八二、一八三、一八四、一八五、一八六、一八七、一八八、一八九、一九〇、一九一、一九二、一九三、一九四、一九五、一九六、一九七、一九八、一九九、二〇〇、二〇一、二〇二、二〇三、二〇四、二〇五、二〇六、二〇七、二〇八、二〇九、二一〇、二一一、二一二、二一三、二一四、二一五、二一六、二一七、二一八、二一九、二二〇、二二一、二二二、二二三、二二四、二二五、二二六、二二七、二二八、二二九、二三〇、二三一、二三二、二三三、二三四、二三五、二三六、二三七、二三八、二三九、二四〇、二四一、二四二、二四三、二四四、二四五、二四六、二四七、二四八、二四九、二五〇、二五一、二五二、二五三、二五四、二五五、二五六、二五七、二五八、二五九、二六〇、二六一、二六二、二六三、二六四、二六五、二六六、二六七、二六八、二六九、二七〇、二七一、二七二、二七三、二七四、二七五、二七六、二七七、二七八、二七九、二八〇、二八一、二八二、二八三、二八四、二八五、二八六、二八七、二八八、二八九、二九〇、二九一、二九二、二九三、二九四、二九五、二九六、二九七、二九八、二九九、三〇〇、三〇一、三〇二、三〇三、三〇四、三〇五、三〇六、三〇七、三〇八、三〇九、三一〇、三一一、三一二、三一三、三一四、三一五、三一六、三一七、三一八、三一九、三二〇、三二一、三二二、三二三、三二四、三二五、三二六、三二七、三二八、三二九、三三〇、三三一、三三二、三三三、三三四、三三五、三三六、三三七、三三八、三三九、三四〇、三四一、三四二、三四三、三四四、三四五、三四六、三四七、三四八、三四九、三五〇、三五一、三五二、三五三、三五四、三五五、三五六、三五七、三五八、三五九、三六〇、三六一、三六二、三六三、三六四、三六五、三六六、三六七、三六八、三六九、三七〇、三七一、三七二、三七三、三七四、三七五、三七六、三七七、三七八、三七九、三八〇、三八一、三八二、三八三、三八四、三八五、三八六、三八七、三八八、三八九、三九〇、三九一、三九二、三九三、三九四、三九五、三九六、三九七、三九八、三九九、四〇〇、四〇一、四〇二、四〇三、四〇四、四〇五、四〇六、四〇七、四〇八、四〇九、四一〇、四一一、四一二、四一三、四一四、四一五、四一六、四一七、四一八、四一九、四二〇、四二一、四二二、四二三、四二四、四二五、四二六、四二七、四二八、四二九、四三〇、四三一、四三二、四三三、四三四、四三五、四三六、四三七、四三八、四三九、四四〇、四四一、四四二、四四三、四四四、四四五、四四六、四四七、四四八、四四九、四五〇、四五一、四五二、四五三、四五四、四五五、四五六、四五七、四五八、四五九、四六〇、四六一、四六二、四六三、四六四、四六五、四六六、四六七、四六八、四六九、四七〇、四七一、四七二、四七三、四七四、四七五、四七六、四七七、四七八、四七九、四八〇、四八一、四八二、四八三、四八四、四八五、四八六、四八七、四八八、四八九、四九〇、四九一、四九二、四九三、四九四、四九五、四九六、四九七、四九八、四九九、五〇〇、五〇一、五〇二、五〇三、五〇四、五〇五、五〇六、五〇七、五〇八、五〇九、五一〇、五一一、五一二、五一三、五一四、五一五、五一六、五一七、五一八、五一九、五二〇、五二一、五二二、五二三、五二四、五二五、五二六、五二七、五二八、五二九、五三〇、五三一、五三二、五三三、五三四、五三五、五三六、五三七、五三八、五三九、五四〇、五四一、五四二、五四三、五四四、五四五、五四六、五四七、五四八、五四九、五五〇、五五一、五五二、五五三、五五四、五五五、五五六、五五七、五五八、五五九、五六〇、五六一、五六二、五六三、五六四、五六五、五六六、五六七、五六八、五六九、五七〇、五七一、五七二、五七三、五七四、五七五、五七六、五七七、五七八、五七九、五八〇、五八一、五八二、五八三、五八四、五八五、五八六、五八七、五八八、五八九、五九〇、五九一、五九二、五九三、五九四、五九五、五九六、五九七、五九八、五九九、六〇〇、六〇一、六〇二、六〇三、六〇四、六〇五、六〇六、六〇七、六〇八、六〇九、六一〇、六一一、六一二、六一三、六一四、六一五、六一六、六一七、六一八、六一九、六二〇、六二一、六二二、六二三、六二四、六二五、六二六、六二七、六二八、六二九、六三〇、六三一、六三二、六三三、六三四、六三五、六三六、六三七、六三八、六三九、六四〇、六四一、六四二、六四三、六四四、六四五、六四六、六四七、六四八、六四九、六五〇、六五一、六五二、六五三、六五四、六五五、六五六、六五七、六五八、六五九、六六〇、六六一、六六二、六六三、六六四、六六五、六六六、六六七、六六八、六六九、六七〇、六七一、六七二、六七三、六七四、六七五、六七六、六七七、六七八、六七九、六八〇、六八一、六八二、六八三、六八四、六八五、六八六、六八七、六八八、六八九、六九〇、六九一、六九二、六九三、六九四、六九五、六九六、六九七、六九八、六九九、七〇〇、七〇一、七〇二、七〇三、七〇四、七〇五、七〇六、七〇七、七〇八、七〇九、七一〇、七一一、七一二、七一三、七一四、七一五、七一六、七一七、七一八、七一九、七二〇、七二一、七二二、七二三、七二四、七二五、七二六、七二七、七二八、七二九、七三〇、七三一、七三二、七三三、七三四、七三五、七三六、七三七、七三八、七三九、七四〇、七四一、七四二、七四三、七四四、七四五、七四六、七四七、七四八、七四九、七五〇、七五一、七五二、七五三、七五四、七五五、七五六、七五七、七五八、七五九、七六〇、七六一、七六二、七六三、七六四、七六五、七六六、七六七、七六八、七六九、七七〇、七七一、七七二、七七三、七七四、七七五、七七六、七七七、七七八、七七九、七八〇、七八一、七八二、七八三、七八四、七八五、七八六、七八七、七八八、七八九、七九〇、七九一、七九二、七九三、七九四、七九五、七九六、七九七、七九八、七九九、八〇〇、八〇一、八〇二、八〇三、八〇四、八〇五、八〇六、八〇七、八〇八、八〇九、八一〇、八一一、八一二、八一三、八一四、八一五、八一六、八一七、八一八、八一九、八二〇、八二一、八二二、八二三、八二四、八二五、八二六、八二七、八二八、八二九、八三〇、八三一、八三二、八三三、八三四、八三五、八三六、八三七、八三八、八三九、八四〇、八四一、八四二、八四三、八四四、八四五、八四六、八四七、八四八、八四九、八五〇、八五一、八五二、八五三、八五四、八五五、八五六、八五七、八五八、八五九、八六〇、八六一、八六二、八六三、八六四、八六五、八六六、八六七、八六八、八六九、八七〇、八七一、八七二、八七三、八七四、八七五、八七六、八七七、八七八、八七九、八八〇、八八一、八八二、八八三、八八四、八八五、八八六、八八七、八八八、八八九、八九〇、八九一、八九二、八九三、八九四、八九五、八九六、八九七、八九八、八九九、九〇〇、九〇一、九〇二、九〇三、九〇四、九〇五、九〇六、九〇七、九〇八、九〇九、九一〇、九一一、九一二、九一三、九一四、九一五、九一六、九一七、九一八、九一九、九二〇、九二一、九二二、九二三、九二四、九二五、九二六、九二七、九二八、九二九、九三〇、九三一、九三二、九三三、九三四、九三五、九三六、九三七、九三八、九三九、九四〇、九四一、九四二、九四三、九四四、九四五、九四六、九四七、九四八、九四九、九五〇、九五一、九五二、九五三、九五四、九五五、九五六、九五七、九五八、九五九、九六〇、九六一、九六二、九六三、九六四、九六五、九六六、九六七、九六八、九六九、九七〇、九七一、九七二、九七三、九七四、九七五、九七六、九七七、九七八、九七九、九八〇、九八一、九八二、九八三、九八四、九八五、九八六、九八七、九八八、九八九、九九〇、九九一、九九二、九九三、九九四、九九五、九九六、九九七、九九八、九九九、一〇〇〇、一〇〇一、一〇〇二、一〇〇三、一〇〇四、一〇〇五、一〇〇六、一〇〇七、一〇〇八、一〇〇九、一〇一〇、一〇一一、一〇一二、一〇一三、一〇一四、一〇一五、一〇一六、一〇一七、一〇一八、一〇一九、一〇二〇、一〇二一、一〇二二、一〇二三、一〇二四、一〇二五、一〇二六、一〇二七、一〇二八、一〇二九、一〇三〇、一〇三一、一〇三二、一〇三三、一〇三四、一〇三五、一〇三六、一〇三七、一〇三八、一〇三九、一〇四〇、一〇四一、一〇四二、一〇四三、一〇四四、一〇四五、一〇四六、一〇四七、一〇四八、一〇四九、一〇五〇、一〇五一、一〇五二、一〇五三、一〇五四、一〇五五、一〇五六、一〇五七、一〇五八、一〇五九、一〇六〇、一〇六一、一〇六二、一〇六三、一〇六四、一〇六五、一〇六六、一〇六七、一〇六八、一〇六九、一〇七〇、一〇七一、一〇七二、一〇七三、一〇七四、一〇七五、一〇七六、一〇七七、一〇七八、一〇七九、一〇八〇、一〇八一、一〇八二、一〇八三、一〇八四、一〇八五、一〇八六、一〇八七、一〇八八、一〇八九、一〇九〇、一〇九一、一〇九二、一〇九三、一〇九四、一〇九五、一〇九六、一〇九七、一〇九八、一〇九九、一一〇〇、一一〇一、一一〇二、一一〇三、一一〇四、一一〇五、一一〇六、一一〇七、一一〇八、一一〇九、一一一〇、一一一一、一一一二、一一一三、一一一四、一一一五、一一一六、一一一七、一一一八、一一一九、一一二〇、一一二一、一一二二、一一二三、一一二四、一一二五、一一二六、一一二七、一一二八、一一二九、一一三〇、一一三一、一一三二、一一三三、一一三四、一一三五、一一三六、一一三七、一一三八、一一三九、一一四〇、一一四一、一一四二、一一四三、一一四四、一一四五、一一四六、一一四七、一一四八、一一四九、一一五〇、一一五一、一一五二、一一五三、一一五四、一一五五、一一五六、一一五七、一一五八、一一五九、一一六〇、一一六一、一一六二、一一六三、一一六四、一一六五、一一六六、一一六七、一一六八、一一六九、一一七〇、一一七一、一一七二、一一七三、一一七四、一一七五、一一七六、一一七七、一一七八、一一七九、一一八〇、一一八一、一一八二、一一八三、一一八四、一一八五、一一八六、一一八七、一一八八、一一八九、一一九〇、一一九一、一一九二、一一九三、一一九四、一一九五、一一九六、一一九七、一一九八、一一九九、一二〇〇、一二〇一、一二〇二、一二〇三、一二〇四、一二〇五、一二〇六、一二〇七、一二〇八、一二〇九、一二一〇、一二一一、一二一二、一二一三、一二一四、一二一五、一二一六、一二一七、一二一八、一二一九、一二二〇、一二二一、一二二二、一二二三、一二二四、一二二五、一二二六、一二二七、一二二八、一二二九、一二三〇、一二三一、一二三二、一二三三、一二三四、一二三五、一二三六、一二三七、一二三八、一二三九、一二四〇、一二四一、一二四二、一二四三、一二四四、一二四五、一二四六、一二四七、一二四八、一二四九、一二五〇、一二五一、一二五二、一二五三、一二五四、一二五五、一二五六、一二五七、一二五八、一二五九、一二六〇、一二六一、一二六二、一二六三、一二六四、一二六五、一二六六、一二六七、一二六八、一二六九、一二七〇、一二七一、一二七二、一二七三、一二七四、一二七五、一二七六、一二七七、一二七八、一二七九、一二八〇、一二八一、一二八二、一二八三、一二八四、一二八五、一二八六、一二八七、一二八八、一二八九、一二九〇、一二九一、一二九二、一二九三、一二九四、一二九五、一二九六、一二九七、一二九八、一二九九、一三〇〇、一三〇一、一三〇二、一三〇三、一三〇四、一三〇五、一三〇六、一三〇七、一三〇八、一三〇九、一三一〇、一三一一、一三一二、一三一三、一三一四、一三一五、一三一六、一三一七、一三一八、一三一九、一三二〇、一三二一、一三二二、一三二三、一三二四、一三二五、一三二六、一三二七、一三二八、一三二九、一三三〇、一三三一、一三三二、一三三三、一三三四、一三三五、一三三六、一三三七、一三三八、一三三九、一三四〇、一三四一、一三四二、一三四三、一三四四、一三四五、一三四六、一三四七、一三四八、一三四九、一三五〇、一三五一、一三五二、一三五三、一三五四、一三五五、一三五六、一三五七、一三五八、一三五九、一三六〇、一三六一、一三六二、一三六三、一三六四、一三六五、一三六六、一三六七、一三六八、一三六九、一三七〇、一三七一、一三七二、一三七三、一三七四、一三七五、一三七六、一三七七、一三七八、一三七九、一三八〇、一三八一、一三八二、一三八三、一三八四、一三八五、一三八六、一三八七、一三八八、一三八九、一三九〇、一三九一、一三九二、一三九三、一三九四、一三九五、一三九六、一三九七、一三九八、一三九九、一四〇〇、一四〇一、一四〇二、一四〇三、一四〇四、一四〇五、一四〇六、一四〇七、一四〇八、一四〇九、一四一〇、一四一一、一四一二、一四一三、一四一四、一四一五、一四一六、一四一七、一四一八、一四一九、一四二〇、一四二一、一四二二、一四二三、一四二四、一四二五、一四二六、一四二七、一四二八、一四二九、一四三〇、一四三一、一四三二、一四三三、一四三四、一四三五、一四三六、一四三七、一四三八、一四三九、一四四〇、一四四一、一四四二、一四四三、一四四四、一四四五、一四四六、一四四七、一四四八、一四四九、一四五〇、一四五一、一四五二、一四五三、一四五四、一四五五、一四五六、一四五七、一四五八、一四五九、一四六〇、一四六一、一四六二、一四六三、一四六四、一四六五、一四六六、一四六七、一四六八、一四六九、一四七〇、一四七一、一四七二、一四七三、一四七四、一四七五、一四七六、一四七七、一四七八、一四七九、一四八〇、一四八一、一四八二、一四八三、一四八四、一四八五、一四八六、一四八七、一四八八、一四八九、一四九〇、一四九一、一四九二、一四九三、一四九四、一四九五、一四九六、一四九七、一四九八、一四九九、一五〇〇、一五〇一、一五〇二、一五〇三、一五〇四、一五〇五、一五〇六、一五〇七、一五〇八、一五〇九、一五一〇、一五一一、一五一二、一五一三、一五一四、一五一五、一五一六、一五一七、一五一八、一五一九、一五二〇、一五二一、一五二二、一五二三、一五二四、一五二五、一五二六、一五二七、一五二八、一五二九、一五三〇、一五三一、一五三二、一五三三、一五三四、一五三五、一五三六、一五三七、一五三八、一五三九、一五四〇、一五四一、一五四二、一五四三、一五四四、一五四五、一五四六、一五四七、一五四八、一五四九、一五五〇、一五五一、一五五二、一五五三、一五五四、一五五五、一五五六、一五五七、一五五八、一五五九、一五六〇、一五六一、一五六二、一五六三、一五六四、一五六五、一五六六、一五六七、一五六八、一五六九、一五七〇、一五七一、一五七二、一五七三、一五七四、一五七五、一五七六、一五七七、一五七八、一五七九、一五八〇、一五八一、一五八二、一五八三、一五八四、一五八五、一五八六、一五八七、一五八八、一五八九、一五九〇、一五九一、一五九二、一五九三、一五九四、一五九五、一五九六、一五九七、一五九八、一五九九、一六〇〇、一六〇一、一六〇二、一六〇三、一六〇四、一六〇五、一六〇六、一六〇七、一六〇八、一六〇九、一六一〇、一六一一、一六一二、一六一三、一六一四、一六一五、一六一六、一六一七、一六一八、一六一九、一六二〇、一六二一、一六二二、一六二三、一六二四、一六二五、一六二六、一六二七、一六二八、一六二九、一六三〇、一六三一、一六三二、一六三三、一六三四、一六三五、一六三六、一六三七、一六三八、一六三九、一六四〇、一六四一、一六四二、一六四三、一六四四、一六四五、一六四六、一六四七、一六四八、一六四九、一六五〇、一六五一、一六五二、一六五三、一六五四、一六五五、一六五六、一六五七、一六五八、一六五九、一六六〇、一六六一、一六六二、一六六三、一六六四、一六六五、一六六六、一六六七、一六六八、一六六九、一六七〇、一六七一、一六七二、一六七三、一六七四、一六七五、一六七六、一六七七、一六七八、一六七九、一六八〇、一六八一、一六八二、一六八三、一六八四、一六八五、一六八六、一六八七、一六八八、一六八九、一六九〇、一六九一、一六九二、一六九三、一六九四、一六九五、一六九六、一六九七、一六九八、一六九九、一七〇〇、一七〇一、一七〇二、一七〇三、一七〇四、一七〇五、一七〇六、一七〇七、一七〇八、一七〇九、一七一〇、一七一一、一七一二、一七一三、一七一四、一七一五、一七一六、一七一七、一七一八、一七一九、一七二〇、一七二一、一七二二、一七二三、一七二四、一七二五、一七二六、一七二七、一七二八、一七二九、一七三〇、一七三一、一七三二、一七三三、一七三四、一七三五、一七三六、一七三七、一七三八、一七三九、一七四〇、一七四一、一七四二、一七四三、一七四四、一七四五、一七四六、一七四七、一七四八、一七四九、一七五〇、一七五一、一七五二、一七五三、一七五四、一七五五、一七五六、一七五七、一七五八、一七五九、一七六〇、一七六一、一七六二、一七六三、一七六四、一七六五、一七六六、一七六七、一七六八、一七六九、一七七〇、一七七一、一七七二、一七七三、一七七四、一七七五、一七七六、一七七七、一七七八、一七七九、一七八〇、一七八一、一七八二、一七八三、一七八四、一七八五、一七八六、一七八七、一七八八、一七八九、一七九〇、一七九一、一七九二、一七九三、一七九四、一七九五、一七九六、一七九七、一七九八、一七九九、一八〇〇、一八〇一、一八〇二、一八〇三、一八〇四、一八〇五、一八〇六、一八〇七、一八〇八、一八〇九、一八一〇、一八一一、一八一二、一八一三、一八一四、一八一五、一八一六、一八一七、一八一八、一八一九、一八二〇、一八二一、一八二二、一八二三、一八二四、一八二五、一八二六、一八二七、一八二八、一八二九、一八三〇、一八三一、一八三二、一八三三、一八三四、一八三五、一八三六、一八三七、一八三八、一八三九、一八四〇、一八四一、一八四二、一八四三、一八四四、一八四五、一八四六、一八四七、一八四八、一八四九、一八五〇、一八五一、一八五二、一八五三、一八五四、一八五五、一八五六、一八五七、一八五八、一八五九、一八六〇、一八六一、一八六二、一八六三、一八六四、一八六五、一八六六、一八六七、一八六八、一八六九、一八七〇、一八七一、一八七二、一八七三、一八七四、一八七五、一八七六、一八七七、一八七八、一八七九、一八八〇、一八八一、一八八二、一八八三、一八八四、一八八五、一八八六、一八八七、一八八八、一八八九、一八九〇、一八九一、一八九二、一八九三、一八九四、一八九五、一八九六、一八九七、一八九八、一八九九、一九〇〇、一九〇一、一九〇二、一九〇三、一九〇四、一九〇五、一九〇六、一九〇七、一九〇八、一九〇九、一九一〇、一九一一、一九一二、一九一三、一九一四、一九一五、一九一六、一九一七、一九一八、一九一九、一九二〇、一九二一、一九二二、一九二三、一九二四、一九二五、一九二六、一九二七、一九二八、一九二九、一九三〇、一九三一、一九三二、一九三三、一九三四、一九三五、一九三六、一九三七、一九三八、一九三九、一九四〇、一九四一、一九四二、一九四三、一九四四、一九四五、一九四六、一九四七、一九四八、一九四九、一九五〇、一九五一、一九五二、一九五三、一九五四、一九五五、一九五六、一九五七、一九五八、一九五九、一九六〇、一九六一、一九六二、一九六三、一九六四、一九六五、一九六六、一九六七、一九六八、一九六九、一九七〇、一九七一、一九七二、一九七三、一九七四、一九七五、一九七六、一九七七、一九七八、一九七九、一九八〇、一九八一、一九八二、一九八三、一九八四、一九八五、一九八六、一九八七、一九八八、一九八九、一九九〇、一九九一、一九九二、一九九三、一九九四、一九九五、一九九六、一九九七、一九九八、一九九九、二〇〇〇、二〇〇一、二〇〇二、二〇〇三、二〇〇四、二〇〇五、二〇〇六、二〇〇七、二〇〇八、二〇〇九、二〇一〇、二〇一一、二〇一二、二〇一三、二〇一四、二〇一五、二〇一六、二〇一七、二〇一八、二〇一九、二〇二〇、二〇二一、二〇二二、二〇二三、二〇二四、二〇二五、二〇二六、二〇二七、二〇二八、二〇二九、二〇三〇、二〇三一、二〇三二、二〇三三、二〇三四、二〇三五、二〇三六、二〇三七、二〇三八、二〇三九、二〇四〇、二〇四一、二〇四二、二〇四三、二〇四四、二〇四五、二〇四六、二〇四七、二〇四八、二〇四九、二〇五〇、二〇五一、二〇五二、二〇五三、二〇五四、二〇五五、二〇五六、二〇五七、二〇五八、二〇五九、二〇六〇、二〇六一、二〇六二、二〇六三、二〇六四、二〇六五、二〇六六、二〇六七、二〇六八、二〇六九、二〇七〇、二〇七一、二〇七二、二〇七三、二〇七四、二〇七五、二〇七六、二〇七七、二〇七八、二〇七九、二〇八〇、二〇八一、二〇八二、二〇八三、二〇八四、二〇八五、二〇八六、二〇八七、二〇八八、二〇八九、二〇九〇、二〇九一、二〇九二、二〇九三、二〇九四、二〇九五、二〇九六、二〇九七、二〇九八、二〇九九、二一〇〇、二一〇一、二一〇二、二一〇三、二一〇四、二一〇五、二一〇六、二一〇七、二一〇八、二一〇九、二一一〇、二一一一、二一一二、二一一三、二一一四、二一一五、二一一六、二一一七、二一一八、二一一九、二一二〇、二一二一、二一二二、二一二三、二一二四、二一二五、二一二六、二一二七、二一二八、二一二九、二一三〇、二一三一、二一三二、二一三三、二一三四、二一三五、二一三六、二一三七、二一三八、二一三九、二一四〇、二一四一、二一四二、二一四三、二一四四、二一四五、二一四六、二一四七、二一四八、二一四九、二一五〇、二一五一、二一五二、二一五三、二一五四、二一五五、二一五六、二一五七、二一五八、二一五九、二一六〇、二一六一、二一六二、二一六三、二一六四、二一六五、二一六六、二一六七、二一六八、二一六九、二一七〇、二一七一、二一七二、二一七三、二一七四、二一七五、二一七六、二一七七、二一七八、二一七九、二一八〇、二一八一、二一八二、二一八三、二一八四、二一八五、二一八六、二一八七、二一八八、二一八九、二一九〇、二一九一、二一九二、二一九三、二一九四、二一九五、二一九六、二一九七、二一九八、二一九九、二二〇〇、二二〇一、二二〇二、二二〇三、二二〇四、二二〇五、二二〇六、二二〇七、二二〇八、二二〇九、二二一〇、二二一一、二二一二、二二一三、二二一四、二二一五、二二一六、二二一七、二二一八、二二一九、二二二〇、二二二一、二二二二、二二二三、二二二四、二二二五、二二二六、二二二七、二二二八、二二二九、二二三〇、二二三一、二二三二、二二三三、二二三四、二二三五、二二三六、二二三七、二二三八、二二三九、二二四〇、二二四一、二二四二、二二四三、二二四四、二二四五、二二四六、二二四七、二二四八、二二四九、二二五〇、二二五一、二二五二、二二五三、二二五四、二二五五、二二五六、二二五七、二二五八、二二五九、二二六〇、二二六一、二二六二、二二六三、二二六四、二二六五、二二六六、二二六七、二二六八、二二六九、二二七〇、二二七一、二二七二、二二七三、二二七四、二二七五、二二七六、二二七七、二二七八、二二七九、二二八〇、二二八一、二二八二、二二八三、二二八四、二二八五、二二八六、二二八七、二二八八、二二八九、二二九〇、二二九一、二二九二、二二九三、二二九四、二二九五、二二九六、二二九七、二二九八、二二九九、二三〇〇、二三〇一、二三〇二、二三〇三、二三〇四、二三〇五、二三〇六、二三〇七、二三〇八、二三〇九、二三一〇、二三一一、二三一二、二三一三、二三一四、二三一五、二三一六、二三一七、二三一八、二三一九、二三二〇、二三二一、二三二二、二三二三、二三二四、二三二五、二三二六、二三二七、二三二八、二三二九、二三三〇、二三三一、二三三二、二三三三、二三三四、二三三五、二三三六、二三三七、二三三八、二三三九、二三四〇、二三四一、二三四二、二三四三、二三四四、二三四五、二三四六、二三四七、二三四八、二三四九、二三五〇、二三五一、二三五二、二三五三、二三五四、二三五五、二三五六、二三五七、二三五八、二三五九、二三六〇、二三六一、二三六二、二三六三、二三六四、二三六五、二三六六、二三六七、二三六八、二三六九、二三七〇、二三七一、二三七二、二三七三、二三七四、二三七五、二三七六、二三七七、二三七八、二三七九、二三八〇、二三八一、二三八二、二三八三、二三八四、二三八五、二三八六、二三八七、二三八八、二三八九、二三九〇、二三九一、二三九二、二三九三、二三九四、二三九五、二三九六、二三九七、二三九八、二三九九、二四〇〇、二四〇一、二四〇二、二四〇三、二四〇四、二四〇五、二四〇六、二四〇七、二四〇八、二四〇九、二四一〇、二四一一、二四一二、二四一三、二四一四、二四一五、二四一六、二四一七、二四一八、二四一九、二四二〇、二四二一、二四二二、二四二三、二四二四、二四二五、二四二六、二四二七、二四二八、二四二九、二四三〇、二四三一、二四三二、二四三三、二四三四、二四三五、二四三六、二四三七、二四三八、二四三九、二四四〇、二四四一、二四四二、二四四三、二四四四、二四四五、二四四六、二四四七、二四四八、二四四九、二四五〇、二四五一、二四五二、二四五三、二四五四、二四五五、二四五六、二四五七、二四五八、二四五九、二四六〇、二四六一、二四六二、二四六三、二四六四、二四六五、二四六六、二四六七、二四六八、二四六九、二四七〇、二四七一、二四七二、二四七三、二四七四、二四七五、二四七六、二四七七、二四七八、二四七九、二四八〇、二四八一、二四八二、二四八三、二四八四、二四八五、二四八六、二四八七、二四八八、二四八九、二四九〇、二四九一、二四九二、二四九三、二四九四、二四九五、二四九六、二四九七、二四九八、二四九九、二五〇〇、二五〇一、二五〇二、二五〇三、二五〇四、二五〇五、二五〇六、二五〇七、二五〇八、二五〇九、二五一〇、二五一一、二五一二、二五一三、二五一四、二五一五、二五一六、二五一七、二五一八、二五一九、二五二〇、二五二一、二五二二、二五二三、二五二四、二五二五、二五二六、二五二七、二五二八、二五二九、二五三〇、二五三一、二五三二、二五三三、二五三四、二五三五、二五三六、二五三七、二五三八、二五三九、二五四〇、二五四一、二五四二、二五四三、二五四四、二五四五、二五四六、二五四七、二五四八、二五四九、二五五〇、二五五一、二五五二、二五五三、二五五四、二五五五、二五五六、二五五七、二五五八、二五五九、二五六〇、二五六一、二五六二、二五六三、二五六四、二五六五、二五六六、二五六七、二五六八、二五六九、二五七〇、二五七一、二五七二、二五七三、二五七四、二五七五、二五七六、二五七七、二五七八、二五七九、二五八〇、二五八一、二五八二、二五八三、二五八四、二五八五、二五八六、二五八七、二五八八、二五八九、二五九〇、二五九一、二五九二、二五九三、二五九四、二五九五、二五九六、二五九七、二五九八、二五九九、二六〇〇、二六〇一、二六〇二、二六〇三、二六〇四、二六〇五、二六〇六、二六〇七、二六〇八、二六〇九、二六一〇、二六一一、二六一二、二六一三、二六一四、二六一五、二六一六、二六一七、二六一八、二六一九、二六二〇、二六二一、二六二二、二六二三、二六二四、二六二五、二六二六、二六二七、二六二八、二六二九、二六三〇、二六三一、二六三二、二六三三、二六三四、二六三五、二六三六、二六三七、二六三八、二六三九、二六四〇、二六四一、二六四二、二六四三、二六四四、二六四五、二六四六、二六四七、二六四八、二六四九、二六五〇、二六五一、二六五二、二六五三、二六五四、二六五五、二六五六、二六五七、二六五八、二六五九、二六六〇、二六六一、二六六二、二六六三、二六六四、二六六五、二六六六、二六六七、二六六八、二六六九、二六七〇、二六七一、二六七二、二六七三、二六七四、二六七五、二六七六、二六七七、二六七八、二六七九、二六八〇、二六八一、二六八二、二六八三、二六八四、二六八五、二六八六、二六八七、二六八八、二六八九、二六九〇、二六九一、二六九二、二六九三、二六九四、二六九五、二六九六、二六九七、二六九八、二六九九、二七〇〇、二七〇一、二七〇二、二七〇三、二七〇四、二七〇五、二七〇六、二七〇七、二七〇八、二七〇九、二七一〇、二七一一、二七一二、二七一三、二七一四、二七一五、二七一六、二七一七、二七一八、二七一九、二七二〇、二七二一、二七二二、二七二三、二七二四、二七二五、二七二六、二七二七、二七二八、二七二九、二七三〇、二七三一、二七三二、二七三三、二七三四、二七三五、二七三六、二七三七、二七三八、二七三九、二七四〇、二七四一、二七四二、二七四三、二七四四、二七四五、二七四六、二七四七、二七四八、二七四九、二七五〇、二七五一、二七五二、二七五三、二七五四、二七五五、二七五六、二七五七、二七五八、二七五九、二七六〇、二七六一、二七六二、二七六三、二七六四、二七六五、二七六六、二七六七、二七六八、二七六九、二七七〇、二七七一、二七七二、二七七三、二七七四、二七七五、二七七六、二七七七、二七七八、二七七九、二七八〇、二七八一、二七八二、二七八三、二七八四、二七八五、二七八六、二七八七、二七八八、二七八九、二七九〇、二七九一、二七九二、二七九三、二七九四、二七九五、二七九六、二七九七、二七九八、二七九九、二八〇〇、二八〇一、二八〇二、二八〇三、二八〇四、二八〇五、二八〇六、二八〇七、二八〇八、二八〇九、二八一〇、二八一一、二八一二、二八一三、二八一四、二八一五、二八一六、二八一七、二八一八、二八一九、二八二〇、二八二一、二八二二、二八二三、二八二四、二八二五、二八二六、二八二七、二八二八、二八二九、二八三〇、二八三一、二八三二、二八三三、二八三四、二八三五、二八三六、二八三七、二八三八、二八三九、二八四〇、二八四一、二八四二、二八四三、二八四四、二八四五、二八四六、二八四七、二八四八、二八四九、二八五〇、二八五一、二八五二、二八五三、二八五四、二八五五、二八五六、二八五七、二八五八、二八五九、二八六〇、二八六一、二八六二、二八六三、二八六四、二八六五、二八六六、二八六七、二八六八、二八六九、二八七〇、二八七一、二八七二、二八七三、二八七四、二八七五、二八七六、二八七七、二八七八、二八七九、二八八〇、二八八一、二八八二、二八八三、二八八四、二八八五、二八八六、二八八七、二八八八、二八八九、二八九〇、二八九一、二八九二、二八九三、二八九四、二八九五、二八九六、二八九七、二八九八、二八九九、二九〇〇、二九〇一、二九〇二、二九〇三、二九〇四、二九〇五、二九〇六、二九〇七、二九〇八、二九〇九、二九一〇、二九一一、二九一二、二九一三、二九一四、二九一五、二九一六、二九一七、二九一八、二九一九、二九二〇、二九二一、二九二二、二九二三、二九二四、二九二五、二九二六、二九二七、二九二八、二九二九、二九三〇、二九三一、二九三二、二九三三、二九三四、二九三五、二九三六、二九三七、二九三八、二九三九、二九四〇、二九四一、二九四二、二九四三、二九四四、二九四五、二九四六、二九四七、二九四八、二九四九、二九五〇、二九五一、二九五二、二九五三、二九五四、二九五五、二九五六、二九五七、二九五八、二九五九、二九六〇、二九六一、二九六二、二九六三、二九六四、二九六五、二九六六、二九六七、二九六八、二九六九、二九七〇、二九七一、二九七二、二九七三、二九七四、二九七五、二九七六、二九七七、二九七八、二九七九、二九八〇、二九八一、二九八二、二九八三、二九八四、二九八五、二九八六、二九八七、二九八八、二九八九、二九九〇、二

とがあっても、互いに赦し合いなさい。主があなたがたを赦してくださったように、あなたがたもそうしなさい。
14 そして、これらすべての上に、愛を着けなさい。愛は結びの帯として完全なものです。
15 キリストの平和が、あなたがたの心を支配するようにしなさい。そのためにこそあなたがたも召されて一体となったのです。また、感謝の心を持つ人になりなさい。
16 キリストのことばを、あなたがたのうちに豊かに住まわせ、知恵を尽くして互いに教え、互いに戒め、詩と賛美と霊の歌とにより、感謝にあふれて心から神に向かって歌いなさい。
17 あなたがたのすることは、ことばによると行ないによるとを問わず、すべて主イエスの名によってなし、主によって父なる神に感謝しなさい。
18 妻たちよ。主にある者にふさわしく、夫に従いなさい。
19 夫たちよ。妻を愛しなさい。つらく当たってはいけません。
20 子どもたちよ。すべてのことについて、両親に従いなさい。それは主に喜ばれることだからです。
21 父たちよ。子どもをおこらせてはいけません。彼らを気落ちさせないためです。
22 奴隷たちよ。すべてのことについて、地上の主人に従いなさい。人のごきげんとりのような、うわべだけの仕え方ではなく、主を恐れかしこみつつ、真心から従いなさい。
23 何をするにも、人に対してではなく、主に対してするように、心からしなさい。
24 あなたがたは、主から報いとして、御国を相続させていただくことを知っています。あなたがたは主キリストに仕えているのです。
25 不正を行なう者は、自分が行なった不正の報いを受けます。それには不公平な扱いはありません。

4

1 主人たちよ。あなたがたは、自分たちの主も天におられることを知っているのですから、奴隷に対して正義と公平を示しなさい。
2 目をさまして、感謝をもって、たゆみなく祈りなさい。
3 同時に、私たちのためにも、神がみことばのために門を開いてくださって、私たちがキリストの奥義を語れるように、祈ってください。この奥義のために、私は牢に入れられています。
4 また、私がこの奥義を、当然語るべき語り方で、はっきり語れるように、祈ってください。
5 外部の人に対して賢明にふるまい、機会を十分に生かして用いなさい。
6 あなたがたのことばが、いつも親切で、塩味のきいたものであるようにしなさい。そうすれば、ひとりひとりに対する答え方がわかります。

13 ①ピ1:9 ②エペ4:2,3 ③ロマ12:7
14 ①ピ3:14 *別訳「すべての徳を結び合わせる」 ②ヘブ5:14 ③ヨハ13:35
15 ①ヨハ14:27 ②エペ2:16
16 ①ロマ10:17 ②エペ5:19 Ⅰテサ1:6 *異本「主」または「神」
17 ①エペ5:20 ②エペ3:17 ③エペ5:20 コロ1:3
18 ①エペ5:22
19 ①エペ5:25
20 ①エペ6:1
21 ①エペ6:4 *異本「いらだたせては」
22 ①エペ6:5 ②エペ6:6
23 ①エペ6:7
24 ①ピ1:6 ②エペ6:8 Ⅰペテ1:4 ③ヨⅠコリ9:25
25 ①エペ6:9 ②使10:34
1 ①使1:14 ②エペ6:18
2 ①使1:14 ②ヨⅡテモ4:5 ③使20:31 ④エペ5:20 ⑤エペ6:18
3 ①エペ6:19 ②ヨⅡテモ4:5 ③使14:27 ④エペ3:1
4 ①エペ6:20
5 ①エペ4:5 ②エペ5:16
6 ①エペ4:29 ②マコ9:50 ③ピⅠペテ3:15

7 私の様子については、主にあって愛する兄弟、忠実な奉仕者、同労のしもべであるテキコが、あなたがたに一部始終を知らせるでしょう。
8 私がテキコをあなたがたのもとに送るのは、あなたがたが私たちの様子を知り、彼によって心に励ましを受けるためにほかなりません。
9 また彼は、あなたがたの仲間のひとりで、忠実な愛する兄弟オネシモといっしょに行きます。このふたりが、こちらの様子をみな知らせてくれるでしょう。
10 私といっしょに囚人となっているアリスタルコが、あなたがたによろしくと言っています。バルナバのいとこであるマルコも同じです。——この人については、もし彼があなたがたのところに行ったなら、歓迎するようにという指示をあなたがたは受けています。——
11 ユストと呼ばれるイエスもよろしくと言っています。割礼を受けた人では、この人たちだけが、神の国のために働く私の同労者です。また、彼らは私を激励する者となってくれました。
12 あなたがたの仲間のひとり、キリスト・イエスのしもべエパフラスが、あなたがたによろしくと言っています。彼はいつも、あなたがたが完全な人となり、また神のすべてのみこころを十分に確信して立つことができるよう、あなたがたのために祈りに励んでいます。
13 私はあかしします。彼はあなたがたのために、またラオデキヤとヒエラポリスにいる人々のために、非常に苦労しています。
14 愛する医者ルカ、それにデマスが、あなたがたによろしくと言っています。
15 どうか、ラオデキヤの兄弟たちに、またヌンパとその家にある教会に、よろしく言ってください。
16 この手紙があなたがたのところで読まれたなら、ラオデキヤの教会でも読まれるようにしてください。あなたがたのほうも、ラオデキヤから回って来る手紙を読んでください。
17 アルキポに、「主にあって受けた務めを、注意してよく果たすように。」と言ってください。
18 パウロが自筆であいさつを送ります。私が牢につながれていることを覚えていてください。どうか、恵みがあなたがたとともにありますように。

7 ①コロ四・七九、エペ六・二一 ②エペ六・二一、コロ一・七 ③創使二〇・四
8 ①エペ六・二二、②創コロ二・二
9 ①コロ四・二一、②ピレ一〇 ③ピレ一〇
10 ①旧ロマ一六・七、②創使一九・二九、三七、③創使一二・二五、旧使一五・三七、④創使四・三六
11 ①創使二一・二、②旧ロマ一六・三
12 ①コロ四・九、②創コロ一・七 ③創コロ二・二八、④創ルカ一・一 ⑤創ロマ一五・三〇
13 ①創コロ二・一、四・一三、一六
14 ①Ⅱテモ四・一一、ピレ二四 ②Ⅱテモ四・一〇、ピレ二四
15 ①創コロ二・一、四・一五、一六 *あるいは「ヌンパス（男性）」 ②創ロマ一六・五 **異本「彼らの」
16 ①旧Ⅰテサ五・二七、Ⅱテサ三・一四、②創コロ二・一、四・一五、一六
17 ①ピレ二、②Ⅱテモ四・五
18 ①創Ⅰコリ一六・二一、②Ⅱテモ三・一、コロ四・一八、③ヘブ一三・三 ④Ⅰテモ六・二一、Ⅱテモ四・二二、テト三・一五、ヘブ一三・二五

テサロニケ人への手紙　第一

1

1 パウロ、シルワノ、テモテから、
父なる神および主イエス・キリスト
にあるテサロニケ人の教会へ。恵みと平安があなたが
たの上にありますように。

2 私たちは、いつもあなたがたすべてのために神に
感謝し、祈りのときにあなたがたを覚え、
3 絶えず、私たちの父なる神の御前に、あなたがたの
信仰の働き、愛の労苦、主イエス・キリストへの望み
の忍耐を思い起こしています。
4 神に愛されている兄弟たち。あなたがたが神に選ば
れた者であることは私たちが知っています。
5 なぜなら、私たちの福音があなたがたに伝えられた
のは、ことばだけによったのではなく、力と聖霊と強
い確信とによったからです。また、私たちがあなたが
たのところで、あなたがたのために、どのようにふる
まったかは、あなたがたが知っています。
6 あなたがたも、多くの苦難の中で、聖霊による喜び
をもってみことばを受け入れ、私たちと主とにならう
者になりました。
7 こうして、あなたがたは、マケドニヤとアカヤとの
すべての信者の模範になったのです。
8 主のことばが、あなたがたのところから出てマケド
ニヤとアカヤに響き渡っただけでなく、神に対するあ
なたがたの信仰はあらゆる所に伝わっているので、私
たちは何も言わなくてよいほどです。
9 私たちがどのようにあなたがたに受け入れられた
か、また、あなたがたがどのように偶像から神に立ち
返って、生けるまことの神に仕えるようになり、
10 また、神が死者の中からよみがえらせなさった御子、
すなわち、やがて来る御怒りから私たちを救い出して
くださるイエスが天から来られるのを待ち望むように
なったか、それらのことは他の人々が言い広めている
のです。

2

1 兄弟たち。あなたがたが知っている
とおり、私たちがあなたがたのところに行ったことは、むだではありませんでした。
2 ご承知のように、私たちはまずピリピで苦しみに会い、はずかしめを受けたのですが、私たちの神によって、激しい苦闘の中でも大胆に神の福音をあなたがたに語りました。
3 私たちの勧めは、迷いや不純な心から出ているものではなく、だましごとでもありません。
4 私たちは神に認められて福音をゆだねられた者ですから、それにふさわしく、人を喜ばせようとしてではなく、私たちの心をお調べになる神を喜ばせようとして語るのです。
5 ご存じのとおり、私たちは今まで、へつらいのことばを用いたり、むさぼりの口実を設けたりしたことは

---

1 ①Ⅱテサ1:1、②参Ⅱコリ1:19、③参使16:1(Ⅱテサ1:1)、④Ⅱテサ1:1、⑤参ロマ1:7
2 ①Ⅱテサ1:3、参ロマ1:8、②参Ⅰテサ1:3
3 ①参ガラ5:6、②Ⅱテサ1:11、Ⅰヨハ3:16、ガラ5:6、③参Ⅰテサ1:3、Ⅱテサ1:3、Ⅰテサ1:3、④ロマ8:25、Ⅱテサ3:5、Ⅱペテ3:14
4 ①Ⅱテサ2:13、Ⅰテサ1:4、②Ⅱロマ11:5、Ⅱペテ1:10、Ⅰロマ8:29、Ⅱロマ8:33
5 ①参Ⅱコリ2:17、Ⅰコリ2:4、Ⅰテサ1:5、Ⅱテサ2:14、Ⅱペテ1:16、②参Ⅱテサ1:10、ルカ1:2
6 ①参使17:5、使2:43、②参Ⅱテサ1:4、③参Ⅱテモ3:12、④参Ⅰコリ11:1、Ⅰテサ1:6
7 ①参ロマ15:26、②参使16:12
8 ①Ⅱテサ3:1、Ⅰテサ1:8、Ⅱコロ4:3、Ⅱコリ2:12、ガラ2:2、③参Ⅱテモ4:2、④参Ⅰコリ1:17、Ⅰコリ1:21
9 ①参Ⅰテサ1:9、②Ⅰコリ12:2、③使14:15、④参マタ4:10
10 ①参使2:24、②マタ3:17、Ⅰテサ1:10、③参ロマ8:29、④参マタ3:7
1 ①Ⅰテサ1:1、②Ⅱテサ1:1
2 ①参使16:22、使16:24、参ピリ1:30、②参使16:19、③参ピリ1:20、④参使16:1、⑤参ロマ1:1
3 ①参使13:15、②参Ⅱテサ1:11、③Ⅰテサ1:3、④Ⅱコリ4:1、②参Ⅱコリ1:12、③参ガラ5:6、④参ロマ5:3
4 ①参Ⅱコリ2:17、②参ガラ1:10、③参ロマ2:29
5 ①参使13:33、Ⅰテサ2:11、Ⅱペテ1:17

ありません。神がそのことの証人です。
6 また、キリストの使徒たちとして権威を主張することもできたのですが、私たちは、あなたがたからも、ほかの人々からも、人からの名誉を受けようとはしませんでした。
7 それどころか、あなたがたの間で、母がその子どもたちを養い育てるように、優しくふるまいました。
8 このようにあなたがたを思う心から、ただ神の福音だけではなく、私たち自身のいのちまでも、喜んであなたがたに与えたいと思ったのです。なぜなら、あなたがたは私たちの愛する者となったからです。
9 兄弟たち。あなたがたは、私たちの労苦と苦闘を覚えているでしょう。私たちはあなたがたのだれにも負担をかけまいとして、昼も夜も働きながら、神の福音をあなたがたに宣べ伝えました。
10 また、信者であるあなたがたに対して、私たちが敬虔に、正しく、また責められるところがないようにふるまったことは、あなたがたがあかしし、神もあかしてくださることです。
11 また、ご承知のとおり、私たちは父がその子どもに対してするように、あなたがたひとりひとりに、
12 ご自身の御国と栄光とに召してくださる神にふさわしく歩むように勧めをし、慰めを与え、おごそかに命じました。
13 こういうわけで、私たちとしてもまた、絶えず神に感謝しています。あなたがたは、私たちから神の使信のことばを受けたとき、それを人間のことばとしてではなく、事実どおりに神のことばとして受け入れてくれたからです。この神のことばは、信じているあなたがたのうちに働いているのです。
14 兄弟たち。あなたがたはユダヤの、キリスト・イエスにある神の諸教会にならう者となったのです。彼らがユダヤ人に苦しめられたのと同じように、あなたがたも自分の国の人に苦しめられたのです。
15 ユダヤ人は、主であられるイエスをも、預言者たちをも殺し、また私たちをも追い出し、神に喜ばれず、すべての人の敵となっています。
16 彼らは、私たちが異邦人の救いのために語るのを妨げ、このようにして、いつも自分の罪を満たしています。しかし、御怒りは彼らの上に臨んで窮みに達しました。
17 兄弟たちよ。私たちは、しばらくの間あなたがたから引き離されたので、――といっても、顔を見ないだけで、心においてではありませんが、――なおさらのこと、あなたがたの顔を見たいと切に願っていました。
18 それで私たちは、あなたがたのところに行こうとしました。このパウロは一度ならず二度までも心を決めたのです。しかし、サタンが私たちを妨げました。
19 私たちの主イエスが再び来られるとき、御前で私たちの望み、喜び、誇りの冠となるのはだれでしょう。あなたがたではありませんか。

---

1 ①脚ガラ一・三、②脚Ⅰコリ一・一
2 ①脚Ⅰコリ一・一、②ヨハ一・一
3 ①脚Ⅰコリ九・一二、②ヨハ一・四
4 ①脚Ⅰテサ二・一二、ガラ四・一九
②Ⅱテモ一・三
*異本「また、子どものように」
5 ①脚ロマ一・一、②脚Ⅱコリ三・一七、脚Ⅰヨハ三・一六
6 ①脚ピリ二・六、②脚Ⅰコリ九・一二、脚Ⅱコリ四・五
7 ①脚Ⅰテサ二・一、ガラ四・一九
②Ⅱテモ一・三
*異本「また、子どものように」
8 ①脚ロマ一・一、②脚Ⅱコリ三・一七、脚Ⅰヨハ三・一六
9 ①Ⅰテサ二・八、脚ピリ四・一六
②Ⅱコリ一一・九、脚Ⅰコリ九・一四
③脚使六・三、④脚ロマ一・一
10 ①Ⅰテサ一・五、脚Ⅱコリ一・三
②脚Ⅰテサ二・五
11 ①脚Ⅰコリ四・一四、脚Ⅰテサ二・七
12 ①Ⅰペテ五・一〇、脚Ⅱコリ四・六
②Ⅰテサ五・二四、脚Ⅱテサ一・一二
③脚エペ四・一
④脚ロマ八・六六、⑤脚ルカ一六・一八、Ⅰテサ四・六
*別訳「あかししました」
13 ①脚ロマ一・八、脚Ⅰテサ一・二
②ヘブ四・二、脚ロマ一〇・七
③脚ガラ四・一四、脚マタ一〇・一〇
④脚ヘブ四・一二
14 ①脚ガラ一・二二、②脚Ⅰコリ七・一四、脚Ⅰコリ一〇・三二
③Ⅰテサ一・六、④脚ヘブ一〇・三三、Ⅱテサ一・四、五
⑤使七・五二、脚Ⅰテサ二・一五
15 ①ルカ二四・二〇、使二・二三、②使七・五二、脚マタ二三・三一
16 ①Ⅰコリ一〇・三三、②使九・二三、二二・二一、二三・一二、二五・二四、二六・二一、二八・三一、三三・一二、二三・一五、二六・二一、七、③創一五・一六、マタ二三・三二、④脚Ⅰテサ一・一〇
17 ①脚Ⅰコリ五・三、②Ⅰテサ三・一〇
18 ①脚ロマ一五・二三
*別訳「なぜなら、……行こうとしたからです」
②ピリ四・一六、③脚マタ四・一〇
④ロマ一六・二〇、脚Ⅱコリ一二・七、
19 ①Ⅰテサ二・一四、一五、二三、脚マタ二六・二九、マコ一四・二五、ヨハ一六・二二、②ピリ四・一

20あなたがたこそ私たちの誉れであり、また喜びなのです。

3

1そこで、私たちはもはやがまんできなくなり、私たちだけがアテネにとどまることにして、
2私たちの兄弟であり、キリストの福音において神の同労者であるテモテを遣わしたのです。それは、あなたがたの信仰についてあなたがたを強め励まし、
3このような苦難の中にあっても、動揺する者がひとりもないようにするためでした。あなたがた自身が知っているとおり、私たちはこのような苦難に会うように定められているのです。
4あなたがたのところにいたとき、私たちは苦難に会うようになる、と前もって言っておいたのですが、それが、ご承知のとおり、はたして事実となったのです。
5そういうわけで、私も、あれ以上はがまんができず、また誘惑者があなたがたを誘惑して、私たちの労苦がむだになるようなことがあってはいけないと思って、あなたがたの信仰を知るために、彼を遣わしたのです。
6ところが、今テモテがあなたがたのところから私たちのもとに帰って来て、あなたがたの信仰と愛について良い知らせをもたらしてくれました。また、あなたがたが、いつも私たちのことを親切に考えていて、私たちがあなたがたに会いたいと思うように、あなたがたも、しきりに私たちに会いたがっていることを、知らせてくれました。
7このようなわけで、兄弟たち。私たちはあらゆる苦しみと患難のうちにも、あなたがたのことでは、その信仰によって、慰めを受けました。
8あなたがたが、主にあって堅く立っていてくれるなら、私たちは今、生きがいがあります。
9私たちの神の御前にあって、あなたがたのことで喜んでいる私たちのこのすべての喜びのために、神にどんな感謝をささげたらよいでしょう。
10私たちは、あなたがたの顔を見たい、信仰の不足を補いたいと、昼も夜も熱心に祈っています。
11どうか、私たちの父なる神であり、また私たちの主イエスである方ご自身が、私たちの道を開いて、あなたがたのところに行かせてくださいますように。
12また、私たちがあなたがたを愛しているように、あなたがたの互いの間の愛を、またすべての人に対する愛を増させ、満ちあふれさせてくださいますように。
13また、あなたがたの心を強め、私たちの主イエスがご自分のすべての聖徒とともに再び来られるとき、私たちの父なる神の御前で、きよく、責められるところのない者としてくださいますように。

4

1終わりに、兄弟たちよ。主イエスにあって、お願いし、また勧告します。あなたがたはどのように歩んで神を喜ばすべきかを私たちから学んだように、また、事実いまあなたがたが歩んでいるように、ますますそのように歩んでください。

---

20 ① II コリ一・14
1 ① I テサ三・5、旧ピリ二・16 ② 使一七・14、一六
2* 異本「しもべ」 ① 旧 II コリ一・1、コロ一・1
3 ① 使二六・20、一四・22
4 ① 旧 I テサ三・4
5 ① I テサ三・1、旧ピリ二・16 ② マタ四・3、旧ピリ二・16 旧 II コリ六・1、④ I テサ三・2
6 ① 使六・5、② I テサ一・3 ③ 旧 I コリ一二・1
8 ① 旧 I コリ一六・13
9 ① I テサ一・3
10 ① I テサ二・17、② 旧 II コリ一三・9、③ II テモ一・3
11 ① 旧 II テサ二・16、② 旧ガラ一・4、I テサ三・13、③ I テサ四・2、五・23、II テサ二・16、17、默三・5、④ 旧 II テサ三・5
12 ① 旧ピリ一・9、旧 I テサ四・1、旧 II テサ一・3
13 ① 旧マタ五・22、マコ八・38 II テサ一・7、I テサ四・14 ② 旧 I テサ二・19、③ 旧 I コリ一・8、旧 I テサ三・13、④ 旧ガラ一・4、旧 I テサ三・21、旧 II テサ一・10、旧ユダ14、ルカ一・6
1 ① II テサ三・1、旧 II コリ一三・1、② I テサ三・2、II テサ三・1、旧ガラ六・1 ③ 旧エペ六・24、④ 旧 II コリ五・9 ⑤ ピリ二・2、旧 I テサ三・13、旧一二・II テサ三・3

ださい。
2 私たちが、主イエスによって、どんな命令をあなたがたに授けたかを、あなたがたは知っています。
3 神のみこころは、あなたがたがきよくなることです。あなたがたが不品行を避け、
4 各自自分のからだを、きよく、また尊く保ち、
5 神を知らない異邦人のように情欲におぼれず、
6 また、このようなことで、兄弟を踏みつけたり、欺いたりしないことです。なぜなら、主はこれらすべてのことについて正しくさばかれるからです。これは、私たちが前もってあなたがたに話し、きびしく警告しておいたところです。
7 神が私たちを召されたのは、汚れを行なわせるためではなく、聖潔を得させるためです。
8 ですから、このことを拒む者は、人を拒むのではなく、あなたがたに聖霊をお与えになる神を拒むのです。
9 兄弟愛については、何も書き送る必要がありません。あなたがたこそ、互いに愛し合うことを神から教えられた人たちだからです。
10 実にマケドニヤ全土のすべての兄弟たちに対して、あなたがたはそれを実行しています。しかし、兄弟たち。あなたがたにお勧めします。どうか、さらにますますそうであってください。
11 また、私が命じたように、落ち着いた生活をすることを志し、自分の仕事に身を入れ、自分の手で働きなさい。
12 外の人々に対してもりっぱにふるまうことができ、また乏しいことがないようにするためです。
13 眠った人々のことについては、兄弟たち、あなたがたに知らないでいてもらいたくありません。あなたがたが他の望みのない人々のように悲しみに沈むことのないためです。
14 私たちはイエスが死んで復活されたことを信じています。それならば、神はまたそのように、イエスにあって眠った人々をイエスといっしょに連れて来られるはずです。
15 私たちは主のみことばのとおりに言いますが、主が再び来られるときまで生き残っている私たちが、死んでいる人々に優先するようなことは決してありません。
16 主は、号令と、御使いのかしらの声と、神のラッパの響きのうちに、ご自身天から下って来られます。それからキリストにある死者が、まず初めによみがえり、
17 次に、生き残っている私たちが、たちまち彼らといっしょに雲の中に一挙に引き上げられ、空中で主と会うのです。このようにして、私たちは、いつまでも主とともにいることになります。
18 こういうわけですから、このことばをもって互いに慰め合いなさい。

5

1 兄弟たち。それらがいつなのか、またどういう時かについては、あな

1 ①欽Ⅰコリ六・八 4 ①Ⅰコリセ・二、九、②Ⅰペテ三・七、旧Ⅱコリ四・七 *別訳「妻」 ③旧ロマ一・二四 5 ①欽ガラ四・八、②旧ロマ一・二六 6 旧Ⅰコリ六・八、②ヘブ一三・四 旧ロマ一二・九、③Ⅱコリセ・二 ④欽ルカ六・二六 7 ①Ⅰペテ一・一五、②Ⅰテサ四・三 8 ①ロマ五・五、Ⅱコリ一・二二 ガラ四・六、Ⅰヨハ三・二四 9 ①欽ヨハ一三・三四、ロマ一二・一〇 ②Ⅰテサ五・一、旧Ⅱコリ九・一 ③ヨハ六・四五、Ⅰヨハ三・一七 旧エレ三一・三四 10 ①欽Ⅰテサ一・七、②欽Ⅰテサ三・一二 11 ①Ⅱテサ三・一一、②旧Ⅰペテ四・一一、③エペ四・二八、旧Ⅱテサ三・一二、旧使二〇・三四 12 ①欽マコ四・一一、②ロマ一三・一三 ③旧Ⅰテサ四・一二 13 ①欽使一七・三一、②欽ロマ一・一三 ③Ⅰテサ四・六、欽エペ二・一二 ④エペ二・一二 14 ①欽ロマ四・九、②Ⅰコリ一五・六、旧Ⅰテサ四・一三 15 ①旧Ⅰ列一八・一九、二二・二五 ガラ一・一二、Ⅱコリ一二・一 ②欽Ⅰテサ二・一九、③欽Ⅰコリ一五・五二、旧Ⅰテサ五・一〇 ④Ⅰコリ一五・一六、旧Ⅰテサ四・一三 16 ①欽Ⅰテサ三・一三、②旧ヨエ二・二、③旧ユダ九、④欽マタ二四・三一、⑤Ⅱテサ一・七、Ⅰテサ一・一〇 ⑥欽Ⅰコリ一五・二三、旧Ⅱテサ二・一、黙二四・三一 17 ①欽Ⅰコリ一五・五二、旧Ⅰテサ四・一〇、②旧ダニ七・一三、使一・九、黙一一・一二、③欽Ⅱコリ一二・二 ④欽ヨハ一二・二六 1 ①使一・七、②欽Ⅰテサ四・九

たがたは私たちに書いてもらう必要がありません。
2 主の日が夜中の盗人のように来るということは、あなたがた自身がよく承知しているからです。
3 人々が「平和だ。安全だ。」と言っているそのようなときに、突如として滅びが彼らに襲いかかります。ちょうど妊婦に産みの苦しみが臨むようなもので、それをのがれることは決してできません。
4 しかし、兄弟たち。あなたがたは暗やみの中にはいないのですから、その日が、盗人のようにあなたがたを襲うことはありません。
5 あなたがたはみな、光の子ども、昼の子どもだからです。私たちは、夜や暗やみの者ではありません。
6 ですから、ほかの人々のように眠っていないで、目をさまして、慎み深くしていましょう。
7 眠る者は夜眠り、酔う者は夜酔うからです。
8 しかし、私たちは昼の者なので、信仰と愛を胸当てとして着け、救いの望みをかぶとととしてかぶって、慎み深くしていましょう。
9 神は、私たちが御怒りに会うようにお定めになったのではなく、主イエス・キリストにあって救いを得るようにお定めになったからです。
10 主が私たちのために死んでくださったのは、私たちが、目ざめていても、眠っていても、主とともに生きるためです。
11 ですから、あなたがたは、今しているとおり、互いに励まし合い、互いに徳を高め合いなさい。
12 兄弟たちよ。あなたがたにお願いします。あなたがたの間で労苦し、主にあってあなたがたを指導し、訓戒している人々を認めなさい。
13 その務めのゆえに、愛をもって深い尊敬を払いなさい。お互いの間に平和を保ちなさい。
14 兄弟たち。あなたがたに勧告します。気ままな者を戒め、小心な者を励まし、弱い者を助け、すべての人に対して寛容でありなさい。
15 だれも悪をもって悪に報いないように気をつけ、お互いの間で、またすべての人に対して、いつも善を行なうよう務めなさい。
16 いつも喜んでいなさい。
17 絶えず祈りなさい。
18 すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。
19 御霊を消してはなりません。
20 預言をないがしろにしてはいけません。
21 すべてのことを見分けて、ほんとうに良いものを堅く守りなさい。
22 悪はどんな悪でも避けなさい。
23 平和の神ご自身が、あなたがたを全くきよめてくださいますように。主イエス・キリストの来臨のとき、責められるところのないように、あなたがたの霊、たましい、からだが完全に守られますように。
24 あなたがたを召された方は真実ですから、きっとそ

---

2 ①使I コリ一・八 ②使ルカ二・二四、既黙三・三、六・一五 ③ II テサ二・二、③使ヨハ六・二
3 ①エレ六・一四、八・一一、エゼ三四・一〇 ②ルカ二一・三四、既黙三・一五 ③使I テサ五・三
4 ①ヨハ八・四、既使三六・六 ②使ルカ二一・三四、既I テサ五・二 ③使ルカ六・六、②ヨハ二・八、既使六・六
5 ①使エペ二・三、I テサ四・二三 ②使エペ二・三、既I テサ五・四 ③使I ペテ一・三
6 ①使エペ二・三、II ペテ三・一四 ②使I テサ五・六、既II テサ五・一〇、③使I ペテ一・三
7 ①既使二・一五、II ペテ二・一三 ②使I テサ五・六、②使エペ六・一四、③使エペ六・一四、④既ロ一八・一四 ⑤使エペ六・一七、⑥使I ペテ一・三
8 ①使I テサ五・一〇、②II テサ二・三
9 ①使I テサ二・一〇、②II テサ二・一三
10 ①使ロマ一四・九 ②使I ペテ四・一九
11 ①使I コリ一六・一六、ロマ一六・六、一三、I コリ一六・一〇、②使ヘブ三・一七、③使I コリ一六・八、I テモ五・一七、既詩一四四・三
12 ①使I コリ一六・一六、ロマ一六・六、一三、I コリ一六・一〇、②使ヘブ三・一七、③使I コリ一六・八、I テモ五・一七、既詩一四四・三
13 ①使マコ九・五〇
14 ①使II テサ三・六、七、一一、②イザ三五・四(七十人訳)、③ロマ一四・一、一五、I コリ八・七以下、既ロマ一四・一
15 ①使ロマ一二・一七、I ペテ三・九、既マタ五・四四、②ロマ一二・一九、I テサ五・一五、既ガラ六・一〇
16 ①使ピリ四・四
17 ①使エペ六・一八
18 ①使エペ五・二〇
19 ①使エペ五・一八
20 ①使I コリ一四・三一、I コリ一四・一、②使I テサ五・二〇
21 ①使I コリ一四・二九、I ヨハ四・一、②使ロマ一二・九、I テサ五・二一、既ガラ六・一〇
22 ①使I テサ五・二一、既ピリ四・八
23 ①使ロマ一五・三三、②使I テサ三・一二、③使I テサ五・一九、④使II ペテ三・一四、ヤコ一四・一五、⑤使ルカ一・四六、既ヘブ四・一二
24 ①使I コリ一・九、II テサ二・一四、②使I テサ二・一三

のことをしてくださいます。
25 兄弟たち。私たちのためにも*祈ってください。
26 すべての兄弟たちに、きよい口づけをもってあいさつをなさい。
27 この手紙がすべての兄弟たちに読まれるように、主によって命じます。
28 私たちの主イエス・キリストの恵みが、あなたがたとともにありますように。

25 ①エペ六・一九、Ⅱテサ三・一
ヘブ一三・一八
*異本「……もまた」
26 ①㊞ロマ一六・一六
27 ①㊞コロ四・一六、②㊞使一五・二三
28 ①㊞ロマ一六・二四、Ⅱテサ三・一八

テサロニケ人への手紙　第二

1

1 パウロ、シルワノ、テモテから、
私たちの父なる神および主イエス・
キリストにあるテサロニケ人の教会へ。
2 父なる神と主イエス・キリストから、恵みと平安が
あなたがたの上にありますように。
3 兄弟たち。あなたがたのことについて、私たちはい
つも神に感謝しなければなりません。そうするのが当
然なのです。なぜならあなたがたの信仰が目に見えて
成長し、あなたがたすべての間で、ひとりひとりに相
互の愛が増し加わっているからです。
4 それゆえ私たちは、神の諸教会の間で、あなたがた
がすべての迫害と患難とに耐えながらその*従順と信仰
とを保っていることを、誇りとしています。
5 このことは、あなたがたを神の国にふさわしい者と
するため、神の正しいさばきを示すしるしであって、
あなたがたが苦しみを受けているのは、この神の国の
ためです。
6 つまり、あなたがたを苦しめる者には、報いとして
苦しみを与え、
7 苦しめられているあなたがたには、私たちとともに、
報いとして安息を与えてくださることは、神にとって
正しいことなのです。そのことは、主イエスが、炎の
中に、力ある御使いたちを従えて天から現われるとき
に起こります。
8 そのとき主は、神を知らない人々や、私たちの主イ
エスの福音に従わない人々に報復されます。
9 そのような人々は、主の御顔の前とその御力の栄光
から退けられて、永遠の滅びの刑罰を受けるのです。
10 その日に、主イエスは来られて、ご自分の聖徒たち
によって栄光を受け、信じたすべての者の――そうで
す。あなたがたに対する私たちの証言は、信じられた
のです。―― 感嘆の的となられます。
11 そのためにも、私たちはいつも、あなたがたのため
に祈っています。どうか、私たちの神が、あなたがた
をお召しにふさわしい者にし、また御力によって、善
を慕うあらゆる願いと信仰の働きとを全うしてくださ
いますように。
12 それは、私たちの神であり主であるイエス・キリス
トの恵みによって、主イエスの御名があなたがたの間
であがめられ、あなたがたも主にあって栄光を受ける
ためです。

2

1 さて兄弟たちよ。私たちの主イエ
ス・キリストが再び来られることと、
私たちが主のみもとに集められることに関して、あな
たがたにお願いすることがあります。
2 霊によってでも、あるいはことばによってでも、あ
るいは私たちから出たかのような手紙によってでも、
主の日がすでに来たかのように言われるのを聞いて、

1 ①Ⅰテサ一・一、②㊀Ⅱコリ一・一、㊁Ⅰテサ一・一、③使一六・一、㊁Ⅰテサ一・一、④㊀ロマ一・七、㊁使一六・一
2 ①㊀ロマ一・七
3 ①㊀Ⅰテサ一・三、㊁Ⅱテサ一・三、②㊀Ⅰテサ一・三、㊁Ⅱテサ一・三、③㊀ロマ一・八、エペ六・二〇、④㊀Ⅰテサ一・三、㊁Ⅰテサ一・三
4 ①㊀Ⅰテサ一・四、㊁Ⅰコリ七・七、*あるいは「忍耐」、②㊀Ⅱコリ七・四、㊁Ⅰテサ一・六
5 ①ルカ二〇・三五、㊁Ⅱテサ一・一、②ピリ一・六
6 ①Ⅰテサ二・一四、㊁Ⅱ使三・三、コロ三・二五、ヘブ六・一〇
7 ①㊀ルカ一七・三〇、②Ⅰコリ一・七、㊁Ⅱペテ三・七、ユダ七、黙一四・一〇他、㊁Ⅱ使二・三、九・一六、イザ六六・一五、エゼ一・四、一三、ダニ七・九、マタ二五・三一、③㊀ユダ一四、*別訳「彼ら主イエスの御力の使い」
8 ①㊀ガラ四・八、②ロマ二・八
9 ①㊀イザ二・一〇、一九、㊁Ⅱテサ一・九、②Ⅰテサ五・三、㊁ピリ三・一九
10 ①㊀Ⅰコリ一・三、㊁イザ二・一以下、②ヨハ七・一〇、㊁Ⅰテサ二・一二、イザ四九・三、③Ⅰテサ二・一三、㊁Ⅰコリ一・六
11 ①コロ一・九、②㊀ロマ一・一九、③㊁Ⅱテサ一・五、④㊀ロマ二・一四、⑤㊁Ⅱテサ一・三
12 ①㊁ピリ二・九以下、イザ二四・一五、六六・五、マラ一・一一
1 ①㊁Ⅱテサ一・三、②㊀Ⅰテサ二・一九、③マコ三・二七
2 ①㊁Ⅰコリ一四・三三、Ⅰヨハ四・一、②㊁Ⅱテサ二・二、㊁Ⅰテサ五・二、③㊀Ⅰテサ二・一五

すぐに落ち着きを失ったり、心を騒がせたりしないでください。
3 だれにも、どのようにも、だまされないようにしなさい。なぜなら、まず背教が起こり、不法の人、すなわち滅びの子が現われなければ、主の日は来ないからです。
4 彼は、すべて神と呼ばれるもの、また礼拝されるものに反抗し、その上に自分を高く上げ、神の宮の中に座を設け、自分こそ神であると宣言します。
5 私がまだあなたがたのところにいたとき、これらのことをよく話しておいたのを思い出しませんか。
6 あなたがたが知っているとおり、彼がその定められた時に現われるようにと、いま引き止めている者があるのです。
7 不法の秘密はすでに働いています。しかし今は引き止める者があって、自分が取り除かれる時まで引き止めているのです。
8 その時になると、不法の人が現われますが、主は御口の息をもって彼を殺し、来臨の輝きをもって滅ぼしてしまわれます。
9 不法の人の到来は、サタンの働きによるのであって、あらゆる偽りの力、しるし、不思議がそれに伴い、
10 また、滅びる人たちに対するあらゆる悪の欺きが行なわれます。なぜなら、彼らは救われるために真理への愛を受け入れなかったからです。
11 それゆえ神は、彼らが偽りを信じるように、惑わす力を送り込まれます。
12 それは、真理を信じないで、悪を喜んでいたすべての者が、さばかれるためです。
13 しかし、あなたがたのことについては、私たちはいつでも神に感謝しなければなりません。主に愛されている兄弟たち。神は、御霊によるきよめと、真理による信仰によって、あなたがたを、初めから救いにお選びになったからです。
14 ですから神は、私たちの福音によってあなたがたを召し、私たちの主イエス・キリストの栄光を得させてくださったのです。
15 そこで、兄弟たち。堅く立って、私たちのことば、または手紙によって教えられた言い伝えを守りなさい。
16 どうか、私たちの父なる神であり、私たちの主イエス・キリストである方、すなわち、私たちを愛し、恵みによって永遠の慰めとすばらしい望みとを与えてくださった方ご自身が、
17 あらゆる良いわざとことばとに進むよう、あなたがたの心を慰め、強めてくださいますように。

3

1 終わりに、兄弟たちよ。私たちのために祈ってください。主のみことばが、あなたがたのところでと同じように早く広まり、またあがめられますように。
2 また、私たちが、ひねくれた悪人どもの手から救い出されますように。すべての人が信仰を持っているのではありません。
3 しかし、主は真実な方です。主はあなたがたを堅くし、悪い者から守ってくださいます。
4 私たちは、あなたがたについて、あなたがたが私たちの命じることを行なっており、また今後も行なうことを、主にあって確信しています。
5 どうか、主があなたがたの心を導いて、神の愛と、キリストの忍耐とに入らせてくださいますように。
6 兄弟たち。私たちの主イエス・キリストの御名によって命じます。怠惰な歩みをして、私たちから受けた教えに従わない兄弟はみな、彼らから離れなさい。
7 あなたがたが私たちにならうべきかを、あなたがた自身よく知っています。私たちは、あなたがたの間で怠惰な歩みをしませんでした。
8 また、だれからもパンをただで食べませんでした。かえって、あなたがたのだれにも負担をかけまいと、労苦し、苦闘して夜昼働きました。
9 それは、私たちにその権利がないからではなく、私たちを見習うべき模範としてあなたがたに与えるためでした。
10 私たちは、あなたがたといっしょにいたとき、働きたくない者は食べてはならない、と命じました。
11 ところが、あなたがたの間に怠惰な歩みをして、少しも働かず、かえって余計なことばかりしている者があると聞いています。
12 そのような者たちに、私たちは主イエス・キリストにあって命じ、また勧めます。静かに働いて、自分で得たパンを食べるようにしなさい。
13 兄弟たち。あなたがたは、善を行なうことに、うんざりしてはいけません。
14 この手紙のことばに従わない者があれば、その人には印をしるしておきなさい。その人と交わってはいけません。彼が恥じるようにするためです。
15 しかし、敵とは見なさないで、兄弟として忠告しなさい。
16 どうか、平和の主ご自身が、いつもどんなときにも、あなたがたに平和を与えてくださいますように。主があなたがたすべてとともにおられますように。
17 私パウロが、自分の手であいさつします。これは、どの手紙にもしるしとなるものです。私はこのように書きます。
18 私たちの主イエス・キリストの恵みが、あなたがたすべてとともにありますように。

---

3 ①旧エペ二・六、②新Ⅰテモ四・一 ③Ⅱテサ二・八、旧ダニ七・二五・八・二五・二一・三六、黙三・五以下 ＊異本「卵の人」
4 ①旧Ⅰコリ八・五、②旧イザ一〇・一四、エゼ二八・二
5 ①旧Ⅰテサ三・四
6 ①旧テサ三・七
7 ①旧黙一七・一七、②Ⅱテサ二・六
8 Ⅱテサ二・三、旧ダニ七・二五、八・二五、一一・三六、黙三・五以下 ②イザ一一・四、旧黙一九・一五、二九・一五 ③新Ⅱテモ一・一〇、Ⅱテモ一・一二、Ⅱテサ二・八、テト二・一三
9 ＊あるいは「いることは」 ①新マタ四・一〇、マタ二四・二四 新ヨハ四四・六
10 ①新Ⅰコリ一・六、②Ⅱテサ三・一〇、旧Ⅱテサ三・一〇
11 ①新ロマ一・六、旧Ⅰ列三・一三 ②旧Ⅰテサ二・一、Ⅱテモ四・四
12 ①ロマ六・六、②新ロマ一三・一 旧Ⅰコリ三・六 ＊あるいは「認めていた」
13 ①新Ⅱテサ二・一三、②Ⅰテサ一・四、③新エペ一・四以下 ④Ⅰペテ二・一、Ⅰテサ四・七 ＊異本「初穂として」 ⑤Ⅰテサ五・九、旧Ⅰテサ三・一三
14 ①新Ⅰテサ一・六、②Ⅰテサ二・三
15 ①新Ⅰコリ一六・一三、②Ⅱテサ二・一五、③新Ⅰコリ一一・二 旧Ⅱテサ三・六
16 ①旧Ⅰテサ三・一一、②新ヨハ一四・一六、④旧Ⅰテサ五・二三、⑤新Ⅰペテ一・二、⑥新Ⅰテサ三・一一
17 ①Ⅰテサ二・三、②Ⅱテサ三・一七 Ⅰテサ二・三
1 ①新Ⅰテサ四・一、②新Ⅰテサ五・二五、③新Ⅰテサ一・八
2 ①新ロマ五・三一

ではないからです。
3 しかし、主は真実な方ですから、あなたがたを強くし、悪い者から守ってくださいます。
4 私たちが命じることを、あなたがたが現に実行しており、これからも実行してくれることを私たちは主にあって確信しています。
5 どうか、主があなたがたの心を導いて、神の愛とキリストの忍耐とを持たせてくださいますように。
6 兄弟たちよ。主イエス・キリストの御名によって命じます。締まりのない歩み方をして私たちから受けた言い伝えに従わないでいる、すべての兄弟たちから離れていなさい。
7 どのように私たちを見ならうべきかは、あなたがた自身が知っているのです。あなたがたのところで、私たちは締まりのないことはしなかったし、
8 人のパンをただで食べることもしませんでした。かえって、あなたがたのだれにも負担をかけまいとして、昼も夜も労苦しながら働き続けました。
9 それは、私たちに権利がなかったからではなく、ただ私たちを見ならうようにと、身をもってあなたがたに模範を示すためでした。
10 私たちは、あなたがたのところにいたときにも、働きたくない者は食べるなと命じました。
11 ところが、あなたがたの中には、何も仕事をせず、おせっかいばかりして、締まりのない歩み方をしている人たちがあると聞いています。
12 こういう人たちには、主イエス・キリストによって命じ、また勧めます。静かに仕事をし、自分で得たパンを食べなさい。
13 しかしあなたがたは、たゆむことなく善を行ないなさい。兄弟たちよ。
14 もし、この手紙に書いた私たちの指示に従わない者があれば、そのような人には、特に注意を払い、交際しないようにしなさい。彼が恥じ入るようになるためです。
15 しかし、その人を敵とはみなさず、兄弟として戒めなさい。
16 どうか、平和の主ご自身が、どんなばあいにも、いつも、あなたがたに平和を与えてくださいますように。どうか、主があなたがたすべてと、ともにおられますように。
17 パウロが自分の手であいさつを書きます。これは私のどの手紙にもあるしるしです。これが私の手紙の書き方です。
18 どうか、私たちの主イエス・キリストの恵みが、あなたがたすべてとともにありますように。

3 ①㊐Ⅰコリ一・九、Ⅰテサ五・二四 ②㊐マタ六・一三 ＊あるいは「悪から」
4 ①Ⅰテサ四・一〇、②㊐Ⅱコリ二・三
5 ①比Ⅰテサ三・一一
6 ①㊐Ⅰコリ五・四、②Ⅰテサ四・一、Ⅱテサ三・七、一二 ＊異本「彼らが……受けた」
7 ①㊐Ⅰテサ一・六、Ⅱテサ三・九
8 ①㊐Ⅰコリ九・四、②㊐Ⅰテサ二・九、③㊐使二〇・三三、エペ四・二八
9 ①Ⅰコリ九・四以下 ②㊐Ⅱテサ三・七
10 ①Ⅰテサ四・一一、②㊐Ⅰテサ四・一一
11 ①Ⅰテモ五・一三、比Ⅰペテ四・一五、②㊐Ⅱテサ三・六
12 ①Ⅰテサ四・一、②Ⅰテサ四・一一
13 ①ガラ六・九、㊐Ⅱコリ四・一 ②㊐Ⅰテサ四・一
14 ①比コロ四・一六、②㊐Ⅱテサ三・六、③比Ⅰコリ五・一三
15 ①比ガラ六・一、②Ⅱテサ三・六 比Ⅱテサ三・一三、③Ⅰテサ五・一四
16 ①比ロマ一五・三三、②㊐Ⅰテサ三・一六、③ルツ二・四
17 ①㊐Ⅰコリ一六・二一
18 ①㊐ロマ一六・二四、比Ⅰテサ五・二八

テモテへの手紙　第一

1

1 私たちの救い主なる神と私たちの
望みなるキリスト・イエスとの命令
による、キリスト・イエスの使徒パウロから、
2 信仰による真実のわが子テモテへ。父なる神と私た
ちの主なるキリスト・イエスからの、恵みとあわれみ
と平安とがありますように。
3 私がマケドニヤに行くとき、あなたにお願いした
ように、エペソにずっととどまっていて、
ある人たちが違った教えを説いたり、
4 果てしのない空想話と系図とに心を奪われたりしな
いように命じてください。そのようなものは、論議を
引き起こすだけで、信仰による神の救いのご計画の実
現をもたらすものではありません。
5 この命令は、きよい心と正しい良心と偽りのない信
仰とから出て来る愛を、目標としています。
6 ある人たちはこの目当てを見失い、わき道にそれて
無益な議論に走り、
7 律法の教師でありたいと望みながら、自分の言って
いることも、また強く主張していることについても理
解していません。
8 しかし私たちは知っています。律法は、もし次のこ
とを知っていて正しく用いるならば、良いものです。
9 すなわち、律法は、正しい人のためにあるのではな
く、律法を無視する不従順な者、不敬虔な罪人、汚ら
わしい俗物、父や母を殺す者、人を殺す者、
10 不品行な者、男色をする者、人を誘拐する者、うそ
をつく者、偽証をする者などのため、またそのほか健
全な教えにそむく事のためにあるのです。
11 祝福に満ちた神の、栄光の福音によれば、こうなの
であって、私はその福音をゆだねられたのです。
12 私は、私を強くしてくださる私たちの主キリスト・
イエスに感謝をささげています。なぜなら、キリスト
は、私をこの務めに任命して、私を忠実な者と認めて
くださったからです。
13 私は以前は、神をけがす者、迫害する者、暴力をふ
るう者でした。それでも、信じていないときに知らな
いでしたことなので、あわれみを受けたのです。
14 私たちの主の、この恵みは、キリスト・イエスにあ
る信仰と愛とともに、ますます満ちあふれるようにな
りました。
15 「キリスト・イエスは、罪人を救うためにこの世に
来られた。」ということばは、まことであり、そのまま
受け入れるに値するものです。私はその罪人のかしら
です。
16 しかし、そのような私があわれみを受けたのは、イ
エス・キリストが、今後彼を信じて永遠のいのちを得
ようとしている人々の見本にしようと、まず私に対し
てこの上ない寛容を示してくださったからです。

---

1 ①ルカ一・四七、テト一・三、②コロ一・七、③Ⅰテモ一・二、④テト一・四、⑤Ⅱコリ一・一、Ⅱテモ一・一
2 ①使六・一、Ⅱテモ一・二、②使六・一、Ⅱテモ一・二、③Ⅱテモ一・二、テト一・四、ロマ一・七、④Ⅰテモ一・二
3 ①ロマ一六・二六、②使八・九、③Ⅰテモ一・七、Ⅱテモ一・四、④Ⅰテモ一・三、⑤ガラ一・六、Ⅱペテ二・一
4 ①Ⅰテモ一・四、Ⅱテモ一・四、②Ⅰテモ六・四、Ⅱペテ一・一六、③Ⅰテモ六・四、④Ⅰテモ一・四、テト三・九
5 ①Ⅰテモ一・六、②Ⅱテモ二・三、③Ⅰペテ一・二二、Ⅰテモ一・五、Ⅱテモ一・三、④創エペ一・二、テト三・九
6 ①テト一・一〇
7 ①創ヤコ三・一、②ルカ二四・六
8 ①ロマ七・一二、②ルカ二四・六
9 ①ガラ二・一三、②テト一・六、一〇、③Ⅰペテ四・六、ユダ五、④Ⅰテモ一・六、ヘブ三・一六、Ⅱテモ三・一六、ヘブ三・一六
10 ①Ⅰコリ六・九、②レビ一八・二三、③出二〇・一三、申五・一七、④黙二一・八、七三、二二、六、Ⅱテモ四・三、テト一・九、一三、一四、⑤Ⅱテモ一・一三、一四、⑥Ⅱテモ一・一三、Ⅱテモ一・一三、テト一・一三、一四、⑦Ⅱテモ一・一三、Ⅱテモ一・一三、Ⅱテモ一・一三、

17 どうか、世々の王、すなわち、滅びることなく、目に見えない唯一の神に、誉れと栄えとが世々限りなくありますように。アーメン。

18 私の子テモテよ。以前あなたについてなされた預言に従って、私はあなたにこの命令をゆだねます。それは、あなたがあの預言によって、信仰と正しい良心を保ち、勇敢に戦い抜くためです。

19 ある人たちは、正しい良心を捨てて、信仰の破船に会いました。

20 その中には、ヒメナオとアレキサンデルがいます。私は、彼らをサタンに引き渡しました。それは、神をけがしてはならないことを、彼らに学ばせるためです。

2

1 そこで、まず初めに、このことを勧めます。すべての人のために、また王とすべての高い地位にある人たちのために願い、祈り、とりなし、感謝がささげられるようにしなさい。

2 それは、私たちが敬虔に、また、威厳をもって、平安で静かな一生を過ごすためです。

3 そうすることは、私たちの救い主である神の御前において良いことであり、喜ばれることなのです。

4 神は、すべての人が救われて、真理を知るようになるのを望んでおられます。

5 神は唯一です。また、神と人との間の仲介者も唯一であって、それは人としてのキリスト・イエスです。

6 キリストは、すべての人の贖いの代価として、ご自身をお与えになりました。これが時至ってなされたあかしなのです。

7 そのあかしのために、私は宣伝者また使徒に任じられ——私は真実を言っており、うそは言いません。——信仰と真理を異邦人に教える教師とされました。

8 ですから、私は願うのです。男は、怒ったり言い争ったりすることなく、どこででもきよい手を上げて祈るようにしなさい。

9 同じように女も、つつましい身なりで、控えめに慎み深く身を飾り、はでな髪の形とか、金や真珠や高価な衣服によってではなく、

10 むしろ、神を敬うと言っている女にふさわしく、良い行ないを自分の飾りとしなさい。

11 女は、黙っていて、よく従う心をもって教えを受けなさい。

12 私は、女が教えたり男を支配したりすることを許しません。ただ、黙っていなさい。

13 アダムが初めに造られ、次にエバが造られたからです。

14 また、アダムは惑わされなかったが、女は惑わされてしまい、あやまちを犯しました。

15 しかし、女が慎みをもって、信仰と愛ときよさとを保つなら、子を産むことによって救われます。

3

1 「人がもし監督の職につきたいと思うなら、それはすばらしい仕事を求めることである。」ということばは真実です。

2 ですから、監督はこういう人でなければなりません。

---

17 ①旧黙一五三注、②旧Ⅰテモ六・六、③コロ一・五、④Ⅰテモ六・一七、ヨハ五四、⑤ロマ一六二七、二七、一〇、ヘブ一三・二一
18 ①Ⅰテモ一・三、②Ⅰテモ四・一四、③Ⅰテモ一・五、④Ⅰテモ一・一八、⑤Ⅱコリ一〇四、Ⅱテモ二三四、七、旧Ⅰテモ六二
19 ①Ⅰテモ一・三、②Ⅰテモ四・一四、③Ⅰテモ一・一八、④Ⅰテモ一・一九、⑤Ⅱテモ二・一八
20 ①Ⅰテモ一・三、②Ⅱテモ四・一四、③Ⅰコリ五・五、④旧Ⅰコリ一三、ヘブ二五以下
1 ①エズ六一〇、旧ロマ一三一、②ヨエ六・六
3 ①Ⅰテモ一・一、③ルカ一四七、旧Ⅰテモ一〇
4 ①エゼ六三三、Ⅰテモ四・一〇、テト一・一、Ⅱペテ三九、③ハテ一七、②ロマ一・一、③旧Ⅰテモ一・一、テト一・一
5 ①ロマ三一〇、一三、③Ⅰコリ六・六、②ガラ三一三、旧Ⅰコリ六・六、③旧マタ一・一、ロマ一三、ヘブ一三六、ガラ一・一四
6 ①③マタ三六、ガラ一・一四、②Ⅰテモ六一六、テト一・三、旧ガラ四一七、③マコ一一三、*あるいは「なされるべき」
7 ①Ⅱテモ一・一二、Ⅰテモ一・二、エペ二八、②③Ⅰコリ一六、③ロマ一・一、④③使九一五、
8 ①Ⅰテモ二四、テト三八、旧ピリ一・二、②ヨハ一三一、Ⅰコリ一二八、旧Ⅱコリ三一、Ⅰテサ一・八、③旧詩二四一、ヤコ四八、④詩六一四、ルカ二四、五
9 ①Ⅰペテ三三
11 ①Ⅰコリ一四、旧テト二五
12 ①Ⅰコリ一四、旧テト二五
13 ①Ⅰコリ一四、旧テト二五
14 ①創二六、三、旧Ⅱコリ一一三
15 ①③旧Ⅰテモ一、旧
1 ①使二六、旧Ⅰペテ一一、②③旧Ⅰテモ一、旧
2 ①Ⅰテモ三二、旧、②旧テト一六

すなわち、非難されるところがなく、ひとりの妻の夫であり、自分を制し、慎み深く、品位があり、よくもてなし、教える能力があり、3酒飲みでなく、暴力をふるわず、温和で、争わず、金銭に無欲で、4自分の家庭をよく治め、十分な威厳をもって子どもを従わせている人です。5――自分自身の家庭を治めることを知らない人が、どうして神の教会の世話をすることができるでしょう。――6また、信者になったばかりの人であってはいけません。高慢になって、悪魔と同じさばきを受けることにならないためです。7また、教会外の人々にも評判の良い人でなければいけません。そしりを受け、悪魔のわなに陥らないためです。

8執事もまたこういう人でなければなりません。謹厳で、二枚舌を使わず、大酒飲みでなく、不正な利をむさぼらず、9きよい良心をもって信仰の奥義を保っている人です。10まず審査を受けさせなさい。そして、非難される点がなければ、執事の職につかせなさい。11*婦人執事も、威厳があり、悪口を言わず、自分を制し、すべてに忠実な人でなければなりません。12執事は、ひとりの妻の夫であって、子どもと家庭をよく治める人でなければなりません。13というのは、執事の務めをりっぱに果たした人は、良い地歩を占め、また、キリスト・イエスを信じる信仰について強い確信を持つことができるからです。

14私は、近いうちにあなたのところに行きたいと思いながらも、この手紙を書いています。15それは、たとい私がおそくなったばあいでも、神の家でどのように行動すべきかを、あなたが知っておくためです。神の家とは生ける神の教会のことであり、その教会は、真理の柱また土台です。16確かに偉大なのはこの敬虔の奥義です。

*キリストは肉において現われ、
霊において義と宣言され、
御使いたちに見られ、
諸国民の間に宣べ伝えられ、
世界中で信じられ、
栄光のうちに上げられた。」

4

1しかし、御霊が明らかに言われるように、後の時代になると、ある人たちは惑わす霊と悪霊の教えとに心を奪われ、信仰から離れるようになります。2それは、うそつきどもの偽善によるものです。彼らは良心が麻痺しており、3結婚することを禁じたり、食物を断つことを命じたりします。しかし食物は、信仰があり、真理を知っている人が感謝して受けるようにと、神が造られた物です。

---

2 ②テト一六 ①ルカ二二六,七 Ⅰテモ三九 ③Ⅰテモ三一一 テト一七 ①Ⅰテモ三八 ④テト一八 ロマ一二三 ヘブ一二 Ⅰペテ四九 ⑤Ⅱテモ一二四
3 ①テト一七,八 ②ヘブ一三五 ①Ⅰテモ六一〇
4 ①Ⅰテモ三一二 ①Ⅰコリ一二三 ①Ⅰテモ三一二五
5 ①Ⅰテモ六四,Ⅱテモ三四 ②①Ⅰテモ三七(?)
6 ①Ⅰテモ六四,Ⅱテモ三四 ②①Ⅰテモ三七(?)
7 ①③マコ四一二 ②①Ⅱコリ八二,③Ⅱテモ二六,①Ⅰテモ六九
8 ①ピリ一一,Ⅰテモ三一二 ②テト一三,①Ⅰテモ五二三 ③テト一七,①Ⅰテモ三三
9 ①①Ⅰテモ一九,③Ⅰテモ一五
10 ①①Ⅰテモ三一〇
11 *別訳「執事の妻」 ①Ⅰテモ三三,テト二三 ②③Ⅰテモ三二
12 ①ピリ一一,Ⅰテモ三八 ②③Ⅰテモ三一二,③Ⅰテモ三一四
13 ①①Ⅰテモ三一三,Ⅰコリ一五,②マコ一〇四四,③①Ⅱテモ四一二,④①ガラ二九,Ⅱテモ三一九
16 *直訳「一致した意見ですが」 ①③ロマ一六二六 **異本「神」 ②③ヨハ一四七,③①Ⅰテモ三一四 ④①ルカ二一三三,⑤①ロマ一六二五,⑥Ⅱコリ一九,⑦①Ⅱテサ二七 ⑧①Ⅰテモ三一六 ⑨①ヨハ一四一〇,⑩①ヨハ一六二八 ⑪①ヘブ三一五 ⑫①ヨハ一六三三 ⑬①ヨハ一六三三 ⑭①ヤコ三一五
1 ①①ヨハ一六三三,使二一,二二,Ⅰコリ二一〇,二一 ②①Ⅱテサ二三以下 ③①ヨハ一四六,①ヘブ一三五
2 ①①Ⅱテサ二三以下 ②①Ⅱペテ二一七 ③①Ⅰテモ四二,②③Ⅱコリ一一三 ④①ヤコ三一五
3 ①①ヘブ三一四,②③Ⅰコリ六一三 ①Ⅰコロ二一三,③①Ⅰテモ四四 ロマ一四六,Ⅰコリ一〇三一三 ④創一二九,九三

4 神が造られた物はみな良い物で、感謝して受けるとき、捨てるべき物は何一つありません。
5 神のことばと祈りとによって、きよめられるからです。

6 これらのことを兄弟たちに教えるなら、あなたはキリスト・イエスのりっぱな奉仕者になります。信仰のことばと、あなたが従って来た良い教えのことばとによって養われているからです。
7 俗悪な、年寄り女がするような空想話を避けなさい。むしろ、敬虔のために自分を鍛練しなさい。
8 肉体の鍛練もいくらかは有益ですが、今のいのちと未来のいのちが約束されている敬虔は、すべてに有益です。
9 このことばは、真実であり、そのまま受け入れるに値することばです。
10 私たちはそのために労し、また苦心しているのです。それは、すべての人々、ことに信じる人々の救い主である、生ける神に望みを置いているからです。
11 これらのことを命じ、また教えなさい。
12 年が若いからといって、だれにも軽く見られないようにしなさい。かえって、ことばにも、態度にも、愛にも、信仰にも、純潔にも信者の模範になりなさい。
13 私が行くまで、聖書の朗読と勧めと教えとに専念しなさい。
14 長老たちによる按手を受けたとき、預言によって与えられた、あなたのうちにある聖霊の賜物を軽んじてはいけません。
15 これらの務めに心を砕き、しっかりやりなさい。そうすれば、あなたの進歩はすべての人に明らかになるでしょう。
16 自分自身にも、教える事にも、よく気をつけなさい。あくまでそれを続けなさい。そうすれば、自分自身をも、またあなたの教えを聞く人たちをも救うことになります。

5

1 年寄りをしかってはいけません。むしろ、父親に対するように勧めなさい。若い人たちには兄弟に対するように、
2 年とった婦人たちには母親に対するように、若い女たちには真に混じりけのない心で姉妹に対するように勧めなさい。
3 やもめの中でもほんとうのやもめを敬いなさい。
4 しかし、もし、やもめに子どもか孫がいるなら、まずこれらの者に、自分の家の者に敬愛を示し、親の恩に報いる習慣をつけさせなさい。それが神に喜ばれることです。
5 ほんとうのやもめで、身寄りのない人は、望みを神に置いて、昼も夜も、絶えず神に願いと祈りをささげていますが、
6 自堕落な生活をしているやもめは、生きてはいても、もう死んだ者なのです。
7 彼女たちがそしりを受けることのないように、これらのことを命じなさい。

4 ①出 I コリ二・六、②ピテモ四・三、ロマ一四・六、I コリ一〇・三一
5 ①詩創一・三、三、出ヘブ二・三、②II コリ二・三、③テモ一・二、出ピリ二・二三、④I テモ一・一〇
6 ①詩使一・二、②詩 I テモ一・四、③ I テモ四・六、六、三、六、II テモ三・五
8 ①出コロ二・三、②詩マタ二・三、出マタ六・三三、マコ一〇・三〇、③詩七・九、一一、箴八・三、三・一〇
9 詩マタ六・三、④詩 I テモ四・七
10 ①詩 I テモ三・四、出ヨハ四・四二、②詩 I テモ三・二、③ II コリ一二、出 I テモ六・一七
11 ① I テモ五・七、六・二
12 ①出 I コリ一六・一二、テト二・一五、②出 I テモ一・四、③テト二・七
13 ① I テモ三・一四、②出 II テモ三・一五以下
14 ①詩使二・三四、②ピテモ五・三、II テモ一・六、詩使六・六、③ I テモ一・六
16 ①出使三・二六、②詩 I コリ一・三一

1 ①出レビ九・三、②テト二・二、③テト三・六
3 ①ピテモ五・三、六、出使六・一、九・三六、四一
4 ①出エペ六・二、②ピテモ三・四、五・四、③出使六・一、九・三六、四一、②ピテモ五・四、出 I コリ七・一四、③ルカ二・三七、出 I テモ一・一、II テモ一・三
5 ①ピテモ五・三、六、出使六・一、九・三六、四一、②ピテモ五・五、出 I コリ七・一四、③ルカ二・三七、出 I テモ一・一、II テモ一・三
6 ①出ヤコ五・六、②黙三・一、詩ルカ一五・二四、出 II テモ三・六
7 ①詩 I テモ四・二

8 もしも親族、ことに自分の家族を顧みない人がいるなら、その人は信仰を捨てているのであって、不信者よりも悪いのです。
9 やもめとして名簿に載せるのは、六十歳未満の人でなく、[1]ひとりの夫の妻であった人で、
10 良い行ないによって認められている人、すなわち、子どもを育て、[2]旅人をもてなし、[3]聖徒の足を洗い、困っている人を助け、すべての良いわざに務め励んだ人としなさい。
11 若いやもめは断わりなさい。というのは、彼女たちは、キリストにそむいて情欲に引かれると、[1]結婚したがり、
12 初めの*誓いを捨てたという非難を受けることになるからです。
13 そのうえ、怠けて、家々を遊び歩くことを覚え、ただ怠けるだけでなく、うわさ話やおせっかいをして、[2]話してはいけないことまで話します。
14 ですから、私が願うのは、若いやもめは[1]結婚し、子どもを産み、[3]家庭を治め、[4]反対者にそしる機会を与えないことです。
15 [1]というのは、すでに、道を踏みはずし、サタンの[2]あとについて行った者があるからです。
16 もし信者である婦人の身内にやもめがいたら、その人がそのやもめを助け、[2]教会には負担をかけないようにしなさい。そうすれば、教会はほんとうのやもめを助けることができます。
17 よく指導の[1]任に当たっている長老は、[2]二重に尊敬を受けるにふさわしいとしなさい。みことばと教えのためにほねおっている長老は特にそうです。
18 聖書に「[1]穀物をこなしている牛に、くつこを掛けてはいけない。」また、「[2]働き手が報酬を受けることは当然である。」と言われているからです。
19 長老に対する訴えは、[1]ふたりか[2]三人の証人がなければ、受理してはいけません。
20 罪を犯している者をすべての人の前で[1]責めなさい。[2]ほかの人をも恐れさせるためです。
21 私は、神とキリスト・イエスと選ばれた御使いたちとの前で、あなたにおごそかに命じます。これらのことを偏見なしに守り、何事もかたよらないで行ないなさい。
22 また、だれにでも[1]軽々しく按手をしてはいけません。また、他人の罪に[2]かかわりを持ってはいけません。自分をきよく保ちなさい。
23 これからは水ばかり飲まないで、胃のために、また、たびたび起こる病気のためにも、[1]少量のぶどう酒を用いなさい。
24 ある人たちの罪は、それがさばきを受ける前から、だれの目にも明らかですが、ある人たちの罪は、[1]あとで明らかになります。
25 同じように、良い行ないは、だれの目にも明らかですが、そうでないばあいでも、[1]いつまでも隠れたままでいることはありません。

8 ①Ⅱテモ一・三、テト一・一六
Ⅱペテ二・一、ユダ四
9 ①Ⅰテモ三・二
10 ①使九・三六、Ⅰテモ六・一八
Ⅰペテ四・一〇、[比]テト三・七、三・八
②Ⅰテモ三・二、③[参]ルカ七・四四、[比]ヨハ一三・一四、④Ⅰテモ五・一〇
11 ①黙二・七
12 * 直訳「信仰」
13 ①[参]Ⅱテサ三・一一、②テト一・一一
14 ①[参]Ⅰテモ二・八、②Ⅰコリセ九
[比]Ⅰテモ四・三、③[比]テト二・五
④[比]Ⅰテモ六・一
15 ①[比]Ⅰテモ一・三、②[参]マタ五・一〇
16 ①[比]Ⅰテモ五・四、②Ⅰテモ五・一〇、③[参]Ⅰテモ五・三
17 ①[参]ロマ一二・八、②[参]使一三・一
Ⅰテモ五・九、[比]Ⅰテモ四・一四
③Ⅰテサ五・一二
18 ①申二五・四、Ⅰコリ九・九、②マタ一〇・一〇、ルカ一〇・七、[参]Ⅰコリ九・一四、[比]レビ一九・一三、申二四・一五
19 ①[参]使一三・一、Ⅰテモ五・一七
[比]Ⅰテモ四・一四、②[参]マタ一八・一六
20 ①エペ五・一一、[比]ガラ二・一四
Ⅱテモ四・二、②[比]Ⅱコリセ・一一
21 ①Ⅱテモ四・一、一二、一四、[比]Ⅰテモ六・三、ルカ九・二六
22 ①[参]Ⅰテモ四・一四、[比]Ⅰテモ三・一〇、②エペ五・一一、[比]Ⅰテモ三・一七
23 ①[参]Ⅰテモ三・八
24 ①[比]黙二〇・一三
25 ①[比]箴二〇・六

6

1)くびきの下にある奴隷は、自分の
主人を十分に尊敬すべき人だと考え
なさい。それは神の御名と教えとがそしられないため
です。
2信者である主人を持つ人は、主人が兄弟だからといって軽く見ず、むしろ、ますますよく仕えなさい。なぜなら、その良い奉仕から益を受けるのは信者であり、愛されている人だからです。あなたは、これらのことを教え、また勧めなさい。
3違ったことを教え、私たちの主イエス・キリストの健全なことばと敬虔にかなう教えとに同意しない人がいるなら、
4その人は高慢になっており、何一つ悟らず、疑いをかけたり、ことばの争いをしたりする病気にかかっているのです。そこから、ねたみ、争い、そしり、悪意の疑りが生じ、
5また、知性が腐ってしまって真理を失った人々、すなわち、敬虔を利得の手段と考えている人たちの間には、絶え間のない紛争が生じるのです。
6しかし、満ち足りる心を伴う敬虔こそ、大きな利益を受ける道です。
7私たちは何一つこの世に持って来なかったし、また何一つ持って出ることもできません。*
8衣食があれば、それで満足すべきです。
9金持ちになりたがる人たちは、誘惑とわなと、また人を滅びと破滅に投げ入れる、愚かで、有害な多くの欲とに陥ります。
10金銭を愛することが、あらゆる悪の根だからです。ある人たちは、金を追い求めたために、信仰から迷い出て、非常な苦痛をもって自分を刺し通しました。
11しかし、神の人よ。あなたは、これらのことを避け、正しさ、敬虔、信仰、愛、忍耐、柔和を熱心に求めなさい。
12信仰の戦いを勇敢に戦い、永遠のいのちを獲得しなさい。あなたはこのために召され、また、多くの証人たちの前でりっぱな告白をしました。
13私は、すべてのものにいのちを与える神と、ポンテオ・ピラトに対してすばらしい告白をもってあかしされたキリスト・イエスとの御前で、あなたに命じます。
14私たちの主イエス・キリストの現われの時まで、あなたは命令を守り、傷のない、非難されるところのない者でありなさい。
15その現われを、神はご自分の良しとする時に示してくださいます。神は祝福に満ちた唯一の主権者、王の王、主の主、
16ただひとり死のない方であり、近づくこともできない光の中に住まわれ、人間がだれひとり見たことのない、また見ることのできない方です。誉れと、とこしえの主権は神のものです。アーメン。
17この世で富んでいる人たちに命じなさい。高ぶらないように。また、たよりにならない富に望みをかけないように。むしろ、私たちにすべての物を豊かに与

---

1 ①テト二・九、Iペテ二・一八 ②Iテモ六・一、テト二・五 ③Iテモ四・一〇、Iテモ四・一
2 ①Iテモ二・二、Iテモ四・一一 ②Iテモ一・三、Iテモ四・一 ③Iテモ一・二、テト一・四 ④Iテモ二・一〇、テト一・一 ⑤Iテモ二・六、②③Iテモ四・一〇、③IIテモ二・一四、Iテモ使六・五
3 ①Iテモ二・六、②③Iテモ六・三 ③Iテモ一・一〇、テト一・九 ④Iテモ六・三、テト一・一 ⑤Iテモ六・四、Iテモ一・六、②ピリ二・二、Iテモ四・八、③Iテモ四・八
4 ①Iテモ六・四、②Iテモ一・六、Iテモ六・二、Iペテ二・三 ③Iテモ一・四、Iテモ六・四、Iテモ一・六、②ピリ二・二、Iテモ六・三、③Iテモ四・八
5 ①Iテモ六・八、Iテモ一・五 ②Iテモ一・一四、Iテモ六・一一、Iペテ二・三 ③Iテモ六・五、②ピリ二・二、Iテモ六・三、③Iテモ四・八
6 ①Iテモ六・一〇、Iテモ一・一四、Iテモ六・一一、Iペテ二・三 ②Iテモ六・六、Iテモ四・八 ③Iテモ四・八
7 ①ヨブ一・二一、伝五・一五 ②Iテモ六・七
8 ①Iテモ六・三、四、五、八 ②Iテモ六・一七
9 ①Iテモ六・三、四、五、八 ②Iテモ三・六、Iテモ六・一七
10 ①Iテモ六・六、②Iテモ一・一四、Iテモ六・一一、Iテモ四・一二 ②Iテモ一・一四、Iテモ六・一一、Iテモ四・一二 ③Iテモ一・一四、Iテモ六・一一、Iテモ四・一二
11 ①Iテモ六・六、②Iテモ一・一四、Iテモ六・一一、Iテモ四・一二 ②Iテモ一・一四、Iテモ六・一一、Iテモ四・一二 ③Iテモ一・一四、Iテモ六・一一、Iテモ四・一二
12 ①Iテモ一・一八、②Iテモ一・一八、Iテモ六・一二、Iテモ四・一四 ③Iテモ一・一八、Iテモ六・一二、Iテモ四・一四 ④Iテモ一・一八、Iテモ六・一二、Iテモ四・一四 ⑤Iテモ一・一八、Iテモ六・一二、Iテモ四・一四 ⑥Iテモ一・一八、Iテモ六・一二、Iテモ四・一四
13 ①ヨハ一八・三七、Iテモ六・一三 ②Iテモ六・一三、Iテモ一・一八、Iテモ六・一二、Iテモ四・一四 ③Iテモ一・一八、Iテモ六・一二、Iテモ四・一四
14 ①Iテモ一・一八、Iテモ六・一二、Iテモ四・一四 ②Iテモ一・一八、Iテモ六・一二、Iテモ四・一四 ③Iテモ一・一八、Iテモ六・一二、Iテモ四・一四
15 ①Iテモ一・一八、Iテモ六・一二、Iテモ四・一四 ②Iテモ一・一八、Iテモ六・一二、Iテモ四・一四 ③Iテモ一・一八、Iテモ六・一二、Iテモ四・一四 ④Iテモ一・一八、Iテモ六・一二、Iテモ四・一四 ⑤詩一〇三・一九
16 ①Iテモ一・一七、②詩一〇四・二 ③Iヨハ一・五、Iヨハ一・五、④Iテモ六・一七
17 ①Iテモ四・一〇、テト二・一三 ②Iテモ六・一七、③Iテモ六・一七、④Iテモ六・一七、⑤詩一〇三・一五、⑥詩一〇四・一五、⑦詩一〇四・一五、⑧Iテモ六・一七、⑨Iテモ六・一七、⑩Iテモ六・一七、⑪Iテモ六・一七、⑫Iテモ六・一七、⑬Iテモ六・一七、⑭Iテモ六・一七、⑮Iテモ六・一七、⑯Iテモ六・一七、⑰Iテモ六・一七、⑱Iテモ六・一七、⑲Iテモ六・一七、⑳Iテモ六・一七、㉑Iテモ六・一七、㉒Iテモ六・一七、㉓Iテモ六・一七、㉔Iテモ六・一七、㉕Iテモ六・一七、㉖Iテモ六・一七、㉗Iテモ六・一七、㉘Iテモ六・一七、㉙Iテモ六・一七、㉚Iテモ六・一七、㉛Iテモ六・一七、㉜Iテモ六・一七、㉝Iテモ六・一七、㉞Iテモ六・一七、㉟Iテモ六・一七、㊱Iテモ六・一七、㊲Iテモ六・一七、㊳Iテモ六・一七、㊴Iテモ六・一七、㊵Iテモ六・一七、㊶Iテモ六・一七、㊷Iテモ六・一七、㊸Iテモ六・一七、㊹Iテモ六・一七、㊺Iテモ六・一七、㊻Iテモ六・一七、㊼Iテモ六・一七、㊽Iテモ六・一七、㊾Iテモ六・一七、㊿Iテモ六・一七

えて楽しませてくださる神に望みを置くように。
18 また、人の益を計り、[1]良い行ないに富み、[2]惜しまずに施し、[1]喜んで分け与えるように。
19 また、まことのいのちを得るために、[2]未来に備えて良い基礎を自分自身のために築き上げるように。
20 テモテよ。ゆだねられたものを守りなさい。そして、[3]俗悪なむだ話、また、まちがって「霊知」と呼ばれる反対論を避けなさい。
21 これを公然と主張したある人たちは、[1]信仰からはずれてしまいました。
[3]恵みが、あなたがたとともにありますように。

18 ①欄Ⅰテモ五・一〇、②旧ロマ三・八、エペ四・二六
19 ①欄Ⅰテモ六・二、②欄マタ六・二〇
20 ①欄Ⅰテモ一・三、②Ⅱテモ一・一三、一四、③Ⅱテモ一・一六 欄Ⅰテモ一・九
21 ①欄Ⅰテモ一・九
★あるいは「信仰についてまちがってしまいました」
②旧Ⅱテモ二・一八、③欄コロ四・一八

テモテへの手紙　第二

1

1 神のみこころにより、キリスト・イエスにある[3]いのちの約束によって、キリスト・イエスの使徒となった[4]パウロから、
2 愛する子テモテへ。父なる神および[3]私たちの主キリスト・イエスから、恵みとあわれみと平安がありますように。
3 私は、夜昼、祈りの中であなたのことを絶えず思い起こしては、先祖以来きよい良心をもって仕えている神に感謝しています。
4 私は、あなたの涙を覚えているので、あなたに会って、喜びに満たされたいと願っています。
5 私はあなたの純粋な信仰を思い起こしています。そのような信仰は、最初あなたの祖母ロイスと、あなたの母ユニケのうちに宿ったものですが、それがあなたのうちにも宿っていることを、私は確信しています。
6 それですから、私はあなたに注意したいのです。私の[1]按手をもってあなたのうちに与えられた神の賜物を、再び燃え立たせてください。
7 神が私たちに与えてくださったものは、おくびょうの霊ではなく、力と愛と慎みとの霊です。
8 ですから、あなたは、私たちの主をあかしすることや、私が主の囚人であることを恥じてはいけません。むしろ、神の力によって、福音のために私と苦しみをともにしてください。
9 神は私たちを救い、また、聖なる召しをもって召してくださいましたが、それは私たちの働きによるのではなく、ご自身の計画と恵みとによるのです。この恵みは、キリスト・イエスにおいて、私たちに永遠の昔に与えられたものであって、
10 それが今、私たちの救い主キリスト・イエスの現われによって明らかにされたのです。キリストは死を滅ぼし、福音によって、いのちと不滅を明らかに示されました。
11 私は、この福音のために、宣教者、使徒、また教師として任命されたのです。
12 そのために、私はこのような苦しみにも会っています。しかし、私はそれを恥とは思っていません。というのは、私は、自分の信じて来た方をよく知っており、また、その方は私のお任せしたものを、かの日のために守ってくださることができると確信しているからです。
13 あなたは、キリスト・イエスにある信仰と愛をもって、私から聞いた健全なことばを手本にしなさい。
14 そして、あなたにゆだねられた良いものを、私たちのうちに宿る聖霊によって、守りなさい。
15 あなたの知っているとおり、アジヤにいる人々はみな、私を離れて行きました。その中には、フゲロとヘルモゲネがいます。

---

1 ①創 I コリ二・一、②II テモ一・二、ガラ三・二六、③比 I テモ六・一二、④創 II コリ一・一
2 ①I テモ一・二、II テモ二・一、②創使二六・一、③比 I テモ一・二、④比使三・一、⑤I テモ一・二、⑥I テモ一・一四、⑦創ロマ一・八
3 ①創ロマ一・九、②比使三・一、③I テモ一・二、④創ロマ一・八
4 ①比使三・三七、②II テモ四・九、三、③I テモ一・五、②使二六・一、比 I テモ三・一五、⑥創 I テモ四・一四
5 ①I テモ一・五、②使二六・一、比 I テモ三・一五、⑥創 I テモ四・一四
6 ①創 I テモ四・一四
7 ①ロマ八・一五、比ヨハ一四・二六
8 ①I コリ一・六、②創エペ三・一、比 II テモ一・八、③II テモ一・一六、④II テモ一・一二、⑤II テモ一・八、⑥創エペ三・一
9 ①創ロマ一・一四、②創ロマ一・元、③創ロマ八・六、⑤創エペ二・九、⑤創ロマ六・三、比 II テモ一・九、⑥テト一・二、⑦創エペ一・四
10 ①ロマ一六・二六、②テト一・二、比 II テモ一・八、③創 II テモ一・一、④創 I コリ一五・二六、比ヘブ二・一四、⑤II テモ一・一〇
11 ①創 I テモ二・七、比 II テモ一・一六、②比 I テモ三・一六
12 ①創 II テモ一・八、比 II テモ一・一二、②比 I テモ三・一六
*別訳「に任されたものを」
③II テモ一・一六、④創 I コリ一・一四、I コリ一・八、④II テモ一・一四、I テモ六・二〇
13 ①創 II テモ一・七、②創 I テモ一・一四、③II テモ一・二、④比 I テモ一・一三、⑤II テモ一・一〇、⑥比 II テモ三・一五
14 ①II テモ一・一三、I テモ六・二〇
15 ①創使二九、②比 II テモ四・一〇、二一六

16 1)オネシポロの家族を主があわれんでくださるように。彼はたびたび私を元気づけてくれ、また私が鎖につながれていることを恥とも思わず、17 ローマに着いたときには、熱心に私を捜して見つけ出してくれたのです。18 ——かの日には、主があわれみを彼に示してくださいますように。——彼がエペソで、どれほど私に仕えてくれたかは、あなたが一番よく知っています。

2

1 そこで、わが子よ。キリスト・イエスにある恵みによって強くなりなさい。2 多くの証人の前で私から聞いたことを、他の人にも教える力のある忠実な人たちにゆだねなさい。3 キリスト・イエスのりっぱな兵士として、私と苦しみをともにしてください。4 兵役についていながら、日常生活のことに掛かり合っている者はだれもありません。それは徴募した者を喜ばせるためです。5 また、競技をするときも、規定に従って競技をしなければ栄冠を得ることはできません。6 労苦した農夫こそ、まず第一に収穫の分け前にあずかるべきです。7 私が言っていることをよく考えなさい。主はすべてのことについて、理解する力をあなたに必ず与えてくださいます。8 私の福音に言うとおり、ダビデの子孫として生まれ、死者の中からよみがえったイエス・キリストを、いつも思っていなさい。9 私は、福音のために、苦しみを受け、犯罪者のようにつながれています。しかし、神のことばは、つながれてはいません。10 ですから、私は選ばれた人たちのために、すべてのことを耐え忍びます。それは、彼らもまたキリスト・イエスにある救いと、それとともに、とこしえの栄光を受けるようになるためです。11 次のことばは信頼すべきことばです。「もし私たちが、彼とともに死んだのなら、彼とともに生きるようになる。12 もし耐え忍んでいるなら、彼とともに治めるようになる。もし彼を否んだなら、彼もまた私たちを否まれる。13 私たちは真実でなくても、彼は常に真実である。彼にはご自身を否むことができないからである。」14 これらのことを人々に思い出させなさい。そして何の益にもならず、聞いている人々を滅ぼすことになるような、ことばについての論争などしないように、神の御前できびしく命じなさい。15 あなたは熟練した者、すなわち、真理のみことばをまっすぐに説き明かす、恥じることのない働き人として、自分を神にささげるよう、努め励みなさい。16 俗悪なむだ話を避けなさい。人々はそれによってますます不敬虔に深入りし、

1) ①創エペ六・一〇、②創エペ六・一〇、③創II テモ二・一八
2) ①創II テモ二・一三
3) ①創II テモ二・一八
4) ①創II テモ一・一二
5) ①創II テモ二・五
6) ①創II テモ二・六
7) ①創II テモ二・七
8) ①創II テモ二・八
9) ①創II テモ一・八、二・三
②ロマ一・三、③ピリ二・七
④創I テサ二・一八、⑤黙使二・三、⑥II テモ四・七
10) ①創ルカ八・七、⑦II テモ一・一
②創コロ一・二四、③ヒブ一一・一、④II テサ二・一四、⑤II テモ二・一、⑥II コリ四・一七、I ペテ五・一〇
11) ①創II テモ二・一一、②創ロマ六・八、⑦I テサ五・一〇
12) ①創ルカ二二・二九、マタ一九・二八
ロマ五・一七、八・一七他、②創マタ一〇・三三、II テモ二・一二
13) ①創I コリ一・九、⑦I テモ一・一五
14) ①創I テモ六・四、⑦II テモ二・一四、②民三二・六、テト一・一
15) ①創I テモ六・四、⑦II テモ二・一五、テト一・九、②創I テモ四・一
16) ①II テモ四・一六、②創エペ六・三、③創II テモ一・一八
＊原語は一七節の「見つけ出す」と同じことば
1) ①II テモ一・一六、②創使八・二九、⑦I テモ一・三
②創II テモ一・一七、③創エペ六・一〇
2) ①創I テモ六・二〇、②II テモ一・一三、③I テモ一・一八
④I テモ一・一八、②I コリ九・七、I テモ一・一八
3) ①創II テモ一・一、②I コリ九・七、I テモ一・一八
③創II テモ一・八
4) ①創II ペテ二・三四
5) ①創I コリ九・二五
6) ①I コリ九・一〇
7) ①創ロマ二・一六、②創マタ一二・三
8) ①創ロマ一・三、②創マタ一二・三
9) ①創II テモ一・八、二・三
②I ヨハ三・三、③ピリ二・七
④創I テサ一・八、⑤黙使二・三、⑥I ヨハ四・七
10) ①創ルカ八・七、⑦I テモ一・一
②創コロ一・二四、③ヒブ一一・一、④II テサ二・一四、⑤II テモ一・一、⑥II コリ四・一七、I ペテ五・一〇
11) ①創I テモ一・一、②創ロマ六・八、⑦I テサ五・一〇
12) ①創ルカ二二・二九、マタ一九・二八
ロマ五・一七、八・一七他、②創マタ一〇・三三、I テモ二・一二
13) ①創I コリ一・九、⑦I テモ一・一五
14) ①創I テモ六・四、⑦II テモ二・一四、②民三二・六、テト一・一
15) ①創I テモ六・四、⑦II テモ二・一五、テト一・九、②創I テモ四・一
16) ①I テモ六・二〇、②創エペ六・三、③創II テモ一・一八
②テト三・九
15) ①創I テモ六・四、⑦II テモ二・一五、テト一・九、②創I テモ四・一
16) ①I テモ六・二〇、②創エペ六・三、③創II テモ一・一八
②テト三・九

17 彼らの話は癌のように広がるのです。ヒメナオとピレトはその仲間です。
18 彼らは真理からはずれてしまい、[1]復活がすでに起こったと言って、ある人々の信仰をくつがえしているのです。
19 それにもかかわらず、神の不動の礎は堅く置かれていて、それに次のような銘が刻まれています。「[2]主はご自分に属する者を知っておられる。」また、「主の御名を呼ぶ者は、だれでも不義を離れよ。」
20 大きな家には、金や銀の器だけでなく、木や土の器もあります。また、ある物は尊いことに、ある物は卑しいことに用います。
21 ですから、だれでも自分自身をきよめてこれらのことを離れるなら、その人は尊いことに使われる器となります。すなわち、きよめられたもの、主人にとって有益なもの、あらゆる良いわざに間に合うものとなるのです。
22 それで、あなたは、若い時の情欲を避け、きよい心で主を呼び求める人たちとともに、義と信仰と愛と平和を追い求めなさい。
23 愚かで、無知な思弁を避けなさい。それが争いのもとであることは、あなたが知っているとおりです。
24 主のしもべが争ってはいけません。むしろ、すべての人に優しくし、よく教え、よく忍び、
25 反対する人たちを柔和な心で訓戒しなさい。もしかすると、神は彼らに悔い改めの心を与えて真理を悟らせ、
26 一時は悪魔に捕えられてその思うままになっていた人々でも、目ざめて、そのわなをのがれることができるでしょう。

3

1 終わりの日には困難な時代がやって来ることをよく承知しておきなさい。
2 そのときに人々は、自分を愛する者、金を愛する者、大言壮語する者、不遜な者、神をけがす者、両親に従わない者、感謝することを知らない者、汚れた者になり、
3 情け知らずの者、和解しない者、そしる者、節制のない者、粗暴な者、善を好まない者になり、
4 裏切る者、向こう見ずな者、慢心する者、神よりも快楽を愛する者になり、
5 敬虔のかたちをしていても、その実を否定する者になるからです。こういう人々を避けなさい。
6 こういう人々の中には、家々にはいり込み、愚かな女たちをたぶらかしている者がいます。その女たちは、さまざまの情欲に引き回されて罪に罪を重ね、
7 いつも学んではいるが、いつになっても真理を知ることのできない者たちです。
8 また、こういう人々は、ちょうどヤンネとヤンブレがモーセに逆らったように、真理に逆らうのです。彼らは知性の腐った、信仰の失格者です。
9 でも、彼らはもうこれ以上に進むことはできませ

---

17 ①Ⅰテモ一・二〇
18 ①Ⅰコリ一五・一二、Ⅱテト一・一二
19 ①Ⅰテモ一・一九、イザ二六・一三、②民一六・五、Ⅱテモ二・一九、③ヨハ一三・一八、④Ⅰコリ八・三、Ⅰコリ一・二
20 ①ロマ九・二一
21 ①Ⅱテモ二・一六(?)、Ⅰテモ六・二一、②Ⅱテモ二・二二、Ⅱコリ六・一七、Ⅱテト二・一四
22 ①Ⅰテモ六・一一、②Ⅰテモ一・五、③Ⅱ使七・五九、④Ⅱテモ一・一四
23 ①Ⅱテモ二・一四、②テト三・九
24 ①Ⅰテモ三・三、テト一・七、②Ⅰテモ三・二
25 ①テト三・二、Ⅱガラ六・一、Ⅰペテ三・一五、②Ⅱ使八・三、③Ⅰテモ一・一四
26 *別訳「悪魔に捕えられていた者も、目ざめて、そのわなをのがれ、神のみこころをなすようになるかもしれないからです」
①Ⅱテモ二・一〇、②Ⅰテモ三・七
1 ①Ⅰテモ四・一
2 ①Ⅱテモ四・一、②ルカ六・二四、Ⅱテモ三・二、③ロマ一・三〇、④Ⅱペテ二・一二、⑤ルカ六・二五、⑥Ⅰテモ一・九、⑦Ⅱテト一・一五
3 ①ロマ一・三一、②Ⅱテモ三・二、③Ⅱテト一・八
4 ①使七・五二、②使二・二三、③Ⅰテモ三・六、④Ⅱピリ二・二九、⑤Ⅰテモ四・七、⑥Ⅱヨハ九、⑦Ⅱテサ三・六、⑧マタ七・一五
5 ①ヨエ二・一三、②Ⅱテモ一・六
6 ①Ⅱテト三・三
*別訳「とりこにして」
7 ①Ⅱテモ三・一五
8 ①出七・一一、②Ⅱ使一三・八、③Ⅰテモ六・五

ん。彼らの愚かさは、[1]あのふたりのばあいのように、すべての人にはっきりわかるからです。
10しかし、あなたは、私の教え、行動、計画、信仰、寛容、[1]愛、忍耐に、
11またアンテオク、イコニオム、ルステラで私に[2]ふりかかった迫害や苦難にも、よくついて来てくれました。何というひどい迫害に私は耐えて来たことでしょう。しかし、主はいっさいのことから私を救い出してくださいました。
12確かに、キリスト・イエスにあって敬虔に生きようと願う者はみな、迫害を受けます。
13しかし、悪人や詐欺師たちは、だましたりだまされたりしながら、ますます悪に落ちて行くのです。
14けれどもあなたは、学んで確信したところにとどまっていなさい。あなたは自分が、どの人たちからそれを学んだかを知っており、
15また、幼いころから聖書に親しんで来たことを知っているからです。聖書はあなたに知恵を与えてキリスト・イエスに対する信仰による救いを受けさせることができるのです。
16聖書はすべて、*神の霊感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練とのために有益です。
17それは、神の人が、すべての良い働きのためにふさわしい十分に整えられた者となるためです。

4

1神の御前で、また、生きている人と死んだ人とをさばかれるキリスト・イエスの御前で、その現われとその御国を思って、私はおごそかに命じます。
2みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くてもしっかりやりなさい。寛容を尽くし、絶えず教えながら、責め、戒め、また勧めなさい。
3というのは、人々が健全な教えに耐を貸そうとせず、自分につごうの良いことを言ってもらうために、気まぐまな願いをもって、次々に教師たちを自分たちのために寄せ集め、
4真理から耳をそむけ、空想話にそれて行くような時代になるからです。
5しかし、あなたは、どのようなばあいにも慎み、困難に耐え、伝道者として働き、自分の務めを十分に果たしなさい。
6私は今や注ぎの供え物となります。私が世を去る時はすでに来ました。
7私は勇敢に戦い、走るべき道のりを走り終え、信仰を守り通しました。
8今からは、義の栄冠が私のために用意されているだけです。かの日には、正しい審判者である主が、それを私に授けてくださるのです。私だけでなく、主の現われを慕っている者には、だれにでも授けてくださるのです。
9あなたは、何とかして、早く私のところに来てください。
10デマスは今の世を愛し、私を捨ててテサロニケに行

---

9 ①ルカ六・二一、②出七・三、八・一九、二〇・一一
10 ①Ⅰテモ六・一一
11 ①使一三・一四、五〇、一四・五、一九、②使一六・一、③使一六・一、④Ⅱコリ一一・二五、⑤Ⅱコリ一・八、⑥Ⅰテモ一四・六、Ⅱピリ一・二九、三、⑦Ⅱコリ一・三七、⑧使ロマ五・三
12 ①ヨハ一六・三三、使一四・二二
13 ①Ⅱテト一・一三、②Ⅱテモ三・一六
14 ①Ⅱテト一・一三、Ⅱテト一・九
15 ①Ⅱテモ一・五、②Ⅱヨ一八、ロマ一・七、③詩一一九・九九、④Ⅱテモ一・一
16 ①Ⅱコリ一・二、②Ⅱペテ一・二〇、二一
17 ①Ⅰテモ六・一一、②Ⅱテモ三・一、Ⅱテモ四・六、Ⅱピリ二・一二、③Ⅱテモ三・一四、②Ⅱテモ一・一〇、③Ⅱテモ三・一四、④Ⅰテモ三・一六

1 ①ガラ一・六、Ⅱコロ一・一二、Ⅰテサ一・六、②Ⅱテモ二・一〇、③①Ⅰテモ五・二一、②Ⅱテモ四・一
2 ①Ⅱテサ二・一五、テト一・一四、②Ⅱテモ一・一四、③Ⅱテモ二・一、④①Ⅰテモ一・三、②Ⅱテモ三・一四、⑤①Ⅱペテ一・一五、②Ⅱルカ一二・一、③使三・六、④コロ四・一七、⑤Ⅱルカ一二・一
3 ①Ⅱテモ四・六、Ⅱピリ二・一七、②Ⅱテモ一・一三、③Ⅱテモ一・一四、④Ⅱテモ三・一四、⑤Ⅱテモ一・一三、⑥Ⅱテモ一・一四、⑦Ⅱテモ一・一三、⑧Ⅱテモ一・一四、⑨Ⅱテモ一・一三、⑩Ⅱテモ一・一四、⑪Ⅱテモ一・一三、⑫Ⅱテモ一・一四、⑬Ⅱテモ一・一三、⑭Ⅱテモ一・一四、⑮Ⅱテモ一・一三、⑯Ⅱテモ一・一四、⑰Ⅱテモ一・一三、⑱Ⅱテモ一・一四、⑲Ⅱテモ一・一三、⑳Ⅱテモ一・一四、㉑Ⅱテモ一・一三、㉒Ⅱテモ一・一四、㉓Ⅱテモ一・一三、㉔Ⅱテモ一・一四、㉕Ⅱテモ一・一三、㉖Ⅱテモ一・一四、㉗Ⅱテモ一・一三、㉘Ⅱテモ一・一四、㉙Ⅱテモ一・一三、㉚Ⅱテモ一・一四、㉛Ⅱテモ一・一三、㉜Ⅱテモ一・一四、㉝Ⅱテモ一・一三、㉞Ⅱテモ一・一四、㉟Ⅱテモ一・一三、㊱Ⅱテモ一・一四、㊲Ⅱテモ一・一三、㊳Ⅱテモ一・一四、㊴Ⅱテモ一・一三、㊵Ⅱテモ一・一四、㊶Ⅱテモ一・一三、㊷Ⅱテモ一・一四、㊸Ⅱテモ一・一三、㊹Ⅱテモ一・一四、㊺Ⅱテモ一・一三、㊻Ⅱテモ一・一四、㊼Ⅱテモ一・一三、㊽Ⅱテモ一・一四、㊾Ⅱテモ一・一三、㊿Ⅱテモ一・一四、(51)Ⅱテモ一・一三、(52)Ⅱテモ一・一四、(53)Ⅱテモ一・一三、(54)Ⅱテモ一・一四、(55)Ⅱテモ一・一三、(56)Ⅱテモ一・一四、(57)Ⅱテモ一・一三、(58)Ⅱテモ一・一四、(59)Ⅱテモ一・一三、(60)Ⅱテモ一・一四、(61)Ⅱテモ一・一三、(62)Ⅱテモ一・一四、(63)Ⅱテモ一・一三、(64)Ⅱテモ一・一四、(65)Ⅱテモ一・一三、(66)Ⅱテモ一・一四、(67)Ⅱテモ一・一三、(68)Ⅱテモ一・一四、(69)Ⅱテモ一・一三、(70)Ⅱテモ一・一四、(71)Ⅱテモ一・一三、(72)Ⅱテモ一・一四、(73)Ⅱテモ一・一三、(74)Ⅱテモ一・一四、(75)Ⅱテモ一・一三、(76)Ⅱテモ一・一四、(77)Ⅱテモ一・一三、(78)Ⅱテモ一・一四、(79)Ⅱテモ一・一三、(80)Ⅱテモ一・一四、(81)Ⅱテモ一・一三、(82)Ⅱテモ一・一四、(83)Ⅱテモ一・一三、(84)Ⅱテモ一・一四、(85)Ⅱテモ一・一三、(86)Ⅱテモ一・一四、(87)Ⅱテモ一・一三、(88)Ⅱテモ一・一四、(89)Ⅱテモ一・一三、(90)Ⅱテモ一・一四、(91)Ⅱテモ一・一三、(92)Ⅱテモ一・一四、(93)Ⅱテモ一・一三、(94)Ⅱテモ一・一四、(95)Ⅱテモ一・一三、(96)Ⅱテモ一・一四、(97)Ⅱテモ一・一三、(98)Ⅱテモ一・一四、(99)Ⅱテモ一・一三、(100)Ⅱテモ一・一四、(101)Ⅱテモ一・一三、(102)Ⅱテモ一・一四、(103)Ⅱテモ一・一三、(104)Ⅱテモ一・一四、(105)Ⅱテモ一・一三、(106)Ⅱテモ一・一四、(107)Ⅱテモ一・一三、(108)Ⅱテモ一・一四、(109)Ⅱテモ一・一三、(110)Ⅱテモ一・一四、(111)Ⅱテモ一・一三、(112)Ⅱテモ一・一四、(113)Ⅱテモ一・一三、(114)Ⅱテモ一・一四、(115)Ⅱテモ一・一三、(116)Ⅱテモ一・一四、(117)Ⅱテモ一・一三、(118)Ⅱテモ一・一四、(119)Ⅱテモ一・一三、(120)Ⅱテモ一・一四、(121)Ⅱテモ一・一三、(122)Ⅱテモ一・一四、(123)Ⅱテモ一・一三、(124)Ⅱテモ一・一四、(125)Ⅱテモ一・一三、(126)Ⅱテモ一・一四、(127)Ⅱテモ一・一三、(128)Ⅱテモ一・一四、(129)Ⅱテモ一・一三、(130)Ⅱテモ一・一四、(131)Ⅱテモ一・一三、(132)Ⅱテモ一・一四、(133)Ⅱテモ一・一三、(134)Ⅱテモ一・一四、(135)Ⅱテモ一・一三、(136)Ⅱテモ一・一四、(137)Ⅱテモ一・一三、(138)Ⅱテモ一・一四、(139)Ⅱテモ一・一三、(140)Ⅱテモ一・一四、(141)Ⅱテモ一・一三、(142)Ⅱテモ一・一四、(143)Ⅱテモ一・一三、(144)Ⅱテモ一・一四、(145)Ⅱテモ一・一三、(146)Ⅱテモ一・一四、(147)Ⅱテモ一・一三、(148)Ⅱテモ一・一四、(149)Ⅱテモ一・一三、(150)Ⅱテモ一・一四、(151)Ⅱテモ一・一三、(152)Ⅱテモ一・一四、(153)Ⅱテモ一・一三、(154)Ⅱテモ一・一四、(155)Ⅱテモ一・一三、(156)Ⅱテモ一・一四、(157)Ⅱテモ一・一三、(158)Ⅱテモ一・一四、(159)Ⅱテモ一・一三、(160)Ⅱテモ一・一四、(161)Ⅱテモ一・一三、(162)Ⅱテモ一・一四、(163)Ⅱテモ一・一三、(164)Ⅱテモ一・一四、(165)Ⅱテモ一・一三、(166)Ⅱテモ一・一四、(167)Ⅱテモ一・一三、(168)Ⅱテモ一・一四、(169)Ⅱテモ一・一三、(170)Ⅱテモ一・一四、(171)Ⅱテモ一・一三、(172)Ⅱテモ一・一四、(173)Ⅱテモ一・一三、(174)Ⅱテモ一・一四、(175)Ⅱテモ一・一三、(176)Ⅱテモ一・一四、(177)Ⅱテモ一・一三、(178)Ⅱテモ一・一四、(179)Ⅱテモ一・一三、(180)Ⅱテモ一・一四、(181)Ⅱテモ一・一三、(182)Ⅱテモ一・一四、(183)Ⅱテモ一・一三、(184)Ⅱテモ一・一四、(185)Ⅱテモ一・一三、(186)Ⅱテモ一・一四、(187)Ⅱテモ一・一三、(188)Ⅱテモ一・一四、(189)Ⅱテモ一・一三、(190)Ⅱテモ一・一四、(191)Ⅱテモ一・一三、(192)Ⅱテモ一・一四、(193)Ⅱテモ一・一三、(194)Ⅱテモ一・一四、(195)Ⅱテモ一・一三、(196)Ⅱテモ一・一四、(197)Ⅱテモ一・一三、(198)Ⅱテモ一・一四、(199)Ⅱテモ一・一三、(200)Ⅱテモ一・一四、(201)Ⅱテモ一・一三、(202)Ⅱテモ一・一四、(203)Ⅱテモ一・一三、(204)Ⅱテモ一・一四、(205)Ⅱテモ一・一三、(206)Ⅱテモ一・一四、(207)Ⅱテモ一・一三、(208)Ⅱテモ一・一四、(209)Ⅱテモ一・一三、(210)Ⅱテモ一・一四、(211)Ⅱテモ一・一三、(212)Ⅱテモ一・一四、(213)Ⅱテモ一・一三、(214)Ⅱテモ一・一四、(215)Ⅱテモ一・一三、(216)Ⅱテモ一・一四、(217)Ⅱテモ一・一三、(218)Ⅱテモ一・一四、(219)Ⅱテモ一・一三、(220)Ⅱテモ一・一四、(221)Ⅱテモ一・一三、(222)Ⅱテモ一・一四、(223)Ⅱテモ一・一三、(224)Ⅱテモ一・一四、(225)Ⅱテモ一・一三、(226)Ⅱテモ一・一四、(227)Ⅱテモ一・一三、(228)Ⅱテモ一・一四、(229)Ⅱテモ一・一三、(230)Ⅱテモ一・一四、(231)Ⅱテモ一・一三、(232)Ⅱテモ一・一四、(233)Ⅱテモ一・一三、(234)Ⅱテモ一・一四、(235)Ⅱテモ一・一三、(236)Ⅱテモ一・一四、(237)Ⅱテモ一・一三、(238)Ⅱテモ一・一四、(239)Ⅱテモ一・一三、(240)Ⅱテモ一・一四、(241)Ⅱテモ一・一三、(242)Ⅱテモ一・一四、(243)Ⅱテモ一・一三、(244)Ⅱテモ一・一四、(245)Ⅱテモ一・一三、(246)Ⅱテモ一・一四、(247)Ⅱテモ一・一三、(248)Ⅱテモ一・一四、(249)Ⅱテモ一・一三、(250)Ⅱテモ一・一四、(251)Ⅱテモ一・一三、(252)Ⅱテモ一・一四、(253)Ⅱテモ一・一三、(254)Ⅱテモ一・一四、(255)Ⅱテモ一・一三、(256)Ⅱテモ一・一四、(257)Ⅱテモ一・一三、(258)Ⅱテモ一・一四、(259)Ⅱテモ一・一三、(260)Ⅱテモ一・一四、(261)Ⅱテモ一・一三、(262)Ⅱテモ一・一四、(263)Ⅱテモ一・一三、(264)Ⅱテモ一・一四、(265)Ⅱテモ一・一三、(266)Ⅱテモ一・一四、(267)Ⅱテモ一・一三、(268)Ⅱテモ一・一四、(269)Ⅱテモ一・一三、(270)Ⅱテモ一・一四、(271)Ⅱテモ一・一三、(272)Ⅱテモ一・一四、(273)Ⅱテモ一・一三、(274)Ⅱテモ一・一四、(275)Ⅱテモ一・一三、(276)Ⅱテモ一・一四、(277)Ⅱテモ一・一三、(278)Ⅱテモ一・一四、(279)Ⅱテモ一・一三、(280)Ⅱテモ一・一四、(281)Ⅱテモ一・一三、(282)Ⅱテモ一・一四、(283)Ⅱテモ一・一三、(284)Ⅱテモ一・一四、(285)Ⅱテモ一・一三、(286)Ⅱテモ一・一四、(287)Ⅱテモ一・一三、(288)Ⅱテモ一・一四、(289)Ⅱテモ一・一三、(290)Ⅱテモ一・一四、(291)Ⅱテモ一・一三、(292)Ⅱテモ一・一四、(293)Ⅱテモ一・一三、(294)Ⅱテモ一・一四、(295)Ⅱテモ一・一三、(296)Ⅱテモ一・一四、(297)Ⅱテモ一・一三、(298)Ⅱテモ一・一四、(299)Ⅱテモ一・一三、(300)Ⅱテモ一・一四、(301)Ⅱテモ一・一三、(302)Ⅱテモ一・一四、(303)Ⅱテモ一・一三、(304)Ⅱテモ一・一四、(305)Ⅱテモ一・一三、(306)Ⅱテモ一・一四、(307)Ⅱテモ一・一三、(308)Ⅱテモ一・一四、(309)Ⅱテモ一・一三、(310)Ⅱテモ一・一四、(311)Ⅱテモ一・一三、(312)Ⅱテモ一・一四、(313)Ⅱテモ一・一三、(314)Ⅱテモ一・一四、(315)Ⅱテモ一・一三、(316)Ⅱテモ一・一四、(317)Ⅱテモ一・一三、(318)Ⅱテモ一・一四、(319)Ⅱテモ一・一三、(320)Ⅱテモ一・一四、(321)Ⅱテモ一・一三、(322)Ⅱテモ一・一四、(323)Ⅱテモ一・一三、(324)Ⅱテモ一・一四、(325)Ⅱテモ一・一三、(326)Ⅱテモ一・一四、(327)Ⅱテモ一・一三、(328)Ⅱテモ一・一四、(329)Ⅱテモ一・一三、(330)Ⅱテモ一・一四、(331)Ⅱテモ一・一三、(332)Ⅱテモ一・一四、(333)Ⅱテモ一・一三、(334)Ⅱテモ一・一四、(335)Ⅱテモ一・一三、(336)Ⅱテモ一・一四、(337)Ⅱテモ一・一三、(338)Ⅱテモ一・一四、(339)Ⅱテモ一・一三、(340)Ⅱテモ一・一四、(341)Ⅱテモ一・一三、(342)Ⅱテモ一・一四、(343)Ⅱテモ一・一三、(344)Ⅱテモ一・一四、(345)Ⅱテモ一・一三、(346)Ⅱテモ一・一四、(347)Ⅱテモ一・一三、(348)Ⅱテモ一・一四、(349)Ⅱテモ一・一三、(350)Ⅱテモ一・一四、(351)Ⅱテモ一・一三、(352)Ⅱテモ一・一四、(353)Ⅱテモ一・一三、(354)Ⅱテモ一・一四、(355)Ⅱテモ一・一三、(356)Ⅱテモ一・一四、(357)Ⅱテモ一・一三、(358)Ⅱテモ一・一四、(359)Ⅱテモ一・一三、(360)Ⅱテモ一・一四、(361)Ⅱテモ一・一三、(362)Ⅱテモ一・一四、(363)Ⅱテモ一・一三、(364)Ⅱテモ一・一四、(365)Ⅱテモ一・一三、(366)Ⅱテモ一・一四、(367)Ⅱテモ一・一三、(368)Ⅱテモ一・一四、(369)Ⅱテモ一・一三、(370)Ⅱテモ一・一四、(371)Ⅱテモ一・一三、(372)Ⅱテモ一・一四、(373)Ⅱテモ一・一三、(374)Ⅱテモ一・一四、(375)Ⅱテモ一・一三、(376)Ⅱテモ一・一四、(377)Ⅱテモ一・一三、(378)Ⅱテモ一・一四、(379)Ⅱテモ一・一三、(380)Ⅱテモ一・一四、(381)Ⅱテモ一・一三、(382)Ⅱテモ一・一四、(383)Ⅱテモ一・一三、(384)Ⅱテモ一・一四、(385)Ⅱテモ一・一三、(386)Ⅱテモ一・一四、(387)Ⅱテモ一・一三、(388)Ⅱテモ一・一四、(389)Ⅱテモ一・一三、(390)Ⅱテモ一・一四、(391)Ⅱテモ一・一三、(392)Ⅱテモ一・一四、(393)Ⅱテモ一・一三、(394)Ⅱテモ一・一四、(395)Ⅱテモ一・一三、(396)Ⅱテモ一・一四、(397)Ⅱテモ一・一三、(398)Ⅱテモ一・一四、(399)Ⅱテモ一・一三、(400)Ⅱテモ一・一四、(401)Ⅱテモ一・一三、(402)Ⅱテモ一・一四、(403)Ⅱテモ一・一三、(404)Ⅱテモ一・一四、(405)Ⅱテモ一・一三、(406)Ⅱテモ一・一四、(407)Ⅱテモ一・一三、(408)Ⅱテモ一・一四、(409)Ⅱテモ一・一三、(410)Ⅱテモ一・一四、(411)Ⅱテモ一・一三、(412)Ⅱテモ一・一四、(413)Ⅱテモ一・一三、(414)Ⅱテモ一・一四、(415)Ⅱテモ一・一三、(416)Ⅱテモ一・一四、(417)Ⅱテモ一・一三、(418)Ⅱテモ一・一四、(419)Ⅱテモ一・一三、(420)Ⅱテモ一・一四、(421)Ⅱテモ一・一三、(422)Ⅱテモ一・一四、(423)Ⅱテモ一・一三、(424)Ⅱテモ一・一四、(425)Ⅱテモ一・一三、(426)Ⅱテモ一・一四、(427)Ⅱテモ一・一三、(428)Ⅱテモ一・一四、(429)Ⅱテモ一・一三、(430)Ⅱテモ一・一四、(431)Ⅱテモ一・一三、(432)Ⅱテモ一・一四、(433)Ⅱテモ一・一三、(434)Ⅱテモ一・一四、(435)Ⅱテモ一・一三、(436)Ⅱテモ一・一四、(437)Ⅱテモ一・一三、(438)Ⅱテモ一・一四、(439)Ⅱテモ一・一三、(440)Ⅱテモ一・一四、(441)Ⅱテモ一・一三、(442)Ⅱテモ一・一四、(443)Ⅱテモ一・一三、(444)Ⅱテモ一・一四、(445)Ⅱテモ一・一三、(446)Ⅱテモ一・一四、(447)Ⅱテモ一・一三、(448)Ⅱテモ一・一四、(449)Ⅱテモ一・一三、(450)Ⅱテモ一・一四、(451)Ⅱテモ一・一三、(452)Ⅱテモ一・一四、(453)Ⅱテモ一・一三、(454)Ⅱテモ一・一四、(455)Ⅱテモ一・一三、(456)Ⅱテモ一・一四、(457)Ⅱテモ一・一三、(458)Ⅱテモ一・一四、(459)Ⅱテモ一・一三、(460)Ⅱテモ一・一四、(461)Ⅱテモ一・一三、(462)Ⅱテモ一・一四、(463)Ⅱテモ一・一三、(464)Ⅱテモ一・一四、(465)Ⅱテモ一・一三、(466)Ⅱテモ一・一四、(467)Ⅱテモ一・一三、(468)Ⅱテモ一・一四、(469)Ⅱテモ一・一三、(470)Ⅱテモ一・一四、(471)Ⅱテモ一・一三、(472)Ⅱテモ一・一四、(473)Ⅱテモ一・一三、(474)Ⅱテモ一・一四、(475)Ⅱテモ一・一三、(476)Ⅱテモ一・一四、(477)Ⅱテモ一・一三、(478)Ⅱテモ一・一四、(479)Ⅱテモ一・一三、(480)Ⅱテモ一・一四、(481)Ⅱテモ一・一三、(482)Ⅱテモ一・一四、(483)Ⅱテモ一・一三、(484)Ⅱテモ一・一四、(485)Ⅱテモ一・一三、(486)Ⅱテモ一・一四、(487)Ⅱテモ一・一三、(488)Ⅱテモ一・一四、(489)Ⅱテモ一・一三、(490)Ⅱテモ一・一四、(491)Ⅱテモ一・一三、(492)Ⅱテモ一・一四、(493)Ⅱテモ一・一三、(494)Ⅱテモ一・一四、(495)Ⅱテモ一・一三、(496)Ⅱテモ一・一四、(497)Ⅱテモ一・一三、(498)Ⅱテモ一・一四、(499)Ⅱテモ一・一三、(500)Ⅱテモ一・一四、(501)Ⅱテモ一・一三、(502)Ⅱテモ一・一四、(503)Ⅱテモ一・一三、(504)Ⅱテモ一・一四、(505)Ⅱテモ一・一三、(506)Ⅱテモ一・一四、(507)Ⅱテモ一・一三、(508)Ⅱテモ一・一四、(509)Ⅱテモ一・一三、(510)Ⅱテモ一・一四、(511)Ⅱテモ一・一三、(512)Ⅱテモ一・一四、(513)Ⅱテモ一・一三、(514)Ⅱテモ一・一四、(515)Ⅱテモ一・一三、(516)Ⅱテモ一・一四、(517)Ⅱテモ一・一三、(518)Ⅱテモ一・一四、(519)Ⅱテモ一・一三、(520)Ⅱテモ一・一四、(521)Ⅱテモ一・一三、(522)Ⅱテモ一・一四、(523)Ⅱテモ一・一三、(524)Ⅱテモ一・一四、(525)Ⅱテモ一・一三、(526)Ⅱテモ一・一四、(527)Ⅱテモ一・一三、(528)Ⅱテモ一・一四、(529)Ⅱテモ一・一三、(530)Ⅱテモ一・一四、(531)Ⅱテモ一・一三、(532)Ⅱテモ一・一四、(533)Ⅱテモ一・一三、(534)Ⅱテモ一・一四、(535)Ⅱテモ一・一三、(536)Ⅱテモ一・一四、(537)Ⅱテモ一・一三、(538)Ⅱテモ一・一四、(539)Ⅱテモ一・一三、(540)Ⅱテモ一・一四、(541)Ⅱテモ一・一三、(542)Ⅱテモ一・一四、(543)Ⅱテモ一・一三、(544)Ⅱテモ一・一四、(545)Ⅱテモ一・一三、(546)Ⅱテモ一・一四、(547)Ⅱテモ一・一三、(548)Ⅱテモ一・一四、(549)Ⅱテモ一・一三、(550)Ⅱテモ一・一四、(551)Ⅱテモ一・一三、(552)Ⅱテモ一・一四、(553)Ⅱテモ一・一三、(554)Ⅱテモ一・一四、(555)Ⅱテモ一・一三、(556)Ⅱテモ一・一四、(557)Ⅱテモ一・一三、(558)Ⅱテモ一・一四、(559)Ⅱテモ一・一三、(560)Ⅱテモ一・一四、(561)Ⅱテモ一・一三、(562)Ⅱテモ一・一四、(563)Ⅱテモ一・一三、(564)Ⅱテモ一・一四、(565)Ⅱテモ一・一三、(566)Ⅱテモ一・一四、(567)Ⅱテモ一・一三、(568)Ⅱテモ一・一四、(569)Ⅱテモ一・一三、(570)Ⅱテモ一・一四、(571)Ⅱテモ一・一三、(572)Ⅱテモ一・一四、(573)Ⅱテモ一・一三、(574)Ⅱテモ一・一四、(575)Ⅱテモ一・一三、(576)Ⅱテモ一・一四、(577)Ⅱテモ一・一三、(578)Ⅱテモ一・一四、(579)Ⅱテモ一・一三、(580)Ⅱテモ一・一四、(581)Ⅱテモ一・一三、(582)Ⅱテモ一・一四、(583)Ⅱテモ一・一三、(584)Ⅱテモ一・一四、(585)Ⅱテモ一・一三、(586)Ⅱテモ一・一四、(587)Ⅱテモ一・一三、(588)Ⅱテモ一・一四、(589)Ⅱテモ一・一三、(590)Ⅱテモ一・一四、(591)Ⅱテモ一・一三、(592)Ⅱテモ一・一四、(593)Ⅱテモ一・一三、(594)Ⅱテモ一・一四、(595)Ⅱテモ一・一三、(596)Ⅱテモ一・一四、(597)Ⅱテモ一・一三、(598)Ⅱテモ一・一四、(599)Ⅱテモ一・一三、(600)Ⅱテモ一・一四、(601)Ⅱテモ一・一三、(602)Ⅱテモ一・一四、(603)Ⅱテモ一・一三、(604)Ⅱテモ一・一四、(605)Ⅱテモ一・一三、(606)Ⅱテモ一・一四、(607)Ⅱテモ一・一三、(608)Ⅱテモ一・一四、(609)Ⅱテモ一・一三、(610)Ⅱテモ一・一四、(611)Ⅱテモ一・一三、(612)Ⅱテモ一・一四、(613)Ⅱテモ一・一三、(614)Ⅱテモ一・一四、(615)Ⅱテモ一・一三、(616)Ⅱテモ一・一四、(617)Ⅱテモ一・一三、(618)Ⅱテモ一・一四、(619)Ⅱテモ一・一三、(620)Ⅱテモ一・一四、(621)Ⅱテモ一・一三、(622)Ⅱテモ一・一四、(623)Ⅱテモ一・一三、(624)Ⅱテモ一・一四、(625)Ⅱテモ一・一三、(626)Ⅱテモ一・一四、(627)Ⅱテモ一・一三、(628)Ⅱテモ一・一四、(629)Ⅱテモ一・一三、(630)Ⅱテモ一・一四、(631)Ⅱテモ一・一三、(632)Ⅱテモ一・一四、(633)Ⅱテモ一・一三、(634)Ⅱテモ一・一四、(635)Ⅱテモ一・一三、(636)Ⅱテモ一・一四、(637)Ⅱテモ一・一三、(638)Ⅱテモ一・一四、(639)Ⅱテモ一・一三、(640)Ⅱテモ一・一四、(641)Ⅱテモ一・一三、(642)Ⅱテモ一・一四、(643)Ⅱテモ一・一三、(644)Ⅱテモ一・一四、(645)Ⅱテモ一・一三、(646)Ⅱテモ一・一四、(647)Ⅱテモ一・一三、(648)Ⅱテモ一・一四、(649)Ⅱテモ一・一三、(650)Ⅱテモ一・一四、(651)Ⅱテモ一・一三、(652)Ⅱテモ一・一四、(653)Ⅱテモ一・一三、(654)Ⅱテモ一・一四、(655)Ⅱテモ一・一三、(656)Ⅱテモ一・一四、(657)Ⅱテモ一・一三、(658)Ⅱテモ一・一四、(659)Ⅱテモ一・一三、(660)Ⅱテモ一・一四、(661)Ⅱテモ一・一三、(662)Ⅱテモ一・一四、(663)Ⅱテモ一・一三、(664)Ⅱテモ一・一四、(665)Ⅱテモ一・一三、(666)Ⅱテモ一・一四、(667)Ⅱテモ一・一三、(668)Ⅱテモ一・一四、(669)Ⅱテモ一・一三、(670)Ⅱテモ一・一四、(671)Ⅱテモ一・一三、(672)Ⅱテモ一・一四、(673)Ⅱテモ一・一三、(674)Ⅱテモ一・一四、(675)Ⅱテモ一・一三、(676)Ⅱテモ一・一四、(677)Ⅱテモ一・一三、(678)Ⅱテモ一・一四、(679)Ⅱテモ一・一三、(680)Ⅱテモ一・一四、(681)Ⅱテモ一・一三、(682)Ⅱテモ一・一四、(683)Ⅱテモ一・一三、(684)Ⅱテモ一・一四、(685)Ⅱテモ一・一三、(686)Ⅱテモ一・一四、(687)Ⅱテモ一・一三、(688)Ⅱテモ一・一四、(689)Ⅱテモ一・一三、(690)Ⅱテモ一・一四、(691)Ⅱテモ一・一三、(692)Ⅱテモ一・一四、(693)Ⅱテモ一・一三、(694)Ⅱテモ一・一四、(695)Ⅱテモ一・一三、(696)Ⅱテモ一・一四、(697)Ⅱテモ一・一三、(698)Ⅱテモ一・一四、(699)Ⅱテモ一・一三、(700)Ⅱテモ一・一四、(701)Ⅱテモ一・一三、(702)Ⅱテモ一・一四、(703)Ⅱテモ一・一三、(704)Ⅱテモ一・一四、(705)Ⅱテモ一・一三、(706)Ⅱテモ一・一四、(707)Ⅱテモ一・一三、(708)Ⅱテモ一・一四、(709)Ⅱテモ一・一三、(710)Ⅱテモ一・一四、(711)Ⅱテモ一・一三、(712)Ⅱテモ一・一四、(713)Ⅱテモ一・一三、(714)Ⅱテモ一・一四、(715)Ⅱテモ一・一三、(716)Ⅱテモ一・一四、(717)Ⅱテモ一・一三、(718)Ⅱテモ一・一四、(719)Ⅱテモ一・一三、(720)Ⅱテモ一・一四、(721)Ⅱテモ一・一三、(722)Ⅱテモ一・一四、(723)Ⅱテモ一・一三、(724)Ⅱテモ一・一四、(725)Ⅱテモ一・一三、(726)Ⅱテモ一・一四、(727)Ⅱテモ一・一三、(728)Ⅱテモ一・一四、(729)Ⅱテモ一・一三、(730)Ⅱテモ一・一四、(731)Ⅱテモ一・一三、(732)Ⅱテモ一・一四、(733)Ⅱテモ一・一三、(734)Ⅱテモ一・一四、(735)Ⅱテモ一・一三、(736)Ⅱテモ一・一四、(737)Ⅱテモ一・一三、(738)Ⅱテモ一・一四、(739)Ⅱテモ一・一三、(740)Ⅱテモ一・一四、(741)Ⅱテモ一・一三、(742)Ⅱテモ一・一四、(743)Ⅱテモ一・一三、(744)Ⅱテモ一・一四、(745)Ⅱテモ一・一三、(746)Ⅱテモ一・一四、(747)Ⅱテモ一・一三、(748)Ⅱテモ一・一四、(749)Ⅱテモ一・一三、(750)Ⅱテモ一・一四、(751)Ⅱテモ一・一三、(752)Ⅱテモ一・一四、(753)Ⅱテモ一・一三、(754)Ⅱテモ一・一四、(755)Ⅱテモ一・一三、(756)Ⅱテモ一・一四、(757)Ⅱテモ一・一三、(758)Ⅱテモ一・一四、(759)Ⅱテモ一・一三、(760)Ⅱテモ一・一四、(761)Ⅱテモ一・一三、(762)Ⅱテモ一・一四、(763)Ⅱテモ一・一三、(764)Ⅱテモ一・一四、(765)Ⅱテモ一・一三、(766)Ⅱテモ一・一四、(767)Ⅱテモ一・一三、(768)Ⅱテモ一・一四、(769)Ⅱテモ一・一三、(770)Ⅱテモ一・一四、(771)Ⅱテモ一・一三、(772)Ⅱテモ一・一四、(773)Ⅱテモ一・一三、(774)Ⅱテモ一・一四、(775)Ⅱテモ一・一三、(776)Ⅱテモ一・一四、(777)Ⅱテモ一・一三、(778)Ⅱテモ一・一四、(779)Ⅱテモ一・一三、(780)Ⅱテモ一・一四、(781)Ⅱテモ一・一三、(782)Ⅱテモ一・一四、(783)Ⅱテモ一・一三、(784)Ⅱテモ一・一四、(785)Ⅱテモ一・一三、(786)Ⅱテモ一・一四、(787)Ⅱテモ一・一三、(788)Ⅱテモ一・一四、(789)Ⅱテモ一・一三、(790)Ⅱテモ一・一四、(791)Ⅱテモ一・一三、(792)Ⅱテモ一・一四、(793)Ⅱテモ一・一三、(794)Ⅱテモ一・一四、(795)Ⅱテモ一・一三、(796)Ⅱテモ一・一四、(797)Ⅱテモ一・一三、(798)Ⅱテモ一・一四、(799)Ⅱテモ一・一三、(800)Ⅱテモ一・一四、(801)Ⅱテモ一・一三、(802)Ⅱテモ一・一四、(803)Ⅱテモ一・一三、(804)Ⅱテモ一・一四、(805)Ⅱテモ一・一三、(806)Ⅱテモ一・一四、(807)Ⅱテモ一・一三、(808)Ⅱテモ一・一四、(809)Ⅱテモ一・一三、(810)Ⅱテモ一・一四、(811)Ⅱテモ一・一三、(812)Ⅱテモ一・一四、(813)Ⅱテモ一・一三、(814)Ⅱテモ一・一四、(815)Ⅱテモ一・一三、(816)Ⅱテモ一・一四、(817)Ⅱテモ一・一三、(818)Ⅱテモ一・一四、(819)Ⅱテモ一・一三、(820)Ⅱテモ一・一四、(821)Ⅱテモ一・一三、(822)Ⅱテモ一・一四、(823)Ⅱテモ一・一三、(824)Ⅱテモ一・一四、(825)Ⅱテモ一・一三、(826)Ⅱテモ一・一四、(827)Ⅱテモ一・一三、(828)Ⅱテモ一・一四、(829)Ⅱテモ一・一三、(830)Ⅱテモ一・一四、(831)Ⅱテモ一・一三、(832)Ⅱテモ一・一四、(833)Ⅱテモ一・一三、(834)Ⅱテモ一・一四、(835)Ⅱテモ一・一三、(836)Ⅱテモ一・一四、(837)Ⅱテモ一・一三、(838)Ⅱテモ一・一四、(839)Ⅱテモ一・一三、(840)Ⅱテモ一・一四、(841)Ⅱテモ一・一三、(842)Ⅱテモ一・一四、(843)Ⅱテモ一・一三、(844)Ⅱテモ一・一四、(845)Ⅱテモ一・一三、(846)Ⅱテモ一・一四、(847)Ⅱテモ一・一三、(848)Ⅱテモ一・一四、(849)Ⅱテモ一・一三、(850)Ⅱテモ一・一四、(851)Ⅱテモ一・一三、(852)Ⅱテモ一・一四、(853)Ⅱテモ一・一三、(854)Ⅱテモ一・一四、(855)Ⅱテモ一・一三、(856)Ⅱテモ一・一四、(857)Ⅱテモ一・一三、(858)Ⅱテモ一・一四、(859)Ⅱテモ一・一三、(860)Ⅱテモ一・一四、(861)Ⅱテモ一・一三、(862)Ⅱテモ一・一四、(863)Ⅱテモ一・一三、(864)Ⅱテモ一・一四、(865)Ⅱテモ一・一三、(866)Ⅱテモ一・一四、(867)Ⅱテモ一・一三、(868)Ⅱテモ一・一四、(869)Ⅱテモ一・一三、(870)Ⅱテモ一・一四、(871)Ⅱテモ一・一三、(872)Ⅱテモ一・一四、(873)Ⅱテモ一・一三、(874)Ⅱテモ一・一四、(875)Ⅱテモ一・一三、(876)Ⅱテモ一・一四、(877)Ⅱテモ一・一三、(878)Ⅱテモ一・一四、(879)Ⅱテモ一・一三、(880)Ⅱテモ一・一四、(881)Ⅱテモ一・一三、(882)Ⅱテモ一・一四、(883)Ⅱテモ一・一三、(884)Ⅱテモ一・一四、(885)Ⅱテモ一・一三、(886)Ⅱテモ一・一四、(887)Ⅱテモ一・一三、(888)Ⅱテモ一・一四、(889)Ⅱテモ一・一三、(890)Ⅱテモ一・一四、(891)Ⅱテモ一・一三、(892)Ⅱテモ一・一四、(893)Ⅱテモ一・一

ってしまい、また、クレスケンスはガラテヤに、[4)**] テトスはダルマテヤに行ったからです。
11 ルカだけは私とともにおります。[1)2)] マルコを伴って、いっしょに来てください。[3)] 彼は私の務めのために役に立つからです。
12 私はテキコをエペソに遣わしました。[1)2)]
13 あなたが来るときは、トロアスでカルポのところに残しておいた上着を持って来てください。また、書物を、特に羊皮紙の物を持って来てください。[1)]
14 銅細工人のアレキサンデルが私をひどく苦しめました。[1)] そのしわざに応じて主が彼に報いられます。
15 あなたも彼を警戒しなさい。彼は私たちのことばに激しく逆らったからです。
16 私の最初の弁明の際には、私を支持する者はだれもなく、みな私を見捨ててしまいました。[1)] どうか、彼らがそのためにさばかれることのありませんように。
17 しかし、主は、私とともに立ち、私に力を与えてくださいました。それは、私を通してみことばが余すところなく宣べ伝えられ、[3)4)] すべての国の人々がみことばを聞くようになるためでした。[5)6)] 私はししの口から助け出されました。
18 主は私を、すべての悪のわざから助け出し、[1)] 天の御国に救い入れてくださいます。[2)3)] 主に、御栄えがとこしえにありますように。アーメン。[1)]
19 プリスカとアクラによろしく。また、[2)] オネシポロの家族によろしく。
20 エラストはコリントにとどまり、トロピモは病気のために[3)] ミレトに残して来ました。
21 [1)] 何とかして、[2)] 冬になる前に来てください。ユブロ、プデス、リノス、クラウデヤ、またすべての兄弟たちが、あなたによろしくと言っています。
22 [1)] 主があなたの霊とともにおられますように。[2)] 恵みが、あなたがたとともにありますように。

10 ④使徒六・六
** 異本「ゴール」
11 ①Ⅱテモ一・一五、②コロ四・一〇、③使徒一二・二五、④コロ四・一四、⑤Ⅱコリ一・一三、⑥使徒一三・五、⑦Ⅰペテ五・一三
12 ①使徒二〇・四、②使徒六・五
13 ①Ⅰテモ一・三、②ロマ一六・二三
14 ①使徒七・六〇、②Ⅰコリ一六・二二
15 ①Ⅰテモ一・二〇、②Ⅱテモ四・一四、③テト一・一三
16 ①Ⅱテモ四・一六、②使徒七・六〇、③Ⅰテモ一・一三
17 ①Ⅱテモ四・一七、②Ⅱテモ四・五、③テト一・三、④使徒九・一五、⑤Ⅱペテ二・九、⑥詩二二・二二、⑦Ⅱテモ四・二
18 ①Ⅱペテ二・九、②Ⅰコリ一六・二二、③ヘブ二・一六、三・三、④使Ⅰコリ一・二、③ロマ一一・三六、④Ⅱペテ三・一八
19 ①使徒一八・二、②Ⅱテモ一・一六
20 ①使徒九・三(?)、②使徒一九・二二、③使徒二〇・四、④Ⅱテモ四・二〇、⑤Ⅱテト三・二
21 ①使Ⅱテモ四・二一、②Ⅱテト三・一二
22 ①ガラ六・一八、ピリ四・二三、ピレ二五、②使コロ四・一八

テトスへの手紙

1

1 神のしもべ、また、イエス・キリストの使徒パウロ――私は、神に選ばれた人々の信仰と、敬虔にふさわしい真理の知識とのために使徒とされたのです。
2 それは、偽ることのない神が、永遠の昔から約束してくださった永遠のいのちの望みに基づくことです。
3 神は、ご自分の定められた時に、このみことばを宣教によって明らかにされました。私は、この宣教を私たちの救い主なる神の命令によって、ゆだねられたのです。――
4 同じ信仰による真実のわが子テトスへ。
父なる神および私たちの救い主なるキリスト・イエスから、恵みと平安がありますように。
5 私があなたをクレテに残したのは、あなたが残っている仕事の整理をし、また、私が指図したように、町ごとに長老たちを任命するためでした。
6 それには、その人が、非難されるところがなく、ひとりの妻の夫であり、その子どもは不品行を責められたり、反抗的であったりしない、信者であることが条件です。
7 監督は神の家の管理者として、非難されるところのない者であるべきです。わがままでなく、短気でなく、酒飲みでなく、けんか好きでなく、不正な利を求めず、
8 かえって、旅人をよくもてなし、善を愛し、慎み深く、正しく、敬虔で、自制心があり、
9 教えにかなった信頼すべきみことばを、しっかりと守っていなければなりません。それは健全な教えをもって励ましたり、反対する人たちを正したりすることができるためです。
10 実は、反抗的な者、空論に走る者、人を惑わす者が多くいます。特に、割礼を受けた人々がそうです。
11 彼らの口を封じなければいけません。彼らは、不正な利を得るために、教えてはいけないことを教え、家を破壊しています。
12 彼らと同国人であるひとりの預言者がこう言いました。

「クレテ人は昔からのうそつき、
悪いけだもの、
なまけ者の食いしんぼう。」

13 この証言はほんとうなのです。ですから、きびしく戒めて、人々の信仰を健全にし、
14 ユダヤ人の空想話や、真理から離れた人々の戒めには心を寄せないようにさせなさい。
15 きよい人々には、すべてのものがきよいのです。しかし、汚れた、不信仰な人々には、何一つきよいものはありません。それどころか、その知性と良心までも汚れています。

---

1 ①ヤコ一・一、黙二・一、旧ロマ一・一他、②新Ⅱコリ一・一、③新ルカ八・七、④Ⅰテモ六・三
5 新Ⅰテモ三・四
* 別訳「によると」
2 ①Ⅱテモ一・三、②新Ⅱテモ一・九、③ロマ一・二、④テト三・七、旧Ⅱテモ一・一
3 ①新Ⅰテモ二・六、②Ⅱテモ四・一七、旧ロマ一六・二五、③Ⅰテモ二・七、④Ⅰテモ一・一
4 ①Ⅱペテ一・一、②新Ⅱテモ一・二、③新Ⅱコリ一・三、④新ロマ一・七、⑤新Ⅰテモ一・二、Ⅱテモ一・二他、旧テト一・四
5 ①新使二七・七、②新使二一・二、③新使一四・二三
6 ①テト一・六、八、新Ⅰテモ三・二、④新Ⅰテモ三・二、③新エペ五・六、④テト一・一〇
7 ①Ⅰテモ三・二、②新Ⅰコリ四・一、③新Ⅱペテ二・一〇、④Ⅰテモ三・三、⑤新Ⅰテモ三・八
8 ①新Ⅰテモ三・二、②旧Ⅱテモ三・三
9 ①旧Ⅰテモ一・六、旧Ⅱテモ一・三、Ⅱテサ二・一六、②新Ⅰテモ一・一〇、テト一・一
10 ①旧Ⅱコリ一二・三、②テト一・九
11 ①旧Ⅰテモ一・六、④新使二〇・三〇、旧Ⅰテモ六・五、②Ⅰテモ五・一三、③新Ⅰテモ六・四、旧Ⅱテモ三・六
12 ①旧使一七・六、②使二・一
13 ①Ⅱコリ一三・一〇、②Ⅰテモ五・二、③テト一・一二
14 ①新Ⅰテモ一四、②新Ⅱテモ四・四、③新コロ二・三
15 ①旧ルカ一一・四一、ロマ一四・二〇、②旧ロマ一四・一四、③新Ⅰテモ六・五

16 彼らは、神を知っていると口では言いますが、行ないでは否定しています。実に忌まわしく、不従順で、
どんな良いわざにも不適格です。

2

1 しかし、あなたは健全な教えにふさわしいことを話しなさい。
2 老人たちには、自制し、謹厳で、慎み深くし、信仰と愛と忍耐とにおいて健全であるように。
3 同じように、年をとった婦人たちには、神に仕えている者らしく敬虔にふるまい、悪口を言わず、大酒のとりこにならず、良いことを教える者であるように。
4 そうすれば、彼女たちは、若い婦人たちに向かって、夫を愛し、子どもを愛し、
5 慎み深く、貞潔で、家事に励み、優しく、自分の夫に従順であるようにと、さとすことができるのです。それは、神のことばがそしられるようなことのないためです。
6 同じように、若い人々には、思慮深くあるように勧めなさい。
7 また、*すべての点で自分自身が良いわざの模範となり、教えにおいては純正で、威厳を保ち、
8 非難すべきところのない、健全なことばを用いなさい。そうすれば、敵対する者も、私たちについて、何も悪いことが言えなくなって、恥じ入ることになるでしょう。
9 奴隷には、すべての点で自分の主人に従って、満足を与え、口答えせず、
10 盗みをせず、努めて真実を表わすように勧めなさい。それは、彼らがあらゆることで、私たちの救い主である神の教えを飾るようになるためです。
11 というのは、すべての人を救う神の恵みが現われ、
12 私たちに、不敬虔とこの世の欲とを捨て、この時代にあって、慎み深く、正しく、敬虔に生活し、
13 祝福された望み、すなわち、大いなる神であり私たちの救い主であるキリスト・イエスの栄光ある現われを待ち望むようにと教えさとしたからです。
14 キリストが私たちのためにご自身をささげられたのは、私たちをすべての不法から贖い出し、良いわざに熱心なご自分の民を、ご自分のために聖別するためでした。
15 あなたは、これらのことを十分な権威をもって話し、勧め、また、責めなさい。だれにも軽んじられてはいけません。

3

1 あなたは彼らに注意を与えて、支配者たちと権威者たちに服従し、従順で、すべての良いわざを進んでする者とならせなさい。
2 また、だれをもそしらず、争わず、柔和で、すべての人に優しい態度を示す者とならせなさい。
3 私たちも以前は、愚かな者であり、不従順で、迷った者であり、いろいろな欲情と快楽の奴隷になり、悪意とねたみの中に生活し、憎まれ者であり、互いに憎み合う者でした。

---

16 ①民ヨシ二二㊥、②出Ⅰテモ五・八、③黙二二・八、④テト一・三、⑤Ⅱテモ三・七、テト三・一
1 ①出ピレ六、②出Ⅰテモ三・二、③出Ⅰテモ一・二、出Ⅰテモ一・三、④出Ⅰテモ一・三、②出Ⅰテモ三・八、⑤出Ⅰテモ三・四、②出エペ五・三、③Ⅰテモ六・一
2 ①出Ⅰテモ三・二、②出Ⅰテモ三・二、③出Ⅰテモ一・三、出Ⅰテモ一・四、④出Ⅰテモ一・三、②出Ⅰテモ三・八、⑤出Ⅰテモ三・四、②出エペ五・三、③Ⅰテモ六・一
3 ①出Ⅰテモ三・二、②出Ⅰテモ三・八、③出Ⅰテモ三・四、②出エペ五・三、③Ⅰテモ六・一
4 ①出Ⅰテモ一・二、②出Ⅱテモ一・九、テト三・四
5 ①出Ⅰテモ一・四、②出Ⅱテモ一・九、テト三・四
6 ①Ⅰテモ五・一、②出Ⅰテモ三・二
7 *別訳「すべての点で六節の「思慮深く」の前に入れる
8 ①出Ⅰテモ四・一二、出Ⅱテサ二・一四
9 ①出エペ六・五、Ⅰテモ六・一
10 ①出テト一・三、②出Ⅰテモ一・四、②出Ⅱテモ一・一、出テト三・四
12 ①出Ⅰテモ六・九、テト三・一二、②出Ⅱテモ四・九、③Ⅱテモ三・一二
13 ①Ⅱペテ一・一、出Ⅰテモ一・一、②出Ⅱテモ一・一、テト一・四
14 ①出テモ二・六、②出Ⅰペテ二・九、③エペ二・一〇、テト二・八、Ⅰペテ二・九、④出ヨル五申一四・二、Ⅰペテ二・九、出エペⅠヨハ一・七、⑤ヘブ一三・九・一四
15 ①Ⅰテモ四・一二、出Ⅱテモ一・八、②出Ⅰテモ四・一三、①出Ⅱテモ二・一四、②出ロマ三・二、③出Ⅱテモ二・二
1 ①Ⅰテモ二・二、出Ⅰペテ二・八、②出Ⅱテモ二・二
2 ①出ロマ一二・一八、Ⅰコリ六・一、②コロ三・七、③テト一・六、④Ⅱテモ二・二四、出テト三・二、⑤ロマ六・一三
3 ①出ロマ一二・一七、②出Ⅰテモ一・一三、③出Ⅱテモ三・三、④出テト三・五、⑤出ロマ一・二九

4 しかし、私たちの[1]救い主なる神のいつくしみと人への愛とが[2]現われたとき、
5 神は、私たちが行なった義のわざによってではなく、[1][2]ご自分のあわれみのゆえに、聖霊による、新生と[3]更新との[4]洗いをもって私たちを[5]救ってくださいました。
6 神は、この聖霊を、私たちの救い主なるイエス・キリストによって、私たちに豊かに[1][2]注いでくださったのです。
7 それは、私たちがキリストの恵みによって義と認められ、[1]永遠のいのちの望みによって、相続人となるためです。
8 これは信頼できることばですから、私は、あなたがこれらのことについて、確信をもって話すように[1][2]願っています。それは、[3]神を信じている人々が、[4]良いわざに励むことを心がけるようになるためです。これらのことは良いことであって、人々に有益なことです。
9 しかし、[1]愚かな議論、[2]系図、口論、[3]律法についての[4][5]論争などを避けなさい。それらは無益で、むだなものです。
10 [1][2]分派を起こす者は、一、[3]二度戒めてから、除名しなさい。
11 このような人は、あなたも知っているとおり、[1]堕落しており、自分で悪いと知りながら罪を犯しているのです。
12 私が[1]アルテマスかテキコをあなたのもとに送ったら、あなたは、[2]何としてでも、[3]ニコポリにいる私のところに来てください。私は[4]そこで冬を過ごすことに決めています。
13 ぜひとも、[1]律法学者ゼナスと[2]アポロとが旅に出られるようにし、彼らが不自由しないように[3]世話をしてあげなさい。
14 [1]私たち一同も、[2]なくてならないもののために、正しい仕事に励むように教えられなければなりません。それは、[3]実を結ばない者にならないためです。
15 [1]私といっしょにいる者たち一同が、あなたによろしくと言っています。私たちの[2]信仰の友である人々に、よろしく言ってください。
[3]恵みが、あなたがたすべてとともにありますように。

4 ①聖テト三・四、②エペ二・七 比ロマ三・四、Ⅰペテ二・三
③聖テト三・一
5 ①聖エペ二・九、②Ⅰペテ一・三 比エペ二・四、③ロマ三・二四 ④聖エペ五・二六、ヨハ三・五 比Ⅰペテ三・二一、⑤Ⅱテモ一・九 参ロマ二・一四
6 ①聖ロマ五・五、②比ロマ三・四
7 ①聖ロマ八・一七、二四、テト三・七 比マタ二五・四六、マコ一〇・一七 *あるいは「望みどおりに永遠のいのちの相続人となる」
8 ①聖Ⅰテモ一・一五、②聖Ⅰテモ三・八、③比Ⅱテモ二・一一、テト三・七、④テト三・四、聖テト三・七、一四
9 ①Ⅱテモ二・二三、聖Ⅰテモ一・四 ②Ⅰテモ一・四、③ヤコ四・一 ④Ⅱテモ二・一六、⑤Ⅱテモ三・一四
10 ①比Ⅱヨハ一〇、②聖ロマ一六・一七、一七、③比マタ一八・一五、一六
11 ①比テト一・一四
12 ①聖使二〇・四、比Ⅱテモ四・一二 ②聖Ⅱテモ四・九、③比Ⅱテモ四・一二、④比Ⅱテモ四・一二
13 ①聖マタ二二・三五、②聖使一八・二四、③比使一五・三
14 ①比テト三・八、②比ロマ一二・三、ピリ四・一六、③聖テト三・八、④マタ七・一九、ピリ一・一一 コロ一・一〇
15 ①比使二〇・三四、②比Ⅰテモ一・二、③聖ロマ一四・一六

ピレモンへの手紙

1 キリスト・イエスの囚人であるパウロ、および兄
弟テモテから、私たちの愛する同労者ピレモンへ。ま
た、
2 姉妹アピヤ、私たちの戦友アルキポ、ならびにあな
たの家にある教会へ。
3 私たちの父なる神と主イエス・キリストから、恵み
と平安があなたがたの上にありますように。
4 私は、祈りのうちにあなたのことを覚え、いつも
神に感謝しています。
5 それは、主イエスに対してあなたが抱いている信仰
と、すべての聖徒に対するあなたの愛とについて聞い
ているからです。
6 私たちの間でキリストのためになされているすべて
の良い行ないをよく知ることによって、あなたの信仰
の交わりが生きて働くものとなりますように。
7 私はあなたの愛から多くの喜びと慰めとを受けまし
た。それは、聖徒たちの心が、兄弟よ、あなたによっ
て力づけられたからです。
8 私は、あなたのなすべきことを、キリストにあっ
て少しもはばからず命じることができるのですが、こ
ういうわけですから、
9 むしろ愛によって、あなたにお願いしたいと思いま
す。年老いて、今はまたキリスト・イエスの囚人とな
っている私パウロが、
10 獄中で生んだわが子オネシモのことを、あなたにお
願いしたいのです。
11 彼は、前にはあなたにとって役に立たない者でした
が、今は、あなたにとっても私にとっても、役に立つ
者となっています。
12 そのオネシモを、あなたのもとに送り返します。彼
は私の心そのものです。
13 私は、彼を私のところにとどめておき、福音のため
に獄中にいる間、あなたに代わって私のために仕えて
もらいたいとも考えましたが、
14 あなたの同意なしには何一つすまいと思いました。
それは、あなたがしてくれる親切は強制されてではな
く、自発的でなければいけないからです。
15 彼がしばらくの間あなたから離されたのは、たぶん、あなたが彼を永久に取り戻すためであったのでしょう。
16 もはや奴隷としてではなく、奴隷以上の者、すなわち、愛する兄弟としてです。特に私にとってそうですが、あなたにとってはなおさらのこと、肉においても主にあっても、そうではありませんか。
17 ですから、もしあなたが私を親しい友と思うなら、私を迎えるように彼を迎えてやってください。
18 もし彼があなたに対して損害をかけたか、負債を負っているのでしたら、その請求は私にしてください。

---

1 ①ピレ九、三、㊐ガラ三・二六
Ⅰテモ一・一、②ピレ九、三
㊐エペ三・一、③㊐ピリ一・一
④㊐Ⅱコリ一・一、コロ一・一
⑤ピレ二、㊐ピリ二・二五
2 ①ロマ一六・二他、②ピリ二・二五
㊐Ⅱテモ四・一九、③コロ四・一七
④㊐ロマ一六・五
3 ①㊐ロマ一・七
4 ①ロマ一・九、②㊐ロマ一・八
5 ①㊐エペ一・一五、コロ一・四
㊐Ⅰテサ三・六
6 * 異本「あなたがたの」
①ピリ一・九、コロ二・九、三・一〇
7 ①Ⅱコリセ四、一三、②ピレ二〇
Ⅰコリ一六・一八、Ⅱコリセ一三
8 ①㊐エペ五・四、②㊐Ⅱコリ三・一、Ⅰテサ三・六
9 ①ロマ一三・一、②テト一・二
* あるいは「大使であって」
③ピレ一・一三、㊐ガラ三・一六
Ⅰテモ一・一二、④㊐ピレ一
10 * 直訳「束縛の中で」
①㊐Ⅰコリ四・一四、一五、②コロ四・九
** 直訳「有益な」
③ロマ一三・一
11 ①㊐ピレ一〇、ピリ二・七
* 直訳「束縛の中に」
14 ①Ⅰペテ五・一、㊐Ⅱコリ九・七
15 ①㊐創四五・五、八
16 ①Ⅰコリセ・三、②マタ一三・八
Ⅰテモ六・二、③㊐エペ六・五
コロ三・二三
17 ①Ⅱコリ八・二三、㊐ピレ六

19 この手紙は私の自筆です。私がそれを支払います。
——あなたが今のようになれたのもまた、私によるのですが、そのことについては何も言いません。——
20 そうです。兄弟よ。私は、主にあって、あなたから益を受けたいのです。私の心をキリストにあって、元気づけてください。
21 私はあなたの従順を確信して、あなたにこの手紙を書きました。私の言う以上のことをしてくださるあなたであると、知っているからです。
22 それにまた、私の宿の用意もしておいてください。あなたがたの祈りによって、私もあなたがたのところに行けることと思っています。
23 キリスト・イエスにあって私とともに囚人となっているエパフラスが、あなたによろしくと言っています。
24 私の同労者たちであるマルコ、アリスタルコ、デマス、ルカからもよろしくと言っています。
25 主イエス・キリストの恵みが、あなたがたの霊とともにありますように。*

19 ①参Ⅰコリ六・二、比Ⅱコリ一〇・一、ガラ六・二、②比Ⅱコリ九・一
20 ①参ピレ七
21 ①参Ⅱコリ二・三
22 ①使六・三、②参Ⅱコリ一・一一、③比使七・一四、ヘブ一三・一九、④比ピリ一・二五、二・二四
23 ①参ピレ一、②参ロマ一六・七、比ピレ一、③参コロ一・七
24 ①参ピレ一、②参使一二・一二、③参使一六・一六、コロ四・一〇、④参コロ四・一四、Ⅱテモ四・一〇、二
25 ①参ガラ六・一八、②参Ⅱテモ四・二二
* 異本「アーメン」を加える

ヘブル人への手紙

1

1 神は、むかし先祖たちに、[1]預言者
たちを通して、多くの部分に分け、
また、いろいろな方法で語られましたが、
2 この終わりの時には、[2]御子によって、私たちに語
られました。神は、御子を万物の相続者とし、また御子
によって[6]世界を造られました。
3 御子は神の栄光の輝き、また神の本質の完全な現わ
れであり、その力あるみことばによって万物を保っ
ておられます。また、罪のきよめを成し遂げて、すぐれ
て高い所の大能者の右の座に着かれました。
4 御子は、御使いたちよりもさらにすぐれた御名を相
続されたように、それだけ御使いよりもまさるものと
なられました。
5 神は、かつてどの御使いに向かって、こう言われた
でしょう。
「あなたは、わたしの子。
きょう、わたしがあなたを生んだ。」
またさらに、
「わたしは彼の父となり、
彼はわたしの子となる。」
6 *さらに、長子をこの世界にお送りになるとき、こう
言われました。
「神の御使いはみな、彼を拝め。」
7 また御使いについては、
「神は、御使いたちを風とし、
仕える者たちを炎とされる。」
と言われましたが、
8 御子については、こう言われます。
「神よ。あなたの御座は世々限りなく、
あなたの御国の杖こそ、まっすぐな杖です。
9 あなたは義を愛し、不正を憎まれます。
それゆえ、神よ。あなたの神は、
あふれるばかりの喜びの油を、
あなたとともに立つ者にまして、
あなたに注ぎなさいました。」
10 またこう言われます。
「主よ。あなたは、初めに
地の基を据えられました。
天も、あなたの御手のわざです。
11 これらのものは滅びます。
しかし、あなたはいつまでもながらえられます。
すべてのものは着物のように古びます。
12 あなたはこれらを、外套のように巻かれます。
これらを、着物のように取り替えられます。
しかし、あなたは変わることがなく、
あなたの年は尽きることがありません。」
13 神は、かつてどの御使いに向かって、こう言われた
でしょう。

1 ①箴使二・三、三・二、②旧民二・六、八、ヨエ二・二八、③ヘブ二・二、三、二五、四・八、五・五、一二・二六、二五
ヨハ九・二六、旧ヨハ一六・三
2 ①旧ヘブル・二六、Ⅰペテ一・二〇 箴マタ三・三九、②ヘブ三・六、五、八・七・六、旧ヨハ一六・二七
③箴ヘブ一・三、④旧詩二・八 マタ六・八、マコ三・七、ロマ八・一七、ヘブ二・八、⑤ヨハ一・三 コロ一・一六、旧Ⅰコリ八・六
⑥ヘブ二・一〇、旧Ⅰコリ三・七
3 ①箴Ⅱコリ四・四、②旧コロ一・一七、③箴テト二・一四、ヘブ九・一四
④旧Ⅱペテ一・七、⑤ヘブ八・一、一〇・一二、三・箴マコ一六・一九
4 ①旧エペ一・二一、ピリ二・九
5 ①詩二・七、使一三・三三、ヘブ五・五
②Ⅱサム七・一四
6 *別訳「長子を再びこの世界にお送りになるとき」
①ヘブ一〇・五、②箴マタ二四・一四
③申三二・四三（七十人訳）、旧詩九七・七
7 ①詩一〇四・四
8 ①詩四五・六、②旧申三三・二七 詩七二・二、九〇・一、九二・二、九
9 ①詩四五・七、②ピリ二・九 旧ヨハ一〇・一七、ヘブ二・九
③イザ六一・三
10 ①詩一〇二・二五
11 ①詩一〇二・二六、②イザ三四・四 旧ヘブ八・一三
12 ①詩一〇二・二六、二七、②ヘブ一三・八

「わたしがあなたの敵を
あなたの足台とするまでは、
わたしの右の座に着いていなさい。」

14 御使いはみな、仕える霊であって、救いの相続者となる人々に仕えるため遣わされたのではありませんか。

2

1 ですから、私たちは聞いたことを、ますますしっかり心に留めて、押し流されないようにしなければなりません。
2 もし、御使いたちを通して語られたみことばでさえ、堅く立てられて動くことがなく、すべての違反と不従順が当然の処罰を受けたとすれば、
3 私たちがこんなにすばらしい救いをないがしろにしたばあい、どうしてのがれることができましょう。この救いは最初主によって語られ、それを聞いた人たちが、確かなものとしてこれを私たちに示し、
4 そのうえ神も、しるしと不思議とさまざまの力あるわざにより、また、みこころに従って聖霊が分け与えてくださる賜物によってあかしされました。
5 神は、私たちがいま話している後の世を、御使いたちに従わせることはなさらなかったのです。
6 むしろ、ある個所で、ある人がこうあかししています。

「人間が何者だというので、
これをみこころに留められるのでしょう。
人の子が何者だというので、
これを顧みられるのでしょう。
7 あなたは、彼を、
御使いよりもいくらか低いものとし、
彼に栄光と誉れの冠を与え、**
万物をその足の下に従わせられました。」

8 万物を彼に従わせたとき、神は、彼に従わないものを何一つ残されなかったのです。それなのに、今でもなお、私たちはすべてのものが人間に従わせられているのを見てはいません。
9 ただ、御使いよりもいくらか低くされた方であるイエスのことは見ています。イエスは、死の苦しみのゆえに、栄光と誉れの冠をお受けになりました。その死は、神の恵みによって、すべての人のために味わわれたものです。
10 神が多くの子たちを栄光に導くのに、彼らの救いの創始者を、多くの苦しみを通して全うされたということは、万物の存在の目的であり、また原因でもある方として、ふさわしいことであったのです。
11 きよめる方も、きよめられる者たちも、すべて元は一つです。それで、主は彼らを兄弟と呼ぶことを恥としないで、こう言われます。
12 「わたしは御名を、わたしの兄弟たちに告げよう。
教会の中で、わたしはあなたを賛美しよう。」
13 またさらに、
「わたしは彼に信頼する。」
またさらに、

7 ①詩八・五〔英・四〕 *別訳「しばらくの間」
** 異本「あなたはすべてのものをあなたの御手のわざの上に置かれました」を挿入
8 ①詩八・六 Ⅰコリ一五・二七
9 ①ヘブ二・七 *別訳「しばらくの間」
②創ビリ一・九、ヘブ二・九 ③使七・五五、Ⅰペテ一・二一 ④創マタ二〇・二八、ヨハ八・五三 ⑤出ピリ二・八、ヘブ二・一四 ⑥ヘブ六・二〇、ヨハ八・五三
10 ①出使三・一五、三・二 *別訳「指導者」または「君」 ②ヘブ二・九、七・二八、出ルカ二四・二六 ③創ヨハ一・一六、ルカ二四・二六 ④ルカ二四・二六
11 ①ヘブ二・一三、②創ヘブ一〇・一〇 ③使七・二六、④マタ二八・一〇、ヨハ二〇・一七
12 ①詩二二・二三
13 ①詩一八・二 ②イザ八・一七

①詩二〇・一、〔創マタ三・四四〕出ヘブ一・三、②ヘブ一〇・三四
14 ①ダニ七・一〇、出詩一〇三・二〇 ②ヘブ二・三、五・九、六・一七、〔創ロマ二・一四、Ⅰコリ一二・二、③創マタ三・一四、マコ一〇・一七、テト三・七
1 ①箴三・二（七十人訳）
2 ①創使七・五三、②創ヘブ一二・一六 ③創ヘブ一〇・二六、④創ヘブ一〇・二九
3 ①ヘブ一〇・二六、二・三、②ヘブ一・一四、五・九、六・六、〔創ロマ一二・一四 Ⅰコリ一二・三、③創ヘブ一二・一四 ④マコ一六・二〇、ルカ一・二 出Ⅰヨハ一・一
4 ①創ヨハ四・四八、②マコ一六・一四 *あるいは「奇蹟」 ③創エペ一・五、④Ⅰコリ一二・四、一二、エペ四・七
5 ①ヘブ二・五、〔創マタ二四・一四 出ヘブ一・六
6 ①ヘブ四・一四、②創Ⅰテサ四・六 ③詩八・四
7 ①詩八・五〔英・六〕 *別訳「しばらくの間」 ** 異本「あなたはすべてのものをあなたの御手のわざの上に置かれました」を挿入
8 ①詩八・六、Ⅰコリ一五・二七
9 ①ヘブ二・七 *別訳「しばらくの間」 ②創ビリ二・九、ヘブ二・九 ③使七・五五、Ⅰペテ一・二一 ④創マタ二八・一八、ヨハ八・五三 ⑤出ピリ二・八、ヘブ二・一四 ⑥ヘブ六・二〇、ヨハ八・五三
10 ①出使三・一五、三・二 *別訳「指導者」または「君」 ②ヘブ二・九、七・二八、出ルカ二四・二六 ③創ヨハ一・一六、ルカ二四・二六 ④ルカ二四・二六
11 ①ヘブ二・一三、②創ヘブ一〇・一〇 ③使七・二六、④マタ二八・一〇、ヨハ二〇・一七
12 ①詩二二・二三
13 ①イザ八・一七

「見よ、わたしと、神がわたしに賜わった子たちは。」
と言われます。
14 そこで、子たちはみな血と肉とを持っているので、主もまた同じように、これらのものをお持ちになりました。これは、その死によって、悪魔という、死の力を持つ者を滅ぼし、
15 一生涯死の恐怖につながれて奴隷となっていた人を解放してくださるためでした。
16 主は御使いたちを助けるのではなく、確かに、アブラハムの子孫を助けてくださるのです。
17 そういうわけで、神のことについて、あわれみ深い、忠実な大祭司となるため、主はすべての点で兄弟たちと同じようにならなければなりませんでした。それは民の罪のために、なだめがなされるためなのです。
18 主は、ご自身が試みを受けて苦しまれたので、試みられている者たちを助けることがおできになるのです。

3

1 そういうわけですから、天の召しにあずかっている聖なる兄弟たち。私たちの告白する信仰の使徒であり、大祭司であるイエスのことを考えなさい。
2 モーセが神の家全体のために忠実であったのと同様に、イエスはご自分を立てた方に対して忠実なのです。
3 家よりも、家を建てる者が大きな栄誉を持つのと同様に、イエスはモーセよりも大きな栄光を受けるのにふさわしいとされました。
4 家はそれぞれ、だれかが建てるのですが、すべてのものを造られた方は、神です。
5 モーセは、しもべとして神の家全体のために忠実でした。それは、後に語られる事をあかしするためでした。
6 しかし、キリストは御子として神の家を忠実に治められるのです。もし私たちが、確信と、希望による誇りとを、終わりまでしっかりと持ち続けるならば、私たちが神の家なのです。
7 ですから、聖霊が言われるとおりです。
「きょう、もし御声を聞くならば、
8 荒野での試みの日に
御怒りを引き起こしたときのように、
心をかたくなにしてはならない。
9 あなたがたの先祖たちは、
そこでわたしを試みて証拠を求め、
四十年の間、わたしのわざを見た。
10 だから、わたしはその時代を憤って言った。
彼らは常に心が迷い、
わたしの道を悟らなかった。
11 わたしは、怒りをもって誓ったように、
決して彼らをわたしの安息にはいらせない。」
12 兄弟たち。あなたがたの中では、だれも悪い不信仰の心になって生ける神から離れる者がないように気をつけなさい。

13 ②イザ六・六
14 ①㊐マタ四・一七、②㊐ヨハ一・一四、既ヘブ七・一二、③Ⅰヨハ二・八、既ヨハ二・二一、④Ⅰコリ一五・二四-二六、㊐Ⅱテモ一・一〇
15 ①既ロマ八・一五
17 ①㊐ヘブ二・一、ロマ一五・七、②㊐ヘブ二・一四、一六、③ヘブ二・一四-一八、四・一五、五・二、七・二六、二七、八・一、二七-二九、九・一四、一五、二八、一〇・一一、既ヘブ一〇・一二、④㊐ヘブ二・一四、既ヨハ一・一四、ピリ二・七、⑤Ⅰヨハ二・一五-一〇、既ダニ九・二四
18 ①㊐ヘブ四・一五、既ヘブ二・一八
1 ①㊐ピリ三・一四、②既ヘブ二・一七、三・二、一〇、一二、一三、㊐使一・一六、③ヘブ四・一四、一〇・二三、㊐Ⅱコリ九・一三、④既ヨハ一七・一三、⑤㊐ヘブ二・一七
2 ①ヘブ三・五、民一二・七、既出四〇・一六
3 ①既Ⅱコリ三・一七-一八
5 ①ヘブ三・二、民一二・七、既出四〇・一六、②出一四・三一、民一二・七他、③既ヘブ一・一、④既申一八・一八、一九
6 ①㊐ヘブ一・二、③ヘブ四・一四、一〇・二一、既ヘブ一・一、二・一七、三・二、㊐Ⅰペテ二・五、④㊐ロマ一二・一、⑤㊐ロマ一二・一、ヘブ三・一四、既一四、⑥㊐Ⅰテモ三・一五、Ⅰコリ三・一六
7 ①ヘブ九・八、一〇・一五、使二八・二五
8 ②詩九五・七-一一、ヘブ三・一五-一九、七
9 ①㊐使七・一五
11 ①ヘブ三・一八、一〇・三一、三・三
12 ①ヘブ二・一四、一〇・三一、三・三
㊐マタ二四・一二、②既ヘブ三・二、三・一八
13 ②イザ六・六
14 ①㊐マタ四・一七、②㊐ヨハ一・一四、既ヘブ七・一二、③Ⅰヨハ三・八、既ヨハ三・二一、④Ⅰコリ一五・二四-二六、㊐Ⅱテモ一・一〇
15 ①既ロマ八・一五
17 ①㊐ヘブ二・一、ロマ一五・七、②㊐ヘブ二・一四、一六、③ヘブ二・一四-一八、四・一五、五・二、七・二六、二七、八・一、二七-二九、九・一四、一五、二八、一〇・一一、既ヘブ一〇・一二、④㊐ヘブ二・一四、既ヨハ一・一四、ピリ二・七、⑤Ⅰヨハ二・一五-一〇、既ダニ九・二四
18 ①㊐ヘブ四・一五、既ヘブ二・一八
1 ①㊐ピリ三・一四、②既ヘブ二・一七、三・二、一〇、一二、一三、㊐使一・一六、③ヘブ四・一四、一〇・二三、㊐Ⅱコリ九・一三、④既ヨハ一七・一三、⑤㊐ヘブ二・一七
2 ①ヘブ三・五、民一二・七、既出四〇・一六
3 ①既Ⅱコリ三・一七-一八
5 ①ヘブ三・二、民一二・七、既出四〇・一六、②出一四・三一、民一二・七他、③既ヘブ一・一、④既申一八・一八、一九
6 ①㊐ヘブ一・二、③ヘブ四・一四、一〇・二一、既ヘブ一・一、二・一七、三・二、㊐Ⅰペテ二・五、④㊐ロマ一二・一、⑤㊐ロマ一二・一、ヘブ三・一四、既一四、⑥㊐Ⅰテモ三・一五、Ⅰコリ三・一六
7 ①ヘブ九・八、一〇・一五、使二八・二五
8 ②詩九五・七-一一、ヘブ三・一五-一九、七
9 ①㊐使七・一五
11 ①ヘブ三・一八、一〇・三一、三・三
12 ①ヘブ二・一四、一〇・三一、三・三
㊐マタ二四・一二、②既ヘブ三・二、三・一八

13「きょう。」と言われている間に、日々互いに励まし合って、だれも罪に惑わされてかたくなにならないようにしなさい。
14もし最初の確信を終わりまでしっかり保ちさえすれば、私たちは、キリストにあずかる者となるのです。
15「きょう、もし御声を聞くならば、
御怒りを引き起こしたときのように、
心をかたくなにしてはならない。」
と言われているからです。
16聞いていながら、御怒りを引き起こしたのはだれでしたか。モーセに率いられてエジプトを出た人々の全部ではありませんか。
17神は四十年の間だれを怒っておられたのですか。罪を犯した人々、しかばねを荒野にさらした、あの人たちをではありませんか。
18また、わたしの安息にはいらせないと神が誓われたのは、ほかでもない、従おうとしなかった人たちのことではありませんか。
19それゆえ、彼らが安息にはいれなかったのは、不信仰のためであったことがわかります。

4

1こういうわけで、神の安息にはいるための約束はまだ残っているのですから、あなたがたのうちのひとりでも、万が一にもこれにはいれないようなことのないように、私たちは恐れる心を持とうではありませんか。
2福音を説き聞かされていることは、私たちも彼らと同じなのです。ところが、その聞いたみことばも、彼らには益になりませんでした。*みことばが、それを聞いた人たちに、信仰によって、結びつけられなかったからです。
3信じた私たちは安息にはいるのです。
「わたしは、怒りをもって誓ったように、
決して彼らをわたしの安息にはいらせない。」
と神が言われたとおりです。みわざは創世の初めから、もう終わっているのです。
4というのは、神は七日目について、ある個所で、「そして、神は、すべてのみわざを終えて七日目に休まれた。」と言われました。
5そして、ここでは、「決して彼らをわたしの安息にはいらせない。」と言われたのです。
6こういうわけで、その安息にはいる人々がまだ残っており、前に福音を説き聞かされた人々は、不従順のゆえにはいれなかったのですから、
7神は再びある日を「きょう。」と定めて、長い年月の後に、前に言われたと同じように、ダビデを通して、
「きょう、もし御声を聞くならば、
あなたがたの心をかたくなにしてはならない。」
と語られたのです。
8もしヨシュアが彼らに安息を与えたのであったら、神はそのあとで別の日のことを話されることはなかったでしょう。
9したがって、安息日の休みは、神の民のためにまだ

13 ①詩95・7, 8, ②詩81・8, 95・8
14 ①詩2・1, ②詩2・6
15 ①詩95・7, 8
16 ①詩106・26, 詩78・31, 八他 ②民14・2, 11他, 申1・35, 詩106・24, 申1・34, 35
17 ①民14・29, 詩106・26
18 ①民14・31, 申1・39, 詩95・11, ②ヘブ3・11, 18
19 ①詩ヨハ3・36

1 ①詩ヘブ3・12

2 ①Ⅰテサ2・13
*異本「彼らは、そのみことばを聞いた人たちと、信仰によって結びつけられなかったからです」

3 ①詩95・11, ヘブ3・11, ②詩マタ25・34

4 ①ヘブ3・6, ②創2・2, ③出20・11, 31・17他

5 ①詩95・11, ヘブ3・11

6 ①詩ヘブ3・6, 詩95・11

7 ①ヘブ3・7, 8, ②詩詩篇の表題(七十人訳), ③詩95・7, 8

8 ①詩ヨシ22・4, ②詩ヘブ4・1

残っているのです。
10 神の安息にはいった者ならば、神がご自分のわざを終えて休まれたように、自分のわざを終えて休んだはずです。
11 ですから、私たちは、この安息にはいるよう力を尽くして努め、あの不従順の例にならって落後する者が、ひとりもいないようにしようではありませんか。
12 神のことばは生きていて、力があり、両刃の剣よりも鋭く、たましいと霊、関節と骨髄の分かれ目さえも刺し通し、心のいろいろな考えやはかりごとを判別することができます。
13 造られたもので、神の前で隠れおおせるものは何一つなく、神の目には、すべてが裸であり、さらけ出されています。私たちはこの神に対して弁明をするのです。
14 さて、私たちのためには、もろもろの天を通られた偉大な大祭司である神の子イエスがおられるのですから、私たちの信仰の告白を堅く保とうではありませんか。
15 私たちの大祭司は、私たちの弱さに同情できない方ではありません。罪は犯されませんでしたが、すべての点で、私たちと同じように、試みに会われたのです。
16 ですから、私たちは、あわれみを受け、また恵みをいただいて、おりにかなった助けを受けるために、大胆に恵みの御座に近づこうではありませんか。

5

1 大祭司はみな、人々の中から選ばれ、神に仕える事がらについて人々に代わる者として、任命を受けたのです。それは、罪のために、ささげ物といけにえとをささげるためです。
2 彼は、自分自身も弱さを身にまとっているので、無知な迷っている人々を思いやることができるのです。
3 そしてまた、その弱さのゆえに、民のためだけでなく、自分のためにも、罪のためのささげ物をしなければなりません。
4 まただれでも、この名誉は自分で得るのではなく、アロンのように神に召されて受けるのです。
5 同様に、キリストも大祭司となる栄誉を自分で得られたのではなく、彼に、
「あなたは、わたしの子。
きょう、わたしがあなたを生んだ。」
と言われた方が、それをお与えになったのです。
6 別の個所で、こうも言われます。
「あなたは、とこしえに、
メルキゼデクの位に等しい祭司である。」
7 キリストは、人としてこの世におられたとき、自分を死から救うことのできる方に向かって、大きな叫びと涙とをもって祈りと願いをささげ、そしてその敬虔のゆえに聞き入れられました。
8 キリストは御子であられるのに、お受けになった多くの苦しみによって従順を学び、
9 完全な者とされ、彼に従うすべての人々に対して、

1 ①創出六・一、②創ヘブ二・七
②ヘブ五・一、二・一一、③ヘブ七・二七
③ヘブセ・七、二〇・二三、創Ⅰコリ一五・四、④ヘブ八・三、創ヘブセ・七、二・一一
2 ①創ヘブセ・二六、②創ヘブ九・七
創エペ四・一八、③ヤコ三・一九、④創ヘブ二・一四、一七
3 ①ヘブセ・二七、九・七、レビ九・七、一六・六、②ヘブセ・一〇・三、創Ⅰコリ一三・三
4 ①民一六・四〇、一八・七、Ⅱ歴二六・一八、②出六・一、Ⅰ歴二三・三
5 ①創ヘブ二・七、二〇、②ヨハ八・五四、③創ヘブ一・五、④詩二・七
6 ①詩一一〇・四、ヘブセ・一七
②ヘブ五・一〇、六・二〇、ヘブセ・二、一七
7 ①マコ一四・三六、②マタ二六・三九、マコ一五・三四、ヨハ一二・二七、マコ一四・三六、ルカ二三・四四、④ヘブ二・一八、創ヘブ二・一七
8 ①創ヘブ一二、②創ピリ二・八
9 ①創ヘブ二・一〇
10 ①創ヘブ四・一四、②出默二四・三
11 ①創ヘブ五・八、ロマ一六・二六、②創Ⅱペテ三・一六
12 ①Ⅱペテ一・三、創エレ三一・三九、ヘブ四・一二、②出使七・三八、③Ⅰテサ二・一三、④エペ六・一七、⑤創Ⅰテサ五・二三
⑥出ヨハ三・四八、Ⅰコリ一四・二五、二五
13 ①Ⅱ歴二六・一九、詩三二・一五
②出ヨブ二六・六
14 ①創エペ四・一〇、創ヘブ六・一九、八・一、九・二四、②創ヘブ一・七
③ヘブ六・六、七・三、一〇・二九
創マタ四・三、創ヘブ一・二
④創ヘブ三・一
15 ①創ヘブ二・一七、②創Ⅱコリ五・二一、創ヘブセ・二六、③ヘブ二・一八
16 ①創ヘブ四・一六、②創ヘブセ・一九

とこしえの救いを与える者となり、
10 神によって、メルキゼデクの位に等しい大祭司とな
えられたのです。
11 この方について、私たちは話すべきことをたくさ
ん持っていますが、あなたがたの耳が鈍くなっている
ため、説き明かすことが困難です。
12 あなたがたは年数からすれば教師になっていなけれ
ばならないにもかかわらず、神のことばの初歩をもう
一度だれかに教えてもらう必要があるのです。あなた
がたは堅い食物ではなく、乳を必要とするようになっ
ています。
13 まだ乳ばかり飲んでいるような者はみな、義の教え
に通じてはいません。幼子なのです。
14 しかし、堅い食物はおとなの物であって、経験によ
って良い物と悪い物とを見分ける感覚を訓練された人
たちの物です。

6

1 ですから、私たちは、キリストについての初歩の教えをあとにして、円熟を目ざして進もうではありませんか。死んだ行ないからの回心、神に対する信仰、
2 きよめの洗いについての教え、手を置く儀式、死者の復活、とこしえのさばきなど基礎的なことを再びやり直したりしないようにしましょう。
3 神がお許しになるならば、私たちはそうすべきです。
4 一度光を受けて天からの賜物の味を知り、聖霊にあずかる者となり、
5 神のすばらしいみことばと、後にやがて来る世の力とを味わったうえで、
6 しかも堕落してしまうならば、そういう人々をもう一度悔い改めに立ち返らせることはできません。彼らは、*自分で神の子をもう一度十字架にかけて、恥辱を与える人たちだからです。
7 土地は、その上にしばしば降る雨を吸い込んで、これを耕す人たちのために有用な作物を生じるなら、神の祝福にあずかります。
8 しかし、いばらやあざみなどを生えさせるなら、無用なものであって、やがてのろいを受け、ついには焼かれてしまいます。
9 だが、愛する人たち。私たちはこのように言いますが、あなたがたについては、もっと良いことを確信しています。それは救いにつながることです。
10 神は正しい方であって、あなたがたの行ないを忘れず、あなたがたがこれまで聖徒たちに仕え、また今も仕えて神の御名のために示したあの愛をお忘れにならないのです。
11 そこで、私たちは、あなたがたひとりひとりが、同じ熱心さを示して、最後まで、私たちの希望について十分な確信を持ち続けてくれるように切望します。
12 それは、あなたがたがなまけずに、信仰と忍耐によって約束のものを相続するあの人たちに、ならう者となるためです。
13 神は、アブラハムに約束されるとき、ご自分より

---

5 ①脚ヘブ五・六、②脚ヘブ二・七
6 ①脚使七・六、②ヘブ六・一
脚ガラ四・三、③Ⅰコリ三・二
脚Ⅰペテ二・二
13 ①Ⅰコリ三・一、脚Ⅰコリ一四・二〇、Ⅰペテ二・二
14 ①脚Ⅰコリ二・六、エペ四・一三
ヘブ六・一、②脚ロマ一四・一
脚Ⅰテモ四・七
1 ①ヘブ五・一二、②脚ピリ三・一三、一五、③脚ヘブ一一・一四
2 ①脚使九・一四、脚ヨハ八・二一
②脚使六・六、③脚使一七・三一、三二
3 ①脚使六・二
4 ①ヘブ一〇・三二、脚Ⅱコリ四・四、六、②エペ二・八、脚ヨハ四・一〇
③ヘブ二・四、脚ガラ三・二
5 ①脚エペ六・一七、②脚ヘブ二・五
6 ①脚Ⅰペテ二・三
脚Ⅰペテ二・二、Ⅱペテ三・六、Ⅰヨハ二・七、ユダ三
脚ヘブ一〇・二六、②ヘブ六・*別訳「自分で神の子を……恥辱を与えている間は」としては「そういう人々」の前に入れる
7 ①脚Ⅱテモ二・六
8 ①脚申二九・二三以下
9 ①Ⅰコリ一〇・一四、Ⅱコリセ・一、二・九、Ⅰペテ一・二、Ⅱペテ三・一、Ⅰヨハ二・七、ユダ三
10 ①箴九・一七、マタ一〇・四二、二五・四〇、脚使一〇・四、②脚Ⅰテサ一・三
③ヘブ一〇・三二四、脚ロマ一五・二五
11 脚ルカ一・二、ヘブ六・四、②脚ヘブ一〇・三
12 ①Ⅱテサ二・四、ヤコ一・三、黙三・一〇、②脚ヘブ一・一四
③ヘブ一三・七
13 ①脚ガラ三・一六、一八

11 *あるいは「このことについて」
12 ①脚使七・六、②ヘブ五・一
脚ガラ四・三、③Ⅰコリ三・二
脚Ⅰペテ二・二
13 ①Ⅰコリ三・一、脚Ⅰコリ一四・二〇、Ⅰペテ二・二
14 ①脚Ⅰコリ二・六、エペ四・一三
ヘブ六・一、②脚ロマ一四・一
脚Ⅰテモ四・七
1 ①ヘブ六・二、②脚ピリ三・一三、一四、③脚ヘブ一一・一四
2 ①脚使九・一四、脚ヨハ八・二一
②脚使六・六、③脚使一七・三一、三二
3 ①脚使六・二
4 ①ヘブ一〇・三二、脚Ⅱコリ四・四、六、②エペ二・八、脚ヨハ四・一〇
③ヘブ二・四、脚ガラ三・二
5 ①脚エペ六・一七、②脚ヘブ二・五
6 ①脚Ⅰペテ二・三
脚Ⅰペテ二・二、Ⅱペテ三・六、Ⅰヨハ二・七、ユダ三
脚ヘブ一〇・二六、②ヘブ六・*別訳「自分で神の子を……恥辱を与えている間は」としては「そういう人々」の前に入れる
7 ①脚Ⅱテモ二・六
8 ①脚申二九・二三以下
9 ①Ⅰコリ一〇・一四、Ⅱコリセ・一、二・九、Ⅰペテ一・二、Ⅱペテ三・一、Ⅰヨハ二・七、ユダ三
10 ①箴九・一七、マタ一〇・四二、二五・四〇、脚使一〇・四、②脚Ⅰテサ一・三
③ヘブ一〇・三二四、脚ロマ一五・二五
11 脚ルカ一・二、ヘブ六・四、②脚ヘブ一〇・三
12 ①Ⅱテサ二・四、ヤコ一・三、黙三・一〇、②脚ヘブ一・一四
③ヘブ一三・七
13 ①脚ガラ三・一六、一八

すぐれたものをさして誓うことがありえないため、ご[2]自分をさして誓い、
14こう言われました。「[1]わたしは必ずあなたを祝福し、あなたを大いにふやす。」
15こうして、アブラハムは、[1]忍耐の末に、約束のものを得ました。
16確かに、[1]人間は自分よりすぐれた者をさして誓います。そして、確証のための誓いというものは、人間のすべての反論をやめさせます。
17そこで、神は約束の相続者たちに、ご[2]計画の変わらないことをさらにはっきり示そうと思い、誓いをもって保証されたのです。
18それは、変えることのできない二つの事がらによって、――[1]神は、これらの事がらのゆえに、偽ることができません。――前に置かれている望みを捕えるためにのがれて来た私たちが、力強い励ましを受けるためです。
19この望みは、私たちのたましいのために、安全で確かな錨の役を果たし、またこの望みは幕の内側にはいるのです。
20イエスは私たちの先駆けとしてそこにはいり、永遠に[1]メルキゼデクの位に等しい大祭司となられました。

7

1このメルキゼデクは、サレムの王で、すぐれて高い神の祭司でしたが、アブラハムが王たちを打ち破って帰るのを出迎えて祝福しました。
2またアブラハムは彼に、すべての戦利品の十分の一を分けました。まず彼は、その名を訳すと義の王であり、次に、サレムの王、すなわち平和の王です。
3父もなく、母もなく、[1]系図もなく、その生涯の初めもなく、いのちの終わりもなく、神の子に似た者とされ、いつまでも祭司としてとどまっているのです。
4その人がどんなに偉大であるかを、よく考えてごらんなさい。族長であるアブラハムでさえ、彼に一番良い戦利品の十分の一を与えたのです。
5レビの子らの中で祭司職を受ける者たちは、自分もアブラハムの子孫でありながら、民から、すなわち彼らの兄弟たちから、十分の一を徴集するようにと、律法の中で命じられています。
6ところが、[1]レビ族の系図にない者が、アブラハムから十分の一を取って、[2]約束を受けた人を祝福したのです。
7いうまでもなく、下位の者が上位の者から祝福されるのです。
8一方では、死ぬべき人間が十分の一を受けていますが、他のばあいは、[1]彼は生きているとあかしされている者が受けるのです。
9また、いうならば、十分の一を受け取るレビでさえアブラハムを通して十分の一を納めているのです。
10というのは、メルキゼデクがアブラハムを出迎えたときには、レビはまだ父の腰の中にいたからです。
11さて、もしレビ系の祭司職によって完全に到達で

---

1 ①創三・六、ヘブ六・一三、一四 ②ヘブ六・一五
2 ①ヘブ六・一七 ②ヘブ六・一八
3 ①出ヘブ七・六、②ヘブ七・六
4 ①ヘブ七・二元
5 ①民一八・二一、二六、Ⅱ歴三一・四、五
6 ①ヘブ七・三、②ヘブ七・一、二 ③ロマ四・一三
7 ①ヘブ五・六、七・二〇
8 ①ヘブ五・六、七・二〇
11 ①ヘブ七・一八、一九、二七
13 ②創三・六、ルカ一・七三
14 ①創三・六、七
15 ①出創三・四、三・五
16 ①出ガラ三・五、②出出三・一
17 ①ヘブ二・九、②詩二〇・四 箴八・二二、ヘブ六・一八
18 ①テト一・二、出民三・一九 ②ヘブ六・六、七・一九
19 ①レビ一八・二一、ヘブル・二、三
20 ①ヘブ四・一四、出ヨハ一四・二 ②ヘブ五・六、出ヘブ二・一七
1 ①創一四・一八―二〇、ヘブ七・六 ②ヘブ七・一、マタ四・三
3 ①出ヘブ七・六、②ヘブ七・二六
4 ①ヘブ七・二元
5 ①民一八・二一、二六、Ⅱ歴三一・四、五
6 ①ヘブ七・三、②ヘブ七・一、二 ③ロマ四・一三
7 ①ヘブ五・六、七・二〇
8 ①ヘブ五・六、七・二〇
11 ①ヘブ七・一八、一九、二七

きたのだったら、――民はそれを基礎として律法を与えられたのです。――それ以上何の必要があって、アロンの位でなく、メルキゼデクの位に等しいと呼ばれる他の祭司が立てられたのでしょうか。
12 祭司職が変われば、律法も必ず変わらなければなりませんが、
13 私たちが今まで論じて来たその方は、祭壇に仕える者を出したことのない別の部族に属しておられるのです。
14 私たちの主が、ユダ族から出られたことは明らかですが、モーセは、この部族については、祭司に関することを何も述べていません。
15 もしメルキゼデクに等しい、別の祭司が立てられるのなら、以上のことは、いよいよ明らかになります。
16 その祭司は、肉についての戒めである律法にはよらないで、朽ちることのない、いのちの力によって祭司となったのです。
17 この方については、こうあかしされています。

「あなたは、とこしえに、
メルキゼデクの位に等しい祭司である。」

18 一方で、前の戒めは、弱く無益なために、廃止されましたが、
19 ――律法は何事も全うしなかったのです。――他方で、さらにすぐれた希望が導き入れられました。私たちはこれによって神に近づくのです。
20 また、そのためには、はっきりと誓いがなされています。
21 ――彼らのばあいは、誓いなしに祭司となるのですが、主のばあいには、主に対して次のように言われた方の誓いがあります。

「主は誓ってこう言われ、
みこころを変えられることはない。
『あなたはとこしえに祭司である。』」――

22 そのようにして、イエスは、さらにすぐれた契約の保証となられたのです。
23 また、彼らのばあいは、死ということがあるため、務めにいつまでもとどまることができず、大ぜいの者が祭司となりました。
24 しかし、キリストは永遠に存在されるのであって、変わることのない祭司の務めを持っておられます。
25 したがって、ご自分によって神に近づく人々を、*完全に救うことがおできになります。キリストはいつも生きていて、彼らのために、とりなしをしておられるからです。
26 また、このようにきよく、悪も汚れもなく、罪人から離れ、また、天よりも高くされた大祭司こそ、私たちにとってまさに必要な方です。
27 ほかの大祭司たちとは違い、キリストには、まず自分の罪のために、その次に、民の罪のために毎日いけにえをささげる必要はありません。というのは、キリストは自分自身をささげ、ただ一度でこのことを成し遂げられたからです。

11 ②旧ヘブ九・六、一〇・一、③ヘブセ・一七、㊐ヘブ五・六
12 ①ヘブセ・一二、②ヘブセ・一八
13 ①ヘブセ・一二、②ヘブセ・一八
14 ①黙示・五、マタ二・六（ミカ五・二）旧イザ一一・一、民一四・一七
16 ①旧ヘブ九・一〇、②旧ヘブ九・一八
17 ①詩一一〇・四、ヘブセ・二一、㊐ヘブ五・六
18 ①ヘブセ・一二、旧ロマ八・三、ガラ二・二一
19 ①ヘブ九・九、一〇・一、旧使一三・三九、ロマ三・二〇、セ・七、八、ガラ二・一六、三・二一、②㊐ヘブ三・六、③ヘブセ・二五、四・一六、一〇・一九、二三、哀三・老ヤコ四・八
21 ①ヘブセ・一七、㊐ヘブ五・六、②民二三・一九、Ⅰサム一五・二九、ロマ一一・二九、③詩一一〇・四、④ヘブセ・二三、二四・二六
22 ①㊐ヘブ八・六、②詩一一九・一三、イザ四二・六
24 ①ヘブセ・一六
25 ①ヘブセ・三四以下
＊別訳「永遠に」
②㊐Ⅰコリ一・二、③㊐ロマ八・三四、旧ヘブ九・二四
26 ①㊐Ⅱコリ五・二一、旧ヘブ四・一五、②Ⅰペテ二・二二、③㊐ヘブ四・一四、④㊐ヘブ二・一七
27 ①㊐ヘブ五・三、②旧ヘブ五・一、③エペ五・二、ヘブ九・一四、二六、一〇・一二、④ヘブ九・一二、一〇・一〇、旧ヘブ九・二六

28 律法は弱さを持つ人間を大祭司に立てますが、律法のあとから来た誓いのみことばは、永遠に全うされた御子を立てるのです。

8 1 以上述べたことの要点はこうです。すなわち、私たちの大祭司は天におられる大能者の御座の右に着座された方であり、2 人間が設けたのではなくて、主が設けられた真実の幕屋である聖所で仕えておられる方です。3 すべて、大祭司は、ささげ物といけにえとをささげるために立てられます。したがって、この大祭司も何かささげる物を持っていなければなりません。4 もしキリストが地上におられるのであったら、決して祭司とはなられないでしょう。律法に従ってささげ物をする人たちがいるからです。5 その人たちは、天にあるものの写しと影とに仕えているのであって、それらはモーセが幕屋を建てようとしたとき、神から御告げを受けたとおりのものです。神はこう言われたのです。「よく注意しなさい。山であなたに示された型に従って、すべてのものを作りなさい。」6 しかし今、キリストはさらにすぐれた務めを得られました。それは彼が、さらにすぐれた約束に基づいて制定された、さらにすぐれた契約の仲介者であるからです。7 もしあの初めの契約が欠けのないものであったなら、後のものが必要になる余地はなかったでしょう。8 しかし、神は、それに欠けがあるとして、こう言われたのです。

「主が、言われる。
見よ。日が来る。
わたしが、イスラエルの家やユダの家と
新しい契約を結ぶ日が。
それは、わたしが彼らの先祖たちの手を引いて、
彼らをエジプトの地から導き出した日に
彼らと結んだ契約のようなものではない。
彼らがわたしの契約を守り通さないので、
わたしも、彼らを顧みなかったと、
主は言われる。
それらの日の後、わたしが、
イスラエルの家と結ぶ契約は、これであると、
主が言われる。
わたしは、わたしの律法を彼らの思いの中に入れ、
彼らの心に書きつける。
わたしは彼らの神となり、
彼らはわたしの民となる。
また彼らが、おのおのその町の者に、
また、おのおのその兄弟に教えて、
『主を知れ。』と言うことは決してない。
小さい者から大きい者に至るまで、
彼らはみな、わたしを知るようになるからである。
なぜなら、わたしは彼らの不義にあわれみをかけ、
もはや、彼らの罪を思い出さないからである。」

28 ①旧ヘブ五・二、②圏ヘブ七・一〇 ③圏ヘブ一・三
1 ①圏ヘブ二・一七、②圏ヘブ一・三
2 ①旧出三三・七、②旧ヘブ九・二四、③旧ヘブ一〇・一一
3 ①圏ヘブ二・一七、②圏ヘブ五・一 旧ヘブ八・四
4 ①圏ヘブ五・一、旧ヘブ八・三
5 ①ヘブ九・二三、②圏コロ二・一七 ヘブ一〇・一、③ヘブ二・七、二三 圏マタ二・二三、④出二五・四〇
6 ①ヘブ七・二二、旧ヘブ八・六、九・一五、一二・二四、圏ルカ二二・二〇 ②圏Ⅰテモ二・五
7 ①圏ヘブ七・一一
8 ①エレ三一・三一―三四、②ヘブ八・三―九・一五、一二・二四、Ⅱコリ三・六 圏ルカ二二・二〇、旧ヘブセ・二三、八・六
9 ①旧ヘブ二・一六、出九・五、六
10 ①ヘブ一〇・一六、旧ロマ一二・一七 ②旧Ⅱコリ三・三
11 ①旧イザ五四・一三、ヨハ六・四五 Ⅰヨハ二・二七
12 ①ヘブ一〇・一七

13 神が新しい契約と言われたときには、初めのものを
古いとされたのです。年を経て古びたものは、すぐに
消えて行きます。

9

1 初めの契約にも礼拝の規定と地上
の聖所とがありました。
2 幕屋が設けられ、その前部の所には、燭台と机と供
えのパンがありました。聖所と呼ばれる所です。
3 また、第二の垂れ幕のうしろには、至聖所と呼ばれ
る幕屋が設けられ、
4 そこには金の香壇と、全面を金でおおわれた契約の
箱があり、箱の中には、マナのはいった金のつぼ、芽
を出したアロンの杖、契約の二つの板がありました。
5 また、箱の上には、贖罪蓋を翼でおおっている栄光
のケルビムがありました。しかしこれらについては、
今いちいち述べることができません。
6 さて、これらの物が以上のように整えられた上で、
前の幕屋には、祭司たちがいつもはいって礼拝を行な
うのですが、
7 第二の幕屋には、大祭司だけが年に一度だけはいり
ます。そのとき、血を携えずにはいるようなことはあ
りません。その血は、自分のために、また、民が知ら
ずに犯した罪のためにささげるものです。
8 これによって聖霊は次のことを示しておられます。
すなわち、前の幕屋が存続しているかぎり、まことの
聖所への道は、まだ明らかにされていないということ
です。
9 この幕屋はその当時のための比喩です。それに従って、ささげ物といけにえとがささげられますが、それらは礼拝する者の良心を完全にすることはできません。
10 それらは、ただ食物と飲み物と種々の洗いに関するもので、新しい秩序の立てられる時まで課せられた、からだに関する規定にすぎないからです。
11 しかしキリストは、すでに成就したすばらしい事がらの大祭司として来られ、手で造った物でない、言い替えれば、この造られた物とは違った、さらに偉大な、さらに完全な幕屋を通り、
12 また、やぎと子牛との血によってではなく、ご自分の血によって、ただ一度、まことの聖所にはいり、永遠の贖いを成し遂げられたのです。
13 もし、やぎと雄牛の血、また雌牛の灰を汚れた人々に注ぎかけると、それがきよめの働きをして肉体をきよいものにするとすれば、
14 まして、キリストが傷のないご自身を、とこしえの御霊によって神におささげになったその血は、どんなにか私たちの良心をきよめて死んだ行ないから離れさせ、生ける神に仕える者とすることでしょう。
15 こういうわけで、キリストは新しい契約の仲介者です。それは、初めの契約のときの違反を贖うための死が実現したので、召された者たちが永遠の資産の約束を受けることができるためなのです。
16 遺言には、遺言者の死亡証明が必要です。

13 ①⑧⑨ヘブ八・八、②出ヘブ一・一二
Ⅱコリ五・一七
1 ①出ヘブ九・一〇、②出三五・八
出ヘブ九・一、二四、六・二
2 ①出三五・二九、②出三一・二九
③出三五・二一、④出三五・二四
レビ二四・五以下、出マタ二六・四九
3 ①出三六・一三、②出三六・三五、③出
三六・三五以下、④民七・一〇、⑤出
三六・三五、申九・九、一〇・三五
4 ①出三五・二二、②出三七・一以下、
③出一六・三三、④民七・一〇、⑤出
三七・一、⑥出三七・六、⑦出三七・
一〇以下、⑧出三七・一〇、レビ二四・
六、⑨ヘブ九・二、⑩出三七・二五
5 ①出三七・九、②民六・二三
6 ①出三七・八、②レビ一六・三
以下、③出三〇・一〇、レビ一六・
三四、出ヘブ一〇・三、④レビ一六・
三四、出ヘブ一〇・一一、⑤民一五・二二
7 ①出ヘブ九・三、②レビ一六・二、
三、出、⑥出ヘブ五・三、
8 ①出ヘブ九・六、②ヘブ一〇・一九
出ヨハ一四・六
9 *別訳「今の時のことをさす比喩です」
①ヘブ一一・三、出ヘブ一〇・一
②出ヘブ五・一、③出ヘブ七・九
④レビ一二・以下、出コロ二・一七、
⑤出、民六・三、⑥レビ一・四、
⑦出ヘブ七・一一、⑧出ヘブ七・一九
10 ①レビ一一・以下、出ヘブ九・一〇、
②民六・三、③レビ一一・四、出ヘブ
九・一〇、④出ヘブ七・一六、⑤出ヘブ
七・一九、⑥出ヘブ九・一〇
11 *異本「来ようとしている」
①ヘブ一〇・一、②出ヘブ二・七
③マコ一四・五八、Ⅱコリ五・一
④出Ⅱコリ四・六、ヘブ三・六、
⑤ヘブ九・二四、⑥ヘブ三・六、
三四、⑦ヘブ九・二四、⑧ヘブ
12 ①レビ一六・三、一五他、②ヘブ
九・一二、出ヘブ一〇・四、②ヘブ九・
一四、一三・二〇、③出ヘブ七・二七、
④ヘブ九・二四、⑤出ヘブ九・一二、
五・九
13 ①ヘブ九・一九、②民九・一七、一八、
14 ①出Ⅰコリ一五・四五、Ⅰペテ三・
一八、②エペ五・二六、ヘブ七・二七、
一〇・一〇、一二、③ヘブ九・一三、一四
*異本「あなたがたの」
④ヘブ九・一、⑤使二六・九、テト二・
一四、ヘブ一〇・二二、出ヘブ一〇・
⑥出マタ二六・二六、ヘブ一三・
15 ①出ヘブ八・六、②出ヘブ一二・二四
⑧出ヘブ八・六
*あるいは「遺言」

17遺言は、人が死んだとき初めて有効になるのであって、*遺言者が生きている間は、決して効力はありません。
18したがって、初めの契約も血なしに成立したのではありません。
19モーセは、律法に従ってすべての戒めを民全体に語って後、水と赤い色の羊の毛とヒソプとのほかに、子牛とやぎの血を取って、契約の書自体にも民の全体にも注ぎかけ、
20「これは神があなたがたに対して立てられた*契約の血である。」と言いました。
21また彼は、幕屋と礼拝のすべての器具にも同様に血を注ぎかけました。
22それで、律法によれば、すべてのものは血によってきよめられる、と言ってよいでしょう。また、血を注ぎ出すことがなければ、罪の赦しはないのです。
23ですから、天にあるものにかたどったものは、これらのものによってきよめられる必要がありました。しかし天にあるもの自体は、これよりもさらにすぐれたいけにえで、きよめられなければなりません。
24キリストは、本物の模型にすぎない、手で造った聖所にはいられたのではなく、天そのものにはいられたのです。そして、今、私たちのために神の御前に現われてくださるのです。
25それも、年ごとに自分の血でない血を携えて聖所にはいる大祭司とは違って、キリストは、ご自分を幾度もささげることはなさいません。
26もしそうでなかったら、世の初めから幾度も苦難を受けなければならなかったでしょう。しかしキリストは、ただ一度、今の世の終わりに、ご自身をいけにえとして罪を取り除くために、来られたのです。
27そして、人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっているように、
28キリストも、多くの人の罪を負うために一度、ご自身をささげられましたが、二度目は、罪を負うためではなく、彼を待ち望んでいる人々の救いのために来られるのです。

10

1律法には、後に来るすばらしいものの影はあっても、その実物はないのですから、律法は、年ごとに絶えずささげられる同じいけにえによって神に近づいて来る人々を、完全にすることができないのです。
2もしそれができたのであったら、礼拝する人々は、一度きよめられた者として、もはや罪を意識しなかったはずであり、したがって、ささげ物をすることは、やんだはずです。
3ところがかえって、これらのささげ物によって、罪が年ごとに思い出されるのです。
4雄牛とやぎの血は、罪を除くことができません。
5ですから、キリストは、この世界に来て、こう言われるのです。
「あなたは、いけにえやささげ物を望まないで、

---

17 *原語は「一五節の「契約」と同じ」
** 異本「遺言者が生きている間は効力があるでしょうか。」
16 *原語は「一五節の「契約」と同じ」

15 ③聞 Iテモ二・五、ヘブ八・六、二・二四、④聞 ロマ八・二六、ヘブ三・一、旧 マタ三・三以下 ⑤聞 使三・二一、旧 ヘブ二・五九、一〇・五六、旧 ヘブ二・五九
16 *原語は「一五節の「契約」と同じ」
17 *原語は「一五節の「契約」と同じ」
** 異本「遺言者が生きている間は効力があるでしょうか。」
19 ①聞 ヘブ一・一、②旧 レビ一四・七他、民九・六、一八他 ③聞 ヘブ九・一三、④出 二四・六以下 ⑤旧 出二四・七
20 ①出 二四・八、旧 マタ二六・二六 *あるいは「遺言」
21 ①旧 出四〇・九、二四・六、レビ八・一五、一六、一九、二四 ②旧 レビ八・一六
22 ①旧 レビ五・一一、一三 ②レビ一七・一一
23 ①ヘブ八・五、②ヘブ九・二三
24 ①ヘブ八・二、②ヘブ九・二四
④旧 ヘブ七・二四 旧 ヘブ四・一四
25 ①ヘブ九・二五、一〇・一九、②聞 ヘブ九・七
26 ①聞 マタ二五・三四、ヘブ四・三、九・二六、一〇・一二、一四、旧 ヘブ二・九、④ヘブ九・二六、一〇・一二、⑤聞 ヨハ一・二九、Iヨハ三・五、⑥創 三・一五
27 ①Ⅱコリ五・一〇、Iヨハ四・一七
28 ①Iペテ二・二四、②聞 ヘブ七・二七 ③使 一・二、④ヘブ四・一五 *直訳「罪なしに」 ⑤聞 Iコリ一・七、テト二・一三 ⑥ヘブ九・九
1 ①ヘブ九・二、②聞 ヘブ八・五 ③聞 ヘブ七・九、④ヘブ一〇・四、二、旧 ヘブ九・九、一〇・一 ⑤聞 ヘブ九・一一、二八、⑥聞 ヘブ一〇・一
2 ①旧 Iペテ二・九
3 ①聞 ヘブ九・七
4 ①ヘブ九・一三、一五、②聞 ヘブ一〇・一、一一
5 ①ヘブ一〇・一、②詩四〇・六八

わたしのために、からだを造ってくださいました。
6 あなたは全焼のいけにえと
罪のためのいけにえとで
満足されませんでした。
7 そこでわたしは言いました。
『さあ、わたしは来ました。
聖書のある巻に、
わたしについてしるされているとおり、
神よ、あなたのみこころを行なうために。』」
8 すなわち、初めには、「あなたは、いけにえとささげ物、全焼のいけにえと罪のためのいけにえ（すなわち、律法に従ってささげられる、いろいろの物）を望まず、またそれらで満足されませんでした。」と言い、
9 また、「さあ、わたしはあなたのみこころを行なうために来ました。」と言われたのです。後者が立てられるために、前者が廃止されるのです。
10 イエス・キリストのからだが、このみこころに従って、ただ一度ささげられたことにより、私たちはきよめられた者となっているのです。
11 また、すべて祭司は毎日立って礼拝の務めをなし、同じいけにえをくり返しささげますが、それらは決して罪を除き去ることができません。
12 しかし、キリストは、罪のために一つの永遠のいけにえをささげて後、神の右の座に着き、
13 それからは、その敵がご自分の足台となるのを待っておられるのです。
14 キリストはきよめられる人々を、一つのささげ物によって、永遠に全うされたのです。
15 聖霊も私たちに次のように言って、あかしされます。
16 「それらの日の後、わたしが、
彼らと結ぼうとしている契約は、これであると、
主は言われる。
わたしは、わたしの律法を彼らの心に置き、
彼らの思いに書きつける。」
またこう言われます。
17 「わたしは、もはや決して彼らの罪と不法とを思い出すことはしない。」
18 これらのことが赦されるところでは、罪のためのささげ物はもはや無用です。
19 こういうわけですから、兄弟たち。私たちは、イエスの血によって、大胆にまことの聖所にはいることができるのです。
20 イエスはご自分の肉体という垂れ幕を通して、私たちのためにこの新しい生ける道を設けてくださったのです。
21 また、私たちには、神の家をつかさどる、この偉大な祭司があります。
22 そのようなわけで、私たちは、心に血の注ぎを受けて邪悪な良心をきよめられ、からだをきよい水で洗われたのですから、全き信仰をもって、真心から神に近づこうではありませんか。
23 約束された方は真実な方ですから、私たちは動揺し

5 ③出1ペテ三・二四、ヘブ二・一四、五・七
7 ①エレ三六・二、エゼ二・九、三・一、二、エズ六・二（七十人訳）
8 ①詩四〇・六、ヘブ一〇・五、六 ②マコ一二・三三、③ロマ八・三
9 ①詩四〇・七、八、ヘブ一〇・七
10 ①出1ペテ二・二四、ヘブ二・一四、七・二七、②図ヘブ七・二七、③ヘブ九・二六、一〇・一二、エペ五・二、出ヨハ八・二、④図エペ五・二六、ヘブ一〇・一四、二六、一二、一三・二六、出ヨハ一七・一九
11 ①出ヘブ五・一、②図ヘブ一〇・一四、ミカ六・六八他
12 ①図ヘブ五・一
＊あるいは「罪のために一つのいけにえをささげて後、永遠に神の右の座に着き」
②ヘブ一〇・一四、③図ヘブ一・三
13 ①詩一一〇・一、図ヘブ一・一三
14 ①ヘブ一〇・一二、②出ヘブ一〇・一
15 ①図ヘブ三・七
16 ①エレ三一・三三、ヘブ八・一〇
17 ①エレ三一・三四、出ヘブ八・一二
19 ①ヘブ一〇・三五、図ヘブ三・六
②出ヘブ九・三
20 ①出ヘブ五・七、九・三、②ヘブ九・八
21 ①ヘブ三・六、図Ⅰテモ三・一五
②図ヘブ三・一七
22 ①ヘブ三・一二、Ⅰペテ一・二
出使二二・一六、エゼ三六・二五
②出使二二・一六、Ⅰコリ六・一一
エペ五・二六、テト三・五、Ⅰペテ三・二一、③図ヘブ一〇・一、図ヘブ七・一九、④ヘブ一〇・一、図ヘブ一・三
23 ①ヘブ一〇・一、図Ⅰコリ一・九、一〇・一三

ないで、しっかりと希望を告白しようではありませんか。
24 また、互いに勧め合って、愛と善行を促すように注
意し合おうではありませんか。
25 ある人々のように、いっしょに集まることをやめた
りしないで、かえって励まし合い、かの日が近づいて
いるのを見て、ますますそうしようではありませんか。
26 もし私たちが、真理の知識を受けて後、ことさら
に罪を犯し続けるならば、罪のためのいけにえは、も
はや残されていません。
27 ただ、さばきと、逆らう人たちを焼き尽くす激しい
火とを、恐れながら待つよりほかはないのです。
28 だれでもモーセの律法を無視する者は、二、三の証
人のことばに基づいて、あわれみを受けることなく死
刑に処せられます。
29 まして、神の御子を踏みつけ、自分をきよめた契約
の血を汚れたものとみなし、恵みの御霊を侮る者は、
どんなに重い処罰に値するか、考えてみなさい。
30 私たちは、「復讐はわたしのすることである。わた
しが報いをする。」、また、「主がその民をさばかれる。」
と言われる方を知っています。
31 生ける神の手の中に陥ることは恐ろしいことです。
32 あなたがたは、光に照らされて後、苦難に会いな
がら激しい戦いに耐えた初めのころを、思い起こしな
さい。
33 人々の目の前で、そしりと苦しみとを受けた者もあ
れば、このようなめに会った人々の仲間になった者も
ありました。
34 あなたがたは、捕えられている人々を思いやり、ま
た、もっとすぐれた、いつまでも残る財産を持ってい
ることを知っていたので、自分の財産が奪われても、
喜んで忍びました。
35 ですから、あなたがたの確信を投げ捨ててはなりま
せん。それは大きな報いをもたらすものなのです。
36 あなたがたが神のみこころを行なって、約束のもの
を手に入れるために必要なのは忍耐です。
37 「もうしばらくすれば、
　来るべき方が来られる。おそくなることはない。
38 　わたしの義人は信仰によって生きる。
　もし、恐れ退くなら、
　わたしのこころは彼を喜ばない。」
39 私たちは、恐れ退いて滅びる者ではなく、信じてい
のちを保つ者です。

11

1 信仰は望んでいる事がらを保証
し、目に見えないものを確信させ
ものです。
2 昔の人々はこの信仰によって称賛されました。
3 信仰によって、私たちは、この世界が神のことばで
造られたことを悟り、したがって、見えるものが目に
見えるものからできたのではないことを悟るのです。
4 信仰によって、アベルはカインよりもすぐれたいけ
にえを神にささげ、そのいけにえによって彼が義人で

---

23 ②圏ヘブ三・六、③圏ヘブ三・一
24 ①脱ヘブ三・一、②圏テト三・八
25 ①脱使一四・一、②脱ヘブ一・三
Ⅰコリ一・三
26 ①圏Ⅰテモ一・四、②脱ヘブ五・
一、六・四―八、Ⅱペテ一・三、三
民一二・三
27 ①ヨハ二・二六、ヘブ一〇・七
②イザ二六・二一、Ⅱテサ一・七
28 ①申一七・二―六、圏マタ八・六
脱ヘブ一〇・二
29 ①脱ヘブ六・六、②圏エペ二・六
黙一・五、脱ヘブ一〇・二九
③ヘブ三・一三、マタ二六・二八他
④ヘブ六・四、エペ四・三〇
Ⅰコリ六・二、⑤圏ヘブ一〇・三
30 ①申三二・三五、圏ロマ一二・一九
②申三二・三六
31 ①圏マタ二六・六一、ヘブ三・一三
②圏Ⅱコリ五・一
32 ①ヘブ六・四、②圏ピリ一・三〇
33 ①Ⅰコリ四・九、脱ヘブ一三・
②脱ピリ四・一四、Ⅰテサ一・六
34 ①脱ヘブ一〇・三四、②脱ヘブ九・一五、
二・六、三四・一四、Ⅰペテ一・四、五
③脱マタ五・一二
35 ①圏ヘブ一〇・一九、②圏ヘブ一・三
36 ①圏ルカ二一・九、②ヘブ一三・
37 ①ハバ二・三、四、脱ヘブ一〇・三五
黙三・一〇、②圏マタ二一・三五
38 ①脱ロマ一・一七、ガラ三・一
1 ①圏ヘブ六
＊別訳「……の実体であり」
2 ①ヘブ三・一四、③脱ロマ八・二四
脱Ⅱコリ四・一八、五・七、ヘブ一一・
七、一三
＊直訳「あかしを得たので」
3 ①ヘブ一一・三、②圏ヘブ六・五
脱Ⅱペテ三・五、③創一章
脱Ⅱペテ三・五、④ロマ四・一七
4 ①創四・四、マタ二三・三五、Ⅰヨハ
三・一二

あることの証明を得ました。神が、彼のささげ物を良いささげ物だとあかししてくださったからです。彼は死にましたが、その信仰によって、今もなお語っています。

5 信仰によって、エノクは死を見ることのないように移されました。神に移されて、見えなくなりました。移される前に、彼は神に喜ばれていることが、あかしされていました。

6 信仰がなくては、神に喜ばれることはできません。神に近づく者は、神があられることと、神を求める者には報いてくださる方であることとを、信じなければならないのです。

7 信仰によって、ノアは、まだ見ていない事がらについて神から警告を受けたとき、恐れかしこんで、その家族の救いのために箱舟を造り、その箱舟によって、世の罪を定め、信仰による義を相続する者となりました。

8 信仰によって、アブラハムは、相続財産として受け取るべき地に出て行けとの召しを受けたとき、これに従い、どこに行くのかを知らないで、出て行きました。

9 信仰によって、彼は約束された地に他国人のようにして住み、同じ約束をともに相続するイサクやヤコブとともに天幕生活をしました。

10 彼は、堅い基礎の上に建てられた都を待ち望んでいたからです。その都を設計し建設されたのは神です。

11 信仰によって、サラも、すでにその年を過ぎた身であるのに、子を宿す力を与えられました。彼女は約束してくださった方を真実な方と考えたからです。

12 そこで、ひとりの、しかも死んだも同様のアブラハムから、天の星のように、また海べの数えきれない砂のように数多い子孫が生まれたのです。

13 これらの人々はみな、信仰の人々として死にました。約束のものを手に入れることはありませんでしたが、はるかにそれを見て喜び迎え、地上では旅人であり寄留者であることを告白していたのです。

14 彼らはこのように言うことによって、自分の故郷を求めていることを示しています。

15 もし、出て来た故郷のことを思っていたのであれば、帰る機会はあったでしょう。

16 しかし、事実、彼らは、さらにすぐれた故郷、すなわち天の故郷にあこがれていたのです。それゆえ、神は彼らの神と呼ばれることを恥となさいませんでした。事実、神は彼らのために都を用意しておられました。

17 信仰によって、アブラハムは、試みられたときイサクをささげました。彼は約束を与えられていましたが、自分のただひとりの子をささげたのです。

18 神はアブラハムに対して、「イサクから出る者があなたの子孫と呼ばれる。」と言われたのですが、

19 彼は、神には人を死者の中からよみがえらせることもできる、と考えました。それで彼は、死者の中から

---

4 ②ヘブ二・二、③ヘブ五・一 ④創四・八―一〇、ヘブ一二・二四
5 ①創五・二―二四、②⑧ルカ二・二六 ヨ 八・五一、既ヘブ二・九
6 ①既ヘブ七・二九
7 ①創六・一三―二二、②⑧ヘブ一一・一 ③⑧ヘブ八・五、④既ヘブ五・七 ⑤Ⅰペテ三・二〇、⑥既創六・九 エゼ一四・一四、二〇、ロマ四・一三、九、三
8 ①創一二・一―四、使七・二―四 ②創二三・七
9 ①使七・五、②既ヘブ六・一七 ③創二三・八、二三・二〇、二八・二、九
10 ①黙二一・二四以下、②ヘブ一二・二二、二三・二四、③ヘブ一一・一六
11 ①創七・九、一八・一一―一四、二一・二 ②⑧ヘブ一〇・二三
12 ①ロ四・一九、②創一五・五、二二・一七、二三・二
13 ①既マタ二三・二七、②ヘブ一一・三六、③既ヨハ八・五六、ヘブ一一・三七、④創二三・四―二〇、詩三九・一三、Ⅰペテ二・一一、二・一二
15 ①既創二四・六、八
16 ①既Ⅱテモ四・一八、②創二六・二四、二八・一三、出三・六、一五・二〇 ③⑧マコ一二・二六、既ヘブ一一・一四 ④ヘブ一二・一〇、既黙二一・二
17 ①創三一・一〇、ヤコ一・二 ②既ヘブ一一・三
18 ①創二一・一二、ロマ九・七
19 ①既ロマ四・二一

イサクを取り戻したのです。これは型です。
20 信仰によって、イサクは未来のことについて、ヤコブとエサウを祝福しました。
21 信仰によって、ヤコブは死ぬとき、ヨセフの子どもたちをひとりひとり祝福し、また自分の杖のかしらに寄りかかって礼拝しました。
22 信仰によって、ヨセフは臨終のとき、イスラエルの子孫の脱出を語り、自分の骨について指図しました。
23 信仰によって、モーセは生まれてから、両親によって三か月の間隠されていました。彼らはその子の美しいのを見たからです。彼らは王の命令をも恐れませんでした。
24 信仰によって、モーセは成人したとき、パロの娘の子と呼ばれることを拒み、
25 はかない罪の楽しみを受けるよりは、むしろ神の民とともに苦しむことを選び取りました。
26 彼は、キリストのゆえに受けるそしりを、エジプトの宝にまさる大きな富と思いました。彼は報いとして与えられるものから目を離さなかったのです。
27 信仰によって、彼は、王の怒りを恐れないで、エジプトを立ち去りました。目に見えない方を見るようにして、忍び通したからです。
28 信仰によって、初子を滅ぼす者が彼らに触れることのないように、彼は過越と血の注ぎとを行ないました。
29 信仰によって、彼らは、かわいた陸地を行くのと同様に紅海を渡りました。エジプト人は、同じようにしようとしましたが、のみこまれてしまいました。
30 信仰によって、人々が七日の間エリコの城の周囲を回ると、その城壁はくずれ落ちました。
31 信仰によって、遊女ラハブは、偵察に来た人たちを穏やかに受け入れたので、不従順な人たちといっしょに滅びることを免れました。
32 これ以上、何を言いましょうか。もし、ギデオン、バラク、サムソン、エフタ、またダビデ、サムエル、預言者たちについても話すならば、時が足りないでしょう。
33 彼らは、信仰によって、国々を征服し、正しいことを行ない、約束のものを得、ししの口をふさぎ、
34 火の勢いを消し、剣の刃をのがれ、弱い者なのに強くされ、戦いの勇士となり、他国の陣営を陥れました。
35 女たちは、死んだ者をよみがえらせていただきました。またほかの人たちは、さらにすぐれたよみがえりを得るために、釈放されることを願わないで拷問を受けました。
36 また、ほかの人たちは、あざけられ、むちで打たれ、さらに鎖につながれ、牢に入れられるめに会い、
37 また、石で打たれ、試みを受け、のこぎりで引かれ、剣で切り殺され、羊ややぎの皮を着て歩き回り、乏しくなり、悩まされ、苦しめられ、
38 ――この世は彼らにふさわしい所ではありませんで

19 ②民ヘブル九
20 ①創二七・二八、二七、四四 ②創二七・三三（七十人訳）、民Ⅰ列一七
22 ①創五〇・二四、二五、民出三・一九
23 ①出二・二、二以下 ②出二・六・三
24 ①出二・一〇、二以下
25 ①民ヘブ一一・七
26 ①民ルカ一四・三三、ピリ三・七、八 ②民ヘブ三・三
27 ①出一〇・二八、民出二・一四 ②出二・一五、一七、一八、民出二・一四、③民ヘブ一一・二七 ④コロ一・一五
28 ①出一二・二八、二九、三三、民Ⅰコリ一〇・一〇、②出一二・二三以下
29 ①出一四・二二以下
30 ①ヨシ六・二六、二〇 ②ヨシ六・二〇
31 ①ヨシ二・九以下、六・二三、ヤコ二・二五
32 ①士六・八章、②士四、五章 ③士三・二六章、④士一一・三章 ⑤Ⅰサム六・二一、⑥Ⅰサム一二・三
33 ①民出四・七、二四章、Ⅱサム八・一七、Ⅱ二〇・二一、二二、②民Ⅰサム三・一四、Ⅱサム七・二五、③民Ⅱサム七・一二、一三、④ダ二六・三三、民出二四・六、Ⅰサム七・三、⑤ダ二六・三以下、⑥出八・四、Ⅰサム八・一、九・一、一〇、詩一四四・一、Ⅰ列九章、Ⅱ列六章 ⑦民出三・一二、一三、一四、Ⅰサム一七・五、Ⅱサム八・一、一七・一〇、一四以下
34 ①Ⅰ列一七・二四、Ⅱ列四・三七、三七 ②民Ⅱサム一・二、一六、一九、一〇、詩一四四・一、Ⅰ列九章、Ⅱ列六章 ③民士三・二、一三、Ⅰサム一七・五、Ⅱサム八・一
35 ①Ⅰ列一七・二三、Ⅱ列四・三六、三七 ②Ⅰ列一七・二三、Ⅱ列四・三五、三七 ③民Ⅱ歴二四・二一、民Ⅰ列二一・一三 *異本 この句を欠くものがある ④Ⅱサム二一・一、Ⅰ歴二〇・四 ⑤Ⅰ列一九・一〇、エレ二六・二三 ⑥Ⅰ列一九・二、一〇、エレ二六・二三、Ⅱ列一八・一四、ゼカ一三・四 ⑦民ヘブ一一・三七、三八

した。――[1]荒野と山とほら穴と地の穴とをさまよいました。
39 この人々はみな、その信仰によってあかしされましたが、[2]約束されたものは得ませんでした。
40 神は私たちのために、さらにすぐれたものを[*]あらかじめ用意しておられたので、彼らが私たちと別に全うされるということはなかったのです。

12

1 こういうわけで、このように多くの証人たちが、雲のように私たちを取り巻いているのですから、私たちも、いっさいの重荷とまつわりつく罪とを捨てて、私たちの前に置かれている競走を忍耐をもって走り続けようではありませんか。
2 信仰の[1]創始者であり、完成者であるイエスから目を離さないでいなさい。イエスは、ご自分の前に置かれた喜びのゆえに、[2]恥をものとも思わずに十字架を忍び、[3]神の御座の右に着座されました。
3 あなたがたは、[1]罪人たちのこのような反抗を忍ばれた方のことを考えなさい。それは、あなたがたの心が元気を失い、[2]疲れ果ててしまわないためです。
4 あなたがたはまだ、罪と戦って、[1]血を流すまで抵抗したことがありません。
5 そして、あなたがたに向かって子どもに対するように語られたこの勧めを忘れています。
「[1]わが子よ。
主の懲らしめを軽んじてはならない。
6 主はその愛する者を懲らしめ、
受け入れるすべての子に、
むちを加えられるからである。」
7 訓練と思って耐え忍びなさい。[1]神はあなたがたを子として扱っておられるのです。父が懲らしめることをしない子がいるでしょうか。
8 もしあなたがたが、[1]だれでも受ける懲らしめを受けていないとすれば、私生子であって、ほんとうの子ではないのです。
9 さらにまた、私たちには肉の父がいて、私たちを懲らしめたのですが、しかも私たちは[1]彼らを敬ったのであれば、なおさらのこと、私たちはすべての霊の父に[2]服従して生きるべきではないでしょうか。
10 なぜなら、肉の父親は、短い期間、自分が良いと思うままに私たちを懲らしめるのですが、霊の父は、私たちの益のため、私たちをご自分のきよさにあずからせようとして、懲らしめるのです。
11 すべての懲らしめは、そのときは喜ばしいものではなく、かえって悲しく思われるものですが、後になると、これによって訓練された人々に平安な義の実を結ばせます。
12 ですから、弱った手と衰えたひざとを、まっすぐにしなさい。
13 また、あなたがたの足のために、[1]まっすぐな道を作りなさい。足なえの人も関節をはずすことのないた

[*] 別訳「予見しておられたのでし」

38 ①脚Ⅰ列六・四、三四、九・九
39 ①脚ヘブ二・一三、②ヘブ二・二三、一〇・三六
40 ①脚ヘブ二・一六
1 ①比ヘブ一〇・三九、②脚エペ四・三、比ロマ三・二三、③脚ヘブ一〇・三六、④脚Ⅰコリ九・二四、ガラ二・二
2 ①比ヘブ二・一〇 *別訳「指導者」 ②比Ⅰコリ一・八、三、ヘブ三・二、③ヘブ二九、ピリ二・八、九、④脚ヘブ一・三
3 ①脚マタ一〇・二四、黙三・三 ②脚ガラ六・九、ヘブ三・五
4 ①比ピリ二・八、②ヘブ一〇・三三以下、三四・三四
5 ①脚箴三・一二、②ヘブ三・三
6 ①詩二七・一三、黙三・一九
7 ①申八・五、Ⅱサム七・一四、比箴三・一二、一三・二四、三四・一四
8 ①比Ⅰペテ五・九
9 ①比ルカ六・三五、②民一六・三三、一七・六、比黙三・六、③比イザ三八・一六
10 ①脚Ⅱペテ一・四
11 ①比Ⅰペテ一・六、②ヤコ三・一七、一八、比イザ三二・七、Ⅱテモ四・八
12 ①比イザ三五・三
13 ①比箴四・二六、ガラ六・一四

め、いやむしろ、いやされるためです。
14 すべての人との平和を追い求め、また、きよめられることを追い求めなさい。きよくなければ、だれも主を見ることができません。
15 そのためには、あなたがたはよく監督して、だれも神の恵みから落ちる者がないように、また、苦い根が芽を出して悩ましたり、これによって多くの人が汚されたりすることのないように、
16 また、不品行の者や、一杯の食物と引き替えに自分のものであった長子の権利を売ったエサウのような俗悪な者がないようにしなさい。
17 あなたがたが知っているとおり、彼は後になって祝福を相続したいと思ったが、退けられました。涙を流して求めても、彼には悔い改めの余地は残されていませんでした。
18 あなたがたは、手でさわれる山、燃える火、黒雲、暗やみ、あらし、
19 ラッパの響き、ことばのとどろきに近づいているのではありません。このとどろきは、これを聞いた者たちが、それ以上一言も加えてもらいたくないと願ったものです。
20 彼らは、「たとい、獣でも、山に触れるものは石で打ち殺されなければならない。」というその命令に耐えることができなかったのです。
21 また、その光景があまり恐ろしかったので、モーセは、「私は恐れて、震える。」と言いました。
22 しかし、あなたがたは、シオンの山、生ける神の都、天にあるエルサレム、無数の御使いたちの大祝会に近づいているのです。
23 また、天に登録されている長子たちの教会、万民の審判者である神、全うされた義人たちの霊、
24 さらに、新しい契約の仲介者イエス、それに、アベルの血よりもすぐれたことを語る注ぎかけの血に近づいています。
25 語っておられる方を拒まないように注意しなさい。なぜなら、地上においても、警告を与えた方を拒んだ彼らが処罰を免れることができなかったとすれば、まして天から語っておられる方に背を向ける私たちが、処罰を免れることができないのは当然ではありませんか。
26 あのときは、その声が地を揺り動かしましたが、このたびは約束をもって、こう言われます。「わたしは、もう一度、地だけではなく、天も揺り動かす。」
27 この「もう一度」ということばは、決して揺り動かされることのないものが残るために、すべての造られた、揺り動かされるものが取り除かれることを示しています。
28 こういうわけで、私たちは揺り動かされない御国を受けているのですから、感謝しようではありませんか。こうして私たちは、慎みと恐れとをもって、神に喜ばれるように奉仕をすることができるのです。
29 私たちの神は焼き尽くす火です。

13 ②ヤコ五・六、旧ガラ六・一
14 ①箇ロマ一四・一九、②ロマ六・三、旧ヘブ二・一〇、③箇マタ五・八、旧ヘブ九・二八
15 ①ヘブ四・一、旧Ⅱコリ六・一、ガラ五・四、②申二九・一八、③テト一・一五
16 ①ヘブ一二・一七、②創二五・三三、③箇Ⅰテモ一・九
17 ①創二七・三四
18 ①出一九・一六以下、旧Ⅱコリ三・一八、申四・一一、五・二三
19 ①出一九・一六、二〇・一八、旧マタ二四・三一、②申四・一二、旧出一九・一九、③出二〇・一八、申五・二二、一八・一六
20 ①出一九・一三
21 ①申九・一九
22 ①黙四・一、②箇ヘブ一二
③箇ヘブ一一・一〇、旧エペ二・一九、ピリ三・二〇、黙二一・二、④箇ガラ四・二六、旧ヘブ一二・二六、⑤黙五・一一
23 ①箇ルカ一〇・二〇、②ヘブ一二
旧出四・二三、③創一八・五、ヤコ一・一八、④旧黙六・九、一一
24 ①箇Ⅰテモ二・五、ヘブ八・六、九・一五、②箇ヘブ一二・四、③旧ヘブ九・一〇、一二・二四、Ⅰペテ一・二
25 ①箇ヘブ二・一、②旧ヘブ一二
③箇ヘブ五・一一七、④旧ヘブ一二・二五、⑤箇ヘブ二・三、一〇・二六、二九
26 ①出一九・一八、旧士五・四、五
②ハガ二・六
27 ①箇Ⅰコリセ・三一、旧ロマ八・一九、二二、ヘブ一二・一〇以下
イザ三四・四、黙六・一四、②箇ヘブ一二・二六、旧ヘブ二・一〇
28 ①旧ダ二・四四、②箇ヘブ一二・五、旧ヘブ一二・二
29 ①申四・二四、九・三、イザ三三・一四
箇Ⅱテサ一・七、旧ヘブ一〇・二七、三一

13

1 兄弟愛をいつも持っていなさい。
2 旅人をもてなすことを忘れてはいけません。こうして、ある人々は御使いたちを、それとは知らずにもてなしました。
3 牢につながれている人々を、自分も牢にいる気持ちで思いやり、また、自分も肉体を持っているのですから、苦しめられている人々を思いやりなさい。
4 結婚がすべての人に尊ばれるようにしなさい。寝床を汚してはいけません。なぜなら、神は不品行な者と姦淫を行なう者とをさばかれるからです。
5 金銭を愛する生活をしてはいけません。いま持っているもので満足しなさい。主ご自身がこう言われるのです。「わたしは決してあなたを離れず、また、あなたを捨てない。」
6 そこで、私たちは確信に満ちてこう言います。
「主は私の助け手です。私は恐れません。
人間が、私に対して何ができましょう。」
7 神のみことばをあなたがたに話した指導者たちのことを、思い出しなさい。彼らの生活の結末をよく見て、その信仰にならいなさい。
8 イエス・キリストは、きのうもきょうも、いつまでも、同じです。
9 さまざまの異なった教えによって迷わされてはなりません。食物によってではなく、恵みによって心を強めるのは良いことです。食物に気を取られた者は益を得ませんでした。
10 私たちには一つの祭壇があります。幕屋で仕える者たちには、この祭壇から食べる権利がありません。
11 動物の血は、罪のための供え物として、大祭司によって聖所の中まで持って行かれますが、からだは宿営の外で焼かれるからです。
12 ですから、イエスも、ご自分の血によって民をきよめるために、門の外で苦しみを受けられました。
13 ですから、私たちは、キリストのはずかしめを身に負って、宿営の外に出て、みもとに行こうではありませんか。
14 私たちは、この地上に永遠の都を持っているのではなく、むしろ後に来ようとしている都を求めているのです。
15 ですから、私たちはキリストを通して、賛美のいけにえ、すなわち御名をたたえるくちびるの果実を、神に絶えずささげようではありませんか。
16 善を行なうことと、持ち物を人に分けることとを怠ってはいけません。神はこのようないけにえを喜ばれるからです。
17 あなたがたの指導者たちの言うことを聞き、また服従しなさい。この人々は神に弁明する者であって、あなたがたのたましいのために見張りをしているのです。ですから、この人たちが喜んでそのことをし、嘆いてすることにならないようにしなさい。そうでないと、あなたがたの益にならないからです。
18 私たちのために祈ってください。私たちは、正しい

1 ①旧兄弟 ロマ一二・一〇、Ⅰテサ四・九、Ⅰペテ一・二
2 ①旧マタ二五・三五、ロマ一二・一三、Ⅰテモ五・一〇 ②創一八・二、一九・二、ヨブ三一・三二、マタ二五・三五
3 ①ヘブ一〇・三四、マタ二五・三六 ②コロ四・一八
4 ①Ⅰコリ七・二、旧Ⅰテモ四・三、二、Ⅰテサ四・六 ②旧Ⅰコリ六・九、ガラ五・一九、二、Ⅰテサ四・六
5 ①旧Ⅰテモ六・三、旧エペ五・三、コロ三・五、②旧ピリ四・一二 ③申三一・六、ヨシ一・五
6 ①詩一二八・六
7 ①ルカ六・一七、②ヘブ一三・七、一四 *別訳「終わり」 ③ヘブ六・一二
8 ①旧Ⅱコリ一・九、ヘブ一・一二
9 ①エペ四・一四、旧ユダ三 ②旧コロ二・六、③Ⅱコリ一・三、コロ三・一六、④旧ヘブ九・一〇
10 ①旧ヘブ六・五、②旧Ⅰコリ一〇・一八
11 ①出二九・一四、レビ四・一二、二一・九、二二・七、民一九・三、七
12 ①ヘブ九・一二、②旧エペ五・二六 旧ヨハ一・七 ③旧ヨハ一・七
13 ①ヘブ一一・二六 旧ヘブ一三・一 ルカ六・二二
14 ①ヘブ一〇・三四、一三・一四、②ヘブ一一・一〇、一六、一三・一四、旧ヘブ一一・五 旧エペ二・一九
15 ①Ⅰペテ二・五、②レビセ・一二 *直訳「告白する」 ③イザ五七・一九、ホセ一四・二
16 ①旧ロマ一二・一三、旧ピリ四・一八
17 ①ヘブ三七・一三、旧Ⅰコリ一六・一六、②イザ六二・六、エゼ三三・七、使二〇・二八
18 ①旧Ⅰテサ五・二五 ②旧使二四・一六、Ⅰテモ一・五

い良心を持っていると確信しており、何事についても正しく行動しようと願っているからです。
19 また、もっと祈ってくださるよう特にお願いします。それだけ、私があなたがたのところに早く帰れるようになるからです。
20 永遠の契約の血による羊の大牧者、私たちの主イエスを死者の中から導き出された平和の神が、
21 イエス・キリストにより、御前でみこころにかなうことを私たちのうちに行ない、あなたがたがみこころを行なうことができるために、すべての良いことについて、あなたがたを完全な者としてくださいますように。どうか、キリストに栄光が世々限りなくありますように。アーメン。
22 兄弟たち。このような勧めのことばを*受けてください。私はただ手短に書きました。
23 私たちの兄弟テモテが釈放されたことをお知らせします。もし彼が早く来れば、私は彼といっしょにあなたがたに会えるでしょう。
24 すべてのあなたがたの指導者たち、また、すべての聖徒たちによろしく言ってください。イタリヤから来た人たちが、あなたがたによろしくと言っています。
25 恵みが、あなたがたすべてとともにありますように。

19 ①脚ビレ三
20 ①イザ五五・三、エレ三二・四〇、エゼ三七・二六、②ゼカ九・一一、ヘブ一三・二〇、③脚イザ六三・一一注、ヨハ一〇・一一、Ⅰペテ二・二五、④脚使二・二四、脚ロマ一〇・七、⑤脚ロマ五・三三
21 ①Ⅰヨハ三・二二、ヘブ一三・二六、②脚ピリ二・一三、③Ⅰペテ五・一〇、④脚ロマ一二・二六
22 ①脚ヘブ三・一、②ヘブ一三・一九、脚ヘブ三・一三、一〇・二五、一二・二五、使一三・一五
*別訳「こらえてください」
③脚Ⅰペテ五・一二
23 ①脚使一六・一、コロ一・一
24 ①ヘブ一三・七、一七、脚Ⅰコリ一六・一九、②脚使九・一三、③脚使一六・一二
25 ①脚コロ四・一八

ヤコブの手紙

1

1 神と主イエス・キリストのしもべヤコブが、国外に散っている十二の部族へあいさつを送ります。

2 私の兄弟たち。さまざまな試練に会うときは、それをこの上もない喜びと思いなさい。

3 信仰がためされると忍耐が生じるということを、あなたがたは知っているからです。

4 その忍耐を完全に働かせなさい。そうすれば、あなたがたは、何一つ欠けたところのない、成長を遂げた、完全な者となります。

5 あなたがたの中に知恵の欠けた人がいるなら、その人は、だれにでも惜しげなく、とがめることなくお与えになる神に願いなさい。そうすればきっと与えられます。

6 ただし、少しも疑わずに、信じて願いなさい。疑う人は、風に吹かれて揺れ動く、海の大波のようです。

7 そういう人は、主から何かをいただけると思ってはなりません。

8 そういうのは、二心のある人で、その歩む道のすべてに安定を欠いた人です。

9 貧しい境遇にある兄弟は、自分の高い身分を誇りとしなさい。

10 富んでいる人は、自分が低くされることに誇りを持ちなさい。なぜなら、富んでいる人は、草の花のように過ぎ去って行くからです。

11 太陽が熱風を伴って上って来ると、草を枯らしてしまいます。すると、その花は落ち、美しい姿は滅びます。同じように、富んでいる人も、働きの最中に消えて行くのです。

12 試練に耐える人は幸いです。耐え抜いて良しと認められた人は、神を愛する者に約束された、いのちの冠を受けるからです。

13 だれでも誘惑に会ったとき、神によって誘惑された、と言ってはいけません。神は悪に誘惑されることのない方であり、ご自分でだれを誘惑なさることもありません。

14 人はそれぞれ自分の欲に引かれ、おびき寄せられて、誘惑されるのです。

15 欲がはらむと罪を生み、罪が熟すると死を生みます。

16 愛する兄弟たち。だまされないようにしなさい。

17 すべての良い贈り物、また、すべての完全な賜物は上から来るのであって、光を造られた父から下るのです。父には移り変わりや、移り行く影はありません。

18 父はみこころのままに、真理のことばをもって私たちをお生みになりました。私たちを、いわば被造物の初穂にするためなのです。

19 愛する兄弟たち。あなたがたはそのことを知っているのです。しかし、だれでも、聞くには早く、語るには遅く、怒るには遅くありなさい。

---

1 ①テト一・一、ロマ一・一、Ⅱペテ一・一、ユダ一、②使二一・七（？）使一三・二（？）、③Ⅰペテ一・一 ヨハ七・三五（？）、④ルカ二一・三 使六・七、⑤使一五・三三

2 ①Ⅰペテ一・六、②マタ五・三 ヤコ一・三、五・一一

3 ①ヘブ一二・三、②Ⅰペテ一・七、③ルカ二一・九、④ルカ二一・九、⑤ヤコ二・三

4 ①ルカ二一・九、②マタ五・四八、ヨハ一四・二一、Ⅰテサ五・二三

5 ①Ⅰ列三・九以下、箴二・一六 ヤコ三・一七、②マタ七・七

6 ①マコ一一・二三、使一〇・二〇、②マタ二一・二一、③エペ四・一四（マタ二四・二六）

7 ①ヤコ四・八、②Ⅱペテ二・一四

8 ①Ⅰペテ一・一四、②ヤコ四・四

9 ①詩九二・一二、②Ⅰコリ七・二一

10 ①Ⅰペテ一・一四、Ⅰコリ七・三一

11 ①マタ二〇・一二、②イザ四〇・七、八 詩一〇三・一五

12 ①ヤコ五・一一、③ルカ六・二三 Ⅰペテ二・一四、一九、②Ⅰコリ二・九、六、三、③ヤコ二・五、出二〇・六、④比Ⅰコリ九・二五

13 ①比創三・一

14 ①ヨブ二一・三四、詩七・一四、イザ五八・四、②箴ロマ七・二一、六・三

15 ①ヨブ二一・三四、詩七・一四、イザ五八・四、②箴ロマ七・二一、六・三、ヤコ二・一四、出二〇・六、④比Ⅰコリ九・二五

16 ①ヤコ一・二、九、一〇、一六、一四・三、一二〇、一四・二一、五・九、使一・一五

17 ①ヤコ三・五、七、ヨハ三・三、②詩三六・七、Ⅰヨハ一・五

18 ①比ヨハ一・三、②Ⅱコリ六・七 エペ一・三、Ⅱテモ一・一五、③Ⅰペテ一・三、四、比ヤコ一・一五、④エレ二・三、黙四・四

19 ①ヤコ一・二、六、一二、一四、二一、②比ヨハ一・三

＊別訳「知っておきなさい」

箴二〇・六、七・二七

には おそく，怒るには おそいようにしなさい。
[1]20 人の 怒りは，神の 義を 実現するものでは ありません。
21 ですから，すべての 汚れや あふれる 悪を 捨て 去り，心に 植えつけられた みことばを，すなおに 受け入れなさい。みことばは，あなたがたの たましいを 救うことができます。
[1]22 また，みことばを 実行する 人に なりなさい。自分を 欺いて，ただ 聞くだけの 者で あっては いけません。
23 みことばを 聞いても 行なわない 人が いるなら，その人は 自分の 生まれつきの 顔を 鏡で 見る 人の ようです。
24 自分を ながめてから 立ち 去ると，すぐに それが どのようで あったか を 忘れて しまいます。
25 ところが，完全な 律法，すなわち 自由の 律法を 一心に 見つめて 離れない 人は，すぐに 忘れる 聞き手には ならないで，事を 実行する 人に なります。こういう 人は，その 行ないによって [2]祝福されます。
26 自分は 宗教に 熱心であると 思っても，[1]自分の 舌に くつわを かけず，自分の 心を 欺いているなら，そのような 人の 宗教は むなしいものです。
[1]27 父なる 神の 御前できよく 汚れの ない 宗教は，[2]孤児や，やもめたちが 困っているときに 世話を し，この 世から [3]自分を きよく 守ることです。

2

1 [4]私の 兄弟たち。あなたがたは 私たちの 栄光の 主 [1]イエス・キリストを 信じる [3]信仰を 持っているのですから，人を えこひいきしては いけません。
2 あなたがたの 会堂に，金の 指輪を はめ，[1]りっぱな 服装を した 人が はいって 来，またみすぼらしい 服装を した [2]貧しい 人も はいって 来たとします。
3 あなたがたが，[1]りっぱな 服装を した 人に 目を 留めて，「あなたは，こちらの 良い 席に おすわりなさい。」と 言い，貧しい 人には，「あなたは，そこで 立っていなさい。でなければ，私の 足もとに すわりなさい。」と 言うとすれば，
4 あなたがたは，自分たちの 間で 差別を 設け，[1]悪い 考え方で 人を さばく 者に なったのでは ありませんか。
5 よく 聞きなさい。愛する 兄弟たち。神は，この 世の [1]貧しい 人たちを 選んで 信仰に 富む 者とし，神を 愛する [4]者に 約束されている [5]御国を 相続する 者とされたでは ありませんか。
6 それなのに，あなたがたは 貧しい 人を 軽蔑したのです。あなたがたを しいたげるのは 富んだ 人たちでは ありませんか。また，あなたがたを 裁判所に [1]引いて 行くのも 彼らでは ありませんか。
7 [1]あなたがたが その 名で 呼ばれている 尊い 御名を けがすのも 彼らでは ありませんか。
8 もし，ほんとうに あなたがたが，聖書に 従って，「[1]あなたの 隣人を 自分と 同じように 愛せよ。」という [2]最高の 律法を 守るなら，あなたがたの 行ないは りっぱです。
9 しかし，もし 人を えこひいきするなら，あなたがたは 罪を 犯しており，[2]律法によって 違反者として 責められます。

---

2 ①旧ルカ三・二，ヤコ二・三
② ゼカ三・二
3 ①旧ルカ三・二，ヤコ二・二
4 ①旧ルカ八・六，旧ヨハ七・四
5 ①旧ヤコ一・六，②Ⅰコリ一・二七，二八，旧ヨブ三四・一九
＊直訳「に対して」
6 ①旧ルカ二三・二，黙二・九
④旧ヤコ二・二，旧ヤコ五・六
7 ①旧使二・三，旧使一一・二六
8 ①旧レビ一九・一八，②旧マタ七・一二
＊あるいは「(私たちの)王の律法」
9 ①ヤコ二・一，旧使一〇・三四
②旧申一・一七

19 ④箴八・三三，伝七・九
20 ①旧マタ五・二二，エペ四・二六
21 ①旧エペ四・二二，Ⅰペテ二・一
②Ⅰペテ一・二三，旧エペ一・二三
22 ①ヤコ一・二三一五，旧マタ七・二四一七
旧ロマ二・一三，ヤコ二・一四一二
23 ①旧Ⅰコリ一三・一二
25 ①ヤコ一・二三，旧ガラ二・四
ヨハ八・三二，旧ロマ八・二，ガラ六・一，Ⅰペテ二・一六，②旧ヨハ一三・一七
26 ①旧ヤコ三・二三，詩五一・一九
27 ①ロマ二・二三，ガラ二・一
②旧申一四・二九，ヨブ三一・一六，一七，三一，詩一四六・九，イザ一・一七，三三
③旧マタ二五・四六，④ヤコ四・四
テト二・一四，Ⅱペテ一・四，二〇
旧エペ二・一，マタ二三・三
Ⅰヨハ二・二八，一七
1 ①旧ヤコ二・六，②Ⅰコリ二・八，旧使二・三，③旧ヘブ二・三
④ヤコ二・九，旧使二〇・三四
2 ①旧ルカ三・二，ヤコ二・三
②ゼカ三・二
3 ①旧ルカ三・二，ヤコ二・二
4 ①旧ルカ八・六，旧ヨハ七・四
5 ①旧ヤコ一・六，②Ⅰコリ一・二七，二八，旧ヨブ三四・一九
＊直訳「に対して」
6 ①旧ルカ三・二，黙二・九
④旧ヤコ二・二，旧ヤコ五・六
7 ①旧使二・三，旧使一一・二六
8 ①旧レビ一九・一八，②旧マタ七・一二
＊あるいは「(私たちの)王の律法」
9 ①ヤコ二・一，旧使一〇・三四
②旧申一・一七

10 律法全体を守っても、一つの点でつまずくなら、その人はすべてを犯した者となったのです。
11 なぜなら、「姦淫してはならない。」と言われた方は、[2]「殺してはならない。」とも言われたからです。そこで、姦淫しなくても人殺しをすれば、あなたは律法の違反者となったのです。
12 自由の律法によってさばかれる者らしく語り、またそのように行ないなさい。
13 あわれみを示したことのない者に対するさばきは、あわれみのないさばきです。あわれみは、さばきに向かって勝ち誇るのです。
14 私の兄弟たち。だれかが自分には信仰があると言っても、その人に行ないがないなら、何の役に立ましょう。そのような信仰がその人を救うことができるでしょうか。
15 もし、兄弟また姉妹のだれかが、着る物がなく、また、毎日の食べ物にもこと欠いているようなときに、
16 あなたがたのうちだれかが、その人たちに、「安心して行きなさい。暖かになり、十分に食べなさい。」と言っても、もしからだに必要な物を与えないなら、何の役に立つでしょう。
17 それと同じように、信仰も、もし行ないがなかったなら、それだけでは、死んだものです。
18 さらに、こう言う人もあるでしょう。「あなたは信仰を持っているが、私は行ないを持っています。行ないのないあなたの信仰を、私に見せてください。私は、行ないによって、私の信仰をあなたに見せてあげます。」
19 あなたは、神はおひとりだと信じています。りっぱなことです。ですが、悪霊どももそう信じて、身震いしています。
20 ああ愚かな人よ。あなたは行ないのない信仰がむなしいことを知りたいと思いますか。
21 私たちの父アブラハムは、その子イサクを祭壇にささげたとき、行ないによって義と認められたではありませんか。
22 あなたの見ているとおり、彼の信仰は彼の行ないとともに働いたのであり、信仰は行ないによって全うされ、
23 そして、「アブラハムは神を信じ、その信仰が彼の義とみなされた。」という聖書のことばが実現し、彼は神の友と呼ばれたのです。
24 人は行ないによって義と認められるのであって、信仰だけによるのではないことがわかるでしょう。
25 同様に、遊女ラハブも、使者たちを招き入れ、別の道から送り出したため、その行ないによって義と認められたではありませんか。
26 たましいを離れたからだが、死んだものであるのと同様に、行ないのない信仰は、死んでいるのです。

3

1 私の兄弟たち。多くの者が教師になってはいけません。ご承知のように、私たち教師は、格別きびしいさばきを受けるので

10 ①ヤコ二・二、Ⅱペテ一・一〇
ユダ二四、②出ガラ二〇・一三、マタ五・二九
11 ①出二〇・一四、申五・一八、②出二〇・一三、申五・一七
12 ①出ガラ二〇・一八・三二五
ル九六・七、八、出箴二一・三
13 ①出マタ五・七、八、②出ヤコ一・二六、③出ヤコ二・一六、②出ヤコ一・三以下
14 ①出ヤコ二・一六、②出ヤコ一・二
15 ①マタ三五・三六、出ルカ三・二
16 ①Ⅰヨハ三・一七、一八
17 ①出ガラ二〇、六、ヤコ二・二六
18 ①出ロマ九・六、②出ロマ三・二八、四・六、出ヘブ一一・三
③出マタ七・一六、七、ガラ五・六
④出ヤコ三・一三
19 ①出申六・四、出マコ一二・二九
②出ヤコ二・八、③マタ八・二九
マコ一・二四、五・七、ルカ四・三四
出使一六・二八
20 ①出ロマ二・一、Ⅰコリ一五・二六、②出ガラ二〇、五、ヤコ二・一七、二六
21 ①創二二・九、一〇、一二、二六・一八
22 ①出ヘブ一一・一七、ヨハ六・二九
②出Ⅰテサ一・三
23 ①創一五・六、出ロマ四・三
②イザ四一・八、Ⅱ歴二〇・七
25 ①ヘブ一一・三一、ヤ二・二五
26 ①出ガラ三・六、ヤコ二・一七、二〇
①出ヤコ一・六、一七
②出マタ三・八、ロマ三・二〇、二一、Ⅰテモ一・七

す。
2 私たちはみな、多くの点で失敗をするものです。もし、ことばで失敗をしない人がいたら、その人は、からだ全体もりっぱに制御できる完全な人です。
3 馬を御するために、くつわをその口にかけると、馬のからだ全体を引き回すことができます。
4 また、船を見なさい。あのように大きな物が、強い風に押されているときでも、ごく小さなかじによって、かじを取る人の思いどおりの所へ持って行かれるのです。
5 同様に、舌も小さな器官ですが、大きなことを言って誇るのです。ご覧なさい。あのように小さい火があのような大きい森を燃やします。
6 舌は火であり、不義の世界です。舌は私たちの器官の一つですが、からだ全体を汚し、人生の車輪を焼き、そしてゲヘナの火によって焼かれます。
7 どのような種類の獣も鳥も、はうものも海の生き物も、人類によって制せられるし、すでに制せられています。
8 しかし、舌を制御することは、だれにもできません。それは少しもじっとしていない悪であり、死の毒に満ちています。
9 私たちは、舌をもって、主であり父である方をほめたたえ、同じ舌をもって、神にかたどって造られた人をのろいます。
10 賛美とのろいが同じ口から出て来るのです。私の兄弟たち。このようなことは、あってはなりません。
11 泉が甘い水と苦い水を同じ穴からわき上がらせるというようなことがあるでしょうか。
12 私の兄弟たち。いちじくの木がオリーブの実をならせたり、ぶどうの木がいちじくの実をならせたりするようなことは、できることでしょうか。塩水が甘い水を出すこともできないことです。
13 あなたがたのうちで、知恵のある、賢い人はだれでしょうか。その人は、その知恵にふさわしい柔和な行ないを、良い生き方によって示しなさい。
14 しかし、もしあなたがたの心の中に、苦いねたみと敵対心があるならば、誇ってはいけません。真理に逆らって偽ることになります。
15 そのような知恵は、上から来たものではなく、地に属し、肉に属し、悪霊に属するものです。
16 ねたみや敵対心のあるところには、秩序の乱れや、あらゆる邪悪な行ないがあるからです。
17 しかし、上からの知恵は、第一に純真であり、次に平和、寛容、温順であり、また、あわれみと良い実とに満ち、えこひいきがなく、見せかけのないものです。
18 義の実を結ばせる種は、平和をつくる人によって平和のうちに蒔かれます。

4

1 何が原因で、あなたがたの間に戦いや争いがあるのでしょう。あなたがたのからだの中で戦う欲望が原因ではありませんか

2 ①ヤコ三・三、四、四マタ三・二四―七、②箴ヤコ二・一〇
③四ヤコ一・二六　④ヤコ一・四
3 ①詩三二・九
4 ①詩一〇三・一四、一四七・三、箴ヤコ三・四、五
5 ①詩一〇三・一四、一四七・三、箴六・一七―一九
6 ①詩三一・一三、箴六・一七
②マタ一五・一八以下
四マタ三・一二、三
7 ①詩一〇四・一四、ロマ三・一三、伝一〇・一一
8 ①詩一四〇・三、ロマ三・一三、伝一〇・一一
9 ①四ヤコ一・一七、②箴一コリ一一・七
10 ①箴ヤコ三・一〇、四マタ一二・三四―三七
11 ①箴ヤコ三・一一、四マタ七・一六
12 ①四マタ七・一六
13 ①四Ⅰペテ二・一二、②四ヤコ一・一六
14 ①ヤコ三・一六、箴ロマ二・八、四Ⅱコリ一二・二〇、②ヤコ五・一九、四Ⅱコリ一二・六、箴Ⅰテモ三・四
15 ①箴ヤコ一・一七、②四Ⅰコリ二・六、三・一九、③四Ⅱコリ一・一二、ユダ一九
★あるいは「霊的でなく」
④四Ⅱテサ二・八、一〇、Ⅰテモ四・一、黙二・二四
16 ①ヤコ三・一四、箴ロマ二・八、四Ⅱコリ一二・二〇
17 ①箴ヤコ一・一七、②四マタ五・四八、ヘブ二・一一、③四マタ五・九、ピリ四・五、④箴テト一・八、四ヤコ一・三、⑤ルカ六・三六、四ヤコ三・一七、⑥四ヤコ三・一八、Ⅱコリ一〇・一、⑦ロマ一二・九、Ⅱコリ六・六
18 ①箴箴一二・八、イザ三二・一七、ホセ一〇・一二、アモ六・一二、ピリ一・一一、ガラ六・八
★あるいは「のために」
1 ①テト三・九、②箴ヤコ四・三

か。
2 あなたがたは、ほしがっても自分のものにならないと、[1]人殺しをするのです。うらやんでも手に入れることができないと、争ったり、戦ったりするのです。あなたがたのものにならないのは、あなたがたが願わないからです。
3 願っても受けられないのは、自分の快楽のために使おうとして、悪い動機で願うからです。
4 貞操のない人たち。[2]世を愛することは神に敵することであることがわからないのですか。世の友となりたいと思ったら、その人は自分を神の敵としているのです。
5 それとも、「神は、私たちのうちに住まわせた御霊を、ねたむほどに慕っておられる。」という聖書のことばが、無意味だと思うのですか。
6 しかし、神は、さらに豊かな恵みを与えてくださいます。ですから、こう言われています。「神は、高ぶる者を退け、へりくだる者に恵みをお授けになる。」
7 ですから、神に従いなさい。そして、悪魔に立ち向かいなさい。そうすれば、悪魔はあなたがたから逃げ去ります。
8 神に近づきなさい。そうすれば、神はあなたがたに近づいてくださいます。罪ある人たち。手を洗いきよめなさい。二心の人たち。心をきよくしなさい。
9 あなたがたは、苦しみなさい。悲しみなさい。泣きなさい。あなたがたの笑いを悲しみに、喜びを憂いに変えなさい。
10 主の御前でへりくだりなさい。そうすれば、主があなたがたを高くしてくださいます。
11 兄弟たち。互いに悪口を言い合ってはいけません。自分の兄弟の悪口を言い、自分の兄弟をさばく者は、律法の悪口を言い、律法をさばいているのです。あなたが、もし律法をさばくなら、律法を守る者ではなくて、さばく者です。
12 律法を定め、さばきを行なう方は、ただひとりであり、その方は救うことも滅ぼすこともできます。隣人をさばくあなたは、いったい何者ですか。
13 聞きなさい。「きょうか、あす、これこれの町に行き、そこに一年いて、商売をして、もうけよう。」と言う人たち。
14 あなたがたには、あすのことはわからないのです。あなたがたのいのちは、いったいどのようなものですか。あなたがたは、しばらくの間現われて、それから消えてしまう霧にすぎません。
15 むしろ、あなたがたはこう言うべきです。「主のみこころなら、私たちは生きていて、このことを、または、あのことをしよう。」
16 ところがこのとおり、あなたがたはむなしい誇りをもって高ぶっています。そのような高ぶりは、すべて悪いことです。
17 こういうわけで、なすべき正しいことを知っていながら行なわないなら、それはその人の罪です。

2 ①Ⅰヨハ三・一五、旧ヤコ五・六
3 ①旧Ⅰヨハ三・三、五・二四
4 ①旧イザ五四・五、エレ三・二
エゼ二六・三、②旧ヤコ一・二七
③ロマ八・七、旧Ⅰヨハ二・一五
④旧ヨハ一五・一九、旧マタ六・二四
5 * 別訳「神が私たちのうちに住まわせた御霊は、ねたむほどに(私たちを)慕い求めておられる」
①Ⅰコリ六・一九、旧Ⅱコリ六・一六、②旧民三・一九
6 ①イザ五五・七、八、旧マタ三・二、②箴三・三四、Ⅰペテ五・五
旧詩一三八・六、マタ二三・一二
7 ①旧Ⅰペテ五・六、②Ⅰペテ五・八、九、旧エペ六・一一、一三
8 ①Ⅱ歴一五・二、ゼカ一・三
マラ三・七、旧ヘブセ・九
②イザ一・一六、旧ヨブ一七・九
旧テモ二八、③ヤコ一・八
④エレ四・一四、旧Ⅰペテ一・一三
Ⅰヨハ三・三、旧ヤコ三・七
9 ①旧ルカ六・二五、旧箴一四・一三
ネヘ八・九
10 ①ヤコ四・六、ヨブ五・一一
旧エゼ二一・二六、ルカ一・五二
11 ①ヤコ五・九、一〇、旧ヤコ一・二六、②Ⅱコリ一三・一〇、Ⅰペテ二・一、旧ヤコ五・九、③マタ七・一
ロマ一四・四、④旧ヤコ一・八
⑤旧ヤコ一・二三
12 ①イザ三三・二二、旧ヤコ五・九
②マタ一〇・二八、③ロマ一四・四
13 ①旧箴七・二、ルカ一二・一八一九
14 * 異本「あす、あなたがたのいのちは、どのようなものであるか」
①詩一〇三・一五、旧ヨブセ・七、詩一〇二・一二四、一四四
15 ①旧使一八・二一
16 ①旧Ⅰコリ五・六
17 ①旧ルカ一二・四七、四八、Ⅱペテ二・二一、旧ヨハ九・四一

5

1 聞きなさい。金持ちたち。あなたがたの上に迫って来る悲惨を思って泣き叫びなさい。
2 あなたがたの富は腐っており、あなたがたの着物は虫に食われており、
3 あなたがたの金銀にはさびが来て、そのさびが、あなたがたを責める証言となり、あなたがたの肉を火のように食い尽くします。あなたがたは、終わりの日に財宝をたくわえました。
4 見なさい。あなたがたの畑の刈り入れをした労働者への未払い賃金が、叫び声をあげています。そして、取り入れをした人たちの叫び声は、万軍の主の耳に届いています。
5 あなたがたは、地上でぜいたくに暮らし、快楽にふけり、殺される日にあたって自分の心を太らせました。
6 あなたがたは、正しい人を罪に定めて、殺しました。彼はあなたがたに抵抗しません。
7 こういうわけですから、兄弟たち。主が来られる時まで耐え忍びなさい。見なさい。農夫は、大地の貴重な実りを、秋の雨や春の雨が降るまで、耐え忍んで待っています。
8 あなたがたも耐え忍びなさい。心を強くしなさい。主の来られるのが近いからです。
9 兄弟たち。互いにつぶやき合ってはいけません。さばかれないためです。見なさい。さばきの主が、戸口のところに立っておられます。
10 苦難と忍耐については、兄弟たち、主の御名によって語った預言者たちを模範にしなさい。
11 見なさい。耐え忍んだ人たちは幸いであると、私たちは考えます。あなたがたは、ヨブの忍耐のことを聞いています。また、主が彼になさったことの結末を見たのです。主は慈愛に富み、あわれみに満ちておられる方だということです。
12 私の兄弟たちよ。何よりもまず、誓わないようにしなさい。天をさしても地をさしても、そのほかの何をさしてもです。ただ、「はい。」を「はい。」、「いいえ。」を「いいえ。」としなさい。それは、あなたがたが、さばきに会わないためです。
13 あなたがたのうちに苦しんでいる人がいますか。その人は祈りなさい。喜んでいる人がいますか。その人は賛美しなさい。
14 あなたがたのうちに病気の人がいますか。その人は教会の長老たちを招き、主の御名によって、オリーブ油を塗って祈ってもらいなさい。
15 信仰による祈りは、病む人を回復させます。主はその人を立たせてくださいます。また、もしその人が罪を犯していたなら、その罪は赦されます。
16 ですから、あなたがたは、互いに罪を言い表わし、互いのために祈りなさい。いやされるためです。義人の祈りは働くと、大きな力があります。
17 エリヤは、私たちと同じような人でしたが、雨が降

1 ①ルカ六・二四、Ⅱテモ六・九
2 ①イザ三・六、ヤコ三・二
3 ①マタ六・一九、二〇
4 ①レビ一九・一三、ヨブ三四・一〇、一一、エレ二二・一三、マラ三・五、②申二四・一五、ヨブ三一・六以下、Ⅱ出二二・二三、③ロマ九・二九
5 ①ルカ六・二五、Ⅱペテ二・一三、Ⅰテモ五・六、②エゼ二一・一五、二三・四二、ヤコ四・八
6 ①ヘブ一〇・二九、Ⅰペテ四・八、②Ⅱ出二・一二、ヨブ二二・九
7 ①箴ヤコ四・二一、五・九、一〇、②箴ヨハ二・三、Ⅱヨハ八、③箴ガラ六・九、④申二一・二二、エレ五・二四、ヨエ二・二三
8 ①Ⅱルカ二一・二八、②Ⅰテサ三・Ⅱ一、③箴ヨハ二一・三、Ⅰテサ三・一三、Ⅰペテ四・七、④箴ロマ一三・一二、Ⅱペテ三・七、⑤ヤコ四・二、箴Ⅰコリ四・五、Ⅰペテ四・五
9 ①箴ヤコ四・一一、②Ⅱペテ二・一〇、箴Ⅰコリ四・五、Ⅰペテ四・五、④出二四・六、詩一〇三・八
10 ①箴ヤコ四・一〇、②箴マタ五・一二
11 ①マタ五・一〇、Ⅰペテ二・一四、②ヨブ四二・一二、一三、一〇、④出三四・六、詩一〇三・八
12 ①マタ五・三四、②箴ヤコ一・一八
13 ①Ⅱ出ヤコ三・一〇、②詩五〇・一五、Ⅰコロ一四・一五
14 ①箴使一二・一三、②マコ六・一三
15 ①Ⅱ出マコ一・六、②箴Ⅰコリ一二、Ⅱ出ヤコ三・二(?)、③箴ヨハ六・三五、Ⅱコリ四・一四(?)
16 ①マタ三・六、マコ一・五、使一九・一八、②Ⅱ出ヘブ一二・一三、③創二八・一三等
17 ①箴使一四・一五、②Ⅰ列一七・一、一八・一

らないように祈ると、[3]三年六か月の間、地に雨が降りませんでした。
18そして、[1]再び祈ると、[2]天は雨を降らせ、地はその実を実らせました。
19私の兄弟たち。[1]あなたがたのうちに、[2]真理から迷い出た者がいて、だれかがその人を連れ戻すようなことがあれば、
20罪人を迷いの道から引き戻す者は、罪人のたましいを死から[1]救い出し、また、多くの罪をおおうのだということを、あなたがたは知っていなさい。

17 ③ルカ四・二五
18 ①Ⅰ列一八・四二、②Ⅰ列一八・四五
19 ①比マタ一八・一五、ガラ六・一 ②雲ヤコ三・二四
20 ①雲ロマ二・二四、Ⅰコリ一・二、比ヤコ一・三、②Ⅰペテ四・八

ペテロの手紙　第一

1

1 イエス・キリストの使徒ペテロから、ポント、ガラテヤ、カパドキヤ、アジヤ、ビテニヤに散って寄留している、選ばれた人
2 父なる神の予知に従い、御霊のきよめによって、イエス・キリストに従うように、またその血の注ぎかけを受けるように選ばれた人々へ。どうか、恵みと平安が、あなたがたの上にますます豊かにされますように。
3 私たちの主イエス・キリストの父なる神がほめたたえられますように。神は、ご自分の大きなあわれみのゆえに、イエス・キリストが死者の中からよみがえられたことによって、私たちを新しく生まれさせて、生ける望みを持つようにしてくださいました。
4 また、朽ちることも汚れることも、消えて行くこともない資産を受け継ぐようにしてくださいました。これはあなたがたのために、天にたくわえられているのです。
5 あなたがたは、信仰により、神の御力によって守られており、終わりのときに現わされるように用意されている救いをいただくのです。
6 そういうわけで、あなたがたは大いに喜んでいます。ただ、いましばらくの間は、やむをえず、さまざまの試練のために、悩まされていますが、
7 信仰の試練は、火を通して精練されてもなお朽ちて行く金よりも尊いのであって、イエス・キリストの現われのときに称賛と光栄と栄誉に至るものであることがわかるのです。
8 あなたがたはイエス・キリストを見たことはないけれども愛しており、いま見てはいないけれども信じており、ことばに尽くすことのできない、栄えに満ちた喜びにおどっています。
9 これは、信仰の結果である、*たましいの救いを得ているからです。
10 この救いについては、あなたがたに対する恵みについて預言した預言者たちも、熱心に尋ね、細かく調べました。
11 彼らは、自分たちのうちにおられるキリストの御霊が、キリストの苦難とそれに続く栄光を前もってあかしされたとき、だれを、また、どのような時をさして言われたのかを調べたのです。
12 彼らは、それらのことが、自分たちのためではなく、あなたがたのための奉仕であるとの啓示を受けました。そして今や、それらのことは、天から送られた聖霊によってあなたがたに福音を語った人々を通して、あなたがたに告げ知らされたのです。それは御使いたちもはっきり見たいと願っていることなのです。
13 ですから、あなたがたは、心を引き締め、身を慎み、イエス・キリストの現われのときあなたがたにもたらされる恵みを、ひたすら待ち望みなさい。

1 ①Ⅱペテ・一・一、②使徒二・九
③使徒一六・六、④使徒一六・七
⑤使Ⅰペテ・一・一、(ヤ)、⑦使マタ二四・三一、ルカ一八・七
2 ①ロマ八・二九、Ⅰペテ・一・一〇
②Ⅱテサ二・一三、③Ⅰペテ・一・一四、二・一二、ロマ一五・一六、一六・一九
④使ヘブ一〇・二二、二三
⑤Ⅱペテ・二
3 ①Ⅱコリ一・三、②テト一・二
③比ガラ六・一六、③Ⅰペテ・一・三
④Ⅰコリ五・八、④Ⅰペテ・一・三、二・二、⑤Ⅰペテ・一・六、比ヨハ三・二
4 ①Ⅰペテ一四、②使二〇・三二
ロマ八・一七、コロ三・二四
③Ⅱテモ四・八、比ブ一・一六
5 ①エペ二・八、②ピリ四・七
比ヨハ一〇・二八、③Ⅰペテ四・一三、五・一、ロマ八・一八、④使Ⅰコリ一・二一、Ⅱテサ二・一三
6 ①ロマ五・二、②Ⅰペテ二・一〇
比Ⅰペテ四・一三、④ヤコ一・二
7 ①ヤコ一・三、*別訳「純粋さ」
②ヨブ二三・一〇、詩六六・一〇、箴マラ三・二、イザ四八・一〇、ゼカ一三・九
比Ⅰペテ一・六、Ⅰコリ三・一三
③Ⅰペテ一・三、黙三・一八
ルカ七・三五、④比ロマ二・七、一〇
Ⅱコリ四・一七、ヘブ一二・一一
8 ①ヨハ二〇・二九、②比エペ一・一九
9 ①ロマ六・二二、*異本「あなたがたのしを加える
10 ①Ⅰペテ一・一二、比マタ一三・一七、ルカ一〇・二四、②Ⅰペテ一・一、比ロマ一六・二五、③使マタ六・一一、ルカ二四・四四
11 ①ロマ八・九、比Ⅱペテ一・二一
②使マタ二六・二四、*別訳「いつ
12 ①使一・二、②Ⅰペテ一・二五、六
③比ルカ一・二、エペ二・一〇
13 ①使一・二、②Ⅰペテ四・七、エペ六・一八、Ⅰテサ五・六、Ⅱテモ四・八、比ロマ一三・一一、テト二・一三、③Ⅰペテ一・七

たらされる恵みを、ひたすら待ち望みなさい。
14 従順な子どもとなり、以前あなたがたが無知であったときのさまざまな欲望に従わず、
15 あなたがたを召してくださった聖なる方にならって、あなたがた自身も、あらゆる行ないにおいてきよくなりなさい。
16 それは、「わたしが聖であるから、あなたがたも、聖でなければならない。」と書いてあるからです。
17 また、人をそれぞれのわざに従って公平にさばかれる方を父と呼んでいるのなら、あなたがたが地上にしばらくとどまっている間の時を、恐れかしこんで過ごしなさい。
18 ご承知のように、あなたがたが先祖から伝わったむなしい生き方から贖い出されたのは、銀や金のような朽ちる物にはよらず、
19 傷もなく汚れもない小羊のようなキリストの、尊い血によったのです。
20 キリストは、世の始まる前から知られていましたが、この終わりの時に、あなたがたのために、現われてくださいました。
21 あなたがたは、死者の中からこのキリストをよみがえらせて彼に栄光を与えられた神を、キリストによって信じる人々です。このようにして、あなたがたの信仰と希望は神にかかっているのです。
22 あなたがたは、真理に従うことによって、たましいをきよめ、偽りのない兄弟愛を抱くようになったのですから、互いに心から熱く愛し合いなさい。
23 あなたがたが新しく生まれたのは、朽ちる種からではなく、朽ちない種からであり、生ける、いつまでも変わることのない、神のことばによるのです。
24 「人はみな草のようで、その栄えは、みな草の花のようだ。草はしおれ、花は散る。
25 しかし、主のことばは、とこしえに変わることがない。」
とあるからです。あなたがたに宣べ伝えられた福音のことばがこれです。

2

1 ですから、あなたがたは、すべての悪意、すべてのごまかし、いろいろな偽善やねたみ、すべての悪口を捨てて、
2 生まれたばかりの乳飲み子のように、純粋な、みことばの乳を慕い求めなさい。それによって成長し、救いを得るためです。
3 あなたがたはすでに、主がいつくしみ深い方であることを味わっているのです。
4 主のもとに来なさい。主は、人には捨てられたが、神の目には、選ばれた、尊い、生ける石です。
5 あなたがたも生ける石として、霊の家に築き上げられなさい。そして、きよい祭司として、イエス・キリストを通して、神に喜ばれる霊のいけにえをささげなさい。

---

1) 1:14 ①参Iペテ一・一 ②参エペ四・一八、③参ロマ一二・二、比Iペテ四・二、三
2) 1:14 ①参Iペテ一・二 ②参エペ四・一八、③参ロマ一二・二、比Iペテ四・二、三
3) 1:15 ①テサ四・七、Ⅱコリセ・一 ②ヤコ三・一三、③比Ⅱコリセ・一
4) 1:16 ①レビ一一四四、四五、一九・二、三七 ②参マタ六・一七 ③詩九九・二六、エレ三・二九、マラ一・六、マタ六・九、④参Iペテ一・一五、比ペテ二・二六
5) 1:17 ①参使一〇・三四、一七・三一、比Iペテ一・二、Ⅰコリセ・二、テト二・一四等
6) 1:18 ①参エペ五四・七、②イザ五二・三 ②使三・一六、比Iペテ一・二
7) 1:19 ①参マタ二六・二八、②使三・二三 比Iペテ一・二、エペ一・七
8) 1:20 ①参マタ二五・三四、②参使二・二三 黙三・八、③参ヘブ九・二六
9) 1:21 ①ヘブ二・九、比Iテモ三・一六 ヨハ七・九、二四、②参ロマ四・二四、二〇・九、③参Iペテ一・三
10) 1:22 ①参Iペテ一・二、②比ヤコ五四・八 ③参Iヨハ三・一〇、ロマ一二・一〇
11) 1:23 ①参Iペテ一・三、参ヨハ三・三 ②ヨハ一・一三、③参ヘブ一一・三
12) 1:24 ①イザ四〇・以下、参ヤコ一・一〇、一一
13) 1:25 ①ヘブ六・一二、②参エペ五四・三、ヤコ一・二一
14) 1:1 ①比マタ一二・九・一四等 ②参Iコリ一二・一 *別訳「霊的な」、③比エペ五四・一六、一七、テト三・五
15) 1:2 ①比ヘブ六・五 ②比ペテ三・七
16) 1:3 ①参Iコリ一六、一〇 ②参Iテモ一・二、比ガラ六・一〇 *別訳「あなたがた自身を……築き上げなさい」
17) 1:4 ①Iペテ二・六、比イザ二八・一六、六二・一、黙二一・一六、②ヘブ三・一五 比ロマ一二・一六
18) 1:5 ①参エペ五四・七、②イザ五二・三 Iコリ六・一〇、テト三・一四等
19) 1:6 ①参ヨハ一・三九、ヘブ九・一四 ②使一〇・三六、比Iペテ一・二
20) 1:7 ①参マタ二五・三四、②参使三・三三 比Iペテ一・三、エペ一・一四
21) 1:8 ①ヘブ三・九、比Iテモ三・一六 ヨハ七・九、二四、②参ロマ四・二四、二〇・九、③参Iペテ一・三
22) 1:9 ①参Iペテ一・三、②比ヤコ五四・八 ③参Iヨハ三・一〇、ロマ三・一〇 *異本「きよい心から」
23) 1:10 ①参Iペテ一・三、参ヨハ三・三 ②ヨハ一・一三、③参ヘブ一一・三
24) 1:11 イザ四〇・以下、参ヤコ一・一〇、一一
25) 1:12 ①ヘブ六・一二、②参エペ五四・三、ヤコ一・二一
1) 2:1 ①比マタ一二・九・一四等 ②参Iコリ一二・一 *別訳「霊的な」、③比エペ五四・一六、一七、テト三・五
2) 2:2 ①比ヘブ六・五 ②比ペテ三・七
3) 2:3 ①参Iコリ一六、一〇 ②参Iテモ一・二、比ガラ六・一〇 *別訳「あなたがた自身を……築き上げなさい」
4) 2:4 ①Iペテ二・六、比イザ二八・一六、六二・一、黙二一・一六、②ヘブ三・一五 比ロマ一二・一六

6 なぜなら、聖書にこうあるからです。
「[1]見よ。わたしはシオンに、選ばれた石、
[2]尊い礎石を置く。
彼に信頼する者は、
決して失望させられることがない。」
7 [1]したがって、より頼んでいるあなたがたには尊いものですが、より頼んでいない人々にとっては、
「[2]家を建てる者たちが捨てた石、
[3]それが礎の石となった。」
のであって、
8 「つまずきの石、妨げの岩。」なのです。彼らがつまずくのは、みことばに従わないからですが、[3]またそうなるように定められていたのです。
9 しかし、あなたがたは、[1]選ばれた種族、王である[2]祭司、[3]きよい国民、[4]神の所有とされた民です。それは、[5]あなたがたを、やみの中から、ご自分の驚くべき光の中に招いてくださった方のすばらしいみわざを、あなたがたが宣べ伝えるためなのです。
10 [1]あなたがたは、以前は神の民ではなかったのに、今は神の民であり、以前はあわれみを受けない者であったのに、今はあわれみを受けた者です。
11 [1]愛する者たちよ。[2]あなたがたにお勧めします。旅人であり寄留者であるあなたがたは、[3]たましいに戦いをいどむ肉の欲を遠ざけなさい。[4]
12 [1]異邦人の中にあって、りっぱにふるまいなさい。そうすれば、[2]彼らは、何かのことであなたがたを悪人呼ばわりしていても、あなたがたのそのりっぱな行ないを見て、おとずれの日に[3]神をほめたたえるようになります。
13 人の立てたすべての制度に、[1]主のゆえに従いなさい。それが主権者である王であっても、
14 [1]また、悪を行なう者を罰し、善を行なう者をほめるように王から遣わされた総督であっても、*そうしなさい。
15 というのは、善を行なって、[1]愚かな人々の無知の口を封じることは、[2]神のみこころだからです。
16 あなたがたは自由人として行動しなさい。[1]その自由を、悪の口実に用いないで、[2]神の奴隷として用いなさい。
17 [1]すべての人を敬いなさい。[2]兄弟たちを愛し、[3]神を恐れ、[4]王を尊びなさい。
18 [1]しもべたちよ。尊敬の心を込めて主人に服従しなさい。善良で優しい主人に対してだけでなく、横暴な[1]主人に対しても従いなさい。
19 [1]人がもし、不当な苦しみを受けながらも、神の前における良心のゆえに、悲しみをこらえるなら、それは喜ばれることです。
20 罪を犯したために打ちたたかれて、それを耐え忍んだからといって、何の誉れになるでしょう。けれども、善を行なっていて苦しみを受け、それを耐え忍ぶとしたら、[1]それは、神に喜ばれることです。
21 あなたがたが召されたのは、実にそのためです。キリストも、あなたがたのために苦しみを受け、[1]その足

---

6 ①イザ 28・16、㊐ロマ 9・33、1ペテ 2・6
*あるいは「恥をこうむる」
7 ①1ペテ 2・4、7、㊐マタ 21・42、㊐ルカ 20・17、㊐使 4・11、②㊐詩 118・22、③㊐Ⅰコリ 1・23、㊐ガラ 5・11、③㊐ロマ 9・33
8 ①イザ 8・14、②㊐Ⅰコリ 1・23、③㊐ロマ 9・32、㊐ヨハ 12・39、㊐イザ 6・10、㊐ロマ 11・7、㊐イザ 29・10、㊐ロマ 11・8
9 ①申 10・15、イザ 43・20、②1ペテ 2・5、㊐黙 1・6、㊐イザ 61・6、③出 19・6、申 7・6、④㊐テト 2・14、⑤㊐使 26・18、㊐イザ 43・21、Ⅱコリ 4・6
10 ①ホセ 1・10、2・23、㊐ロマ 9・25、㊐ロマ 10・19、Ⅰペテ 2・3
11 ①㊐ヘブ 13・14、②㊐ロマ 12・1、③㊐レビ 25・23、詩 39・12、1ペテ 1・17、ヘブ 11・13、㊐1ペテ 2・25、4・3、㊐ロマ 7・23、㊐ガラ 5・17
12 ①㊐1ペテ 3・16、Ⅱコリ 1・12、ピリ 2・15、テト 2・8、②㊐使 6・3、③イザ 10・3、ルカ 19・44、④1ペテ 2・12、マタ 5・16、㊐ヨハ 15・8
13 ①㊐ロマ 13・1
14 ①ロマ 13・4、②ロマ 13・3
*「そうしなさい」は補足
15 ①㊐1ペテ 2・12、②㊐1ペテ 3・16
16 ①㊐ヨハ 8・33、ヤコ 1・25、②Ⅰコリ 7・22、㊐ロマ 6・18
17 ①㊐ロマ 12・10、13・7、②㊐1ペテ 2・12、3・15、③箴 24・21、④箴 24・21、㊐マタ 22・21、1ペテ 2・13
18 ①㊐エペ 6・5、②㊐ヤコ 3・17、③㊐1ペテ 2・18、㊐ロマ 13・3
19 ①㊐1ペテ 2・20、②㊐ヤコ 1・12、㊐ロマ 5・3
20 ①1ペテ 2・19
21 ①1ペテ 2・19、㊐使 4・11、②1ペテ 2・24、㊐1ペテ 3・18、③㊐マタ 20・28、㊐ロマ 5・6、8

跡に従うようにと、あなたがたに模範を残されました。
22 キリストは罪を犯したことがなく、その口に何の偽りも見いだされませんでした。
23 ののしられても、ののしり返さず、苦しめられても、おどすことをせず、正しくさばかれる方にお任せになりました。
24 そして自分から十字架の上で、私たちの罪をその身に負われました。それは、私たちが罪を離れ、義のために生きるためです。キリストの打ち傷のゆえに、あなたがたは、いやされたのです。
25 あなたがたは、羊のようにさまよっていましたが、今は、自分のたましいの牧者であり監督者である方のもとに帰ったのです。

3

1 同じように、妻たちよ。自分の夫に服従しなさい。たとい、みことばに従わない夫であっても、妻の無言のふるまいによって、神のものとされるようになるためです。
2 それは、あなたがたの、神を恐れかしこむきよい生き方を彼らが見るからです。
3 あなたがたは、髪を編んだり、金の飾りをつけたり、着物を着飾るような外面的なものでなく、
4 むしろ、柔和で穏やかな霊という朽ちることのないものを持つ、心の中の隠れた人がらを飾りにしなさい。これこそ、神の御前に価値あるものです。
5 むかし神に望みを置いた敬虔な婦人たちも、このように自分を飾って、夫に従ったのです。
6 たとえばサラも、アブラハムを主と呼んで彼に従いました。あなたがたも、どんなことをも恐れないで善を行なえば、サラの子となるのです。
7 同じように、夫たちよ。妻が女性であって、自分よりも弱い器だということをわきまえて妻とともに生活し、いのちの恵みをともに受け継ぐ者として尊敬しなさい。それは、あなたがたの祈りが妨げられないためです。
8 最後に申します。あなたがたはみな、心を一つにし、同情し合い、兄弟愛を示し、あわれみ深く、謙遜でありなさい。
9 悪をもって悪に報いず、侮辱をもって侮辱に報いず、かえって祝福を与えなさい。あなたがたは祝福を受け継ぐために召されたのだからです。
10 「いのちを愛し、
幸いな日々を過ごしたいと思う者は、
舌を押えて悪を言わず、
くちびるを閉ざして偽りを語らず、
11 悪から遠ざかって善を行ない、
平和を求めてこれを追い求めよ。
12 主の目は義人の上に注がれ、
主の耳は彼らの祈りに傾けられる。
しかし主の顔は、
悪を行なう者に立ち向かう。」
13 もし、あなたがたが善に熱心であるなら、だれが

22 ①イザ五三・九、㊍II コリ五・二一
23 ①I ペテ二・九、イザ五三・七
㊍ヘブ一二・三
24 ①㊍使五・三〇
* あるいは「十字架に至るまで」
②イザ五三・四、一二、㊍I コリ一五・三、ヘブ九・二八、③㊍ロマ六・二、㊎ロマ六・二三、④イザ五三・五
⑤ヘブ一二・三、ヤコ五・一六
25 ①イザ五三・六、②㊍ヨハ一〇・一一
I ペテ二・四
1 ①㊎I ペテ二・一八、三・七
②㊍エペ五・二二、③㊎I コリ九・二九
3 ①I テモ二・九、㊎イザ三・一八以下
4 ①㊍ロマセ・三
5 ①㊍I テモ五・五、㊎I ペテ一・三
6 ①創一八・一二、②㊎I ペテ三・四
7 ①㊍エペ五・二五、コロ三・一九
②㊍I テサ四・四
8 ①㊍ロマ一二・一六、②㊎I ペテ一・二二、③㊍エペ四・三二
④㊎エペ四・二、ピリ二・二
I ペテ五・五
9 ①㊍ロマ一二・一七、I テサ五・一五
②㊍I ペテ三・三、㊎I コリ四・三、③ルカ六・二八、ロマ一二・一四
I コリ四・一二、④㊍I ペテ三・二一
⑤ガラ三・二四、ヘブ六・一四、㊎ヘブ一二・七
10 ①詩三四・一二―一六
13 ①箴二〇・七

あなたがたに害を加えるでしょう。
14 いや、たとい義のために苦しむことがあるにしても、[2]それは幸いなことです。[3]彼らの脅かしを恐れたり、それによって心を動揺させたりしてはいけません。
15 むしろ、心の中でキリストを主としてあがめなさい。そして、あなたがたのうちにある[2]希望について説明を求める人には、だれにでもいつでも弁明できる用意をしていなさい。
16 ただし、優しく、慎み恐れて、また、[3]正しい良心をもって弁明しなさい。そうすれば、キリストにあるあなたがたの正しい生き方をののしる人たちが、あなたがたをそしったことで恥じ入るでしょう。
17 もし、神のみこころなら、善を行なって苦しみを受けるのが、悪を行なって苦しみを受けるよりよいのです。
18 キリストも一度罪のために死なれました。正しい方が悪い人々の身代わりとなったのです。それは、肉においては死に渡され、霊においては生かされて、私たちを神のみもとに導くためでした。
19 その霊において、キリストは捕われの霊たちのところに行ってみことばを宣べられたのです。
20 昔、ノアの時代に、箱舟が造られていた間、神が忍耐して待っておられたときに、従わなかった霊たちのことです。わずか八人の人々が、この箱舟の中で、水を通って救われたのです。
21 そのことは、今あなたがたを救うバプテスマをあらかじめ示した型なのです。バプテスマは肉体の汚れを取り除くものではなく、[3]正しい良心の神への誓いであり、イエス・キリストの[4]復活によるものです。
22 キリストは天に上り、御使いたち、および、もろもろの権威と権力を従えて、神の右の座におられます。

4

1 このように、キリストは肉体において苦しみを受けられたのですから、あなたがたも同じ心構えで自分自身を武装しなさい。[3]肉体において苦しみを受けた人は、罪とのかかわりを断ちました。
2 こうしてあなたがたは、地上の残された時を、もはや人間の欲望のためではなく、神のみこころのために過ごすようになるのです。
3 あなたがたは、異邦人たちがしたいと思っていることを行ない、好色、情欲、酔酒、遊興、宴会騒ぎ、忌むべき偶像礼拝などにふけったものですが、それは過ぎ去った時で、もう十分です。
4 彼らは、あなたがたが自分たちといっしょに度を過ごした放蕩に走らないので不思議に思い、また悪口を言います。
5 彼らは、生きている人々をも死んだ人々をも、すぐにもさばこうとしている方に対し、申し開きをしなければなりません。
6 というのは、死んだ人々にも福音が宣べ伝えられていたのですが、それはその人々が肉体においては人間としてさばきを受けるが、霊においては神によって生

14 ①箴 I ペテ一・九以下、四・一四、一六　②箴ヤコ二・一、③イザ八・一二、ヨハ I ペテ二・六
15 ①ヨハ I ペテ一・三、②箴 I ペテ一・三、③ヨハ コロ四・六
16 ①箴 II テモ一・五、②箴 I ペテ一・七
＊あるいは「恐れをもって」
③ I ペテ三・二、箴 I テモ一・五、ヘブ一三・一八、④ヨハ I ペテ二・一二、五
17 ①ヨハ I ペテ二・一四、一六　②箴 I ペテ二・六、三・一四、一七、一九　比使六・二
18 ①箴 I ペテ三・一八、②ヘブ九・二六、三・一八、一〇・一〇、③ヨハ I ペテ四・一
コロ二・一三、④ I ペテ四・六
＊あるいは「御霊によって」
⑤箴ロマ五・一、エペ二・三
19 ①箴 I ペテ四・六
20 ①箴ヨブ二一・七、②箴ロマ二・四
③創六・三、五、一三、四、④ II ペテ二・五、比使一四・二九
21 ①箴 I ペテ三・五、比使六・三
②箴ヘブ九・一四、一〇・二二
③ I ペテ三・一六、箴 I テモ一・五
ヘブ一三・一八、④ I ペテ一・三
22 ①箴ヘブ一・四、六・二
②箴ロマ八・三四、比ヘブ一・六、箴コロ二・一五
1 ①箴ペテ二・二一
＊すなわち「死なれた」
②比エペ六・一二、③ロマ六・七
2 ①比ロマ六・二、コロ三・三
3 ①比 I ペテ二・一四
＊直訳「不法な」
②箴マコ一四・二一、エペ二・三、四・一七以下、②箴 I コリ一二・二
4 ①箴エペ五・六、②箴 I ペテ三・一六
5 ①使一〇・四二、 II テモ四・一
比ロマ一四・九
6 ①ヨハ I ペテ二・二三、三・九

きるためでした。
7 万物の終わりが近づきました。ですから、祈りのために、心を整え身を慎みなさい。
8 何よりもまず、互いに熱心に愛し合いなさい。愛は多くの罪をおおうからです。
9 つぶやかないで、互いに親切にもてなし合いなさい。
10 それぞれが賜物を受けているのですから、神のさまざまな恵みの良い管理者として、その賜物を用いて、互いに仕え合いなさい。
11 語る人があれば、神のことばにふさわしく語り、奉仕する人があれば、神が豊かに備えてくださる力によって、それにふさわしく奉仕しなさい。それは、すべてのことにおいて、イエス・キリストを通して神があがめられるためです。栄光と支配が世々限りなくキリストにありますように。アーメン。
12 愛する者たち。あなたがたを試みるためにあなたがたの間に燃えさかる火の試練を、何か思いがけないことが起こったかのように驚き怪しむことなく、
13 むしろ、キリストの苦しみにあずかれるのですから、喜んでいなさい。それは、キリストの栄光が現われるときにも、喜びおどる者となるためです。
14 もしキリストの名のために非難を受けるなら、あなたがたは幸いです。なぜなら、栄光の御霊、すなわち神の御霊が、あなたがたの上にとどまってくださるからです。
15 あなたがたのうちのだれも、人殺し、盗人、悪を行なう者、みだりに他人に干渉する者として苦しみを受けるようなことがあってはなりません。
16 しかし、キリスト者として苦しみを受けるのなら、恥じることはありません。かえって、この名のゆえに神をあがめなさい。
17 なぜなら、さばきが神の家から始まる時が来ているからです。さばきが、まず私たちから始まるのだとしたら、神の福音に従わない人たちの終わりは、どうなることでしょう。
18 義人がかろうじて救われるのだとしたら、神を敬わない者や罪人たちは、*いったいどうなるのでしょう。
19 ですから、神のみこころに従ってなお苦しみに会っている人々は、善を行なうにあたって、真実であられる創造者に自分のたましいをお任せしなさい。

5

1 そこで、私は、あなたがたのうちの長老たちに、同じく長老のひとり、キリストの苦難の証人、また、やがて現われる栄光にあずかる者として、お勧めします。
2 あなたがたのうちにいる、神の羊の群れを、牧しなさい。強制されてするのではなく、神に従って、自分から進んでそれをなし、卑しい利得を求める心からではなく、心を込めてそれをしなさい。
3 あなたがたは、その割り当てられている人たちを支配するのではなく、むしろ群れの模範となりなさい。
4 そうすれば、大牧者が現われるときに、あなたがた

7 ①参ロマ一二、一、IIペヤコ五、八 ヘブ九、六、IヨハニⅠ八
②参Iペテ一、三
8 ①参Iペテ一、三、②箴一〇、一二 参ヘブ一二
9 ①参IIピリ二、四、②Iテモ三、二 参ヘブ一三
10 ①ロマ一二、六、七、②参Iコリ四、一
11 ①Iテサ二、四、IIテト三、一、二五 ヘブ一三、七、②参使七、一六、③Iペテ四、一一、IIペテ三、一八
12 ①参Iペテ二、二、②IIペテ一、六、七
13 ①ピリ三、一〇、IIコリ一、六、四、一〇、IIペテ一、七、②参Iペテ四、一三、③IIテモ二、一二
14 ①ヨハ一五、二一、ルカ六、二二 ②マタ五、一一、ルカ六、二三 ③IIコリ四、一〇、一一、一六
15 ①Iペテ四、一五、一六、参Iペテ二、一九、二〇、三、七、②IIペテ二、九、Iテモ二、三
16 ①参使五、四一、IIペテ四、一六 ②参Iペテ四、一四
17 ①エレ二五、二九、エゼ九、六、アモ三、二、②参Iテモ三、一五、ヘブ一三、八、Iペテ二、六、③参ロマ二、九、④参ロマ一一、⑤IIテサ一、八
18 ①箴一一、三一、ルカ二三、三一 ②参Iテモ一、九 *直訳「どこへ出ることになるのでしょう」
19 ①参Iペテ三、一七 ②参使二〇、二四、IIヨハ一 Ⅲヨハ一、三、③参ルカ二四、四八 参ヘブ一〇、三五、④参Iペテ一、五、七、IIペテ二、一九、IIペテ二、九
1 ①使二〇、六、参Iヨハ二、一六 ②参ピレ一四、③参Iテモ三、八
2 ①エゼ三四、四、マタ二〇、二五以下 ②ピリ二、七、Iペテ五、二、三 参Iペテ二、一七等
3 ①参Iペテ二、二五
4 ①参Iペテ二、二五

は、しぼむことのない栄光の冠を受けるのです。
5 同じように、若い人たちよ。長老たちに従いなさい。みな互いに謙遜を身に着けなさい。神は高ぶる者に敵対し、へりくだる者に恵みを与えられるからです。
6 ですから、あなたがたは、神の力強い御手の下にへりくだりなさい。神が、ちょうど良い時に、あなたがたを高くしてくださるためです。
7 あなたがたの思い煩いを、いっさい神にゆだねなさい。神があなたがたのことを心配してくださるからです。
8 身を慎み、目をさましていなさい。あなたがたの敵である悪魔が、ほえたけるしのように、食い尽くすべきものを捜し求めながら、歩き回っています。
9 堅く信仰に立って、この悪魔に立ち向かいなさい。ご承知のように、世にあるあなたがたの兄弟である人は同じ苦しみを通って来たのです。
10 あらゆる恵みに満ちた神、すなわち、あなたがたをキリストにあってその永遠の栄光の中に招き入れてくださった神ご自身が、あなたがたをしばらくの苦しみのあとで完全にし、堅く立たせ、強くし、不動の者としてくださいます。
11 どうか、神のご支配が世々限りなくありますように。アーメン。
12 私の認めている忠実な兄弟シルワノによって、私はここに簡潔に書き送り、勧めをし、これが神の真の恵みであることをあかしました。この恵みの中に、しっかりと立っていなさい。
13 バビロンにいる、あなたがたとともに選ばれた婦人がよろしくと言っています。また私の子マルコもよろしくと言っています。
14 愛の口づけをもって互いにあいさつをかわしなさい。
キリストにあるあなたがたすべての者に、平安がありますように。

4 ②Ⅰペテ一㈣、③㊐Ⅰコリ九・二五
＊直訳「花輪」
5 ①ルカ二二六、㊐Ⅰテモ五・一 ②㊐ヨベ三・二、③㊐Ⅰペテ三・八、④箴三・三四、㊐ヤコ四・六
6 ①ヤコ四・一〇
7 ①㊐マタ六・三五
8 ①㊐Ⅰペテ一・三、②マタ二四・四二、③㊐ヤコ四・七、④㊐Ⅱテモ四・一七
9 ①㊐ロコ二・六、②㊐ヤコ四・七、③㊐使一四・三、㊐ヘブ三・八
10 ①㊐Ⅰペテ四・一〇、②Ⅱコリ四・一七、㊐Ⅱテモ二・一〇、③Ⅰコリ一・九、㊐Ⅰテサ五・二四、④Ⅰペテ一・六、⑤㊐Ⅰコリ一・二七、⑥ヘブ三・二、㊐ロマ一六・二五、Ⅱテサ二・一七、三等
＊異本「不動の者とし」を欠く
11 ①㊐ロマ一・二五、㊐Ⅰペテ四・一一
12 ①㊐Ⅱコリ一・一九、②㊐ヘブ一三・二二、③㊐Ⅰペテ一・三、四・一〇、㊐使二一・三二
④㊐Ⅰコリ一五・一
13 ＊異本「バビロンにある教会」 ①㊐使二一・三
14 ①㊐ロマ一六・一六、②㊐エペ六・二三

ペテロの手紙　第二

1

1 イエス・キリストのしもべであり[1]使徒であるシモン・ペテロから、私[2]たちの神であり救い主であるイエス・キリストの義によって私たちと同じ*尊い信仰を受けた方々へ。

2 神と私たちの主イエスを知ることによって、恵みと平安が、あなたがたの上にますます豊かにされますように。

3 というのは、私たちをご自身の栄光と徳によってお召しになった方を私たちが知ったことによって、主イエスの、神としての御力は、いのちと敬虔に関するすべてのことを私たちに与えるからです。

4 その栄光と徳によって、すばらしい約束が私たちに与えられました。それは、あなたがたが、その約束のゆえに、世にある欲のもたらす滅びを免れ、神のご性質にあずかる者となるためです。

5 こういうわけですから、あなたがたは、あらゆる努力をして、信仰には徳を、徳には知識を、

6 知識には自制を、自制には忍耐を、忍耐には敬虔を、

7 敬虔には兄弟愛を、兄弟愛には愛を加えなさい。

8 これらがあなたがたに備わり、ますます豊かになるなら、あなたがたは、私たちの主イエス・キリストを知る点で、役に立たない者とか、実を結ばない者になることはありません。

9 これらを備えていない者は、近視眼であり、盲目であって、自分の以前の罪がきよめられたことを忘れてしまったのです。

10 ですから、兄弟たちよ。ますます熱心に、あなたがたの召されたことと選ばれたこととを確かなものとしなさい。これらのことを行なっていれば、つまずくことなど決してありません。

11 このようにあなたがたは、私たちの主であり救い主であるイエス・キリストの永遠の御国にはいる恵みを豊かに加えられるのです。

12 ですから、すでにこれらのことを知っており、現に持っている真理に堅く立っているあなたがたであるとはいえ、私はいつもこれらのことを、あなたがたに思い起こさせようとするのです。

13 私が地上の幕屋にいる間は、これらのことを思い起こさせることによって、あなたがたを奮い立たせることを、私のなすべきことと思っています。

14 それは、私たちの主イエス・キリストも、私にはっきりお示しになったとおり、私がこの幕屋を脱ぎ捨てるのが間近に迫っているのを知っているからです。

15 また、私の去った後に、あなたがたがいつでもこれらのことを思い起こせるよう、私は努めたいのです。

16 私たちは、あなたがたに、私たちの主イエス・キリストの力と来臨とを知らせましたが、それは、うまく考え出した作り話に従ったのではありません。この私

---

1 ①ロマ一・一、ピリ一・一、ユダ一　②ヨハ一一・二、②Ⅰペテ一・一　③創テト一・三、④ヨハ一一・二六、⑤ロマ一・二三、Ⅱコリ一一・三、ヨハテ一・四
* あるいは「種類の」
2 ①Ⅱペテ一・八、二・二、三・一八　②ヨハ一七・三、③創ピリ三・八　②Ⅰペテ一・二、③創ロマ一・七
3 * あるいは「(徳)へと」　①ヨハⅠテサ二・一二、Ⅱテサ二・一四、Ⅰペテ一・一〇、②③創Ⅱペテ一・二
4 ①ヨハⅡペテ一・四、二・一九、②③創ヤコ一・一七、③Ⅱペテ一・九　④Ⅱペテ一・八、二〇、⑤ヨハエペ四・二、三四、ヘブ三・一〇、Ⅰヨハ二・二
5 ①ヨハⅡペテ一・三、②コロ二・三　ヨハⅡペテ一・二
6 ①創使二四・二五、②創ルカ二・一九
7 ①創ロマ一二・一〇、Ⅰペテ一・二二　②ヨハⅡペテ一・二、②コロ一・一〇
8 ①創ヨハⅡペテ一・二、②コロ一・一〇
9 ①ヨハⅠヨハ二・一一、②エペ五・八、ヨハⅡペテ一・三　創テト一・一四　③ユダ一四、ヨハⅡペテ一・七　創ヤコ二・一〇
10 ①創ロマ一二・六、ヨハⅡペテ一・三　創マタ三・一四、②ヨハⅠテサ一四　③ユダ一四、ヨハⅡペテ一・七　創ヤコ二・一〇
11 ①ヨハⅡペテ二・一〇、三・一八　②創ヨハⅡテモ四・八、③創ロマ一四、Ⅰテモ六・一七　④ヨハⅡペテ一・七
12 ①ユダ五、ヨハピリ二・一　②ヨハⅡコロ一・五、六　③ヨハⅡコリ五・一四、②ヨハⅡペテ一・七
13 ①創Ⅱコリ五・一四、②ヨハⅡペテ一・七、③ピリ一・七
14 ①ヨハヨハ二一・六、二一・一九　②ヨハⅡテモ四・六、Ⅱコリ五・一　③創ルカ九・三一、②ヨハⅡペテ一・一四、二〇
15 ①ヨハマコ三・一四、二〇　②創ヨハⅠテモ一・一四
16 ①ヨハマコ一三・二六、一四・六二　②創ヨハⅠテモ一・一四

たちは、キリストの威光の目撃者[3]なのです。
17 キリストが父なる神から誉れと栄光をお受けになったとき、おごそかな、栄光の神から、こういう御声[1]がかかりました。「これはわたしの愛する子、わたしの喜ぶ者である。」
18 私たちは聖なる山で主イエスとともにいたので、天からかかったこの御声を、自分自身で聞いたのです。
19 また、私たちは、さらに確かな預言[2]のみことばを持っています。夜明けとなって、明けの明星[3]があなたがたの心の中に上るまでは、暗い所を照らすともしびとして、それに目を留めているとよいのです。
20 それには何よりも次のことを知っていなければいけません。すなわち、聖書の預言はみな、人の私的解釈を施してはならない、ということです。
21 なぜなら、預言は決して人間の意志によってもたらされたのではなく、聖霊に動かされた人たちが、神からのことばを語ったのだからです。

2

1 しかし、イスラエルの中には、にせ預言者も出ました。同じように、あなたがたの中にも、にせ教師が現われるようになります。彼らは、滅びをもたらす異端をひそかに持ち込み、自分たちを買い取ってくださった主を否定するようなことさえして、自分たちの身にすみやかな滅びを招いています。
2 そして、多くの者が彼らの好色にならい、そのために真理の道がそしりを受けるのです。
3 また彼らは、貪欲なので、作り事のことばをもってあなたがたを食い物にします。彼らに対するさばきは、昔から怠りなく行なわれており、彼らが滅ぼされないままでいることはありません。
4 神は、罪を犯した御使いたちを、容赦せず、地獄に引き渡し、さばきの時まで暗やみの穴の中に閉じ込めてしまわれました。
5 また、昔の世界を赦さず、義を宣べ伝えたノアたち八人の者を保護し、不敬虔な世界に洪水を起こされました。
6 また、ソドムとゴモラの町を破滅に定めて灰にし、以後の不敬虔な者へのみせしめとされました。
7 また、無節操な者たちの好色なふるまいによって悩まされていた義人ロトを救い出されました。
8 というのは、この義人は、彼らの間に住んでいましたが、不法な行ないを見聞きして、日々その正しい心を痛めていたからです。
9 これらのことでわかるように、主は、敬虔な者たちを誘惑から救い出し、不義な者どもを、さばきの日まで、懲罰のもとに置くことを心得ておられるのです。
10 汚れた情欲を燃やし、肉に従って歩み、権威を侮る者たちに対しては、特にそうなのです。彼らは、大胆不敵な、尊大な者たちで、栄誉ある人たちをそしって、恐れるところがありません。
11 それに比べると、御使いたちは、勢いにも力にもまさっているにもかかわらず、主の御前に彼らをそしっ

---

3 ①Ⅱペテ一・一四、③Ⅰテモ六・五五 ②Ⅰヨハ一・八 ③黙二二・一六
Ⅰペテ一・一七、③Ⅰヨハ一・七
4 ①Ⅰヨハ創六章、ユダ六 ②Ⅰヨハ黙二〇・一、二 ③Ⅰペテ二・四、Ⅱペテ二・四
5 ①Ⅱペテ三・六、Ⅰヨハ二・一八 ②Ⅱペテ三・三 ③Ⅱペテ三・六
6 ①創一八・二四、ユダ七 ②Ⅱペテ二・六、ユダ七 ③ユダ七、マタ一〇・一五、一一・ロマ九・二九、(イザ一・九)
7 ①Ⅱペテ二・七 ②Ⅱペテ二・六、Ⅱペテ二・八
8 ①Ⅱペテ二・七 ②Ⅱペテ二・六、Ⅱペテ二・八
9 ①Ⅰコリ一〇・一三、Ⅱ黙三・一〇 ②Ⅱペテ二・五、ユダ六 ③Ⅱペテ二・四、ユダ六、Ⅱペテ二・六
10 ①Ⅱペテ二・一八、ユダ八 ②ユダ八、Ⅱペテ二・六 ③Ⅱペテ二・七
11 ①ユダ九

16 ③マタ二七・一以下、マコ九・二以下、ルカ九・三六以下 ①Ⅱペテ一・一七、②マタ一七・五、マコ九・七、ルカ九・三五
17 ①Ⅱペテ一・一六
18 ①Ⅱペテ一・一六、ヨハ一・一五
19 *別訳「こうして私たちには、預言のことばがいっそう確実なものとされたのです」 ①Ⅱペテ一・一〇、二、③ルカ一・七八、④黙三・一六、Ⅱコリ四・六、⑥Ⅱペテ一・一九、⑦Ⅱコリ四・六、⑧Ⅱペテ一・一九
20 ①Ⅱペテ三・三、⑥Ⅱペテ三・一六
21 ①Ⅱペテ一・二一、②Ⅱペテ一・一、③ルカ一・七〇、使一・一六、三・二一、Ⅱサム二三・二、Ⅱテモ三・一六
1 ①申一三・一以下、エレ六・二等 ②Ⅱペテ二・一、③マタ七・一五 ③Ⅱコリ一一・一三、④Ⅰコリ一二・九、⑤ガラ二・四 ⑥黙六・一〇、⑦ユダ四 ⑧Ⅰコリ六・二〇
2 ①Ⅱペテ二・一五以下、ユダ四 ②Ⅱペテ二・七、Ⅱペテ二・八、③Ⅰテモ六・一
3 ①Ⅱペテ二・一四、③Ⅰテモ六・五 ②Ⅱペテ二・一、③ガラ六・一四 ④黙六・一〇、⑤Ⅱコリ一一・一三 ⑥Ⅱペテ二・一
4 ①Ⅱペテ二・四、ユダ六 ②Ⅱペテ二・九、Ⅱペテ二・一七 ③Ⅱペテ二・四
5 ①Ⅱペテ二・六、Ⅱペテ二・一 ②Ⅱペテ二・五 ③Ⅱペテ二・六
6 ①Ⅱペテ二・六、ユダ七 ②Ⅱペテ二・五、ユダ七
7 ①Ⅱペテ二・八 ②Ⅱペテ二・六、Ⅱペテ二・八
8 ①Ⅱペテ二・七 ②Ⅱペテ二・六、Ⅱペテ二・八
9 ①Ⅰコリ一〇・一三、Ⅱ黙三・一〇 ②Ⅱペテ二・五、ユダ六 ③Ⅱペテ二・四、ユダ六、Ⅱペテ二・六
10 ①Ⅱペテ二・一八、ユダ八 ②ユダ八、Ⅱペテ二・六 ③Ⅱペテ二・七
11 ①ユダ九

て訴えることはしません。
12 ところがこの者どもは、捕えられ殺されるために自
然に生まれついた、理性のない動物と同じで、自分が
知りもしないことをそしるのです。それで動物が滅ぼ
されるように、彼らも滅ぼされてしまうのです。
13 彼らは不義の報いとして損害を受けるのです。彼ら
は昼のうちから飲み騒ぐことを楽しみと考えています。
彼らは、しみや傷のようなもので、あなたがたと
いっしょに宴席に連なるときに自分たちのだましごと
を楽しんでいるのです。
14 その目は淫行に満ちており、罪に関しては飽くこと
を知らず、心の定まらない者たちを誘惑し、その心は
欲に目がありません。彼らはのろいの子です。
15 彼らは正しい道を捨ててさまよっています。不義の
報酬を愛したベオルの子バラムの道に従ったのです。
16 しかし、バラムは自分の罪をとがめられました。も
のを言うことのないろばが、人間の声でものを言い、
この預言者の気違いざたをはばんだのです。
17 この人たちは、水のない泉、突風に吹き払われる霧
です。彼らに用意されているものは、まっ暗なやみで
す。
18 彼らは、むなしい大言壮語を吐いており、誤った生
き方をしていて、ようやくそれをのがれようとしてい
る人々を肉欲と好色によって誘惑し、
19 その人たちに自由を約束しながら、自分自身が滅び
の奴隷なのです。人はだれかに征服されれば、その征
服者の奴隷となったのです。
20 主であり救い主であるイエス・キリストを知ること
によって世の汚れからのがれ、その後再びそれに巻き
込まれて征服されるなら、そのような人たちの終わり
の状態は、初めの状態よりももっと悪いものとなりま
す。
21 義の道を知っていながら、自分に伝えられたそのき
よい命令にそむくよりは、それを知らなかったほうが、
彼らにとってよかったのです。
22 彼らに起こったことは、「犬は自分の吐いた物に戻
る。」とか、「豚は身を洗って、またどろの中にころが
る。」とかいう、ことわざどおりです。

3

1 愛する人たち。いま私がこの第二
の手紙をあなたがたに書き送るの
は、これらの手紙により、記憶を呼びさませて、あ
なたがたの純真な心を奮い立たせるためなのです。
2 それは、聖なる預言者たちによって前もって語られ
たみことばと、あなたがたの使徒たちが語った、主で
あり救い主である方の命令とを思い起こさせるため
なのです。
3 まず第一に、次のことを知っておきなさい。終わり
の日に、あざける者どもがやって来てあざけり、自分
たちの欲望に従って生活し、
4 次のように言うでしょう。「キリストの来臨の約束
はどこにあるのか。先祖たちが眠った時からこのか
た、何事も創造の初めからのままではないか。」

---

12 ①ユダ10、②比エレ三・三
13 ①ペテ二・一七、②比Ⅰテサ五・七、③参ロマ一三・一三
14 ①ユダ三、比Ⅰコリ一・二
＊異本「愛餐」　②比ヤコ一・八、Ⅱペテ三・一六
15 ①比使二四・一〇、②Ⅱペテ二・三
16 ①民二二・二八、②比ミカ三・一一
17 ①比ユダ一三、②ユダ一三
＊直訳「やみの暗黒」
18 ①参エペ四・一七、②ユダ一六
19 ①Ⅱペテ二・一九、参Ⅱペテ一・四
20 ①Ⅱペテ二・一三、②参Ⅱペテ三・一八
21 ①比エゼ三三・一四、ヘブ六・四以下、一〇・二六、三一、ヤコ四・一七
22 ①箴二六・一一
1 ①Ⅱペテ三・一、②Ⅱペテ一・一三
2 ①ルカ一・七〇、使三・二一、比エペ二・二〇、②参Ⅱペテ三・一、比ガラ六・一、Ⅰテモ六・一四、③ユダ一七
3 ①Ⅱペテ三・三、②参Ⅰテモ四・一
比ヘブ二・一三、③ユダ八
4 ①比イザ五六・一二、エレ一七・一五
エゼ一二・二二、二三・二七、マラ三・一四、マタ二四・四八、②比Ⅱペテ三・一二、参Ⅰテサ三・九
③参使七・二〇、④参マコ一〇・六

5 *こう言い張る彼らは、次のことを見落としています。すなわち、天は古い昔からあり、地は神のことばによって水から出て、水によって成ったのであって、
6 当時の世界は、その水により、洪水におおわれて滅びました。
7 しかし、今の天と地は、同じみことばによって、火に焼かれるためにとっておかれ、不敬虔な者どものさばきと滅びとの日まで、保たれているのです。
8 しかし、愛する人たち。あなたがたは、この一事を見落としてはいけません。すなわち、主の御前では、一日は千年のようであり、千年は一日のようです。
9 主は、ある人たちがおそいと思っているように、その約束のことを遅らせておられるのではありません。かえって、あなたがたに対して忍耐深くあられるのであって、ひとりでも滅びることを望まず、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。
10 しかし、主の日は、盗人のようにやって来ます。その日には、天は大きな響きをたてて消えうせ、*天の万象は焼けてくずれ去り、地と地のいろいろなわざは焼き尽くされます。
11 このように、これらのものはみな、くずれ落ちるものだとすれば、あなたがたは、どれほどきよい生き方をする敬虔な人でなければならないことでしょう。
12 そのようにして、神の日の来るのを待ち望み、その日の来るのを早めなければなりません。その日が来れば、そのために、天は燃えてくずれ、天の万象は焼け溶けてしまいます。
13 しかし、私たちは、神の約束に従って、正義の住む新しい天と新しい地を待ち望んでいます。
14 そういうわけで、愛する人たち。このようなことを待ち望んでいるあなたがたですから、しみも傷もない者として、平安をもって御前に出られるように、励みなさい。
15 また、私たちの主の忍耐は救いであると考えなさい。それは、私たちの愛する兄弟パウロも、その与えられた知恵に従って、あなたがたに書き送ったとおりです。
16 その中で、ほかのすべての手紙でもそうなのですが、このことについて語っています。その手紙の中には理解しにくいところもあります。無知な、心の定まらない人たちは、聖書の他の個所のばあいもそうするのですが、それらの手紙を曲解し、自分自身に滅びを招いています。
17 愛する人たち。そういうわけですから、このことをあらかじめ知っておいて、よく気をつけ、無節操な者たちの迷いに誘い込まれて自分自身の堅実さを失うことにならないようにしなさい。
18 私たちの主であり救い主であるイエス・キリストの恵みと知識において成長しなさい。このキリストに、栄光が、今も永遠の日に至るまでもありますように。アーメン。

5 * 別訳「彼らは次のことを故意に忘れようとしているのです」
①創一・六、ヘブ一一・三、②コロ一・一七、詩三三・六、三三六
6 ①Ⅱペテ二・五、②創七・二一、二三
7 ①Ⅱペテ三・一〇、一二、②Ⅰ列イザ六六・一五、ダニ七・一〇、⑶Ⅱテサ一・七、ヘブ一二・二九、③⑶マラ四・一、Ⅰコリ三・一三、ユダ七
8 ①⑶Ⅱペテ三・一、②詩九〇・四
9 ①ハバ二・三、ヘブ一〇・三七、②比ロマ二・四
10 ①⑶Ⅰコリ一・八、②⑶Ⅰテサ五・二、比黙三・三、③Ⅰテモ六・一四、比黙一六・一五、②Ⅱペテ三・七、一三
11 ①⑶Ⅱペテ三・一四、②⑶Ⅰテサ五・六、黙三・五
12 ①⑶Ⅰコリ一・七、②Ⅱペテ三・一〇、③イザ三四・四、ヤコ一・一一、③ピリ二・一六、Ⅰテモ六・一四、⑶Ⅰペテ一・七
13 ①イザ六五・一七、六六・二二、②イザ六〇・二一、六五・一七、比ロマ八・二一、③黙二一・一、比ロマ八・二一
14 ①比Ⅱペテ三・一〇、Ⅰコリ一五・五一、②⑶Ⅱペテ三・一四、③ピリ二・一六、Ⅰテモ六・一四、⑶Ⅰペテ一・七
15 ①⑶Ⅱペテ三・九、②比使九・七、一六、Ⅱペテ三・一
16 ①比Ⅰコリ二・一四、②比ヘブ五・二、③比Ⅱペテ三・一四、⑶比イザ六・三、Ⅱペテ三・一六、エペ三・三
17 ①⑶Ⅱペテ三・一、②Ⅰコリ一〇・一二、③Ⅱペテ三・七、④比Ⅱペテ三・一六、黙三・五
18 ①Ⅱペテ二・二〇、②⑶Ⅱペテ三・一、③⑶ロマ一二・六、比Ⅱテモ四・六、黙一六

ヨハネの手紙　第一

1

1 初めからあったもの、私たちが聞いたもの、目で見たもの、じっと見、また手でさわったもの、すなわち、いのちのことばについて、

2 ——このいのちが現われ、私たちはそれを見たので、そのあかしをし、あなたがたにこの永遠のいのちを伝えます。すなわち、御父とともにあって、私たちに現わされた永遠のいのちです。——

3 私たちの見たこと、聞いたことを、あなたがたにも伝えるのは、あなたがたも私たちと交わりを持つようになるためです。私たちの交わりとは、御父および御子イエス・キリストとの交わりです。

4 私たちがこれらのことを書き送るのは、私たちの喜びが全きものとなるためです。

5 神は光であって、神のうちには暗いところが少しもない。これが、私たちがキリストから聞いて、あなたがたに伝える知らせです。

6 もし私たちが、神と交わりがあると言っていながら、しかもやみの中を歩んでいるなら、私たちは偽りを言っているのであって、真理を行なってはいません。

7 しかし、もし神が光の中におられるように、私たちも光の中を歩んでいるなら、私たちは互いに交わりを保ち、御子イエスの血はすべての罪から私たちをきよめます。

8 もし、罪はないと言うなら、私たちは自分を欺いており、真理は私たちのうちにありません。

9 もし、私たちが自分の罪を言い表わすなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださいます。

10 もし、罪を犯してはいないと言うなら、私たちは神を偽り者とするのです。神のみことばは私たちのうちにありません。

2

1 私の子どもたち。私がこれらのことを書き送るのは、あなたがたが罪を犯さないようになるためです。もしだれかが罪を犯したなら、私たちには、御父の御前で弁護してくださる方があります。それは、義なるイエス・キリストです。

2 この方こそ、私たちの罪のための、——私たちの罪だけでなく全世界のための、——なだめの供え物なのです。

3 もし私たちが神の命令を守るなら、それによって、私たちは神を知っていることがわかります。

4 神を知っていると言いながら、その命令を守らない者は、偽り者であり、真理はその人のうちにありません。

5 しかし、みことばを守っている者なら、その人のうちには、確かに神の愛が全うされているのです。それ

---

1 ①㊀ヨハ一・二、㊁Ⅰヨハ一・二 ②㊀ヨハ一・四、㊁使四・二〇、③Ⅰヨハ一・三、ヨハ一九・三五、Ⅱペテ一・一六、④Ⅰヨハ四・一四、⑤ルカ二四・三九、ヨハ二〇・二七、⑥ヨハ一・一四

2 ①ヨハ一四・一七、ロマ一六・二六、Ⅰテモ三・一六、Ⅰペテ一・二〇、㊁Ⅰヨハ三・五、八、五・二〇、②㊀ヨハ一・一、③Ⅰヨハ四・一四、㊁ヨハ一九・三五、④㊁Ⅰヨハ一・三、五・一三、⑤㊀ヨハ一・七、一七、㊁ヨハ一・一七

3 ①㊀Ⅰヨハ一・一、㊁Ⅰヨハ一・一 ②㊁Ⅰヨハ一・一 ③㊁使四・二〇、③ヨハ七・三、Ⅰコリ一・九

4 ①Ⅰヨハ一・一、②㊁ヨハ三・一七 ①Ⅰテモ六・六、ヤコ一・一七 ②Ⅰヨハ一・四、㊁ヨハ一・一七

5 ①㊁Ⅰヨハ一・五、㊁ヨハ一・一 ②ヨハ八・五五、㊁Ⅰヨハ二・一四、㊁ヨハ一・一 ③㊁Ⅰテモ六・一六、②イザ二五・一、Ⅱコリ六・一九

6 ①㊁Ⅰヨハ一・六、㊁ヨハ一・一 ②㊁Ⅰヨハ一・一、㊁ヨハ一・二 ③㊁Ⅰヨハ三・三

7 ①㊁Ⅰテモ六・一六、②イザ二五・一、③ヘブ九・一四、黙示七・一四、㊁使二〇・二八

8 ①ヨブ一五・一四、箴二〇・九、ロマ三・一〇以下、②Ⅰヨハ一・八、㊁ヨハ八・四四 ②ヘブ九・一四、黙示七・一四、㊁使二〇・二八

9 ①詩三二・五、箴二八・一三、②ヘブ九・一四、黙示七・一四、㊁使二〇・二八、ロマ三・一〇以下、②㊁Ⅰヨハ一・九、ロマ一〇・一〇

10 ①ヨブ一五・一四、箴二〇・九、ロマ三・一〇以下、②㊁Ⅰヨハ一・一〇 ①Ⅰヨハ一・一、三、八、一〇、ヨハ一・三、一〇、②㊁Ⅰヨハ一・一〇、ガラ四・四、ヨハ一・一四、ロマ八・三、②㊁Ⅰヨハ一・一、③ロマ八・三、四、②㊁Ⅰテモ三・一六、ヘブ七・二六、九・一四、④㊁ヨハ一・一四、㊁ヨハ一・一

1 ①㊁ヨハ一・二、㊁Ⅰヨハ一・二、㊁使四・二〇、②Ⅰヨハ一・三、ヨハ一九・三五、Ⅱペテ一・一六、④Ⅰヨハ四・一四、⑤ルカ二四・三九、ヨハ二〇・二七、⑥ヨハ一・一四

2 ①ヨハ一四・一七、ロマ一六・二六、Ⅰテモ三・一六、Ⅰペテ一・二〇、㊁Ⅰヨハ三・五、八、五・二〇、②㊁ヨハ一・一、③Ⅰヨハ四・一四、㊁ヨハ一九・三五、④㊁Ⅰヨハ一・三、五・一三、⑤㊁ヨハ一・七、一七、㊁ヨハ一・一七

3 ①㊁Ⅰヨハ一・一、㊁Ⅰヨハ一・一 ②㊁Ⅰヨハ一・一 ③㊁使四・二〇、③ヨハ七・三、Ⅰコリ一・九

4 ①Ⅰヨハ一・一、②㊁ヨハ三・一七 ①Ⅰテモ六・六、ヤコ一・一七 ②Ⅰヨハ一・四、㊁ヨハ一・一七

5 ①㊁Ⅰヨハ一・五、㊁ヨハ一・一 ②ヨハ八・五五、㊁Ⅰヨハ二・一四、㊁ヨハ一・一 ③㊁Ⅰテモ六・一六、②イザ二五・一、Ⅱコリ六・一九

6 ①㊁Ⅰヨハ一・六、㊁ヨハ一・一 ②㊁Ⅰヨハ一・一、㊁ヨハ一・二 ③㊁Ⅰヨハ三・三

7 ①㊁Ⅰテモ六・一六、②イザ二五・一、③ヘブ九・一四、黙示七・一四、㊁使二〇・二八

8 ①ヨブ一五・一四、箴二〇・九、ロマ三・一〇以下、②Ⅰヨハ一・八、㊁ヨハ八・四四 ②ヘブ九・一四、黙示七・一四、㊁使二〇・二八

9 ①詩三二・五、箴二八・一三、②ヘブ九・一四、黙示七・一四、㊁使二〇・二八、ロマ三・一〇以下、②㊁Ⅰヨハ一・九、ロマ一〇・一〇

10 ①ヨブ一五・一四、箴二〇・九、ロマ三・一〇以下、②㊁Ⅰヨハ一・一〇 ①Ⅰヨハ一・一、三、八、一〇、ヨハ一・三、一〇、②㊁Ⅰヨハ一・一〇、ガラ四・四、ヨハ一・一四、ロマ八・三、②㊁Ⅰヨハ一・一、③ロマ八・三、四、②㊁Ⅰテモ三・一六、ヘブ七・二六、九・一四、④㊁ヨハ一・一四、㊁ヨハ一・一

によって、私たちが神のうちにいることがわかります。
6 1)神のうちにとどまっていると言う者は、2)自分でもキリストが歩まれたように歩まなければなりません。
7 1)愛する者たち。私はあなたがたに新しい命令を書いているのではありません。むしろ、これはあなたがたが3)初めから持っていた古い命令です。その古い命令とは、あなたがたがすでに聞いている、みことばのことです。
8 しかし私は、1)新しい命令としてあなたがたに書き送ります。これはキリストにおいて真理であり、あなたがたにとっても真理です。なぜなら、2)やみが消え去り、3)まことの光がすでに輝いているからです。
9 光の中にいると言いながら、1)兄弟を2)憎んでいる者は、今もなお、やみの中にいるのです。
10 1)兄弟を愛する者は、光の中にとどまり、*つまずくことがありません。
11 兄弟を憎む者は、2)やみの中におり、やみの中を歩んでいるのであって、自分がどこへ行くのか知らないのです。やみが彼の目を見えなくしたからです。
12 1)子どもたちよ。私があなたがたに書き送るのは、2)主の御名によって、あなたがたの罪が赦されたからです。
13 父たちよ。私があなたがたに書き送るのは、あなたがたが、1)初めからおられる方を、知ったからです。若い者たちよ。私があなたがたに書き送るのは、あなたがたが悪い者に打ち勝ったからです。
14 小さい者たちよ。私があなたがたに書いて来たのは、あなたがたが御父を知ったからです。父たちよ。私があなたがたに書いて来たのは、あなたがたが、1)初めからおられる方を、知ったからです。若い者たちよ。私があなたがたに書いて来たのは、あなたがたが強い者であり、3)神のみことばが、4)あなたがたのうちにとどまり、そして、5)あなたがたが悪い者に打ち勝ったからです。
15 1)世をも、世にあるものをも、愛してはなりません。2)もしだれでも世を愛しているなら、その人のうちに*御父を愛する愛はありません。
16 すべての世にあるもの、すなわち、1)肉の欲、2)目の欲、3)暮らし向きの自慢などは、御父から出たものではなく、この世から出たものだからです。
17 1)世と世の欲は滅び去ります。しかし、神のみこころを行なう者は、いつまでもながらえます。
18 1)小さい者たちよ。今は終わりの時です。あなたがたが反キリストの来ることを聞いていたとおり、2)今や多くの反キリストが現われています。それによって、今が終わりの時であることがわかります。
19 1)彼らは私たちの中から出て行きましたが、もともと私たちの仲間ではなかったのです。もし私たちの仲間であったのなら、私たちといっしょにとどまっていたことでしょう。しかし、そうなったのは、2)彼らがみな私たちの仲間でなかったことが明らかにされるためなのです。

---

6 ①参ヨハ一五四、②ヨハ三六、二ペテ二一
7 ①Ⅰヨハ二七-八、Ⅱヨハ五、②参ヨハ一三、③Ⅰヨハ三一一、Ⅱヨハ六、Ⅰテサ四一
8 ①参ヨハ二三-二四、②エペ五八、Ⅰテサ五四、参ヨハ一三、③参ヨハ一九
9 ①Ⅰヨハ二一〇、一六、四一、三一、Ⅱ使一一六、②Ⅰヨハ二一一
10 ①Ⅰヨハ二一〇、一一、Ⅱヨハ一二九
*別訳「つまずかせる」
11 ①Ⅰヨハ二九、三一、四二三
12 ①ヨハ二三、参Ⅰヨハ一六、②Ⅱヨハ一二、③Ⅱコリ四一四、Ⅱペテ一九
13 ①参Ⅰヨハ二一、②参マタ五一一、参Ⅰヨハ二一四、三一、五一、六、③Ⅰヨハ二一四、五一、六、Ⅱヨハ四、五、黙三一七、参ヨハ一六一三
14 ①Ⅰヨハ二三、ヨハ一四七、②参Ⅰヨハ二一、③参エペ六一、Ⅰヨハ二一四、④Ⅰヨハ二一四、五一、⑤Ⅰヨハ三一三
15 ①参ヤコ四一七、Ⅱコロ三二、②参ヤコ四四
*異本「神」
16 ①ロマ三一四、エペ二三
Ⅰペテ二一二、②箴三〇一三
③Ⅱヤコ四一六
17 ①Ⅰコリセ三一
18 ①参ロマ三一二、Ⅰテモ四一、Ⅰペテ四一七、②Ⅰヨハ二一三、四一三、Ⅱヨハ七、Ⅱマタ二四一五、Ⅱヨハ七、Ⅱコロ三一三、Ⅱマコ三一三
19 ①参使二〇一三、②Ⅱコリ一一八

20 あなたがたには聖なる方からの油注ぎがあるので、
だれでも知識を持っています。
21 このように書いて来たのは、あなたがたが真理を知
らないからではなく、真理を知っているからであり、
また、偽りはすべて真理から出てはいないからです。
22 偽り者とは、イエスがキリストであることを否定す
る者でなくてだれでしょう。御父と御子を否認する
者、それが反キリストです。
23 だれでも御子を否認する者は、御父を持たず、御子
を告白する者は、御父をも持っているのです。
24 あなたがたは、初めから聞いたことを、自分たちの
うちにとどまらせなさい。もし初めから聞いたことが
とどまっているなら、あなたがたも御子および御父の
うちにとどまるのです。
25 それがキリストご自身の私たちにお与えになった約
束であって、永遠のいのちです。
26 私は、あなたがたを惑わそうとする人たちについて
以上のことを書いて来ました。
27 あなたがたのばあいは、キリストから受けた油注ぎ
をいつも自分たちのうちに持っているので、だれから
も教えを受ける必要がありません。その油がすべての
ことについてあなたがたを教えるように、——その教
えは真理であって偽りではありません。——また、そ
の油があなたがたに教えたとおりに、あなたがたはキ
リストのうちにとどまるのです。
28 そこで、子どもたちよ。キリストのうちにとどまっ
ていなさい。それは、キリストが現われるとき、私た
ちが信頼を持ち、その来臨のときに、御前で恥じ入る
ということのないためです。
29 もしあなたがたが、神は正しい方であると知ってい
るなら、義を行なう者がみな神から生まれたこともわ
かるはずです。

3

1 私たちが神の子どもと呼ばれるために、——事実、いま私たちは神の
子どもです。——御父はどんなにすばらしい愛を与えてくださったことでしょう。世が私たちを知らないのは、御父を知らないからです。
2 愛する者たち。私たちは、今すでに神の子どもです。後の状態はまだ明らかにされていません。しかし、キリストが現われたなら、私たちはキリストに似た者となることがわかっています。なぜならそのとき、私たちはキリストのありのままの姿を見るからです。
3 キリストに対するこの望みをいだく者はみな、キリストがきよくあられるように、自分をきよくします。
4 罪を犯している者はみな、不法を行なっているのです。罪とは律法に逆らうことなのです。
5 キリストが現われたのは罪を取り除くためであったことを、あなたがたは知っています。キリストには何の罪もありません。
6 だれでもキリストのうちにとどまる者は、罪のうちを歩みません。罪のうちを歩む者はだれも、キリストを見てもいないし、知ってもいないのです。

20 ①参マコ一・二四、既使一三・五二 Ⅱコリ一・二一 ②Ⅱヨハ一・二、既ヨハ六・五六 参マタ三・一一、ヨハ一四・二六 Ⅰコリ一・二六、一七、＊異本「すべてのことを知っています」 21 ①既ヤコ一・一九、Ⅱペテ一・三 ＊別訳「また、偽りはいまだ……出ていないことを」として、前の行の「真理を」の次に置く 22 ①Ⅱヨハ一・九、既ヨハ八・四四、六、七七 23 ①Ⅰヨハ四・一五、Ⅱヨハ九、既マタ一〇・三三、Ⅱヨハ九、既ヨハ一五・二三、Ⅰ

7 子どもたちよ。だれにも惑わされてはいけません。義を行なう者は、キリストが正しくあられるのと同じように正しいのです。
8 罪のうちを歩む者は、悪魔から出た者です。悪魔は初めから罪を犯しているからです。神の子が現われたのは、悪魔のしわざを打ちこわすためです。
9 だれでも神から生まれた者は、罪のうちを歩ません。なぜなら、神の種がその人のうちにとどまっているからです。その人は神から生まれたので、罪のうちを歩むことができないのです。
10 そのことによって、神の子どもと悪魔の子どもとの区別がはっきりします。義を行なわない者はだれも、神から出た者ではありません。兄弟を愛さない者もそうです。
11 互いに愛し合うべきだということは、あなたがたが初めから聞いている教えです。
12 カインのようであってはいけません。彼は悪い者から出た者で、兄弟を殺しました。なぜ兄弟を殺したのでしょう。自分の行ないは悪く、兄弟の行ないは正しかったからです。
13 兄弟たち。世があなたがたを憎んでも、驚いてはいけません。
14 私たちは、自分が死からいのちに移ったことを知っています。それは、兄弟を愛しているからです。愛さない者は、死のうちにとどまっているのです。
15 兄弟を憎む者はみな、人殺しです。いうまでもなく、だれでも人を殺す者のうちに、永遠のいのちがとどまっていることはないのです。
16 キリストは、私たちのために、ご自分のいのちをお捨てになりました。それによって私たちに愛がわかったのです。ですから私たちは、兄弟のために、いのちを捨てるべきです。
17 世の富を持ちながら、兄弟が困っているのを見ても、あわれみの心を閉ざすような者に、どうして神の愛がとどまっているでしょう。
18 子どもたちよ。私たちは、ことばや口先だけで愛することをせず、行ないと真実をもって愛そうではありませんか。
19 それによって、私たちは、自分が真理に属するものであることを知り、そして、神の御前に心を安らかにされるのです。
20 *たとい自分の心が責めてもです。なぜなら、神は私たちの心よりも大きく、そして何もかもご存じだからです。
21 愛する者たち。もし自分の心に責められなければ、大胆に神の御前に出ることができ、
22 また求めるものは何でも神からいただくことができます。なぜなら、私たちが神の命令を守り、神に喜ばれることを行なっているからです。
23 神の命令とは、私たちが御子イエス・キリストの御名を信じ、キリストが命じられたとおりに、私たちが互いに愛し合うことです。

7 ①創I ヨハ二・一、②創I ヨハ二・二六、③I ヨハ二・二九
8 ①マタ一三・三八、ヨハ八・四四、③創I ヨハ三・八、④I ヨハ三・六・二、I ヨハ三・五、②I ヨハ三・八
9 ①創I ヨハ三・六、②I ヨハ三・六、I ペテ一・二三
10 ①創I ヨハ三・一、②創I ヨハ三・八、マタ一三・三八、③I ヨハ二・九、④I ヨハ四・二一、I ヨハ五・二、I ペテ一・二二
11 ①I ヨハ三・二三、三五、三・一一、II ヨハ六、②創I ヨハ三・一七
12 ①創四・八、②I ヨハ三・一二、箴元・二〇、③詩一〇六・三八、④I ヨハ三・一〇、②I ヨハ三・三五
13 ①創I ヨハ三・一、③詩一〇六・三八、I ヨハ三・一三
14 ①I ヨハ三・一四、②I ヨハ三・一〇
15 ①マタ五・二一、三、②ガラ五・二一、三、黙二一・八
16 ①ヨハ一五・一三、IIヨハ一〇・一二、②ピリ二・一七、I テサ二・八
17 ①ヤコ二・一五、一六、②I ヨハ申三・一七、③I ヨハ四・二〇
18 ①I ヨハ三・七、創I ヨハ三・一一、②II ヨハ一、III ヨハ一
19 ①I ヨハ二・二一
20 *あるいは「なぜなら、たとい自分の心に責められても、神は私たちの心よりも大きく……」
21 ①創I ヨハ三・七、②I ヨハ三・一四、創I ヨハ三・一六
22 ①ヨブ三二・二七、三七、マタ二一・二二、②マタ七・七、ヨハ九・三一、③創I ヨハ三・三、ヘブ一三・二一
23 ①I ヨハ二・三、三・一一、二三、②ヨハ六・二九、③ヨハ一三・三四、②ヨハ一五・一二、I ヨハ四・二一、三・二三、I ヨハ三・一八

24 神の命令を守る者は神のうちにおり、神もまたその人のうちにおられます。神が私たちのうちにおられるということは、神が私たちに与えてくださった御霊によって知るのです。

4

1 愛する者たち。霊を差別なしにみな信用してはいけません。それらの霊が神からのものかどうかを、ためしなさい。なぜなら、にせ預言者がたくさん世に出て来たからです。
2 人となって来たイエス・キリストを告白する霊はみな、神からのものです。それによって神からの霊を知りなさい。
3 イエスを告白しない霊はどれ一つとして神から出たものではありません。それは反キリストの霊です。あなたがたはそれが来ることを聞いていたのですが、今それが世に来ているのです。
4 子どもたちよ。あなたがたは神から出た者です。そして彼らに勝ったのです。あなたがたのうちにおられる方が、この世のうちにいる、あの者よりも力があるからです。
5 彼らはこの世の者です。ですから、この世のことばを語り、この世もまた彼らの言うことに耳を傾けます。
6 私たちは神から出た者です。神を知っている者は、私たちの言うことに耳を傾け、神から出ていない者は、私たちの言うことに耳を貸しません。私たちはこれで真理の霊と偽りの霊とを見分けます。
7 愛する者たち。私たちは、互いに愛し合いましょう。愛は神から出ているのです。愛のある者はみな神から生まれ、神を知っています。
8 愛のない者に、神はわかりません。なぜなら神は愛だからです。
9 神はそのひとり子を世に遣わし、その方によって私たちに、いのちを得させてくださいました。ここに、神の愛が私たちに示されたのです。
10 私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、なだめの供え物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。
11 愛する者たち。神がこれほどまでに私たちを愛してくださったのなら、私たちもまた互いに愛し合うべきです。
12 いまだかつて、だれも神を見た者はありません。もし私たちが互いに愛し合うなら、神は私たちのうちにおられ、神の愛が私たちのうちに全うされるのです。
13 神は私たちに御霊を与えてくださいました。それによって、私たちが神のうちにおり、神も私たちのうちにおられることがわかります。
14 私たちは、御父が御子を世の救い主として遣わされたのを見て、今そのあかしをしています。
15 だれでも、イエスを神の御子と告白するなら、神はその人のうちにおられ、その人も神のうちにいます。
16 私たちは、私たちに対する神の愛を知り、また信じています。神は愛です。愛のうちにいる者は神のうちに

---

24 ①創 I ハ三・一二、②I ハ二・一、六三四・二四、創ヨ ハ六・英欠、③創 I ハ三・一六、④I ヨハ四・一三、ヨハ四・一七、ロマ八・九、一四、六、創ヨ ハ四・一七、ロマ八・九、一四、⑤創 I テサ四・八

1 ①創 I ハ三・一六、②エレ二九・八、創 I コリ一二・一〇、II テサ二・二、③創 I ヨハ二・八、エレ一四・一四、ベテ二・一

2 ①創 I ヨハ二・二、ヨハ一・一四、②I ヨハ三・三、③I コリ一二・三、④創 I ヨハ二・二三、I ヨハ四・二、⑤創 I ヨハ二・二六、I ヨハ四・三、⑥I ヨハ二・一八、二二、I テサ二・三、⑦I ヨハ四・一、三、I ヨハ二・一八、二二、I テモ四・一、⑧創 I ヨハ二・二六、I ヨハ四・三、⑨I ヨハ二・一八、二二、I ヨハ四・一、三、I テモ四・一、⑩創 I ヨハ二・二六、I ヨハ四・三、⑪I ヨハ二・一八、二二、I ヨハ四・一、三、I テモ四・一、⑫創 I ヨハ二・二六、I ヨハ四・三

3 ①I ヨハ四・七、I コリ一二・三、②創 I ヨハ二・二三、I ヨハ四・二、③I ヨハ二・一八、二二、I ヨハ四・一、三、I テモ四・一、④創 I ヨハ二・二六、I ヨハ四・三

4 ①創 I ヨハ二・一三、②創 I ヨハ二・一四、③創 I ヨハ二・一三、④I ヨハ四・四、I ヨハ五・四、⑤I ヨハ二・一三、I ヨハ五・四、⑥I ヨハ二・一三、I ヨハ五・四、⑦I ヨハ二・一三、I ヨハ五・四、⑧I ヨハ二・一三、I ヨハ五・四、⑨I ヨハ二・一三、I ヨハ五・四、⑩I ヨハ二・一三、I ヨハ五・四、⑪I ヨハ二・一三、I ヨハ五・四、⑫I ヨハ二・一三、I ヨハ五・四、⑬I ヨハ二・一三、I ヨハ五・四、⑭I ヨハ二・一三、I ヨハ五・四、⑮I ヨハ二・一三、I ヨハ五・四、⑯I ヨハ二・一三、I ヨハ五・四

5 ①I ヨハ四・五、②I ヨハ二・一六、③I ヨハ二・一六、④I ヨハ四・五、⑤I ヨハ四・五、⑥I ヨハ四・五、⑦I ヨハ四・五、⑧I ヨハ四・五、⑨I ヨハ四・五、⑩I ヨハ四・五、⑪I ヨハ四・五、⑫I ヨハ四・五、⑬I ヨハ四・五、⑭I ヨハ四・五、⑮I ヨハ四・五、⑯I ヨハ四・五

6 ①I ヨハ四・一、六、②I ヨハ二・二六、③I ヨハ四・一、六、④I ヨハ四・一、六、⑤I ヨハ四・一、六、⑥I ヨハ四・一、六、⑦I ヨハ四・一、六、⑧I ヨハ四・一、六、⑨I ヨハ四・一、六、⑩I ヨハ四・一、六、⑪I ヨハ四・一、六、⑫I ヨハ四・一、六、⑬I ヨハ四・一、六、⑭I ヨハ四・一、六、⑮I ヨハ四・一、六、⑯I ヨハ四・一、六

7 ①I ヨハ四・七、②I ヨハ四・一六、③I ヨハ四・八、一六、④I ヨハ四・八、一六、⑤I ヨハ四・八、一六、⑥I ヨハ四・八、一六、⑦I ヨハ四・八、一六、⑧I ヨハ四・八、一六、⑨I ヨハ四・八、一六、⑩I ヨハ四・八、一六、⑪I ヨハ四・八、一六、⑫I ヨハ四・八、一六、⑬I ヨハ四・八、一六、⑭I ヨハ四・八、一六、⑮I ヨハ四・八、一六、⑯I ヨハ四・八、一六

8 ①I ヨハ四・八、②I ヨハ四・一六、③I ヨハ四・八、一六、④I ヨハ四・八、一六、⑤I ヨハ四・八、一六、⑥I ヨハ四・八、一六、⑦I ヨハ四・八、一六、⑧I ヨハ四・八、一六、⑨I ヨハ四・八、一六、⑩I ヨハ四・八、一六、⑪I ヨハ四・八、一六、⑫I ヨハ四・八、一六、⑬I ヨハ四・八、一六、⑭I ヨハ四・八、一六、⑮I ヨハ四・八、一六、⑯I ヨハ四・八、一六

9 ①I ヨハ四・八、②I ヨハ四・一六、③I ヨハ四・八、一六、④I ヨハ四・八、一六、⑤I ヨハ四・八、一六、⑥I ヨハ四・八、一六、⑦I ヨハ四・八、一六、⑧I ヨハ四・八、一六、⑨I ヨハ四・八、一六、⑩I ヨハ四・八、一六、⑪I ヨハ四・八、一六、⑫I ヨハ四・八、一六、⑬I ヨハ四・八、一六、⑭I ヨハ四・八、一六、⑮I ヨハ四・八、一六、⑯I ヨハ四・八、一六

10 ①ロマ五・八、一〇、I ヨハ四・九、②創 I ヨハ四・九、③創 I ヨハ四・九

11 ①創 I ヨハ二・七、②創 I ヨハ四・七、③I テモ六・一六、I ヨハ四・一〇、②創 I ヨハ四・一〇、③I ヨハ四・一〇、④I ヨハ四・一〇、⑤I ヨハ四・一〇、⑥I ヨハ四・一〇、⑦I ヨハ四・一〇、⑧I ヨハ四・一〇、⑨I ヨハ四・一〇、⑩I ヨハ四・一〇、⑪I ヨハ四・一〇、⑫I ヨハ四・一〇、⑬I ヨハ四・一〇、⑭I ヨハ四・一〇、⑮I ヨハ四・一〇、⑯I ヨハ四・一〇

12 ①I ヨハ四・一二、②I ヨハ四・一六、③I ヨハ四・一六、④I ヨハ四・一六、⑤I ヨハ四・一六、⑥I ヨハ四・一六、⑦I ヨハ四・一六、⑧I ヨハ四・一六、⑨I ヨハ四・一六、⑩I ヨハ四・一六、⑪I ヨハ四・一六、⑫I ヨハ四・一六、⑬I ヨハ四・一六、⑭I ヨハ四・一六、⑮I ヨハ四・一六、⑯I ヨハ四・一六

13 ①I ヨハ三・二四、②I ヨハ四・一六、③I ヨハ四・一六、④I ヨハ四・一六、⑤I ヨハ四・一六、⑥I ヨハ四・一六、⑦I ヨハ四・一六、⑧I ヨハ四・一六、⑨I ヨハ四・一六、⑩I ヨハ四・一六、⑪I ヨハ四・一六、⑫I ヨハ四・一六、⑬I ヨハ四・一六、⑭I ヨハ四・一六、⑮I ヨハ四・一六、⑯I ヨハ四・一六

14 ①I ヨハ四・九、②I ヨハ四・一六、③I ヨハ四・一六、④I ヨハ四・一六、⑤I ヨハ四・一六、⑥I ヨハ四・一六、⑦I ヨハ四・一六、⑧I ヨハ四・一六、⑨I ヨハ四・一六、⑩I ヨハ四・一六、⑪I ヨハ四・一六、⑫I ヨハ四・一六、⑬I ヨハ四・一六、⑭I ヨハ四・一六、⑮I ヨハ四・一六、⑯I ヨハ四・一六

15 ①I ヨハ四・二、②I ヨハ四・一五、③I ヨハ四・一五、④I ヨハ四・一五、⑤I ヨハ四・一五、⑥I ヨハ四・一五、⑦I ヨハ四・一五、⑧I ヨハ四・一五、⑨I ヨハ四・一五、⑩I ヨハ四・一五、⑪I ヨハ四・一五、⑫I ヨハ四・一五、⑬I ヨハ四・一五、⑭I ヨハ四・一五、⑮I ヨハ四・一五、⑯I ヨハ四・一五

16 ①I ヨハ四・八、一六、②I ヨハ四・一六、③I ヨハ四・一六、④I ヨハ四・一六、⑤I ヨハ四・一六、⑥I ヨハ四・一六、⑦I ヨハ四・一六、⑧I ヨハ四・一六、⑨I ヨハ四・一六、⑩I ヨハ四・一六、⑪I ヨハ四・一六、⑫I ヨハ四・一六、⑬I ヨハ四・一六、⑭I ヨハ四・一六、⑮I ヨハ四・一六、⑯I ヨハ四・一六

におり、神もその人のうちにおられます。
17 このことによって、愛が私たちにおいても完全なものとなりました。それは私たちが、さばきの日にも大胆さを持つことができるためです。なぜなら、私たちもこの世にあってキリストと同じような者であるからです。
18 愛には恐れがありません。全き愛は恐れを締め出します。なぜなら恐れには刑罰が伴っているからです。恐れる者の愛は、全きものとなっていないのです。
19 私たちは愛しています。神がまず私たちを愛してくださったからです。
20 神を愛すると言いながら兄弟を憎んでいるなら、その人は偽り者です。目に見える兄弟を愛していない者に、目に見えない神を愛することはできません。
21 神を愛する者は、兄弟をも愛すべきです。私たちはこの命令をキリストから受けています。

5

1 イエスがキリストであると信じる者はだれでも、神によって生まれたのです。生んでくださった方を愛する者はだれでも、その方によって生まれた者をも愛します。
2 私たちが神を愛してその命令を守るなら、そのことによって、私たちが神の子どもたちを愛していることがわかります。
3 神を愛するとは、神の命令を守ることです。その命令は重荷とはなりません。
4 なぜなら、神によって生まれた者はみな、世に勝つからです。私たちの信仰、これこそ、世に打ち勝った勝利です。
5 世に勝つ者とはだれでしょう。イエスを神の御子と信じる者ではありませんか。
6 このイエス・キリストは、水と血とによって来られた方です。ただ水によってだけでなく、水と血とによって来られたのです。そして、あかしをする方は御霊です。御霊は真理だからです。
7 あかしするものが三つあります。
8 御霊と水と血です。この三つが一つとなるのです。
9 もし、私たちが人間のあかしを受け入れるなら、神のあかしはそれにまさるものです。御子についてあかしされたことが神のあかしだからです。
10 神の御子を信じる者は、このあかしを自分の心の中に持っています。神を信じない者は、神を偽り者とするのです。神が御子についてあかしされたことを信じないからです。
11 そのあかしとは、神が私たちに永遠のいのちを与えられたということ、そしてこのいのちが御子のうちにあるということです。
12 御子を持つ者はいのちを持っており、御子を持たない者はいのちを持っていません。
13 私が神の御子の名を信じているあなたがたに対してこれらのことを書いたのは、あなたがたが永遠のいのちを持っていることを、あなたがたによくわからせるためです。

17 ①創 I ヨハ二・五、比 I ヨハ四・一七、一
18 ①創ロマ八・一五、ガラ四・六、二 ②創 I ヨハ四・一
19 ①I ヨハ四・一〇
20 ①I ヨハ二・六、八、一〇、三・一四 ②創 I ヨハ二・九、一一 ③創 I ヨハ二・六、④比 I ヨハ二・七、⑤創 I ヨハ四・二
21 ①創 I ヨハ二・一、②マタ五・四四、一四四、三二節以下、ヨハ一三・三四、比レビ一九・一八
1 ①I ヨハ四・二、創 I ヨハ四・一五、比 I ヨハ五・一、三、一三、一四四、一八、創 I ヨハ二・二九、三・一、三、三 ③ヨハ八・四四
2 ①創 I ヨハ二・五、②創 I ヨハ三・一四四
3 ①ヨハ一四・二五、比 II ヨハ六 ②創 I ヨハ二・三、③マタ二二・三九
4 ①比 I ヨハ五・一、六、創 I ヨハ二・二九、三・九、一〇、一八、②創 I ヨハ三・一四四
5 ①創 I ヨハ四・一五、比 I ヨハ五・一
6 ①ヨハ一九・三四、②ヨハ一五・二六、一六・一三、一四(比マタ三・一六、一七)
7 ①創 I ヨハ五・八、九
8 ①ヨハ一九・三四、三五、八・一七 ②比マタ三・一六、ヨハ五・三二、三七
10 ①ロマ八・一六、ガラ四・六、比黙三・二〇、②I ヨハ一・一〇
11 ①I ヨハ五・一三、創 I ヨハ一・二、三、五、比 I ヨハ四・九 ②創 I ヨハ一・四四
12 ①I ヨハ二・一五、二六 ②創 I ヨハ五・一二
13 ①創 I ヨハ二・二、②ヨハ二〇・三一、三、③創 I ヨハ五・一三

14 1)何事でも神のみこころにかなう願いをするなら、神
はその願いを聞いてくださるということ、これこそ神
に対する私たちの確信です。
15 私たちの願う事を神が聞いてくださると知れば、神
に願ったその事は、すでにかなえられたと 1)知るのです。
16 だれでも兄弟が死に至らない罪を犯しているのを見たなら、1)神に求めなさい。そうすれば神はその人のために、死に至らない罪を犯している人々に、いのちをお与えになります。2)死に至る罪があります。この罪については、願うようにとは言いません。
17 1)不正はみな罪ですが、2)死に至らない罪があります。
18 1)神によって生まれた者はだれも罪の中に生きないことを、私たちは 2)知っています。神から生まれた方が彼を 3)守っていてくださるので、悪い者は彼に 4)触れることができないのです。
19 1)私たちは神からの者であり、2)全世界は悪い者の支配下にあることを 3)知っています。
20 しかし、1)神の御子が来て、2)真実な方を知る理解力を私たちに与えてくださったことを 3)知っています。それで私たちは、真実な方に、すなわち神の御子イエス・キリストのうちにいるのです。4)この方こそ、まことの神、5)永遠のいのちです。
21 1)子どもたちよ。2)偶像を警戒しなさい。

14 ①Ⅰヨハ三・三、[参]マタセ・七
ヨハ一四・一三、②[参]Ⅰヨハ三・二、三、Ⅰヨハ五・六
15 ①[比]Ⅰヨハ五・六、一九・三〇
16 ①[比]ヤコ五・一五、②ヘブ六・四、六、一〇・二六、[比]民一五・三〇、③[比]エレ七・一六、Ⅰヨハ一・一
17 ①[参]Ⅰヨハ三・四、②[比]Ⅰヨハ五・一六
18 ①[参]Ⅰヨハ三・九、②Ⅰヨハ五・一八、一九、二〇、③[比]ヤコ一・二七、ユダ二
④[参]Ⅰヨハ三・三、⑤[比]ヨハ一四・三〇
19 ①[参]Ⅰヨハ四・六、②[比]ヨハ一二・三一、一四・三〇、ガラ一・四
③Ⅰヨハ五・一八、二〇
20 ①Ⅰヨハ五・五、[比]ヨハ八・四二
②ヨハ一七・三、黙三・七、③[比]ルカ二二・四六、④Ⅰヨハ五・二〇、二六、二九
⑤[比]ヨハ一・八、一四・九、Ⅰヨハ一・三、黙三・七、⑥[比]Ⅰヨハ一・三
⑦[参]Ⅰヨハ五・二
21 ①[参]Ⅰヨハ二・一、②Ⅰコリ一〇・七、一四、Ⅰテサ一・九

ヨハネの手紙 第二

1 長老から、選ばれた夫人とその子どもたちへ。私はあなたがたをほんとうに愛しています。私だけでなく、真理を知っている人々がみな、そうです。
2 このことは、私たちのうちに宿る真理によることです。そして真理はいつまでも私たちとともにあります。
3 真理と愛のうちに、御父と御父の御子イエス・キリストから来る恵みとあわれみと平安は、私たちとともにあります。
4 あなたの子どもたちの中に、御父から私たちが受けた命令のとおりに真理のうちを歩んでいる人たちがあるのを知って、私は非常に喜んでいます。
5 そこで夫人よ。お願いしたいことがあります。それは私が新しい命令を書くのではなく、初めから私たちが持っていたものなのですが、私たちが互いに愛し合うということです。
6 愛とは、*御父の命令に従って歩むことであり、命令とは、あなたがたが初めから聞いているとおり、愛のうちを歩むことです。
7 なぜお願いするかと言えば、人を惑わす者、すなわち、イエス・キリストが人として来られたことを告白しない者が大ぜい世に出て行ったからです。こういう者は惑わす者であり、反キリストです。
8 よく気をつけて、私たちの労苦の実をだいなしにすることなく、豊かな報いを受けるようになりなさい。
9 だれでも行き過ぎをして、キリストの教えのうちにとどまらない者は、神を持っていません。その教えのうちにとどまっている者は、御父をも御子をも持っています。
10 あなたがたのところに来る人で、この教えを持って来ない者は、家に受け入れてはいけません。その人にあいさつのことばをかけてもいけません。
11 そういう人にあいさつすれば、その悪い行ないをともにすることになります。
12 あなたがたに書くべきことがたくさんありますが、紙と墨でしたくはありません。あなたがたのところに行って、顔を合わせて語りたいと思います。私たちの喜びが全きものとなるためにです。
13 選ばれたあなたの姉妹の子どもたちが、あなたによろしくと言っています。

1 ①Ⅲヨハ1、旧Ⅰペテ五・一 参使二・三四、②Ⅱヨハ一、旧ロマ六・二三、Ⅰペテ五・一三 ③Ⅱヨハ六、④Ⅰヨハ四・一八 Ⅲヨハ一、旧Ⅱヨハ三 ⑤ヨハ八・三二、旧Ⅰテモ二・四
2 ①参Ⅰヨハ一・八、②参Ⅱペテ一・二一、③旧ヨハ一四・一六
3 ①参Ⅰテモ一・二、旧ロマ一・七 ②Ⅲヨハ三、四
4 ①参Ⅰヨハ二・七、②参Ⅰヨハ三・二
5 ①参Ⅰヨハ二・七、②参Ⅰヨハ三・五、旧Ⅰヨハ 6 ①参Ⅰヨハ五・三、旧Ⅰヨハ二・五 *直訳「彼の」別訳「イエス・キリストの」 ②Ⅰヨハ二・二四、③参Ⅰヨハ二・七
7 ①Ⅰヨハ二・二六、②参Ⅰヨハ四・三、③Ⅰヨハ四・二 旧Ⅰヨハ二・二六、④参Ⅰヨハ二・六
8 ①マコ一四・九、②参ヘブ一〇・三五 旧Ⅰコリ三・八 *異本「あなたがたの」
9 ①ヨハ八・三一、旧ヨハ七・一六 Ⅰヨハ二・二三
10 ①参ロマ一六・一七、旧Ⅰ列三・一六、一七
11 ①Ⅰテモ五・二二、旧ユダ三
12 ①Ⅲヨハ一三、一四、②Ⅰヨハ一四、参ヨハ三・三六 *異本「あなたがたの」
13 ①旧Ⅱヨハ一

ヨハネの手紙　第三

1 長老から、愛するガイオへ。私はあなたをほんとうに愛しています。

2 愛する者よ。あなたが、たましいに幸いを得ているようにすべての点でも幸いを得、また健康であるように祈ります。

3 兄弟たちがやって来ては、あなたが真理に歩んでいるその真実を証言してくれるので、*私は非常に喜んでいます。

4 私の子どもたちが真理に歩んでいることを聞くことほど、私にとって大きな喜びはありません。

5 愛する者よ。あなたが、旅をしているあの兄弟たちのために行なっているいろいろなことは、真実な行ないです。

6 彼らは教会の集まりであなたの愛についてあかしました。あなたが神にふさわしいしかたで彼らを次の旅に送り出してくれるなら、それはりっぱなことです。

7 彼らは御名のために出て行きました。異邦人からは何も受けていません。

8 ですから、私たちはこのような人々をもてなすべきです。そうすれば、私たちは真理のために彼らの同労者となれるのです。

9 私は教会に対して少しばかり書き送ったのですが、彼らの中でかしらになりたがっているデオテレペスが、私たちの言うことを聞き入れません。

10 それで、私が行ったら、彼のしている行為を取り上げるつもりです。彼は意地悪いことばで私たちをののしり、それでもあきたらずに、自分が兄弟たちを受け入れないばかりか、受け入れたいと思う人々の邪魔をし、教会から追い出しているのです。

11 愛する者よ。悪を見ならわないで、善を見ならいなさい。善を行なう者は神から出た者であり、悪を行なう者は神を見たことのない者です。

12 デメテリオはみなの人からも、また真理そのものからも証言されています。私たちも証言します。私たちの証言が真実であることは、あなたも知っているところです。

13 あなたに書き送りたいことがたくさんありましたが、筆と墨でしたくはありません。

14 間もなくあなたに会いたいと思います。そして顔を合わせて話し合いましょう。

15 平安があなたにありますように。友人たちが、あなたによろしくと言っています。そちらの友人たちひとりひとりによろしくと言ってください。

---

1 ①㊢Ⅱヨハ一、②Ⅰヨハ三・一 Ⅱヨハ一
3 ①Ⅲヨハ五・一〇、㊢使一・五 *あるいは「くれたので、私は非常に喜びました」 ②Ⅱヨハ四
4 ①㊢ヨハ三・一、㊢Ⅰコリ四・一四、Ⅱコリ六・一三、ガラ四・六、Ⅱテサ二・一 Ⅰテモ一・二、Ⅱテモ一・二 ピレ一〇、②Ⅱヨハ三
5 ①㊢ロマ一二・一三、ヘブ一三・二 ②Ⅲヨハ一〇、㊢使一・五 ㊢ガラ六・一〇
6 ①Ⅰテサ一・三、㊢コロ一・一〇 ②㊢使一五・三、テト三・一三
7 ①使一四・一、㊢ヨハ一五・二一 ㊢ピリ二・九、②㊢使三〇・三、三五
9 ①㊢Ⅱヨハ九
10 ①㊢Ⅱヨハ一二、②Ⅲヨハ三、五 ㊢使一・一五、㊢ガラ六・一〇 ③Ⅲヨハ五、㊢Ⅱヨハ一〇 ④㊢ヨハ八・三四
11 ①詩三四・一五、三七・二七等 ②Ⅰヨハ二・九、㊢Ⅰヨハ三・一〇、③Ⅰヨハ三・六
12 ①㊢使六・三、Ⅰテモ三・七 ②ヨハ二一・二四、㊢ヨハ一九・三五
13 ①Ⅱヨハ一二
15 ①Ⅰペテ五・一四、㊢Ⅰペテ五・三 ㊢ヨハ一〇・九、二一・二六 ②㊢ヨハ一〇・三

ユダの手紙

1 イエス・キリストのしもべであり、ヤコブの兄弟[1]であるユダ[2]から、父なる神にあって愛され、イエス・キリストのために守られている、召された[3]方々へ。

2 どうか、あわれみと平安と愛が、あなたがたの上に、ますます豊かにされますように。

3 愛する人々。私はあなたがたに、私たちがともに受けている救いについて手紙を書こうとして、あらゆる努力をしていましたが、聖徒にひとたび伝えられた信仰のために戦うよう、あなたがたに勧める手紙を書く必要が生じました。

4 というのは、ある人々が、ひそかに忍び込んで来たからです。彼らは、このようなさばきに会うと昔から前もってしるされている人々で、不敬虔な者であり、私たちの神の恵みを放縦に変えて、私たちの唯一の支配者であり主であるイエス・キリストを否定する人たちです。

5 あなたがたは、すべてのことをすっかり知っているにしても、私はあなたがたに思い出させたいことがあるのです。それは主が、民をエジプトの地から救い出し、次に、信じない人々を滅ぼされたということです。

6 また、主は、自分の領域を守らず、自分のおるべき所を捨てた御使いたちを、大いなる日のさばきのために、永遠の束縛をもって、暗やみの下に閉じ込められました。

7 また、ソドム、ゴモラおよび周囲の町々も彼らと同じように、好色にふけり、不自然な肉欲を追い求めたので、永遠の火の刑罰を受けて、みせしめにされています。

8 それなのに、この人たちもまた同じように、夢見る者であり、肉体を汚し、権威ある者を軽んじ、栄ある者をそしっています。

9 御使いのかしらミカエルは、モーセのからだについて、悪魔と論じ、言い争ったとき、あえて相手をののしり、さばくようなことはせず、「主があなたを戒めてくださるように。」と言いました。

10 しかし、この人たちは、自分には理解もできないことをそしり、わきまえのない動物のように、本能によって知るような事がらの中で滅びるのです。

11 忌まわしいことです。彼らは、カインの道を行き、利益のためにバラムの迷いに陥り、コラのようにそむいて滅びました。

12 彼らは、あなたがたの愛餐のしみ*です。恐れげもなくともに宴を張りますが、自分だけを養っている者であり、風に吹き飛ばされる、水のない雲、実を結ばない、枯れに枯れて、根こそぎにされた秋の木、

13 自分の恥のあわをわき立たせる海の荒波、さまよう星です。まっ暗なやみが、彼らのために永遠に用意さ

1 ①御ロマ一・一、②マタ一三・五五 マコ六・三 ルカ六・一六 ヨハ一四・二二、使一・一三、③ヨハ一七・一二、一三、ロユダ三、Ⅰペテ一・二、④御ロマ一・七

2 ①御ガラ六・一六、Ⅱペテ一・二 Ⅰペテ一・二、②Ⅱペテ一・二等

3 ①御ヘブ六・九、ユダ一七、一八 ロユダ一、②ロテト一・四 ③御使九・三、④Ⅱペテ三・二 ⑤ユダ三、御使六・七 ⑥御Ⅰテモ六・三

4 ①Ⅱテモ三・六、ロガラ二・四 ②ロⅠペテ二・八、③御使一・三 ④ロⅡペテ二・七、⑤Ⅱペテ二・一 ロⅡテモ三・三、テト一・一六 Ⅰヨハ二・二三

5 ①御Ⅰヨハ二・二三、②Ⅱペテ一・一二、一三、③御Ⅰコリ一〇・平一〇、ヘブ三・一六、一七 *異本「イエス」

6 ①ロⅡペテ二・四、②御Ⅱペテ二・九

7 ①Ⅱペテ二・六、②申二九・三 ホセ一一・八、③御Ⅱペテ三・七 ④御マタ五・二九、Ⅱテサ一・八、九 Ⅱペテ二・六、⑤ロⅡペテ二・六 *あるいは「天使たちの」

8 ①ロⅡペテ二・一〇 栄光」

9 ①Ⅰテサ四・一六、ロⅡペテ二・一一 ②ダニ一〇・一三、一二・一、黙一二・七、③ロ申三四・六、④ゼカ三・二 ⑤ロⅡペテ二・一一、②ロⅡピリ三・九

10 ①創二・一八、ロ(ヘブ二・一四 Ⅰヨハ五・二〇、②御Ⅱペテ二・五 ロⅡ民二三・一六、黙二一・一四、三一五 ③民二六・一三、三一五

11 ①Ⅱペテ二・一五、ロⅠコリ一〇・三以下 *あるいは「暗礁」

12 ①Ⅱペテ二・一三、ロⅠテモ一・六 ②エゼ三四・二、一〇、③ロエペ五・二四、④箴二五・一四、ロⅡペテ二・一七、⑤ロマタ一五・一三

13 ①御民ピリ三・一九、②イザ五七・二〇 ③Ⅱペテ二・一七、御ユダ六

れています。
14 アダムから七代目のエノクも、彼らについて預言してこう言っています。「見よ。主は千万の聖徒を引き
1)
連れて来られる。
15 すべての者にさばきを行ない、不敬虔な者たちの、
神を恐れずに犯した行為のいっさいと、また神を恐れ
ない罪人どもが主に言い逆らった無礼のいっさいとに
ついて、彼らを罪に定めるためである。」
1)
16 彼らはぶつぶつ言う者、不平を鳴らす者で、自分の
4)
欲望のままに歩んでいます。その口は大きなことを言い、利益のために
1)
へつらって人をほめるのです。
17 愛する人々よ。私たちの主イエス・キリストの使
3)
徒たちが、前もって語ったことばを思い起こしてください。
18 彼らはあなたがたにこう言いました。「終わりの時
1)
には、自分の不敬虔な欲望のままにふるまう、あざける者どもが現われる。」
19 この人たちは、御霊を持たず、分裂を起こし、生まれつきのままの人間です。
20 しかし、愛する人々よ。あなたがたは、自分の持っている最もきよい信仰の上に自分自身を築き上げ、聖霊によって祈り、
21 神の愛のうちに自分自身を保ち、永遠のいのちに至らせる、私たちの主イエス・キリストのあわれみを待ち望みなさい。
22 疑いを抱く人々をあわれみ、
*
23 火の中からつかみ出して救い、またある人々を、恐れを感じながらあわれみ、肉によって汚されたその下着さえも忌みきらいなさい。
24 あなたがたを、つまずかないように守ることができ、傷のない者として、大きな喜びをもって栄光の御前に立たせることのできる方に、
25 すなわち、私たちの救い主である唯一の神に、栄光、尊厳、支配、権威が、私たちの主イエス・キリストを通して、永遠の先にも、今も、また世々限りなくありますように。アーメン。

14 ①創五・六、三以下、②申三三・二 ③マタ六・一三、Ⅱダニ七・一〇 ヘブ一一・五
15 ①Ⅱペテ二・六以下 ②Ⅰヨハ二・一、③Ⅰコリ一〇・一一、②③Ⅱペテ二・一〇、ユダ六、③Ⅱペテ二・八 ④Ⅱペテニ・三
16 ①民一六・一一、③Ⅰコリ一〇・一〇、②③Ⅱペテ二・一〇、ユダ六、③Ⅱペテ二・八 ④Ⅱペテニ・三
17 ①③ユダ三、②Ⅰヨハ二・一八
18 ①Ⅱペテ三・三、Ⅰテモ四・一、Ⅱテモ三・一、二、四・三、②③ユダ一六、Ⅰヨハ二・一八、ヤコ五・三
19 ①Ⅰコリ二・一四、一五、ヤコ三・一五
20 ①③ユダ三、②コロ二・七 Ⅰテサ三・一三、③エペ六・一八
21 ①テト二・一三、ヘブ九・二八 Ⅱペテ三・一三
22 ＊異本「確信づけ」 ①アモ四・一一、ゼカ三・二 Ⅰコリ一・一五、②Ⅰヨハ五・一六
23 ①③ロマ六・二一、ゼカ三・二、②Ⅰペテ四・三、③Ⅱコリ七・一
24 ①③ルカ一四・三三、②ヨハ一六・三三 ③ロマ一六・二五、Ⅰテモ一・一七、②Ⅰペテ一・八、③Ⅱコリ四・一四
25 ①③ルカ一・四七、②ヨハ八・五〇 ③ロマ一六・二七、④Ⅰヨハ一・二、③ヘブ一三・二一

ヨハネの黙示

1

1 イエス・キリストの黙示。これは、すぐに起こるはずの事をそのしもべたちに示すため、神がキリストにお与えになったものである。そしてキリストは、その御使いを遣わして、これをしもべヨハネにお告げになった。
2 ヨハネは、神のことばとイエス・キリストのあかし、すなわち、彼の見たすべての事をあかしした。
3 この預言のことばを朗読する者と、それを聞いて、そこに書かれていることを心に留める人々は幸いである。時が近づいているからである。
4 ヨハネから、アジヤにある七つの教会へ。常にいまし、昔いまし、後に来られる方から、また、その御座の前におられる七つの御霊から、
5 また、忠実な証人、死者の中から最初によみがえられた方、地上の王たちの支配者であるイエス・キリストから、恵みと平安が、あなたがたにあるように。イエス・キリストは私たちを愛して、その血によって私たちを罪から解き放ち、
6 また、私たちを王とし、ご自分の父である神のために祭司としてくださった方である。キリストに栄光と力とが、とこしえにあるように。アーメン。
7 見よ、彼が、雲に乗って来られる。すべての目、とに彼を突き刺した者たちが、彼を見る。地上の諸族はみな、彼のゆえに嘆く。しかり。アーメン。
8 神である主、常にいまし、昔いまし、後に来られる方、万物の支配者がこう言われる。「わたしはアルファであり、オメガである。」
9 私ヨハネは、あなたがたの兄弟であり、あなたがたとともにイエスにある苦難と御国と忍耐とにあずかっている者であって、神のことばとイエスのあかしとのゆえに、パトモスという島にいた。
10 私は、主の日に御霊に感じ、私のうしろにラッパの音のような大きな声を聞いた。
11 その声はこう言った。「あなたの見ることを巻き物にしるして、七つの教会、すなわち、エペソ、スミルナ、ペルガモ、テアテラ、サルデス、フィラデルフィヤ、ラオデキヤに送りなさい。」
12 そこで私は、私に語りかける声を見ようとして振り向いた。振り向くと、七つの金の燭台が見えた。
13 それらの燭台の真中には、足までたれた衣を着て、胸に金の帯を締めた、人の子のような方が見えた。
14 その頭と髪の毛は、白い羊毛のように、また雪のように白く、その目は、燃える炎のようであった。
15 その足は、炉で精練されて光り輝くしんちゅうのようであり、その声は大水の音のようであった。
16 また、右手に七つの星を持ち、口からは鋭い両刃の剣が出ており、顔は強く照り輝く太陽のようであった。

17それで私は、この方を見たとき、[1]その足もとに倒れて死者のようになった。しかし彼は右手を私の上に置いてこう言われた。「恐れるな。わたしは、[2]最初であり、[3]最後であり、
18[1]生きている者である。わたしは死んだが、[2]見よ、いつまでも生きている。また、[3]死とハデスとのかぎを持っている。
19そこで、あなたの[1]見た事、今ある事、[2]この後に起こる事を書きしるせ。
20わたしの右の手の中に見えた七つの[1]星と、七つの[2]金の燭台について、その秘められた意味を言えば、[1]七つの星は七つの[4]教会の御使いたち、[5]七つの燭台は七つの教会である。

2

1エペソにある教会の御使いに書き[1]送れ。
『[2]右手に七つの星を持つ方、[3]七つの金の燭台の間を歩く方が言われる。
2「わたしは、あなたの行ないとあなたの労苦と忍耐を知っている。また、あなたが、悪い者たちをがまんすることができず、使徒と自称しているが実はそうでない者たちをためして、その偽りを見抜いたことも知っている。
3あなたはよく忍耐して、[1]わたしの名のために耐え忍び、疲れたことがなかった。
4しかし、あなたには非難すべきことがある。あなたは[1]初めの愛から離れてしまった。
5それで、あなたは、どこから落ちたかを思い出し、[1]悔い改めて、[2]初めの行ないをしなさい。もしそうでなく、悔い改めることをしないならば、わたしは、あなたのところに行って、あなたの燭台を[3]その置かれた所から取りはずしてしまおう。
6しかし、あなたにはこのことがある。あなたは[1]ニコライ派の人々の行ないを憎んでいる。わたしもそれを憎んでいる。
7[1]耳のある者は御霊が諸教会に言われることを聞きなさい。[2]勝利を得る者に、わたしは[3]神のパラダイスにある[4]いのちの木の実を食べさせよう。[1]」
8また、スミルナにある教会の[1]御使いに書き送れ。
『[2]初めであり、終わりである方、[3]死んで、また生きた方が言われる。
9「わたしは、あなたの[1]苦しみと貧しさとを知っている。――しかしあなたは実際は[2]富んでいる。――またユダヤ人だと自称しているが、[3]実はそうでなく、かえってサタンの[4]会衆である人たちから、ののしられていることも知っている。
10あなたが受けようとしている苦しみを恐れてはいけない。見よ。悪魔はあなたがたを[1]ためすために、あなたがたのうちのある人たちを牢に投げ入れようとしている。あなたがたは十日の間苦しみを受ける。[2]死に至るまで忠実でありなさい。そうすれば、わたしはあなたにいのちの冠を与えよう。
11[1]耳のある者は御霊が諸教会に言われることを聞きな

---

17 ①啀ダニ八・一七、一〇・九、一〇・一二 ②啀ダニ八・一七、一〇・一〇、一二 ③黙マタ一四・二七、一七・七、④黙二・八、三・二、イザ四一・四、四四・六 四八・一二 18 ①ルカ二四・五、啀使二六・九、一〇 ②黙二・八、ロマ六・九、啀黙一〇・六、一五・七、③啀黙二・一三、ヨブ三八・一七、啀マタ六・一九、一二・一三 19 ①黙一・一六、②黙四・一 ①黙一・一九 20 ①黙一・一六、②啀黙一・一三 ③啀黙一・一二、⑤啀マタ一三・一二、④黙一・一四 ⑤啀マタ一三・一二 1 ①啀黙一・一一、②啀黙一・一六 *直訳「ただ中を」 2 ①黙二・九、三・八、一七 ②啀Ⅱコリ一一・一三、③ヨハ一・一、啀ヨハ六・六 3 ①啀ヨハ一五・二 ④マタ二四・一二、啀エレ一二・一二 4 ①啀マタ一〇・三四、啀エレ一二・一二 5 ①黙二・六、三・三、一九、②黙二・一三、啀ヘブ一〇・三二、啀マタ一〇・三三、啀ヨハ一五・二四以下、ピリ二・一五 6 ①黙二・一五 7 ①黙二・七、三・六、一三、啀黙一三・九、啀マタ一三・九、啀ロマ一一・二五、②黙二・一一、七、一七、三・五、一二、二一・七 ③エゼ三一・八（七十人訳）啀ルカ二三・四三、④黙三・六、一三、啀創二・九、三・三、啀箴三・一八、二二・一三、一五・一四 8 ①黙二・一、八 ②啀黙一・一七 9 ①啀黙二・九、一三、一九、②黙二・九、啀ロマ一六・二〇、③啀Ⅱコリ一一・一三、啀ヨハ八・四四、④啀エレ七・一一、啀ルカ四・六、啀ヨハ一二・三一、一四・三〇、一六・一一、啀エペ二・二 10 ①啀ダニ一・一二、一四、③啀黙二・一〇、④啀Ⅰコリ九・二五、黙二・一〇 11 ①黙二・七、一一、一七、二九、三・六、一三、啀黙二・二九、啀マタ一一・一五

さい。勝利を得る者は、決して第二の死によってそこなわれることはない。』

12 また、ペルガモにある教会の御使いに書き送れ。
『鋭い、両刃の剣を持つ方がこう言われる。

13 「わたしは、あなたの住んでいる所を知っている。そこにはサタンの王座がある。しかしあなたは、わたしの名を堅く保って、わたしの忠実な証人アンテパスがサタンの住むあなたがたのところで殺されたときでも、わたしに対する信仰を捨てなかった。

14 しかし、あなたには少しばかり非難すべきことがある。あなたのうちに、バラムの教えを奉じている人々がいる。バラムはバラクに教えて、イスラエルの人々の前に、つまずきの石を置き、偶像の神にささげた物を食べさせ、また不品行を行なわせた。

15 それと同じように、あなたのところにもニコライ派の教えを奉じている人々がいる。

16 だから、悔い改めなさい。もしそうしないなら、わたしは、すぐにあなたのところに行き、わたしの口の剣をもって彼らと戦おう。

17 耳のある者は御霊が諸教会に言われることを聞きなさい。わたしは勝利を得る者に隠れたマナを与える。また、彼に白い石を与える。その石には、それを受ける者のほかはだれも知らない、新しい名が書かれている。』

18 また、テアテラにある教会の御使いに書き送れ。
『燃える炎のような目を持ち、その足は光り輝くしんちゅうのような、神の子がこう言われる。

19 「わたしは、あなたの行ないと愛と信仰と奉仕と忍耐を知っており、また、あなたの近ごろの行ないが初めの行ないにまさっていることも知っている。

20 しかし、あなたには非難すべきことがある。あなたは、イゼベルという女をなすがままにさせている。この女は、預言者だと自称しているが、わたしのしもべたちを教えて誤りに導き、不品行を行なわせ、偶像の神にささげた物を食べさせている。

21 わたしは悔い改める機会を与えたが、この女は不品行を悔い改めようとしない。

22 見よ。わたしは、この女を病の床に投げ込もう。また、この女と姦淫を行なう者たちも、*この女の行ないを離れて悔い改めなければ、大きな患難の中に投げ込もう。

23 また、わたしは、この女の子どもたちをも*死病によって殺す。こうして全教会は、わたしが人の思いと心を探る者であることを知るようになる。また、わたしは、あなたがたの行ないに応じてひとりひとりに報いよう。

24 しかし、テアテラにいる人たちの中で、この教えを受け入れておらず、彼らの言うサタンの深いところをまだ知っていないあなたがたに言う。わたしはあなたがたに、ほかの重荷を負わせない。

25 ただ、あなたがたの持っているものを、わたしが行くまで、しっかりと持っていなさい。

---

1) ①欽三・七、三六、三七、三三、三八、③欽三・六、特に一四、二一。
2) ①欽二・一二、②欽三・六、④欽一・一六
3) ①欽二・一三、一四、④マタ四・一〇、②欽二・一五、二一、三、③欽二・一五、二六、使三・一〇、④ヒ欽三・九、⑤欽一四、二三、ヒⅠテモ五・八
4) ①ヒ欽三・一〇、②欽Ⅱペテ二・一五、③欽三・一〇、使一五・一九、Ⅰコリ一〇・一〇
5) ①欽三・六
6) ①欽三・一五、②ヒ欽三・七、一〇、③欽三・一六、ヒⅡテサ二・八
7) ①欽三・七、②ヨ八六、四九、五〇、③欽二九・二、ヒ欽三・四、④イザ五四・五六、六二、六五、一五
8) ①欽二・一四、④欽三・一二、②欽三・一四、一五、③欽マタ四・二
9) ①④欽三・二
10) ①ヒ欽二・一四、②Ⅰ列六・二、三・一五、Ⅱ列九・七、③欽三・一四
11) ①マ二四、Ⅱペテ三・九、②欽九・一〇、三・一六、九、一一、ロマ二・五
12) ①欽三・七、二八、九
* 異本「彼らの行ない」
13) * 別訳「死」
①詩七四、一五、二三、一、エレ二・二、一七、一〇、④ヒカ六・一五
使一二・二、ロマ八・一七、ヒマタ一六・七
** 直訳「腎臓」(内なる人を表わす)
14) ①④欽三・八、②ヒⅠコリ三・一〇、③ヒ使二・一六
15) ①欽三・一二、②④ヨ一三・三三

26 勝利を得る者、また最後までわたしのわざを守る者には、諸国の民を支配する権威を与えよう。
27 彼は、鉄の杖をもって土の器を打ち砕くようにして彼らを治める。わたし自身が父から支配の権威を受けているのと同じである。
28 また、彼に明けの明星を与えよう。
29 耳のある者は御霊が諸教会に言われることを聞きなさい。」』

3 1 また、サルデスにある教会の御使いに書き送れ。
『神の七つの御霊、および七つの星を持つ方がこう言われる。「わたしは、あなたの行ないを知っている。あなたは、生きているとされているが、実は死んでいる。
2 目をさましなさい。そして死にかけているほかの人たちを力づけなさい。わたしは、あなたの行ないが、わたしの神の御前に全うされたとは見ていない。
3 だから、あなたがどのように受け、また聞いたのかを思い出しなさい。それを堅く守り、また悔い改めなさい。もし、目をさまさなければ、わたしは盗人のように来る。あなたには、わたしがいつあなたのところに来るか、決してわからない。
4 しかし、サルデスには、その衣を汚さなかった者が幾人かいる。彼らは白い衣を着て、わたしとともに歩む。彼らはそれにふさわしい者だからである。
5 勝利を得る者は、このように白い衣を着せられる。そして、わたしは、彼の名をいのちの書から消すようなことは決してしない。わたしは彼の名をわたしの父の御前と御使いたちの前で言い表わす。
6 耳のある者は御霊が諸教会に言われることを聞きなさい。」』
7 また、フィラデルフィヤにある教会の御使いに書き送れ。
『聖なる方、真実な方、ダビデのかぎを持っている方、彼が開くとだれも閉じる者がなく、彼が閉じるとだれも開く者がない、その方がこう言われる。
8 「わたしは、あなたの行ないを知っている。見よ。わたしは、だれも閉じることのできない門を、あなたの前に開いておいた。なぜなら、あなたには少しばかりの力があって、わたしのことばを守り、わたしの名を否まなかったからである。
9 見よ。サタンの会衆に属する者、すなわち、ユダヤ人だと自称しながら実はそうでなくて、うそを言っている者たちに、わたしはこうする。見よ。彼らをあなたの足もとに来てひれ伏させ、わたしがあなたを愛していることを知らせる。
10 あなたが、わたしの忍耐について言ったことばを守ったから、わたしも、地上に住む者たちを試みるために、全世界に来ようとしている試練の時には、あなたを守ろう。
11 わたしは、すぐに来る。あなたの冠をだれにも奪われないように、あなたの持っているものをしっかりと

---

26 ①黙二七、②黙マタ一〇・三ヘブ二・六、③詩二・八、民黙三・二〇・二四
* あるいは「異邦人」
27 ①イザ二・四、エレ九・二
* あるいは「牧する」
28 ①黙黙二二・一六
29 ①黙三七
1 ①黙黙一・一六、②黙黙一・四
3 ①黙黙三・一一、②黙黙三・八、三五
4 ①黙黙三・五、②黙Ⅰテモ五・二一、③黙Ⅰテモ五・六
5 ①黙Ⅰテサ五・二、Ⅱペテ三・一〇、②黙二八、三五、③黙黙三・五、④黙マタ二〇・三二
6 ①黙黙二・一一、②ユダ三
7 ①黙黙二・一三、使一・二五、②黙黙三・七、③黙黙三・八、四、四四、四五、六・一一、七・九、伝九・八、民黙三・九
8 ①黙黙三・七、②黙黙三・四
9 ①黙黙三・八、②黙黙二・九、三・一、③黙黙二・九、三・九、民ルカ一〇・一九、④マタ一〇・三、ルカ二一・一五
10 ①黙黙一・二、②黙六・一〇、③黙三・一〇、④イザ二三・一七、黙Ⅰヨハ二・一七、ヨブ二・一、三
11 ①黙黙一・一
* あるいは「わたしは……知っている(見よ。……開いておいた)。すなわち、あなたは……否まなかったことを」
12 ①黙使三・一七、②黙三・三
* 直訳「与える」
12 ①イザ四四・三、六三・一、②イザ四四・五、四八・一、③民黙三・一六、④民ヨハ一七・三
13 ①黙六・一〇、②黙六・一一、③黙六・八、四、一四・一三、一八・二〇、二一・六、二二・八、四、一七
* あるいは「誘惑する」
14 ①黙一・五、②黙三・一四、③黙三・一四
* 黙一・五、四、黙一四・六、七、一七・一、一八・一、二一・六、二二・一、六、八、九、一七、黙Ⅰヨハ四・一四、黙Ⅰテモ四・一〇、黙ヘブ二・一〇、黙Ⅱペテ一・一、黙ユダ一、黙黙一・一、四、九、一一、二二・一六、黙マタ一・一、黙ルカ一・一、黙使一・一、黙ロマ一・一、黙Ⅰコリ一・一、黙Ⅱコリ一・一、黙ガラ一・一、黙エペ一・一、黙コロ一・一、黙Ⅰテモ一・一、黙Ⅱテモ一・一、黙テト一・一、黙ピレ一、黙ヘブ一・一、黙ヤコ一・一、黙Ⅰペテ一・一、黙Ⅱペテ一・一、黙Ⅰヨハ一・一、黙ユダ一、黙黙一・一、四、九、一一、二二・一六
15 ①黙黙三・一
16 ①黙黙三・一
17 ①黙黙三・一
18 ①黙黙三・一
19 ①黙黙三・一
20 ①黙黙三・一
21 ①黙黙三・一
22 ①黙黙三・一
* 黙三・一四、黙一四・六、七、一七・一、一八・一、二一・六、二二・一、六、八、九、一七、黙Ⅰヨハ四・一四、黙Ⅰテモ四・一〇、黙ヘブ二・一〇、黙Ⅱペテ一・一、黙ユダ一、黙黙一・一、四、九、一一、二二・一六、黙マタ一・一、黙ルカ一・一、黙使一・一、黙ロマ一・一、黙Ⅰコリ一・一、黙Ⅱコリ一・一、黙ガラ一・一、黙エペ一・一、黙コロ一・一、黙Ⅰテモ一・一、黙Ⅱテモ一・一、黙テト一・一、黙ピレ一、黙ヘブ一・一、黙ヤコ一・一、黙Ⅰペテ一・一、黙Ⅱペテ一・一、黙Ⅰヨハ一・一、黙ユダ一、黙黙一・一、四、九、一一、二二・一六

持っていなさい。
12 勝利を得る者を、わたしの神の聖所の柱としよう。
彼はもはや決して外に出て行くことはない。わたしは
彼の上にわたしの神の御名と、わたしの神の都、すな
わち、わたしの神のもとを出て天から下って来る新し
いエルサレムの名と、わたしの新しい名とを書きしる
す。
13 耳のある者は御霊が諸教会に言われることを聞きな
さい。」

14 また、ラオデキヤにある教会の御使いに書き送れ。
『アーメンである方、忠実で、真実な証人、神に造
られたものの根源である方がこう言われる。
15「わたしは、あなたの行ないを知っている。あなた
は、冷たくもなく、熱くもない。わたしはむしろ、あ
なたが冷たいか、熱いかであってほしい。
16 このように、あなたはなまぬるく、熱くも冷たくも
ないので、わたしの口からあなたを吐き出そう。
17 あなたは、自分は富んでいる、豊かになった、乏し
いものは何もないと言って、実は自分がみじめで、哀
れで、貧しくて、盲目で、裸の者であることを知らな
い。
18 わたしはあなたに忠告する。豊かな者となるため
に、火で精練された金をわたしから買いなさい。また、
あなたの裸の恥を現わさないために着る白い衣を
買いなさい。また、目が見えるようになるため、目に
塗る目薬を買いなさい。
19 わたしは、愛する者をしかったり、懲らしめたりす
る。だから、熱心になって、悔い改めなさい。
20 見よ。わたしは、戸の外に立ってたたく。だれでも、
わたしの声を聞いて戸をあけるなら、わたしは、彼の
ところにはいって、彼とともに食事をし、彼もわたし
とともに食事をする。
21 勝利を得る者を、わたしとともにわたしの座に着か
せよう。それは、わたしが勝利を得て、わたしの父と
ともに父の御座に着いたのと同じである。
22 耳のある者は御霊が諸教会に言われることを聞きな
さい。」』

4

1 その後、私は見た。それは天にあ
る開いた門である。すると、先にラ
ッパのような声で私に呼びかけるのが聞こえたあの初
めの声が言った。「ここに上れ。この後、必ず起こる
事をあなたに示そう。」
2 たちまち私は御霊に感じた。すると見よ。天に一つ
の御座があり、その御座に着いている方があり、
3 その方は、碧玉や赤めのうのように見え、その御座
の回りには、緑玉のように見える虹があった。
4 また、御座の回りに二十四の座があった。これらの
座には、白い衣を着て、金の冠を頭にかぶった二十四
人の長老たちがすわっていた。
5 御座からいなずまと声と雷鳴が起こった。七つのと
もしびが御座の前で燃えていた。神の七つの御霊であ
る。

12 ①参黙三・五、二一、②Ⅰ列七・二一
Ⅱ歴二八、詩ガラ二・九
③黙二・二三、四二・二
エゼ四八・三五、⑤黙三・一〇
参ガラ四・六、ヘブ三・一四
⑥参黙三・七
13 ①参黙三・六
14 ①参黙三・一二、②イザ六五・一六
Ⅱコリ一・二〇、③参黙三・五
Ⅱテモ二・七、④ヨハ一・三、コロ
一・一八、黙二・一三、三・一四、創
四九・二、申二一・七、箴八・三
15 ①参黙三・一、②Ⅱコロ三・二
16 ①ホセ一二・九、ゼカ一一・五
17 ①ホセ一二・九、ゼカ一一・五
Ⅰコリ四・八、Ⅱコロ五・三
18 ①参Ⅰペテ一・七、②イザ五五・
Ⅱコロ三・四、③黙三・五、
④参黙三・四
19 ①参ヘブ一二・六、Ⅱコリ一・
三、②参黙三・五
20 ①マタ二四・三三、ヤコ五・九
②ルカ一二・三六、Ⅱヨハ一〇・三
③ヨハ一四・二三
21 ①参黙三・七、②黙二〇・四、Ⅱコロ
一二・六、参マタ二八・一八、Ⅱテモ
一・一、③黙三・五、六、二一・一四
22 ①参黙三・七
1 ①Ⅱコリ一二以下、一九、②Ⅱコロ
一二・一、エゼ一・一、③黙二・一、
④黙二・一、⑤黙一・一九、三・一〇
2 ①参黙二・七、②黙四・一、六、
Ⅰ列三・九、イザ六・一、エゼ
一・二六、ダニ七・九、③参黙四・九
3 ＊直訳「御座に着いている」
①黙三・二一、②黙三・一〇、③黙
二・九、④エゼ一・二六、Ⅱコロ一〇・一
＊＊あるいは「光輪」
4 ①参黙四・四、五、二一、七二、
②黙三・五、六、④黙四・一〇
5 ①黙四・一、Ⅱコロ四・六、②黙
八・五、Ⅰコリ一五・五二、黙一一・一九、
一六・一八、②黙四・九、一〇
6 ①黙四・一〇、Ⅱコロ一二・二、参マタ
五・三四、黙二一・一八、②ゼカ一四・一六、Ⅱコロ四
三七、③参黙四・四

6 御座の前は、[1]水晶に似たガラスの海のようであった。
御座の中央と御座の回りに、前もうしろも目で満ちた
[4]四つの生き物がいた。
7 [1]第一の生き物は、ししのようであり、第二の生き物
は雄牛のようであり、第三の生き物は人間のような顔
を持ち、第四の生き物は空飛ぶわしのようであった。
8 [1]この四つの生き物には、それぞれ六つの翼があり、
その回りも内側も目で満ちていた。彼らは、昼も夜も
絶え間なく叫び続けた。
「聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな。[6]神であ
られる主、万物の支配者、昔いまし、常にいまし、
後に来られる方。」
9 また、これらの生き物が、[1]永遠に生きておられる、
御座に着いている方に、栄光、誉れ、感謝をささげる
とき、
10 [1]二十四人の長老は御座に着いている方の御前にひれ
伏して、永遠に生きておられる方を拝み、自分の冠を
御座の前に投げ出して言った。
11 「主よ。われらの神よ。[1]あなたは、栄光と誉れと
力とを受けるにふさわしい方です。あなたは[2]万物
を創造し、あなたのみこころゆえに、万物は存在
し、また創造されたのですから。」

5 1 また、私は、御座にすわっておら
れる方の右の手に巻き物があるのを
見た。それは内側にも外側にも文字が書きしるされ、
[3]七つの封印で封じられていた。
2 また私は、ひとりの[1]強い御使いが、大声でふれ広め
て、「巻き物を開いて、封印を解くのにふさわしい者
はだれか。」と言っているのを見た。
3 しかし、天にも、地にも、地の下にも、だれひとり
その巻き物を開くことのできる者はなく、見ることの
できる者もいなかった。
4 巻き物を開くのにも、見るのにも、ふさわしい者が
だれも見つからなかったので、私は激しく泣いていた。
5 すると、長老のひとりが、私に言った。「泣いては
いけない。見なさい。[1]ユダ族から出たしし、ダビデの
根が勝利を得たので、その巻き物を開いて、七つの封
印を解くことができます。」
6 さらに私は、[1]御座――そこには、四つの生き物がい
る。――と、長老たちとの間に、[2]ほふられたと見える
[3]小羊が立っているのを見た。これに七つの角と[4]七つの
目があった。その目は、全世界に遣わされた[6]神の七つ
の御霊である。
7 小羊は近づいて、[1]御座にすわる方の右の手から、巻
き物を受け取った。
8 彼が巻き物を受け取ったとき、[1]四つの生き物と[2]二十
四人の長老は、おのおの、[3]立琴と、香のいっぱいはい
った[4]金の鉢とを持って、小羊の前にひれ伏した。この
香は聖徒たちの祈りである。
9 彼らは、[1]新しい歌を歌って言った。
「あなたは、巻き物を受け取って、その封印を解
くのにふさわしい方です。あなたは、ほふられ

---

6 ①黙示4:2, 比黙示21:18, 3
エゼ1:22, ②黙示4:4
③比エゼ1:18, 10:12, ④エゼ
1:18, 黙示4:8, 5:6等, ⑤エゼ
1:4, 10:2, 比ダニ7:9
7 ①比エゼ1:10, 比10:14
8 ①エゼ1:18, 黙示4:6, ②イザ
6:2, 3, ③比エゼ1:18, ④エゼ
1:18, 黙示4:8, ⑤エゼ1:4, 10:12
9 ①黙示4:8, ②黙示5:13, 14
10 ①黙示4:4, ②黙示4:8, 比イザ
6:1, 詩103:19, ③黙示4:11, ④エ
ゼ1:28, ⑤黙示5:8, 14, ⑥黙示
11:16, ⑦黙示19:4
11 ①黙示4:8, ②黙示4:9, 比イザ
6:1, 詩103:19, ③黙示4:11, ④エ
ゼ1:28, ⑤黙示5:8, 14, ⑥黙示
11:16, ⑦黙示19:4

1 ①黙示4:6, ②エゼ2:9, 3:1, 黙示10:8, ③使5:38
2 ①黙示10:1, 18:21
3 ①比黙示5:13, ヒリ2:10
4 ①③黙示5:6, ②創30:25
5 ①③黙示5:6, イザ11:1, 10
比ロマ15:12
6* 別訳「御座と四つの生き
物の間、長老たちの間に」
①黙示5:6, 11, 14, ②黙示4:6
③黙示5:8, 14, ④比ダニ7:9, ⑤ゼカ3:9,
14:10, ⑥黙示1:4
7 ①黙示5:1
8 ①黙示4:6, 11, 14, ②黙示4:4
③黙示5:8, 14, ④比黙示5:8, ⑤黙示
8:3, 4, ⑥比黙示8:10, ⑦黙示5:13,
9 ①黙示14:3, 比黙示5:9, 詩33:3,
144:9, ②黙示5:5, 比イザ51:10
③比黙示5:12, ④黙示5:6

て、その血により、あらゆる部族、国語、民族、国民の中から、神のために[4]買い取り、[5]ひとびとを贖い、
10 私たちの神のために、この人々を王とし、[1]祭司とされました。彼らは地上を治めるのです。」
11 また私は見た。私は、御座と生き物と長老たちとの回りに、多くの御使いたちの声を聞いた。その数は万の幾万倍、千の幾千倍であった。
12 彼らは大声で言った。
「ほふられた小羊は、力と、富と、知恵と、勢いと、誉れと、栄光と、賛美を受けるにふさわしい方です。」
13 また私は、天と地と、地の下と、海の上のあらゆる造られたもの、およびその中にある生き物がこう言うのを聞いた。
「御座にすわる方と、小羊とに、賛美と誉れと栄光と力が永遠にあるように。」
14 また、四つの生き物はアーメンと言い、長老たちはひれ伏して拝んだ。

6

1 また、私は見た。小羊が七つの封印の一つを解いたとき、四つの生き物が、雷のような声で「来なさい。*」と言うのを私は聞いた。
2 私は見た。それは、白い馬であった。それに乗っている者は弓を持っていた。彼は冠を与えられ、勝利の上にさらに勝利を得ようとして出て行った。
3 小羊が第二の封印を解いたとき、私は、第二の生き物が、「来なさい。」と言うのを聞いた。
4 すると、別の、火のように赤い馬が出て来た。これに乗っている者は、地上から平和を奪い取ることが許された。人々が、互いに殺し合うようになるためであった。また、彼に大きな剣が与えられた。
5 小羊が第三の封印を解いたとき、私は、第三の生き物が、「来なさい。」と言うのを聞いた。私は見た。それは、黒い馬であった。これに乗っている者は量りを手に持っていた。
6 すると私は、一つの声のようなものが、四つの生き物の間で、こう言うのを聞いた。「小麦一枡は一デナリ。大麦三枡も一デナリ。オリーブ油とぶどう酒に害を与えてはいけない。」
7 小羊が第四の封印を解いたとき、私は、第四の生き物の声が、「来なさい。*」と言うのを聞いた。
8 私は見た。それは青ざめた馬であった。これに乗っている者の名は死といい、そのあとにはハデスがつき従った。彼らに地上の四分の一を剣ときんと死病と地上の獣によって殺す権威が与えられた。
9 小羊が第五の封印を解いたとき、私は、神のことばと、自分たちが立てたあかしとのために殺された人人のたましいが祭壇の下にいるのを見た。
10 彼らは大声で叫んで言った。「聖なる、真実な主よ。いつまでさばきを行なわず、地に住む者に私たちの血の復讐をなさらないのですか。」
11 すると、彼らのひとりひとりに白い衣が与えられ

---

1 ①黙示一・六
2 ①黙示五・六
3 ①黙示四・七
4 ①黙示五・九
5 ①黙示七・九
6 ①黙示一・五
7 ①黙示四・六
8 ①ゼカ六・二
9 ①黙示二・九、二・一七、六・一一、①出二九・一二、レビ四・七、②黙示八・三、一四・一八、一五・六、一六・七
10 ①黙示一・六
11 ①黙示三・四、六・一一、一四・四、一五・四、①ダニ七・一〇、①黙示一〇・一一、一四・一、五、①ヨシ六・一〇

*直訳「王国」

1 ①黙示五・一三、①黙示三・一
2 ①黙示五・八、②黙示五・六、③黙示五・六、④ダニ七・一〇、①黙示九・一六、ヘブ一二・二二、②黙示一四・四、一五・三
3 ①ゼカ一・一〇、①黙示三・一
4 ①黙示五・一、③黙示五・六
5 ①黙示五・六、②黙示五・八
6 ①黙示一二・三、黙示一八・一三、②Ⅰコリ一四・一六、黙示一二・一九、③黙示四・一〇
7 ①黙示五・一、②黙示五・八
8 ①黙示一四・一九、二〇、②黙示一六・六、一八・二四、③黙示二・二三、④黙示一八・七
9 ①黙示一四・一八、二〇、②黙示六・四、一二・一七、一九・一三、③黙示一・二、④黙示一六・六、一七・六、一八・二四、⑤黙示一四・一八、二〇

*異本「そして見なさい」を加える

1 ①黙示一八・六、二三、②黙示一四・八、一六・一九、③黙示一四・一〇、④黙示一九・一五
2 ①黙示一九・一一、①ゼカ一・八、六・二、③黙示一四・一四、一九・一一、②ゼカ六・二、③黙示三・二
3 ①黙示四・七
4 ①ゼカ一・八、六・二、②黙マタ二四・一四
5 ①黙示四・七、②ゼカ六・二
6 ①黙示四・六
*ギリシヤ語「コイニックス」乾量で、約一リットル相当
7 ①黙示四・七
8 ①黙示六・八
*あるいは「灰色」
2 ①黙示一・八、二〇、三・一四、①箴言二六、士七・二、三、③ヨブ一・三、④比エレ一五・二、三、一四・一〇、一二、一六・四、二等
9 ①黙示二・九、六・一一、②黙示三・一、七、④黙示四・六、七、⑤比出二九・一二、レビ四・七
10 ①黙示六・一〇、②Ⅱペテ二・一
11 ①ルカ二一・二二、②黙示三・四、③ゼカ一・四、④黙示一九・一四、⑤詩一〇四・三五、⑥ルカ六・二七、①黙示三・一八、七・九、①黙示三・四

た。そして彼らは、「あなたがたと同じしもべ、また兄弟たちで、[2]あなたがたと同じように殺されるはずの人々の数が[3]満ちるまで、もうしばらくの間、[4]休んでいなさい。」と言い渡された。

12 私は見た。小羊が第六の封印を解いたとき、大きな地震が起こった。そして、[2]太陽は毛の荒布のように黒くなり、月の全面が血のようになった。

13 そして天の星が地上に落ちた。それは、いちじくが、[2]大風に揺られて、青い実を振り落とすようであった。

14 天は、巻き物が巻かれるように消えてなくなり、すべての山や島がその場所から移された。

15 地上の王、高官、千人隊長、金持ち、勇者、あらゆる奴隷と自由人が、ほら穴と山の岩間に隠れ、

16 山や岩に向かってこう言った。「私たちの上に倒れかかって、[2]御座にある方の御顔と小羊の怒りとから、私たちをかくまってくれ。

17 御怒りの大いなる日が来たのだ。だれがそれに耐えられよう。」

7

1 この後、私は見た。四人の御使いが地の四隅に立って、地の四方の風を堅く押え、地にも海にもどんな木にも、吹きつけないようにしていた。

2 また私は見た。もうひとりの御使いが、生ける神の印を持って、日の出るほうから上って来た。彼は、地をも海をもそこなう権威を与えられた四人の御使いたちに、大声で叫んで言った。

3 「私たちが神のしもべたちの額に印を押してしまうまで、地にも海にも木にも害を与えてはいけない。」

4 それから私が、印を押された人々の数を聞くと、イスラエルの子孫のあらゆる部族の者が印を押されていて、[2]十四万四千人であった。

5 ユダの部族で印を押された者が一万二千人、ルベンの部族で一万二千人、ガドの部族で一万二千人、

6 アセルの部族で一万二千人、ナフタリの部族で一万二千人、マナセの部族で一万二千人、

7 シメオンの部族で一万二千人、レビの部族で一万二千人、イッサカルの部族で一万二千人、

8 ゼブルンの部族で一万二千人、ヨセフの部族で一万二千人、ベニヤミンの部族で一万二千人、印を押された者がいた。

9 その後、私は見た。あらゆる国民、部族、民族、国語のうちから、だれにも数えきれぬほどの大ぜいの群衆が、白い衣を着、しゅろの枝を手に持って、御座と小羊との前に立っていた。

10 彼らは、大声で叫んで言った。
「救いは、御座にある私たちの神にあり、小羊にある。」

11 御使いたちはみな、御座と長老たちと四つの生き物との回りに立っていたが、彼らも御座の前にひれ伏し、神を拝して、

12 言った。

---

1 ①黙示一二・三、四、エゼ九・四、六
2 ①黙示一二・六、一三・五、②黙示七・一、③黙示八・三、③黙示六・六
3 ①黙示七・二、②黙示二・一
4 ①黙示五・九、②黙示七・四、③黙示一四・三
5 ①黙示七・四、③出レビ二五・四
6 ①黙示七・五、②黙示三・一
7 ①黙示一四・一、②黙示一四・四
8 ①黙示一四・一、②黙示一四・四
9 ①黙示五・九、②黙示七・九、③黙示一四・一四
10 ①黙示一二・一〇、②黙示一九・一
11 ①黙示六・一一、②黙示一四・一三、③黙示一四・一四
12 ①黙示六・一二、一三、一四、②黙示八・五、③エゼ三八・一九、ヨエ二・一〇、③エゼ三二・七、ヨエ二・一〇、③ヨエ三・四、③詩九七・四、④黙示七・一、⑤黙示一六・一八、⑥黙示一八・二〇
13 ①黙示六・一〇、九・一、③マタ二四・二九、②黙示一四・一五
14 ①イザ三四・四、黙示二〇・一一、③黙示六・一四、②黙示六・一〇、③黙示一六・二〇
15 ①イザ二・一〇、一二、一九、二一、黙示六・一五
16 ①ホセ一〇・八、②黙示六・一六
17 ①イザ二六・二一、エレ三〇・七、ヨエ二・二、三、一一、ゼパ一・一四、②詩九六・一三、③ヨエ二・一一、④黙示六・一七、⑤ルカ二一・二六
1 ①黙示七・二、②黙示一〇・八、イザ二・二、黙示七・三、③エレ四九・三六、ゼカ六・五、③マタ二四・三一、④黙示七・三、八・七、九・四
2 ①③マタ二六・六、②黙示九・四、黙示七・三、③黙示六・二、黙イザ四一・二、④黙示九・一四
3 ①黙示七・二、三、四、エゼ九・四、六、黙示七・三、八・三、一〇・四、②黙示七・一、③③黙示六・六
4 ①黙示七・六、②黙示一四・三
5 ①③黙示五・九、②③黙示七・四、③出レビ二五・四、④黙示七・五、⑤出黙示三・一
6 ①黙示一四・一、②黙示一四・四
7 ①③黙示一四・四、②③黙示七・六
8 ①③黙示一四・一、②③黙示一四・一〇

「アーメン。賛美と栄光と知恵と感謝と誉れと力と勢いが、永遠に私たちの神にあるように。アーメン。」

13 長老のひとりが私に話しかけて、「白い衣を着ているこの人たちは、いったいだれですか。どこから来たのですか。」と言った。

14 そこで、私は、「主よ。あなたこそ、ご存じです。」と言った。すると、彼は私にこう言った。「彼らは、大きな患難から抜け出て来た者たちで、その衣を小羊の血で洗って、白くしたのです。

15 だから彼らは神の御座の前にいて、聖所で昼も夜も、神に仕えているのです。そして、御座に着いておられる方も、彼らの上に幕屋を張られるのです。

16 彼らはもはや、飢えることもなく、渇くこともなく、太陽もどんな炎熱も彼らを打つことはありません。

17 なぜなら、御座の正面におられる小羊が、彼らの牧者となり、いのちの水の泉に導いてくださるからです。また、神は彼らの目の涙をすっかりぬぐい取ってくださるのです。」

8

1 小羊が第七の封印を解いたとき、天に半時間ばかり静けさがあった。

2 それから私は、神の御前に立つ七人の御使いを見た。彼らに七つのラッパが与えられた。

3 また、もうひとりの御使いが出て来て、金の香炉を持って祭壇のところに立った。彼にたくさんの香が与えられた。すべての聖徒の祈りとともに、御座の前にある金の祭壇の上にささげるためであった。

4 香の煙は、聖徒たちの祈りとともに、御使いの手から神の御前に立ち上った。

5 それから、御使いは、その香炉を取り、祭壇の火でそれを満たしてから、地に投げつけた。すると、雷鳴と声といなずまと地震が起こった。

6 すると、七つのラッパを持っていた七人の御使いはラッパを吹く用意をした。

7 第一の御使いがラッパを吹き鳴らした。すると、血の混じった雹と火とが現われ、地上に投げられた。そして地上の三分の一が焼け、木の三分の一も焼け、青草が全部焼けてしまった。

8 第二の御使いがラッパを吹き鳴らした。すると、火の燃えている大きな山のようなものが、海に投げ込まれた。そして海の三分の一が血となった。

9 すると、海の中にいた、いのちのあるものの三分の一が死に、舟の三分の一も打ちこわされた。

10 第三の御使いがラッパを吹き鳴らした。すると、たいまつのように燃えている大きな星が天から落ちて来て、川々の三分の一とその水源に落ちた。

11 この星の名は苦よもぎと呼ばれ、川の水の三分の一は苦よもぎのようになった。水が苦くなったので、その水のために多くの人が死んだ。

12 第四の御使いがラッパを吹き鳴らした。すると、太陽の三分の一と、月の三分の一と、星の三分の一とが打たれたので、三分の一は暗くなり、昼の三分の一

---

1 ①黙示5・1 ②黙示5・3 ③黙示5・4 ④黙示5・5 ⑤黙示5・6 ⑥黙示5・8 ⑦黙示5・9 ⑧黙示5・11 ⑨黙示5・12 ⑩黙示5・13 ⑪黙示5・14 ⑫黙示6・1 ⑬黙示6・3 ⑭黙示6・5 ⑮黙示6・6 ⑯黙示6・8 ⑰黙示6・9 ⑱黙示6・10 ⑲黙示6・11 ⑳黙示6・12 ㉑黙示6・13 ㉒黙示6・14 ㉓黙示6・15 ㉔黙示6・16 ㉕黙示6・17

2 ①黙示7・1 ②黙示7・2 ③黙示7・3 ④黙示7・4 ⑤黙示7・5 ⑥黙示7・6 ⑦黙示7・7 ⑧黙示7・8 ⑨黙示7・9 ⑩黙示7・10 ⑪黙示7・11 ⑫黙示7・12 ⑬黙示7・13 ⑭黙示7・14 ⑮黙示7・15 ⑯黙示7・16 ⑰黙示7・17

3 ①黙示8・1 ②黙示8・2 ③黙示8・3 ④黙示8・4 ⑤黙示8・5 ⑥黙示8・6 ⑦黙示8・7 ⑧黙示8・8 ⑨黙示8・9 ⑩黙示8・10 ⑪黙示8・11 ⑫黙示8・12 ⑬黙示8・13

4 ①黙示9・1 ②黙示9・2 ③黙示9・3 ④黙示9・4 ⑤黙示9・5 ⑥黙示9・6 ⑦黙示9・7 ⑧黙示9・8 ⑨黙示9・9 ⑩黙示9・10 ⑪黙示9・11 ⑫黙示9・12 ⑬黙示9・13 ⑭黙示9・14 ⑮黙示9・15 ⑯黙示9・16 ⑰黙示9・17 ⑱黙示9・18 ⑲黙示9・19 ⑳黙示9・20 ㉑黙示9・21

5 ①黙示10・1 ②黙示10・2 ③黙示10・3 ④黙示10・4 ⑤黙示10・5 ⑥黙示10・6 ⑦黙示10・7 ⑧黙示10・8 ⑨黙示10・9 ⑩黙示10・10 ⑪黙示10・11

6 ①黙示11・1 ②黙示11・2 ③黙示11・3 ④黙示11・4 ⑤黙示11・5 ⑥黙示11・6 ⑦黙示11・7 ⑧黙示11・8 ⑨黙示11・9 ⑩黙示11・10 ⑪黙示11・11 ⑫黙示11・12 ⑬黙示11・13 ⑭黙示11・14 ⑮黙示11・15 ⑯黙示11・16 ⑰黙示11・17 ⑱黙示11・18 ⑲黙示11・19

7 ①黙示12・1 ②黙示12・2 ③黙示12・3 ④黙示12・4 ⑤黙示12・5 ⑥黙示12・6 ⑦黙示12・7 ⑧黙示12・8 ⑨黙示12・9 ⑩黙示12・10 ⑪黙示12・11 ⑫黙示12・12 ⑬黙示12・13 ⑭黙示12・14 ⑮黙示12・15 ⑯黙示12・16 ⑰黙示12・17

8 ①黙示13・1 ②黙示13・2 ③黙示13・3 ④黙示13・4 ⑤黙示13・5 ⑥黙示13・6 ⑦黙示13・7 ⑧黙示13・8 ⑨黙示13・9 ⑩黙示13・10 ⑪黙示13・11 ⑫黙示13・12 ⑬黙示13・13 ⑭黙示13・14 ⑮黙示13・15 ⑯黙示13・16 ⑰黙示13・17 ⑱黙示13・18

9 ①黙示14・1 ②黙示14・2 ③黙示14・3 ④黙示14・4 ⑤黙示14・5 ⑥黙示14・6 ⑦黙示14・7 ⑧黙示14・8 ⑨黙示14・9 ⑩黙示14・10 ⑪黙示14・11 ⑫黙示14・12 ⑬黙示14・13 ⑭黙示14・14 ⑮黙示14・15 ⑯黙示14・16 ⑰黙示14・17 ⑱黙示14・18 ⑲黙示14・19 ⑳黙示14・20

10 ①黙示15・1 ②黙示15・2 ③黙示15・3 ④黙示15・4 ⑤黙示15・5 ⑥黙示15・6 ⑦黙示15・7 ⑧黙示15・8

11 ①黙示16・1 ②黙示16・2 ③黙示16・3 ④黙示16・4 ⑤黙示16・5 ⑥黙示16・6 ⑦黙示16・7 ⑧黙示16・8 ⑨黙示16・9 ⑩黙示16・10 ⑪黙示16・11 ⑫黙示16・12 ⑬黙示16・13 ⑭黙示16・14 ⑮黙示16・15 ⑯黙示16・16 ⑰黙示16・17 ⑱黙示16・18 ⑲黙示16・19 ⑳黙示16・20 ㉑黙示16・21

12 ①黙示17・1 ②黙示17・2 ③黙示17・3 ④黙示17・4 ⑤黙示17・5 ⑥黙示17・6 ⑦黙示17・7 ⑧黙示17・8 ⑨黙示17・9 ⑩黙示17・10 ⑪黙示17・11 ⑫黙示17・12 ⑬黙示17・13 ⑭黙示17・14 ⑮黙示17・15 ⑯黙示17・16 ⑰黙示17・17 ⑱黙示17・18

13 ①黙示18・1 ②黙示18・2 ③黙示18・3 ④黙示18・4 ⑤黙示18・5 ⑥黙示18・6 ⑦黙示18・7 ⑧黙示18・8 ⑨黙示18・9 ⑩黙示18・10 ⑪黙示18・11 ⑫黙示18・12 ⑬黙示18・13 ⑭黙示18・14 ⑮黙示18・15 ⑯黙示18・16 ⑰黙示18・17 ⑱黙示18・18 ⑲黙示18・19 ⑳黙示18・20 ㉑黙示18・21 ㉒黙示18・22 ㉓黙示18・23 ㉔黙示18・24

14 ①黙示19・1 ②黙示19・2 ③黙示19・3 ④黙示19・4 ⑤黙示19・5 ⑥黙示19・6 ⑦黙示19・7 ⑧黙示19・8 ⑨黙示19・9 ⑩黙示19・10 ⑪黙示19・11 ⑫黙示19・12 ⑬黙示19・13 ⑭黙示19・14 ⑮黙示19・15 ⑯黙示19・16 ⑰黙示19・17 ⑱黙示19・18 ⑲黙示19・19 ⑳黙示19・20 ㉑黙示19・21

15 ①黙示20・1 ②黙示20・2 ③黙示20・3 ④黙示20・4 ⑤黙示20・5 ⑥黙示20・6 ⑦黙示20・7 ⑧黙示20・8 ⑨黙示20・9 ⑩黙示20・10 ⑪黙示20・11 ⑫黙示20・12 ⑬黙示20・13 ⑭黙示20・14 ⑮黙示20・15

16 ①黙示21・1 ②黙示21・2 ③黙示21・3 ④黙示21・4 ⑤黙示21・5 ⑥黙示21・6 ⑦黙示21・7 ⑧黙示21・8 ⑨黙示21・9 ⑩黙示21・10 ⑪黙示21・11 ⑫黙示21・12 ⑬黙示21・13 ⑭黙示21・14 ⑮黙示21・15 ⑯黙示21・16 ⑰黙示21・17 ⑱黙示21・18 ⑲黙示21・19 ⑳黙示21・20 ㉑黙示21・21 ㉒黙示21・22 ㉓黙示21・23 ㉔黙示21・24 ㉕黙示21・25 ㉖黙示21・26 ㉗黙示21・27

17 ①黙示22・1 ②黙示22・2 ③黙示22・3 ④黙示22・4 ⑤黙示22・5 ⑥黙示22・6 ⑦黙示22・7 ⑧黙示22・8 ⑨黙示22・9 ⑩黙示22・10 ⑪黙示22・11 ⑫黙示22・12 ⑬黙示22・13 ⑭黙示22・14 ⑮黙示22・15 ⑯黙示22・16 ⑰黙示22・17 ⑱黙示22・18 ⑲黙示22・19 ⑳黙示22・20 ㉑黙示22・21

は光を失い、また夜も同様であった。
13 また私は見た。一羽のわしが中天を飛びながら、大声で言うのを聞いた。「わざわいが来る。わざわいが来る。地に住む人々に。あと三人の御使いがラッパを吹き鳴らそうとしている。」

9 1第五の御使いがラッパを吹き鳴らした。すると、私は一つの星が天から地上に落ちるのを見た。その星には底知れぬ穴を開くかぎが与えられた。
2その星が、底知れぬ穴を開くと、穴から大きな炉の煙のような煙が立ち上り、太陽も空も、この穴の煙によって暗くなった。
3その煙の中から、いなごが地上に出て来た。彼らには、地のさそりの持つような力が与えられた。
4そして彼らは、地の草やすべての青草や、すべての木には害を加えないで、ただ、額に神の印を押されていない人間にだけ害を加えるように言い渡された。
5しかし、人間を殺すことは許されず、ただ五か月の間苦しめることだけが許された。その与えた苦痛は、さそりが人を刺したときのような苦痛であった。
6その期間には、人々は死を求めるが、どうしても見いだせず、死を願うが、死が彼らから逃げて行くのである。
7そのいなごの形は、出陣の用意の整った馬に似ていた。頭に金の冠のようなものを着け、顔は人間の顔のようであった。
8また女の髪のような毛があり、歯は、ししの歯のようであった。
9また、鉄の胸当てのような胸当てを着け、その翼の音は、多くの馬に引かれた戦車が、戦いに馳せつけるときの響きのようであった。
10そのうえ彼らは、さそりのような尾と針とを持っており、尾には、五か月間人間に害を加える力があった。
11彼らは、底知れぬ所の御使いを王にいただいている。彼の名はヘブル語でアバドンといい、ギリシヤ語でアポリュオンという。
12第一のわざわいは過ぎ去った。見よ。この後なお二つのわざわいが来る。
13第六の御使いがラッパを吹き鳴らした。すると、私は神の御前にある金の祭壇の四隅から出る声を聞いた。
14その声がラッパを持っている第六の御使いに言った。「大川ユウフラテスのほとりにつながれている四人の御使いを解き放せ。」
15すると、定められた時、日、月、年のために用意されていた四人の御使いが、人類の三分の一を殺すために解き放された。
16騎兵の軍勢の数は二億であった。私はその数を聞いた。
17私が幻の中で見た馬とそれに乗る人たちの様子はこうであった。騎兵は、火のような赤、くすぶった青、燃える硫黄の色の胸当てを着けており、馬の頭は、しし

1 ①黙一四・九・一七、②比黙九・二、二・一四・二〇・二三、③参黙三・一〇 ④黙六・二
1 ①黙六・二、②黙六・一〇 ③参ルカ八・三、黙九・二一 *直訳「底知れぬ所の縦穴」 ④参黙二・六
2 *参黙六・注 ①比創九・二六、出九・八 ②比ヨエ二・一〇
3 ①黙六・七、比出一〇・二一五 ②黙八・九、一〇、比Ⅱ歴一〇・一二、一四、エゼ二・六
4 ①黙六・七、②参黙六・六、③黙七・二、三
5 ①黙九・一〇、②参黙九・三 *直訳「打つ」 ③ヨブ二・七、エレ八・三 比黙六・一六
6 ①ヨブ三・二一、エレ八・三
7 ①ヨエ二・四
8 ①ヨエ二・六
9 ①ヨエ二・五、比エレ四七・三
10 ①参黙九・三、②黙九・一〇、③黙九・五
11 ①参ルカ八・三一、黙六・一、②参ヨハ五・二、③ヨブ二六・六、二八・二二等 *「破壊」の意 **「破壊者」の意
12 ①参黙六・一四、比黙二・一四
13 ①黙八・一三、②出三二・一〇 *異本「四」の字を欠く **直訳「一つの声」
14 ①創一五・一六、申一七、ヨシ二・一四 黙二・一四、②比黙七・一
15 ①黙九・一六、参黙九・七、②比黙三・七
16 ①参黙五・一一、②黙七・一四
17 ①比ダニ八・二一、二二、②黙九・一六、一四・一〇、一五・一〇・一八

の頭のようで、口からは火と煙と硫黄とが出ていた。
18 これらの三つの災害、すなわち、彼らの口から出ている火と煙と硫黄とのために、人類の三分の一は殺された。
19 馬の力はその口とその尾とにあって、その尾は蛇のようであり、それに頭があって、その頭で害を加えるのである。
20 これらの災害によって殺されずに残った人々は、その手のわざを悔い改めないで、悪霊どもや、金、銀、銅、石、木で造られた、見ることも聞くことも歩くこともできない偶像を拝み続け、
21 その殺人や、魔術や、不品行や、盗みを悔い改めなかった。

10

1 また私は、もうひとりの強い御使いが、雲に包まれて、天から降りて来るのを見た。その頭上には虹があって、その顔は太陽のようであり、その足は火の柱のようであった。
2 その手には開かれた小さな巻き物を持ち、右足は海の上に、左足は地の上に置き、
3 ししがほえるときのように大声で叫んだ。彼が叫んだとき、七つの雷がおのおの声を出した。
4 七つの雷が語ったとき、私は書き留めようとした。すると、天から声があって、「七つの雷が言ったことは封じて、書きしるすな。」と言うのを聞いた。
5 それから、私の見た海と地との上に立つ御使いは、右手を天に上げて、
6 永遠に生き、天とその中にあるもの、地とその中にあるもの、海とその中にあるものを創造された方をさして、誓った。「もはや時が延ばされることはない。
7 第七の御使いが吹き鳴らそうとしているラッパの音が響くその日には、神の奥義は、神がご自身のしもべである預言者たちに告げられたとおりに成就する。」
8 それから、前に私が天から聞いた声が、また私に話しかけて言った。「さあ行って、海と地との上に立っている御使いの手にある、開かれた巻き物を受け取りなさい。」
9 それで、私は御使いのところに行って、「その小さな巻き物を下さい。」と言った。すると、彼は言った。「それを取って食べなさい。それはあなたの腹には苦いが、あなたの口には蜜のように甘い。」
10 そこで、私は御使いの手からその小さな巻き物を取って食べた。すると、それは口には蜜のように甘かった。それを食べてしまうと、私の腹は苦くなった。
11 そのとき、彼らは私に言った。「あなたは、もう一度、もろもろの民族、国民、国語、王たちについて預言しなければならない。」

11

1 それから、私に杖のような測りざおが与えられた。すると、こう言う者があった。「立って、神の聖所と祭壇と、また、そこで礼拝している人を測れ。
2 聖所の外の庭は、異邦人に与えられているゆえ、そのままに差し置きなさい。測ってはいけない。彼らは

---

17 ③黙二一五
18 ①黙六・七、一七　②黙九・一六、⑤黙八・七
20 ①申四・二八、エレ一・一六、ミカ五・一二、使七・四一、②黙九・二〇、③⑤一コリ一〇・一四、④詩一一五・四、一三五・一五、ダニ五・二三
21 ①イザ四四・九、一三、黙八・二三　②旧黙二・三五、③⑤黙九・二〇　1 ①⑤黙五・一、②黙八・一三・一、③⑤黙四・一、④黙一・一六　旧マタ一七・二、⑤旧黙一・一五　2 ①黙一〇・八、一〇、旧黙五・一　②黙一〇・五、八
3 ①イザ三一・四、ホセ一一・一〇　②旧黙四・五、詩二九・三九　4 ①黙一・一二、一九、②黙一〇・八　③ダニ八・一六、一三・四、九、旧黙三・一〇
5 ①創一四・一三、出六・六、民一四・三〇、申三二・四〇、エゼ二〇・五等、ダニ一二・七
6 ①⑤黙四・九、②⑤黙四・一一　③旧黙六・一一、一二、一六、一七、二一・六
7 ①黙一〇・七、②旧アモ三・七　ロマ一六・二五　＊直訳「福音が宣べられた」
8 ①黙一〇・四、②黙一〇・一一
9 ①エゼ二・八、三・一三、旧エレ一五・一六
11 ①旧黙二・一、②旧黙五・九　③旧黙七・一〇、一一　④旧エゼ三七・四、九　1 ①黙一一・二、六、一〇、エゼ四三・三　②旧黙一〇・一　＊直訳「幕屋」　②旧黙一〇・一
2 ①エゼ四〇・一七、二〇、②⑤ルカ二一・二四　＊直訳「投げ出して来ないし」

聖なる都を四十二か月の間踏みにじる。
3 それから、わたしがわたしのふたりの証人に許すと、彼らは荒布を着て千二百六十日の間預言する。」
4 彼らは全地の主の御前にある二本のオリーブの木、また二つの燭台である。
5 彼らに害を加えようとする者があれば、火が彼らの口から出て、敵を滅ぼし尽くす。彼らに害を加えようとする者があれば、必ずこのように殺される。
6 この人たちは、預言をしている期間は雨が降らないように天を閉じる力を持っており、また、水を血に変え、そのうえ、思うままに、何度でも、あらゆる災害をもって地を打つ力を持っている。
7 そして彼らがあかしを終えると、底知れぬ所から上って来る獣が、彼らと戦って勝ち、彼らを殺す。
8 彼らの死体は、霊的な理解ではソドムやエジプトと呼ばれる大きな都の大通りにさらされる。彼らの主もその都で十字架につけられたのである。
9 もろもろの民族、部族、国語、国民に属する人々が、三日半の間、彼らの死体をながめていて、その死体を墓に納めることを許さない。
10 また地に住む人々は、彼らのことで喜び祝って、互いに贈り物を贈り合う。それは、このふたりの預言者が、地に住む人々を苦しめたからである。
11 しかし、三日半の後、神から出たいのちの息が、彼らにはいり、彼らが足で立ち上がったので、それを見ていた人々は非常な恐怖に襲われた。
12 そのときふたりは、天から大きな声がして、「ここに上れ。」と言うのを聞いた。そこで、彼らは雲に乗って天に上った。彼らの敵はそれを見た。
13 そのとき、大地震が起こって、都の十分の一が倒れた。この地震のため七千人が死に、生き残った人々は、恐怖に満たされ、天の神をあがめた。
14 第二のわざわいは過ぎ去った。見よ。第三のわざわいがすぐに来る。
15 第七の御使いがラッパを吹き鳴らした。すると、天に大きな声々が起こって言った。
「この世の国は、私たちの主およびそのキストのものとなった。主は永遠に支配される。」
16 それから、神の御前で自分たちの座に着いている二十四人の長老たちも、地にひれ伏し、神を礼拝して、
17 言った。
「万物の支配者、常にいまし、昔いまします神である主。あなたが、その偉大な力を働かせて、王となられたことを感謝します。
18 諸国の民は怒りましたが、あなたの御怒りが現われました。死者のさばかれる時、あなたのしもべである預言者たち、聖徒たち、また小さい者も大きい者もすべてあなたの御名を恐れかしこむ者たちに報いの与えられる時、地を滅ぼす者どもの滅ぼされる時が来たのです。」
19 それから、天にある、神の神殿が開かれた。神殿の中に、契約の箱が見えた。また、いなずま、声、雷鳴、

2 ③イザ五二・一、マタ四・五
③マタ四・五、民数三・一、一〇、三・二七、三七
③黙二・六、三・五、民ダニ七・二五、三七
3 ①黙二・一三、民数一・一、創三七・二四、Ⅱサム二・三、Ⅰ列三・一七、Ⅱ列九・二、ネヘ七・二、エズ四・一、詩六二・一、ヨエ二・三
③黙三・六、三五
民ダニ七・二五、三七
4 ①ゼカ四・三、一四、民詩五二・八
エレ一一・六
5 ①民数一六・二八、Ⅱ列一・一〇・一二
エレ五・一四、②民エレ二三・二九
6 ①黙二一・二三、②民ルカ四・二五
7 ①③黙六・八、②民数二三・一、③黙三・一、以下、④黙三・七、民ダニ八・二五、エレ三一・一四、エゼ二八・二、③民黙一四・八、エゼ三二・二七、③民黙一四・八、一六・一〇、一八・六、一九・二
8 ①イザ一九・一〇、エレ三一・一四、エゼ二八・二、③民黙一四・八、一六・一〇、一八・六、一九・二
9 ①黙一〇・一一、③黙一六・一九、民一列二三
10 ①③黙一一・一〇
11 ①③黙一一・一〇
12 ①黙四・一、②民Ⅱ列二・一一、使一九
13 ①黙六・一二、七・一、一四、一六
*直訳「七千の人々の名」
②黙一六・一八、③黙四・七、一六・九、一九・七、③ヨハ九・四
14 ①黙八・一三、③黙八・一三
15 ①黙一一・一五、③黙一一・一〇
16 ①黙四・一〇
17 ①③黙一一・八、②民黙二九・六
*直訳「治められた」
18 ①詩一一・一八、②黙一〇・七、民ダニ七・一〇、③③黙一一・一八、一六・六、一九・五、詩一一八・二三
19 ①黙一五・五、②③黙一一・一九
②③ヘブ九・四、③③黙一四・五

地震が起こり、大きな雹が降った。

12

1 また、巨大なしるしが天に現われた。ひとりの女が太陽を着て、月を足の下に踏み、頭には十二の星の冠をかぶっていた。
2 この女は、みごもっていたが、産みの苦しみと痛みのために、叫び声をあげた。
3 また、別のしるしが天に現われた。見よ。大きな赤い竜である。七つの頭と十本の角とを持ち、その頭には七つの冠をかぶっていた。
4 その尾は、天の星の三分の一を引き寄せると、それらを地上に投げた。また、竜は子を産もうとしている女の前に立っていた。彼女が子を産んだとき、その子を食い尽くすためであった。
5 女は男の子を産んだ。この子は、鉄の杖をもって、すべての国々の民を牧するはずである。その子は神のみもとと、その御座に引き上げられた。
6 女は荒野に逃げた。そこには、千二百六十日の間、女を養うために、神によって備えられた場所があった。
7 さて、天に戦いが起こって、ミカエルと彼の御使いたちは、竜と戦った。それで、竜とその御使いたちは応戦したが、
8 勝つことができず、天にはもはや彼らのいる場所がなくなった。
9 こうして、この巨大な竜、すなわち、悪魔とか、サタンとか呼ばれて、全世界を惑わす、あの古い蛇は投げ落とされた。彼は地上に投げ落とされ、彼の御使いどもも彼とともに投げ落とされた。
10 そのとき私は、天で大きな声が、こう言うのを聞いた。

「今や、私たちの神の救いと力と国と、また、神のキリストの権威が現われた。私たちの兄弟たちの告発者、日夜彼らを私たちの神の御前で訴えている者が投げ落とされたからである。
11 兄弟たちは、小羊の血と、自分たちのあかしのことばのゆえに彼に打ち勝った。彼らは死に至るまでもいのちを惜しまなかった。
12 それゆえ、天とその中に住む者たち。喜びなさい。しかし、地と海とには、わざわいが来る。悪魔が自分の時の短いことを知り、激しく怒って、そこに下ったからである。」
13 自分が地上に投げ落とされたのを知った竜は、男の子を産んだ女を追いかけた。
14 しかし、女は大わしの翼を二つ与えられた。自分の場所である荒野に飛んで行って、そこで一時と二時と半時の間、蛇の前をのがれて養われるためであった。
15 ところが、蛇はその口から水を川のように女のうしろへ吐き出し、彼女を大水で押し流そうとした。
16 しかし、地は女を助け、その口を開いて、竜が口から吐き出した川を飲み干した。
17 すると、竜は女に対して激しく怒り、女の子孫の残りの者、すなわち、神の戒めを守り、イエスのあかし

---

1 ①黙一二一。 ②黙一二一。 ③旧ガラ四・一六
2 ①旧イザ二六・一七、六六・七、九
3 ①旧黙一二・一、三、一八、一三・一、七、特に黙一二・三、一七、一三・二、四、一、六・一、三、一七、一三・二、旧イザ二七・一、六六・一五、二、七、四、九、一〇、一七、一三・一、七、一三、一七、一三・一、七、一三、一七、一三・一、七、一三

を保っている者たちと戦おうとして出て行った。
18*そして、彼は海べの砂の上に立った。

13

1また私は見た。海から一匹の獣が上って来た。これには十本の角と七つの頭とがあった。その角には十の冠があり、その頭には神をけがす名があった。
2私の見たその獣は、ひょうに似ており、足は熊の足のようで、口はししの口のようであった。竜はこの獣に、自分の力と位と大きな権威とを与えた。
3その頭のうちの一つは打ち殺されたかと思われたが、その致命的な傷も直ってしまった。そこで、全地は驚いて、その獣に従い、
4そして、竜を拝んだ。獣に権威を与えたのが竜だからである。また彼らは獣をも拝んで、「だれがこの獣に比べられよう。だれがこれと戦うことができよう。」と言った。
5この獣は、傲慢なことを言い、けがしごとを言う口を与えられ、四十二か月間活動する権威を与えられた。
6そこで、彼はその口を開いて、神に対するけがしごとを言い始めた。すなわち、神の御名と、その幕屋、すなわち、天に住む者たちとをののしった。
7彼はまた聖徒たちに戦いをいどんで打ち勝つことが許され、また、あらゆる部族、民族、国語、国民を支配する権威を与えられた。
8地に住む者で、ほふられた小羊のいのちの書に、世の初めからその名の書きしるされていない者はみな、彼を拝むようになる。
9耳のある者は聞きなさい。
10とりこになるべき者は、とりこにされて行く。剣で殺す者は、自分も剣で殺されなければならない。ここに聖徒の忍耐と信仰がある。
11また、私は見た。もう一匹の獣が地から上って来た。それには小羊のような二本の角があり、竜のようにものを言った。
12この獣は、最初の獣が持っているすべての権威をその獣の前で働かせた。また、地と地に住む人々に、致命的な傷の直った最初の獣を拝ませた。
13また、人々の前で、火を天から地に降らせるような大きなしるしを行なった。
14また、あの獣の前で行なうことを許されたしるしをもって地上に住む人々を惑わし、剣の傷を受けながらもなお生き返ったあの獣の像を造るように、地上に住む人々に命じた。
15それから、その獣の像に息を吹き込んで、獣の像がものを言うことさえもできるようにし、また、その獣の像を拝まない者をみな殺させた。
16また、小さい者にも、大きい者にも、富んでいる者にも、貧しい者にも、自由人にも、奴隷にも、すべての人々にその右の手かその額かに、刻印を受けさせた。
17また、その刻印、すなわち、あの獣の名、またはその

---

1 ①黙一二・一七 ②黙一三・七
2 ①ダニ七・七、十六 ②ダニ七・四 ③ダニ七・五
3 ①黙一三・一四、一七 ②黙一三・一〇
4 ①黙一三・二、四 ②出一五・一一、イザ四四・六・八
5 ①ダニ七・八、二〇、二五、二六 *直訳「大きなこと」 ②黙一三・五
6 ①黙一三・一七、二〇 ②黙一三・九
7 ①黙一三・二、四、七、一四 ②黙一三・五、七 *別訳「世の初めからほふられた」 ③黙一七・八 ④黙一三・七
8 ①黙一三・一二、一四 ②黙一三・三、八 ③黙一七・八 ④黙一三・三
9 ①黙二・七
10 ①エレ一五・二、二 ②創九・六、マタ二六・五二、黙一三・一〇 *別訳「人をとりこにする」
11 ①黙一三・一一、一四、一六、一八 ②黙一三・一二、一四 ③黙一三・三
12 ①黙一三・二、四、九、一〇 ②黙一三・三、一四 *別訳「その権威によって」
13 ①黙一三・二、一四 ②マタ二四・二四、黙一三・一四 ③黙一三・二、一四、一六、一八
14 ①黙一三・二、一三 ②Ⅱテサ二・九、一〇 ③黙一三・八 ④黙一三・三、九
15 ①黙一三・一四 ②黙ダ三・三 *直訳「ある初めの写本には「……殺させる」とある」
16 ①黙一三・一六、一八 ②黙一四・九、一一 ③黙ガラ六・一、黙一三・一六
17 ①黙一三・一七、一八 ②黙一三・一七、一八 ③黙一三・一七 ④黙一三・一七、一八
18 *異本「私は……立った」とし、一三・一に入れる。

の名の数字を持っている者以外は、だれも、買うことも、売ることもできないようにした。
18 ここに知恵がある。思慮ある者はその獣の数字を数えなさい。その数字は人間をさしているからである。その数字は*六百六十六である。

14

1 また私は見た。見よ。小羊がシオンの山の上に立っていた。また小羊とともに十四万四千人の人たちがいて、その額には小羊の名と、小羊の父の名とがしるしてあった。
2 私は天からの声を聞いた。大水の音のようで、また、激しい雷鳴のようであった。また、私の聞いたその声は、立琴をひく人々が立琴をかき鳴らしている音のようでもあった。
3 彼らは、御座の前と、四つの生き物および長老たちの前とで、新しい歌を歌った。しかし地上から贖われた十四万四千人のほかには、だれもこの歌を学ぶことができなかった。
4 彼らは女によって汚されたことのない人々である。彼らは童貞なのである。彼らは、小羊が行く所には、どこにでもついて行く。彼らは、神および小羊にささげられる初穂として、人々の中から贖われたのである。
5 彼らの口には偽りがなかった。彼らは傷のない者である。
6 また私は、もうひとりの御使いが中天を飛ぶのを見た。彼は、地上に住む人々、すなわち、あらゆる国民、部族、国語、民族に宣べ伝えるために、永遠の福音を携えていた。
7 彼は大声で言った。「神を恐れ、神をあがめよ。神のさばきの時が来たからである。天と地と海と水の源を創造した方を拝め。」
8 また、第二の、別の御使いが続いてやって来て、言った。「大バビロンは倒れた。倒れた。激しい御怒りを引き起こすその不品行のぶどう酒を、すべての国の民に飲ませた者。」
9 また、第三の、別の御使いも、彼らに続いてやって来て、大声で言った。「もし、だれでも、獣とその像を拝み、自分の額か手かに刻印を受けるなら、
10 そのような者は、神の怒りの杯に混ぜ物なしに注がれた神の怒りのぶどう酒を飲む。また、聖なる御使いたちと小羊との前で、火と硫黄とで苦しめられる。
11 そして、彼らの苦しみの煙は、永遠にまでも立ち上る。獣とその像とを拝む者、まただれでも獣の名の刻印を受ける者は、昼も夜も休みを得ない。
12 神の戒めを守り、イエスに対する信仰を持ち続ける聖徒たちの忍耐はここにある。」
13 また私は、天からこう言っている声を聞いた。「書きしるせ。『今から後、主にあって死ぬ死者は幸いである。』」御霊も言われる。「しかり。彼らはその労苦から解き放されて休むことができる。彼らの行ないは彼らについて行くからである。」
14 また、私は見た。見よ。白い雲が起こり、その雲

1 ①黙三・二
2 ①黙三・二
3 ①黙三・二
4 ①黙三・二
5 ①黙三・二
6 ①黙三・二
7 ①黙三・二
8 ①黙三・二
9 ①黙三・二
10 ①黙三・二
11 ①黙三・二
12 ①黙三・二
13 ①黙三・二
14 ①黙三・二

15 ①黙三・二
16 ①黙三・二
17 ①黙三・二
18 ①黙三・七・九 ②黙三・二・七
*異本「六百十六」 ①詩二・八、ヘブ一・三、③黙一三・一八、②詩二・七、③黙一三・一八、②黙一三・一八、②黙一三・一八

1 ①黙七・三、②黙七・三、③黙七・三、②黙七・三
*ある初期の写本では「いわば新しい歌を歌った」
2 ①マタ九・二(三)、②黙一三・一六、③黙一三・一六、②黙一三・一六
3 ①黙七・三、②黙七・三、③黙七・三、②黙七・三
4 ①ゼバ三・三、黙詩三・二、マラ二・六、ヨハ一・四、Iペテ一・三、②ユダ四、黙一・四、ヘブ九・二四、Iペテ一・九、②黙二・一〇、③黙黙示九、④黙二〇・七
5 ①黙一四・五、②黙一四・五、③黙一四・五、②黙一四・五、③黙一四・五、②黙一四・五、③

に人の子のような方が乗っておられた。頭には金の冠をかぶり、手には鋭いかまを持っておられた。
15 すると、もうひとりの御使いが聖所から出て来て、雲に乗っておられる方に向かって大声で叫んだ。「かまを入れて刈り取ってください。地の穀物は実ったので、取り入れる時が来ましたから。」
16 そこで、雲に乗っておられる方が、地にかまを入れると地は刈り取られた。
17 また、もうひとりの御使いが、天の聖所から出て来たが、この御使いも、鋭いかまを持っていた。
18 すると、火を支配する権威を持ったもうひとりの御使いが、祭壇から出て来て、鋭いかまを持つ御使いに大声で叫んで言った。「その鋭いかまを入れ、地のぶどうの房を刈り集めよ。ぶどうはすでに熟しているのだから。」
19 そこで御使いは地にかまを入れ、地のぶどうを刈り集めて、神の激しい怒りの大きな酒ぶねに投げ入れた。
20 その酒ぶねは都の外で踏まれたが、血は、その酒ぶねから流れ出て、馬のくつわに届くほどになり、千六百スタディオンに広がった。

15

1 また私は、天にもう一つの巨大な驚くべきしるしを見た。七人の御使いが、最後の七つの災害を携えていた。神の激しい怒りはここに窮まるのである。
2 私は、火の混じった、ガラスの海のようなものを見た。獣と、その像と、その名を示す数字とに打ち勝った人々が、神の立琴を手にして、このガラスの海のほとりに立っていた。
3 彼らは、神のしもべモーセの歌と小羊の歌とを歌って言った。

「あなたのみわざは偉大であり、驚くべきものです。主よ。万物の支配者である神よ。あなたの道は正しく、真実です。もろもろの民の王よ。
4 主よ。だれがあなたを恐れず、御名をほめたたえない者があるでしょうか。ただあなただけが、聖なる方です。すべての国々の民は来て、あなたの御前にひれ伏します。あなたの正しいさばきが、明らかにされたからです。」
5 その後、また私は見た。天にある、あかしの幕屋の聖所が開いた。
6 そしてその聖所から、七つの災害を携えた七人の御使いが出て来た。彼らは、きよい光り輝く亜麻布を着て、胸には金の帯を締めていた。
7 また、四つの生き物の一つが、永遠に生きておられる神の御怒りの満ちた七つの金の鉢を、七人の御使いに渡した。
8 聖所は神の栄光と神の大能から立ち上る煙で満たされ、七人の御使いたちの七つの災害が終わるまでは、だれもその聖所に、はいることができなかった。

16

1 また、私は、大きな声が聖所から出て、七人の御使いに言うのを聞い

---

2 ①黙示一・三、③黙示六・二
3 ①詩一一一・二、②黙示一五・三、③黙示一二・一七、一三・一、一六・二、一七・一七、一九・六、②黙示二一・二九、②黙示一四・六、マコ一三・二九
* 直訳「送り出して」
4 ①詩八六・九、②黙示一五・三
* 直訳「送り出し」
5 ①黙示一一・一九、一五・五、②黙示一四・一五、③出四〇・三四、ヨエ二・一〇、④出二五・三一、三七・一七、ゼカ四・二、⑤黙示一・四、⑥黙示一・一七
6 ①黙示一五・七、②黙示一五・一
7 ①黙示四・六、②黙示四・九
8 ①出四〇・三四、イザ六・四、黙示一五・八
9 ①黙示一六・一一、二一、②黙示一一・一三
10 ①黙示一六・二、一〇、②出一〇・二一、二二、③黙示八・一二
11 ①黙示一六・五、②詩一一九・一三七、③黙示一八・二〇、二四、一九・二
12 ①黙示一六・一二、②黙示九・一四、一六・一二、③黙示一六・一四、一九・一九、ヨエ三・二、ゼカ一二・三、ゼカ一四・二
13 ①黙示一六・二、②黙示一三・一一、一六・一三、一九・二〇、二〇・一〇、一四、二一・八、二七
14 ②黙示一六・三、③黙示六・一五
15 ①黙示三・三、一六・一五、②黙示一六・一三、③マタ二四・四二、黙示三・三
** 直訳「収穫はかわいた」
16 ①黙示一六・一六、②黙示九・一一、③黙示一六・一六
* 直訳「送り出し」
17 ①黙示一六・一、②ヨエ三・一六、③黙示一六・一七、一九・五、二一・六、二二・六
18 ①黙示一六・五、②黙示一六・一八、③出一九・一六、一八、二〇・一八、黙示四・五、八・五、一一・一九
19 ①黙示九・一二、旧イザ六二・三、②黙示一六・一九、一八・五、③ヘブ一二・二三、黙示二・一八
20 ①創四九・一一、申三二・一四
* 一スタディオンは一八五メートル
1 ①旧黙示一二・一三、②黙示一五・六、一六・一、一二、一九、③旧黙示九・二〇
2 ①旧レビ六・六、②黙示一四・一、②黙示四・六、②黙示一一・一、③黙示一二・一、④黙示一三・一七
3 ①ヨシ三・五等、黙ヘブ一一・五、②出二一・以下、③黙示五・九、一〇、一三・一二、④申三二・四三、詩二一・三、⑤黙示一八・八、ホセ一四・九、⑥黙1テモ一・一七
4 ①黙示一四・七、エレ一〇・七、②詩八六・九、旧イザ六・三、③旧黙示九・八
5 ①出二五・三一、民一〇・二、旧ヘブ八・五、黙示一三・六、②黙示一一・一九、②黙示一五・一
6 ①旧黙示一四・一五、②黙示一五・一
7 ①エゼ二六・二、
* ある写本には亜麻布（リノン）でなくて、石（リソン）とある
8 ①黙示一二・一
9 ①旧黙示九・九、②黙示一四・一〇
10 ①旧黙示一六・五、②黙示一四・一一、一八・七、②出一〇・二一、二二、イザ六〇・一九、旧出四二・一三、一四、レビ二六・一三、旧列王上八・一一、Ⅱ歴五・一三、一四
11 ①旧黙示二・二九、②黙示二・一一

た。「行って、神の激しい怒りの七つの鉢を、地に向けてぶちまけよ。」

2 そこで、第一の御使いが出て行き、鉢を地に向けてぶちまけた。すると、獣の刻印を受けている人々と、獣の像を拝む人々に、ひどい悪性のはれものができた。

3 第二の御使いが鉢を海にぶちまけた。すると、海は死者の血のような血になった。海の中のいのちのあるものは、みな死んだ。

4 第三の御使いが鉢を川と水の源とにぶちまけた。

5 すると、それらは血になった。また私は、水をつかさどる御使いがこう言うのを聞いた。「常にいまし、昔います聖なる方。あなたは正しい方です。なぜならあなたは、このようなさばきをなさったからです。

6 彼らは聖徒たちや預言者たちの血を流しましたが、あなたは、その血を彼らに飲ませました。彼らは、そうされるにふさわしい者たちです。」

7 また私は、祭壇がこう言うのを聞いた。「しかり。主よ。万物の支配者である神よ。あなたのさばきは真実な、正しいさばきです。」

8 第四の御使いが鉢を太陽に向けてぶちまけた。すると、太陽は火で人々を焼くことを許された。

9 こうして、人々は激しい炎熱によって焼かれた。しかも、彼らは、これらの災害を支配する権威を持つ神の御名に対してけがしごとを言い、悔い改めて神をあがめることをしなかった。

10 第五の御使いが鉢を獣の座にぶちまけた。すると、獣の国は暗くなり、人々は苦しみのあまり舌をかんだ。

11 そして、その苦しみと、はれものとのゆえに、天の神に対してけがしごとを言い、自分の行ないを悔い改めようとしなかった。

12 第六の御使いが鉢を大ユウフラテス川にぶちまけた。すると、水は、日の出るほうから来る王たちに道を備えるために、かれてしまった。

13 また、私は竜の口と、獣の口と、にせ預言者の口とから、かえるのような汚れた霊どもが三つ出て来るのを見た。

14 彼らはしるしを行なう悪霊どもの霊である。彼らは全世界の王たちのところに出て行く。万物の支配者である神の大いなる日の戦いに備えて、彼らを集めるためである。

15 ――見よ。わたしは盗人のように来る。目をさまして、身に着物を着け、裸で歩く恥を人に見られないようにする者は幸いである。――

16 こうして彼らは、ヘブル語でハルマゲドンと呼ばれる所に王たちを集めた。

17 第七の御使いが鉢を空中にぶちまけた。すると、大きな声が御座を出て、聖所の中から出て来て、「事は成就した。」と言った。

18 すると、いなずまと声と雷鳴があり、大きな地震が

---

1 ③旧黙聖六、④黙二六以下 詩七九・六、エレ一〇・二五、エゼ三・一五、ゼパ三・八
2 ①旧黙六・七、②黙三・一七、一四・九、③黙六・一二、旧出九・九―一二、申二八・三五
3 ①旧黙六・九、出七・一七―二一
*直訳「生ける霊」
異本「海の中のもの」
4 ①黙八・一〇、②出七・一七―二〇
旧黙二一・六
5 ①黙二・一七、②黙三・一四
③ヨハ一七・三、④黙六・一〇
6 ①黙一六・二四、旧黙一七・六
②旧イザ四九・二六、ルカ一一・四九―五一
7 黙六・九、一四・八、②黙一五・八
③旧黙一六・一、旧黙一六・一
8 ①旧黙六・二、②旧黙一四・一八
9 *直訳「大きな」
①黙一六・一一、二一、②黙三・三
③黙二一・三
10 ①黙二・一三、②旧黙六・三、九・二
出一〇・二一、三、イザ八・二三
11 ①黙二・二一、②黙一一・一三
③黙六・九、一二、④黙三・一七
12 ①黙九・一四、②旧イザ一一・一五、一六、一四・二七、エレ五一・三六、三六・一二
③黙七・一、④旧イザ四一・二、三六・一二
13 ①黙三・一六、②黙三・一七
③黙一六・一三、一九・二〇、二〇・一〇
一四・一、④旧出八・六、⑤黙六・一三
14 ①黙三・一〇、②旧黙一六・一四
③旧黙一六・一四、一九・一九、Ⅰ列二二・一三、④黙三・一〇、⑤黙六・一七
15 ①黙三・一八、二一、②黙三・一八
ルカ一二・三七
16 ①黙九・一一、②士五・九
Ⅱ列三・二七、二三、Ⅱ歴三五・二三
旧ゼカ一二・一一、③黙一六・九
17 ①旧エペ二・二、②黙一六・一七
③黙一四・一五、④黙二一・五
旧ヨシ一〇・一六
18 ①黙黙示・一六、②黙六・一二

あった。この地震は人間が地上に住んで以来、かつてなかったほどのもので、それほどに大きな、強い地震であった。
19 また、あの大きな都は三つに裂かれ、諸国の民の町は倒れた。そして、大バビロンは、神の前に覚えられて、神の激しい怒りのぶどう酒の杯を与えられた。
20 島はすべて逃げ去り、山は見えなくなった。
21 また、一タラントほどの大きな雹が、人々の上に天から降って来た。人々は、この雹の災害のため、神にけがしごとを言った。その災害が非常に激しかったからである。

17

1 また、七つの鉢を持つ七人の御使いのひとりが来て、私に話して、こう言った。「ここに来なさい。大水の上にすわっている大淫婦へのさばきを見せましょう。
2 地の王たちは、この女と不品行を行ない、地に住む人々も、この女の不品行のぶどう酒に酔ったのです。」
3 それから、御使いは、御霊に感じた私を荒野に連れて行った。すると私は、ひとりの女が緋色の獣に乗っているのを見た。その獣は神をけがす名で満ちており、七つの頭と十本の角を持っていた。
4 この女は紫と緋の衣を着ていて、金と宝石と真珠とで身を飾り、憎むべきものや自分の不品行の汚れでいっぱいになった金の杯を手に持っていた。
5 その額には、意味の秘められた名が書かれていた。すなわち、「すべての淫婦と地の憎むべきものとの母、大バビロン。」という名であった。
6 そして、私はこの女が、聖徒たちの血とイエスの証人たちの血に酔っているのを見た。私はこの女を見たとき、非常に驚いた。
7 すると、御使いは私にこう言った。「なぜ驚くのですか。私は、あなたに、この女の秘義と、この女を乗せた、七つの頭と十本の角とを持つ獣の秘義とを話してあげましょう。
8 あなたの見た獣は、昔いたが、今はいません。しかし、やがて底知れぬ所から上って来ます。そして彼は、ついには滅びます。地上に住む者たちで、世の初めからいのちの書に名を書きしるされていない者は、その獣が、昔はいたが、今はおらず、やがて現われるのを見て驚きます。
9 ここに知恵の心があります。七つの頭とは、この女がすわっている七つの山で、七人の王たちのことです。
10 五人はすでに倒れたが、ひとりは今おり、ほかのひとりは、まだ来ていません。しかし彼が来れば、しばらくの間とどまるはずです。
11 また、昔いたが今はいない獣について言えば、彼は八番目でもありますが、先の七人のうちのひとりです。そして彼はついには滅びます。
12 あなたが見た十本の角は、十人の王たちで、彼らは、まだ国を受けてはいませんが、獣とともに、一時だけ王の権威を受けます。
13 この者どもは心を一つにしており、自分たちの力と

18 ③ダニ二・一、マタ四・二四
19 ①黙一七・一、六・一〇、一六・二、一九・五、②黙二・八、③黙一六・五、④黙四・一〇
20 ①黙六・一四、民四・二〇
21 * 一タラントは約三五キログラム ①黙二・六、民四・七、②黙二・六、民出九・六、一二・五、③黙六・九、一二、一九・七、④黙一・一、②黙二・五、民一四・二九、マタ二一・四四、⑤黙一六・二一、ナホ三・六、民イザ一・二六、エレ二・六、⑥民出九・二六、②黙二・一九
1 ①黙一七・一、五、黙四・一、②黙一七・五、民出三二・五、③黙一七・一五、④黙一七・三、⑤黙一七・一五、⑥黙一七・一、⑦黙一七・一五、⑧黙一七・一五、民イザ一・二一、エレ二・二〇、⑥民出九・二六、②黙一七・一五
2 ①黙一八・三、②黙一七・二、黙二・一〇
3 ①黙二一・一〇、②黙一七・一、黙二・一〇、③黙一七・三、四、民出三二・一〇、④民出三二・一〇、⑤黙一七・三、⑥黙一七・九、三、民出三二・一、⑥黙一七・九、三、民出三二・一
4 ①黙一八・一六、民出三・一三、エゼ二八・一三 * 直訳「金めっきの」 ②エレ五二・七、民出八・六
5 ①黙一七・七、Ⅱテサ二・七、民出三・一三、②民出七・一三、③民出二四・八、二八・九
6 ①黙一六・六 7 * 直訳「あなたは驚いているのですか」 ①黙一七・七、②黙一七・五
8 ①黙一七・二、民出三・一三、一四、②黙一七・二、民出三・一三、③黙一七・二、④黙一七・二、民出三・一三、⑤黙一七・一〇、⑥黙一七・一〇、⑦黙一七・五、⑧黙一三・三
9 ①民出三・一八、②黙一七・三 ②民出三・一三
10 ①黙一七・一、②黙一七・一〇、民出三・一〇
11 ①黙一七・八、民出三・一三、一四、②黙一七・八、民出三・一〇
12 ①黙一七・一六、②黙一七・一四、③黙一七・一四、民出三・一〇
13 ①民出三・七・一七

権威とをその獣に与えます。
14 この者どもは小羊と戦いますが小羊は、彼らに打ち
勝ちます。なぜならば、小羊は主の主、王の王だからです。また彼とともにいる者たちは、召された者、選ばれた者、忠実な者だからです。」
15 御使いはまた私に言った。「あなたが見た水、すなわち淫婦がすわっている所は、もろもろの民族、群衆、国民、国語です。
16 あなたが見た十本の角と、あの獣とは、その淫婦を憎み、彼女を荒廃させ、裸にし、その肉を食い、彼女を火で焼き尽くすようになります。
17 それは、神が、みことばの成就するときまで、神のみこころを行なう思いを彼らの心に起こさせ、彼らが心を一つにして、その支配権を獣に与えるようにされたからです。
18 あなたが見たあの女は、地上の王たちを*支配する大きな都のことです。」

18

1 この後、私は、もうひとりの御使いが、大きな権威を帯びて、天から下って来るのを見た。地はその栄光のために明るくなった。
2 彼は力強い声で叫んで言った。「倒れた。大バビロンが倒れた。そして、悪霊の住まい、あらゆる汚れた霊どもの巣くつ、あらゆる汚れた、憎むべき鳥どもの巣くつとなった。
3 それは、すべての国々の民が、彼女の不品行に対する激しい御怒りのぶどう酒を飲み、地上の王たちは、彼女と不品行を行ない、地上の商人たちは、彼女の極度の好色によって富を得たからである。」
4 それから、私は、天からのもう一つの声がこう言うのを聞いた。「わが民よ。この女から離れなさい。その罪にあずからないため、また、その災害を受けないためです。
5 なぜなら、彼女の罪は積み重なって天にまで届き、神は彼女の不正を覚えておられるからです。
6 あなたがたは、彼女が支払ったものをそのまま彼女に返し、彼女の行ないに応じて二倍にして戻しなさい。彼女が混ぜ合わせた杯の中には、彼女のために二倍の量を混ぜ合わせなさい。
7 彼女が自分を誇り、好色にふけったと同じだけの苦しみと悲しみとを、彼女に与えなさい。彼女は心の中で『私は女王の座に着いている者であり、やもめではないから、悲しみを知らない。』と言うからです。
8 それゆえ一日のうちに、さまざまの災害、すなわち死病、悲しみ、飢えが彼女を襲い、彼女は火で焼き尽くされます。彼女をさばく神である主は力の強い方だからです。
9 彼女と不品行を行ない、好色にふけった地上の王たちは、彼女が火で焼かれる煙を見ると、彼女のことで泣き、悲しみます。
10 彼らは、彼女の苦しみを恐れたために、遠く離れて立っていて、こう言います。『わざわいが来た。わざわいが来た。

14 ①田黙六・一四、②田黙三・三 ③黙九・六、⑤Iテモ六・五 ④黙三・一〇、一二、⑤田マタ三・四
15 ①黙一七・一、田イザ八・七、エレ二・二、②⑤黙五・九 ③黙八・七、一九 ④エゼ二六・一七、一八 ⑤黙六・八
16 ①⑤黙一七・三、②黙八・七、一九 ③エゼ二六・一七、一八 ④黙一八・八
17 ①黙六・八 ②黙一〇・七 ③IIコリ八・六、一三 ④田黙一七・三
18 *直訳「(王たち)の上に王国を持つ大きな都」 ①黙一六・一九、田黙一八 ②田黙一七・一、②黙一〇・一
1 ①田黙一七・一、②黙一〇・一 ③エゼ黙二・三
2 ①黙一四・八、②田イザ二一・二、三 ③黙一四・八、一八・二 ④エレ五一・七、ゼハ二・四、一八、③黙一八・三
*別訳「牢」
3 ①⑤黙一四・八 *初期の写本で「によって倒れ」とあるものも多い ②黙六・八、⑤黙一七・二、③黙一八・三、田黙八・九、三エゼ二七・九、④田黙二八・七、九 Iテモ六・一〇 ④田黙二八・七、九 ⑤黙一八・九
*別訳「好色にふけったい」
4 ①イザ五二・一一、エレ五一・八、五〇・八、ゼハ二・七 ②黙一八・四、⑤黙一七・五、田黙八・九、三 ③黙一八・六、田黙八・九、三エゼ二七・九、④田黙二八・七、九 Iテモ六・一〇 ⑤黙一八・九
*直訳「結び合わされて」
5 ①エレ五一・九
6 ①詩一三七・八、エレ五〇・二五、二九
7 ①田黙一八・三
*別訳「ぜいたく」
8 ①田エゼ二八・八、③イザ黙七、ゼハ二・一五 ②田イザ黙九、エレ五〇・三一、三二 田黙一八・一〇、②黙一七・一六 ③田黙一八・一〇、黙一八・一七、一九 ④エレ五〇・三四、黙一八・八 Iテモ五・五
9 ①田黙一八・七、Iテモ五・六 *別訳「ぜいたく」
10 ②⑤黙一八・一〇 田黙一八・一五、一七、一九 ③黙一八・一〇、一七、一九 ④田エゼ二六・一七、一八 ①黙一八・一六、一七、②黙一八・一九

わいが来た。大きな都よ。力強い都、バビロンよ。あなたのさばきは、一瞬のうちに来た。』

11 また、地上の商人たちは彼女のことで泣き悲しみます。もはや彼らの商品を買う者がだれもいないからです。

12 商品とは、金、銀、宝石、真珠、麻布、紫布、絹、緋布、香木、さまざまの象牙細工、高価な木や銅や鉄や大理石で造ったあらゆる種類の器具、

13 また、肉桂、香料、香、香油、乳香、ぶどう酒、オーリブ油、麦粉、麦、牛、羊、それに馬、戦車、奴隷、また人のいのちです。

14 また、あなたの心の望みである熟したくだものは、あなたから遠ざかってしまい、あらゆるはでな物、はなやかな物は消えうせて、もはや、決してそれらの物を見いだすことができません。

15 これらの物を商って彼女から富を得ていた商人たちは、彼女の苦しみを恐れたために、遠く離れて立っていて、泣き悲しんで、

16 言います。『わざわいが来た。わざわいが来た。麻布、紫布、緋布を着て、金、宝石、真珠を飾りにしていた大きな都よ。

17 あれほどの富が、一瞬のうちに荒れすたれてしまった。』また、すべての船長、すべての船客、水夫、海で働く者たちも、遠く離れて立っていて、

18 彼女が焼かれる煙を見て、泣いて言いました。『このすばらしい都のような所がほかにあろうか。』

19 それから、彼らは、頭にちりをかぶって、泣き悲しみ、叫んで言いました。『わざわいが来た。わざわいが来た。大きな都よ。海に舟を持つ者はみな、この都のおごりによって富を得ていたのに、それが一瞬のうちに荒れすたれるとは。』

20 おお、天よ、聖徒たちよ、使徒たちよ、預言者たちよ。この都のことで喜びなさい。神は、あなたがたのために、この都にさばきを宣告されたからです。」

21 また、ひとりの強い御使いが、大きい、ひき臼のような石を取り上げ、海に投げ入れて言った。「大きな都バビロンは、このように激しく打ち倒されて、もはやなくなって消えうせてしまう。

22 立琴をひく者、歌を歌う者、笛を吹く者、ラッパを鳴らす者の声は、もうおまえのうちに聞かれなくなる。あらゆる技術を持った職人たちも、もうおまえのうちに見られなくなる。ひき臼の音も、もうおまえのうちに聞かれなくなる。

23 ともしびの光は、もうおまえのうちに輝かなくなる。花婿、花嫁の声も、もうおまえのうちに聞かれなくなる。なぜなら、おまえの商人たちは地上の力ある者どもで、すべての国々の民がおまえの魔術にだまされていたからだ。

24 また、預言者や聖徒たちの血、および地上で殺されたすべての人々の血が、この都の中に見いだされたからだ。」

---

10 ③黙二六・二六、二九、三一、黙二一・八、二六・二九、④黙八・一七、一九、一七・三、比黙二六・八
11 ①黙二七・一五、②エゼ二七・二七三
12 ①比黙二七・一四、エゼ二七・二二三
* あるいは「青銅」「しんちゅう」
13 * 原語「アモーモン」(インド原産の香木)
* 直訳「肉体(複数)」
①比エゼ二七・一三、Ⅰ歴二九・二
Ⅰテモ一・一〇
15 ①黙二六・一三、②黙二六・三
③黙黙二六・一〇
16 ①黙二六・一〇、一九、②黙一七・四
* 直訳「の金めっきをする」
③黙二六・一〇、二六、三一
17 ①黙黙二六・一〇、②黙二六・一九、一七・六、③エゼ二七・二九
* 直訳「各地への航海者」
18 ①黙黙二六・九、②エゼ二七・三〇
③黙エゼ二七・三、比黙二三四
④黙黙二六・一〇
19 ①ヨシ七・六、ヨブ二・一二、哀二・一〇、②黙黙二六・一〇
* 直訳「ぜいたく」
③黙二六・三、一六、④黙黙二六・一七
20 ①比ルカ二一・二六、四五、②エレ五一・四八、黙黙二一・二
* 直訳「彼女に対するあなたがたのさばきをされた」
③黙二六・二、比黙二六・以下
黙黙二六・一〇
21 ①黙黙二六・一〇・一、②比エレ五一・六四、③黙黙二六・一〇
22 ①イザ二四・八、エゼ二六・一三
マタ九・二三、②伝二・四、エレ二五・一〇
23 ①エレ七・三四、二六・九、②イザ二六・八、比黙二六・二六・三五
③ナホ三・四、黙黙二六・二三
24 ①黙黙二六・六、比黙二六・一〇
②比マタ二三・三五

19

1 この後、私は、天に[1]大群衆の大きい声のようなものが、こう言うのを聞いた。
「ハレルヤ。[2]救い、[3]栄光、力は、われらの神のもの。
2 [1]神のさばきは真実で、正しいからである。[2]神は不[3]品行によって地を汚した大淫婦をさばき、ご自分のしもべたちの血の報復を[4]彼女にされたからである。」
3 [1]彼らは再び言った。「ハレルヤ。[2]彼女の煙は永遠に立ち上る。」
4 すると、二十四人の長老と四つの生き物はひれ伏し、御座についておられる神を拝んで、「アーメン。ハレルヤ。」と言った。
5 また、御座から声が出て言った。
「すべての、神のしもべたち。小さい者も大きい者も、[1]神を恐れかしこむ者たちよ。われらの神を賛美せよ。」
6 また、私は大群衆の声、大水の音、激しい雷鳴のようなものが、こう言うのを聞いた。
「ハレルヤ。万物の支配者である、われらの神である主は王となられた。
7 私たちは喜び楽しみ、[1]神をほめたたえよう。小羊の婚姻の時が来て、花嫁はその用意ができたのだから。
8 花嫁は、光り輝く、きよい[1]麻布の衣を着ることを許された。その麻布とは、[2]聖徒たちの正しい行ないである。
9 [1]御使いは私に「[2]小羊の婚宴に招かれた者は幸いだ、と[3]書きなさい。」と言い、また、「[4]これは神の真実のことばです。」と言った。
10 そこで、私は彼を拝もうとして、[1]その足もとにひれ伏した。すると、[2]彼は私に言った。「いけません。私は、あなたや、[3]イエスのあかしを堅く保っているあなたの兄弟たちと同じしもべです。神を拝みなさい。イエスのあかしは預言の霊です。」
11 また、私は[1]開かれた天を見た。見よ。白い馬がいる。それに乗った方は、[2]「忠実また真実。」と呼ばれる[3]方であり、[4]義をもってさばきをし、戦いをされる。
12 その[1]目は燃える炎であり、その頭には多くの[2]王冠があって、ご[3]自身のほかだれも知らない名が書かれていた。
13 その方は血に染まった衣を着ていて、その名は「[1]神[2]のことば」と呼ばれた。
14 天にある軍勢は[1]まっ白な、きよい麻布を着て、白い馬に乗って彼につき従った。
15 この方の口からは諸国の民を打つために、鋭い剣が出ていた。この方は、鉄の杖をもって彼らを[1]牧される。この方はまた、[2]万物の支配者である神の激しい怒りの酒ぶねを踏まれる。
16 その着物にも、ももにも、「[1]王の王、主の主。」という名が書かれていた。
17 また私は、太陽の中にひとりの御使いが立ってい

1 ①黙二九・六、③黙二一・五
比エレ五一・四六、②黙二九・三四、六、詩一〇四・三五等、③黙一七・一四
2 ①詩一一九・九、②比黙六・一〇
③黙一八・七、④黙一七・一
⑤申三二・四三、黙一六・五・七
Ⅱ列九・七
3 ①イザ三四・一〇、黙一九・一、四、六
詩一〇四・三五、②黙一四・一一、一九・三
4 ①黙四・四、一〇、②黙四・九、一〇
③黙五・一四、④黙五・一四
比詩一〇六・四八、⑤黙五・八、六、七
詩一〇四・三五
5 ①黙一一・一八、②詩一三四・一、三五・一
6 ①黙七・一、②黙一一・一五
③黙九・六、④比黙一・八
7 ①黙一九・九
8 ①黙一九・一四、比黙一・八注
②比黙三・四、③黙一九・七
9 ①比黙一九・一〇、一二・一、②ルカ一四・一五
③比黙一九・九、④比黙三・五、
三・六、黙一二・一七
10 ①黙二二・八、②黙三・一、③黙一二・一七
11 ①比黙四・一、黙ヨハ一・五
②黙一九・二、③黙五・二、
④イザ一一・四
12 ①黙一九・一二、②比黙六・二
13 ①イザ六三・二、②ヨハ一・一
14 ①比黙三・五、一九・八、②黙一九・八
15 ①黙一九・二一、②比イザ一一・四、Ⅱテサ二・八、③黙二・二七、一二・五
16 ①黙一七・一四、②黙一九・一二

るのを見た。彼は大声で叫び、中天を飛ぶすべての鳥に言った。「さあ、神の大宴会に集まり、
18 王の肉、千人隊長の肉、勇者の肉、馬とそれに乗る者の肉、すべての自由人と奴隷、小さい者と大きい者の肉を食べよ。」
19 また私は、獣と地上の王たちとその軍勢が集まり、馬に乗った方とその軍勢と戦いを交えるのを見た。
20 すると、獣は捕えられた。また、獣の前でしるしを行ない、それによって獣の刻印を受けた人々と獣の像を拝む人々とを惑わしたあのにせ預言者も、彼といっしょに捕えられた。そして、このふたりは、硫黄の燃えている火の池に、生きたままで投げ込まれた。
21 残りの者たちも、馬に乗った方の口から出る剣によって殺され、すべての鳥が、彼らの肉を飽きるほどに食べた。

20

1 また私は、御使いが底知れぬ所のかぎと大きな鎖とを手に持って、天から下って来るのを見た。
2 彼は、悪魔でありサタンである竜、あの古い蛇を捕え、これを千年の間縛って、
3 底知れぬ所に投げ込んで、そこを閉じ、その上に封印して、千年の終わるまでは、それが諸国の民を惑わすことのないようにした。サタンは、そのあとでしばらくの間、解き放されなければならない。
4 また私は、多くの座を見た。彼らはその上にすわった。そしてさばきを行なう権威が彼らに与えられた。

また私は、イエスのあかしと神のことばとのゆえに首をはねられた人たちのたましいと、獣やその像を拝まず、その額や手に獣の刻印を押されなかった人たちを見た。彼らは生き返って、キリストとともに、千年の間王となった。
5 そのほかの死者は、千年の終わるまでは、生き返らなかった。これが第一の復活である。
6 この第一の復活にあずかる者は幸いな者、聖なる者である。この人々に対しては、第二の死は、なんの力も持っていない。彼らは神とキリストとの祭司となり、キリストとともに、千年の間王となる。
7 しかし千年の終わりに、サタンはその牢から解き放され、
8 地の四方にある諸国の民、すなわち、ゴグとマゴグを惑わすために出て行き、戦いのために彼らを召集する。彼らの数は海べの砂のようである。
9 彼らは、地上の広い平地に上って来て、聖徒たちの陣営と愛された都とを取り囲んだ。すると、天から火が降って来て、彼らを焼き尽くした。
10 そして、彼らを惑わした悪魔は火と硫黄との池に投げ込まれた。そこは獣も、にせ預言者もいる所で、彼らは永遠に昼も夜も苦しみを受ける。
11 また私は、大きな白い御座と、そこに着座しておられる方とを見た。地も天もその御前から逃げ去って、あとかたもなくなった。
12 また私は、死んだ人々が、大きい者も、小さい者も

17 ①黙八・三、②黙一六・一
18 ①出一六・三、②黙一六・一〇、③エレ四六・一〇、④エレ二五・九、エゼ三九・一七
19 ①詩二・二、③黙一六・一四、④黙一七・一四、⑤黙一六・一六、⑥出一七・九、⑦黙一六・一二
20 ①黙一三・一四、*別訳「権威によって」、②黙一三・一二、③黙一三・一六、④黙一四・九、⑤黙一三・一七、⑥黙一四・一一、⑦黙一三・一四、⑧黙一三・一、⑨黙一六・二、⑩黙一三・八
21 ①黙一九・一五、②黙一六・一四
1 ①黙一〇・一、②黙一・一八、一
2 *原語「ディアボロス」、①黙一二・九、ユダ六、③黙二〇・一〇
3 ①ダニ六・一七、②ダニ八・二五、③黙一〇・八、一〇
4 ①ダニ七・九、②黙一三・一、③ダニ三・六、④黙二〇・四、⑤黙六・九、⑥黙三・一五(二)、⑦黙一三・六、⑧ヨハ一四・一九、イザ二六・一四、⑨黙二〇・五、⑩黙三・一、⑪ピリ三・一一
5 ①ルカ四・一三、②黙二〇・三、③黙二〇・七、④黙二〇・八
6 ①黙二〇・五、②黙二〇・一四、③黙二〇・一〇、④黙二〇・一四、⑤黙二〇・一〇
7 ①黙二〇・三
8 ①黙二〇・七、②創一〇・二、③黙二〇・三
9 ①エゼ三八・九、②詩七八・六八、*直訳「海」、③詩一二四・三、④エゼ三八・二二、⑤黙一二・一、⑥ハバ一・六
10 *原語「ディアボロス」、①黙二〇・二、③黙二〇・一四、一五、④黙二〇・一〇、一一、⑤黙二〇・一〇、一一、⑥黙二〇・一三、⑦黙二〇・一二、⑧黙二〇・一三、⑨黙二〇・一四、⑩黙二〇・一五、⑪黙二〇・一二
11 ①黙二〇・一一、②黙二〇・一四、③黙二〇・一一
12 ①黙二〇・一二

御座の前に立っているのを見た。そして、[2]数々の書物が開かれた。また、別の一つの書物も開かれたが、それは、[3]いのちの書であった。死んだ人々は、これらの書物に書きしるされているところに従って、[4]自分の行ないに応じてさばかれた。[5]

13 海はその中にいる死者を出し、死もハデスも、その中にいる死者を出した。そして人々はおのおの自分の行ないに応じてさばかれた。

14 それから、[1]死とハデスとは、[2]火の池に投げ込まれた。これが第二の死である。

15 [1]いのちの書に名のしるされていない者はみな、この火の池に投げ込まれた。

21

1 また私は、[1]新しい天と新しい地とを見た。[2]以前の天と、以前の地は過ぎ去り、もはや海もない。

2 私はまた、聖なる都、[1]新しいエルサレムが、[2]夫のために飾られた花嫁のように整えられて、神のみもとを出て、[3]天から下って来るのを見た。

3 そのとき私は、御座から出る大きな声がこう言うのを聞いた。「見よ。神の幕屋が人とともにある。神は彼らとともに住み、彼らはその民となる。また、神ご自身が彼らとともにおられて、*

4 彼らの目の涙をすっかりぬぐい取ってくださる。[1]もはや死もなく、悲しみ、叫び、苦しみもない。なぜなら、[2]以前のものが、もはや過ぎ去ったからである。」[3]

5 すると、[1]御座に着いておられる方が言われた。「見よ。わたしは、すべてを新しくする。」[2]また言われた。「書きしるせ。[3]これらのことばは、信ずべきものであり、真実である。」

6 また言われた。「事は成就した。わたしはアルファであり、オメガである。[1]最初であり、最後である。[2]わたしは、渇く者には、[3]いのちの水の泉から、価なしに飲ませる。

7 [1]勝利を得る者は、これらのものを相続する。わたしは彼の神となり、彼はわたしの子となる。

8 [1]しかし、おくびょう者、不信仰の者、憎むべき者、人を殺す者、不品行の者、[2]魔術を行なう者、偶像を拝む者、すべて偽りを言う者どもの受ける分は、[3]火と硫黄との燃える池の中にある。これが第二の死である。」

9 [1]また、[2]最後の七つの災害の満ちているあの七つの鉢を持っていた七人の御使いのひとりが来た。彼は私に話して、こう言った。「ここに来なさい。私はあなたに、小羊の妻である花嫁を見せましょう。」

10 そして、[1]御使いは御霊によって私を大きな高い山に連れて行って、[2]聖なる都エルサレムが神のみもとを出て、天から下って来るのを見せた。

11 都には神の栄光があった。その輝きは高価な宝石に似ており、[1]透き通った碧玉のようであった。

12 都には大きな高い城壁と十二の門があって、それらの門には十二人の御使いがおり、イスラエルの子らの十二部族の名が書いてあった。

13 東に三つの門、北に三つの門、南に三つの門、西に

---

1 ①黙二一・二七、黙二二・一四、②黙二一・一二、黙二二・一四
2 ①黙二〇・一二、黙二一・二七、黙二二・一二、②黙二〇・一二、黙二一・一二、③黙二〇・九、黙二一・七、黙二二・一二、④黙二〇・一〇
3 ①レビ二四・一一、エゼ三七・七、民二三、黙三・五、黙一三・八、黙一七・八、②黙二〇・一五、③イザ三五・八、Ⅱコリ五・一〇、黙二一・二七
4 ①黙二〇・七、②黙二〇・一四
5 ①Ⅱコリ五・七、黙一〇・六、②黙二〇・一二、黙二二・六
6 ①黙一六・一七、②黙一・八、黙二一・三、黙二二・一三、③黙三・一七、黙七・一七、黙一四・二、④黙二一・六、黙二二・一七
7 ①サム下七・一四、黙二一・三、Ⅱサム七・一四、黙二一・七
8 ①黙二一・二七、黙二二・一五、②ガラ五・一九、③黙二一・二、④黙二一・六、⑤黙二一・二七、⑥黙二一・二、⑦黙二一・六、⑧黙二一・二七、⑨黙二一・二、⑩黙二一・六、⑪黙二一・二七、⑫黙二一・二七
9 ①黙一七・一、②黙一七・一、③黙一七・一、④黙一七・一、⑤黙一七・一
10 ①黙一七・三、エゼ四〇・二、②旧黙示*「別訳」「霊にあって」
11 ①黙二一・二、②黙二一・二、③黙二一・二、④黙二一・六、⑤黙二一・二、⑥黙二一・二、⑦黙二一・二、⑧黙二一・二、⑨黙二一・二、⑩黙二一・二、⑪黙二一・二、⑫黙二一・二、⑬黙二一・二、⑭黙二一・二、⑮黙二一・二、⑯黙二一・二、⑰黙二一・二、⑱黙二一・二、⑲黙二一・二、⑳黙二一・二、㉑黙二一・二、㉒黙二一・二、㉓黙二一・二、㉔黙二一・二、㉕黙二一・二、㉖黙二一・二、㉗黙二一・二、㉘黙二一・二、㉙黙二一・二、㉚黙二一・二、㉛黙二一・二、㉜黙二一・二、㉝黙二一・二、㉞黙二一・二、㉟黙二一・二、㊱黙二一・二、㊲黙二一・二、㊳黙二一・二、㊴黙二一・二、㊵黙二一・二、㊶黙二一・二、㊷黙二一・二、㊸黙二一・二、㊹黙二一・二、㊺黙二一・二、㊻黙二一・二、㊼黙二一・二、㊽黙二一・二、㊾黙二一・二、㊿黙二一・二、(51)黙二一・二、(52)黙二一・二、(53)黙二一・二、(54)黙二一・二、(55)黙二一・二、(56)黙二一・二、(57)黙二一・二、(58)黙二一・二、(59)黙二一・二、(60)黙二一・二、(61)黙二一・二、(62)黙二一・二、(63)黙二一・二、(64)黙二一・二、(65)黙二一・二、(66)黙二一・二、(67)黙二一・二、(68)黙二一・二、(69)黙二一・二、(70)黙二一・二、(71)黙二一・二、(72)黙二一・二、(73)黙二一・二、(74)黙二一・二、(75)黙二一・二、(76)黙二一・二、(77)黙二一・二、(78)黙二一・二、(79)黙二一・二、(80)黙二一・二、(81)黙二一・二、(82)黙二一・二、(83)黙二一・二、(84)黙二一・二、(85)黙二一・二、(86)黙二一・二、(87)黙二一・二、(88)黙二一・二、(89)黙二一・二、(90)黙二一・二、(91)黙二一・二、(92)黙二一・二、(93)黙二一・二、(94)黙二一・二、(95)黙二一・二、(96)黙二一・二、(97)黙二一・二、(98)黙二一・二、(99)黙二一・二、(100)黙二一・二、(101)黙二一・二、(102)黙二一・二、(103)黙二一・二、(104)黙二一・二、(105)黙二一・二、(106)黙二一・二、(107)黙二一・二、(108)黙二一・二、(109)黙二一・二、(110)黙二一・二、(111)黙二一・二、(112)黙二一・二、(113)黙二一・二、(114)黙二一・二、(115)黙二一・二、(116)黙二一・二、(117)黙二一・二、(118)黙二一・二、(119)黙二一・二、(120)黙二一・二、(121)黙二一・二、(122)黙二一・二、(123)黙二一・二、(124)黙二一・二、(125)黙二一・二、(126)黙二一・二、(127)黙二一・二、(128)黙二一・二、(129)黙二一・二、(130)黙二一・二、(131)黙二一・二、(132)黙二一・二、(133)黙二一・二、(134)黙二一・二、(135)黙二一・二、(136)黙二一・二、(137)黙二一・二、(138)黙二一・二、(139)黙二一・二、(140)黙二一・二、(141)黙二一・二、(142)黙二一・二、(143)黙二一・二、(144)黙二一・二、(145)黙二一・二、(146)黙二一・二、(147)黙二一・二、(148)黙二一・二、(149)黙二一・二、(150)黙二一・二、(151)黙二一・二、(152)黙二一・二、(153)黙二一・二、(154)黙二一・二、(155)黙二一・二、(156)黙二一・二、(157)黙二一・二、(158)黙二一・二、(159)黙二一・二、(160)黙二一・二、(161)黙二一・二、(162)黙二一・二、(163)黙二一・二、(164)黙二一・二、(165)黙二一・二、(166)黙二一・二、(167)黙二一・二、(168)黙二一・二、(169)黙二一・二、(170)黙二一・二、(171)黙二一・二、(172)黙二一・二、(173)黙二一・二、(174)黙二一・二、(175)黙二一・二、(176)黙二一・二、(177)黙二一・二、(178)黙二一・二、(179)黙二一・二、(180)黙二一・二、(181)黙二一・二、(182)黙二一・二、(183)黙二一・二、(184)黙二一・二、(185)黙二一・二、(186)黙二一・二、(187)黙二一・二、(188)黙二一・二、(189)黙二一・二、(190)黙二一・二、(191)黙二一・二、(192)黙二一・二、(193)黙二一・二、(194)黙二一・二、(195)黙二一・二、(196)黙二一・二、(197)黙二一・二、(198)黙二一・二、(199)黙二一・二、(200)黙二一・二、(201)黙二一・二、(202)黙二一・二、(203)黙二一・二、(204)黙二一・二、(205)黙二一・二、(206)黙二一・二、(207)黙二一・二、(208)黙二一・二、(209)黙二一・二、(210)黙二一・二、(211)黙二一・二、(212)黙二一・二、(213)黙二一・二、(214)黙二一・二、(215)黙二一・二、(216)黙二一・二、(217)黙二一・二、(218)黙二一・二、(219)黙二一・二、(220)黙二一・二、(221)黙二一・二、(222)黙二一・二、(223)黙二一・二、(224)黙二一・二、(225)黙二一・二、(226)黙二一・二、(227)黙二一・二、(228)黙二一・二、(229)黙二一・二、(230)黙二一・二、(231)黙二一・二、(232)黙二一・二、(233)黙二一・二、(234)黙二一・二、(235)黙二一・二、(236)黙二一・二、(237)黙二一・二、(238)黙二一・二、(239)黙二一・二、(240)黙二一・二、(241)黙二一・二、(242)黙二一・二、(243)黙二一・二、(244)黙二一・二、(245)黙二一・二、(246)黙二一・二、(247)黙二一・二、(248)黙二一・二、(249)黙二一・二、(250)黙二一・二、(251)黙二一・二、(252)黙二一・二、(253)黙二一・二、(254)黙二一・二、(255)黙二一・二、(256)黙二一・二、(257)黙二一・二、(258)黙二一・二、(259)黙二一・二、(260)黙二一・二、(261)黙二一・二、(262)黙二一・二、(263)黙二一・二、(264)黙二一・二、(265)黙二一・二、(266)黙二一・二、(267)黙二一・二、(268)黙二一・二、(269)黙二一・二、(270)黙二一・二、(271)黙二一・二、(272)黙二一・二、(273)黙二一・二、(274)黙二一・二、(275)黙二一・二、(276)黙二一・二、(277)黙二一・二、(278)黙二一・二、(279)黙二一・二、(280)黙二一・二、(281)黙二一・二、(282)黙二一・二、(283)黙二一・二、(284)黙二一・二、(285)黙二一・二、(286)黙二一・二、(287)黙二一・二、(288)黙二一・二、(289)黙二一・二、(290)黙二一・二、(291)黙二一・二、(292)黙二一・二、(293)黙二一・二、(294)黙二一・二、(295)黙二一・二、(296)黙二一・二、(297)黙二一・二、(298)黙二一・二、(299)黙二一・二、(300)黙二一・二、(301)黙二一・二、(302)黙二一・二、(303)黙二一・二、(304)黙二一・二、(305)黙二一・二、(306)黙二一・二、(307)黙二一・二、(308)黙二一・二、(309)黙二一・二、(310)黙二一・二、(311)黙二一・二、(312)黙二一・二、(313)黙二一・二、(314)黙二一・二、(315)黙二一・二、(316)黙二一・二、(317)黙二一・二、(318)黙二一・二、(319)黙二一・二、(320)黙二一・二、(321)黙二一・二、(322)黙二一・二、(323)黙二一・二、(324)黙二一・二、(325)黙二一・二、(326)黙二一・二、(327)黙二一・二、(328)黙二一・二、(329)黙二一・二、(330)黙二一・二、(331)黙二一・二、(332)黙二一・二、(333)黙二一・二、(334)黙二一・二、(335)黙二一・二、(336)黙二一・二、(337)黙二一・二、(338)黙二一・二、(339)黙二一・二、(340)黙二一・二、(341)黙二一・二、(342)黙二一・二、(343)黙二一・二、(344)黙二一・二、(345)黙二一・二、(346)黙二一・二、(347)黙二一・二、(348)黙二一・二、(349)黙二一・二、(350)黙二一・二、(351)黙二一・二、(352)黙二一・二、(353)黙二一・二、(354)黙二一・二、(355)黙二一・二、(356)黙二一・二、(357)黙二一・二、(358)黙二一・二、(359)黙二一・二、(360)黙二一・二、(361)黙二一・二、(362)黙二一・二、(363)黙二一・二、(364)黙二一・二、(365)黙二一・二、(366)黙二一・二、(367)黙二一・二、(368)黙二一・二、(369)黙二一・二、(370)黙二一・二、(371)黙二一・二、(372)黙二一・二、(373)黙二一・二、(374)黙二一・二、(375)黙二一・二、(376)黙二一・二、(377)黙二一・二、(378)黙二一・二、(379)黙二一・二、(380)黙二一・二、(381)黙二一・二、(382)黙二一・二、(383)黙二一・二、(384)黙二一・二、(385)黙二一・二、(386)黙二一・二、(387)黙二一・二、(388)黙二一・二、(389)黙二一・二、(390)黙二一・二、(391)黙二一・二、(392)黙二一・二、(393)黙二一・二、(394)黙二一・二、(395)黙二一・二、(396)黙二一・二、(397)黙二一・二、(398)黙二一・二、(399)黙二一・二、(400)黙二一・二、(401)黙二一・二、(402)黙二一・二、(403)黙二一・二、(404)黙二一・二、(405)黙二一・二、(406)黙二一・二、(407)黙二一・二、(408)黙二一・二、(409)黙二一・二、(410)黙二一・二、(411)黙二一・二、(412)黙二一・二、(413)黙二一・二、(414)黙二一・二、(415)黙二一・二、(416)黙二一・二、(417)黙二一・二、(418)黙二一・二、(419)黙二一・二、(420)黙二一・二、(421)黙二一・二、(422)黙二一・二、(423)黙二一・二、(424)黙二一・二、(425)黙二一・二、(426)黙二一・二、(427)黙二一・二、(428)黙二一・二、(429)黙二一・二、(430)黙二一・二、(431)黙二一・二、(432)黙二一・二、(433)黙二一・二、(434)黙二一・二、(435)黙二一・二、(436)黙二一・二、(437)黙二一・二、(438)黙二一・二、(439)黙二一・二、(440)黙二一・二、(441)黙二一・二、(442)黙二一・二、(443)黙二一・二、(444)黙二一・二、(445)黙二一・二、(446)黙二一・二、(447)黙二一・二、(448)黙二一・二、(449)黙二一・二、(450)黙二一・二、(451)黙二一・二、(452)黙二一・二、(453)黙二一・二、(454)黙二一・二、(455)黙二一・二、(456)黙二一・二、(457)黙二一・二、(458)黙二一・二、(459)黙二一・二、(460)黙二一・二、(461)黙二一・二、(462)黙二一・二、(463)黙二一・二、(464)黙二一・二、(465)黙二一・二、(466)黙二一・二、(467)黙二一・二、(468)黙二一・二、(469)黙二一・二、(470)黙二一・二、(471)黙二一・二、(472)黙二一・二、(473)黙二一・二、(474)黙二一・二、(475)黙二一・二、(476)黙二一・二、(477)黙二一・二、(478)黙二一・二、(479)黙二一・二、(480)黙二一・二、(481)黙二一・二、(482)黙二一・二、(483)黙二一・二、(484)黙二一・二、(485)黙二一・二、(486)黙二一・二、(487)黙二一・二、(488)黙二一・二、(489)黙二一・二、(490)黙二一・二、(491)黙二一・二、(492)黙二一・二、(493)黙二一・二、(494)黙二一・二、(495)黙二一・二、(496)黙二一・二、(497)黙二一・二、(498)黙二一・二、(499)黙二一・二、(500)黙二一・二、(501)黙二一・二、(502)黙二一・二、(503)黙二一・二、(504)黙二一・二、(505)黙二一・二、(506)黙二一・二、(507)黙二一・二、(508)黙二一・二、(509)黙二一・二、(510)黙二一・二、(511)黙二一・二、(512)黙二一・二、(513)黙二一・二、(514)黙二一・二、(515)黙二一・二、(516)黙二一・二、(517)黙二一・二、(518)黙二一・二、(519)黙二一・二、(520)黙二一・二、(521)黙二一・二、(522)黙二一・二、(523)黙二一・二、(524)黙二一・二、(525)黙二一・二、(526)黙二一・二、(527)黙二一・二、(528)黙二一・二、(529)黙二一・二、(530)黙二一・二、(531)黙二一・二、(532)黙二一・二、(533)黙二一・二、(534)黙二一・二、(535)黙二一・二、(536)黙二一・二、(537)黙二一・二、(538)黙二一・二、(539)黙二一・二、(540)黙二一・二、(541)黙二一・二、(542)黙二一・二、(543)黙二一・二、(544)黙二一・二、(545)黙二一・二、(546)黙二一・二、(547)黙二一・二、(548)黙二一・二、(549)黙二一・二、(550)黙二一・二、(551)黙二一・二、(552)黙二一・二、(553)黙二一・二、(554)黙二一・二、(555)黙二一・二、(556)黙二一・二、(557)黙二一・二、(558)黙二一・二、(559)黙二一・二、(560)黙二一・二、(561)黙二一・二、(562)黙二一・二、(563)黙二一・二、(564)黙二一・二、(565)黙二一・二、(566)黙二一・二、(567)黙二一・二、(568)黙二一・二、(569)黙二一・二、(570)黙二一・二、(571)黙二一・二、(572)黙二一・二、(573)黙二一・二、(574)黙二一・二、(575)黙二一・二、(576)黙二一・二、(577)黙二一・二、(578)黙二一・二、(579)黙二一・二、(580)黙二一・二、(581)黙二一・二、(582)黙二一・二、(583)黙二一・二、(584)黙二一・二、(585)黙二一・二、(586)黙二一・二、(587)黙二一・二、(588)黙二一・二、(589)黙二一・二、(590)黙二一・二、(591)黙二一・二、(592)黙二一・二、(593)黙二一・二、(594)黙二一・二、(595)黙二一・二、(596)黙二一・二、(597)黙二一・二、(598)黙二一・二、(599)黙二一・二、(600)黙二一・二、(601)黙二一・二、(602)黙二一・二、(603)黙二一・二、(604)黙二一・二、(605)黙二一・二、(606)黙二一・二、(607)黙二一・二、(608)黙二一・二、(609)黙二一・二、(610)黙二一・二、(611)黙二一・二、(612)黙二一・二、(613)黙二一・二、(614)黙二一・二、(615)黙二一・二、(616)黙二一・二、(617)黙二一・二、(618)黙二一・二、(619)黙二一・二、(620)黙二一・二、(621)黙二一・二、(622)黙二一・二、(623)黙二一・二、(624)黙二一・二、(625)黙二一・二、(626)黙二一・二、(627)黙二一・二、(628)黙二一・二、(629)黙二一・二、(630)黙二一・二、(631)黙二一・二、(632)黙二一・二、(633)黙二一・二、(634)黙二一・二、(635)黙二一・二、(636)黙二一・二、(637)黙二一・二、(638)黙二一・二、(639)黙二一・二、(640)黙二一・二、(641)黙二一・二、(642)黙二一・二、(643)黙二一・二、(644)黙二一・二、(645)黙二一・二、(646)黙二一・二、(647)黙二一・二、(648)黙二一・二、(649)黙二一・二、(650)黙二一・二、(651)黙二一・二、(652)黙二一・二、(653)黙二一・二、(654)黙二一・二、(655)黙二一・二、(656)黙二一・二、(657)黙二一・二、(658)黙二一・二、(659)黙二一・二、(660)黙二一・二、(661)黙二一・二、(662)黙二一・二、(663)黙二一・二、(664)黙二一・二、(665)黙二一・二、(666)黙二一・二、(667)黙二一・二、(668)黙二一・二、(669)黙二一・二、(670)黙二一・二、(671)黙二一・二、(672)黙二一・二、(673)黙二一・二、(674)黙二一・二、(675)黙二一・二、(676)黙二一・二、(677)黙二一・二、(678)黙二一・二、(679)黙二一・二、(680)黙二一・二、(681)黙二一・二、(682)黙二一・二、(683)黙二一・二、(684)黙二一・二、(685)黙二一・二、(686)黙二一・二、(687)黙二一・二、(688)黙二一・二、(689)黙二一・二、(690)黙二一・二、(691)黙二一・二、(692)黙二一・二、(693)黙二一・二、(694)黙二一・二、(695)黙二一・二、(696)黙二一・二、(697)黙二一・二、(698)黙二一・二、(699)黙二一・二、(700)黙二一・二、(701)黙二一・二、(702)黙二一・二、(703)黙二一・二、(704)黙二一・二、(705)黙二一・二、(706)黙二一・二、(707)黙二一・二、(708)黙二一・二、(709)黙二一・二、(710)黙二一・二、(711)黙二一・二、(712)黙二一・二、(713)黙二一・二、(714)黙二一・二、(715)黙二一・二、(716)黙二一・二、(717)黙二一・二、(718)黙二一・二、(719)黙二一・二、(720)黙二一・二、(721)黙二一・二、(722)黙二一・二、(723)黙二一・二、(724)黙二一・二、(725)黙二一・二、(726)黙二一・二、(727)黙二一・二、(728)黙二一・二、(729)黙二一・二、(730)黙二一・二、(731)黙二一・二、(732)黙二一・二、(733)黙二一・二、(734)黙二一・二、(735)黙二一・二、(736)黙二一・二、(737)黙二一・二、(738)黙二一・二、(739)黙二一・二、(740)黙二一・二、(741)黙二一・二、(742)黙二一・二、(743)黙二一・二、(744)黙二一・二、(745)黙二一・二、(746)黙二一・二、(747)黙二一・二、(748)黙二一・二、(749)黙二一・二、(750)黙二一・二、(751)黙二一・二、(752)黙二一・二、(753)黙二一・二、(754)黙二一・二、(755)黙二一・二、(756)黙二一・二、(757)黙二一・二、(758)黙二一・二、(759)黙二一・二、(760)黙二一・二、(761)黙二一・二、(762)黙二一・二、(763)黙二一・二、(764)黙二一・二、(765)黙二一・二、(766)黙二一・二、(767)黙二一・二、(768)黙二一・二、(769)黙二一・二、(770)黙二一・二、(771)黙二一・二、(772)黙二一・二、(773)黙二一・二、(774)黙二一・二、(775)黙二一・二、(776)黙二一・二、(777)黙二一・二、(778)黙二一・二、(779)黙二一・二、(780)黙二一・二、(781)黙二一・二、(782)黙二一・二、(783)黙二一・二、(784)黙二一・二、(785)黙二一・二、(786)黙二一・二、(787)黙二一・二、(788)黙二一・二、(789)黙二一・二、(790)黙二一・二、(791)黙二一・二、(792)黙二一・二、(793)黙二一・二、(794)黙二一・二、(795)黙二一・二、(796)黙二一・二、(797)黙二一・二、(798)黙二一・二、(799)黙二一・二、(800)黙二一・二、(801)黙二一・二、(802)黙二一・二、(803)黙二一・二、(804)黙二一・二、(805)黙二一・二、(806)黙二一・二、(807)黙二一・二、(808)黙二一・二、(809)黙二一・二、(810)黙二一・二、(811)黙二一・二、(812)黙二一・二、(813)黙二一・二、(814)黙二一・二、(815)黙二一・二、(816)黙二一・二、(817)黙二一・二、(818)黙二一・二、(819)黙二一・二、(820)黙二一・二、(821)黙二一・二、(822)黙二一・二、(823)黙二一・二、(824)黙二一・二、(825)黙二一・二、(826)黙二一・二、(827)黙二一・二、(828)黙二一・二、(829)黙二一・二、(830)黙二一・二、(831)黙二一・二、(832)黙二一・二、(833)黙二一・二、(834)黙二一・二、(835)黙二一・二、(836)黙二一・二、(837)黙二一・二、(838)黙二一・二、(839)黙二一・二、(840)黙二一・二、(841)黙二一・二、(842)黙二一・二、(843)黙二一・二、(844)黙二一・二、(845)黙二一・二、(846)黙二一・二、(847)黙二一・二、(848)黙二一・二、(849)黙二一・二、(850)黙二一・二、(851)黙二一・二、(852)黙二一・二、(853)黙二一・二、(854)黙二一・二、(855)黙二一・二、(856)黙二一・二、(857)黙二一・二、(858)黙二一・二、(859)黙二一・二、(860)黙二一・二、(861)黙二一・二、(862)黙二一・二、(863)黙二一・二、(864)黙二一・二、(865)黙二一・二、(866)黙二一・二、(867)黙二一・二、(868)黙二一・二、(869)黙二一・二、(870)黙二一・二、(871)黙二一・二、(872)黙二一・二、(873)黙二一・二、(874)黙二一・二、(875)黙二一・二、(876)黙二一・二、(877)黙二一・二、(878)黙二一・二、(879)黙二一・二、(880)黙二一・二、(881)黙二一・二、(882)黙二一・二、(883)黙二一・二、(884)黙二一・二、(885)黙二一・二、(886)黙二一・二、(887)黙二一・二、(888)黙二一・二、(889)黙二一・二、(890)黙二一・二、(891)黙二一・二、(892)黙二一・二、(893)黙二一・二、(894)黙二一・二、(895)黙二一・二、(896)黙二一・二、(897)黙二一・二、(898)黙二一・二、(899)黙二一・二、(900)黙二一・二、(901)黙二一・二、(902)黙二一・二、(903)黙二一・二、(904)黙二一・二、(905)黙二一・二、(906)黙二一・二、(907)黙二一・二、(908)黙二一・二、(909)黙二一・二、(910)黙二一・二、(911)黙二一・二、(912)黙二一・二、(913)黙二一・二、(914)黙二一・二、(915)黙二一・二、(916)黙二一・二、(917)黙二一・二、(918)黙二一・二、(919)黙二一・二、(920)黙二一・二、(921)黙二一・二、(922)黙二一・二、(923)黙二一・二、(924)黙二一・二、(925)黙二一・二、(926)黙二一・二、(927)黙二一・二、(928)黙二一・二、(929)黙二一・二、(930)黙二一・二、(931)黙二一・二、(932)黙二一・二、(933)黙二一・二、(934)黙二一・二、(935)黙二一・二、(936)黙二一・二、(937)黙二一・二、(938)黙二一・二、(939)黙二一・二、(940)黙二一・二、(941)黙二一・二、(942)黙二一・二、(943)黙二一・二、(944)黙二一・二、(945)黙二一・二、(946)黙二一・二、(947)黙二一・二、(948)黙二一・二、(949)黙二一・二、(950)黙二一・二、(951)黙二一・二、(952)黙二一・二、(953)黙二一・二、(954)黙二一・二、(955)黙二一・二、(956)黙二一・二、(957)黙二一・二、(958)黙二一・二、(959)黙二一・二、(960)黙二一・二、(961)黙二一・二、(962)黙二一・二、(963)黙二一・二、(964)黙二一・二、(965)黙二一・二、(966)黙二一・二、(967)黙二一・二、(968)黙二一・二、(969)黙二一・二、(970)黙二一・二、(971)黙二一・二、(972)黙二一・二、(973)黙二一・二、(974)黙二一・二、(975)黙二一・二、(976)黙二一・二、(977)黙二一・二、(978)黙二一・二、(979)黙二一・二、(980)黙二一・二、(981)黙二一・二、(982)黙二一・二、(983)黙二一・二、(984)黙二一・二、(985)黙二一・二、(986)黙二一・二、(987)黙二一・二、(988)黙二一・二、(989)黙二一・二、(990)黙二一・二、(991)黙二一・二、(992)黙二一・二、(993)黙二一・二、(994)黙二一・二、(995)黙二一・二、(996)黙二一・二、(997)黙二一・二、(998)黙二一・二、(999)黙二一・二、(1000)黙二一・二、(1001)黙二一・二、(1002)黙二一・二、(1003)黙二一・二、(1004)黙二一・二、(1005)黙二一・二、(1006)黙二一・二、(1007)黙二一・二、(1008)黙二一・二、(1009)黙二一・二、(1010)黙二一・二、(1011)黙二一・二、(1012)黙二一・二、(1013)黙二一・二、(1014)黙二一・二、(1015)黙二一・二、(1016)黙二一・二、(1017)黙二一・二、(1018)黙二一・二、(1019)黙二一・二、(1020)黙二一・二、(1021)黙二一・二、(1022)黙二一・二、(1023)黙二一・二、(1024)黙二一・二、(1025)黙二一・二、(1026)黙二一・二、(1027)黙二一・二、(1028)黙二一・二、(1029)黙二一・二、(1030)黙二一・二、(1031)黙二一・二、(1032)黙二一・二、(1033)黙二一・二、(1034)黙二一・二、(1035)黙二一・二、(1036)黙二一・二、(1037)黙二一・二、(1038)黙二一・二、(1039)黙二一・二、(1040)黙二一・二、(1041)黙二一・二、(1042)黙二一・二、(1043)黙二一・二、(1044)黙二一・二、(1045)黙二一・二、(1046)黙二一・二、(1047)黙二一・二、(1048)黙二一・二、(1049)黙二一・二、(1050)黙二一・二、(1051)黙二一・二、(1052)黙二一・二、(1053)黙二一・二、(1054)黙二一・二、(1055)黙二一・二、(1056)黙二一・二、(1057)黙二一・二、(1058)黙二一・二、(1059)黙二一・二、(1060)黙二一・二、(1061)黙二一・二、(1062)黙二一・二、(1063)黙二一・二、(1064)黙二一・二、(1065)黙二一・二、(1066)黙二一・二、(1067)黙二一・二、(1068)黙二一・二、(1069)黙二一・二、(1070)黙二一・二、(1071)黙二一・二、(1072)黙二一・二、(1073)黙二一・二、(1074)黙二一・二、(1075)黙二一・二、(1076)黙二一・二、(1077)黙二一・二、(1078)黙二一・二、(1079)黙二一・二、(1080)黙二一・二、(1081)黙二一・二、(1082)黙二一・二、(1083)黙二一・二、(1084)黙二一・二、(1085)黙二一・二、(1086)黙二一・二、(1087)黙二一・二、(1088)黙二一・二、(1089)黙二一・二、(1090)黙二一・二、(1091)黙二一・二、(1092)黙二一・二、(1093)黙二一・二、(1094)黙二一・二、(1095)黙二一・二、(1096)黙二一・二、(1097)黙二一・二、(1098)黙二一・二、(1099)黙二一・二、(1100)黙二一・二、(1101)黙二一・二、(1102)黙二一・二、(1103)黙二一・二、(1104)黙二一・二、(1105)黙二一・二、(1106)黙二一・二、(1107)黙二一・二、(1108)黙二一・二、(1109)黙二一・二、(1110)黙二一・二、(1111)黙二一・二、(1112)黙二一・二、(1113)黙二一・二、(1114)黙二一・二、(1115)黙二一・二、(1116)黙二一・二、(1117)黙二一・二、(1118)黙二一・二、(1119)黙二一・二、(1120)黙二一・二、(1121)黙二一・二、(1122)黙二一・二、(1123)黙二一・二、(1124)黙二一・二、(1125)黙二一・二、(1126)黙二一・二、(1127)黙二一・二、(1128)黙二一・二、(1129)黙二一・二、(1130)黙二一・二、(1131)黙二一・二、(1132)黙二一・二、(1133)黙二一・二、(1134)黙二一・二、(1135)黙二一・二、(1136)黙二一・二、(1137)黙二一・二、(1138)黙二一・二、(1139)黙二一・二、(1140)黙二一・二、(1141)黙二一・二、(1142)黙二一・二、(1143)黙二一・二、(1144)黙二一・二、(1145)黙二一・二、(1146)黙二一・二、(1147)黙二一・二、(1148)黙二一・二、(1149)黙二一・二、(1150)黙二一・二、(1151)黙二一・二、(1152)黙二一・二、(1153)黙二一・二、(1154)黙二一・二、(1155)黙二一・二、(1156)黙二一・二、(1157)黙二一・二、(1158)黙二一・二、(1159)黙二一・二、(1160)黙二一・二、(1161)黙二一・二、(1162)黙二一・二、(1163)黙二一・二、(1164)黙二一・二、(1165)黙二一・二、(1166)黙二一・二、(1167)黙二一・二、(1168)黙二一・二、(1169)黙二一・二、(1170)黙二一・二、(1171)黙二一・二、(1172)黙二一・二、(1173)黙二一・二、(1174)黙二一・二、(1175)黙二一・二、(1176)黙二一・二、(1177)黙二一・二、(1178)黙二一・二、(1179)黙二一・二、(1180)黙二一・二、(1181)黙二一・二、(1182)黙二一・二、(1183)黙二一・二、(1184)黙二一・二、(1185)黙二一・二、(1186)黙二一・二、(1187)黙二一・二、(1188)黙二一・二、(1189)黙二一・二、(1190)黙二一・二、(1191)黙二一・二、(1192)黙二一・二、(1193)黙二一・二、(1194)黙二一・二、(1195)黙二一・二、(1196)黙二一・二、(1197)黙二一・二、(1198)黙二一・二、(1199)黙二一・二、(1200)黙二一・二、(1201)黙二一・二、(1202)黙二一・二、(1203)黙二一・二、(1204)黙二一・二、(1205)黙二一・二、(1206)黙二一・二、(1207)黙二一・二、(1208)黙二一・二、(1209)黙二一・二、(1210)黙二一・二、(1211)黙二一・二、(1212)黙二一・二、(1213)黙二一・二、(1214)黙二一・二、(1215)黙二一・二、(1216)黙二一・二、(1217)黙二一・二、(1218)黙二一・二、(1219)黙二一・二、(1220)黙二一・二、(1221)黙二一・二、(1222)黙二一・二、(1223)黙二一・二、(1224)黙二一・二、(1225)黙二一・二、(1226)黙二一・二、(1227)黙二一・二、(1228)黙二一・二、(1229)黙二一・二、(1230)黙二一・二、(1231)黙二一・二、(1232)黙二一・二、(1233)黙二一・二、(1234)黙二一・二、(1235)黙二一・二、(1236)黙二一・二、(1237)黙二一・二、(1238)黙二一・二、(1239)黙二一・二、(1240)黙二一・二、(1241)黙二一・二、(1242)黙二一・二、(1243)黙二一・二、(1244)黙二一・二、(1245)黙二一・二、(1246)黙二一・二、(1247)黙二一・二、(1248)黙二一・二、(1249)黙二一・二、(1250)黙二一・二、(1251)黙二一・二、(1252)黙二一・二、(1253)黙二一・二、(1254)黙二一・二、(1255)黙二一・二、(1256)黙二一・二、(1257)黙二一・二、(1258)黙二一・二、(1259)黙二一・二、(1260)黙二一・二、(1261)黙二一・二、(1262)黙二一・二、(1263)黙二一・二、(1264)黙二一・二、(1265)黙二一・二、(1266)黙二一・二、(1267)黙二一・二、(1268)黙二一・二、(1269)黙二一・二、(1270)黙二一・二、(1271)黙二一・二、(1272)黙二一・二、(1273)黙二一・二、(1274)黙二一・二、(1275)黙二一・二、(1276)黙二一・二、(1277)黙二一・二、(1278)黙二一・二、(1279)黙二一・二、(1280)黙二一・二、(1281)黙二一・二、(1282)黙二一・二、(1283)黙二一・二、(1284)黙二一・二、(1285)黙二一・二、(1286)黙二一・二、(1287)黙二一・二、(1288)黙二一・二、(1289)黙二一・二、(1290)黙二一・二、(1291)黙二一・二、(1292)黙二一・二、(1293)黙二一・二、(1294)黙二一・二、(1295)黙二一・二、(1296)黙二一・二、(1297)黙二一・二、(1298)黙二一・二、(1299)黙二一・二、(1300)黙二一・二、(1301)黙二一・二、(1302)黙二一・二、(1303)黙二一・二、(1304)黙二一・二、(1305)黙二一・二、(1306)黙二一・二、(1307)黙二一・二、(1308)黙二一・二、(1309)黙二一・二、(1310)黙二一・二、(1311)黙二一・二、(1312)黙二一・二、(1313)黙二一・二、(1314)黙二一・二、(1315)黙二一・二、(1316)黙二一・二、(1317)黙二一・二、(1318)黙二一・二、(1319)黙二一・二、(1320)黙二一・二、(1321)黙二一・二、(1322)黙二一・二、(1323)黙二一・二、(1324)黙二一・二、(1325)黙二一・二、(1326)黙二一・二、(1327)黙二一・二、(1328)黙二一・二、(1329)黙二一・二、(1330)黙二一・二、(1331)黙二一・二、(1332)黙二一・二、(1333)黙二一・二、(1334)黙二一・二、(1335)黙二一・二、(1336)黙二一・二、(1337)黙二一・二、(1338)黙二一・二、(1339)黙二一・二、(1340)黙二一・二、(1341)黙二一・二、(1342)黙二一・二、(1343)黙二一・二、(1344)黙二一・二、(1345)黙二一・二、(1346)黙二一・二、(1347)黙二一・二、(1348)黙二一・二、(1349)黙二一・二、(1350)黙二一・二、(1351)黙二一・二、(1352)黙二一・二、(1353)黙二一・二、(1354)黙二一・二、(1355)黙二一・二、(1356)黙二一・二、(1357)黙二一・二、(1358)黙二一・二、(1359)黙二一・二、(1360)黙二一・二、(1361)黙二一・二、(1362)黙二一・二、(1363)黙二一・二、(1364)黙二一・二、(1365)黙二一・二、(1366)黙二一・二、(1367)黙二一・二、(1368)黙二一・二、(1369)黙二一・二、(1370)黙二一・二、(1371)黙二一・二、(1372)黙二一・二、(1373)黙二一・二、(1374)黙二一・二、(1375)黙二一・二、(1376)黙二一・二、(1377)黙二一・二、(1378)黙二一・二、(1379)黙二一・二、(1380)黙二一・二、(1381)黙二一・二、(1382

三つの門があった。
14 また、都の城壁には十二の土台石があり、それには、小羊の十二使徒の十二の名が書いてあった。
15 また、私と話していた者は都とその門とその城壁とを測る金の測りざおを持っていた。
16 都は四角で、その長さと幅は同じである。彼がそのさおで都を測ると、一万二千スタディオンあった。長さも幅も高さも同じである。
17 また、彼がその城壁を測ると、人間の尺度で百四十四ペーキュスあった。これが御使いの尺度でもあった。
18 その城壁は碧玉で造られ、都は混じりけのないガラスに似た純金でできていた。
19 都の城壁の土台石はあらゆる宝石で飾られていた。第一の土台石は碧玉、第二はサファイヤ、第三は玉髄、第四は緑玉、
20 第五は赤縞めのう、第六は赤めのう、第七は貴かんらん石、第八は緑柱石、第九は黄玉、第十は緑玉髄、
第十一は青玉、第十二は紫水晶であった。
21 また、十二の門は十二の真珠であった。どの門もそれぞれ一つの真珠からできていた。都の大通りは、透き通ったガラスのような純金であった。
22 私は、この都の中に神殿を見なかった。それは、万物の支配者である、神であられる主と、小羊とが都の神殿だからである。
23 都には、これを照らす太陽も月もいらない。というのは、神の栄光が都を照らし、小羊が都のあかりだからである。
24 諸国の民が、都の光によって歩み、地の王たちはその栄光を携えて都に来る。
25 都の門は一日中決して閉じることがない。そこには夜がないからである。
26 こうして、人々は諸国の民の栄光と誉れとを、そこに携えて来る。
27 しかし、すべて汚れた者や、憎むべきことと偽りとを行なう者は、決して都にはいれない。小羊のいのちの書に名が書いてある者だけが、はいることができる。

22

1 御使いはまた、私に水晶のように光るいのちの水の川を見せた。それは神と小羊との御座から出て、
2 都の大通りの中央を流れていた。川の両岸には、いのちの木があって、十二種の実がなり、毎月、実ができた。また、その木の葉は諸国の民をいやした。
3 もはや、のろわれるものは何もない。神と小羊との御座が都の中にあって、そのしもべたちは神に仕え、
4 神の御顔を仰ぎ見る。また、彼らの額には神の名がついている。
5 もはや夜がない。神である主が彼らを照らされるので、彼らにはともしびの光も太陽の光もいらない。彼らは永遠に王である。
6 御使いはまた私に、「これらのことばは、信ずべきものであり、真実なのです。」と言った。預言者たちのたましいの神である主は、その御使いを遣わし、す

---

14 ①エペ二10、ヘブ二10
15 ①黙二一二六、③黙二一三六　*直訳「測り、金の葦」
16 *直訳「葦」、**一スタディオンは一八五メートル
17 *1ペーキュスは四五センチ
18 ①黙二一二、②黙二一一
19 ①黙二一二、②黙二一一　②黙二一六
20 ①黙二一二、②黙二一一
21 ①黙二一二、②黙二一六　③黙二一八
22 ①ヨハ二四、聖所＝黙七一五等、②黙二一一、③黙二一三、④黙二一六
23 ①黙二一二、②黙二一一　③黙二一六、④黙二一一
24 ①イザ六〇三、民、イザ四九二三、②詩七二一〇、③黙二一二六
25 ①黙二一二六、民、黙二一二六　②ゼカ一四七
26 ①詩七二一〇、イザ四九二三、
27 ①エゼ四四九、民、イザ三五八　②黙二一二七、民、*名がし＝は補足　③詩六九二九、④詩六九二九、黙三一五、*別訳「(出て)いた都の大通りの中央と、川の両岸に」
1 ①黙二一六、民、イザ四九二三、ゼカ一四八　②詩四六五、黙七一七、③黙二一二七、④詩六九二九、黙三一五、エゼ四七一、⑤黙二一二七
2 ①エゼ四七一二　②黙二二一四
3 ①ゼカ一四一一、②民、黙二二一三
4 ①詩一七一五、民、詩一〇一四　②黙三一五、③黙七一三、④黙一四一、⑤黙二二一四
5 ①黙二一二五、ゼカ一四七、②黙二一二三、③ダニ七一八、ロマ五一七等、④黙二一一六
6 ①黙二一二、黙二二一六、②黙一一一、③黙二一七、④黙一一一、⑤黙二二一六、⑥ヘブ二一四

ぐに起こるべき事を、そのしもべたちに示そうとされたのである。
7「見よ。[1]わたしはすぐに来る。[2]この書の預言のことばを堅く守る者は、[3]幸いである。」
8これらのことを聞き、また見たのは私ヨハネである。私が聞き、また見たとき、それらのことを示してくれた御使いの足もとに、[2]ひれ伏して拝もうとした。
9すると、[1]彼は私に言った。「やめなさい。私は、あなたや、あなたの兄弟である預言者たちや、この書のことばを*堅く守る人々と同じしもべです。神を拝みなさい。」
10また、彼は私に言った。[1]「この書の預言のことばを封じてはいけない。[2]時が近づいているからである。
11[1]不正を行なう者はますます不正を行ない、汚れた者はますます汚れを行ないなさい。正しい者はいよいよ正しいことを行ない、きよい者はいよいよきよいことを行ないなさい。」
12「見よ。[1]わたしはすぐに来る。[2]わたしはそれぞれのしわざに応じて報いるために、わたしの報いを携えて来る。
13わたしはアルファであり、オメガである。[1]最初であり、最後である。[2]初めであり、終わりである。」
14[1]自分の着物を洗って、[2]いのちの木の実を食べる権利を与えられ、[3]門を通って都にはいれるようになる者は、幸いである。
15[1]犬ども、魔術を行なう者、不品行の者、人殺し、偶像を拝む者、好んで偽りを行なう者はみな、[2]外に出される。
16「[1]わたし、イエスは御使いを[2]遣わして、諸教会について、これらのことをあなたがたにあかしした。わたしはダビデの[4]根、また子孫、[5]輝く[6]明けの明星である。」[3]
17[1]御霊も花嫁も言う。「来てください。」これを聞く者は、「来てください。」と言いなさい。[3]渇く者は来なさい。[4]いのちの水がほしい者は、それをただで受けなさい。
18私は、この書の[1]預言のことばを聞くすべての者にあかしする。もし、これに[2]つけ加える者があれば、神はこの書に書いてある[4]災害をその人に加えられる。
19また、この[1]預言の書のことばを少しでも取り除く者があれば、神は、[3]この書に書いてあるいのちの木と聖なる都から、その人の[1]受ける分を取り除かれる。
20これらのことをあかしする方がこう言われる。「しかり。[2]わたしはすぐに来る。」アーメン。[3]主イエスよ、来てください。
21[1]主イエスの恵みが*すべての者とともにあるように。アーメン。

7 ①黙三・三、一〇、三・一一、旧黙一・三、三・一、六・一五、②黙三・一〇、六・一一、旧黙三・九、一・一一 *あるいは「に心を留める」 ③黙一・三、旧黙六・一五
8 ①黙一・一、②黙六・一〇
9 ①黙六・一〇 *黙三・一〇、六・一九、旧黙一・一二 *あるいは「に心を留める」 ③旧黙一・一
10 ①黙二二・一〇、②旧黙一〇・四 ダニ八・二六、③旧黙一〇・四
11 ①エゼ三・二七、ダニ一二・一〇 12 ①黙三・一一、②黙三・一二、エレ三一・一七、黙一八・一二、③イザ四〇・一〇、六二・一一
13 ①黙一・八、②黙二一・六 14 ①黙七・一四、②黙二二・一四、③黙二二・一九、④黙二二・一七
15 ①旧申二三・一八、マタセ・六 ピリ三・二、②黙二二・八、Ⅰコリ六・九、一〇、ガラ五・二九以下 旧マタ八・一二
16 ①黙一・一、一一、②黙三・六、黙二二・一二 *あるいは「のために」 ④黙黙示一九、⑤マタ一・一
17 ①黙二二・一四、二七、②黙三一・九、黙示二一・二、③黙黙示二一・六
18 ①黙三一・七、②申一二・三二 旧箴三〇・六、③黙黙示三七 ④黙黙示一六・一三
19 ①黙黙示三・七、②申四・二・三二 旧箴三〇・六、③黙黙示三・二 ④黙三・一〇・三・五
20 ①黙一・二、②黙黙示三・七 ③旧Ⅰコリ一六・二二
21 ①黙ロマ一六・二 *異本「聖徒たち」

あとがき

聖書は永遠の神のみことばであって、あらゆる時代に対して、常に新しい力をもって語り、救いのための知恵を人に与えようとしている。新改訳聖書は、今の時代の人々のために、この神のことばである聖書を、正確に、わかりやすく翻訳しようとして企画された。そしてまず新約聖書が、今ここに刊行されることになった。

原語にあくまでも忠実であり、最も読みやすく、しかも聖書としての品位を失わない翻訳を成し遂げることが、翻訳編集に携わった者の一致した願いであった。

翻訳にあたっては、主としてネストレの校訂本二四版を使用した。

どの翻訳についても言えることであろうが、私たちは、聖書翻訳の古い歴史の中で教会が私たちに残してくれた遺産に負うところが非常に多い。いな、むしろ、この翻訳もその伝統の上にあって初めて可能であったと言わなければならない。邦訳聖書について言えば、聖書協会のいわゆる元訳、文語改訳、口語訳等は、邦訳の歴史に一つの方向づけを与えて来たものと言えよう。私たちは、それらの成果を尊重しつつ、現代のことばで原意を正確に表出しようと努めた。その際、特に文語改訳に共感するところが多かったと思う。またこのことに関連して、英国改訳、あるいは米国標準訳の理解を現代に生かすために訳業が進められている新米国標準訳が、私たちの最も良い参考になったことをも明らかにしておきたい。また、この版では、特に詳細な引照をつけたが、それは新米国標準訳のそれを採用したものである。ここにあえて「新改訳」という名を採ったのも、以上述べたような、先達の業績に負うところが大きいことを認めるからである。

神がこの新改訳聖書をも、神の栄光のため、また、多くの人々の救いのために、用いてくださるように。

次に、訳文について幾つかのことを述べたい。

国語の書き表わし方について言えば、私たちは、当用漢字表、その他の新しい用字用語をできるだけ尊重した。し

かし、やむをえないと認めたばあい、この制限の外に出ている用例もないわけではない。またこの上に、注や引照の見出しをつける記号によって妨げられないばあい、すべての漢字にふりがなをつけたのは、聖書ができるだけ多くの人の手に渡り、現実に読まれることを願ったからである。

また、原文の意味が誤解される恐れのない訳語を用いることは、真の「読みやすさ」にとってたいせつな点であると思う。いちいち訳語について説明することを許されないが、ハデス、ゲヘナについては注もないので、ここで一言説明したい。ギリシャ語聖書のヘハデスンは、従来陰府とか黄泉と訳されて来たが、死者が終末のさばきを待つ間の中間状態で置かれる場所を示すことばである。従来の訳語は他の宗教の教えを混入させて読み込まれているうらみがあるので、ここではギリシャ語の音訳にとどめることにした。また、ゲヘナも地獄と訳されていたこともあるが、同じような理由でかな書きにした。これは神の究極のさばきによって、罪人が入れられる苦しみの場所をさす。

章節、文段の表示も、読みやすくするために、邦訳聖書としては新しい方法を採用した。この版では、行が変わることは新しい文段を示すのでなく、新しい節が始まることを示す。文頭の小さな数字がその節の名である。新しい文段は、その数字を一字分下げることによって表示されている。章を示すのは大きな数字であるが、その下の1という小さい数字も通常、文段の始まりを表わす。章節を示すために、一章二節と読まないで、そのまま1の2と読むのもさしつかえないと思われる。私たちの使っている聖書で用いている章節とか文段は、後代になって便宜のためにつけられたのであるから、最近の外国語諸訳に見られるように節をも明示せず、文段ごとにまとめて印刷するのも良い方法であるが、この版のような組み方も、一般の人々の朗読や研究のためには便利であると思う。

訳文中の記号は、文脈を明らかにするために用いられている。

（　）の中の文は、原文においてその前の文の説明とか注釈である。

――　――　にはさまれた文章は挿入である。

〔　〕の中の文または文段は、幾つかの有力な写本がそれを欠くことを示す。

原語への忠実さを期するために、本文の解釈に重要な相違がある個所については、最も良いと思われる訳文を本文に入れ、他を欄外注に示した。また、有力な写本相互の間に重要な差異が認められるばあいも、そのことを欄外注に

示した。少しでも正しい本文に近づこうとする努力が真剣になされるばあい、このような注はぜひ必要になって来ると思われる。

欄外注の使い方

欄外注は、できる限り本文と同じページの下にまとめてある。本文中、注あるいは引照を要するばあいは、その文または語の右肩に、＊1) 2)……という記号がつけてある。

一　＊印は訳文についての注である。欄外の〈別訳〉は、同じギリシャ語本文の解釈上種々の相違があるばあい、本文には採らなかった別の訳である。(たとえばロマ九・五)

〈あるいは〉は、本文の訳と大差はないが、もう一つの訳し方である。

〈直訳〉は、文字どおりの直訳であって、それが本文に入れられると日本語としての意味が明瞭でなくなるとか、誤解の恐れのあるばあい、注に入れた。

〈すなわち〉または〈原語〉は、本文の訳語では原意を表わすのにいくぶん不十分であるばあい、別の言い替えをして補ったものと見てよい。

〈異本〉は、原典に相違があるばあい、そのうちの重要なものを示す。

〈ギリシャ語〉〈ヘブル語〉等は、原語の音訳を示す。

二　引照は、たとえば、本文の訳語または訳文の右肩に 1) とつけられた数字を、そのページの下欄の、節を示す数字の下に ① とあるのと合わせて、見ればよい。一例を示すと、ルカ二二・五二では、「宮の守衛長」の引照個所は欄外注の52①を見るとわかるとおり、ルカ二二・四である。さらにその節の欄外注を見ると、もっと多くの引照個所を見つけることができるばあいもある。また、ルカ二二・四〇については、本文の 1) を欄外注の①で見ると、ルカ二二・四〇―四六、マタ二六・三六―四六とある。このばあいは四〇―四六の平行個所がマタ二六・三六―四六であることを示す。

凡例四と頭についているときは、「そこを参照せよ」「そこと比較せよ」という意味である。

聖書各巻を示す略語は次のとおりである。

旧約の部

創……創世記
出……出エジプト記
レビ……レビ記
民……民数記
申……申命記
ヨシ……ヨシュア記
士……士師記
ルツ……ルツ記
Ⅰサム…サムエル記第一
Ⅱサム…サムエル記第二
Ⅰ列……列王紀第一
Ⅱ列……列王紀第二
Ⅰ歴……歴代志第一
Ⅱ歴……歴代志第二
エズ……エズラ記
ネヘ……ネヘミヤ記
エス……エステル記
ヨブ……ヨブ記
詩……詩篇
箴……箴言
伝……伝道の書
雅……雅歌
イザ……イザヤ書
エレ……エレミヤ書
哀……哀歌
エゼ……エゼキエル書
ダニ……ダニエル書
ホセ……ホセア書
ヨエ……ヨエル書
アモ……アモス書
オバ……オバデヤ書
ヨナ……ヨナ書
ミカ……ミカ書
ナホ……ナホム書
ハバ……ハバクク書
ゼパ……ゼパニヤ書
ハガ……ハガイ書
ゼカ……ゼカリヤ書
マラ……マラキ書

新約の部

マタ……マタイの福音書
マコ……マルコの福音書
ルカ……ルカの福音書
ヨハ……ヨハネの福音書
使……使徒の働き
ロマ……ローマ人への手紙
Ⅰコリ…コリント人への手紙第一
Ⅱコリ…コリント人への手紙第二
ガラ……ガラテヤ人への手紙
エペ……エペソ人への手紙
ピリ……ピリピ人への手紙
コロ……コロサイ人への手紙
Ⅰテサ…テサロニケ人への手紙第一
Ⅱテサ…テサロニケ人への手紙第二
Ⅰテモ…テモテへの手紙第一
Ⅱテモ…テモテへの手紙第二
テト……テトスへの手紙
ピレ……ピレモンへの手紙
ヘブ……ヘブル人への手紙
ヤコ……ヤコブの手紙
Ⅰペテ…ペテロの手紙第一
Ⅱペテ…ペテロの手紙第二
Ⅰヨハ…ヨハネの手紙第一
Ⅱヨハ…ヨハネの手紙第二
Ⅲヨハ…ヨハネの手紙第三
ユダ……ユダの手紙
黙……ヨハネの黙示

新改訳 新約聖書

昭和 40 年 11 月 12 日発行

¥500

翻訳　新改訳聖書刊行会
発行　日本聖書刊行会

組版　研究社印刷株式会社
印刷　開成印刷株式会社
製本　鈴木製本株式会社
本文用紙　十条製紙都島工場
表紙　東洋クロス株式会社

発売　いのちのことば社
東京都新宿区信濃町 6